

煤孫遺跡発掘調査報告書

東北横断自動車道秋田線建設関連遺跡発掘調査

(第1分冊)

序

本県には、縄文時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財包蔵地が各地に分布しております。これら先人の貴重な文化遺産を保存し、後世に伝えていくことは私達に課せられた責務であると思います。

一方、広大な面積を有する本県の大部分は山地であり、地域開発にともなう社会資本の充実も重要な一施策となっております。特に幹線道路網の整備は、産業経済開発の大動脈として多方面から期待されるところであります。

このような保護保存と開発という相反する目的を有する事業の調和のとれた行政施策が今日的課題であり、当岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創設以来、県教委文化課の指導と調整のもとに開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡の発掘調査を行い、記録保存する処置をとってまいりました。

本報告書は、東北横断自動車道秋田線建設に関連し、平成2年度と3年度に発掘調査した煤孫遺跡の調査結果について収録したものであります。調査の結果、縄文時代前期末～中期初の遺物が多数発見されました。

この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず埋蔵文化財に対する理解の一助になれば幸いです。

おわりに、これまでの発掘調査及び報告書作成に関わって多大なご援助、ご協力を賜りました日本道路公団仙台建設局、北上市教育委員会をはじめとする関係各位に衷心より感謝申し上げます。

平成5年4月

財団法人 岩手県文化振興事業団
理事長 工 藤 巖

例 言

1. 本報告書は岩手県北上市和賀町煤孫5地割49-6ほかに所在する煤孫遺跡の発掘調査結果を収録したものである。
2. 本遺跡の調査は東北横断自動車道秋田線建設に伴う記録保存を目的とした調査である。調査は日本道路公団仙台建設局と岩手県教育委員会文化課との協議を経て、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。
3. 本遺跡の岩手県遺跡台帳に登録されている遺跡番号及び遺跡略号は次のとおりである。
＜遺跡番号＞ ME63-2318 ＜遺跡略号＞ SM-90・91
4. 発掘調査は平成2年度から平成3年度にかけて実施した。調査期間、調査面積、調査担当者は次のとおりである。

	調査期間	調査面積	調査担当者
平成2年度	4月17日～11月22日	11960 m ²	東海林隆幹、大久保茂、熊谷博由
平成3年度	4月15日～9月2日	3600 m ²	東海林隆幹、熊谷博由

5. 整理期間は平成2年11月1日～平成5年3月31日で、本報告書の執筆は、調査に至る経過は佐々木嘉直が、他は東海林隆幹が担当した。
6. 遺跡の基準点測量は、アジア航測株式会社に委託した。
7. 下記の項目の分析・鑑定は、次の方々に依頼した。(敬称略)

石質鑑定	佐藤二郎 (佐藤地質工学研究所)
火山灰・土器の胎土分析	三辻利一 (奈良教育大学)
¹⁴ C年代測定	木越邦彦 (学習院大学)
鉄製品・鉄滓	赤沼英男・木村克則 (岩手県立博物館)
8. 発掘調査および室内整理では、次の方々・機関の御協力、御教示を賜った。(敬称略)
北上市教育委員会、花巻市教育委員会、小田野哲憲(岩手県教育委員会)、稲野裕介、稲野彰子 (以上北上市埋蔵文化財センター)
9. 現地調査においては小原政雄氏をはじめとする地元の方々の御協力をいただいた。
10. 発掘調査による出土品および記録資料は、岩手県立埋蔵文化財センターに保管している。

目次

序

例言

本文

I 調査に至る経過	5	3. 土坑	182
II 立地と環境	5	4. 柱穴状土坑	378
1. 位置	5	5. 陥し穴状遺構	392
2. 地形	5	6. 溝跡	398
3. 基本層序	6	V 遺構外出土遺物	403
4. 周辺の遺跡	6	1. 土器	403
III 調査方法と室内整理	11	2. 土製品	404
1. 野外調査の方法	11	3. 石器	404
2. 室内整理	11	4. 石製品	407
IV 検出された遺構と遺構内出土遺物	15	5. 鉄製品	408
1. 竪穴住居跡	15	VI まとめ	480
(1) 縄文時代の竪穴住居跡	15	1. 遺構について	480
(2) 平安時代の竪穴住居跡	134	2. 遺物について	480
2. 住居跡状遺構	179	付編 鑑定、分析結果	486

図版

第1図 岩手県全図に見る遺跡の位置	1	第11図 III A 1号住居跡出土遺物(1)	19
第2図 遺跡の位置と周辺の地形	2	第12図 III A 1号住居跡出土遺物(2)	20
第3図 遺跡周辺の地形	3・4	第13図 III A 1号住居跡出土遺物(3)	21
第4図 土層模式図	6	第14図 III A 1号住居跡出土遺物(4)	22
第5図 周辺の遺跡位置図	9・10	第15図 III A 1号住居跡出土遺物(5)	23
第6図 遺構・遺物の凡例	12	第16図 III A 1号住居跡出土遺物(6)	24
第7図 煤孫遺跡遺構配置図	13・14	第17図 III A 1号住居跡出土遺物(7)	25
第8図 III A 1号住居跡(1)	16	第18図 III A 1号住居跡出土遺物(8)	26
第9図 III A 1号住居跡(2)	17	第19図 III A 1号住居跡出土遺物(9)	27
第10図 III A 1号住居跡土器出土地点	18	第20図 III A 1号住居跡出土遺物(10)	28

第21図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(11)	……29	第53図	ⅢA 2号住居跡出土遺物(6)	……65
第22図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(12)	……30	第54図	ⅢA 2号住居跡出土遺物(7)	……66
第23図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(13)	……31	第55図	ⅢA 2号住居跡出土遺物(8)	……67
第24図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(14)	……32	第56図	ⅢA 3号住居跡出土遺物(1)	……68
第25図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(15)	……33	第57図	ⅢA 3号住居跡出土遺物(2)	……69
第26図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(16)	……34	第58図	ⅢA 3号住居跡出土遺物(3)	……70
第27図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(17)	……35	第59図	ⅢA 3号住居跡出土遺物(4)	……71
第28図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(18)	……36	第60図	ⅢA 3号住居跡出土遺物(5)	……72
第29図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(19)	……37	第61図	ⅢA 3号住居跡出土遺物(6)	……73
第30図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(20)	……38	第62図	ⅢA 3号住居跡出土遺物(7)	……74
第31図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(21)	……39	第63図	ⅢA 3号住居跡出土遺物(8)	……75
第32図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(22)	……40	第64図	ⅢA 3号住居跡出土遺物(9)	……76
第33図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(23)	……41	第65図	ⅢA 3号住居跡出土遺物(10)	……77
第34図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(24)	……42	第66図	ⅢA 3号住居跡出土遺物(11)	……78
第35図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(25)	……43	第67図	ⅢA 3号住(12)・ⅢA 4号 住居跡出土遺物(1)	……79
第36図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(26)	……44	第68図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(2)	……80
第37図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(27)	……45	第69図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(3)	……81
第38図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(28)	……46	第70図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(4)	……82
第39図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(29)	……47	第71図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(5)	……83
第40図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(30)	……48	第72図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(6)	……84
第41図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(31)	……49	第73図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(7)	……85
第42図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(32)	……50	第74図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(8)	……86
第43図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(33)	……51	第75図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(9)	……87
第44図	ⅢA 1号住居跡出土遺物(34)	……52	第76図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(10)	……88
第45図	切り合い住居群(1)	……56	第77図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(11)	……89
第46図	切り合い住居群(2)	……58	第78図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(12)	……90
第47図	切り合い住居群(3)	……59	第79図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(13)	……91
第48図	ⅢA 2号住居跡出土遺物(1)	……60	第80図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(14)	……92
第49図	ⅢA 2号住居跡出土遺物(2)	……61	第81図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(15)	……93
第50図	ⅢA 2号住居跡出土遺物(3)	……62	第82図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(16)	……94
第51図	ⅢA 2号住居跡出土遺物(4)	……63	第83図	ⅢA 4号住居跡出土遺物(17)	……95
第52図	ⅢA 2号住居跡出土遺物(5)	……64			

第84図	III A 8号住居跡出土遺物(1)	……96	第116図	III A 7号住居跡出土遺物(10)	……129
第85図	III A 8号住居跡出土遺物(2)	……97	第117図	III A 7号住居跡出土遺物(11)	……130
第86図	III A 8号住居跡出土遺物(3)	……98	第118図	III A 7号住居跡出土遺物(12)	……131
第87図	III A 8号住居跡出土遺物(4)	……99	第119図	IV B 9号・V B 1号住居跡	……132
第88図	III A 8号住居跡出土遺物(5)	……100	第120図	V B 1号住居跡出土遺物	……133
第89図	III A 8号住居跡出土遺物(6)	……101	第121図	II A 1号住居跡	……135
第90図	III A 8号住居跡出土遺物(7)	……102	第122図	II A 1号住居跡出土遺物	……136
第91図	III A 8号住居跡出土遺物(8)	……103	第123図	III A 11号住居跡	……138
第92図	III A 8号住居跡出土遺物(9)	……104	第124図	III A 11号住居跡出土遺物(1)	…139
第93図	III A 9号住居跡出土遺物(1)	……105	第125図	III A 11号住居跡出土遺物(2)	…140
第94図	III A 9号住居跡出土遺物(2)	……106	第126図	III A 11号住居跡出土遺物(3)	…141
第95図	III A 9号住居跡出土遺物(3)	……107	第127図	IV A 1号住居跡	……142
第96図	III A 9号住居跡出土遺物(4)	……108	第128図	IV A 1号住居跡出土遺物(1)	……143
第97図	切り合い住居柱穴群出土遺物(1)	109	第129図	IV A 1号住居跡出土遺物(2)	……144
第98図	切り合い住居柱穴群出土遺物(2)	110	第130図	IV A 1号住居跡出土遺物(3)	……145
第99図	切り合い住居柱穴群出土遺物(3)	111	第131図	IV B 1号住居跡・出土遺物	……147
第100図	切り合い住居柱穴群出土遺物(4)	112	第132図	IV B 4号住居跡・出土遺物(1)	…148
第101図	切り合い住居柱穴群出土遺物(5)	113	第133図	IV B 4号住居跡出土遺物(2)	……149
第102図	切り合い住居柱穴群出土遺物(6)	114	第134図	IV B 5号住居跡	……151
第103図	切り合い住居柱穴群出土遺物(7)	115	第135図	IV B 5号住居跡出土遺物(1)	……152
第104図	切り合い住居柱穴群出土遺物(8)	116	第136図	IV B 5号住居跡出土遺物(2)	……153
第105図	切り合い住居柱穴群出土遺物(9)	117	第137図	IV B 5号住居跡出土遺物(3)	……154
第106図	III A 7号住居跡	……119	第138図	IV B 5号住居跡出土遺物(4)	……155
第107図	III A 7号住居跡出土遺物(1)	……120	第139図	IV B 5号住居跡出土遺物(5)	……156
第108図	III A 7号住居跡出土遺物(2)	……121	第140図	IV B 6号住居跡	……158
第109図	III A 7号住居跡出土遺物(3)	……122	第141図	IV B 6号住居跡出土遺物(1)	……159
第110図	III A 7号住居跡出土遺物(4)	……123	第142図	IV B 6号住居跡出土遺物(2)	……160
第111図	III A 7号住居跡出土遺物(5)	……124	第143図	IV B 6号住居跡出土遺物(3)	……161
第112図	III A 7号住居跡出土遺物(6)	……125	第144図	IV B 6号住居跡出土遺物(4)	……162
第113図	III A 7号住居跡出土遺物(7)	……126	第145図	IV B 6号住居跡出土遺物(5)	……163
第114図	III A 7号住居跡出土遺物(8)	……127	第146図	IV B 7号住居跡	……164
第115図	III A 7号住居跡出土遺物(9)	……128	第147図	IV B 7号住居跡出土遺物(1)	……165

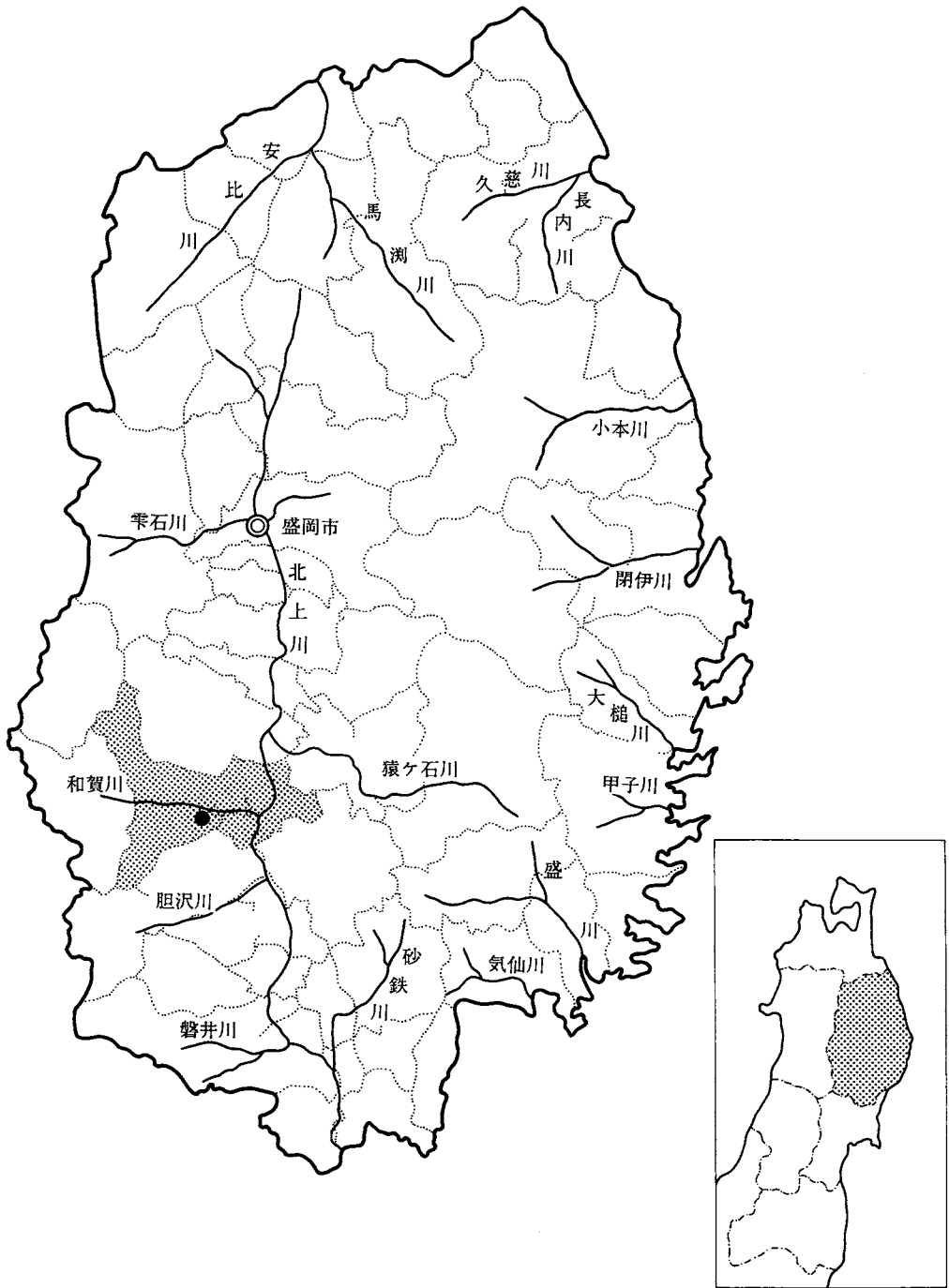
第148图 IV B 7号住居跡出土遺物(2) ……166	第178图 III A区土坑(2) ……238
第149图 IV B 7号住居跡出土遺物(3) ……167	第179图 III A区土坑(3) ……239
第150图 IV B 7号住居跡出土遺物(4) ……168	第180图 III A区土坑(4) ……240
第151图 IV B 8号住居跡 ……170	第181图 III A区土坑(5) ……241
第152图 IV B 8号住居跡出土遺物(1) ……171	第182图 III A区土坑(6) ……242
第153图 IV B 8号住居跡出土遺物(2) ……172	第183图 III A区土坑(7) ……243
第154图 V B 2号·V C 1号住居跡 ……174	第184图 III A区土坑(8) ……244
第155图 V B 2号住居跡出土遺物(1) ……175	第185图 III A区土坑(9) ……245
第156图 V B 2号住居跡出土遺物(2) ……176	第186图 III A区土坑(10) ……246
第157图 V B 2号住居跡出土遺物(3) ……177	第187图 III A区土坑(11) ……247
第158图 V C 1号住居跡出土遺物 ……178	第188图 III A区土坑(12) ……248
第159图 VIB 1号·2号·4号 住居跡状遺構 ……180	第189图 III A区土坑(13) ……249
第160图 VIB 1号·2号·4号 住居跡状遺構出土遺物 ……181	第190图 III A区土坑(14)·III A 101 土坑出土遺物(1) ……250
第161图 I A区土坑(1) ……189	第191图 III A 101土坑出土遺物(2) ……251
第162图 I A区土坑(2) ……190	第192图 III A 101土坑出土遺物(3) ……252
第163图 I A区土坑(3)·出土遺物(1) ……191	第193图 III A 101(4)·102土坑出土遺物(1) ……253
第164图 I A区土坑出土遺物(2) ……192	第194图 III A 102(2)·103土坑出土遺物(1) ……254
第165图 I A区土坑出土遺物(3) ……193	第195图 III A 103土坑出土遺物(2) ……255
第166图 II A区土坑(1) ……205	第196图 III A 103土坑出土遺物(3) ……256
第167图 II A区土坑(2) ……206	第197图 III A 103土坑出土遺物(4) ……257
第168图 II A区土坑(3) ……207	第198图 III A 103土坑出土遺物(5) ……258
第169图 II A区土坑(4) ……208	第199图 III A 103土坑出土遺物(6) ……259
第170图 II A区土坑(5) ……209	第200图 III A 104土坑出土遺物(1) ……260
第171图 II A区土坑(6) ……210	第201图 III A 104土坑出土遺物(2) ……261
第172图 II A区土坑(7) ……211	第202图 III A 104土坑出土遺物(3) ……262
第173图 II A区土坑出土遺物(1) ……212	第203图 III A 105土坑出土遺物(1) ……263
第174图 II A区土坑出土遺物(2) ……213	第204图 III A 105土坑出土遺物(2) ……264
第175图 II A区土坑出土遺物(3) ……214	第205图 III A 106土坑出土遺物(1) ……265
第176图 II A区土坑出土遺物(4) ……215	第206图 III A 106土坑出土遺物(2) ……266
第177图 III A区土坑(1) ……237	第207图 III A 106土坑出土遺物(3) ……267
	第208图 III A 106土坑出土遺物(4) ……268

第209图 III A 106土坑出土遺物(5) ……269	土坑出土遺物(1) ……300
第210图 III A 106土坑出土遺物(6) ……270	第241图 III A 122土坑出土遺物(2) ……301
第211图 III A 106(7)·107土坑出土遺物(1) ……271	第242图 III A 123·125土坑出土遺物(1) ……302
第212图 III A 107土坑出土遺物(2) ……272	第243图 III A 125土坑出土遺物(2) ……303
第213图 III A 107(3)·108土坑出土遺物(1) ……273	第244图 III A 127土坑出土遺物 ……304
第214图 III A 108土坑出土遺物(2) ……274	第245图 III A 128土坑出土遺物 ……305
第215图 III A 108土坑出土遺物(3) ……275	第246图 III A 129土坑出土遺物(1) ……306
第216图 III A 109土坑出土遺物 ……276	第247图 III A 129土坑出土遺物(2) ……307
第217图 III A 110土坑出土遺物(1) ……277	第248图 III A 129土坑出土遺物(3) ……308
第218图 III A 110土坑出土遺物(2) ……278	第249图 III A 129土坑出土遺物(4) ……309
第219图 III A 110土坑出土遺物(3) ……279	第250图 III A 129土坑出土遺物(5) ……310
第220图 III A 111土坑出土遺物(1) ……280	第251图 III A 129(6)·131·135
第221图 III A 111土坑出土遺物(2) ……281	土坑出土遺物(1) ……311
第222图 III A 111土坑出土遺物(3) ……282	第252图 III A 135土坑出土遺物(2) ……312
第223图 III A 111土坑出土遺物(4) ……283	第253图 III A 135(3)·137土坑出土遺物 ……313
第224图 III A 111土坑出土遺物(5) ……284	第254图 III A 138土坑出土遺物(1) ……314
第225图 III A 111土坑出土遺物(6) ……285	第255图 III A 138土坑出土遺物(2) ……315
第226图 III A 111土坑出土遺物(7) ……286	第256图 III A 138土坑出土遺物(3) ……316
第227图 III A 112土坑出土遺物(1) ……287	第257图 III A 138土坑出土遺物(4) ……317
第228图 III A 112土坑出土遺物(2) ……288	第258图 III A 139土坑出土遺物(1) ……318
第229图 III A 112土坑出土遺物(3) ……289	第259图 III A 139(2)·140土坑出土遺物 ……319
第230图 III A 112土坑出土遺物(4) ……290	第260图 III A 141土坑出土遺物 ……320
第231图 III A 113土坑出土遺物(1) ……291	第261图 III A 142土坑出土遺物(1) ……321
第232图 III A 113土坑出土遺物(2) ……292	第262图 III A 142(2)·143土坑出土遺物(1) ……322
第233图 III A 114·115土坑出土遺物(1) ……293	第263图 III A 143土坑出土遺物(2) ……323
第234图 III A 115(2)·116土坑出土遺物(1) ……294	第264图 III A 143土坑出土遺物(3) ……324
第235图 III A 116土坑出土遺物(2) ……295	第265图 III A 144土坑出土遺物(1) ……325
第236图 III A 118土坑出土遺物(1) ……296	第266图 III A 144(2)·145·147
第237图 III A 118土坑出土遺物(2) ……297	土坑出土遺物(1) ……326
第238图 III A 118土坑出土遺物(3) ……298	第267图 III A 147土坑出土遺物(2) ……327
第239图 III A 119土坑出土遺物 ……299	第268图 III A 147土坑出土遺物(3) ……328
第240图 III A 120·121·122	第269图 III A 147土坑出土遺物(4) ……329

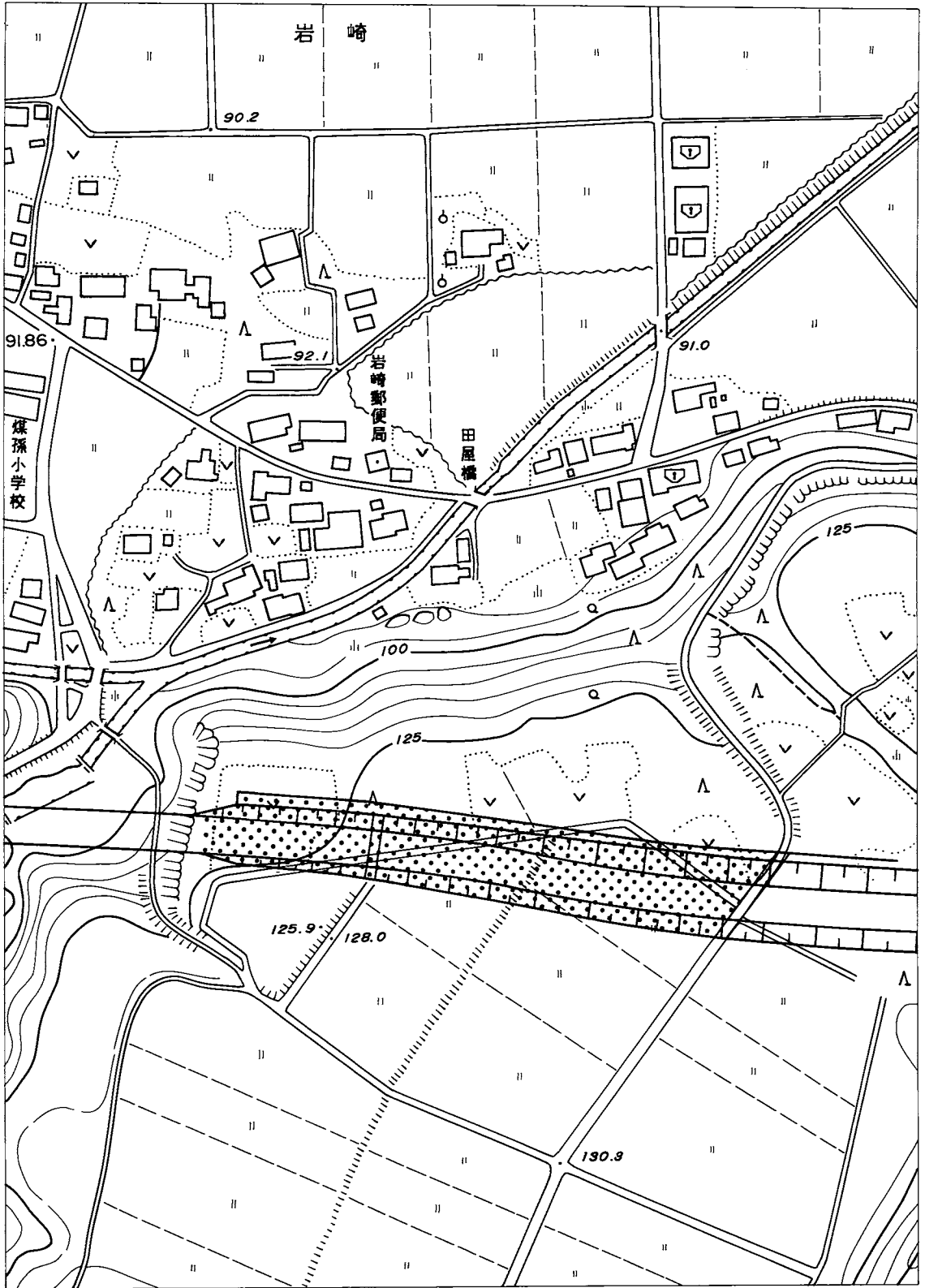
第270图	III A 148土坑出土遺物(1)	……330	第302图	IV B 101・102土坑出土遺物(1)	…368
第271图	III A 148土坑出土遺物(2)	……331	第303图	IV B 102(2)・103土坑出土遺物	…369
第272图	III A 148土坑出土遺物(3)	……332	第304图	IV B 105・106・109・V B区	
第273图	III A 148土坑出土遺物(4)	……333		土坑出土遺物	……370
第274图	III A 148土坑出土遺物(5)	……334	第305图	VIB区土坑(1)	……372
第275图	III A 148(6)・149土坑出土遺物(1)	…335	第306图	VIB区土坑(2)	……373
第276图	III A 149土坑出土遺物(2)	……336	第307图	VIB区土坑出土遺物	……374
第277图	III A 149土坑出土遺物(3)	……337	第308图	VII C・VIII B・VIII C区土坑	……377
第278图	III A 150土坑出土遺物	……338	第309图	I A区柱穴状土坑群	……380
第279图	III A 166土坑出土遺物(1)	……339	第310图	II A区柱穴状土坑群	……381
第280图	III A 166土坑出土遺物(2)	……340	第311图	III A区柱穴状土坑群	……382
第281图	III A 166土坑出土遺物(3)	……341	第312图	III B・IV A・IV B・V B区	
第282图	III A 166土坑出土遺物(4)	……342		柱穴状土坑群	……383
第283图	III A 167・168土坑出土遺物(1)	…343	第313图	I A区柱穴状土坑出土遺物	……384
第284图	III A 168土坑出土遺物(2)	……344	第314图	II A区柱穴状土坑出土遺物(1)	…385
第285图	III A 168土坑出土遺物(3)	……345	第315图	II A区柱穴状土坑出土遺物(2)	…386
第286图	III A 169・177土坑出土遺物(1)	…346	第316图	III A区柱穴状土坑出土遺物(1)	…387
第287图	III A 177土坑出土遺物(2)	……347	第317图	III A区柱穴状土坑出土遺物(2)	…388
第288图	III A 178土坑出土遺物(1)	……348	第318图	III A区柱穴状土坑出土遺物(3)	…389
第289图	III A 178(2)・184土坑出土遺物(1)	…349	第319图	III B区柱穴状土坑出土遺物	……390
第290图	III A 184土坑出土遺物(2)	……350	第320图	V B区柱穴状土坑出土遺物	……391
第291图	III A 194土坑出土遺物(1)	……351	第321图	陥し穴状遺構(1)	……395
第292图	III A 194土坑出土遺物(2)	……352	第322图	陥し穴状遺構(2)	……396
第293图	III B区土坑	……354	第323图	陥し穴状遺構出土遺物	……397
第294图	III B 101土坑出土遺物(1)	……355	第324图	IV B 151・V B 151溝跡	……399
第295图	III B 101(2)・102土坑出土遺物(1)	…356	第325图	VIII C 151溝跡	……400
第296图	III B 102土坑出土遺物(2)	……357	第326图	IV B 151・V B 151・VIII C 151	
第297图	III B 104土坑出土遺物(1)	……358		溝跡出土遺物(1)	……401
第298图	III B 104土坑出土遺物(2)	……359	第327图	VIII C 151溝跡出土遺物(2)	……402
第299图	IV B区土坑(1)	……365	第328图	遺構外出土遺物(1)	……409
第300图	IV B区土坑(2)	……366	第329图	遺構外出土遺物(2)	……410
第301图	V A・V B区土坑	……367	第330图	遺構外出土遺物(3)	……411

第331图 遺構外出土遺物(4)	412	第363图 遺構外出土遺物(36)	444
第332图 遺構外出土遺物(5)	413	第364图 遺構外出土遺物(37)	445
第333图 遺構外出土遺物(6)	414	第365图 遺構外出土遺物(38)	446
第334图 遺構外出土遺物(7)	415	第366图 遺構外出土遺物(39)	447
第335图 遺構外出土遺物(8)	416	第367图 遺構外出土遺物(40)	448
第336图 遺構外出土遺物(9)	417	第368图 遺構外出土遺物(41)	449
第337图 遺構外出土遺物(10)	418	第369图 遺構外出土遺物(42)	450
第338图 遺構外出土遺物(11)	419	第370图 遺構外出土遺物(43)	451
第339图 遺構外出土遺物(12)	420	第371图 遺構外出土遺物(44)	452
第340图 遺構外出土遺物(13)	421	第372图 遺構外出土遺物(45)	453
第341图 遺構外出土遺物(14)	422	第373图 遺構外出土遺物(46)	454
第342图 遺構外出土遺物(15)	423	第374图 遺構外出土遺物(47)	455
第343图 遺構外出土遺物(16)	424	第375图 遺構外出土遺物(48)	456
第344图 遺構外出土遺物(17)	425	第376图 遺構外出土遺物(49)	457
第345图 遺構外出土遺物(18)	426	第377图 遺構外出土遺物(50)	458
第346图 遺構外出土遺物(19)	427	第378图 遺構外出土遺物(51)	459
第347图 遺構外出土遺物(20)	428	第379图 遺構外出土遺物(52)	460
第348图 遺構外出土遺物(21)	429	第380图 遺構外出土遺物(53)	461
第349图 遺構外出土遺物(22)	430	第381图 遺構外出土遺物(54)	462
第350图 遺構外出土遺物(23)	431	第382图 遺構外出土遺物(55)	463
第351图 遺構外出土遺物(24)	432	第383图 遺構外出土遺物(56)	464
第352图 遺構外出土遺物(25)	433	第384图 遺構外出土遺物(57)	465
第353图 遺構外出土遺物(26)	434	第385图 遺構外出土遺物(58)	466
第354图 遺構外出土遺物(27)	435	第386图 遺構外出土遺物(59)	467
第355图 遺構外出土遺物(28)	436	第387图 遺構外出土遺物(60)	468
第356图 遺構外出土遺物(29)	437	第388图 遺構外出土遺物(61)	469
第357图 遺構外出土遺物(30)	438	第389图 遺構外出土遺物(62)	470
第358图 遺構外出土遺物(31)	439	第390图 遺構外出土遺物(63)	471
第359图 遺構外出土遺物(32)	440	第391图 遺構外出土遺物(64)	472
第360图 遺構外出土遺物(33)	441	第392图 遺構外出土遺物(65)	473
第361图 遺構外出土遺物(34)	442	第393图 遺構外出土遺物(66)	474
第362图 遺構外出土遺物(35)	443	第394图 遺構外出土遺物(67)	475

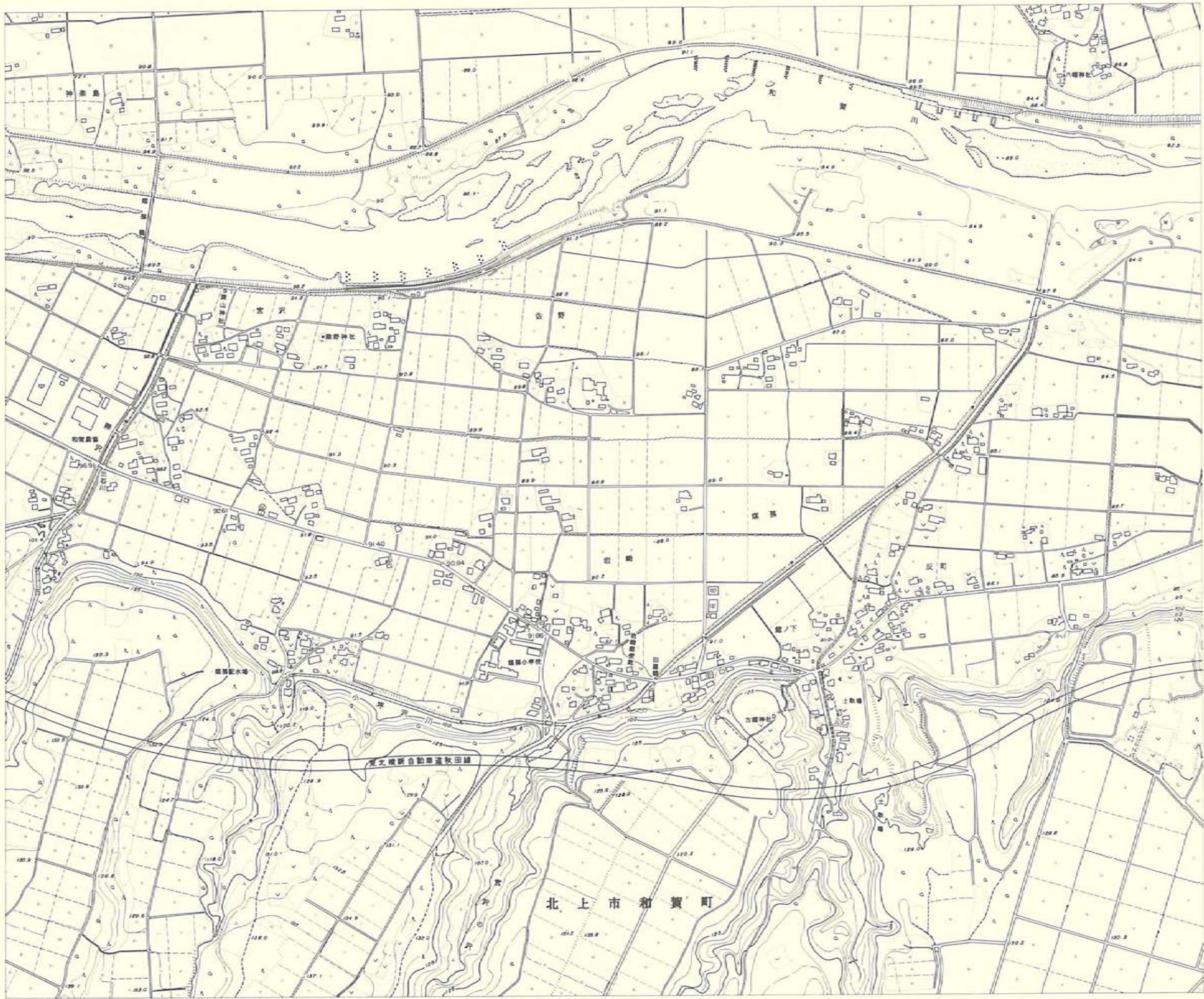
第395図 遺構外出土遺物(68)	476
第396図 遺構外出土遺物(69)	477
第397図 遺構外出土遺物(70)	478
第398図 遺構外出土遺物(71)	479



第1図 岩手県全図に見る遺跡の位置



第2図 遺跡の位置と周辺の地形



第3図 遺跡周辺の地形

I 調査に至る経過

東北横断自動車道秋田線は、岩手県北上市から秋田県秋田市に至る総延長107kmの高速道路である。このうち、第9次・第10次施工命令区間は、北上ジャンクションから秋田県境までの延長33.9kmである。この区間の埋蔵文化財包蔵地については、岩手県教育委員会が昭和56年から分布調査を行っており、昭和62年4月13日付け「仙建北工第35号」による依頼をうけて、分布調査結果を同年5月25日付け「教文第117号」により日本道路公団仙台建設局に回答し、その取り扱いについて協議が重ねられ、止むを得ず消滅する遺跡については事前の発掘調査を実施することとした。

発掘調査の実施については、昭和63年度以降、岩手県教育委員会が発掘事業を日本道路公団仙台建設局に照会し回答を受けたのち、日本道路公団仙台建設局、岩手県教育委員会、岩手県文化振興事業団の3者の協議を経て、埋蔵文化財センターが担当することとした。事業着手後に調査の変更がある場合もその都度協議しながら進め、岩手県教育委員会文化課の調整を経て事業計画を変更して進めることとした。

本報告書の煤孫遺跡の調査は、平成2年3月2日付け「教文第731号」による平成2年度埋蔵文化財調査事業の通知を受け、平成2年4月1日付け委託契約により調査に着手した。が、一部精査未了の部分を次年度の継続調査とした。3年度の調査は、平成3年2月7日付け「教文第899号」による事業の通知を受け、平成3年4月1日付け契約により着手したものである。

II 立地と環境

1. 位置

本遺跡の所在する北上市和賀町は岩手県の南西部に位置し、北は花巻市、東は東和町、南は江刺市、金ヶ崎町及び胆沢町、西は湯田町、沢内村に接する。

本遺跡は、北上市のほぼ中央を横断する東日本旅客鉄道北上線の藤根駅より南西約3km付近に位置する。同地点は北緯39度16分、東経141度1分付近である。

2. 地形

北上市は、岩手県で最も広い平野である北上盆地のほぼ中央に位置し、東側には古世代、中世代の岩石が分布する北上山地が、西側には新世代になってから形成された奥羽山脈がそれぞれ南北に連なる。その間を県北部の七時雨山に源を発する北上川が南に流れ、奥羽山脈側から流れ込む大小の河川との間に多くの扇状地や河岸平野、河岸段丘を形成している。

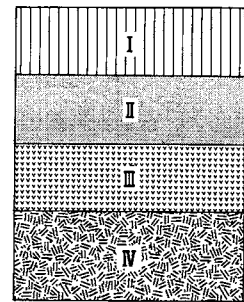
河岸段丘は大きく高位、中位、低位に分けられ、高位から順に西根段丘、村崎野段丘、金ヶ崎段丘に分類されている。西根段丘は盆地内に残丘として残り、ほとんどは東西両山地の山麓部に分布する。村崎野段丘は花巻市中笹間、北上市飯豊、村崎野、相去、煤孫に分布し、村崎野浮石を含む火山灰がおおっている。金ヶ崎段丘は扇状地状の地形面のほとんどで、後藤、岩崎新田に分布し、北上市付近では最も広い範囲を占めている。

和賀岳に源を發し市内で北上川と合流する和賀川とその多くの支流によって開析された河岸平野は、和賀川右岸の急崖によって区切られ、縄文・平安時代の遺跡の多くはこの段丘上に分布している。本遺跡もこの段丘上に立地しており、本遺跡と和賀川の現河床の比高は約30m、標高は123～127mで、南東から北西にかけて低位となる。現況は、遺跡をはさんで南側が水田北側が畑地・山林である。

3. 基本層序

遺構内を東西にのびる農道の南側は、以前水田として利用されていたため、畦畔を境としたそれぞれの面の東側が削平され、西側には厚さ10～50cmの客土が入る。ここでは、農道北側II B区畑地部分の基本層序を模式的に掲載する。

- I層 暗褐色土 表土。粘性、しまりともない。掘り起こし等により遺物が入りこむ。層厚10～20cm。
- II層 黒褐色土 きめが細かくサクサクしている。遺物を包含する。層厚10～30cm。
- III層 暗褐色土 しまりがあり遺物を包含する。層厚10～30cm。
- IV層 明褐色土 粘性、しまりともにあり小礫をわずかに含む。層厚1m以上。



第4図 土層模式図

4. 周辺の遺跡

和賀川周辺を中心とした遺跡の分布をみると、和賀川左岸では、中位段丘やその縁辺部及び開析された小支谷沿いに、縄文時代の遺跡が比較的多く分布し、河岸低地にも若干認められる。調査された主な遺跡としては、鳩岡崎遺跡（縄文・奈良～平安時代の竪穴住居跡、フラスコ状土坑、縄文土器等）、新平遺跡（平安時代の竪穴住居跡、土坑、陥し穴状遺構、縄文土器等）、藤沢遺跡（平安時代の竪穴住居跡、溝状遺構、縄文土器等）、九年橋遺跡（竪穴住居跡、土坑、縄文晩期の土器等）などがあげられる。また、低位段丘上や河岸低地上に形成された自然堤防上には、奈良～平安時代にかけての遺跡が多く分布する傾向がみられる。調査された主な遺跡としては、下谷地遺跡（縄文土器、土師器、須恵器等）、長沼古墳群、五条丸古墳群等があげら

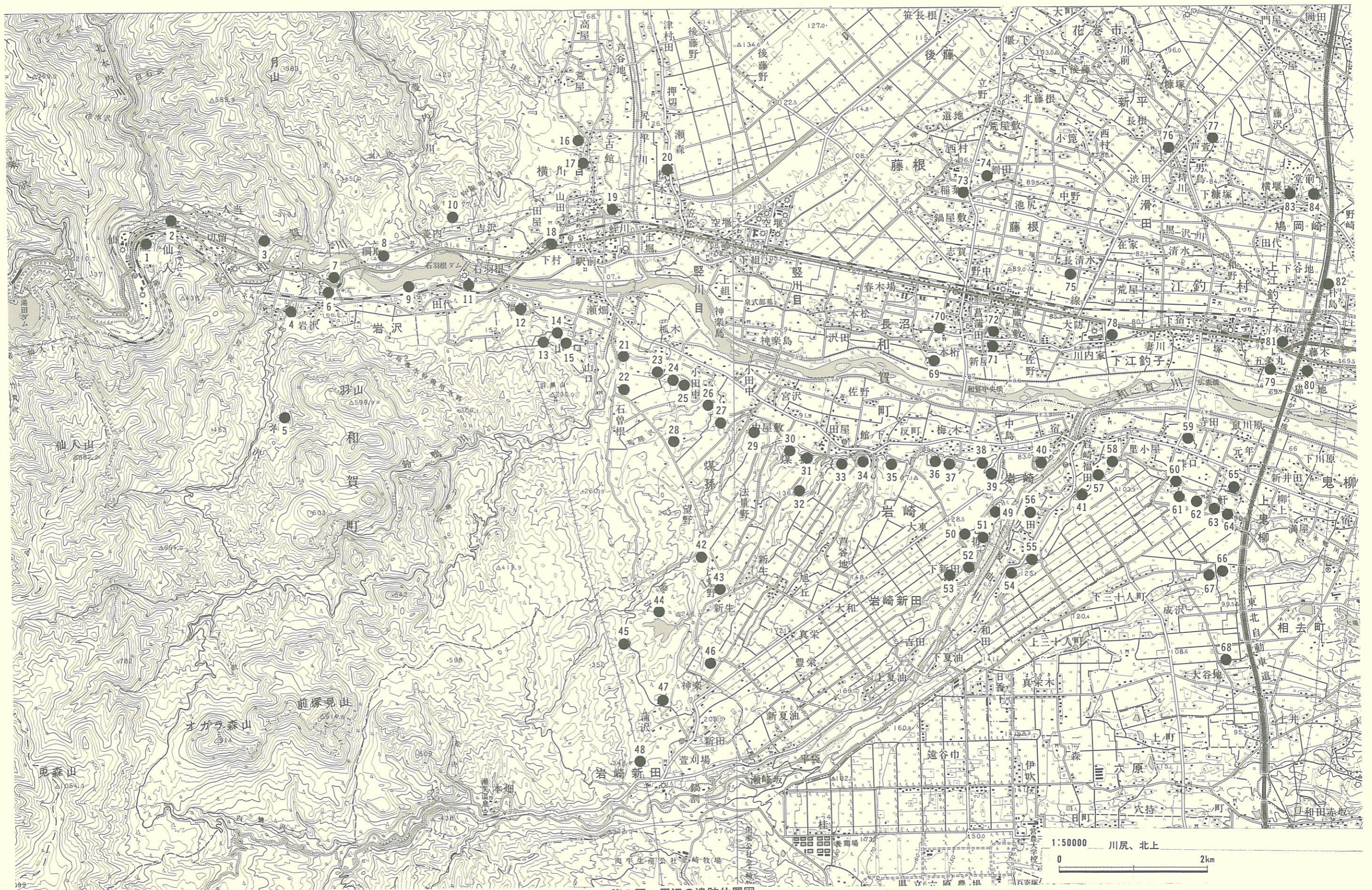
れる。和賀川右岸では、丘陵の縁辺や中～低位段丘及び開析された支谷に沿って、縄文時代～平安時代の遺跡が分布し、段丘の北側縁辺部には、深く入り込んだ沢や急崖を利用した城館遺跡が分布している。調査された主な遺跡としては、昭和40年と41年の2次にわたって調査が行われ、段丘構成層から旧石器が出土した和賀仙人遺跡、低位段丘上に立地する下岩沢Ⅰ遺跡（土坑、縄文土器、弥生土器等）、岩崎城跡（土塁、溝、掘立柱建物跡、中近世陶器等）、岩崎城跡の西半分にあたる梅ノ木遺跡（縄文・古代・中世竪穴住居跡、掘立柱建物跡、土坑、縄文土器等）、成沢遺跡（平安時代の竪穴住居跡、土師器等）などがあげられる。中位段丘上に立地する遺跡としては、下成沢遺跡（旧石器、縄文土器、土師器等）、上大谷遺跡（平安時代の竪穴住居跡、縄文土器、土師器等）などがあげられる。

また、平成元年度から3年度にかけて、東北横断自動車道秋田線建設に関連して、低位段丘上の縁辺部に立地する25ヶ所の遺跡の調査が行われている。それらは、田中館跡（土坑、縄文土器、土師器等）、八幡野Ⅱ遺跡（平安時代の竪穴住居跡、土坑、縄文土器等）、八幡館跡（平安時代の竪穴住居跡、土坑、陥し穴状遺構、土師器等）、月館跡（堀跡、柵列状遺構、陥し穴状遺構、縄文土器等）、石曾根遺跡（縄文時代の竪穴住居跡、土坑、陥し穴状遺構、縄文土器等）、本郷遺跡（縄文・平安時代の竪穴住居跡、土坑、陥し穴状遺構、縄文土器等）、中屋敷遺跡（土坑、陥し穴状遺構、縄文土器、弥生土器等）、法量野Ⅰ遺跡（土坑、陥し穴状遺構、縄文土器、土師器等）、観音館跡（陥し穴状遺構、掘立柱建物跡等）、上反町遺跡（土坑、炭窯跡、縄文土器、弥生土器等）、兵庫館跡（堀跡、土塁、弥生土器等）、梅ノ木台地Ⅱ遺跡（竪穴住居跡、土坑、縄文土器、弥生土器等）、岩崎台地遺跡群（平安時代の竪穴住居跡、掘立柱建物跡、方形周溝、土坑、陥し穴状遺構、古墳、土師器、須恵器等）、上鬼柳Ⅰ遺跡（弥生時代の竪穴住居跡、平安時代の墓壙、陥し穴状遺構、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器等）、上鬼柳Ⅱ遺跡（平安時代の竪穴住居跡、陥し穴状遺構、縄文土器、土師器等）、上鬼柳Ⅲ遺跡（縄文・平安時代の竪穴住居跡、土坑、陥し穴状遺構、円形周溝、掘立柱建物跡、土師器の窯跡、縄文土器、土師器、須恵器等）、上鬼柳Ⅳ遺跡（平安時代の竪穴住居跡、土坑、陥し穴状遺構、畑跡、縄文土器等）、柳上遺跡（縄文・平安時代の竪穴住居跡、土坑、縄文土器）などである。

本遺跡で主体をなす縄文時代前期末～中期初の遺物とほぼ同時期の遺物が出土する遺跡は、和賀川左岸に位置する鳩岡崎遺跡、和賀川右岸の低位段丘上に位置する滝ノ沢遺跡等である。また、本遺跡を含めたこれらの遺跡の特徴の1つとして、石器の中で礫石錘の占める割合が大きい事があげられ、今後該期の生業、地域的特色を把握する上での貴重な資料になり得ると思われる。

周辺の遺跡一覧表

番号	遺跡名	種別	遺構・遺物	所在地	番号	遺跡名	種別	遺構・遺物	所在地
1	和賀仙人	散布地	旧石器	仙人	43	望野Ⅱ	集落跡	縄文土器(前後期)、旧石器	煤孫
2	切留Ⅰ	散布地	縄文土器(中・後期)	仙人	44	代官森Ⅰ	散布地	縄文土器・石器	岩崎新田
3	人当Ⅰ	散布地	縄文土器(中期)、石器	仙人	45	代官森Ⅱ	散布地	土坑・石器	岩崎新田
4	法ヶ松Ⅰ	散布地	縄文土器、石器	岩沢	46	神楽	散布地	縄文土器・石器	岩崎新田
5	水沢館	館跡	中世	岩沢	47	蒲沢	散布地	縄文土器	岩崎新田
6	岩沢Ⅰ	散布地	縄文土器(後・晩期)	岩沢	48	水神	散布地	縄文土器・石器	岩崎新田
7	下岩沢Ⅰ	集落跡	土坑、縄文土器、弥生土器	岩沢	49	七折館	館跡	中世	岩崎
8	鳥谷森	散布地	縄文土器(晩期)、石器	横川目	50	花曾根上	集落跡	縄文土器、土師器、須恵器	岩崎
9	岩沢館	館跡	縄文土器、陶器	下仙人	51	七折	集落跡	縄文土器、石器、紡錘車	岩崎
10	愛宕山	散布地	縄文土器、石器	横川目	52	花曾根	散布地	須恵器	岩崎
11	田代	集落跡	縄文土器(晩期)、石器	山口	53	新田Ⅰ	散布地	石碑、土師器、須恵器	岩崎
12	福田	散布地	縄文土器(中・晩期)、石器	山口	54	八天坂	散布地	土師器、須恵器	岩崎
13	馬場館	館跡	中世	山口	55	久田Ⅰ	散布地	土師器、須恵器	岩崎
14	福田塚	塚		山口	56	寺村	散布地	縄文土器、土師器	岩崎
15	山口館	館跡	中世	山口	57	小寺	散布地	土師器、須恵器	岩崎
16	八幡館	館跡	縄文土器(晩期)、弥生土器、石器	横川目	58	小平	散布地	縄文土器、土師器、須恵器	岩崎
17	館森	散布地	縄文土器(中・後期)、石器	横川目	59	里小屋	散布地	土師器、須恵器	岩崎
18	大橋	散布地	縄文晩期注口土器、石器	横川目	60	上鬼柳Ⅰ	集落跡	弥生竪穴住居跡、土師器	上鬼柳
19	蛭川館	館跡	堀、土壘、縄文土器(中期)	横川目	61	上鬼柳Ⅱ	集落跡	竪穴住居跡(平安)	上鬼柳
20	瀬の森古墳群	古墳群	古銭、人骨	横川目	62	上鬼柳Ⅲ	集落跡	竪穴住居跡(縄文平安)、掘立柱建物跡、土師器窯跡	上鬼柳
21	田中館	館跡	土師器、石器	山口	63	上鬼柳Ⅳ	集落跡	土坑(縄文)、竪穴住居跡(平安)、畑跡(平安)	上鬼柳
22	八幡野Ⅰ	散布地	縄文土器	煤孫	64	柳上	集落跡	縄文土器、竪穴住居跡(平安、縄文)	鬼柳
23	八幡野Ⅱ	散布地	縄文土器、土師器、須恵器	山口	65	六軒	散布地	縄文土器(晩期)	鬼柳
24	八幡館	館跡散布地	縄文土器、中世	山口	66	下成沢Ⅰ	散布地	縄文土器、土師器、須恵器	成沢
25	月館	館跡散布地	堀、土壘、磁器、縄文土器	煤孫	67	成沢	集落跡	土師器、須恵器	成沢
26	石曾根	集落跡	竪穴住居跡、縄文土器、石器、弥生土器、土師器	煤孫	68	大谷地	集落跡	縄文土器	相去
27	本郷	集落跡	竪穴住居跡、縄文土器(中期)、石器、土師器、須恵器	煤孫	69	菖蒲田古墳群	古墳群	土器、蕨手刀	長沼
28	荒屋沢	散布地	縄文晩期壺	煤孫	70	長沼古墳群	古墳群	蕨手刀、勾玉、切子玉	長沼
29	林崎館	館跡	縄文土器、中世	煤孫	71	念仏車	散布地	縄文土器、弥生土器	長沼
30	中屋敷	散布地	土器、土師器	煤孫	72	蔵屋敷	集落跡	弥生土器、土師器	江釣子村
31	法量野Ⅰ	散布地	石器	煤孫	73	稲葉Ⅰ	散布地	土師器、須恵器	藤根
32	法量野Ⅱ	散布地	縄文土器、石器	煤孫	74	蓮見館	館跡	縄文土器、土師器、須恵器	藤根
33	煤孫	集落跡	竪穴住居跡、縄文土器(中期)、土師器、須恵器	煤孫	75	長清水Ⅰ	散布地	縄文土器(前期末)、土師器	藤根
34	観音館	館跡	堀、土壘、須恵器	煤孫	76	新平	駅家跡	縄文、弥生土器、土師器	江釣子
35	上反町	散布地	縄文土器、弥生土器、石器	煤孫	77	芦萱	集落跡	縄文土器、土師器、須恵器	江釣子
36	兵庫館	散布地	縄文土器、剥片石器	岩崎	78	下江釣子羽場	集落跡	土師器	江釣子
37	梅/木台地Ⅱ	集落跡	縄文土器	岩崎	79	五条丸古墳群	古墳群	土師器	江釣子
38	梅/木台地Ⅰ	集落跡	縄文土器	岩崎	80	猫谷地古墳群	古墳群	蕨手刀、勾玉、土師器	江釣子
39	岩崎城西	散布地	縄文土器、溝跡、陶器	岩崎	81	本宿	散布地	縄文土器、土師器	江釣子
40	岩崎城	館跡	銅鉄銭、鉄塊、縄文土器	岩崎	82	下谷地	散布地	平安	相去
41	岩崎台地遺跡群	集落跡	竪穴住居跡、土師器、須恵器	岩崎	83	鳩岡崎高台	散布地	縄文土器、土師器	江釣子
42	望野Ⅰ	散布地	縄文土器(中期)、石器	煤孫	84	鳩岡崎上の台	散布地	縄文土器、土師器、須恵器	江釣子
					85	滝ノ沢	集落跡	土坑、縄文土器(中期)	相去



第5図 周辺の遺跡位置図

III 調査方法と室内整理

1. 野外調査の方法

(1) 調査グリッドの設定

調査グリッドの設定は、道路公団設置の公共基準点を与点として遺跡内に任意の1点を設け、基点1とした。基点1から南に40m離れたところに1点を取り、基点2とした。さらに基点2から東に40m離れたところに1点を取り、基点3とした。各基点の位置と標高は次のとおりである。

基点1	X = -80,120.000m	Y = 15,800.000m	H = 125.334m
基点2	X = -80,160.000m	Y = 15,800.000m	H = 127.022m
基点3	X = -80,160.000m	Y = 15,840.000m	H = 127.214m

これらの基準点をもとに40m間隔の大グリッドを設定し、さらに大グリッド毎に4m間隔の小グリッドを設定した。大グリッドは西から順にⅠ～Ⅷ、北から順にA～Cと命名し、小グリッドは同様に1～10、a～jとした。大グリッド名は両者を合わせてⅢA、VBのように呼称し、小グリッド名はⅡA5e、ⅥB8hのように表した。また、遺構の名称は検出された大グリッド名を頭につけて表し、小グリッド名は遺構外の遺物の出土地点を表す場合に用いた。

(2) 粗掘と精査

農道南側の旧水田面は、東から高位、中位、低位の3面に分かれ、それぞれの東側は削平され、西側には深い所で50cm以上の盛土が入っていた。そのため、各面の東側は10cm程掘り下げた段階で検出面となるが、西側は盛土を除去した後に検出面まで掘り下げるという作業を行った。盛土部分の除去作業は、主に重機を用いて行った。

精査にあたっては、住居跡は4分法、土坑、陥し穴状遺構等は2分法を原則とした。出土遺物は、遺構名、地区名、層位等を記入して取り上げた。

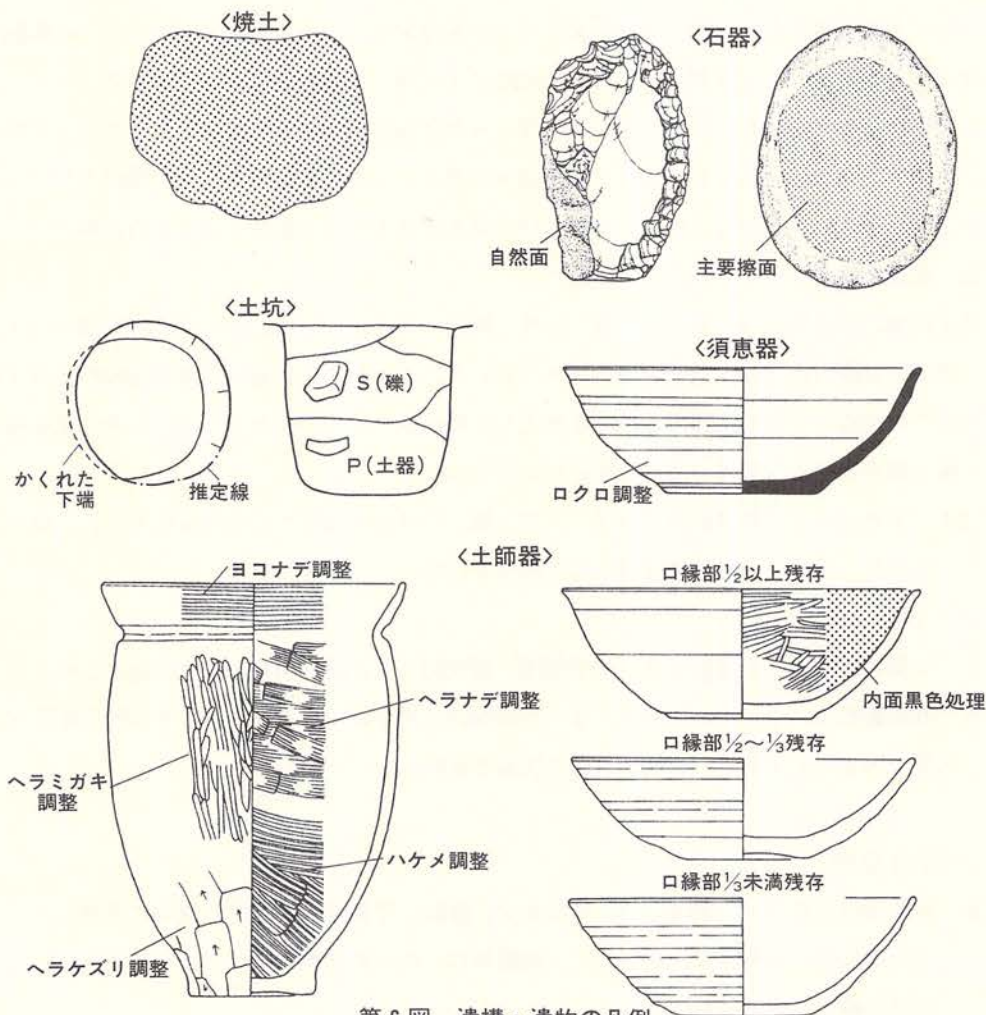
(3) 記録

- a 実測は簡易遣り方測量で行い、平面図、断面図ともに縮尺20分の1を原則とした。
- b 写真撮影は、6×7cmのモノクロ、35mm判のモノクロ・カラーリバーサルの3種を用い、遺構の埋土断面・全景、遺物の出土状況等を撮影した。

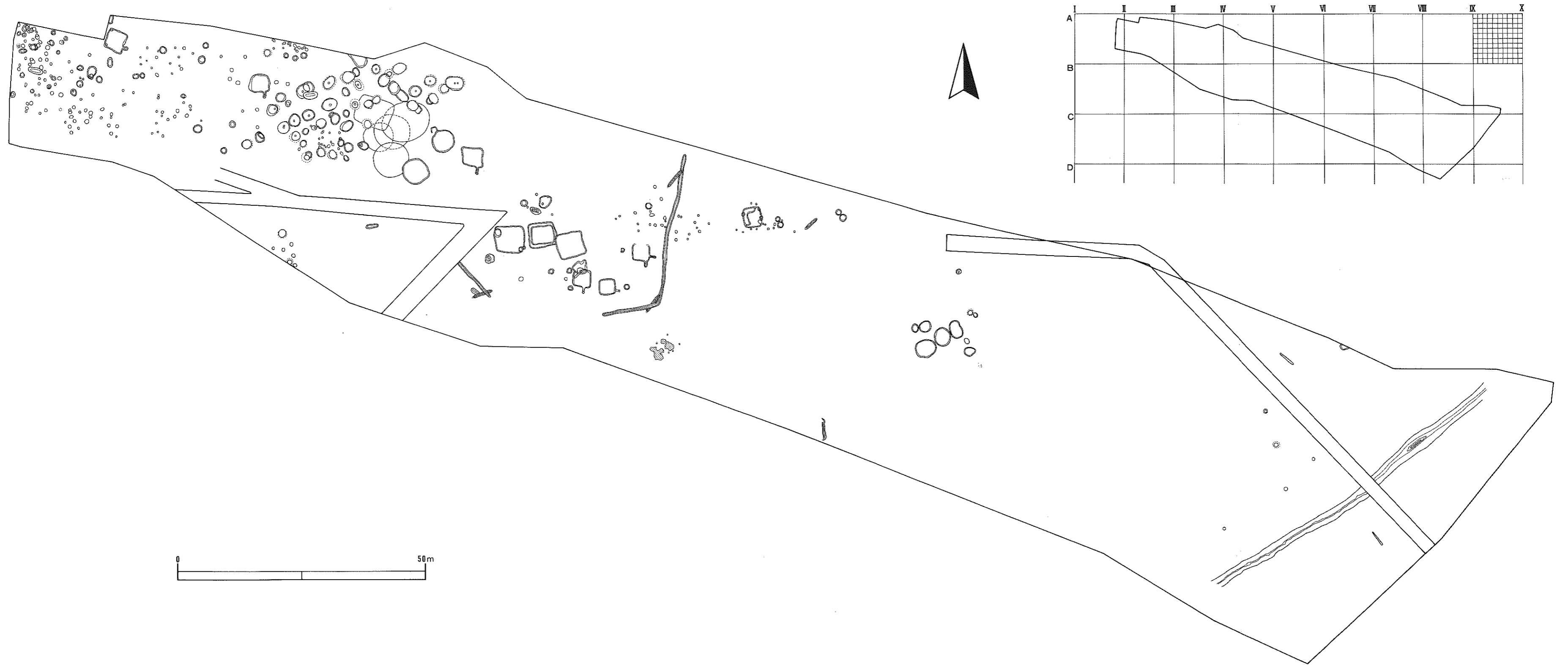
2. 室内整理

- a 報告書の記述のうち遺構については本文、図版、写真図版ともに種類別に掲載した。
- b 遺物は遺構内外や種類に関係なく、掲載順に1から通し番号をつけ、写真図版に掲載した遺物の番号もそれに対応させた。

- c 遺構図版の縮尺は40分の1と60分の1を原則とし、スケールで表示した。
- d 遺物図版の縮尺は2分の1、3分の1、4分の1を主体とし、縮尺率を付した。
- e 写真図版の縮尺は遺構、遺物とも不定である。
- f 住居跡主軸方向は、カマドが設置された辺に直行する線が、北あるいは南から傾く角度を東西へ90°の範囲内で示している。
- g 本文や土層注記表に記載した火山灰、汚れ火山灰は、断りがない限りはIV層起源のいわゆる「地山」である。
- h 「Uフレ」はユーテライズド=フレーク、「Rフレ」はリタッチド=フレークを略して表したものである。
- i 土色や遺物の色調は「新版 標準土色帖」（農林水産省農林水産技術会議事務局監修）に依った。



第6図 遺構・遺物の凡例



第7図 煤孫遺跡遺構配置図

IV 検出された遺構と遺構内出土遺物

1. 竪穴住居跡

(1) 縄文時代の竪穴住居跡

Ⅲ A 1号住居跡

遺構 (第8~10図、写真図版2~5)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢ A 9 i 区付近に検出され、北西側がⅢ A 4号住居跡を切る。<平面形> わずかな楕円形。<規模> 5.5×5.2m <壁高> 30~64cm <埋土> 大きく3層に分けられるが、ほぼ全体にわたっておびただしい量の土器が入る。これは第10図から推定できるように、廃棄後ある程度自然に堆積した住居跡を、土器捨て場として再利用したものと考えられる。<床面> 床は平坦で固くしまり、中央に2.6×2.4m、深さ14cmの隅丸方形の落ち込みがみられる。その中央部に副穴があり、そこから放射状に3本とその外側に半円状に溝が巡ることから、底部施設を有する土坑を切って住居が構築されたものと考えられる。<柱穴> PP6~PP8が主柱穴と思われる。また、少なくとも2条の壁溝が巡り、その切り合い関係からPP28~PP45に伴う壁溝を有する住居を、PP21~PP27に伴う壁溝を有する住居へと縮小したものと推定される。<炉> 落ち込み部分の中央部に50×47cm、厚さ3cmの地床炉を持つ。炉は中央部が凹み、炭化物を含んで固くしまる。

遺物 (第11~44図、写真図版75~99)

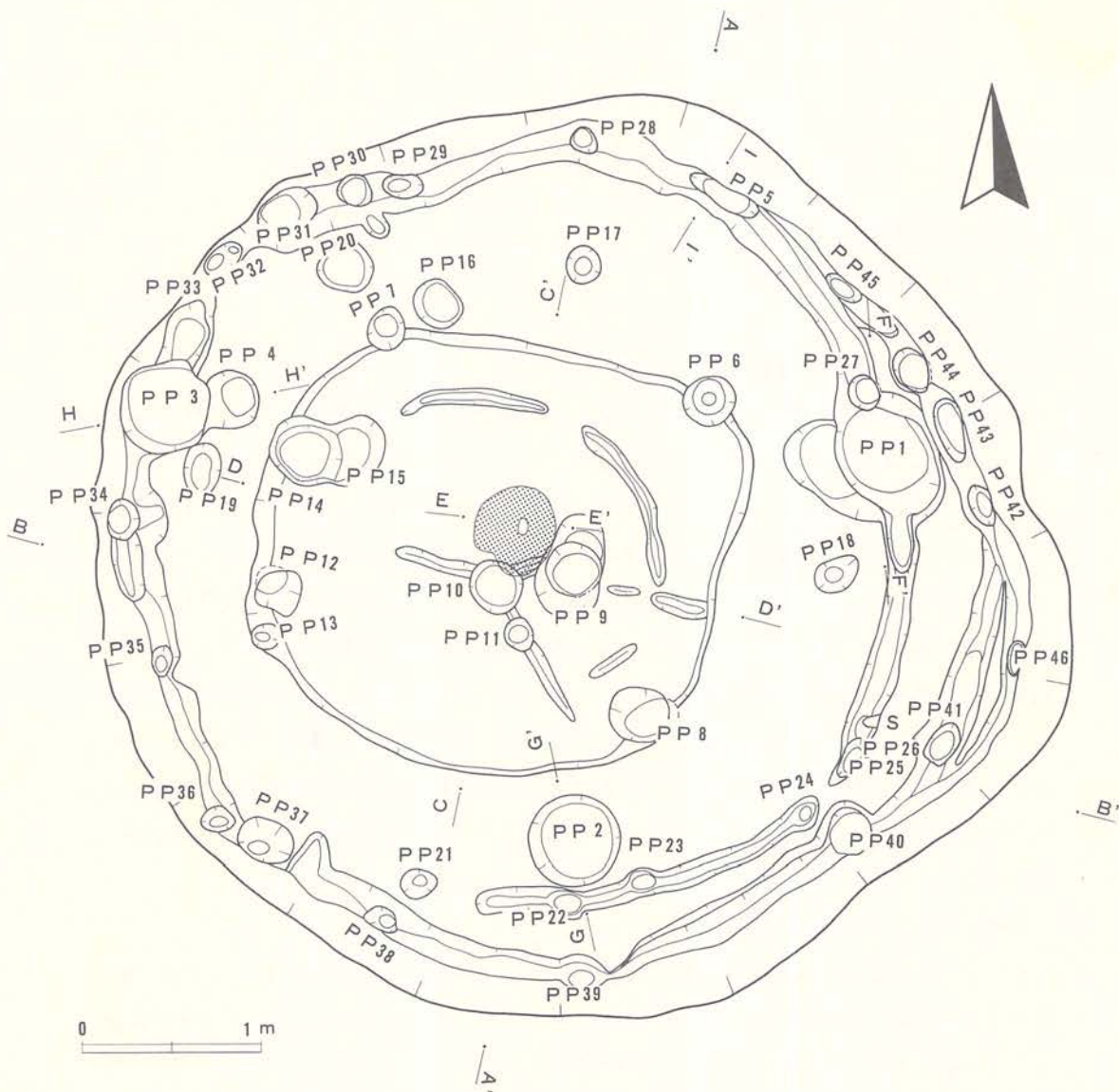
<土器> 立体として図化できた個体は101点を数え、本遺跡の遺構中群を抜いて多い。また、拓本として掲載した破片46点、底部片3点で、それ以外の破片は合わせて大コンテナ10箱程出土している。遺物は、大きく3段階に分けて取り上げた。1~5は床面、6~32・105~113は埋土下部、33~74・114~142は埋土中部、75~101・143~150は埋土上部からそれぞれ出土しているが、床面から埋土上部までの間の遺物における明確な時期差は認められない。

<石器> 登録したものが195点、フレークが650点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘74点、削器19点、石匙17点、石鎌12点、すり石11点、円盤状石製品、Uフレ各7点、凹石、特殊磨石各6点、Rフレ、尖頭器、石筥、半円状偏平打製石器各4点、コア、石錐、搔器、敲石各3点、垂飾2点、ピエス=エスキュー、鋸歯状石器、石皿状石製品、石棒、磨製石斧、有孔礫各1点、他の多くの遺構についても言える事だが、石錐の占める割合が圧倒的に大きく、本遺構の場合38%を数える。

遺構の時期

出土遺物などから縄文時代前期末葉と考えられる。



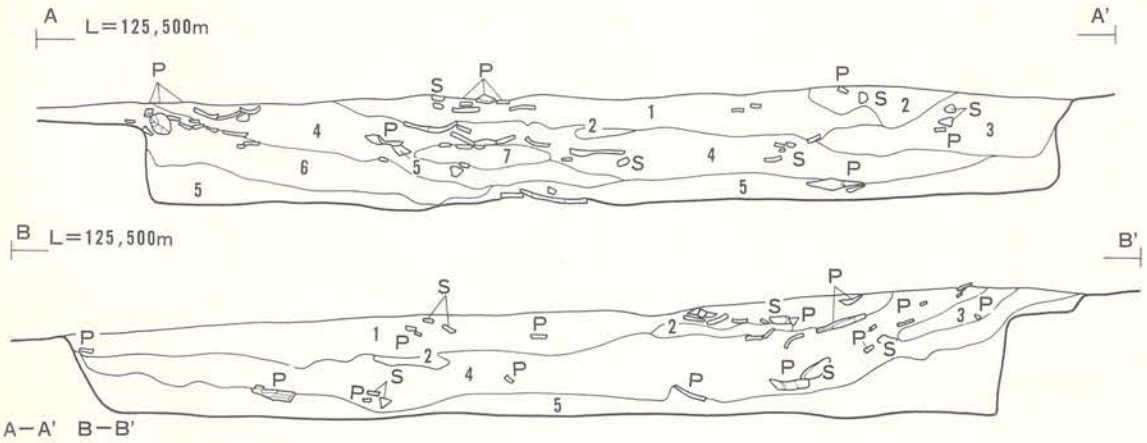
No.	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6	PP7	PP8	PP9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14	PP15
径cm	86×64	φ52	φ50	32×(30)	44×10	φ28	28×20	36×34	42×34	φ30	18×16	φ26	18×14	40×34	36×(32)
深さcm	43	20	49	35	40	59	62	56	63	23	9	45	29	29	9

No.	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21	PP22	PP23	PP24	PP25	PP26	PP27	PP28	PP29	PP30
径cm	φ30	φ20	26×20	30×20	32×26	18×16	22×14	16×12	20×16	24×12	12×10	22×18	φ12	22×12	φ20
深さcm	10	11	27	12	10	10	21	18	18	24	11	59	41	17	30

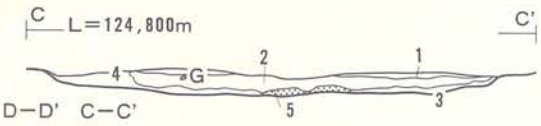
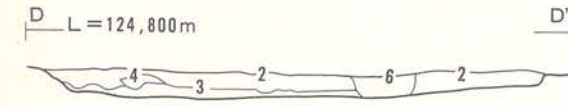
No.	PP31	PP32	PP33	PP34	PP35	PP36	PP37	PP38	PP39	PP40	PP41	PP42	PP43	PP44	PP45
径cm	34×24	22×14	(44)×24	24×20	16×12	φ36	32×24	18×12	30×20	32×30	24×16	24×12	38×16	28×20	22×10
深さcm	43	11	35	44	27	27	43	24	41	32	22	28	34	43	38

No.	PP46
径cm	20×8
深さcm	23

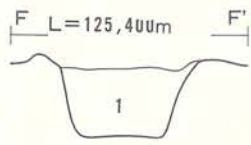
第8図 III A 1号住居跡(1)



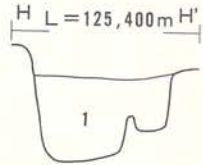
1. 7.5Y R 暗褐色土 焼土粒、炭化物、大型の土器片、礫、石器等入る
2. 7.5Y R 褐色土と火山灰の混土
3. 7.5Y R 暗褐色土 焼土粒、炭化物、火山灰ブロック、土器片等入る
4. 7.5Y R 黒褐色土 焼土粒、炭化物、火山灰ブロック、土器片等入る
5. 7.5Y R 褐色土に火山灰ブロックが入る
6. 4に似るが4よりやや薄い
7. 7.5Y R 褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロックを含む、大型の土器片入る



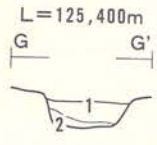
1. 7.5Y R 褐色土 火山灰ブロックが入る
2. 7.5Y R 暗褐色土 火山灰ブロック、炭化物が多量に入る
3. 2に似るが火山灰ブロックの量がへる
4. 7.5Y R 明褐色土 火山灰ブロックが入る
5. 焼土
6. 7.5Y R 暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロックが入る



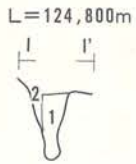
- F-F'
1. 7.5Y R 暗褐色土 炭化物、火山灰ブロックをわずかに含む



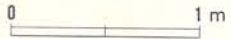
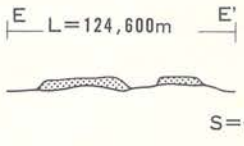
- H-H'
1. 7.5Y R 暗褐色土 火山灰ブロック、炭化物わずかに含む



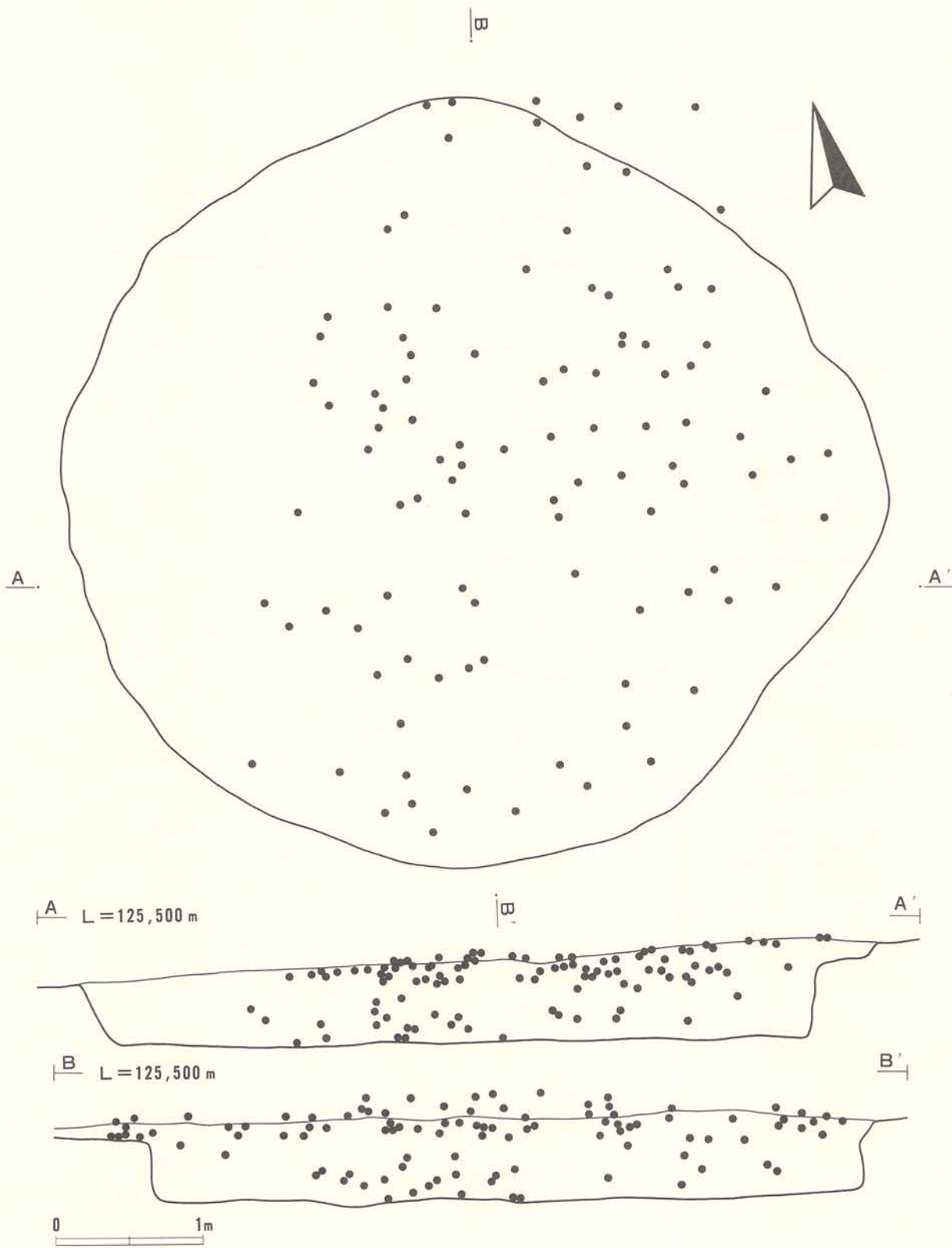
- G-G'
1. 7.5Y R 暗褐色土 炭化物、火山灰ブロックわずかに含む
 2. 7.5Y R 褐色土 火山灰ブロックが多い



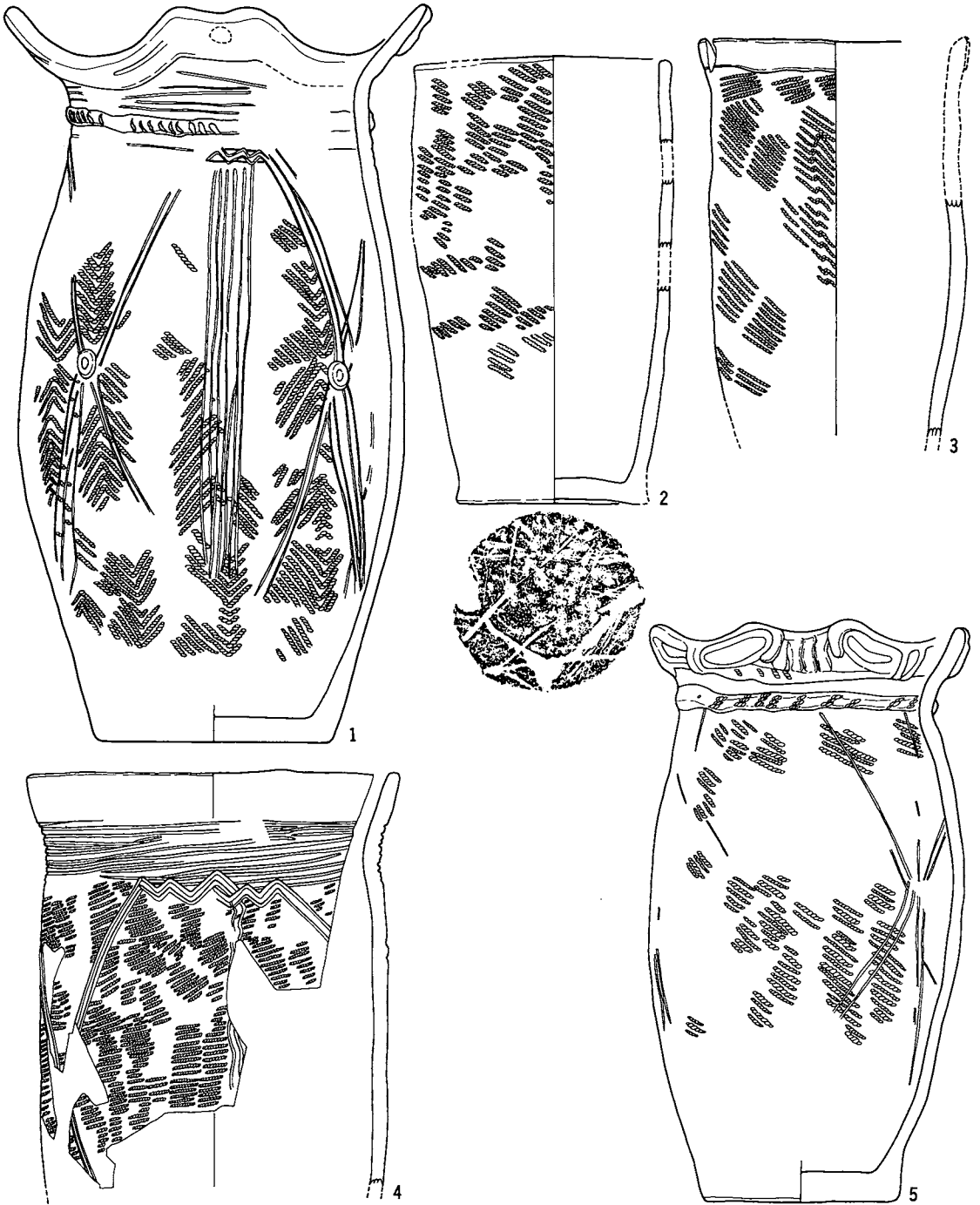
- I-I'
1. 7.5Y R 褐色土 炭化物、火山灰ブロックがわずかに入る
 2. 7.5Y R 黒褐色土 火山灰ブロックが多く入る



第9図 III A 1号住居跡(2)



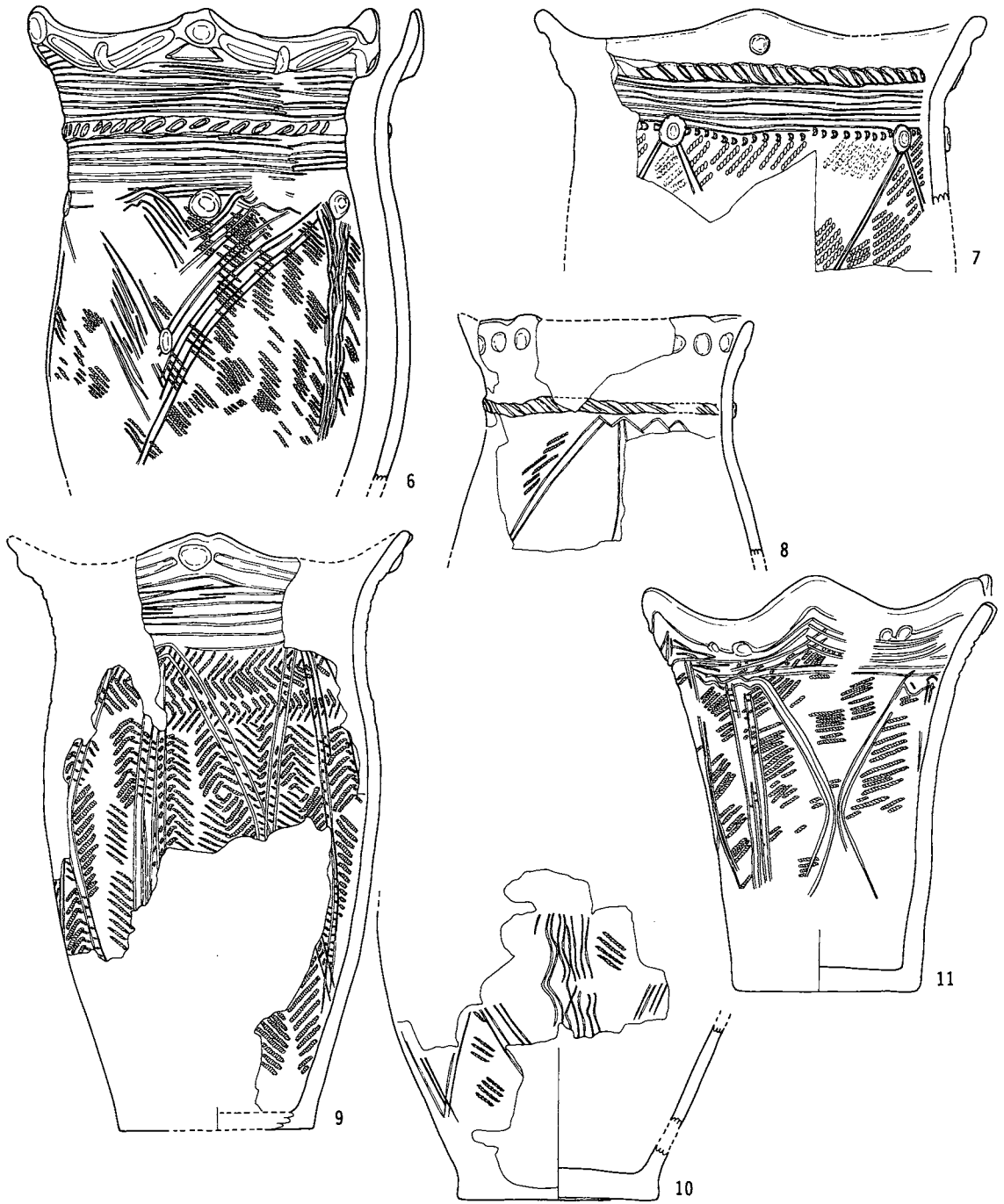
第10图 IIIA1号住居跡土器出土地点



$$S = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1	ⅢA 1号住・床直	口～底部	4単位の波状口縁、交点にボタン状貼付のある平行沈線文、羽状(結束第1種)タテ	深鉢B 8類
2	ⅢA 1号住・床直	口～底部	平縁、LRタテ、木葉痕	深鉢A12類
3	ⅢA 1号住・床直	口～胴部	平縁、複合口縁、LRタテ、部分的に結束したLRタテ	深鉢A12類
4	ⅢA 1号住・床直	口～胴部	平縁、頸部と胴部に平行沈線文、LRヨコ、ナナメ	深鉢B 7類
5	ⅢA 1号住・床直	口～底部	4単位の波状口縁で波頂部二山状、平行沈線文、太さの違うLRタテ	深鉢B 7類

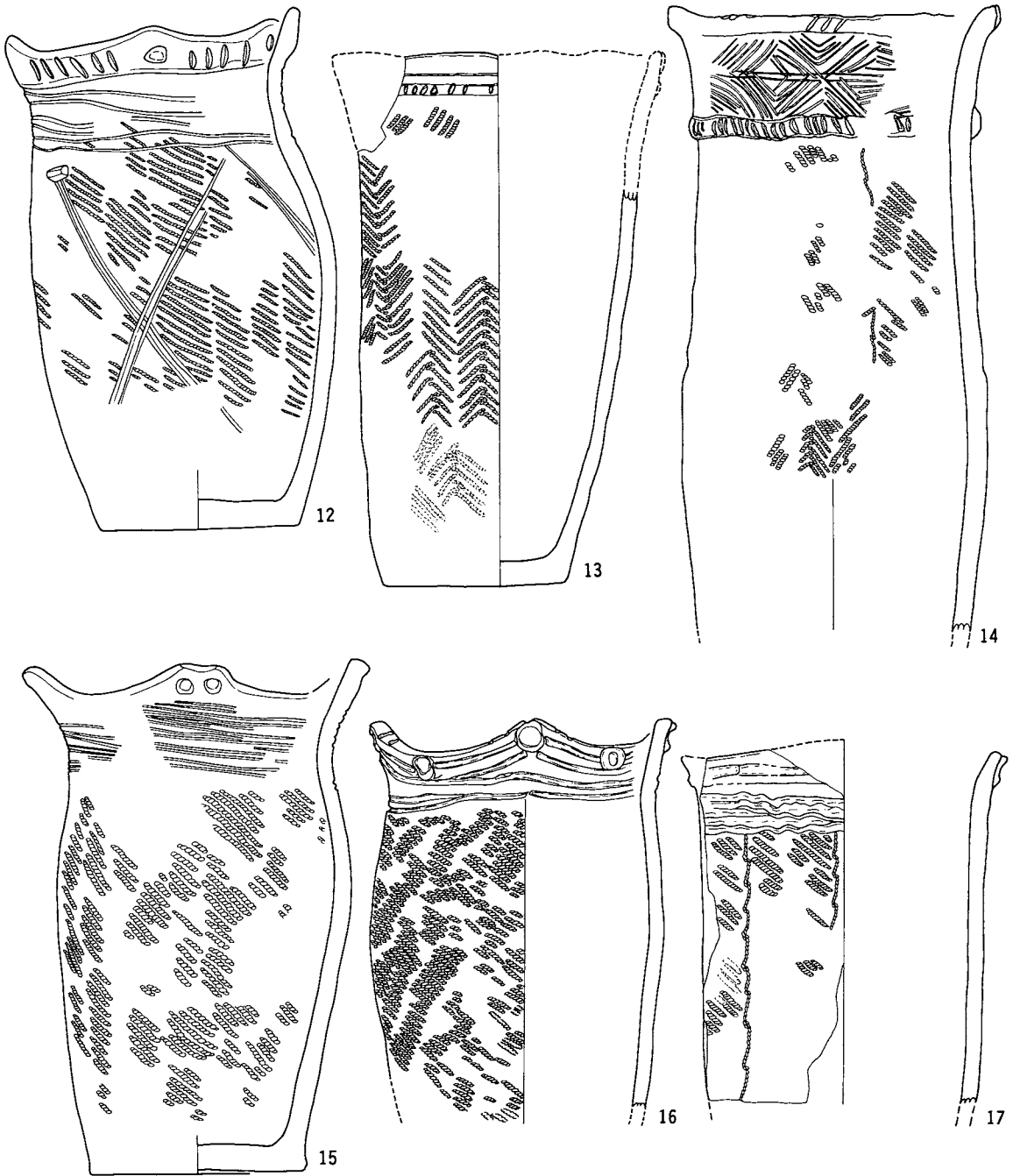
第11図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(1)



$$s = \frac{1}{4}$$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
6	ⅢA 1号住・埋土下部	口～胴部	6単位の波状口縁、斜位の押圧のある粘土紐巡る、平行沈線文、ボタン状貼付、LRタテ	深鉢B 8類
7	ⅢA 1号住・埋土下部	口～胴部	4単位の波状口縁、斜位の刻みのある粘土紐、平行沈線文、爪形文、ボタン状貼付、LRヨコ	深鉢B 8類
8	ⅢA 1号住・埋土下部	口～胴部	平縁、口縁に沿って連続した円形の凹み、斜位の刻みのある粘土紐、平行沈線文、LRヨコ	深鉢B 7類
9	ⅢA 1号住・埋土下部	口～底部	4単位の波状口縁、ボタン状貼付、平行沈線文、羽状(結束第1種)タテ、ヨコ	深鉢B 7類
10	ⅢA 1号住・埋土下部	胴～底部	斜位や小波状の平行沈線文、LRタテ	深鉢B 7類
11	ⅢA 1号住・埋土下部	口～底部	6単位の波状口縁、2個1対の円形の凹み、平行沈線文、RLタテ、ナナメ	深鉢A 7類

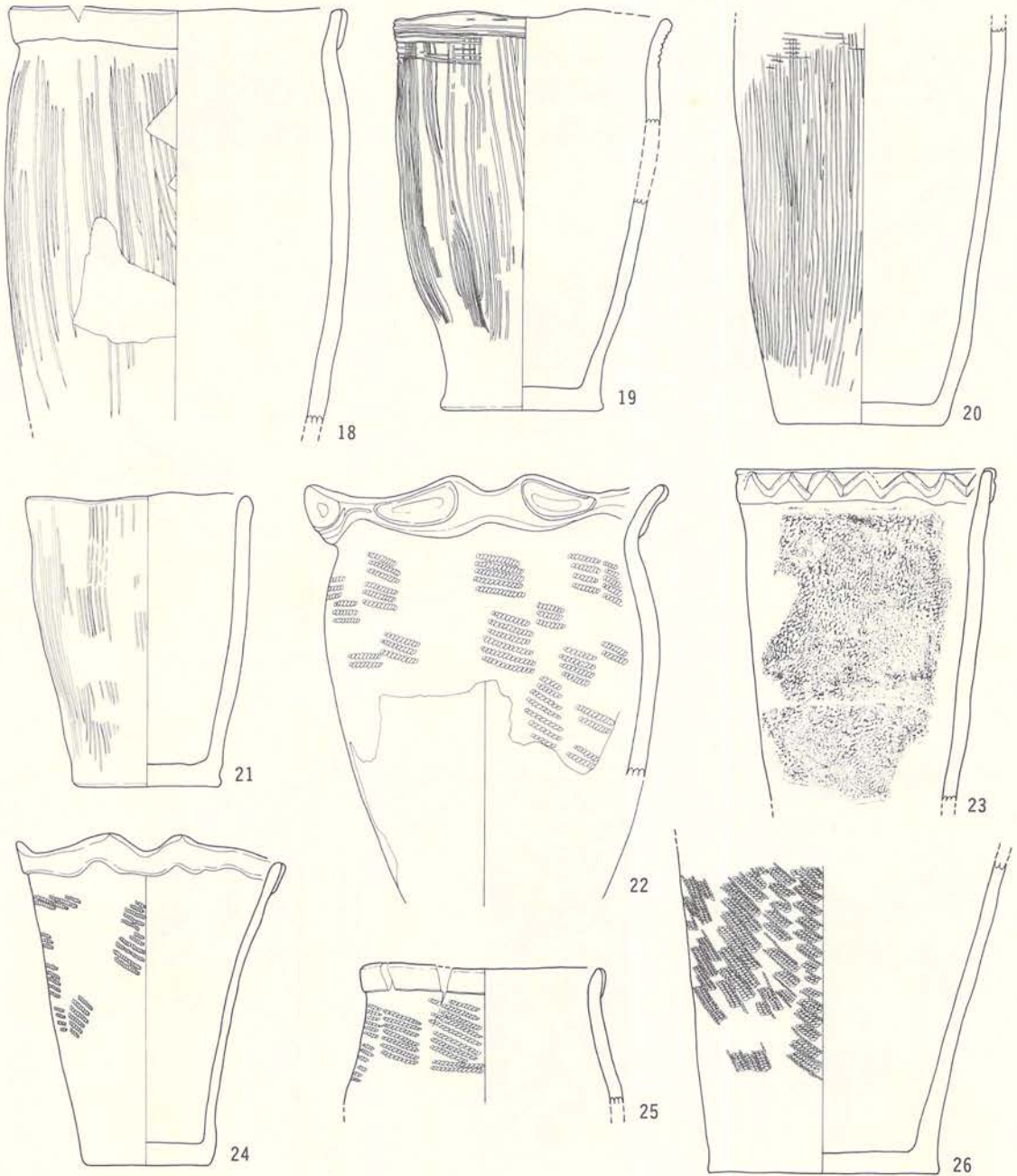
第12図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(2)



$$S = \frac{1}{4}$$

№	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
12	ⅢA 1号住・埋土下部	口～底部	6単位の波状口縁、波頂部に円形の凹み、両側は縦位の刻み、平行沈線文、LRタテ	深鉢B 7類
13	ⅢA 1号住・埋土下部	口～底部	ゆるやかな波状口縁(?)、連続刺突のある粘土紐巡る、羽状(結束第1種)タテ	深鉢A 15類
14	ⅢA 1号住・埋土下部	口～胴部	平縁、対称的な弧状や山形状の平行沈線文、羽状(結束第1種)タテ、末端結節	深鉢B 15類
15	ⅢA 1号住・埋土下部	口～底部	4単位の波状口縁、波頂部2個1対の円形の凹み、平行沈線文、LRタテ	深鉢B 6類
16	ⅢA 1号住・埋土下部	口～胴部	4単位の波状口縁、波頂部と波底部にボタン状貼付、横位の沈線、LRタテ	深鉢B 6類
17	ⅢA 1号住・埋土下部	口～胴部	4単位の波状口縁(?)、小波状の沈線、結節したLRタテ	深鉢A 15類

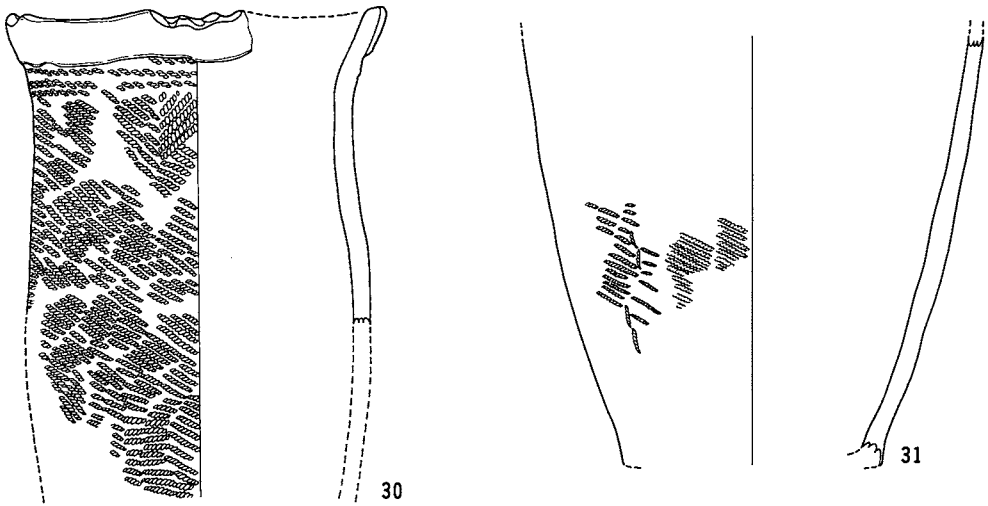
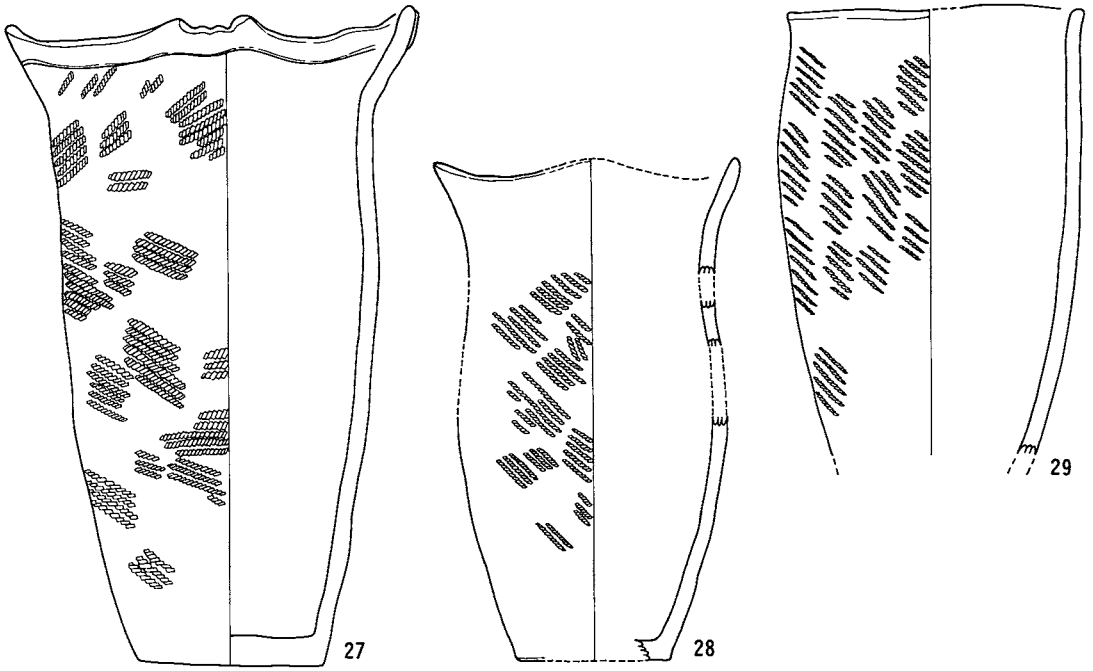
第13図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(3)



$$S = \frac{1}{4}$$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
18	ⅢA 1号住・埋土下部	口～胴部	平縁、複合口縁、縦位の連続沈線	深鉢B 5類
19	ⅢA 1号住・埋土下部	口～底部	ゆるやかな波状口縁、横位の沈線、縦位の櫛目状沈線	深鉢B 5類
20	ⅢA 1号住・埋土下部	胴～底部	胴上部に横位の沈線、胴部全体に縦位の連続沈線	深鉢A 5類
21	ⅢA 1号住・埋土下部	口～底部	平縁、縦位の連続沈線	深鉢A 5類
22	ⅢA 1号住・埋土下部	口～胴部	4単位の波状口縁、波頂部は2山状で卵形の凹み、LRタテ、ナナメ	深鉢B 12類
23	ⅢA 1号住・埋土下部	口～胴部	平縁、複合口縁、鋸歯状の沈線、地文は不明	深鉢A 6類
24	ⅢA 1号住・埋土下部	口～底部	4単位の波状口縁、波頂部は2山状、RLヨコ	深鉢A 12類
25	ⅢA 1号住・埋土下部	口～胴部	平縁、複合口縁、LRタテ	深鉢B 12類
26	ⅢA 1号住・埋土下部	胴～底部	LR(付加条)タテ	深鉢A 12類

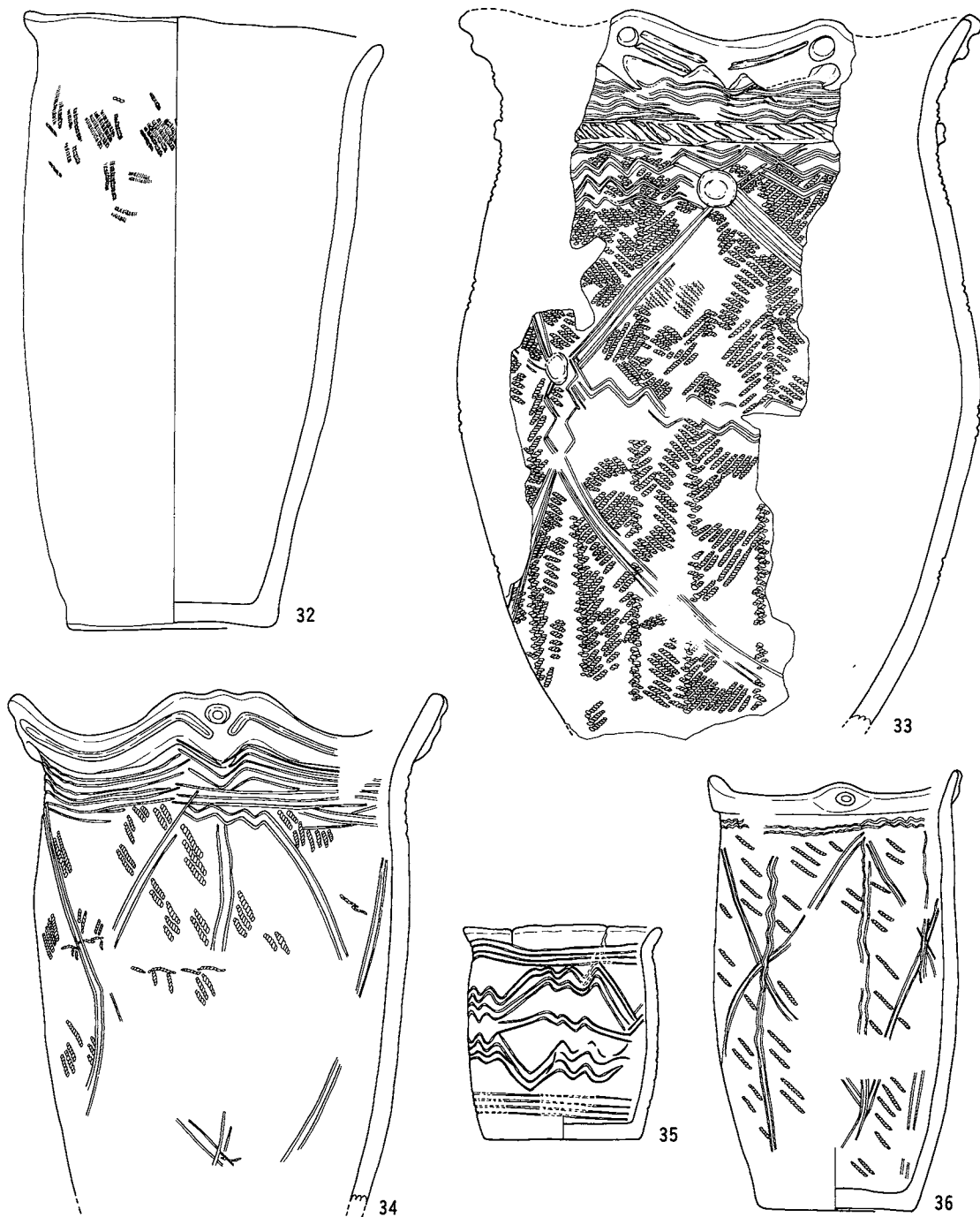
第14図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(4)



$$s = \frac{1}{4}$$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
27	ⅢA 1号住・埋土下部	口～底部	4単位の波状口縁、波頂部は4山状(中の2山は小さい)、かたい原体のLRタテ、ナナメ	深鉢B12類
28	ⅢA 1号住・埋土下部	口～底部	4単位の波状口縁(?), LRタテ	深鉢B12類
29	ⅢA 1号住・埋土下部	口～胴部	平縁、LRタテ	深鉢A12類
30	ⅢA 1号住・埋土下部	口～胴部	ゆるやかな4単位の波状口縁、波頂部は3～4山状、LRの原体圧痕、LRタテ、ヨコ	深鉢B16類
31	ⅢA 1号住・埋土下部	胴部	結節したLRタテ	深鉢A15類

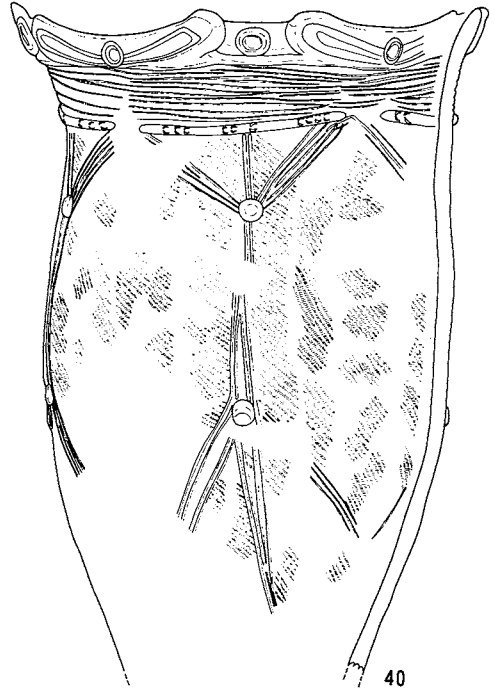
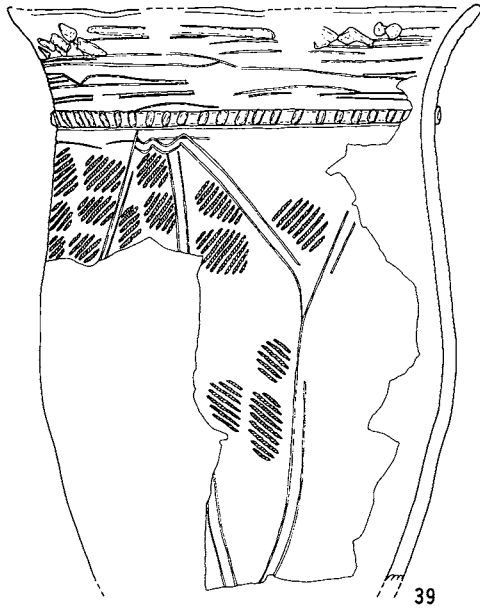
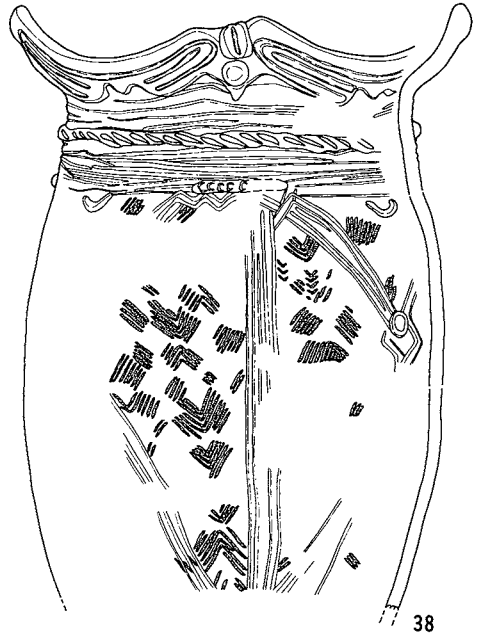
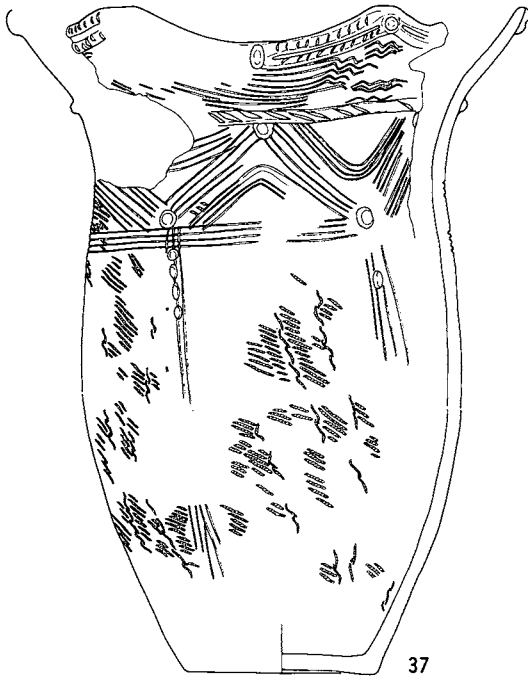
第15図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(5)



$$S = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
32	ⅢA 1号住・埋土下部	口～底部	平縁、Rヨコ、ナナメ	深鉢A12類
33	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	8単位の波状口縁(?), 斜位の押圧のある粘土紐、平行沈線文、ボタン状貼付、第1種羽状タテ	深鉢B 8類
34	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	4単位の波状口縁、波頂部は3山状、円形の凹み、平行沈線文、結節したRLヨコ	深鉢B 7類
35	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	平縁、平行沈線文	深鉢A 7類
36	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	平縁で4山状、円形の凹み、平行沈線文、LRタテ	深鉢B 7類

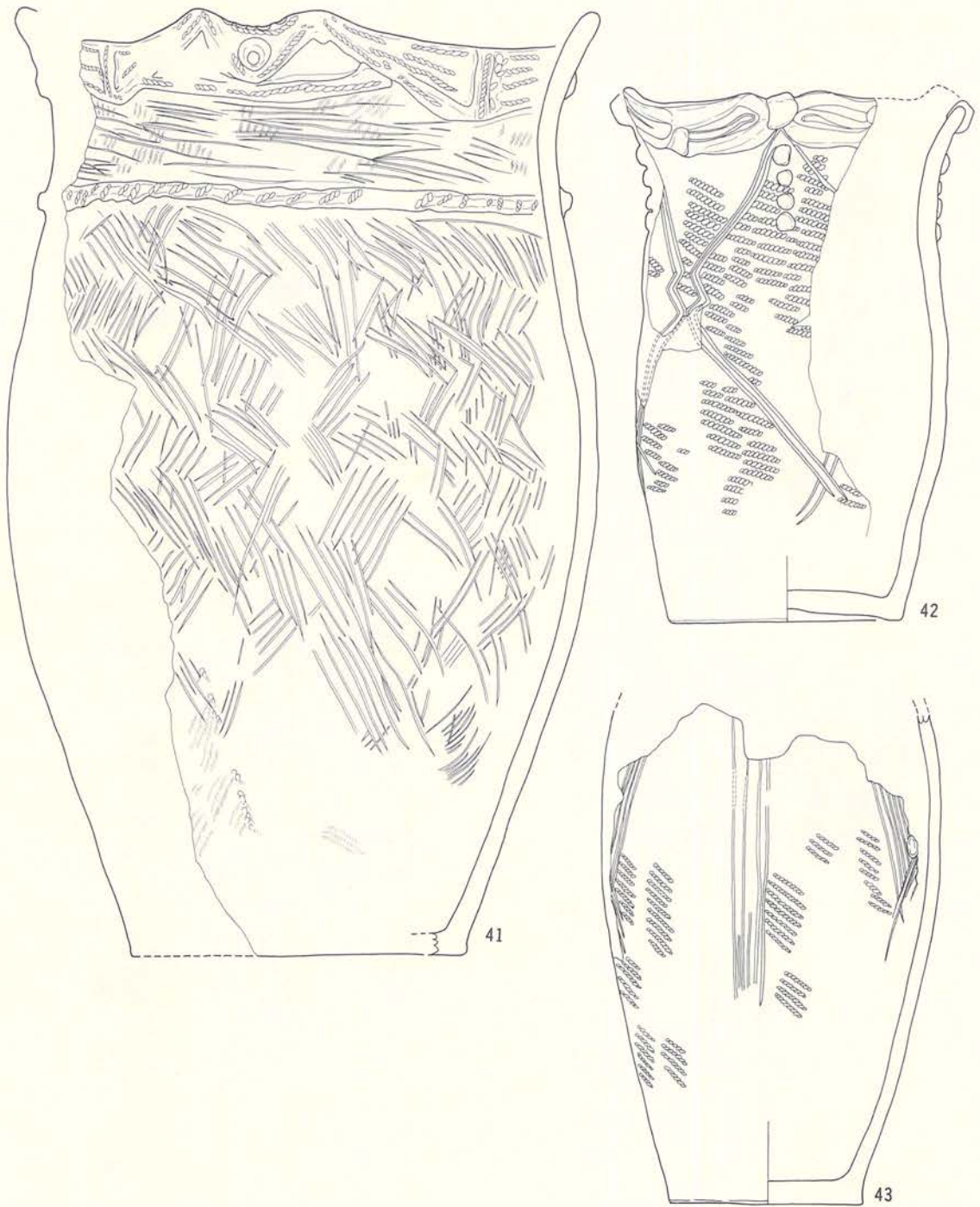
第16図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(6)



$S = \frac{1}{6}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
37	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	4単位の波状口縁、爪形文、ボタン状貼付、斜位押圧の粘土紐、平行沈線文、結節LRタテ	深鉢B 8類
38	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	4単位の波状口縁、円形の凹み、斜位押圧の粘土紐、ボタン状貼付、平行沈線文、第1種羽状タテ	深鉢B 8類
39	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	平縁、円形や不整の凹み、縦位押圧の粘土紐、平行沈線文、LRヨコ、タテ	深鉢B 7類
40	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	4単位の波状口縁、波頂部2山状、ドーナツ、ボタン状貼付、爪形文、平行沈線文、Lタテ	深鉢B 8類

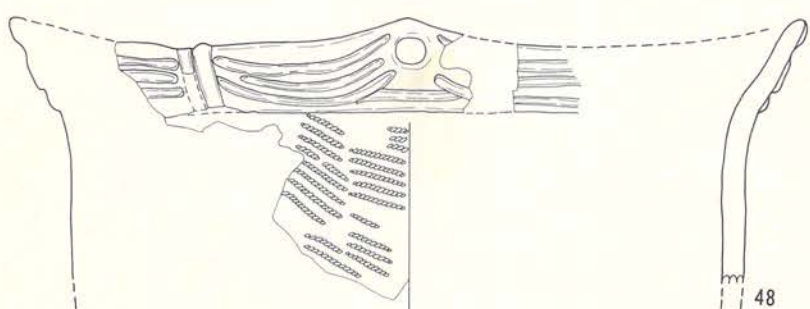
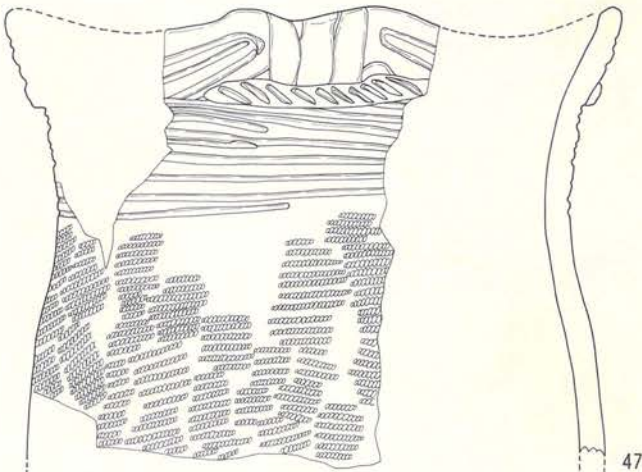
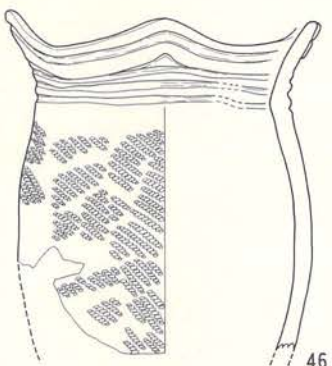
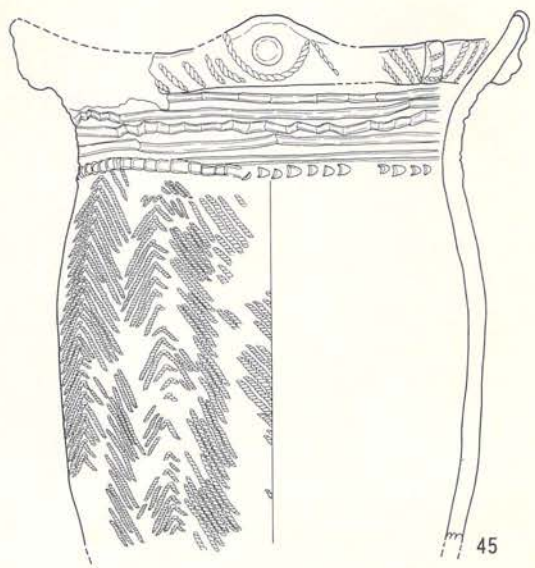
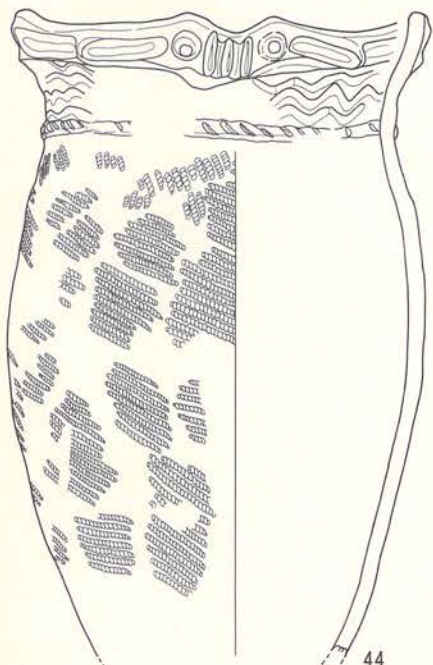
第17図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(7)



$$S = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
41	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	4単位波状口縁、波頂部2山状、ボタン状貼付、粘土紐原体圧痕、横位斜位連続沈線、RとLヨコ	深鉢B16類
42	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	4～5単位の波状口縁、縦位のボタン状貼付、平行沈線文、LRタテ	深鉢B7類
43	ⅢA 1号住・埋土中部	胴～底部	平行沈線文、楕円状粘土塊貼付、LRタテ	深鉢B7類

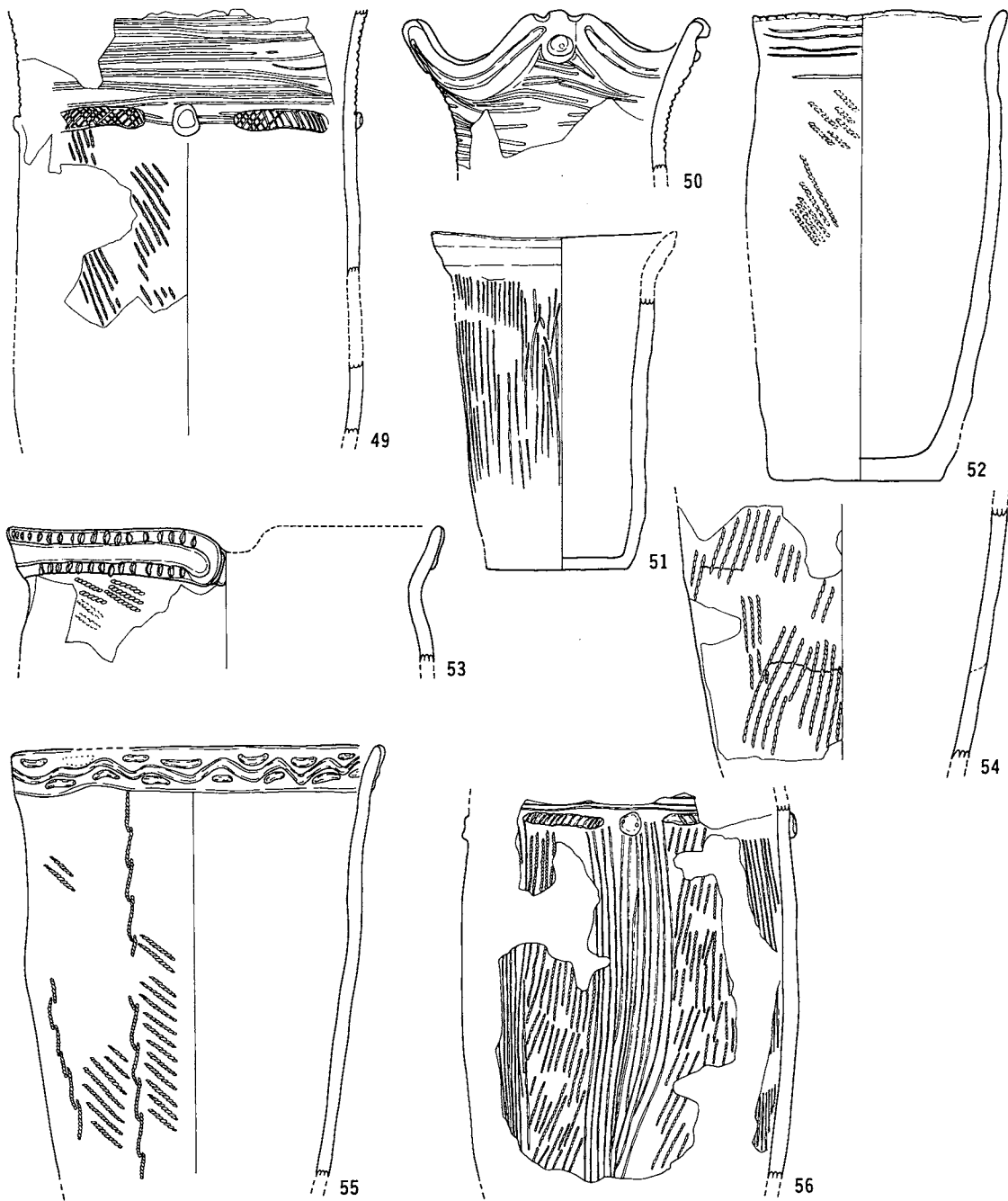
第18図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(8)



S = 1/4

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
44	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	4単位の波状口縁、波頂部は2山状、円形の凹み、太い沈線、斜位押圧の粘土紐、RLヨコ	深鉢B 9類
45	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	4単位の波状口縁、円形の凹み、燃糸圧痕、平行沈線、押し引き沈線、羽状(結束第1種)タテ	深鉢B15類
46	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	4単位の波状口縁、横位の沈線、LRタテ	深鉢B 6類
47	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	4単位の波状口縁(?)、波頂部は2山状、横位の沈線、斜位押圧の粘土紐、LRナナメ	深鉢B 6類
48	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	4単位の波状口縁、円形の凹み、横位の太い沈線、LRタテ	深鉢B 6類

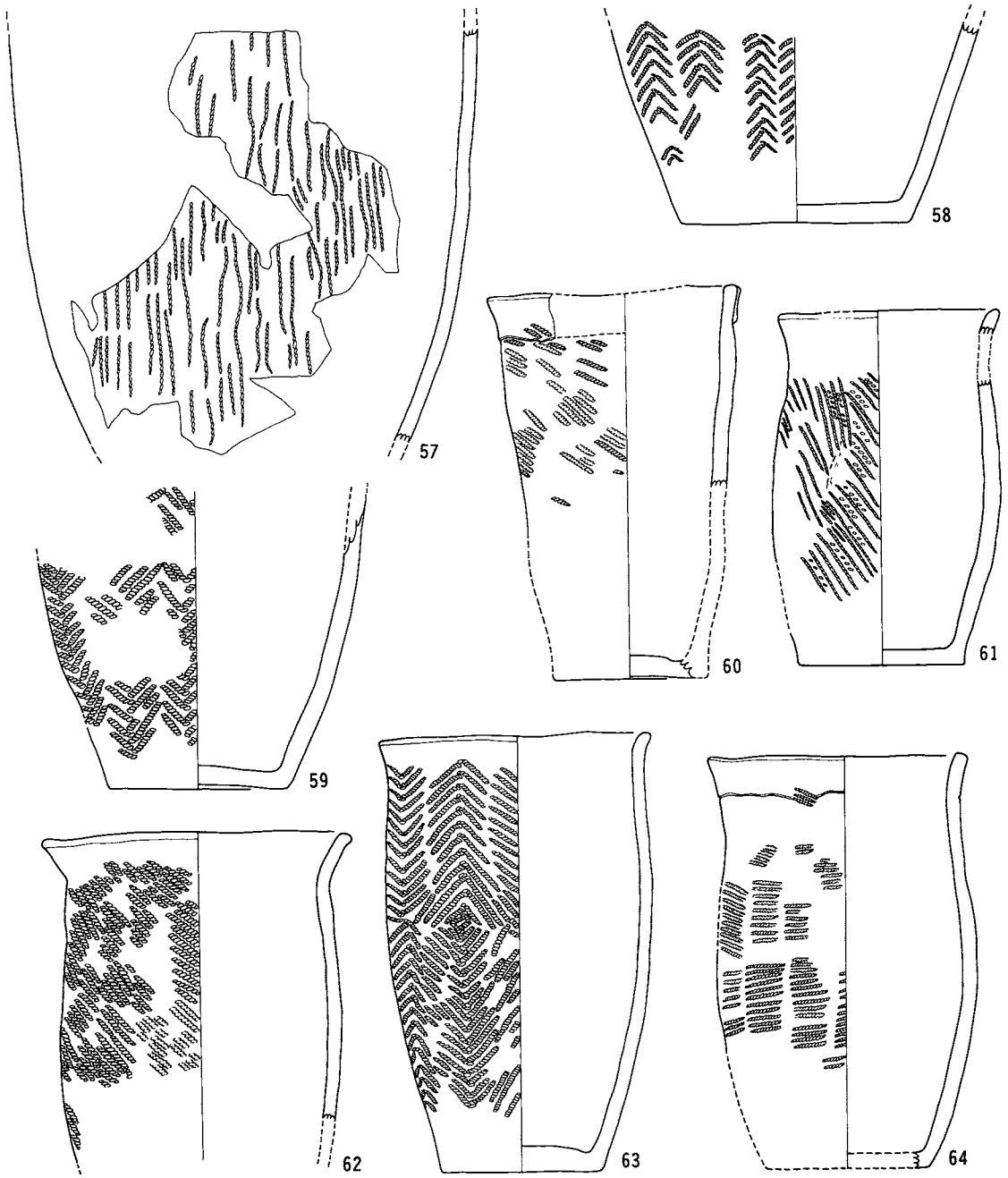
第19図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(9)



$$S = \frac{1}{4}$$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
49	ⅢA 1号住・埋土中部	胴部	横位の平行沈線、ボタン状貼付、網目状沈線のある粘土帯、絡糸体Lタテ	深鉢B 6類
50	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	4単位の波状口縁、波頂部3山状、円形の凹み、横位の沈線	深鉢B 9類
51	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	平縁、縦位の連続沈線	深鉢B 5類
52	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	ゆるやかな波状口縁、口唇部に連続の刻み、横位の沈線、LRタテ	深鉢B12類
53	ⅢA 1号住・埋土中部	口縁部	平縁、口唇部に数単位の凹み、連続刺突のある長楕円の粘土帯、LRタテ	深鉢B12類
54	ⅢA 1号住・埋土中部	胴部	絡糸体Rタテ	深鉢A 4類
55	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	平縁、複合口縁上に波状と横位の太い沈線、結節のLRタテ	深鉢A15類
56	ⅢA 1号住・埋土中部	胴部	横位の沈線、ボタン状貼付、斜位押圧の粘土帯、縦位の平行沈線、絡糸体R	深鉢B 6類

第20図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(10)



$$S = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
57	ⅢA 1号住・埋土中部	胴部	絡糸体Lタテ	深鉢B4類
58	ⅢA 1号住・埋土中部	胴～底部	羽状(結束第1種)タテ	深鉢B15類
59	ⅢA 1号住・埋土中部	胴～底部	羽状(結束第1種)タテ	深鉢B15類
60	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	平縁、複合口縁、LRタテ	深鉢A12類
61	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	平縁、LにLを巻きつけた付加条タテ	深鉢B12類
62	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	平縁、LRタテ	深鉢B12類
63	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	平縁、羽状(結束第1種)タテ	深鉢B15類
64	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	平縁、横位の沈線、LRナナメ	深鉢B12類

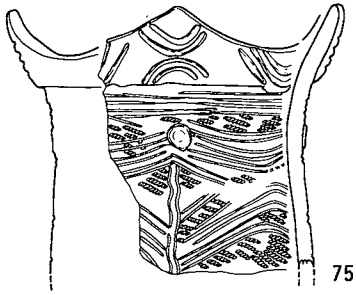
第21図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(1)



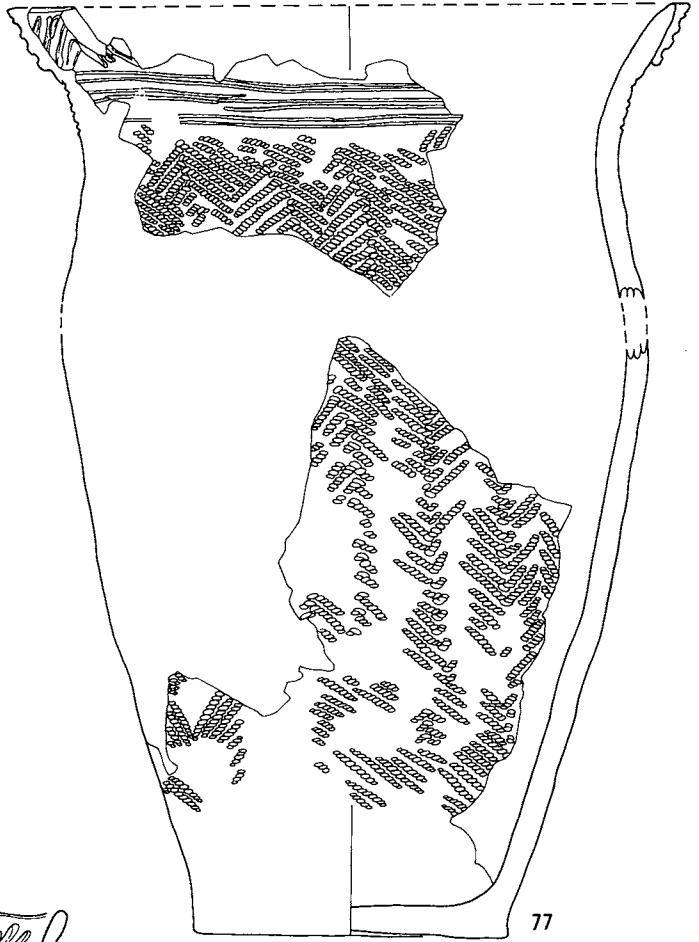
$$S = \frac{1}{4}$$

№	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
65	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	平縁、複合口縁、末端結節のRLヨコ、RLナナメ	深鉢A12類
66	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	平縁、羽状(結束第1種)タテ、網代痕	深鉢B15類
67	ⅢA 1号住・埋土中部	胴～底部	結束したLRタテ	深鉢B15類
68	ⅢA 1号住・埋土中部	胴～底部	LRタテ	深鉢A12類
69	ⅢA 1号住・埋土中部	口～底部	平縁、無文	深鉢A
70	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	4単位の波状口縁(?)、口縁に沿って粘土帯、末端結節のLRヨコ	深鉢C12類
71	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	平縁、複合口縁、無文	深鉢A
72	ⅢA 1号住・埋土中部	胴部	連続刺突のあるコの字型の粘土紐貼付、平行沈線文	深鉢C7類
73	ⅢA 1号住・埋土中部	胴～底部	平行沈線文、LRナナメ	深鉢C7類
74	ⅢA 1号住・埋土中部	胴～底部	大きさの違うLRヨコ	深鉢C12類

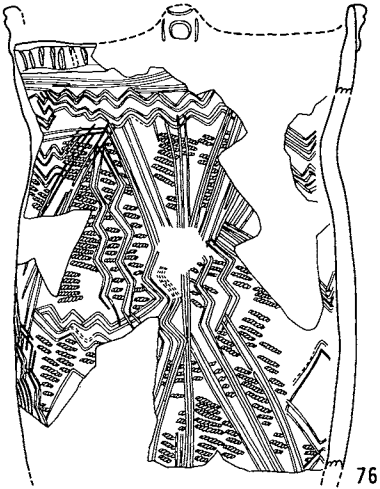
第22図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(12)



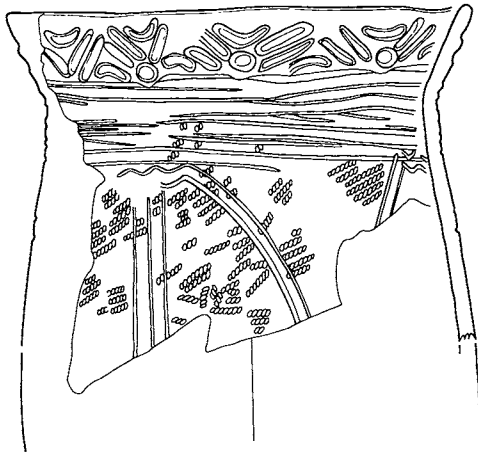
75



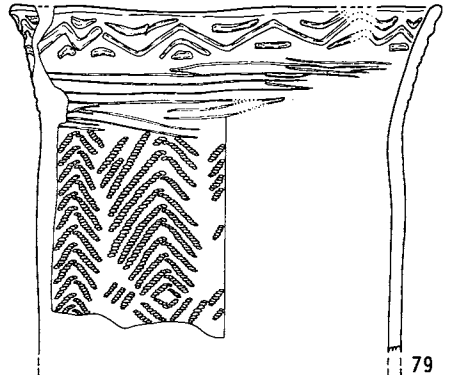
77



76



78

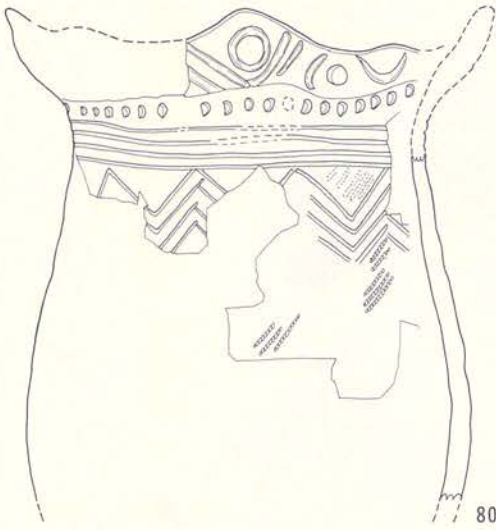


79

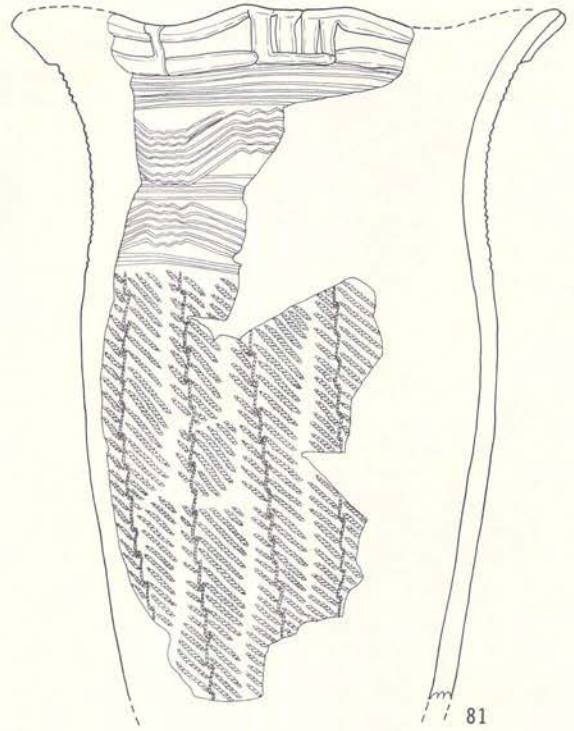
$$S = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
75	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	4単位の波状口縁、弧状の沈線、平行沈線文、ボタン状貼付、LRタテ	深鉢B 8類
76	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	4単位の波状口縁、円形の凹み、縦位の連続押圧、平行沈線文、LRタテ、ナナメ	深鉢B 7類
77	ⅢA 1号住・埋土上部	口～底部	平縁、口縁部の粘土帯に斜位の連続押圧、平行沈線文、羽状(結束第1種)タテ	深鉢B15類
78	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	平縁、円形の凹み、斜位や弧状の沈線、平行沈線文、LRヨコ	深鉢B 7類
79	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	平縁、山形状の沈線、横位や弧状の沈線、平行沈線文、羽状(結束第1種)タテ	深鉢B15類

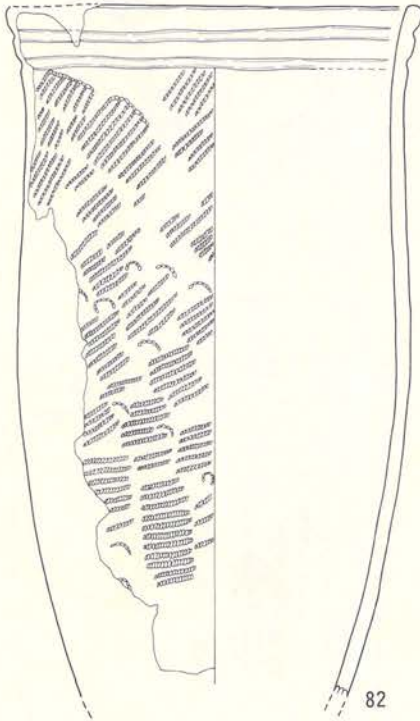
第23図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(13)



80



81



82

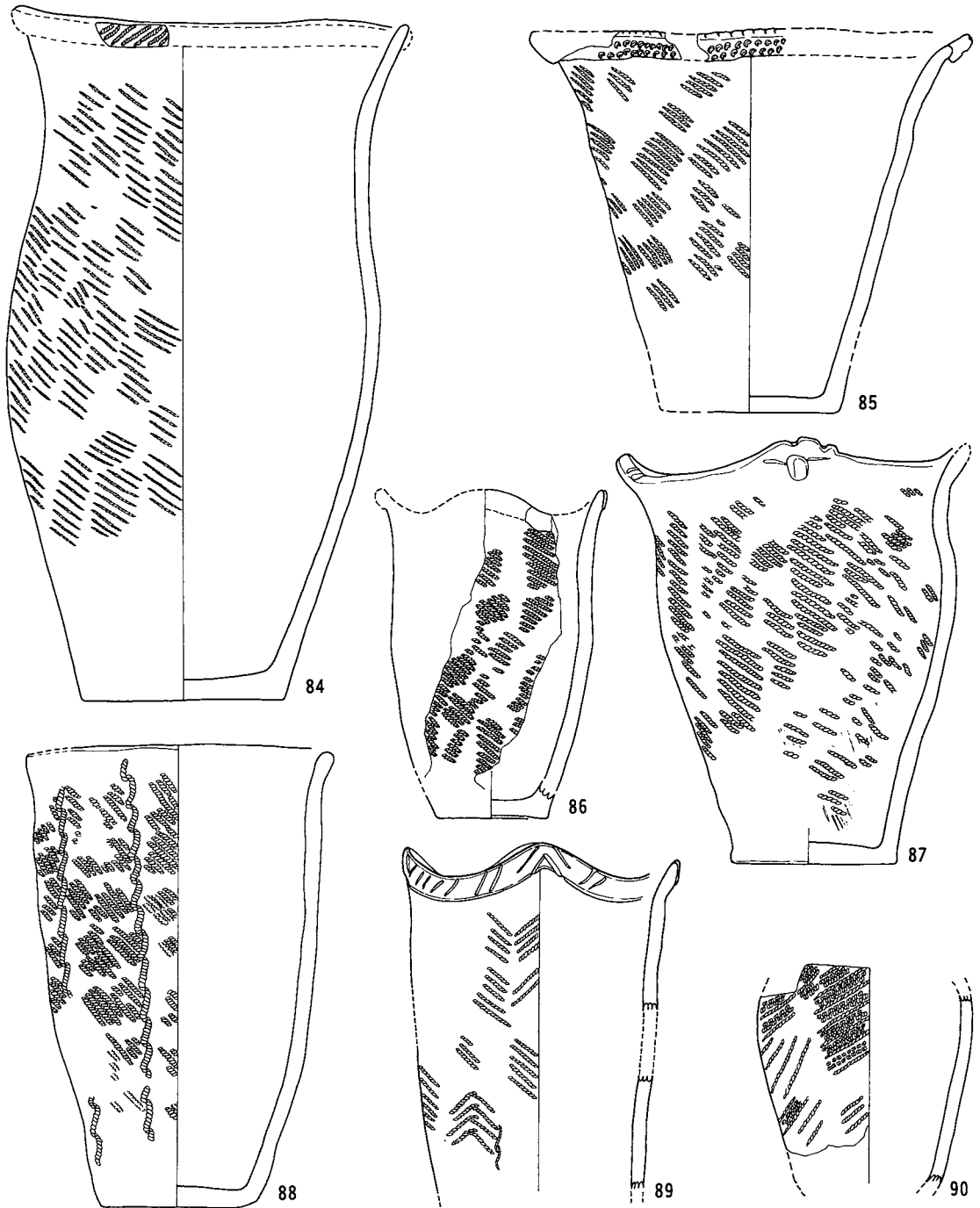


83

$$s = \frac{1}{4}$$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
80	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	4～5単位の波状口縁、ドーナツ状や弧状の沈線、円形の連続刺突、平行沈線文、LRヨコ	深鉢B6類
81	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	4単位の波状口縁、波頂部4本波底部1本の縦位の粘土紐、平行沈線文、結節したLRタテ	深鉢B15類
82	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	平縁、太い横位の沈線、弧状や馬蹄形状の擦糸圧痕、LRヨコ	深鉢B6類
83	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	平縁、複合口縁、円形の凹み、斜位の沈線、LRタテ	深鉢B14類

第24図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(14)



$$S = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
84	ⅢA 1号住・埋土上部	口～底部	平縁、複合口縁、LRヨコ、タテ	深鉢B12類
85	ⅢA 1号住・埋土上部	口～底部	平縁、複合口縁、連続爪形文(口唇部浅め、口縁部深め)、LRタテ	深鉢A10類
86	ⅢA 1号住・埋土上部	口～底部	4単位の波状口縁(?)、複合口縁、LRタテ	深鉢B12類
87	ⅢA 1号住・埋土上部	口～底部	4単位の波状口縁、波頂部3山状、円形の凹み、LRタテ	深鉢B12類
88	ⅢA 1号住・埋土上部	口～底部	平縁、結節したLRタテ	深鉢A15類
89	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	4単位の波状口縁、複合口縁上に斜位の沈線、LRタテ、ヨコ、末端結節の第1種羽状タテ	深鉢A15類
90	ⅢA 1号住・埋土上部	胴部	LR(付加糸)ヨコ	深鉢B12類

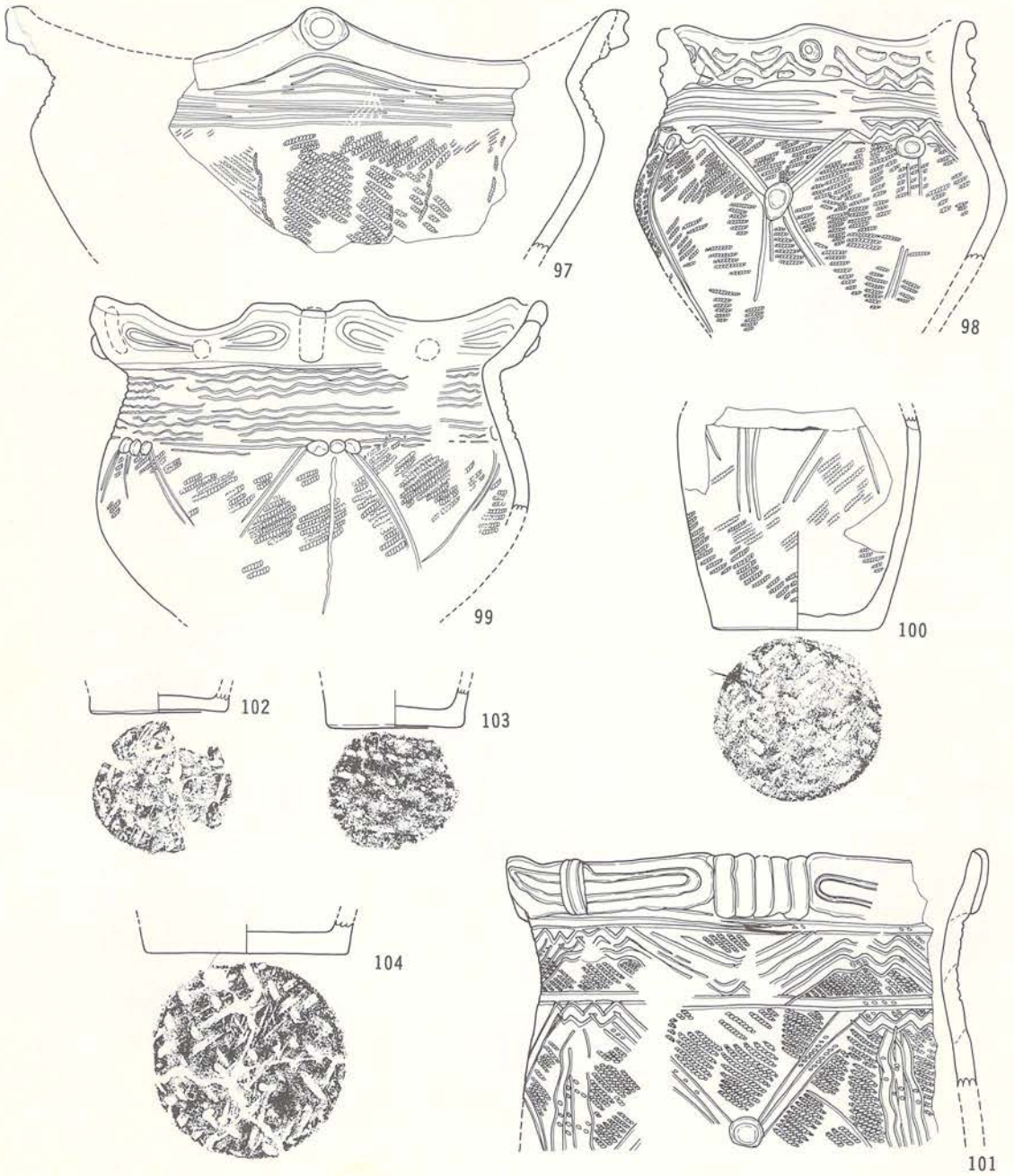
第25図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(15)



$$S = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
91	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	平縁、LRナナメ	深鉢B12類
92	ⅢA 1号住・埋土上部	胴部	Lナナメ	深鉢B12類
93	ⅢA 1号住・埋土上部	胴～底部	LRタテ	深鉢B12類
94	ⅢA 1号住・埋土上部	胴～底部	LRタテ	深鉢A12類
95	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	小波状口縁(口唇部に棒状工具による連続押圧)、無文	深鉢B
96	ⅢA 1号住・埋土上部	胴～底部	横位の沈線、縦位の櫛目状沈線	深鉢A 5類

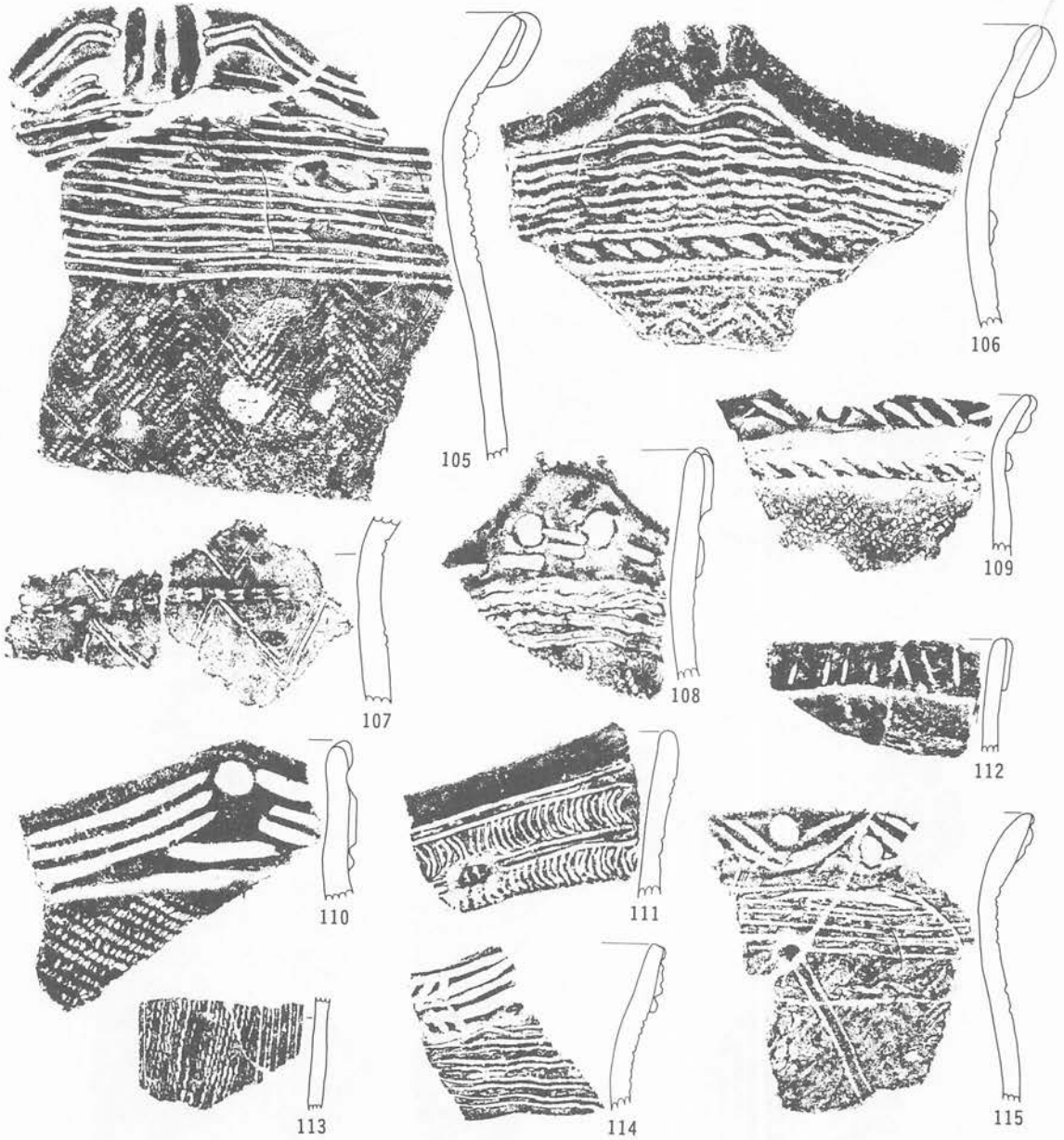
第26図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(16)



$$s = \frac{1}{4}$$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
97	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胸部	4単位の波状口縁、波頂部ボタン状貼付、平行沈線文、LRヨコ、末端結節のLRタテ	深鉢C15類
98	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胸部	4単位の波状口縁、円形の凹み、横位と鋸歯状の沈線、平行沈線文、ボタン状貼付、LRヨコ、ナナメ	深鉢C 8類
99	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胸部	6単位の波状口縁、波頂部2山状、ヘアピン状の沈線、平行沈線文、串団子状貼付、LRヨコ	深鉢C 7類
100	ⅢA 1号住・埋土上部	胴～底部	縦位や斜位の沈線、LRヨコ、網代痕	深鉢B 7類
101	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胸部	平縁、5本1組の縦位の粘土紐が4単位、その間に2本1組の粘土紐、平行沈線、ボタン、LRタテ	深鉢B 8類
102	ⅢA 1号住・埋土上部	底部	網代痕	深鉢
103	ⅢA 1号住・埋土上部	底部	網代痕	深鉢
104	ⅢA 1号住・埋土上部	底部	網代痕	深鉢

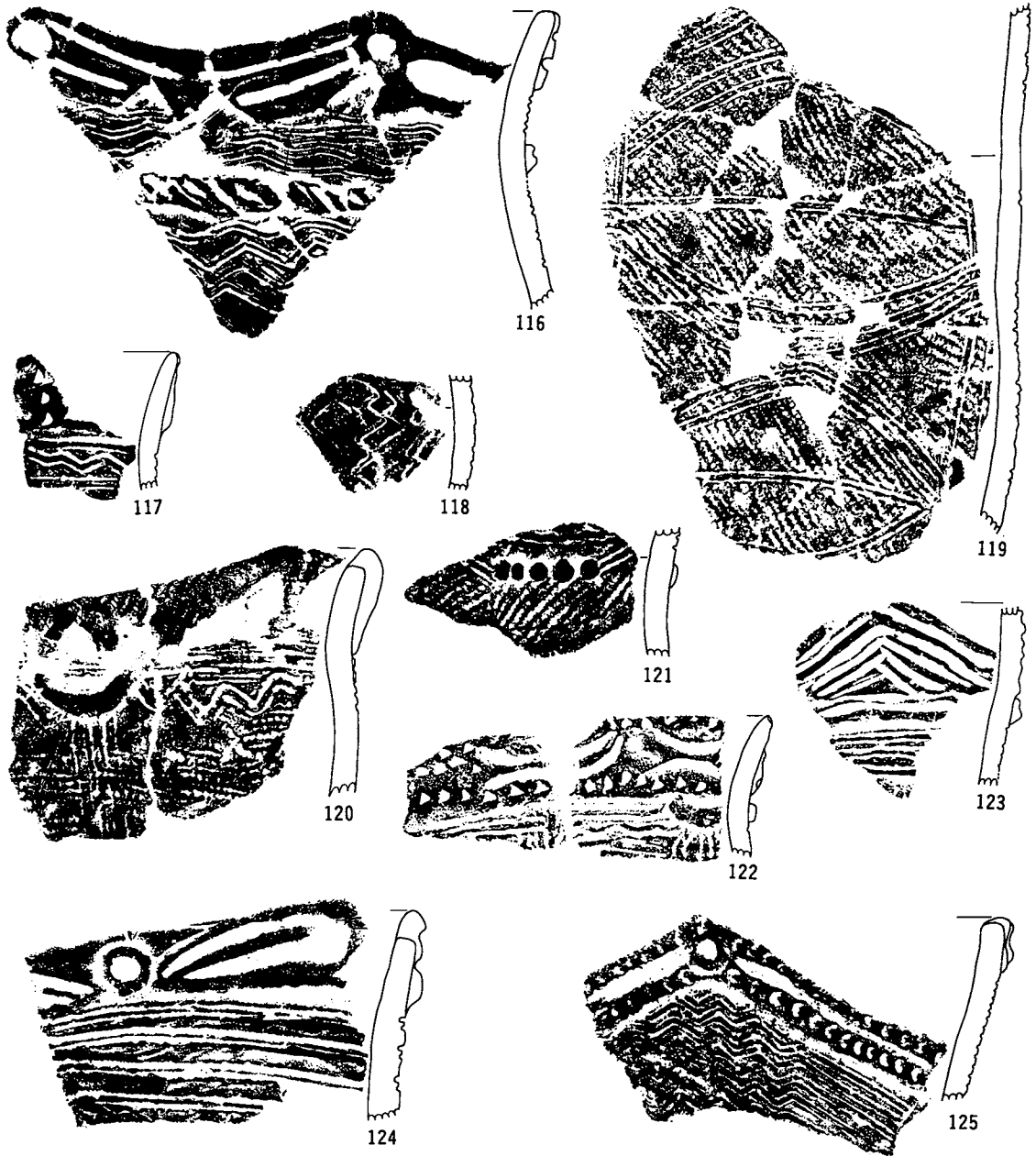
第27図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(17)



$$S = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
105	ⅢA 1号住・埋土下部	口～胴部	波頂部は2山状、その間に3本の粘土紐貼付、平行沈線文、羽状（結束第1種）タテ	深鉢B15類
106	ⅢA 1号住・埋土下部	口～頸部	波頂部は3山状、横位や小波状の沈線、斜位押圧の粘土紐、平行沈線文	深鉢B 6類
107	ⅢA 1号住・埋土下部	頸部	逆コの字状の爪形文、平行沈線文	深鉢B10類
108	ⅢA 1号住・埋土下部	口～頸部	波頂部に4本の刻み、円形の凹み、横位の太い沈線	深鉢B 6類
109	ⅢA 1号住・埋土下部	口～頸部	斜位押圧の粘土紐貼付、LRヨコ	深鉢B14類
110	ⅢA 1号住・埋土下部	口～頸部	波頂部に円形の凹み、横位の太い沈線、LRタテ	深鉢B 9類
111	ⅢA 1号住・埋土下部	口縁部	2条1単位の沈線間に弧状の連続沈線、刻目のある楕円状の粘土塊貼付	深鉢B13類
112	ⅢA 1号住・埋土下部	口縁部	平縁、複合口縁、縦位や斜位の沈線	深鉢A12類
113	ⅢA 1号住・埋土下部	胴部	縦位の平行沈線文、絡糸体Rタテ	深鉢A
114	ⅢA 1号住・埋土中部	口～頸部	口縁に沿って太い沈線、平行沈線文	深鉢B 6類
115	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	平縁、弧状の沈線、円形の凹み、平行沈線文、ボタン状貼付、末端結節のLRヨコ	深鉢B 8類

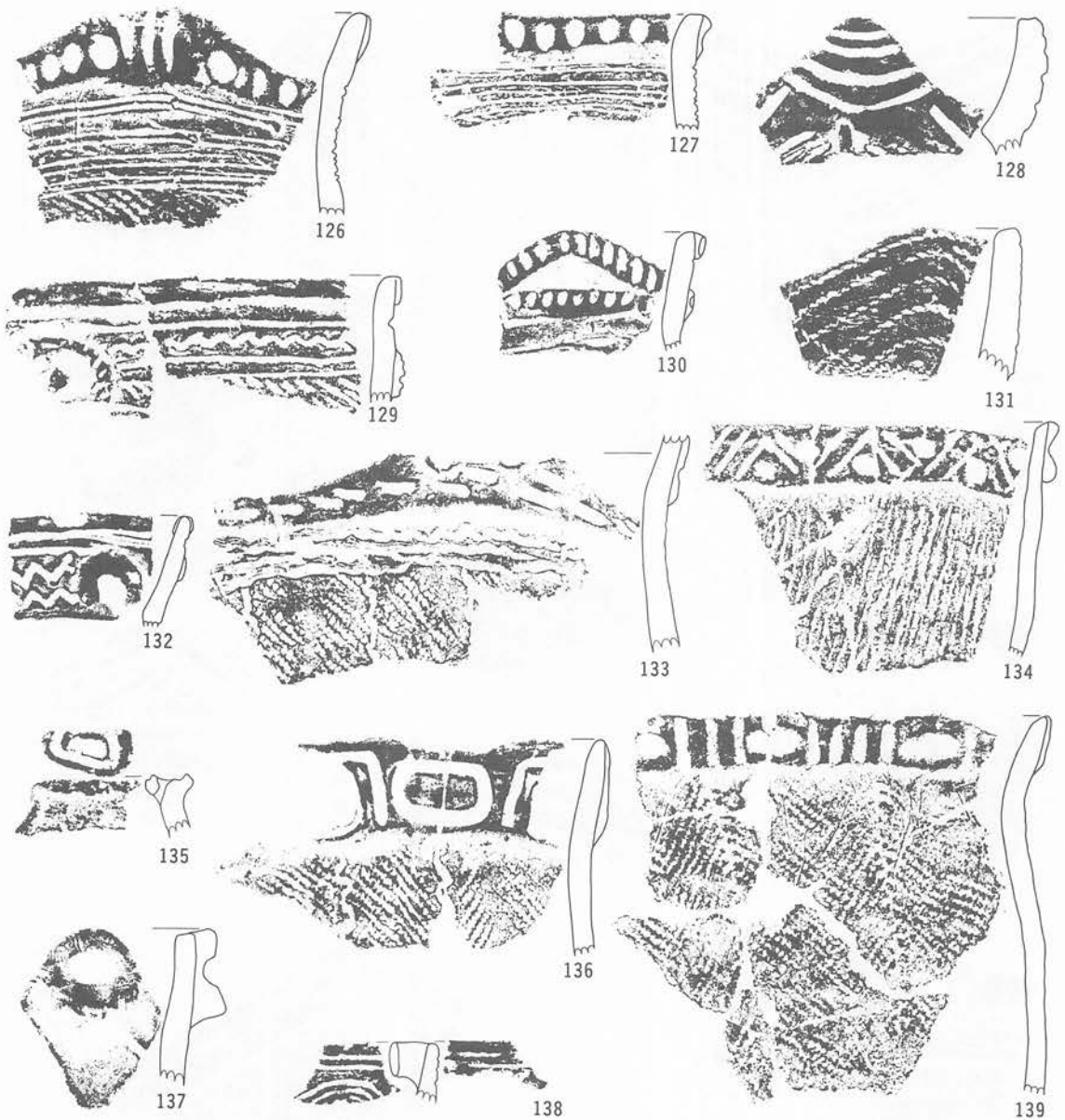
第28図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(18)



S = $\frac{1}{3}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
116	ⅢA 1号住・埋土中部	口～頸部	波頂部に円形の凹み、波底部に三角状の切り取り、斜位押圧の粘土紐、平行沈線文	深鉢B 9類
117	ⅢA 1号住・埋土中部	口～頸部	爪形文、平行沈線文	深鉢B10類
118	ⅢA 1号住・埋土中部	胴部	平行沈線文	深鉢B 7類
119	ⅢA 1号住・埋土中部	胴部	平行沈線文、LRタテ	深鉢B 7類
120	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	楕円状の切り取り、平行沈線文、弧状の粘土紐貼付、LRヨコ、ナナメ	深鉢B 6類
121	ⅢA 1号住・埋土中部	頸部	串団子状の粘土塊貼付、平行沈線文、LRヨコ	深鉢B 6類
122	ⅢA 1号住・埋土中部	口～頸部	弧状の太い沈線、爪形文、弧状の粘土紐貼付、平行沈線文	深鉢B10類
123	ⅢA 1号住・埋土中部	口～頸部	斜位や横位の太い沈線、平行沈線文	深鉢B 6類
124	ⅢA 1号住・埋土中部	口～頸部	ボタン状貼付、ヘアピンの太い沈線、平行沈線文	深鉢B 9類
125	ⅢA 1号住・埋土中部	口～頸部	波頂部にボタン状貼付、太い沈線、爪形文、平行沈線文	深鉢B10類

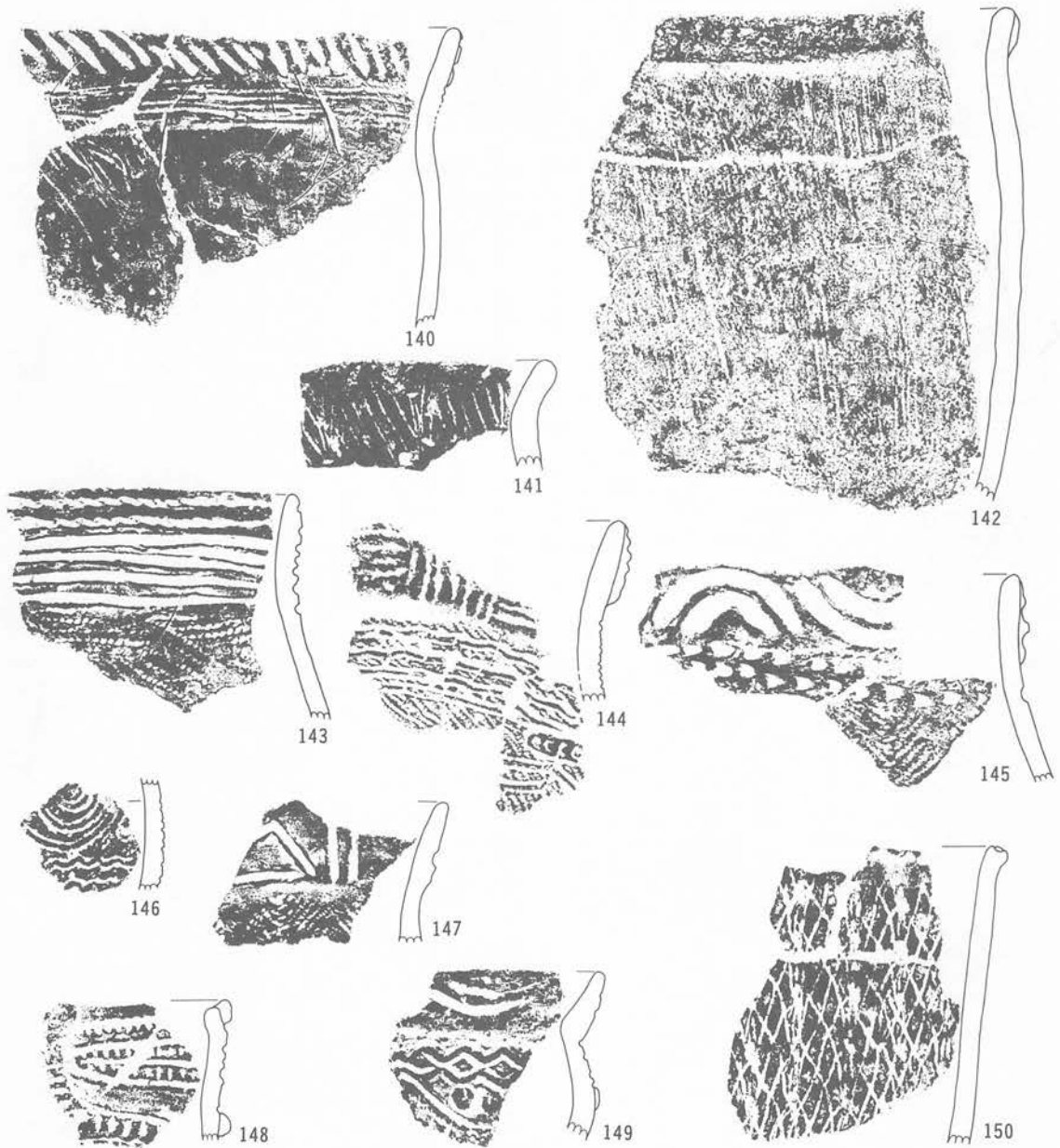
第29図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(19)



$$S = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
126	IIIA 1号住・埋土中部	口～頸部	波頂部に3本の沈線、その両側に連続した凹形の凹み、平行沈線文、LRタテ	深鉢B6類
127	IIIA 1号住・埋土中部	口～頸部	連続した凹形の凹み、平行沈線文	深鉢B6類
128	IIIA 1号住・埋土中部	口縁部	波頂部に横位～弧状の沈線、その両側に斜位の沈線	深鉢B14類
129	IIIA 1号住・埋土中部	口縁部	複合口縁、横位の沈線の間に小波状沈線と斜位の連続沈線、刻目を持つ凹形の粘土紐貼付	深鉢A19類
130	IIIA 1号住・埋土中部	口縁部	連続押圧のある粘土紐貼付	深鉢B6類
131	IIIA 1号住・埋土中部	口縁部	LRの原体圧痕が口縁に沿って5～6段	深鉢B16類
132	IIIA 1号住・埋土中部	口縁部	複合口縁、横位や鋸歯状の沈線、馬蹄形の粘土紐貼付	深鉢B6類
133	IIIA 1号住・埋土中部	口～胴部	凹形の凹み、横位の短い沈線、平行沈線文、結節したLRタテ	深鉢B15類
134	IIIA 1号住・埋土中部	口～胴部	2条1組の山形沈線によりつくり出された三角形の中に凹形の凹み、給条体Rタテ	深鉢A14類
135	IIIA 1号住・埋土中部	口縁部	ドーナツ状の突起部分	
136	IIIA 1号住・埋土中部	口～胴部	隅丸方形状や鍵状の太い沈線、結節したLR、RLタテ	深鉢B15類
137	IIIA 1号住・埋土中部	口縁部	波頂部に凹形の凹みを持つ凹盤状粘土塊貼付	深鉢A1類
138	IIIA 1号住・埋土中部	口縁部	ドーナツ状の突起部分、側面に沈線	
139	IIIA 1号住・埋土中部	口～胴部	楕円形の凹み、縦位の連続沈線、羽状（結束第1種）タテ	深鉢B15類

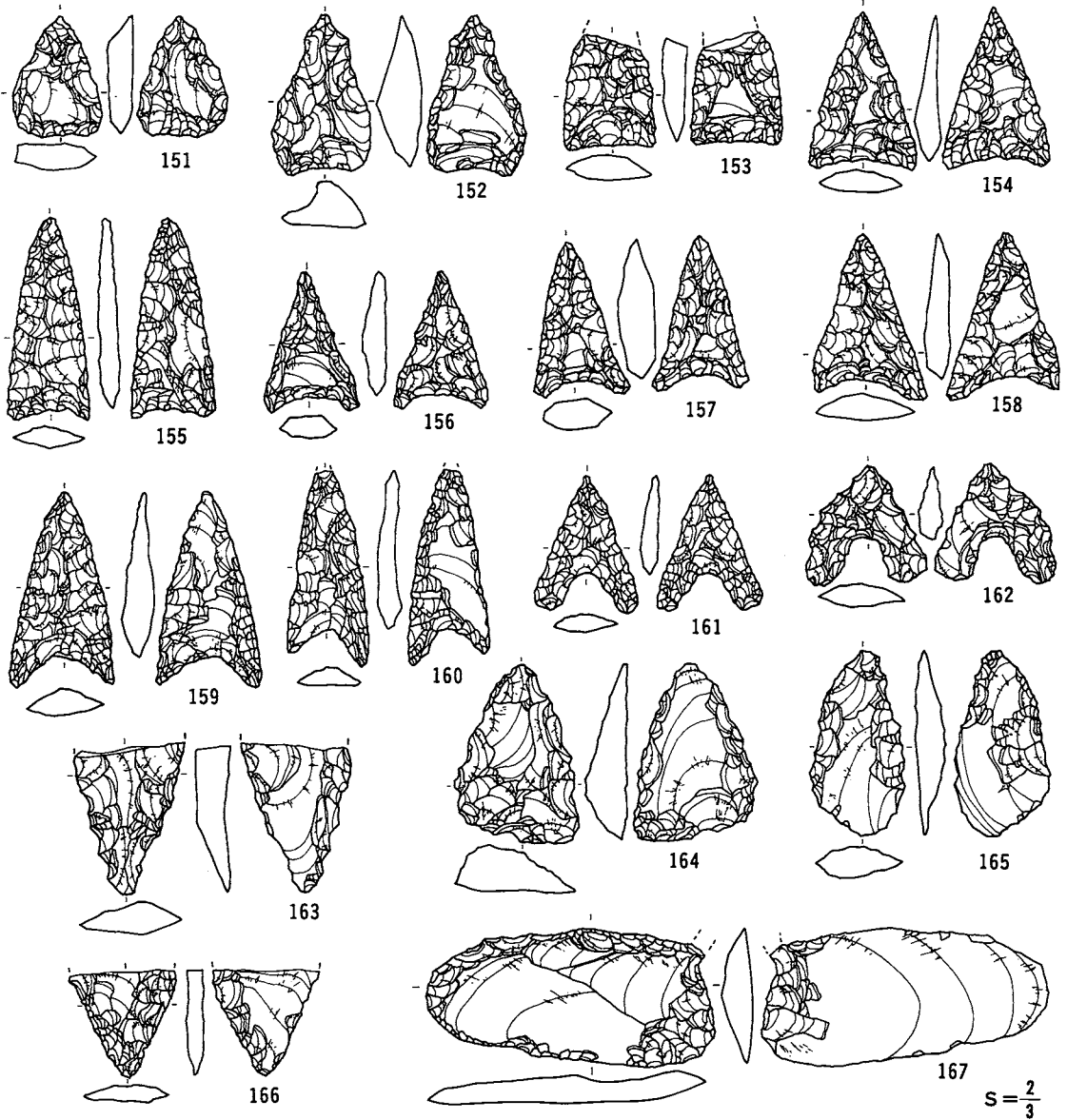
第30図 IIIA 1号住居跡出土遺物(20)



$$S = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
140	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	口縁部に斜位の連続押圧、平行沈線文	深鉢B14類
141	ⅢA 1号住・埋土中部	口縁部	絡糸体Rタテ	深鉢B 4類
142	ⅢA 1号住・埋土中部	口～胴部	複合口縁、平行沈線文	深鉢A 7類
143	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	L Rの原状圧痕横位に2段、横位の沈線4～5条、LRナナメ	深鉢B16類
144	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	L Rの原状圧痕横位や縦位に数条、平行沈線文、爪形文のある長楕円の粘土紐貼付、LRタテ	深鉢B16類
145	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	弧状の太い沈線、爪形文、羽状（結束第1種）タテ	深鉢B10類
146	ⅢA 1号住・埋土上部	胴部	平行沈線文	深鉢B 7類
147	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	縦位や横位や山形状の沈線、羽状（結束第1種）タテ	深鉢B15類
148	ⅢA 1号住・埋土上部	口縁部	連続した刻目を持つ粘土紐貼付、長楕円や横位の沈線、その中や上に棒状工具による連続刺突	深鉢B18類
149	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	弧状の沈線、平行沈線文、団子状粘土塊貼付、菱形や斜位の沈線	深鉢C 7類
150	ⅢA 1号住・埋土上部	口～胴部	口唇部に刻目、網目状捺糸文	深鉢A11類

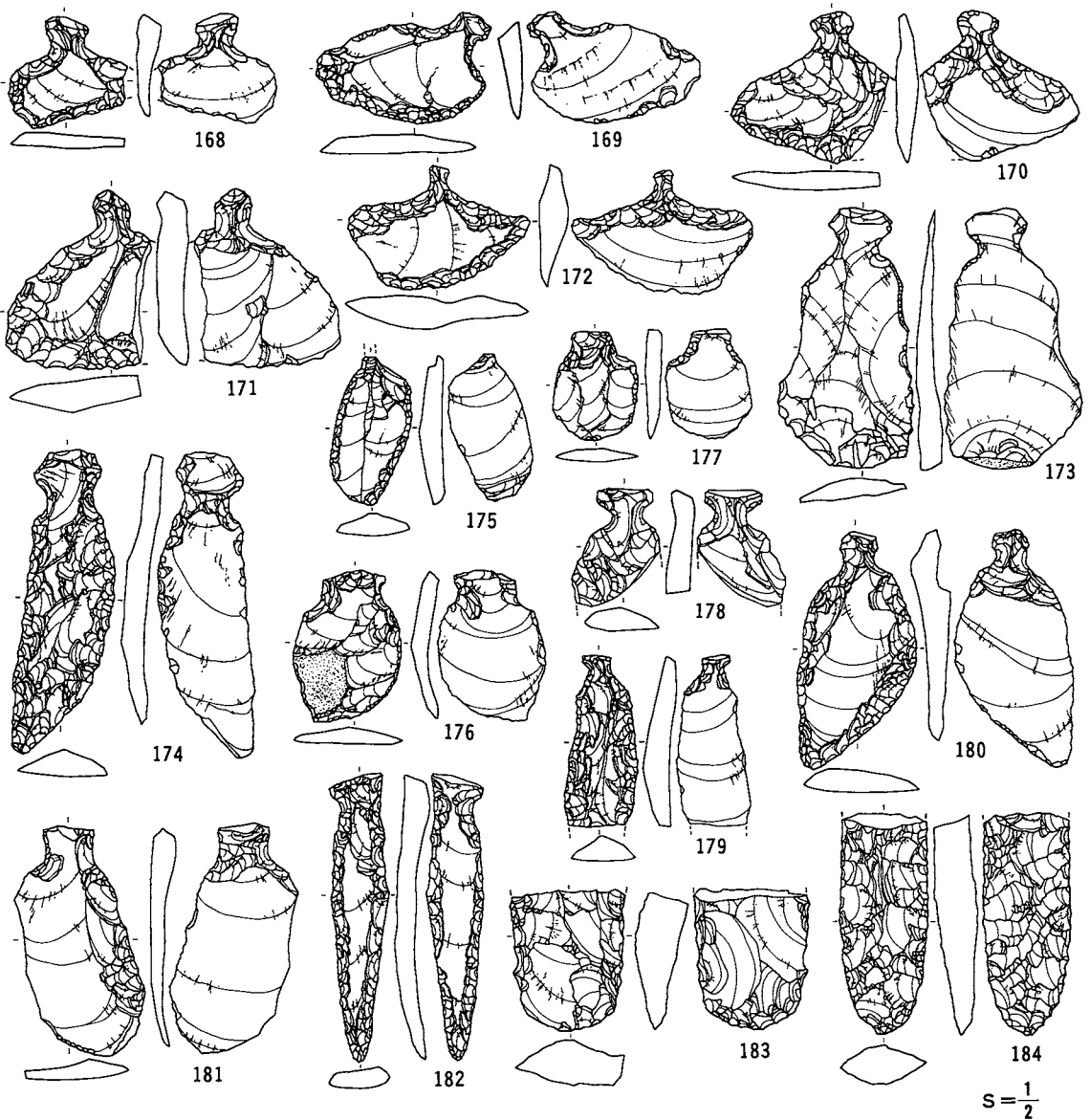
第31図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(21)



$$S = \frac{2}{3}$$

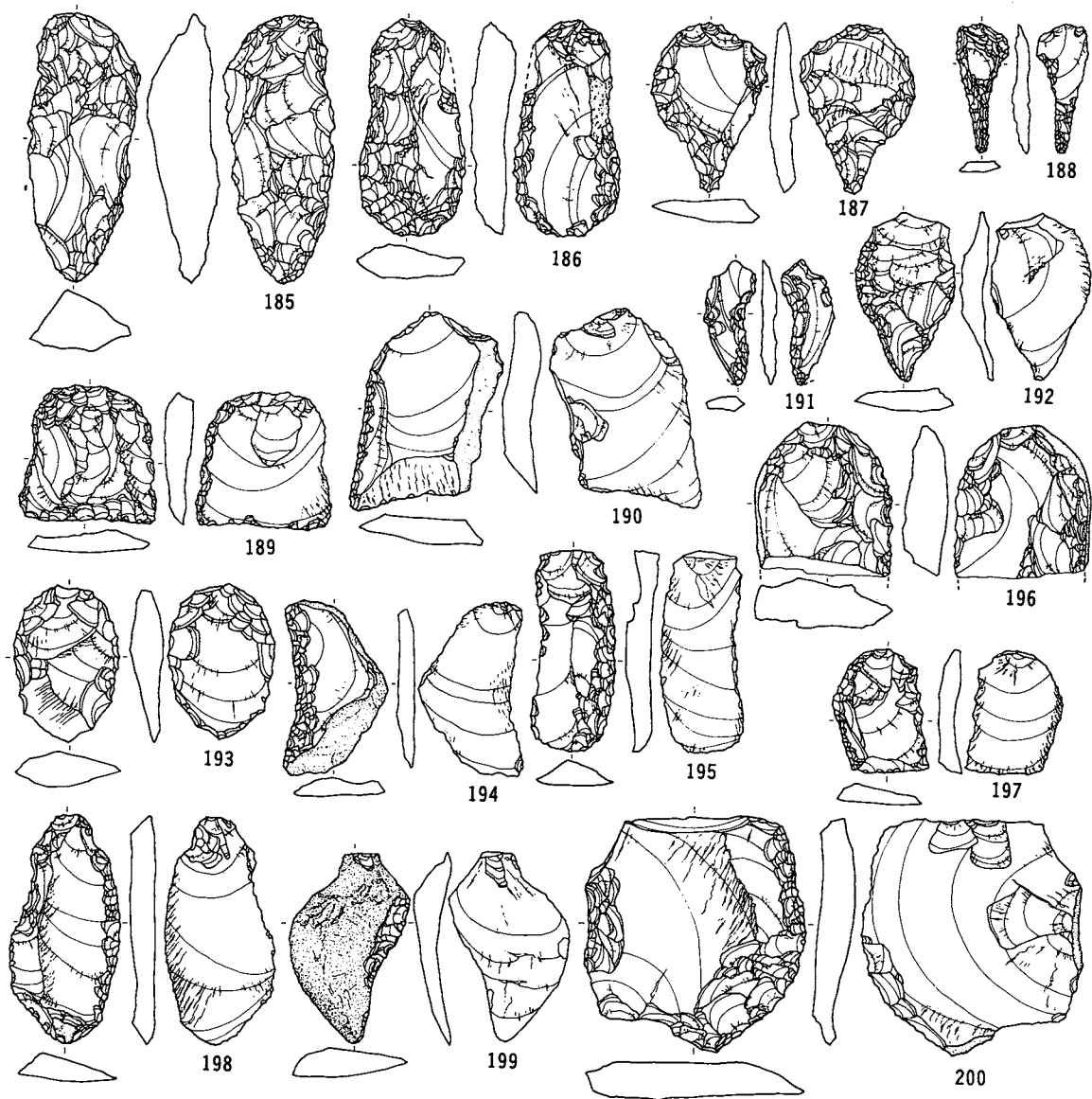
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
151	ⅢA 1号住Q 1埋土上層	石鏃	2.5	1.9	0.5	2.6	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
152	ⅢA 1号住Q 4埋土上層	石鏃	3.4	2.1	0.9	4.3	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
153	ⅢA 1号住埋土上層	石鏃	2.4	1.9	0.5	2.1	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
154	ⅢA 1号住Q 1埋土中層	石鏃	3.3	2.4	0.5	2.1	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
155	ⅢA 1号住P 62	石鏃	4.2	1.7	0.4	2.7	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
156	ⅢA 1号住埋土上層	石鏃	2.9	2.0	0.5	2.3	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
157	ⅢA 1号住埋土西中層	石鏃	3.2	2.0	0.8	3.3	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
158	ⅢA 1号住Q 1埋土下層	石鏃	3.5	2.4	0.5	2.7	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
159	ⅢA 1号住Q 3埋土上層	石鏃	4.1	2.2	0.6	3.4	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
160	ⅢA 1号住P 92	石鏃	4.1	1.7	0.4	2.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
161	ⅢA 1号住埋土上層	石鏃	2.9	2.2	0.4	1.3	珪質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
162	ⅢA 1号住Q 4埋土下層	石鏃	2.4	2.6	0.5	1.7	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
163	ⅢA 1号住埋土中層	尖頭器	3.2	2.3	0.7	4.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
164	ⅢA 1号住Q 1埋土上層	尖頭器	3.7	2.6	0.9	6.7	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
165	ⅢA 1号住埋土中層	尖頭器	3.9	2.0	0.6	4.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
166	ⅢA 1号住Q 2埋土上部	尖頭器	2.2	2.2	0.3	1.6	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
167	ⅢA 1号住P 14	石匙	4.6	5.5	0.7	13.8	珪質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

第32図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(22)



No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
168	ⅢA 1号住埋土中層	石匙	3.0	3.3	0.7	4.2	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
169	ⅢA 1号住Q 1埋土下部	石匙	4.5	3.9	0.7	8.4	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
170	ⅢA 1号住P57	石匙	4.1	4.3	0.6	8.3	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	*
171	ⅢA 1号住Q 2埋土中層	石匙	4.9	4.1	0.9	15.3	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
172	ⅢA 1号住埋土北半	石匙	3.5	5.1	0.9	9.5	珪質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
173	ⅢA 1号住PP 4埋土	石匙	7.3	3.8	0.7	17.2	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
174	ⅢA 1号住P92	石匙	8.5	2.8	0.8	16.2	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
175	ⅢA 1号住埋土	石匙	4.1	2.2	0.6	5.5	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
176	ⅢA 1号住Q 4埋土下層	石匙	4.2	3.0	0.4	6.7	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
177	ⅢA 1号住Q 4埋土上層	石匙	3.1	2.4	0.4	3.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
178	ⅢA 1号住P46	石匙	3.3	2.4	0.7	3.1	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
179	ⅢA 1号住Q 1埋土中層	石匙	4.7	2.0	0.7	2.1	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
180	ⅢA 1号住Q 1床直	石匙	6.6	3.4	0.9	15.5	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
181	ⅢA 1号住埋土下層	石匙	6.4	3.6	0.6	12.1	硬質泥岩	奥羽山地(雫石)	新第三系中新統	
182	ⅢA 1号住埋土東半上層	石匙	8.1	1.6	0.7	10.3	粘板岩	夏油川~仙人	古生界	
183	ⅢA 1号住P22	石筥	3.9	3.1	1.3	17.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
184	ⅢA 1号住埋土東半中層	石筥	5.2	2.5	1.1	19.6	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*

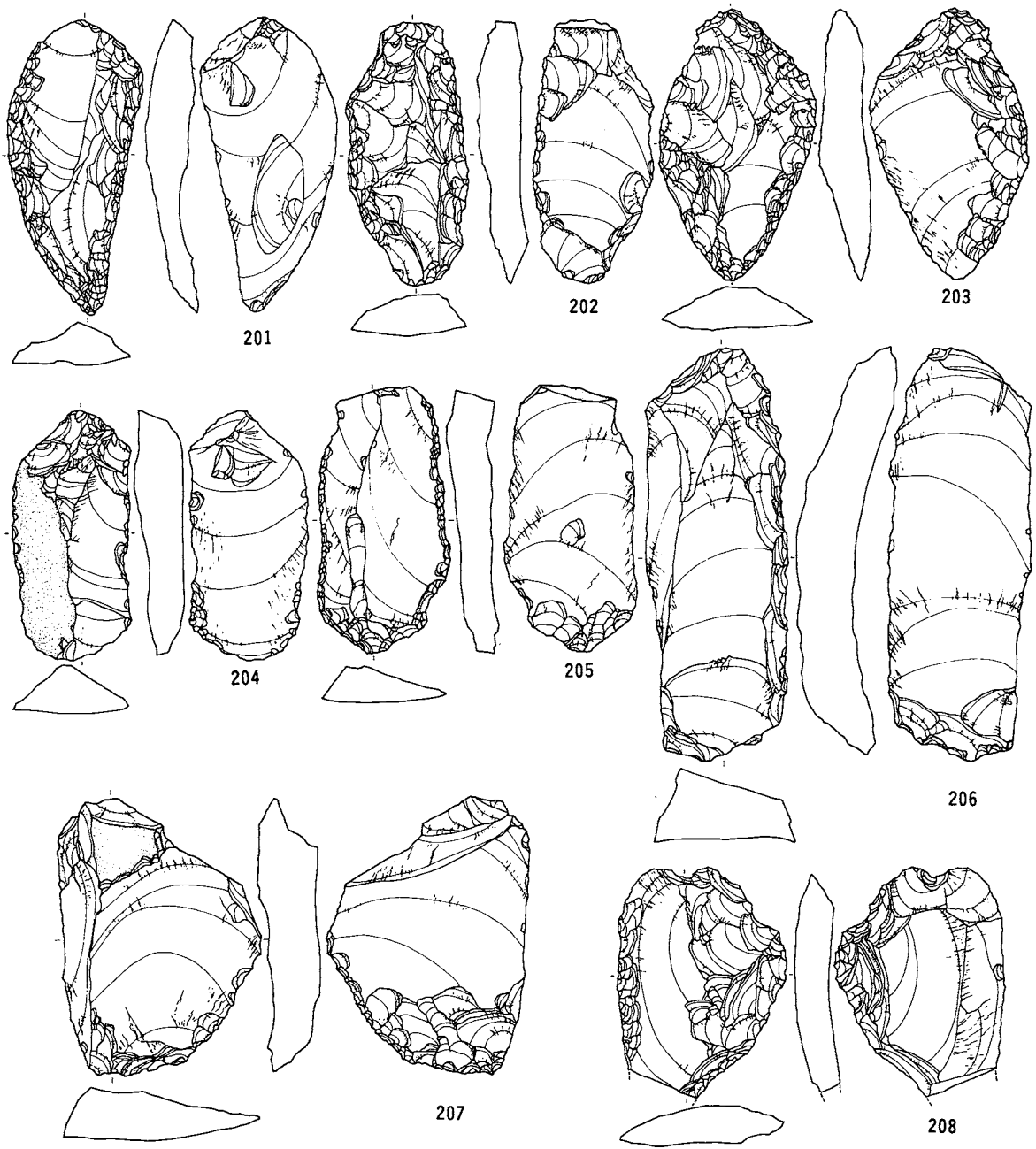
第33図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(23)



s = 1/2

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
185	ⅢA 1号住埋土東半中層	石鏡	7.5	2.9	1.8	44.1	珪質泥岩	礫石	新第三系中新統	
186	ⅢA 1号住埋土中層	石鏡	6.0	3.0	1.0	24.2	珪質泥岩	礫石	新第三系中新統	*
187	ⅢA 1号住Q 4中層	石錐	4.7	3.1	0.6	9.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
188	ⅢA 1号住P 62	石錐	3.6	1.4	0.5	2.1	珪質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
189	ⅢA 1号住P 97	削器	3.8	3.8	0.6	12.1	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	
190	ⅢA 1号住埋土	削器	6.2	3.7	0.7	23.1	粘板岩	夏油川一仙人	古生界	
191	ⅢA 1号住Q 1	削器	3.5	1.3	0.4	2.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
192	ⅢA 1号住Q 2埋土中層	石錐	4.7	2.7	0.6	8.2	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	
193	ⅢA 1号住Q 4埋土	削器	4.3	3.0	0.9	12.3	硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
194	ⅢA 1号住P 1埋土	削器	4.9	2.9	0.5	7.1	粘板岩	北上山地	古生界	
195	ⅢA 1号住P 41	削器	5.5	2.1	0.7	9.7	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	
196	ⅢA 1号住Q 2埋土中層	削器	4.3	3.9	1.4	28.6	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
197	ⅢA 1号住Q 2埋土中層	削器	3.5	2.4	0.5	5.6	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
198	ⅢA 1号住埋土	削器	6.4	2.8	0.7	14.8	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	
199	ⅢA 1号住Q 2埋土	削器	5.4	3.3	0.9	12.2	珪質泥岩	礫石	新第三系中新統	
200	ⅢA 1号住Q 2埋土中層	削器	6.1	6.4	0.9	56.2	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	

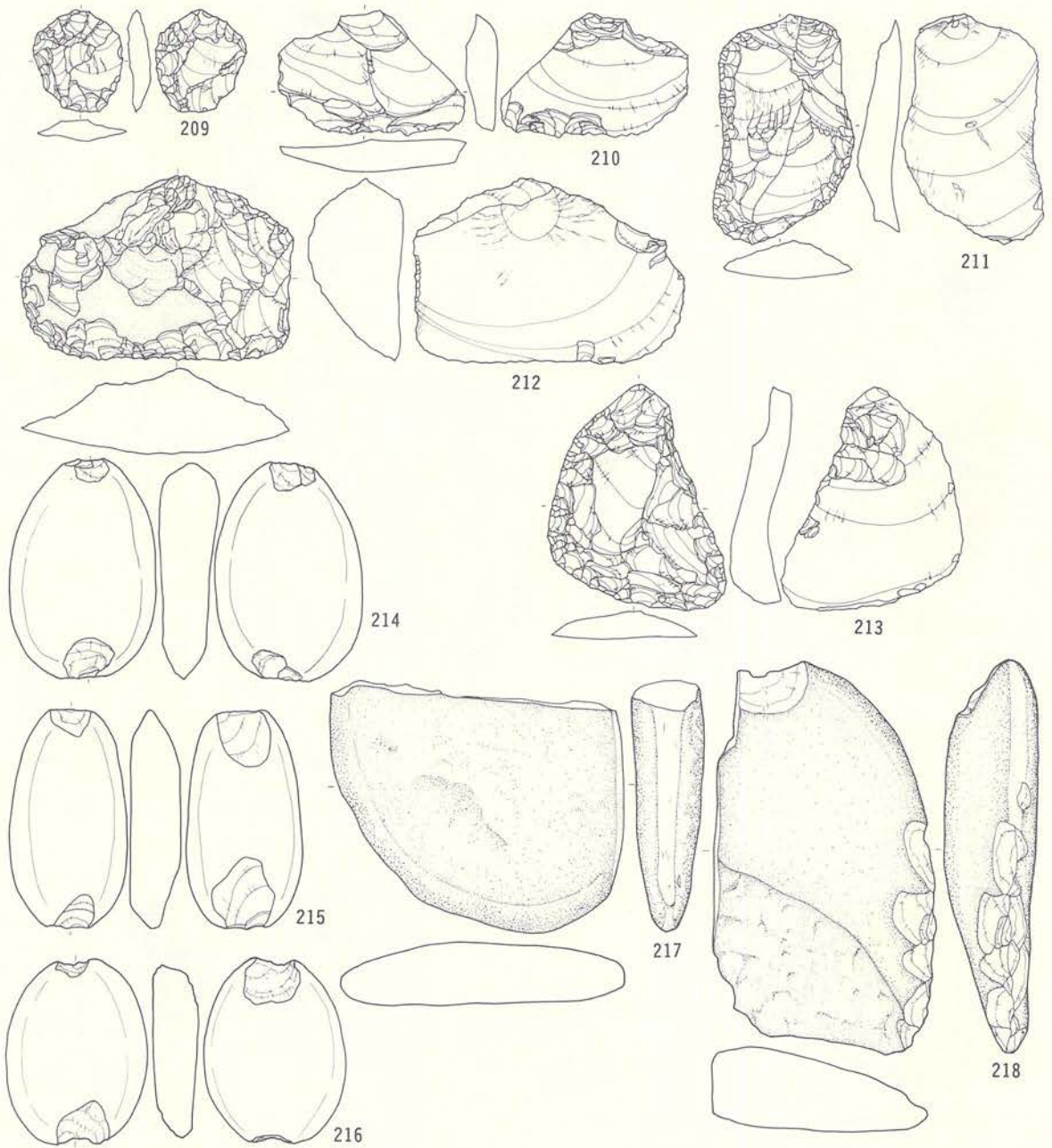
第34図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(24)



$$s = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
201	ⅢA 1号住Q 2埋土上層	削器	8.8	3.6	1.2	44.6	珩質泥岩	笨石	新第三系中新統	
202	ⅢA 1号住Q 2埋土中層	削器	7.9	3.5	1.2	42.9	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
203	ⅢA 1号住Q 3埋土中層	削器	8.1	4.5	1.3	50.2	硬質泥岩	奥羽山地笨石	新第三系中新統	
204	ⅢA 1号住P P 4埋土	削器	7.5	3.6	1.5	41.4	硬質泥岩	川尻以西○r 笨石西部	新第三系中新統	
205	ⅢA 1号住Q 4埋土上層	削器	8.0	3.8	1.1	41.7	硬質泥岩	奥羽山地笨石	新第三系中新統	
206	ⅢA 1号住Q 2埋土中層	削器	12.4	4.3	2.2	155.0	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
207	ⅢA 1号住P 44	削器	8.3	5.9	1.6	100.0	硬質泥岩	奥羽山地笨石	新第三系中新統	
208	ⅢA 1号住埋土	削器	6.9	5.1	1.2	45.9	硬質泥岩	川尻以西○r 笨石西部	新第三系中新統	*

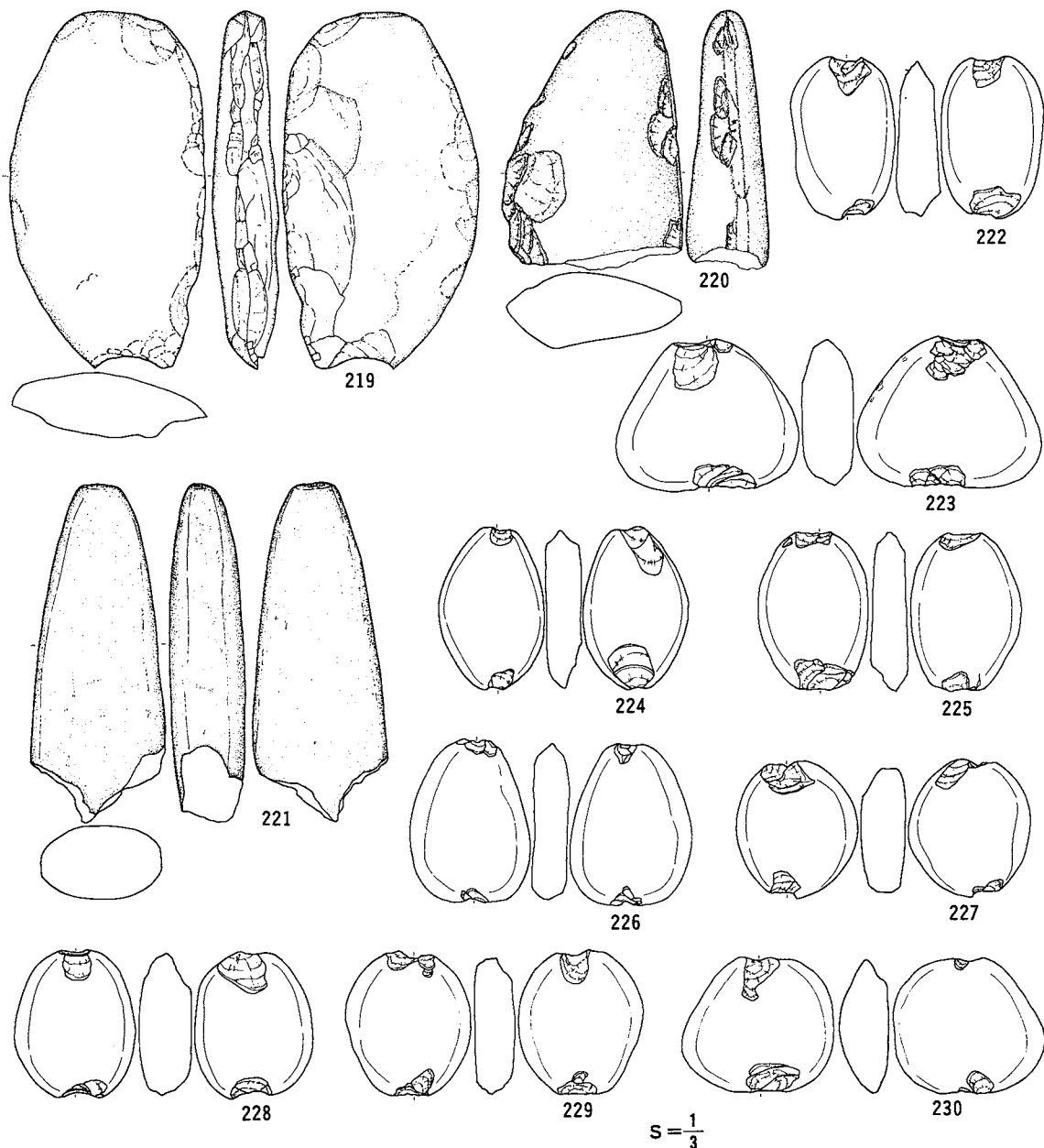
第35図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(25)



$s = \frac{1}{2}$

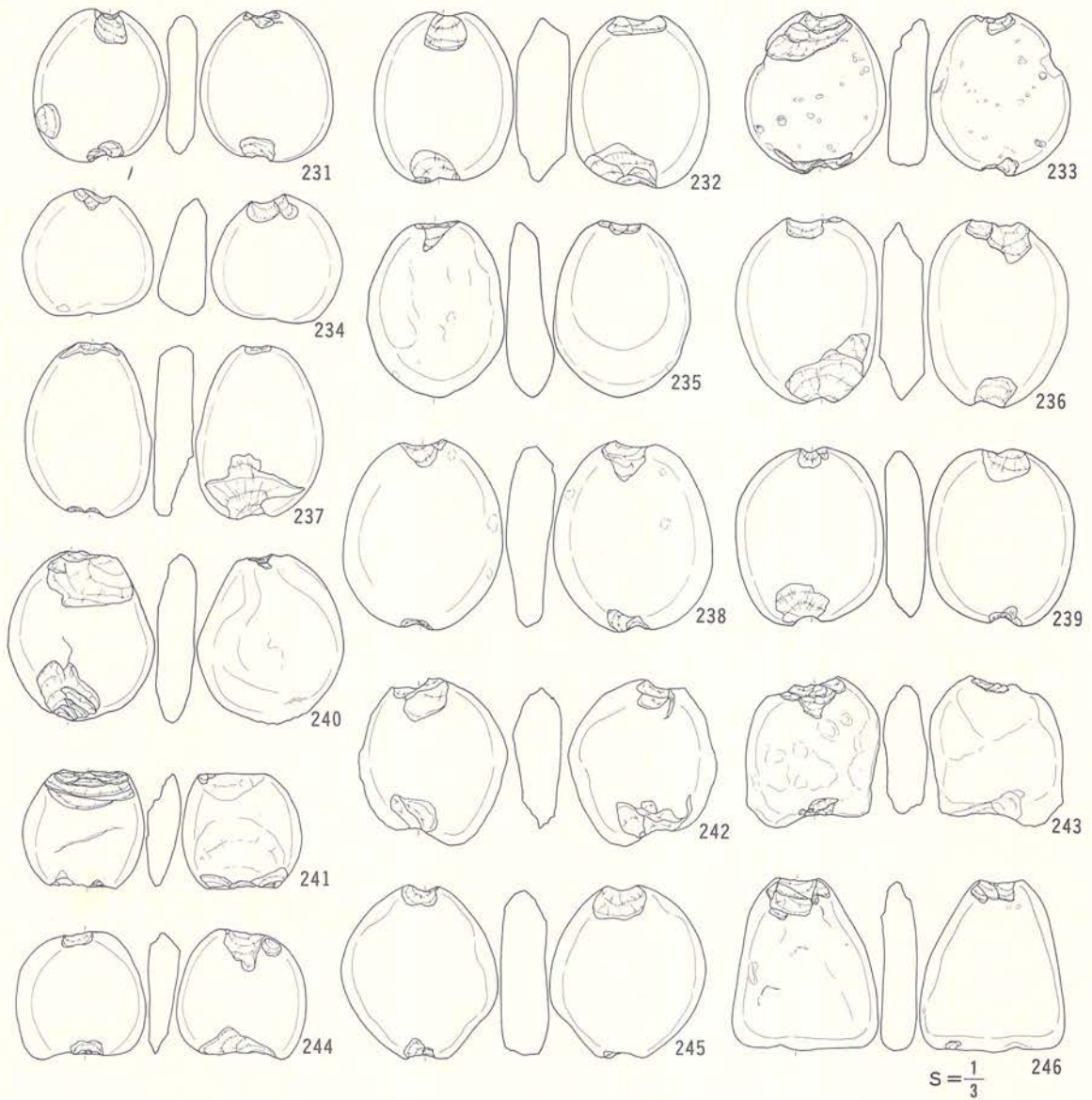
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
209	ⅢA 1号住埋土	ピエス・エスキュー	3.0	0.6	2.7	4.4	珪質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
210	ⅢA 1号住埋土	鋸歯状石器	5.6	3.7	0.9	19.6	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
211	ⅢA 1号住P 4埋土	搔器	6.9	4.2	1.3	31.9	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
212	ⅢA 1号住Q 2埋土中層	搔器	5.5	8.0	2.6	115.0	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
213	ⅢA 1号住埋土東半上層	搔器	6.3	5.9	1.0	47.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
214	ⅢA 1号住P91	石錘	6.5	6.4	1.7	70.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
215	ⅢA 1号住P 35	石錘	6.5	3.5	1.5	55.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
216	ⅢA 1号住埋土中層	石錘	5.5	4.2	1.4	45.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
217	ⅢA 1号住P 45	半円状扁平打製石器	7.4	8.6	1.8	165.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	*
218	ⅢA 1号住P 37	半円状扁平打製石器	11.4	6.5	2.3	230.0	濃緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第36図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(26)



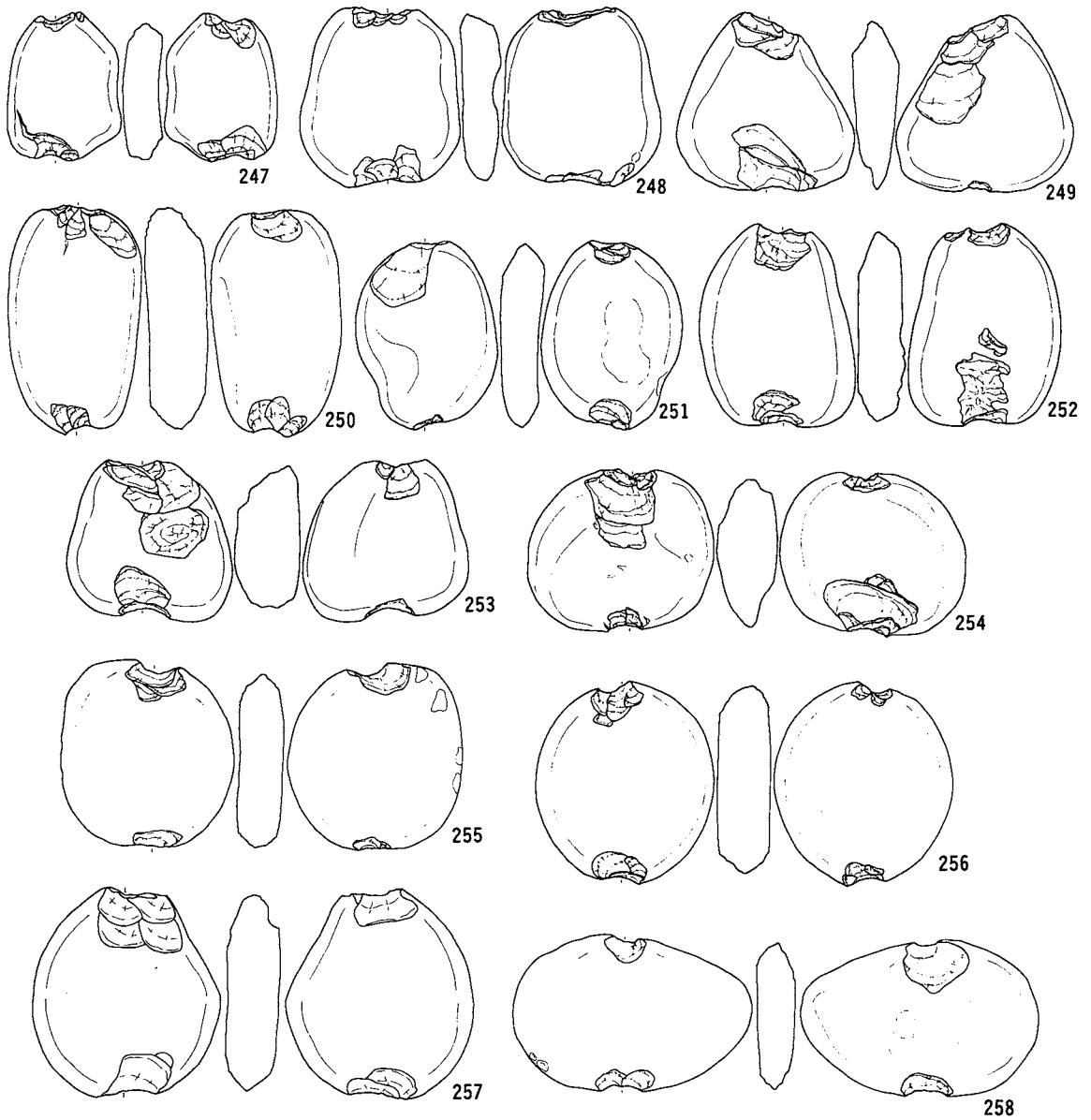
No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
219	ⅢA 1号住内落ち込み	半円状扁平打製石器	15.7	8.6	2.7	395.0	珉質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	*
220	ⅢA 1号住埋土上層	半円状扁平打製石器	11.2	7.9	3.2	390.0	濃綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
221	ⅢA 1号住P91	磨製石斧	14.8	5.8	3.2	450.0	濃綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
222	ⅢA 1号住Q 1埋土中層	石錘	7.1	4.4	1.9	70.1	兩輝石安山岩	本畑	新第三系中新統	
223	ⅢA 1号住P 45	石錘	6.6	7.9	2.2	140.0	珉質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
224	ⅢA 1号住埋土上層	石錘	7.1	4.6	1.5	70.1	珉質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
225	ⅢA 1号住P 28	石錘	7.0	4.8	1.7	80.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
226	ⅢA 1号住埋土下層	石錘	7.2	5.2	1.7	90.1	珉質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
227	ⅢA 1号住P 94	石錘	6.1	5.3	2.0	90.1	変質安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
228	ⅢA 1号住Q 1埋土中層	石錘	6.5	5.2	2.2	100.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
229	ⅢA 1号住埋土下層	石錘	6.4	5.4	1.9	85.1	珉質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
230	ⅢA 1号住P 92	石錘	5.9	6.5	2.2	120.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第37図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(27)



No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
231	ⅢA 1号住P94	石錘	6.5	5.6	1.5	115.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
232	ⅢA 1号住Q 1埋土中層	石錘	7.3	5.9	2.2	120.0	兩輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
233	ⅢA 1号住Q 4埋土下層	石錘	6.9	6.1	1.7	100.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
234	ⅢA 1号住Q 1埋土中層	石錘	5.4	5.6	2.2	70.1	兩輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
235	ⅢA 1号住Q 2埋土上層	石錘	7.4	5.8	2.0	100.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
236	ⅢA 1号住Q 4埋土下層	石錘	8.0	5.9	1.7	120.0	兩輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
237	ⅢA 1号住Q 2床直	石錘	7.3	5.3	1.6	75.1	兩輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
238	ⅢA 1号住埋土中層	石錘	8.1	6.7	1.9	145.0	兩輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
239	ⅢA 1号住Q 3埋土中層	石錘	7.6	6.2	1.7	120.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
240	ⅢA 1号住Q 2埋土下層	石錘	7.1	6.0	1.6	95.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
241	ⅢA 1号住P52	石錘	4.9	4.9	1.5	40.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
242	ⅢA 1号住P 1埋土	石錘	7.1	6.0	2.1	105.0	硬質泥岩	夏油川上流	新第三系中新統	
243	ⅢA 1号住埋土中層	石錘	6.4	5.7	1.6	80.1	デイサイト	羽山-本畑	新第三系中新統	
244	ⅢA 1号住Q 1埋土下層	石錘	5.4	5.4	1.4	45.1	兩輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	*
245	ⅢA 1号住埋土	石錘	7.4	6.5	2.1	140.0	兩輝石安山岩	本畑-岩崎新田	新第三系鮮新統	
246	ⅢA 1号住埋土南半	石錘	7.2	6.2	1.5	100.0	アルコース砂岩	奥羽山地	新第三系中新統	

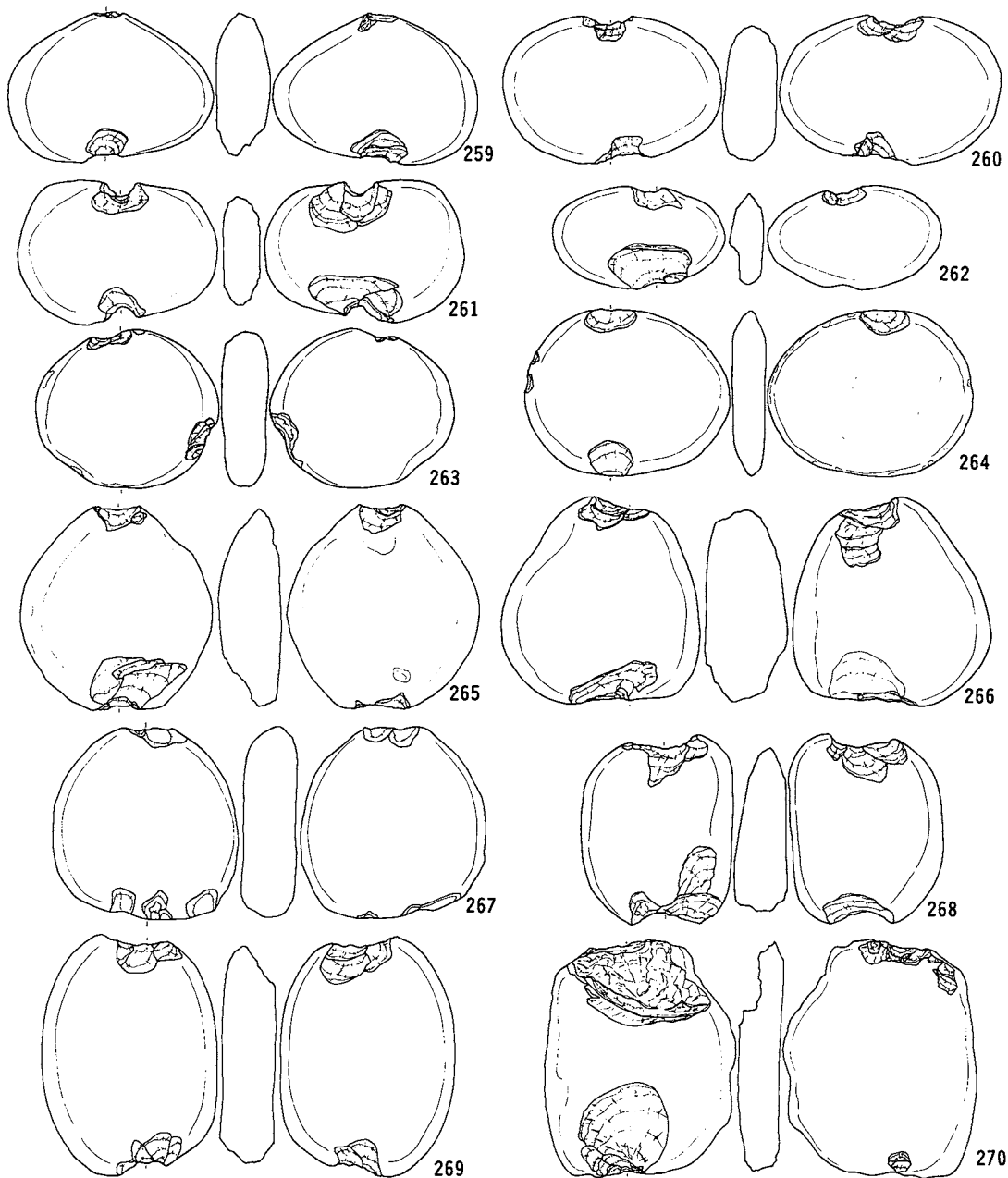
第38図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(28)



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
247	ⅢA 1号住Q 2埋土上層	石錘	6.3	4.7	1.7	80.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
248	ⅢA 1号住埋土上層	石錘	7.6	6.7	1.7	120.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
249	ⅢA 1号住埋土	石錘	7.5	7.5	2.0	150.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
250	ⅢA 1号住Q 2床直	石錘	9.8	5.5	2.5	185.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
251	ⅢA 1号住埋土中層	石錘	7.7	5.8	1.8	125.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
252	ⅢA 1号住P 29	石錘	8.5	6.3	2.2	175.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
253	ⅢA 1号住埋土上層	石錘	6.8	7.0	2.9	190.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
254	ⅢA 1号住P 67	石錘	7.0	8.0	2.8	205.0	アイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	
255	ⅢA 1号住P 60	石錘	8.1	7.3	2.0	165.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
256	ⅢA 1号住埋土上層	石錘	8.6	7.7	2.2	205.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
257	ⅢA 1号住P P 2	石錘	8.8	7.8	2.0	210.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
258	ⅢA 1号住埋土北半	石錘	6.6	10.1	1.7	175.0	両輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	

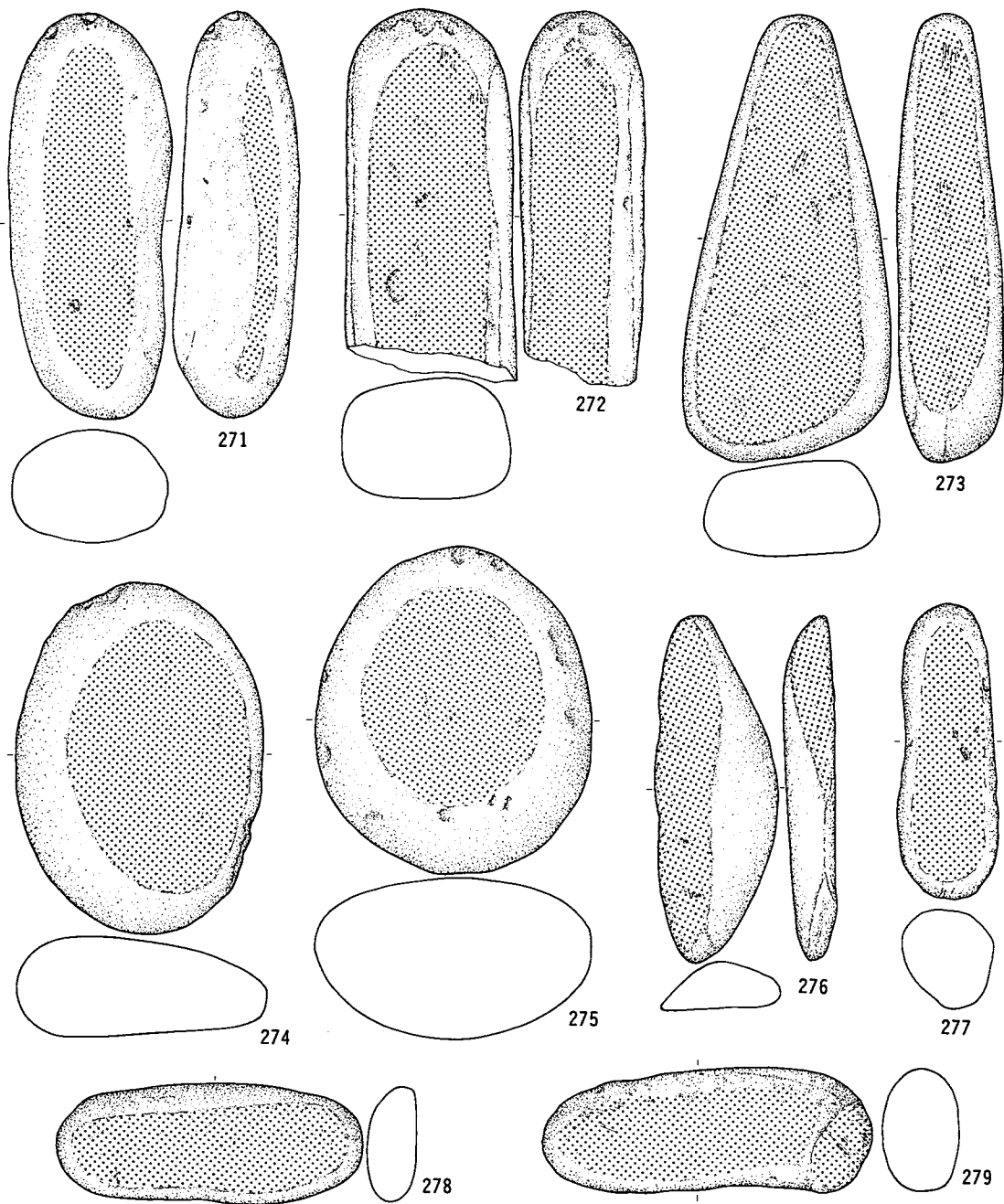
第39図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(29)



$$s = \frac{1}{3}$$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
259	ⅢA 1号住Q 1埋土中層	石鏟	6.0	8.8	2.4	165.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
260	ⅢA 1号住埋土	石鏟	6.3	9.5	2.5	195.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
261	ⅢA 1号住埋土中層	石鏟	6.4	8.7	1.7	125.0	アイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	
262	ⅢA 1号住P 1	石鏟	4.5	7.5	1.5	70.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
263	ⅢA 1号住P 94	石鏟	7.6	6.8	2.1	160.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
264	ⅢA 1号住埋土中層	石鏟	7.1	8.9	1.4	135.0	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
265	ⅢA 1号住P 97	石鏟	8.8	8.2	2.7	250.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
266	ⅢA 1号住埋土北半	石鏟	9.0	8.5	3.5	320.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
267	ⅢA 1号住内落ち込み	石鏟	8.2	7.9	2.4	195.0	アイサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
268	ⅢA 1号住Q 4埋土下層	石鏟	8.3	6.6	2.3	165.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
269	ⅢA 1号住Q 1埋土中層	石鏟	10.4	7.6	2.5	280.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
270	ⅢA 1号住埋土下層	石鏟	10.1	8.4	1.9	235.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

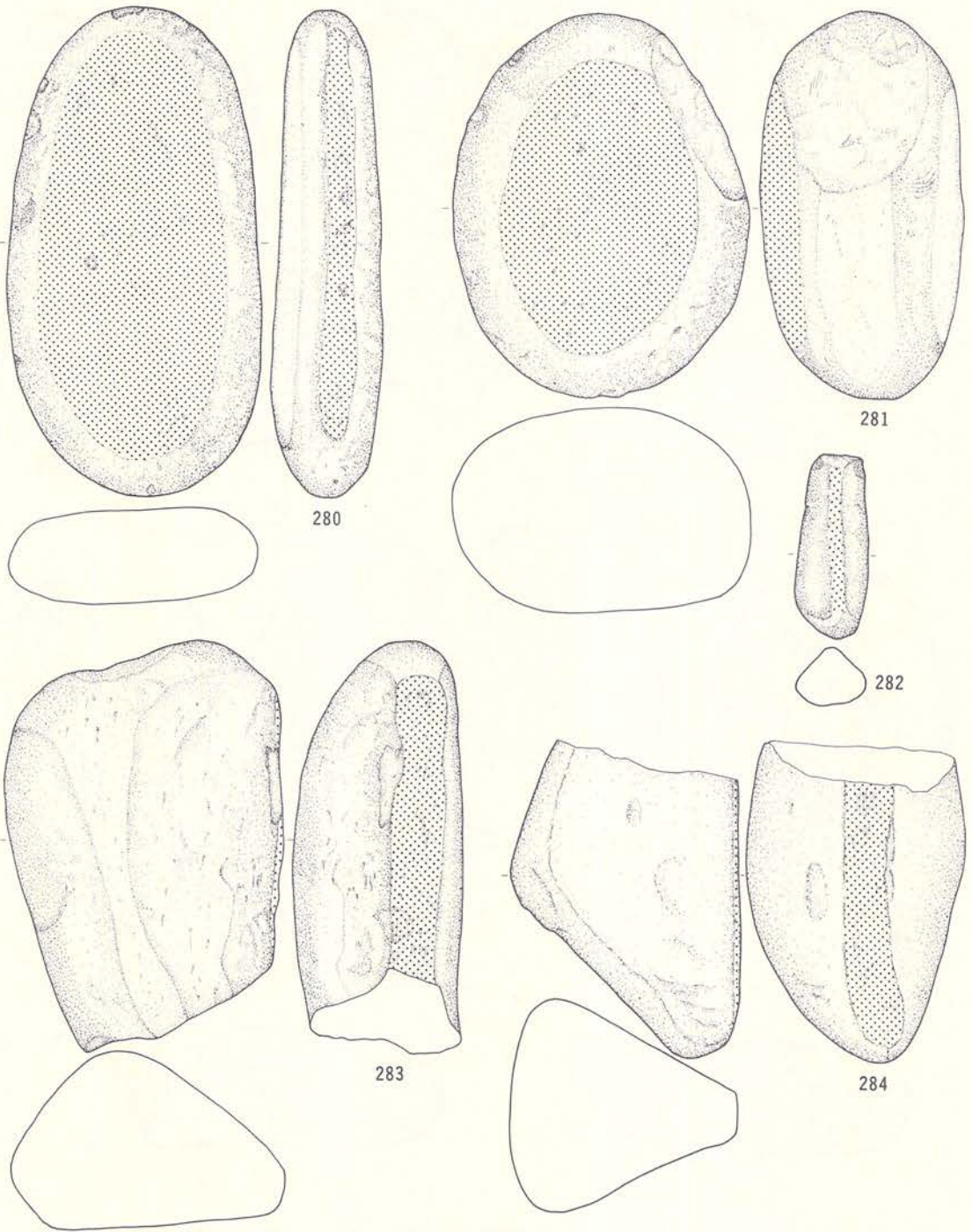
第40図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(30)



$s = \frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
271	ⅢA 1号住P37	すり石	11.7	4.6	3.4	280.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
272	ⅢA 1号住P75	すり石	10.8	5.0	3.5	365.0	濃緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
273	ⅢA 1号住埋土中層	すり石	13.0	6.0	2.7	385.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
274	ⅢA 1号住P36	すり石	10.2	7.2	2.9	335.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
275	ⅢA 1号住Q4埋土下層	すり石	9.4	8.1	4.7	520.0	花崗閃緑岩	和賀仙人~夏油川	中生界	
276	ⅢA 1号住Q2埋土下層	すり石	10.0	3.5	1.3	60.1	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
277	ⅢA 1号住埋土	すり石	8.5	3.0	2.9	105.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
278	ⅢA 1号住埋土下層	すり石	8.9	3.5	1.8	65.1	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
279	ⅢA 1号住埋土北半	すり石	9.6	3.5	2.2	138.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

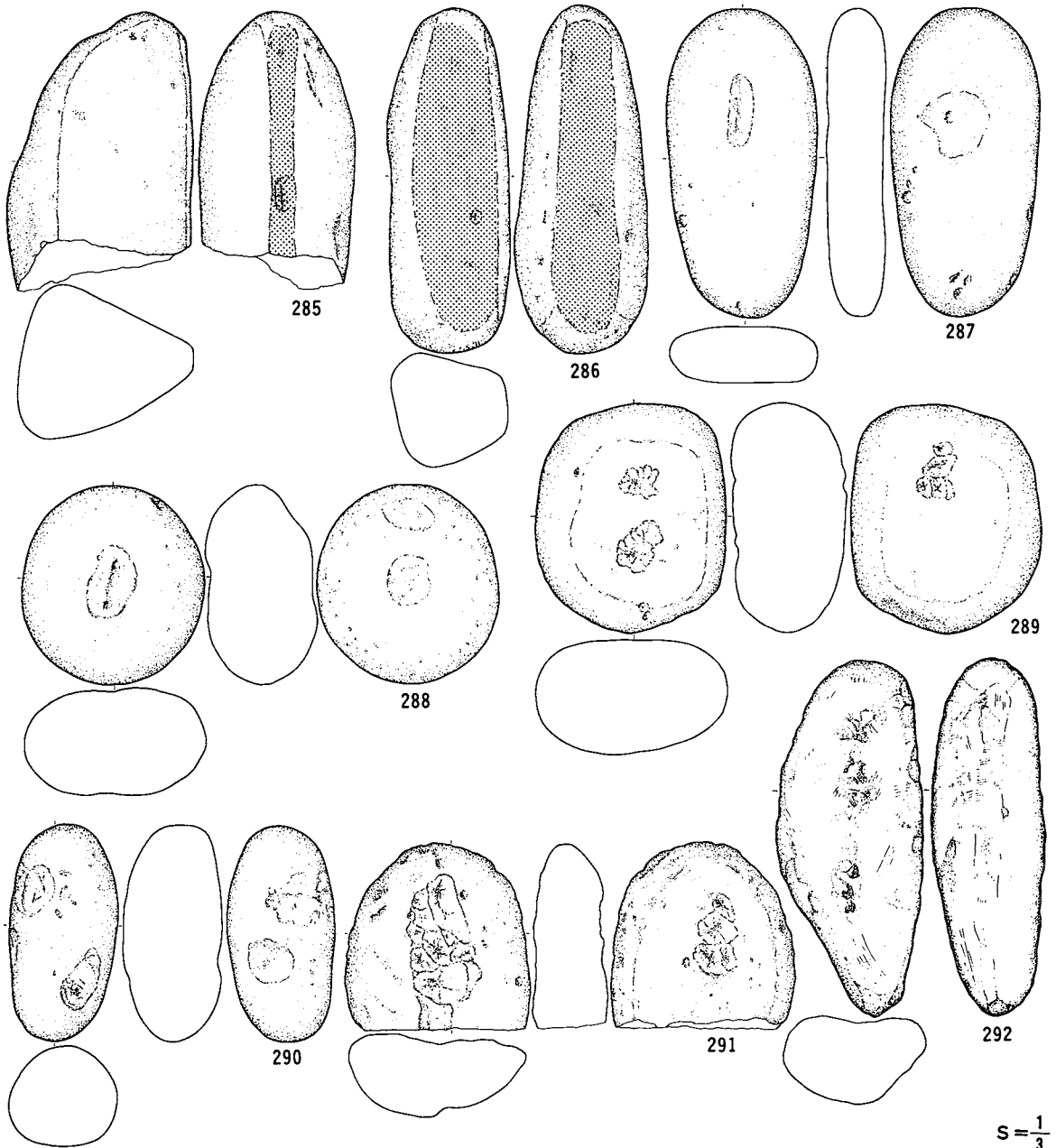
第41図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(3)



$s = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
280	ⅢA 1号住Q 1埋土上層	すり石	14.7	7.6	2.8	420.0	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
281	ⅢA 1号住Q 1埋土上層	すり石	11.7	6.2	6.1	925.0	輝石安山岩	奥羽山地-夏油川	新第三系鮮新統	
282	ⅢA 1号住P32	特殊磨石	5.5	2.1	1.7	28.1	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
283	ⅢA 1号住床直	特殊磨石	12.4	8.3	5.4	760.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
284	ⅢA 1号住埋土P59	特殊磨石	9.5	6.9	9.4	445.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

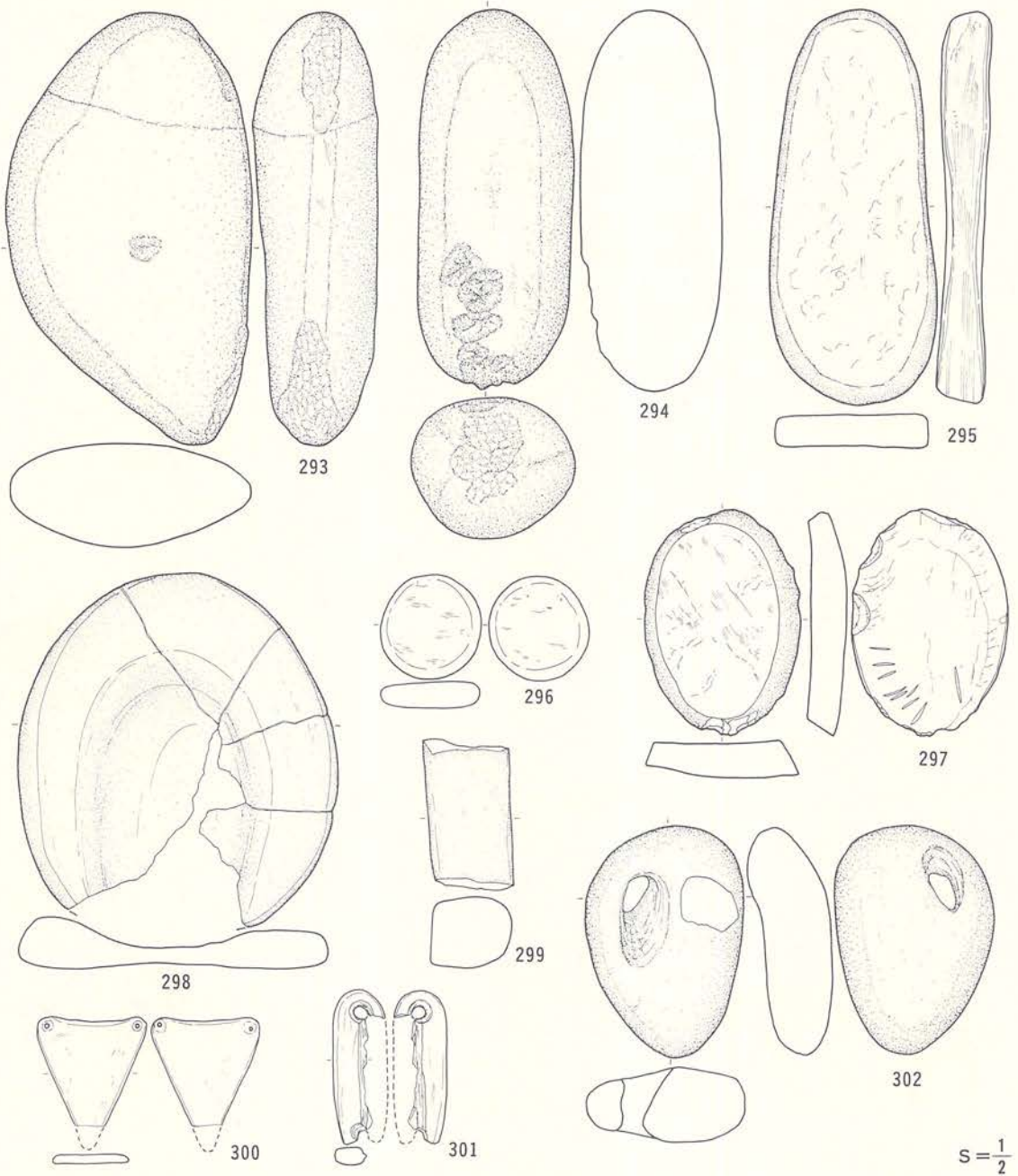
第42図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(32)



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
285	ⅢA 1号住Q 4埋土下層	特殊磨石	12.2	8.3	6.8	790.0	濃綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
286	ⅢA 1号住埋土中層	特殊磨石	15.2	5.4	4.9	710.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	
287	ⅢA 1号住埋土P 67	凹石	13.5	6.5	2.5	255.0	淡綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
288	ⅢA 1号住埋土下層	凹石	8.8	8.0	4.8	500.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
289	ⅢA 1号住P 75	凹石	10.2	8.3	5.0	580.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	
290	ⅢA 1号住埋土P 67	凹石	9.6	4.8	4.4	215.0	アルコール砂岩	奥羽山地	新第三系中新統	
291	ⅢA 1号住Q 4埋土上層	凹石	8.3	8.2	3.5	290.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	*
292	ⅢA 1号住Q 4埋土	特殊磨石	15.6	6.2	4.4	580.0	花崗閃緑岩	仙人～夏油川	中生界	

第43図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(33)



No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
293	ⅢA 1号住埋土中層	敲石	12.8	7.2	3.0	485.0	濃綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
294	ⅢA 1号住埋土上層	敲石	11.4	7.5	2.1	250.0	淡綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
295	ⅢA 1号住P75	円盤状石製品の未製品	11.6	4.9	1.2	65.1	綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
296	ⅢA 1号住Q 4埋土下層	円盤状石製品	3.0	2.9	0.7	8.8	綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
297	ⅢA 1号住P90	円盤状石製品の未製品	6.6	4.6	1.0	41.1	綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
298	ⅢA 1号住埋土中層	石皿状石製品	10.4	9.5	1.5	70.1	砂質凝灰岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	*
299	ⅢA 1号住P94	石棒	4.4	2.4	2.1	45.4	粘板岩(ホルンフェルス)	夏油川~和賀仙人	古生界	*
300	ⅢA 1号住埋土	垂飾	3.2	3.2	0.3	3.5	綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
301	ⅢA 1号住Q 1埋土中層	垂飾	4.5	1.6	0.5	2.9	珪化木	羽山~本畑	新第三系中新統	*
302	ⅢA 1号住P92	有孔碟	6.8	4.7	2.2	75.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第44図 ⅢA 1号住居跡出土遺物(34)

切り合い住居群

ⅢA 1号住居跡の北西側に、住居跡に伴うと思われる多数の柱穴が検出されたが、重複がはげしくそれぞれの平面形が把握できないため、切り合い住居群として一括した。ただし便宜上ベルトの断面やわずかに確認できるプランなどから、5つの住居跡が切り合ったものと想定しそれぞれⅢA 2号住居跡、ⅢA 3号住居跡、ⅢA 4号住居跡、ⅢA 8号住居跡、ⅢA 9号住居跡とした。(第45図)それに伴い出土遺物の取り上げもこれに依った。尚、ⅢA 2号住居跡としたものは、出土遺物より平安時代の住居跡と考えられるが、切り合い住居群として一括した関係上、本項で記載する。

(ⅢA 2号住居跡)

遺構 (第46図、写真図版7)

<検出状況> 切り合い住居群の北西側に位置し、ⅢA 3号住居跡、ⅢA 8号住居跡、ⅢA 9号住居跡を切る。<平面形> 隅丸長方形と推定される。<規模> およそ7.5×6m <壁高> 北側で最大14cmを測る。<埋土> 炭化物、焼土粒まじりの2層の暗褐色土から成る。<床面> 北東側に住居跡に伴うと思われるピットが2基検出され、そのうちのP1からほぼ完形の坏が15点ほど出土した。<カマド> 大小6基の焼土が検出されたが、カマドになると考えられるものはなかった。

遺物 (第48～55図、写真図版99～105)

<土器> 図化できた個体が44点で全て土師器である。坏が36点、甕が6点、鍋と耳皿が1点ずつ出土している。そのほか縄文土器や土師器の破片等合わせて大コンテナ1箱程出土している。

<石器> 登録したものが59点、フレークが210点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘27点、削器5点、コア、石鏃、尖頭器、石匙、石筥、すり石各3点、円盤状石製品2点、Rフレ、Uフレ、半円状偏平打製石器、磨製石斧、特殊磨石、台石、石剣各1点

遺構の時期

出土遺物などから平安時代と考えられる。

(ⅢA 3号住居跡)

遺構 (第46図、写真図版8)

<検出状況> 切り合い住居群の北東側に位置し、ⅢA 2号住居跡に切られ、ⅢA 9号住居跡を切る。<平面形> 楕円形と推定される。<規模> およそ9.5×8m <壁高> 南側で最大21cmを測る。<埋土> 単層で、炭化物、焼土粒まじりの暗褐色土が入る。<床面> 北東から南西にかけて溝が走るが、遺構に伴うものかどうかは不明である。<炉> 大小7基の焼土が検出されたが、そのうちの1基は埋設炉で、中から完形の土器が直立した状態で出土した。

遺物 (第56～67図、写真図版106～115)

<土器> 図化できた個体が10点、底部片1点、拓本として掲載した破片29点、板状土偶2点、ミニチュア土器1点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ3箱程出土している。

<石器> 登録したものが109点、フレークが626点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘39点、削器14点、石筥7点、石鏃、尖頭器各6点、Rフレ、Uフレ、石匙、鋸歯状石器、すり石、特殊磨石各4点、石錐3点、コア、搔器、凹石、敲石各2点、玦状耳飾、垂飾になると思われる石製品各1点

遺構の時期

出土遺物などから縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

(ⅢA 4号住居跡)

遺構 (第46図、写真図版8)

<検出状況> 切り合い住居群の南側に位置し、ⅢA 1号住居跡に切られ、ⅢA 8号住居跡とⅢA 9号住居跡を切る。<平面形> ほぼ円形と推定される。<規模> およそ径7m <壁高> 南側で最大22cmを測る。<埋土> 上下2層に大別され、上が黒褐色土、下が暗褐色土で、共に土器片を多く含む。<床面> 中央部よりやや北側の北東から南西にかけて直線的に溝が走るが、遺構に伴うものかどうかは不明である。また、南壁際に壁溝が巡る。<炉> 大小8基の焼土が検出されたが、中央部より東側の1基は62×58cmの石囲炉である。

遺物 (第67～83図、写真図版115～128)

<土器> 図化できた個体が6点、底部片7点、拓本として掲載した破片52点、板状土偶2点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ5箱程出土している。

<石器> 登録したものが167点、フレークが793点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘61点、削器17点、石鏃13点、すり石、特殊磨石各11点、Rフレ、石匙、石筥各7点、Uフレ、尖頭器、凹石各5点、コア、搔器、敲石各3点、円盤状石製品、石棒各2点、石錐、磨製石斧、石皿、石柱、両面礫器各1点

遺構の時期

出土遺物などから縄文時代中期初頭と考えられる。

(ⅢA 8号住居跡)

遺構 (第47図、写真図版9)

<検出状況> 切り合い住居群の西側に位置し、ⅢA 2号住居跡、ⅢA 4号住居跡、ⅢA 9号住居跡に切られる。<平面形> ほぼ円形と推定される。<規模> およそ径6m <壁高> 西側で最大17cmを測る。<埋土> 大きく3層に分かれ、炭化物まじりの褐色土が主体をなす。<床面> ⅢA 9号住居跡との重複部分に、根巻き石を有する柱穴状土坑が検出されたが、

遺構に伴うものかどうかは不明である。〈炉〉 遺構内の3基の焼土のうち、東側のもののみ床面から検出され固くしまることから、遺構に伴う地床炉と考えられる。

遺物 (第84～92図、写真図版129～137)

〈土器〉 図化できた個体が9点、底部片1点、拓本として掲載した破片17点、ミニチュア土器3点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ2箱程出土している。

〈石器〉 登録したものが85点、フレークが104点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘40点、すり石、特殊磨石各8点、石鏃、削器各5点、凹石4点、尖頭器、搔器各3点、石匙2点、Rフレ、コア、石筥、磨製石斧、垂飾、石剣、円盤状石製品各1点

遺構の時期

出土遺物などから縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

(ⅢA 9号住居跡)

遺構 (第47図、写真図版9)

〈検出状況〉 切り合い住居群のほぼ中央に位置し、ⅢA 2号住居跡、ⅢA 3号住居跡、ⅢA 4号住居跡に切られ、ⅢA 8号住居跡を切る。〈平面形〉 ほぼ円形と推定される。〈規模〉 およそ径7m 〈壁高〉 南東側で最大19cmを測る。〈埋土〉 10層以上に細分されるが、炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。〈床面〉 遺構のほぼ中央部に検出されたP1の中から、完形に近い土器が横になった状態で出土し、その下からは規模40×35cm、深さ20cmの副穴が検出された。また、P1の東側に周りが火山口状に盛り上がっている土坑が検出されたが、遺物は出土せず遺構に伴うものかどうかは不明である。〈炉〉 検出されなかった。

遺物 (第93～96図、写真図版137～140)

〈土器〉 図化できた個体が4点、底部片1点、拓本として掲載した破片10点、有孔土製品1点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ1箱程出土している。

〈石器〉 登録したものが37点、フレークが98点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘12点、削器7点、石匙6点、Rフレ、Uフレ、搔器各2点、コア、石鏃、石錐、凹石、垂飾、有孔礫各1点

遺構の時期

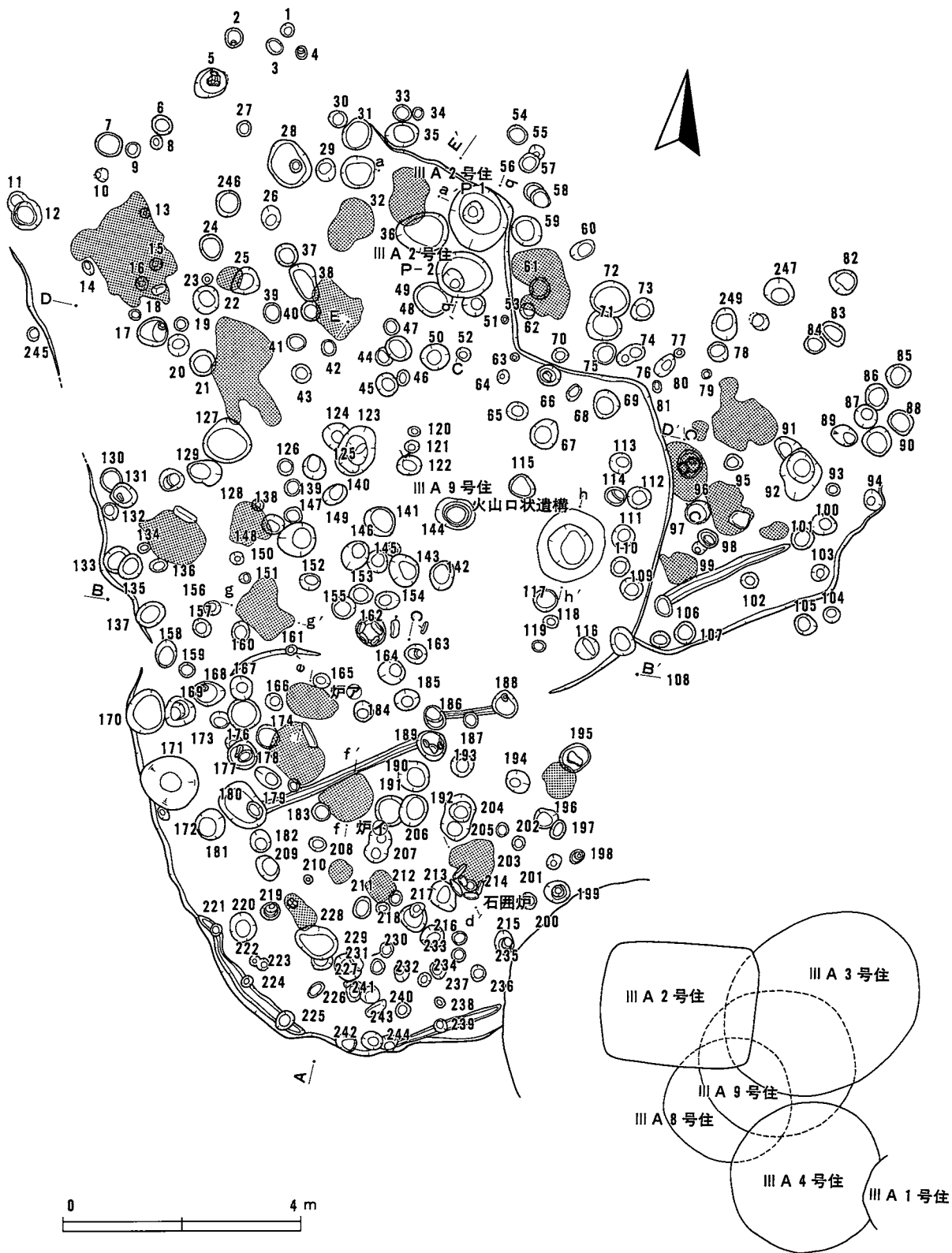
出土遺物などから縄文時代中期初頭と考えられる。

切り合い住居柱穴群出土遺物 (第97～105図、写真図版140～148)

上記以外に、切り合い住居内の柱穴群から出土した遺物について、一括して記載する。

〈土器〉 図化できた個体が縄文土器14点、土師器9点、拓本として掲載した破片38点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ3箱程出土している。

〈石器〉 登録したものが76点、フレークが174点で、器種毎の点数は次の通りである。



第45図 切り合い住居群(1)

No	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6	PP7	PP8	PP9	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14	PP15
径 cm	24×22	34×30	30×26	20×18	60×48	38×34	46×42	26×20	φ24	22×20	36×(34)	54×48	18×16	26×16	22×20
深さ cm	11	34	16	17	58	23	4	13	30	20	42	88	16	10	11
No	PP16	PP17	PP18	PP19	PP20	PP21	PP22	PP23	PP24	PP25	PP26	PP27	PP28	PP29	PP30
径 cm	22×20	20×18	52×50	24×22	38×36	46×42	50×44	20×16	42×40	50×45	50×36	(40)×38	84×66	40×34	40×34
深さ cm	10	21	15	22	44	13	46	27	20	24	10	68	20	16	10
No	PP31	PP32	PP33	PP34	PP35	PP36	PP37	PP38	PP39	PP40	PP41	PP42	PP43	PP44	PP45
径 cm	56×48	φ60	φ30	22×20	58×40	92×68	φ40	66×40	34×30	32×30	32×30	φ26	φ32	30×28	38×36
深さ cm	11	17	8	6	37	17	22	60	6	94	10	17	7	18	26
No	PP46	PP47	PP48	PP49	PP50	PP51	PP52	PP53	PP54	PP55	PP56	PP57	PP58	PP59	PP60
径 cm	24×20	48×44	φ28	66×(58)	48×46	38×36	φ22	φ12	36×32	28×(26)	34×30	30×(32)	34×32	52×48	46×32
深さ cm	22	16	13	13	10	56	15	13	8	23	30	24	25	18	43
No	PP61	PP62	PP63	PP64	PP65	PP66	PP67	PP68	PP69	PP70	PP71	PP72	PP73	PP74	PP75
径 cm	φ34	φ24	14×12	φ22	34×30	φ38	52×46	30×22	46×44	φ26	60×(50)	68×60	φ40	(32)×30	40×38
深さ cm	12	42	4	32	12	56	33	9	44	7	17	36	54	16	20
No	PP76	PP77	PP78	PP79	PP80	PP81	PP82	PP83	PP84	PP85	PP86	PP87	PP88	PP89	PP90
径 cm	38×(26)	φ18	36×32	18×16	54×28	20×16	46×42	46×32	φ34	φ40	(42)×38	38×36	44×42	44×34	φ50
深さ cm	30	24	9	5	28	24	44	24	17	50	49	21	11	41	58
No	PP91	PP92	PP93	PP94	PP95	PP96	PP97	PP98	PP99	PP100	PP101	PP102	PP103	PP104	PP105
径 cm	(46)×34	92×72	φ24	36×30	φ30	φ30	42×40	34×30	24×(22)	40×38	40×36	32×28	30×28	φ30	40×38
深さ cm	42	99	9	18	22	6	16	20	30	59	28	10	6	4	44
No	PP106	PP107	PP108	PP109	PP110	PP111	PP112	PP113	PP114	PP115	PP116	PP117	PP118	PP119	PP120
径 cm	38×30	40×36	32×26	38×36	34×32	φ40	38×36	φ38	36×32	44×42	φ40	38×36	26×22	22×18	20×8
深さ cm	14	44	35	54	11	73	26	19	11	9	33	9	8	10	11
No	PP121	PP122	PP123	PP124	PP125	PP126	PP127	PP128	PP129	PP130	PP131	PP132	PP133	PP134	PP135
径 cm	24×22	44×34	86×64	(46)×44	42×40	φ26	80×78	56×46	40×38	38×34	φ40	30×26	50×(40)	φ20	45×40
深さ cm	31	38	81	54	52	50	15	23	43	11	52	9	76	83	83
No	PP136	PP137	PP138	PP139	PP140	PP141	PP142	PP143	PP144	PP145	PP146	PP147	PP148	PP149	PP150
径 cm	30×25	50×40	22×18	28×26	40×34	52×48	48×40	54×50	φ24	40×32	52×44	30×26	36×34	66×60	24×22
深さ cm	46	83	12	11	43	49	20	58	21	22	75	13	28	52	72
No	PP151	PP152	PP153	PP154	PP155	PP156	PP157	PP158	PP159	PP160	PP161	PP162	PP163	PP164	PP165
径 cm	φ20	36×28	40×32	40×32	38×36	28×26	34×30	44×36	φ26	34×30	φ18	48×46	38×36	46×42	φ28
深さ cm	49	43	10	46	20	49	33	75	39	61	12	50	40	90	44
No	PP166	PP167	PP168	PP169	PP170	PP171	PP172	PP173	PP174	PP175	PP176	PP177	PP178	PP179	PP180
径 cm	30×28	40×38	54×40	52×50	74×60	96×88	φ20	φ30	56×50	40×36	(30)×26	50×48	48×30	22×20	86×60
深さ cm	21	60	65	85	78	34	33	41	13	46	33	81	8	30	83
No	PP181	PP182	PP183	PP184	PP185	PP186	PP187	PP188	PP189	PP190	PP191	PP192	PP193	PP194	PP195
径 cm	52×50	38×34	φ30	36×34	42×36	44×34	φ24	48×46	50×48	φ52	52×(46)	52×50	38×36	φ40	52×44
深さ cm	72	43	27	24	92	50	21	37	51	90	8	29	48	76	49
No	PP196	PP197	PP198	PP199	PP200	PP201	PP202	PP203	PP204	PP205	PP206	PP207	PP208	PP209	PP210
径 cm	42×32	34×22	24×22	46×40	30×26	26×24	24×22	22×20	50×48	50×(46)	40×(36)	36×(34)	28×34	44×34	φ14
深さ cm	35	31	22	41	65	33	12	12	86	40	53	41	44	83	12
No	PP211	PP212	PP213	PP214	PP215	PP216	PP217	PP218	PP219	PP220	PP221	PP222	PP223	PP224	PP225
径 cm	38×32	26×22	36×34	φ20	40×32	26×22	48×46	24×20	34×32	50×44	φ20	φ18	(22)×20	16×14	36×30
深さ cm	59	11	89	22	34	6	15	37	32	78	28	29	47	25	37
No	PP226	PP227	PP228	PP229	PP230	PP231	PP232	PP233	PP234	PP235	PP236	PP237	PP238	PP239	PP240
径 cm	28×18	36×32	72×50	48×44	26×24	φ24	32×28	38×36	30×28	24×22	28×24	φ22	18×16	φ22	φ24
深さ cm	22	44	20	72	45	18	36	67	70	51	56	35	25	39	23
No	PP241	PP242	PP243	PP244	PP245	PP247	PP248	PP249	PP250						
径 cm	36×26	36×28	38×32	(30)×24	22×20	52×44	φ28	56×42	48×50						
深さ cm	59	32	46	49	26	24	15	26	20						

切り合い住居群柱穴計測表

ⅢA 2号住内焼土

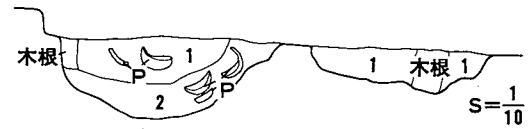
a L=124,500m a'



1. 焼土 炭化物混り
2. 5YR 7/2暗赤褐色土 加熱痕あり

ⅢA 2号住P1・P2

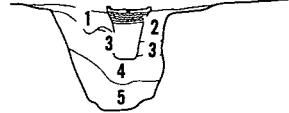
b L=124,600m b'



1. 7.5YR 7/2暗褐色土 炭化物、焼土粒入る
2. 7.5YR 7/2暗褐色土 炭化物、焼土粒入る

ⅢA 3号住 埋設炉

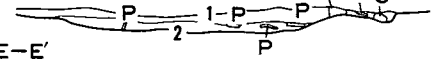
c L=124,600m c'



1. 2.5YR 7/2暗赤褐色土 焼土
2. 2.5YR 7/2暗赤褐色土 褐色土と焼土の混り
3. 2.5YR 7/2にふい赤褐色土 焼土と黄色褐色土の混り、炭化物微量
4. 7.5YR 7/2褐色土 炭化物多く含む、焼土微量
5. 7.5YR 7/2明褐色土 火山灰ブロック

ベルト⑤ (ⅢA 2号住)

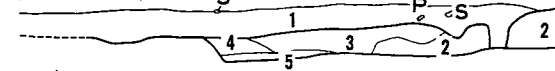
E L=124,600m E'



1. 7.5YR 7/2暗褐色土 炭化物、火山灰がまじる
2. 7.5YR 7/2暗褐色土 炭化物、火山灰がまじる

ベルト③ (ⅢA 3号住・9号住)

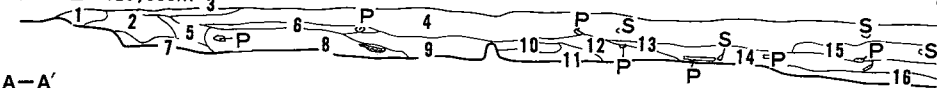
C L=124,900m C'



1. 10YR 7/2暗褐色土 炭化物ブロック、焼土ブロック、火山灰ブロックを含む
2. 10YR 7/2褐色土 よごれ粘土
3. 7.5YR 7/2暗褐色土 火山灰ブロックを多く含む、焼土をわずかに含む
4. 7.5YR 7/2褐色土 火山灰を多く含む、炭化物、焼土ブロックをわずかに含む
5. 10YR 7/2暗褐色土 火山灰を少量含む

ベルト① (ⅢA 4号住)

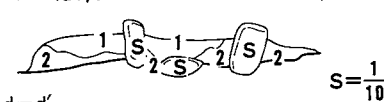
A L=125,000m A'



1. 7.5YR 7/2暗褐色土 火山灰、炭化物を含む
2. 7.5YR 7/2暗褐色土 焼土粒、火山灰、炭化物を含む
3. 7.5YR 7/2黒褐色土 火山灰、炭化物を含む
4. 7.5YR 7/2黒褐色土 火山灰、炭化物、土器片を含む
5. 7.5YR 7/2暗褐色土 粘性あり、火山灰を多く含む炭化物を含む
6. 7.5YR 7/2黒褐色土 火山灰、炭化物を含む
7. 10YR 7/2褐色土 粘土質
8. 7.5YR 7/2暗褐色土 焼土粒、火山灰、炭化物、土器片を含む
9. 7.5YR 7/2暗褐色土 火山灰を多く含む、土器片も含む
10. 7.5YR 7/2褐色土 火山灰、焼土粒を多く含む
11. 10YR 7/2暗褐色土 粘性有り、焼土粒、火山灰を含む
12. 10YR 7/2暗褐色土 火山灰、炭化物若干含む
13. 7.5YR 7/2暗褐色土 焼土粒を多く含む
14. 7.5YR 7/2暗褐色土 大きめの炭化物、焼土粒、土器片を含む
15. 7.5YR 7/2暗褐色土 火山灰、焼土粒を少し含む
16. 7.5YR 7/2暗褐色土 火山灰ブロック、若干の炭化物、焼土粒を含む

ⅢA 4号住 石囲炉

d 124,800m d'



1. 焼土 炭化物まじる
2. 7.5YR 7/2暗褐色土 粘土ブロックがわずかに入る

炉⑦

e L=124,500m e'



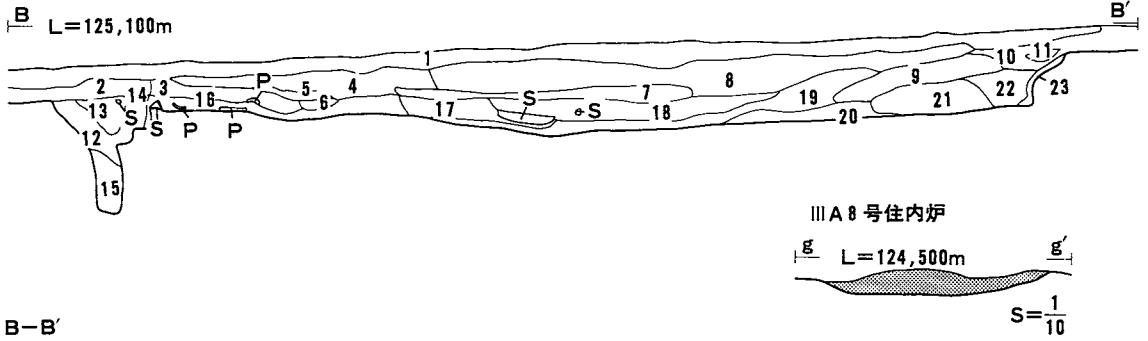
炉⑧

f L=124,500m f'



第46図 切り合い住居群(2)

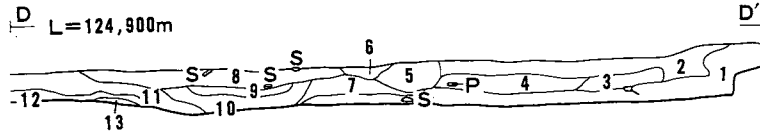
ベルト② (ⅢA 8号住、9号住)



B-B'

- | | | | |
|------------------|----------------|------------------|---------------------|
| 1. 10Y R ⅓黒褐色土 | 炭化物を少し含む | 13. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | |
| 2. 10Y R ⅓暗褐色土 | 炭化物、火山灰若干含む | 14. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | 火山灰、炭化物わずかに含む |
| 3. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | 炭化物、火山灰、土器片を含む | 15. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | 火山灰、炭化物を含む |
| 4. 7.5Y R ⅓褐色土 | 炭化物を若干含む | 16. 7.5Y R ⅓褐色土 | 炭化物をわずかに含む |
| 5. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | 火山灰ブロック、炭化物を含む | 17. 7.5Y R ⅓褐色土 | 火山灰、炭化物を含む |
| 6. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | 炭化物、火山灰を多く含む | 18. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | 火山灰、炭化物を含む |
| 7. 7.5Y R ⅓褐色土 | 炭化物、火山灰を含む | 19. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | 18よりもあらく、火山灰、炭化物を含む |
| 8. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | 火山灰、炭化物を少し含む | 20. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | 火山灰ブロック炭化物を含む |
| 9. 10Y R ⅓暗褐色土 | 火山灰、石粒を多く含む | 21. 7.5Y R ⅓褐色土 | 大きめの火山灰ブロック、炭化物を含む |
| 10. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | 火山灰、大きめの炭化物を含む | 22. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | 火山灰、炭化物を含む |
| 11. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | 火山灰、炭化物を含む | 23. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | 粘性有り、火山灰、炭化物を含む |
| 12. 7.5Y R ⅓暗褐色土 | と火山灰の混土、炭化物を含む | | |

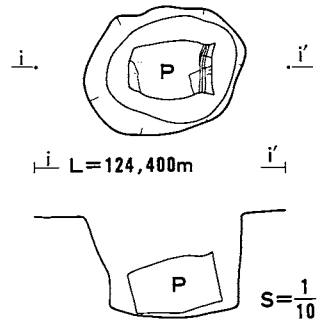
ベルト④ (ⅢA 9号住)



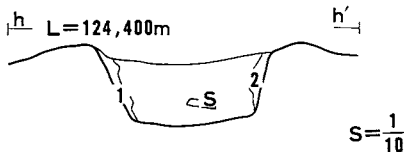
D-D'

1. 10Y R ⅓暗褐色土 炭化物ブロック、焼土ブロック、火山灰ブロックを含む
2. 10Y R ⅓暗褐色土 焼土、炭化物ブロックをわずかに含む
3. 10Y R ⅓黒褐色土 炭化物ブロック
4. 7.5Y R ⅓極暗褐色土 炭化物、焼土、火山灰ブロックをわずかに含む
5. 7.5Y R ⅓黒褐色土 炭化物ブロックをわずかに含む
6. 7.5Y R ⅓暗褐色土
7. 7.5Y R ⅓極暗褐色土 4よりも火山灰ブロックが多い
8. 7.5Y R ⅓暗褐色土 焼土ブロックをわずかに含む
9. 10Y R ⅓暗褐色土 炭化物、火山灰ブロックを少量含む
10. 7.5Y R ⅓極暗褐色土 炭化物ブロック、火山灰を少量含む
11. 7.5Y R ⅓暗褐色土 火山灰わずかに含む
12. 10Y R ⅓暗褐色土
13. 掘りすぎ

ⅢA 9号住 P1



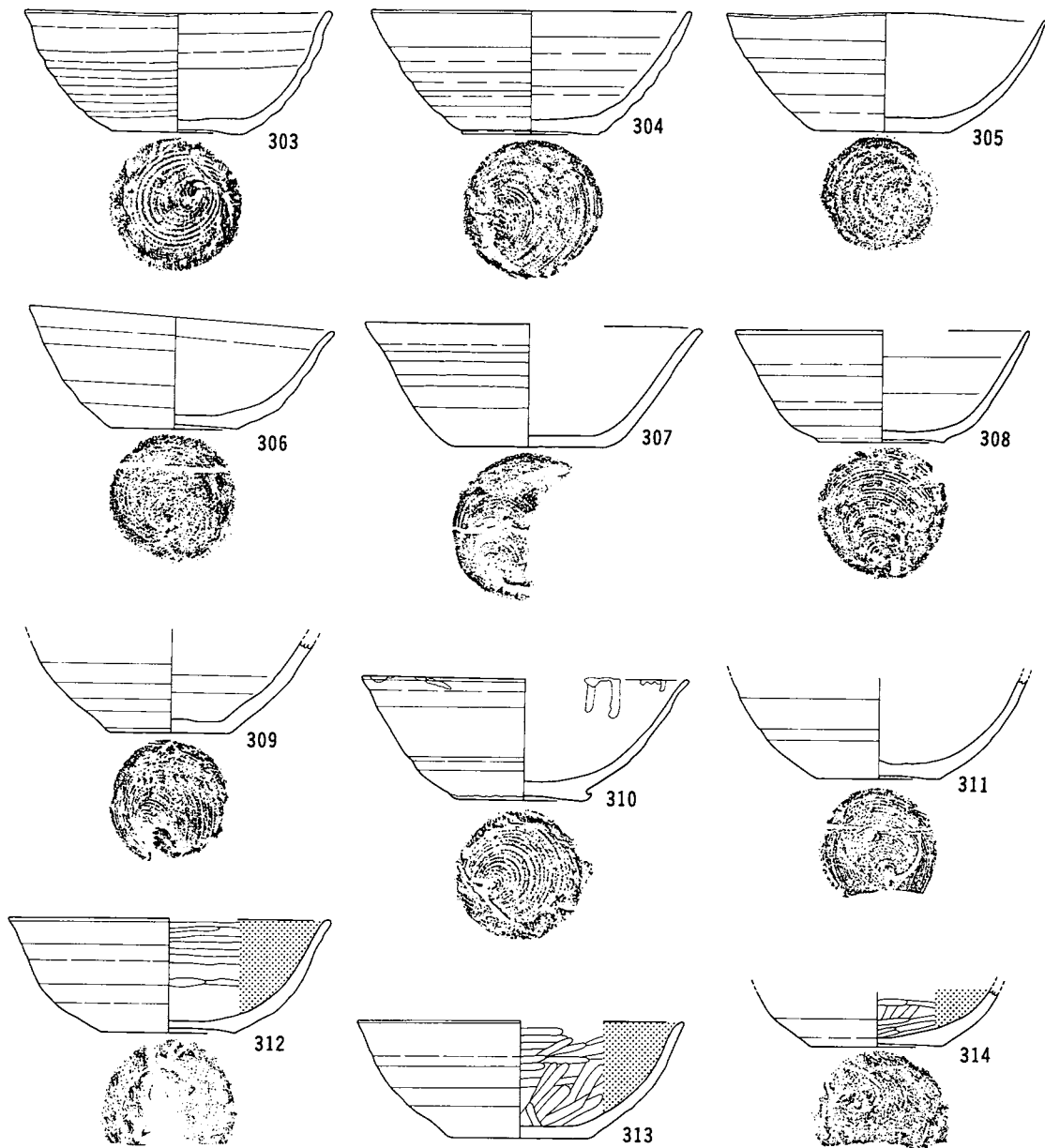
火山口状遺構



h-h'

1. 7.5Y R ⅓褐色土 炭化物、焼土粒わずかに含む
2. 7.5Y R ⅓褐色土 粘土ブロックが入る

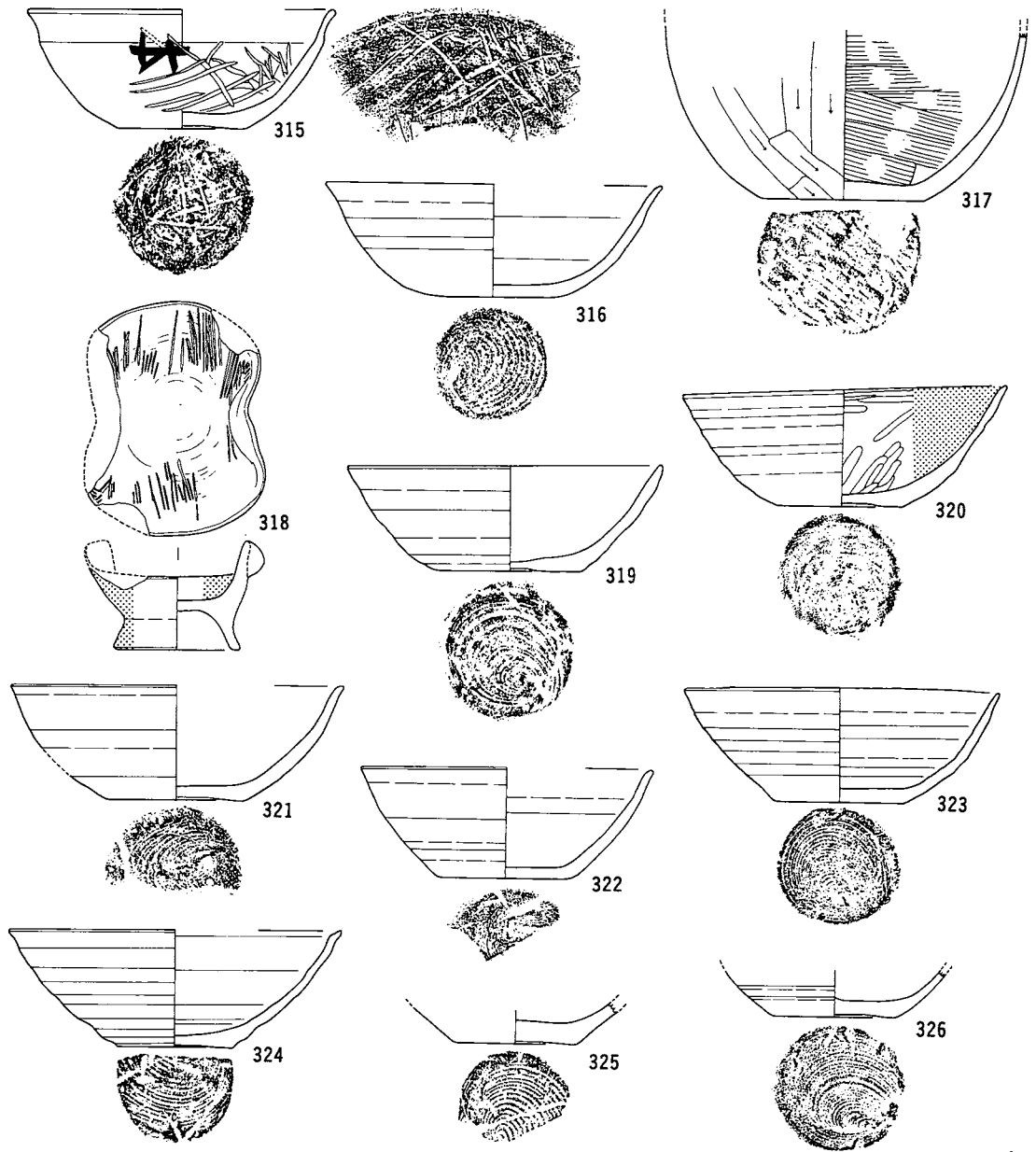
第47図 切り合い住居群(3)



No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
303	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕			13.1	5.3	5.5	BⅡa類	不整
304	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		13.7	5.2	5.8	BⅡa類	
305	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕			13.5	5.0	5.8	BⅡa類	
306	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕			13.0	5.1	5.4	BⅡa類	
307	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		(14.4)	5.2	6.6	BⅡa類	
308	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		(12.5)	4.7	5.4	BⅡa類	
309	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器 坏	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ロクロ痕		—	(3.9)	4.7	BⅡa類	
310	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	—			(13.9)	5.2	5.8	BⅡa類	炭化物付着
311	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器 坏	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—			—	(4.3)	5.2	BⅡa類	
312	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ヘラミガキ	ヘラミガキ	ヘラミガキ	(13.7)	4.8	5.8	BⅠa類	黒色処理
313	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整	ヘラミガキ	ヘラミガキ	ヘラミガキ	(14.0)	5.0	6.0	BⅠb類	黒色処理
314	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器 坏	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	(2.3)	5.6	BⅠa類	黒色処理

S = 1/3

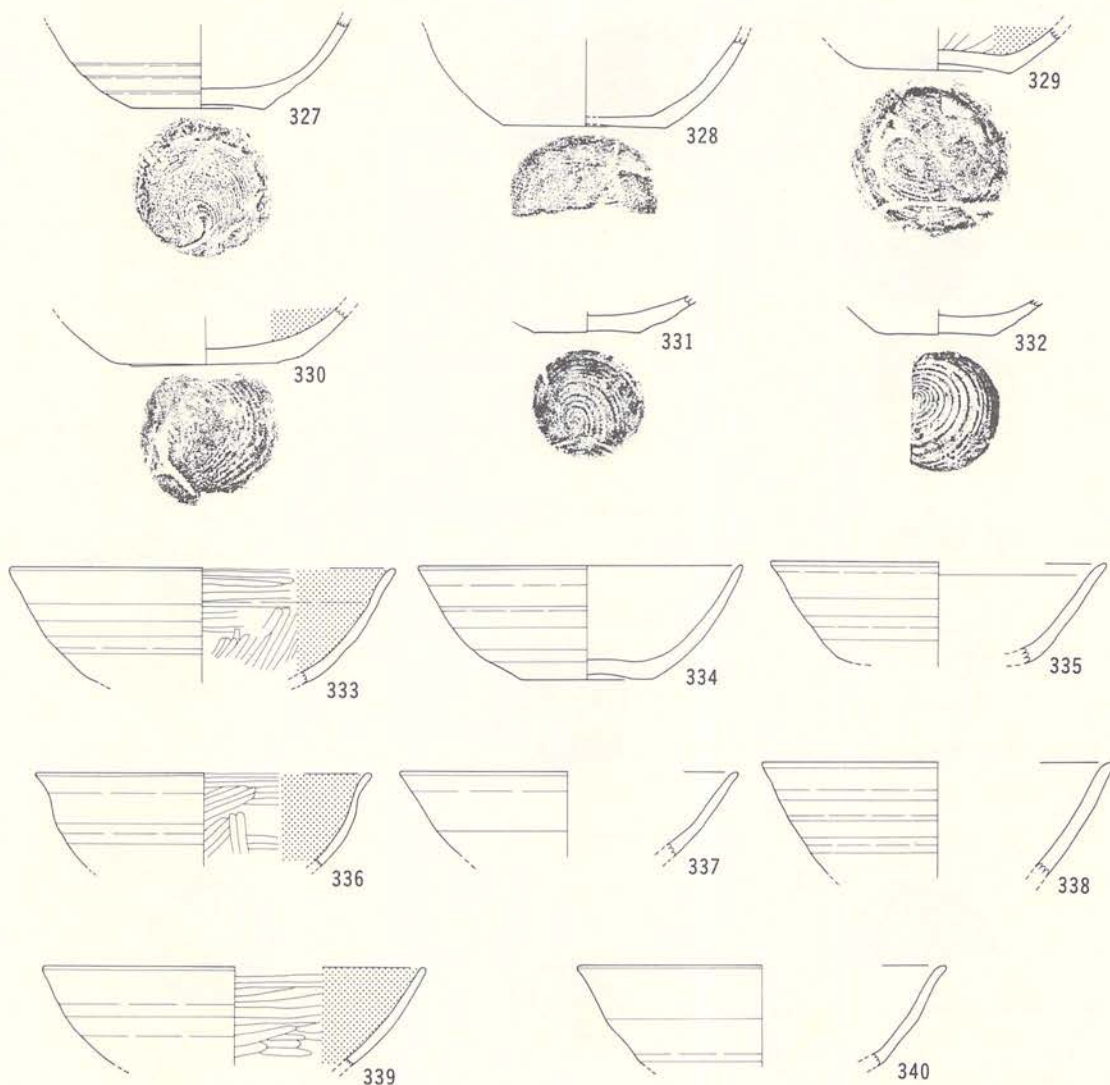
第48図 ⅢA 2号住居跡出土遺物(1)



$$s = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
315	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ヘラミガキ	ヘラミガキ				(13.2)	5.1	5.6	B II b類	黒苔
316	ⅢA 2号住・P1埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		(14.4)	4.8	5.2	B II a類	
317	ⅢA 2号住・P1埋土下部	土師器鉢	非ロクロ	—	ヘラケズリ	むしろ底	—	ヘラナデ	ヘラミガキ	—	(7.3)	7.0	A類	
318	ⅢA 2号住・P1埋土	耳皿	ロクロ	ロクロ痕		再調整	ヘラミガキ	ヘラミガキ		10.0	4.6	5.4		黒色処理
319	ⅢA 2号住・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕				13.5	4.6	6.2	B II a類	
320	ⅢA 2号住・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ヘラミガキ	ヘラミガキ	ヘラミガキ	13.9	5.2	5.4	B II a類	黒色処理
321	ⅢA 2号住・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕				(14.3)	4.9	6.0	B II a類	
322	ⅢA 2号住・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕		ロクロ痕		(12.5)	4.7	(6.0)	B II a類	
323	ⅢA 2号住・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		13.5	4.9	5.6	B II a類	
324	ⅢA 2号住・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		(14.2)	5.0	5.0	B II a類	
325	ⅢA 2号住・埋土	土師器杯	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—		—	—	5.2	B II a類	
326	ⅢA 2号住・埋土	土師器杯	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	—		—	(1.9)	5.2	B II a類	

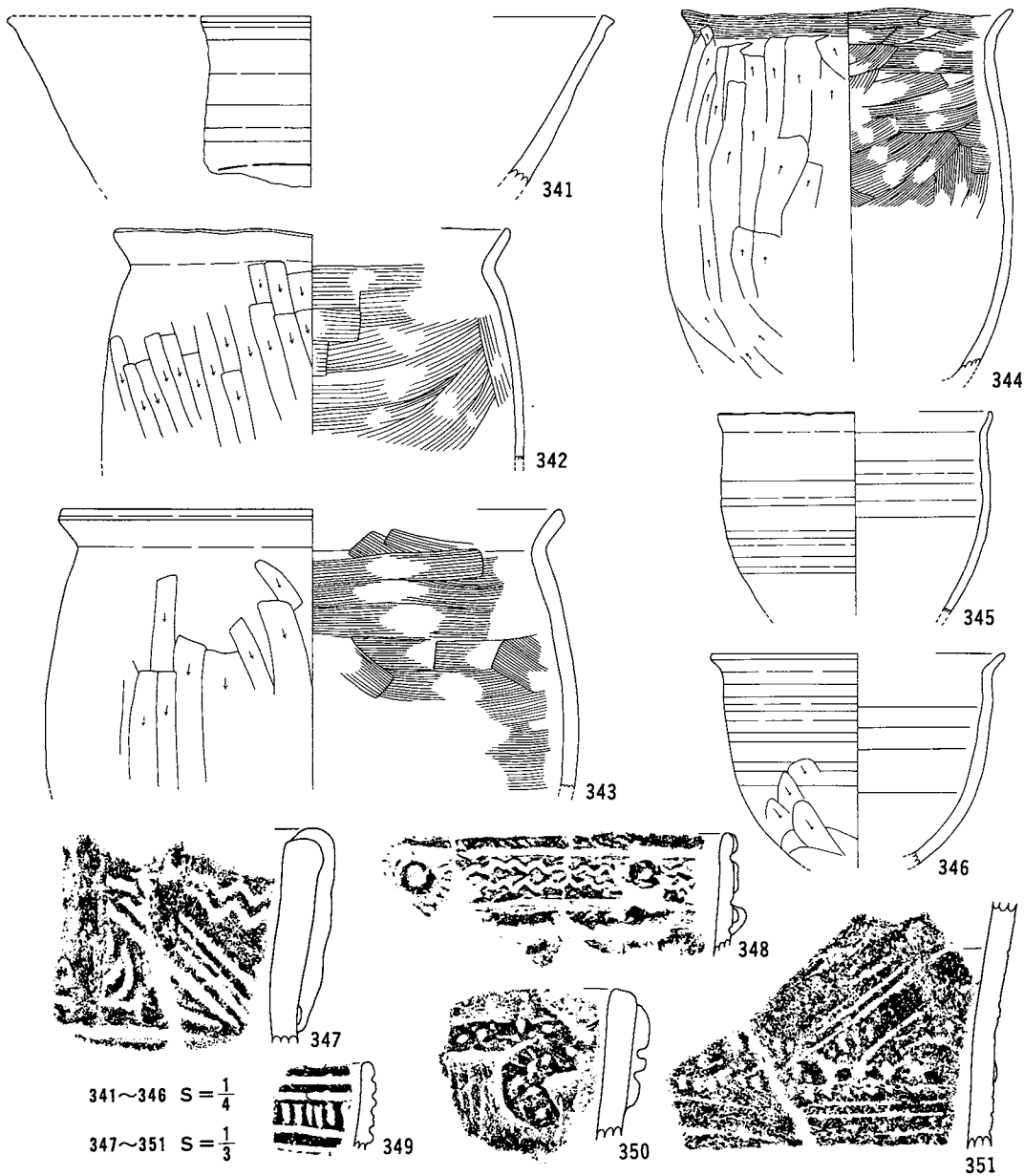
第49図 ⅢA 2号住居跡出土遺物(2)



$$S = \frac{1}{3}$$

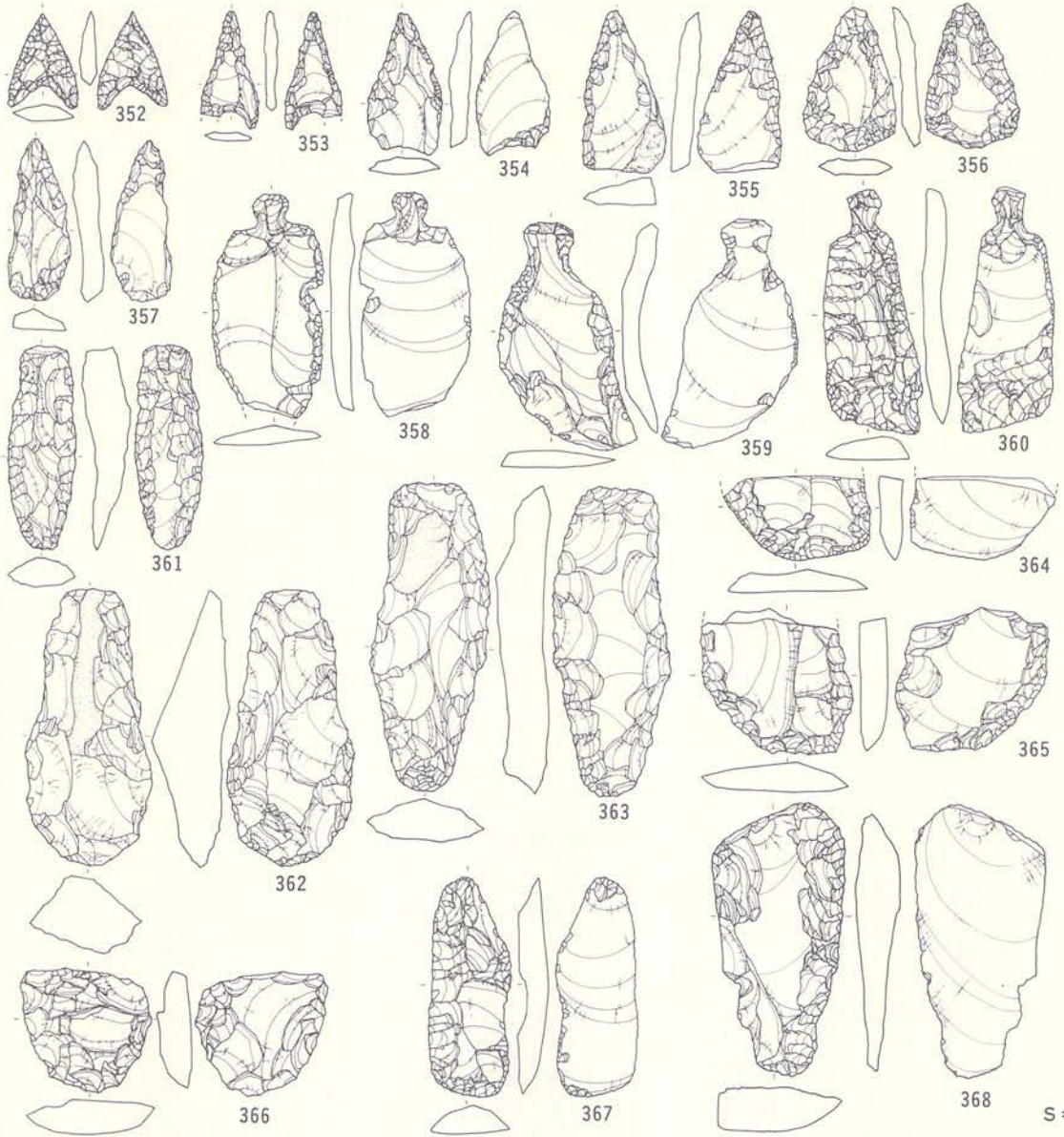
No	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
327	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	—	—	(3.2)	5.5	—	B II a類	
328	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	—	再調整(?)	—	—	—	(3.5)	6.6	—	B II b類	
329	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	(1.5)	6.0	B I a類	黑色処理
330	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	(1.8)	6.0	—	B I a類	黑色処理
331	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	4.2	B II a類	
332	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	4.7	B II a類	
333	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	(15.4)	(4.7)	—	B I類	黑色処理
334	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整	—	—	—	13.1	4.6	5.5	B II b類	
335	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ロクロ痕	—	—	(13.5)	(4.0)	—	B II類	
336	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	(13.4)	(3.8)	—	B I類	黑色処理
337	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	—	—	—	(13.6)	(3.4)	—	B II類	
338	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	—	—	—	(14.0)	(4.6)	—	B II類	
339	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	15.3	(3.9)	—	B I類	黑色処理
340	ⅢA 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	—	—	—	(15.7)	(4.0)	—	B II類	

第50図 ⅢA 2号住居跡出土遺物(3)



No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
341	ⅢA 2号住・埋土	土師器鍋	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	—	—	—	(34.0)	(9.4)	—		
342	ⅢA 2号住・埋土	土師器甕	非ロクロ	ヘラケズリ	ヘラケズリ	—	ヘラナデ	ヘラナデ	—	(22.1)	(13.1)	—	A I b類	
343	ⅢA 2号住・埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ヘラケズリ	—	ヘラナデ	ヘラナデ	—	(27.8)	(15.5)	—	B I b類	
344	ⅢA 2号住・埋土	土師器甕	非ロクロ	ヨコナデ	ヘラケズリ	—	ヨコナデ	ヘラナデ	—	18.5	(19.6)	—	A I b類	
345	ⅢA 2号住・埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(15.4)	(11.3)	—	B II a類	
346	ⅢA 2号住・埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ヘラケズリ	—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(16.4)	(12.0)	—	B II a類	
No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他										分類	
347	ⅢA 2号住・埋土	口縁部	波頂部は2山状をなしそれぞれに縦位の粘土紐貼付、鋸歯状や斜位や弧状の沈線										深鉢B17類	
348	ⅢA 2号住・埋土	口縁部	横位や鋸歯状の沈線、ボタン状貼付、円形の粘土塊貼付										深鉢A17類	
349	ⅢA 2号住・埋土	口縁部	横位の沈線、その間に縦位の連続短沈線										深鉢B19類	
350	ⅢA 2号住・埋土	口縁部	円形の連続刺突のある粘土紐貼付、絡糸体Rタテ										深鉢A10類	
351	ⅢA 2号住・埋土	頸部	平行沈線文、爪形文、連続押圧のある粘土紐貼付、LRヨコ										深鉢B10類	

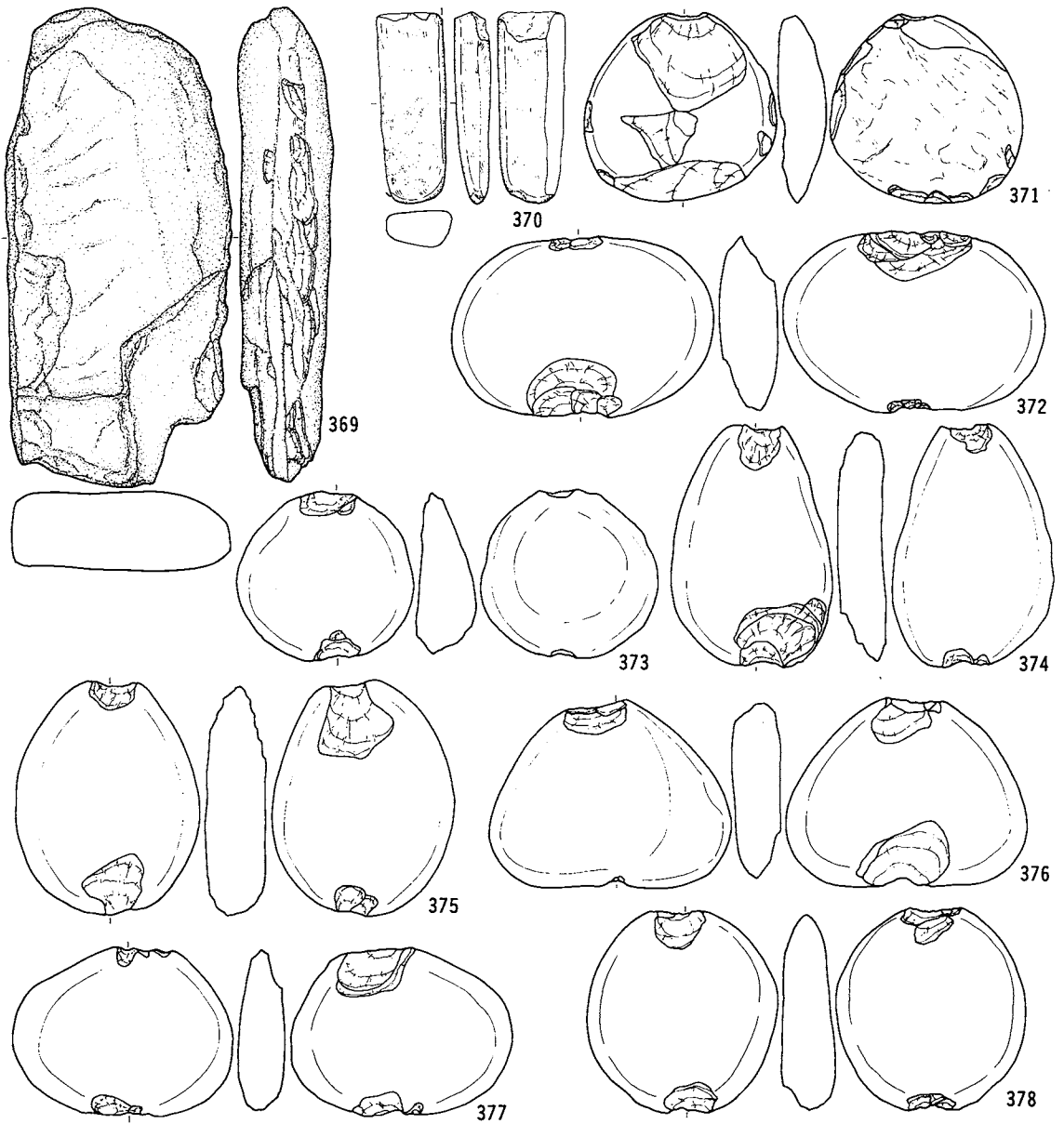
第51図 ⅢA 2号住居跡出土遺物(4)



S = 1/2

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
352	ⅢA 2号住Q 4	石鏃	2.7	2.0	0.5	1.5	珉質泥岩	雫石	新第三系中新統	
353	ⅢA 2号住埋土上層	石鏃	3.3	1.6	0.4	1.4	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
354	ⅢA 2号住1層	石鏃	3.0	2.1	0.5	4.6	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
355	ⅢA 2号住1層	尖頭器	4.5	2.1	0.7	7.8	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
356	ⅢA 2号住1層	尖頭器	3.9	2.6	0.5	5.9	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
357	ⅢA 2号住Q 3床直	尖頭器	4.5	1.5	0.6	5.9	珉質泥岩	雫石	新第三系中新統	
358	ⅢA 2号住埋土	石匙	6.3	3.1	0.6	12.7	珉質泥岩	雫石	新第三系中新統	
359	ⅢA 2号住Q 2埋土下部	石匙	6.3	3.9	0.6	14.1	珉質泥岩	雫石	新第三系中新統	
360	ⅢA 2号住埋土上部	石匙	6.8	2.7	0.7	12.7	輝緑色凝灰岩	北上山地	古生界	
361	ⅢA 2号住P 1埋土下部	石鏃	5.6	1.9	1.3	11.2	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
362	ⅢA 2号住埋土	石鏃	7.7	3.5	1.9	46.6	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
363	ⅢA 2号住Q 1	石鏃	8.5	3.2	1.2	42.7	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
364	ⅢA 2号住Q 3	削器	4.0	2.4	0.6	7.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
365	ⅢA 2号住埋土1層	削器	5.0	3.9	0.8	17.7	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
366	ⅢA 2号住Q 2埋土下部	三角削器	4.0	3.5	0.9	12.9	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
367	ⅢA 2号住Q 3床直	削器	6.1	2.3	1.0	10.1	珉質泥岩	雫石	新第三系中新統	
368	ⅢA 2号住埋土上部	削器	3.4	1.2	7.2	34.5	珉質泥岩	雫石	新第三系中新統	

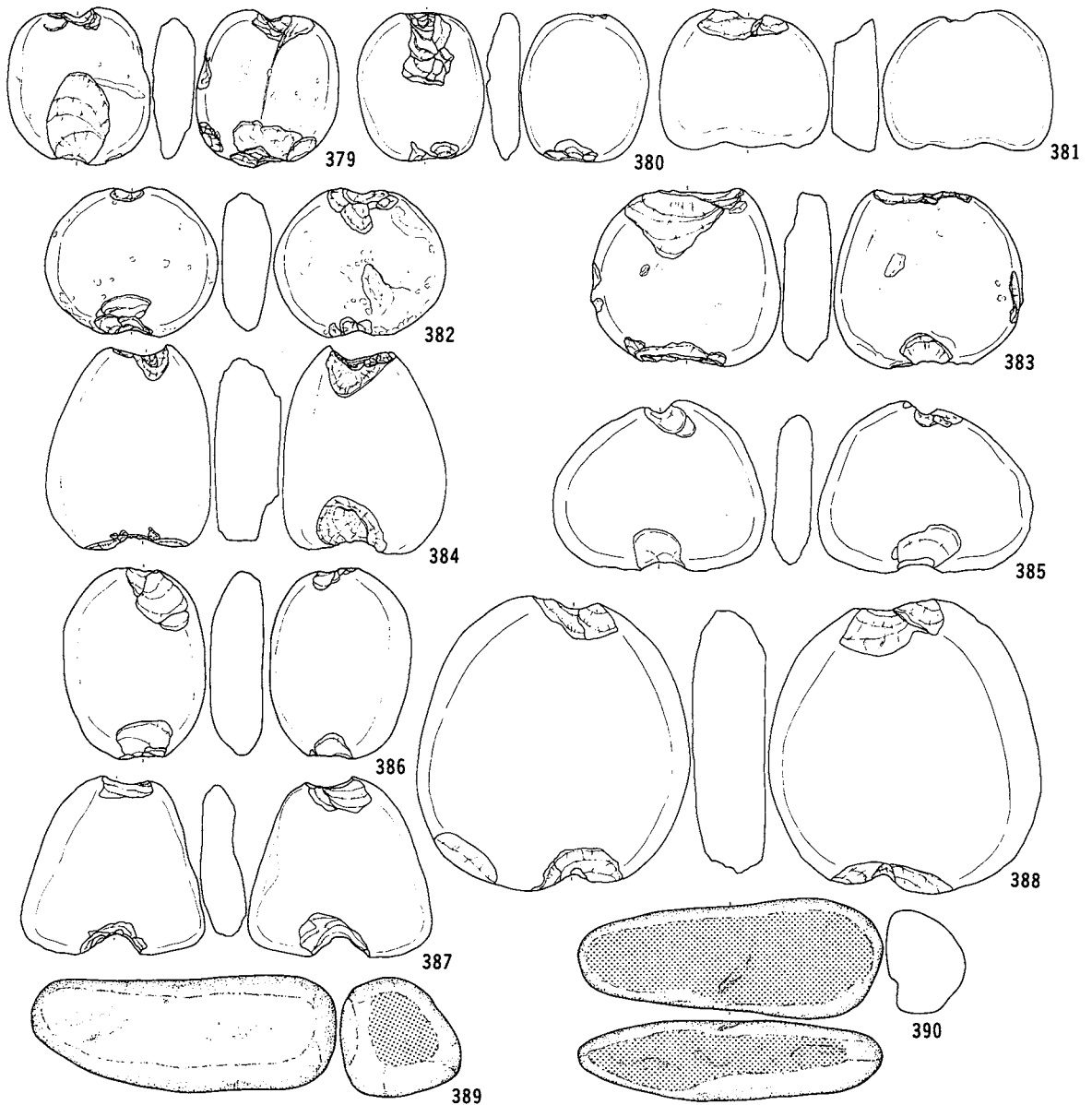
第52図 ⅢA 2号住居跡出土遺物(5)



S = $\frac{1}{2}$

Na	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
369	ⅢA 2号住埋土	半円状礫片打製石器	13.5	6.5	1.7	320.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
370	ⅢA 2号住Q 3	磨製石斧	5.4	1.9	1.0	12.1	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	*
371	ⅢA 2号住埋土	石錘	3.4	5.5	1.4	60.1	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
372	ⅢA 2号住Q 3埋土下部	石錘	5.1	7.4	1.7	100.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
373	ⅢA 2号住Q 1	石錘	4.7	5.1	1.8	55.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	*
374	ⅢA 2号住Q 1	石錘	6.8	4.6	1.5	50.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
375	ⅢA 2号住Q 3	石錘	6.7	5.2	1.7	85.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
376	ⅢA 2号住埋土上部	石錘	5.4	7.0	1.4	65.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
377	ⅢA 2号住Q 1	石錘	4.8	6.3	1.6	70.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
378	ⅢA 2号住P 2埋土下部	石錘	5.8	5.4	1.6	60.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

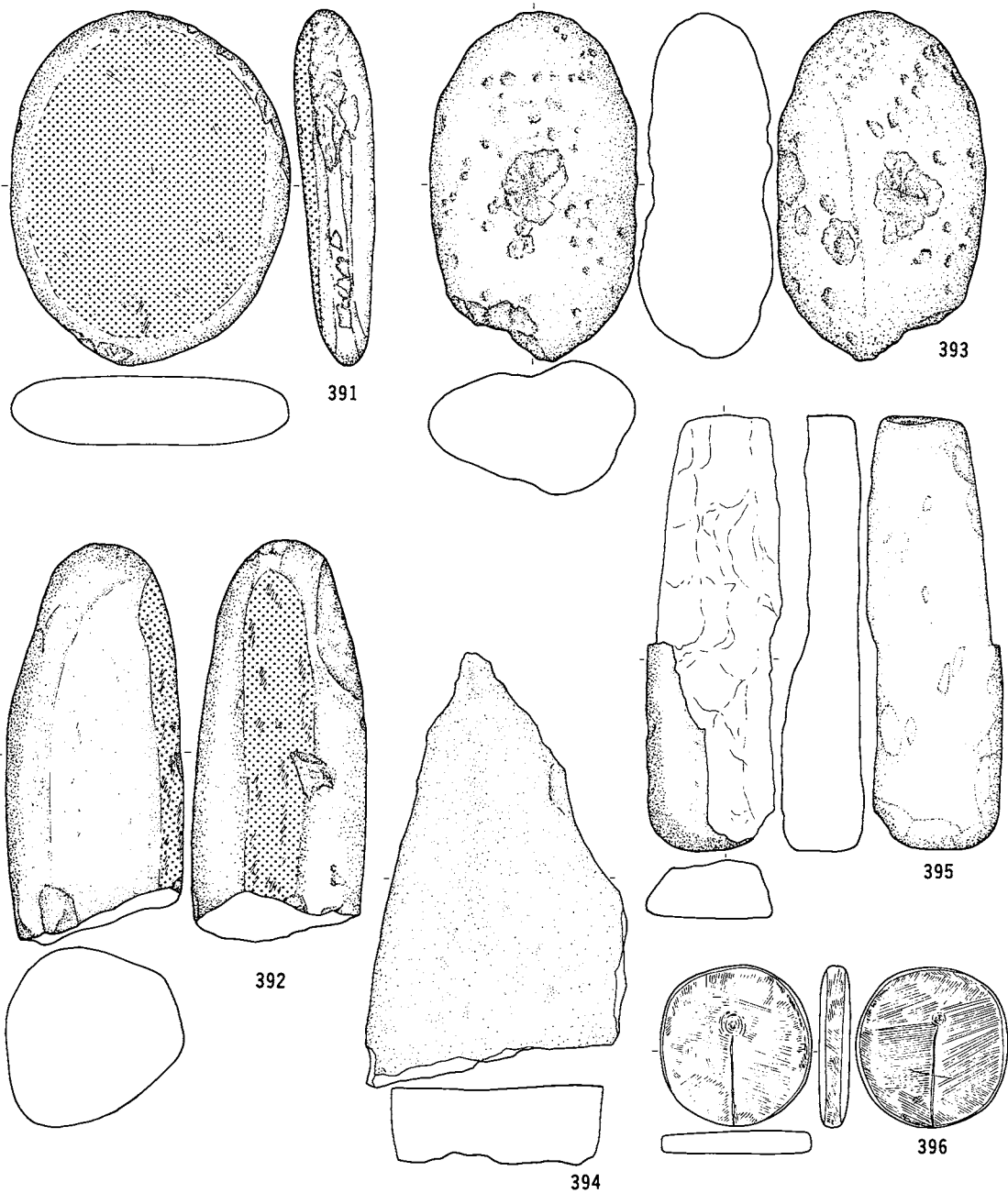
第53図 ⅢA 2号住居跡出土遺物(6)



$$s = \frac{1}{3}$$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
379	III A 2号住埋土	石錘	6.9	6.1	1.7	110.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
380	III A 2号住Q 2埋土下部	石錘	6.4	5.4	1.4	80.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
381	III A 2号住P 2埋土下部	石錘	6.0	7.3	2.0	130.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
382	III A 2号住Q 3埋土上層	石錘	6.5	7.0	2.2	130.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
383	III A 2号住埋土	石錘	7.6	8.2	2.1	210.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
384	III A 2号住Q 3埋土	石錘	7.8	7.1	2.7	230.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
385	III A 2号住埋土	石錘	7.4	9.3	1.7	120.0	淡青色細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
386	III A 2号住P 2埋土下部	石錘	8.2	6.3	2.4	175.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
387	III A 2号住Q 4	石錘	7.9	8.0	2.0	160.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
388	III A 2号住Q 3埋土	石錘	12.6	11.2	2.8	600.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
389	III A 2号住Q 3	すり石	13.2	5.2	4.8	530.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
390	III A 2号住埋土	すり石	13.1	5.2	3.4	295.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

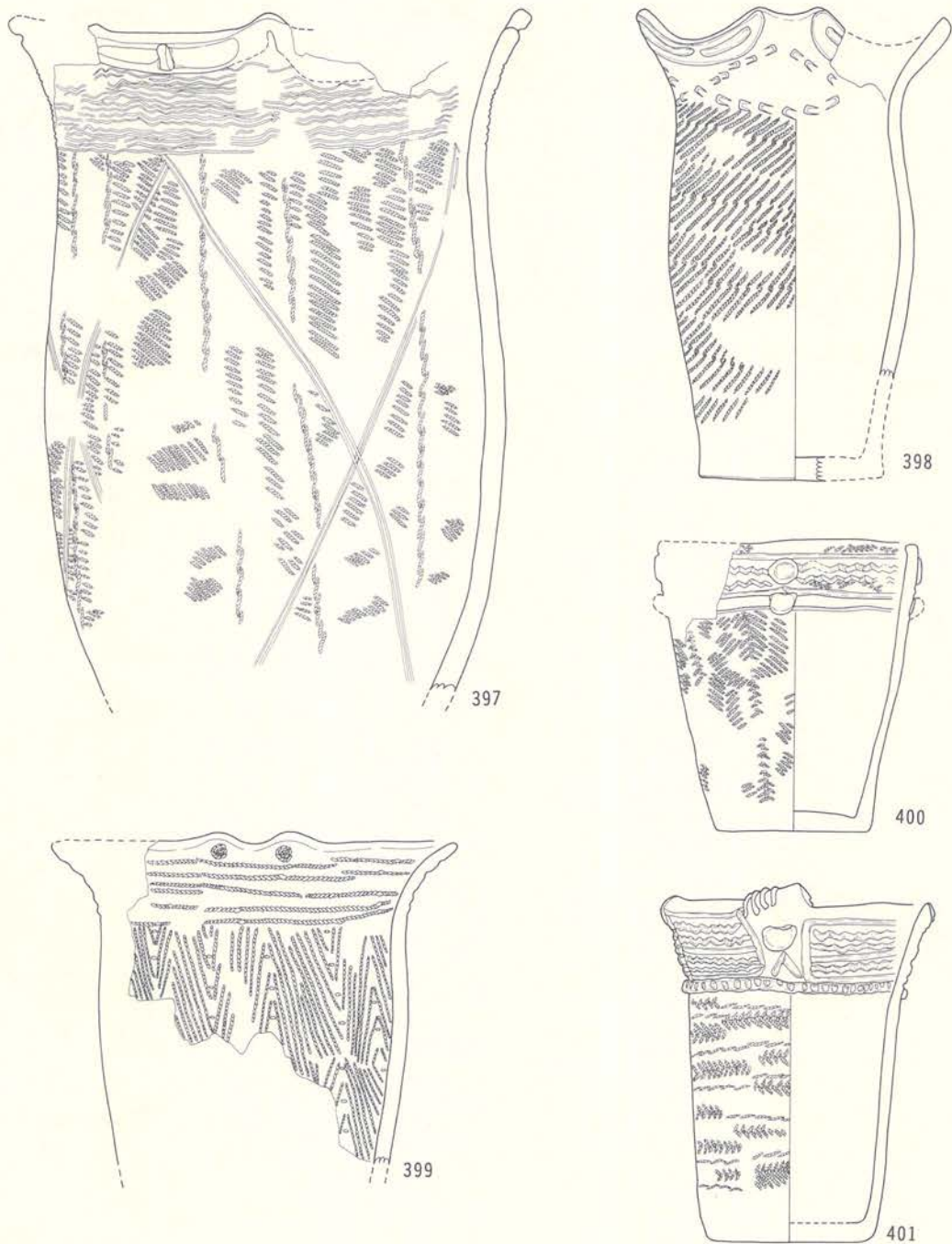
第54図 III A 2号住居跡出土遺物(7)



S = $\frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
391	ⅢA 2号住P2埋土東半	すり石	10.2	8.1	1.9	213.0	濃綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
392	ⅢA 2号住Q 2	特殊磨石	11.5	5.0	5.1	465.0	濃綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
393	ⅢA 2号住Q 3	凹石	10.2	8.6	3.7	415.0	濃綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
394	ⅢA 2号住Q 2	台石	12.5	7.6	2.2	300.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	*
395	ⅢA 2号住Q 3 9層	石剣	12.5	3.7	1.7	155.0	粘板岩(ホルンフェルス)	夏油川～和賀仙人	古生界	*
396	ⅢA 2号住埋土	円盤状石製品	4.7	4.5	0.6	22.5	綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

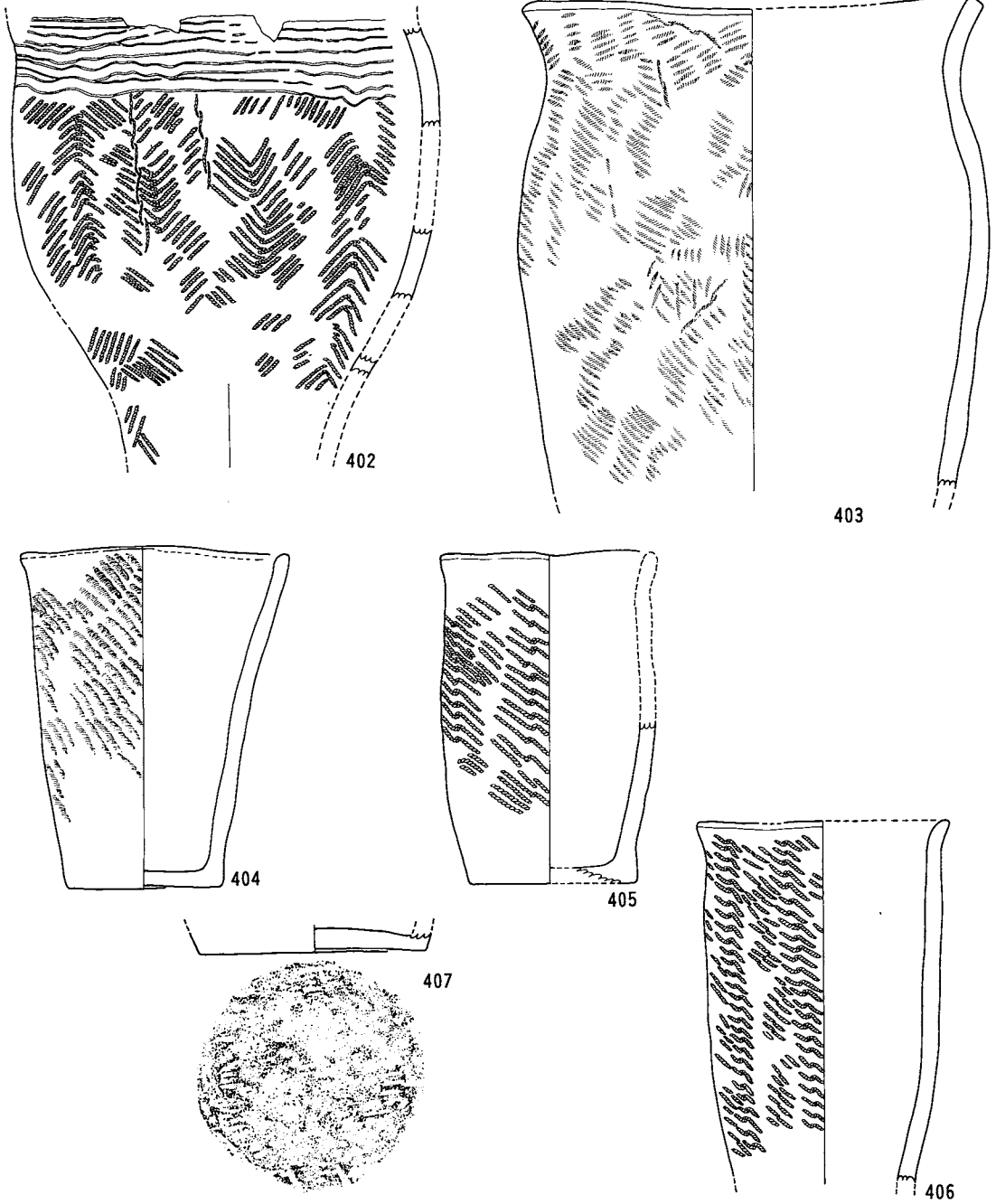
第55図 ⅢA 2号住居跡出土遺物(8)



$$S = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
397	ⅢA 3号住・埋土下部	口～胴部	数単位の波状口縁、幅広のえぐり、粘土塊貼付、平行洗線文、結節したLRタテ	深鉢B15類
398	ⅢA 3号住・埋土	口～底部	4単位の波状口縁、波頂部は2山状、長楕円のえぐり、爪形文、LRヨコ	深鉢B10類
399	ⅢA 3号住・埋土下部	口～胴部	平縁、2山状の突起、撫糸圧痕による円形や横位の押正、木目状撫糸文	深鉢B11類
400	ⅢA 3号住・埋土下部	口～底部	平縁、横位や鋸歯状の洗線、ボタン状貼付、粘土紐の上に団子状粘土塊貼付、第1種羽状タテ	深鉢A15類
401	ⅢA 3号住・埋設炉 ¹⁾	口～底部	平縁、三角状と2山状の突起、団子状粘土塊、連続刺突の粘土紐、結節した第1種羽状ヨコ	深鉢B15類

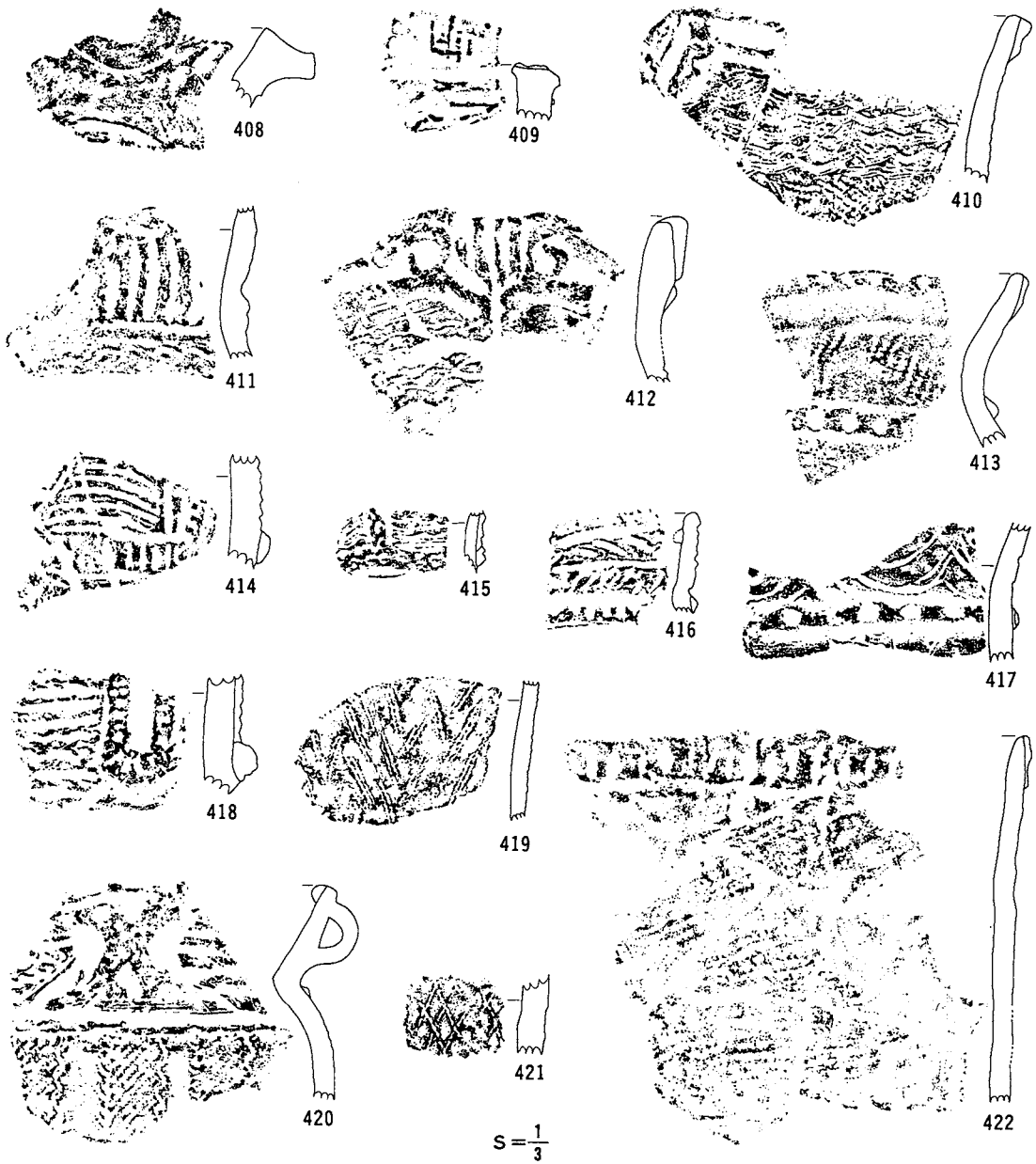
第56図 ⅢA 3号住居跡出土遺物(1)



$$S = \frac{1}{4}$$

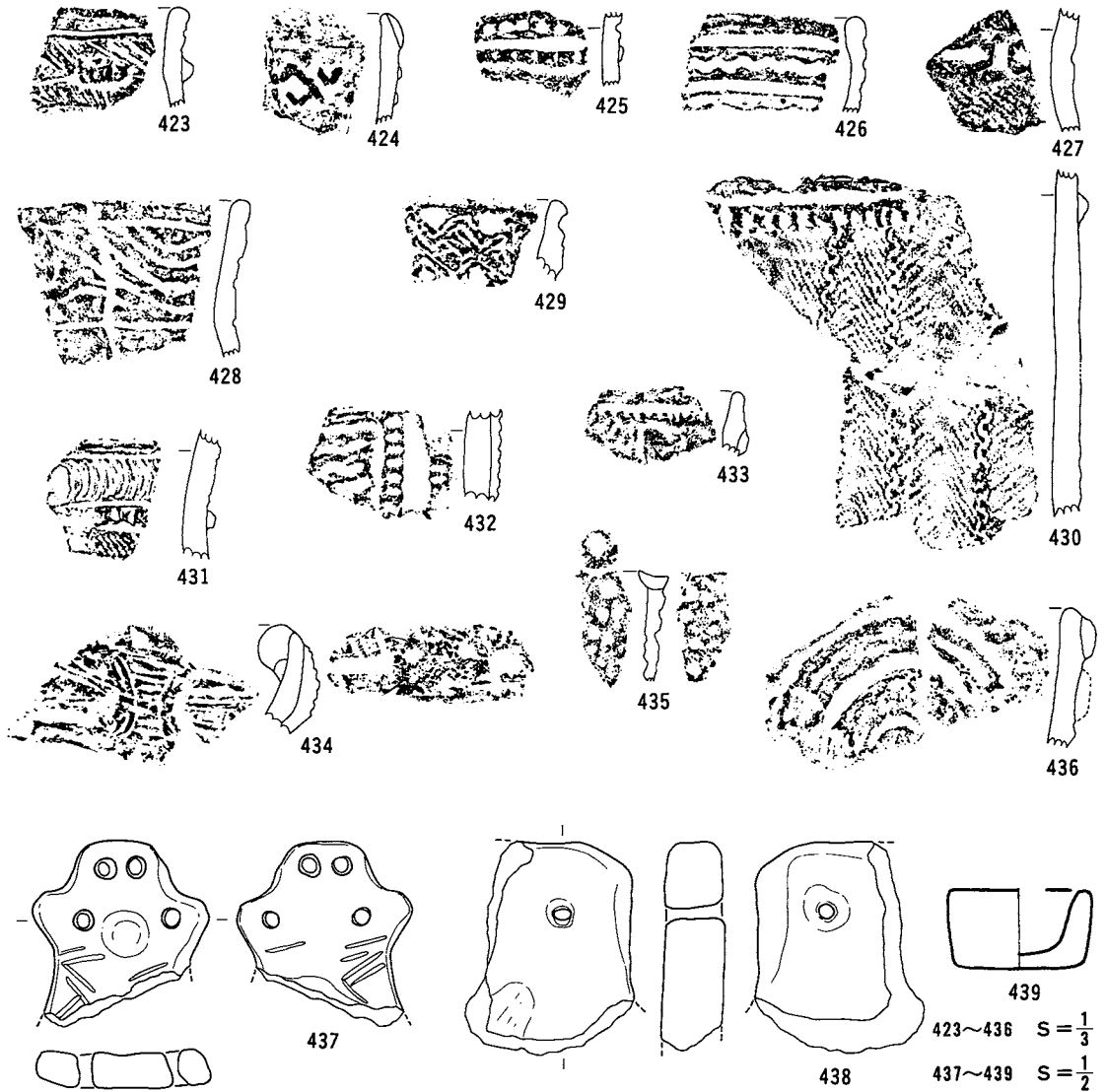
№	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
402	ⅢA 3号住・埋土	頸～胴部	横位の沈線、結節のあるRL、LRタテ、羽状(結束第1種)タテ	深鉢 B15類
403	ⅢA 3号住・埋土下部	口～胴部	部分的に結節のあるLタテ、ヨコ	深鉢 B12類
404	ⅢA 3号住・埋土下部	口～底部	Lタテ	深鉢 A12類
405	ⅢA 3号住・埋土下部	口～底部	LR(結束第1種)タテ	深鉢 A15類
406	ⅢA 3号住・埋土下部	口～胴部	LR(結束第1種)タテ	深鉢 A15類
407	ⅢA 3号住・埋土上部	底部	網代痕	深鉢

第57図 ⅢA 3号住居跡出土遺物(2)



№	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
408	ⅢA 3号住・埋土下部	口縁部	波頂部に有孔円盤状の粘土塊貼付、その下に横位の沈線	
409	ⅢA 3号住・埋土下部	口縁部	口唇部と口縁部に細い粘土紐貼付	
410	ⅢA 3号住・埋土下部	口～頸部	口縁に沿ってえぐり、平行沈線文、RLヨコ	
411	ⅢA 3号住・埋土下部	頸部	横位の沈線間に縦位の連続沈線、結節したLRヨコ	深鉢B6類
412	ⅢA 3号住・埋土下部	口～頸部	波頂部は2山状、2山間とその下に粘土紐貼付、横位や小波状の沈線	深鉢B13類
413	ⅢA 3号住・埋土下部	口～頸部	連続押圧のある粘土紐貼付、RLタテ	深鉢B6類
414	ⅢA 3号住・埋土下部	頸部	刻目を持つ粘土紐貼付、弧状の連続沈線	深鉢B18類
415	ⅢA 3号住・埋土下部	頸部	爪形文のある粘土紐貼付、平行沈線文	深鉢B10類
416	ⅢA 3号住・埋土下部	口縁部	口縁部裏側に粘土紐貼付、横位や斜位の沈線、連続刺突のある粘土紐貼付	深鉢B19類
417	ⅢA 3号住・埋土下部	頸部	弧状の連続沈線、連続押圧のある粘土紐貼付	深鉢B6類
418	ⅢA 3号住・埋土下部	頸部	刻目を持つ粘土紐貼付、横位と小波状の沈線	深鉢B18類
419	ⅢA 3号住・埋土下部	胴部	2本1組の綾杉状のLタテ	深鉢A11類
420	ⅢA 3号住・埋土下部	口～胴部	口縁部裏側に粘土紐、横位や鋸歯状の沈線、橋状把手、末端結節の第1種羽状(左側すり消し)タテ	深鉢C15類
421	ⅢA 3号住・埋土下部	胴部	網目状燃糸文	深鉢A11類
422	ⅢA 3号住・埋土下部	口～胴部	口縁部に縦位の連続した刻目を持つ粘土帯、LRヨコ	深鉢A12類

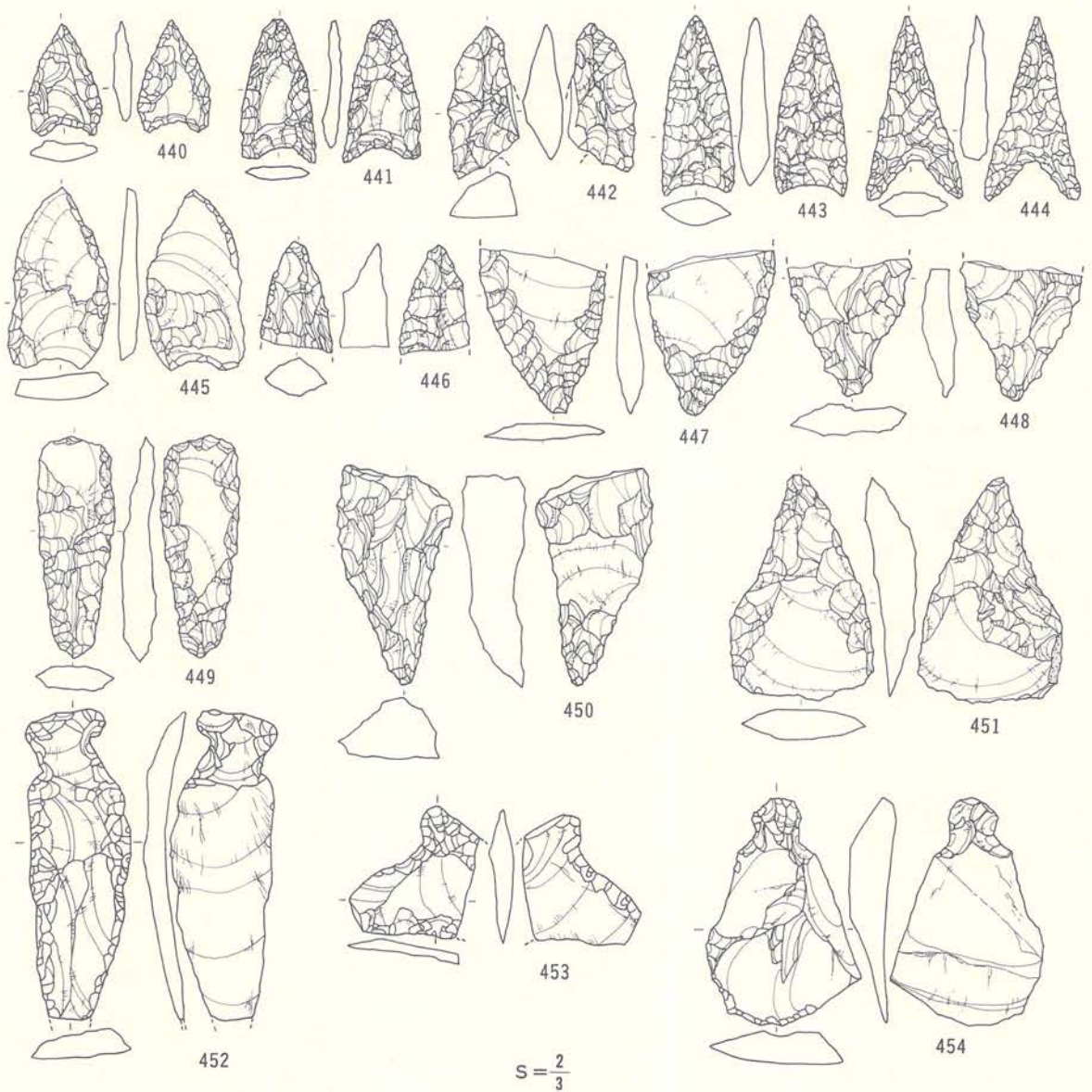
第58図 ⅢA 3号住居跡出土遺物(3)



No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
423	ⅢA 3号住・埋土中部	口縁部	横位と斜位の沈線、刻目を持つ楕円状の粘土塊貼付	深鉢A 19類
424	ⅢA 3号住・埋土中部	口縁部	複合口縁、粘土紐が鋸歯状に貼付	深鉢A
425	ⅢA 3号住・埋土上部	頸部	円形の連続刺突、刻目を持つ粘土紐貼付	深鉢B 18類
426	ⅢA 3号住・埋土上部	口縁部	横位の沈線間に小波状の沈線	深鉢A 6類
427	ⅢA 3号住・埋土上部	頸部	沈線をまたいで弧状の粘土紐が背中合わせに貼付、LRタテ	深鉢B
428	ⅢA 3号住・埋土上部	口縁部	横位の沈線間に弧状の連続沈線	深鉢B 17類
429	ⅢA 3号住・埋土上部	口縁部の上下に三角状のえぐり、その間に平行沈線文	深鉢B	
430	ⅢA 3号住・埋土上部	胴部	下部に連続した刻目を持つ粘土紐貼付、羽状(結束第2種)タテ	深鉢A 15類
431	ⅢA 3号住・埋土上部	頸部	横位の沈線間に弧状の連続沈線、連続押圧のある粘土紐貼付、結節したLRタテ	深鉢B 13類
432	ⅢA 3号住・埋土上部	口縁部	刻目を持つ粘土紐貼付、横位の小波状の沈線	深鉢B 18類
433	ⅢA 3号住・埋土上部	口縁部	棒状工具による連続刺突、縦位の刻目を持つ粘土塊貼付	深鉢A
434	ⅢA 3号住・埋土上部	口縁部	口縁部裏側に粘土紐、そこから口唇部にかけてSの字状の粘土塊、橋状把手状の粘土塊、沈線多数	深鉢B
435	ⅢA 3号住・埋土上部	口縁部	口唇部にドーナツ状の粘土貼付、表と裏には円形の連続刺突	
436	ⅢA 3号住・埋土上部	口縁部	渦巻状あるいは同心円状の粘土紐貼付	深鉢B

No.	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他
437	ⅢA 3号住・埋土中部	板状土偶	5.0	4.8	0.9	目と胸に計4ヶ所の小孔、中央部に円形の凹み、表と裏に斜位の沈線
438	ⅢA 3号住・埋土中部	板状土偶	5.7	4.6	1.6	頭部片、目と思われるところに1ヶ所の小孔
439	ⅢA 3号住・埋土下部	ミニチュア土器	—	—	—	口径(3.9cm)、器高2.0cm、底径3.6cm

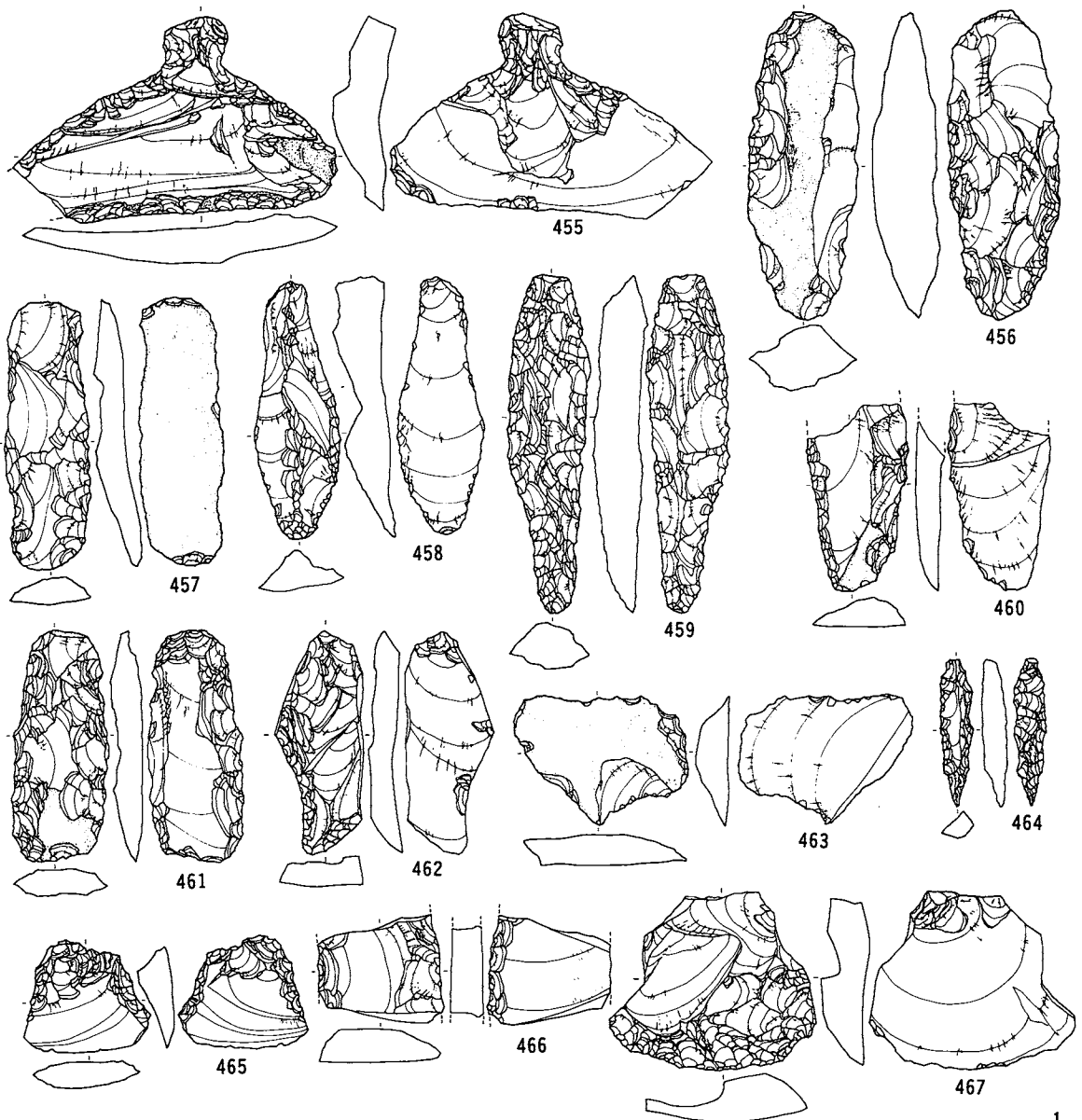
第59図 ⅢA 3号住居跡出土遺物(4)



$$S = \frac{2}{3}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
440	III A 3号住埋土	石鏃	2.4	1.6	0.5	1.2	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or雫石西部	新第三系中新統	
441	III A 3号住Q 4埋土下部	石鏃	3.0	1.6	0.3	1.7	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
442	III A 3号住Q 3埋土上部	石鏃	3.2	1.5	1.0	3.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
443	III A 3号住Q 4埋土下部	石鏃	3.8	1.6	0.6	2.9	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
444	III A 3号住埋土	石鏃	3.9	2.1	0.6	2.2	硬質泥岩	川尻以西or雫石西部	新第三系中新統	
445	III A 3号住Q 4埋土上部	石鏃	3.9	1.2	0.6	4.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
446	III A 3号住Q 1埋土中部	尖頭器	2.4	1.3	0.8	2.5	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
447	III A 3号住Q 1埋土上層	尖頭器	3.5	2.7	0.5	4.5	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
448	III A 3号住Q 3埋土上部	尖頭器	2.9	2.6	0.6	3.3	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
449	III A 3号住Q 4埋土上部	尖頭器	4.8	1.6	0.5	6.1	粘板岩ホルンフェルス	夏油川～仙人	古生界	
450	III A 3号住Q 4	尖頭器	4.7	2.5	1.2	12.2	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
451	III A 3号住Q 4埋土下部P 2	尖頭器	4.8	3.0	0.7	10.7	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
452	III A 3号住Q 4埋土下部	石匙	6.6	2.2	0.9	4.3	珪質泥岩	川尻以西or雫石西部	新第三系中新統	*
453	III A 3号住埋土	石匙	3.1	2.3	0.5	2.8	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or雫石西部	新第三系中新統	*
454	III A 3号住Q 3埋土上部	石匙	4.8	3.3	0.8	9.4	輝緑色凝灰岩	北上山地	古生界	

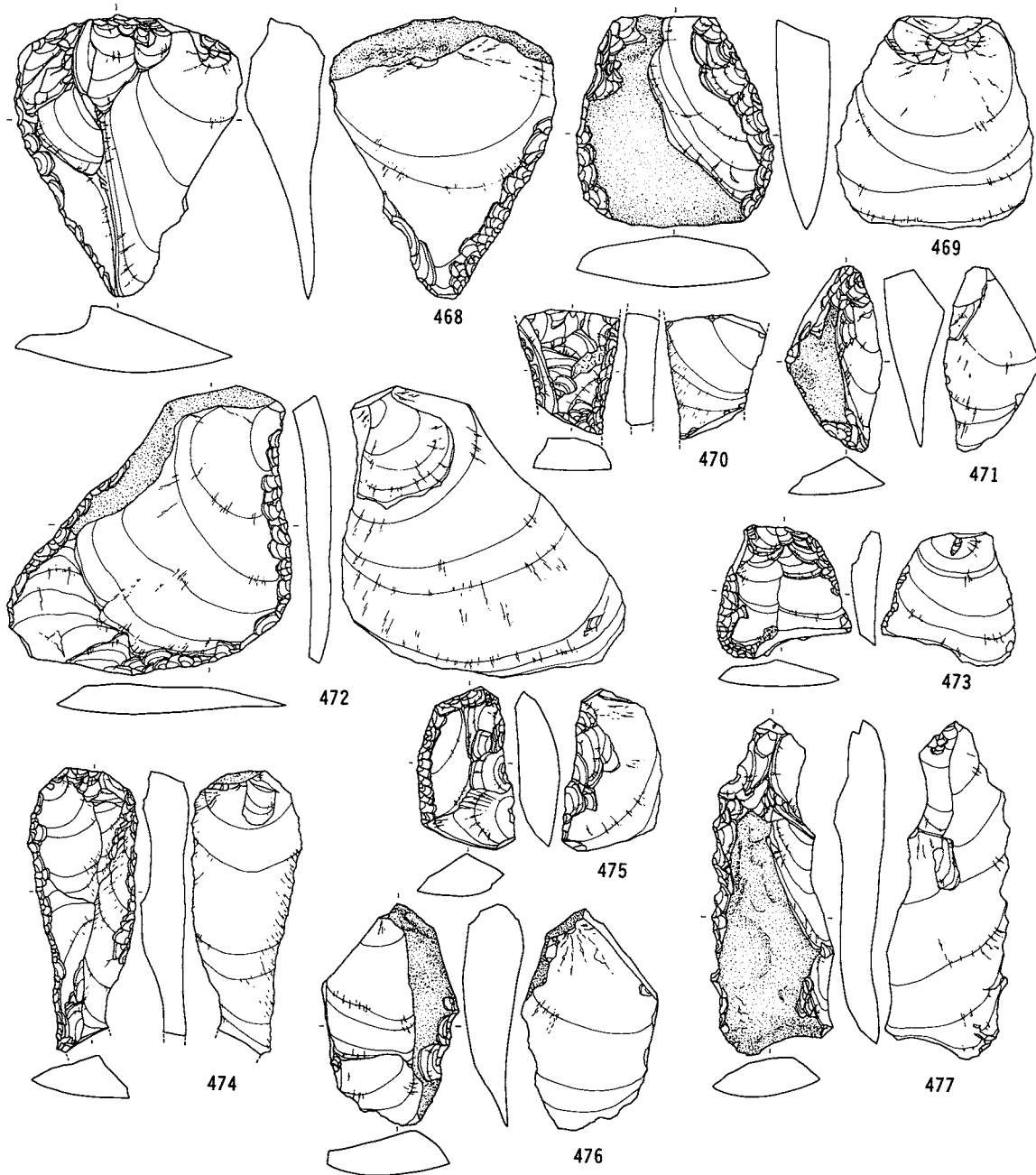
第60図 III A 3号住居跡出土遺物(5)



$s = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
455	ⅢA 3号住埋土下部	石匙	5.9	9.2	1.3	47.4	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
456	ⅢA 3号住Q 3埋土上部	石鏡	8.7	3.0	1.8	55.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
457	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	石鏡	7.6	2.3	0.7	16.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
458	ⅢA 3号住Q 3埋土下部	石鏡	7.3	2.4	1.4	173.0	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	
459	ⅢA 3号住Q 2埋土下部	石鏡	9.6	2.2	1.4	31.9	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
460	ⅢA 3号住Q 2埋土下層	石鏡	5.3	2.6	0.8	12.4	硬質泥岩	奥羽山地磐石	新第三系中新統	*
461	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	石鏡	6.6	2.7	0.7	19.1	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	
462	ⅢA 3号住Q 2埋土上部	削器	6.4	2.5	0.7	14.4	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
463	ⅢA 3号住Q 1埋土上部	石錐	3.6	4.6	0.9	16.7	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
464	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	石錐	4.2	0.9	0.7	2.7	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	
465	ⅢA 3号住埋土	削器	3.2	3.7	1.0	9.2	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西○r 磐石西部	新第三系中新統	
466	ⅢA 3号住埋土	削器	3.1	3.6	1.0	14.1	硬質泥岩	川尻以西○r 磐石西部	新第三系中新統	*
467	ⅢA 3号住Q 4埋土下層	削器	5.1	6.0	1.2	35.7	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	

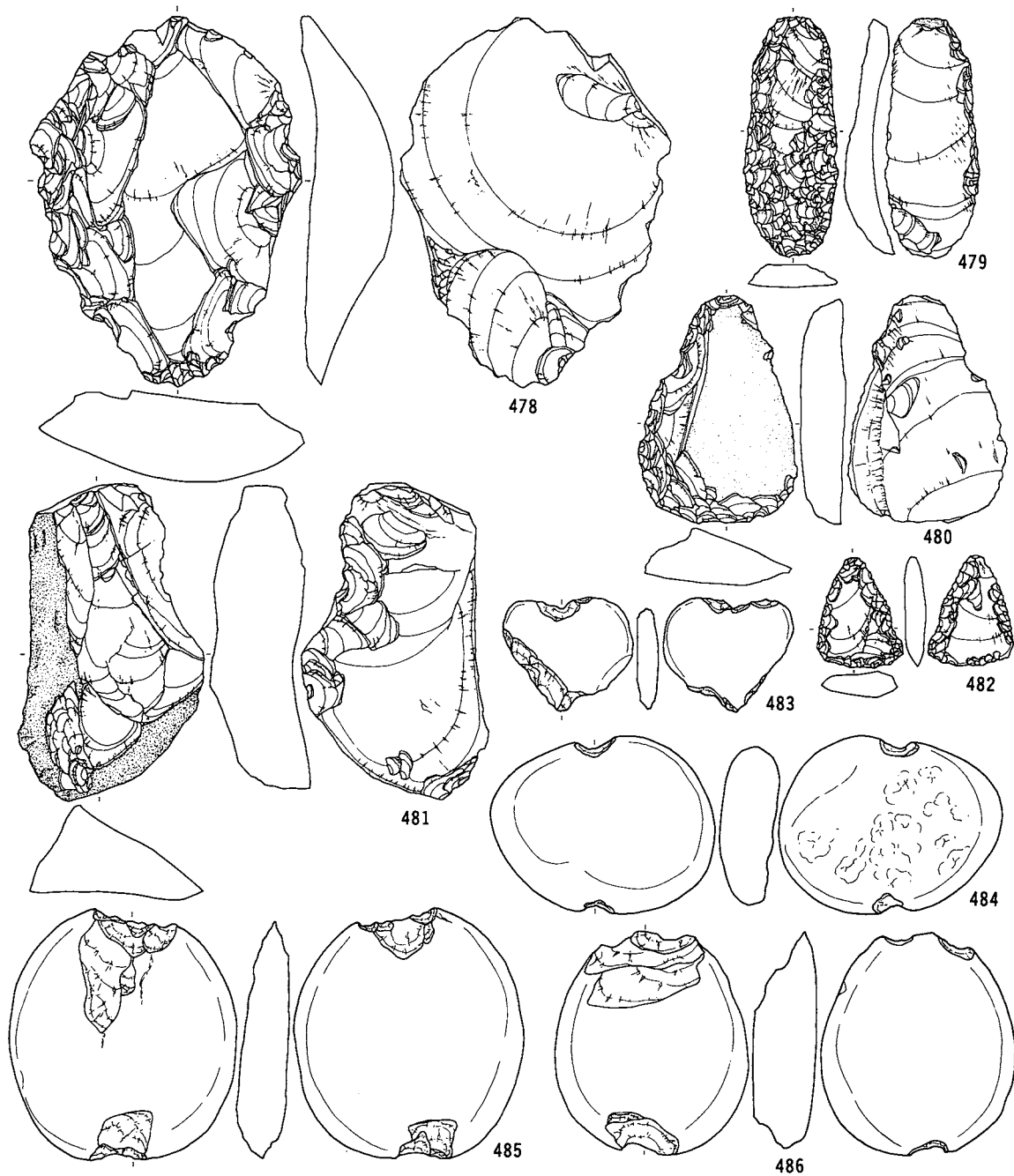
第61図 ⅢA 3号住居跡出土遺物(6)



$$S = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
468	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	削器	8.3	6.7	2.1	85.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
469	ⅢA 3号住Q 3埋土上部	削器	6.2	5.9	1.6	65.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
470	ⅢA 3号住Q 3埋土下部	削器	3.7	3.0	1.1	13.3	珪質泥岩	川尻以西or 雫石西部	新第三系中新統	*
471	ⅢA 3号住Q 4埋土中層	削器	5.3	2.9	2.0	15.3	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
472	ⅢA 3号住Q 3埋土下部	削器	8.5	8.4	0.9	79.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
473	ⅢA 3号住Q 4埋土中層	削器	40.0	4.0	0.7	11.3	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
474	ⅢA 3号住埋土	削器	8.4	3.3	1.3	26.6	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or 雫石西部	新第三系中新統	*
475	ⅢA 3号住Q 3埋土下部	削器	4.8	2.9	1.2	15.3	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
476	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	鋸齒状石器	6.6	4.0	1.7	29.7	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
477	ⅢA 3号住Q 2埋土中部	鋸齒状石器	10.0	3.0	1.5	42.4	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	

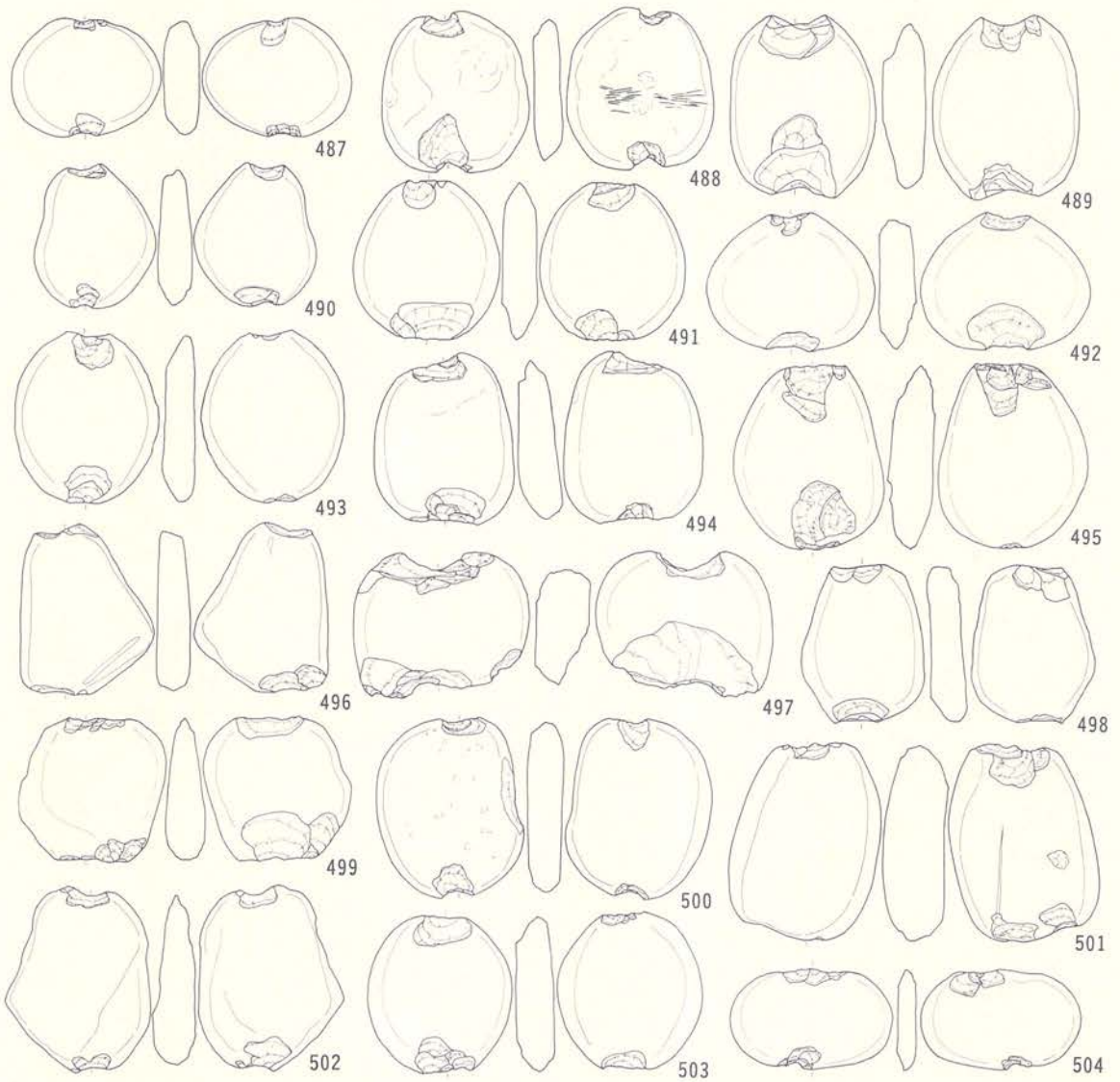
第62図 ⅢA 3号住居跡出土遺物(7)



s = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
478	ⅢA 3号住Q 3埋土下部	鋸齒状石器	11.0	8.3	2.5	220.0	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
479	ⅢA 3号住埋土	搔器	7.2	2.9	1.5	21.3	硬質泥岩	川尻以西or 雫石西部	新第三系中新統	
480	ⅢA 3号住埋土	搔器	6.9	4.9	1.7	42.6	細粒凝灰岩	川尻以西or 雫石西部	新第三系中新統	
481	ⅢA 3号住Q 3埋土上部	鋸齒状石器	9.5	5.6	2.7	155.0	粘板岩ホルンフェルス	夏油川～仙人	古生界	
482	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	三角削器	3.4	2.6	0.6	5.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
483	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	石鏟	3.5	4.0	0.8	10.1	ホルンフェルス	夏油川	古生界	*
484	ⅢA 3号住Q 3埋土下層	石鏟	5.4	6.8	1.6	75.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
485	ⅢA 3号住Q 1埋土上部	石鏟	7.5	6.8	1.6	130.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
486	ⅢA 3号住Q 1埋土上部	石鏟	6.7	5.8	1.9	100.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	

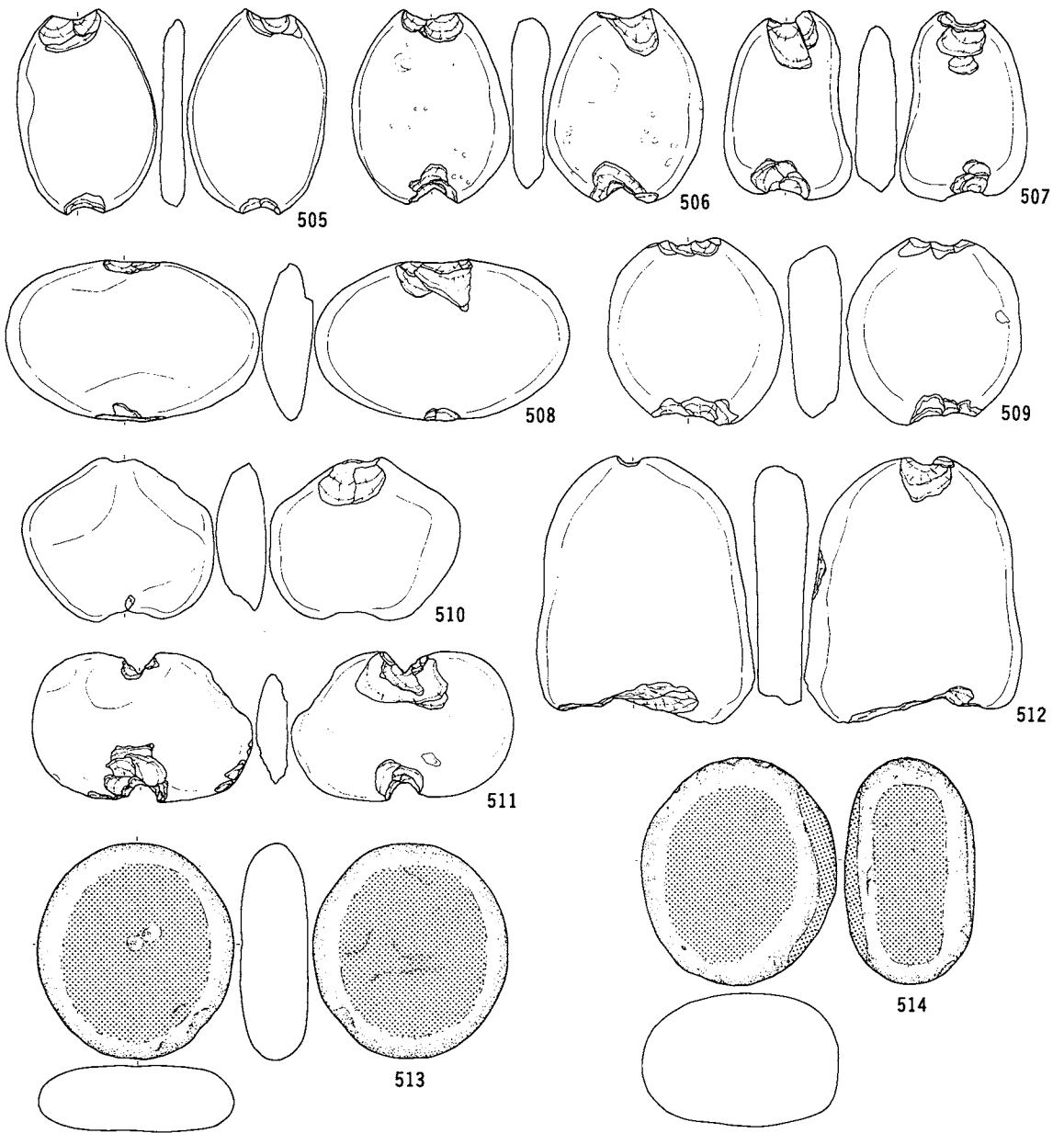
第63図 ⅢA 3号住居跡出土遺物(8)



No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
487	ⅢA 3号住Q 3埋土下部	石錘	4.9	6.2	1.7	75.1	兩輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
488	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	石錘	6.6	6.1	1.4	70.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
489	ⅢA 3号住埋土	石錘	7.9	6.1	1.9	125.0	緑色凝灰岩	夏湯川上流	新第三系中新統	*
490	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	石錘	7.2	4.8	1.5	60.1	兩輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
491	ⅢA 3号住Q 4下部P 5	石錘	6.6	6.0	1.4	85.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
492	ⅢA 3号住Q 1埋土下部	石錘	5.8	7.0	1.6	85.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
493	ⅢA 3号住埋土	石錘	6.9	5.9	1.3	70.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
494	ⅢA 3号住Q 3埋土上部	石錘	7.0	5.8	1.7	105.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
495	ⅢA 3号住Q 1埋土上部	石錘	7.7	6.0	1.9	100.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
496	ⅢA 3号住Q 3埋土上部	石錘	7.1	5.5	1.4	63.1	テサイト質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
497	ⅢA 3号住Q 4埋土上部	石錘	5.9	7.3	2.3	110.0	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
498	ⅢA 3号住埋土下部	石錘	6.6	5.1	1.4	75.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
499	ⅢA 3号住Q 4埋土中部	石錘	6.5	5.9	1.6	95.1	兩輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
500	ⅢA 3号住Q 2埋土上部	石錘	7.4	5.8	1.6	95.1	兩輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
501	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	石錘	8.4	6.0	2.5	165.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
502	ⅢA 3号住Q 2埋土上部	石錘	7.5	5.9	1.6	105.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
503	ⅢA 3号住Q 4埋土中部	石錘	6.7	6.1	1.7	95.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
504	ⅢA 3号住Q 3埋土上部	石錘	4.2	6.5	1.1	35.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

S = $\frac{1}{3}$

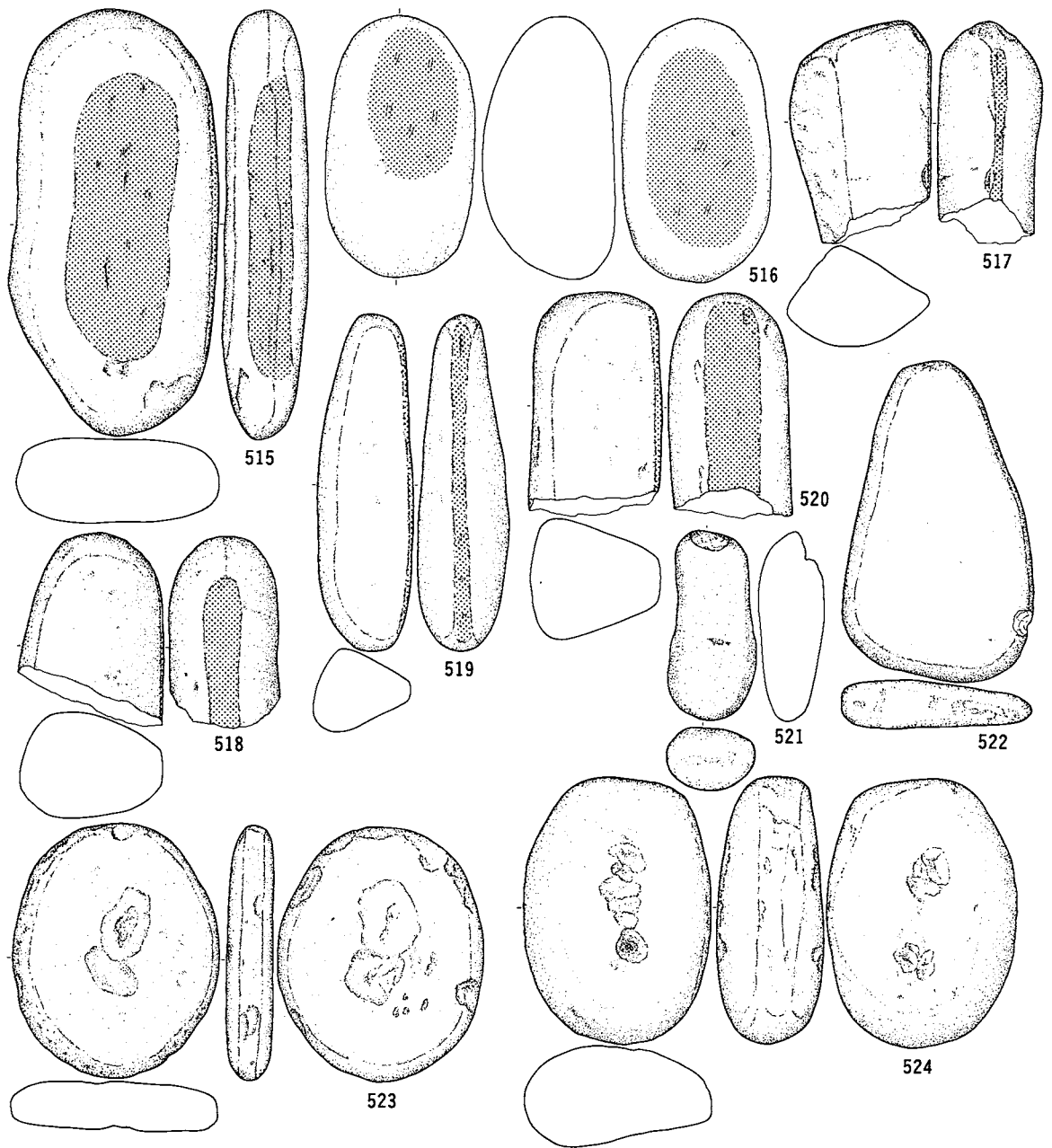
第64図 ⅢA 3号住居跡出土遺物(9)



$s = \frac{1}{3}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
505	ⅢA 3号住埋土	石鏟	8.7	5.9	1.0	75.1	淡青色細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
506	ⅢA 3号住Q 4埋土上部	石鏟	8.5	6.8	1.9	135.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系中新統	
507	ⅢA 3号住Q 1埋土上部	石鏟	8.2	5.6	1.9	105.0	珧質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
508	ⅢA 3号住Q 2埋土上層	石鏟	6.9	11.1	2.1	270.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
509	ⅢA 3号住埋土	石鏟	8.0	7.5	2.4	210.0	プロピライト質緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
510	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	石鏟	6.9	8.2	2.6	185.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
511	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	石鏟	6.5	9.6	1.4	115.0	珧質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
512	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	石鏟	11.5	9.3	2.4	335.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
513	ⅢA 3号住Q 2埋土上部	すり石	9.4	8.5	2.8	375.0	花崗閃緑岩	夏油川～仙人	中生界	
514	ⅢA 3号住Q 2埋土	すり石	9.9	8.5	5.7	710.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	

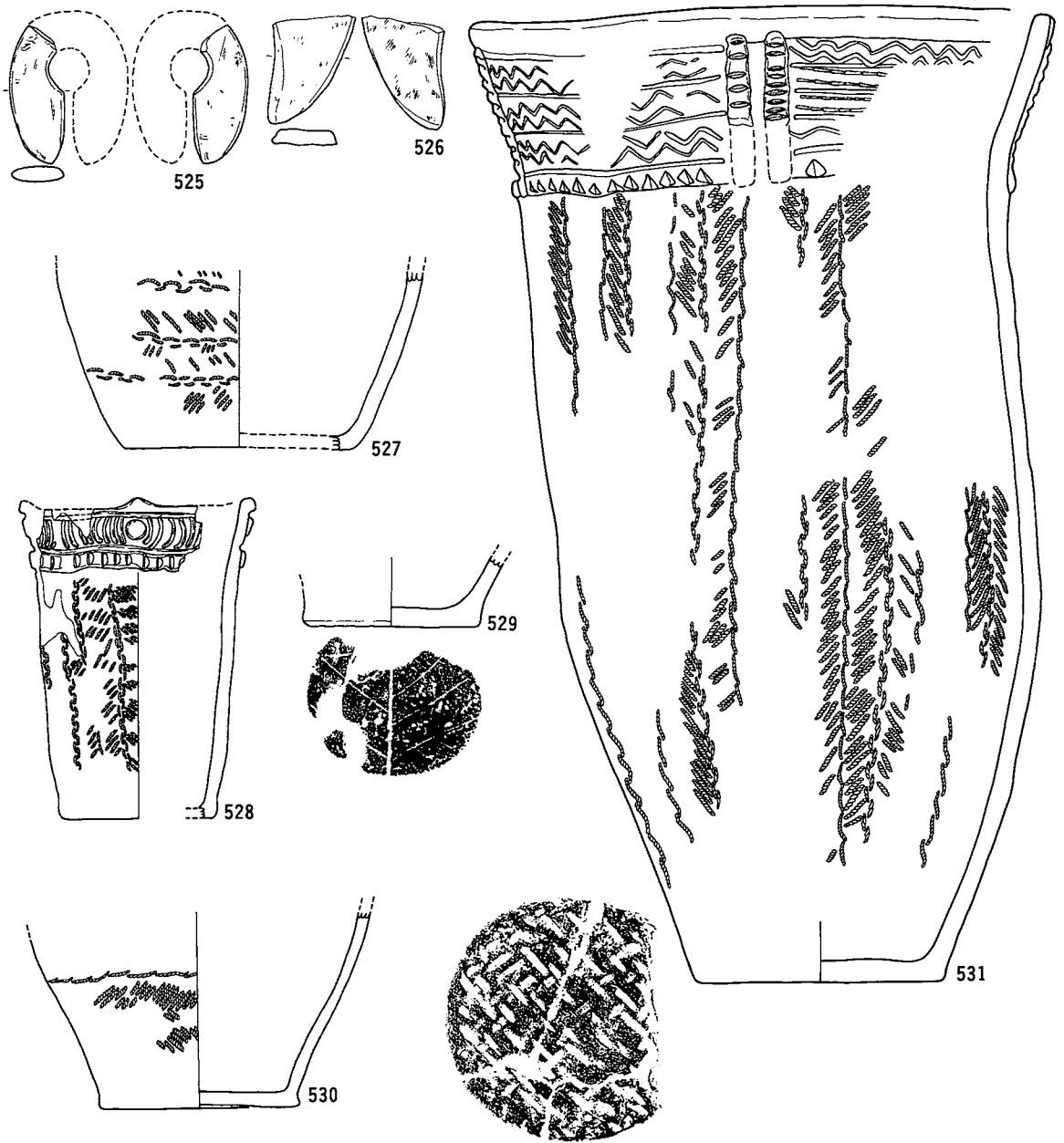
第65図 ⅢA 3号住居跡出土遺物(10)



$S = \frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
515	ⅢA 3号住Q 2埋土	すり石	18.9	9.2	3.8	1060.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	
516	ⅢA 3号住埋土	すり石	11.4	6.6	5.6	650.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
517	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	特殊磨石	9.8	6.3	4.4	350.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
518	ⅢA 3号住Q 2埋土上部	特殊磨石	8.5	6.3	4.7	385.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系中新統	*
519	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	特殊磨石	14.9	4.3	3.7	380.0	濃緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
520	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	特殊磨石	9.9	5.9	5.3	510.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	*
521	ⅢA 3号住Q 4埋土上部	敲石	8.3	3.8	2.7	125.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
522	ⅢA 3号住Q 4埋土下部	敲石	14.4	8.5	2.5	415.0	濃緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
523	ⅢA 3号住Q 1埋土下部	凹石	11.4	9.2	2.0	380.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
524	ⅢA 3号住Q 2埋土	凹石	11.9	8.3	4.4	680.0	花崗閃緑岩	和賀仙人～夏油川	中生界	

第66図 ⅢA 3号住居跡出土遺物(1)

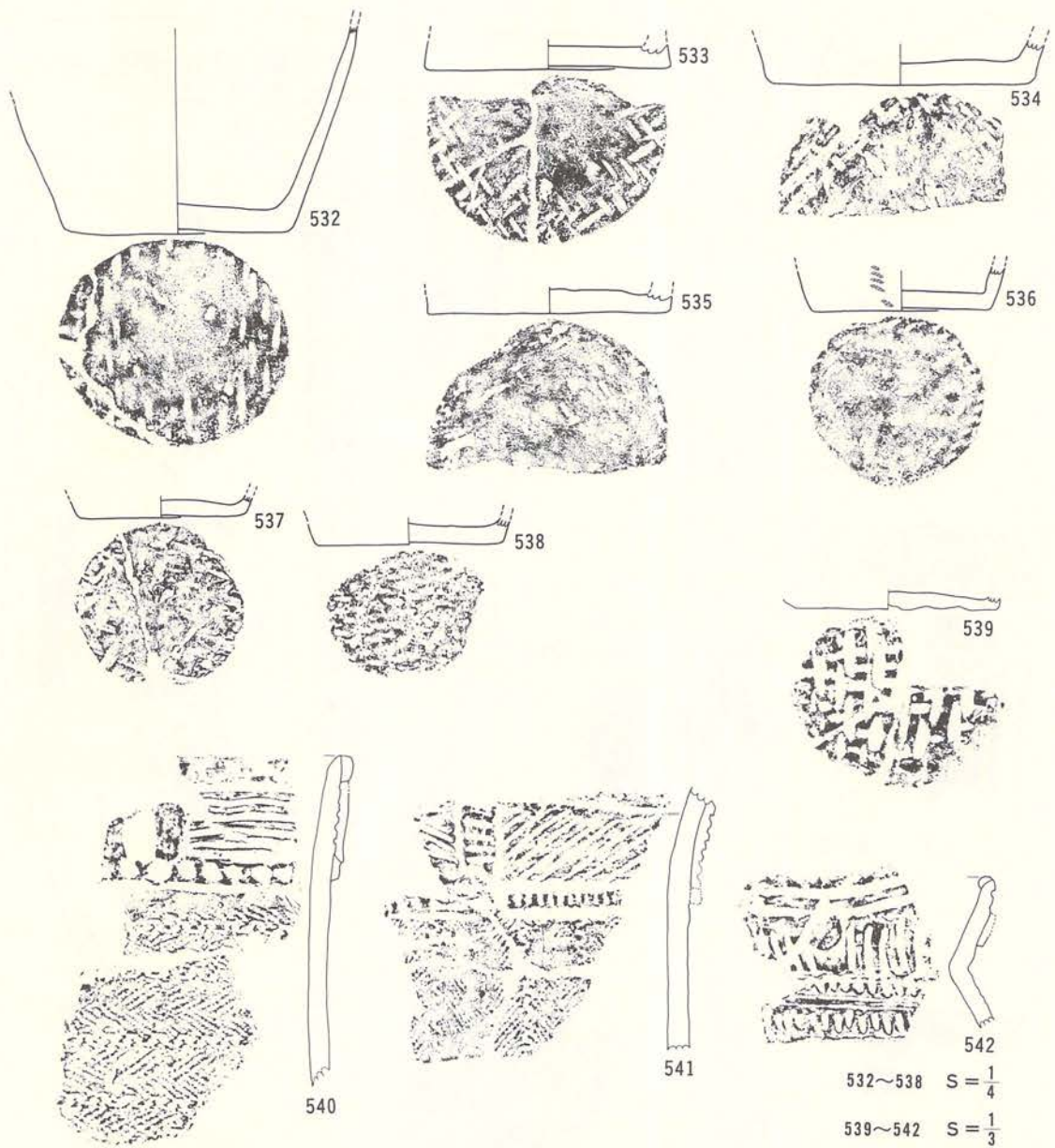


525~526 S = $\frac{1}{2}$ 527~531 S = $\frac{1}{4}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
525	ⅢA 3号住Q 1埋土上部	殻状耳飾	4.0	1.6	0.4	4.5	滑石	富守	古生界	*
526	ⅢA 3号住Q 2埋土上部	石製品(垂飾)	3.2	2.4	0.4	3.8	綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

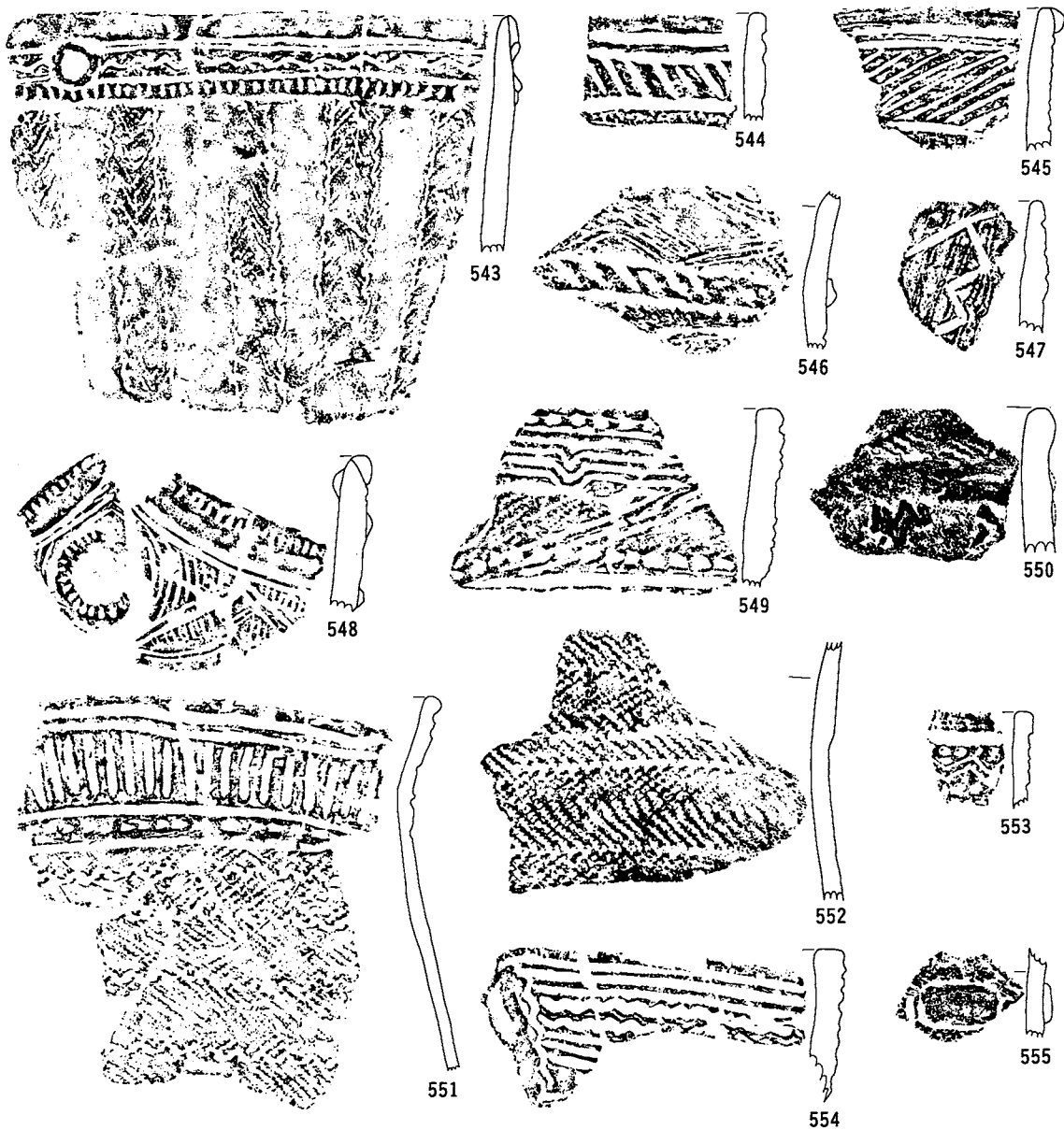
No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他				分類
527	ⅢA 4号住・埋土下部	胴~底部	羽状(結束第2種)ヨコ				深鉢B15類
528	ⅢA 4号住・埋土中部	口~底部	平縁、わずかに突起、沈線間に团子状粘土塊貼付とその両側に弧状の連続沈線、第2種羽状タテ				深鉢A13類
529	ⅢA 4号住・埋土中部	底部	木葉痕				深鉢B
530	ⅢA 4号住・埋土	胴~底部	結節した羽状(結束第1種)ヨコ				深鉢B15類
531	ⅢA 4号住・埋土	口~底部	平縁、刻目のある粘土帯、小波状や押し引きの沈線、三角刺突、結節のある第2種羽状タテ、網代痕				深鉢B15類

第67図 ⅢA 3号住(12)・ⅢA 4号住居跡出土遺物(1)



No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
532	ⅢA 4号住・埋土	胴～底部	網代痕	深鉢B
533	ⅢA 4号住・埋土上部	底部	網代痕	深鉢C
534	ⅢA 4号住・埋土中部	底部	網代痕	深鉢B
535	ⅢA 4号住・埋土中部	底部	網代痕	深鉢
536	ⅢA 4号住・埋土	底部	網代痕	深鉢B
537	ⅢA 4号住・埋土下部	底部	網代痕	深鉢B
538	ⅢA 4号住・埋土中部	底部	網代痕	深鉢B
539	ⅢA 4号住・埋土下部	底部	網代痕	深鉢
540	ⅢA 4号住・埋土下部	口～胴部	2本1対の縦位の粘土紐、連続押圧のある横位の粘土紐、横位の沈線、羽状(結束第2種)ヨコ	深鉢B15類
541	ⅢA 4号住・埋土下部	頭～胴部	刻目を持つ粘土紐貼付、沈線間に斜位の連続沈線、羽状(結束第2種)タテ	深鉢B18類
542	ⅢA 4号住・床直	口～頸部	口縁部裏側に粘土紐貼付、ボタン状貼付、横位や縦位の沈線、平行沈線文、縦位の連続刺突	深鉢C19類

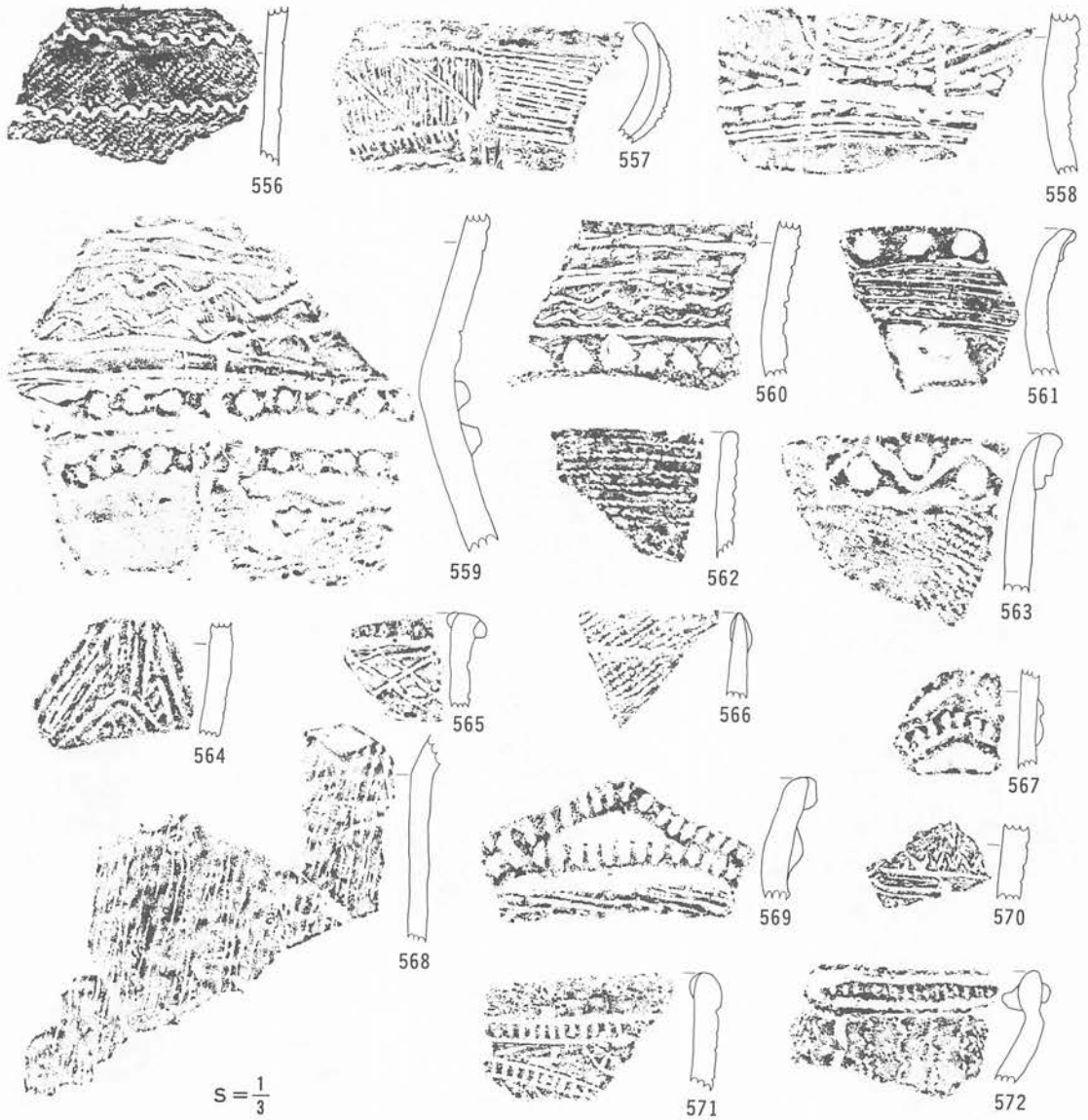
第68図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(2)



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
543	ⅢA 4号住・埋土中部	口～胴部	複合口縁、ドーナツ状貼付、横位や小波状の沈線、刻目を持つ粘土紐、両末端結節の羽状(結束第1種)タテ	深鉢 A15類
544	ⅢA 4号住・埋土中部	口縁部	横位の沈線間に斜位の連続沈線	深鉢 A14類
545	ⅢA 4号住・床直	口縁部	複合口縁、横位の沈線間に斜位の連続沈線	深鉢 A14類
546	ⅢA 4号住・埋土中部	頸部	平行沈線文、斜位押圧のある粘土紐、LRタテ	深鉢 B17類
547	ⅢA 4号住・埋土	口縁部	斜位や鋸歯状の沈線、結条体Lタテ	深鉢 A 6類
548	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	口縁部の表と裏に粘土紐、刻目を持つドーナツ状の粘土紐、弧状の連続沈線、平行沈線文	深鉢 B19類
549	ⅢA 4号住・埋土中部	口縁部	押し引き沈線、V字状や横位の沈線、LRヨコ	深鉢 A12類
550	ⅢA 4号住・埋土中部	口縁部	鋸歯状の粘土紐貼付、RLヨコ	深鉢 A12類
551	ⅢA 4号住・埋土上部	口～胴部	横位の沈線、縦位の連続沈線、爪形文、羽状(結束第2種)ヨコ	深鉢 B15類
552	ⅢA 4号住・埋土中部	胴部	羽状(結束第1種)ヨコ	深鉢 B15類
553	ⅢA 4号住・埋土中部	口縁部	横位の沈線、平行沈線文、円形の連続刺突	深鉢 A10類
554	ⅢA 4号住・埋土中部	口縁部	3条1組の横位の沈線、その間に小波状沈線や爪形文、斜位の粘土紐貼付	深鉢 B12類
555	ⅢA 4号住・埋土中部	胴部	隅丸長方形の粘土塊貼付	深鉢

第69図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(3)



№	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
556	ⅢA 4号住・埋土中部	胴部	羽状(結束第2種)ヨコ	深鉢A15類
557	ⅢA 4号住・埋土中部	口縁部	平行沈線間に縦位の連続沈線、斜位の平行沈線、横位の沈線のある橋状把手状の粘土塊貼付	深鉢C20類
558	ⅢA 4号住・埋土上部	頸部	同心円状や斜位の沈線、押し引き沈線、RLヨコ	深鉢B17類
559	ⅢA 4号住・埋土上部	頸部	平行沈線文、連続押圧のある粘土紐巡る	深鉢B6類
560	ⅢA 4号住・埋土上部	頸部	押し引き沈線、横位や小波状の沈線、連続した三角状のえぐり	深鉢B6類
561	ⅢA 4号住・埋土上部	口～頸部	口縁部に連続した円形の凹み、横位の沈線	深鉢B6類
562	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	横位や斜位にLの原体圧痕	深鉢A16類
563	ⅢA 4号住・埋土上部	口～胴部	口縁部に鋸歯状の沈線、その間に円形の凹み、LRタテ	深鉢A14類
564	ⅢA 4号住・埋土上部	胴部	縦横に平行沈線文	深鉢A7類
565	ⅢA 4号住・埋土上部	口～胴部	上端の表と裏に粘土紐、網目状の沈線	深鉢A6類
566	ⅢA 4号住・埋土上部	口～胴部	上端の表と裏に粘土帯、LRヨコ	深鉢A12類
567	ⅢA 4号住・埋土上部	胴部	棒状工具による連続刺突と沈線が施された鍵状の粘土帯貼付	深鉢A
568	ⅢA 4号住・埋土上部	胴部	絡条体1タテ	深鉢A4類
569	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	刻目を持つ粘土紐貼付、横位の沈線	深鉢B18類
570	ⅢA 4号住・埋土上部	胴部	鋸歯状の沈線、平行沈線文	深鉢A6類
571	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	上端の裏側に粘土紐貼付、梯子状の沈線	深鉢A19類
572	ⅢA 4号住・埋土上部	口～胴部	上端の表と裏に粘土紐貼付、表の粘土紐には刻目、両末端結節のLR(結束第2種)タテ	深鉢C18類

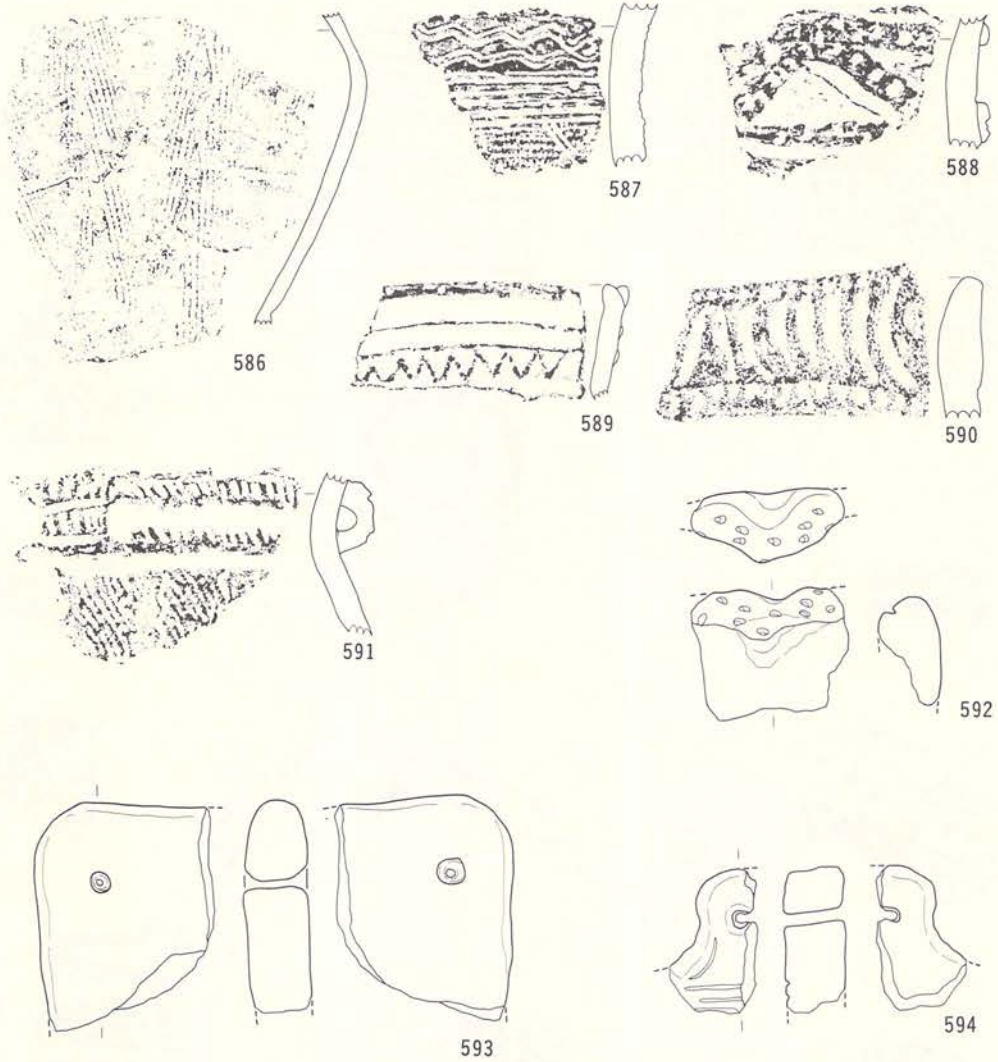
第70図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(4)



$$s = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
573	ⅢA 4号住・埋土上部	口～胴部	数条の沈線間に円形の連続刺突や鋸歯状の沈線、刻目を持つ粘土紐、両末端結節のLタテ	深鉢B19類
574	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	刻目を持つ粘土紐、2条1単位の横位と小波状の沈線	深鉢A18類
575	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	波頂部に沿って粘土帯、直下にボタン状貼付	深鉢B
576	ⅢA 4号住・埋土上部	頸部	太い横位の沈線、連続した三角状のえぐり	深鉢
577	ⅢA 4号住・埋土上部	頸部	粘土帯の下部に連続した三角状のえぐり	深鉢
578	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	渦巻状の粘土紐貼付、弧状や横位の沈線、LRタテ	深鉢B17類
579	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	波頂部に沿って粘土帯、直下に縦位の平行沈線、その両側に円形の連続刺突	深鉢B
580	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	連続した刻目や沈線のある突起部分	深鉢
581	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	平行沈線文の間に縦位の連続沈線、口縁裏側に粘土紐貼付で波頂部は渦巻状	深鉢B17類
582	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	口唇部を包んで粘土帯巡る、その上から2本の粘土紐貼付、沈線の中に連続刺突	深鉢A
583	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	ラグビーボール状の突起に連続沈線、2条の沈線間に網目状の沈線	深鉢B
584	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	口唇部に刻目のある渦巻状の突起、2条の沈線間に縦位の連続沈線	深鉢
585	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	上端裏側に粘土紐貼付、口唇部に溝とドーナツ状粘土塊、横位や鋸歯状の沈線、まくら状の粘土塊	深鉢C19類

第71図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(5)



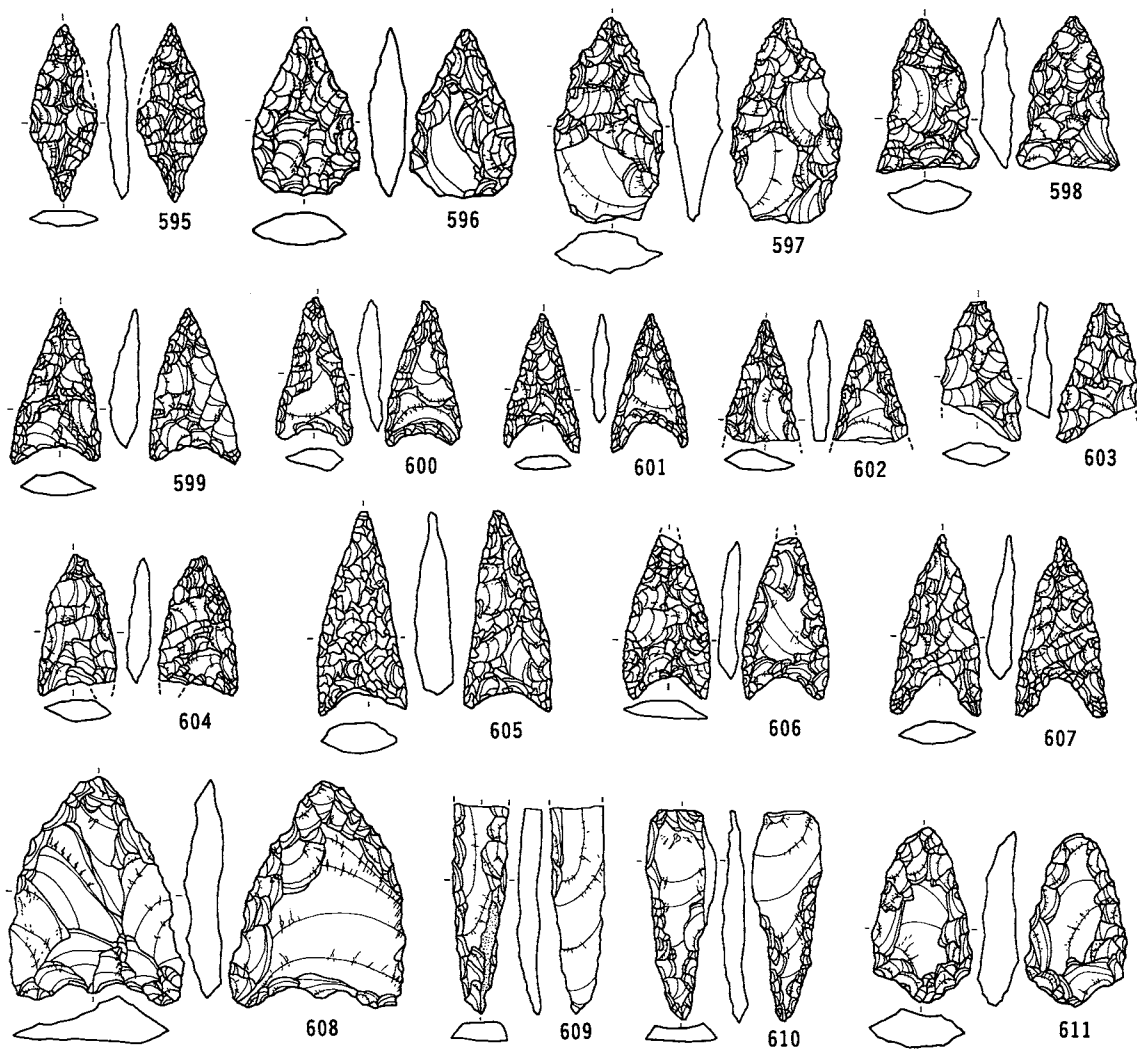
586~591 $s = \frac{1}{3}$

592~594 $s = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
586	ⅢA 4号住・埋土	胴部	木目状摺糸文	深鉢B11類
587	ⅢA 4号住・埋土	頭部	平行沈線文、LRナナム	深鉢B 6類
588	ⅢA 4号住・埋土	頭部	爪形文の施された粘土紐が斜位や横位に貼付	深鉢B10類
589	ⅢA 4号住・埋土	口縁部	上端に粘土紐が巡る、その下に横位や鋸歯状に細い粘土紐貼付	深鉢A
590	ⅢA 4号住・埋土	口縁部	2段の爪形文の間に弧状の連続沈線	深鉢B13類
591	ⅢA 4号住・埋土	頭~胴部	刻目を持つ2本の粘土紐、それをまたいで連続沈線のある橋状把手、両末端結節のLRタテ	深鉢C18類
592	ⅢA 4号住・埋土上部	口縁部	偏平な口唇部に連続刺突、前後の小波状	深鉢3類

No.	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他
593	ⅢA 4号住・埋土上部	板状土偶	6.1	4.8	1.7	頭部片、目の部分と思われる小孔が1個施される
594	ⅢA 4号住・埋土上部	板状土偶	3.8	2.2	1.6	頭~肩部片、目の部分と思われる小孔1個、表に沈線

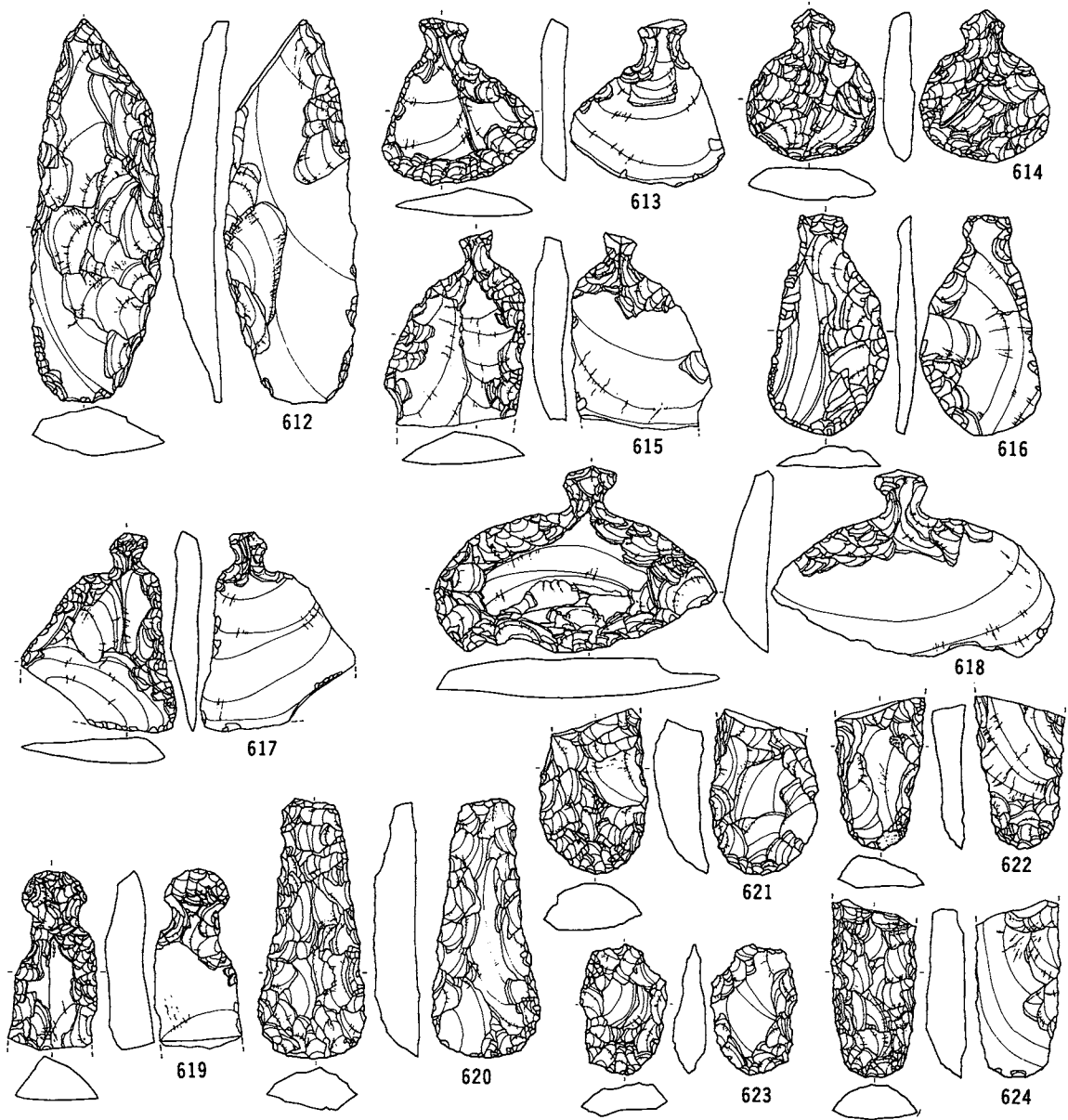
第72図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(6)



S = $\frac{2}{3}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
595	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石鏃	3.5	1.4	0.3	2.2	黒曜石	不詳		*
596	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石鏃	3.4	2.1	0.8	3.7	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
597	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石鏃	4.1	2.1	0.8	5.9	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
598	ⅢA 4号住Q 2埋土下部	石鏃	3.0	2.0	0.6	1.5	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
599	ⅢA 4号住Q 4埋土中層	石鏃	3.1	1.8	0.5	2.2	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
600	ⅢA 4号住Q 3埋土下層	石鏃	2.9	1.6	0.4	1.5	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
601	ⅢA 4号住Q 3埋土下部	石鏃	2.8	1.5	0.3	0.9	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
602	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石鏃	2.4	1.5	0.4	1.1	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	*
603	ⅢA 4号住Q 3埋土下層	石鏃	2.7	1.5	0.4	1.3	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
604	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石鏃	2.8	1.5	0.4	1.9	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
605	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石鏃	4.0	1.8	0.8	4.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
606	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石鏃	3.3	1.7	0.4	2.1	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
607	ⅢA 4号住埋土上層	石鏃	3.6	1.8	0.4	2.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
608	ⅢA 4号住Q 3埋土中層	尖頭器	4.6	3.4	0.9	11.4	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
609	ⅢA 4号住Q 3埋土中層	尖頭器	4.1	1.1	0.4	2.9	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
610	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	尖頭器	4.2	1.4	0.4	2.5	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
611	ⅢA 4号住Q 3埋土中層	尖頭器	3.5	1.8	0.8	5.1	硬質泥岩	奥羽山地(雫石)	新第三系中新統	

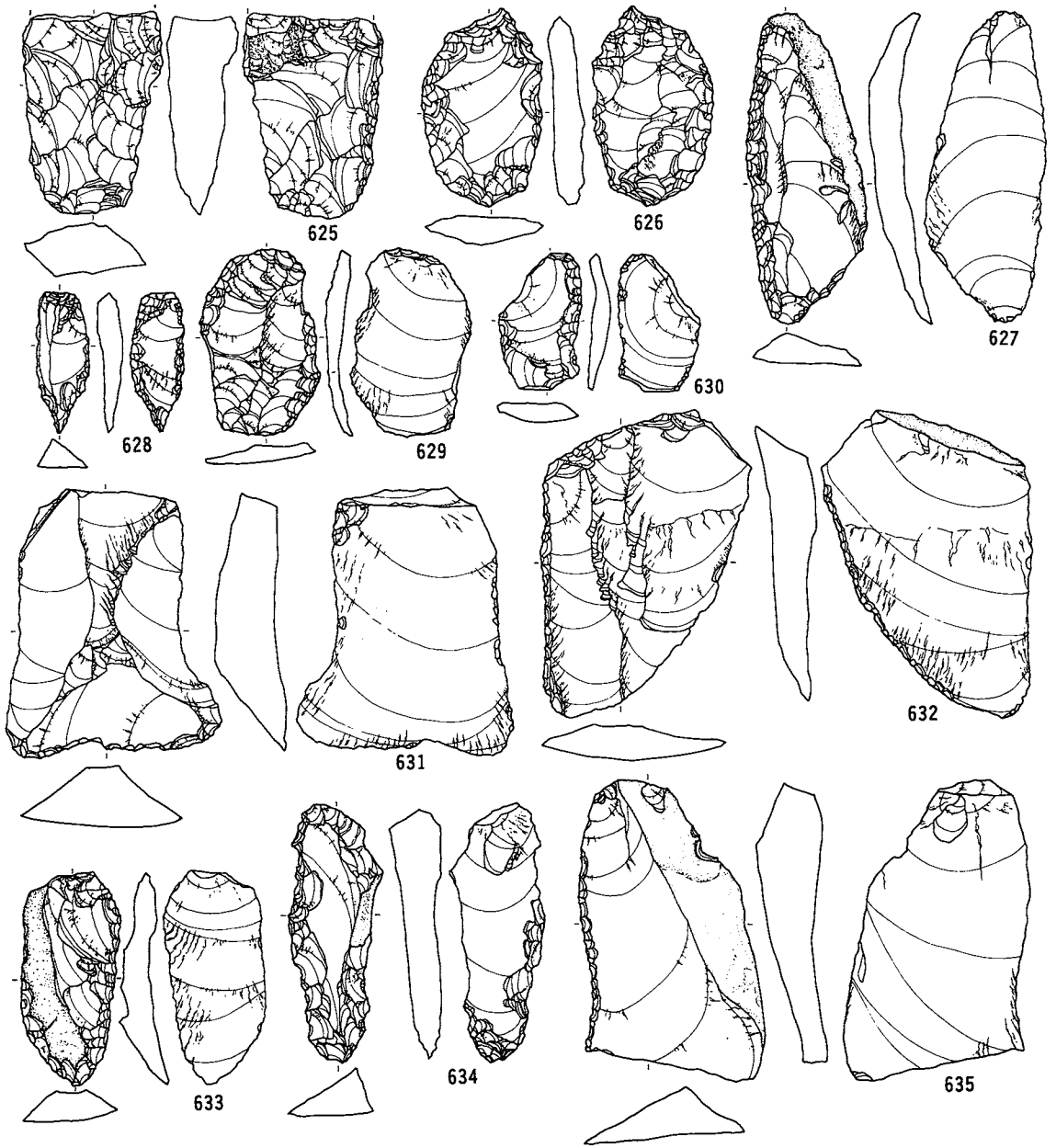
第73図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(7)



S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
612	ⅢA 4号住Q 3埋土	尖頭器	10.9	3.8	1.3	53.8	硬質泥岩	奥羽山地(隼石)	新第三系中新統	
613	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石匙	4.8	4.4	0.8	14.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
614	ⅢA 4号住埋土下部	石匙	4.4	3.7	0.9	14.1	黒曜石	不詳		
615	ⅢA 4号住埋土Q 3上層	石匙	5.6	4.0	1.0	19.1	珪質泥岩	隼石	新第三系中新統	*
616	ⅢA 4号住埋土下部	石匙	6.3	3.4	0.6	14.4	珪質泥岩	川尻以西~隼石西部	新第三系中新統	
617	ⅢA 4号住Q 3床上	石匙	5.7	4.5	0.8	13.7	粘板岩	夏油川~仙人	古生界	*
618	ⅢA 4号住Q 3埋土下部	石匙	5.4	8.2	1.3	42.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
619	ⅢA 4号住Q 4埋土下部	石匙	5.1	2.6	1.2	10.1	硬質泥岩	奥羽山地隼石	新第三系中新統	*
620	ⅢA 4号住Q 4埋土上部	石筥	7.4	3.1	1.2	27.1	珪質泥岩	隼石	新第三系中新統	
621	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石筥	4.7	2.8	1.3	21.5	硬質泥岩	奥羽山地隼石	新第三系中新統	*
622	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石筥	4.4	2.5	0.9	12.2	硬質泥岩	奥羽山地隼石	新第三系中新統	*
623	ⅢA 4号住Q 3上層	石筥	3.8	2.5	0.9	8.7	硬質泥岩	奥羽山地隼石	新第三系中新統	
624	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石筥	5.1	2.5	1.0	17.3	燧石凝灰岩	北上山地	古生界	*

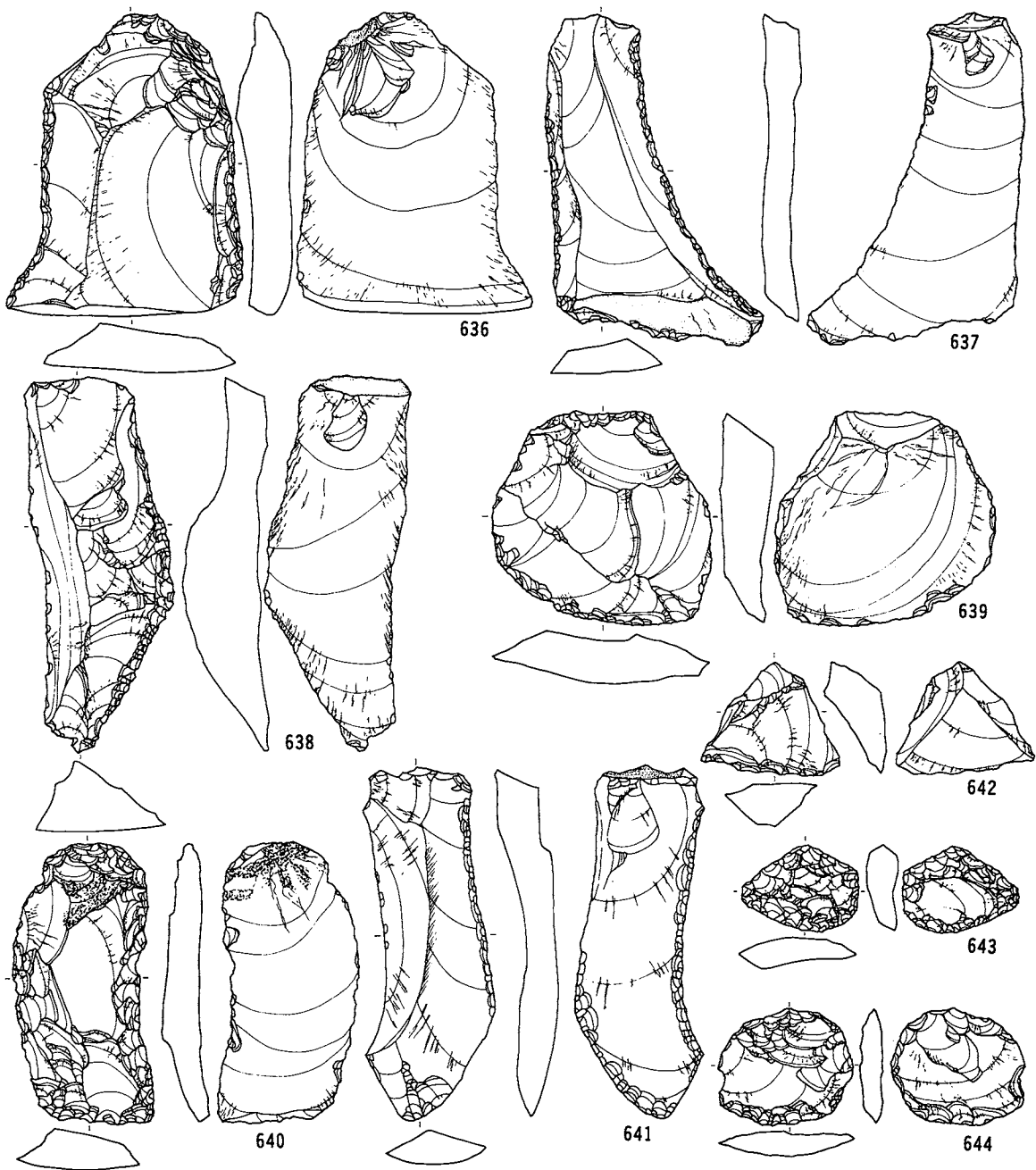
第74図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(8)



S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
625	ⅢA 4号住Q 3埋土下部	石篋	5.8	3.5	2.0	42.6	玉髓	不詳		*
626	ⅢA 4号住Q 3埋土	石篋	5.7	3.5	0.8	21.5	珉質泥岩	雫石	新第三系中新統	
627	ⅢA 4号住Q 3埋土中層	削器	8.9	3.2	0.8	31.4	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
628	ⅢA 4号住Q 3	石錐	4.1	1.5	1.5	4.8	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
629	ⅢA 4号住Q 2埋土下層	削器	5.3	3.2	0.5	11.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
630	ⅢA 4号住Q 4	削器	2.8	3.7	0.5	6.1	珉質泥岩	雫石	新第三系中新統	
631	ⅢA 4号住Q 4埋土中層	削器	7.5	6.0	1.8	84.1	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
632	ⅢA 4号住Q 3埋土中層	削器	8.8	5.3	1.0	60.1	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
633	ⅢA 4号住Q 3	削器	6.2	2.7	0.9	19.4	珉質泥岩	雫石	新第三系中新統	
634	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	削器	7.5	2.5	0.3	25.3	粘板岩	夏油川~仙人	古生界	
635	ⅢA 4号住埋土中層	削器	8.8	5.1	1.4	90.1	珉質細粒凝灰岩	雫石	新第三系中新統	

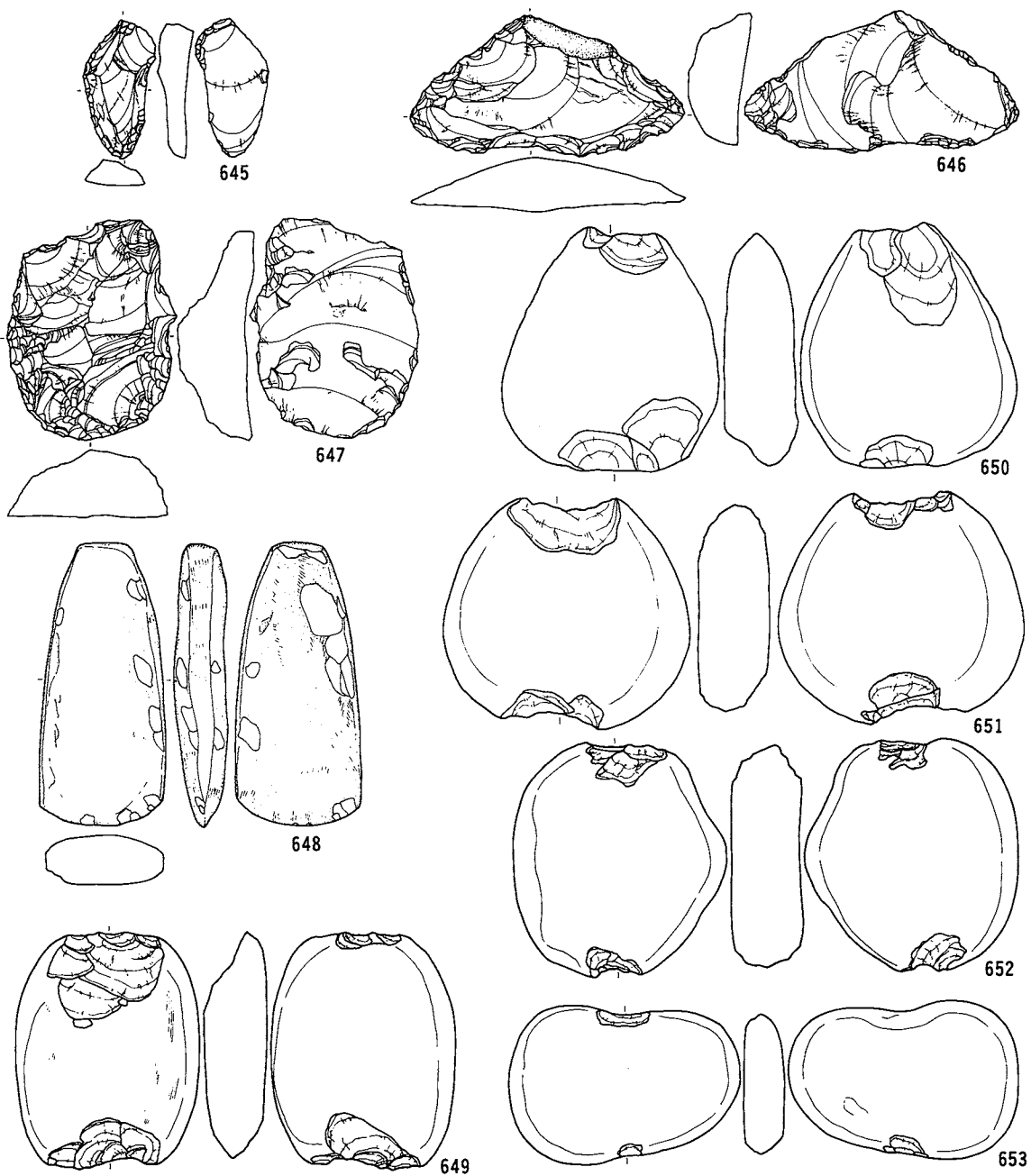
第75図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(9)



$S = \frac{1}{2}$

Na	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
636	ⅢA 4号住埋土下部	削器	8.9	7.0	1.7	110.0	硬質泥岩	川尻以西 or 礮石西部	新第三系中新統	
637	ⅢA 4号住埋土上層	削器	9.8	5.2	1.1	63.1	硬質泥岩	奥羽山地礮石	新第三系中新統	
638	ⅢA 4号住Q 3	削器	11.2	3.7	2.1	85.1	硬質泥岩	奥羽山地(礮石)	新第三系中新統	
639	ⅢA 4号住Q 3埋土下部	削器	6.2	6.5	1.5	70.1	硬質泥岩	奥羽山地礮石	新第三系中新統	
640	ⅢA 4号住埋土下部	削器	8.4	3.6	1.1	44.1	硬質泥岩	奥羽山地礮石	新第三系中新統	
641	ⅢA 4号住埋土下部	削器	10.5	3.8	1.7	45.9	硬質泥岩	川尻以西 or 礮石西部	新第三系中新統	
642	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	削器	3.3	2.7	1.3	10.4	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
643	ⅢA 4号住Q 3埋土中層	三角削器	3.5	2.6	0.9	8.2	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
644	ⅢA 4号住Q 3埋土下部	削器	2.5	4.0	0.7	8.6	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	

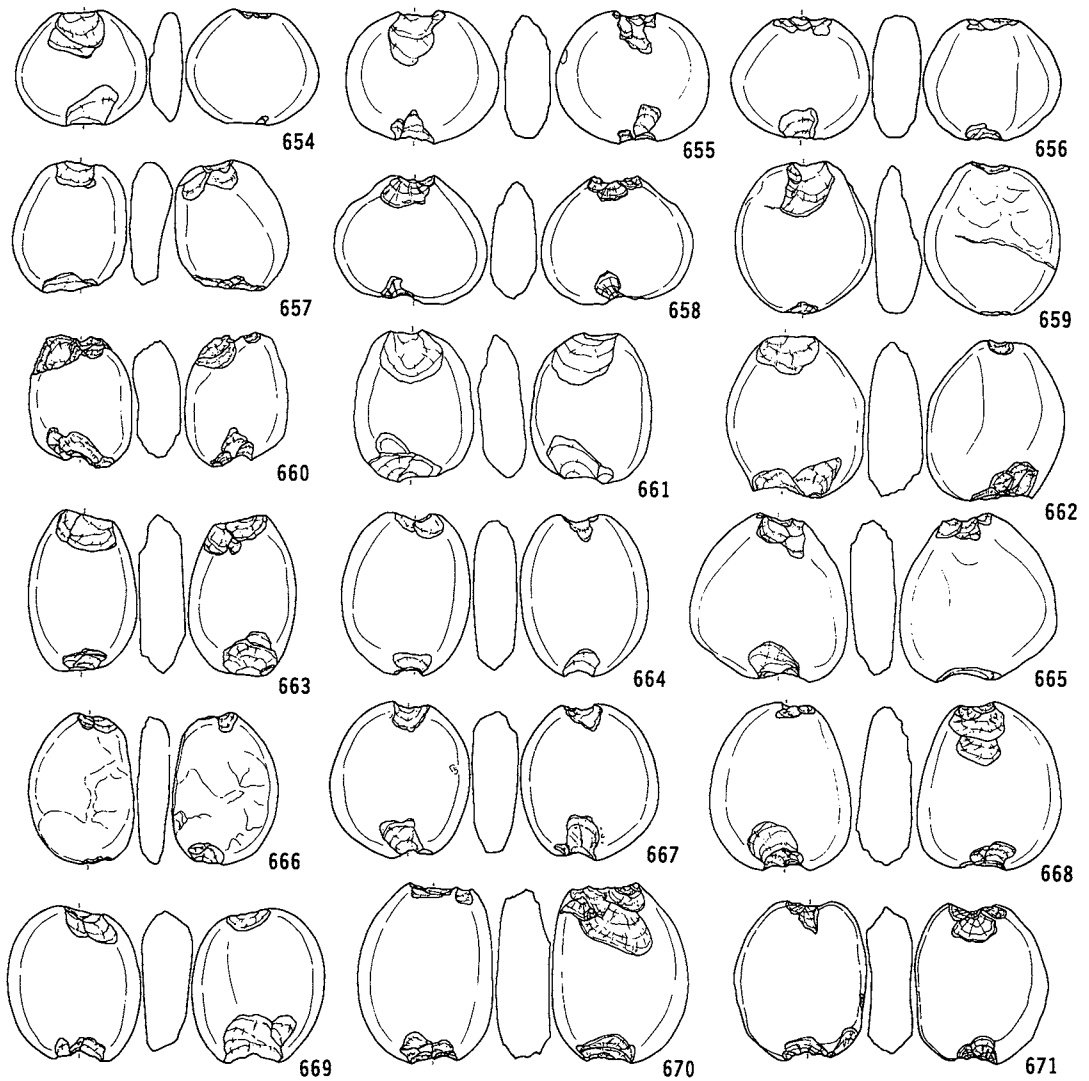
第76図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(10)



S = 1/2

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
645	ⅢA 4号住Q 2埋土下部	掘器	4.1	2.2	1.1	6.5	珪質泥岩	半石	新第三系中新統	
646	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	掘器	4.1	8.1	1.5	51.5	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
647	ⅢA 4号住埋土	掘器	6.5	5.0	2.3	51.1	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西 or 半石西部	新第三系中新統	
648	ⅢA 4号住Q 2埋土下部	磨製石斧	8.3	3.5	1.5	80.1	綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
649	ⅢA 4号住Q 4埋土中層	石錘	7.0	5.5	2.0	100.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
650	ⅢA 4号住埋土	石錘	7.2	6.2	2.2	135.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
651	ⅢA 4号住Q 3埋土下部	石錘	6.7	7.0	2.1	140.0	両輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
652	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石錘	6.9	5.2	2.1	135.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
653	ⅢA 4号住Q 3埋土下部	石錘	4.7	6.8	1.3	65.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

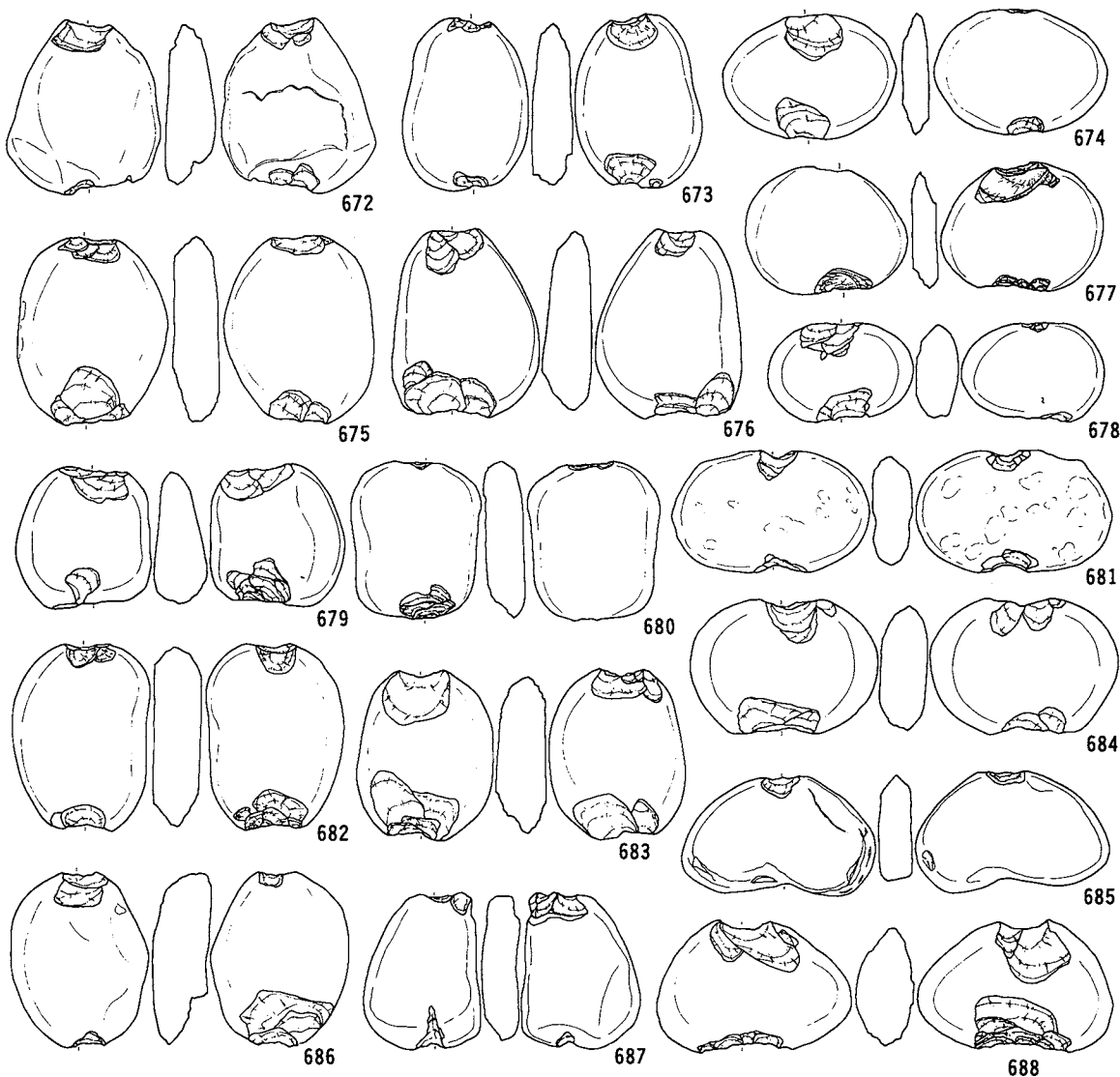
第77図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(1)



$$S = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
654	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石鏟	4.6	5.3	1.3	45.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
655	ⅢA 4号住Q 3床上	石鏟	5.3	6.0	1.8	75.5	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
656	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石鏟	4.9	5.6	2.0	70.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
657	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石鏟	5.4	4.4	1.8	55.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
658	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石鏟	5.2	6.0	1.9	85.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
659	ⅢA 4号住Q 3埋土下部	石鏟	6.2	5.4	1.8	80.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
660	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石鏟	5.4	4.1	1.9	60.1	アイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	*
661	ⅢA 4号住埋土下部	石鏟	6.0	5.9	2.0	70.1	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
662	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石鏟	6.4	5.5	2.1	100.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
663	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石鏟	6.4	4.3	1.7	80.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
664	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石鏟	6.3	5.1	1.9	85.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
665	ⅢA 4号住Q 3床上	石鏟	6.5	6.2	1.9	115.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
666	ⅢA 4号住Q 3上層	石鏟	6.0	4.2	1.3	45.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
667	ⅢA 4号住Q 2埋土中層	石鏟	6.2	5.5	1.8	85.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
668	ⅢA 4号住Q 2埋土下部	石鏟	6.7	5.6	2.2	115.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
669	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石鏟	6.3	5.2	1.9	75.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
670	ⅢA 4号住Q 2埋土下部	石鏟	7.1	5.4	2.1	120.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
671	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石鏟	6.3	5.1	1.9	90.1	アイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	

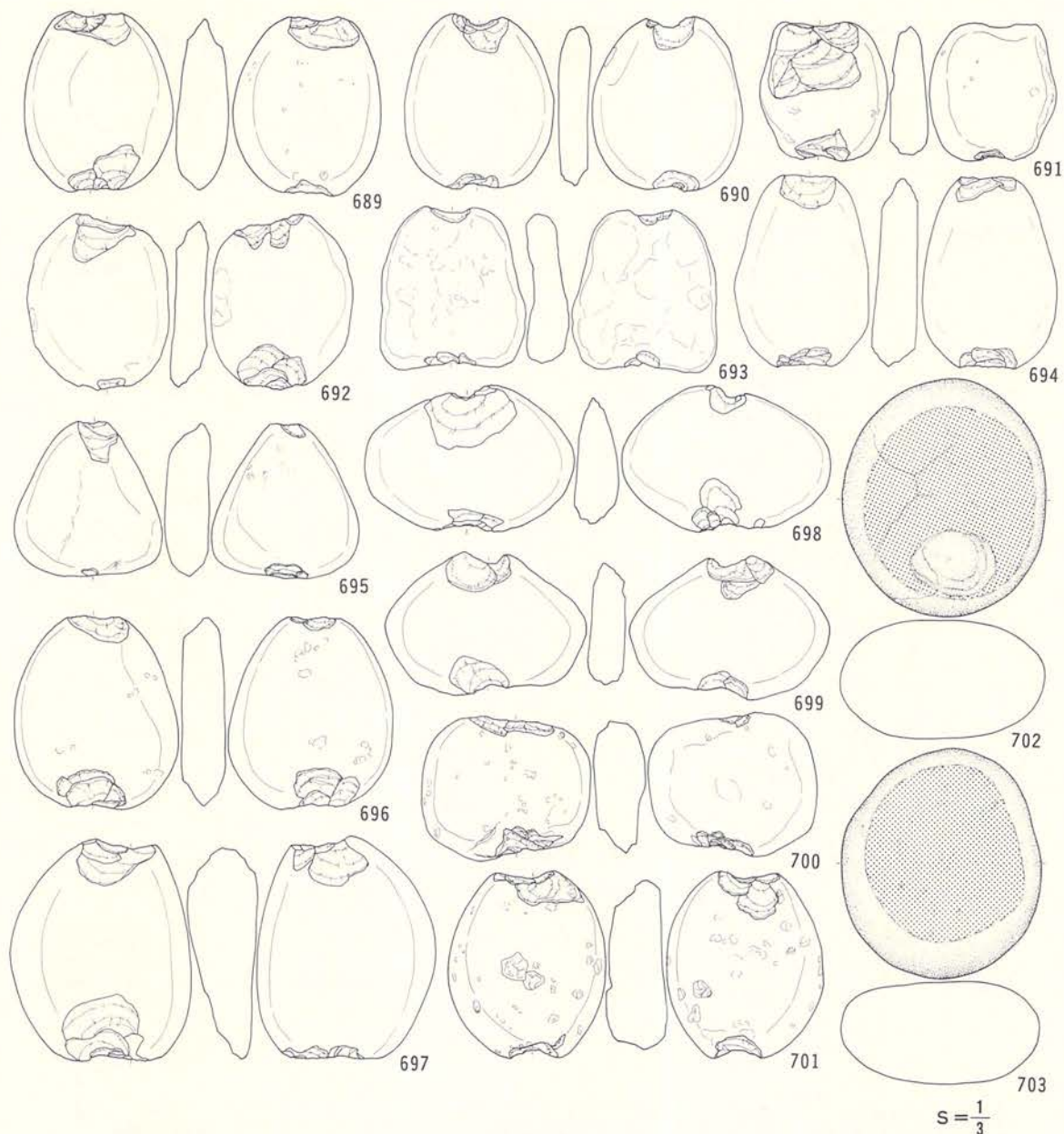
第78図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(12)



$$S = \frac{1}{3}$$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
672	ⅢA 4号住Q 3埋土下部	石錘	7.1	6.1	2.1	125.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
673	ⅢA 4号住Q 3埋土下層	石錘	7.2	5.2	1.7	100.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
674	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石錘	5.3	7.0	1.3	65.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
675	ⅢA 4号住Q 3床上	石錘	7.7	6.1	1.8	135.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
676	ⅢA 4号住Q 3床上	石錘	7.8	6.0	2.1	135.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
677	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石錘	5.2	6.7	1.3	65.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
678	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石錘	4.0	5.9	1.7	50.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
679	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石錘	9.8	6.9	2.6	250.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
680	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石錘	6.6	5.4	1.6	95.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
681	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石錘	5.0	8.1	1.9	105.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
682	ⅢA 4号住Q 4埋土中層	石錘	7.7	5.7	1.9	120.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
683	ⅢA 4号住Q 3埋土下部	石錘	7.0	5.7	2.1	105.0	ダイヤサイト	羽山~本畑	新第三系中新統	
684	ⅢA 4号住Q 4埋土中層	石錘	5.5	7.7	2.0	110.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
685	ⅢA 4号住Q 3床上	石錘	4.8	7.9	1.5	85.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
686	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石錘	7.1	5.6	2.4	125.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
687	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石錘	6.6	4.8	1.7	70.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
688	ⅢA 4号住Q 4埋土中層	石錘	5.4	8.0	2.5	140.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

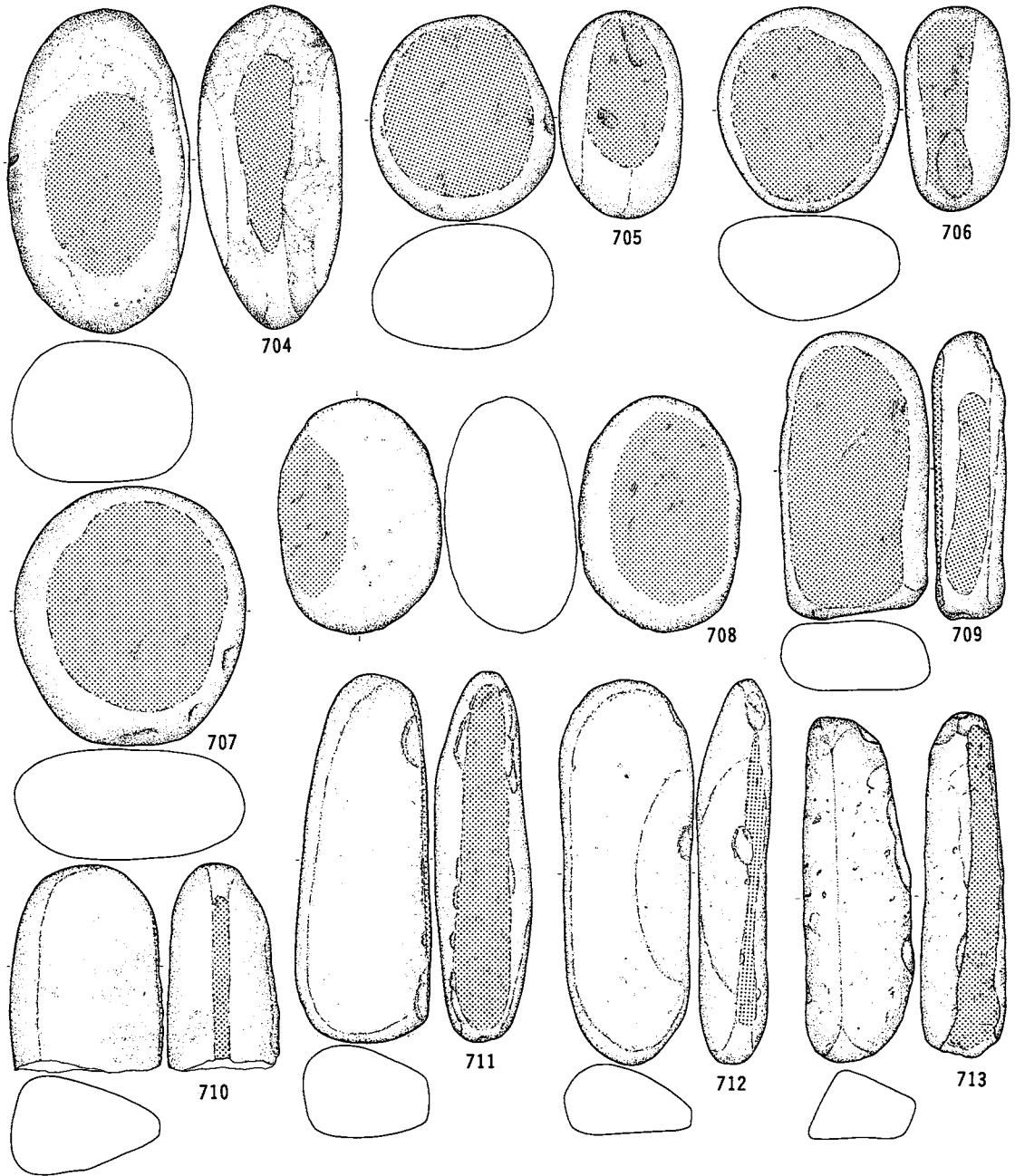
第79図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(13)



$s = \frac{1}{3}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
689	ⅢA 4号住Q 2埋土下層	石錘	7.8	6.5	2.3	150.0	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
690	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石錘	7.5	6.4	1.3	85.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
691	ⅢA 4号住Q 3床上	石錘	6.1	5.5	1.8	80.1	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
692	ⅢA 4号住Q 4埋土中層	石錘	7.8	6.2	1.6	110.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
693	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石錘	7.3	6.4	2.0	100.0	兩輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
694	ⅢA 4号住Q 3埋土下部	石錘	8.4	5.9	2.0	140.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
695	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	石錘	6.7	6.2	2.0	125.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
696	ⅢA 4号住Q 4埋土中層	石錘	8.4	7.2	2.0	170.0	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
697	ⅢA 4号住Q 2埋土中層	石錘	9.8	7.8	3.1	250.0	兩輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
698	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石錘	6.4	5.9	2.0	155.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
699	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	石錘	6.1	8.7	1.9	130.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
700	ⅢA 4号住Q 3床上	石錘	6.3	7.3	2.5	145.0	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
701	ⅢA 4号住Q 4埋土中層	石錘	6.2	6.9	2.5	210.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
702	ⅢA 4号住Q 4埋土中層	すり石	10.4	9.0	5.2	645.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
703	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	すり石	10.1	8.8	4.5	580.0	花崗閃緑岩	和賀仙人～夏油川	中生界	

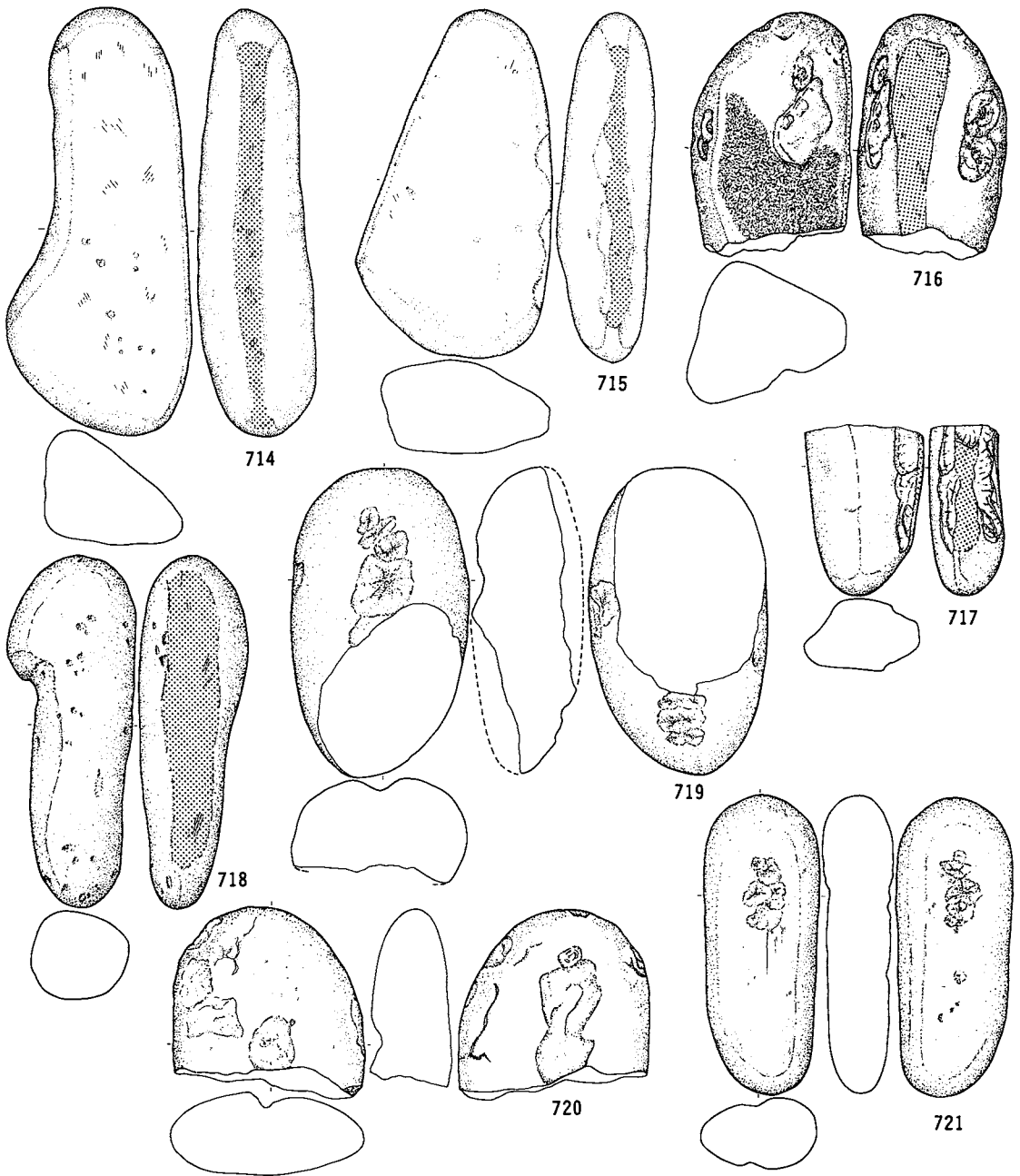
第80図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(14)



$$s = \frac{1}{3}$$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
704	ⅢA 4号住埋土上層	すり石	14.2	8.0	6.2	950.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
705	ⅢA 4号住Q 4埋土中層	すり石	9.0	8.1	5.5	550.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
706	ⅢA 4号住Q 4埋土中層	すり石	9.0	8.0	4.5	465.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
707	ⅢA 4号住Q 4埋土下部	すり石	11.4	10.1	4.9	825.1	花崗閃緑岩	夏油川～仙人	中生界	
708	ⅢA 4号住埋土下部	すり石	10.1	7.1	5.8	580.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
709	ⅢA 4号住Q 4埋土中層	すり石	12.5	6.5	3.0	470.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
710	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	特殊磨石	9.2	6.8	4.3	495.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	*
711	ⅢA 4号住Q 3埋土下部	特殊磨石	16.5	6.4	4.0	620.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
712	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	特殊磨石	16.9	5.6	3.0	485.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
713	ⅢA 4号住埋土下部	特殊磨石	15.2	4.7	3.0	360.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	

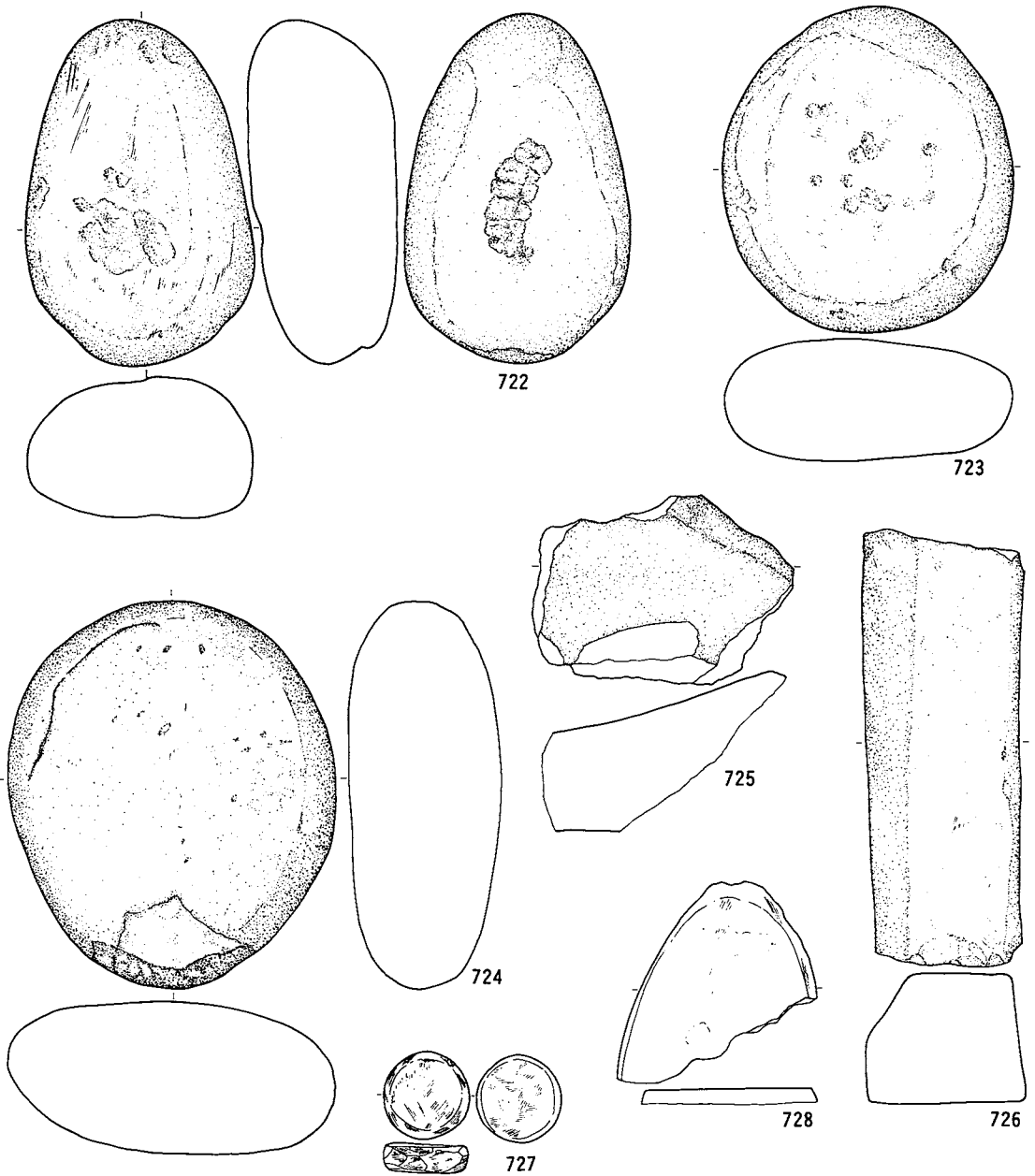
第81図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(15)



$$s = \frac{1}{3}$$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
714	ⅢA 4号住埋土下部	特殊磨石	18.7	8.1	5.0	900.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
715	ⅢA 4号住埋土	特殊磨石	15.2	8.5	4.0	660.0	アロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	
716	ⅢA 4号住Q 4 焼土	特殊磨石	10.8	6.4	6.0	530.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
717	ⅢA 4号住Q 4 埋土上部	特殊磨石	7.6	5.2	3.1	175.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
718	ⅢA 4号住Q 3 埋土上層	特殊磨石	15.5	5.6	3.9	455.0	アロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
719	ⅢA 4号住Q 2 埋土下部	凹石	13.7	7.7	4.0	510.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	*
720	ⅢA 4号住Q 3 埋土上層	凹石	8.4	8.5	3.6	315.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
721	ⅢA 4号住埋土上層	凹石	13.3	5.1	3.0	285.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

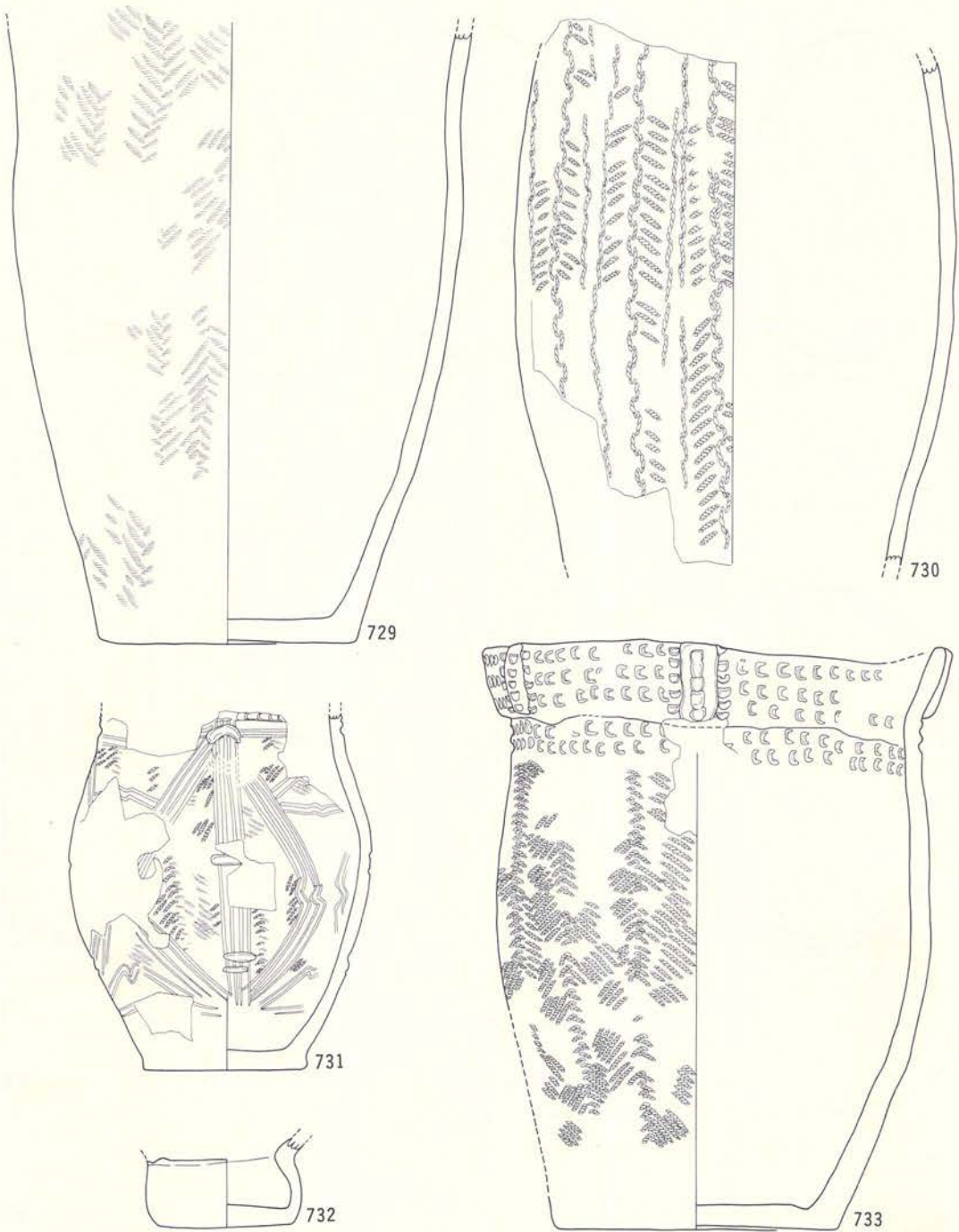
第82図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(16)



S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
722	ⅢA 4号住Q 3埋土上層	凹石	10.0	6.5	4.1	380.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
723	ⅢA 4号住Q 3床上	敲石	9.3	8.3	3.3	388.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
724	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	敲石	11.0	9.3	4.3	640.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
725	ⅢA 4号住Q 2埋土下部	石皿	5.3	7.4	3.0	130.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	*
726	ⅢA 4号住Q 3埋土下部	石柱	12.4	4.5	3.6	365.0	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
727	ⅢA 4号住Q 4埋土上層	円盤状石製品	2.5	2.4	0.7	6.3	綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
728	ⅢA 4号住埋土上層	円盤状石製品	5.6	5.7	0.4	19.2	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

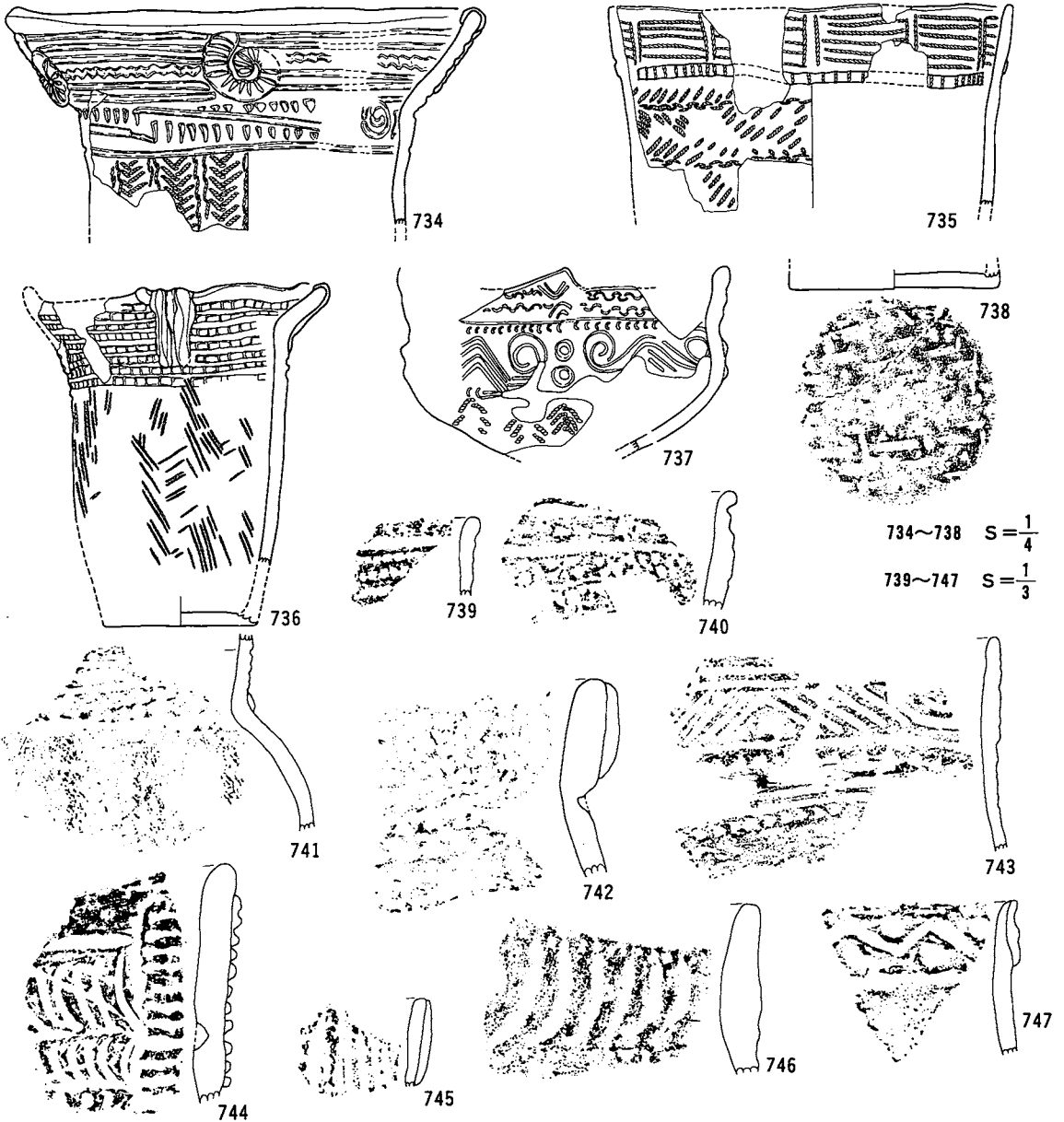
第83図 ⅢA 4号住居跡出土遺物(17)



$$S = \frac{1}{4}$$

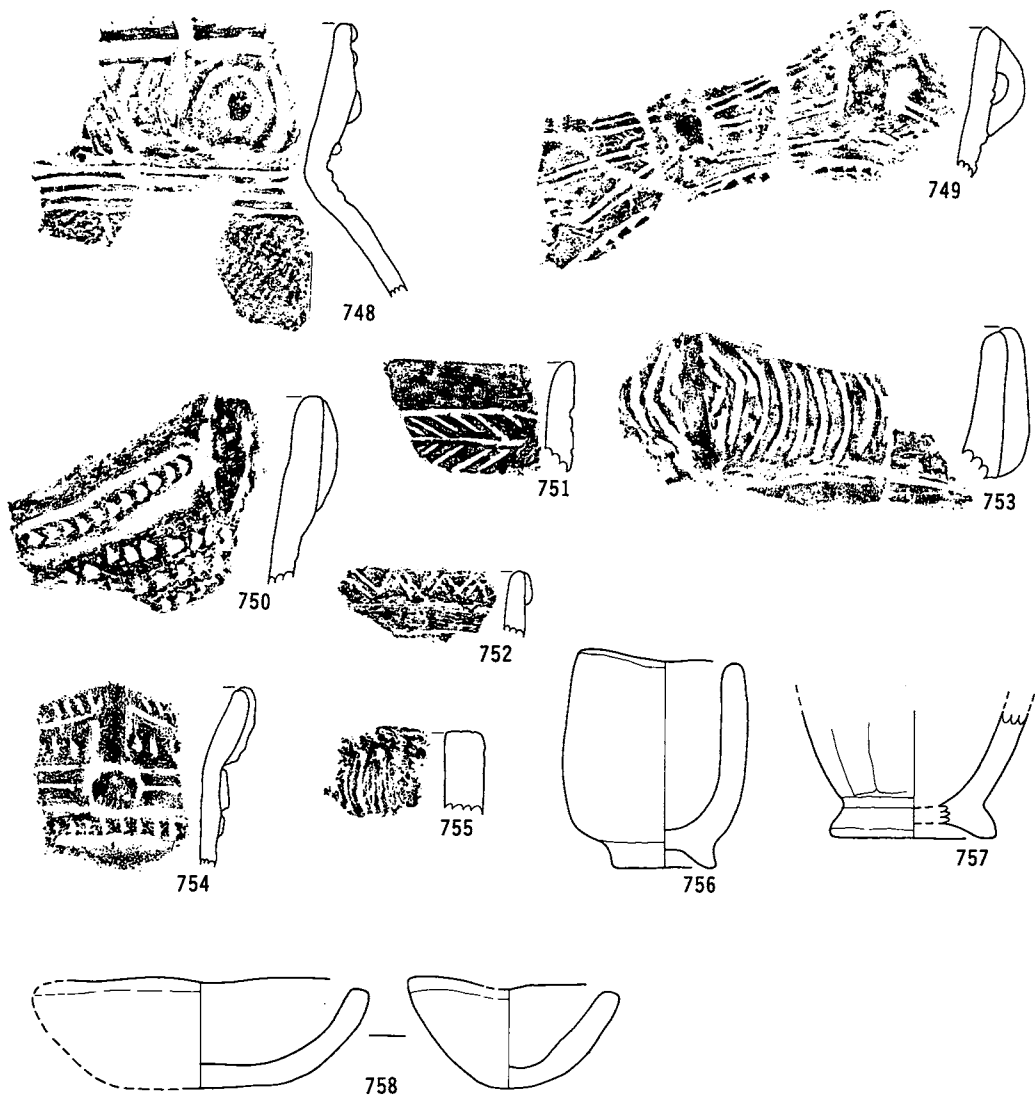
No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
729	ⅢA 8号住・床直	胴～底部	無節の羽状（結束第1種）タテ	深鉢B15類
730	ⅢA 8号住・埋土下部	胴部	両末端結節の羽状（結束第2種）タテ	深鉢B15類
731	ⅢA 8号住・埋土	胴～底部	押し引き沈線、平行沈線文、弧状や横位のえぐり、RLとLの羽状（結束第1種）タテ	深鉢B7類
732	ⅢA 8号住・埋土上部	胴～底部	胴下部の円筒状部分	深鉢C
733	ⅢA 8号住・埋土	口～底部	平縁、口縁部に縦長の粘土帯6単位程度、爪形文、羽状（結束第1種）タテ	深鉢B15類

第84図 ⅢA 8号住居跡出土遺物(1)



No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
734	ⅢA 8号住・埋土	口～胴部	刻目を持つ粘土紐が渦巻状に5単位程度、横位や鋸歯状の沈線、西木端結節の第1種羽状タテ	深鉢B18類
735	ⅢA 8号住・埋土	口～胴部	縦位や横位にLの原体圧痕、同様の連続圧痕を持つ粘土紐、羽状(結束第2種)ヨコ	深鉢A16類
736	ⅢA 8号住・埋土	口～底部	2本1組の粘土紐が縦位に4単位、押し引き沈線、絡条体L、タテ、ナナメ	深鉢B10類
737	ⅢA 8号住・埋土	口～胴部	平縁で三角状の突起、爪形文、平行沈線文、団子状粘土塊2個貼付、羽状(結束第1種)タテ	深鉢C10類
738	ⅢA 8号住・埋土	底部	網代痕	深鉢C
739	ⅢA 8号住・埋土下部	口縁部	椀位の沈線、押し引き沈線	深鉢A10類
740	ⅢA 8号住・埋土下部	口縁部	横位の沈線、横位や縦位の爪形文	深鉢B10類
741	ⅢA 8号住・埋土下部	頸～胴部	縦位や鋸歯状の沈線、刻目を持つ粘土紐の上に粘土塊貼付、2～3個1単位の結節タテ	深鉢C15類
742	ⅢA 8号住・埋土下部	口～頸部	連続刺突のある縦位の粘土紐、爪形文	深鉢B10類
743	ⅢA 8号住・埋土下部	口～頸部	横位の沈線間に斜位の沈線や円形の凹みや爪形文、結節部分ヨコ	深鉢B14類
744	ⅢA 8号住・埋土上部	口縁部	刻目や押圧のある粘土紐、横位の沈線間に弧状の連続沈線2段	深鉢B18類
745	ⅢA 8号住・埋土上部	口縁部	縦位の沈線や粘土紐貼付	深鉢B
746	ⅢA 8号住・埋土上部	口縁部	爪形文の間に弧状の連続沈線	深鉢B13類
747	ⅢA 8号住・埋土上部	口～胴部	山形状の太い沈線、その間に円形の凹み	深鉢A14類

第85図 ⅢA 8号住居跡出土遺物(2)

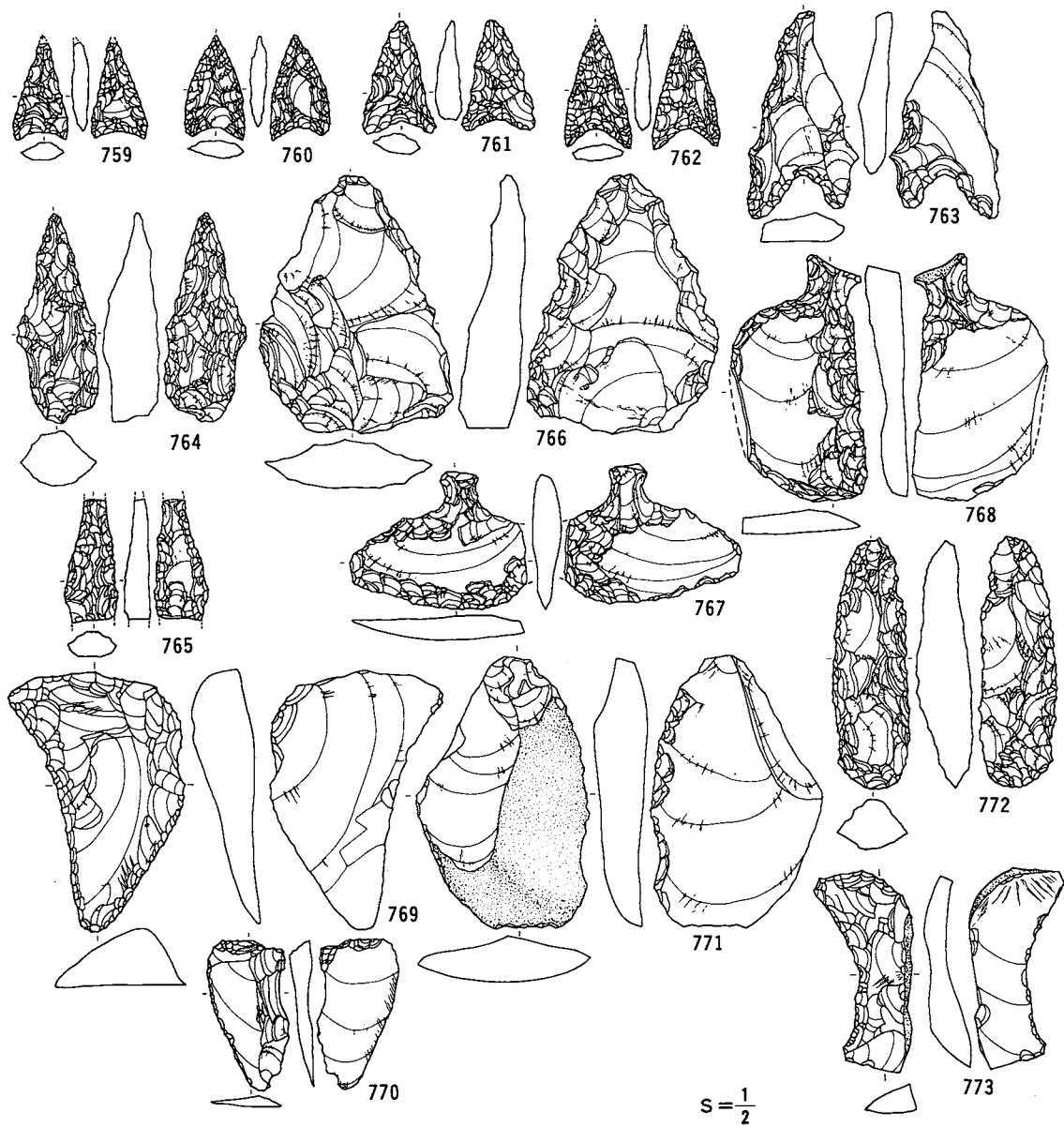


748~755 $S = \frac{1}{3}$ 756~758 $S = \frac{1}{2}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
748	ⅢA 8号住・埋土上部	口~胴部	横位の太い沈線、円形の粘土塊と同心円状の粘土紐貼付、頸部に横位の沈線、RLタテ	深鉢C13類
749	ⅢA 8号住・埋土	口縁部	波頂部に橋状把手、波底部に楕円状の粘土塊、平行沈線文、押し引き沈線	深鉢B10類
750	ⅢA 8号住・埋土	口縁部	波頂部に縦位の粘土紐、長楕円形の太い沈線、その中と下に爪形文	深鉢B10類
751	ⅢA 8号住・埋土	口縁部	葉脈状の沈線	深鉢A
752	ⅢA 8号住・埋土	口縁部	複合口縁上に鋸歯状の平行沈線	深鉢A
753	ⅢA 8号住・埋土	口縁部	波頂部に縦位の粘土紐、その両側に鋸状から弧状の連続沈線	深鉢B13類
754	ⅢA 8号住・埋土	口縁部	波頂部に縦位の粘土紐とその下に円形の粘土塊、刻目を持つ粘土紐、横位の沈線	深鉢B
755	ⅢA 8号住・埋土上部	口縁部	爪形文、弧状の連続沈線	深鉢A10類

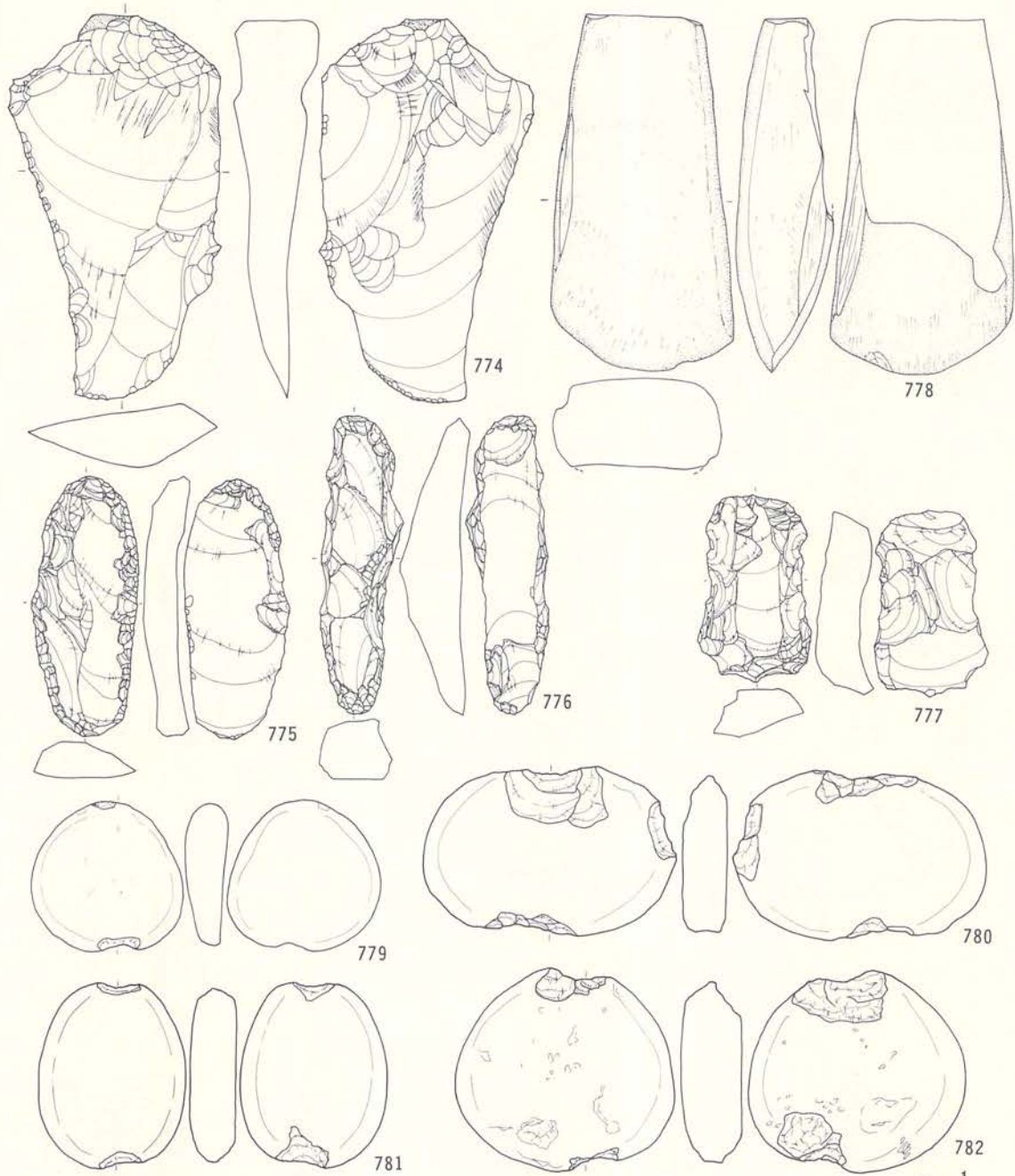
No	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他
756	ⅢA 8号住・埋土上部	ミニチュア土器	—	—	—	口径4.4cm、器高5.4cm、底径2.8cm
757	ⅢA 8号住・埋土	ミニチュア土器	—	—	—	器高(3.4)cm、底径4.4cm
758	ⅢA 8号住・埋土上部	ミニチュア土器	—	—	—	口径(8.8)cm、器高2.8cm、底径(4.5)cm

第86図 ⅢA 8号住居跡出土遺物(3)



No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
759	ⅢA 8号住埋土	石鏃	2.8	1.6	0.5	1.8	硬質泥岩	川尻以西○r 礫石西部	新第三系中新統	*
760	ⅢA 8号住埋土	石鏃	3.0	1.5	0.5	1.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
761	ⅢA 8号住Q 4埋土下部	石鏃	3.2	2.0	0.7	3.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西	新第三系中新統	
762	ⅢA 8号住埋土	石鏃	3.5	1.9	0.5	1.8	流紋岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
763	ⅢA 8号住埋土	石鏃	5.9	3.2	1.0	10.4	凝灰質硬質泥岩	川尻以西○r 礫石西部	新第三系中新統	
764	ⅢA 8号住Q 4埋土	尖頭器	4.9	2.1	1.5	21.8	赤色玻璃質安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
765	ⅢA 8号住埋土	尖頭器	3.5	1.5	0.7	3.8	粘板岩	北上山地	古生界	*
766	ⅢA 8号住Q 4	尖頭器	7.3	4.8	1.4	65.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
767	ⅢA 8号住Q 4埋土	石匙	3.9	5.0	0.6	13.8	珪質泥岩	礫石	新第三系中新統	*
768	ⅢA 8号住Q 1埋土	石匙	6.6	4.8	1.0	24.4	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	*
769	ⅢA 8号住埋土	削器	7.3	5.0	1.2	40.9	細粒凝灰岩	川尻以西○r 礫石西部	新第三系中新統	
770	ⅢA 8号住Q 4埋土下部	削器	4.2	2.2	0.6	3.9	凝灰質硬質泥岩	川尻以西	新第三系中新統	
771	ⅢA 8号住Q 4埋土上部	削器	7.7	4.9	1.3	38.6	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	
772	ⅢA 8号住Q 4埋土上部	石筴	7.1	2.0	1.4	24.2	珪質泥岩	礫石	新第三系中新統	
773	ⅢA 8号住埋土	削器	5.8	2.8	1.1	11.7	細粒凝灰岩	川尻以西○r 礫石西部	新第三系中新統	

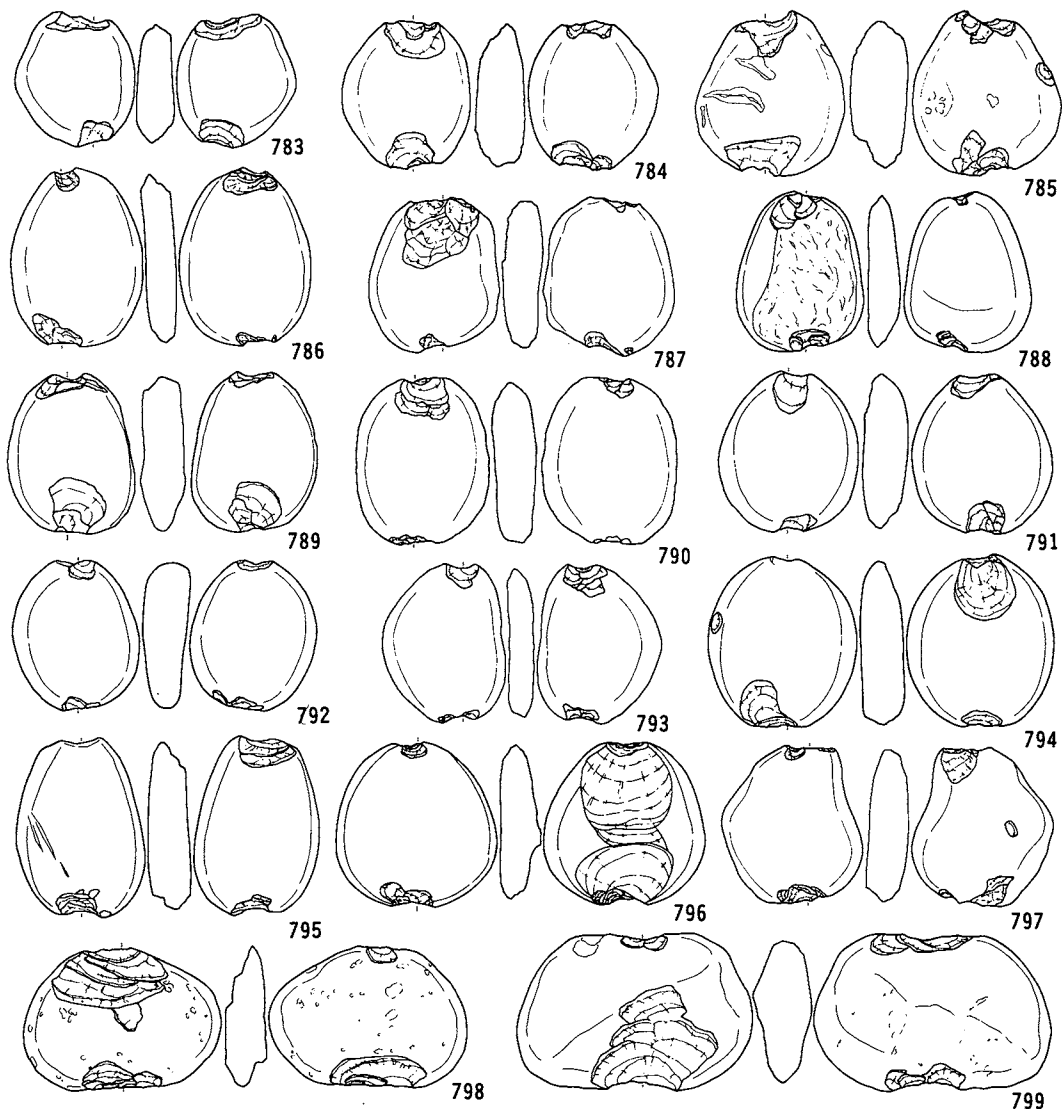
第87図 ⅢA 8号住居跡出土遺物(4)



S = $\frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
774	ⅢA 8号住埋土	削器	11.4	6.3	2.5	130.0	硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
775	ⅢA 8号住Q 1埋土	搔器	7.7	3.2	1.0	30.9	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
776	ⅢA 8号住Q 4埋土下部	搔器	8.9	2.5	1.8	43.5	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
777	ⅢA 8号住Q 4埋土上部	搔器	5.6	3.4	1.2	33.9	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
778	ⅢA 8号住Q 4埋土	磨製石斧	10.6	5.3	2.9	255.0	硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	*
779	ⅢA 8号住埋土上部	石錘	4.5	4.4	1.3	40.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
780	ⅢA 8号住Q 1埋土	石錘	5.1	7.5	1.5	70.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
781	ⅢA 8号住Q 4埋土上部	石錘	7.7	5.8	1.5	85.1	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
782	ⅢA 8号住Q 4埋土	石錘	6.0	6.3	1.9	90.1	兩輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	

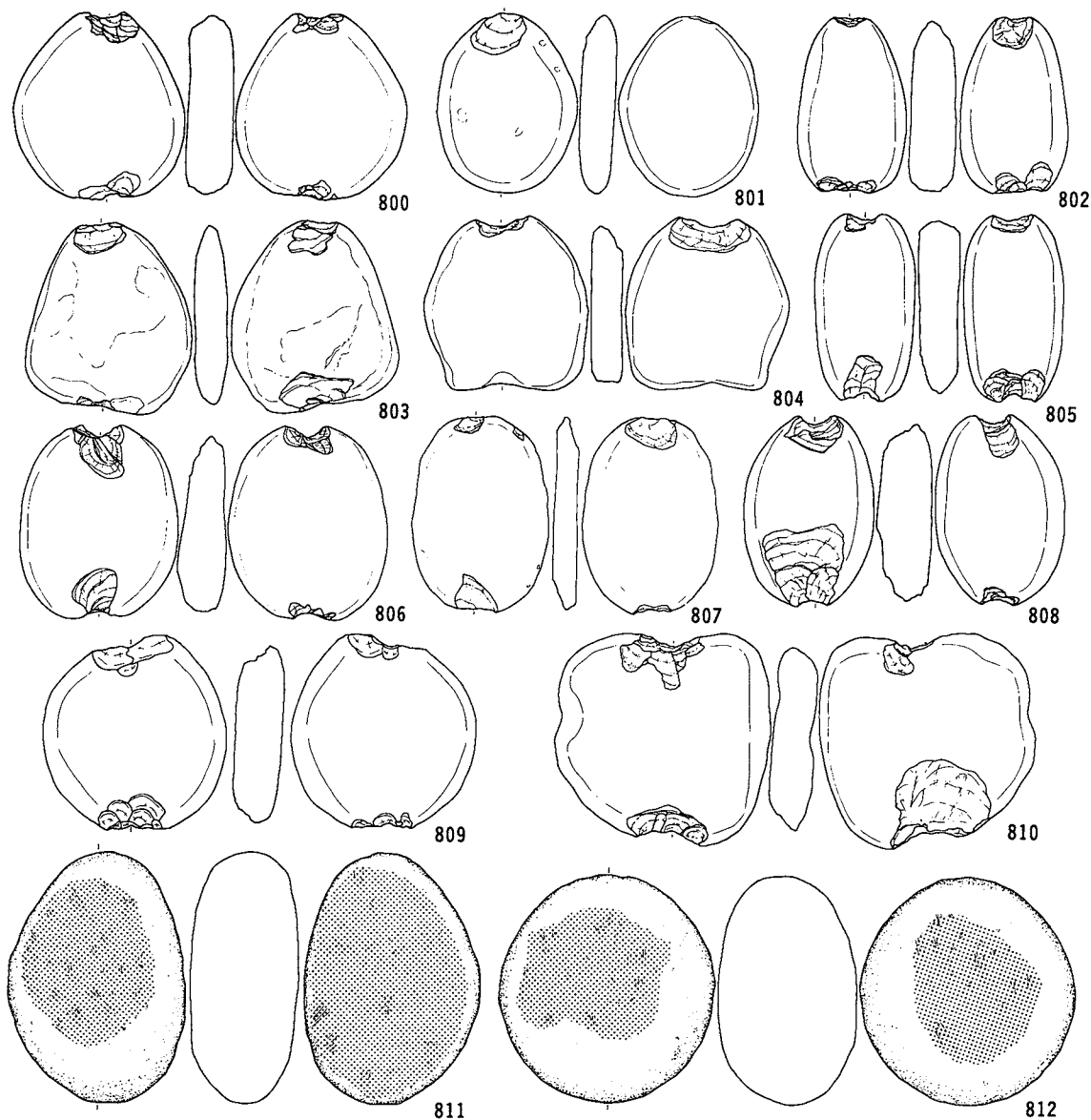
第88図 ⅢA 8号住居跡出土遺物(5)



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
783	ⅢA 8号住Q 1埋土	石錘	5.3	4.8	1.5	45.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
784	ⅢA 8号住Q 4埋土	石錘	5.8	5.0	2.1	90.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
785	ⅢA 8号住Q 4埋土下部	石錘	6.5	5.8	2.4	105.0	珉質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
786	ⅢA 8号住Q 4埋土上部	石錘	6.9	5.3	1.2	75.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
787	ⅢA 8号住埋土上層	石錘	5.9	5.2	1.6	80.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
788	ⅢA 8号住埋土上層	石錘	6.3	5.0	1.3	60.1	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
789	ⅢA 8号住埋土	石錘	6.4	5.0	1.9	85.1	プロピライト質緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
790	ⅢA 8号住Q 4埋土下部	石錘	6.5	5.3	1.7	85.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
791	ⅢA 8号住Q 4埋土下部	石錘	6.2	5.6	1.9	80.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
792	ⅢA 8号住埋土	石錘	6.4	5.0	1.9	85.1	プロピライト質緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
793	ⅢA 8号住埋土	石錘	6.1	4.9	1.0	55.1	淡青色細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
794	ⅢA 8号住Q 4埋土上部	石錘	6.8	5.8	1.8	85.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
795	ⅢA 8号住Q 4埋土上部	石錘	7.1	5.0	1.7	90.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
796	ⅢA 8号住Q 1埋土	石錘	6.5	6.3	1.6	85.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
797	ⅢA 8号住埋土上層	石錘	6.4	5.3	1.7	75.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
798	ⅢA 8号住Q 4埋土	石錘	5.7	7.9	1.6	95.1	両輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
799	ⅢA 8号住Q 1埋土	石錘	6.2	9.3	2.3	170.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

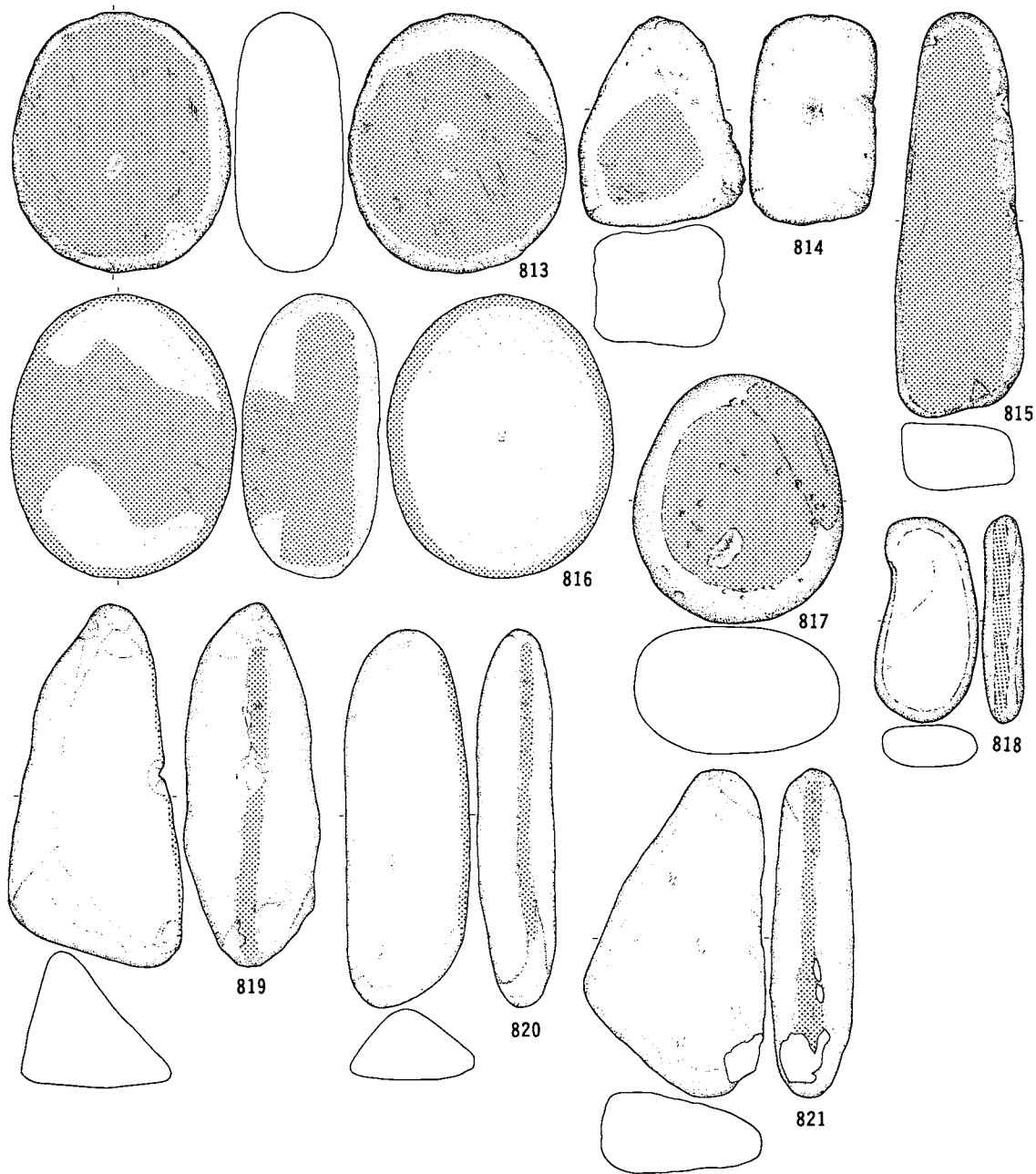
第89図 ⅢA 8号住居跡出土遺物(6)



$$s = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
800	ⅢA 8号住Q 4埋土下部	石錘	7.8	7.1	1.8	160.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
801	ⅢA 8号住Q 1埋土	石錘	7.4	5.8	1.5	90.1	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
802	ⅢA 8号住Q 4埋土上部	石錘	7.2	4.6	2.0	100.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
803	ⅢA 8号住Q 1埋土	石錘	7.9	6.8	1.5	125.0	ホルンフェルス	夏油川	古生界	
804	ⅢA 8号住埋土上層	石錘	7.2	6.8	1.4	85.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
805	ⅢA 8号住Q 4埋土上部	石錘	7.7	4.2	1.6	70.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
806	ⅢA 8号住Q 4埋土下部	石錘	5.2	6.7	2.1	115.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
807	ⅢA 8号住Q 4埋土下部	石錘	8.2	5.7	1.3	80.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
808	ⅢA 8号住Q 4埋土上部	石錘	7.8	5.4	2.3	125.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
809	ⅢA 8号住床直	石錘	8.0	7.6	2.1	170.0	プロピライト質緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
810	ⅢA 8号住埋土	石錘	8.9	9.0	2.1	245.0	デイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	
811	ⅢA 8号住床直	すり石	10.4	7.3	4.6	445.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
812	ⅢA 8号住埋土	すり石	9.3	8.9	5.8	680.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	

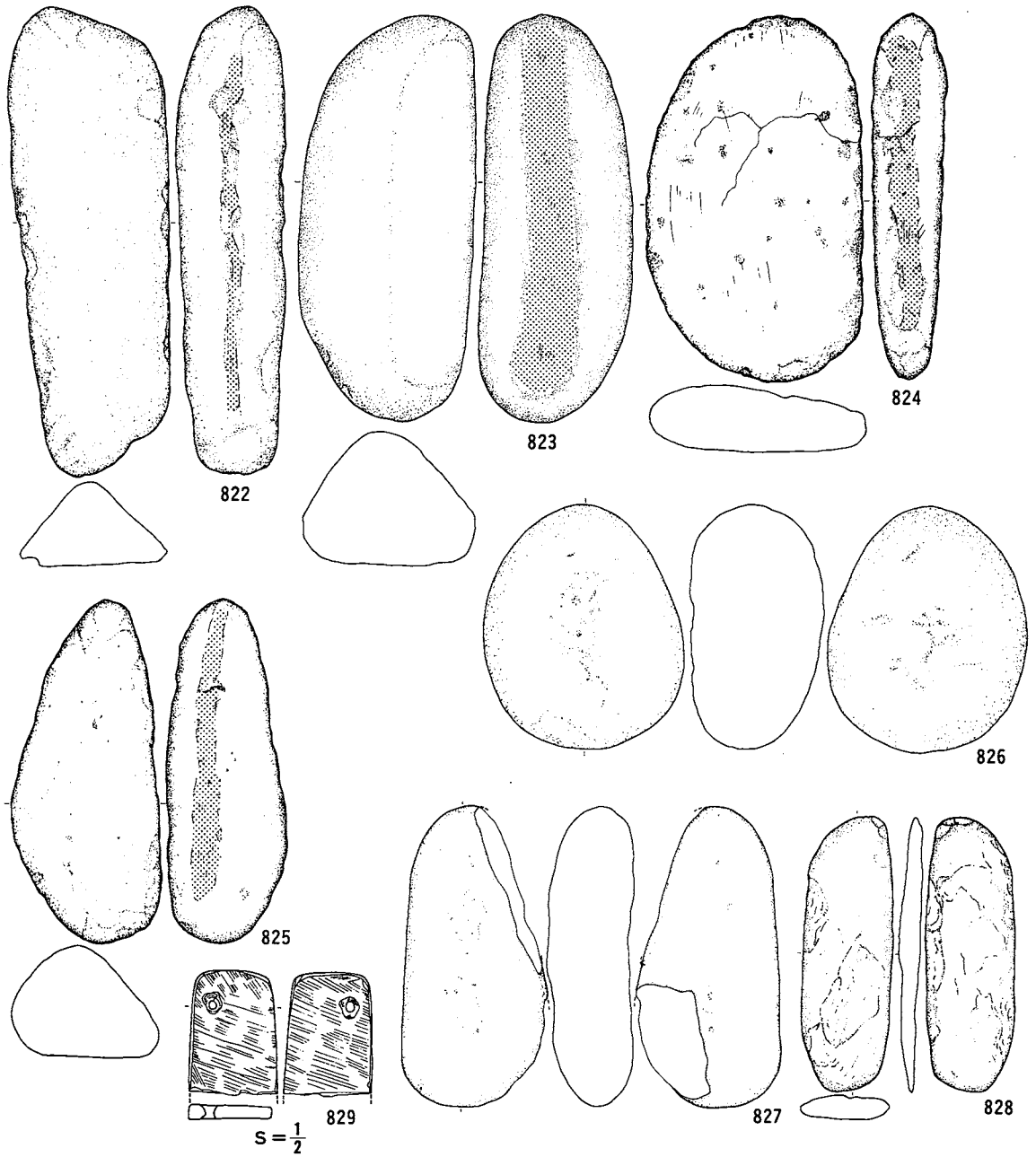
第90図 ⅢA 8号住居跡出土遺物(7)



$S = \frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
813	ⅢA 8号住埋土	すり石	11.2	9.5	5.0	760.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	
814	ⅢA 8号住埋土13、14層	すり石	8.8	7.1	5.4	520.0	テサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
815	ⅢA 8号住Q 4埋土	すり石	17.5	5.6	2.4	515.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
816	ⅢA 8号住埋土	すり石	12.2	9.7	6.0	1120.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
817	ⅢA 8号住Q 3埋土	すり石	10.8	9.2	5.5	790.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
818	ⅢA 8号住Q 4埋土	すり石	9.0	4.5	1.8	105.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
819	ⅢA 8号住埋土	特殊磨石	15.6	7.3	6.5	740.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
820	ⅢA 8号住埋土	特殊磨石	16.4	5.4	3.2	435.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
821	ⅢA 8号住埋土	特殊磨石	14.2	7.9	3.5	500.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

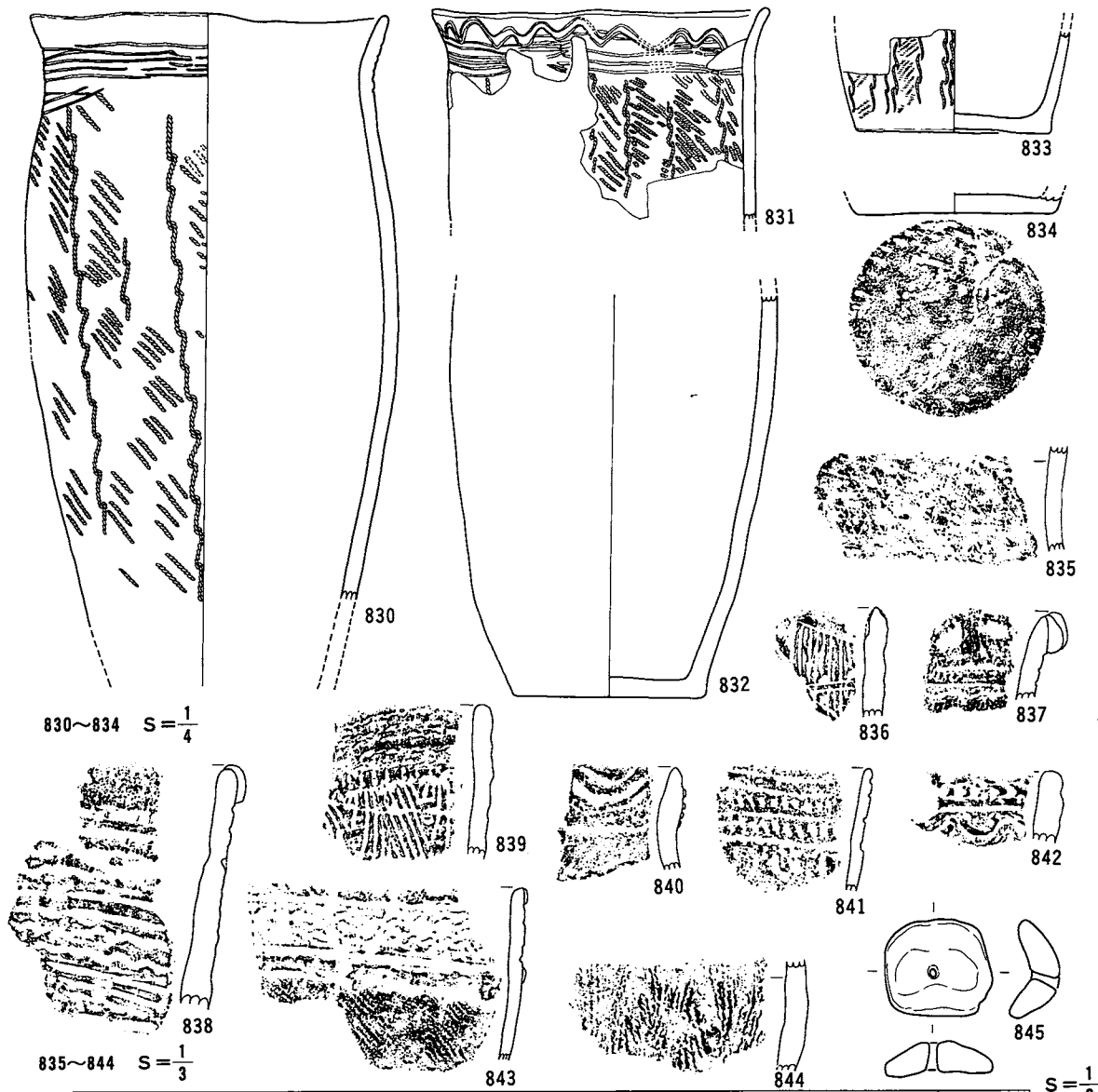
第91図 ⅢA 8号住居跡出土遺物(8)



$s = \frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
822	ⅢA 8号住埋土	特殊磨石	20.6	7.0	4.0	790.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	
823	炉エの西側(ⅢA 8号住)	特殊磨石	17.5	7.6	5.8	1220.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
824	ⅢA 8号住埋土	特殊磨石	16.1	9.6	3.1	620.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
825	ⅢA 8号住Q 4埋土下部	特殊磨石	15.1	6.4	5.2	600.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
826	炉エの西側(ⅢA 8号住)	凹石	10.8	8.9	6.9	800.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
827	炉エの西側(ⅢA 8号住)	凹石	13.3	6.4	3.7	410.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*
828	ⅢA 8号住Q 4埋土上部	石剣	10.1	4.0	1.0	75.1	粘板岩(ホルンフェルス)	夏油川～和賀仙人	古生界	
829	ⅢA 8号住埋土	垂飾	3.6	2.1	0.4	2.1	珪長質極細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	*

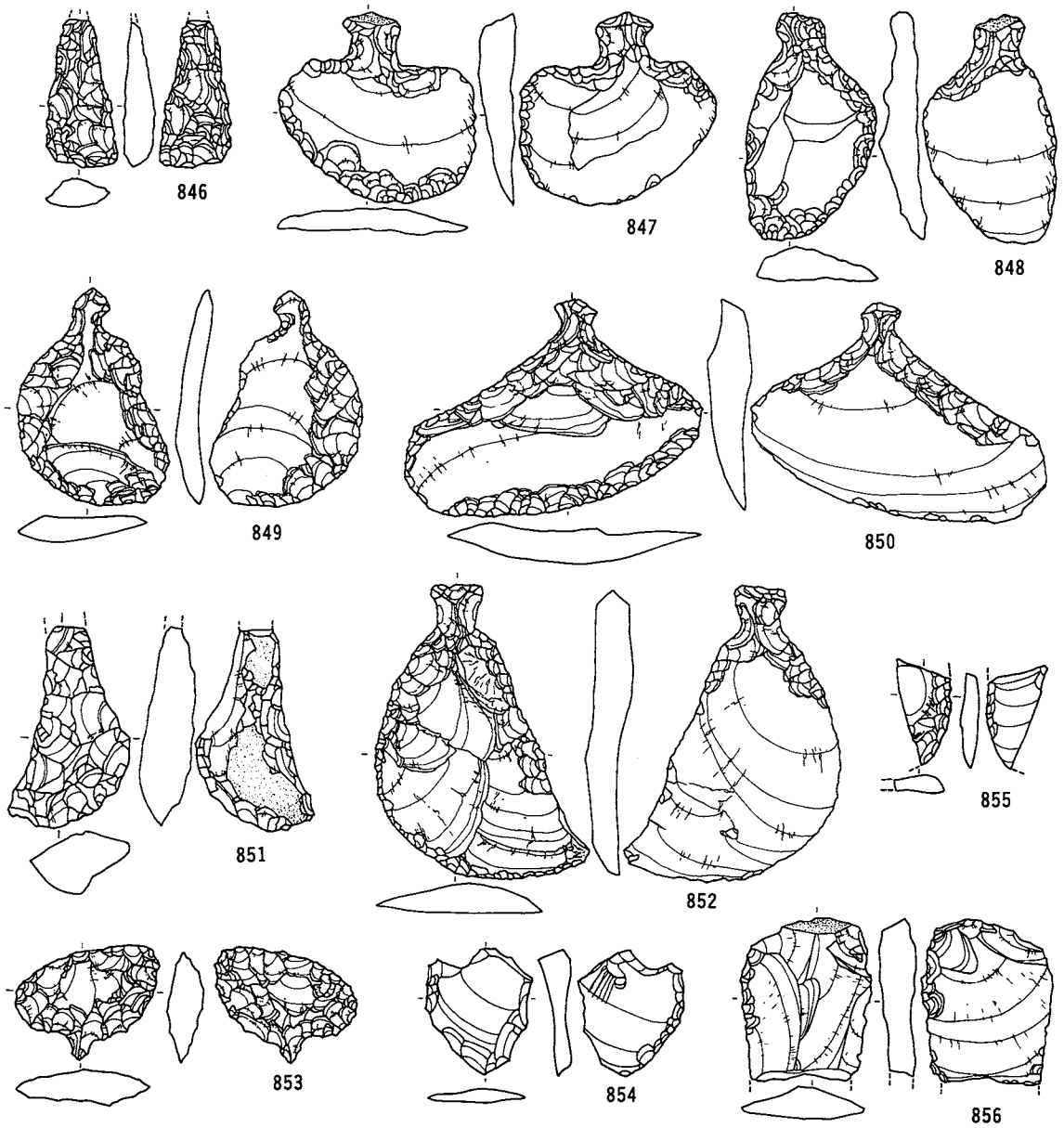
第92図 ⅢA 8号住居跡出土遺物(9)



No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
830	ⅢA 9号住・P 1	口～胴部	平縁、頸部に横位の沈線数条、結節したLRタテ	深鉢B15類
831	ⅢA 9号住・埋土上部	口～胴部	平縁、平行沈線文、結節したLRタテ	深鉢B15類
832	ⅢA 9号住・床直	胴～底部	無文	深鉢B
833	ⅢA 9号住・埋土下部	胴～底部	両末端結節のRタテ	深鉢B15類
834	ⅢA 9号住・埋土下部	底部	網代痕	深鉢B
835	ⅢA 9号住・埋土上部	胴部	網目状捺糸文	深鉢B11類
836	ⅢA 9号住・埋土中部	口縁部	平行沈線間に縦位の連続沈線、三角状の連続刺突	深鉢A
837	ⅢA 9号住・埋土上部	口縁部	上端に太い沈線の施された粘土帯貼付、その上に縦位の粘土紐、横位や小波状の沈線	深鉢B
838	ⅢA 9号住・埋土上部	口縁部	複合口縁、2条1組の横位や小波状の沈線	深鉢B17類
839	ⅢA 9号住・埋土上部	口～胴部	RLの原体圧痕数段、爪形文の施された粘土紐巡る、木目状捺糸文	深鉢A11類
840	ⅢA 9号住・埋土中部	口縁部	弧状の沈線、細い粘土紐貼付	深鉢B17類
841	ⅢA 9号住・埋土上部	口縁部	横位の沈線間に縦位の短沈線、三角状の切り取り	深鉢A19類
842	ⅢA 9号住・埋土上部	口縁部	横位の沈線間に爪形文、平行沈線文	深鉢A10類
843	ⅢA 9号住・埋土上部	口～胴部	複合口縁上にRLヨコ、横位や小波状の沈線、円形の粘土塊貼付のある粘土紐、第1種羽状タテ	深鉢A17類
844	ⅢA 9号住・埋土中部	胴部	上下からの木目状捺糸文	深鉢A11類

No	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他
845	ⅢA 9号住・埋土上部	有孔土製品	2.8	3.1	0.8	縦、横ともに湾曲する

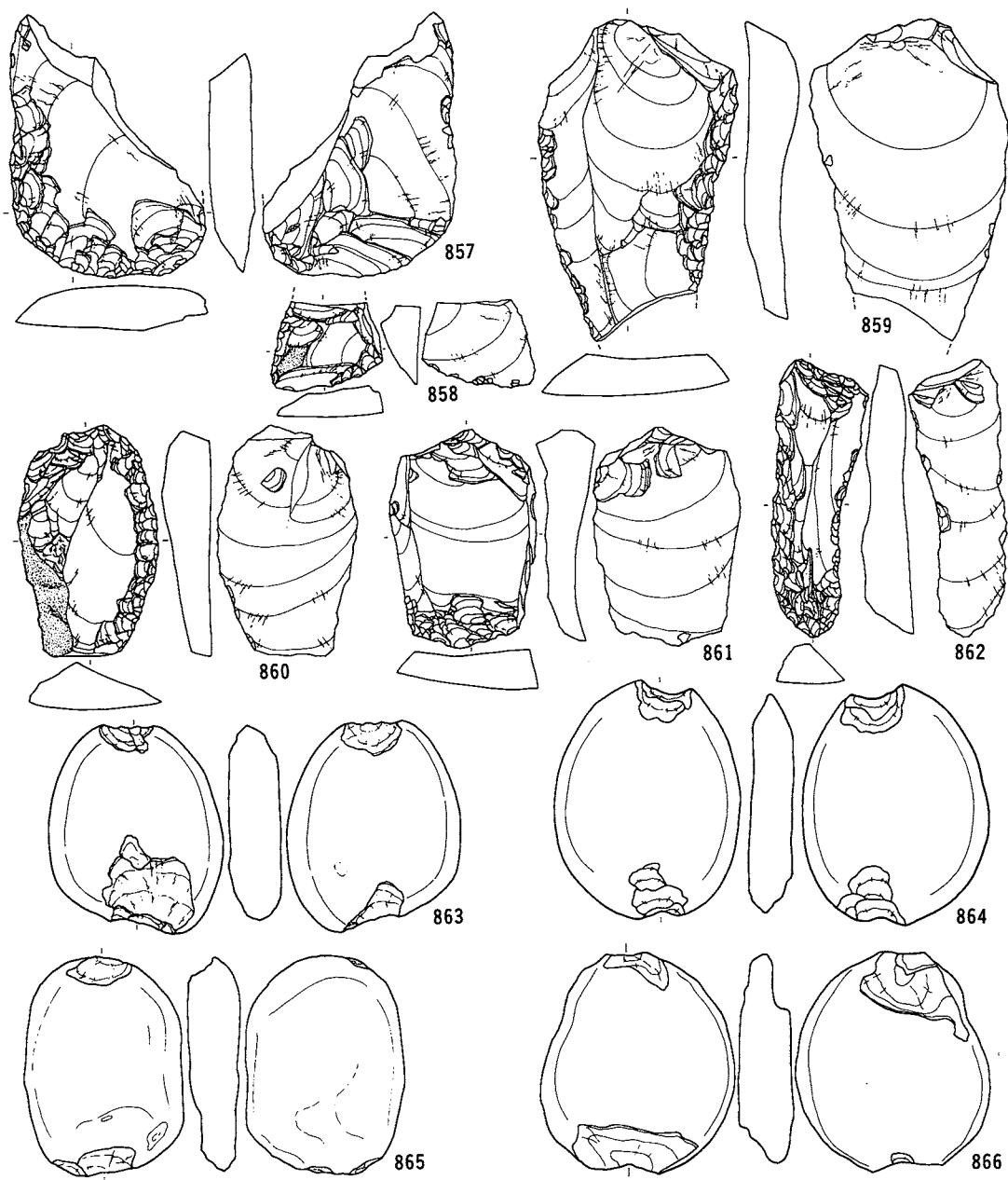
第93図 ⅢA 9号住居跡出土遺物(1)



$$S = \frac{2}{3}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
846	ⅢA 9号住埋土	石鏃	3.2	1.5	0.7	2.4	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	*
847	ⅢA 9号住埋土	石匙	3.9	4.2	0.7	8.7	硬質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
848	ⅢA 9号住埋土	石匙	4.8	2.8	0.7	8.6	珩質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
849	ⅢA 9号住Q 4埋土下部	石匙	4.7	3.3	0.5	7.4	硬質泥岩	奥羽山地礮石	新第三系中新統	
850	ⅢA 9号住埋土下部	石匙	4.7	6.4	0.9	18.1	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
851	ⅢA 9号住埋土	石匙	4.8	2.6	1.3	9.8	鉄石英	駒岳	新第三系鮮新統	*
852	ⅢA 9号住Q 2埋土上部	石匙	6.3	4.7	0.8	16.3	珩質泥岩	礮石	新第三系中新統	
853	ⅢA 9号住Q 2埋土上部	石鏃	2.5	2.9	0.7	4.9	赤色玻璃質安山岩	駒岳ふもと	新第三系中新統	
854	ⅢA 9号住埋土	削器	2.7	2.3	0.6	2.4	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
855	ⅢA 9号住埋土	削器	2.2	1.2	0.4	8.5	細粒凝灰岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	*
856	ⅢA 9号住埋土	削器	3.4	2.8	0.8	8.1	硬質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	*

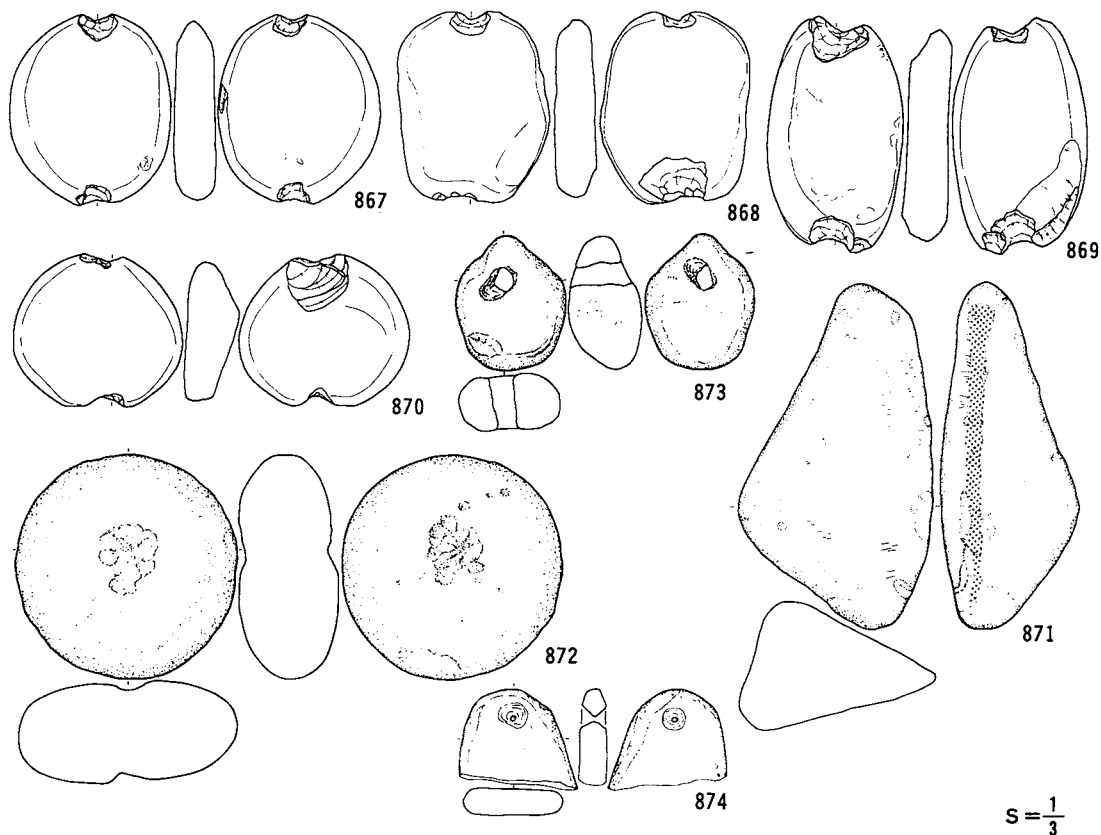
第94図 ⅢA 9号住居跡出土遺物(2)



S = $\frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
857	ⅢA 9号住Q 4埋土上部	削器	8.4	5.0	1.6	60.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	*
858	ⅢA 9号住Q 2埋土上位	三角削器	2.5	3.2	1.1	8.5	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	
859	ⅢA 9号住Q 2埋土上部	削器	9.1	5.7	1.4	75.1	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	*
860	ⅢA 9号住Q 2埋土上部	削器	6.6	4.0	1.4	34.6	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	
861	ⅢA 9号住Q 2埋土上部	搔器	6.2	4.2	1.6	38.8	珪質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
862	ⅢA 9号住Q 2埋土上部	搔器	7.8	2.9	1.4	26.3	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	
863	ⅢA 9号住Q 4埋土上部	石錘	6.0	5.0	1.5	70.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
864	ⅢA 9号住埋土	石錘	6.7	5.3	1.1	55.1	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
865	ⅢA 9号住Q 4埋土上部	石錘	6.2	4.5	1.7	65.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
866	ⅢA 9号住埋土	石錘	6.2	5.4	1.6	70.1	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*

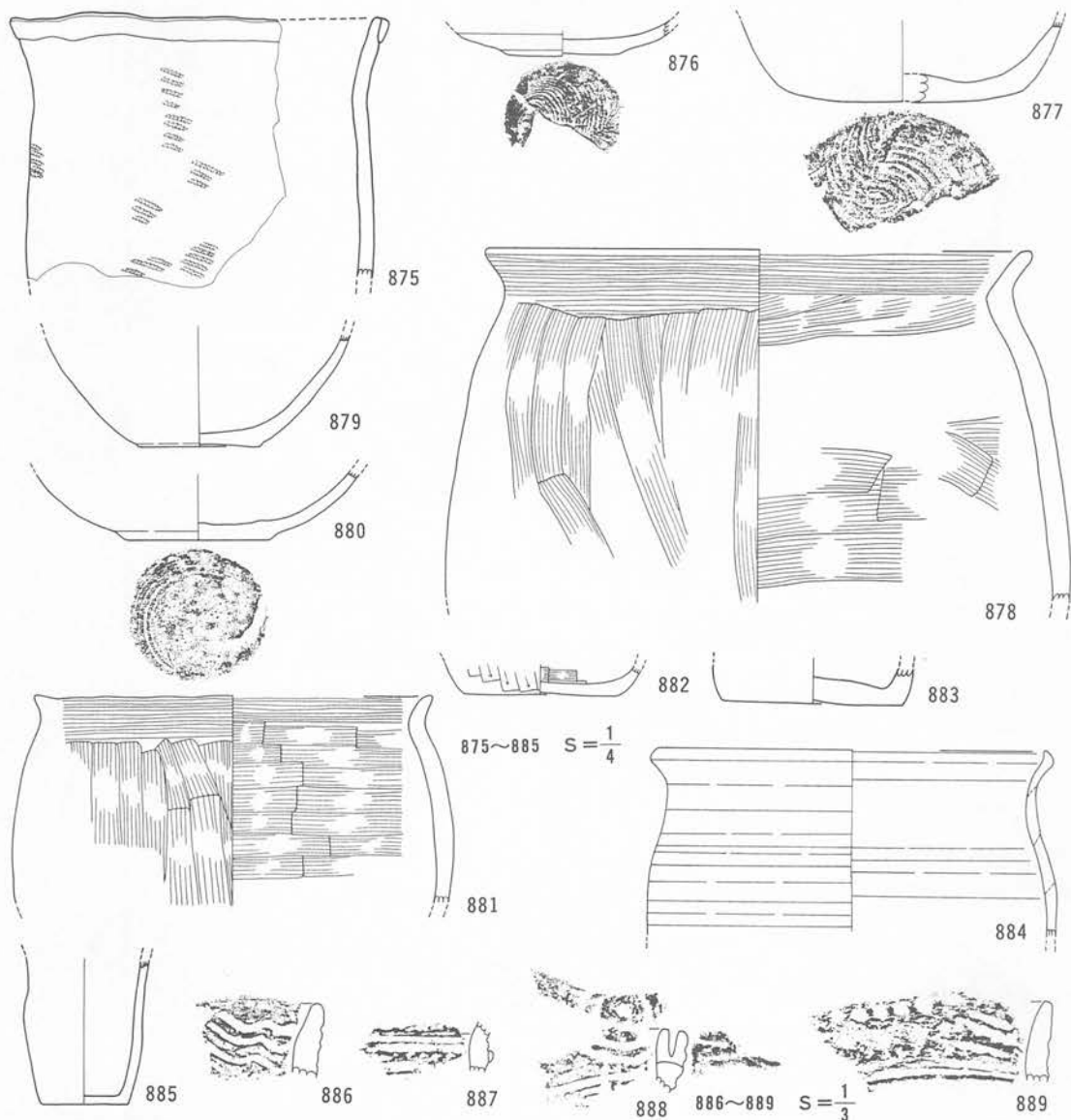
第95図 ⅢA 9号住居跡出土遺物(3)



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
867	ⅢA 9号住Q 4埋土上部	石錘	7.4	6.4	1.7	105.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
868	ⅢA 9号住埋土	石錘	7.6	5.8	2.2	35.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
869	ⅢA 9号住Q 4埋土上部	石錘	9.2	5.4	1.9	145.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
870	ⅢA 9号住Q 4埋土上部	石錘	6.0	6.8	2.1	105.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
871	ⅢA 9号住埋土	特殊磨石	13.7	7.8	5.5	475.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
872	ⅢA 9号住Q 4埋土上部	凹石	9.0	8.7	4.0	350.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
873	ⅢA 9号住Q 2埋土上部	有孔磬	5.4	4.4	2.9	75.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
874	ⅢA 9号住Q 2埋土上部	垂飾	4.0	4.6	1.1	24.5	緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

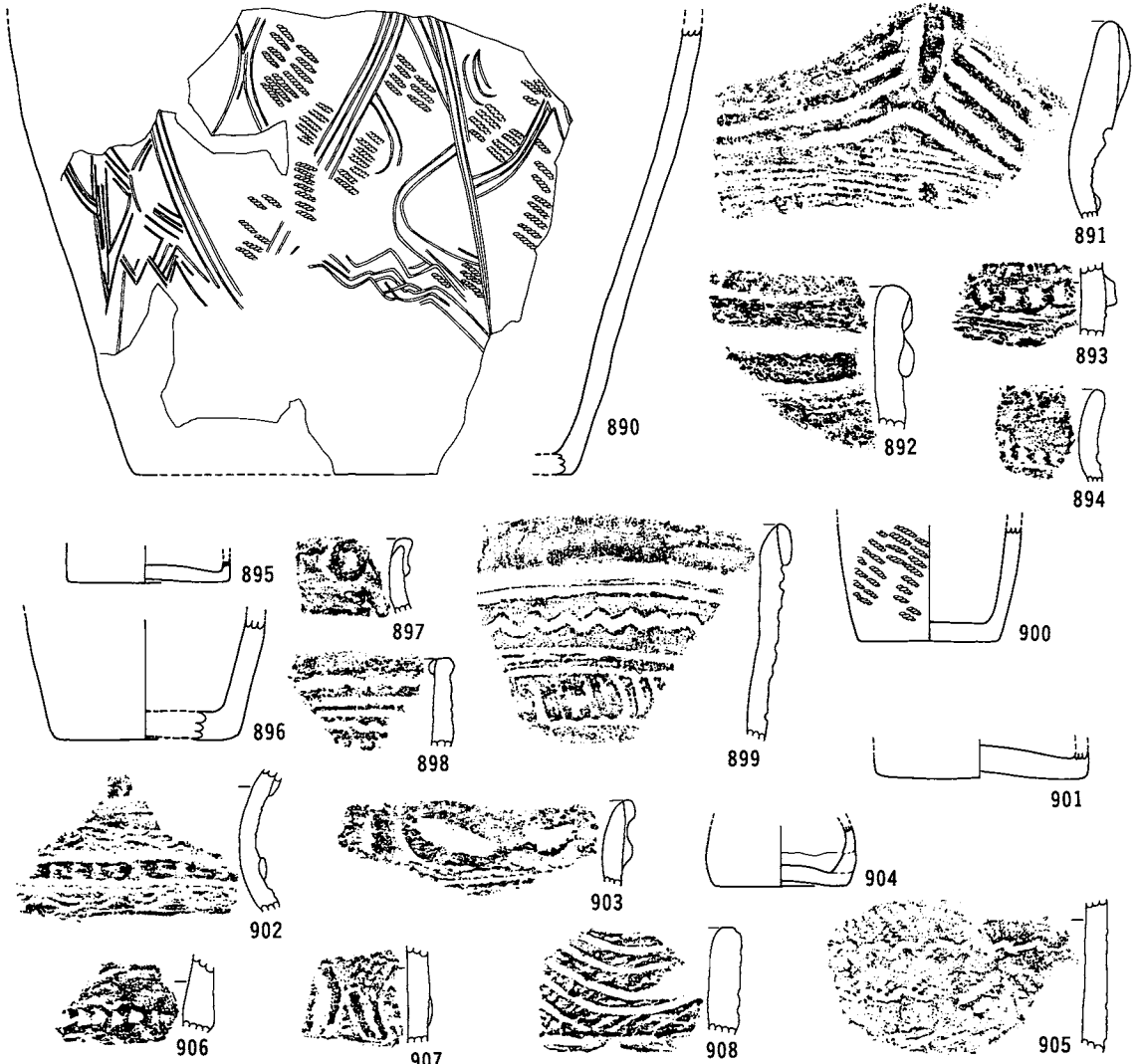
第96図 ⅢA 9号住居跡出土遺物(4)



No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
875	PP5・埋土	口~胴部	複合口縁、LRタテ	深鉢B12類
883	PP38・埋土	底部		深鉢C
885	PP62・埋土	胴~底部	無文	深鉢B
886	PP66・埋土	口縁部	横位の小波状沈線数条	深鉢A6類
887	PP69・埋土	頸部	横位の沈線、爪形文の施された粘土紐貼付、RLヨコ	深鉢B10類
888	PP95・埋土	口縁部	口唇部に渦巻状の粘土紐貼付、その下に横位の沈線	深鉢B10類
889	PP80・埋土	口縁部	爪形文、横位の沈線	深鉢B10類

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値 (cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
876	PP24・埋土	土師器環	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	4.8	B II類		
877	PP26・埋土	土師器環	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	(3.3)	(9.0)	B II類		
878	PP28・埋土	土師器環	非ロクロ	ヨコナデ	ヘラナデ	—	ヨコナデ	ヘラナデ	—	(22.8)	(14.6)	—	A I b類	
879	PP32・埋土	土師器環	ロクロ	—	—	再調整	—	—	—	(4.6)	5.0	B II類		
880	PP36・埋土	土師器環	ロクロ	—	—	再調整(?)	—	—	—	(3.8)	5.8	B II類		
881	PP36・埋土	土師器環	ロクロ	ヨコナデ	ヘラナデ	—	ヨコナデ	ヘラナデ	—	(16.5)	(8.6)	—	A II b類	
882	PP36・埋土	土師器環	非ロクロ	—	ヘラナデ	—	—	ヘラナデ	—	(1.2)	(6.4)	—	A II類	
884	PP49・埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(16.8)	(7.7)	—	B II b類	

第97図 切り合い住居柱穴群出土遺物(1)

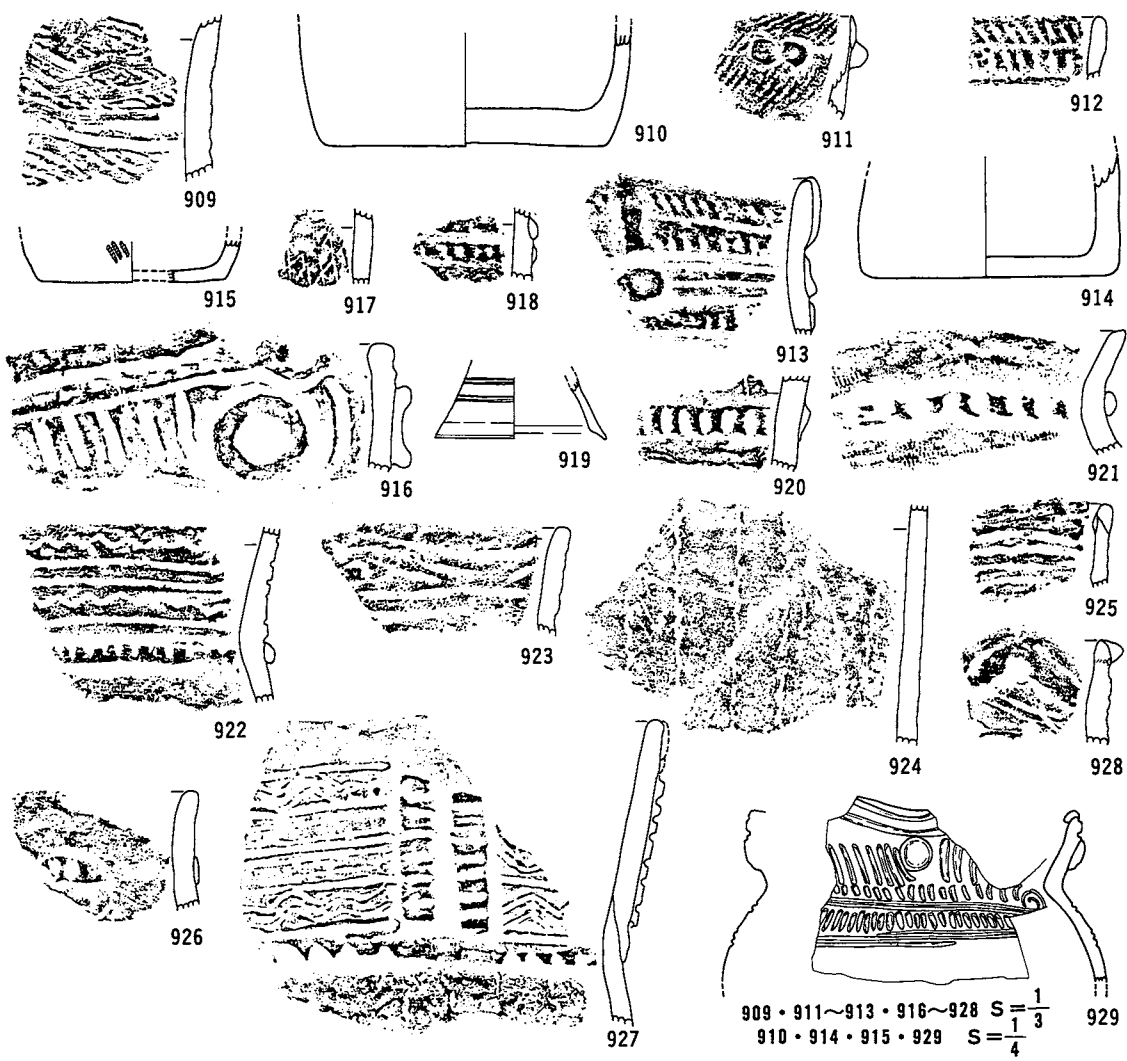


890・895・896・900・901・904 $S = \frac{1}{4}$

891~894・897~899・902・903・905~908 $S = \frac{1}{3}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
890	P P 73・埋土	胴~底部	縦横に平行沈線文、L R タテ	深鉢 B 7 類
891	P P 111・埋土	口縁部	波頂部に縦位の粘土紐貼付、その両側に数条の沈線、平行沈線文、円形の粘土塊貼付	深鉢 B 6 類
892	P P 123・埋土	口縁部	横位の粘土紐 2 本貼付、平行沈線文	深鉢 A
893	P P 123・埋土	胴部	連続押圧の粘土紐巡る、絡条体 L ヨコ	深鉢
894	P P 123・埋土	口縁部	爪形文	深鉢 B
895	P P 126・埋土	底部		深鉢 C
896	P P 126・埋土	胴~底部	無文	深鉢 B
897	P P 126・埋土	口縁部	ボタン状貼付、R の原体圧痕	深鉢 B
898	P P 126・埋土	口縁部	上端裏側に粘土紐貼付、横位や小波状の沈線	深鉢 A 17 類
899	P P 126・埋土	口縁部	複合口縁、横位や鋸歯状の沈線、縦位の連続沈線	深鉢 A 19 類
900	P P 141・埋土	胴~底部	L R タテ	深鉢 A 12 類
901	P P 141・埋土	底部		深鉢 C
902	P P 143・埋土	頸部	円形の粘土塊貼付、平行沈線文、爪形文の施された粘土紐貼付	深鉢 B 10 類
903	P P 143・埋土	口縁部	縦位と長楕円の粘土紐貼付、弧状のえぐり、押し引き沈線	深鉢 B 10 類
904	P P 146・埋土	胴~底部	無文	深鉢 C
905	P P 146・埋土	胴部	末端結節の羽状（結束第 2 種）ヨコ	深鉢 A 15 類
906	P P 148・埋土	胴部	爪形文	深鉢 10 類
907	P P 148・埋土	胴部	弧状の粘土紐を背中合わせに連続して貼付、その間に爪形文	深鉢 A
908	P P 158・埋土	口縁部	弧状の連続沈線、絡条体 R ナナメ	深鉢 A

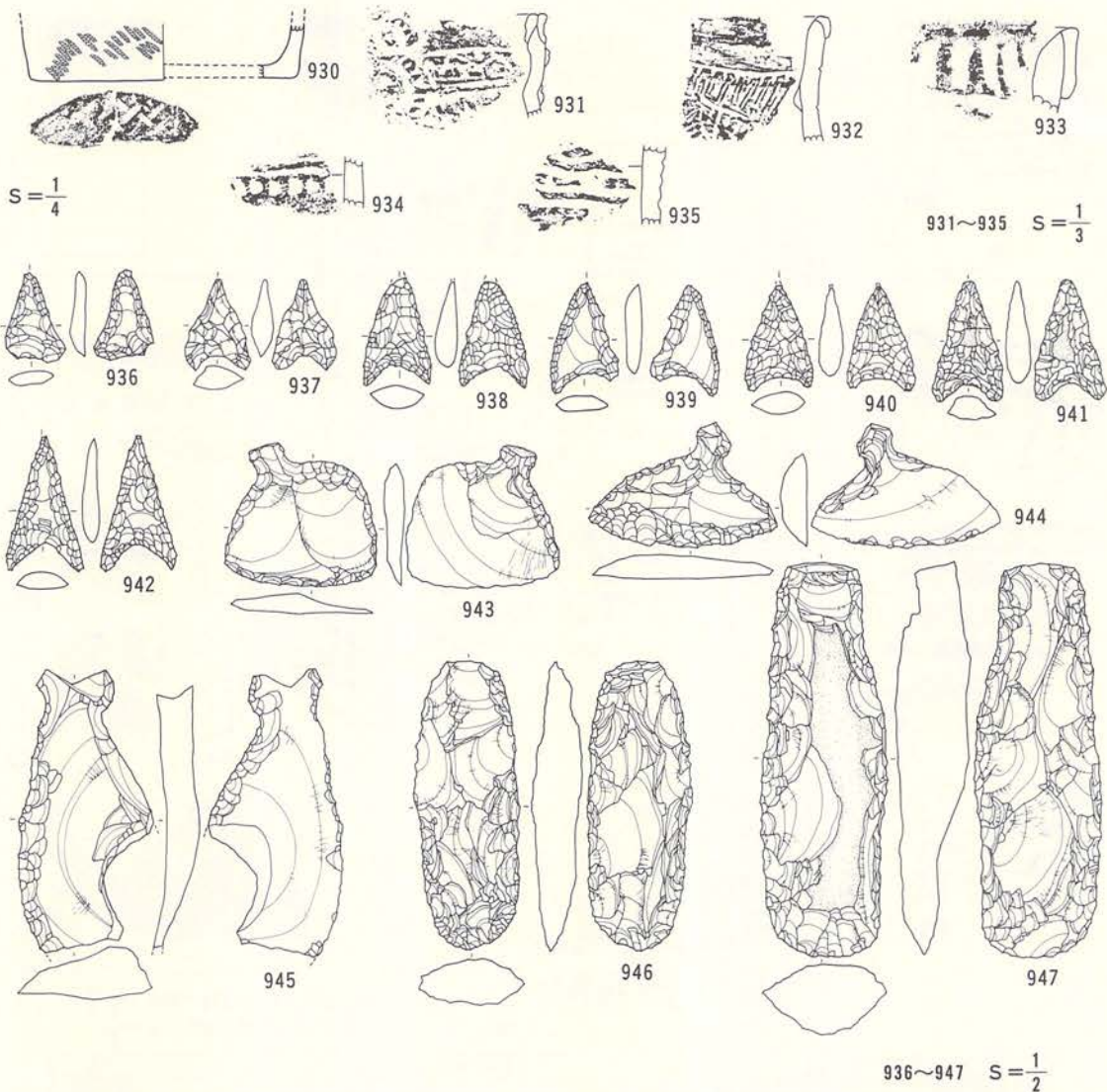
第98図 切り合い住居柱穴群出土遺物(2)



Na	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
909	PP158・埋土	頸部	平行沈線文、Lタテ	深鉢B6類
910	PP168・埋土	胴~底部	無文	深鉢A
911	PP170・埋土	口縁部	複合口縁、団子状粘土塊2個貼付、LRヨコ	深鉢A
912	PP174・埋土	口縁部	横位の沈線、斜位の連続沈線	深鉢A19類
913	PP174・埋土	口縁部	波頂部に縦位の粘土紐貼付、ボタン状貼付、横位の沈線や縦位の連続沈線、刻目ある粘土紐	深鉢B19類
914	PP174・埋土	胴~底部	無文	深鉢C
915	PP177・埋土	胴~底部	RLヨコ	深鉢A12類
916	PP177・埋土	口縁部	横位の沈線、押し引き沈線、縦位の連続沈線、ボタン状貼付	深鉢B13類
917	PP192・埋土	胴部	網目状燃糸文	深鉢A11類
918	PP192・埋土	頸部	刻目を持つ横位の粘土紐、円形の粘土塊貼付、Rの原体圧痕、LRヨコ	深鉢B16類
920	PP196・埋土	頸部	連続押圧の粘土紐貼付、Lの原体圧痕	深鉢B
921	PP204・埋土	頸部	連続押圧の粘土紐貼付、多軸絡糸体タテ	深鉢B
922	PP205・埋土	頸部	鋸歯状や横位の沈線、刻目を持つ粘土紐、RLタテ	深鉢B17類
923	PP205・埋土	口縁部	横位の沈線	深鉢B6類
924	PP205・埋土	胴部	両末端結節の羽状(結束第1種)タテ	深鉢A15類
925	PP205・埋土	口縁部	上端裏側に粘土紐、口唇部に円形の粘土塊、横位や小波状の沈線	深鉢A17類
926	PP213・埋土	口縁部	連続押圧の粘土紐、RLタテ	深鉢B
927	PP217・埋土	口~胴部	刻目を持つ2本1組の粘土紐、横位の沈線間に平行沈線文、三角状切り取り、第2種羽状タテ	深鉢B18類
928	PP228・埋土	口縁部	口縁に沿って粘土帯、円形の凹み、平行沈線文	深鉢B
929	PP235・埋土	口~胴部	口唇部に粘土帯、横位の沈線、円形の粘土塊とその両側に弧状の連続沈線、縦位の短沈線	深鉢C13類

Na	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
919	PP192・埋土	高台部分	ロクロ	—	—	ロクロ痕	—	—	—	—	(2.5)	(6.9)		

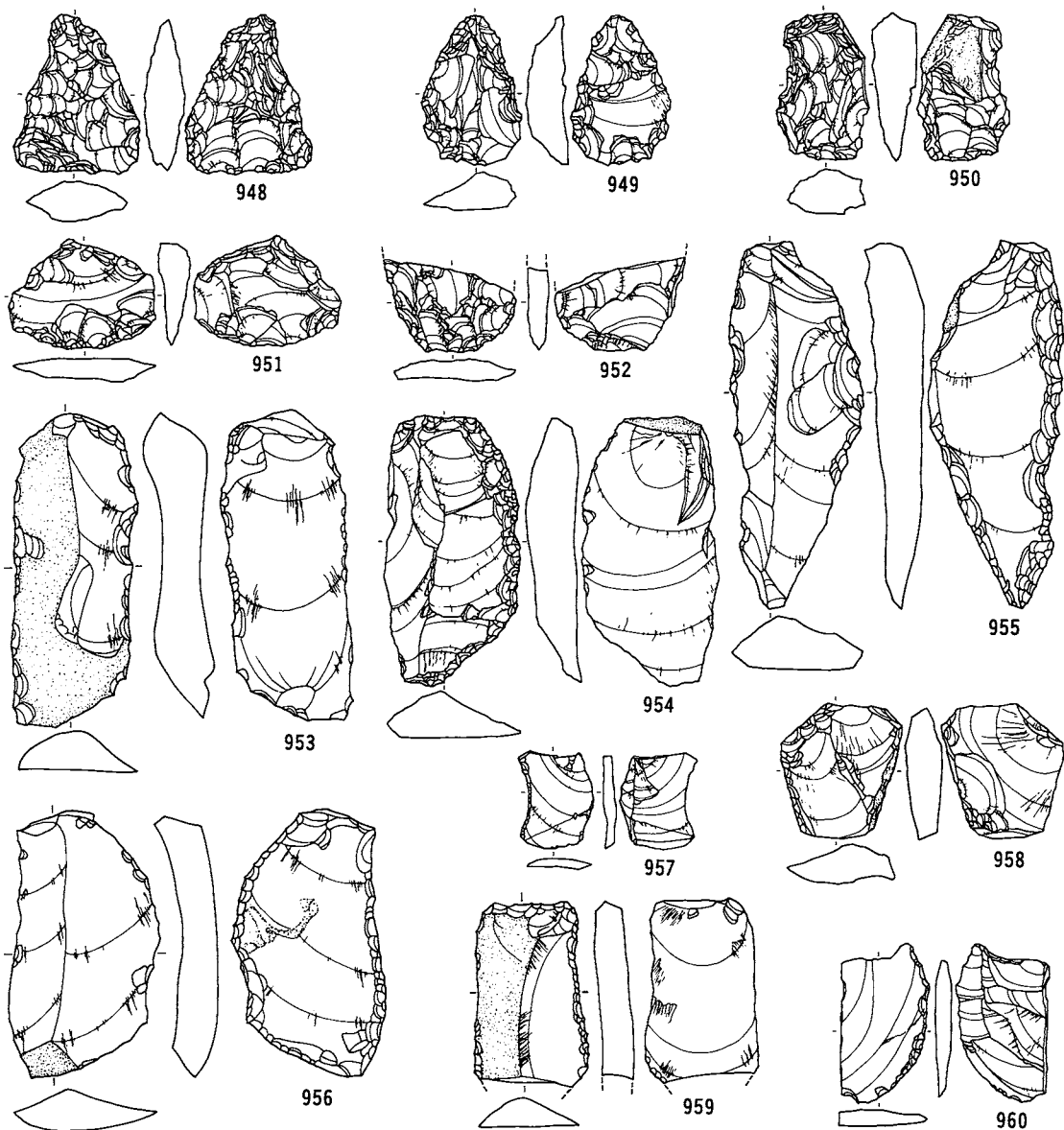
第99図 切り合い住居柱穴群出土遺物(3)



No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
930	P P 235・埋土	胴～底部	L R タテ、網代痕	深鉢 B12類
931	P P 236・埋土	口縁部	表は刻目を持つ馬蹄状の粘土紐、裏はドーナツ状の粘土紐、横位や鋸歯状の沈線、その間に刺突	深鉢 B18類
932	P P 236・埋土	口縁部	複合口縁、横位や斜位の沈線、縦位の連続沈線、裏側に粘土紐貼付	深鉢 B19類
933	P P 236・埋土	口縁部	縦位の太い連続沈線	深鉢 A13類
934	P P 238・埋土	頭部	横位の沈線、爪形文	深鉢 B10類
935	P P 238・埋土	頭部	横位や小波状の沈線	深鉢 B17類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
936	P P 123埋土北半	石鏃	2.4	1.7	0.4	1.2	珪質泥岩	川尻以西 o r 零石西部	新第三系中新統	
937	P P 60埋土	石鏃	2.5	1.8	1.6	1.7	珪質泥岩	川尻以西 o r 零石西部	新第三系中新統	
938	P P 38埋土	石鏃	2.8	1.8	0.6	1.8	硬質泥岩	川尻以西 o r 零石西部	新第三系中新統	*
939	P P 148埋土	石鏃	2.5	1.9	0.4	1.9	粘板岩	北上山地	古生界	
940	III A 柱穴群	石鏃	2.8	1.9	0.7	2.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 o r 零石西部	新第三系中新統	*
941	P P 196埋土	石鏃	2.3	1.8	0.6	3.2	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 o r 零石西部	新第三系中新統	
942	P P 27埋土	石鏃	3.7	2.1	0.4	2.3	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 o r 零石西部	新第三系中新統	
943	P P 170埋土	石匙	3.8	4.1	0.7	8.7	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 o r 零石西部	新第三系中新統	
944	III A 柱穴群	石匙	3.3	5.1	0.7	10.7	珪質泥岩	川尻以西 o r 零石西部	新第三系中新統	
945	P P 18埋土	石匙	7.6	3.6	1.1	22.4	硬質泥岩	川尻以西 o r 零石西部	新第三系中新統	*
946	P P 205埋土	石筥	7.7	2.8	1.3	25.9	細粒凝灰岩	川尻以西 o r 零石西部	新第三系中新統	
947	III A 柱穴群	石筥	10.5	3.4	2.0	75.1	硬質泥岩	川尻以西 o r 零石西部	新第三系中新統	

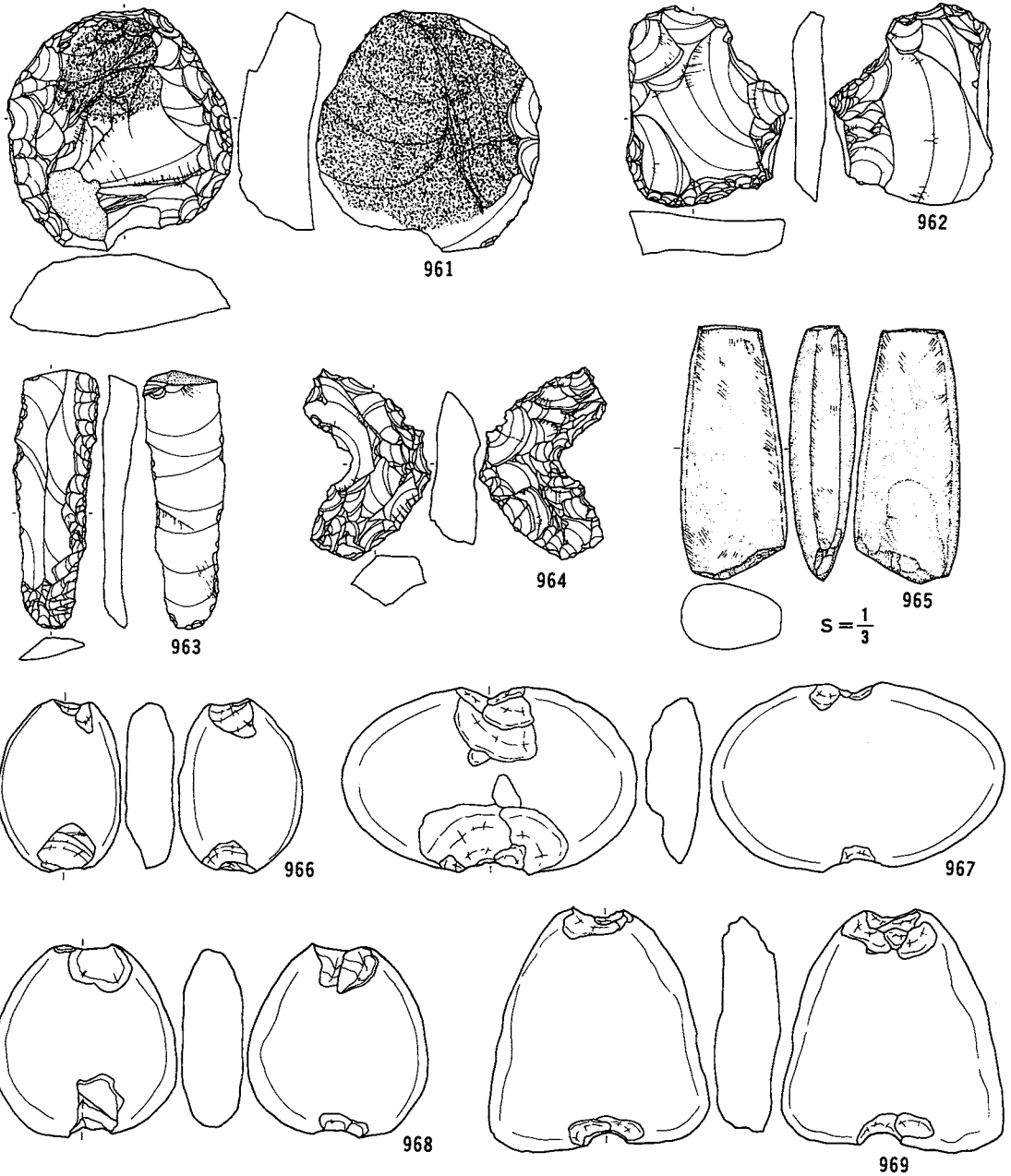
第100図 切り合い住居柱穴群出土遺物(4)



$$S = \frac{1}{2}$$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
948	P P 89埋土	石筥	4.4	3.5	1.1	13.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 o r 礮石西部	新第三系中新統	
949	P P 36埋土	石筥	4.1	2.6	1.0	10.3	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 o r 礮石西部	新第三系中新統	
950	P P 196埋土	石筥	4.1	2.6	1.2	13.4	珪質泥岩	川尻以西 o r 礮石西部	新第三系中新統	
951	ⅢA柱穴群	石筥	3.0	4.0	0.9	8.9	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 o r 礮石西部	新第三系中新統	
952	P P 217埋土	石筥	2.6	3.6	0.6	6.6	硬質泥岩	川尻以西 o r 礮石西部	新第三系中新統	*
953	P P 38埋土	削器	8.6	3.5	1.8	53.5	粘板岩	北上山地	古生界	
954	ⅢA柱穴群	削器	7.5	3.8	1.5	41.8	硬質泥岩	川尻以西 o r 礮石西部	新第三系中新統	
955	P P 126埋土東半	削器	10.1	3.8	1.4	65.1	粘板岩	北上山地	古生界	
956	P P 204埋土	削器	7.3	4.3	1.3	38.8	硬質泥岩	川尻以西 o r 礮石西部	新第三系中新統	
957	ⅢA柱穴群内石囲炉焼土	削器	2.7	1.8	0.3	1.9	珪質泥岩	川尻以西 o r 礮石西部	新第三系中新統	
958	P P 125埋土	削器	3.8	3.4	3.0	14.3	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 o r 礮石西部	新第三系中新統	
959	P P 183埋土	削器	5.1	3.2	0.9	18.1	硬質泥岩	川尻以西 o r 礮石西部	新第三系中新統	*
960	ⅢA柱穴群	削器	4.5	2.4	0.4	5.5	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 o r 礮石西部	新第三系中新統	

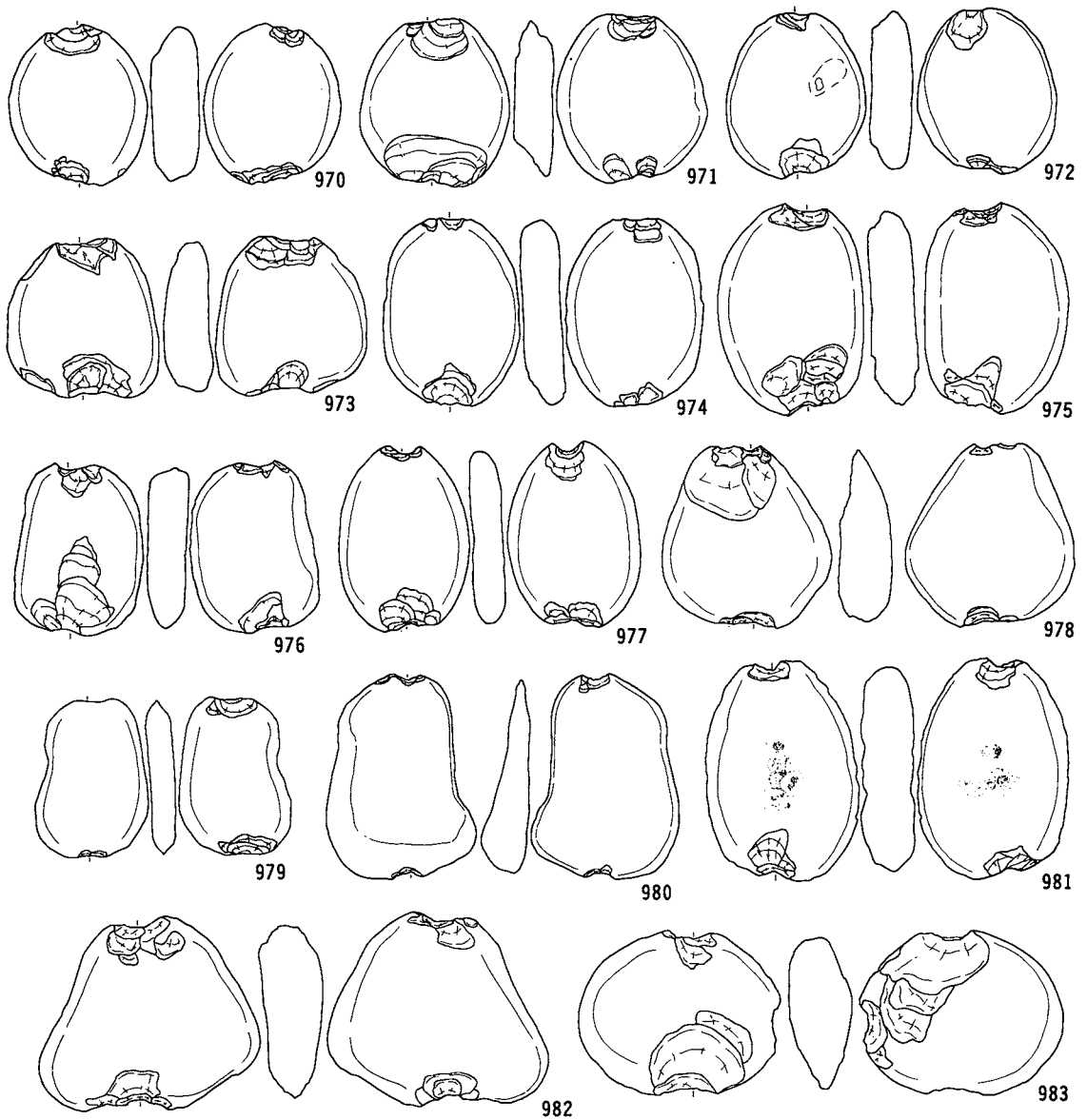
第101図 切り合い住居柱穴群出土遺物(5)



$s = \frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
961	PP41埋土	撻器	6.8	6.5	2.3	80.1	流紋岩	羽山一本畑	新第三系中新統	
962	PP143埋土	撻器	5.8	4.6	1.2	42.5	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or礮石西部	新第三系中新統	
963	PP97埋土	撻器	7.5	2.3	1.0	14.2	硬質泥岩	川尻以西or礮石西部	新第三系中新統	
964	PP38埋土	異形石器	5.4	2.5	1.4	22.9	珪質泥岩	川尻以西or礮石西部	新第三系中新統	
965	ⅢA柱穴群	磨製石斧	10.9	4.6	2.8	235.0	泥質凝灰岩	川尻以西or礮石西部	新第三系中新統	
966	PP38埋土	石錘	5.0	3.5	1.4	40.1	プロピライト質緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
967	PP117埋土	石錘	5.4	8.9	1.5	100.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
968	PP18埋土	石錘	5.6	5.2	1.7	70.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
969	PP27埋土	石錘	7.0	6.4	1.9	100.0	デサイト質凝灰岩	羽山一本畑	新第三系中新統	

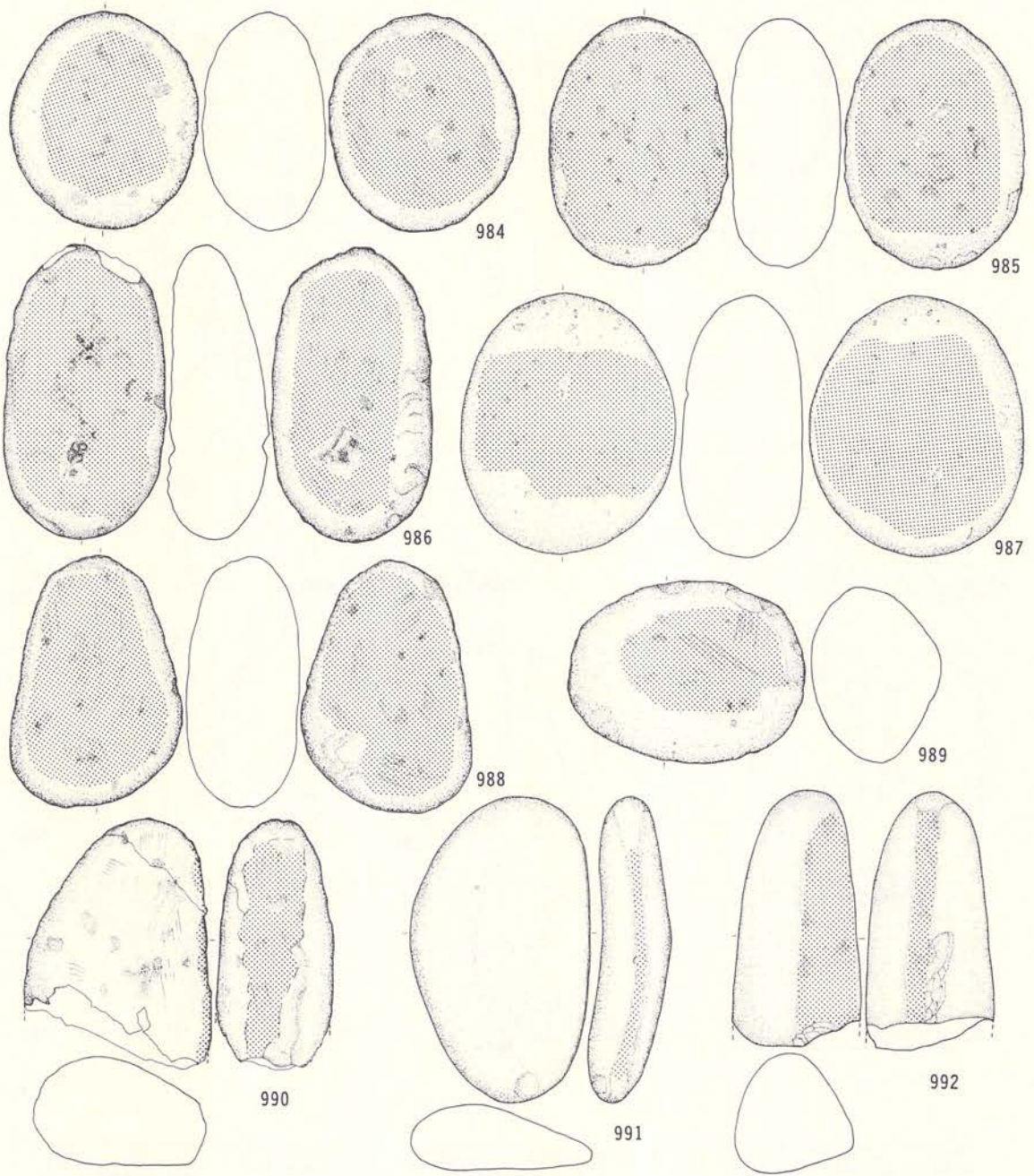
第102図 切り合い住居柱穴群出土遺物(6)



S = $\frac{1}{3}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
970	P P 123埋土	石錘	6.6	5.7	2.0	115.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
971	P P 168埋土	石錘	7.1	6.2	1.7	105.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
972	ⅢA柱穴群	石錘	6.9	5.9	1.9	105.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
973	P P 236埋土	石錘	6.6	6.3	2.1	130.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
974	P P 236埋土	石錘	7.8	5.8	1.9	120.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
975	P P 238埋土	石錘	8.8	6.0	2.1	140.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
976	P P 146埋土	石錘	7.1	5.2	1.8	105.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
977	P P 177埋土	石錘	7.9	5.5	1.3	85.1	アサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
978	P P 69埋土	石錘	7.6	7.0	2.5	135.0	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
979	P P 146埋土	石錘	7.1	5.2	1.8	105.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
980	P P 41埋土	石錘	8.5	6.1	2.0	80.1	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
981	P P 123埋土北半	石錘	9.2	6.2	2.7	195.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
982	P P 204埋土	石錘	7.7	9.7	2.6	205.0	アサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
983	P P 150埋土	石錘	6.8	8.2	2.8	185.0	プロピライト質緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*

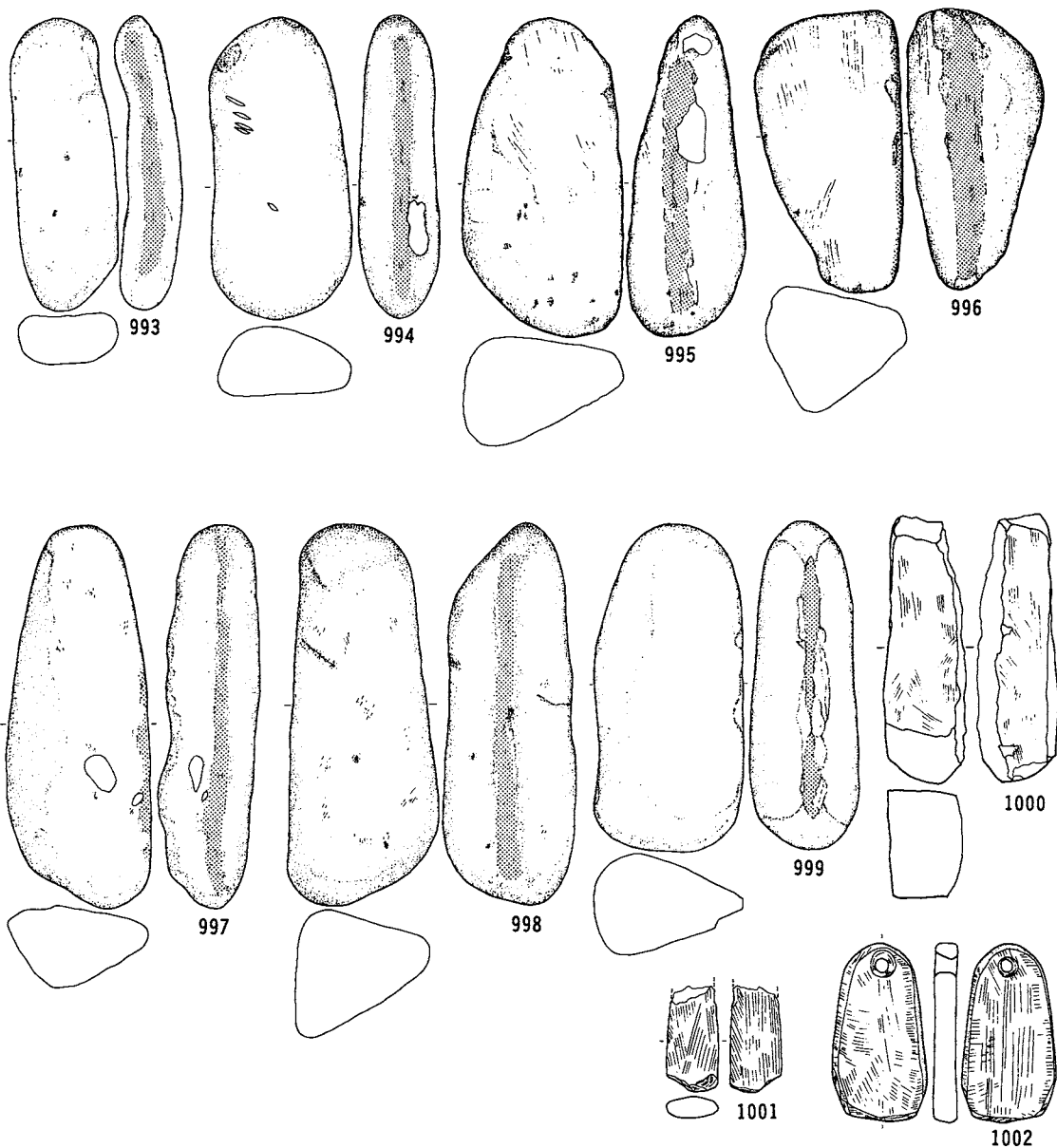
第103図 切り合い住居柱穴群出土遺物(7)



$$S = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
984	P P35埋土	すり石	9.5	8.4	5.5	620.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
985	P P67埋土	すり石	11.0	8.0	5.2	660.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
986	P P175埋土	凹石	13.0	7.1	5.0	550.0	軽石質凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
987	P P196埋土	すり石	11.5	9.5	5.4	880.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
988	P P123埋土	すり石	11.2	7.5	5.1	600.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
989	P P38埋土	すり石	10.5	8.0	6.0	670.0	テサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
990	ⅢA柱穴群	特殊磨石	10.0	8.4	5.1	530.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*
991	P P150埋土北半	特殊磨石	13.5	8.0	3.0	465.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
992	P P146埋土	特殊磨石	11.8	5.7	5.1	460.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*

第104図 切り合い住居柱穴群出土遺物(8)



$$993\sim 999 \quad S = \frac{1}{4}$$

$$1000\sim 1002 \quad S = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
993	P P 38埋土	特殊磨石	16.8	5.6	2.8	430.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
994	P P 123埋土	特殊磨石	16.7	7.8	4.3	850.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
995	P P 123埋土北半	特殊磨石	17.8	9.2	6.6	1240.0	プロビライト	夏油川上流	新第三系中新統	
996	ⅢA柱穴群	特殊磨石	15.8	8.1	7.6	1160.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
997	P P 205埋土	特殊磨石	21.4	8.2	4.4	1000.0	プロビライト	夏油川上流	新第三系中新統	*
998	P P 162埋土 (柱穴①)	特殊磨石	21.0	8.4	5.8	1700.0	緑色凝灰岩	夏油川	新第三系中新統	
999	P P 162埋土 (柱穴②)	特殊磨石	18.3	8.2	6.2	1350.0	緑色凝灰岩	夏油川	新第三系中新統	
1000	P P 49埋土	砥石	7.4	3.3	2.2	90.1	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	*
1001	P P 111埋土	石剣	3.0	1.4	0.6	4.1	滑石	宮守達管部	古生界	*
1002	P P 67埋土	垂飾	5.0	3.0	0.7	11.5	珪長質極細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	

第105図 切り合い住居柱穴群出土遺物(9)

石錘18点、削器13点、特殊磨石10点、石鏃、石筥各7点、すり石5点、石匙、搔器、凹石各3点、Rフレ2点、磨製石斧、砥石、石剣、垂飾、異形石器各1点

Ⅲ A 7号住居跡

遺構 (第106図、写真図版10・11)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA10g区付近に位置し、ⅢA109土坑を切っている。<平面形> ほほ円形 <規模> 4.5×4.4m <壁高> 18~40cm <埋土> 3層に大別され、炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。全体にわたって多量の土器片が入る。<床面> 南側に隅丸長方形のP1が検出されたが、遺物は出土しなかった。また、北側をのぞいて壁溝が巡る。<柱穴> PP1~PP3まで検出されたが、支柱穴と思われるものは確認できなかった。<炉> 検出されなかった。

遺物 (第107~118図、写真図版149~158)

<土器> 図化できた個体が29点、底部片1点、拓本として掲載した破片7点、板状土偶2点、糸巻形土製品1点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ3箱程出土している。1003~1008・1033は埋土下部、1009~1023・1034~1037は埋土中部、1024~1031・1038・1039は埋土上部からそれぞれ出土している。

<石器> 登録したものが85点、フレイクが192点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘37点、石鏃、石匙、特殊磨石各7点、石筥、削器、すり石各4点、凹石3点、Uフレ、コア、尖頭器、円盤状石製品各2点、石錐、石鏃、磨製石斧、敲石各1点

遺構の時期

出土遺物などから縄文時代前期末葉と考えられる。

Ⅳ B 9号住居跡

遺構 (第119図、写真図版12)

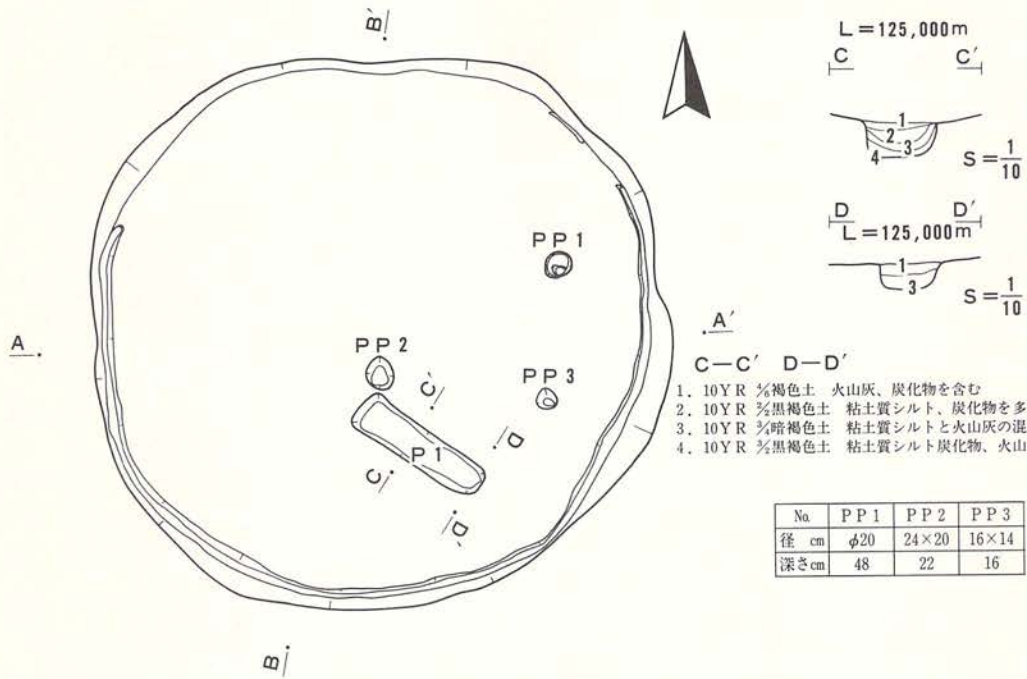
<検出状況> 調査区ほぼ中央部のⅣB5号住居跡とⅣB8号住居跡の間に、石囲炉が1基検出された。しかし柱穴等は検出されず、平面形、規模等不明である。炉の南東側には、固くしまった粘土が55×45cmのほほ楕円形に検出された。<炉> 62×60cmのほほ隅丸方形を呈し、中央部には固く焼きしまった燃焼部が残存する。

遺物

出土しなかった。

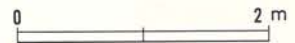
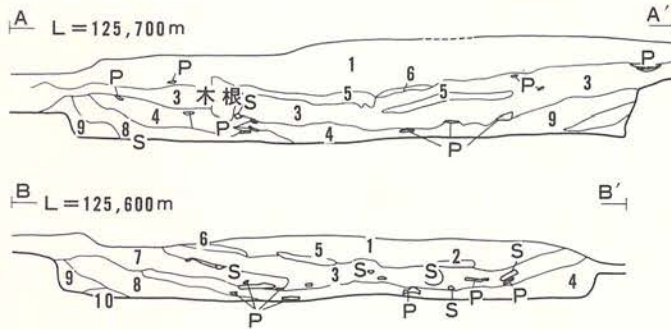
遺構の時期

検出面、炉の形状などから縄文時代と考えられる。



1. 10Y R 1/2 暗褐色土 火山灰、炭化物を含む
2. 10Y R 1/2 黒褐色土 粘土質シルト、炭化物を多く含む火山灰燼土粒を含む
3. 10Y R 1/2 暗褐色土 粘土質シルトと火山灰の混土炭化物を若干含む
4. 10Y R 1/2 黒褐色土 粘土質シルト炭化物、火山灰を含む

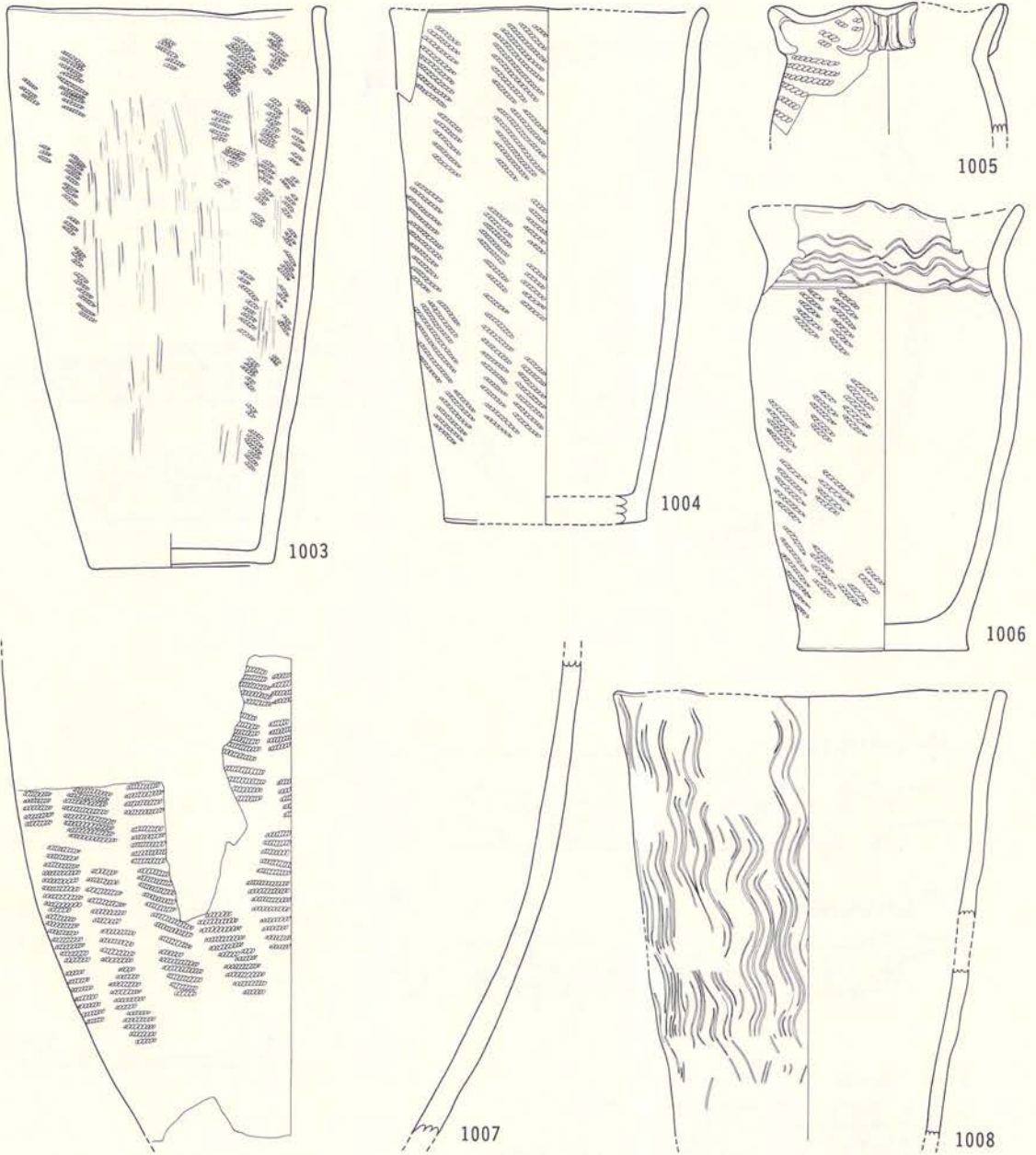
No.	PP 1	PP 2	PP 3
径 cm	φ20	24×20	16×14
深さ cm	48	22	16



A-A' B-B'

1. 10Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、火山灰わずかに入る、土器片入る
2. 7.5Y R 1/2 暗褐色土に火山灰ブロック入る
3. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、火山灰ブロックをやや多く含む
4. 10Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、火山灰ブロック大きめの土器片、石炭を含む
5. 7.5Y R 1/2 暗褐色土と火山灰の混土
6. 7.5Y R 1/2 褐色土に火山灰ブロック入る
7. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、火山灰ブロックを含む
8. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 炭化物をわずかに含む
9. 10Y R 1/2 暗褐色土に火山灰ブロックが入る
10. 7.5Y R 1/2 暗褐色土に火山灰ブロックが入る

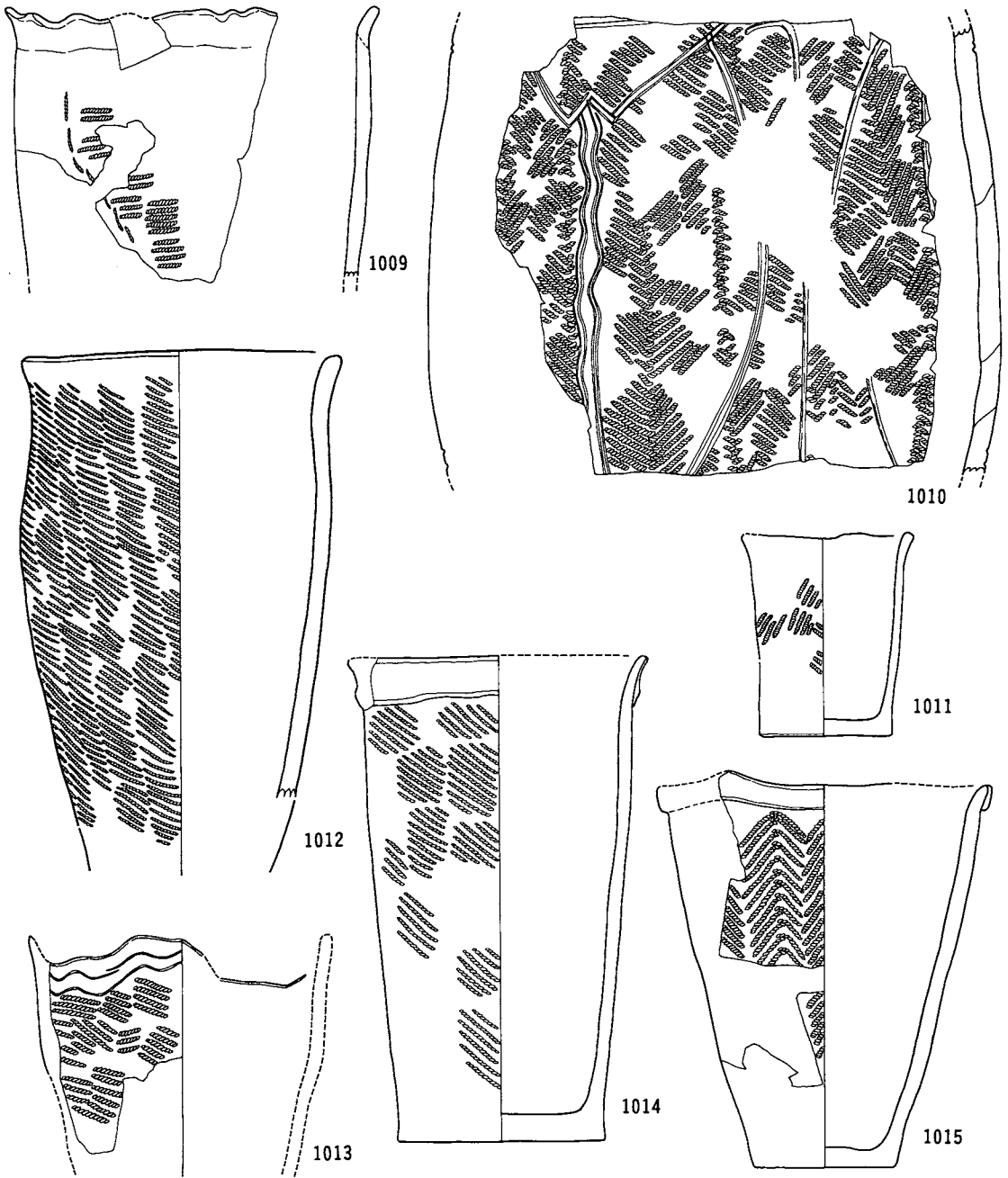
第106図 III A 7号住居跡



$$S = \frac{1}{4}$$

№	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1003	ⅢA 7号住・埋土下部	口～底部	平縁、LRタテ、あらい調整痕	深鉢A12類
1004	ⅢA 7号住・埋土下部	口～底部	平縁、LRタテ	深鉢A12類
1005	ⅢA 7号住・埋土下部	口～胴部	4単位の波状口縁、波頂部は2山状、波頂部に縦位3本と弧状の粘土紐、LRナナム	深鉢B12類
1006	ⅢA 7号住・埋土下部	口～底部	4単位の波状口縁(?)、波頂部は2山状、平行沈線文、LRタテ	深鉢B6類
1007	ⅢA 7号住・埋土下部	胴部	LRナナム	深鉢B12類
1008	ⅢA 7号住・埋土下部	口～胴部	平縁、平行沈線が連続して波状に垂下	深鉢A7類

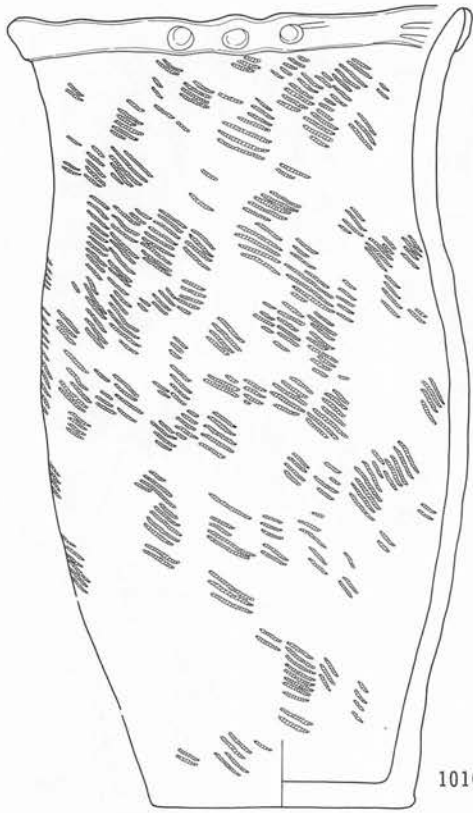
第107図 ⅢA 7号住居跡出土遺物(1)



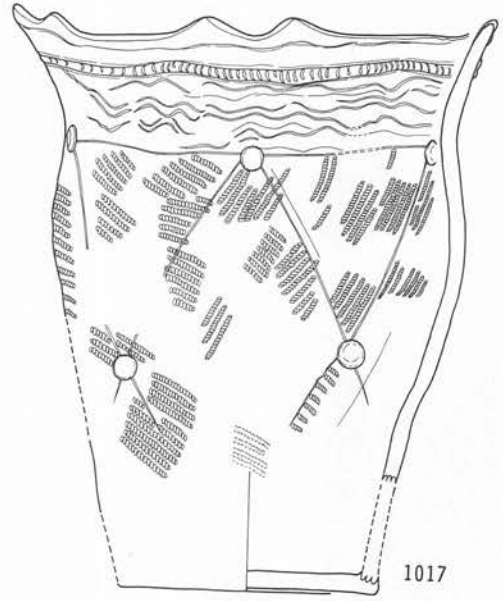
$$s = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1009	ⅢA 7号住・埋土中部	口～胴部	小波状口縁、末端結節のLRナナメ	深鉢A12類
1010	ⅢA 7号住・埋土中部	胴部	縦横に平行沈線文、羽状（結束第1種）タテ	深鉢B7類
1011	ⅢA 7号住・埋土中部	口～底部	平線、RLタテ、ヨコ	深鉢A12類
1012	ⅢA 7号住・埋土中部	口～胴部	平線、LRタテ、	深鉢B12類
1013	ⅢA 7号住・埋土中部	口～胴部	不整な平線で4単位の突起（?）、口縁に沿って沈線、LRタテ、ナナメ	深鉢A12類
1014	ⅢA 7号住・埋土中部	口～底部	平線、複合口縁、LRタテ	深鉢A12類
1015	ⅢA 7号住・埋土中部	口～底部	平線で1ヶ所に突起、複合口縁、羽状（結束第1種）タテ	深鉢A15類

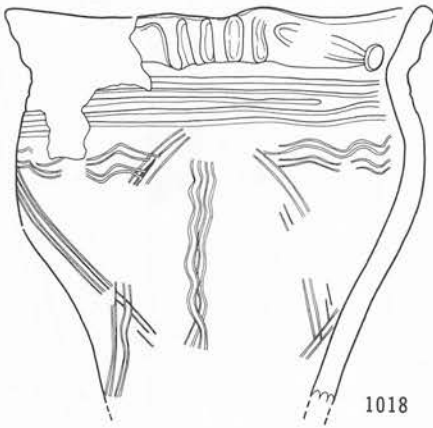
第108図 ⅢA 7号住居跡出土遺物(2)



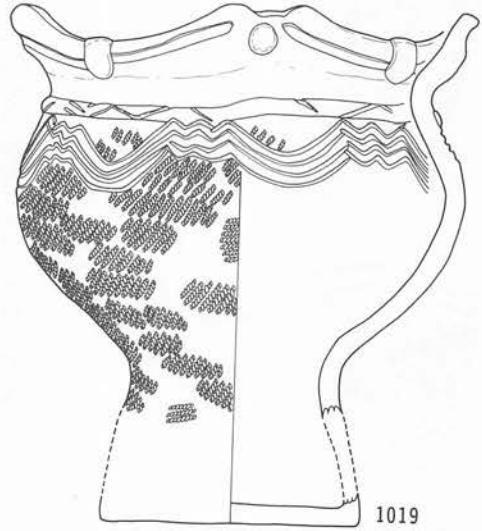
1016



1017



1018

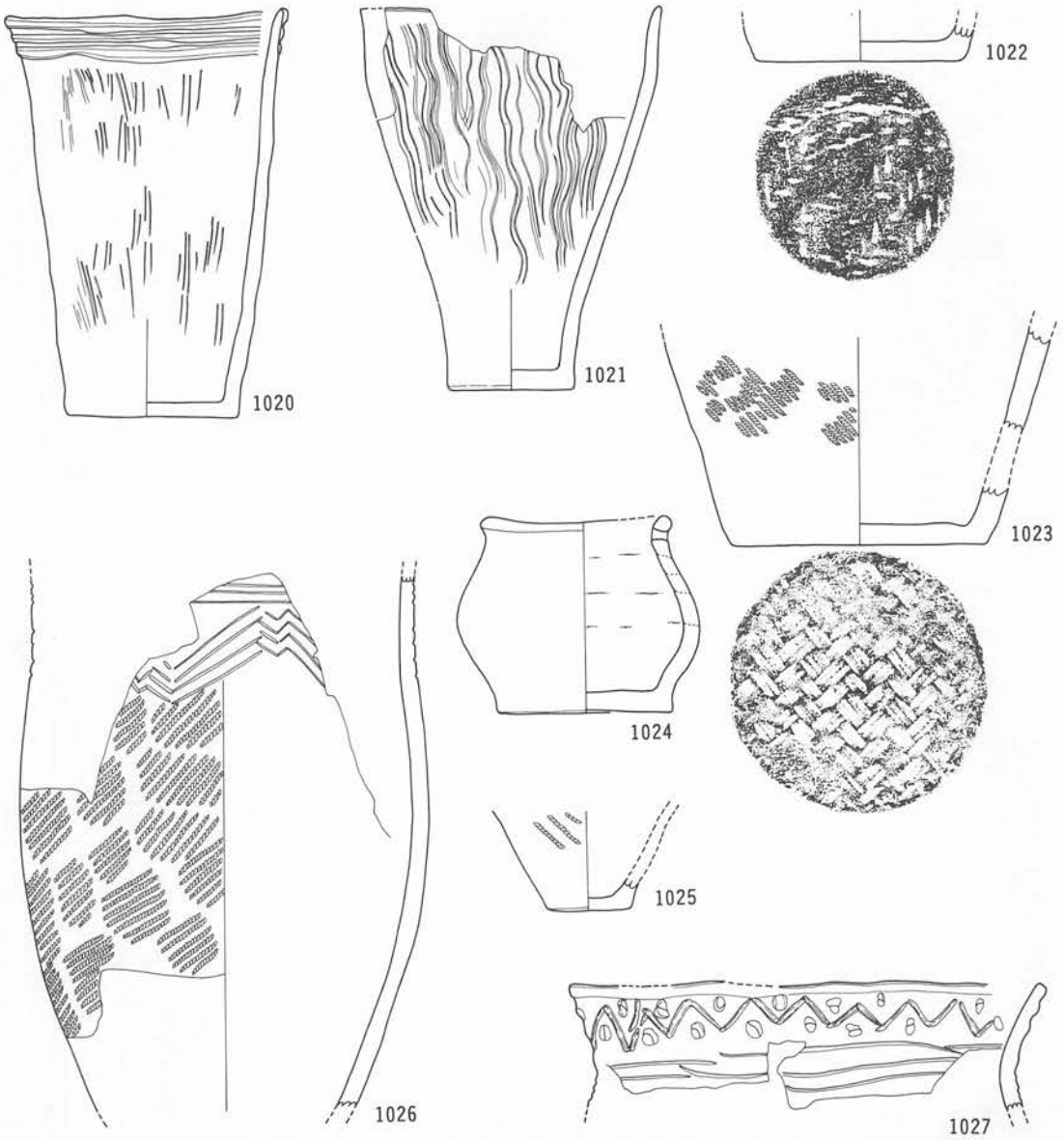


1019

$$S = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1016	ⅢA 7号住・埋土中部	口～底部	平縁で口唇部に2ヶ所1対の押圧が4単位、複合口縁上に3個の円形の凹み、LRタテ	深鉢B12類
1017	ⅢA 7号住・埋土中部	口～底部	4単位の波状口縁、2山状、爪形文のある粘土紐、平行沈線文、ボタン状貼付、RLタテ、ヨコ	深鉢B 8類
1018	ⅢA 7号住・埋土中部	口～胴部	4単位の波状口縁(?)、縦位やへアピン状の太い沈線、ボタン状貼付、横位の沈線、平行沈線文	深鉢B 7類
1019	ⅢA 7号住・埋土中部	口～底部	4単位の波状口縁、2山状、円形の凹み、粘土塊、沈線のある粘土紐、平行沈線文、LRヨコ	深鉢C 9類

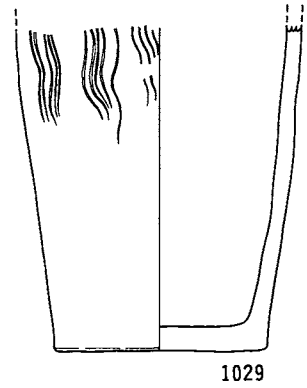
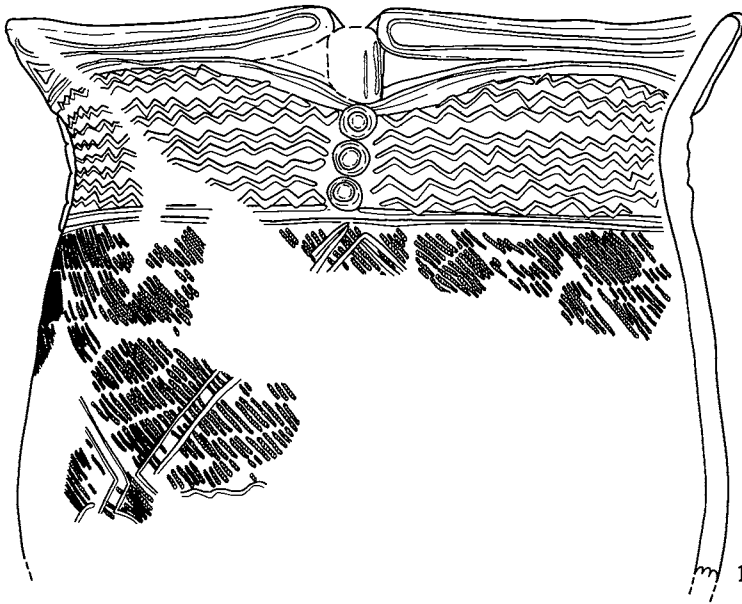
第109図 ⅢA 7号住居跡出土遺物(3)



No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1020	ⅢA 7号住・埋土中部	口～底部	平縁、太い横位の沈線、細い縦位の連続沈線	深鉢A 5類
1021	ⅢA 7号住・埋土中部	口～底部	平縁、平行沈線が連続して波状に垂下	深鉢C 7類
1022	ⅢA 7号住・埋土中部	底部	網代痕	深鉢B
1023	ⅢA 7号住・埋土中部	胴～底部	L R タテ、網代痕	深鉢B12類
1024	ⅢA 7号住・埋土上部	口～底部	平縁、頸部に穿孔	深鉢B
1025	ⅢA 7号住・埋土上部	胴～底部	L R タテ	深鉢A12類
1026	ⅢA 7号住・埋土上部	頸～底部	平行沈線文、L R ヨコ	深鉢B 7類
1027	ⅢA 7号住・埋土上部	口～頸部	平縁、鋸歯状の沈線間に原体の先端押圧、横位の沈線	深鉢B14類

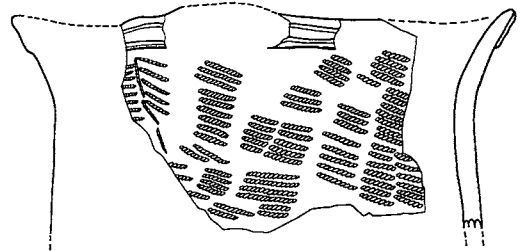
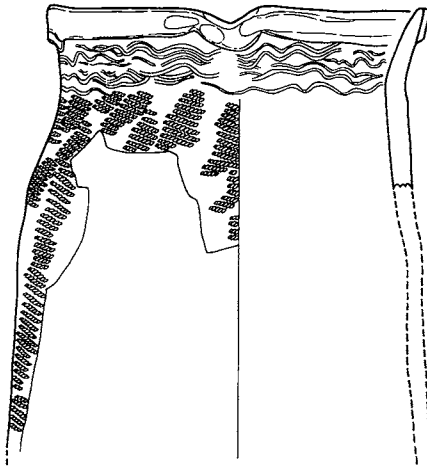
第110図 ⅢA 7号住居跡出土遺物(4)

S = $\frac{1}{4}$



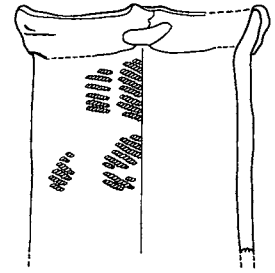
1028

1029



1030

1031



1033

1034

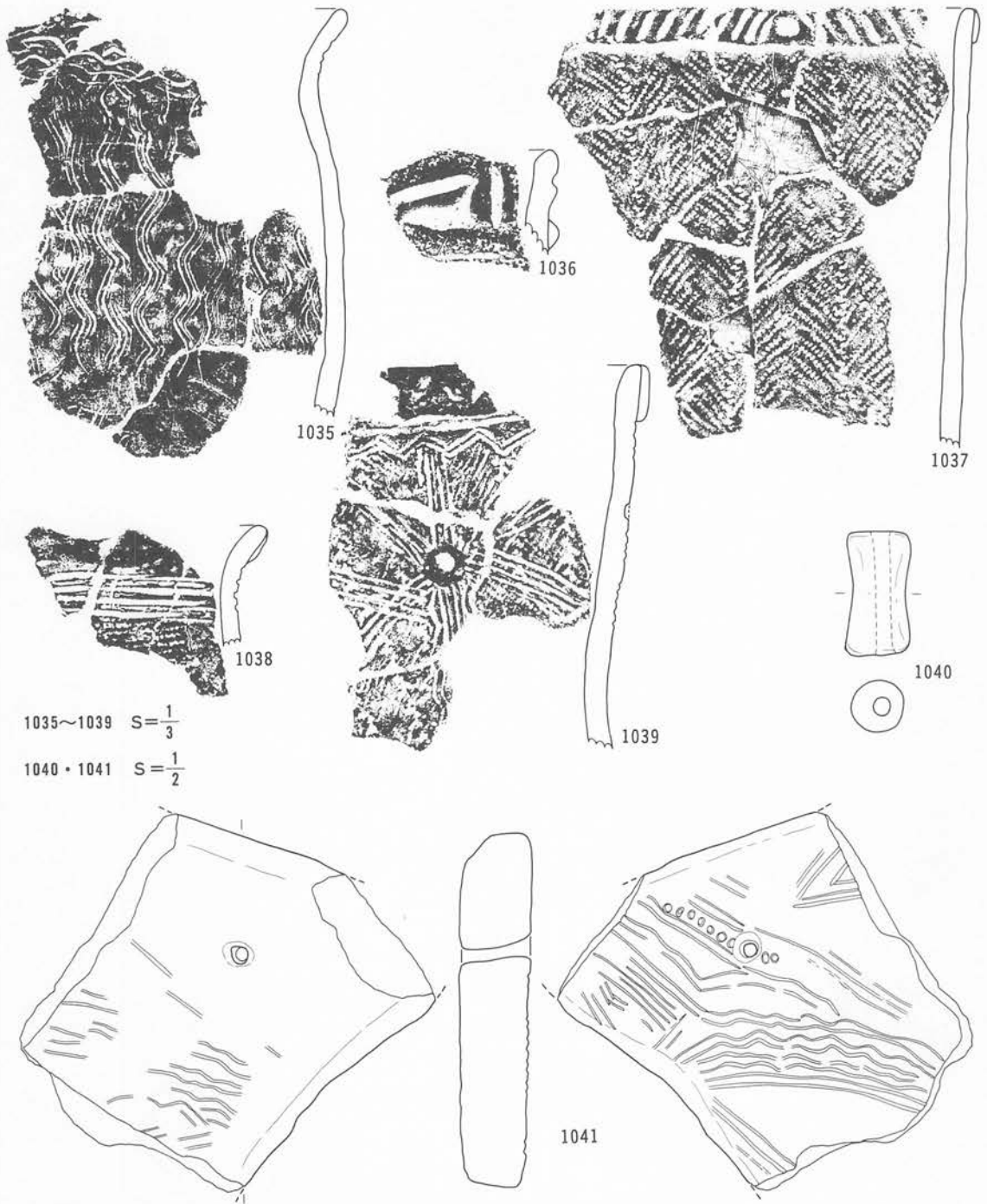
1032

1028~1032 $S = \frac{1}{4}$

1033・1034 $S = \frac{1}{3}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1028	ⅢA 7号住・埋土上部	口~胸部	ゆるやかな4単位の波状口縁、粘土塊、ボタン状貼付、弧状や鋸歯状の沈線、平行沈線文、RLヨコ	深鉢B7類
1029	ⅢA 7号住・埋土上部	胴~底部	縦位に細い波状の連続沈線	深鉢A5類
1030	ⅢA 7号住・埋土上部	口~胸部	平縁で口唇部に4単位の押圧、複合口縁、小波状の沈線、LRタテ	深鉢B6類
1031	ⅢA 7号住・埋土上部	口~胸部	ゆるやかな4単位の波状口縁(?)、横位の沈線、LRと末端結節のLRタテ	深鉢B12類
1032	ⅢA 7号住・埋土	口~胸部	4単位の波状口縁、複合口縁上に楕円形の粘土塊貼付、LRタテ、ナナメ	深鉢A12類
1033	ⅢA 7号住・埋土下部	口~頸部	頸部に小波状の平行沈線文	深鉢B6類
1034	ⅢA 7号住・埋土中部	口~頸部	縦位の粘土紐貼付、円形の凹み、平行沈線文	深鉢B6類

第111図 ⅢA 7号住居跡出土遺物(5)

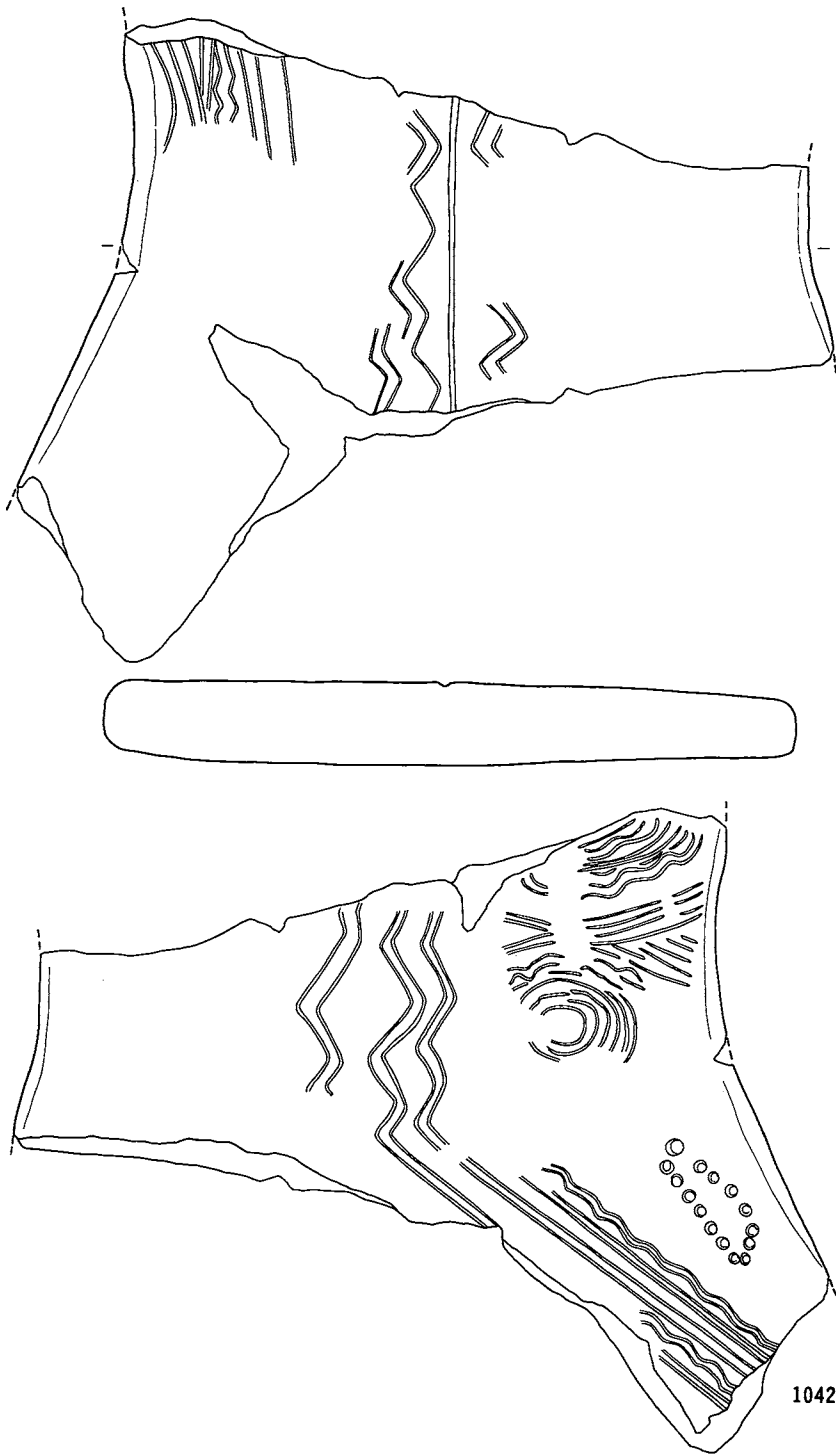


1035~1039 $S = \frac{1}{3}$

1040・1041 $S = \frac{1}{2}$

№	出土地点	部位	文様の特徴・その他			分類
1035	ⅢA 7号住・埋土中部	口～胴部	横位の波状沈線、2組1単位の平行沈線波状に垂下			深鉢B 7類
1036	ⅢA 7号住・埋土中部	口縁部	縦位や横位の粘土紐、太い沈線			深鉢B 6類
1037	ⅢA 7号住・埋土中部	口～胴部	口縁部の粘土帯上に円形の凹みや斜位の沈線、羽状（結束第1種）タテ			深鉢A14類
1038	ⅢA 7号住・埋土上部	口～胴部	口縁部に粘土帯、平行沈線文、LRナナメ			深鉢B 6類
1039	ⅢA 7号住・埋土上部	口～胴部	口縁部の粘土帯上に弧状の太い沈線、平行沈線文、ボタン状貼付、羽状（結束第1種）タテ			深鉢A 8類
№	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他
1040	ⅢA 7号住・埋土上部	糸巻形土製品	3.8	2.0	—	内径0.5cm、中央がわずかにすぼむ
1041	ⅢA 7号住・埋土上部	板状土偶	11.7	12.7	2.1	肩～腕部、胸の部分に小孔、両面に斜位や波状の沈線、裏面に円形の連続刺突

第112図 ⅢA 7号住居跡出土遺物(6)

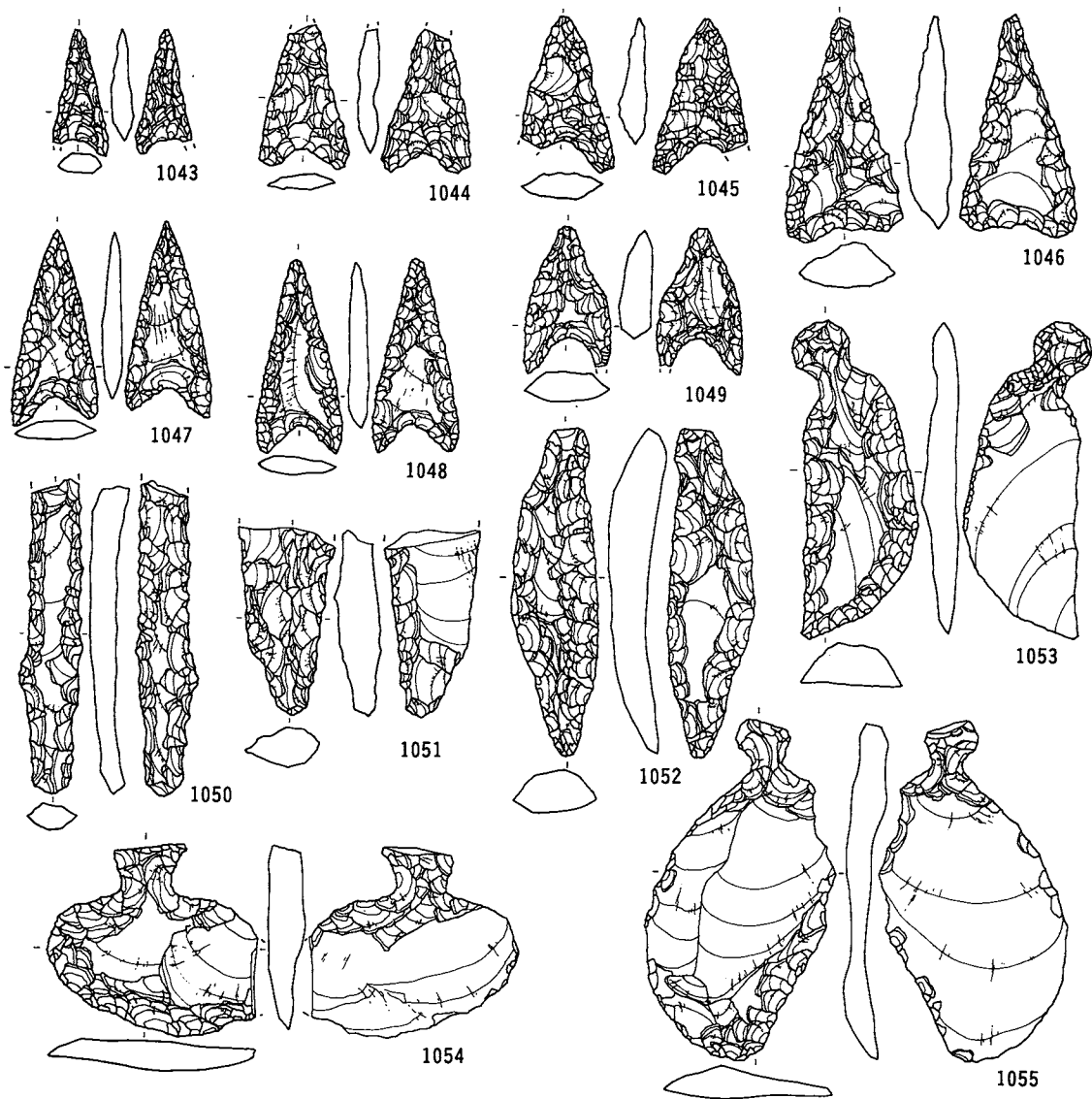


1042

$S = \frac{1}{2}$

No	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他
1042	ⅢA7号住・埋土上部	板状土偶	17.1	21.7	2.2	両面に波状や斜位や円状に平行沈線、裏面に円形の連続刺突

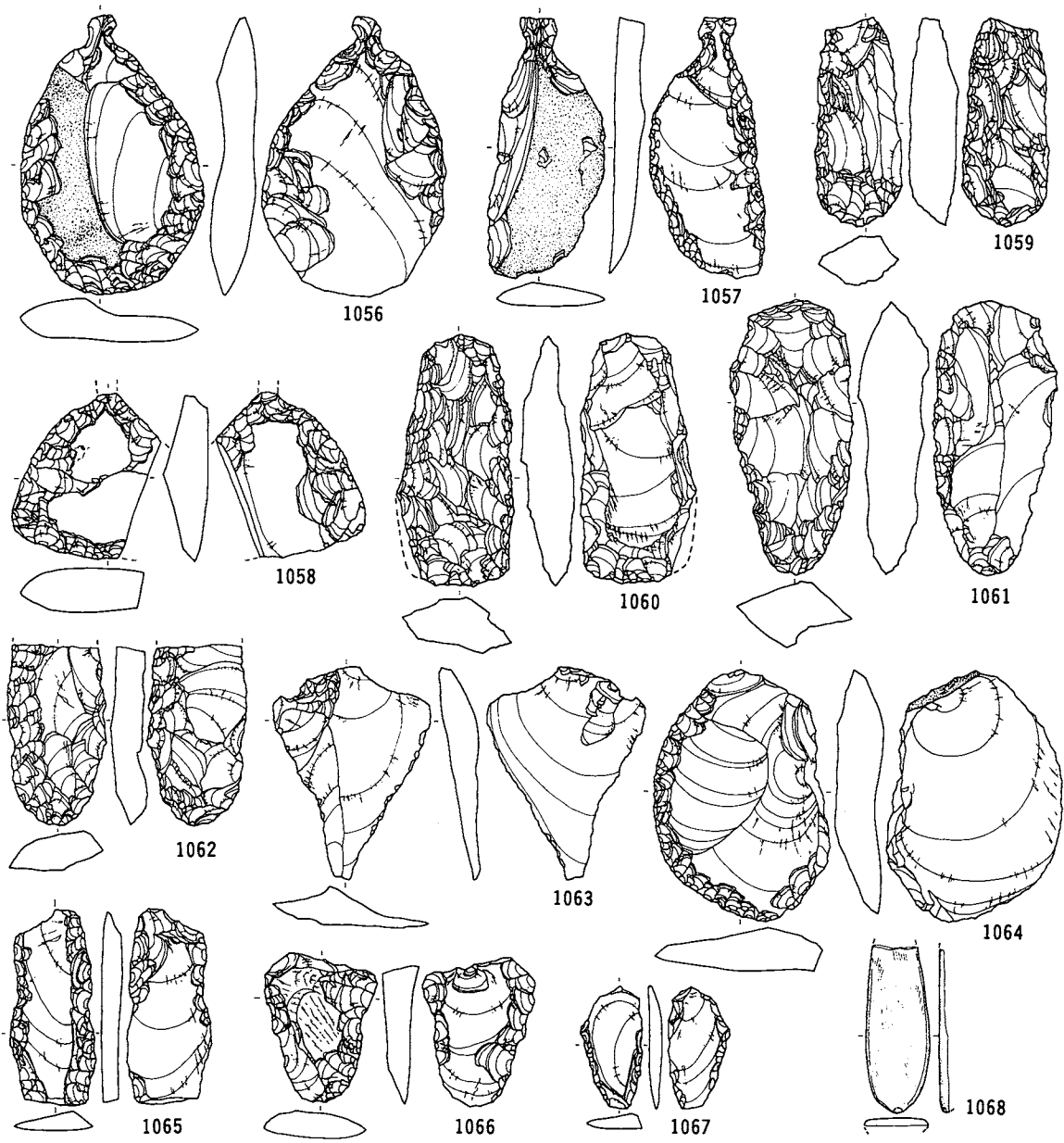
第113図 ⅢA7号住居跡出土遺物(7)



$$s = \frac{2}{3}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1043	ⅢA 7号住埋土	石鏃	2.6	1.1	0.4	0.8	粘板岩	夏油川-仙人	古生界	*
1044	ⅢA 7号住Q 2埋土上層	石鏃	2.9	1.8	0.3	2.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1045	ⅢA 7号住埋土	石鏃	3.2	1.9	0.5	2.1	黒礫石	不詳		*
1046	ⅢA 7号住Q 3床直	石鏃	4.6	2.4	0.9	6.3	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	
1047	ⅢA 7号住埋土	石鏃	4.0	1.2	0.4	1.9	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1048	ⅢA 7号住埋土 4層	石鏃	4.0	1.8	0.4	2.2	粘板岩	夏油川-仙人	古生界	
1049	ⅢA 7号住埋土 3層	石鏃	3.0	1.8	0.6	2.5	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1050	ⅢA 7号住P 16	尖頭器	6.5	1.0	0.6	5.7	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1051	ⅢA 7号住Q 2埋土上部	尖頭器	3.9	2.0	0.8	5.8	珪質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1052	ⅢA 7号住埋土	石匙	6.8	2.0	0.9	13.1	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	
1053	ⅢA 7号住埋土 4層	石匙	6.1	3.5	0.9	13.1	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	
1054	ⅢA 7号住埋土上層	石匙	4.0	4.3	0.7	11.2	硬質泥岩	奥羽山地磐石	新第三系中新統	*
1055	ⅢA 7号住埋土上層	石匙	7.0	4.0	0.7	12.1	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	

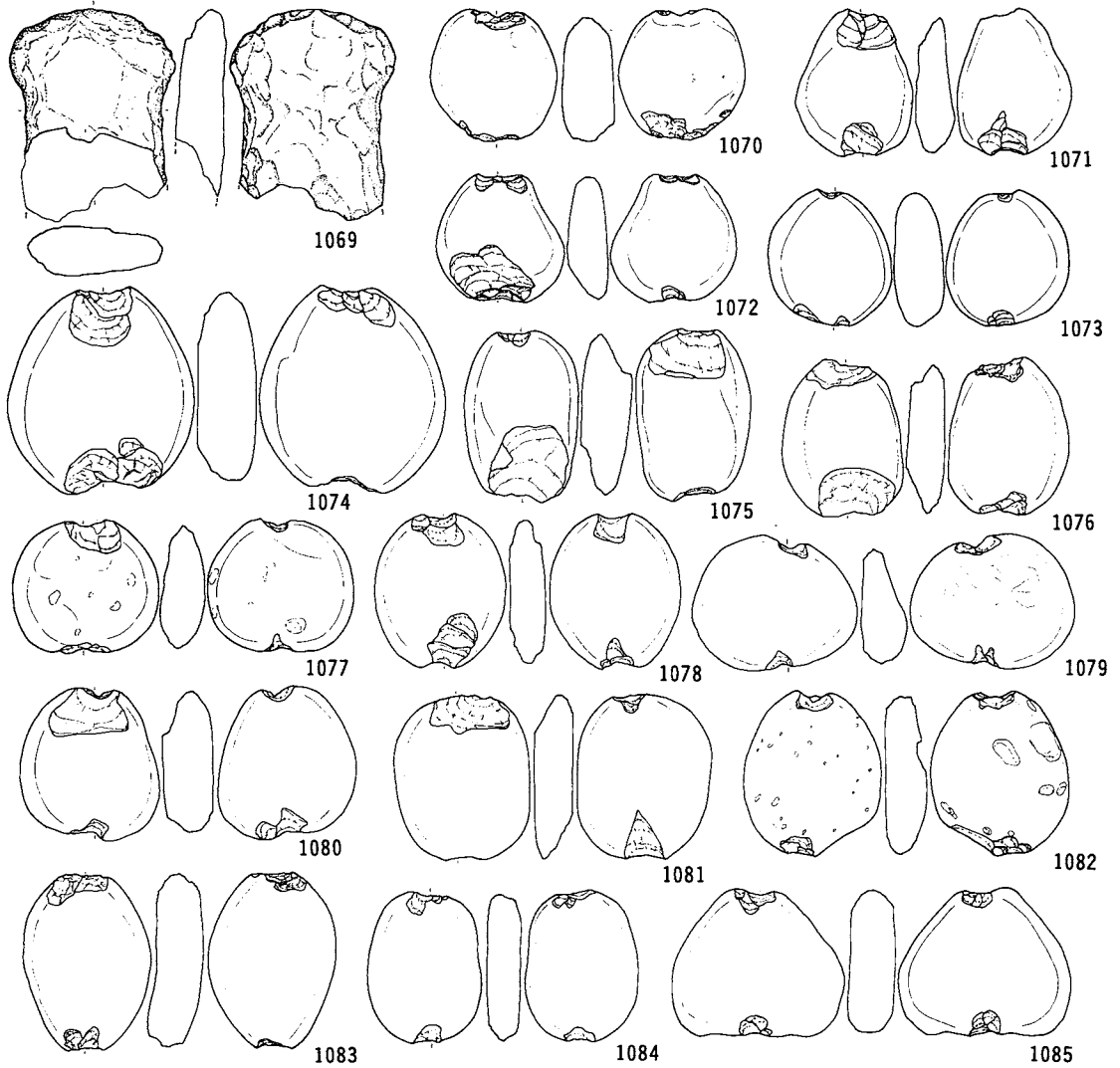
第114図 ⅢA 7号住居跡出土遺物(8)



S = 1/2

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1056	ⅢA 7号住埋土	石匙	8.0	5.3	1.2	46.1	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1057	ⅢA 7号住Q 3床直	石匙	7.5	3.4	0.8	16.9	珉質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1058	ⅢA 7号住P 3	石匙	4.7	4.3	1.3	23.2	珉質泥岩	雫石	新第三系中新統	*
1059	ⅢA 7号住埋土	石鏡	5.9	2.5	1.4	23.1	珉質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1060	ⅢA 7号住埋土	石鏡	7.3	3.4	1.3	34.9	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
1061	ⅢA 7号住Q 3埋土上層	石鏡	8.0	3.4	1.9	45.5	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1062	ⅢA 7号住P 16	石鏡	5.1	2.7	0.9	20.4	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
1063	ⅢA 7号住Q 3埋土上層	石錐	6.1	4.5	1.1	14.3	珉質細粒凝灰岩	雫石	新第三系中新統	
1064	ⅢA 7号住埋土 4層	削器	7.2	5.1	1.2	48.6	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
1065	ⅢA 7号住埋土上層	削器	5.6	2.5	0.6	10.7	粘板岩	夏油川~仙人	古生界	
1066	ⅢA 7号住Q 2埋土上 4層	削器	4.3	3.2	0.7	11.1	珉質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1067	ⅢA 7号住埋土	削器	3.5	1.8	0.4	2.8	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1068	ⅢA 7号住埋土 3層	磨製石斧	4.8	1.8	0.2	3.2	綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

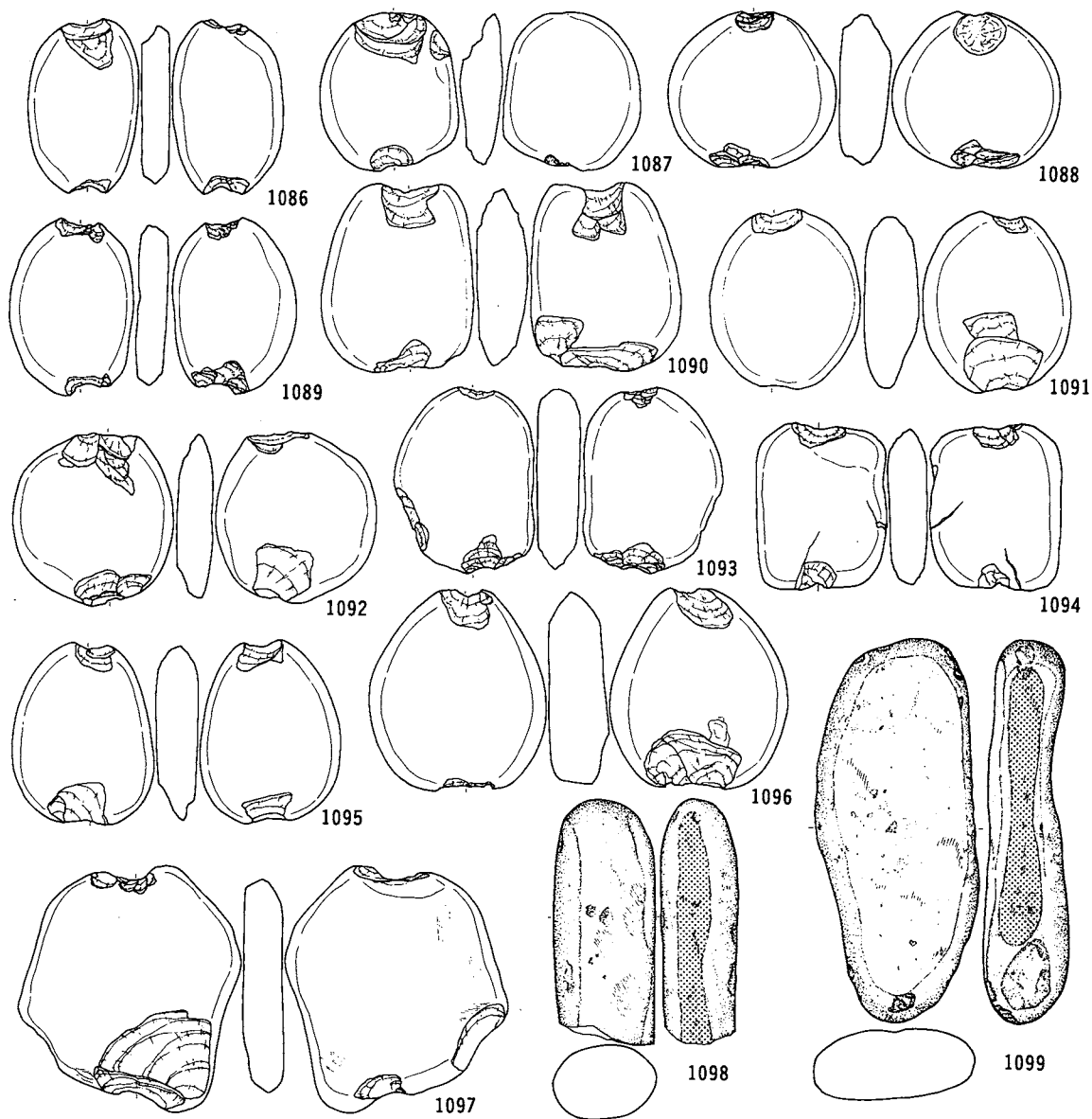
第115図 ⅢA 7号住居跡出土遺物(9)



$$s = \frac{1}{3}$$

Na	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1069	ⅢA 7号住P 1 3	石鎌	8.6	6.6	2.0	90.1	輝綠色凝灰岩	北上山地	古生界	*
1070	ⅢA 7号住Q 4埋土上層	石鎌	5.4	5.0	2.0	75.1	ホルンフェルス	夏油川	古生界	
1071	ⅢA 7号住埋土中層	石鎌	5.9	4.6	1.7	60.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1072	ⅢA 7号住Q 1埋土	石鎌	5.1	5.1	1.6	60.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1073	ⅢA 7号住P 9	石鎌	5.4	4.9	2.0	75.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1074	ⅢA 7号住Q 3床面直上	石鎌	8.1	7.5	2.4	210.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1075	ⅢA 7号住Q 3床面直上	石鎌	6.8	4.5	2.0	75.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1076	ⅢA 7号住Q 2埋土上層	石鎌	6.2	4.7	1.6	55.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1077	ⅢA 7号住P 9	石鎌	5.3	5.8	1.9	75.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1078	ⅢA 7号住P 9	石鎌	6.3	5.2	1.5	75.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1079	ⅢA 7号住P 9	石鎌	5.5	6.6	2.1	90.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1080	ⅢA 7号住P 9	石鎌	6.1	5.7	2.0	100.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1081	ⅢA 7号住Q 3埋土上層	石鎌	6.7	5.4	1.6	85.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1082	ⅢA 7号住埋土1層	石鎌	6.5	5.5	1.7	65.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1083	ⅢA 7号住Q 2埋土上層	石鎌	7.7	5.1	2.2	105.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1084	ⅢA 7号住P 9	石鎌	6.1	4.6	1.5	65.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1085	ⅢA 7号住P 9	石鎌	5.9	6.9	1.9	110.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

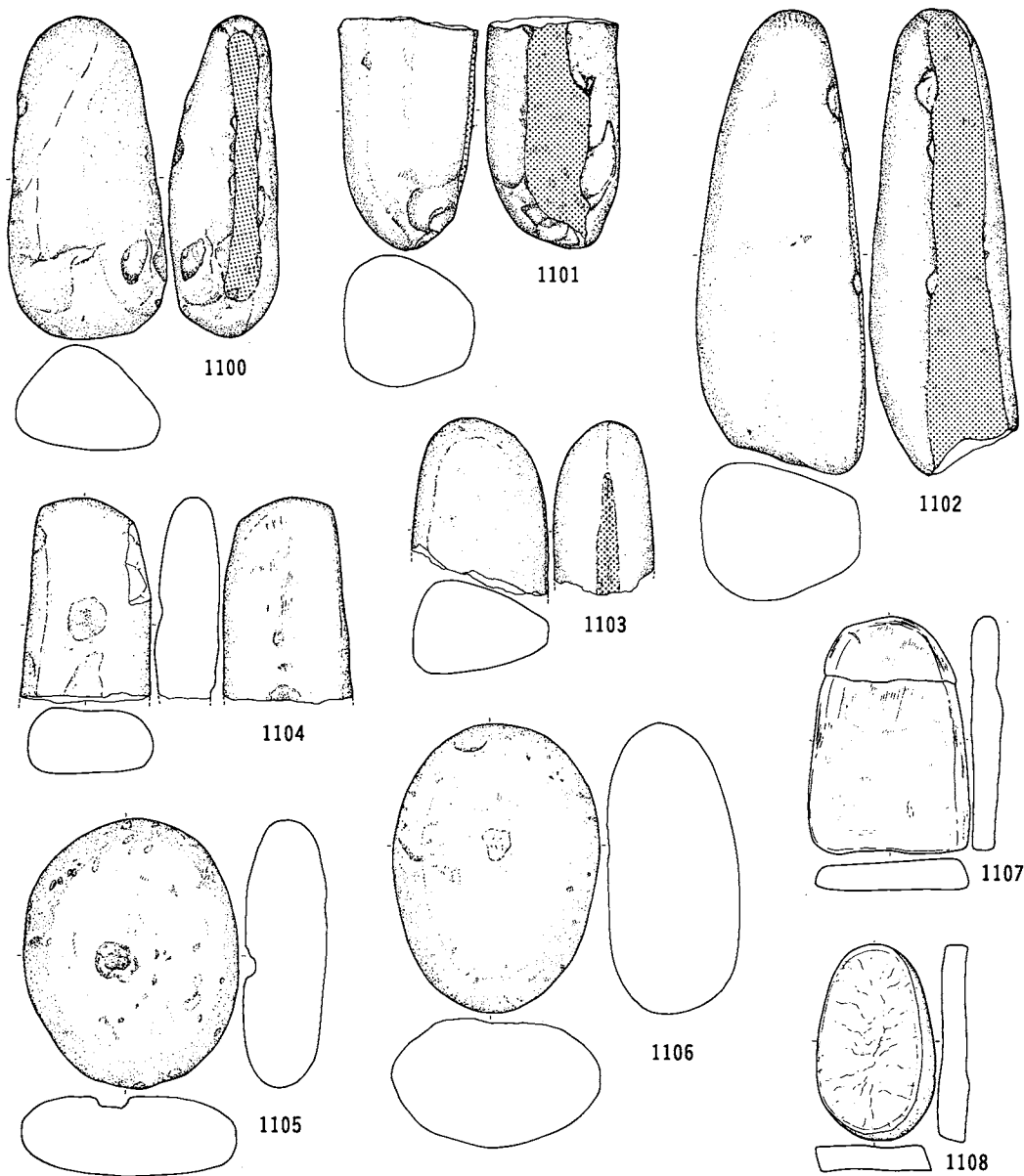
第116図 ⅢA 7号住居跡出土遺物(10)



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1086	ⅢA 7号住埋土4層	石錘	7.3	4.6	1.2	60.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1087	ⅢA 7号住埋土上層	石錘	6.6	5.8	1.7	80.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1088	ⅢA 7号住Q 3埋土上層	石錘	6.9	7.0	2.2	140.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1089	ⅢA 7号住Q 2埋土上層	石錘	7.5	5.3	1.3	80.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1090	ⅢA 7号住Q 2埋土上層	石錘	7.9	6.4	2.1	140.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1091	ⅢA 7号住埋土3層	石錘	7.6	6.3	2.5	175.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1092	ⅢA 7号住Q 3埋土上層	石錘	7.2	6.8	1.6	105.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1093	ⅢA 7号住埋土	石錘	7.8	5.9	1.8	115.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1094	ⅢA 7号住埋土3層	石錘	7.1	5.4	1.7	115.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1095	ⅢA 7号住Q 3床面直上	石錘	7.7	6.0	1.8	130.0	ホルンフェルス	夏油川上流	古生界	
1096	ⅢA 7号住Q 3埋土上層	石錘	8.8	7.5	2.6	225.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1097	ⅢA 7号住Q 4埋土上層	石錘	10.5	9.4	1.6	265.0	淡綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1098	ⅢA 7号住Q 3埋土上層	すり石	10.4	4.3	3.1	295.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
1099	ⅢA 7号住Q 2埋土上層	すり石	16.2	6.7	2.9	485.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	

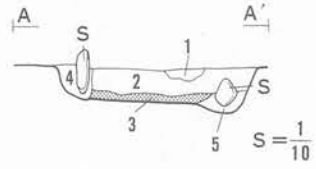
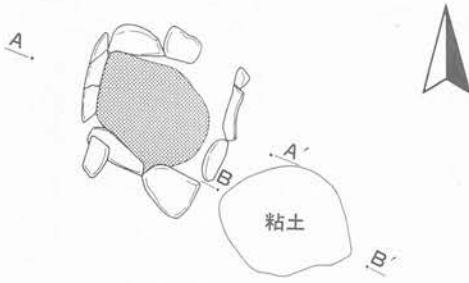
第117図 ⅢA 7号住居跡出土遺物(11)



$$s = \frac{1}{3}$$

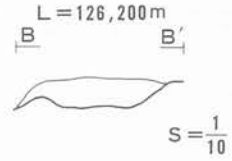
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1100	ⅢA 7号住埋土4層	特殊磨石	13.1	6.4	4.3	510.0	花崗閃緑岩	夏油川～仙人	中生界	
1101	ⅢA 7号住埋土	特殊磨石	9.4	5.3	5.4	450.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1102	ⅢA 7号住Q3床直	特殊磨石	19.0	6.8	5.6	1010.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1103	ⅢA 7号住埋土	特殊磨石	7.1	5.5	3.7	190.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系中新統	*
1104	ⅢA 7号住P9	凹石	8.3	5.1	2.7	195.0	淡緑色凝灰色	奥羽山地	新第三系中新統	*
1105	ⅢA 7号住埋土	凹石	11.0	8.8	3.3	405.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
1106	ⅢA 7号住Q3埋土上層	凹石	11.8	8.5	5.2	750.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
1107	ⅢA 7号住Q2埋土上層	円盤状石製品の未製品	9.6	6.6	1.2	65.1	緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1108	ⅢA 7号住埋土上層	円盤状石製品の未製品	8.0	4.9	1.2	6.5	緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第118図 ⅢA 7号住居跡出土遺物(12)



A—A'

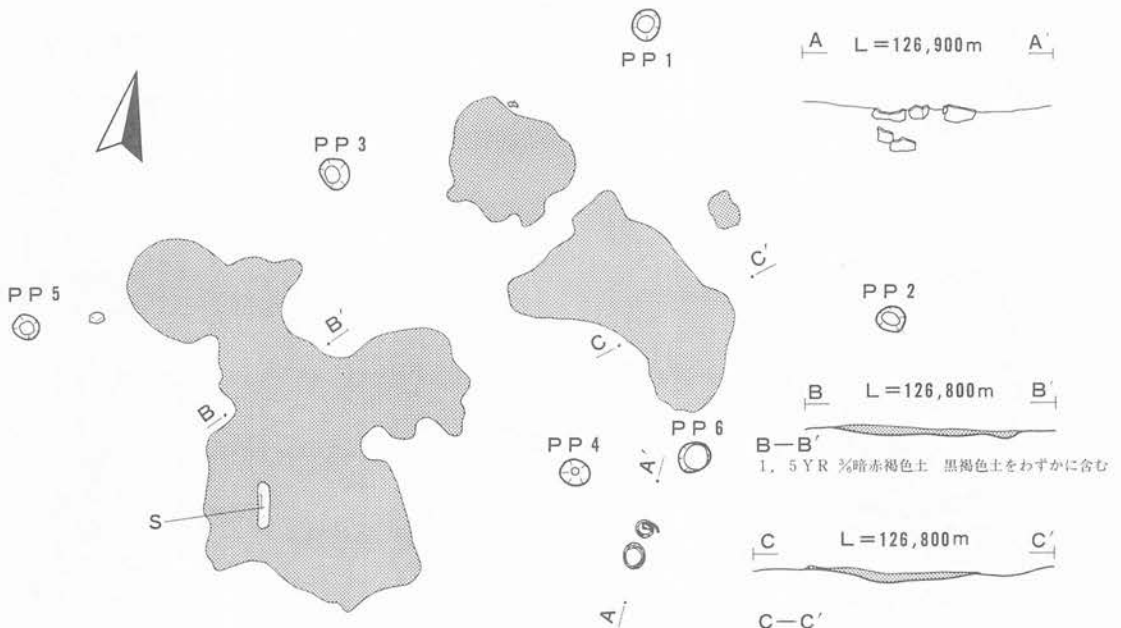
1. 10YR 5/2 黒褐色土 火山灰をごくわずかに含む
2. 10YR 5/2 黒褐色土 火山灰を1より多く含む
3. 5YR 5/2 赤褐色土 固くしまっている黒褐色土が粒子状に少量入る
4. 7.5YR 5/2 赤褐色土粘土質 黒褐色土が少量混じる
5. 7.5YR 5/2 赤褐色土シルト質粘土 黒褐色土が粒子状に多く混じる



B—B'

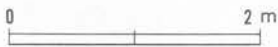
1. よこれ粘土

IVB 9号住居跡

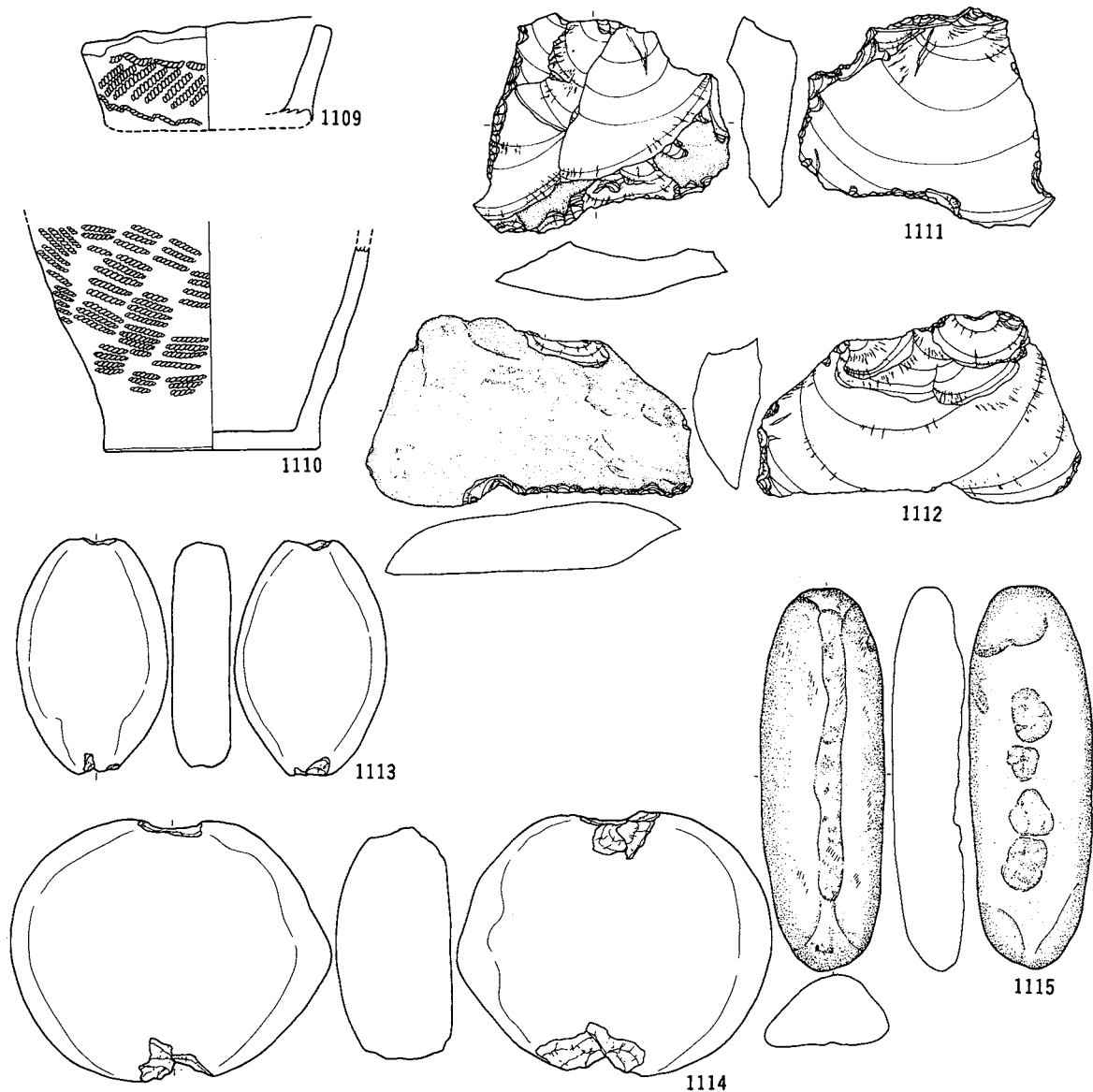


No	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6
径 cm	24×22	22×20	φ24	24×20	20×18	φ24
深さ cm	36	51	41	23	14	29

VB 1号住居跡



第119図 IVB 9号・VB 1号住居跡



1109・1110 $S = \frac{1}{4}$ 、1111・1113・1114 $S = \frac{1}{2}$ 、1112・1115 $S = \frac{1}{3}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1109	VB 1号住・埋設土器	口～胴部	両末端結節のLRヨコ、再利用(?)	深鉢A15類
1110	VB 1号住・埋設土器	胴～底部	LRナナメ	深鉢B12類

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1111	VB 1号住埋土	削器	6.2	6.6	1.6	55.3	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1112	VB 1号住埋土	削器	8.2	14.0	2.8	300.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1113	VB 1号住埋土	石錘	6.7	4.4	1.7	50.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1114	VB 1号住埋土	石錘	7.5	8.9	3.2	260.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1115	VB 1号住埋土	凹石	15.4	5.3	2.9	385.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	

第120図 VB 1号住居跡出土遺物

VB1号住居跡

遺構 (第119図、写真図版12)

<検出状況> 調査区ほぼ中央南端のVB1h区付近に検出された。広範囲に焼土が広がりその間に柱穴が検出されたことから、住居跡として登録した。また、焼土の南東側に出土した埋設土器も遺構に伴うものとして扱った。<平面形> 楕円形と推定される。<規模> およそ7×6m <床面> 焼土は大きく3ヶ所に分かれるが、いずれもややあらく黒褐色土がわずかに混じることから、家屋が焼失した際のものと思われる。<柱穴> PP1～PP5が主柱穴と考えられるが、PP5が他と比べて浅いことから、PP1～PP4を主柱穴としたプランになることも想定される。(その場合の平面形は円形と推定され、規模はおよそ径5m。)<炉> 上記のややあらい焼土以外、炉になると考えられるものは検出されなかった。

遺物 (第120図、写真図版158)

<土器> 図化できた個体が埋設土器の2点で、それ以外には破片が小1袋程出土している。
<石器> 登録したものは削器、石錘各2点、コア、凹石、垂飾になるとと思われる石製品各1点の計7点で、フレイクは16点出土している。

遺構の時期

出土遺物などから縄文時代前期末葉と考えられる。

(2) 平安時代の竪穴住居跡

IIA1号住居跡

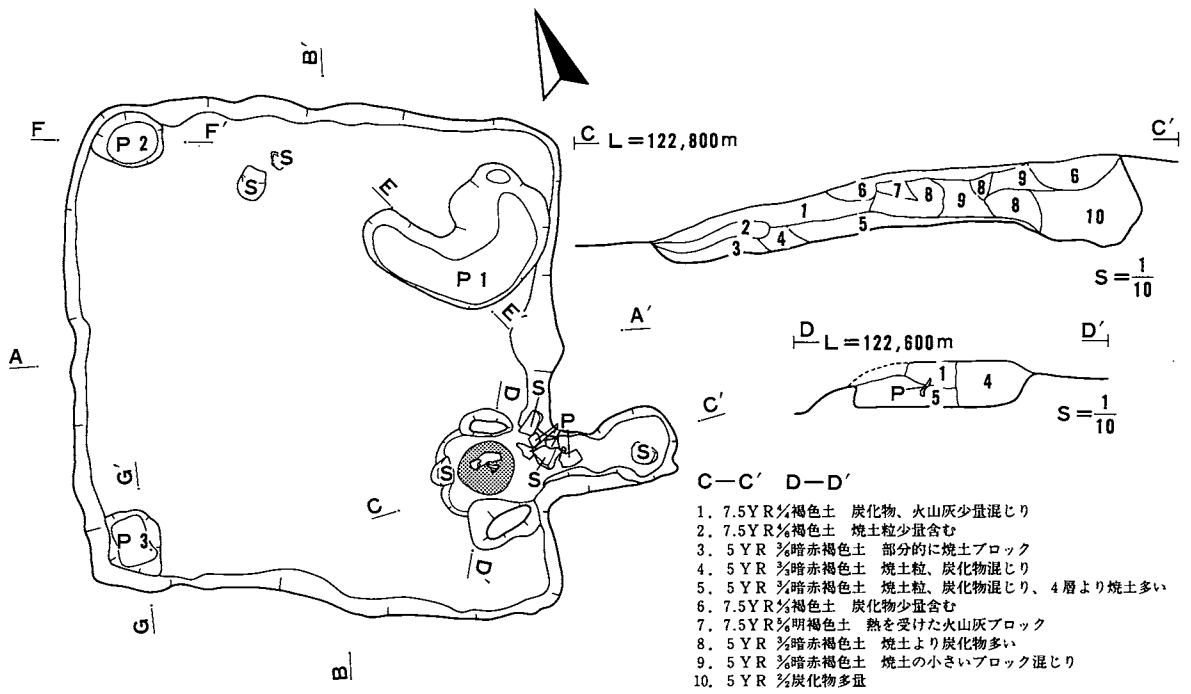
遺構 (第121図、写真図版13)

<検出状況> 調査区西側のIIA4b区付近に位置する。<平面形> ほぼ隅丸方形 <規模> 3.9×3.8m <壁高> 22～32cm <主軸方向> S-70°-E <埋土> 3層に分かれ火山灰まじりの暗褐色～褐色土が主体をなす。<床面> 北西隅と南西隅に径50～60cm、深さ10～17cmの土坑が各1基、東側に不整形で深さが最大38cmの土坑が検出されたが、遺物は出土しなかった。<柱穴> 検出されなかった。<カマド> 東壁の南寄りに構築されている。袖部分の礫は崩落し、燃焼部から煙道部にかけて長胴形の甕の破片が出土している。燃焼部は、45×42cmのほぼ円形を呈する。煙道部は掘り込み式で、煙出口には30×24cmの垂円礫が入る。

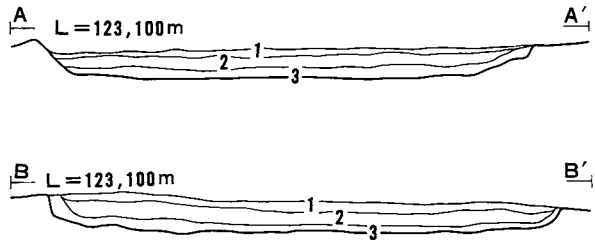
遺物 (第122図、写真図版159・160)

<土器> 図化できた個体8点は全て土師器で、坏が5点、甕が3点である。1123はカマド内から出土し、それ以外は全て埋土からの出土である。そのほか破片等合わせて大2袋程出土している。

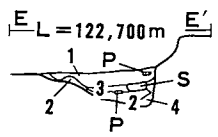
<石器> 登録したものが5点で、その内訳は石鏃、削器、すり石、特殊磨石、敲石各1点、



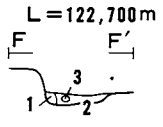
- C-C' D-D'
1. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物、火山灰少量混じり
 2. 7.5Y R 1/2 褐色土 焼土粒少量含む
 3. 5 Y R 1/2 暗赤褐色土 部分的に焼土ブロック
 4. 5 Y R 1/2 暗赤褐色土 焼土粒、炭化物混じり
 5. 5 Y R 1/2 暗赤褐色土 焼土粒、炭化物混じり、4層より焼土多い
 6. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物少量含む
 7. 7.5Y R 1/2 明褐色土 熱を受けた火山灰ブロック
 8. 5 Y R 1/2 暗赤褐色土 焼土より炭化物多い
 9. 5 Y R 1/2 暗赤褐色土 焼土の小さいブロック混じり
 10. 5 Y R 1/2 炭化物多量



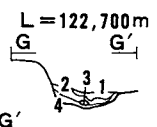
- A-A' B-B'
1. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 焼土と炭化物を少量含む
 2. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、焼土、火山灰、小礫含む
 3. 7.5Y R 1/2 褐色土 火山灰ブロックを含む



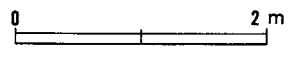
- E-E'
1. 5 Y R 1/2 赤褐色土 大粒の焼土、炭化物多量
 2. 7.5Y R 1/2 におい褐色土 火山灰混じり
 3. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物混じり焼土粒少量
 4. 7.5Y R 1/2 褐色土 粘性あり、炭化物微量



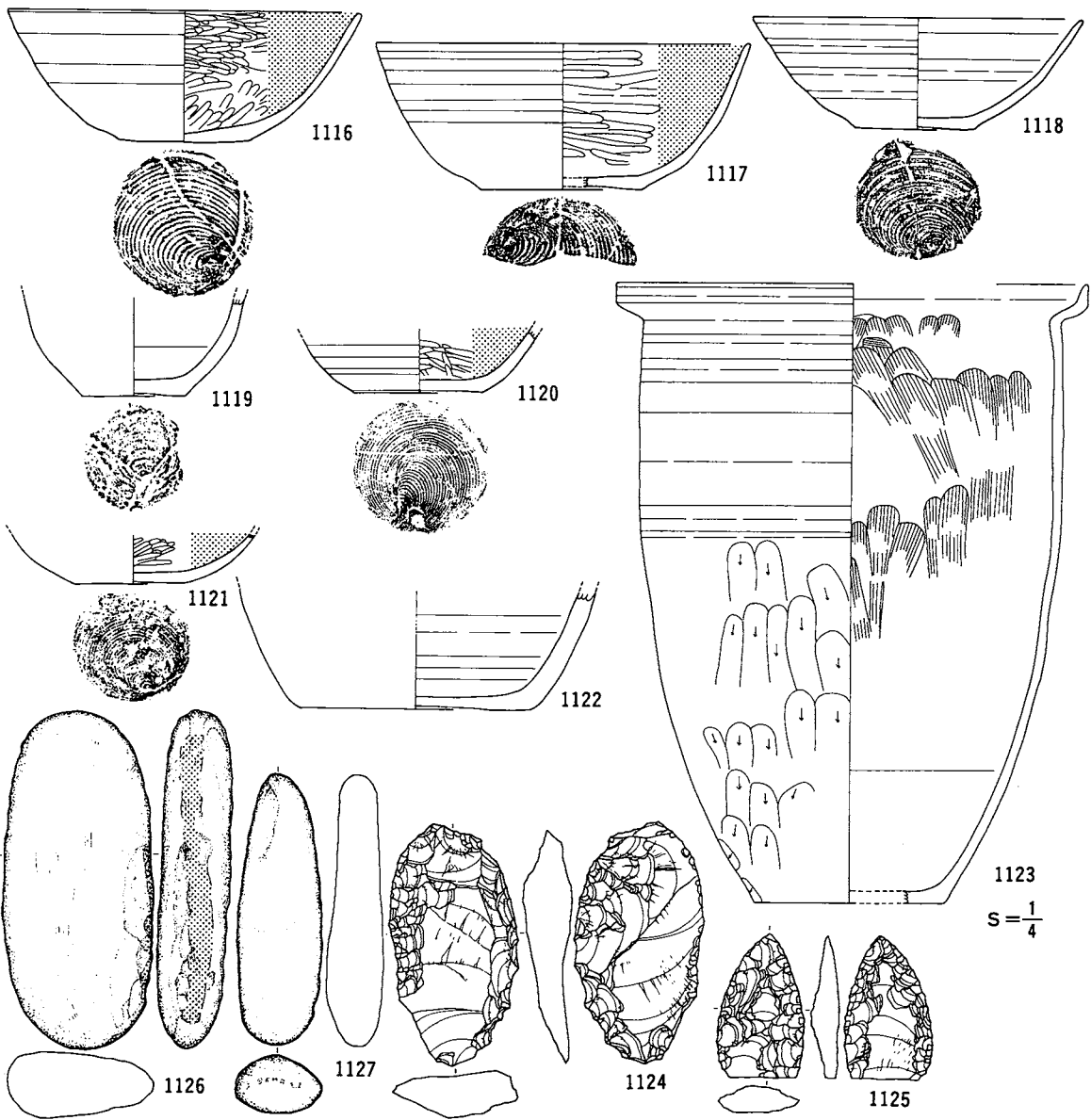
- F-F'
1. 7.5Y R 1/2 褐色土 火山灰混じり
 2. 7.5Y R 1/2 におい褐色土 火山灰ブロック
 3. 7.5Y R 1/2 明褐色土 火山灰混じり、炭化物少量



- G-G'
1. 7.5Y R 1/2 褐色土 火山灰ブロック混じり
 2. 7.5Y R 1/2 褐色土
 3. 7.5Y R 1/2 明褐色土 火山灰ブロック
 4. 7.5Y R 1/2 におい褐色土 火山灰ブロック混じり



第121図 II A 1号住居跡



1116~1122・1126・1127 $S = \frac{1}{3}$ 1124・1125 $S = \text{任意}$

No	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1116	II A 1号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ヘラミガキ	ヘラミガキ	ヘラミガキ	15.0	5.6	5.6	B I a類	黒色処理
1117	II A 1号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ヘラミガキ	ヘラミガキ		15.8	6.2	(6.8)	B I a類	黒色処理
1118	II A 1号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		14.0	4.7	5.0	B II a類	
1119	II A 1号住・埋土	土師器甕	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	ロクロ痕		—	(4.2)	4.4	B II類	
1120	II A 1号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	(2.6)	5.5	B I a類	黒色処理
1121	II A 1号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	(2.1)	4.7	B I a類	黒色処理
1122	II A 1号住・埋土	土師器甕	ロクロ	—	—	再調整	—	ロクロ痕		—	(5.0)	9.8	B I類	
1123	II A 1号住・カマド	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ヘラズリ	—	ヘラナデ	ヘラナデ		(26.6)	35.2	(10.8)	B I a類	

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1124	II A 1号住カマド埋土中	削器	6.8	3.7	1.4	29.8	硬質泥岩	川尻以西o r 礫石西部	新第三系中新統	
1125	II A 1号住Q 2	石鏃	4.0	2.5	0.8	6.3	硬質泥岩	川尻以西o r 礫石西部	新第三系中新統	
1126	II A 1号住Q 1埋土	特殊磨石	14.3	6.3	2.8	400.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1127	II A 1号住Q 4埋土	敲石	11.5	3.6	2.5	125.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

第122図 II A 1号住居跡出土遺物

それにフレークが6点出土している。

Ⅲ A 11号住居跡

遺構 (第123図、写真図版14)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA1e区付近に位置する。<平面形> 不整な隅丸方形 <規模> 4.1×3.5m <壁高> 12~34cm <主軸方向> S-3°-W <埋土> 3層に大別され、炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。<床面> P1~P4が検出されたが、遺物は出土しなかった。また、床面とほぼ同じレベルに、30×10cmの炭化材が良好な状態で出土している。<柱穴> 検出されなかった。<カマド> 南壁の東端に構築されている。袖部分は10~35cmの礫を組み合わせで作られており、残存状態は大変良好である。燃烧部は85×50cmの楕円形を呈し、厚さ8cmで良く焼けて締まっている。煙道部は掘り込み式で、煙出口はほぼ円形の土坑状を呈する。

遺物 (第124~126図、写真図版160~162)

<土器> 図化できた個体が21点で、そのうち土師器の坏が14点、甕が4点、鍋が2点、須恵器の甕が1点である。そのほか破片等合わせて中コンテナ1箱程出土している。

<石器> 登録したものが6点で、その内訳は石皿2点、石匙、石錘、すり石、凹石各1点、またフレークが14点出土している。

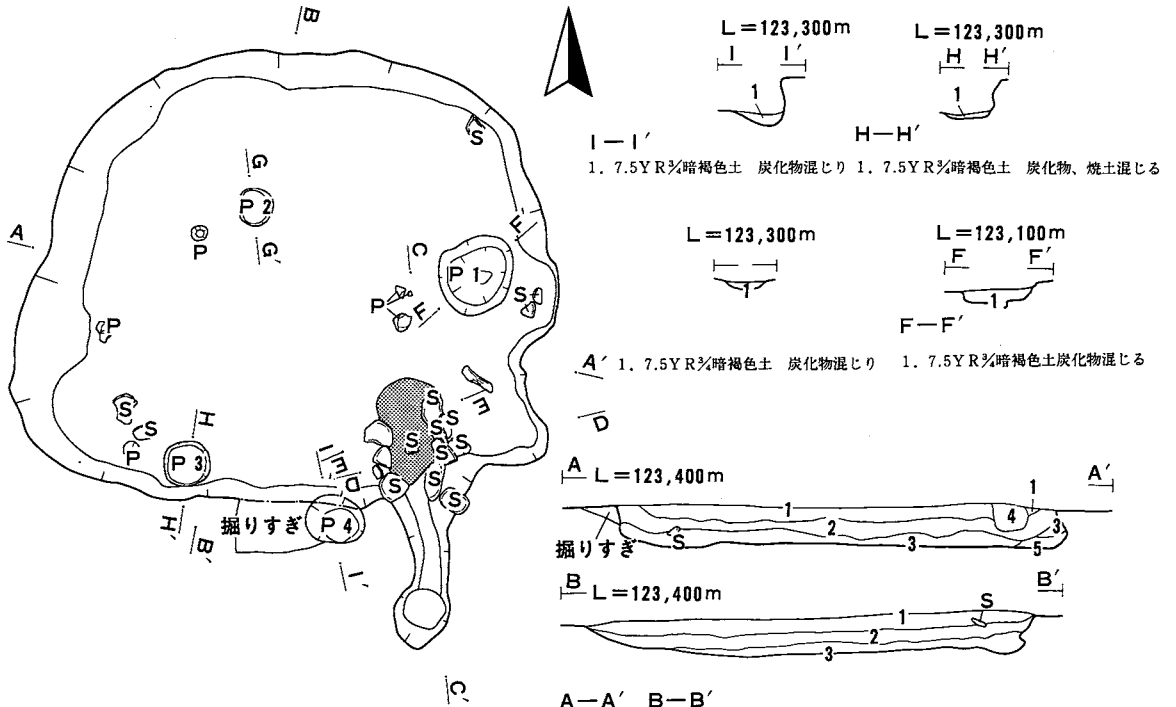
Ⅳ A 1号住居跡

遺構 (第127図、写真図版15)

<検出状況> 初め、火山灰(十和田a)が入る範囲を追って、第127図の上のようなプランを検出したが、精査を進めていくうちに同図の下のように広がり、カマドも住居跡に伴うものと判明した。<平面形> ほぼ隅丸方形 <規模> 3.9×3.5m <壁高> 8~20cm <主軸方向> S-12°-W <埋土> 2層に大別され、どちらにも十和田aの火山灰が入るが、上層により多く含まれる。<床面> 中央よりやや西寄りの床面から5cm程浮いた所に、40×30cm厚さ8cmの焼土が検出されている。<柱穴> PP1~PP6まで検出されたが、正しい配列は不明である。<カマド> 南壁の東寄りに構築されている。袖部分は10~40cmの垂円礫で作られており、その上に天井石と思われる20×30cm程の偏平な角礫の崩落が見られる。燃烧部は90×45cmの楕円形をなし、厚さ4cmで良く焼けて固く締まっている。煙道部は掘り込み式で、煙出口はほぼ円形の土坑状を呈する。

遺物 (第128~130図、写真図版163・164)

<土器> 図化できた個体が1点で、土師器の甕である。また、拓本として掲載した縄文土器

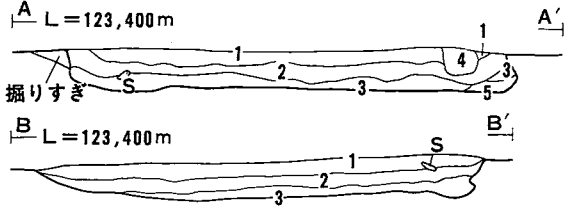


I-I' H-H'

1. 7.5YR 7/2暗褐色土 炭化物混じり 1. 7.5YR 7/2暗褐色土 炭化物、焼土混じる

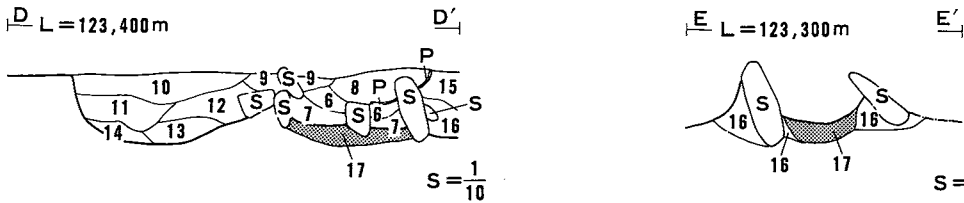
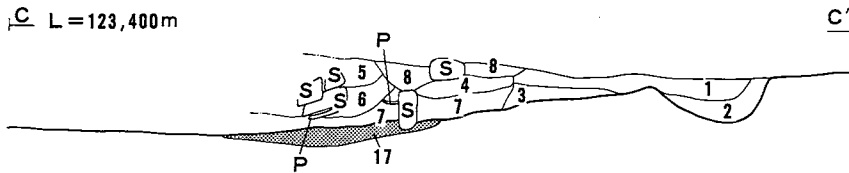
A'-A' B-B'

1. 7.5YR 7/2暗褐色土 炭化物混じり 1. 7.5YR 7/2暗褐色土炭化物混じる



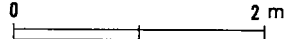
A-A' B-B'

1. 7.5YR 7/2暗褐色土 火山灰ブロックを含む
 2. 7.5YR 7/2暗褐色土 炭化物、火山灰、礫が混じる
 3. 7.5YR 7/2暗褐色土 炭化物を含む
 4. 7.5YR 7/2暗褐色土 焼土、火山灰を含む
 5. 7.5YR 7/2暗褐色土 焼土、炭化物を含む

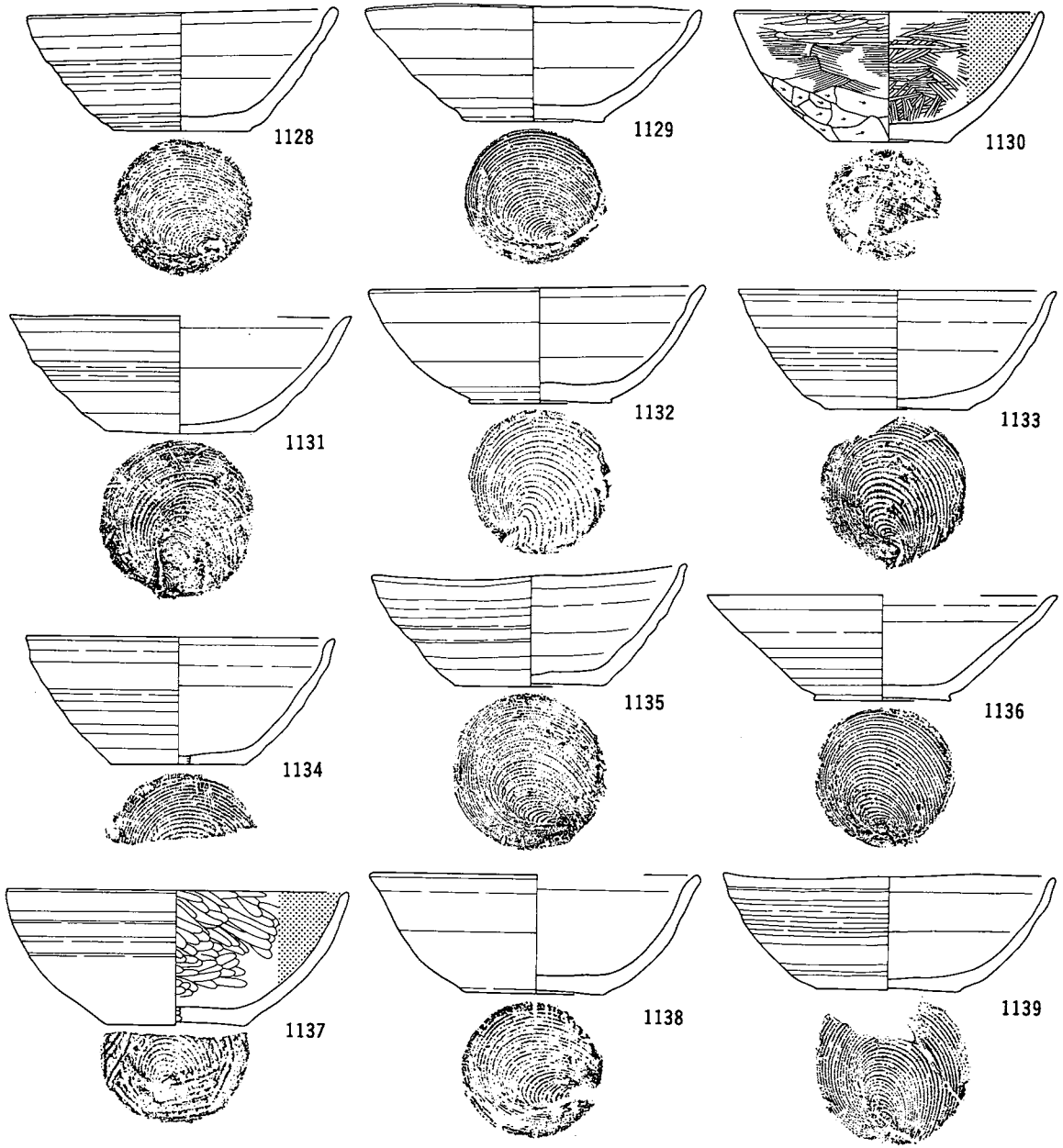


C-C' D-D' E-E'

1. 5YR 7/2暗赤褐色土 焼土、炭化物全体に混じる、焼ける
 2. 5YR 7/2暗赤褐色土 炭化物全体に混じる、焼土はわずかに含まれる
 3. 5YR 7/2暗赤褐色土 炭化物が混じる、土が焼けている
 4. 5YR 7/2暗赤褐色土 8層に似ている、炭化物や焼土が多く混じる
 5. 5YR 7/2暗赤褐色土 細かい焼土と炭化物φ1センチ大が混じる
 6. 5YR 7/2暗赤褐色土 焼土粒子、炭化物が混じる
 7. 5YR 7/2暗赤褐色土 炭化物小礫が全体に入る
 8. 5YR 7/2暗赤褐色土 炭化物が全体に入る
 9. 5YR 7/2暗赤褐色土 炭化物を含む
 10. 7.5YR 7/2暗褐色土 粘性有、炭化物と小礫が少し混じる
 11. 7.5YR 7/2暗褐色土 粘性有、炭化物わずかと焼土が含まれる
 12. 7.5YR 7/2暗褐色土 焼土と炭化物が多く混じる
 13. 7.5YR 7/2暗褐色土と7.5YR 7/2暗褐色土の混土、炭化物がわずかに混じる
 14. 7.5YR 7/2暗褐色土 炭化物と焼土わずかに含まれる
 15. 7.5YR 7/2暗褐色土 焼土と炭化物が混じる 土器がはいる
 16. 7.5YR 7/2暗褐色土 焼土と炭化物を含む
 17. 5YR 7/2暗赤褐色土 火山灰が混じる



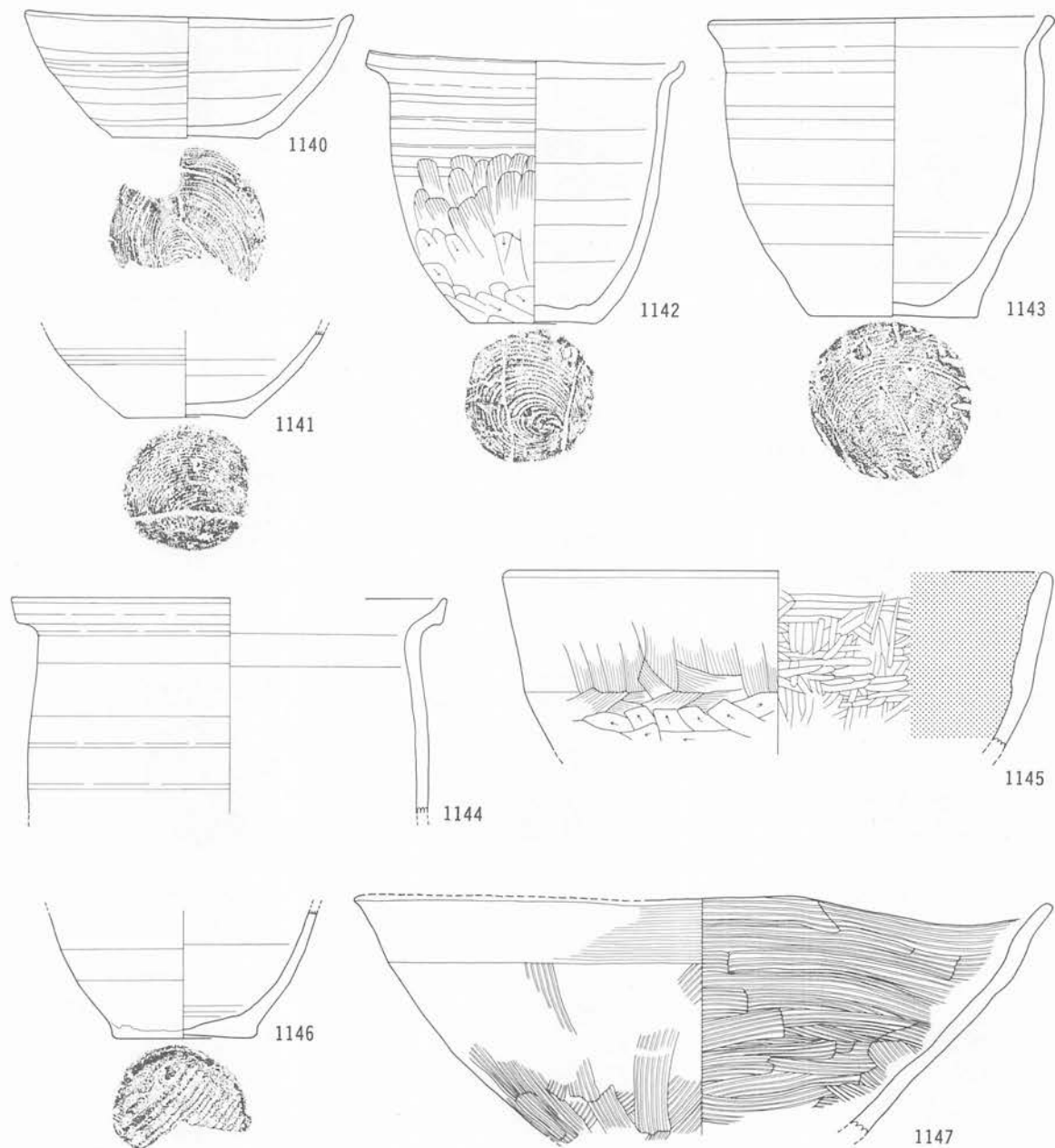
第123図 III A11号住居跡



$$s = \frac{1}{3}$$

No	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1128	ⅢA 11号住・床直	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		13.6	5.4	6.0	B II a 類	
1129	ⅢA 11号住・床直	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		14.6	5.1	6.2	B II a 類	
1130	ⅢA 11号住・床直	土師器 坏	ロクロ	ヘラミカキ	ナアケズ)	回転糸切り痕	ヘラミカキ	ヘラミカキ	ヘラミカキ	13.4	5.7	5.2	B I a 類	黒色処理
1131	ⅢA 11号住・床直	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		(14.8)	5.0	6.5	B II a 類	
1132	ⅢA 11号住・カマド	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		14.6	5.0	6.2	B II a 類	
1133	ⅢA 11号住・カマド	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		12.8	5.1	6.3	B II a 類	
1134	ⅢA 11号住・カマド	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		13.4	5.5	(6.0)	B II a 類	
1135	ⅢA 11号住・カマド	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		13.6	4.8	6.5	B II a 類	不整
1136	ⅢA 11号住・カマド	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕			(15.2)	4.6	6.0	B II a 類	
1137	ⅢA 11号住・カマド	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ヘラミカキ	ヘラミカキ		14.8	4.8	6.2	B I a 類	黒色処理
1138	ⅢA 11号住・埋土	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕			(14.3)	5.2	6.0	B II a 類	
1139	ⅢA 11号住・埋土	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕			14.4	5.0	6.2	B II a 類	やや不整

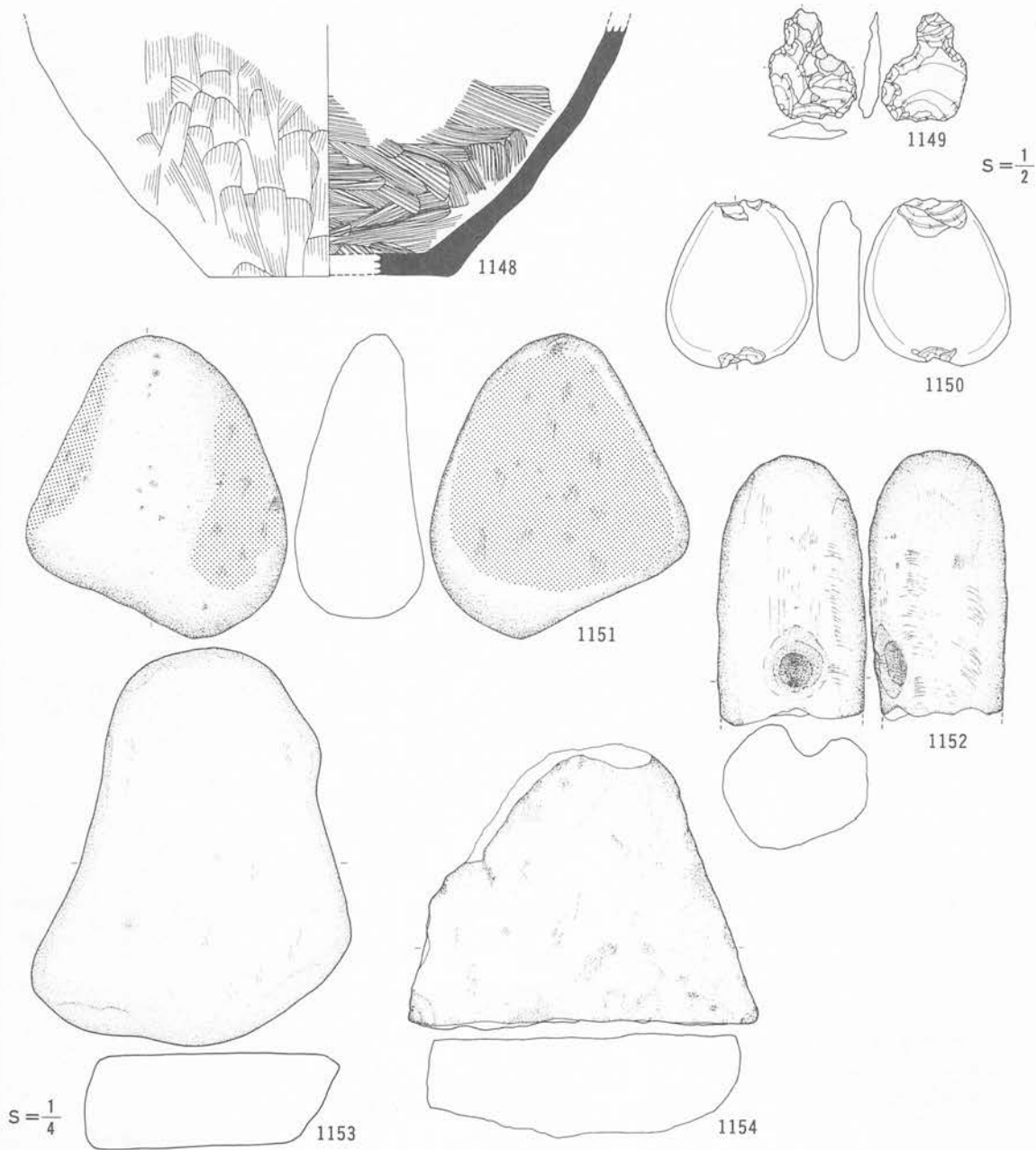
第124図 ⅢA 11号住居跡出土遺物(1)



$$s = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考		
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径				
1140	ⅢA11号住・埋土	土師器 坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕	—	—	—	14.4	5.4	6.5	B II a 類	
1141	ⅢA11号住・埋土下部	土師器 坏	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ロクロ痕	—	—	—	—	(4.3)	5.4	B II a 類	
1142	ⅢA11号住・カマド	土師器 甗	ロクロ	ロクロ痕	ナデケス	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕	—	—	—	13.7	11.9	5.5	B II a 類	
1143	ⅢA11号住・床直	土師器 甗	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕	—	—	—	15.2	13.2	7.4	B II a 類	
1144	ⅢA11号住・カマド	土師器 甗	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ロクロ痕	—	—	—	—	(19.1)	(9.4)	—	B I a 類	
1145	ⅢA11号住・カマド	土師器 甗	ロクロ	ロクロ痕	ナデケス	—	ヘラミガキ	—	—	—	—	(24.1)	(7.9)	—		黒色処理
1146	ⅢA11号住・カマド	土師器 甗	ロクロ	—	ロクロ痕	静止糸切り痕	—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	—	—	(5.6)	6.3	B II 類	
1147	ⅢA11号住・カマド	土師器 鍋	非ロクロ	ヨコナデ	ハメケ	—	ハメケ	ハメケ	—	—	—	30.6	(10.6)	—		

第125図 ⅢA11号住居跡出土遺物(2)

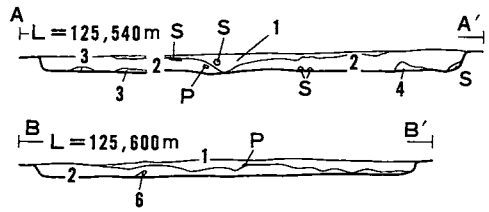
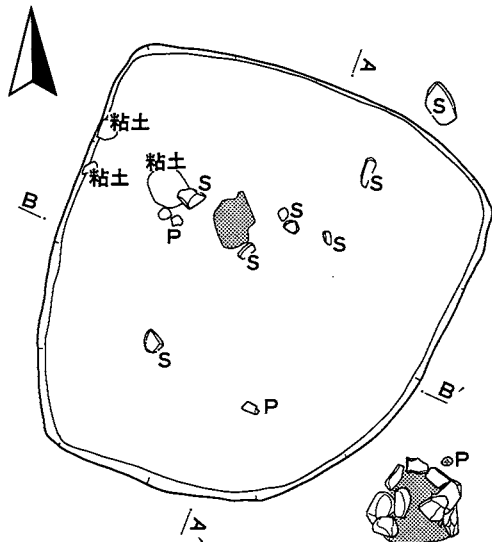


1148・1151・1152・1154 S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1148	ⅢA11号住・床直	須恵器甕		—	ヘラナテ		—	ハケメ	ハケメ	—	(11.4)	(11.0)		

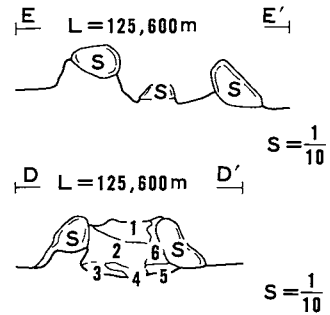
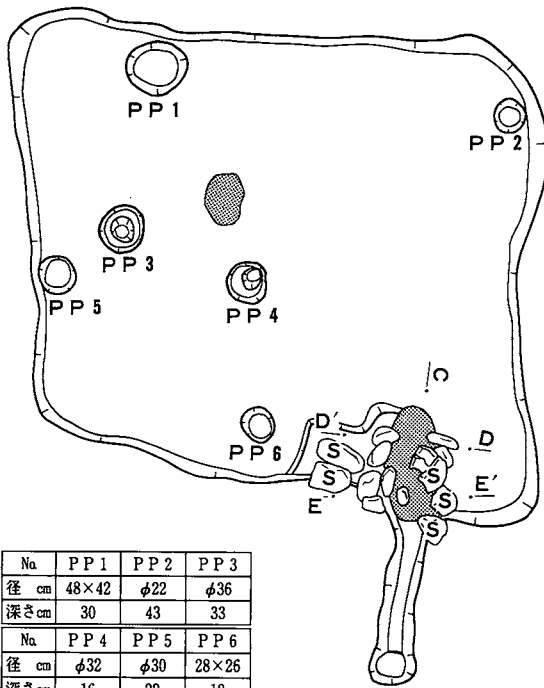
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1149	ⅢA11号住Q3埋土	石匙	3.1	2.4	0.4	3.6	鉄石英	駒岳	新第三系鮮新統	
1150	ⅢA11号住埋土	石錘	7.5	6.3	2.2	140.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1151	ⅢA11号住埋土	すり石	13.4	11.3	5.5	970.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1152	ⅢA11号住埋土	凹石	11.7	6.5	5.9	460.0	珪長質凝灰質細粒砂岩	夏油川流域	新第三系中新統	*
1153	ⅢA11号住床面	石皿	23.2	18.2	5.6	3560.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1154	ⅢA11号住床面	石皿	13.3	15.2	4.6	1190.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*

第126図 ⅢA11号住居跡出土遺物(3)



A-A' B-B'

1. 10YR 2/3 黒褐色土 十和田a 火山灰炭化物、焼土粒含む
2. 10YR 2/3-10YR 2/3 黒褐色土 1 とほぼ同じだが火山灰の量がへる
3. 10YR 2/3 暗褐色土 褐色土と暗褐色土の混土
4. 10YR 2/3 暗褐色土 浅黄色粘土粒を含む
5. 10YR 2/3 暗褐色土 褐色土をブロック状に含む
6. 10YR 2/3 黒褐色土 浅黄色粘土が混じる



D-D'

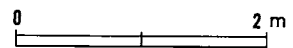
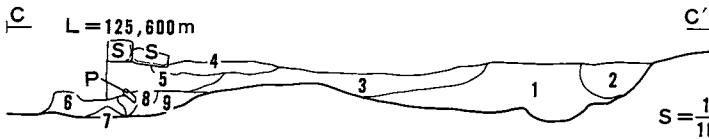
1. 10YR 2/3 暗褐色土 焼土粒を少量含む
2. 10YR 2/3 暗褐色土 焼土粒を多量に含む、炭化物粒をこくわずかに含む
3. 7.5YR 2/3 明褐色土粘土質 焼土・炭化物粒をわずかに含む
4. 5YR 2/3 赤褐色土シルト質粘土 炭化物・火山灰をわずかに含む、焼土ブロックを含む
5. 10YR 2/3 暗褐色土 焼土、炭化物、火山灰を少し含む
6. 5YR 2/3 赤褐色土 焼土固くしまっている

C-C'

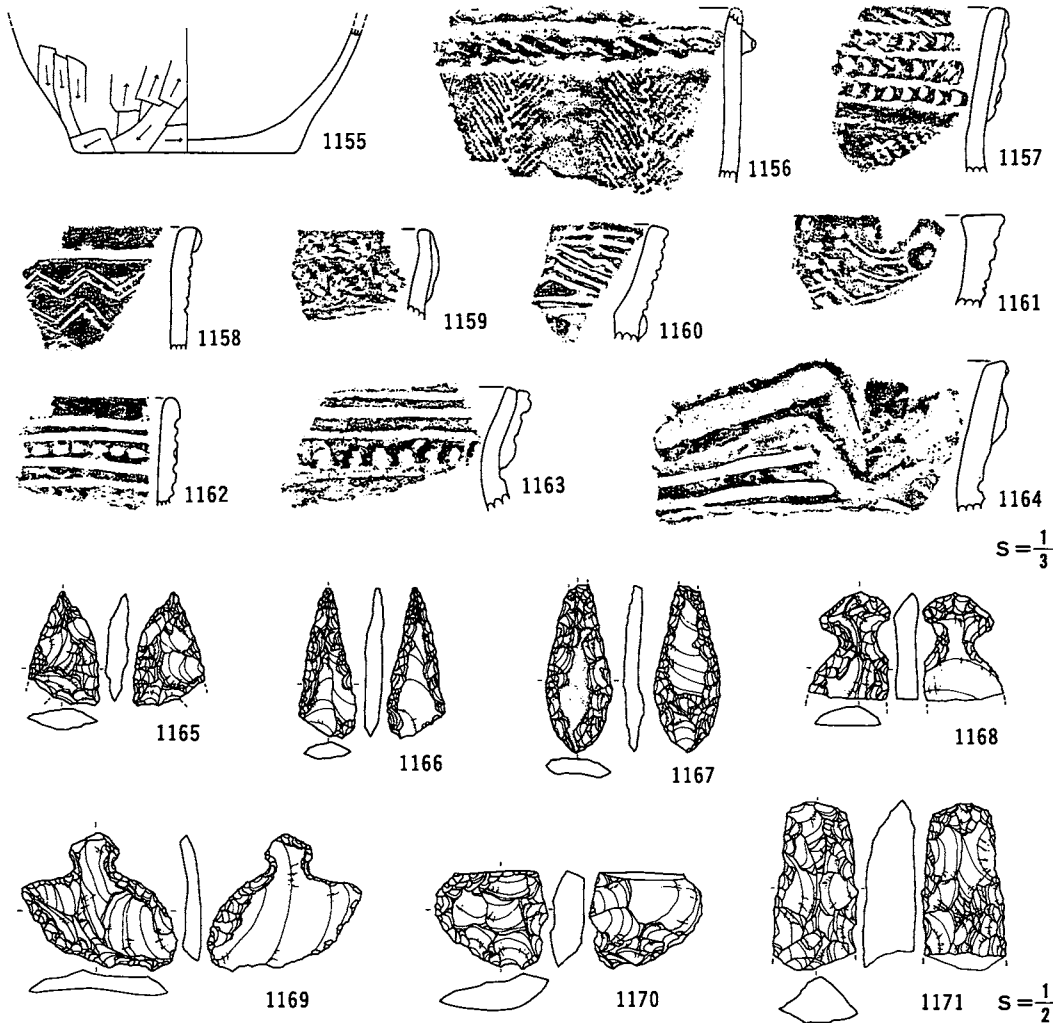
1. 10YR 2/3 暗褐色土 火山灰ブロックを多く含む
2. 10YR 2/3 黒褐色土 火山灰ブロックを多く含む
3. 10YR 2/3 黒褐色土 火山灰を少量含む
4. 7.5YR 2/3 黒褐色土 焼土粒を少量含む
5. 10YR 2/3 暗褐色土 焼土ブロックを多量に含む
6. 7.5YR 2/3 暗褐色土 焼土ブロックを含み、火山灰、炭化物粒をわずかに含む
7. 5YR 2/3 赤褐色土 粘土質 炭化物粒をわずかに含む
8. 5YR 2/3 赤褐色土 焼土固くしまっている
9. 10YR 2/3 黒褐色土 火山灰、焼土炭化物をわずかに含む

Na	PP1	PP2	PP3
径 cm	48×42	φ22	φ36
深さ cm	30	43	33

Na	PP4	PP5	PP6
径 cm	φ32	φ30	28×26
深さ cm	16	22	12



第127図 IVA 1号住居跡

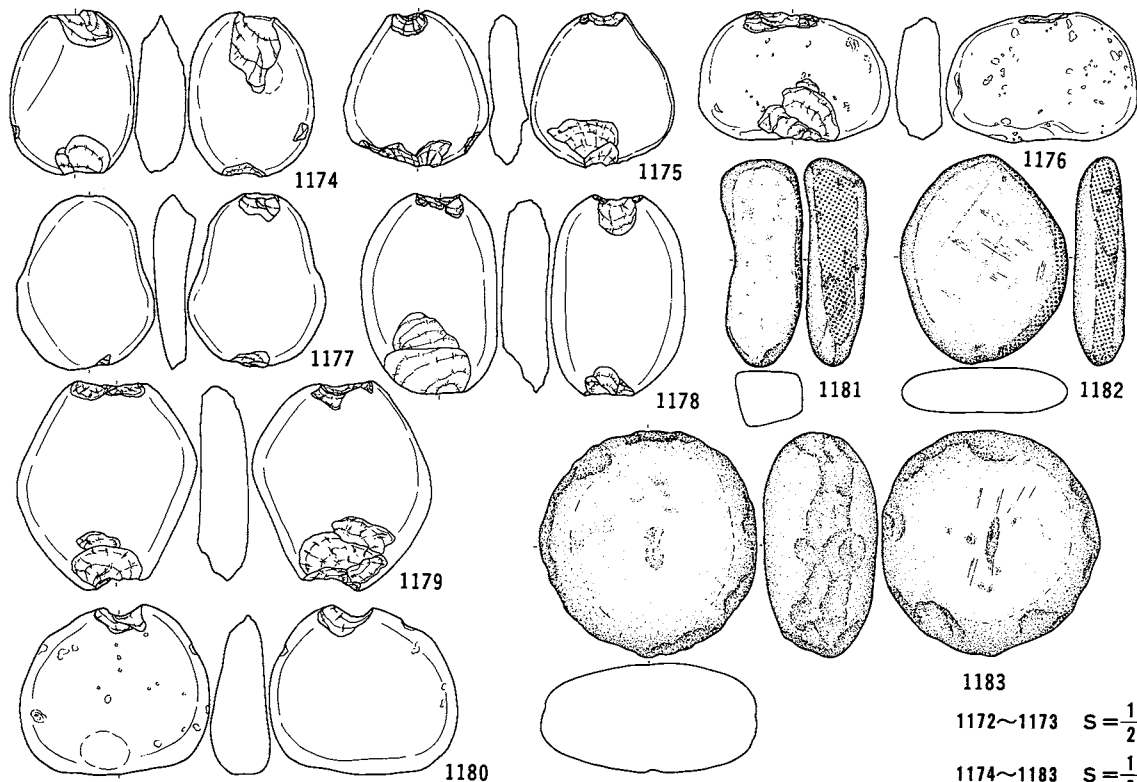
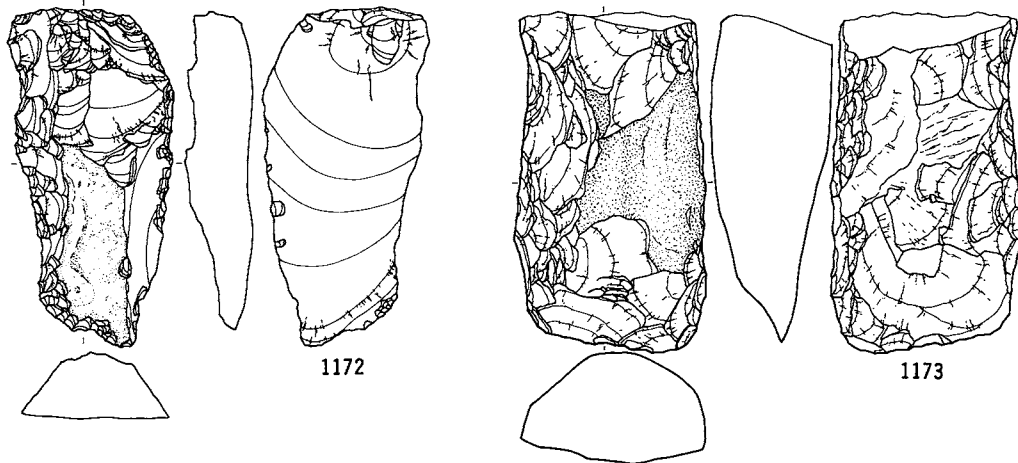


No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1155	IVA 1号住・カマド	土師器甕		—	ヘラケズリ		—			—	(5.0)	9.0		

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1156	IVA 1号住・埋土	口～胴部	斜位押圧の粘土紐が巡る、羽状(結束第2種)タテ	深鉢A15類
1157	IVA 1号住・埋土	口～胴部	横位の沈線間に爪形文、LRタテ	深鉢B10類
1158	IVA 1号住・埋土	口～胴部	複合口縁、横位の沈線、平行沈線文	深鉢A 6類
1159	IVA 1号住・埋土	口縁部	粘土帯の上にRLヨコ	深鉢A
1160	IVA 1号住・埋土	口縁部	平行沈線文、小波状の沈線、粘土塊貼付	深鉢B17類
1161	IVA 1号住・埋土	口縁部	団子状粘土塊貼付、平行沈線文、爪形文、LRタテ	深鉢B10類
1162	IVA 1号住・埋土	口縁部	横位の沈線間に爪形文	深鉢A10類
1163	IVA 1号住・埋土	口縁部	粘土帯上に横位の沈線、下端に三角状の刺突、LRヨコ	深鉢B10類
1164	IVA 1号住・埋土	口縁部	波頂部は2山状、その間に縦位の粘土紐貼付、太いえぐりや沈線	深鉢B 9類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1165	IVA 1号住Q 4	石鏃	3.0	1.8	0.5	2.2	黒曜石	不詳		*
1166	IVA 1号住Q 4	石鏃	4.0	1.5	0.4	2.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1167	IVA 1号住P P 8	石鏃	4.4	1.8	0.5	3.7	珪質凝灰岩	磐石	新第三系中新統	*
1168	IVA 1号住P P 8	石匙	2.8	2.1	0.6	3.3	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	*
1169	IVA 1号住Q 1埋土	石匙	3.6	4.1	0.5	5.7	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	
1170	IVA 1号住P P 8	削器	2.6	3.0	0.8	6.7	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1171	IVA 1号住埋土	石筥	4.4	2.1	1.2	13.8	硬質泥岩	奥羽山地磐石	新第三系中新統	*

第128図 IVA 1号住居跡出土遺物(1)

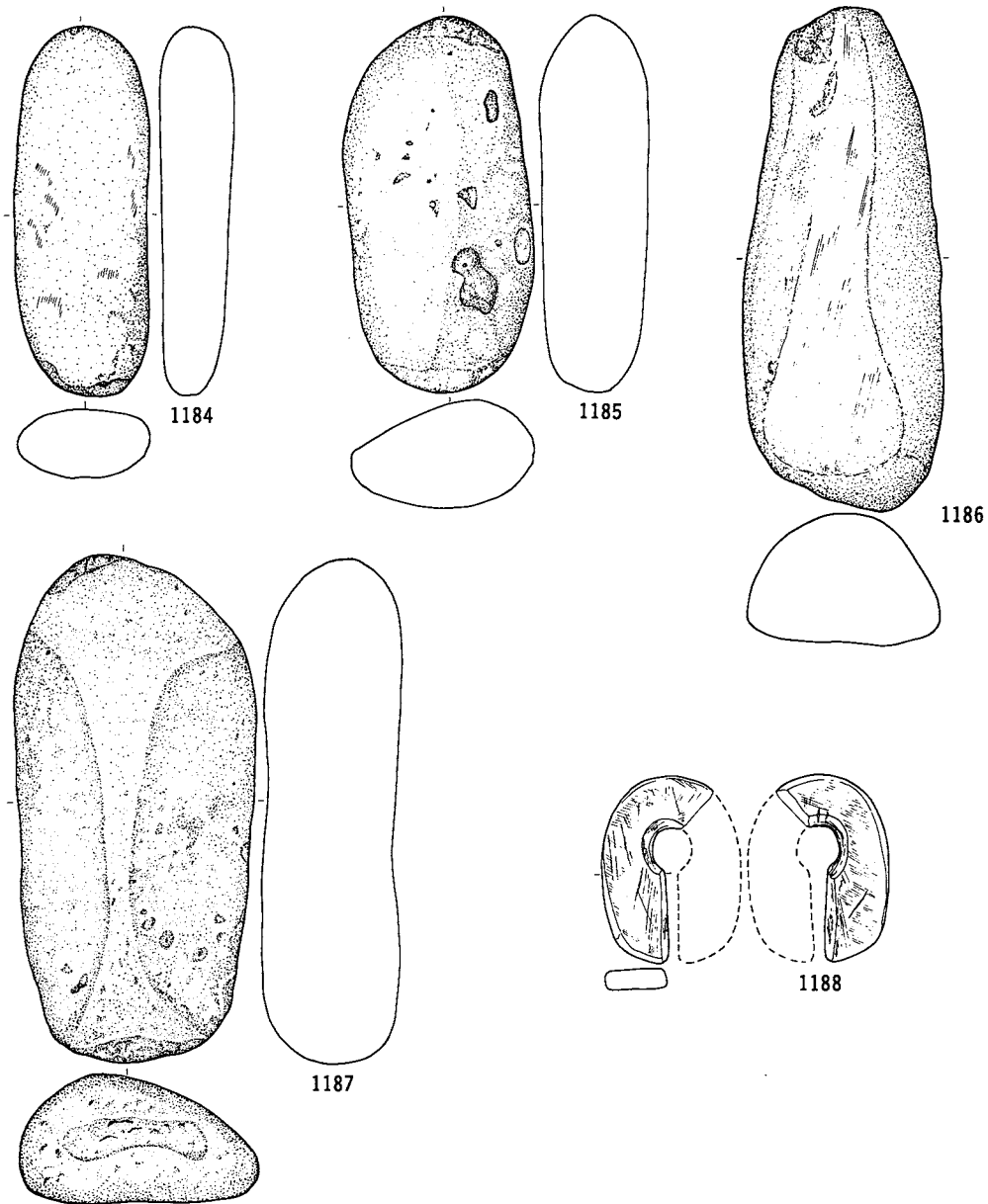


1172~1173 $S = \frac{1}{2}$

1174~1183 $S = \frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1172	IVA 1号住埋土	削器	8.8	3.9	1.8	80.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1173	IVA 1号住埋土	打製石斧	9.0	5.1	3.1	190.0	硬質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1174	IVA 1号住PP 2埋土	石錘	6.5	4.9	2.0	90.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1175	IVA 1号住埋土	石錘	6.2	5.7	1.7	65.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1176	IVA 1号住Q3埋土最下部	石錘	5.1	7.6	2.0	110.0	両輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
1177	IVA 1号住Q 2埋土中層	石錘	7.0	5.5	1.6	90.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1178	IVA 1号住Q 2埋土中層	石錘	8.0	5.5	2.0	120.0	ホルンフェルス	夏油川上流	古生界	
1179	IVA 1号住P75	石錘	8.4	6.6	2.0	170.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1180	IVA 1号住床面直上	石錘	6.6	7.6	2.3	165.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
1181	IVA 1号住埋土	すり石	8.2	3.3	2.2	95.1	輝石安山岩	奥羽山地~夏油川	新第三系鮮新統	
1182	IVA 1号住Q 2埋土中層	すり石	8.3	6.6	1.9	160.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1183	IVA 1号住Q 1埋土下部	敲石	9.0	8.7	4.3	495.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	

第129図 IVA 1号住居跡出土遺物(2)



$s = \frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1184	IVA 1号住Q 1埋土最下部	敲石	9.8	3.6	1.9	110.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1185	IVA 1号住Q 3	敲石	10.0	4.9	2.9	210.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1186	IVA 1号住埋土	敲石	13.5	5.4	3.8	360.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1187	IVA 1号住Q 1埋土最下部	敲石	13.6	6.4	3.5	490.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
1188	IVA 1号住Q 4	珠状耳飾	5.0	3.0	0.5	9.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

第130図 IVA 1号住居跡出土遺物(3)

片が9点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ1箱程出土している。

<石器> 登録したものが33点、フレークが72点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘8点、敲石6点、特殊磨石4点、石鏃、すり石各3点、Rフレ、石匙、削器各2点、石筥、打製石斧、块状耳飾各1点

IV B 1号住居跡

遺構 (第131図、写真図版16)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のIV B 9 e区付近に位置する。<平面形> 隅丸方形 <規模> 3.1×2.9m <壁高> 21×34cm <主軸方向> N-87°-E <埋土> 2層に大別され、炭化物、火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。<床面> カマドの南側に60×35cm、深さ15~22cm程の土坑が2基検出されたが、遺物は出土しなかった。<柱穴> PP1とPP2が検出されたが、西側には検出されなかった。<カマド> 東壁の南端に構築されている。袖部分には、北側に20cm四方の偏平な垂角礫が1個据えられているのみである。中央部から土師器の甕の破片が出土したが、しっかりした燃焼部は検出できなかった。煙道部はくりぬき式で煙出口は円形を呈する。

遺物 (第131図、写真図版165)

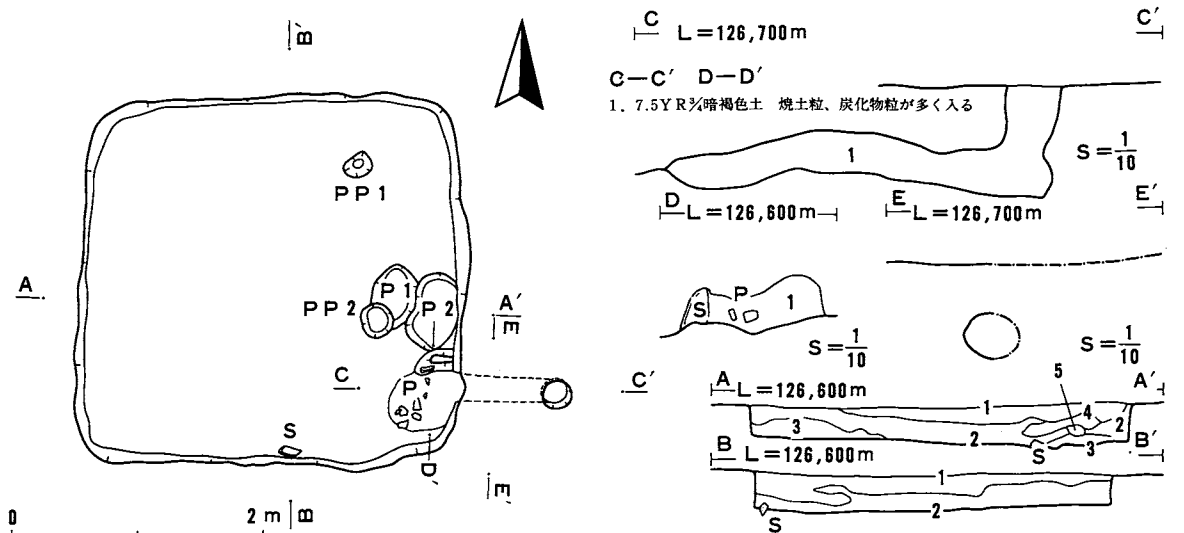
<土器> 図化できた個体6点は全て土師器で、坏が5点、甕が1点である。そのほか破片等合わせて大2袋程出土している。

<石器> 登録したものは3点で、コア、半円状偏平打製石器、石錘の各1点である。また、フレークは18点出土している。

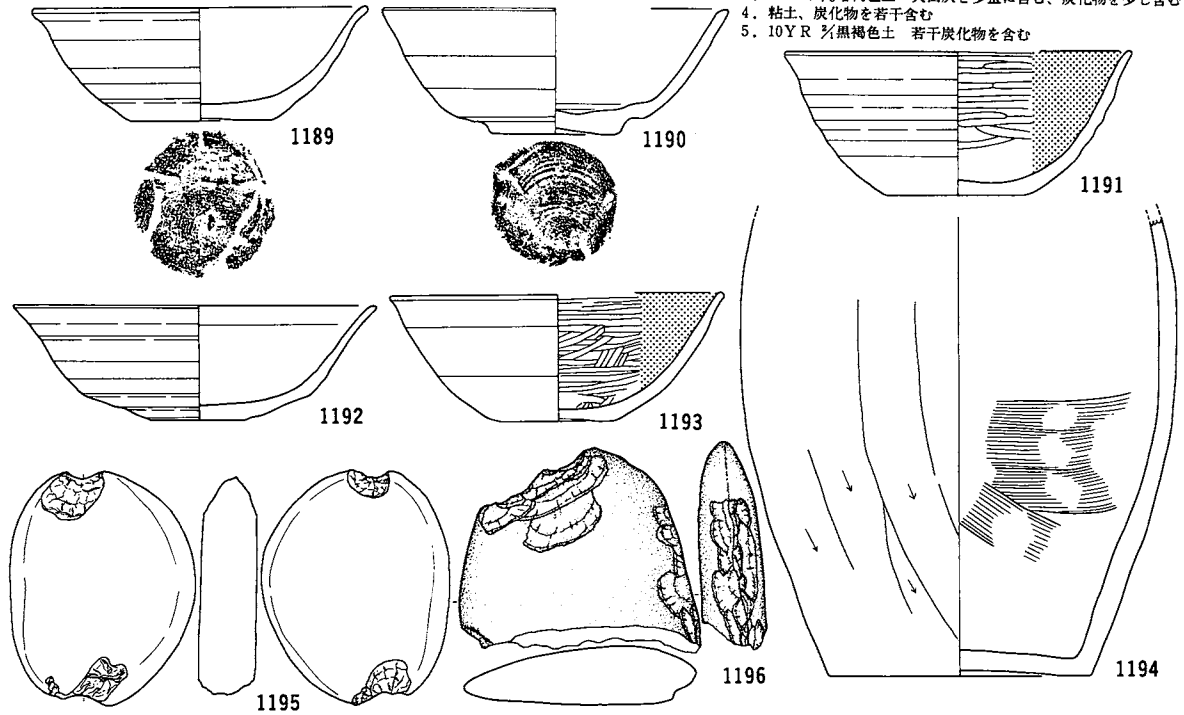
IV B 4号住居跡

遺構 (第132図、写真図版17)

<検出状況> 調査区ほぼ中央のIV B 7 d区付近に位置し、IV B102土坑とIV B109土坑に切られ、IV B53陥し穴状遺構を切る。<平面形> ほぼ隅丸方形 <規模> 3.5×(3.4)m <壁高> 9~25cm <主軸方向> S-11°-W <埋土> 5層に細分されるが、炭化物、焼土粒、火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。<床面> P1~P5が検出され、そのうちのP2とP3から土師器と須恵器が出土した。<柱穴> PP1が検出されたが、精査を進めていく段階で溝状の陥し穴状遺構の先端部分と判明した。<カマド> 南壁の東寄りに構築されている。袖部分のものと思われる10~30cmの垂角礫が数個、散乱した状態で検出された。燃焼部は径50cmのほぼ円形で厚さは13cmに及ぶ。煙道部は掘り込み式で、煙出口は円形の土坑状を呈する。



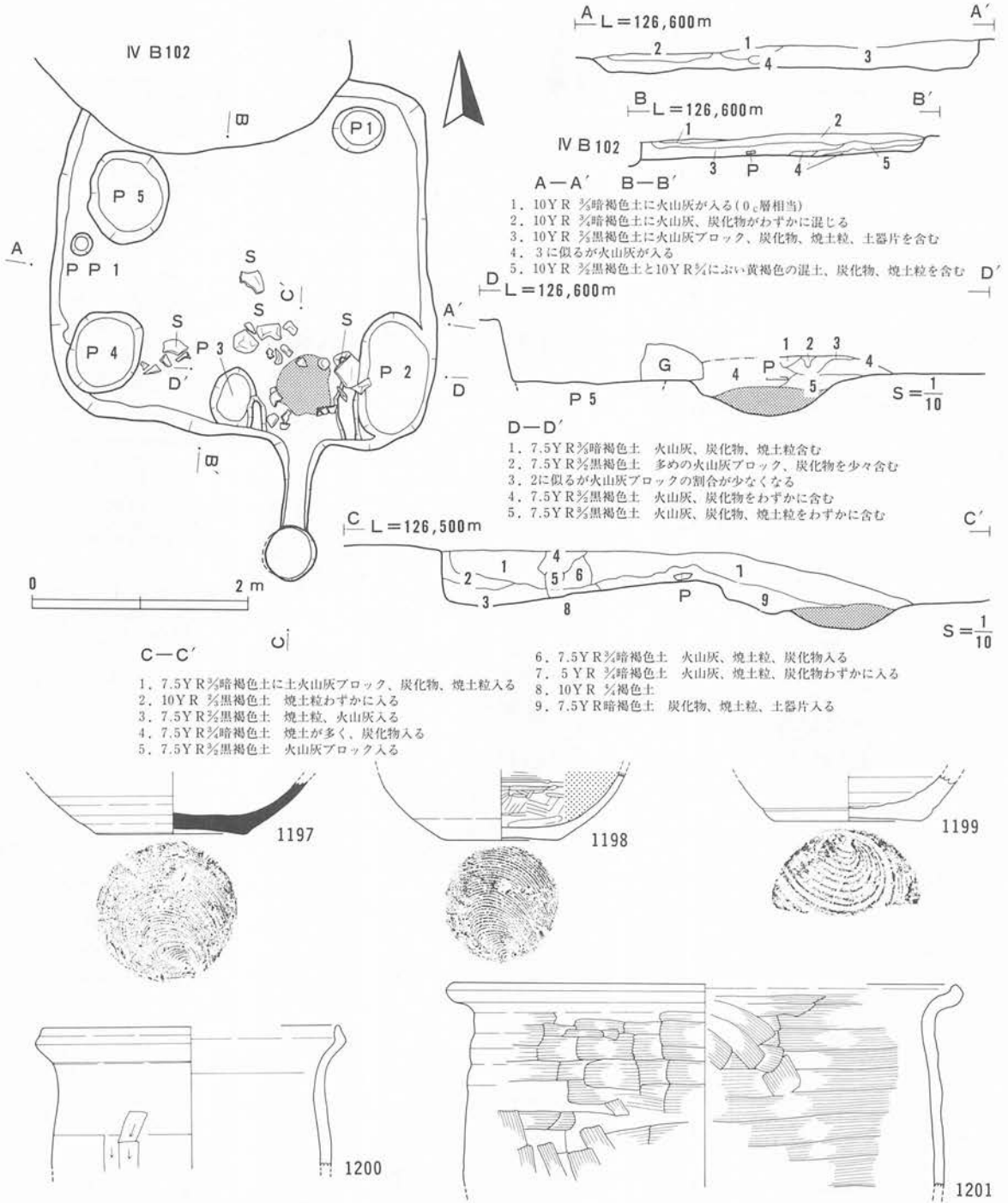
No	PP1	PP2
径 cm	22×20	26×22
深さ cm	11	10



No	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値 (cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1189	IVB 1号住・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整				13.4	4.5	5.7	B II b類	
1190	IVB 1号住・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕			ロクロ痕	(13.8)	5.0	5.2	B II a類	
1191	IVB 1号住・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕		ヘラミガキ	ヘラミガキ		(13.9)	5.7	6.0	B I c類	黒色処理
1192	IVB 1号住・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕		ロクロ痕			14.6	4.6	4.1	B II c類	
1193	IVB 1号住・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕		ヘラミガキ	ヘラミガキ	ヘラミガキ	13.4	5.1	5.1	B I c類	黒色処理
1194	IVB 1号住・カマド	土師器甕		—	ヘラクスリ		—	ヘラナア		—	(18.3)	10.4		

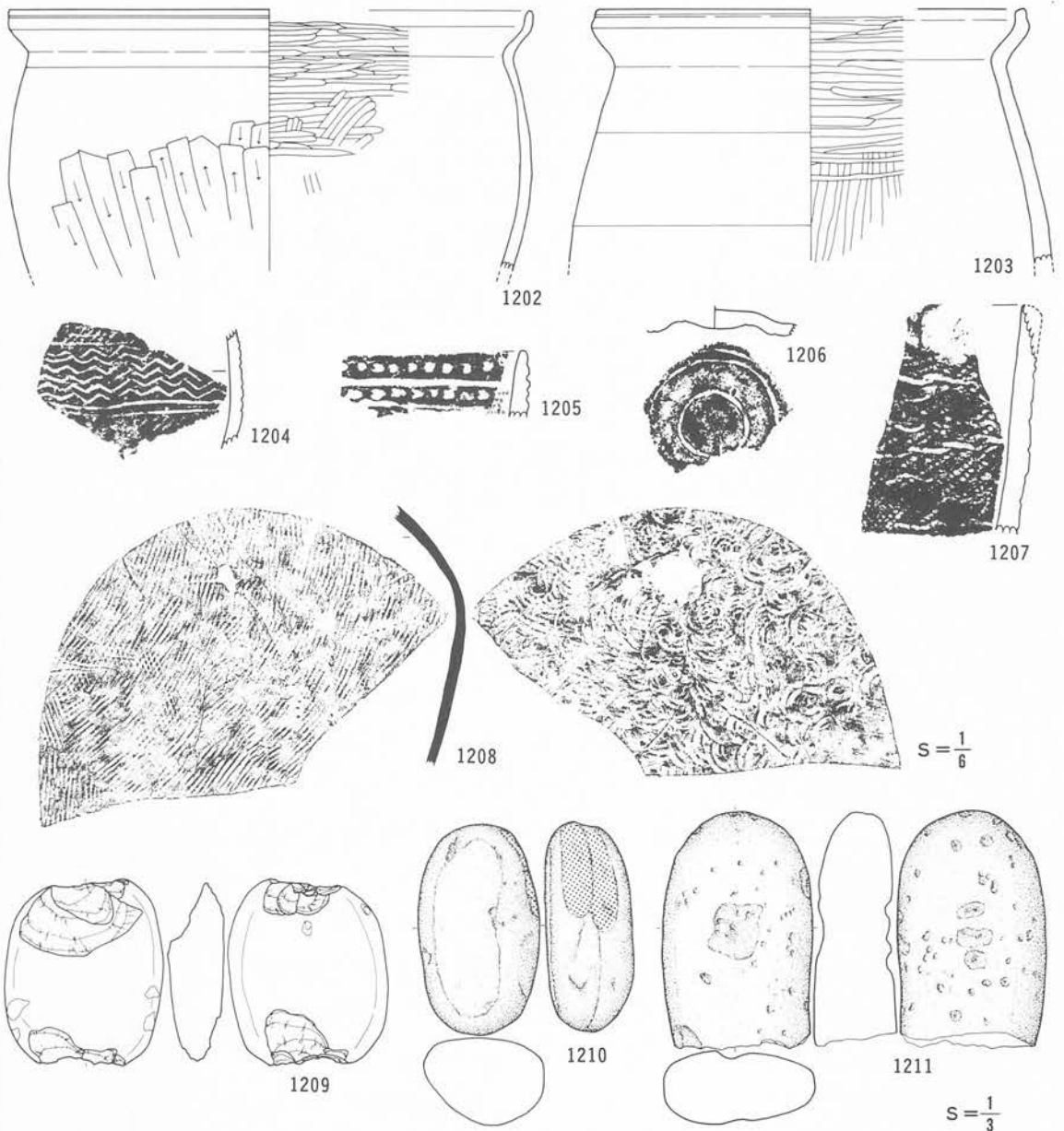
No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1195	IVB 1号住埋土	石鏝	9.3	7.5	2.3	240.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1196	IVB 1号住Q 4埋土	半円状扁平打製石器	8.3	9.5	2.3	215.0	プロプライト	奥羽山地	新第三系中新統	*

第131図 IVB 1号住居跡・出土遺物



第132図 IV B 4号住居跡・出土遺物(1)

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1197	IV B 4号住・P2埋土	須恵器環	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	—	—	(2.5)	7.0			
1198	IV B 4号住・P2埋土	土師器環	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	(3.2)	5.4	B I a類	黒色処理
1199	IV B 4号住・P2埋土	土師器環	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(1.9)	6.8	B II a類	
1200	IV B 4号住・P2埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ヘラケズリ	—	ロクロ痕	—	—	(14.0)	(6.7)	—	B II a類	
1201	IV B 4号住・P2埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ヘラナデ	—	ヘラナデ	ヘラナデ	—	(13.6)	(9.5)	—	B I a類	



No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1202	IV B 4号住・P 2埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ヘラケズリ	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	(22.7)	(11.4)	—	B 1 a類	
1203	IV B 4号住・P 2埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	(18.6)	(10.9)	—	B 1 b類	

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1204	IV B 4号住・P 2埋土	胴部	横位の沈線間に鋸歯状の沈線、LRヨコ	深鉢 6類
1205	IV B 4号住・P 2埋土	口縁部	横位の沈線間に爪形文	深鉢 A 10類
1206	IV B 4号住・埋土	底部	同心円状に2本の沈線	
1207	IV B 4号住・埋土	胴部	結節LR(?)ヨコ	深鉢 A 15類
1208	IV B 4号住・埋土	肩部	表面にタタキ目、裏面に青海波文	須恵器甕

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1209	IV B 4号住Q 1埋土	石錘	8.3	6.8	2.5	180.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1210	IV B 4号住Q 1埋土	すり石	9.0	5.3	3.8	260.0	舞石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
1211	IV B 4号住埋土	凹石	10.2	6.6	3.2	310.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*

第133図 IV B 4号住居跡出土遺物(2)

遺物 (第132・133図、写真図版165・166)

<土器> 図化できた個体は7点で全て土師器である。そのうち坏が3点、甕が4点で1197~1203がP2から出土している。また底部片1点、拓本として掲載したものが4点で、うち3点が縄文土器、1点が大型の須恵器甕である。そのほか、破片等合わせて大2袋程出土している。

<石器> 登録したものが石錘4点、すり石、凹石各1点の計6点で、フレークが79点出土している。

IV B 5号住居跡

遺構 (第134図、写真図版18・19)

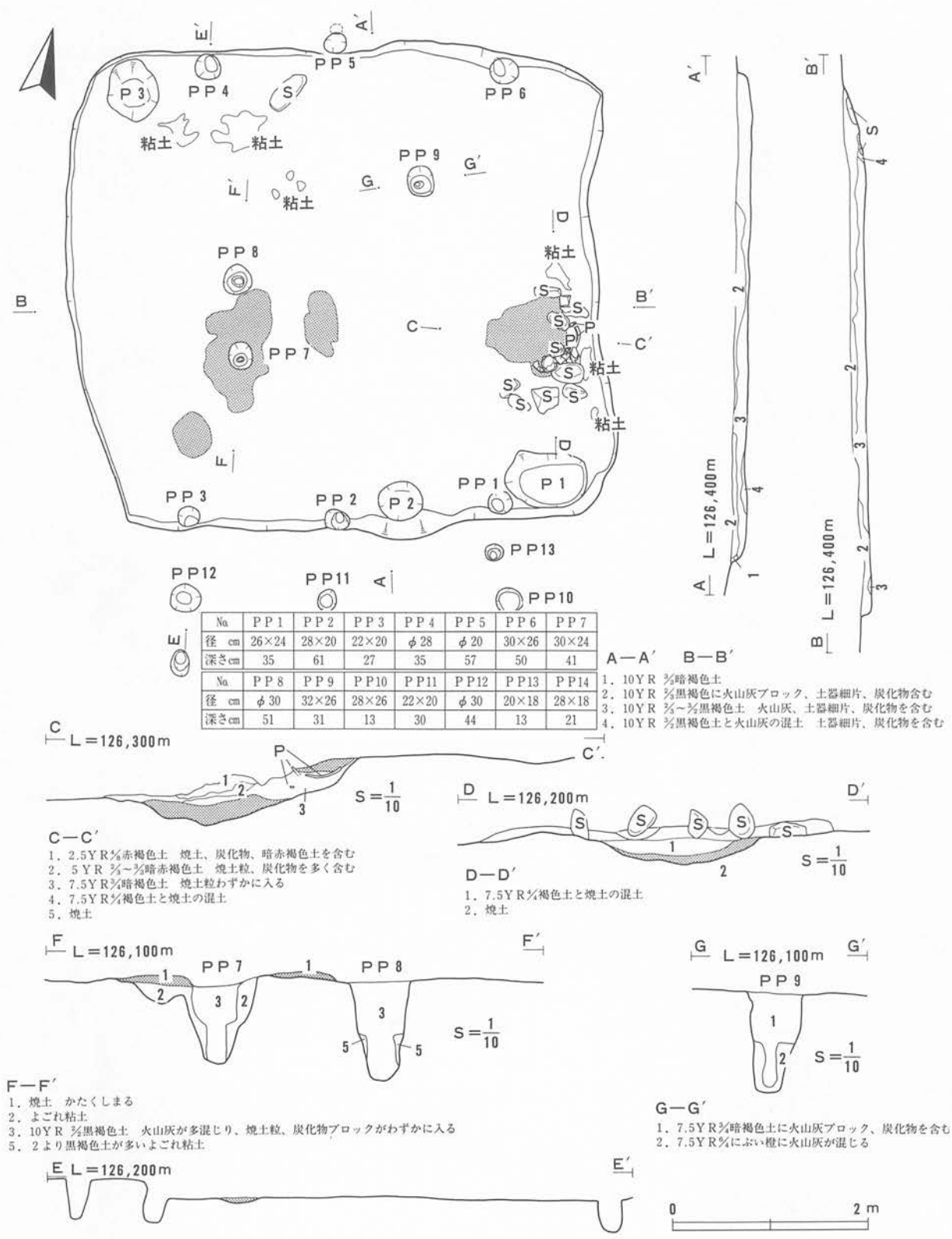
<検出状況> 調査区はほぼ中央のIV B 7 c区付近に位置し、IV B 7号住居跡を切る。<平面形> ほぼ隅丸方形 <規模> 5.4×4.9m <壁高> 8~26cm <主軸方向> N-75°-E <埋土> 2層に大別されるが、炭化物、火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。<床面> 中央部から西側にかけて、厚さ3~5cmの焼土が3基検出された。そのうちの1基の下からとほかに2ヶ所、合計3ヶ所に「ロクロ=ピット」といわれる、あたり部分のまわりを粘土で固めたピットが検出された。粘土は、いわゆる地山の土よりはわずかに汚れており、ロクロを回転させる際の芯材を固定するために用いられたものと考えられる。また、北側を中心に厚さ3cm程の灰白色粘土のまとまりがいくつか見られ、これらが同じ住居跡のカマド部分や隣接した住居跡から出土している土師器の成分と類似するという分析結果を得ていることから、本住居跡は、土師器を製作するための工房だったのではないかと考えられる。<柱穴> P P 1~P P 14が検出されたが、P P 1~P P 6が主柱穴と考えられる。また、南壁際のP P 1~P P 3と対になる位置に検出されたP P 10~P P 12が底部分と考えられる。<カマド> 東壁の南寄りに構築されている。袖部分には10~40cmの角礫や垂円礫が10個程配される。燃焼部は80×60cm、厚さ最大10cmで良く焼けて固く締まり、その上から長胴形の大型の甕が出土した。煙道部は検出されなかった。

遺物 (第135~139図、写真図版166~169)

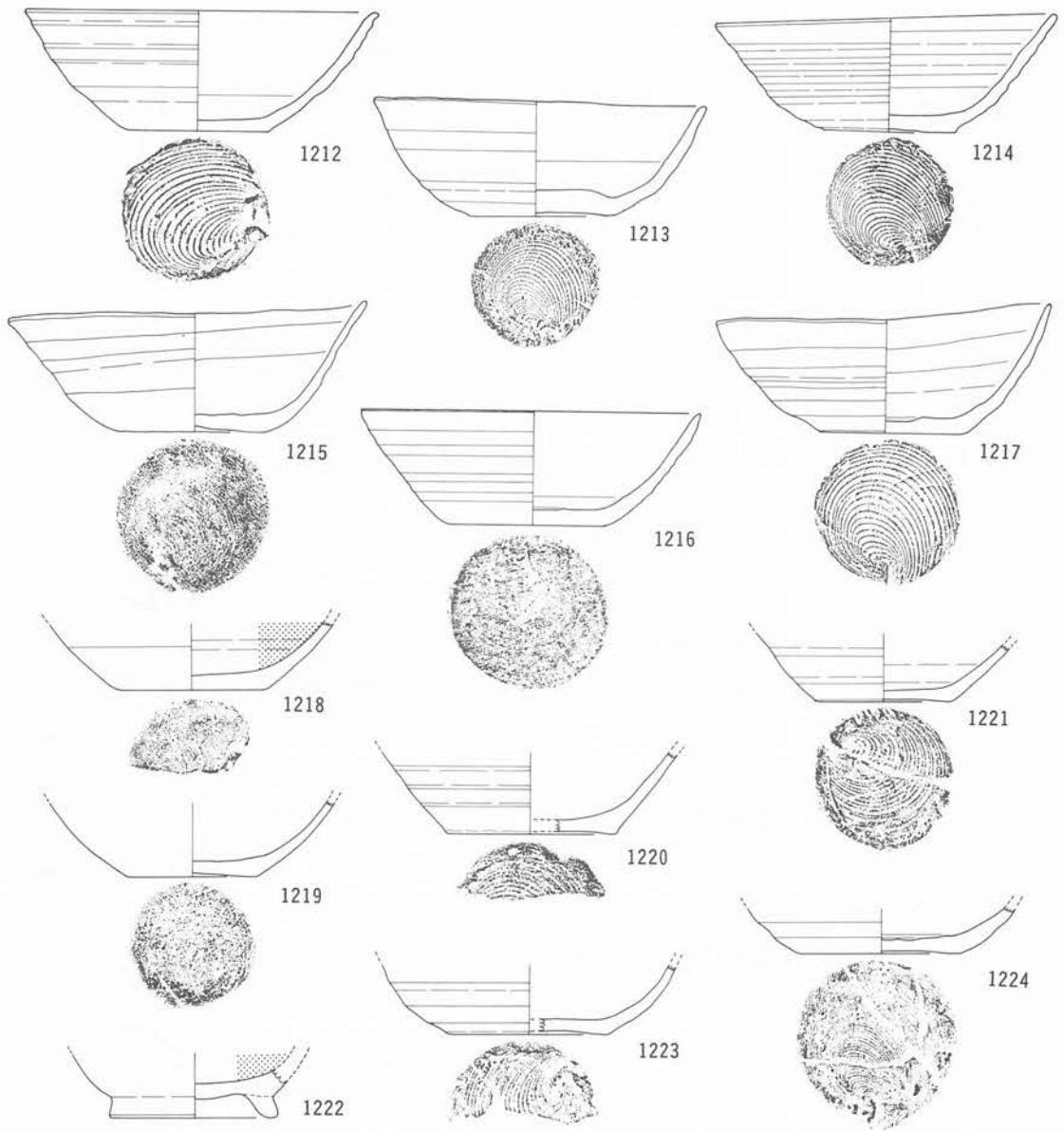
<土器> 図化できた個体30点は全て土師器で、坏が19点、甕が9点、高台付坏が1点、鍋が1点である。1212~1222・1232~1235はカマド部分から出土している。また、底部片が6点、拓本として掲載した縄文土器が1点で、それ以外の破片は合わせて大コンテナ1箱程出土している。

<石器> 登録したものが16点、フレークが42点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘5点、すり石、敲石各2点、尖頭器、石筥、削器、鋸歯状石器、半円状偏平打製石器、



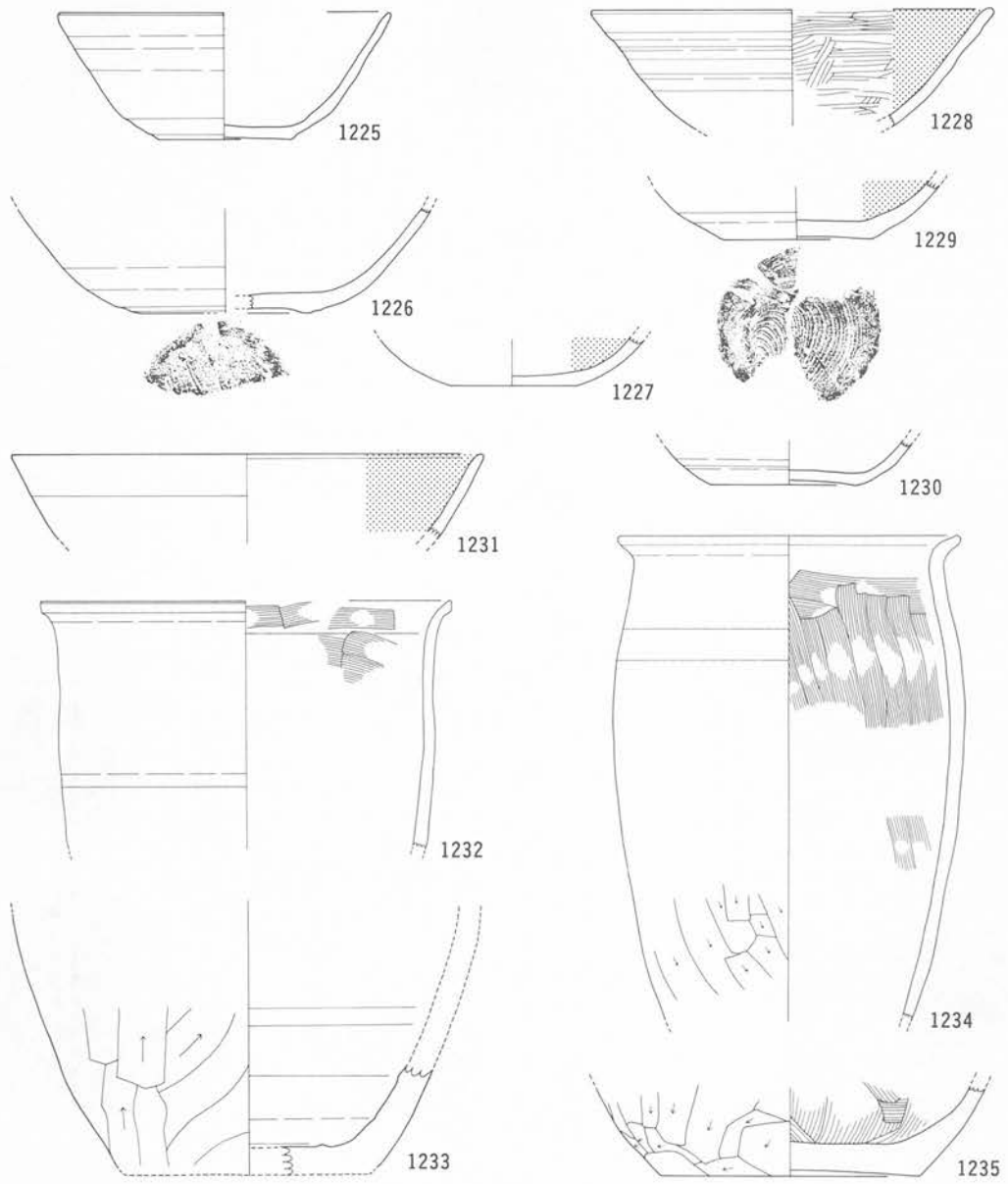
第134図 IV B 5号住居跡



$$s = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1212	IV B 5号住・カマド	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕		ロクロ痕		14.8	5.0	6.0	B II a類	
1213	IV B 5号住・カマド	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕		ロクロ痕		13.9	4.9	6.2	B II a類	
1214	IV B 5号住・カマド	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		14.4	5.0	5.5	B II a類	
1215	IV B 5号住・カマド	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整	ロクロ痕			15.0	5.5	6.2	B II b類	不整
1216	IV B 5号住・カマド	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整		ロクロ痕	ロクロ痕	14.3	4.8	6.5	B II b類	
1217	IV B 5号住・カマド	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		14.1	4.7	6.0	B II a類	不整
1218	IV B 5号住・カマド	土師器環	ロクロ	—	ロクロ痕	再調整	—	ロクロ痕		—	(2.8)	(6.4)	B I b類	黑色処理
1219	IV B 5号住・カマド	土師器環	ロクロ	—	—	再調整(?)	—	—		—	(3.1)	5.4	B II b類	
1220	IV B 5号住・カマド	土師器環	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	—		—	(3.4)	(7.0)	B II a類	
1221	IV B 5号住・カマド	土師器環	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(3.0)	5.7	B II a類	
1222	IV B 5号住・カマド	高台付環	ロクロ	—	ロクロ痕	—	—	—		—	(2.7)	7.1	—	黑色処理
1223	IV B 5号住・P3埋土	土師器環	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	—		—	(2.8)	6.8	B II a類	
1224	IV B 5号住・P3埋土	土師器環	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(1.9)	6.8	B II a類	

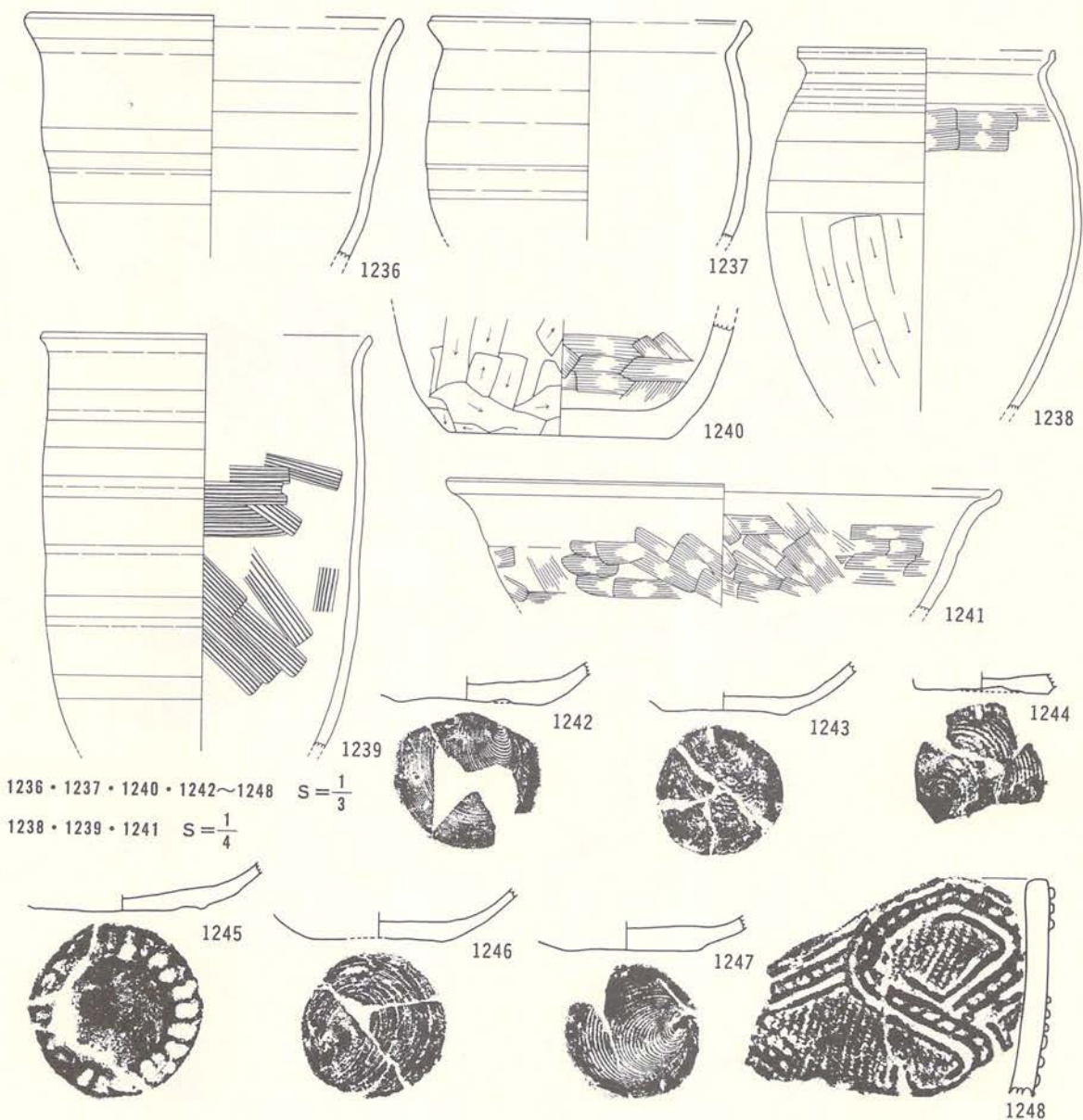
第135図 IV B 5号住居跡出土遺物(1)



1225~1231・1233・1235 S = $\frac{1}{3}$ 、1232・1234 S = $\frac{1}{4}$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1225	IV B 5号住・埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕				(13.6)	5.2	5.4	B II c 類		
1226	IV B 5号住・埋土	土師器環	ロクロ	—	ロクロ痕	再調整	—	—	—	(4.3)	6.8	B II b 類		
1227	IV B 5号住・埋土	土師器環	—	—	—	—	—	—	—	(1.9)	5.1	I c 類	黒色処理	
1228	IV B 5号住・埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	(16.4)	(4.9)	B I 類	黒色処理	
1229	IV B 5号住・埋土	土師器環	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	—	—	(2.1)	6.5	B I a 類	黒色処理	
1230	IV B 5号住・埋土	土師器環	ロクロ	—	ロクロ痕	—	—	—	—	(1.8)	6.0	B II c 類		
1231	IV B 5号住・埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	—	—	—	—	—	19.2	(3.5)	B I 類	黒色処理	
1232	IV B 5号住・カマド	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ヘラナデ	—	—	(25.4)	(15.3)	B I a 類		
1233	IV B 5号住・カマド	土師器甕	ロクロ	—	ヘラケズリ	—	—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(11.2)	(10.5)	B I 類	
1234	IV B 5号住・カマド	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ヘラケズリ	—	ヘラナデ	ヘラナデ	—	21.2	(29.8)	—	B I b 類	
1235	IV B 5号住・カマド	土師器甕	—	—	ヘラケズリ	—	—	ヘラナデ	—	—	(3.6)	10.6	—	

第136図 IV B 5号住居跡出土遺物(2)



1236・1237・1240・1242~1248

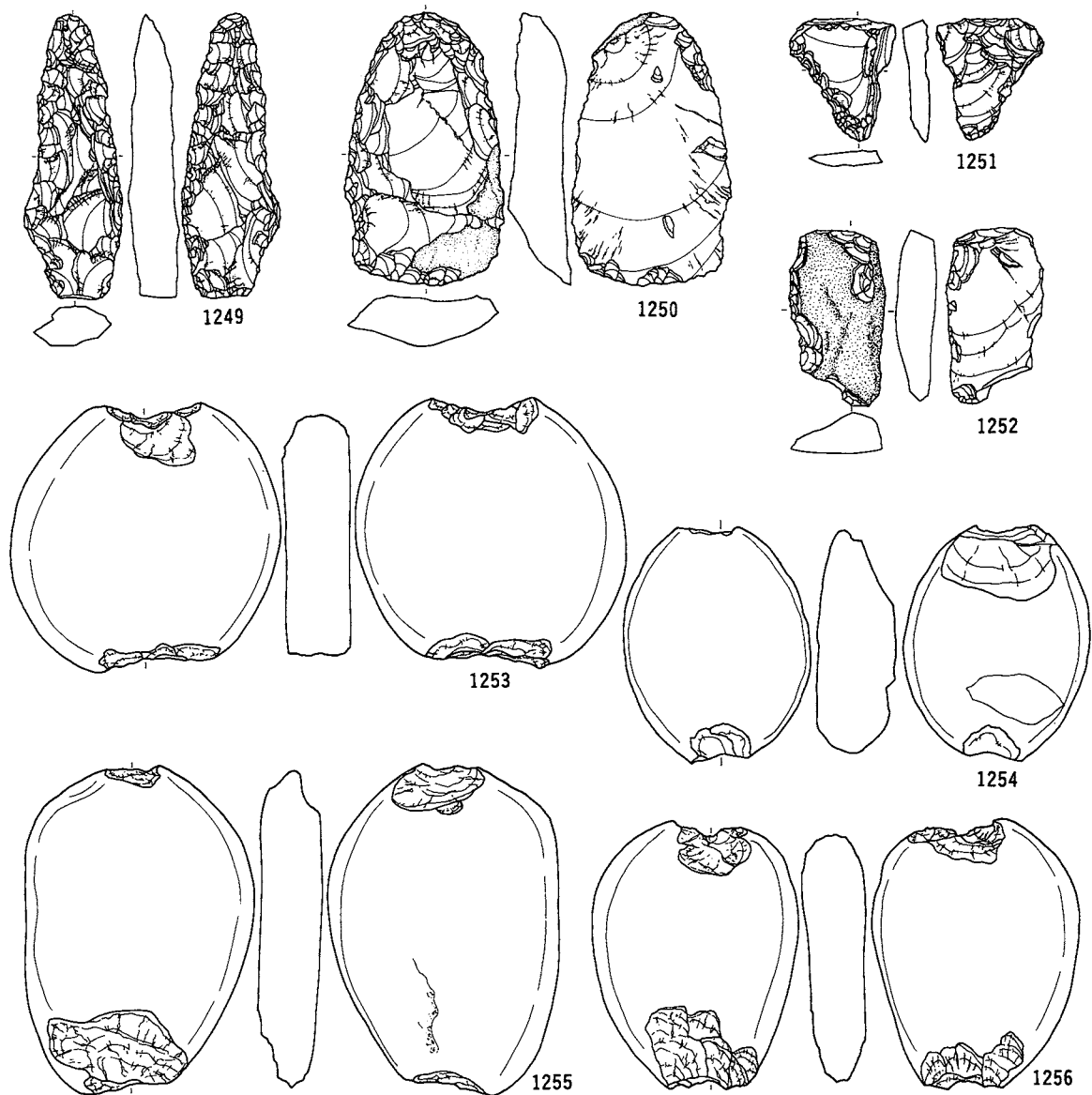
$$S = \frac{1}{3}$$

1238・1239・1241 $S = \frac{1}{4}$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1236	IV B5号住・P3埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(16.4)	(10.4)	—	B II a類	
1237	IV B5号住・P3埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ロクロ痕	—	—	(13.6)	(9.5)	—	B II a類	
1238	IV B5号住・P3埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ヘラナデ	—	ロクロ痕	ヘラナデ	—	(16.8)	(23.3)	—	B I b類	
1239	IV B5号住・P3埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ロクロ痕	ハケメ	—	(20.3)	(25.3)	—	B I a類	
1240	IV B5号住・埋土	土師器甕	—	—	ヘラナデ	—	—	ヘラナデ	—	—	(5.0)	9.7		
1241	IV B5号住・埋土	土師器鍋	ロクロ	ロクロ痕	ヘラナデ	—	ロクロ痕	ヘラナデ	—	(36.2)	(8.0)	—		
1242	IV B5号住・埋土	土師器环	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	6.3	B II a類	
1243	IV B5号住・埋土	土師器环	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	5.4	B II a類	
1244	IV B5号住・埋土	土師器环	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	5.7	B II a類	
1245	IV B5号住・埋土	高台付坏	—	—	—	高台剝離痕	—	—	—	—	—	7.4		
1246	IV B5号住・埋土	土師器环	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	5.7	B II a類	
1247	IV B5号住・埋土	土師器环	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	5.8	B II a類	

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1248	IV B5号住・埋土	口縁部	梯子状粘土紐貼付、LRヨコ	深鉢A2類

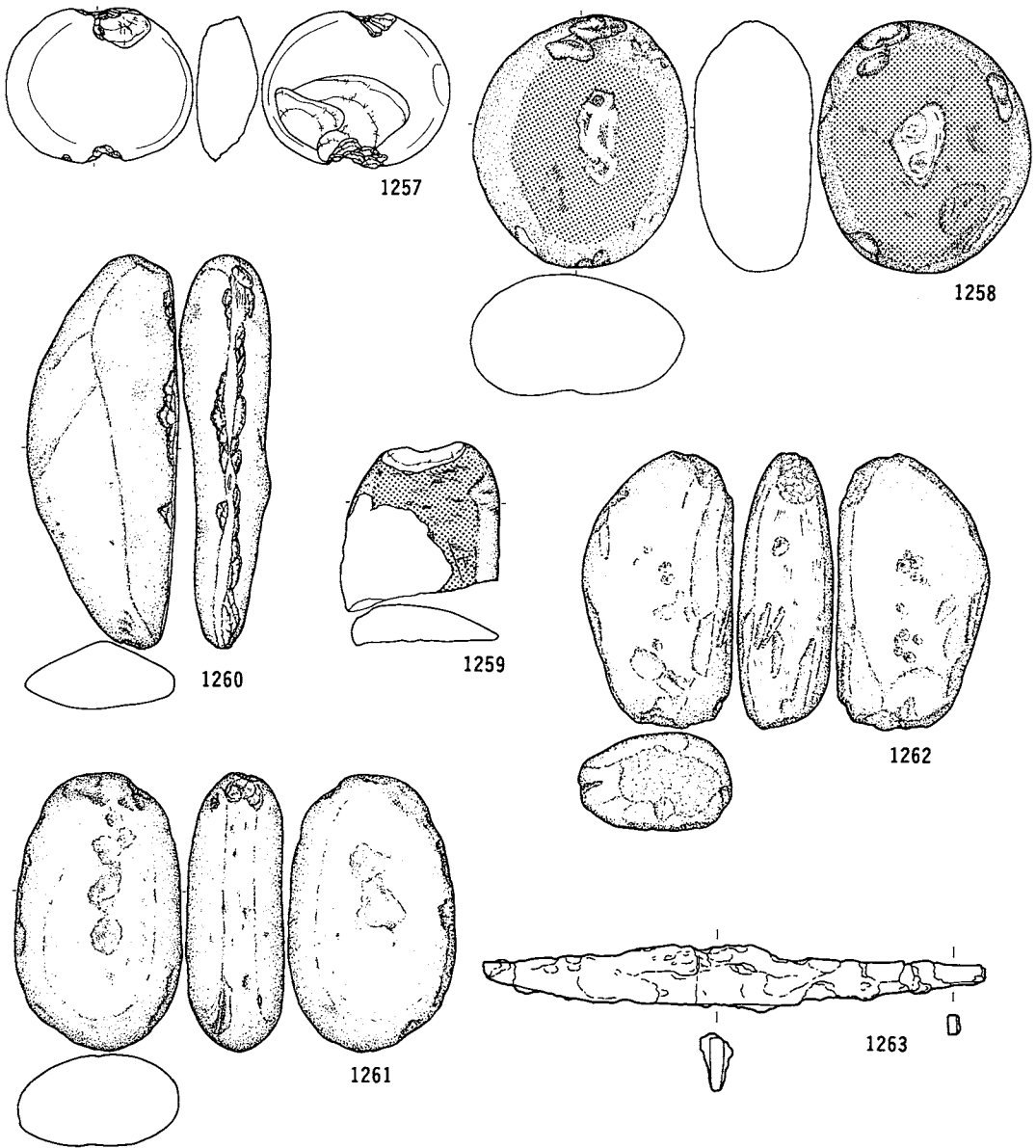
第137図 IV B5号住居跡出土遺物(3)



$$s = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1249	IV B 5号住埋土	尖頭器	8.1	2.1	1.1	30.7	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1250	IV B 5号住Q 4埋土	石鐮	7.8	4.3	1.3	60.6	粘板岩	夏油川～和賀仙人	古生界	
1251	IV B 5号住埋土	削器	3.5	3.0	0.7	6.2	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1252	IV B 5号住埋土下部	鋸齒状石器	5.0	2.9	1.1	18.1	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
1253	IV B 5号住埋土	石鐮	7.6	7.6	1.9	160.0	アイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	
1254	IV B 5号住埋土下部	石鐮	6.6	5.2	2.2	100.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
1255	IV B 5号住Q 3床直上	石鐮	9.3	6.5	1.7	170.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1256	IV B 5号住埋土下部	石鐮	7.6	5.8	1.9	105.0	アイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	

第138図 IV B 5号住居跡出土遺物(4)



1257~1262 $S = \frac{1}{3}$
 1263 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1257	IV B 5号住埋土下部	石錘	6.2	7.6	2.6	140.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1258	IV B 5号住Q 1埋土	すり石、凹石	10.4	8.8	5.0	640.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
1259	IV B 5号住Q 1埋土	すり石	7.1	6.6	1.5	83.1	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1260	IV B 5号住Q 1埋土	半円状扁平打製石器	16.3	6.2	2.7	395.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
1261	IV B 5号住Q 1埋土	凹石	11.5	6.9	3.7	485.0	花崗閃緑岩	夏油川-仙人	中生界	
1262	IV B 5号住Q 1埋土	敲石	11.5	6.2	3.7	415.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
1263	IV B 5号住Q 1埋土上部	鉄製品	10.4	1.4	0.7	11.0				

第139図 IV B 5号住居跡出土遺物(5)

凹石、円盤状石製品各1点

<鉄製品> 北西側の埋土上部に刀子が1点出土している。

IV B 6号住居跡

遺構 (第140図、写真図版20)

<検出状況> 調査区ほぼ中央のIV B 4 b区付近に位置する。<平面形> 不整な隅丸方形 <規模> 6.2×5.3m <壁高> 4~10cm <主軸方向> S-81°-E <埋土> ほぼ単層で炭化物、火山灰まじりの黒褐色土が入る。<床面> P1~P6まで浅皿状の土坑が検出され、いずれからも土師器や須恵器の破片が出土した。<柱穴> PP1~PP25まで検出されたが、正しい配列は不明である。<カマド> 東壁の南寄りに構築されている。袖部分は15~30cmの礫が2個のみ残存する。燃焼部は110×80cm厚さ13cmのほぼ楕円形で、その上から完形に近い坏が出土している。煙道部は検出されなかった。

遺物 (第141~145図、写真図版169~173)

<土器> 図化できた個体が36点で、その内訳は土師器の坏が19点、高台付坏4点、甕3点、須恵器の坏1点、甕4点、壺5点である。そのほか底部片が14点、拓本として掲載した破片が須恵器3点、縄文土器1点で、それ以外の破片は合わせて大コンテナ1箱程出土している。

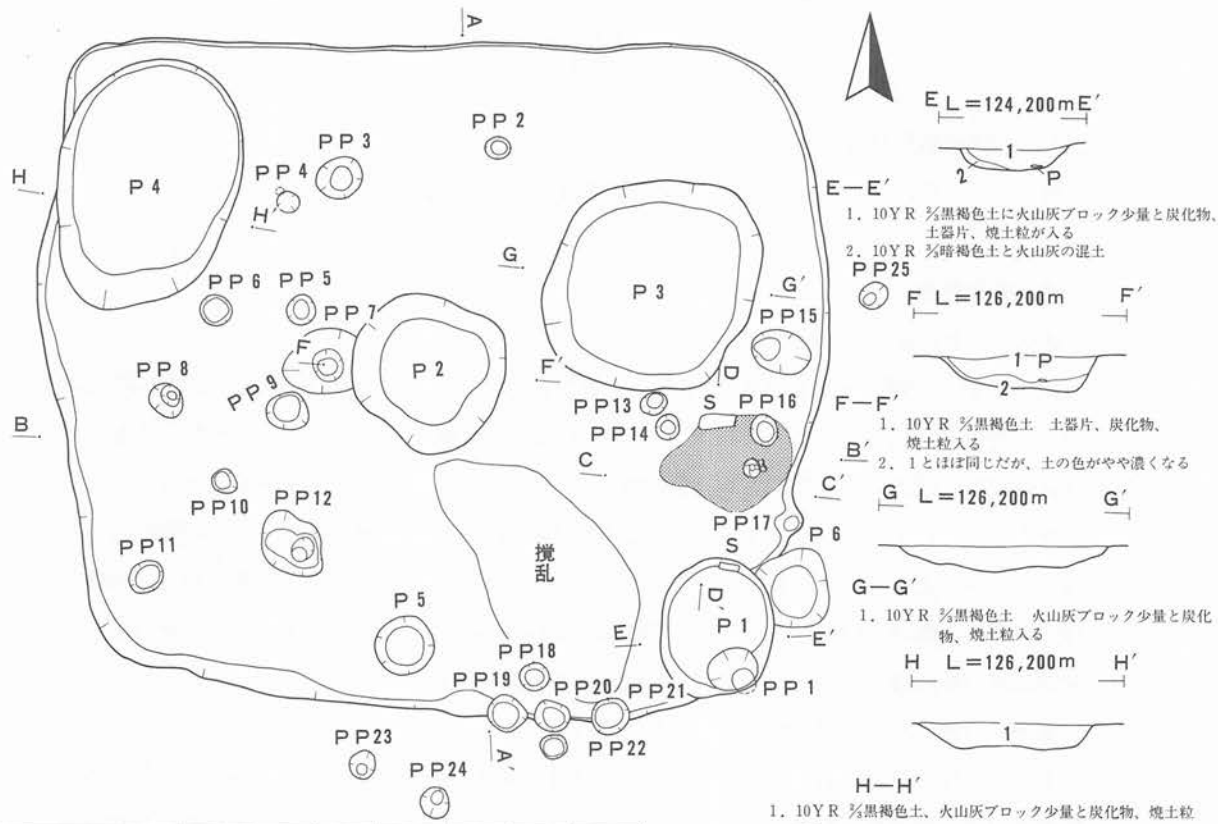
<石器> 登録したものが12点、フレイクが30点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘4点、砥石3点、コア、削器、すり石、敲石、台石各1点

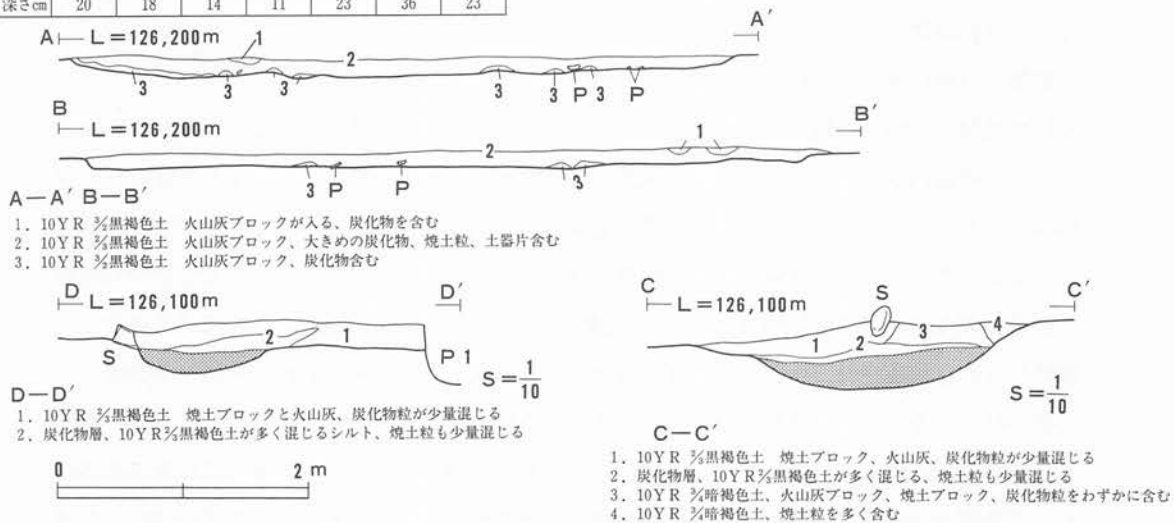
IV B 7号住居跡

遺構 (第146図、写真図版21)

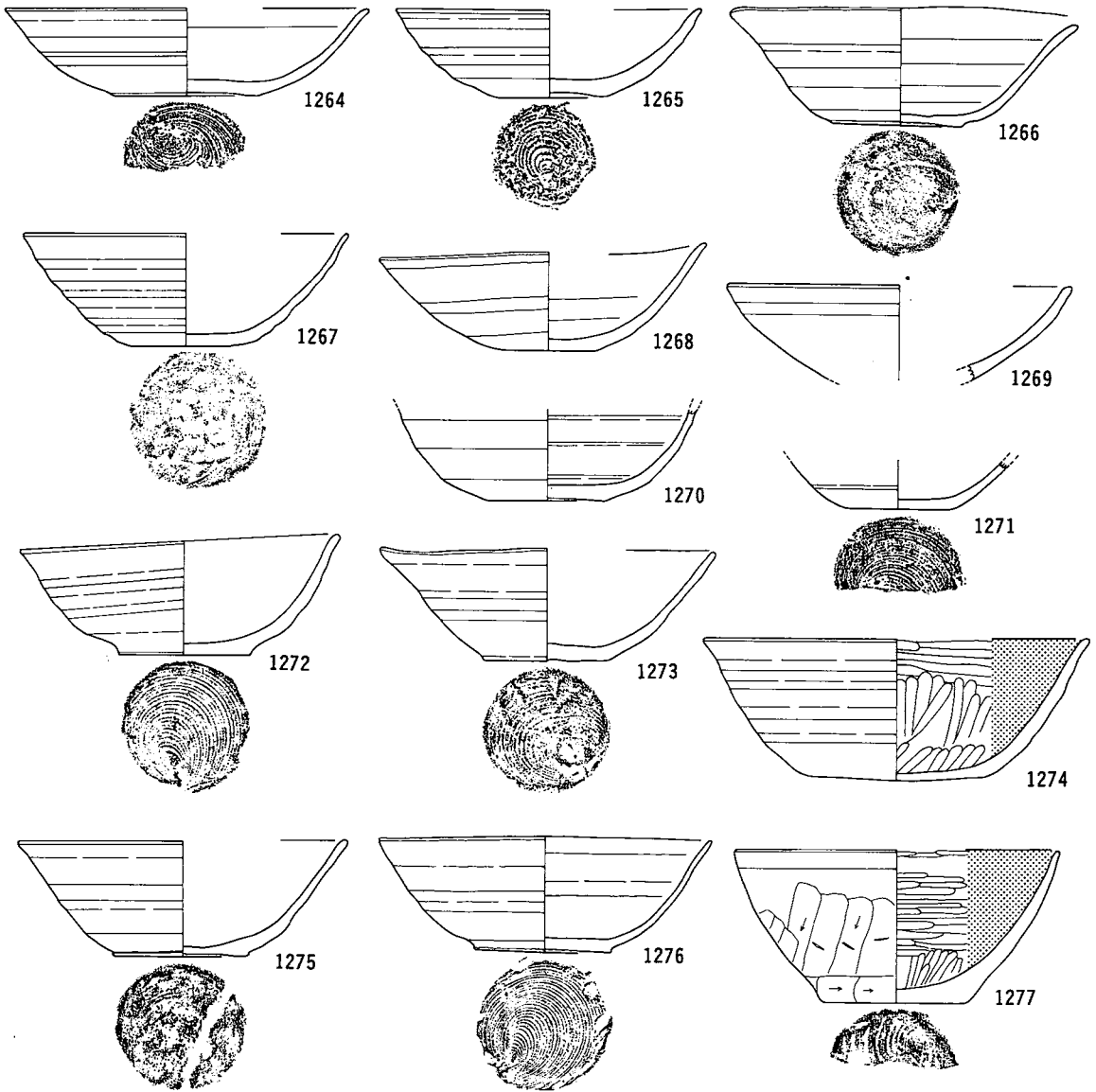
<検出状況> 初めに検出された外側のプランを床面まで掘り下げた段階で、内側の黒褐色土のプランが検出され、それも10cm程で床面があらわれた。断面の状況から、これらは2つの住居跡の切り合いと判断し、内側をIV B 7号住居跡a、外側をIV B 7号住居跡bとした。(以下a、bと記す。) これらは調査区ほぼ中央のIV B 5 b区付近に位置し、a、bともにIV B 5号住居跡に切られ、aはbに切られる。<平面形> aはほぼ隅丸長方形、bはほぼ隅丸方形 <規模> aは(4.5)×3.5m、bは(5.4)×4.9m <壁高> aは4~10cm、bは8~26cm <主軸方向> カマドは2基検出されたが、a、bいずれに伴うものか不明のため、東側、南側で記載する。東側はN-81°-E、南側はS-12°-E <埋土> aは最下部の火山灰を多量に含んだ黒褐色土のみ残存する。bは2~3層に大別され、炭化物、火山灰をわずかに含んだ黒褐色土が主体をなす。<床面> P1~P4が検出され、P1からは完形に近い土師器の坏が4点出土している。また、南壁の中央部から内側にかけて、130×80cmの範囲でスロープ状に固



No	PP1	PP2	PP3	PP4	PP5	PP6	PP7	PP8	PP9
径 cm	40×34	20×18	36×32	φ18	φ24	φ24	(70)×50	30×24	34×32
深さ cm	48	22	55	49	20	20	61	32	32
No	PP10	PP11	PP12	PP13	PP14	PP15	PP16	PP17	PP18
径 cm	φ20	30×24	52×48	φ20	22×18	48×34	φ22	22×(20)	φ22
深さ cm	18	20	56	12	14	61	27	47	13
No	P P19	P P20	P P21	P P22	P P23	P P24	P P25		
径 cm	30×26	28×26	φ30	22×20	22×23	φ24	26×20		
深さ cm	20	18	14	11	23	36	23		



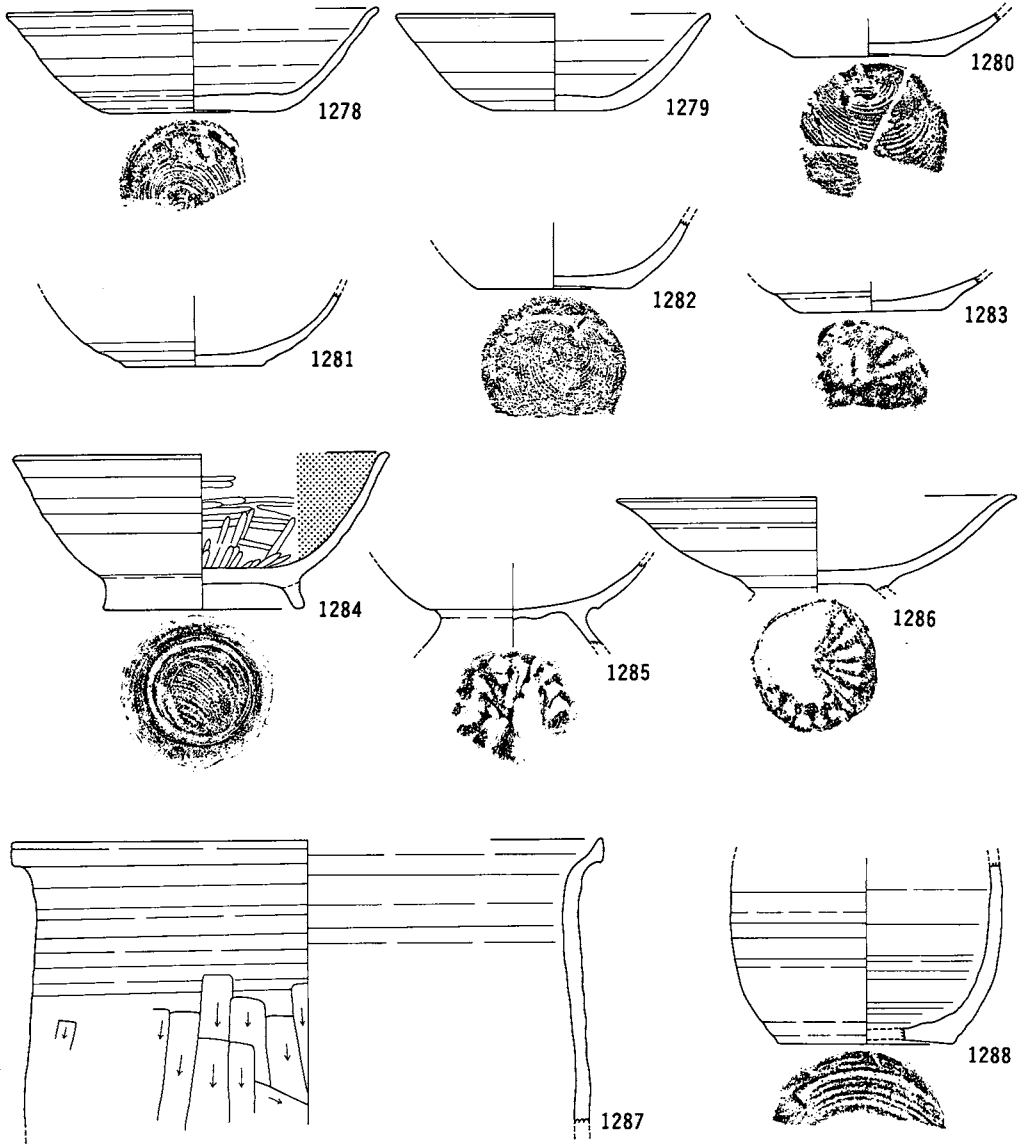
第140図 IVB 6号住居跡



$$S = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1264	IVB 6号住・カマド	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕			(15.4)	3.7	(6.1)	B II a 類	
1265	IVB 6号住・カマド	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕				(12.9)	3.7	4.5	B II a 類	
1266	IVB 6号住・P1埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整	ロクロ痕	ロクロ痕		14.7	5.1	5.4	B II b 類	
1267	IVB 6号住・P1埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整				(13.7)	4.8	5.6	B II b 類	
1268	IVB 6号住・P1埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕			ロクロ痕		(13.9)	4.6	(4.1)	B II c 類	
1269	IVB 6号住・P1埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕		—				(14.5)	(4.0)	—	B II 類	
1270	IVB 6号住・P1埋土	土師器環	ロクロ	—	ロクロ痕		—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(3.9)	4.8	B II c 類	
1271	IVB 6号住・P1埋土	土師器環	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—			—	(1.7)	5.0	B II a 類	
1272	IVB 6号住・P5埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕				13.5	5.1	5.6	B II a 類	
1273	IVB 6号住・P5埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕				14.2	4.9	5.4	B II a 類	
1274	IVB 6号住・P5埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕		ヘラミガキ	ヘラミガキ	ヘラミガキ	(16.3)	6.0	7.5	B I c 類	黒色処理
1275	IVB6号住・P1埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整				(14.0)	4.9	5.6	B II b 類	
1276	IVB 6号住・埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		14.0	4.9	5.8	B II a 類	
1277	IVB 6号住・埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ヘラケズ	回転糸切り痕	ヘラミガキ	ヘラミガキ	ヘラミガキ	13.8	6.5	(6.0)	B I a 類	黒色処理

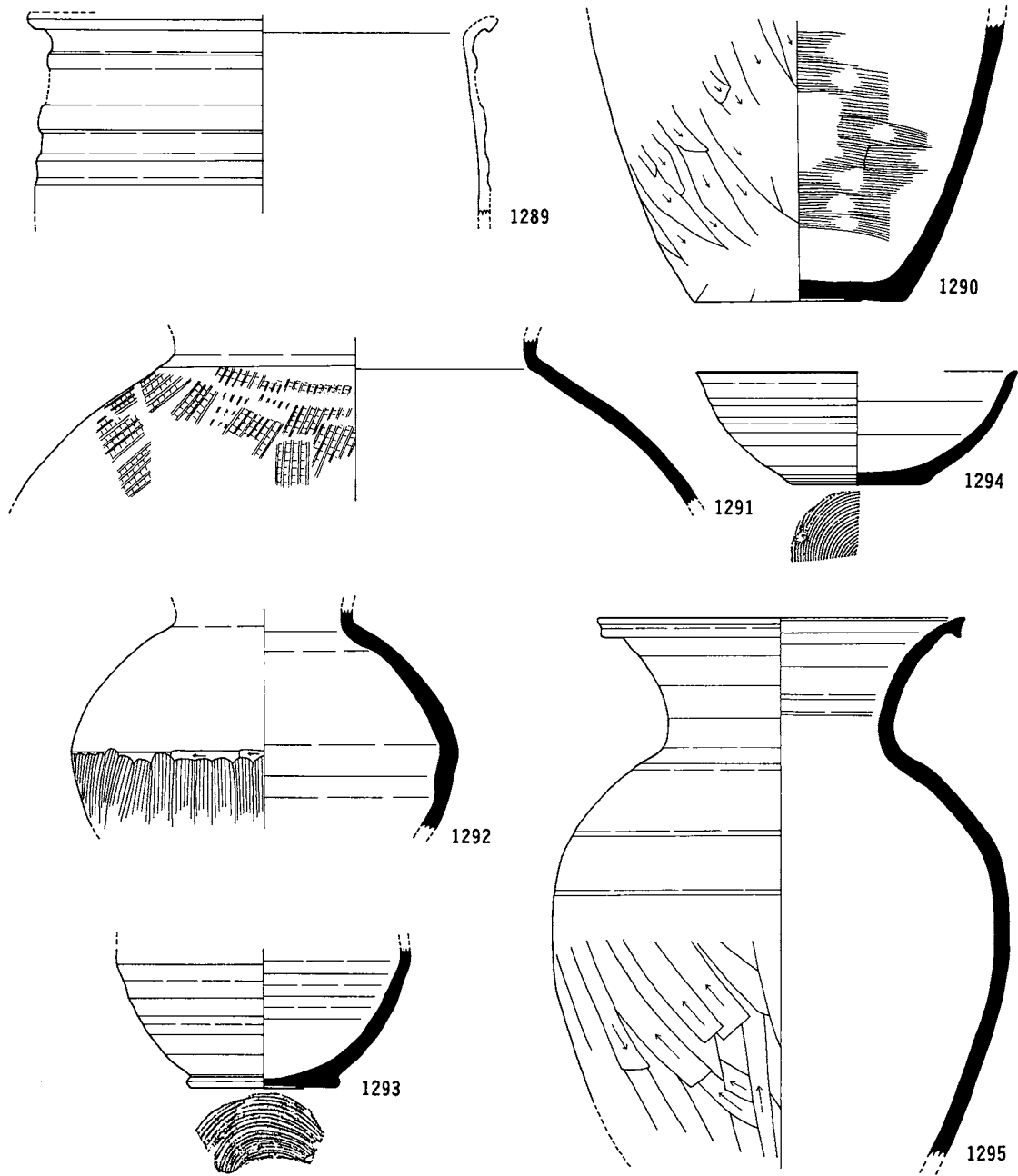
第141図 IVB 6号住居跡出土遺物(1)



$$S = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口徑	器高	底徑		
1278	IVB 6号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		(14.8)	4.0	7.4	BII a類	
1279	IVB 6号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕		ロクロ痕	ロクロ痕		(12.7)	3.8	4.6	BII c類	
1280	IVB 6号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—		回転糸切り痕	—			—	(1.5)	6.0	BII a類	
1281	IVB 6号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	ロクロ痕		—			—	(2.9)	5.6	BII c類	
1282	IVB 6号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—		回転糸切り痕	—			—	(2.6)	6.0	BII a類	
1283	IVB 6号住・埋土	高台付坏	ロクロ	—	ロクロ痕	高台剥離痕	—			—	(1.2)	(6.0)		
1284	IVB 6号住・PP1埋土	高台付坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ヘラミガキ	ヘラミガキ	ヘラミガキ	(15.0)	6.2	8.1		黒色処理
1285	IVB 6号住・PP3埋土	高台付坏	—	—		高台剥離痕	—			—	(3.4)	(6.2)		
1286	IVB 6号住・埋土	高台付坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	高台剥離痕				16.1	(3.8)	(5.0)		
1287	IVB 6号住・カマド	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	〔ヘラケズ〕	—	ロクロ痕			(23.6)	(11.4)	—	B I a類	
1288	IVB 6号住・埋土	土師器甕	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(7.2)	(7.0)	BII類	

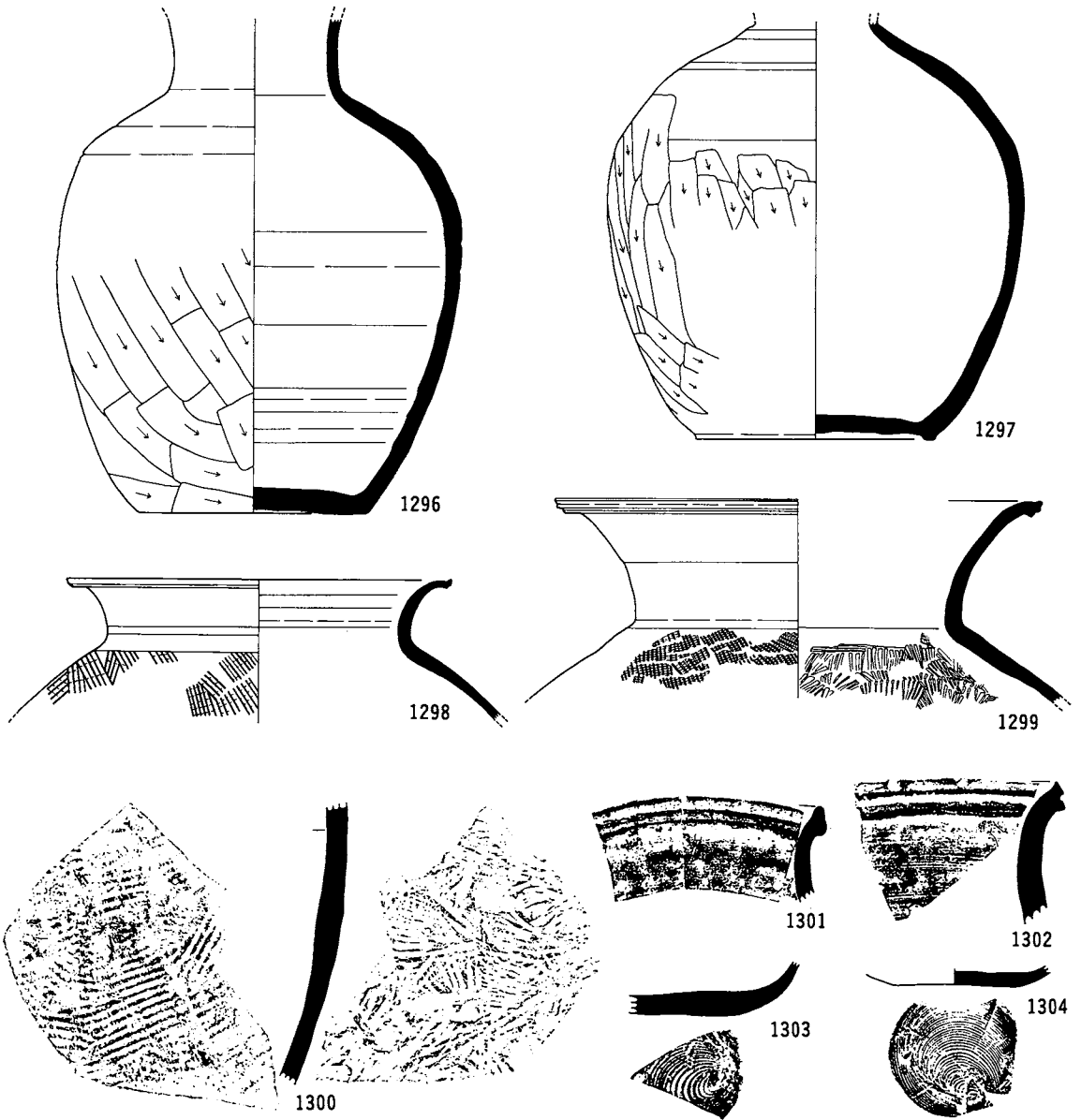
第142図 IVB 6号住居跡出土遺物(2)



$$S = \frac{1}{3}$$

No	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1289	IV B 6号住・埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	—	—	—	(20.6)	(8.8)	—	B I a類	
1290	IV B 6号住・P1埋土	須恵器甕	ロクロ	—	ヘラケズリ	—	—	ヘラナデ	—	—	(12.3)	9.4		
1291	IV B 6号住・P P3埋土	須恵器甕	ロクロ	—	タタキ目	—	—	—	—	—	(7.7)	—		
1292	IV B 6号住・P3埋土	須恵器甕	ロクロ	—	ナデケズリ	—	—	ロクロ痕	—	—	(9.8)	—		
1293	IV B 6号住・埋土	須恵器甕	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ロクロ痕	—	—	(6.3)	(6.4)		
1294	IV B 6号住・埋土	須恵器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕	—	—	(14.2)	(5.0)	(5.9)	
1295	IV B 6号住・埋土	須恵器甕	ロクロ	ロクロ痕	ヘラケズリ	—	ロクロ痕	—	—	—	(16.2)	(23.7)	—	

第143図 IV B 6号住居跡出土遺物(3)

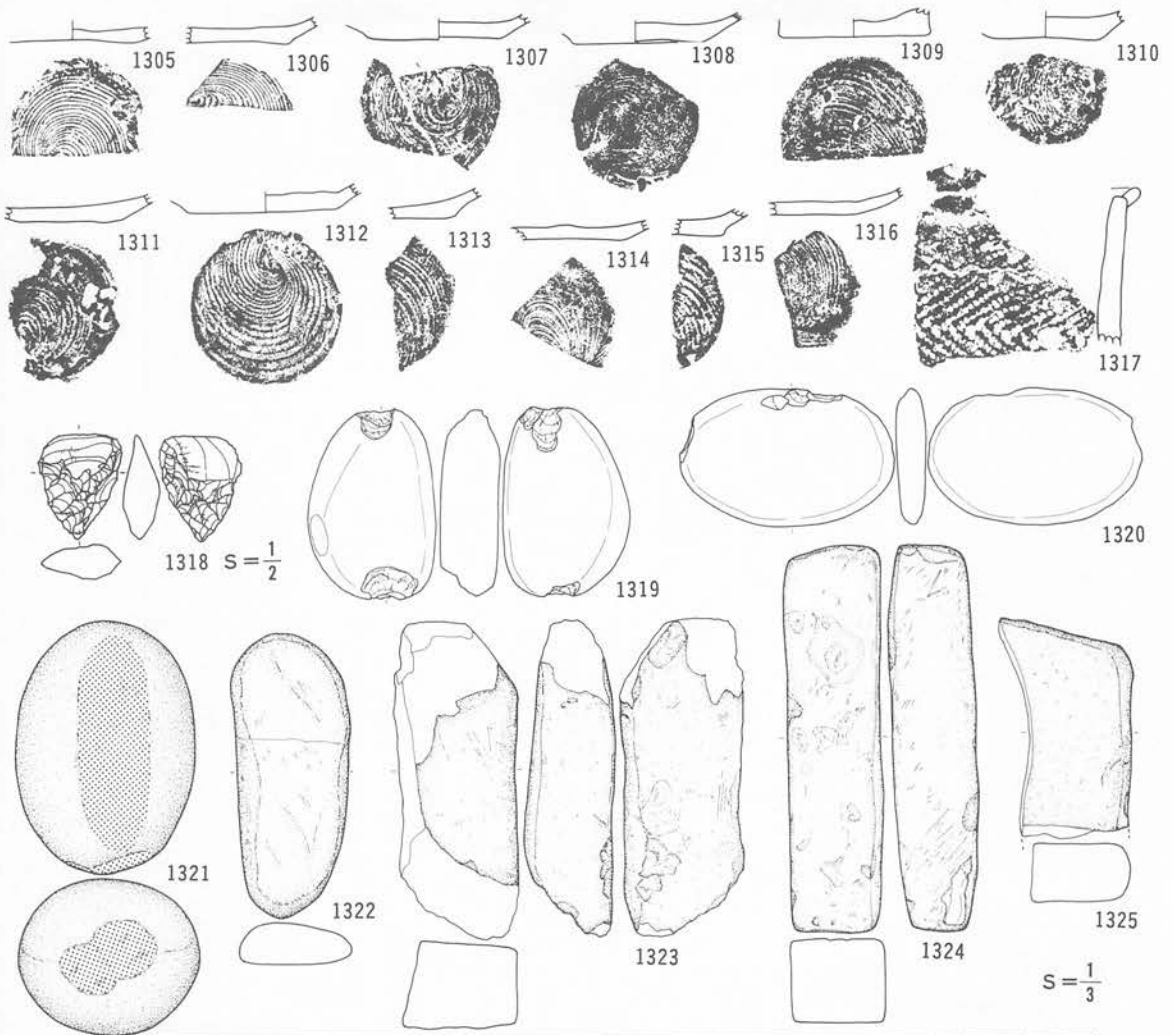


$$1296 \cdot 1297 \cdot 1300 \sim 1304 \quad S = \frac{1}{3}$$

$$1298 \cdot 1299 \quad S = \frac{1}{6}$$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1296	IVB 6号住・埋土	須恵器壺	ロクロ	—	ヘラケズリ	—	—	ロクロ痕	—	(21.0)	9.8	—	—	—
1297	IVB 6号住・埋土	須恵器壺	ロクロ	—	ヘラケズリ	—	—	—	—	—	(17.8)	10.2	—	—
1298	IVB 6号住・埋土	須恵器甗	ロクロ	ロクロ痕	タタキ目	—	—	ロクロ痕	—	(32.6)	(12.2)	—	—	—
1299	IVB 6号住・埋土	須恵器甗	ロクロ	ロクロ痕	タタキ目	—	—	当て具痕	—	(41.3)	(16.7)	—	—	—
1300	IVB 6号住・PP3	須恵器甗	—	—	タタキ目	—	—	当て具痕	—	—	—	—	—	—
1301	IVB 6号住・埋土	須恵器甗	ロクロ	ロクロ痕	—	—	—	ロクロ痕	—	—	—	—	—	—
1302	IVB 6号住・埋土	須恵器甗	ロクロ	ロクロ痕	—	—	—	ロクロ痕	—	—	—	—	—	—
1303	IVB 6号住・PP5	須恵器甗	ロクロ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1304	IVB 6号住・埋土	須恵器坏	ロクロ	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2	—	—

第144図 IVB 6号住居跡出土遺物(4)

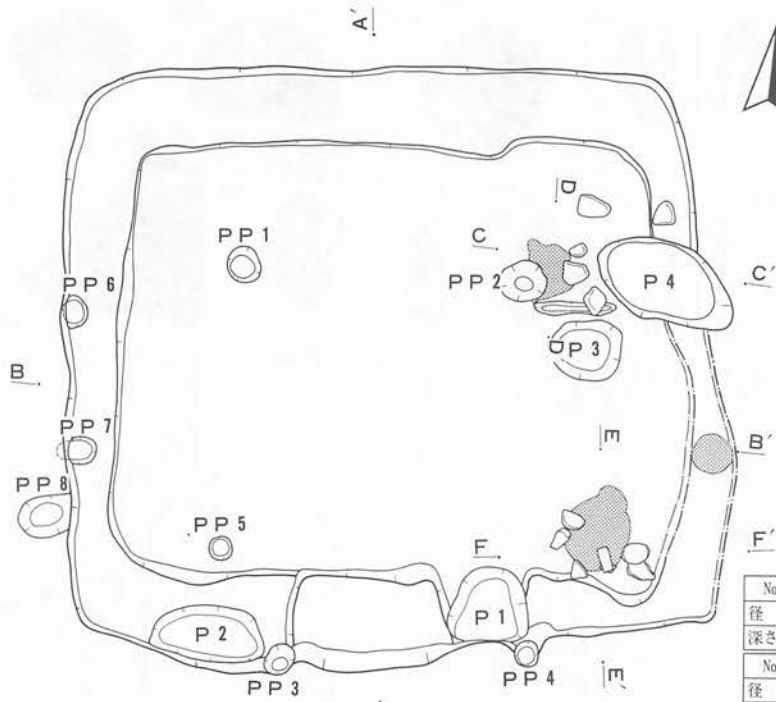


No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1305	IV B 6号住・カマド	土師器	環	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	5.5	B II a類	
1306	IV B 6号住・カマド	土師器	環	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	—	B II a類	
1307	IV B 6号住・P1埋土	土師器	環	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	5.2	B II a類	
1308	IV B 6号住・埋土	土師器	環	—	—	再調整	—	—	—	—	—	5.1	B II b類	
1309	IV B 6号住・埋土	土師器	環	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	6.0	B II a類	
1310	IV B 6号住・埋土	土師器	環	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	4.3	B II a類	
1311	IV B 6号住・埋土	土師器	環	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	5.6	B II a類	
1312	IV B 6号住・埋土	土師器	環	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	5.8	B II a類	
1313	IV B 6号住・埋土	土師器	環	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	—	B II a類	
1314	IV B 6号住・埋土	土師器	環	—	—	再調整	—	—	—	—	—	—	B II b類	
1315	IV B 6号住・埋土	土師器	環	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	—	B II a類	
1316	IV B 6号住・埋土	土師器	環	—	—	再調整	—	—	—	—	—	—	B II b類	

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1317	IV B 6号住・埋土	口~胴部	口唇部にドーナツ状の粘土紐貼付、結節した羽状(結束第1種)ヨコ	深鉢A15類

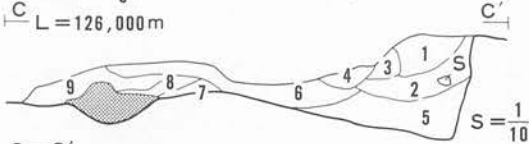
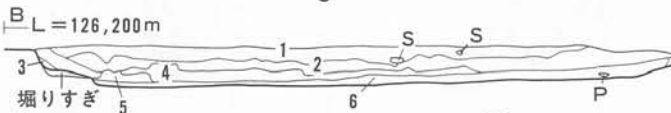
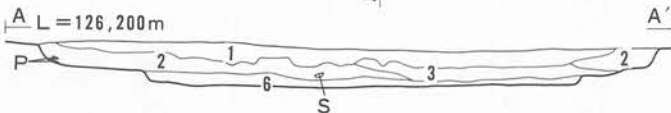
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1318	IV B 6号住P P 5埋土	三角削器	2.7	2.2	0.9	4.1	輝緑凝灰岩	北上山地	古生界	
1319	IV B 6号住Q 4埋土	石錘	7.6	5.0	2.5	135.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1320	IV B 6号住カマド焼土埋土	石錘	8.5	5.5	1.5	100.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1321	IV B 6号住床直	すり石	10.1	7.2	6.2	660.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
1322	IV B 6号住埋土	砥石	11.3	4.7	2.0	150.0	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1323	IV B 6号住埋土	砥石	12.6	4.6	3.4	290.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1324	IV B 6号住埋土下部	砥石	15.4	3.7	3.3	295.0	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1325	IV B 6号住南半埋土中層	台石	8.9	4.3	2.3	165.0	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

第145図 IV B 6号住居跡出土遺物(5)

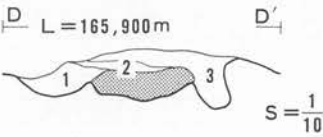


No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4
径 cm	30×26	36×32	28×20	20×18
深さ cm	44	57	55	38

No.	PP 5	PP 6	PP 7	PP 8
径 cm	φ20	28×(20)	(22)×20	(50)×34
深さ cm	11	25	33	24

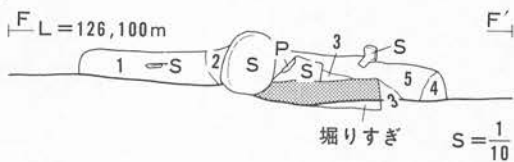
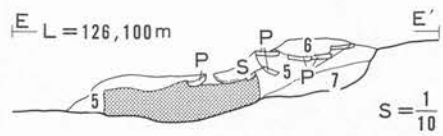


- C-C'
- 7.5YR 7.5R 暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロックを含む
 - 7.5YR 7.5R 暗褐色土 焼土粒、炭化物わずかに含む
 - 5YR 5R 赤褐色土 汚れ粘土
 - 7.5YR 7.5R 褐色土 炭化物、焼土を多く含む
 - 7.5YR 7.5R 暗褐色土 炭化物、焼土を含む
 - 7.5YR 7.5R 褐色土 炭化物、焼土、火山灰ブロックを含む
 - 6に似るが火山灰ブロックを含まない
 - 7.5YR 7.5R 褐色土 焼土、火山灰を含む
 - 5YR 5R 赤褐色土 焼土

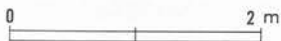


- D-D'
- 7.5YR 7.5R 褐色土 炭化物、焼土粒含む
 - 5YR 5R 赤褐色土 焼土
 - 1.に似るが焼土、炭化物がふえる

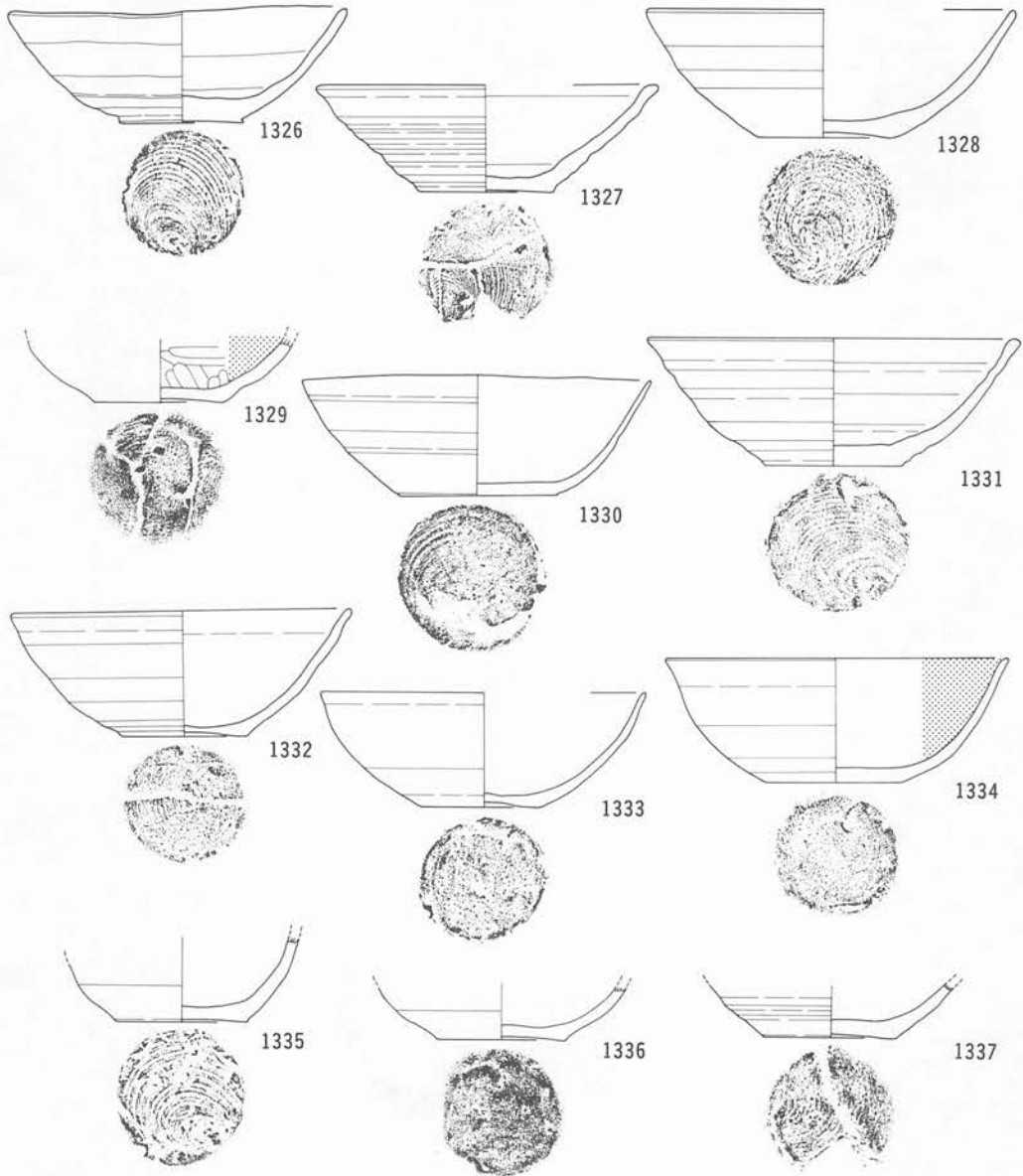
- A-A' B-B'
- 10YR 10YR 黒褐色土 火山灰・炭化物粒をわずかに含む
 - 10YR 10YR 黒褐色土 焼土、火山灰・炭化物粒子を1・3層より多く含む
 - 10YR 10YR 黒褐色土 火山灰・炭化物をわずかに含む
 - 10YR 10YR 黒褐色土に火山灰ブロックが入る
 - 10YR 10YR 黒褐色土 炭化物をわずかに含む
 - 10YR 10YR 黒褐色土 火山灰を多量に含む
 - 10YR 10YR 黒褐色土 火山灰を多量に含み、焼土ブロックを含む



- E-E' F-F'
- 10YR 10YR 黒褐色土 火山灰、焼土粒子、炭化物をわずかに含む
 - 10YR 10YR 暗赤褐色土 火山灰ブロック、焼土粒を含む
 - 7.5YR 7.5R 褐色土 粘土質焼土ブロックと黒褐色土を少量含む
 - 5YR 5R 赤褐色土 焼土ブロックを含み、火山灰炭化物を少量含む
 - 5YR 5R 暗赤褐色土 火山灰と焼土粒を多量に含む
 - 7.5YR 7.5R 暗褐色土 火山灰をブロック状に炭化物も少量含む
 - 10YR 10YR 黒褐色土 焼土、火山灰少量含む
 - 5YR 5R 赤褐色土 固くしまっている
 - 5YR 5R 暗褐色土



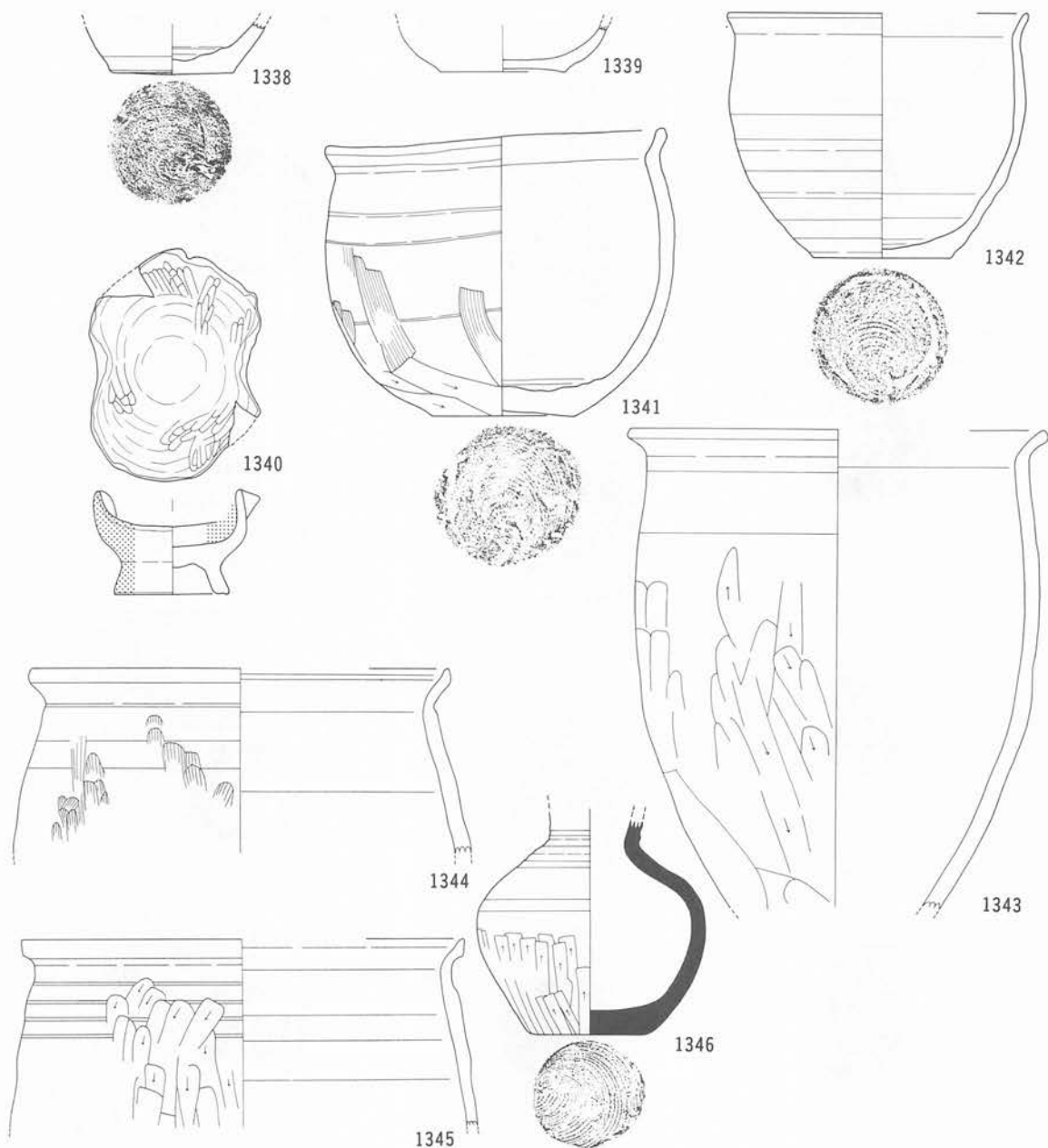
第146図 VIB 7号住居跡



$$S = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1326	IVB 7号住・カマド	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		13.7	4.7	5.0	B II a類	
1327	IVB 7号住・カマド	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		(13.7)	4.3	5.4	B II a類	
1328	IVB 7号住・カマド	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕				(14.9)	5.2	5.6	B II a類	
1329	IVB 7号住・カマド	土師器坏	ロクロ	—		再調整	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	(2.5)	5.4	B I b類	黑色処理
1330	IVB 7号住・P1埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整				14.0	4.8	6.4	B II b類	
1331	IVB 7号住・P1埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		15.0	5.1	5.5	B II a類	
1332	IVB 7号住・P1埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整	ロクロ痕			13.7	5.1	5.1	B II b類	
1333	IVB 7号住・P1埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整				(13.1)	5.7	4.9	B I b類	
1334	IVB 7号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整				13.9	5.0	5.5	B I b類	黑色処理
1335	IVB 7号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—			—	(3.5)	5.2	B II a類	
1336	IVB 7号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	ロクロ痕	再調整	—			—	(2.3)	5.2	B II b類	
1337	IVB 7号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—			—	(2.1)	5.3	B II a類	

第147図 IVB 7号住居跡出土遺物(1)

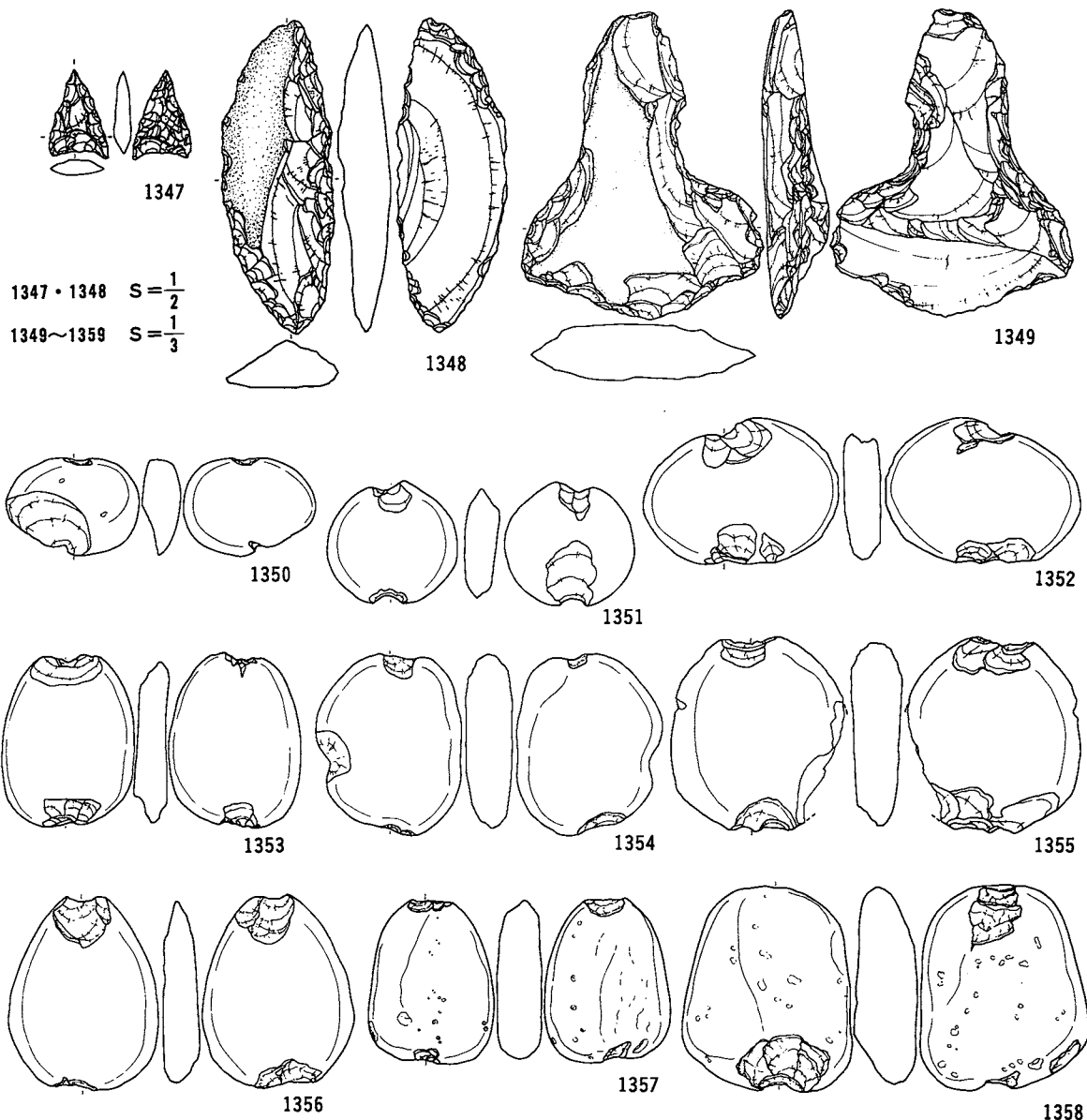


1338~1342・1346 $S = \frac{1}{3}$

1343~1345・ $S = \frac{1}{4}$

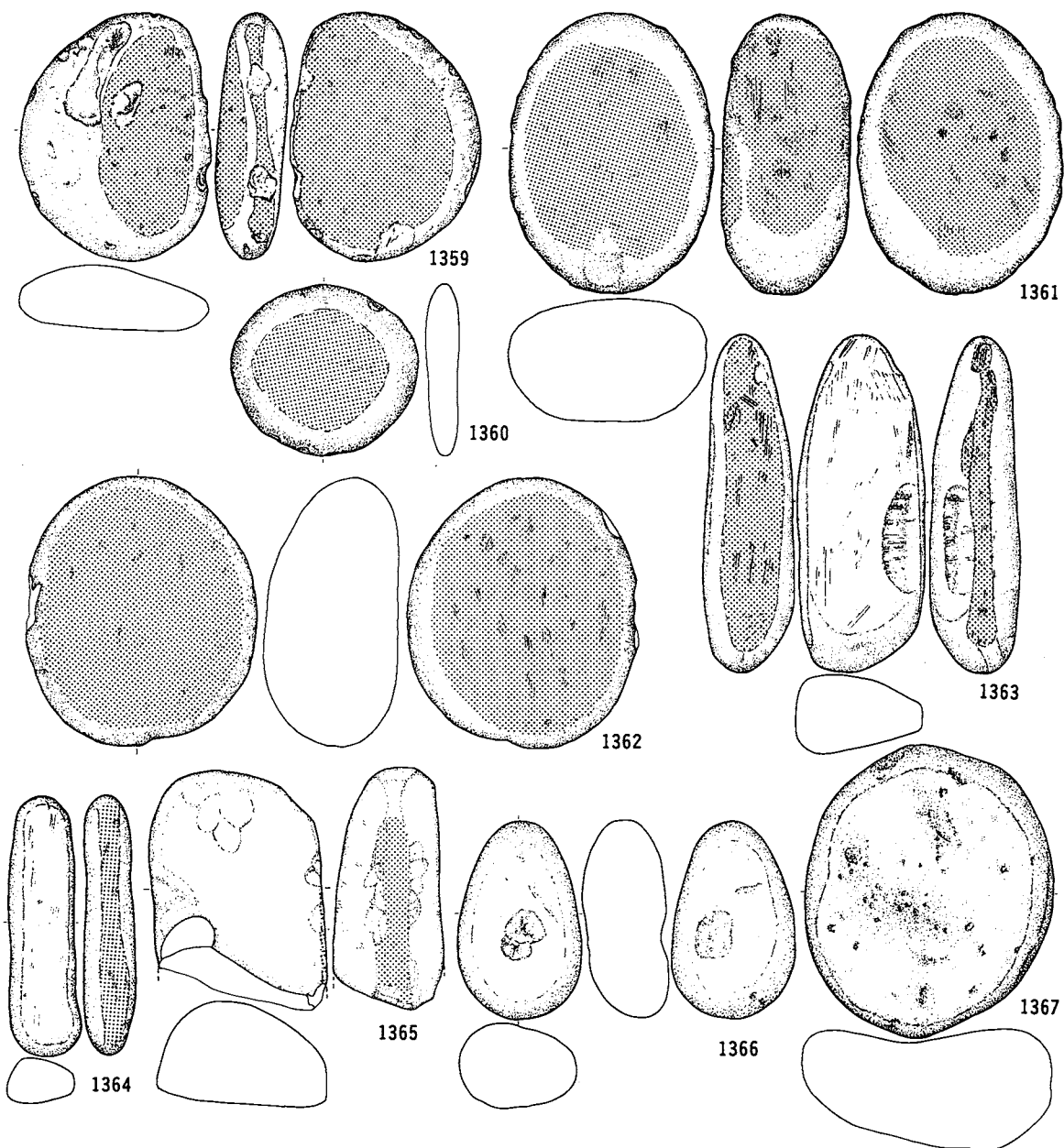
No	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1338	IV B 7号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(2.1)	5.4	B II a類	
1339	IV B 7号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—			—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(2.0)	5.6	II c類	
1340	IV B 7号住・埋土	耳皿	ロクロ				ロクロ痕	ヘラミガキ	ロクロ痕	10.2	4.6	5.1		黑色処理
1341	IV B 7号住・カマド	土師器鉢	ロクロ	ロクロ痕	ナデケズリ	回転糸切り痕	ロクロ痕		ロクロ痕	15.0	12.6	6.2	B II b類	
1342	IV B 7号住・P1埋土	土師器鉢	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕		ロクロ痕	(13.2)	10.7	6.0	B II a類	
1343	IV B 7号住・カマド	土師器鉢	ロクロ	ロクロ痕	ヘラケズリ	—	ロクロ痕		—	(24.6)	(27.8)	—	B I a類	
1344	IV B 7号住・カマド	土師器鉢	ロクロ	ロクロ痕	ヘラナデ	—	ロクロ痕		—	(24.8)	(10.9)	—	B I b類	
1345	IV B 7号住・埋土	土師器鉢	ロクロ	ロクロ痕	ヘラケズリ	—	ロクロ痕		—	(26.0)	(11.0)	—	B I b類	
1346	IV B 7号住・埋土	須恵器壺	ロクロ	—	ヘラケズリ	回転糸切り痕	—			—	(10.2)	5.0		

第148図 IV B 7号住居跡出土遺物(2)



No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1347	IV B 7号住Q 4埋土	石錘	2.5	1.7	0.6	1.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1348	IV B 7号住埋土下部	削器	8.9	3.2	1.5	34.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 or 琴石西部	新第三系中新統	
1349	IV B 7号住埋土6層	石鍬	13.0	10.2	3.1	255.0	粘板岩	夏油川~仙人	古生界	
1350	IV B 7号住Q 4埋土	石錘	4.1	5.6	1.6	40.1	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1351	IV B 7号住埋土下部	石錘	5.1	5.5	1.5	55.1	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	*
1352	IV B 7号住埋土下部	石錘	6.2	8.2	1.6	95.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
1353	IV B 7号住西側壁焼土埋土	石錘	7.4	5.5	1.6	90.1	テイスait	羽山~本畑	新第三系中新統	
1354	IV B 7号住P 2西半埋土	石錘	7.6	6.2	1.9	130.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1355	IV B 7号住埋土	石錘	8.2	7.1	2.1	140.0	テイスait質凝灰岩	羽山~本畑	新第三系中新統	*
1356	IV B 7号住Q 2埋土	石錘	8.3	6.5	1.7	100.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1357	IV B 7号住Q 4埋土	石錘	7.0	5.3	2.0	110.0	変質安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1358	IV B 7号住Q 4埋土	石錘	8.6	7.4	2.8	225.0	テイスait	羽山~本畑	新第三系中新統	

第149図 IV B 7号住居跡出土遺物(3)



1359~1366 $S = \frac{1}{3}$

$S = \frac{1}{4}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1359	IVB 7号住Q 3埋土	すり石	10.7	8.2	2.8	390.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
1360	IVB 7号住Q 3埋土	すり石	8.1	7.4	1.4	100.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1361	IVB 7号住埋土下部	すり石	12.1	8.8	5.8	870.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1362	IVB 7号住埋土下部	すり石	11.8	9.9	6.0	1010.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1363	IVB 7号住Q 3貼床内	特殊磨石	14.6	5.5	3.5	445.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1364	IVB 7号住Q 4埋土	特殊磨石	11.3	3.2	2.0	100.0	アルコース砂岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1365	IVB 7号住埋土下部	特殊磨石	9.6	7.5	5.6	445.0	緑石凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
1366	IVB 7号住埋土下層	凹石	8.6	5.1	3.7	230.0	濃緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1367	IVB 7号住Q 1	凹石	17.0	14.4	7.0	2650.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	

第150図 IVB 7号住居跡出土遺物(4)

く締まった部分がみられる。〈柱穴〉 PP1～PP8が検出されたが、PP1～PP4が主柱穴と考えられる。〈カマド〉 東側は、東壁の北寄りに構築されている。袖部分のものと思われる10～30cmの垂角礫が、散乱した状態で出土している。燃焼部は40×30cm、厚さ12cmで、良く焼けて締まっている。煙道部は検出されなかった。南側は、南壁の東端に構築されている。袖部分のものと思われる10～20cmの垂角礫や垂円礫が、散乱した状態で出土している。燃焼部は70×50cm、厚さ最大15cmである。煙道部は検出されなかった。

遺物 (第147～150図、写真図版173～175)

〈土器〉 図化できた個体が21点で、その内訳は土師器の坏14点、甕5点、耳皿1点、須恵器の壺1点である。それ以外の破片は合わせて大コンテナ1箱程出土している。

〈石器〉 登録したものが24点、フレークが50点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘9点、すり石5点、特殊磨石3点、削器、凹石各2点、Uフレ、石鏃、石鋸各1点

IVB8号住居跡

遺構 (第151図、写真図版22)

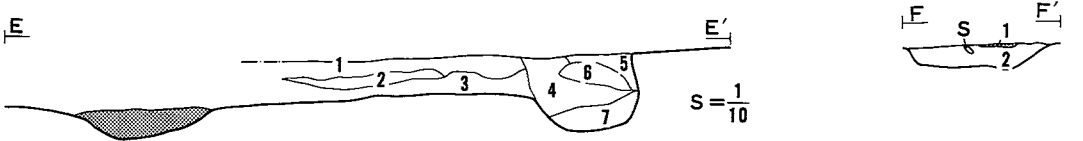
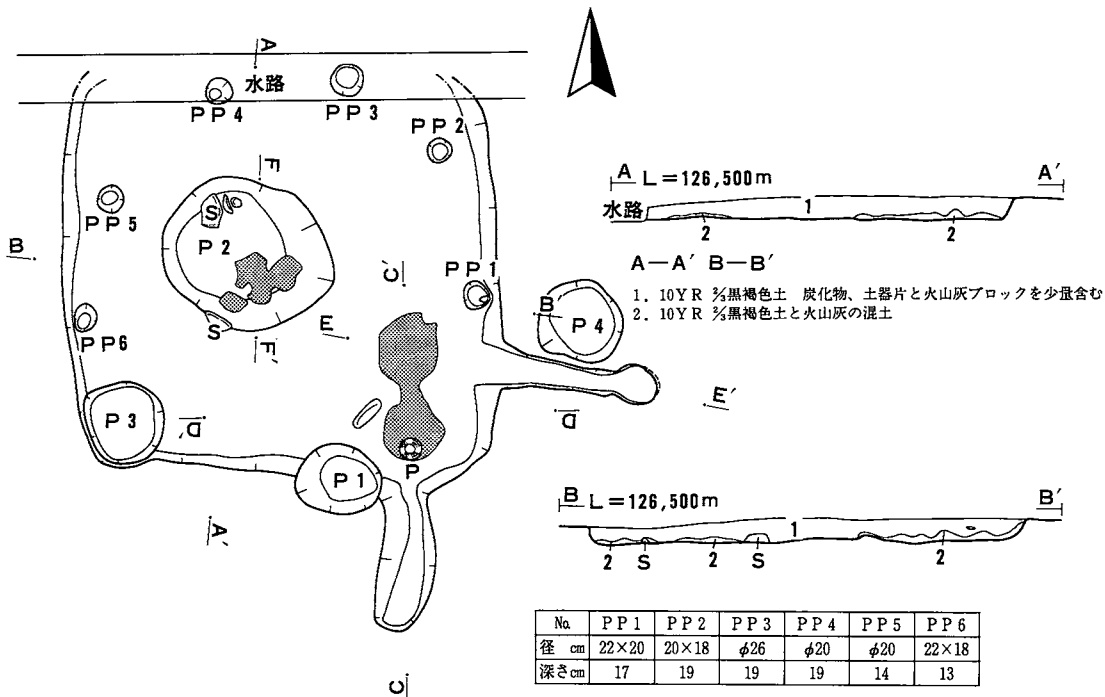
〈検出状況〉 調査区ほぼ中央のIV10c区付近に位置し、北側を水路に切られる。作りかえと思われる2基の煙道部が検出された。〈平面形〉 ほぼ隅丸方形 〈規模〉 3.4×(3.2)m 〈壁高〉 8～19cm 〈主軸方向〉 東側はS-89°-E、南側はS-2°-W 〈埋土〉 ほぼ単層に近く、炭化物、火山灰まじりの黒褐色土が入る。〈床面〉 ほぼ中央部に140×120cm、深さ最大20cmの浅皿状の土坑P2が検出された。上部に2cm程の厚さの焼土が入るが、遺物は出土しなかった。そのほか遺構に伴うと考えられる土坑が、P1、P3、P4の3基検出されたが、いずれからも遺物の出土はなかった。〈柱穴〉 P2を囲むように、ほぼ半円状にPP1～PP6が巡る。〈カマド〉 東側、南側ともに煙道部と焼土の広がりを確認できたのみであった。東側の燃焼部は60×50cm、厚さ11cmで良く焼けて固く締まっている。煙道部は掘り込み式で煙出口は円形の土坑状を呈する。南側の燃焼部は50×45cm、厚さ最大9cmで良く焼けて固く締まり、その上から完形の土師器の甕が伏せた状態で出土している。煙道部は掘り込み式である。

遺物 (第152・153図、写真図版176)

〈土器〉 図化できた個体が8点で、その内訳は土師器の坏2点、甕4点、須恵器の坏と壺各1点である。それ以外の破片は合わせて大2袋程出土している。

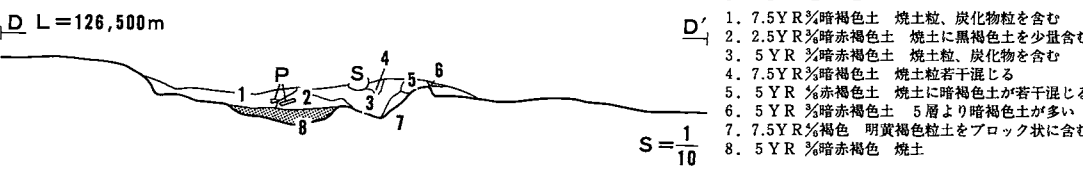
〈石器〉 登録したものが13点、フレークが95点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘7点、石鏃3点、削器2点、コア1点

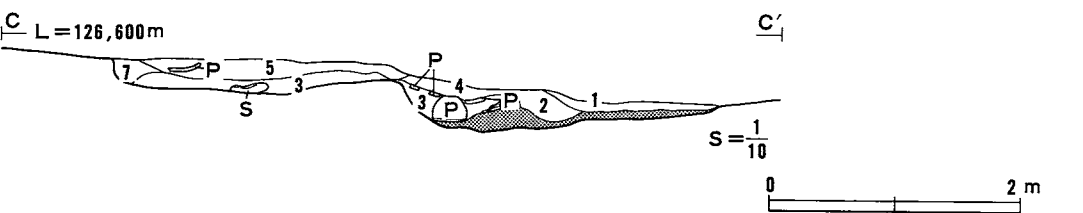


- E-E'**
- 10YR 1/2 黒褐色土 焼土粒と炭化物をわずかに含む
 - 5 YR 1/2 赤褐色土 黒褐色土を多く含む
 - 10YR 1/2 黒褐色土 焼土粒が1層より少なく、火山灰を多く、炭化物はわずかに含む
 - 10YR 1/2 黒褐色土 火山灰ブロックを多く、焼土粒・炭化物を少し含む
 - 10YR 1/2 黒褐色土 焼土ブロック、火山灰ブロック多く含む
 - 10YR 1/2 褐色土粘土質 炭化物、焼土粒をわずかに含む
 - 10YR 1/2 暗褐色土 炭化物、火山灰を含む
 - 5 YR 1/2 焼土、黒褐色土がわずかに混じる

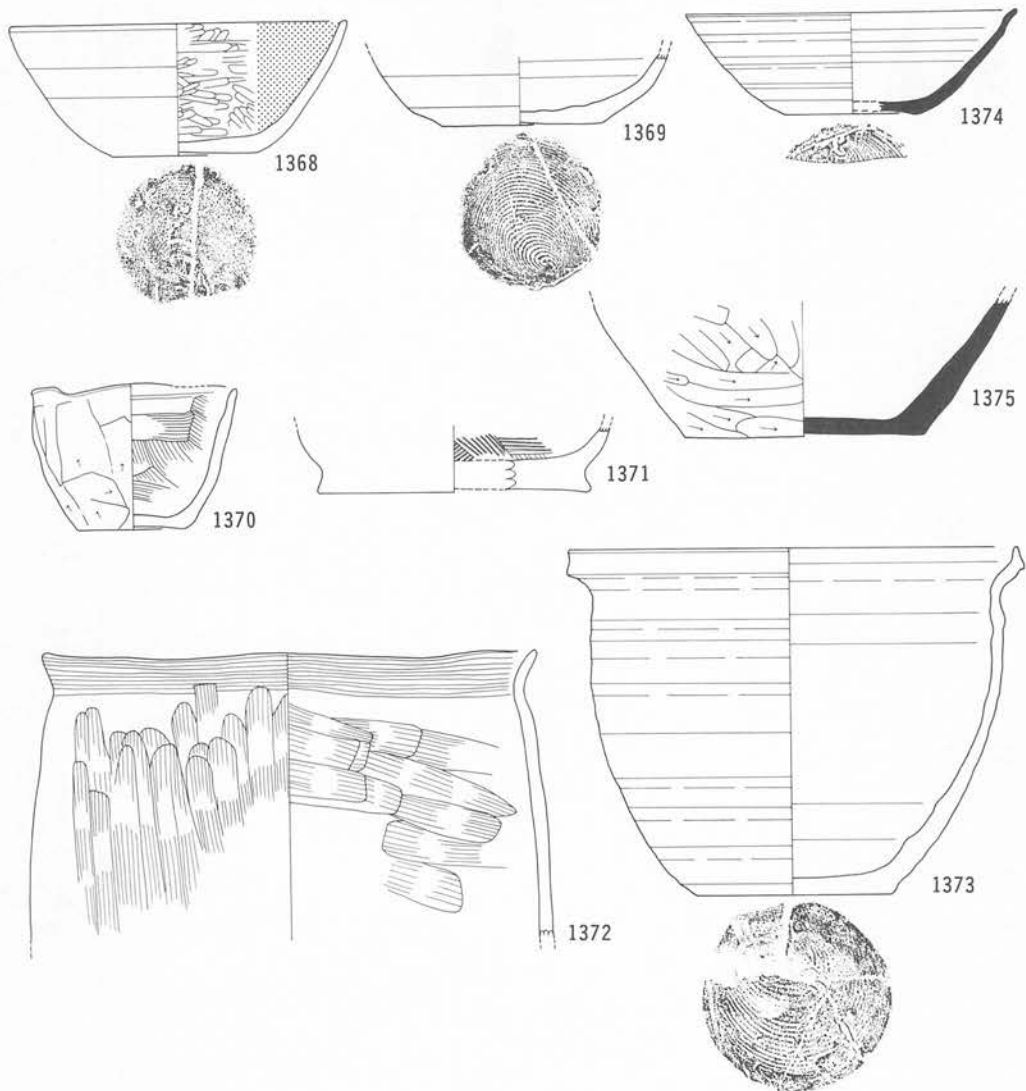
- F-F'**
- 5 YR 1/2 暗赤褐色土 固くしまっている、炭化物を少量含む
 - 10YR 1/2 暗褐色土 火山灰を多量に含む



- C-C' D-D'**
- 7.5YR 1/2 暗褐色土 焼土粒、炭化物粒を含む
 - 2.5YR 1/2 暗赤褐色土 焼土に黒褐色土を少量含む
 - 5 YR 1/2 暗赤褐色土 焼土粒、炭化物を含む
 - 7.5YR 1/2 暗褐色土 焼土粒若干混じる
 - 5 YR 1/2 赤褐色土 焼土に暗褐色土が若干混じる
 - 5 YR 1/2 暗赤褐色土 5層より暗褐色土が多い
 - 7.5YR 1/2 褐色 明黄褐色粒土をブロック状に含む
 - 5 YR 1/2 暗赤褐色 焼土



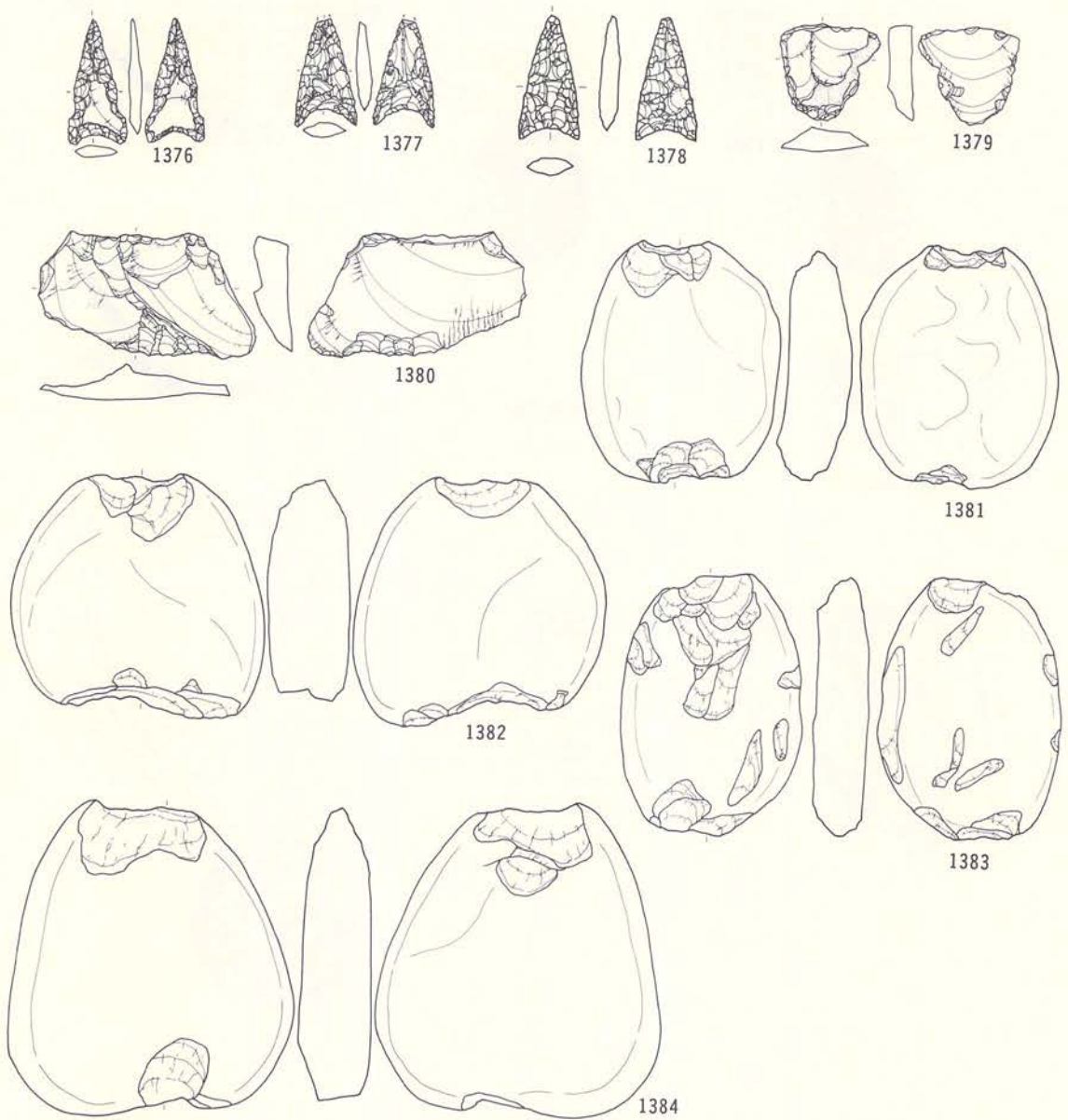
第151図 IV B 8号住居跡



$$S = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1368	IV B 8号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整	ヘラミガキ	ヘラミガキ	ヘラミガキ	13.4	5.2	5.8	B I b類	黑色処理
1369	IV B 8号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ロクロ痕	—	(2.7)	6.3	—	B II a類	—
1370	IV B 8号住・埋土	土師器甕	非ロクロ	ヘラケズリ	ヘラケズリ	—	ヘラナデ	ヘラナデ	—	8.2	5.8	4.4	A II a類	—
1371	IV B 8号住・埋土	土師器甕	—	—	—	—	—	—	ハケメ	—	—	(10.8)	—	—
1372	IV B 8号住・カマド	土師器甕	—	ヨコナデ	ヘラナデ	—	ヨコナデ	ヘラナデ	—	19.7	(11.5)	—	I b類	—
1373	IV B 8号住・カマド	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕	—	17.8	13.8	7.7	B II a類	—
1374	IV B 8号住・カマド	須恵器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(13.2)	4.1	(5.4)	—	—
1375	IV B 8号住・埋土	須恵器壺	—	—	ヘラケズリ	—	—	—	—	—	(5.3)	(9.6)	—	—

第152図 IV B 8号住居跡出土遺物(1)



$$s = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1376	IVB 8号住Q 3	石鎌	3.5	1.7	0.3	1.7	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1377	IVB 8号住ベルト埋土	石鎌	3.1	1.3	0.4	1.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1378	IVB 8号住Q 4	石鎌	3.6	1.7	0.5	2.3	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1379	IVB 8号住Q 2	削器	2.7	2.5	0.7	6.2	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1380	IVB 8号住Q 2	削器	3.6	0.6	1.0	19.5	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
1381	IVB 8号住Q 2	石錘	6.9	5.6	1.9	105.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1382	IVB 8号住床直上	石錘	6.9	7.2	2.4	125.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1383	IVB 8号住Q 2	石錘	7.4	5.2	1.7	90.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1384	IVB 8号住床直上	石錘	8.6	8.1	2.1	240.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第153図 IVB 8号住居跡出土遺物(2)

IV B 2号住居跡

遺構 (第154図、写真図版23)

<検出状況> 調査区ほぼ中央のVB 6 a区付近に位置する。<平面形> ほぼ隅丸方形 <規模> 3.4×3.3m <壁高> 8~18cm <主軸方向> N-85°-E <埋土> ほぼ単層で炭化物、焼土粒まじりの暗褐色土が入る。<床面> P 1~P 6が検出され、P 1からは完形に近い土師器の坏が出土した。また、北壁から西壁にかけて最大幅110cm、深さ16cmの貼り床がL字状に施される。<柱穴> PP1~PP10まで検出された。主柱穴はPP 1~PP 4と考えられる。<カマド> 住居跡内に3基の焼土が検出されたが、南側の2基は床面から6~8cm浮いており、北側の1基は良く焼けて締まっているので、東壁の北寄りのものがカマドになると考えられる。袖部分の礫は残存しない。燃烧部は60×50cmの楕円形で、厚さは最大8cmである。煙道部は検出されなかった。

遺物 (第155~157図、写真図版177~179)

<土器> 図化できた個体が12点で、その内訳は土師器の坏10点、高台付坏1点、縄文土器1点である。また、底部片3点、拓本として掲載した破片1点である。それ以外の破片は合わせて大コンテナ1箱程出土している。

<石器> 登録したものが25点、フレークが41点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘11点、特殊磨石2点、Rフレ、コア、石鏃、尖頭器、削器、鋸歯状石器、すり石、凹石、敲石、台石、円盤状石製品、男根状石製品各1点

IV C 1号住居跡

遺構 (第154図、写真図版24)

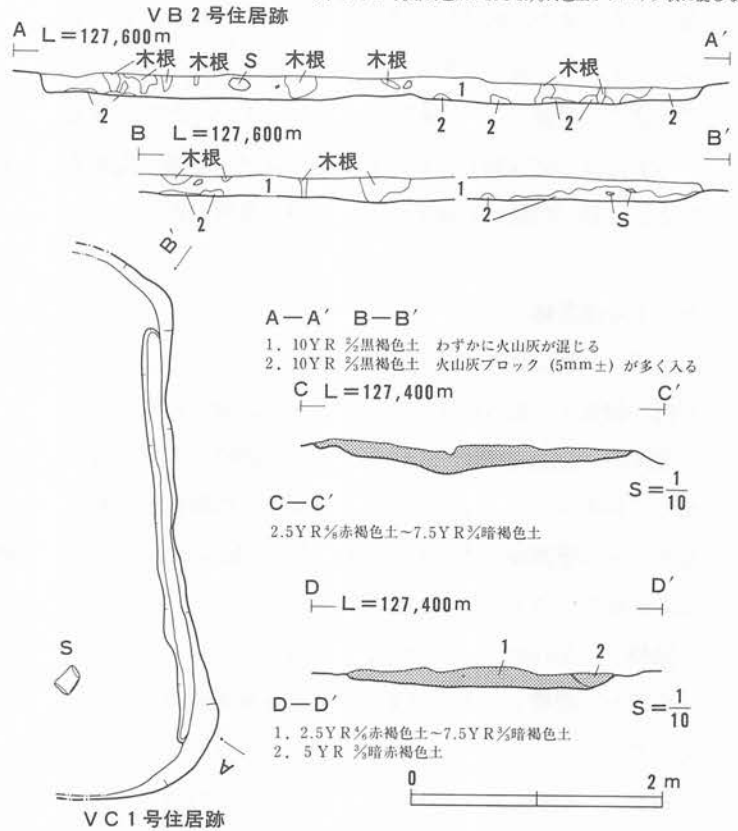
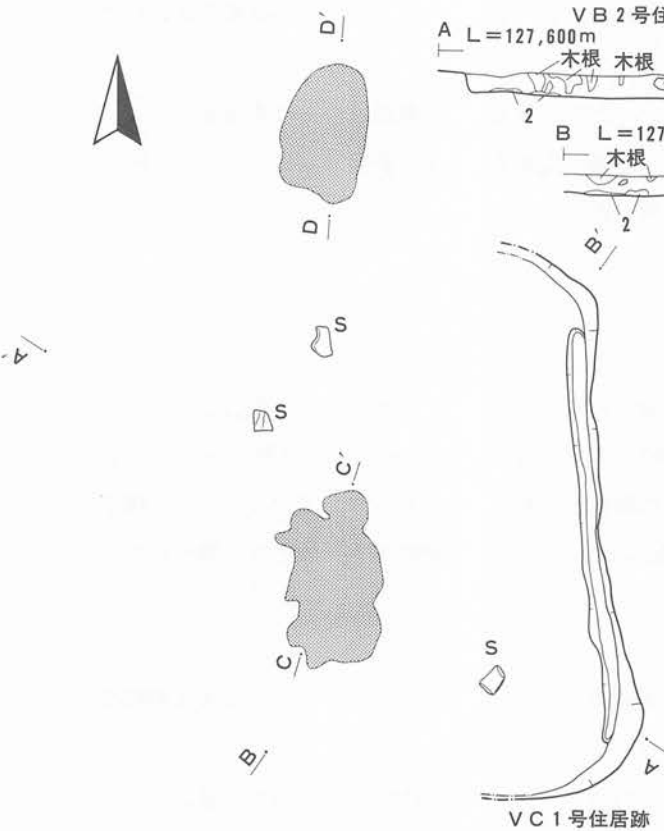
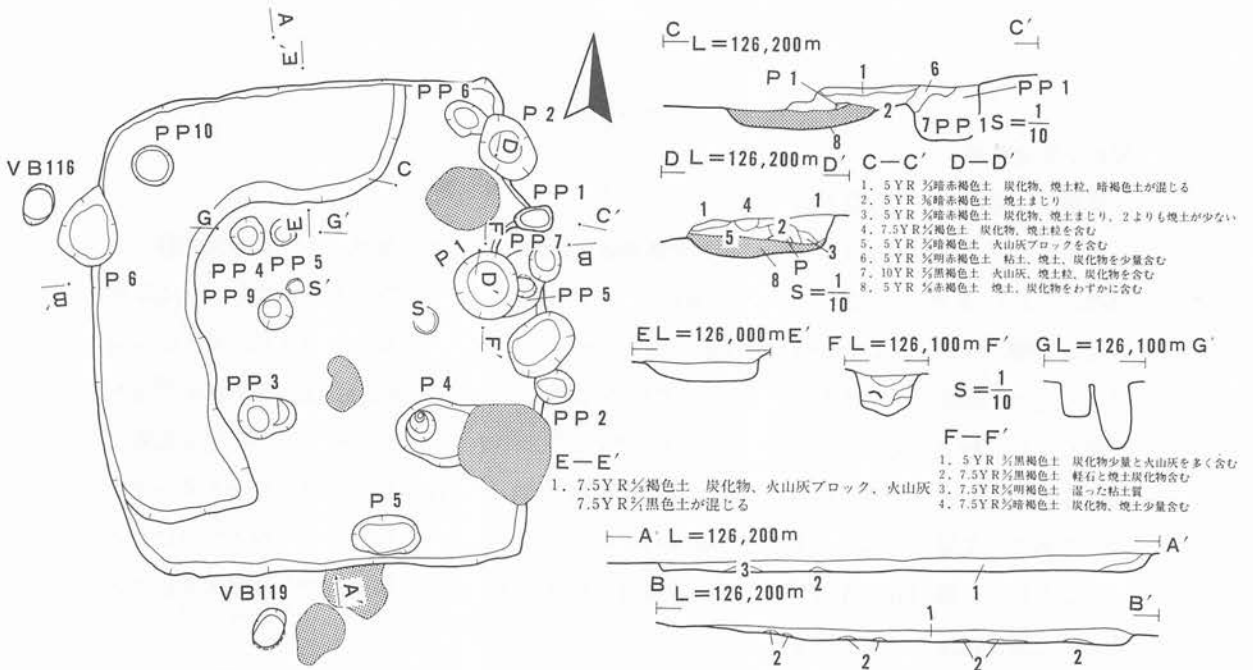
<検出状況> 調査区東寄りのVC 9 b区付近に位置し、削平のため東側しか残存しない。<平面形> 隅丸方形と考えられる。<規模> (4.5)m四方 <壁高> 東壁のみで3~9cm <埋土> ほぼ単層で、火山灰まじりの黒褐色土が入る。<床面> 東側に幅20cm、深さ最大4cmの壁溝が巡る。また、ほぼ中央に135×75cm、厚さ8cmの黒褐色土まじりの焼土がみられる。柱穴、カマドとも検出されなかった。

遺物 (第158図、写真図版179・180)

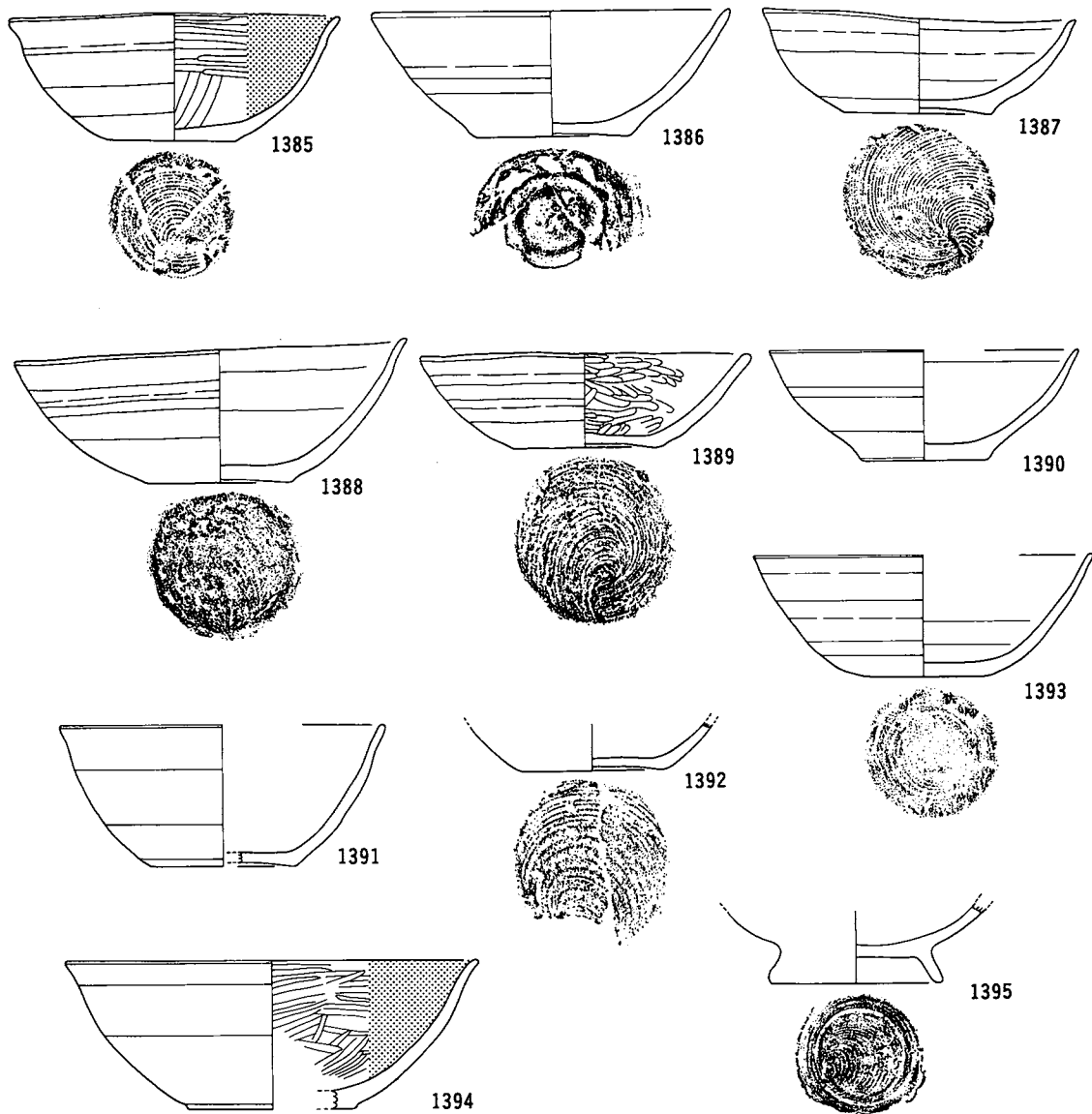
<土器> 掲載したものは縄文土器の拓本1点のみで、それ以外の破片は合わせて大2袋程出土している。

<石器> 登録したものが20点、フレークが72点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘16点、石匙2点、石鏃、凹石各1点



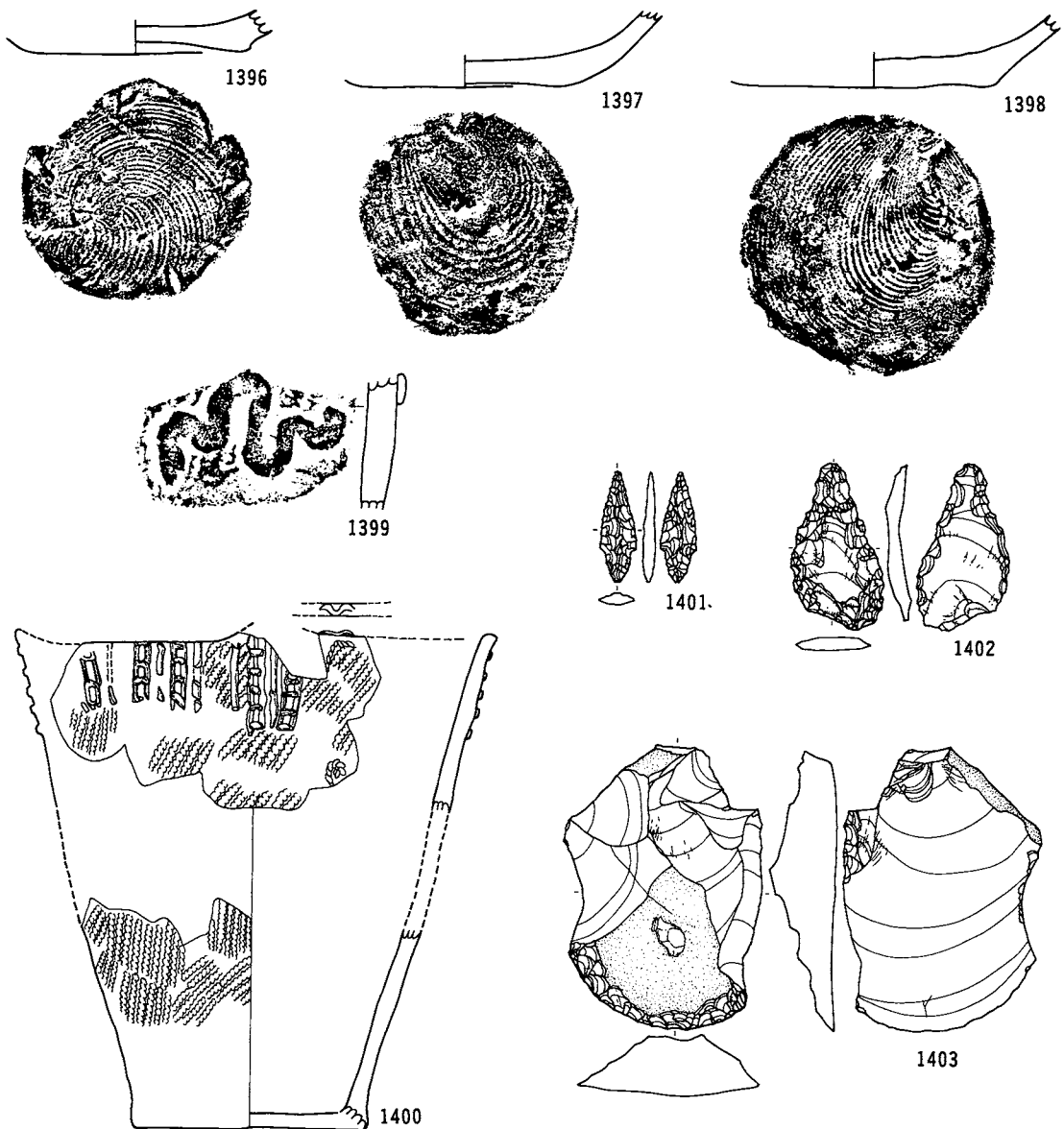
第154図 VB 2号・VC 1号住居跡



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口徑	器高	底徑		
1385	VB 2号住・P 1埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ヘラミガキ	ヘラミガキ		13.7	5.3	5.2	B I a類	黑色処理
1386	VB 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ	ロクロ	連続圧痕				14.8	5.2	6.6	B II c類	
1387	VB 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕		12.8	4.3	6.0	B II a類	
1388	VB 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整	ロクロ痕	ロクロ痕		16.2	5.9	5.0	B II b類	
1389	VB 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ヘラミガキ	ヘラミガキ	ヘラミガキ	13.6	3.9	6.2	B II a類	
1390	VB 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕		ロクロ痕			(12.8)	4.5	5.2	B II c類	
1391	VB 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕					(13.4)	5.9	(6.0)	B II c類	
1392	VB 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	(1.9)	6.2	B II a類	
1393	VB 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整		ロクロ痕		(14.1)	5.0	5.5	B II b類	
1394	VB 2号住・埋土	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕		ヘラミガキ	ヘラミガキ		(17.1)	6.1	(7.0)	B I c類	黑色処理
1395	VB 2号住・埋土	高台付坏	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	(3.3)	7.3		

第155図 VB 2号住居跡出土遺物(1)



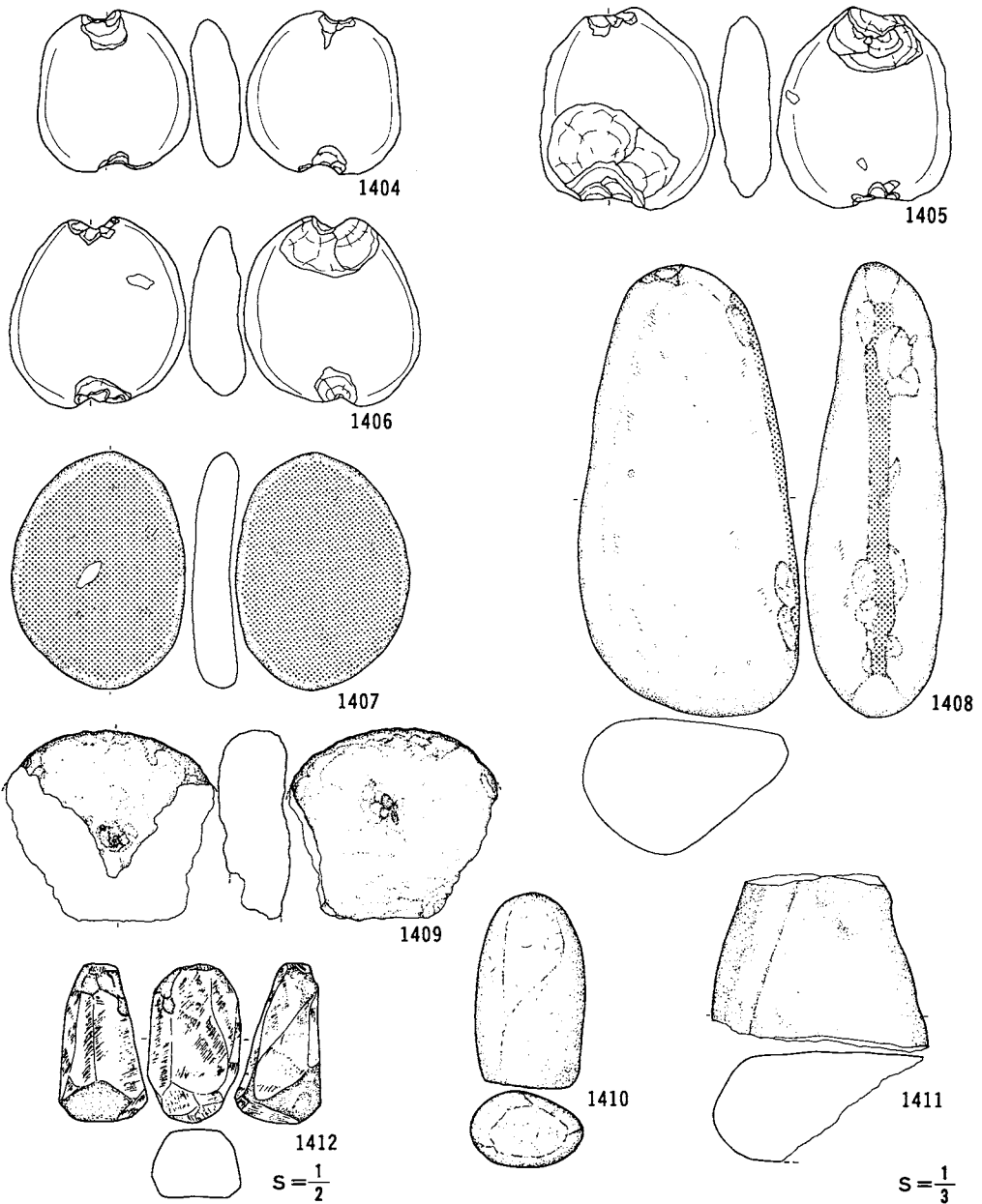
1396~1399・1401~1403 $S = \frac{1}{2}$ 1400 $S = \frac{1}{4}$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1396	VB 2号住・埋土	土師器杯	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	6.2	B II a類		
1397	VB 2号住・P 1埋土	土師器杯	ロクロ	—	—	再調整	—	—	—	—	6.1	B II b類		
1398	VB 2号住・P 1埋土	土師器杯	ロクロ	—	—	再調整	—	—	—	—	7.0	B II b類		

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1399	VB 2号住・埋土	胴部	へび状の粘土紐貼付、LRヨコ	深鉢
1400	VB 2号住・埋土	口~底部	平縁で4単位程度の突起、口唇部に小波状の粘土紐、梯子状粘土紐、LRヨコ、ナナメ	深鉢A 2類

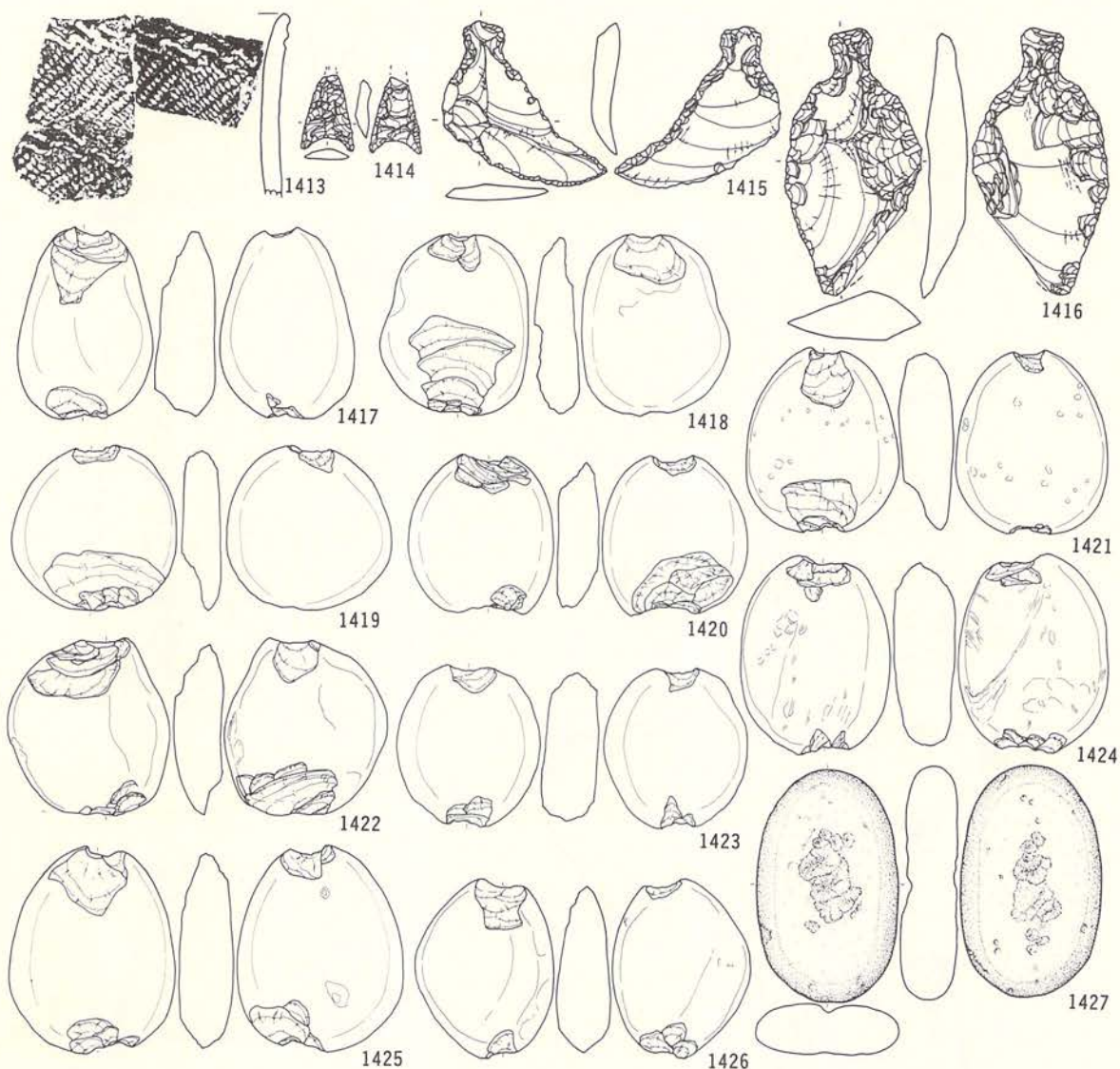
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1401	VB 2号住埋土下部	石鏃	3.0	1.0	0.3	0.8	珪質泥岩	川尻以西or雫石西部	新第三系中新統	
1402	VB 2号住Q 4埋土	尖頭器	4.6	2.5	0.3	4.3	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1403	VB 2号住埋土下部	削器	7.7	5.4	1.7	80.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or雫石西部	新第三系中新統	

第156図 VB 2号住居跡出土遺物(2)



№	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1404	VB 2号住埋土上部	石錘	6.6	6.3	1.9	110.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1405	VB 2号住埋土上部	石錘	8.2	7.1	2.2	180.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
1406	VB 2号住P14埋土下部	石錘	7.8	7.1	2.4	160.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*
1407	VB 2号住埋土上部	すり石	9.7	7.1	2.1	160.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1408	VB 2号住埋土下部	特殊磨石	18.5	9.0	5.9	1040.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1409	VB 2号住埋土下部	四石	16.7	15.6	5.7	1790.0	両輝石安山岩(溶岩流)	駒岳火山群	第四系	*
1410	VB 2号住Q 3埋土	蔽石	8.1	4.5	3.0	160.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1411	VB 2号住Q 3埋土	台石	7.3	9.0	3.2	270.0	流紋岩質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1412	VB 2号住Q 1	石製品(全面擦底)	4.3	2.4	1.9	33.2	緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第157図 VB 2号住居跡出土遺物(3)



1413・1417~1427 S = $\frac{1}{3}$ 1414~1416 S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1413	VC 1号住・埋土	口~胴部	結節したLRヨコ	深鉢B15類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1414	VC 1号住Q 3埋土上部	石鎌	2.0	1.4	0.3	0.8	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
1415	VC 1号住Q 3埋土上部	石匙	4.5	4.7	0.6	7.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1416	VC 1号住Q 3埋土上部	石匙	7.4	3.8	1.3	28.6	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1417	VC 1号住埋土下部	石錘	7.9	5.7	2.5	150.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1418	VC 1号住埋土下部	石錘	7.5	6.1	2.1	120.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1419	VC 1号住埋土下部	石錘	6.9	6.9	1.8	120.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1420	VC 1号住Q 4埋土	石錘	6.6	6.0	1.7	100.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1421	VC 1号住埋土下部	石錘	7.7	6.4	2.4	145.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1422	VC 1号住埋土下部	石錘	7.4	6.7	2.1	100.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1423	VC 1号住埋土下部	石錘	6.7	6.0	2.4	145.0	テイスサイト	羽山~本畑	新第三系中新統	
1424	VC 1号住埋土下部	石錘	8.3	6.3	2.6	200.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1425	VC 1号住埋土下部	石錘	8.5	6.9	2.5	180.0	変質安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1426	VC 1号住埋土下層	石錘	7.5	5.8	2.2	115.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1427	VC 1号住Q 1埋土	凹石	9.7	5.9	2.3	190.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第158図 VC 1号住居跡出土遺物

2. 住居跡状遺構

VI B 1号住居跡状遺構

遺構 (第159図、写真図版25)

<検出状況> 調査区東寄りのVI B 6 g区付近に位置する。<平面形> 開口部、底部ともにそらまめ型。<規模> 開口部径3.5×2.5m、底部径3.3×2.2m、深さ最大20cm。<埋土> 上部に炭化物、火山灰まじりの暗褐色土、下部に褐色土が入る。

遺物 (第160図、写真図版180)

<土器> 掲載したものは縄文土器の拓本1点のみで、それ以外の破片は合わせて大1袋程出土している。

<石器> 登録したものが7点、フレークが4点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘3点、Rフレ2点、削器、円盤状石製品各1点

VI B 2号住居跡状遺構

遺構 (第159図、写真図版25)

<検出状況> 調査区東寄りのVI B 5 g区付近に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<規模> 開口部径3.7×3.2m 底部径3.4×2.9m 深さ最大37cm。<底面> ほぼ全体にわたり壁溝が巡る。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。

遺物 (第160図、写真図版180)

<土器> 図化できた個体は土師器の坏1点のみである。それ以外の破片は合わせて大1袋程出土している。

<石器> 登録したものが7点、フレークが35点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘2点、石鏃、石匙、搔器、凹石、石剣各1点

VI B 4号住居跡状遺構

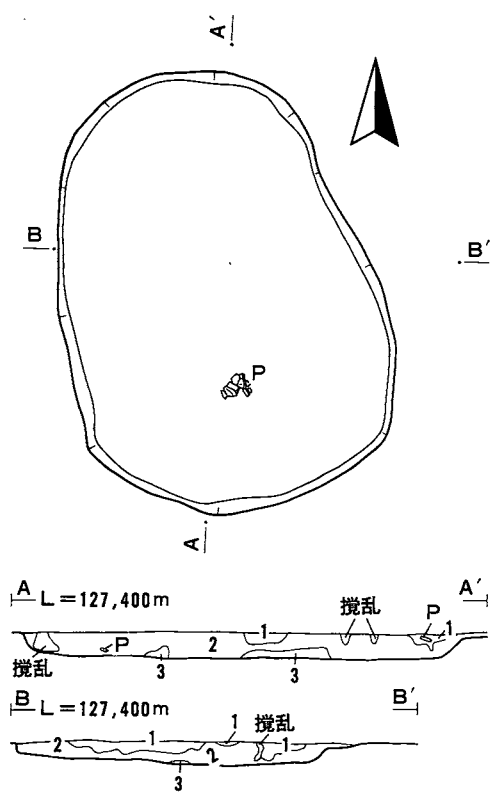
遺構 (第159図、写真図版25)

<検出状況> 調査区東寄りのVI B 5 h区付近に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<規模> 開口部径4.2×3.5m、底部径4.0×3.3m、深さ最大20cm。<埋土> ほぼ単層で、シルト質の暗褐色土が主体をなす。

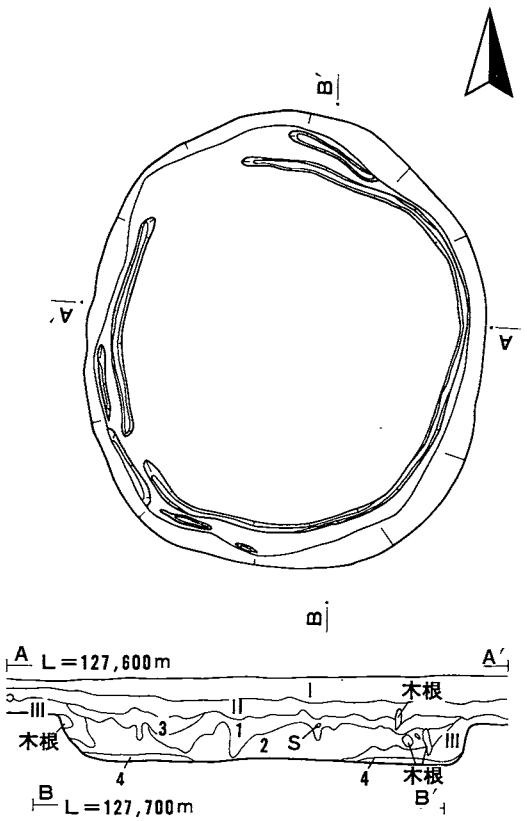
遺物 (第160図、写真図版180)

<土器> 縄文土器の破片が小1袋程出土している。

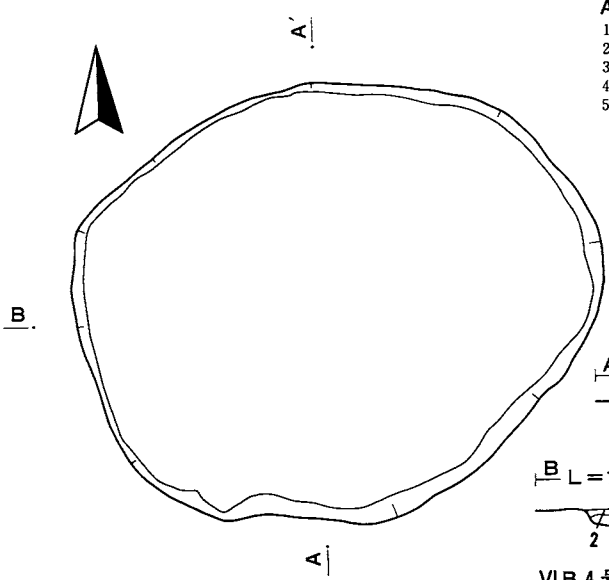
<石器> 登録したものは石鏃の1点のみで、フレークが31点出土している。



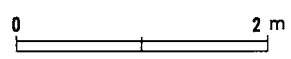
A-A' B-B'
 1. 10Y R 2/3暗褐色土 炭化物・火山灰を含む
 2. 10Y R 2/3褐色土 炭化物・火山灰土を含む
 3. 10Y R 2/3褐色土と火山灰の混土
 IV B 1号住居跡状遺構



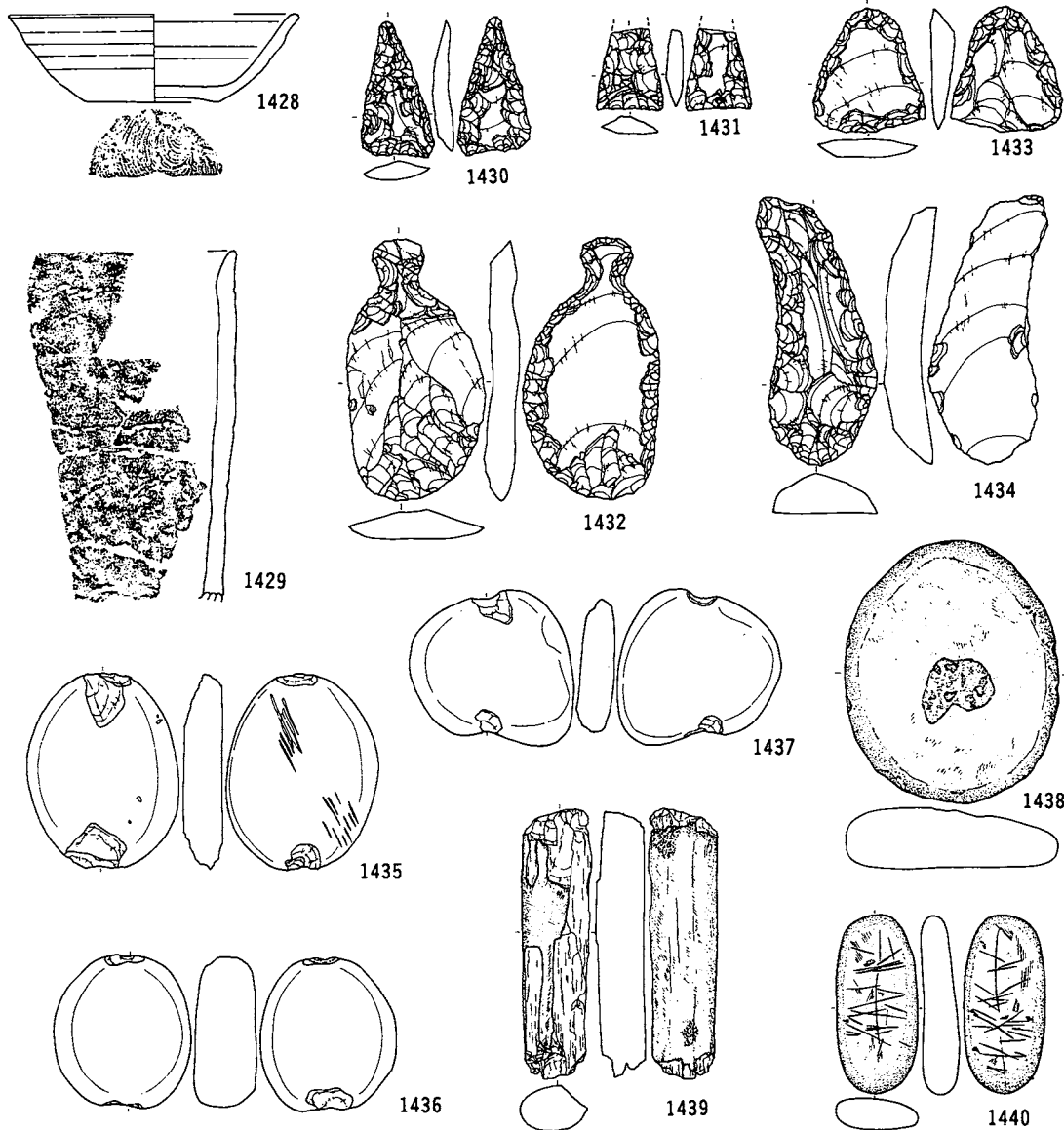
A-A' B-B'
 1. 10Y R 2/3~3/4黒褐色土
 2. 10Y R 2/3~3/4黒褐色土 炭化物、火山灰をわずかに含む
 3. 10Y R 2/3黒褐色土 炭化物、火山灰わずかに含む
 4. 10Y R 2/3暗褐色土と火山灰混土
 5. 10Y R 2/3暗褐色土 火山灰アロックと炭化物少量含む
 IV B 2号住居跡状遺構



A-A' B-B'
 1. 10Y R 2/3暗褐色土
 2. 10Y R 2/3暗褐色土
 3. 10Y R 2/3暗褐色土と7.5Y R 2/3褐色土の混土
 A L=127,500m
 B L=127,500m
 IV B 4号住居跡状遺構



第159図 IV B 1号・2号・4号住居跡状遺構



1428・1429・1435~1440 $S = \frac{1}{3}$ 1430~1434 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考		
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径				
1428	VIB 2号住状遺構・埋土	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕	ロクロ痕				(12.1)	3.6	5.6	B II a類	

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1429	VIB 1号住状遺構・埋土	口~胴部	結節部分が観察できる	深鉢 A 15類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1430	VIB 2号住埋土 2層	石鏃	3.8	2.0	0.5	2.7	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1431	VIB 4号住 Q 2	石鏃	2.3	1.8	0.4	1.6	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
1432	VIB 2号住 Q 1埋土	石鏃	7.2	3.7	0.8	22.8	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
1433	VIB 1号住埋土	三角削器	3.3	3.1	0.6	6.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1434	VIB 2号住 Q 4埋土	撥器	7.3	3.0	1.1	26.7	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1435	VIB 1号住ベルト部埋土	石鏃	8.1	6.2	1.7	115.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1436	VIB 2号住ベルト部埋土	石鏃	6.4	5.7	2.6	145.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1437	VIB 1号住 Q 3埋土	石鏃	5.5	6.7	1.5	105.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1438	VIB 2号住埋土	凹石	10.8	8.8	2.5	350.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
1439	VIB 2号住 Q 1埋土	石剣	11.1	2.8	1.9	95.1	珪化木	羽山~本畑	新第三系中新統	
1440	VIB 1号住 Q 4埋土	円盤状石製品線刻有	7.4	3.4	1.5	43.3	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第160図 VIB 1号・2号・4号住居跡状遺構出土遺物

3. 土坑

I A区土坑

I A 101

遺構 (第161図、写真図版26)

<検出状況> 調査区最西端の I A 9 e 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部径113×96cm、底部径78×58cm、深さ28cm。<埋土> 灰褐色土が主体をなし、底部の一部に黒褐色土が入る。

遺物 (第163～165図、写真図版181・182)

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。<石器> 尖頭器が1点出土している。

I A 102

遺構 (第161図、写真図版26)

<検出状況> 調査区西端の I A 9 d 区に位置する。遺構周辺にII層相当の土の落ち込みがみられる。<平面形> 開口部はほぼ円形、底部は楕円形。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部径95×90cm、底部径84×72cm、深さ43cm。<埋土> 単層で暗褐色土が入る。

遺物 (第163～165図、写真図版181・182)

<土器> 縄文土器の破片が小2袋出土している。<石器> 石筥が1点、フレークが8点出土している。

I A 103

遺構 (第161図、写真図版26)

<検出状況> 調査区西端の I A 10 e 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部径93×78cm、底部径61×50cm、深さ35cm。<埋土> 上部に暗褐色土、下部に褐色土が入る。

遺物 (第163～165図、写真図版181・182)

<土器> 縄文土器の破片が大1袋出土している。<石器> 削器が2点、石錘が1点、フレークが12点出土している。

I A 105

遺構 (第161図、写真図版26)

<検出状況> 調査区西端の I A 10 e 区とII A 1 e 区の間に位置する。<平面形> 開口部はやや楕円形、底部は円形。<断面形> 不整な逆台形。<規模> 開口部径97×85cm、底部径49×47cm、深さ51cm。<埋土> 褐色土に火山灰ブロックが入るものが主体をなす。中位から下位にかけて10～15cmの礫3個が入る。

遺物 (第163～165図、写真図版181・182)

<石器> 台石が1点出土している。

I A 106

遺構 (第161図、写真図版27)

<検出状況> 調査区北西隅の I A 9 b 区に位置する。<平面形> 開口部は楕円形、底部はほぼ円形。<断面形> 「U」字状。<規模> 開口部径90×(80)cm、底部径65×(60)cm、深さ51cm。<底面> 西端に開口部直径28cm、底部直径19cm、深さ10cmの副穴を有する。<埋土> 炭化物、火山灰を含む暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第163～165図、写真図版181・182)

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。<石器> 円盤状石製品が1点、フレークが31点出土している。

I A 109・181・184・(185)

遺構 (第161図、写真図版27)

<検出状況> 調査区西北端の I A 10 b 区に位置し、4つの土坑の切り合いと考えられる。I A 185は柱穴状土坑で I A 109を切るが、それ以外の切り合い関係は不明である。

(I A 109)

<平面形> 開口部、底部ともほぼ円形と考えられる。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部直径(90)cm、底部直径(75)cm、深さ68cm。<底面> ほぼ中央に開口部直径21cm、底部径12×10cm、深さ30cmの副穴を有する。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。

(I A 181)

<平面形> 開口部、底部とも円形と考えられる。<断面形> 「U」字状。<規模> 開口部直径(60)cm、底部直径(45)cm、深さ27cm。<埋土> 単層で、炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が入る。

(I A 184)

<平面形> 開口部、底部とも円形と考えられる。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部直径(80)cm、底部直径(60)cm、深さ58cm。<埋土> 単層で、炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が入る。

(I A 185)

<平面形> 開口部、底部とも円形と考えられる。<断面形> 不整形。<規模> 開口部直径(50)cm、底部直径(45)cm、深さ45cmで、中央に開口部直径20cm、底部直径14cm、深さ24cmの柱痕跡を持つ。<埋土> 掘方が、汚れた火山灰まじりの褐色土で、柱痕跡が、炭化物、火山灰まじりの褐色土である。

遺物 (第163～165図、写真図版181・182)

<土器> I A109のみからの出土で、拓本として掲載した破片が1点、それ以外の縄文土器の破片が小2袋出土している。<石器> I A109のみからの出土で、石錘が3点、フレークが6点出土している。

I A 115・182

遺構 (第161図、写真図版27)

<検出状況> 調査区西端のI A10c区とII A1c区間に位置する。半截段階ではI A115のみと思われたが、西半分を精査した後にI A182と切り合っていることが判明した。切り合い関係は不明である。

(I A 115)

<平面形> 開口部、底部ともに隅丸方形に近い。<断面形> 不整な逆台形。<規模> 開口部径115×108cm、底部径103×102cm、深さ36cm。<埋土> 炭化粒、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。

(I A 182)

<平面形> 開口部、底部ともに楕円形と考えられる。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部径(75)×58cm、底部径(70)×50cm、深さ34cm。<埋土> 炭化物まじりの褐色土が入る。

遺物 (第163～165図、写真図版181・182)

<土器> I A115のみからの出土で、拓本として掲載した破片が1点、それ以外の縄文土器の破片が小2袋出土している。<石器> I A115のみからの出土で、石錘が2点、石鏃が1点、特殊磨石が1点、フレークが6点出土している。

I A 117

遺構 (第162図、写真図版27)

<検出状況> 調査区西端のI A10c区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともにほぼ円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部直径70cm、底部直径50cm、深さ39cm。<底面> 南東壁際に開口部径17×12cm、底部直径8cm、深さ25cmの副穴を有する。<埋土> 上部に暗褐色土、下部に火山灰を多量に含む褐色土が入る。

遺物

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。<石器> 削器が1点出土している。

I A 118

遺構 (第162図、写真図版28)

<検出状況> 調査区西端のI A10c区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともにほぼ円形。<断面形> 「U」字状。<規模> 開口部直径65cm、底部直径50cm、深さ28cm。<埋土> 暗褐色土と黄橙色土が互層に入る。

遺物 (第163~165図、写真図版181・182)

<土器> 拓本として掲載した破片が1点、それ以外の縄文土器の破片が小1袋出土している。

<石器> フレークが2点出土している。

I A 121

遺構 (第162図、写真図版28)

<検出状況> 調査区西端のI A 9 c区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに不整な楕円形。<断面形> 段差のあるピーカー状。<規模> 開口部径165×93cm、底部径144×80cm、深さ45cm。<底面> 東側に開口部径90×60cm、底部直径55cm、深さ14cmの円形の落ち込みがある。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの明褐色土が主体をなす。

遺物 (第163~165図、写真図版181・182)

<土器> 拓本として掲載した破片が1点、それ以外の縄文土器の破片が大1袋出土している。

<石器> 特殊磨石が1点、フレークが8点出土している。

I A 122

遺構 (第162図、写真図版28)

<検出状況> 調査区西端のI A 9 c区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに円形。<断面形> 不整な「U」字状。<規模> 開口部直径80cm、底部直径60cm、深さ35cm。<埋土> 上部に暗褐色土、下部に明褐色土が入る。

遺物 (第163~165図、写真図版181・182)

<土器> 縄文土器の破片が小2袋出土している。<石器> 削器が1点、フレークが3点出土している。

I A 123

遺構 (第162図、写真図版28)

<検出状況> 調査区西北端のI A 9 b区に位置する。<平面図> 開口部は円形、底部は不整形。<断面形> 段差のある逆台形。<規模> 開口部直径85cm、底部径75×55cm、深さ48cm。<埋土> 暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第163~165図、写真図版181・182)

<土器> 拓本として掲載した破片が1点、それ以外の縄文土器の破片が小2袋出土している。

<石器> 石錘が1点、フレークが8点出土している。

I A 124・180

遺構 (第162図、写真図版29)

<検出状況> 調査区西北端のI A 9 b区に位置する。I A 124はI A 180に切られ、I A 180はI A 107に切られている。

(I A 124)

<平面形> 開口部、底部ともに楕円形と考えられる。<断面形> 段差のある不整な逆台形。<規模> 開口部径(150)×105cm、底部径(90)×70cm、深さ25cm。<埋土> 火山灰まじりの褐色土が主体をなす。

(I A 180)

<平面形> 開口部、底部ともに円形と考えられる。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部直径(90)cm、底部直径(70)cm、深さ49cm。<埋土> 炭化物、焼土粒まじりの褐色土が主体をなす。

遺物 (第163～165図、写真図版181・182)

<土器> I A 124のみからの出土で、縄文土器の破片が大1袋出土している。<石器> I A 124のみからの出土で、石錘、すり石が各2点、削器が1点、フレークが15点出土している。

I A 125

遺構 (第162図、写真図版29)

<検出状況> 調査区西端の I A 10 d 区に位置する。<平面形> 開口部は円形、底部は隅丸長方形。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部直径70cm、底部径50×40cm、深さ26cm。<埋土> 木根による攪乱が数ヶ所にみられるが、上部に暗褐色土、下部に明褐色土が入る。

遺物 (第163～165図、写真図版181・182)

<土器> 図化できた個体が1点、それ以外の縄文土器の破片が小2袋出土している。<石器> フレークが8点出土している。

I A 126

遺構 (第162図、写真図版29)

<検出状況> 調査区西端の I A 10 c 区に位置し、I A 139に切られる。<平面形> 開口部は卵形に似た楕円形、底部は円形。<断面形> 不整な逆台形。<規模> 開口部径160×123cm、底部直径105cm、深さ57cm。<埋土> 炭化物や火山灰をわずかに含む褐色土が主体をなす。底部に10～20cmの礫が数個と30×13cmの礫が直立して入り、上部には48×22cmの扁平な礫が横に立った状態で入る。

遺物 (第163～165図、写真図版181・182)

<土器> 拓本として掲載した破片が1点、それ以外の縄文土器の破片が小2袋出土している。

<石器> 石錘が2点、コア、石筥、すり石が各1点、フレークが9点出土している。

I A 139

遺構 (第163図、写真図版29)

<検出状況> 調査区西端の I A 10 c 区に位置し、I A 126を切る。<平面形> 開口部、底部

ともに不整な四角形。〈断面形〉 不整な「U」字状。〈規模〉 開口部径83×80cm、底部径74×72cm、深さ48cm。〈底面〉 東寄りに開口部直径12cm、底部直径4cm、深さ8cmの副穴を有する。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。

遺物

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 フレークが3点出土している。

I A 147

遺構 (第163図、写真図版29)

〈検出状況〉 調査区西端のI A 10 d 区に位置する。〈平面形〉 開口部はほぼ円形、底部は不整な楕円形。〈断面形〉 逆台形。〈規模〉 開口部直径90cm、底部径84×70cm、深さ28cm。〈底面〉 ほぼ中央に開口部径20×14cm、底部径10×8cm、深さ13cmの副穴を有する。〈埋土〉 単層で、炭化物、焼土粒まじりの暗褐色土が入る。

遺物

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 フレークが5点出土している。

I A 156・(183)

遺構 (第163図、写真図版30)

〈検出状況〉 調査区西北端のI A 10 b 区に位置する。検出面において、暗褐色の卵形の広がり確認できたので半截した結果、上部は深さ12cm程の落ち込みと判明した。その下に、I A 156が検出され、北側完掘の段階で柱穴状土坑のI A 183が切り合っていることが確認できた。切り合い関係は不明である。

(I A 156)

〈平面形〉 開口部、底部ともに楕円形と考えられる。〈断面形〉 底面に凹みを持つ不整な「U」字状。〈規模〉 開口部径(50)×42cm、底部径(40)×31cm、深さ21cm。〈埋土〉 単層で、火山灰まじりの褐色土が入る。遺物は出土しなかった。

(I A 183)

〈平面形〉 開口部、底部ともに楕円形。〈断面形〉 逆台形。〈規模〉 開口部径62×48cm、底部径36×31cm、深さ35cm。〈埋土〉 単層で、火山灰まじりの褐色土が入る。遺物は出土しなかった。

I A 159

遺構 (第163図、写真図版30)

〈検出状況〉 調査区西南端のI A 9 f 区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともに楕円形。〈断面形〉 逆台形。〈規模〉 開口部径75×64cm、底部径56×44cm、深さ32cm。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの暗赤褐色土が主体をなす。

遺物 (第163～165図、写真図版181・182)

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。<石器> 石鏃、石錘が各1点、フレークが11点出土している。

I A 162

遺構 (第163図、写真図版30)

<検出状況> 調査区西北端のI A 10 b 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともにほぼ円形。<断面形> 不整な逆台形。<規模> 開口部直径57cm、底部直径42cm、深さ30cm。<底面> 北端に開口部径16×14cm、底部直径6cm、深さ17cmの副穴を有する。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。

遺物

<石器> フレークが1点出土している。

I A 165

遺構 (第163図、写真図版30)

<検出状況> 調査区西端のI A 10 c 区とI A 10 d 区の間位置する。上部に厚さ8cm程の暗褐色の攪乱が入る。<平面形> 開口部、底部ともにひょうたん型に近い。<断面形> 不整な逆台形。<規模> 開口部径124×80cm、底部径111×70cm、深さ23cm。<底面> 北側に開口部径44×39cm、底部径40×38cm、深さ7cmのほぼ円形の落ち込みがみられる。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。

遺物

<土器> 縄文土器の破片が小2袋出土している。<石器> フレークが6点出土している。

II A 区土坑

II A 101

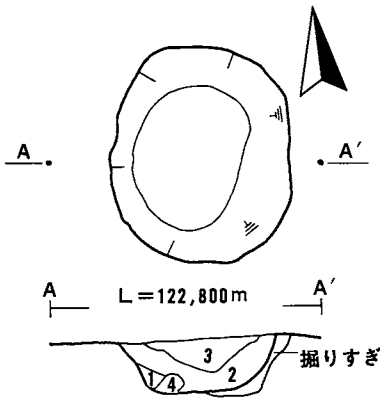
遺構 (第166図、写真図版31)

<検出状況> 調査区西側のII A 10 d 区とII A 10 e 区の間位置する。<平面形> 開口部、底部ともにほぼ円形。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部直径85cm、底部直径70cm、深さ32cm。<埋土> 上部は暗褐色土に多量の火山灰ブロックが入り、下部は炭化物、焼土粒まじりの褐色土が主体をなす。中央の埋土中部に3個、東壁の埋土上部に1個、垂角礫が入る。遺物は出土しなかった。

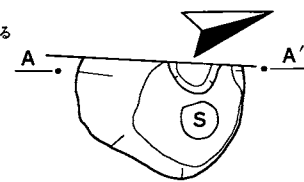
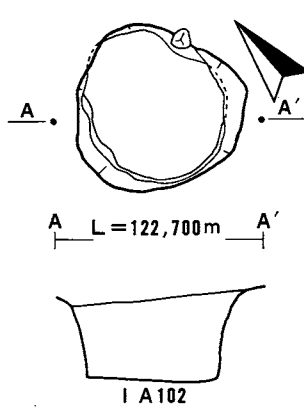
II A 102

遺構 (第166図、写真図版31)

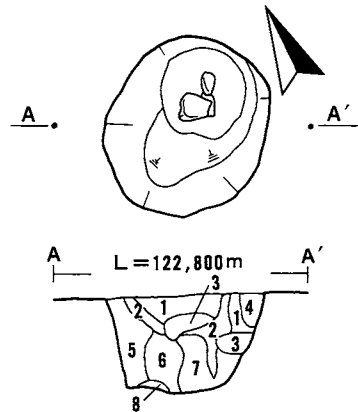
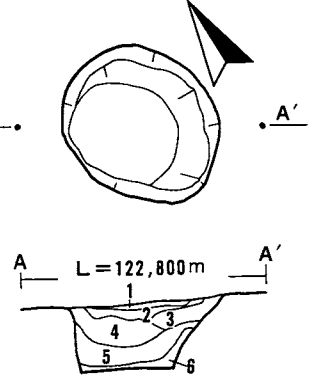
<検出状況> 調査区西側のII A 10 c 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに円



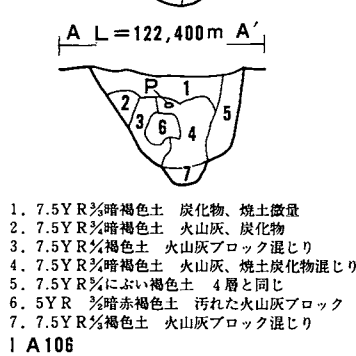
1. 10Y R 1/2~1/4に黄褐色土と10Y R 1/2黒褐色土の混土
 2. 10Y R 1/2灰褐色土に10Y R 1/4に黄褐色土が30%±入る
 3. 2に似るが灰褐色土の割合が少ない
 4. 10Y R 1/2灰褐色土 2よりしまりあり
- I A 101



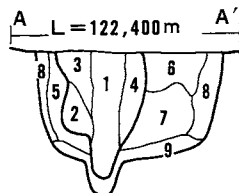
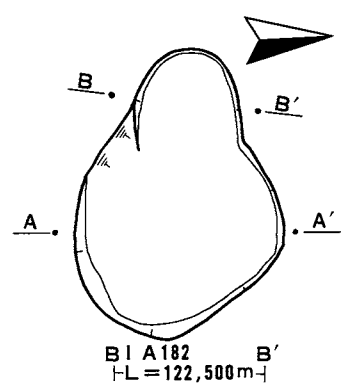
1. 7.5Y R 1/2暗褐色土
 2. 7.5Y R 1/2暗褐色土に火山灰、炭化物を少量含む
 3. 7.5Y R 1/2褐色土に火山灰と少量の炭化物を含む
 4. 7.5Y R 1/2黒褐色土、火山灰、炭化物、焼土粒を含む
 5. 7.5Y R 1/2褐色土、焼土粒を含む
 6. 10Y R 1/2褐色土、火山灰を含む
- I A 103



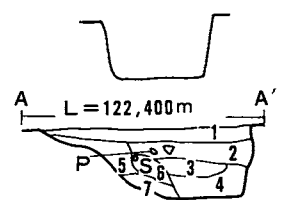
1. 7.5Y R 1/2褐色土 火山灰、炭化物を含む
 2. 7.5Y R 1/2褐色土 木根の痕
 3. 7.5Y R 1/2褐色土に火山灰ブロックが混じる
 4. 10Y R 1/2褐色土
 5. 7.5Y R 1/2暗褐色土 火山灰、炭化物を含む
 6. 7.5Y R 1/2褐色土に暗褐色土を含む、火山灰ブロック、炭化物を含む
 7. 7.5Y R 1/2褐色土に火山灰、少量の炭化物を含む
 8. 7.5Y R 1/2明褐色土 火山灰を少量含む
- I A 105



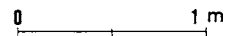
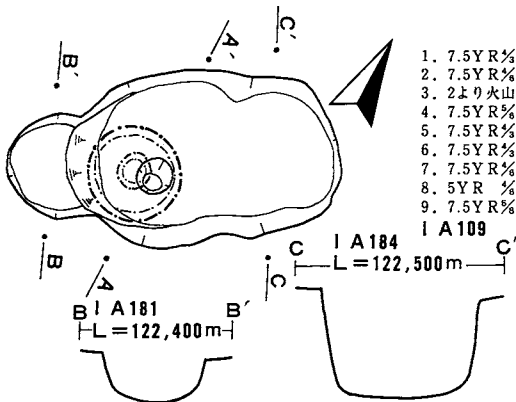
1. 7.5Y R 1/2暗褐色土 炭化物、焼土微量
 2. 7.5Y R 1/2暗褐色土 火山灰、炭化物
 3. 7.5Y R 1/2褐色土 火山灰ブロック混じり
 4. 7.5Y R 1/2暗褐色土 火山灰、焼土炭化物混じり
 5. 7.5Y R 1/2に黄褐色土 4層と同じ
 6. 5Y R 1/2暗赤褐色土 汚れた火山灰ブロック
 7. 7.5Y R 1/2褐色土 火山灰ブロック混じり
- I A 106



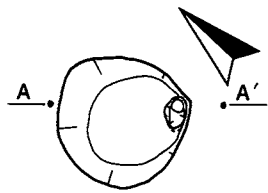
1. 7.5Y R 1/2褐色土 火山灰、炭化物含む
 2. 7.5Y R 1/2褐色土 汚れた火山灰ブロック混じり
 3. 2より火山灰ブロックが少ない
 4. 7.5Y R 1/2明褐色土 2層と同じ
 5. 7.5Y R 1/2褐色土 汚れた火山灰ブロック、炭化粒混じり
 6. 7.5Y R 1/2褐色土
 7. 7.5Y R 1/2褐色土
 8. 5Y R 1/2赤褐色土 火山灰ブロック混じり
 9. 7.5Y R 1/2明褐色土 火山灰まじり
- I A 109



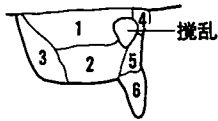
1. 7.5Y R 1/2暗褐色土
 2. 7.5Y R 1/2褐色土 火山灰、炭化物少量含む
 3. 7.5Y R 1/2褐色土 炭化物微量、土器片混じり
 4. 7.5Y R 1/2褐色土 火山灰を多量に含む
 5. 7.5Y R 1/2褐色土 火山灰混じり
 6. 7.5Y R 1/2褐色土
 7. 7.5Y R 1/2褐色土 焼土粒微量に含む
- I A 115



第161図 I A区土坑(1)

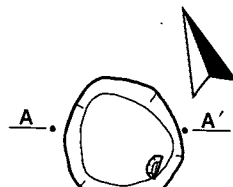


A — L = 122,600m — A'



1. 7.5Y R 7/8暗褐色土 焼土粒、炭化物微量を含む
2. 7.5Y R 6/8褐色土 火山灰多量を含む
3. 7.5Y R 5/8褐色土 火山灰多量を含む
4. 7.5Y R 4/8明褐色土 火山灰を多量を含む
5. 7.5Y R 3/8明褐色土 4より火山灰の量が少ない
6. 7.5Y R 2/8暗褐色土

I A 117

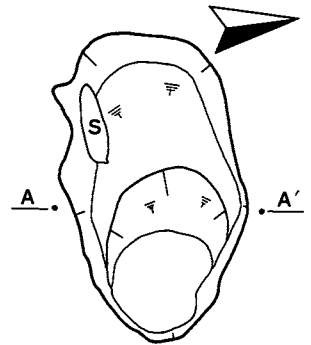


L = 122,500m

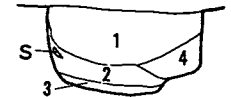


1. 10Y R 7/8暗褐色土 炭化物、焼土粒を含む
2. 10Y R 6/8褐色土 焼土粒少量含む
3. 10Y R 5/8黄褐色土
4. 10Y R 4/8暗褐色土 炭化物、火山灰ブロックを含む
5. 10Y R 3/8黄褐色土に10Y R 7/8暗褐色土が少量入る
6. 10Y R 2/8暗褐色土
7. 10Y R 1/8黄褐色土と10Y R 7/8暗褐色土の混土

I A 118

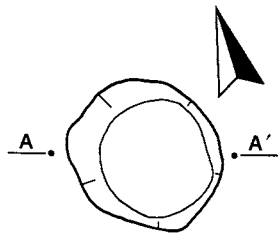


A — L = 122,500m — A'

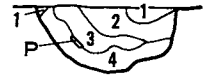


1. 7.5Y R 4/8明褐色土 火山灰、炭化粒、焼土含む
2. 7.5Y R 3/8明褐色土 火山灰、炭化粒、焼土含む
3. 7.5Y R 2/8褐色土 粘性あり
4. 5Y R 1/8明赤褐色土 炭化粒、火山灰まじり

I A 121

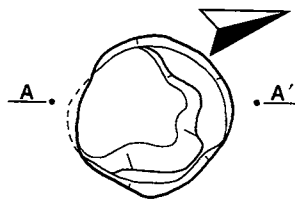


A — L = 122,400m — A'



1. 7.5Y R 6/8褐色土焼土 炭化粒含む
2. 7.5Y R 5/8暗褐色土 炭化物少量含む
3. 5Y R 4/8赤褐色土 火山灰まじり
4. 7.5Y R 3/8明褐色土 粘性あり、火山灰混じり

I A 122

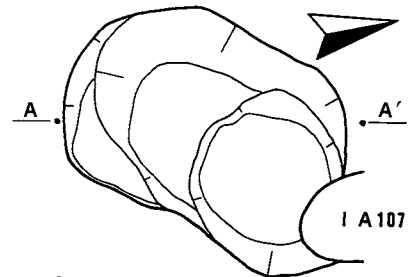


A — L = 122,400m — A'

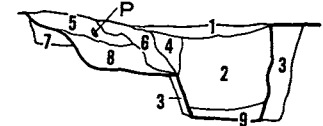


1. 7.5Y R 6/8褐色土
2. 7.5Y R 5/8暗褐色土 炭化粒微量含む
3. 7.5Y R 4/8褐色土攪乱
4. 7.5Y R 3/8明褐色土 火山灰
5. 7.5Y R 2/8暗褐色土 火山灰ブロック混

I A 123

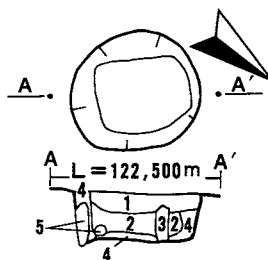


A — L = 122,400m — A'

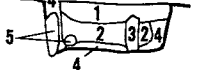


1. 7.5Y R 5/8暗褐色土 炭化物微量
2. 7.5Y R 4/8褐色土 焼土粒、炭化物少量、火山灰ブロック多量に入る
3. 7.5Y R 3/8明褐色土 掘りすぎ
4. 7.5Y R 2/8褐色土 炭化物、焼土粒混じり
5. 7.5Y R 1/8暗褐色土 炭化物、焼土粒混じり、土器含む
6. 7.5Y R 7/8褐色土 火山灰ブロックまじり
7. 7.5Y R 6/8明褐色土 掘りすぎ
8. 7.5Y R 5/8褐色土 火山灰ブロック混じり
9. 7.5Y R 4/8明褐色土 火山灰ブロック混じり

I A 124

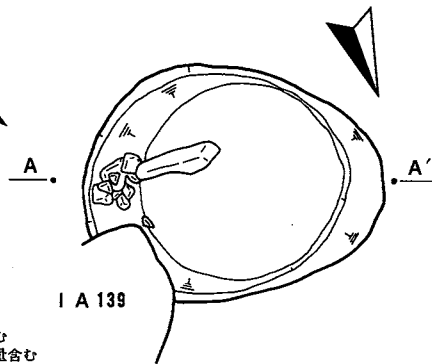


A — L = 122,500m — A'

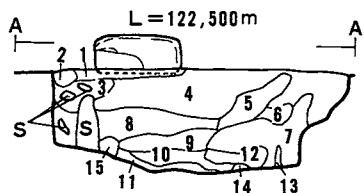


1. 7.5Y R 5/8暗褐色土 炭化物微量含む
2. 7.5Y R 4/8褐色土 黄褐色火山灰少量含む
3. 木根痕
4. 7.5Y R 3/8明褐色土 火山灰を含む
5. 攪乱

I A 125



I A 139

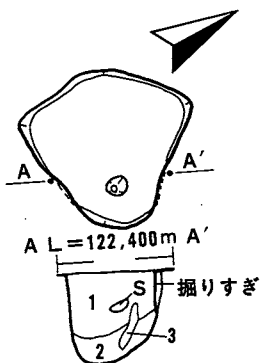


1. 7.5Y R 5/8暗褐色土
2. 7.5Y R 4/8褐色土
3. 7.5Y R 3/8暗褐色土
4. 7.5Y R 2/8褐色土 火山灰ブロック、炭化粒含む
5. 7.5Y R 1/8褐色土 火山灰ブロックを含む
6. 5Y R 7/8暗赤褐色土
7. 5Y R 6/8暗赤褐色土 5層と同じ物を含む
8. 5Y R 5/8暗赤褐色土 4層と同じ物を含む
9. 5Y R 4/8暗褐色土
10. 10Y R 6/8褐色土
11. 7.5Y R 5/8暗褐色土 炭化粒少量含む
12. 5Y R 4/8暗赤褐色土
13. 5Y R 3/8暗赤褐色土、攪乱
14. 7.5Y R 2/8暗褐色土
15. 7.5Y R 1/8明褐色土 火山灰を含む

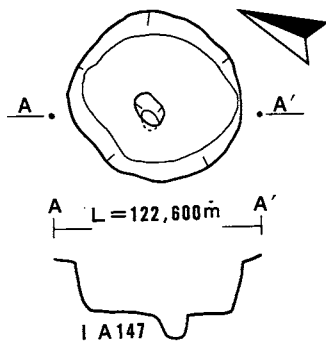
I A 126

0 2 m

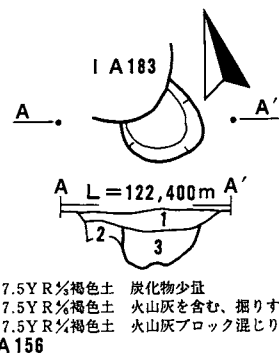
第162図 I A区土坑(2)



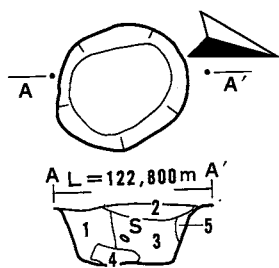
1. 7.5YR%褐色土 焼土、炭化物混じり
 2. 7.5YR%褐色土 火山灰ブロック混じり
 3. 7.5YR%暗褐色土 攪乱、木根
- I A 139



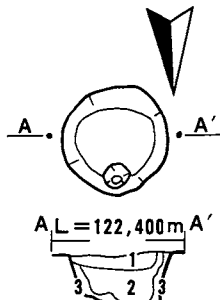
1. 10YR %暗褐色土 焼土少量
 2. 10YR %暗褐色土 火山灰炭化粒、焼土少量
 3. 10YR %褐色土 火山灰ブロック混じり
- I A 162



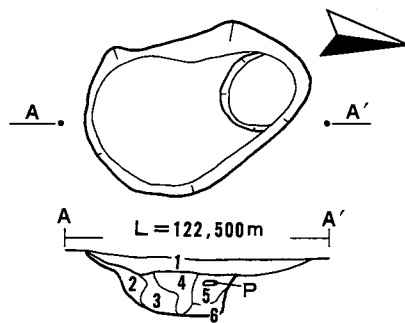
1. 7.5YR%褐色土 炭化物少量
 2. 7.5YR%褐色土 火山灰を含む、掘りすぎ
 3. 7.5YR%褐色土 火山灰ブロック混じり
- I A 156



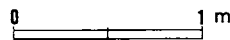
1. 7.5YR%暗赤褐色土 火山灰少量含む
 2. 7.5YR%暗赤褐色土
 3. 7.5YR%暗赤褐色土 炭化物、焼土少量含む
 4. 7.5YR%極暗赤褐色土 火山灰混じり
 5. 7.5YR%にふい赤褐色土 火山灰混じり
- I A 159



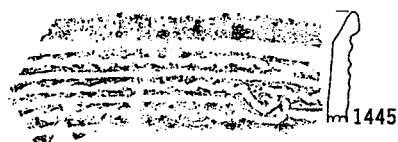
1. 7.5YR%褐色土 炭化物、焼土少量含む
 2. 7.5YR%にふい褐色土 火山灰ブロック含む
 3. 7.5YR%褐色土 火山灰を多量に含む
 4. 7.5YR%褐色土 炭化粒、焼土、火山灰少量含む
 5. 7.5YR%灰褐色土 4に似るか粘性あり
 6. 7.5YR%にふい褐色土 炭化粒少量含む
- I A 165



1. 7.5YR%褐色土 炭化物、焼土少量含む
 2. 7.5YR%にふい褐色土 火山灰ブロック含む
 3. 7.5YR%褐色土 火山灰を多量に含む
 4. 7.5YR%褐色土 炭化粒、焼土、火山灰少量含む
 5. 7.5YR%灰褐色土 4に似るか粘性あり
 6. 7.5YR%にふい褐色土 炭化粒少量含む
- I A 183

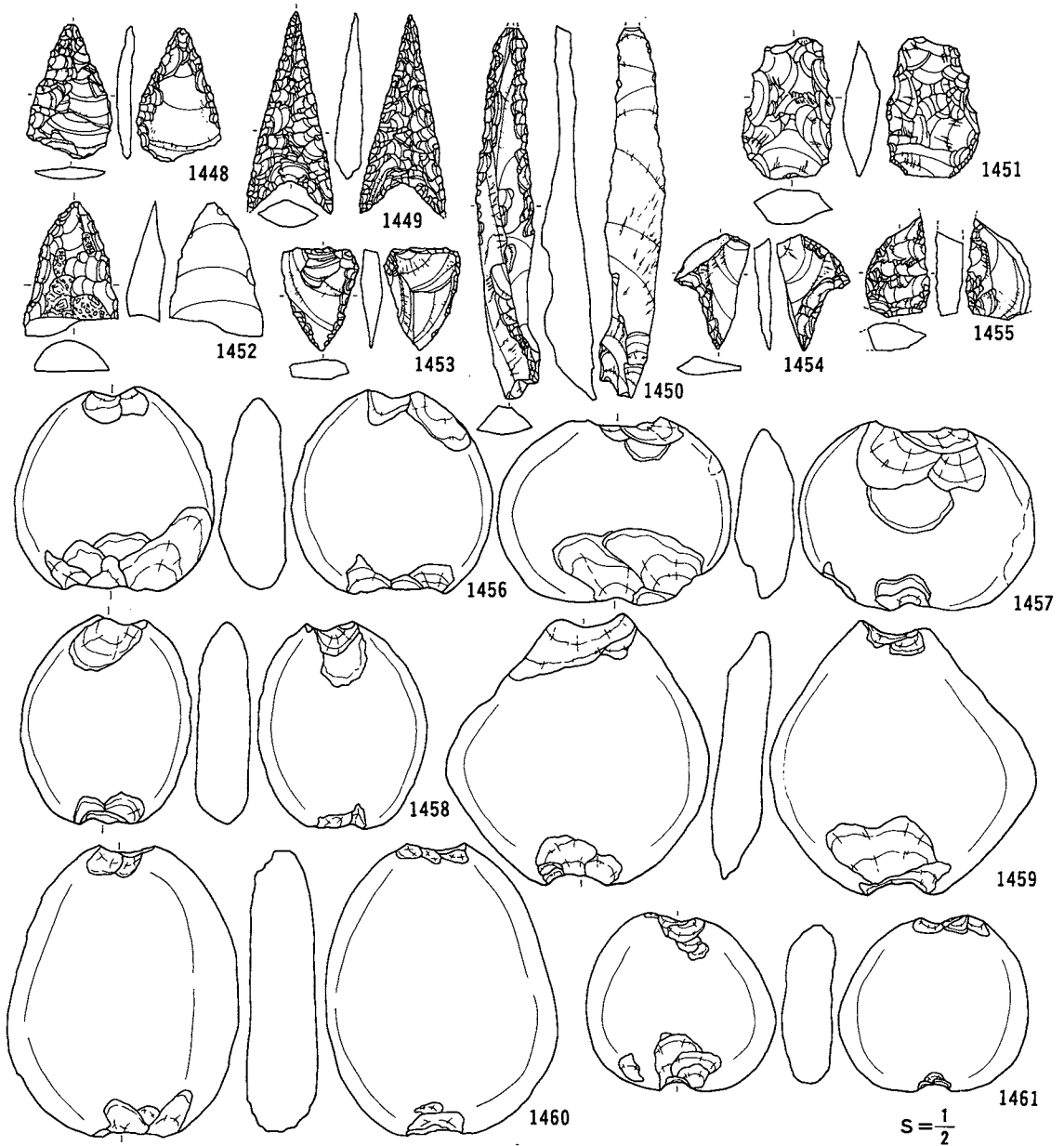


$s = \frac{1}{3}$



No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1441	I A 125・埋土	胴～底部	絡糸体Rクテ	深鉢B4類
1442	I A 109・埋土	口縁部	網目状燃糸文	深鉢A11類
1443	I A 115・埋土	口縁部	楕円形の凹み、横位の太い沈線	深鉢B9類
1444	I A 118・埋土	口縁部	円形の凹み、横位の太い沈線	深鉢B9類
1445	I A 121・埋土	口縁部	横位の沈線間に小波状の沈線、U字状の沈線	深鉢A17類
1446	I A 123・埋土	口縁部	円形の刺突があるL字状の粘土塊	深鉢
1447	I A 126・埋土	口縁部	平行沈線文による三角形の区画、その内外に連続短沈線と三角刺突、頸部に縦位の連続短沈線	深鉢B19類

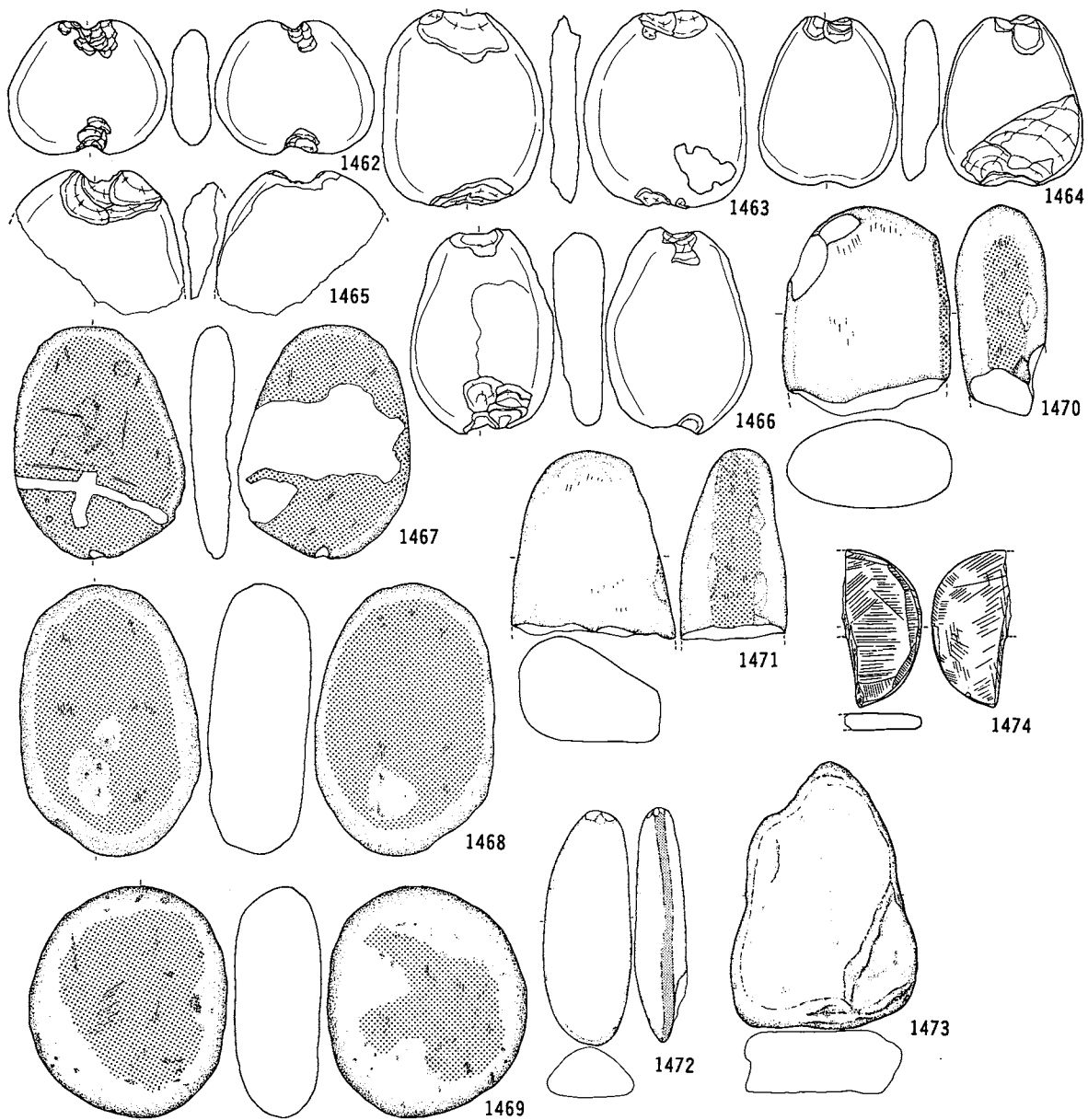
第163図 I A区土坑(3)・出土遺物(1)



$$S = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1448	I A 115埋土東半	石鏃	3.8	2.3	0.4	3.1	硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
1449	I A 159埋土東半	石鏃	5.7	2.5	0.8	5.9	粘板岩	北上山地	古生界	
1450	I A 101埋土	尖頭器	10.6	1.5	0.8	17.7	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1451	I A 102埋土	石筥	4.0	2.6	1.0	10.1	硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
1452	I A 126埋土	石筥	4.0	2.7	1.1	9.5	硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
1453	I A 103埋土	削器	3.0	2.2	0.6	3.2	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
1454	I A 103埋土中層	削器	3.3	1.8	0.5	2.4	硬質泥岩	奥羽山地 (雫石)	新第三系中新統	
1455	I A 122埋土北半	削器	2.9	1.8	0.8	40.1	硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	*
1456	I A 109埋土	石鏟	5.8	5.7	1.8	80.1	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
1457	I A 109埋土東半	石鏟	5.4	6.7	1.9	80.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*
1458	I A 109埋土	石鏟	5.9	4.8	1.5	60.1	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1459	I A 115埋土東半	石鏟	7.7	7.5	1.5	95.1	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	*
1460	I A 115埋土東半	石鏟	8.5	6.6	2.1	170.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1461	I A 103埋土	石鏟	5.0	5.4	1.4	60.1	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

第164図 I A区土坑出土遺物(2)



1462~1471 $S = \frac{1}{3}$ 1472~1473 $S = \frac{1}{6}$ 1474 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1462	I A 124埋土東半	石鏟	5.8	6.8	1.6	75.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1463	I A 124埋土東半	石鏟	8.4	6.9	1.4	125.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	
1464	I A 159埋土西半	石鏟	7.3	6.1	1.7	100.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
1465	I A 123埋土東半	石鏟	6.2	8.0	1.7	65.1	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	*
1466	I A 126埋土	石鏟	8.7	6.3	2.3	170.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	
1467	I A 124埋土東半	すり石	10.0	7.4	1.9	155.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1468	I A 124埋土	すり石	11.8	7.8	4.4	620.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	
1469	I A 126埋土	すり石	9.9	8.5	3.7	490.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	
1470	I A 51埋土南半	特殊磨石	9.0	7.3	3.7	355.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
1471	I A 121埋土	特殊磨石	8.2	6.9	4.7	350.0	花崗閃緑岩	仙人~夏油川	中生界	*
1472	I A 124埋土	特殊磨石	20.2	7.7	4.6	960.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
1473	I A 105埋土	台石	23.3	16.1	5.2	2990.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
1474	I A 106埋土東半	円盤状石製品	4.5	2.2	0.4	5.2	珪長質極細凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	

第165図 I A区土坑出土遺物(3)

形。＜断面形＞ 逆台形。＜規模＞ 開口部直径70cm、底部直径58cm、深さ28cm。＜埋土＞ 単層で、炭化物、焼土粒まじりの暗褐色土が入る。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

＜土器＞ 拓本として掲載した破片が1点、それ以外の縄文土器の破片が小1袋出土している。

II A 103

遺構 (第166図、写真図版31)

＜検出状況＞ 調査区西側のII A 10 d 区に位置する。＜平面形＞ 開口部、底部ともに不整な楕円形。＜断面形＞ 不整な縦長の長方形。＜規模＞ 開口部径83×65cm、底部径65×53cm、深さ113cm。＜埋土＞ 炭化物、焼土粒を含む褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

II A 104

遺構 (第166図、写真図版31)

＜検出状況＞ 調査区西側のII A 10 d 区に位置する。＜平面形＞ 開口部、底部ともに円形。＜断面形＞ 不整な逆台形。＜規模＞ 開口部直径75cm、底部直径65cm、深さ30cm。＜埋土＞ 小礫まじりの褐色土が主体をなす。

遺物

＜土器＞ 縄文土器の破片が小1袋出土している。

II A 107

遺構 (第166図、写真図版32)

＜検出状況＞ 調査区西側のII A 10 h 区に位置する。また、開口部分の北東と南西には焼土と炭化物の広がりが見られる。＜平面形＞ 開口部、底部ともわずかに楕円形。＜断面形＞ フラスコ状を呈し、壁の中位がくびれる。＜規模＞ 開口部径204×170cm、底部径214×184cm、深さ65cm。＜底面＞ 中央に開口部直径26cm、底部直径18cm、深さ11cmの副穴と、北西壁際に開口部径25×20cm、底部径18×13cm、深さ8cmの落ち込みがある。＜埋土＞ 炭化物、火山灰、小礫まじりの褐色～暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

＜土器＞ 拓本として掲載した破片が6点、それ以外の縄文土器の破片が大1袋出土している。

＜石器＞ 石錘が7点、削器が1点、フレイクが54点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期未葉～中期初頭と考えられる。

II A 108

遺構 (第166図、写真図版32)

＜検出状況＞ 調査区西側のII A 10 f 区とII A 10 g 区の間位置する。＜平面形＞ 開口部、

底部ともに不整な円形。〈断面形〉 逆台形。〈規模〉 開口部径131×128cm、底部径89×85cm、深さ58cm。〈埋土〉 全体に小礫が入り、褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

II A 112

遺構 (第167図、写真図版32)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 8 c区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともに円形。〈断面形〉 ビーカー状。〈規模〉 開口部直径、底部直径ともに115cm、深さ46cm。〈埋土〉 小礫を含む黒褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

II A 113

遺構 (第167図、写真図版32)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 8 c区に位置する。〈平面形〉 開口部は楕円形、底部は不整形。〈断面形〉 不整な逆台形をなし、東側がフラスコ状を呈する。〈規模〉 開口部径150×135cm、底部径130×110cm、深さ36cm。〈底面〉 西壁際に開口部直径33cm、底部直径26cm、深さ5cmの落ち込みがみられる。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの暗褐～黒褐色土が主体をなす。

遺物

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。

II A 115

遺構 (第167図、写真図版33)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 8 g区に位置する。〈平面形〉 開口部は円形、底部は不整な楕円形。〈断面形〉 不整な横長の長方形。〈規模〉 開口部直径164cm、底部径156×134cm、深さ34cm。〈埋土〉 上部に黒褐色土が、下部に褐色土が入る。

遺物

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 フレークが1点出土している。

II A 118

遺構 (第167図、写真図版33)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 7 f区に位置する。〈平面形〉 開口部は隅丸三角形、底部は不整形。〈断面形〉 おわん型。〈規模〉 開口部径73×69cm、底部径51×42cm、深さ55cm。〈埋土〉 小礫を含む褐色土が主体をなす。

遺物

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 フレークが2点出土している。

II A 120

遺構 (第167図、写真図版33)

<検出状況> 調査区西側のII A 7 c 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに不正な楕円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部径67×61cm、底部径46×36cm、深さ27cm。<埋土> 上部に暗褐色土、下部に明褐色土が入る。遺物は出土しなかった。

II A 121

遺構 (第168図、写真図版33)

<検出状況> 調査区西側のII A 7 d 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに円形。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部直径66cm、底部直径60cm、深さ25cm。<埋土> 小礫を含む褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

<石器> 石錘が1点出土している。

II A 122

遺構 (第167図、写真図版34)

<検出状況> 調査区西側のII A 7 e 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部径108×81cm、底部径100×80cm、深さ64cm。<底面> 東側に開口部径48×45cm、底部直径35cm、深さ12cmの落ち込みがみられる。<埋土> 小礫を含んだ褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

<土器> 図化できた個体が1点、それ以外の縄文土器の破片が小1袋出土している。<石器> 削器が1点、フレークが7点出土している。

II A 124

遺構 (第168図、写真図版34)

<検出状況> 調査区西側のII A 7 f 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともにほぼ円形。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部直径72cm、底部直径66cm、深さ38cm。<埋土> 炭化物まじりの褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。<石器> 石錘が1点出土している。

II A 132

遺構 (第168図、写真図版34)

<検出状況> 調査区西側のII A 6 d 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> 「U」字状。<規模> 開口部径76×61cm、底部径63×42cm、深さ47cm。<埋土> 炭化物、焼土粒まじりの暗褐色～黒褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

II A 143

遺構 (第168図、写真図版34)

<検出状況> 調査区西側のII A 7 f 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに円形。
<断面形> 不整なピーカー状。<規模> 開口部直径65cm、底部直径62cm、深さ19cm。<埋土> 単層で、焼土粒まじりの褐色土が入る。

遺物

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。

II A 214

遺構 (第168図、写真図版35)

<検出状況> 調査区西側のII A 4 f 区に位置する。<平面形> 開口部は楕円形、底部は不整形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部径71×65cm、底部径60×58cm、深さ32cm。<埋土> 炭化物や小礫を含む褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

<土器> 拓本として掲載した破片が1点、それ以外の縄文土器の破片が小1袋出土している。

II A 217

遺構 (第168図、写真図版35)

<検出状況> 調査区西側のII A 4 g 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに不整な楕円形。<断面形> 段差のある逆台形。<規模> 開口部径74×67cm、底部径66×59cm、深さ19cm。<底面> 南側に開口部径51×45cm、底部径39×36cm、深さ13cmの落ち込みがある。
<埋土> 炭化物まじりの褐色土が主体をなす。

遺物

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。

II A 218

遺構 (第168図、写真図版35)

<検出状況> 調査区西側のII A 4 g 区に位置する。<平面形> 開口部はわずかに楕円形、底部は円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部径66×61cm、底部直径36cm、深さ35cm。<埋土> 上部に炭化物まじりの暗褐色土が、下部に炭化物まじりの褐色土が入る。

遺物

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。

II A 221

遺構 (第168図、写真図版35)

<検出状況> 調査区西側のII A 3 g 区とII A 4 g 区の間位置する。<平面形> 開口部はわずかに楕円形、底部は円形。<断面形> 不整な逆台形。<規模> 開口部径80×74cm、底

部直径58cm、深さ32cm。〈底部〉 北側に開口部径37×32cm、底部径33×28cm、深さ5cmの落ち込みがある。〈埋土〉 炭化物まじりの褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

〈土器〉 図化できた個体が1点、それ以外の縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 石匙が1点、フレークが4点出土している。

II A 225

遺構 (第169図、写真図版36)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 2 f区付近に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともにほぼ円形。〈断面形〉 逆台形。〈規模〉 開口部直径90cm、底部直径65cm、深さ22cm。〈底面〉 東側に開口部径54×47cm、底部径50×40cm、深さ22cmの落ち込みがある。〈埋土〉 炭化物まじりの褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 すり石が1点出土している。

II A 226

遺構 (第168図、写真図版36)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 3 f区に位置する。〈平面図〉 開口部、底部ともに楕円形。〈断面形〉 段差のある逆台形。〈規模〉 開口部径72×62cm、底部径54×36cm、深さ68cm。〈埋土〉 炭化物、焼土粒まじりの褐色土が主体をなす。

遺物

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 フレークが1点出土している。

II A 227

遺構 (第169図、写真図版36)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 2 f区に位置する。〈平面形〉 開口部はほぼ円形、底部は楕円形。〈断面形〉 不整な逆台形。〈規模〉 開口部直径72cm、底部径60×51cm、深さ48cm。〈埋土〉 炭化物、焼土まじりの暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

〈土器〉 図化できた個体が1点、それ以外の縄文土器の破片が小2袋出土している。〈石器〉 フレークが3点出土している。

II A 229

遺構 (第169図、写真図版36)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 2 f区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともに楕円形。〈断面形〉 横長の逆台形。〈規模〉 開口部径76×50cm、底部径58×33cm、深さ21

cm。〈埋土〉 単層で、炭化物まじりの褐色土が入る。遺物は出土しなかった。

II A 230

遺構 (第169図、写真図版37)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 2 g区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともに不整な円形。〈断面形〉 不整な逆台形。〈規模〉 開口部直径70cm、底部直径60cm、深さ37cm。〈埋土〉 炭化物、焼土粒まじりの褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 石鏃、削器、石錘が各1点、フレークが2点出土している。

II A 232

遺構 (第169図、写真図版37)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 2 f区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともに不整な楕円形。〈断面形〉 逆台形。〈規模〉 開口部径70×55cm、底部径58×48cm、深さ25cm。〈埋土〉 炭化物まじりの暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 石匙が1点、フレークが2点出土している。

II A 233

遺構 (第169図、写真図版37)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 3 f区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともわずかに楕円形。〈断面形〉 不整な逆台形。〈規模〉 開口部径86×74cm、底部径59×52cm、深さ47cm。〈埋土〉 炭化物、焼土粒まじりの暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 石匙、搔器が各1点、フレークが2点出土している。

II A 234

遺構 (第169図、写真図版37)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 3 f区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともにひょうたん型に近い。〈断面形〉 不整な逆台形。〈規模〉 開口部径82×64cm、底部径66×50cm、深さ36cm。〈埋土〉 炭化物、焼土粒まじりの褐色～暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

〈土器〉 拓本として掲載した破片が1点、それ以外の縄文土器の破片が小1袋出土してい

る。〈石器〉 石筥、削器が各1点、フレークが2点出土している。

II A 239

遺構 (第170図、写真図版38)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 3 d区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともにほぼ円形。〈断面形〉 不整な逆台形。〈規模〉 開口部直径115cm、底部直径105cm、深さ40cm。〈埋土〉 炭化物まじりの褐色土が主体をなす。

遺物 (第173~176図、写真図版183~186)

〈土器〉 拓本として掲載した破片が1点、それ以外の縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 フレークが2点出土している。

II A 240

遺構 (第169図、写真図版38)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 2 d区とII A 2 e区の上に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともに楕円形。〈断面形〉 わずかなフラスコ状。〈規模〉 開口部径143×130cm、底部径141×127cm、深さ64cm。〈底面〉 北壁を中心に $\frac{3}{4}$ 周程、溝が巡る。溝の最大幅は20cmで、深さは最大9cmである。また、溝の中の北西部分に開口部直径12cm、底部直径8cm、深さ3cmの小穴が、南側には開口部径38×35cm、底部径27×20cm、深さ8cmの副穴が、それぞれ1個みられる。〈埋土〉 上部に暗褐色土、下部に褐色土が入る、人為堆積と考えられる。

遺物

〈石器〉 フレークが1点出土している。

II A 241

遺構 (第170図、写真図版38)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 9 h区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともわずかに楕円形。〈断面形〉 逆台形。〈規模〉 開口部径124×112cm、底部径102×90cm、深さ26cm。〈埋土〉 人為堆積と思われる明褐色土が主体をなし、その中に48×28cmの扁平な礫が斜位に入る。

遺物 (第173~176図、写真図版183~186)

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 すり石が3点、コア、石鏃、削器、特殊磨石、凹石が各1点、フレークが7点出土している。

II A 247

遺構 (第170図、写真図版38)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 1 d区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともに楕円形。〈断面形〉 浅皿状。〈規模〉 開口部径107×74cm、底部径67×50cm、深さ25cm。〈底部〉

西側に開口部径25×16cm、底部径17×11cm、深さ13cmの副穴を有する。〈埋土〉炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなし、上部西側にII A 254にまたがって26×20cmの礫が入る。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

〈土器〉縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉すり石が1点、フレークが2点出土している。

II A 248・(250)・271・(272)

遺構 (第170図、写真図版39)

〈検出状況〉調査区西側のII A 3 d 区に位置する。4つの土坑の切り合いと考えられる。柱状土坑のII A 250とII A 272はII A 271を切り、II A 250はさらにII A 248を切っている。

(II A 248)

〈平面形〉開口部、底部ともにほぼひょうたん型。〈断面形〉浅皿状。〈規模〉開口部径252×174cm、底部径228×158cm、深さ33cm。〈埋土〉炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす、中部から下部にかけて10～15cmの礫が10個程まとまって入る。

(II A 250)

〈平面形〉開口部、底部ともわずかに楕円形と考えられる。〈断面形〉縦長の「U」字状。〈規模〉開口部径(50)×40cm、底部径(35)×30cm、深さ53cm。〈埋土〉炭化物、焼土粒まじりの暗褐色土が主体をなす。

(II A 271)

〈平面形〉開口部、底部とも楕円形と考えられる。〈断面形〉逆台形。〈規模〉開口部径(80)×70cm、底部径(60)×55cm、深さ42cm。〈埋土〉単層で、炭化物、火山灰まじりの褐色土が入る。

(II A 272)

〈平面形〉開口部、底部とも楕円形と考えられる。〈断面形〉逆台形。〈規模〉開口部径40×(30)cm、底部径27×(20)cm、深さ36cm。〈埋土〉単層で、炭化物、火山灰まじりの褐色土が入る。

遺物

〈土器〉II A 248とII A 250から、縄文土器の破片がそれぞれ小1袋ずつ出土している。〈石器〉II A 248のみから、コアが1点、フレークが2点出土している。

II A 249

遺構 (第170図、写真図版39)

〈検出状況〉調査区西側のII A 4 c 区とII A 4 d 区の間位置する。〈平面形〉開口部、底部ともに楕円形。〈断面形〉浅皿状。〈規模〉開口部径182×87cm、底部径143×61cm、

深さ24cm。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。上部南側に32×20cmと30×26cmの偏平な礫が2個並んで入る。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 石錘が1点出土している。

II A 253

遺構 (第171図、写真図版39)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 1 e区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともわずかに楕円形。〈断面形〉 ほぼピーカー状。〈規模〉 開口部径93×77cm、底部径75×66cm、深さ22cm。〈埋土〉 火山灰、焼土粒まじりの暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 石匙が1点、フレークが5点出土している。

II A 257・(262)

遺構 (第171図、写真図版39)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 2 d区に位置する。II A 257の南側半截の段階で、底面に柱穴状土坑のII A 262を検出したが、切り合い関係は不明である。

(II A 257)

〈平面形〉 開口部、底部とも不整な楕円形。〈断面形〉 浅皿状。〈規模〉 開口部径117×96cm、底部径97×85cm、深さ18cm。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。

(II A 262)

〈平面形〉 開口部、底部ともに円形。〈断面形〉 フラスコ状。〈規模〉 開口部直径30cm、底部直径35cm、深さ55cm。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

〈土器〉 II A 257から縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 II A 257から特殊磨石が1点、敲石が1点、フレークが1点出土している。

II A 261

遺構 (第171図、写真図版40)

〈検出状況〉 調査区西側のII A 1 b区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともほぼ円形。〈断面形〉 逆台形。〈規模〉 開口部直径100cm、底部直径85cm、深さ27cm。〈底面〉 北側に開口部直径32cm、底部直径18cm、深さ24cm、西側に開口部径50×37cm、底部直径30cm、深さ12cmの副穴を有する。〈埋土〉 炭化物、焼土粒まじりの極暗褐色土が主体をなす。

遺物

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。<石器> フレークが6点出土している。

II A 263

遺構 (第171図、写真図版40)

<検出状況> 調査区西側のII A 5 d区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。

<断面形> 横長の長方形。<規模> 開口部径110×95cm、底部径100×85cm、深さ20cm。<

埋土> 炭化物、焼土粒まじりの暗褐色土が主体をなす。底部に20×10cm程の礫が3個入る。

遺物

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。<石器> フレークが2点出土している。

II A 264

遺構 (第171図、写真図版40)

<検出状況> 調査区西側のII A 5 d区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。

<断面形> 横長の逆台形。<規模> 開口部径140×100cm、底部径120×80cm、深さ27

cm。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。

遺物 (第173~176図、写真図版183~186)

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。<石器> 凹石が3点、特殊磨石が1点、
フレークが2点出土している。

II A 265

遺構 (第172図、写真図版40)

<検出状況> 調査区西側のII A 6 c区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに不整な楕円形。

<断面形> 横長の逆台形。<規模> 開口部径160×140cm、底部径140×120cm、深

さ27cm。<底面> やや南側に開口部直径20cm、底部直径15cm、深さ22cmの副穴を有する。<

埋土> 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。北側に36×11cmの礫が直立した状態で入り、その西側には15×8cmの破損した礫が入る。

遺物 (第173~176図、写真図版183~186)

<石器> 石棒が2点出土している。

II A 266

遺構 (第172図、写真図版41)

<検出状況> 調査区西側のII A 2 e区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。

<断面形> 横長の逆台形。<規模> 開口部径130×108cm、底部径107×90cm、深さ18

cm。<底面> 北西側に開口部径27×18cm、底部径9×7cm、深さ16cmの副穴を有する。<埋

土> 炭化物まじりの黒褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

II A 267

遺構 (第172図、写真図版41)

<検出状況> 調査区西側のII A 2 f 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部径90×60cm、底部径65×50cm、深さ20cm。<埋土> 火山灰まじりの暗褐色～褐色土が主体をなす。

遺物

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。

II A 269

遺構 (第172図、写真図版41)

<検出状況> 調査区西側のII A 1 g 区とII A 2 g 区の間に位置する。<平面形> 開口部、底部ともわずかな楕円形。<断面形> 不整な逆台形。<規模> 開口部径76×70cm、底部径57×50cm、深さ52cm。<底面> 中央部に開口部径34×29cm、底部径25×19cm、深さ6cmの副穴を有する。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

<土器> 拓本として掲載した破片が1点、それ以外の縄文土器の破片が大1袋出土している。<石器> 石錘が2点、削器が1点、フレークが11点出土している。

II A 270

遺構 (第172図、写真図版41)

<検出状況> 調査区西側のII A 4 a の区に位置し、西側が半分程調査区外に出る。<平面形> 開口部、底部ともに隅丸長方形と考えられる。<断面形> 不整形。<規模> 開口部径160×(95)cm、底部径145×(70)cm、深さ最大37cm。<埋土> 炭化物まじりの褐色土が主体をなし、上部と中部に焼土が、下部に23×12cmの垂円礫が入る。

遺物 (第173～176図、写真図版183～186)

<土器> 図化できた個体が3点、それ以外の縄文土器の破片が大1袋出土している。<石器> Uフレ、削器、特殊磨石が各1点出土している。

遺構の時期

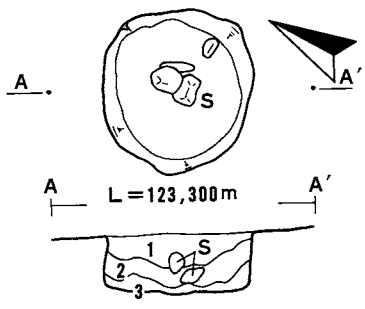
出土遺物から、縄文時代晩期末葉と考えられる。

III A 区土坑

III A 101

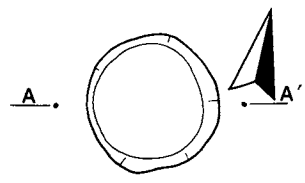
遺構 (第177図、写真図版42)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 6 c 区とIII A 6 d 区の間に位置し、遺構の北側が調査区外にでる。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形と考えられる。<断面形> ビーカー状。



1. 10Y R 1/2 褐色土 炭化物、焼土粒を少量含む
2. 1に似るが炭化物がわずかに入る
3. 10Y R 1/2 暗褐色土 火山灰ブロックを多量に含む

II A 101

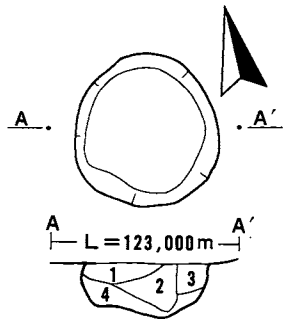


II A 102



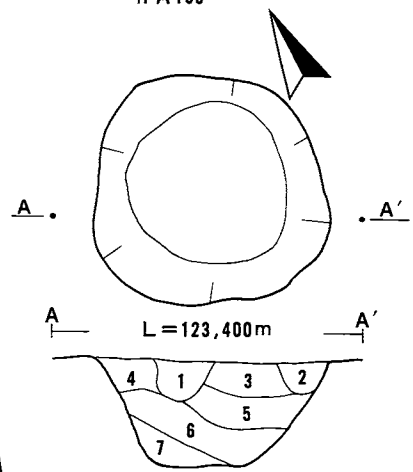
1. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、焼土粒わずかに含む、上部攪乱を受ける
2. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物、焼土粒わずかに含む
3. 2に似るが火山灰ブロックが入りこむ
4. 2に似るがややうすく(1/2褐色土)になる
5. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物、焼土粒を含む、火山灰ブロック含む

II A 103



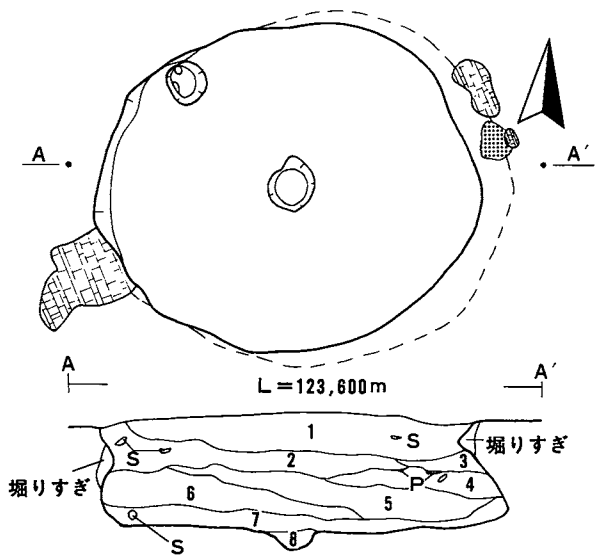
1. 7.5Y R 1/2 褐色土 小礫、炭化物を含む
2. 7.5Y R 1/2 褐色土 小礫、暗褐色土を含む
3. 7.5Y R 1/2 褐色土 1層に似ている、粘性有
4. 7.5Y R 1/2 褐色土 暗褐色土、土器片を含む

II A 104



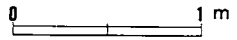
1. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 火山灰ブロック混じる
2. 7.5Y R 1/2 褐色土 火山灰小礫混じる
3. 7.5Y R 1/2 褐色土 小礫混じる
4. 7.5Y R 1/2 褐色土 小礫混じる
5. 7.5Y R 1/2 褐色土 礫混じる
6. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 礫、火山灰ブロック混じる
7. 7.5Y R 1/2 明褐色土~1/2褐色土 小礫多く混じる

II A 108

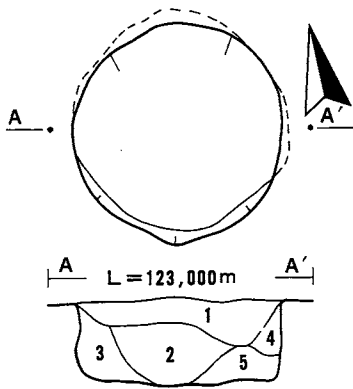


1. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物、火山灰ブロック、小礫、焼土を含む、土器出土
2. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 粘性あり、炭化物、焼土を含む
3. 7.5Y R 1/2 褐色土 粘性あり、炭化物、火山灰ブロックを含む
4. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 粘性あり、炭化物、火山灰少量含む
5. 7.5Y R 1/2 褐色土 粘性あり、火山灰を含む、焼土、炭化物少量含む
6. 5Y R 1/2 に近い赤褐色土 粘性あり、炭化物、焼土、火山灰ブロックを含む、土器出土
7. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 粘性強い炭化物、焼土、小礫が少し混じる
8. 7.5Y R 1/2 褐色土 粘性有、火山灰を含む、炭化物、焼土少量含む

II A 107

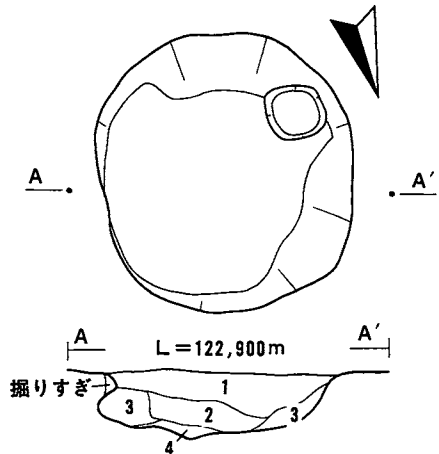


第166図 II A区土坑(1)



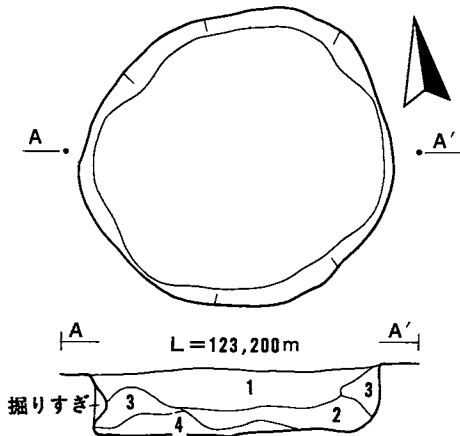
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 黒褐色土 小礫、火山灰ブロック混じる
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 黒褐色土 火山灰ブロック含まれる
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 火山灰ブロックが混じる
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性有、炭化物が混じる
5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 極暗褐色土 粘性有、火山灰ブロック、焼土、炭化物が混じる

II A 112



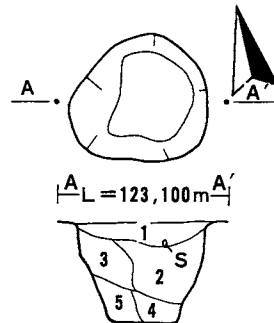
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土粘性の土と炭化物を含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 黒褐色土 粘性あり、火山灰ブロックと7.5Y R $\frac{1}{2}$ 粘性褐色土のブロックを含む
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 黒褐色土 粘性あり、炭化物、小礫含む
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性あり、火山灰と2層の混土

II A 113



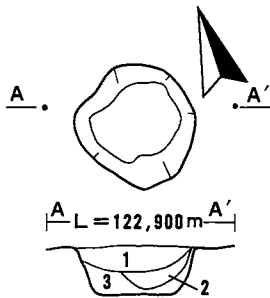
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 黒褐色土 火山灰、小礫を含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 粘性有、炭化物を少量含む
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性有、焼土、炭化物少量、小礫も含む
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性有、小礫、火山灰を含む

II A 115



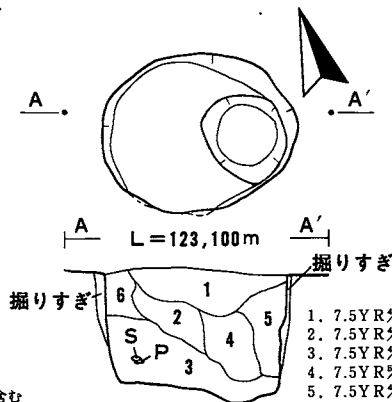
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性有、焼土、炭化物少量含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土~明褐色土 粘性有、小礫、火山灰ブロックを含む
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性有、礫と少量の炭化物を含む
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性有、火山灰ブロックを含む
5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性有、火山灰ブロックを含む

II A 118



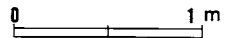
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、焼土、火山灰を含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性あり、火山灰ブロック、小礫を含む

II A 120

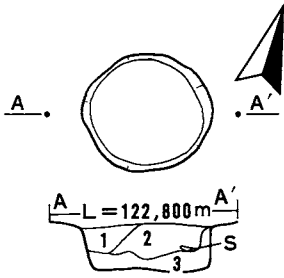


1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性有、炭化物、火山灰、小礫を含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性有、火山灰を含む、小礫をわずかに含む
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性有、火山灰ブロックと小礫を含む
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土 粘性有、炭火材、火山灰ブロックを含む
5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性有、火山灰ブロックを含む
6. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 粘性有、小礫、火山灰を含む

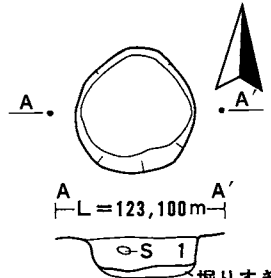
II A 122



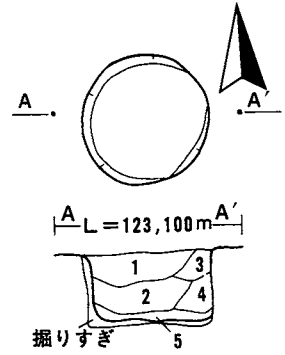
第167図 II A区土坑(2)



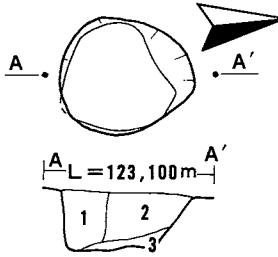
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰と小礫、炭化物少量含む
 2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 極暗褐色土 炭化物、火山灰ブロックを含む
 3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰と小礫を少量含む
- II A 121



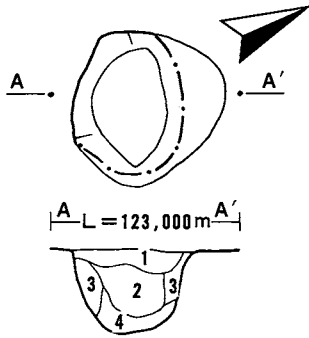
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 焼土、火山灰ブロックを含む
- II A 143



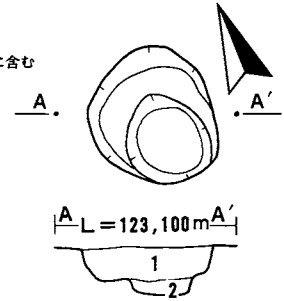
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 焼土粒、炭化物が混じる
 2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 焼土、炭化物が混じる
 3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 火山灰と炭化物をわずかに含む
 4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、火山灰ブロックを含む
 5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土~7.5Y R $\frac{1}{2}$ 黒褐色土を少量含む、小礫を含む
- II A 124



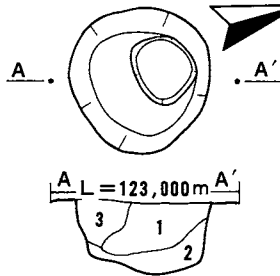
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 火山灰ブロックを含む、小礫、炭化物をわずかに含む
 2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 小礫、火山灰、炭化物を含む
 3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰ブロックを含む
- II A 214



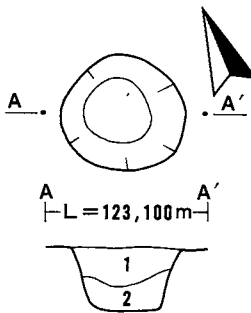
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 火山灰を含む、焼土、炭化物を少し含む
 2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 黒褐色土 火山灰ブロック、焼土炭化物を含む
 3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土 小礫、火山灰を少し含む
 4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土 火山灰ブロックを多く含む
- II A 132



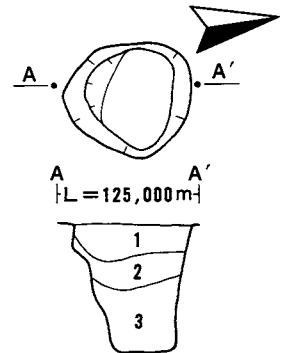
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、火山灰ブロックが混じる、焼土を少量含む
 2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、火山灰が混じる、土器出土
- II A 217



1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰ブロックと炭化物わずかに含む
 2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、小礫をわずかに含む
 3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 焼土、炭化物が混じる、土器出土
- II A 221

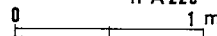


1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物と褐色土が混じる、焼土もわずかに含む
 2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、火山灰が混じる
- II A 218

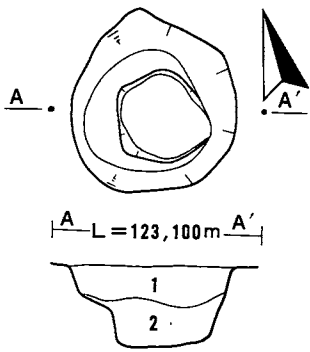


1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰ブロックと焼土を少量含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 小礫、炭化物を含む
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、焼土、火山灰が混じる、土器出土

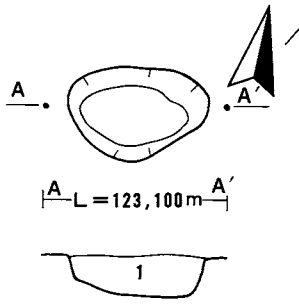
II A 226



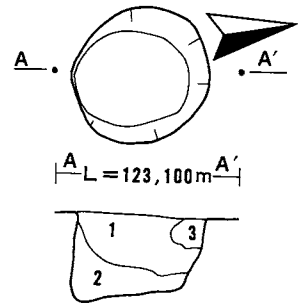
第168図 II A区土坑(3)



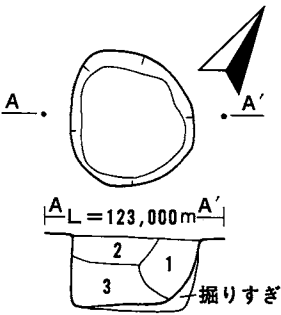
1. 7.5Y R%褐色土 焼土粒、炭化物を含む
 2. 7.5Y R%褐色土 炭化物火山灰ブロックを含む
- II A 225



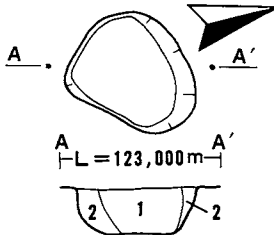
1. 7.5Y R%褐色土 炭化物、火山灰が混じる 土器出土
- II A 229



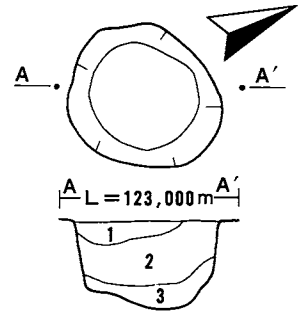
1. 7.5Y R%暗褐色土 炭化物、焼土、火山灰ブロックを含む、土器出土
 2. 7.5Y R%褐色土 火山灰、炭化物、焼土を含む
 3. 7.5Y R%褐色土 1に似るが粘性有り
- II A 227



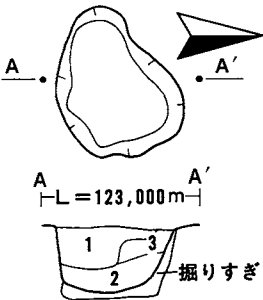
1. 7.5Y R%褐色土 火山灰ブロック、焼土、炭化物を含む
 2. 7.5Y R%褐色土 炭化物を含む、焼土をわずかに含む
 3. 7.5Y R%褐色土 炭化物 火山灰を含む、土器出土
- II A 230



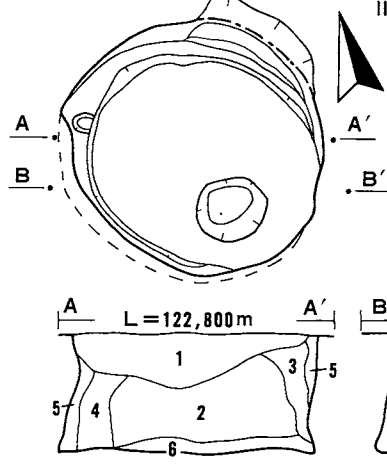
1. 7.5Y R%暗褐色土 炭化物、火山灰が混じる
 2. 7.5Y R%褐色土 火山灰、炭化物を含む
- II A 232



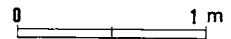
1. 7.5Y R%褐色土と火山灰の混土 炭化物をわずかに含む
 2. 7.5Y R%暗褐色土 炭化物、焼土、火山灰ブロック混じる
 3. 7.5Y R%褐色土 砂、火山灰が混る、土器出土
- II A 233



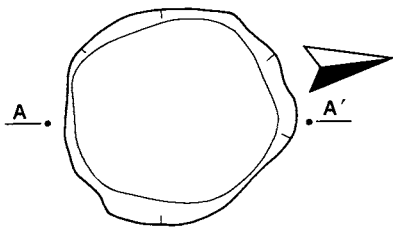
1. 7.5Y R%暗褐色土 炭化物、火山灰、焼土を含む
 2. 7.5Y R%褐色土 炭化物、火山灰、焼土粒が混じる
 3. 7.5Y R%褐色土 火山灰ブロック混じる
- II A 234



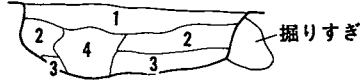
1. 7.5Y R%暗褐色土 小礫、炭化物、火山灰がわずかに含まれる
 2. 7.5Y R%褐色土 7.5Y R%明褐色土%との混土、小礫含む
 3. 7.5Y R%褐色土 小礫が全体に混じる
 4. 7.5Y R%褐色土 3層より小礫が多い
 5. 7.5Y R%暗褐色土 火山灰、炭化物が少し混じる
 6. 7.5Y R%褐色土 炭化物を含む
- II A 240



第169図 II A区土坑(4)

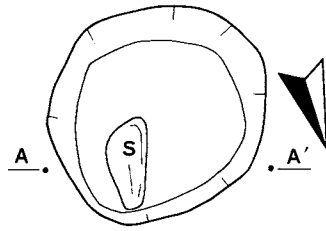


L = 122,900 m



1. 7.5Y R%褐色土 火山灰、小礫と炭化物少量含む
2. 7.5Y R%褐色土 火山灰ブロック、小礫を含む
3. 7.5Y R%褐色土 火山灰ブロック、炭化物含む
4. 7.5Y R%褐色土 炭化物、小礫を含む
5. 7.5Y R%褐色土 火山灰ブロック、土を含む

II A 239

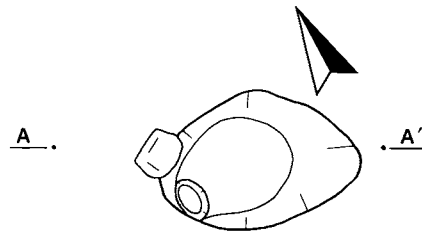


L = 123,300 m

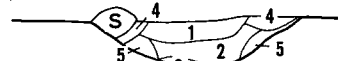


1. 7.5Y R%褐色土 炭化物微量含む
2. 7.5Y R%褐色土 黒色軽石含む
3. 7.5Y R%褐色土 火山灰
4. 7.5Y R%褐色土 焼土を含む
5. 7.5Y R%褐色土 黒色軽石含む
6. 7.5Y R%にふい褐色土焼土、炭化物多く含む

II A 241

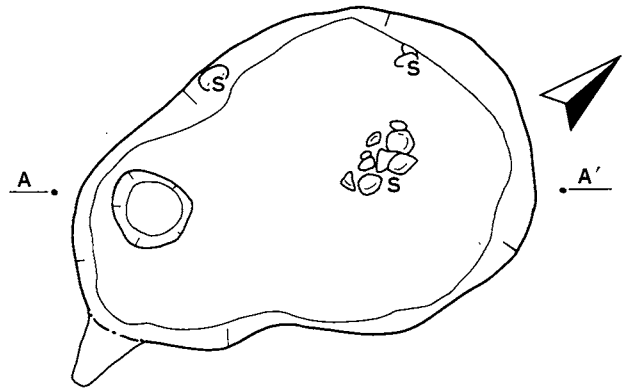


L = 122,700 m

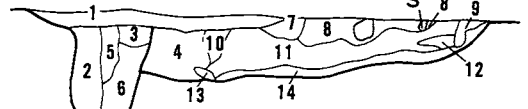


1. 7.5Y R%褐色土 火山灰、炭化物を少量含む
2. 7.5Y R%褐色土 火山灰、炭化物を多量に含む
3. 7.5Y R%明褐色土 火山灰ブロック混じり
4. 7.5Y R%褐色土 火山灰混じり
5. 7.5Y R%明褐色土 3層と同じ

II A 247



L = 122,800 m

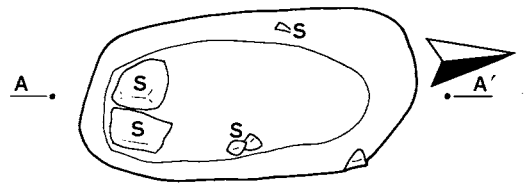


II A 250

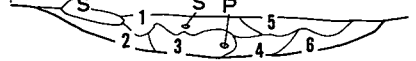
II A 248

1. 7.5Y R%褐色土 炭化物微量
2. 7.5Y R%褐色土 火山灰、炭化物少量含む
3. 7.5Y R%褐色土 火山灰ブロック少量、焼土、炭化物微量
4. 7.5Y R%褐色土 火山灰、炭化粒、焼土粒を少量含む
5. 7.5Y R%褐色土 炭化物、焼土微量
6. 7.5Y R%褐色土 火山灰ブロック、炭化物少量
7. 7.5Y R%褐色土 焼土多量に含む
8. 7.5Y R%褐色土 焼土、炭化物微量
9. 7.5Y R%褐色土 攪乱
10. 7.5Y R%褐色土 焼土、炭化物を含む
11. 7.5Y R%褐色土 火山灰、炭化物少量含む
12. 7.5Y R%褐色土 火山灰ブロックを含む
13. 7.5Y R%褐色土 攪乱
14. 7.5Y R%褐色土 火山灰ブロック混じり、焼土炭化物微量

II A 248、II A 250

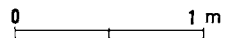


L = 122,800 m

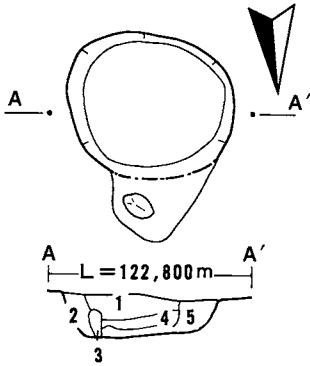


1. 7.5Y R%褐色土 石器を含む、炭化物、火山灰を微量に含む
2. 7.5Y R%褐色土 焼土、炭化物まじり
3. 7.5Y R%明褐色土 火山灰、土器、炭化粒を含む
4. 7.5Y R%明褐色土 火山灰、炭化粒を含む
5. 7.5Y R%褐色土 炭化粒と火山灰を微量に含む
6. 7.5Y R%明褐色土 火山灰を多量に含む

II A 249

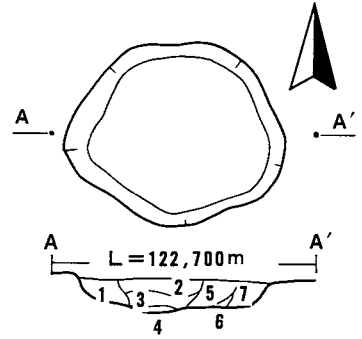


第170図 II A区土坑(5)



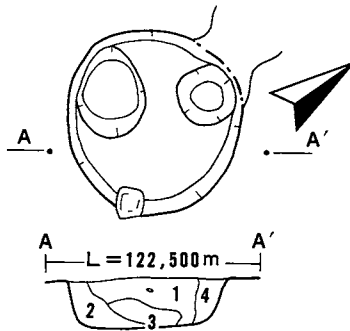
1. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 焼土、火山灰混り
2. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 火山灰ブロック混り
3. 5Y R 1/2 暗赤褐色土 攪乱
4. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物、焼土多量に含む
5. 7.5Y R 1/2 褐色土 2層と同一層

II A 253



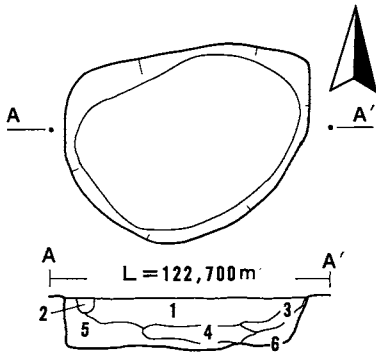
1. 7.5Y R 1/2 明褐色土 火山灰ブロック
2. 7.5Y R 1/2 褐色土 焼土含み
3. 7.5Y R 1/2 褐色土 黄褐色、火山灰、炭化物少量
4. 7.5Y R 1/2 褐色土 火山灰混じり
5. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物混じり
6. 7.5Y R 1/2 褐色土 攪乱
7. 7.5Y R 1/2 褐色土 5層と同じ

II A 257



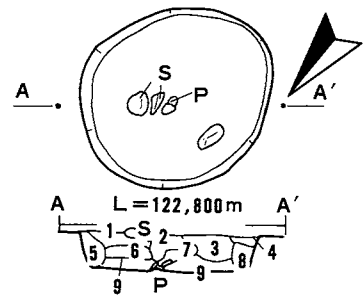
1. 5Y R 1/2 極暗褐色土 焼土粒、炭化粒含む
2. 5Y R 1/2 暗赤褐色土 火山灰混じり
3. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化粒、火山灰を含む
4. 7.5Y R 1/2 褐色土 火山灰混じり

II A 261



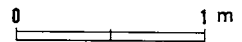
1. 7.5Y R 1/2 褐色土 黄褐色火山灰、炭化物、焼土微量
2. 7.5Y R 1/2 褐色土 攪乱
3. 7.5Y R 1/2 褐色土 1層より火山灰を多く含む
4. 7.5Y R 1/2 褐色土 火山灰ブロック、黒色軽石含む
5. 7.5Y R 1/2 明褐色土 火山灰ブロック混じり
6. 7.5Y R 1/2 褐色土 火山灰ブロック 焼土軽石含む

II A 264

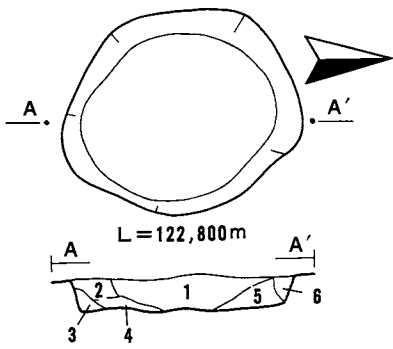


1. 10Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、微量
2. 10Y R 1/2 暗褐色土
3. 10Y R 1/2 暗褐色土 焼土、炭化物、微量
4. 10Y R 1/2 暗褐色土
5. 10Y R 1/2 黄褐色土 火山灰混じり
6. 10Y R 1/2 褐色土 炭化物、焼土微量
7. 10Y R 1/2 褐色土 焼土微量
8. 10Y R 1/2 褐色土 火山灰ブロック混じり
9. 10Y R 1/2 黄褐色土 火山灰混じり

II A 263

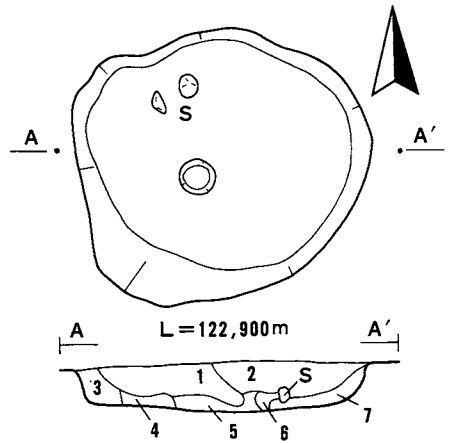


第171図 II A区土坑(6)



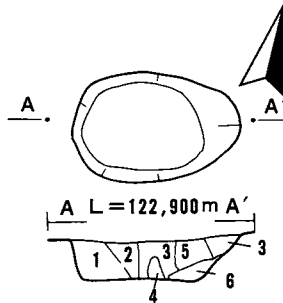
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 黒褐色土
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土
5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土
6. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土

II A 266



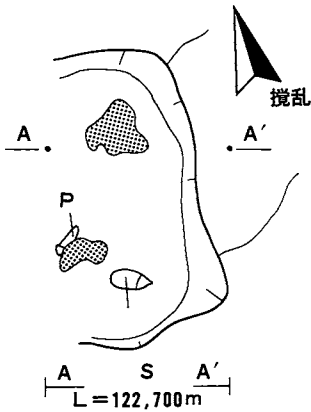
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土 火山灰、焼土少量含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 黄褐色火山灰多量、炭化物微量に含む
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰ブロックまじり
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土
5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土 火山灰ブロック混じり
6. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土 火山灰ブロック混じり
7. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土 火山灰混じり

II A 265



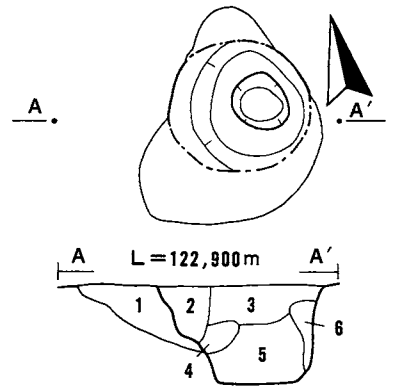
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰ブロック混じり
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 攪乱
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 黄褐色火山灰、焼土微量含む
- 4と5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 攪乱
6. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰混じり

II A 267



1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物混じり
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰、炭化物混じり
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物3層より多い
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ にふい褐色土
5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土 火山灰混じり
6. 2.5Y R $\frac{1}{2}$ 赤褐色土 焼土
7. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、火山灰含む

II A 270

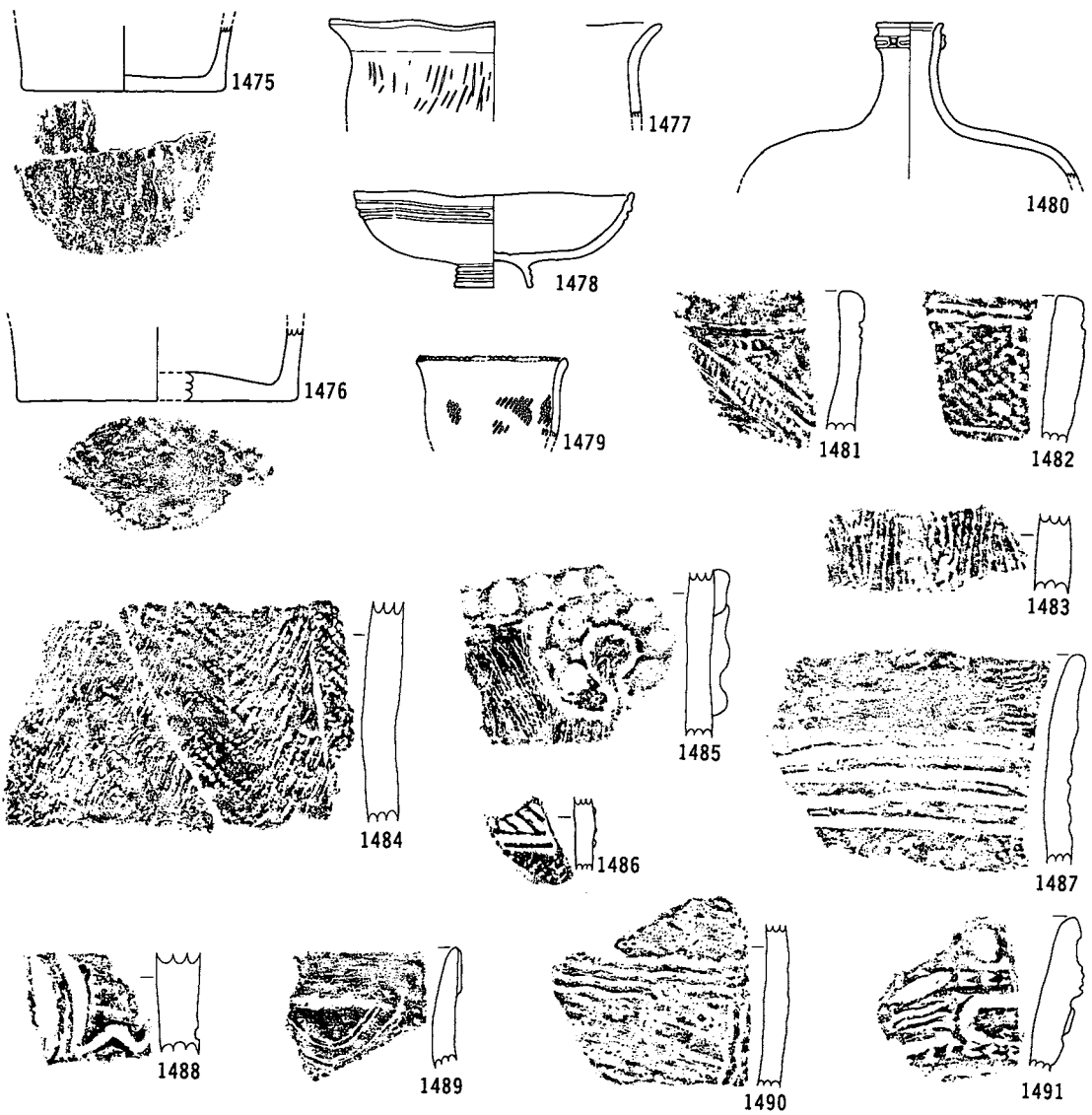


1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ にふい褐色土 堀りすぎ
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物混じり
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、火山灰ブロック混じり
5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、火山灰混じり
6. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰ブロック

II A 269



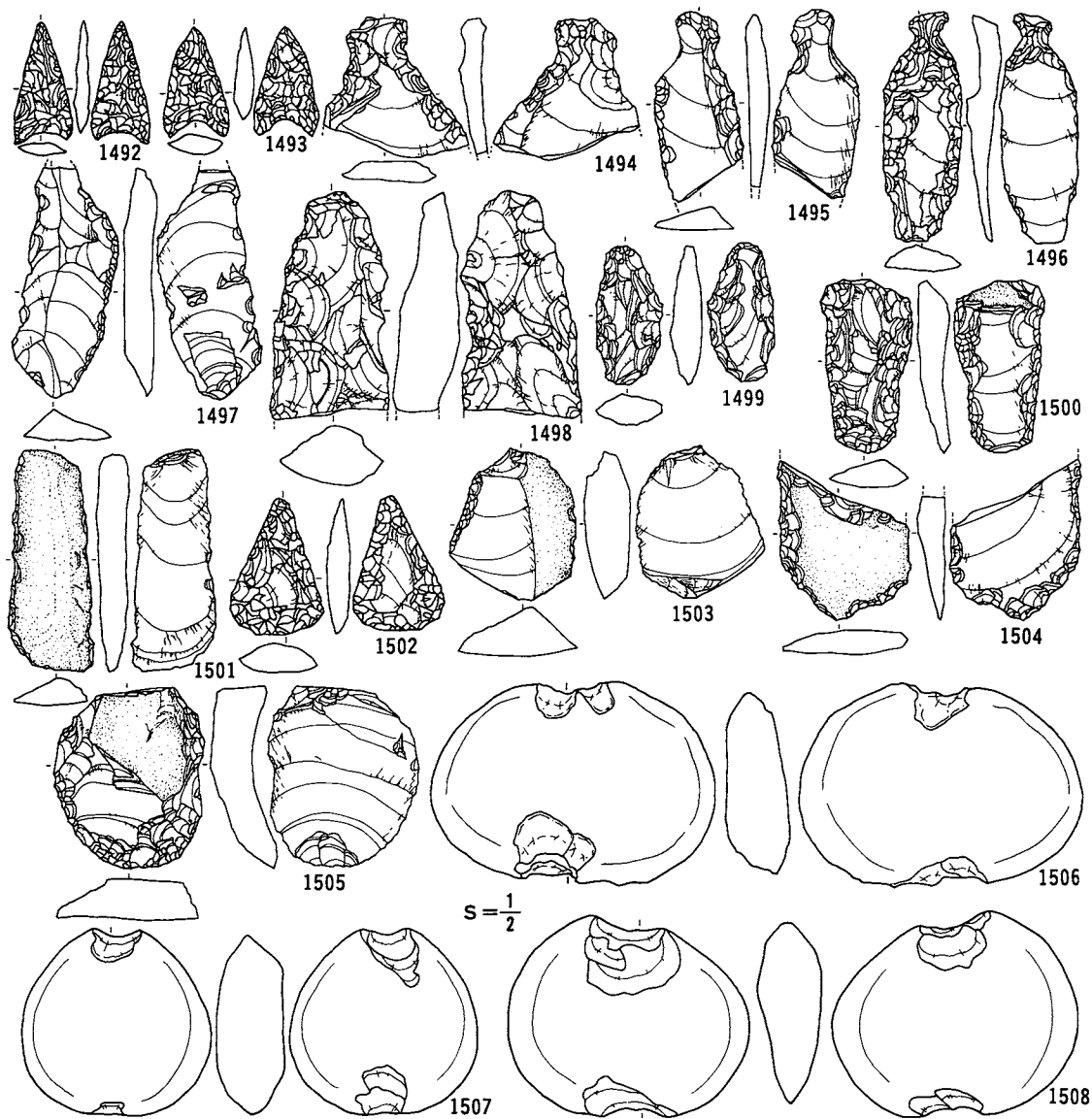
第172図 II A区土坑(7)



1475~1480 $S = \frac{1}{4}$ 1481~1491 $S = \frac{1}{3}$

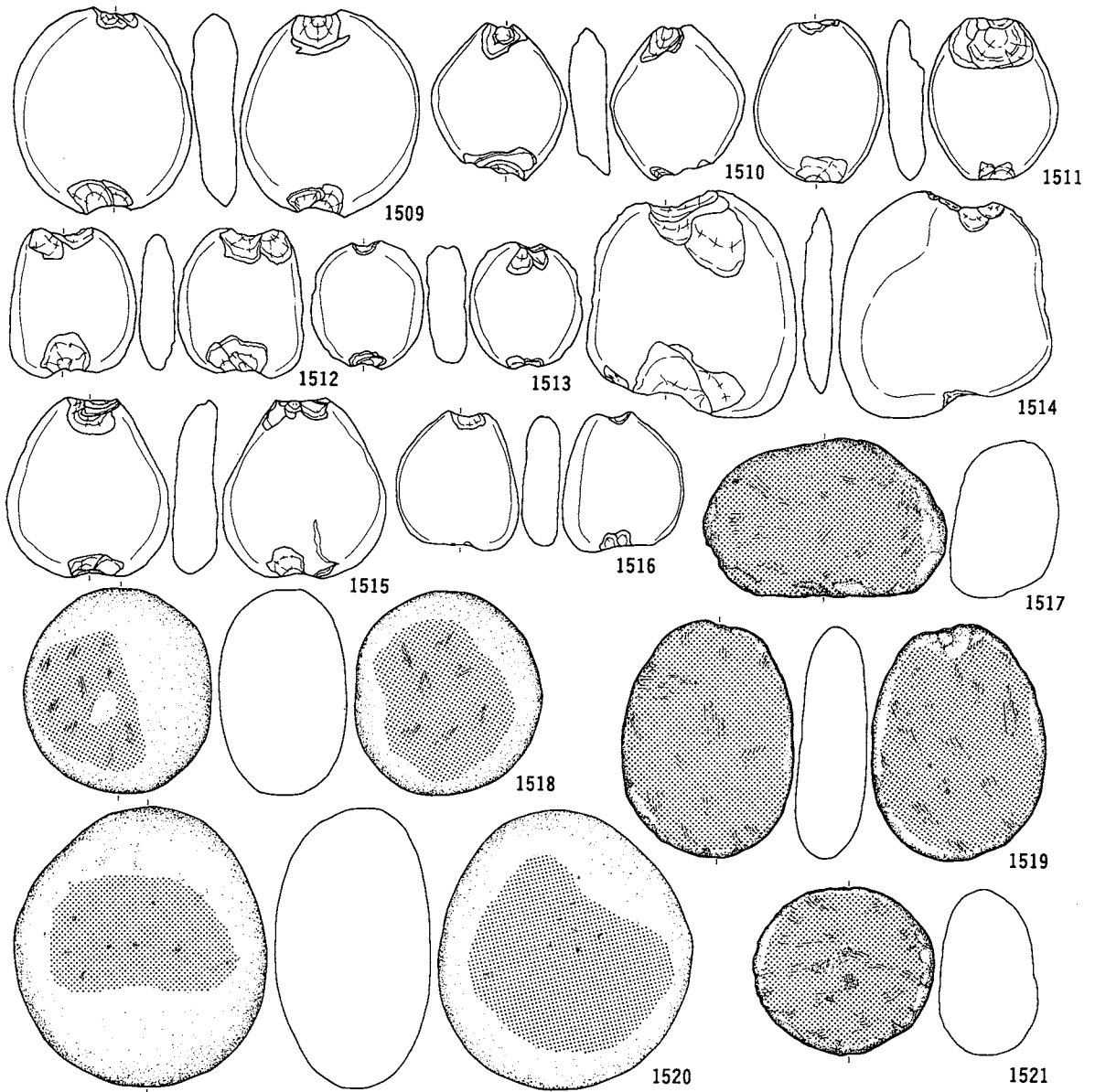
No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1475	II A 122・埋土	胴~底部	網代痕	深鉢A
1476	II A 227・埋土	胴~底部	網代痕	深鉢A
1477	II A 221・埋土	口~胴部	縦位の連続した細い沈線	深鉢B 5類
1478	II A 270・埋土	口~底部	口縁部と高台部に横位の沈線が3条ずつ巡る	台付鉢
1479	II A 270・埋土	口~胴部	口唇部に連続した刻目、L Rヨコ	深鉢
1480	II A 270・埋土	口~胴部	口縁部に溝のある粘土紐が巡る	壺
1481	II A 102・埋土	口縁部	横位や梯子状の沈線	深鉢A 19類
1482	II A 107・埋土	口縁部	沈線間にR Lの原体圧痕ナナメ	深鉢A 16類
1483	II A 107・埋土	胴部	木目状燃系文	深鉢A 11類
1484	II A 107・埋土	胴部	RとL Rの羽状(結束第1種)タテ	深鉢A 15類
1485	II A 107・埋土	頸部	円形の連続押圧のある粘土紐、木目状の燃系文	深鉢
1486	II A 107・埋土	頸部	横位や斜位の細い粘土紐、L Rヨコ	深鉢
1487	II A 107・埋土	口~頸部	横位の沈線	深鉢B 6類
1488	II A 214・埋土	胴部	弧状や小波状の沈線	深鉢
1489	II A 234・埋土	口縁部	複合口縁、平行沈線文	深鉢A 7類
1490	II A 239・埋土	胴部	横位や斜位の小波状沈線、Rヨコ	深鉢B 6類
1491	II A 269・埋土	口縁部	波頂部に円形の凹み、爪形文、平行沈線文、太い沈線	深鉢B 10類

第173図 II A区土坑出土遺物(1)



No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1492	II A 230埋土	石鏃	3.3	1.6	0.4	1.2	流紋岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
1493	II A 241埋土	石鏃	2.9	2.8	0.6	2.2	珧質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
1494	II A 253埋土北半	石匙	3.8	3.8	0.7	7.9	硬質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	*
1495	II A 233埋土	石匙	5.1	2.3	0.5	7.4	硬質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	*
1496	II A 221埋土	石匙	6.2	2.1	0.7	8.3	珧質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
1497	II A 232埋土	石匙	6.3	2.4	0.8	13.4	硬質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
1498	II A 234埋土	石鏃	6.2	3.3	1.8	33.3	硬質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	*
1499	II A 122埋土	削器	3.8	1.8	0.9	5.9	硬質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
1500	II A 241埋土	削器	4.7	2.5	0.9	10.5	粘板岩	北上山地	古生界	
1501	II A 107埋土下層	削器	6.1	2.3	0.9	13.3	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
1502	II A 269埋土南半	三角削器	3.8	2.5	0.8	5.4	硬質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
1503	II A 270埋土	削器	4.2	3.5	1.3	16.2	珧質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
1504	II A 230埋土	削器	4.4	3.6	3.6	0.8	硬質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	*
1505	II A 233埋土	搔器	5.0	4.2	1.8	29.1	珧質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
1506	II A 107埋土下層	石鏃	5.4	7.8	1.7	90.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1507	II A 230埋土	石鏃	5.1	5.1	2.0	70.1	硬質泥岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1508	II A 107埋土下層	石鏃	5.5	6.6	1.9	90.1	アロピライト質緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

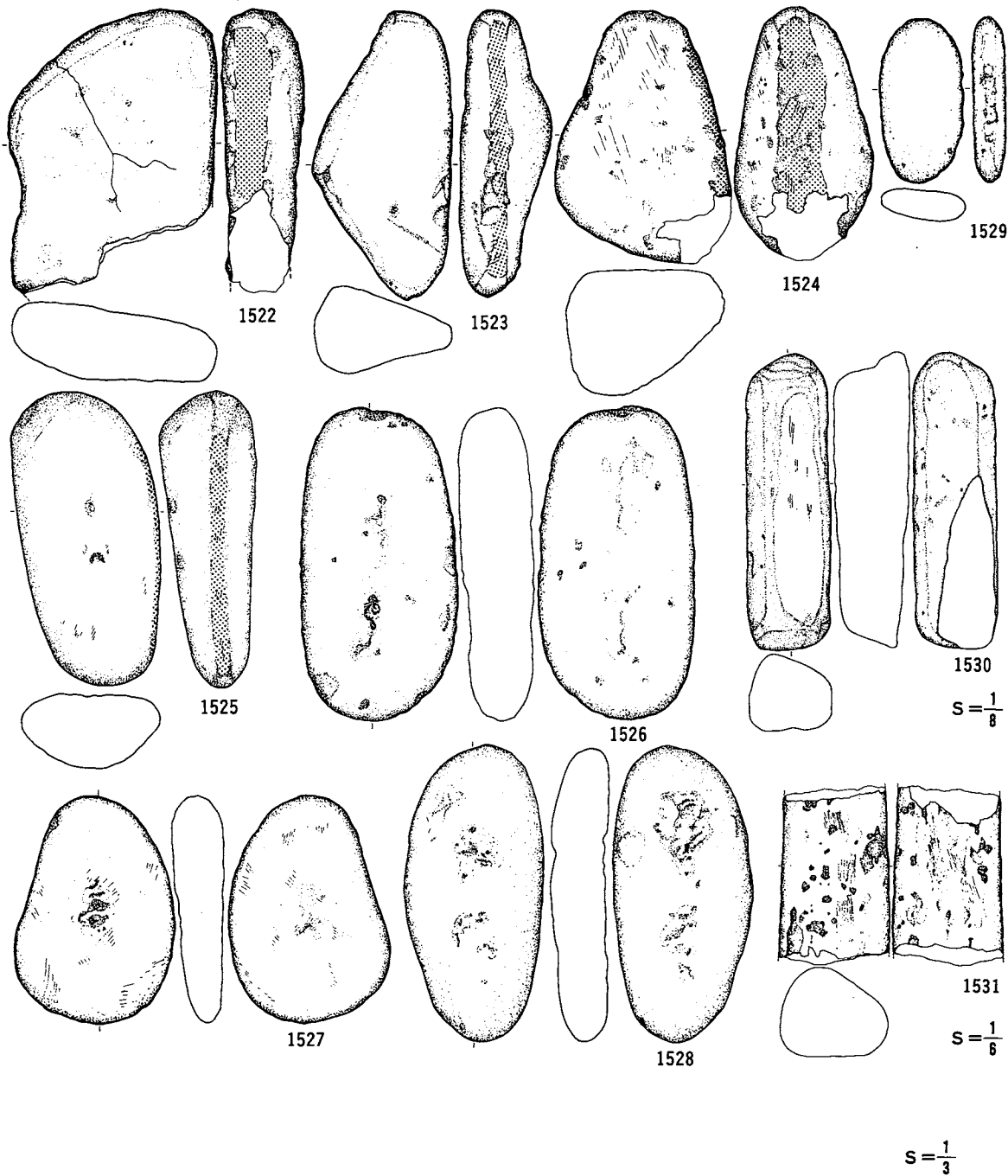
第174図 II A区土坑出土遺物(2)



$$s = \frac{1}{3}$$

Na.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1509	II A 249埋土	石鏟	8.9	7.7	1.8	160.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1510	II A 121埋土	石鏟	6.8	5.9	1.8	70.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*
1511	II A 107埋土上層	石鏟	7.0	5.5	1.6	80.1	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
1512	II A 124埋土	石鏟	6.4	5.4	1.5	80.1	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	*
1513	II A 269埋土南半	石鏟	5.5	4.9	1.9	60.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1514	II A 269埋土南半	石鏟	9.7	9.2	1.9	190.0	アサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	*
1515	II A 107埋土	石鏟	7.7	7.0	2.1	130.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1516	II A 107埋土	石鏟	6.0	5.3	1.8	80.1	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1517	II A 247埋土	すり石	10.5	6.8	4.6	500.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	
1518	II A 241埋土	すり石	8.9	8.1	5.4	550.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	
1519	II A 241埋土	すり石	10.2	7.5	3.0	340.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1520	II A 241埋土	すり石	12.1	11.0	6.8	1270.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1521	II A 225埋土	すり石	7.8	7.2	4.2	340.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	

第175図 II A区土坑出土遺物(3)



$S = \frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1522	II A 241埋土	特殊磨石	15.0	9.9	3.8	620.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*
1523	II A 264埋土	特殊磨石	13.3	6.4	4.3	360.0	綠色凝灰岩	夏油川	新第三系中新統	
1524	II A 257埋土	特殊磨石	11.4	8.0	6.4	550.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	
1525	II A 270埋土焼土	特殊磨石	13.4	6.5	3.4	485.0	綠色凝灰岩	夏油川	新第三系中新統	
1526	II A 264埋土	凹石	14.4	7.3	3.4	590.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1527	II A 241埋土	凹石	10.3	7.1	2.5	250.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1528	II A 264埋土	凹石	13.6	6.4	2.7	335.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
1529	II A 257埋土	敲石	7.5	3.8	1.5	50.1	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
1530	II A 265埋土	石棒	35.7	10.5	9.3	5700.0	アイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	
1531	II A 265埋土	石棒	16.4	10.2	8.3	2240.0	アイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	*

第176図 II A区土坑出土遺物(4)

<規模> 開口部径(400)×270cm、底部径(350)×210cm、深さ144cm。<底面> 3個の副穴を有し、PP1は開口部直径30cm、底部直径28cm、深さ68cm、PP2は開口部直径30cm、底部直径15cm、深さ15cmを測る。<埋土> 炭化物まじりの暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第190～193図、写真図版186～189)

<土器> 図化できた個体が2点、板状土偶1点、ミニチュア土器1点、拓本として掲載した破片2点、それ以外の破片は合わせて中コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが35点、フレークが56点で、器種毎の点数は石錘25点、削器、すり石、凹石各2点、Rフレ、石鏃、石匙、特殊磨石各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 102

遺構 (第177図、写真図版42)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 7 d 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部直径170cm、底部直径190cm、深さ116cm。<底面> 中央に開口部径36×28cm、底部径24×17cm、深さ10cmの副穴を有する。<埋土> 炭化物、小礫まじりの褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第193・194図、写真図版189・190)

<土器> 図化できた個体が3点、拓本として掲載した破片が3点で、それ以外の破片は合わせて中コンテナ1箱程出土している。<石器> 半円状偏平打製石器、敲石、有孔礫が各1点、フレークが28点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代中期初頭と考えられる。

III A 103

遺構 (第177図、写真図版42)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 7 d 区付近に位置し、III A 113に切られる。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部径(280)×230cm、底部径(270)×216cm、深さ106cm。<埋土> 上部に暗褐色土、下部に褐色土が入る。人為堆積と考えられる。

遺物 (第194～199図、写真図版190～195)

<土器> 図化できた個体が7点で、そのうち縄文土器が5点、土師器の坏と甕が各1点である。また、底部片4点、板状土偶5点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ2箱程出土している。<石器> 登録したものが69点、フレークが245点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘44点、すり石5点、石鏃、石筥、削器が各3点、特殊磨石、凹石、敲石が各2点、石匙、鋸歯状石器、磨製石斧、台石、有孔礫が各1点。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉と考えられる。

III A 104

遺構 (第177図、写真図版43)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 10 e 区に位置しIII A 117を切る。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径222×173cm、底部径246×162cm、深さ142cm。<底面> 北西と南東の端にそれぞれ1個の副穴を有する。P P 1は開口部径20×15cm、底部径14×10cm、深さ27cmで、P P 2は開口部径20×18cm、底部径15×10cm、深さ50cmである。P P 2の北側には27×18cmの礫がみられる。<埋土> 炭化物や焼土まじりの暗褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第200～202図、写真図版195～197)

<土器> 図化できた個体が8点、土師器の底部片1点、拓本として掲載した破片4点、板状土偶2点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが30点、フレークが124点で、器種毎の点数は石錘11点、すり石3点、コア、石匙、石筥、特殊磨石、凹石、敲石、円盤状石製品各2点、石鏃、台石各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉と考えられる。

III A 105

遺構 (第178図、写真図版43)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 8 e 区に位置し、III A 112とIII A 126を切る。<平面形> 開口部、底部ともに不整な楕円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部径(270)×210cm、底部径214×190cm、深さ115cm。<底面> 南東壁際に4個の小穴がみられる。深さは、北側のものが5cm、残りの3個が18cmである。<埋土> 炭化物、焼土粒まじりの褐色～暗褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第203・204図、写真図版197～199)

<土器> 図化できた個体が3点で、そのうち2点が縄文土器、1点が土師器の坏である。また、拓本として掲載した破片が2点、それ以外の破片は合わせて中コンテナ1箱程出土している。<石器> 石錘が4点、Rフレ、削器、半円状偏平打製石器、凹石が各1点、フレークが25点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

Ⅲ A 106

遺構 (第178図、写真図版44)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 9 e 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともわずかに楕円形。<断面形> ほぼピーカー状。<規模> 開口部径250×220cm、底部径220×200cm、深さ138cm。<底面> 中央に開口部直径32cm、底部径26cm、深さ25cmの副穴を有する。<埋土> 土器片を多量に含む暗褐色～褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第205～211図、写真図版199～204)

<土器> 図化できた個体が30点、拓本として掲載した破片が15点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ3箱程出土している。<石器> 登録したものが21点、フレークが168点で、器種毎の点数は石錘6点、石筥4点、敲石3点、石匙、特殊磨石、凹石各2点、石鏃、すり石各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代中期初頭と考えらえる。

Ⅲ A 107

遺構 (第178図、写真図版43)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 5 d 区とⅢA 6 d 区の間位置し、ⅢA 114を切る。<平面形> 開口部、底部ともに卵形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径270×230cm、底部径296×260cm、深さ114cm。<底面> 東側壁際に開口部径28×18cm、底部径22×13cm、深さ80cmの副穴を有する。また、北側には35×25cm、35×15cmの礫2個がみられる。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第211～213図、写真図版204～206)

<土器> 図化できた個体が5点で、土師器の坏が3点、甕が2点である。また、拓本として掲載した破片が4点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが18点、フレークが80点で、器種毎の点数は石錘9点、Uフレ、特殊磨石各2点、石匙、削器、搔器、鋸歯状石器、有孔礫各1点である。

遺構の時期

出土遺物から平安時代と考えられる。

Ⅲ A 108

遺構 (第179図、写真図版45)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 10 e 区付近に位置する。<平面形> 開口部は不整な楕円形、底部は円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径250×210cm、底部直径250cm、

深さ128cm。〈底面〉 中央に開口部径33×27cm、底部径22×17cm、深さ10cmの副穴を有する。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの暗褐色～褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第213～215図、写真図版206～208)

〈土器〉 図化できた個体が8点、拓本として掲載した破片が7点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ2箱程出土している。〈石器〉 登録したものが15点、フレイクが78点で、器種毎の点数は削器、石錘各3点、石匙、敲石各2点、石篋、磨製石斧、すり石、石剣、朱塗の石製品各1点である。

Ⅲ A 109

遺構 (第179図、写真図版45)

〈検出状況〉 調査区西寄りのⅢA10g区に位置し、ⅢA7号住居跡に切られる。〈平面形〉 開口部、底部ともに隅丸長方形。〈断面形〉 横長の逆台形。〈規模〉 開口部径(170)×125cm、底部径(160)×117cm、深さ17cm。〈底面〉 北西側に20×20cm、33×13cm、15×5cmの礫3個が入る。〈埋土〉 炭化物、焼土粒まじりの褐色土が主体をなす。

遺物 (第216図、写真図版208)

〈土器〉 図化できた個体が1点、拓本として掲載した破片が1点、板状土偶が1点、それ以外の破片が大1袋出土している。〈石器〉 石匙、石錘が各2点、削器が1点、フレイクが19点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉と考えられる。

Ⅲ A 110

遺構 (第179図、写真図版46)

〈検出状況〉 調査区西寄りのⅢA10e区に位置し、ⅢA111に切られる。〈平面形〉 開口部は不整な楕円形、底部は円形と考えられる。〈断面形〉 フラスコ状。〈規模〉 開口部径(190)×165cm、底部直径(200)cm、深さ170cm。〈埋土〉 炭化物、焼土粒、火山灰まじりの暗褐色～黒褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第217～219図、写真図版209～211)

〈土器〉 図化できた個体が3点、底部片1点、拓本として掲載した破片が1点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ2箱程出土している。〈石器〉 登録したものが35点、フレイクが112点で、器種毎の点数は石錘10点、石篋、すり石各5点、特殊磨石4点、石鏃3点、削器2点、Uフレ、搔器、鋸歯状石器、凹石、石剣、円盤状石製品各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代中期初頭と考えられる。

Ⅲ A 111

遺構 (第179図、写真図版46)

<検出状況> 調査区西寄りのⅣA 1 e 区付近に位置し、ⅢA110を切る。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> ほぼピーカー状。<規模> 開口部径364×276cm、底部径390×250cm、深さ158cm。<底面> 西寄りに40×35cmの礫が入り、その礫を含む東西の線上に合計5個の副穴がみられる。P P 1は開口部径26×23cm、底部径19×15cm、深さ16cm、P P 2は開口部径40×36cm、底部径13×10cm、深さ70cm、P P 3は開口部径33×30cm、底部径25×18cm、深さ44cm、P P 4は開口部径37×35cm、底部径25×24cm、深さ21cm、P P 5は開口部径19×15cm、底部径9×7cm、深さ12cmである。<埋土> 炭化物、焼土粒、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第220～226図、写真図版211～217)

<土器> 図化できた個体が16点、底部片1点、拓本として掲載した破片31点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ4箱程出土している。<石器> 登録したものが51点、フレークが221点で、器種毎の点数は石錘22点、すり石5点、削器4点、石鏃、凹石各3点、Uフレ、Rフレ、コア、石筥、円盤状石製品各2点、特殊磨石、敲石、石皿、有孔礫各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代中期初頭と考えられる。

Ⅲ A 112

遺構 (第178図、写真図版43)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 8 e 区に位置し、ⅢA105とⅢA126に切られる。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径284×180cm、底部径276×160cm、深さ106cm。<底面> 南東壁際に開口部直径25cm、底部直径16cm、深さ23cmの副穴を有する。<埋土> 明褐色土火山灰が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第227～230図、写真図版218～221)

<土器> 図化できた個体が5点、拓本として掲載した破片が6点、舟形土器1点、糸巻形土製品1点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが43点、フレークが133点で、器種毎の点数は石錘22点、すり石4点、尖頭器、特殊磨石、凹石各3点、コア、削器各2点、台石、石柱、石剣、岩偶と思われるもの各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

Ⅲ A 113

遺構 (第180図、写真図版45)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 7 d 区とⅢA 8 d 区の間位置し、ⅢA103を切る。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径185×160cm、底部径122×91cm、深さ110cm。<底面> 東側壁際に沿って10～25cmの礫が5個並んで入る。<埋土> 炭化物、焼土粒、火山灰まじりの褐色土が主体をなし、中部に投げ込みと思われる焼土の層が12cm程の厚さに入る。

遺物 (第231・232図、写真図版221～223)

<土器> 図化できた個体が3点、拓本として掲載した破片が3点、それ以外の破片は合わせて中コンテナ1箱程出土している。<石器> 石錘が4点、石筥、すり石、特殊磨石、台石、石剣が各1点、フレークが13点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

Ⅲ A 114

遺構 (第178図、写真図版43)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 6 d 区に位置し、ⅢA107に切られる。<平面形> 開口部、底部ともに隅丸長方形。<断面形> ほぼフラスコ状。<規模> 開口部径175×(130)cm、底部径180×(130)cm、深さ85cm。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第233図、写真図版223)

<土器> 図化できた個体が2点、拓本として掲載した破片が1点、それ以外の縄文土器の破片が大1袋出土している。<石器> 石錘が2点、石匙、凹石が各1点、フレークが16点出土している。

Ⅲ A 115

遺構 (第180図、写真図版45)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 5 f 区とⅢA 6 f 区の間位置する。<平面形> ひし形に近い楕円形。<断面形> 浅皿状。<規模> 開口部径155×130cm、底部径115×106cm、深さ37cm。<底面> 北側壁際に開口部径31×28cm、底部径22×17cm、深さ29cmの副穴を有する。<埋土> 炭化物まじりの暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第233・234図、写真図版223・224)

<土器> 土師器の底部片が1点、それ以外は破片で大1袋出土している。<石器> 石錘が3点、すり石が1点、フレークが40点出土している。

Ⅲ A 116

遺構 (第180図、写真図版47)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 6 g 区付近に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> ほぼ浅皿状。<規模> 開口部径278×200cm、底部径250×160cm、深さ50cm。<底面> 北西と南東の壁際にそれぞれ1個の副穴を有する。P P 1は開口部直径38cm、底部径30×27cm、深さ7cm、P P 2は開口部径41×31cm、底部径25×20cm、深さ55cmである。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第234・235図、写真図版224・225)

<土器> 拓本として掲載した破片が1点、それ以外の破片は合わせて中コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが15点、フレークが51点で、器種毎の点数は石錘4点、すり石3点、石鏃、削器各2点、Uフレ、Rフレ、特殊磨石、三角型石器各1点である。

Ⅲ A 117

遺構 (第180図、写真図版47)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 10 f 区付近に位置し、ⅢA 104に切られる。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形と考えられる。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部径(170)×145cm、底部径(160)×130cm、深さ62cm。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が全体に入る。人為堆積と考えられる。遺物は出土しなかった。

Ⅲ A 118

遺構 (第181図、写真図版47)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 8 d 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径280×200cm、底部径330×206cm、深さ116cm。<埋土> 炭化物、焼土粒、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第236～238図、写真図版226～228)

<土器> 図化できた個体が6点、拓本として掲載した破片が4点、それ以外の破片は合わせて中コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが25点、フレークが82点で、器種毎の点数は石錘12点、削器3点、尖頭器2点、石鏃、石匙、ピエス=エスキュー、半円状偏平打製石器、すり石、特殊磨石、塊状耳飾、男根状石製品各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

Ⅲ A 119

遺構 (第181図、写真図版47)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 5 g 区とⅢA 5 h 区の間位置し、柱穴状土坑のⅢA 208を切る。<平面形> 開口部、底部ともわずかに楕円形。<断面形> ほぼビーカー状。<規

模> 開口部径145×130cm、底部径130×120cm、深さ62cm。<底面> 北半に3個の副穴を有する。PP1は開口部径33×28cm、底部径25×19cm、深さ27cm、PP2は開口部直径33cm、底部直径25cm、深さ18cm、PP3は開口部径35×30cm、底部径27×22cm、深さ20cmである。<埋土> 上部に炭化物、火山灰まじりの暗褐色土、下部に褐色土が入る。また、上部西側には投げ込みと思われる焼土が入る。

遺物 (第239図、写真図版228・229)

<土器> 図化できたものが縄文土器と土師器の坏の2点で、拓本として掲載した破片が2点である。それ以外の破片は合わせて大2袋出土している。<石器> 石錘が3点、石鏃、尖頭器、削器、すり石、円盤状石製品が各1点、フレークが14点出土している。

III A 120

遺構 (第181図、写真図版48)

<検出状況> 調査区西側のIII A 5 h区とIII A 6 h区の間に位置する。<平面形> 開口部、底部ともわずかに楕円形。<断面形> 横長の逆台形。<規模> 開口部径192×170cm、底部径176×160cm、深さ30cm。<底面> 6個の副穴を有する。それぞれの規模は次の通りである。

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6
開口部径	35×30cm	37×20cm	35×31cm	40×28cm	43×30cm	18×16cm
底部径	17×15cm	28×16cm	19×14cm	28×19cm	28×16cm	14×12cm
深さ	43cm	28cm	40cm	27cm	32cm	11cm

<埋土> 炭化物、焼土粒まじりの黒褐色土が主体をなす。

遺物 (第240図、写真図版229)

<土器> 縄文土器の破片が大1袋出土している。<石器> 石錘、石匙が各1点、フレークが6点出土している。

III A 121

遺構 (第181図、写真図版48)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 6 h区付近に位置し、東側がIII A 8号住居跡に隣接する。柱穴状土坑のIII A 209が中に入るが、切り合い関係は不明である。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部径218×161cm、底部径192×143cm、深さ42cm。<底面> ほぼ中央に開口部径33×23cm、底部径18×16cm、深さ24cmの副穴を有する。<埋土> 炭化物や火山灰を含む黒褐色土が主体をなす。

遺物 (第240図、写真図版229)

<土器> 縄文土器の破片が大2袋出土している。<石器> 石錘が2点、フレークが8点出土している。

III A 122

遺構 (第182図、写真図版48)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 5 e区とIII A 6 e区の間に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに不整な楕円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径175×137cm、底部径162×149cm、深さ94cm。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす、人為堆積と考えられる。

遺物 (第240・241図、写真図版229・230)

<土器> 縄文土器の破片が大2袋出土している。<石器> 登録したものが17点、フレークが51点で、器種毎の点数は石錘4点、すり石3点、敲石2点、石匙、石錐、削器、搔器、特殊磨石、凹石、台石、有孔礫が各1点である。

III A 123

遺構 (第182図、写真図版48)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 6 d区とIII A 6 e区の間に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径155×100cm、底部径244×166cm、深さ112cm。<底面> 中央に開口部直径27cm、底部直径12cm、深さ20cmの副穴を有する。<埋土> 炭化物、焼土粒まじりの褐色土が主体をなす。

遺物 (第242図、写真図版231)

<土器> 縄文土器の破片が大1袋出土している。<石器> 石筥、石錘、すり石が各1点、フレークが17点出土している。

III A 124

遺構 (第182図、写真図版49)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 5 h区とIII A 6 h区の間に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに不整な楕円形。<断面形> ほぼピーカー状。<規模> 開口部径112×91cm、底部径108×80cm、深さ53cm。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなし、中部に投げ込みと思われる炭化物まじりの焼土が入る。

遺物

<土器> 縄文土器の破片が大1袋出土している。<石器> フレークが6点出土している。

III A 125

遺構 (第182図、写真図版49)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 7 f区付近に位置し、III A 2号住居跡の中に入る。<平面形> 開口部は楕円形、底部は円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径171×147cm、底部直径165cm、深さ85cm。<埋土> 上部に暗褐色土、下部に暗赤褐色土がそれぞれ炭化

物、焼土粒まじりである。人為堆積と考えられる。

遺物 (第242・243図、写真図版231・232)

<土器> 凶化できた個体が3点、拓本として掲載した破片が2点、それ以外の破片は合わせて大2袋出土されている。<石器> 登録したものが14点、フレークが29点で、器種毎の点数は石筥、石錘各3点、石匙、削器各2点、石鏃、尖頭器、半円状偏平打製石器、特殊磨石各1点である。

III A 126

遺構 (第178図、写真図版43)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 8 e 区に位置する。III A 112を切りIII A 105に切られる為平面形は4分の1程しか確認できない。<平面形> 開口部、底部ともに円形と考えられる。<断面形> 浅皿状と考えられる。<規模> 開口部直径(180)cm、底部直径(150)cm、深さ(60)cm。<埋土> 暗褐色土の下に明褐色火山灰が入る。人為堆積と考えられる。

遺物

<石器> フレークが2点出土している。

III A 127

遺構 (第183図、写真図版49)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 9 f 区付近に位置し、III A 128を切る。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> フラスコ状を呈する。尚、上部崩落のため完掘写真と異なっている。<規模> 開口部径150×114cm、底部径222×204cm、深さ122cm。<埋土> 炭化物、焼土粒、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなし、下部に粘土が15cm程の厚さに入る。

遺物 (第244図、写真図版233)

<土器> 凶化できた個体が2点、それ以外の破片は合わせて大3袋出土している。<石器> 石錘が4点、フレークが45点出土している。

III A 128

遺構 (第183図、写真図版49)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 9 f 区に位置し、III A 127に切られる。<平面形> 開口部、底部ともに隅丸方形。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部径(150)×140cm、底部径(130)×130cm、深さ50cm。<埋土> 単層で、粘性のある褐色土が入り、上部に投げ込みと思われる焼土が入る。

遺物 (第245図、写真図版234)

<土器> 縄文土器の破片が大1袋出土している。<石器> 鋸歯状石器が2点、Uフレ、ピエス=エスキュー、石錘、すり石、特殊磨石、凹石が各1点、フレークが20点出土している。

III A 129

遺構 (第183図、写真図版50)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 7 g区付近に位置し、III A 2号住居跡に切られる。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径163×139cm、底部径210×193cm、深さ153cm。<埋土> 上部に火山灰、下部に炭化物まじりの暗褐色土が入る。人為堆積と考えられる。

遺物 (第246～251図、写真図版234～239)

<土器> 図化できた個体が9点、拓本として掲載した破片が14点、板状土偶4点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが43点、フレークが67点で、器種毎の点数は石錘20点、削器8点、石筥3点、すり石、特殊磨石各2点、Uフレ、Rフレ、尖頭器、石匙、石錐、搔器、敲石、石皿各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉と考えられる。

III A 131

遺構 (第183図、写真図版50)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 3 c区に位置する。<平面形> 開口部はわずかに楕円形、底部は円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部径135×125cm、底部直径85cm、深さ46cm。<底面> 東側に開口部直径37cm、底部直径31cm、深さ4cmの落ち込みがみられる。<埋土> 炭化物、礫まじりの暗褐色～黒褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第251図、写真図版240)

<土器> 拓本として掲載した破片が2点、それ以外の破片は合わせて小2袋出土している。<石器> フレークが2点出土している。

III A 132

遺構 (第184図、写真図版50)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 3 c区に位置する。開口部東側に落ち込みがみられる。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部径110×91cm、底部径70×60cm、深さ35cm。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなし、底面中央に35×30cmの円礫が入る。人為堆積と考えられる。遺物は出土しなかった。

III A 133

遺構 (第184図、写真図版51)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 2 c区に位置する。<平面形> 開口部はほぼ円形、底部はわずかに楕円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部直径100cm、底部径74×64cm、深さ

26cm。〈埋土〉 炭化物まじりの暗褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物

〈石器〉 フレークが9点出土している。

III A 135

遺構 (第184図、写真図版51)

〈検出状況〉 調査区西寄りのIII A 1 c 区とIII A 2 c 区の間に位置する。〈平面形〉 開口部底部ともにほぼ円形。〈断面形〉 ビーカー状。〈規模〉 開口部直径140cm、底部直径135cm、深さ60cm。〈埋土〉 炭化物まじりの褐色土が主体をなす。東半分を半截中、上層から中層にかけてまとまった土器片が出土し、その下の中層から下層にかけて2段にわたり偏平な礫や石柱が出土した。西半分からも、まとまった土器片の下から偏平な礫(1段)が出土し、意図的に埋められたものと考えられる。

遺物 (第251～253図、写真図版240・241)

〈土器〉 図化できた個体が4点、拓本として掲載した破片が4点、それ以外の破片は合わせて大2袋出土している。〈石器〉 すり石が4点、石柱が2点、Rフレ、石鏃、石匙、凹石が各1点、フレークが7点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代中期初頭と考えられる。

III A 137

遺構 (第185図、写真図版52)

〈検出状況〉 調査区西寄りのIII A 5 f 区に位置し、III A 147を切る。〈平面形〉 開口部、底部ともわずかに楕円形。〈断面形〉 逆台形。〈規模〉 開口部径120×110cm、底部径94×85cm、深さ30cm。〈埋土〉 炭化物まじりの暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第253図、写真図版242)

〈土器〉 拓本として掲載した破片が1点、それ以外の破片が小1袋出土している。〈石器〉 Rフレ、石錘が各1点、フレークが5点出土している。

III A 138

遺構 (第185図、写真図版52)

〈検出状況〉 調査区西寄りのIII A 5 f 区付近に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともに楕円形。〈断面形〉 ビーカー状。〈規模〉 開口部径315×242cm、底部径312×230cm、深さ105cm。〈底面〉 中央に開口部直径43cm、底部直径30cm、深さ29cmの副穴を有する。〈埋土〉 上部に炭化物まじりの暗褐色土が、下部に褐色土が入る。

遺物 (第254～257図、写真図版242～245)

<土器> 図化できた個体が1点、底部片が2点、拓本として掲載した破片が23点、それ以外の破片が大コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが41点、フレークが210点で、器種毎の点数は石錘15点、特殊磨石6点、削器5点、石鏃、すり石各4点、Rフレ、凹石各2点、石匙、搔器、石剣各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 139

遺構 (第185図、写真図版52)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 3 f 区とIII A 4 f 区の間位置する。<平面形> 開口部底部ともに楕円形。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部径250×212cm、底部径230×180cm、深さ86cm。<底面> 中央に開口部径40×34cm、底部径26×20cm、深さ24cmの副穴を有する。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす、人為堆積と考えられる。また、開口部東側と南側、それに底面南壁際にそれぞれ50×40cm程の焼土の広がりが見られる。

遺物 (第258・259図、写真図版245～247)

<土器> 拓本として掲載した破片が19点、それ以外の破片が中コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが15点、フレークが83点で、器種毎の点数は石錘11点、削器2点、石鏃、石筥各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 140

遺構 (第185図、写真図版52)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 3 f 区付近に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部径132×105cm、底部径90×66cm、深さ50cm。<埋土> 炭化物まじりの褐色土が主体をなす。

遺物 (第259図、写真図版247・248)

<土器> 拓本として掲載した破片が4点で、それ以外の破片が小1袋出土している。<石器> 特殊磨石が2点、フレークが3点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 141

遺構 (第185図、写真図版53)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 3 f 区とIII A 3 g 区の間位置する。<平面形> 開口部、

底部ともに楕円形。〈断面形〉 ほぼピーカー状。〈規模〉 開口部径254×233cm、底部径244×214cm、深さ86cm。〈底面〉 中央に開口部径38×28cm、底部径31×21cm、深さ19cmの副穴を有する。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす、人為堆積と考えられる。

遺物 (第260図、写真図版248・249)

〈土器〉 図化できた個体が1点、拓本として掲載した破片が5点、それ以外の破片が中コンテナ1箱程出土している。〈石器〉 登録したものが12点、フレークが72点で、器種毎の点数は石錘が9点、削器が2点、石筥が1点である。

遺構の時期

出土遺物より縄文時代中期初頭と考えられる。

III A 142

遺構 (第186図、写真図版53)

〈検出状況〉 調査区西寄りのIII A 2 g 区付近に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともわずかに楕円形。〈断面形〉 フラスコ状。〈規模〉 開口部径246×220cm、底部径260×230cm、深さ94cm。〈底面〉 中央に2個、東西両壁際に1個ずつ合計4個の副穴を有する。PP 1は開口部径26×20cm、底部径18×14cm、深さ28cm、PP 2は開口部径30×25cm、底部径22×20cm、深さ16cm、PP 3は開口部径33×30cm、底部径22×20cm、深さ25cm、PP 4は開口部径22×21cm、底部径16×15cm、深さ30cmである。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの暗褐色～褐色土が主体をなす、人為堆積と考えられる。

遺物 (第261・262図、写真図版249・250)

〈土器〉 底部片が1点、拓本として掲載した破片が24点で、それ以外の破片が中コンテナ1箱程出土している。〈石器〉 削器、石錘が各2点、石鏃、石筥、搔器が各1点、フレークが62点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 143

遺構 (第186図、写真図版53)

〈検出状況〉 調査区西寄りのIII A 2 f 区に位置し、上部が攪乱を受ける。〈平面形〉 開口部、底部ともに不整な楕円形。〈断面形〉 東壁がフラスコ状、西壁がピーカー状。〈規模〉 開口部径250×214cm、底部径218×196cm、深さ120cm。〈底面〉 中央に開口部径39×32cm、底部径25×19cm、深さ19cmの副穴を有する、副穴の東側には16×14cmの礫が入る。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの暗褐色～黒褐色土が主体をなし、中層部分に投げ込みと思われる焼土が入る。

遺物 (第262～264図、写真図版250～252)

<土器> 図化できた個体が1点、拓本として掲載した破片が20点、それ以外の破片が合わせて中コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが30点、フレークが74点で、器種毎の点数は石錘が24点、削器、凹石が各2点、すり石、特殊磨石が各1点である。

遺構の時期

出土した遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 144

遺構 (第186図、写真図版54)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 1 g 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部径216×160cm、底部径200×145cm、深さ36cm。<底面> 北東側に開口部径136×85cm、底部径129×78cm、深さ16cmの落ち込みがみられる。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第265・266図、写真図版253・254)

<土器> 図化できた個体が1点、拓本として掲載した破片が16点、それ以外の破片が中コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが19点、フレークが49点で、器種毎の点数は石錘が7点、特殊磨石が4点、削器が3点、石鏃が2点、Rフレ、石筥、有孔礫が各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 145

遺構 (第186図、写真図版54)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 3 e 区付近に位置する。<平面形> 開口部はほぼ円形、底部は隅丸方形に近い。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部直径72cm、底部径45×42cm、深さ42cm。<埋土> 炭化物まじりの暗褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第266図、写真図版254)

<土器> 拓本として掲載した破片が2点で、それ以外の破片が小1袋出土している。

III A 147

遺構 (第186図、写真図版54)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 5 f 区とIII A 5 g 区の間に位置し、III A 137に切られる。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径214cm×180cm、底部径214×187cm、深さ104cm。<柱穴> 開口部の周囲に、遺構に伴うと考えられる柱穴が6基巡る。規模は次の通りである。

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6
開口部径	26×24cm	36×35cm	26×25cm	29×26cm	25×24cm	55×54cm
底部径	22×20cm	29×18cm	21×20cm	22×21cm	20×19cm	34×20cm
深さ	10cm	15cm	23cm	15cm	13cm	13cm

<埋土> 炭化物まじりの暗褐色土と褐色土が互層で入る。

遺物 (第266～269図、写真図版254～257)

<土器> 図化できた個体が2点、底部片2点、拓本として掲載した破片28点、それ以外の破片が中コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが15点、フレイクが122点で、器種毎の点数は石錘6点、削器4点、石匙、特殊磨石各2点、搔器1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 148

遺構 (第187図、写真図版55)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 5 e区付近に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径286×200cm、底部径300×226cm、深さ100cm。<底面> 中央に開口部径36×32cm、底部径22×18cm、深さ20cmの副穴を有する。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの暗褐色～褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第270～275図、写真図版257～262)

<土器> 図化できた個体が11点、底部片3点、拓本として掲載した破片が38点、それ以外の破片は合わせて大コンテナ2箱程出土している。<石器> 登録したものが19点、フレイクが105点で、器種毎の点数は石錘5点、石鏃、削器各3点、特殊磨石、凹石各2点、Rフレ、尖頭器、すり石、石柱各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 149

遺構 (第187図、写真図版55)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 3 e区とIII A 4 e区の間位置し、陥し穴状遺構のIII A 51に切られる。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> ほぼ逆台形。<規模> 開口部径380×290cm、底部径340×215cm、深さ75cm。<底面> やや南寄りに開口部直径34cm、底部径22×18cm、深さ22cmの副穴を有する。また、その副穴を通る北東から南西の線上に、2個1対の小穴が北東壁際、底面中央、南西壁際に計6個みられる。それぞれの規模は次の通りである。

No.	PP 1	PP 2	PP 3	PP 4	PP 5	PP 6
開口部径	16×11cm	20×17cm	15×15cm	22×21cm	28×23cm	18×15cm
底部径	9×7cm	16×12cm	11×10cm	13×10cm	17×10cm	15×11cm
深さ	26cm	75cm	61cm	43cm	28cm	25cm

<埋土> 炭化物、火山灰まじりの暗褐色～黒褐色土が主体をなす。

遺物 (第275～277図、写真図版262～264)

<土器> 図化できた個体が1点、底部片1点、拓本として掲載した破片が17点で、それ以外の破片は中コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが25点、フレークが69点で器種毎の点数は石錘8点、石筥5点、削器4点、特殊磨石3点、すり石2点、コア、敲石、有孔礫各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

Ⅲ A 150

遺構 (第187図、写真図版56)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 4 f区とⅢA 4 g区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともほぼ円形。<断面形> 横長の長方形。<規模> 開口部直径200cm、底部直径195cm、深さ43cm。<底面> 北西壁際に開口部径40×25cm、底部径32×18cm、深さ20cmの落ち込みがみられる。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。

遺物 (第278図、写真図版264・265)

<土器> 拓本として掲載した破片が11点、それ以外の破片が小1袋出土している。<石器> 石錘が3点、削器が2点、コア、石筥、すり石、凹石が各1点、フレークが39点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

Ⅲ A 152

遺構 (第188図、写真図版56)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 2 e区に位置し、上部南半が攪乱を受ける。<平面形> 開口部はわずかに楕円形、底部は不整な円形。<断面形> 逆台形。<規模> 開口部径200×180cm、底部直径160cm、深さ56cm。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

Ⅲ A 166

遺構 (第188図、写真図版56)

<検出状況> 調査区西寄りのⅢA 3 g区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともわずか

に楕円形。〈断面形〉 フラスコ状。〈規模〉 開口部径188×162cm、底部径218×206cm、深さ125cm。〈底面〉 中央に47×33cmの扁平な礫が横になった状態で入る。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第279～282図、写真図版266～269)

〈土器〉 図化できた個体が1点、底部片が3点、拓本として掲載した破片が13点、それ以外の破片が中コンテナ1箱程出土している。〈石器〉 登録したものが40点、フレークが68点で器種毎の点数はすり石10点、凹石6点、石錘、特殊磨石各5点、Rフレ、石鏃、石匙、石篋、削器各2点、尖頭器、搔器、石皿、敲石の各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

Ⅲ A 167

遺構 (第188図、写真図版56)

〈検出状況〉 調査区西寄りのⅢA 3 g区とⅢA 3 h区の間に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともに楕円形。〈断面形〉 南側がフラスコ状、北側がほぼビーカー状。〈規模〉 開口部径142×122cm、底部径140×120cm、深さ51cm。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなし、下層の北西側に25～35cmの礫が数個入る。人為堆積と考えられる。

遺物 (第283図、写真図版269・270)

〈土器〉 図化できた個体が1点で、それ以外に大1袋出土している。〈石器〉 コア、搔器、すり石が各1点、フレークが9点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉と考えられる。

Ⅲ A 168

遺構 (第188図、写真図版57)

〈検出状況〉 調査区西寄りのⅢA 6 e区とⅢA 6 f区の間に位置し、柱穴群と切り合う。〈平面形〉 開口部、底部ともにほぼ円形。〈断面形〉 フラスコ状。〈規模〉 開口部直径130cm、底部直径195cm、深さ108cm。〈底面〉 中央に開口部径47×39cm、底部径25×17cm、深さ28cmの副穴を有する。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第283～285図、写真図版270～272)

〈土器〉 図化できた個体が4点、拓本として掲載した破片が5点で、それ以外の破片が大2袋出土している。〈石器〉 登録したものが22点、フレークが32点で、器種毎の点数は削器7点、搔器、石錘各3点、石鏃、石匙、特殊磨石各2点、尖頭器、敲石、円盤状石製品各1点で

ある。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 169

遺構 (第189図、写真図版57)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 7 e区とIII A 7 f区の上に位置し、南西端がIII A 125と切り合う。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径172×130cm、底部径203×170cm、深さ75cm。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第286図、写真図版273)

<土器> 図化できた個体が1点、拓本として掲載した破片が6点で、それ以外の破片は大2袋出土している。<石器> 石錘が2点、削器、搔器が各1点、フレークが11点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 177

遺構 (第189図、写真図版57)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 4 g区に位置し、柱穴状土坑のIII A 193を切る。北側に攪乱がみられる。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> 段差のある逆台形。<規模> 開口部径95×80cm、底部径75×52cm、深さ37cm。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第286・287図、写真図版273・274)

<土器> 図化できた個体が1点、拓本として掲載した破片が5点で、それ以外の破片が大1袋出土している。<石器> 石錘、すり石が各2点、Rフレ、削器、特殊磨石が各1点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 178

遺構 (第189図、写真図版57)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 3 h区とIII A 4 h区の上に位置し、III A 194を切る。南側は壁が立たず、プランを確認できなかった。<平面形> 開口部、底部ともにほぼ円形と考えられる。<断面形> 浅皿状。<規模> 開口部直径(135)cm、底部直径(130)cm、深さ15cm。<底面> ほぼ全体にわたり厚さ17cm程の焼土の広がりが見られる。<埋土> 炭化物、焼土粒

まじりの暗褐色土が主体をなし、上部に50×20cmの礫が入る。

遺物 (第288・289図、写真図版274～276)

<土器> 図化できた個体が1点、拓本として掲載した破片が8点で、それ以外に大2袋出土している。<石器> 登録したものが14点、フレークが7点で、器種毎の点数は削器、石錘各3点、石鏃2点、Rフレ、石筥 播器、すり石、特殊磨石、敲石各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 179

遺構 (第189図、写真図版58)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 3 g区とIII A 4 g区の間に位置する。北側は壁が立たず、プランが確認できなかった。<平面形> 開口部、底部ともにほぼ円形と考えられる。<断面形> 浅皿状。<規模> 開口部直径(135)cm、底部直径(130)cm、深さ10cm。<底面> 中央部に80×60cm、厚さ10cm程の焼土の広がりが見られる。<埋土> 単層で、炭化物、火山灰まじりの褐色土が入る。

遺物

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。

III A 184

遺構 (第189図、写真図版58)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 4 h区に位置し、柱穴状土坑のIII A 185に切られる。また、開口部西側に焼土の広がりが見られる。<平面形> 開口部、底部ともわずかに楕円形。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部径187×163cm、底部径180×172cm、深さ73cm。<埋土> 炭化物、焼土粒まじりの暗褐色～褐色土が主体をなす。

遺物 (第289・290図、写真図版276・277)

<土器> 図化できた個体が1点、拓本として掲載した破片が5点、それ以外の破片が大1袋出土している。<石器> 削器が4点、特殊磨石が2点、コア、石匙、石筥、石錘、すり石が各1点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 194

遺構 (第190図、写真図版59)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A 3 h区とIII A 4 h区の間に位置し、III A 178に切られる。<平面形> 開口部、底部ともにほぼ円形。<断面形> 極端なフラスコ状。<規模> 開口部

直径100cm、底部直径220cm、深さ70cm。〈底面〉 ほぼ中央に開口部径24×19cm、底部径19×13cm、深さ12cmの副穴を有する。〈埋土〉 炭化物、焼土粒、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第291・292図、写真図版277・278)

〈土器〉 凶化できた個体が2点、拓本として掲載した破片が6点で、それ以外の破片は大2袋出土している。〈石器〉 登録したものが15点、フレイクが24点で、器種毎の点数は削器、石錘各4点、すり石、特殊磨石各2点、石鏃、石匙、石皿各1点である。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

III A 203

遺構 (第190図、写真図版59)

〈検出状況〉 調査区西寄りのIII A 5 h 区に位置し、上部が攪乱を受ける。〈平面形〉 開口部は楕円形と考えられる。底部は楕円形。〈断面形〉 フラスコ状。〈規模〉 開口部径(110)×(95)cm、底部径206×200cm、攪乱の下からの深さ41cm。〈底面〉 中央に開口部径27×25cm、底部径18×15cm、深さ12cmの副穴を有する。〈埋土〉 炭化物、焼土粒、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。人為推積と考えられる。

遺物

〈石器〉 フレイクが2点出土している。

III A 210

遺構 (第187図、写真図版55)

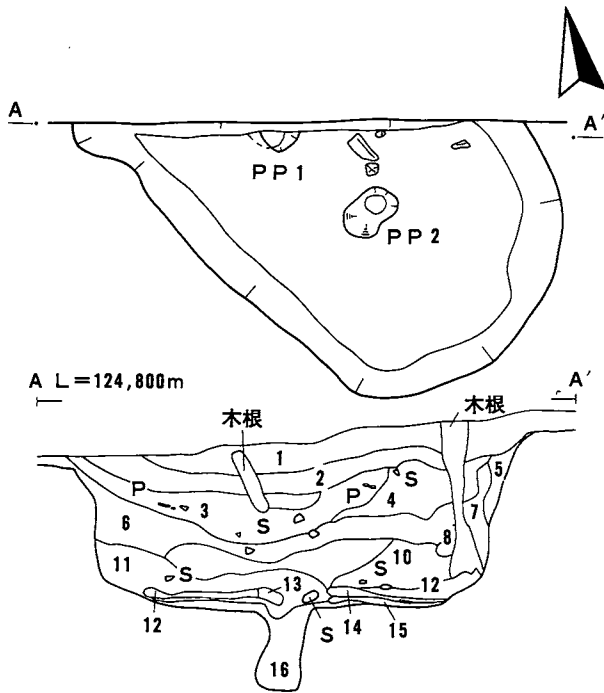
〈検出状況〉 調査区西寄りのIII A 3 e 区とIII A 4 e 区の間位置し、III A 149の完掘後底面やや北東側に検出された。〈平面形〉 開口部、底部ともに楕円形。〈断面形〉 わずかなフラスコ状。〈規模〉 開口部径162×124cm、底部径176×126cm、深さ27cm。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。遺物は出土しなかった。

III B 区土坑

III B 101

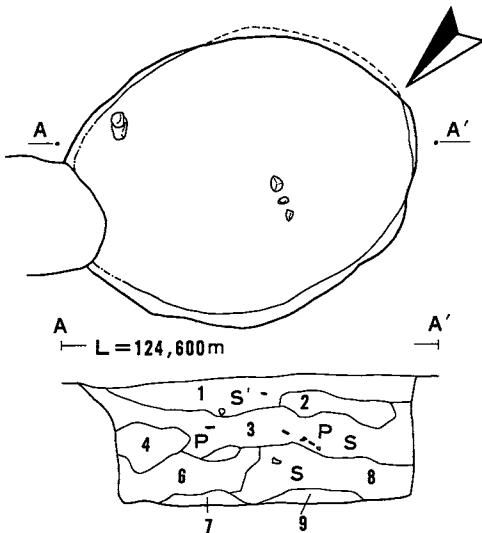
遺構 (第293図、写真図版59)

〈検出状況〉 調査区西南部のIII B 6 b 区とIII B 7 b 区の間位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともに長楕円形。〈断面形〉 ほぼ円筒状。〈規模〉 開口部径215×63cm、底部径196×38cm、深さ83cm。〈埋土〉 多量の土器片を含む炭化物、火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。



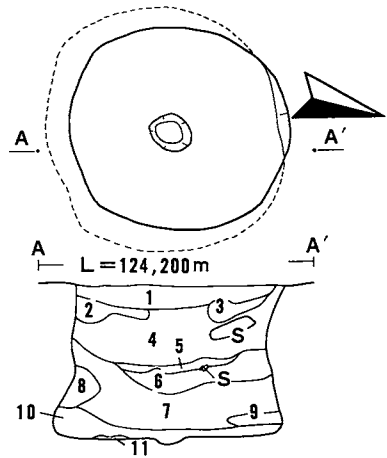
1. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 炭化物、土器片を含む
2. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 炭化物、焼土粒、土器片を若干含む
3. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 火山岩、土器片、石、焼土粒、炭化物を若干含む
4. 7.5Y R 7/2 黒褐色土 火山灰、炭化物を含む
5. よごれ粘土
6. 7.5Y R 7/2 黒褐色土 炭化物、石、火山灰を含む
7. 7.5Y R 7/2 暗褐色土と火山灰の混土
8. 10Y R 7/2 褐色土 粘土
9. 7.5Y R 7/2 黒褐色土と火山灰の混土
10. 5Y R 7/2 暗赤褐色土 火山灰ブロック、炭化物を含む
11. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 炭化物、火山灰を含む
12. 7.5Y R 7/2 明褐色土 粘土
13. 7.5Y R 7/2 暗褐色土と火山灰の混土
14. 7.5Y R 7/2 褐色土粘土
15. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 火山岩、炭化物を含む
16. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 火山灰、根を含む

III A 101



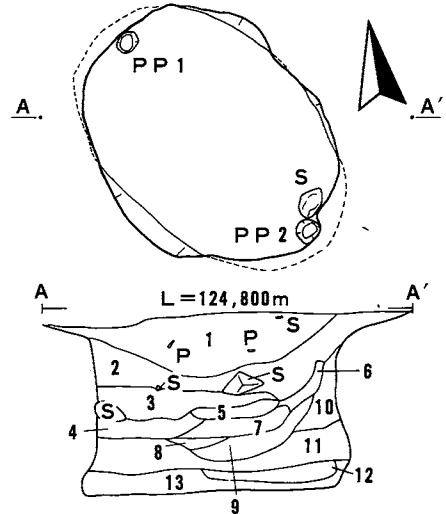
1. 10Y R 7/2 暗褐色土 礫、土器、石器を含む
2. 7.5Y R 7/2 褐色土 軽石、炭化物を含む
3. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 土器片、石、炭化物を含む
4. 7.5Y R 7/2 明褐色土 火山灰ブロック、軽石を含む
5. 7.5Y R 7/2 褐色土 焼土、炭化物を含む
6. 7.5Y R 7/2 褐色土 炭化物、焼土、石器を含む
7. 10Y R 7/2 黄褐色土
8. 7.5Y R 7/2 褐色土 火山灰ブロックを含む
9. 10Y R 7/2 褐色土 炭化物を少量含む

III A 103



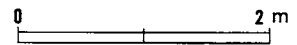
1. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 焼土粒、火山灰混じり
2. 2.5Y R 7/2 暗褐色土 焼土と火山灰混じり投捨
3. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 炭化粒、焼土粒、火山灰混じり
4. 7.5Y R 7/2 褐色土 小礫、炭化材、焼土ブロック、火山灰ブロックを含む投捨
5. 7.5Y R 7/2 黒褐色土 炭化物層
6. 7.5Y R 7/2 褐色土 小礫、炭化粒少量含む投捨
7. 7.5Y R 7/2 褐色土 火山灰の投捨
8. 7.5Y R 7/2 明褐色土 壁土の崩れたもの
9. 7.5Y R 7/2 褐色土粘土
10. 7.5Y R 7/2 明褐色土 褐色土粘土
11. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 粘性あり、小さな浮石を少量含む

III A 102



1. 10Y R 7/2 暗褐色土 軽石、土器片、炭化物を含む
2. 10Y R 7/2 暗褐色土 炭化物、焼土少量含む
3. 10Y R 7/2 褐色土 焼土、炭化物少量含む
4. 7.5Y R 7/2 褐色土 3より焼土を多く含む
5. 2.5Y R 7/2 赤褐色土 焼土を多量に含む
6. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 焼土粒を含む
7. 7.5Y R 7/2 褐色土 炭化物を少量含む
8. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 炭化粒を少量含む
9. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 焼土、炭化物少量含む
10. 7.5Y R 7/2 褐色土 炭化物、火山灰を含む
11. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 炭化物、軽石を少量含む
12. 10Y R 7/2 褐色土 軽石と炭化物を少量含む
13. 7.5Y R 7/2 褐色土 炭化物、粒状の軽石を多く含む

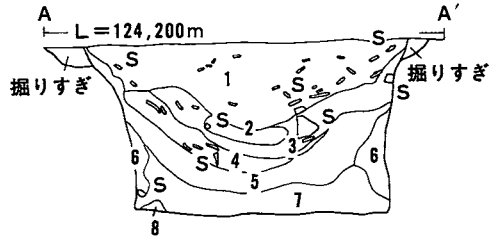
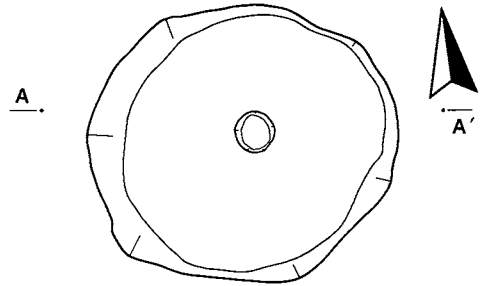
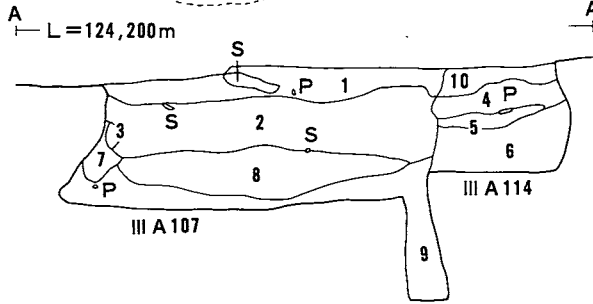
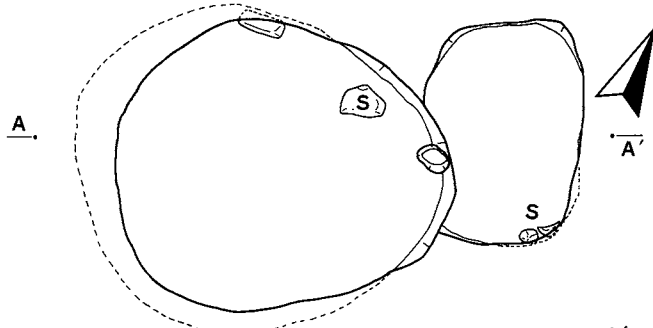
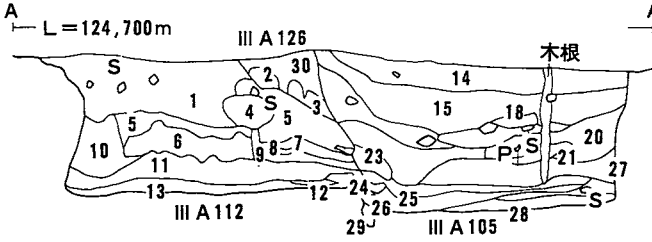
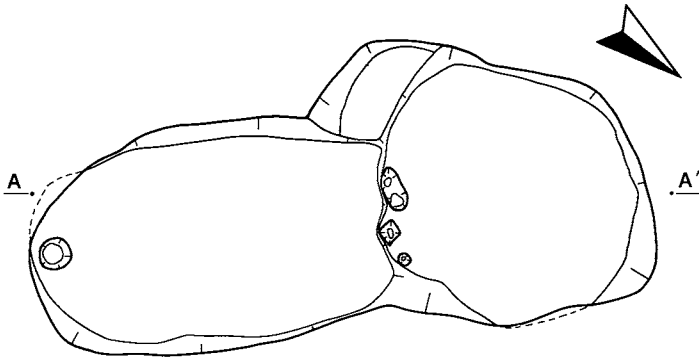
III A 104



第177図 III A 区土坑(1)

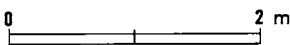
III A 105、III A 112、III A 126

1. 10Y R 7.5%暗褐色土と火山灰の混土 炭化物と少量の焼土粒を含む
2. 汚れた粘土
3. 2よりまじり気のない粘土
4. 汚れた粘土
5. 7.5Y R 7.5%褐色土と火山灰の混土 1より炭化物、焼土粒の量が少ない
6. 7.5Y R 7.5%暗褐色土 炭化物、焼土粒と灰白色の火山灰を含む
7. 7.5Y R 7.5%褐色土 炭化物、焼土粒を少量含む
8. 灰白色に近い粘土
9. 2よりまじり気のない粘土
10. 10Y R 7.5%褐色土 炭化物若干混じる
11. 7.5Y R 7.5%明褐色土に炭化物わずかに入る
12. 7.5Y R 7.5%褐色土
13. 7.5Y R 7.5%褐色土 炭化物、焼土粒わずかに含む
14. 10Y R 7.5%暗褐色土 炭化物、焼土粒、土器片を含む
15. 7.5Y R 7.5%褐色土 礫と火山灰ブロックを含む、炭化物、焼土粒もわずかに入る
16. 15に似てるがより大型の礫が入り褐色土の割合が少くなる
17. 15に似てるが火山灰ブロックがより多い
18. 15に似てるが礫や火山灰の入る割合が少くなる
19. 7.5Y R 7.5%褐色土 小さい石が入る
20. 7.5Y R 7.5%褐色土 炭化物、小さい石が少し入る
21. 10Y R 7.5%褐色土
22. 7.5Y R 7.5%褐色土 炭化物わずかに入る
23. 10Y R 7.5%黄褐色土
24. 7.5Y R 7.5%明褐色土
25. 7.5Y R 7.5%暗褐色土 炭化物少し入る
26. 10Y R 7.5%褐色土
27. 7.5Y R 7.5%褐色土
28. 7.5Y R 7.5%明褐色土 小さい石が入る
29. 7.5Y R 7.5%明褐色土
30. 7.5Y R 7.5%暗褐色土 火山灰の混じり



1. 7.5Y R 7.5%暗褐色土 火山灰、炭化物、土器片を少量含む
2. 7.5Y R 7.5%暗褐色土と7.5Y R 7.5%明褐色土粘土質シルトの混土 炭化物、焼土粒を含む
3. 7.5Y R 7.5%暗褐色土 火山灰、炭化物を少量含む
4. 7.5Y R 7.5%暗褐色土 焼土ブロック、炭化物、火山灰を含む
5. 7.5Y R 7.5%炭化物を多く含む、焼土粒、土器片少し含む
6. 7.5Y R 7.5%褐色土 火山灰ブロックを少し含み炭化物も含む
7. 7.5Y R 7.5%褐色土 炭化物少量と火山灰を含む
8. 7.5Y R 7.5%褐色土と7.5Y R 7.5%明褐色粘土質の混土、炭化物、焼土粒を少し含む
9. 7.5Y R 7.5%褐色土と火山灰ブロックを多く含み、炭化物、火山岩を含む
10. 7.5Y R 7.5%暗褐色土 火山灰、炭化物を含む

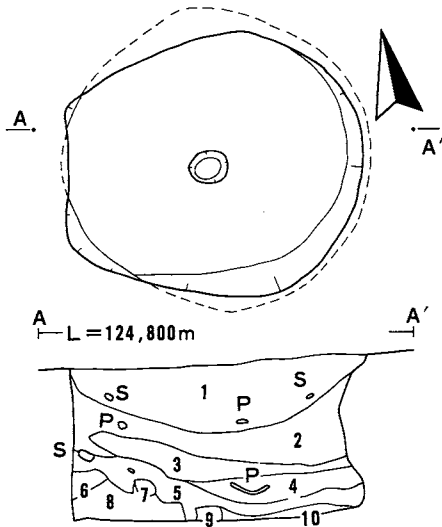
III A 107 III A 114



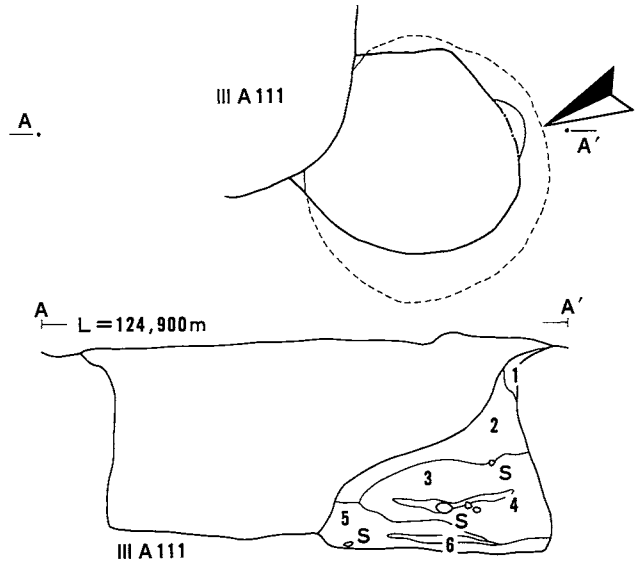
III A 106

1. 7.5Y R 7.5%暗褐色土 土器片多量、小礫、炭化材、焼土粒を含む
2. 7.5Y R 7.5%褐色土 炭化粒を含む
3. 7.5Y R 7.5%黒褐色土 土器片多く、炭化材、焼土粒を含む
4. 5Y R 7.5%暗赤褐色土 ほば炭化材でしめられる、一括土器群投捨
5. 7.5Y R 7.5%褐色土 炭化粒、焼土粒、小礫、土器片含む
6. 7.5Y R 7.5%褐色土 壁土の崩れ
7. 7.5Y R 7.5%明褐色土 火山灰ブロックを含む
8. 7.5Y R 7.5%暗褐色土 礫、火山灰を含む
9. 10Y R 7.5%褐色土

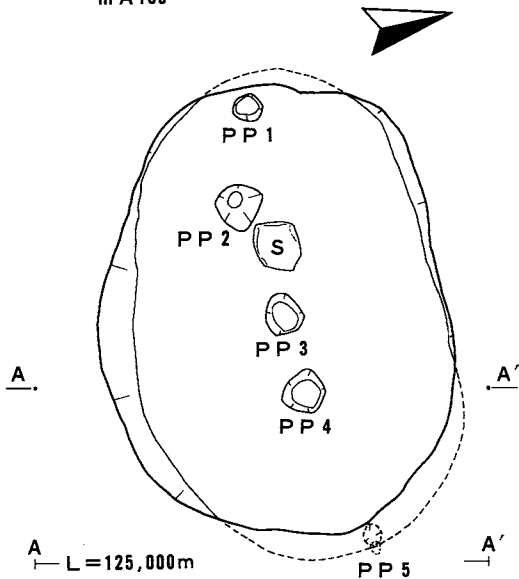
第178図 III A区土坑(2)



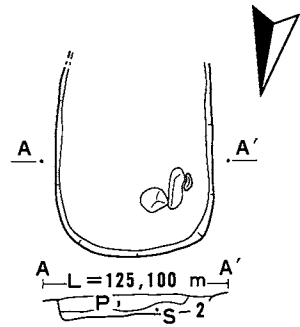
1. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒、土器片含む
 2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、土器片、火山灰含む
 3. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色土 炭化物含む
 4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰ブロック、炭化物を含む
 5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰ブロック、炭化物を含む
 6. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、火山灰、土器片を含む
 7. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土 火山岩含む
 8. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土 火山岩含む
 9. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土 火山岩含む、粘土質
 10. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰ブロック、炭化物を含む
- III A 108



1. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色土 火山灰、炭化物、焼土粒を多く含む
 2. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色土 炭化物、火山灰、焼土粒を含む
 3. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 黒褐色土と7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土の混土 焼土を多く含む、火山灰ブロック、炭化物を含む
 4. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 黒褐色土 焼土、炭化物をブロック状に含む
 5. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 黒褐色土 炭化物、焼土粒を多く含む
 6. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色土 火山灰ブロック、炭化物を多く含む
- III A 110



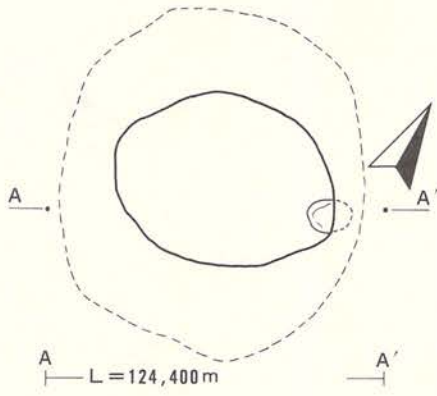
1. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色土 炭化物を含む、土器片を多く含む
 2. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色土と7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土の混土 火山灰ブロックと炭化物を多く含む
 3. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色土
 4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土と7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色の混土 焼土ブロックと炭化物ブロックを少量含む
 5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土と7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色の混土 炭化物ブロック、火山灰ブロック、焼土粒を少量含む
 6. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物ブロック、焼土粒を少量含む
 7. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土と7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色土の混土 炭化物を少量含む
 8. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 黒褐色土 炭化物、焼土粒を多く含む、火山灰ブロックを少量含む
 9. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色土 火山灰が粒状に含まれる
 10. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色土 炭化物を多く含む火山灰ブロックを少し含む
 11. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土 炭化物を少量含む
 12. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、火山灰を粒状に少量含む
 13. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色土 炭化物を多く含む焼土ブロックを少量含む
 14. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物を多く含む
- III A 111



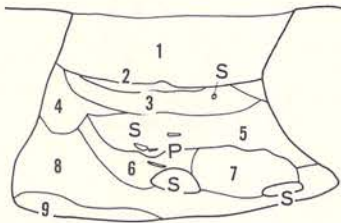
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、焼土を含む、土器有り
 2. 7.5Y R $\frac{2}{2}$ 暗褐色土 焼土、炭化物、礫を含む
- III A 109



第179図 III A区土坑(3)

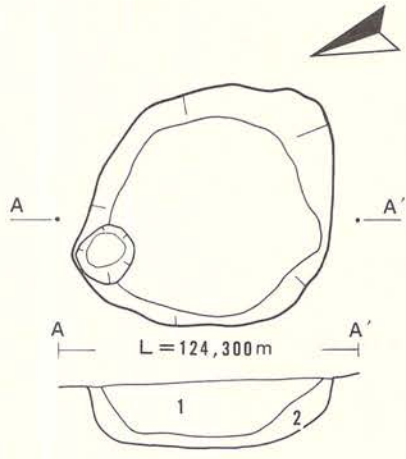


L = 124,400 m



1. 7.5YR%褐色土 焼土粒、炭化物、火山灰を含む
2. 7.5YR%暗褐色土 炭化物ブロック、焼土粒を多量に含む
3. 5YR%暗褐色土と2.5YR%赤褐色の混土 炭火物を含む
4. 7.5YR%褐色土 火山灰ブロック含む
5. 7.5YR%褐色土 焼土粒、炭化物、火山灰が粒状に含む、土器片含む
6. 7.5YR%褐色土 焼土、火山灰ブロック、炭化物を含む
8. 7.5YR%褐色土 炭火物、焼土粒、火山灰少量含む
9. 5YR%にふい赤褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰を含む

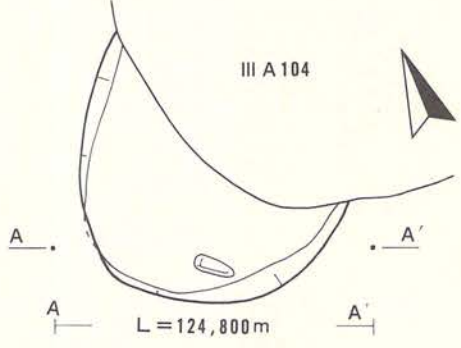
III A 113



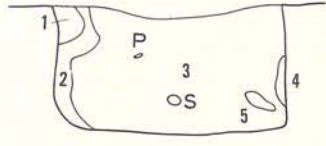
L = 124,300 m

1. 7.5YR%暗褐色土 火山灰、炭化物を少量含む
2. 7.5YR%褐色土と火山灰の混土 炭化物少量含む

III A 115

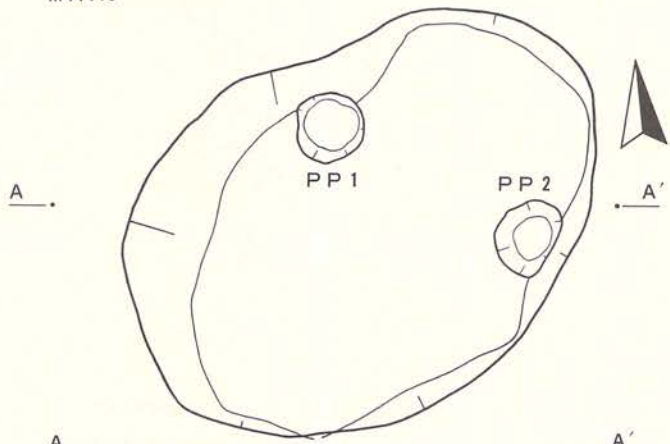


L = 124,800 m

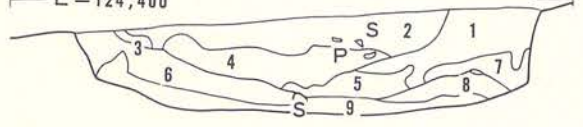


1. 7.5YR%暗褐色土 火山灰ブロック、炭化物、焼土粒を含む
2. 7.5YR%明褐色土 7.5YR%褐色土との混土
3. 7.5YR%暗褐色土 火山灰ブロックを多く含む、炭水物も含む
4. 7.5YR%明褐色土 炭水物を若干含む
5. 7.5YR%明褐色土 火山灰ブロックを含む

III A 117

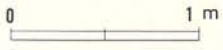


L = 124,400

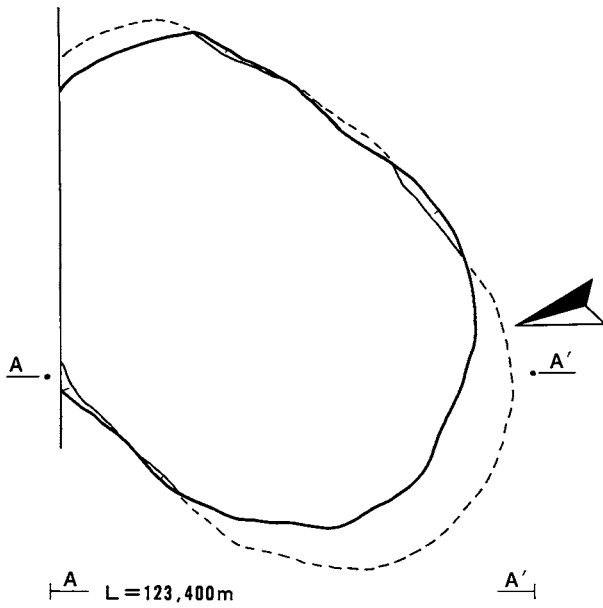


1. 7.5YR%暗褐色土 炭化物、火山灰、土器片を含む
2. 7.5YR%暗褐色土 炭化物を少し火山灰を多く含む
3. 7.5YR%褐色土 火山灰と炭化物、焼土粒少し含む
4. 7.5YR%暗褐色土と7.5YR%褐色土の混土、炭化物焼土、火山灰ブロック含む
5. 7.5YR%黒褐色土 火山灰ブロックと炭化物、焼土を少し含む
6. 7.5YR%褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰を少し含む
7. 7.5YR%暗褐色土 火山灰ブロック、炭化物を少し含む
8. 7.5YR%暗褐色土 火山灰、炭化物を少し含む
9. 7.5YR%褐色土と7.5YR%暗褐色土の混土 火山灰ブロック、炭化物が少し入る

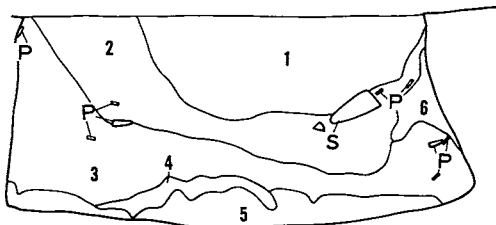
III A 116



第180図 III A区土坑(4)

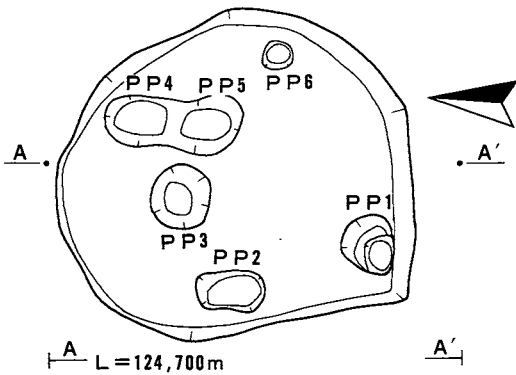


L = 123,400m

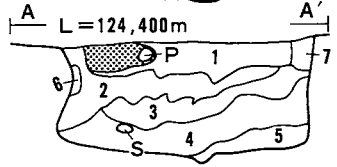
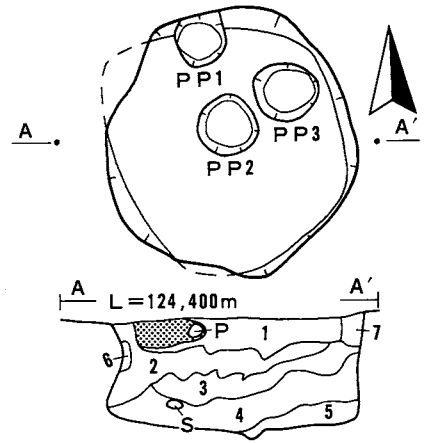
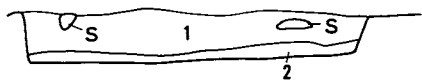


1. 7.5Y R 3/4暗褐色土 焼土ブロック、炭化物を少し含む
2. 7.5Y R 3/4暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰と石を多く含む
3. 7.5Y R 3/4黒褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰と土器片を少し含む
4. 7.5Y R 3/4黒褐色土 炭化物を多く含む火山灰も含む
5. 7.5Y R 3/4明褐色土 火山灰ブロックを含む
6. 7.5Y R 3/4暗褐色土 炭化物、火山灰を少し含む

III A 118

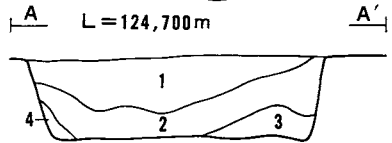
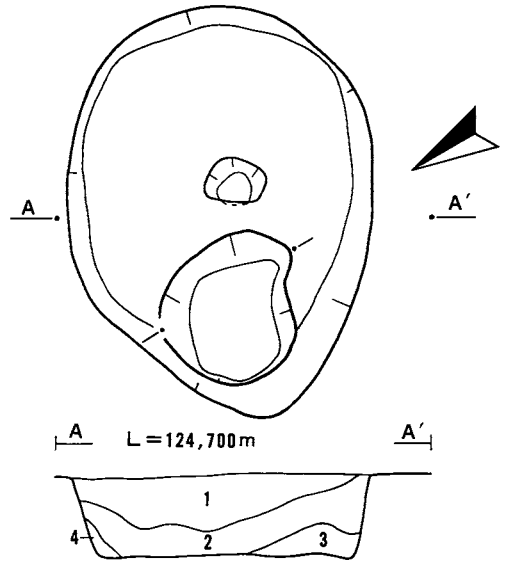


L = 124,700m



1. 7.5Y R 3/4暗褐色土 火山灰、焼土粒を少量含む
2. 7.5Y R 3/4褐色土 火山灰を少量含む
3. 7.5Y R 3/4黒褐色土 火山灰ブロックを含む
4. 7.5Y R 3/4褐色土
5. 7.5Y R 3/4褐色土
6. 汚れた粘土
7. 7.5Y R 3/4褐色土

III A 119



1. 7.5Y R 3/4黒褐色土 火山灰ブロックと炭化物ブロックを少量含む
2. 7.5Y R 3/4暗褐色土 炭化物、火山灰、焼土粒を少し含む
3. 10Y R 3/4暗褐色土 火山灰ブロック、炭化物を含む
4. 10Y R 3/4暗褐色土 火山灰ブロックを含む

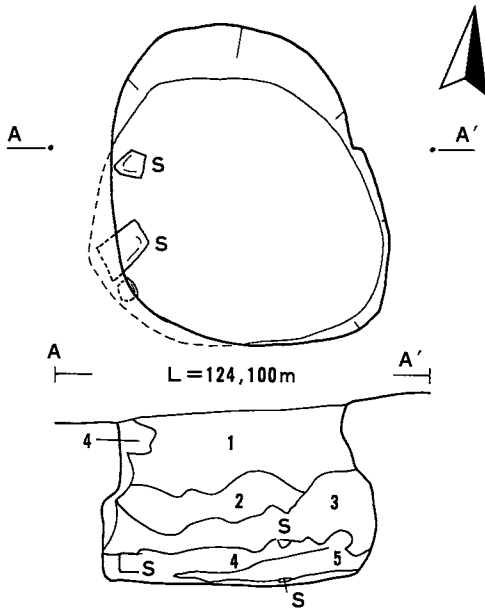
III A 121

1. 7.5Y R 3/4黒褐色土 焼土粒、火山灰、炭化物を含む
2. 7.5Y R 3/4暗褐色土 火山灰ブロック、炭化物、焼土粒を含む

III A 120

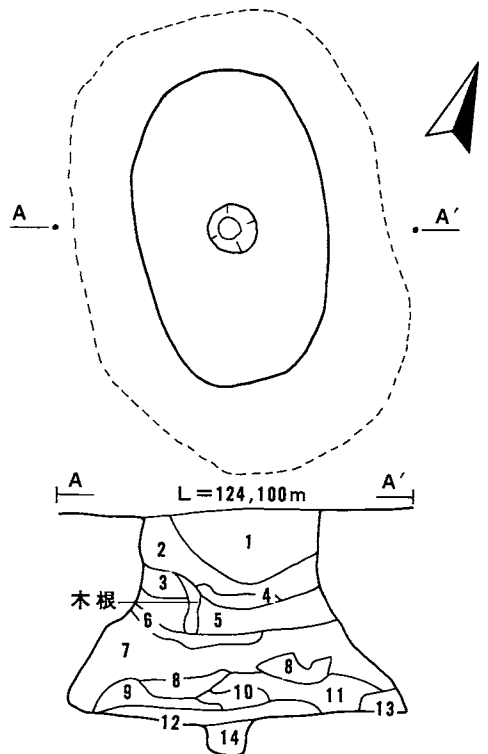
0 1m

第181図 III A区土坑(5)



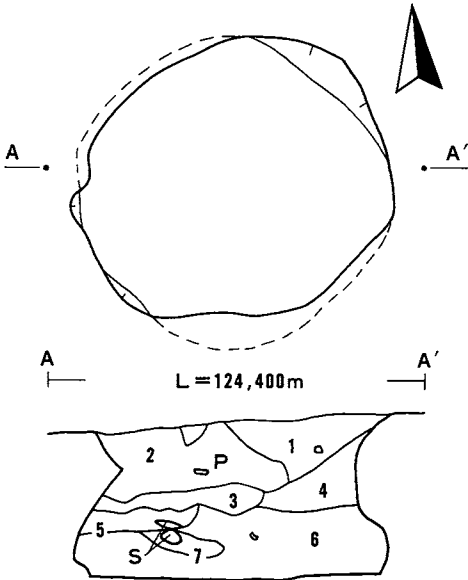
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 火山灰、焼土粒、炭化物含む
2. 1とほとんど同じだが火山灰の量が増える
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 黒褐色土をブロックで含む、火山灰ブロックを含む
4. 汚れ粘土に10Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土が少量入る
5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、土器片を含む

III A 122



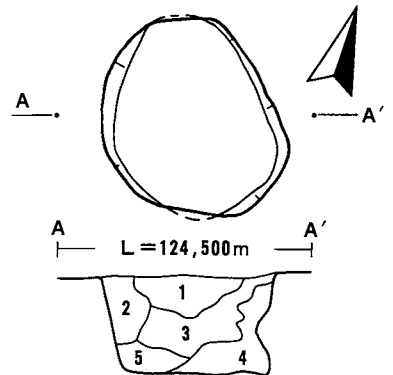
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰、土器片を含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰、風化した礫を含む
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物含む
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土と火山灰の混土
5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、焼土を多めに含む
6. 汚れ粘土に7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土がわずかに入る
7. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰を多く含む
8. 汚れ粘土に炭化物が混じる
9. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土
10. 汚れ粘土に7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土がブロックで入る
11. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、火山灰ブロックを含む
12. 汚れ粘土
13. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、焼土粒を含む
14. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物を含む

III A 123



1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 黒褐色土 炭化粒、火山灰を含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒、土器片を含む
3. 2に似るが焼土を多量に含む
4. 2と多量の火山灰の混土
5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰を含む
6. 5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒、土器片を含む
7. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 黒褐色土 火山灰ブロックを含む

III A 125

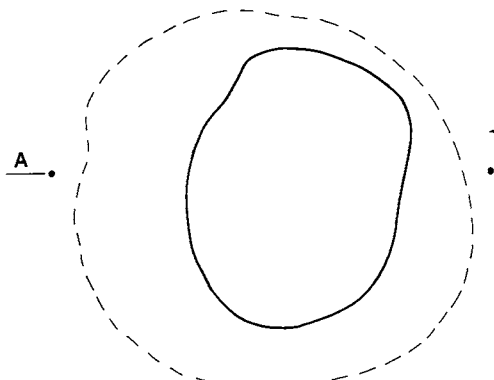


1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰、土器片を含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 明褐色土 炭化物、焼土粒が混じる
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 焼土ブロック、炭化物を多量に含む
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土と火山灰の混土、炭化物を含む
5. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 火山灰ブロック、炭化粒、焼土粒を含む

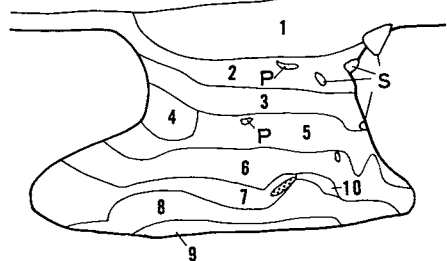
III A 124

0 1 m

第182図 III A区土坑(6)

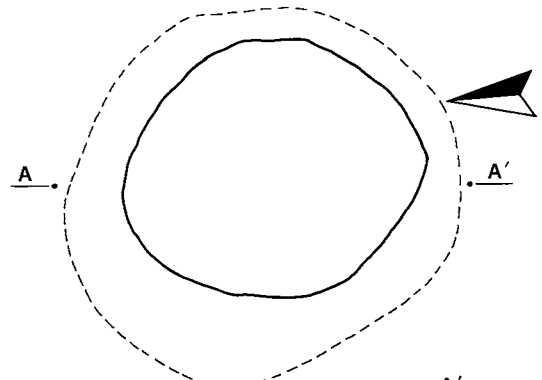


A L = 124,800m A'

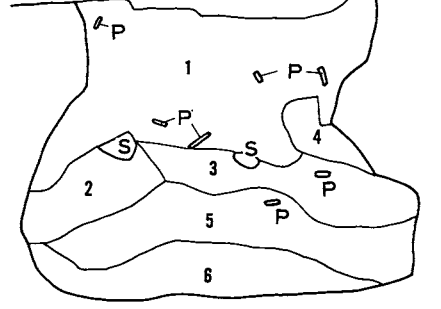


1. 7.5Y R 7/2 褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰を含む
2. 7.5Y R 6/2 暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロックを含む
3. 2に似るが火山灰ブロックの量が多くなる
4. 7.5Y R 6/1 黒褐色土 火山灰、焼土粒、炭化物、土器片を含む
5. 5Y R 6/2 暗赤褐色土 火山灰ブロック、焼土粒を含む
6. 7.5Y R 6/2 黒褐色土 焼土粒、炭化物、火山灰、土器片を少し含む
7. 7.5Y R 6/2 暗褐色土 火山灰ブロック、炭化物、焼土粒を含む
8. 7.5Y R 7/2 明褐色土 粘土
9. 10Y R 7/2 褐色土 炭化物を含む
10. 7.5Y R 7/2 褐色土 焼土を含む

III A 127

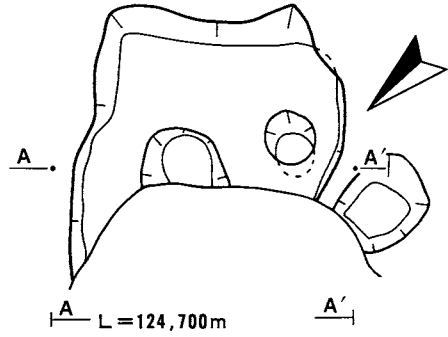


A L = 124,400m A'

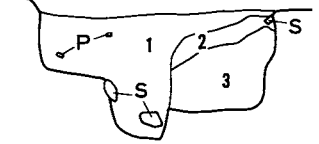


1. 7.5Y R 6/2 暗褐色土 火山灰ブロック、炭化物、焼土粒を含む
2. 汚れ粘土
3. 7.5Y R 6/2 暗褐色土 1に焼土が多量に混じる
4. 汚れ粘土
5. 1に似るが、1よりやわらかく荒い
6. 5よりもさらにやわらかく炭化物が多量に入る

III A 129

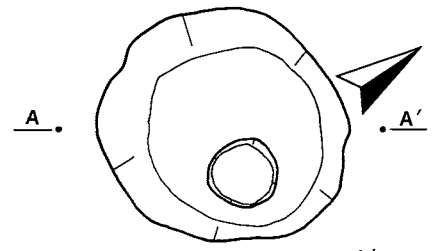


A L = 124,700m A'



1. 7.5Y R 6/2 暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰を含む
2. 5Y R 7/2 赤褐色土 火山灰、炭化物、焼土を含む
3. 7.5Y R 7/2 褐色土 粘土 下部に軽石を含む

III A 128

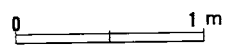


A L = 123,500m A'

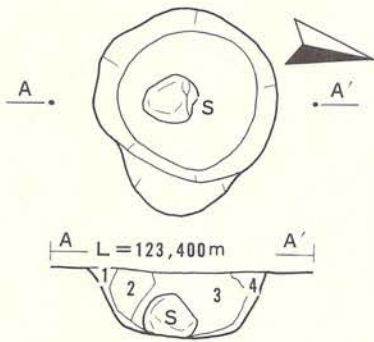


1. 7.5Y R 7/2 褐色土 礫を若干含む
2. 7.5Y R 6/2 暗褐色土 炭化物、礫粒を少し含む
3. 7.5Y R 6/1 黒褐色土 炭化物、礫を若干含む
4. 7.5Y R 7/2 褐色土と火山灰の混土
5. 7.5Y R 6/2 暗褐色土 火山灰を多く含む
6. 7.5Y R 6/2 黒褐色土 火山灰を少し含む
7. 7.5Y R 6/2 黒褐色土 炭化物、礫粒を含む
8. 7.5Y R 7/2 褐色土と火山灰の混土
9. 7.5Y R 6/2 黒褐色土 炭化物と火山灰ブロックを少し含む

III A 131

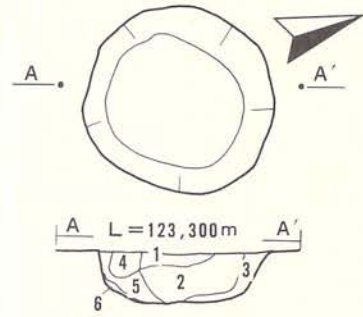


第183図 III A区土坑(7)



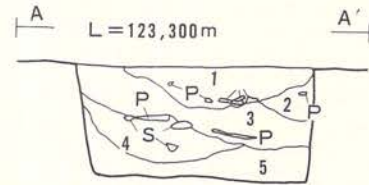
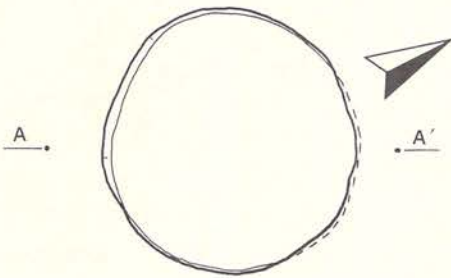
1. 7.5Y R 7/2 褐色土と火山灰の混土
2. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 炭化物、火山灰少し混じる
3. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 火山灰、炭化物、小礫少し混じる
4. 7.5Y R 7/2 褐色土と火山灰の混土

III A 132



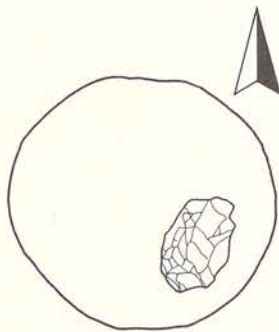
1. 7.5Y R 7/2 黒褐色土 小礫を少し含む
2. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 炭化物、土器片、小礫を含む
3. 7.5Y R 7/2 暗褐色土と火山灰の混土
4. 7.5Y R 7/2 黒褐色土 炭化物、火山灰を含む
5. 7.5Y R 7/2 褐色土 炭化物、小礫、火山灰ブロックを含む
6. 7.5Y R 7/2 褐色土と火山灰の混土

III A 133

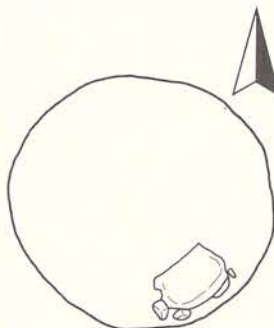


1. 7.5Y R 7/2 暗褐色土 炭化物 大きめの土器片を含む
2. 7.5Y R 7/2 褐色土 炭化物 わずかに含む
3. 7.5Y R 7/2 褐色土 炭化物 焼土粒入る
4. 7.5Y R 7/2 褐色土 炭化物 大きめの礫入る
5. 7.5Y R 7/2 褐色土

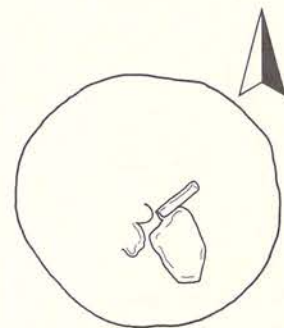
III A 135



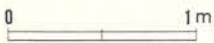
土器出土状況



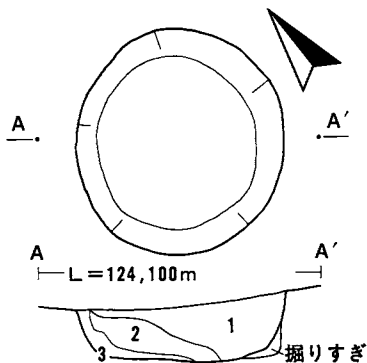
礫出土状況 (1次)



礫出土状況 (2次)

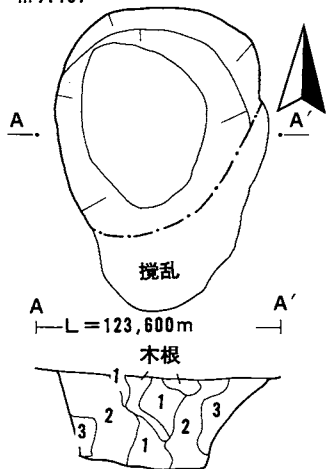


第184図 III A区土坑(8)



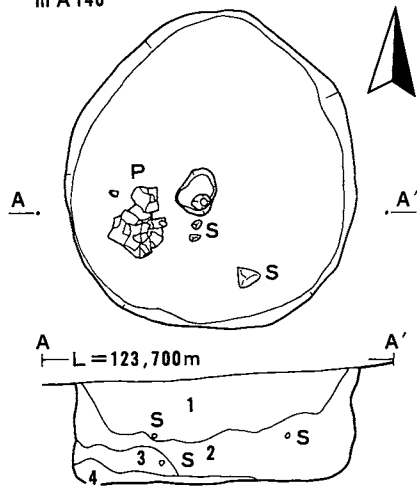
1. 7.5Y R 7/2暗褐色土 炭化物、土器片、小礫を少し含む
2. 7.5Y R 7/2暗褐色土 土器片、小礫少し含む
3. 10Y R 7/2暗褐色土 炭化物少し含むと火山灰の混土

III A 137



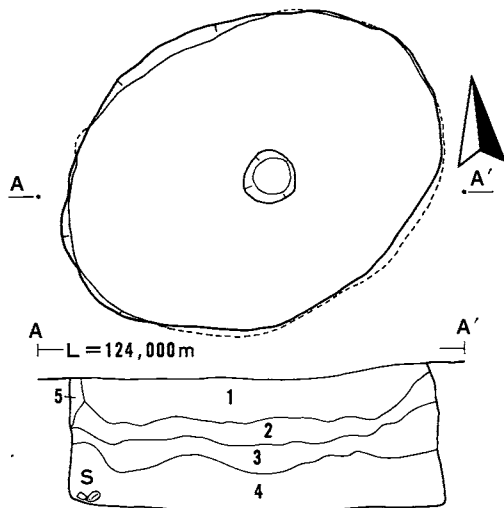
1. 7.5Y R 7/2褐色土 炭化物わずかに含む、火山灰ブロック入る
2. 7.5Y R 7/2褐色土 炭化物入る
3. 7.5Y R 7/2褐色土 粘土質シルト、小礫入る

III A 140



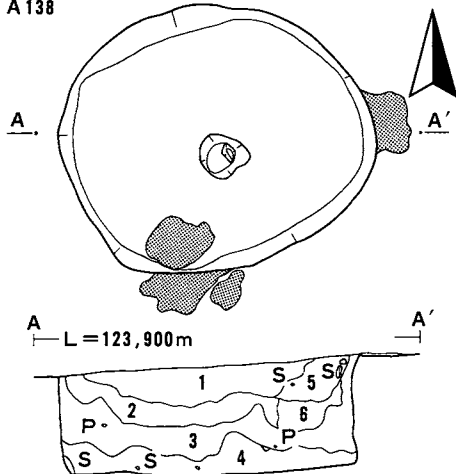
1. 7.5Y R 7/2暗褐色土 土器片、炭化物、小礫、少し含む
2. 7.5Y R 7/2暗褐色土 炭化物、小礫、火山灰ブロックを含む
3. 7.5Y R 7/2暗褐色土 土器片、炭化物、小礫含む
4. 7.5Y R 7/2暗褐色土 火山灰の混土

III A 141



1. 7.5Y R 7/2明褐色土 土器片、炭化物、火山灰ブロック少し含む
2. 7.5Y R 7/2黒褐色土 炭化物、土器片、火山灰を含む
3. 7.5Y R 7/2暗黒褐色土 炭化物、礫を含む、火山灰が混じる
4. 7.5Y R 7/2褐色土 炭化物、土器片、礫を含む、火山灰の混土
5. 7.5Y R 7/2褐色土 炭化物、焼土粒を少し含む、火山灰ブロック含む

III A 138

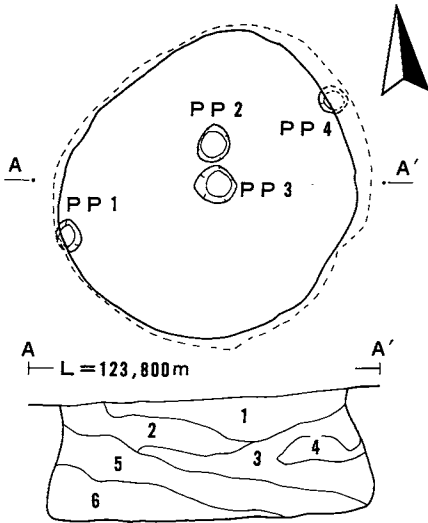


1. 7.5Y R 7/2黒褐色土 炭化物、土器片混
2. 7.5Y R 7/2暗褐色土 炭化物、小礫、火山灰、土器片(少し)
3. 7.5Y R 7/2暗褐色土 2と似ているが火山灰をブロック状に含む
4. 7.5Y R 7/2暗褐色土 炭化物と小礫を少し含む
5. 7.5Y R 7/2暗褐色土 炭化物、土器片
6. 7.5Y R 7/2黒褐色土 炭化物、土器粒

III A 139

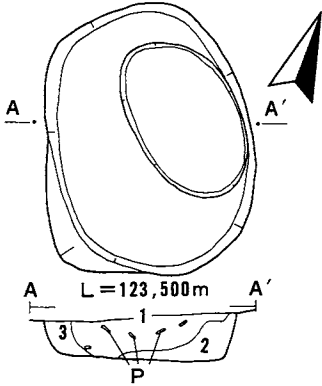


第185図 III A区土坑(9)



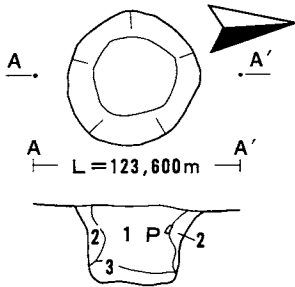
1. 7.5Y R 3/4暗褐色土 炭化物、火山灰ブロックを少量含む
2. 7.5Y R 3/4暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロック少量含む
3. 2に似るが火山灰ブロックの量がなくなる
4. 2に似るが炭化物の量がふえ大きめの土器片が入る
5. 7.5Y R 3/4暗褐色土
6. 7.5Y R 3/4褐色土 火山灰ブロックを含む

III A 142



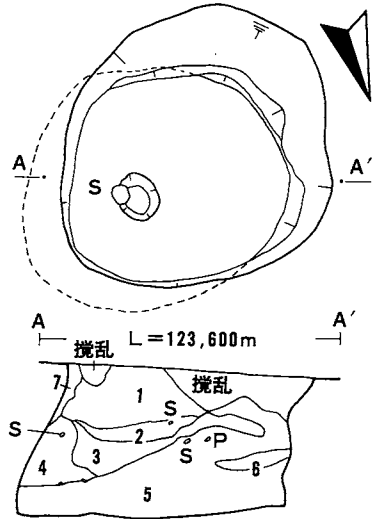
1. 7.5Y R 3/4暗褐色土 炭化物、焼土粒 大きめの土器片含む
2. 1に似るが火山灰ブロックが入る
3. 7.5Y R 3/4褐色土 炭化物、火山灰を含む

III A 144



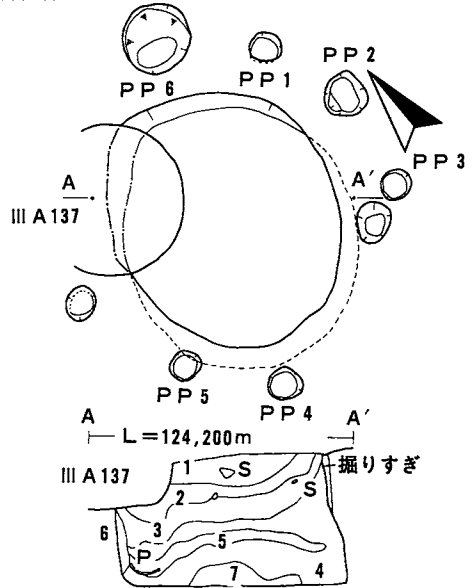
1. 7.5Y R 3/4暗褐色土 炭化物含む
2. 7.5Y R 3/4褐色土
3. 7.5Y R 3/4褐色土

III A 145



1. 7.5Y R 3/4暗褐色土 炭化物、土器片を含む
2. 7.5Y R 3/4暗褐色土 炭化物、火山灰を少し含む
3. 10Y R 3/4黒褐色土 火山灰の混土、炭化物を含む
4. 7.5Y R 3/4暗褐色土 火山灰の混土、炭化物、焼土粒を少し含む
5. 7.5Y R 3/4黒褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰、土器片、小礫を少し含む
6. 7.5Y R 3/4暗褐色土 炭化物、焼土を多く含む
7. 7.5Y R 3/4褐色土 炭化物入る

III A 143

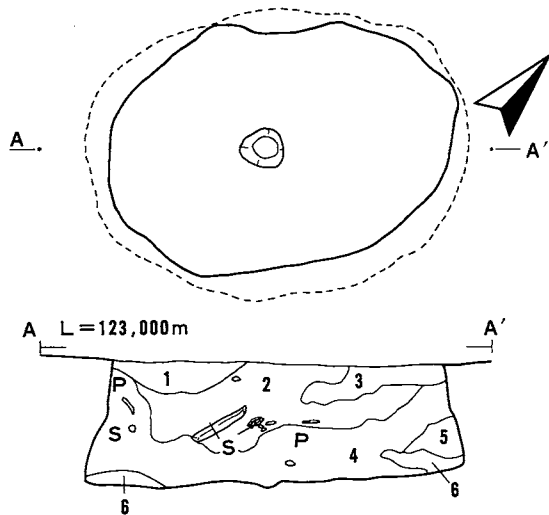


1. 7.5Y R 3/4褐色土 炭化物、焼土粒含む、火山灰ブロックわずかに含む
2. 1と似るが火山灰ブロックの量がふえる
3. 7.5Y R 3/4暗褐色土 以下1と同じ
4. 7.5Y R 3/4褐色土 炭化物、焼土粒含む 東側ほど火山灰ブロックの量がふえる
5. 7.5Y R 3/4暗褐色土 3に似るが炭化物の量ふえる
6. 7.5Y R 3/4褐色土 炭化物わずかに入る
7. よこれ粘土

III A 147

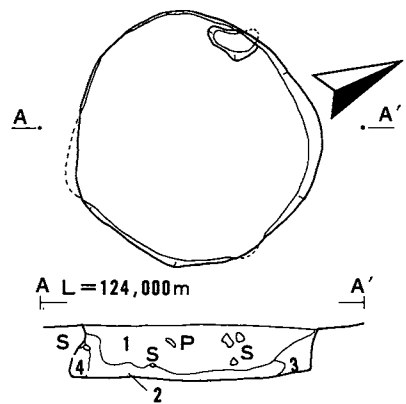


第186図 III A区土坑(10)



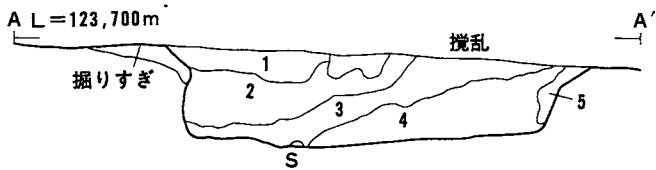
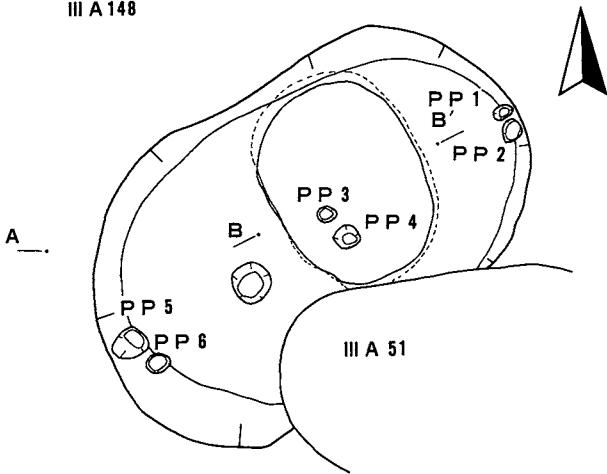
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、土器片を含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロックと土器片を含む
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロックを含む
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロックを含む
5. 4と似ているが火山灰ブロックの量が少ない
6. よこれ粘土

III A 148



1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 大きめの礫、土器片含む、炭化物、火山灰ブロックを少し含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、火山灰ブロックを少し含む
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 大きめの火山灰ブロックを含む
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、火山灰ブロックを少し含む

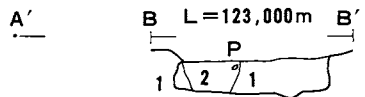
III A 150



A-A'

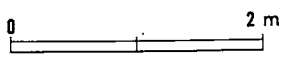
1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、火山灰、小礫含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、礫、土器片含む、火山灰ブロックを多く含む
3. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 黒褐色土 炭化物、火山灰、焼土粒を少し含む
4. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、土器片、火山灰ブロック、礫を少し含む
5. 10Y R $\frac{1}{2}$ 褐色土 焼土粒、礫、火山灰ブロックを含む

III A 149

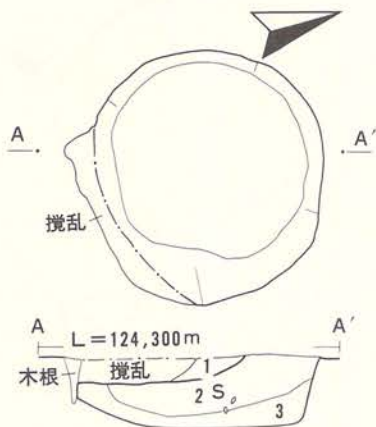


1. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、火山灰を含む
2. 7.5Y R $\frac{1}{2}$ 暗褐色土 炭化物、火山灰ブロックを含む

III A 210

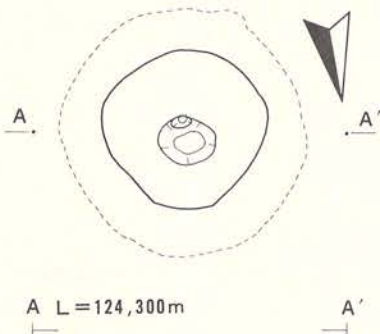


第187図 III A区土坑(11)



1. 攪乱
2. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物、小礫、火山灰含む
3. 7.5Y R 1/2 明褐色土と火山灰混じり

III A 152

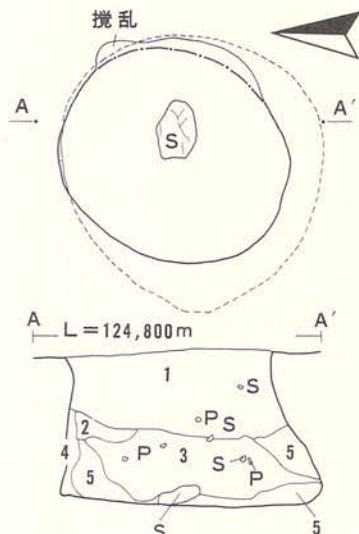


A L = 124,300m



1. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロック、礫、土器片含む
2. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物、焼土粒を含む
3. 2に似るが火山灰ブロックが多量に入る
4. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、焼土粒、土器片含む
5. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物、焼土粒含む
6. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、焼土粒を多めに含む
7. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物、焼土粒含む

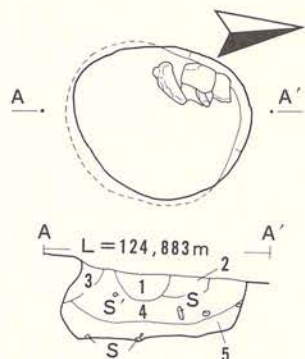
III A 158



A L = 124,800m

1. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、焼土粒、礫含む
2. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物、焼土粒含む
3. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物、焼土粒、土器片、火山灰ブロック含む
4. 7.5Y R 1/2 褐色土 火山灰ブロックが多量に入る
5. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、焼土粒が多めに入る

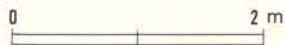
III A 166



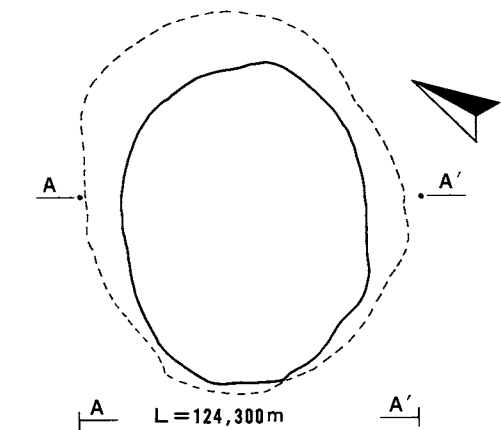
A L = 124,883m

1. 7.5Y R 1/2 褐色土と7.5Y R 1/2 黒褐色土の混土 炭化物、土器片、火山灰ブロック入る
2. 5Y R 1/2 に近い赤褐色土 焼土が多く混じる。炭化物、火山灰ブロック含む
3. 7.5Y R 1/2 明褐色土粘土
4. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロック入る
5. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、火山灰ブロック入る

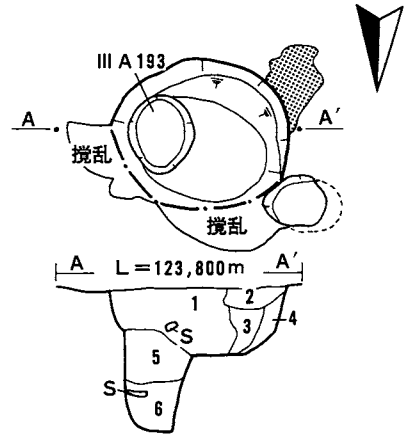
III A 167



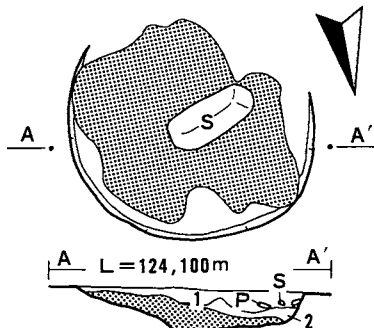
第188図 III A区土坑(12)



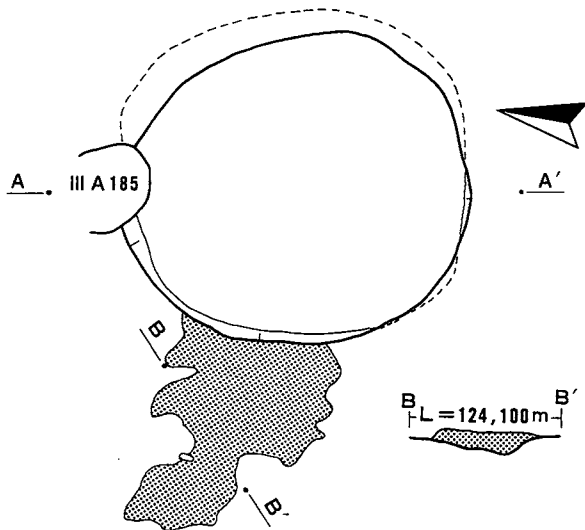
- 掘りすぎ
1. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒を含む
 2. 7.5Y R $\frac{1}{4}$ 褐色土に火山灰が多量に入る 炭化物、焼土粒、土器片を含む
 3. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒が多量に入る、火山灰ブロック入る
- III A 169



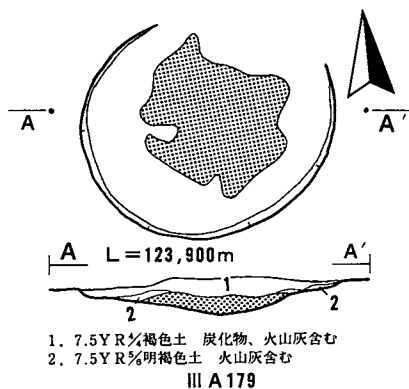
1. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロックを含む
 2. 7.5Y R $\frac{1}{4}$ 褐色土 炭化物、焼土粒入る
 3. 7.5Y R $\frac{1}{4}$ 褐色土 火山灰ブロックを多く含む
 4. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 明褐色土 よごれ粘土
 5. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロックを含む
 6. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒を含む
- III A 193
- III A 177



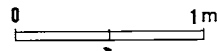
1. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒を含む
 2. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 明褐色土 火山灰含む
- III A 178



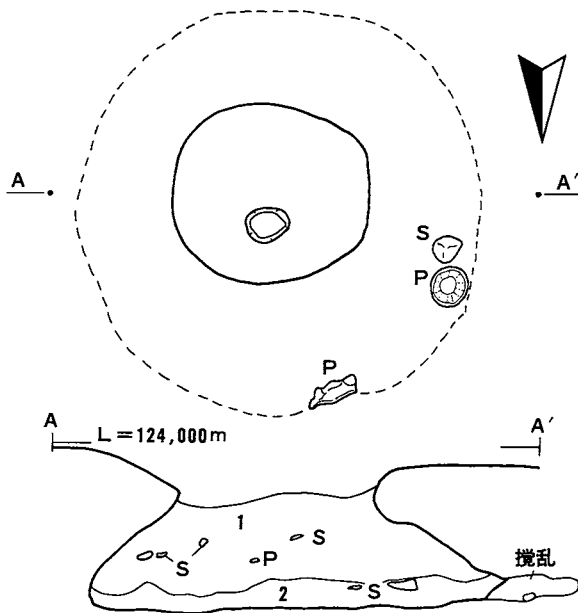
1. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒多く含む
 2. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒多く含む
 3. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 明褐色土 よごれ粘土
 4. 7.5Y R $\frac{1}{4}$ 褐色土 粘土質シルト、炭化物入る
 5. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロック入る
 6. 7.5Y R $\frac{1}{4}$ 褐色土 炭化物、焼土が多量入る
 7. 7.5Y R $\frac{1}{4}$ 褐色土 炭化物、焼土粒入る
 8. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 黒褐色土 炭化物、焼土粒多く入る
- III A 185
- III A 184



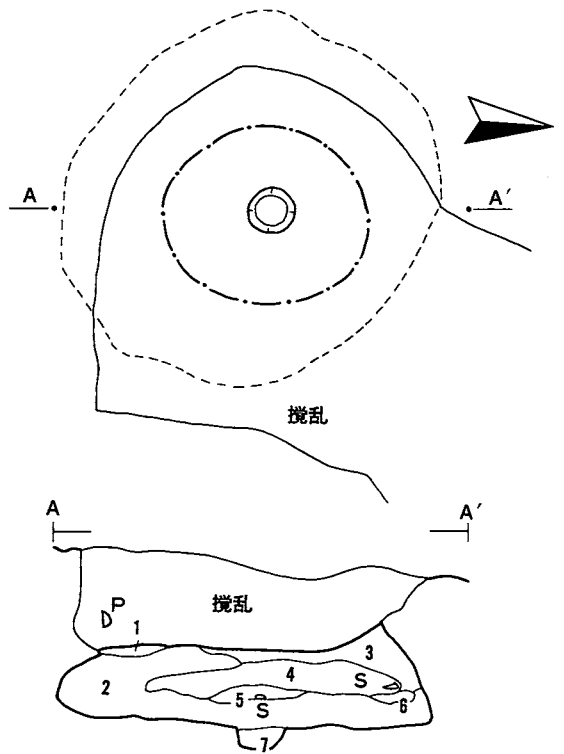
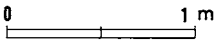
1. 7.5Y R $\frac{1}{4}$ 褐色土 炭化物、火山灰含む
 2. 7.5Y R $\frac{2}{4}$ 明褐色土 火山灰含む
- III A 179



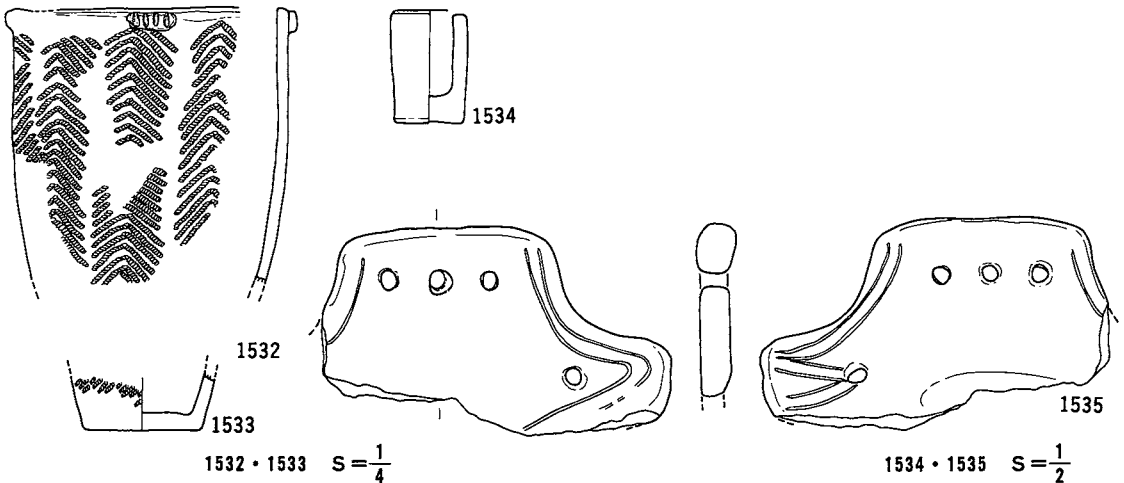
第189図 III A区土坑(13)



1. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロック含む
 2. 7.5Y R 1/2 暗褐色土 1より火山灰ブロックの量がへる
- III A 194



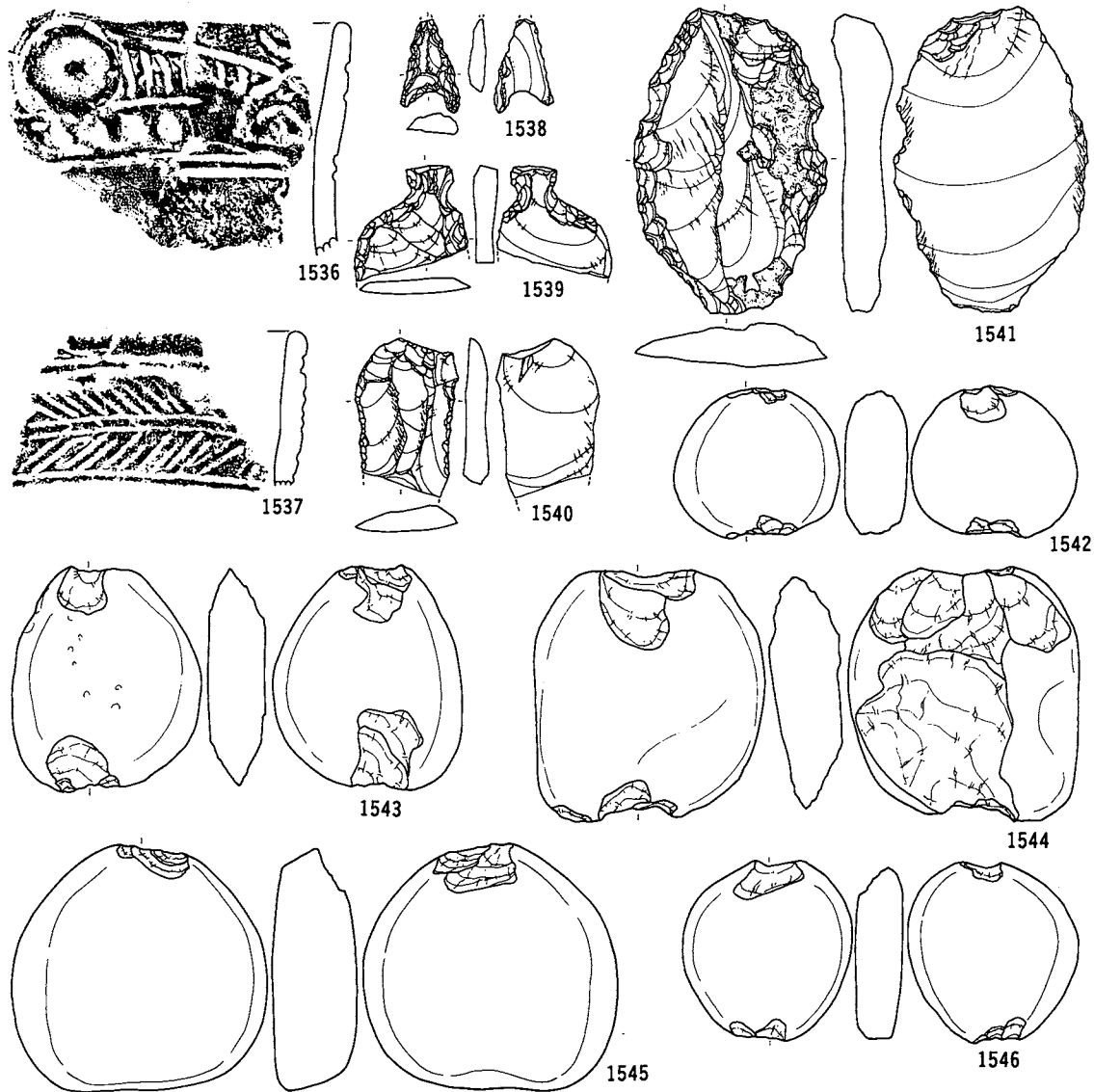
1. 7.5Y R 1/2 褐色土
 2. 7.5Y R 1/2 褐色土 炭化物、焼土粒、火山灰ブロック含む
 3. 7.5Y R 1/2 褐色土 焼土粒、焼土ブロック、炭化物若干含む
 4. 7.5Y R 1/2 明褐色土 焼土粒、ブロック多く含む
 5. 7.5Y R 1/2 褐色土 火山灰ブロック少量含む
 6. 5Y R 1/2 暗赤褐色土 炭化物、焼土粒含む
 7. 7.5Y R 1/2 褐色土 火山灰、若干含む
- III A 203



No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1532	III A 101・埋土中部	口～胴部	平線、上端に縦位の連続押圧のある粘土帯が巡る、羽状(結束第1種)タテ	深鉢A15種
1533	III A 101・埋土中部	胴～底部	L R ヨコ	深鉢12種

No.	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他
1534	III A 101・埋土中部	ミニチュア土器	—	—	—	口径4.0cm、器高6.0cm、底径3.6cm
1535	III A 101・埋土下部	板状土偶				頭部から胸部にかけて残存、両面に平行沈線文、径5mm程の小孔4個

第190図 III A 区土坑(14)、III A 101土坑出土遺物(1)

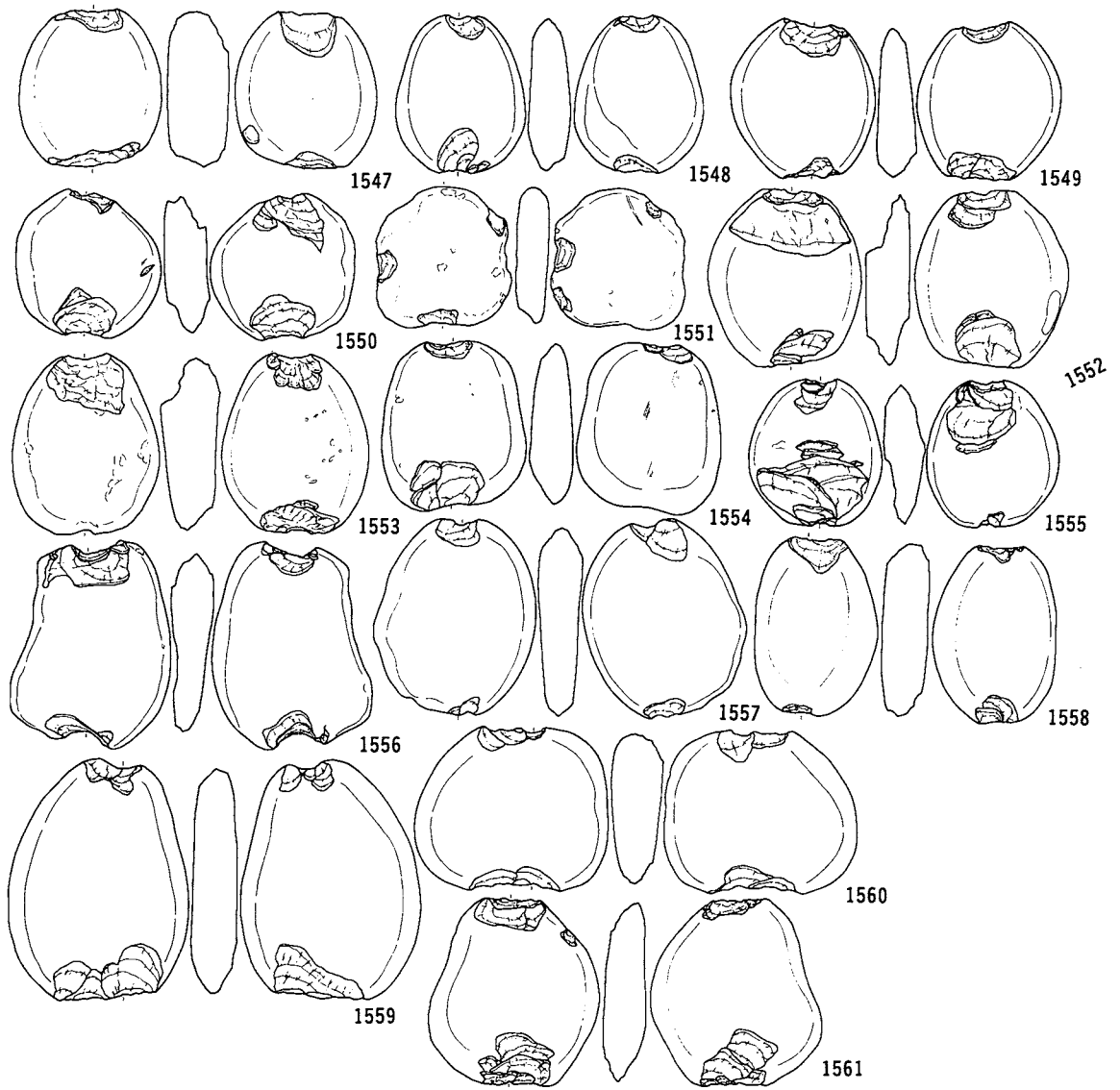


$$1536 \cdot 1537 \quad S = \frac{1}{3} \quad 1538 \sim 1546 \quad S = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1536	ⅢA.101・埋土中部	口縁部	中央にふくらみを持つ円形の粘土板、三角状の沈線の中に縦位の連続沈線、結節したLRタテ	深鉢B13類
1537	ⅢA.101・埋土中部	口縁部	3組の平行沈線間に斜位の連続沈線が羽状に施される	深鉢A19類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1538	ⅢA.101埋土1層	石鎌	2.6	1.7	0.5	1.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1539	ⅢA.101埋土1層	石匙	3.1	3.2	0.7	5.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1540	ⅢA.101埋土上層	削器	4.3	2.9	0.6	9.6	硬質泥岩	奥羽山地(雫石)	新第三系中新統	
1541	ⅢA.101埋土中層	削器	8.3	5.3	1.1	70.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1542	ⅢA.101埋土中層	石錘	4.1	4.5	1.8	40.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1543	ⅢA.101埋土下層	石錘	6.2	5.2	1.6	70.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1544	ⅢA.101埋土下層	石錘	7.0	6.4	2.1	110.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	*
1545	ⅢA.101埋土中層	石錘	6.7	7.0	2.4	175.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1546	ⅢA.101埋土中層	石錘	5.0	4.6	1.3	40.1	硬質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

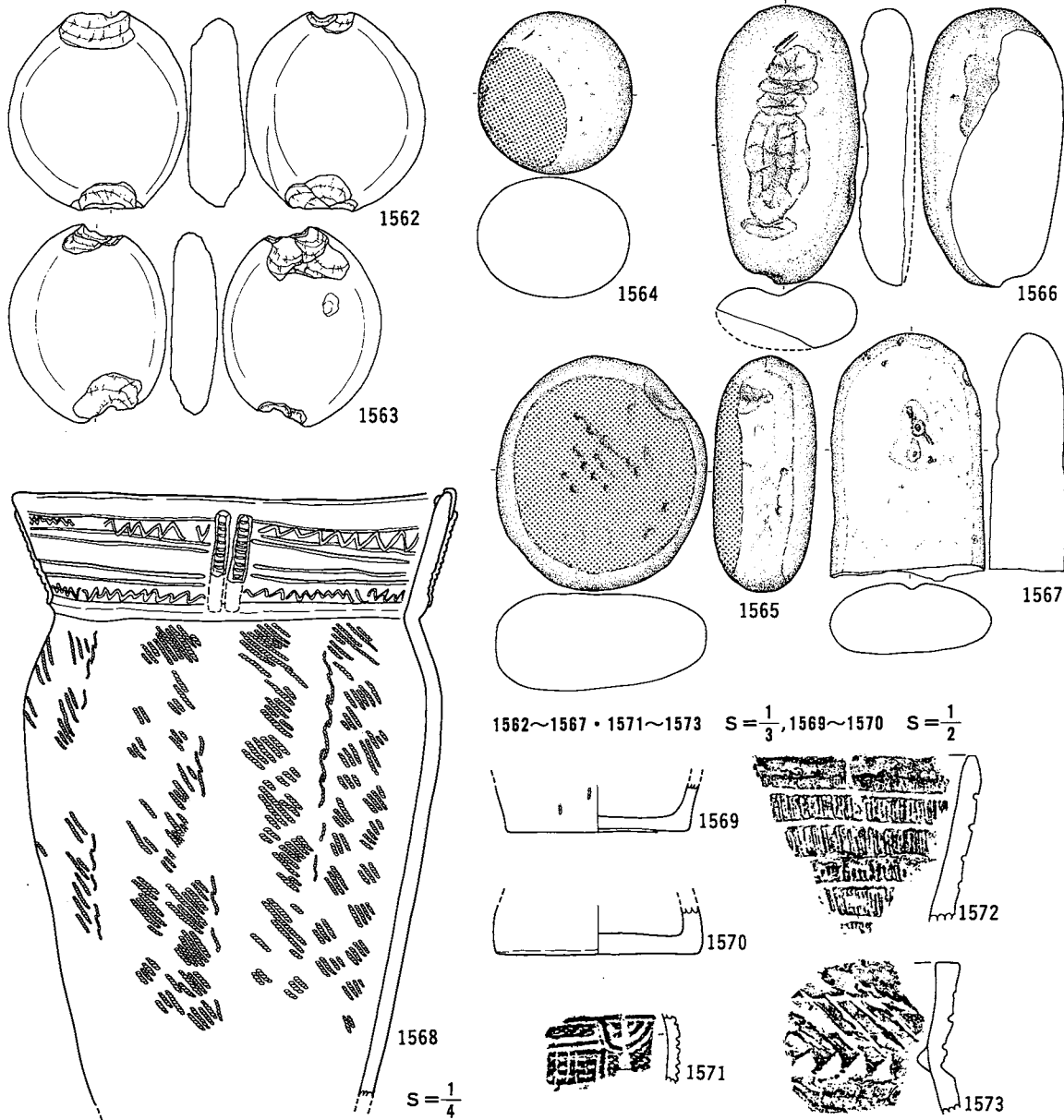
第191図 ⅢA.101土坑出土遺物(2)



S = 1/3

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1547	ⅢA101埋土下層	石鏟	6.4	5.9	2.6	130.0	両輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
1548	ⅢA101埋土上層	石鏟	6.6	5.3	1.8	85.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1549	ⅢA101埋土中層	石鏟	6.7	5.9	1.7	85.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1550	ⅢA101埋土中層	石鏟	5.9	6.1	1.8	90.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1551	ⅢA101埋土中層	石鏟	5.6	5.9	1.5	55.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1552	ⅢA101埋土下層	石鏟	7.4	6.3	2.1	115.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1553	ⅢA101埋土下層	石鏟	7.4	6.0	2.5	160.0	両輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
1554	ⅢA101埋土下層	石鏟	7.1	6.0	1.8	130.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1555	ⅢA101埋土4層	石鏟	6.1	5.5	1.8	70.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1556	ⅢA101埋土上層	石鏟	8.7	6.5	1.8	115.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1557	ⅢA101埋土中層	石鏟	8.0	6.5	1.9	140.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1558	ⅢA101埋土上部	石鏟	7.2	5.1	2.1	120.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1559	ⅢA101埋土中層	石鏟	9.9	7.4	2.0	230.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1560	ⅢA101埋土中層	石鏟	6.6	8.1	2.2	175.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1561	ⅢA101 2層	石鏟	8.0	7.1	1.8	140.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

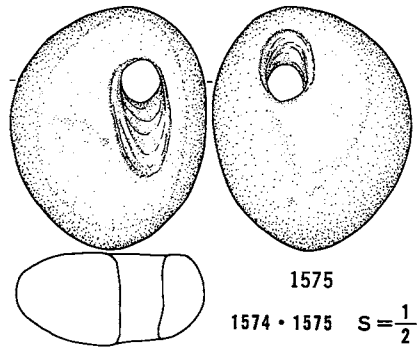
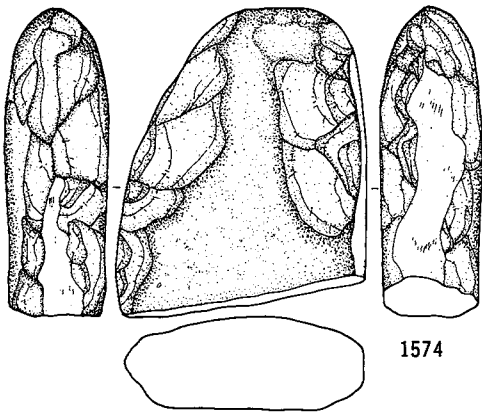
第192図 ⅢA101土坑出土遺物(3)



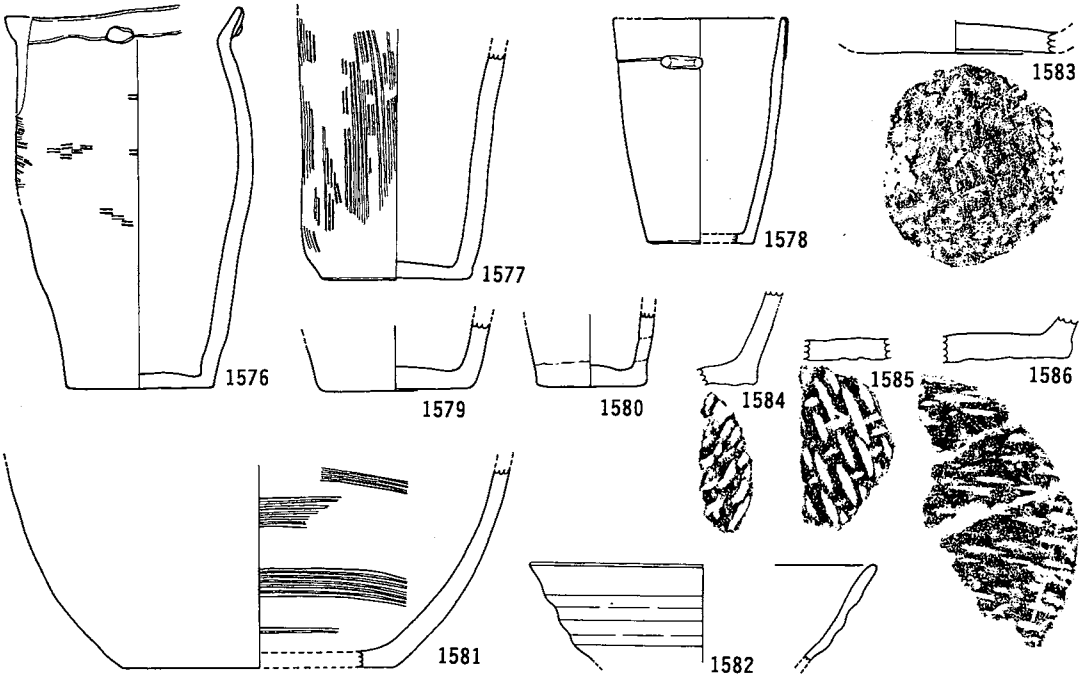
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1562	ⅢA101埋土中層	石錘	8.4	7.7	2.6	240.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1563	ⅢA101埋土下層	石錘	8.4	6.7	2.0	145.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1564	ⅢA1017層	すり石	6.9	6.6	5.2	355.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
1565	ⅢA1013層	すり石	10.1	9.1	4.2	600.0	花崗閃緑岩	夏油川～仙人	中生界	
1566	ⅢA101埋土上層	凹石	12.0	6.2	2.7	170.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1567	ⅢA101埋土上層	凹石	10.6	6.9	3.2	350.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1568	ⅢA102・埋土上部	口～胴部	平縁、刻目を持つ2本1対の粘土帯、横位や小波状の沈線、横位の粘土紐、結節したLRタテ	深鉢B17類
1569	ⅢA102・埋土上部	底部	わずかにLの原体圧痕	深鉢B
1570	ⅢA102・埋土上部	底部		深鉢C
1571	ⅢA102・埋土上部	口縁部	平行沈線文の上から縦位の沈線、RLタテ	深鉢B17類
1572	ⅢA102・埋土上部	口縁部	縦位の連続沈線の上からやややたい横位の沈線5条	深鉢B19類
1573	ⅢA102・埋土上部	口縁部	斜位の連続沈線の下に三角状のえぐり、絡糸体Rタテ、頸部の裏側に粘土紐貼付	深鉢B19類

第193図 ⅢA101(4)・102土坑出土遺物(1)



1574・1575 $S = \frac{1}{2}$
 1576~1580 $S = \frac{1}{4}$
 1581~1586 $S = \frac{1}{3}$

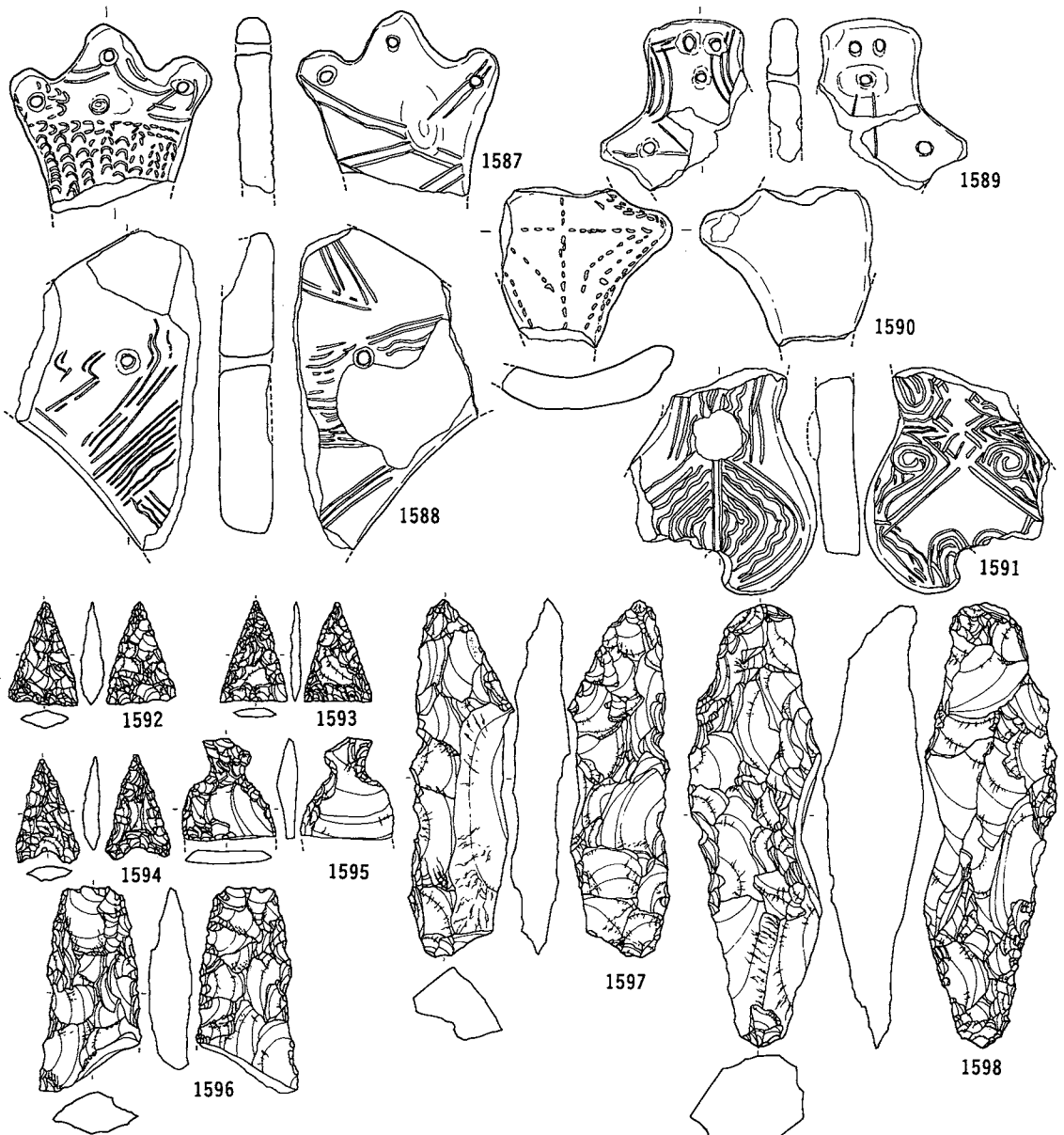


No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1574	III A 102埋土 3層	半円状扁平打製石器	7.7	6.3	2.4	205.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1575	III A 102埋土 7層	有孔磔	6.5	5.3	2.4	90.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1576	III A 103・埋土中部	口~底部	複合口縁下端に粘土塊貼付、寛状工具による二の字型の刻目	深鉢B
1577	III A 103・埋土中部	胴~底部	縦位の沈線が連続して施される	深鉢A 5類
1578	III A 103・埋土中部	口~底部	複合口縁下端に長楕円の粘土塊貼付	深鉢A 5類
1579	III A 103・埋土中部	胴~底部	無文	深鉢A
1580	III A 103・埋土中部	胴~底部	無文	深鉢A
1583	III A 103・埋土上部	底部	網代痕	深鉢A
1584	III A 103・埋土下部	底部	網代痕	深鉢A
1585	III A 103・埋土上部	底部	網代痕	深鉢A
1586	III A 103・埋土上部	底部	網代痕	深鉢A

No	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1581	III A 103・埋土上部	土師器甕	—	—	—	—	ハケメ	—	—	(8.1)	(11.0)			
1582	III A 103・埋土上部	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	—	—	—	(14.0)	(4.0)	—	B II類	

第194図 III A 102(2)・103土坑出土遺物(1)

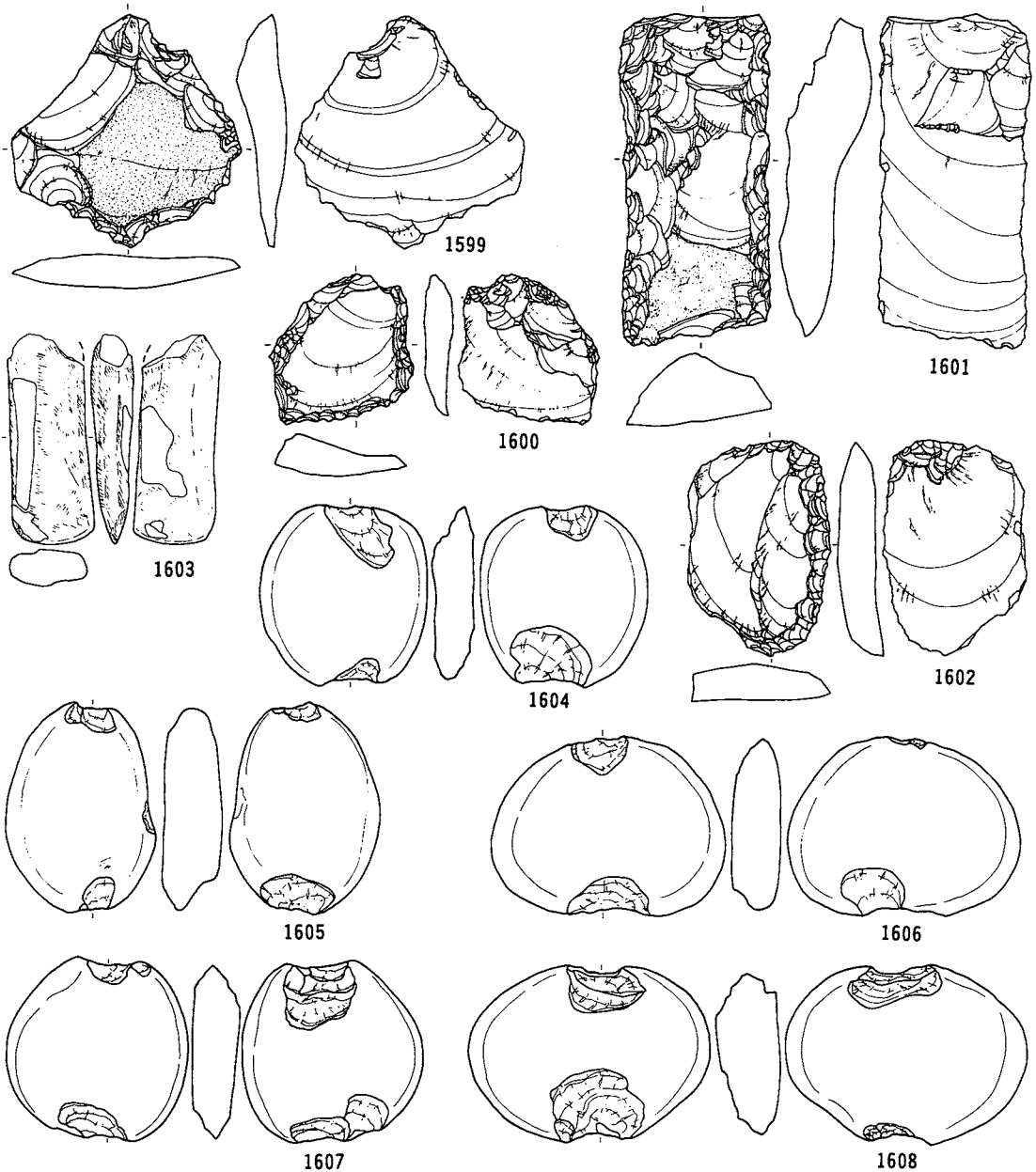


1587・1590・1592~1598 $S = \frac{1}{2}$ 、1588・1589・1591 $S = \frac{1}{3}$

No.	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他
1587	ⅢA 103埋土上部	板状土偶	5.4	5.7	0.9	胴上部残存、両面に平行沈線文、表に爪形文と円形の凹み、径3mm程の小孔3個
1588	ⅢA 103埋土上部	板状土偶	9.0	5.1	1.5	胸～腕部片、両面に平行沈線文、径3mm程の小孔1個
1589	ⅢA 103埋土中部	板状土偶	4.9	4.1	0.9	頭～腕部片、両面に沈線、目と口と胸の部分に径2～4mm程の小孔4個
1590	ⅢA 103埋土上部	板状土偶	4.3	4.9	0.9	胴部残存、表に十字状や体部に沿って連続刺突、やや湾曲
1591	ⅢA 103埋土上部	板状土偶	6.4	5.1	1.1	胴下部残存、へその部に粘土貼付痕、両面に平行沈線文

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1592	ⅢA 103埋土中層	石鏃	2.9	2.0	0.5	2.1	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1593	ⅢA 103埋土中層	石鏃	2.8	1.9	3.0	1.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1594	ⅢA 103埋土下層	石鏃	3.0	1.8	0.4	1.7	硬質泥岩	奥羽山地磐石	新第三系中新統	
1595	ⅢA 103埋土下層	石匙	2.9	2.7	0.5	3.1	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	*
1596	ⅢA 103埋土上層	石鏃	5.8	2.5	1.2	18.3	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	*
1597	ⅢA 103埋土上部	石鏃	10.1	2.6	1.6	45.3	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1598	ⅢA 103埋土中層	石鏃	12.6	3.2	2.7	108.0	硬質泥岩	奥羽山地磐石	新第三系中新統	

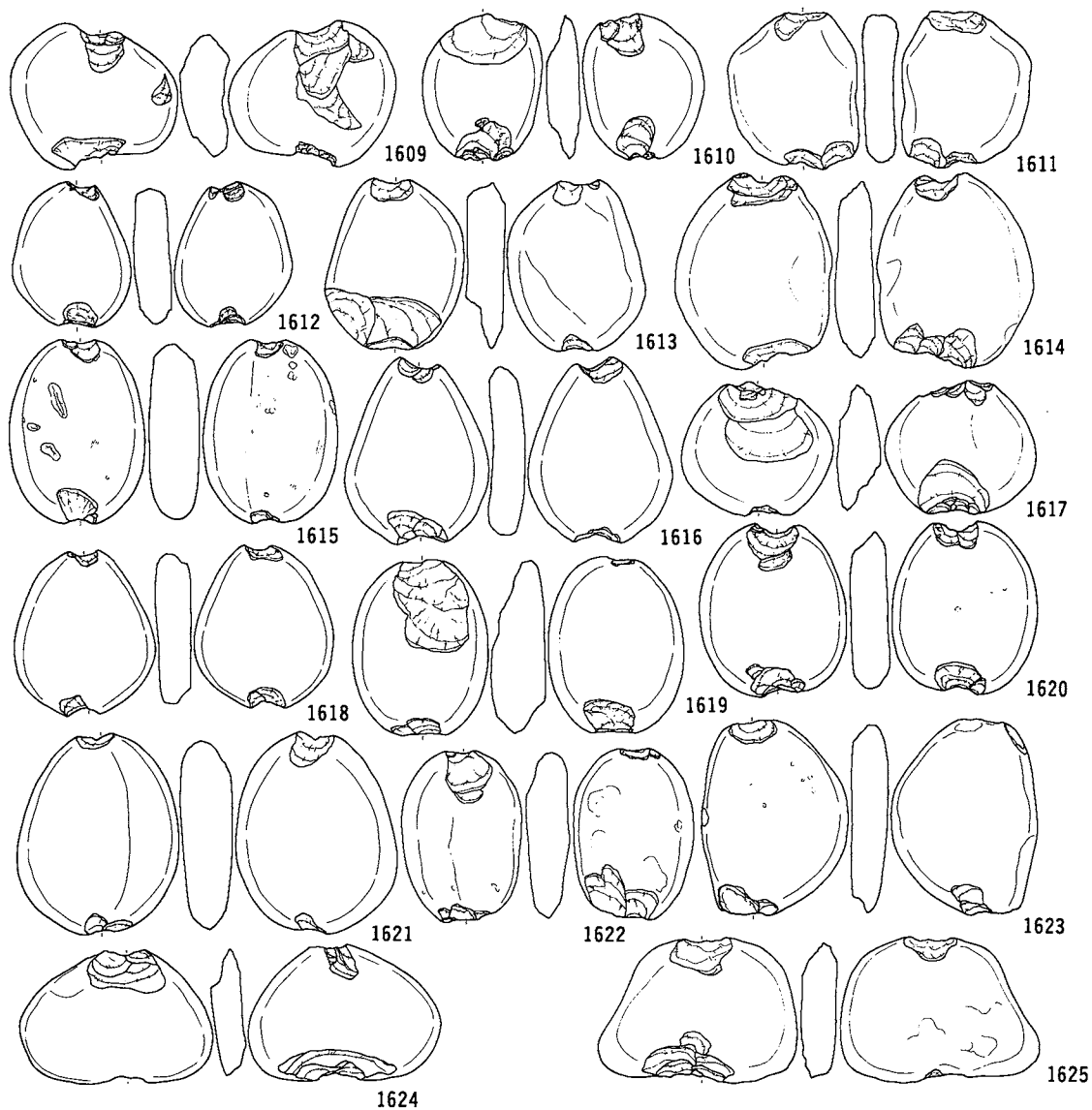
第195図 ⅢA 103土坑出土遺物(2)



$$s = \frac{1}{2}$$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1599	Ⅲ A 103埋土6層	鋸齒状石器	6.5	6.5	1.2	37.8	硬質泥岩	奥羽山地 (雫石)	新第三系中新統	
1600	Ⅲ A 103埋土上部	削器	4.2	3.7	1.1	17.8	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1601	Ⅲ A 103埋土	削器	9.3	4.1	1.9	110.0	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1602	Ⅲ A 103埋土1層	削器	6.1	4.1	1.0	33.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1603	Ⅲ A 103埋土上部	磨製石斧	5.9	2.1	1.0	19.4	粘板岩 (ホルンフェルス)	夏油川～和賀仙人	古生界	*
1604	Ⅲ A 103埋土中位	石錘	5.0	4.7	1.1	35.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1605	Ⅲ A 103埋土中層	石錘	5.9	4.1	1.7	60.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1606	Ⅲ A 103埋土中層	石錘	5.0	6.5	1.5	70.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1607	Ⅲ A 103埋土中層	石錘	5.1	5.2	1.3	50.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1608	Ⅲ A 103埋土上部	石錘	5.0	6.8	1.6	80.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

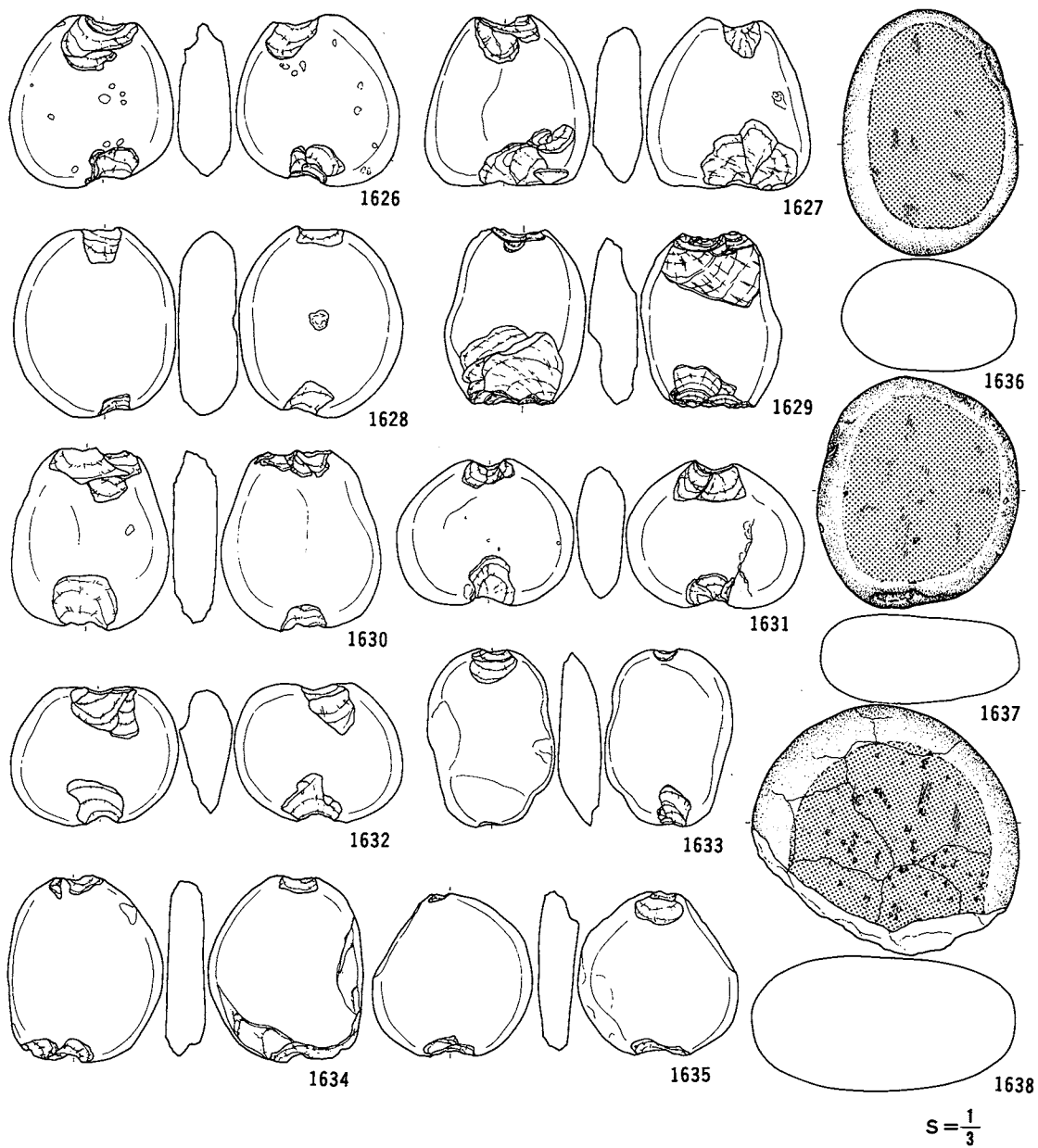
第196図 Ⅲ A 103土坑出土遺物(3)



S = $\frac{1}{3}$

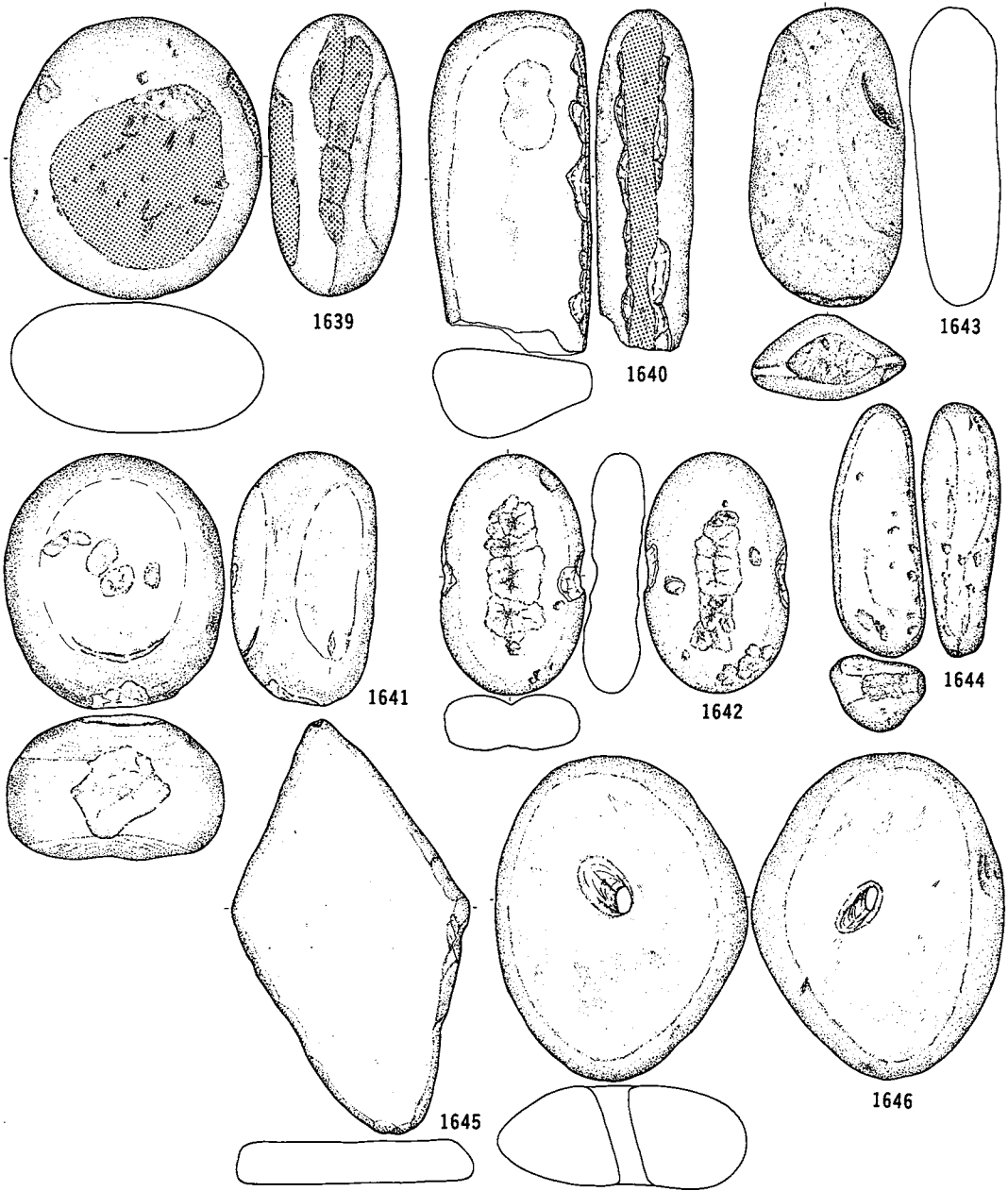
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1609	ⅢA103南北4層	石錘	6.0	6.9	1.7	95.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1610	ⅢA103埋土中層	石錘	6.0	4.9	1.5	50.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1611	ⅢA103 4層	石錘	6.7	5.4	1.4	80.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1612	ⅢA103埋土中層	石錘	5.8	4.8	1.5	55.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1613	ⅢA103埋土2層	石錘	7.1	5.5	1.6	80.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*
1614	ⅢA103埋土3層	石錘	8.0	6.3	1.8	125.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1615	ⅢA103埋土中層	石錘	7.6	5.5	2.2	135.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1616	ⅢA103埋土2層	石錘	5.5	4.4	1.6	65.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1617	ⅢA103埋土3層	石錘	5.4	6.1	1.8	75.1	ホルンフェルス	夏油川	新第三系中新統	
1618	ⅢA103埋土中層	石錘	6.5	5.7	1.4	80.1	デイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	
1619	ⅢA103埋土中層	石錘	7.2	5.6	2.3	135.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1620	ⅢA103埋土中層	石錘	7.2	6.1	1.6	115.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1621	ⅢA103埋土中層	石錘	8.1	6.5	2.1	160.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1622	ⅢA103埋土中層	石錘	7.0	5.0	1.9	95.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1623	ⅢA103埋土3層	石錘	8.0	6.0	1.6	100.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1624	ⅢA103埋土中層	石錘	5.6	7.9	1.8	90.1	粘板岩	夏油川上流	古生界	
1625	ⅢA103埋土1層	石錘	6.0	8.1	1.4	120.0	千枚岩	夏油川	新第三系鮮新統	

第197図 ⅢA103土坑出土遺物(4)



No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1626	ⅢA103埋土上層	石錘	7.5	7.0	2.3	170.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1627	ⅢA103南北3層	石錘	7.4	7.1	2.2	130.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1628	ⅢA103埋土中位	石錘	8.2	6.9	2.3	175.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1629	ⅢA103埋土上層	石錘	7.7	59.0	2.1	105.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1630	ⅢA103埋土3層	石錘	7.7	6.9	1.8	115.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1631	ⅢA103埋土中層	石錘	6.4	7.6	2.2	135.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1632	ⅢA103埋土中層	石錘	5.9	7.3	2.2	130.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1633	ⅢA103埋土中層	石錘	7.7	5.4	2.2	110.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1634	ⅢA103埋土中層	石錘	7.9	6.6	1.6	145.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1635	ⅢA103埋土3層	石錘	7.0	6.8	1.8	95.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1636	ⅢA103埋土3層	すり石	10.5	7.5	4.8	590.0	輝石安山岩	奥羽山地~夏油川	新第三系鮮新統	
1637	ⅢA103埋土中層	すり石	9.9	8.4	4.0	490.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1638	ⅢA103 4層	すり石	10.7	11.5	5.8	970.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	*

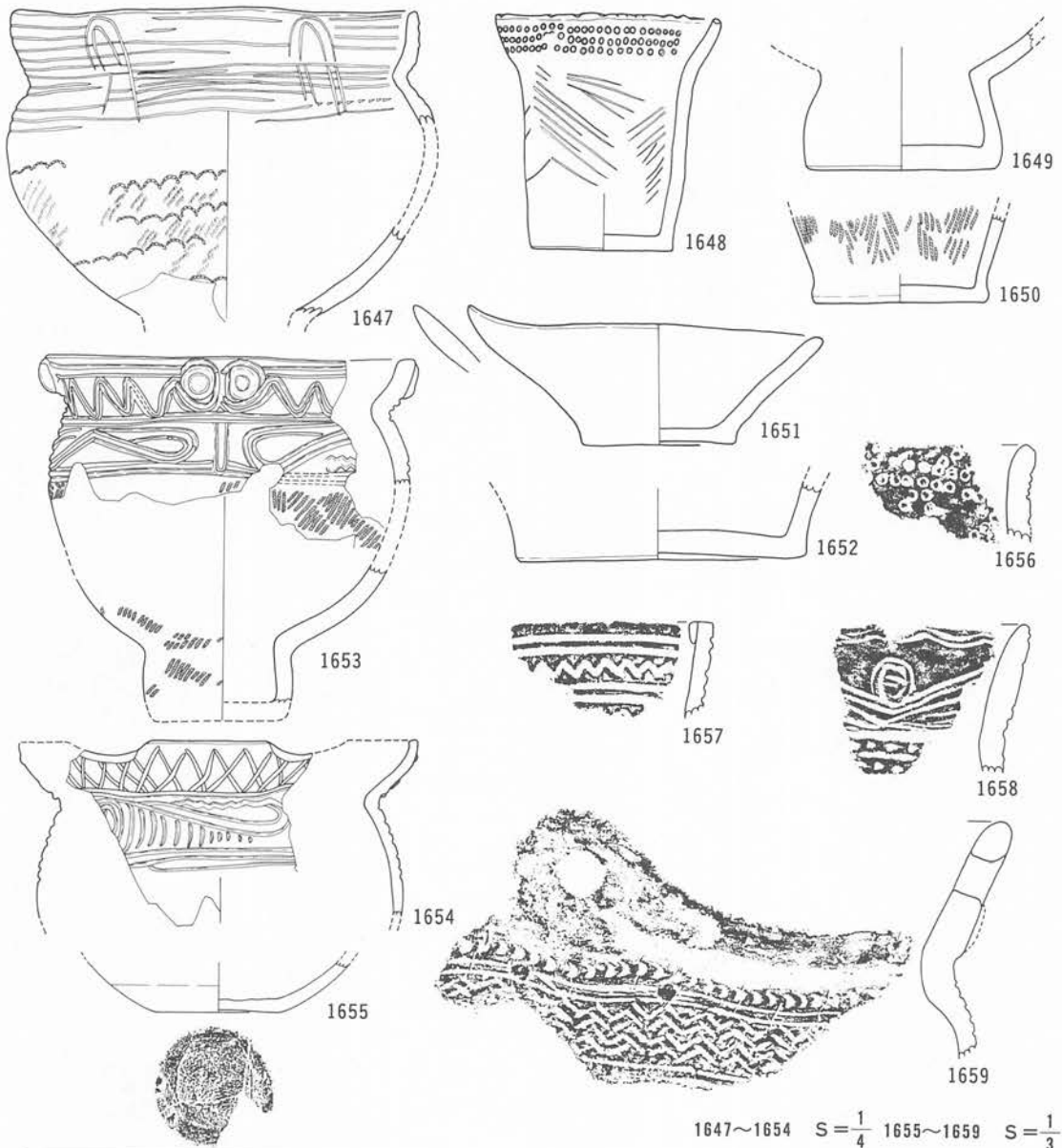
第198図 ⅢA103土坑出土遺物(5)



S = $\frac{1}{3}$

№	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1639	ⅢA.103埋土上部	すり石	12.0	10.6	5.5	940.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	
1640	ⅢA.103埋土中層	特殊磨石	14.5	6.8	3.7	640.0	濃綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1641	ⅢA.103床直	凹石	10.8	9.1	6.2	885.0	花崗閃緑岩	夏油川～仙人	中生界	
1642	ⅢA.103埋土中層	凹石	10.1	6.1	2.3	220.0	淡綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1643	ⅢA.103埋土中位	敲石	12.7	6.4	3.6	380.0	淡綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1644	ⅢA.103埋土3層	敲石	10.7	4.0	2.7	178.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
1645	ⅢA.103	台石	17.6	10.0	1.8	410.0	アルコース砂岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1646	ⅢA.103埋土3層	有孔礫	13.8	10.7	4.2	800.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第199図 Ⅲ A 103土坑出土遺物(6)

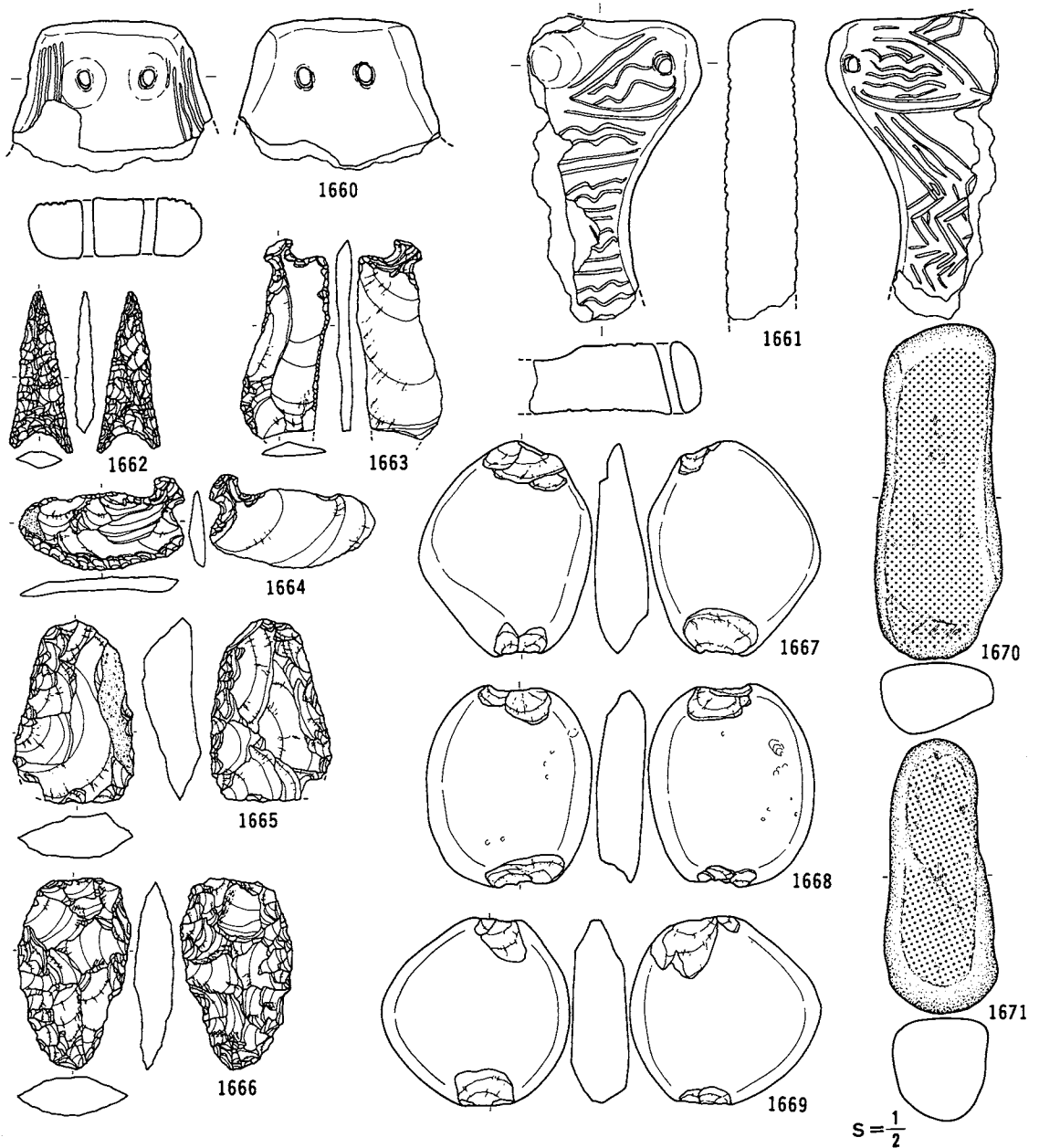


1647~1654 $S = \frac{1}{4}$ 1655~1659 $S = \frac{1}{3}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他			分類
			口縁部	胴部	底部	
1647	III A 104・埋土下部	口～胴部	平縁、横位やヘアピン状の平行沈線文、末端結節のLヨコ			深鉢C 6類
1648	III A 104・埋土下部	口～底部	平縁、口唇部に押圧が3個ずつ6単位、その間は刻目、竹管による凹形の連続刺突、平行沈線文			深鉢B10類
1949	III A 104・埋土下部	胴～底部	無文			深鉢C
1650	III A 104・埋土下部	胴～底部	木目状燃糸文			深鉢B11類
1651	III A 104・埋土下部	口～底部	1ヶ所に波状突起			浅鉢
1652	III A 104・埋土中部	胴～底部	無文			深鉢B
1653	III A 104・床直	口～底部	平縁、2個1対のボタン状貼付4単位、横位や鋸歯状やヘアピン状の平行沈線文、RLタテ			深鉢C 6類
1654	III A 104・埋土中部	口～胴部	4～5単位の台状口縁、細い粘土紐が網目状と横位に貼付、三角状の沈線内に弧状の連続沈線			深鉢C 6類
1656	III A 104・埋土上部	口縁部	竹管による凹形の連続刺突			深鉢C10類
1657	III A 104・埋土上部	口縁部	上端裏側に粘土紐貼付、2条1組の沈線間に鋸歯状の沈線			深鉢C17類
1658	III A 104・埋土中部	口縁部	波状や斜位や凹形の平行沈線文、爪形文			深鉢B10類
1659	III A 104・埋土中部	口～胴部	波頂部に凹形の穿孔、爪形文、横位や鋸歯状の平行沈線文			深鉢C10類

No	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1655	III A 104・埋土中部	土師器環	ロクロ	—	ロクロ痕	回転系切り痕	—	—	—	(2.2)	5.2	—	B II a類	

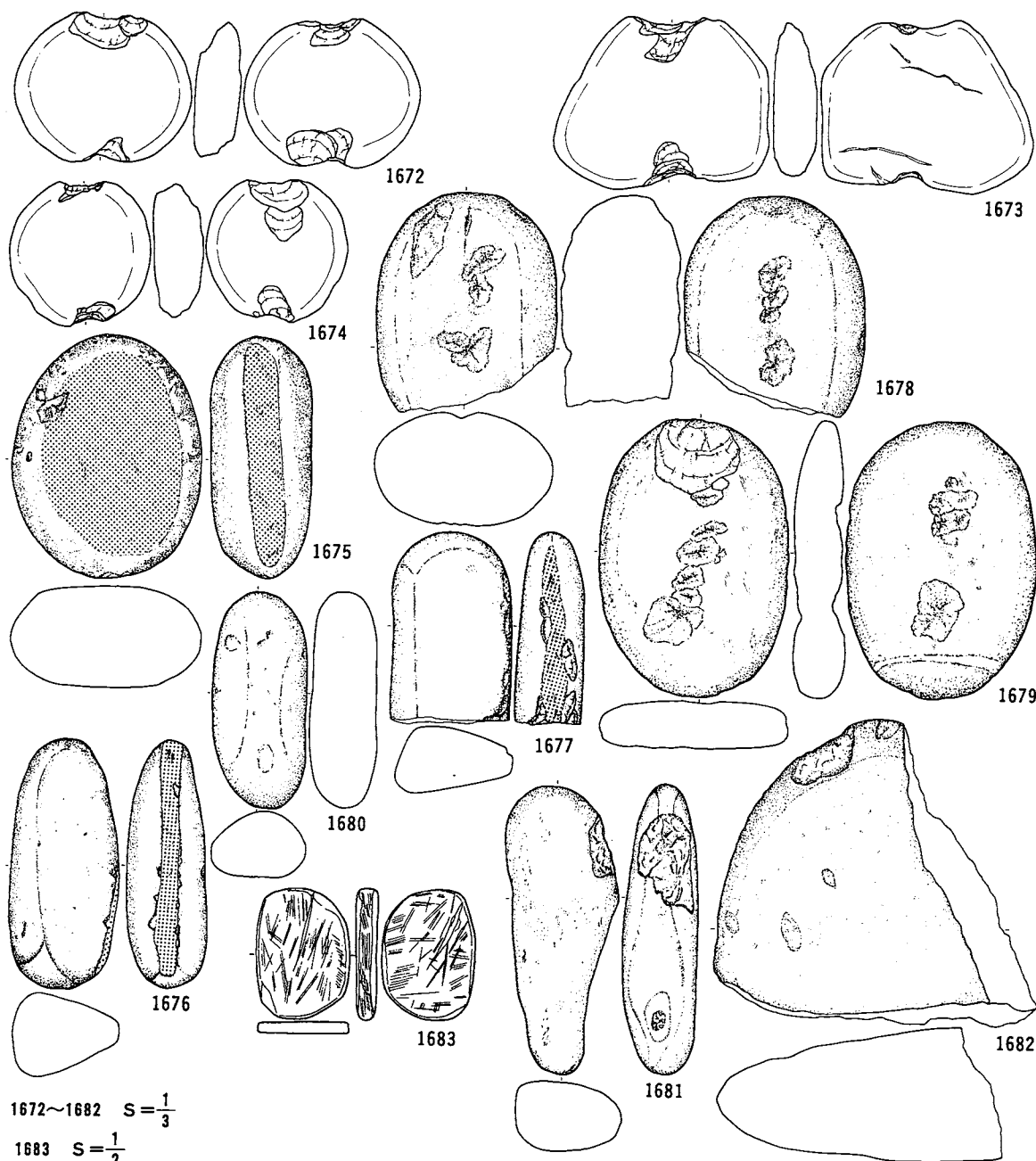
第200図 III A 104土坑出土遺物(1)



No	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他
1660	ⅢA104・埋土上部	板状土偶	4.3	5.8	1.7	頭部片、表に縦位の沈線、径4mm程の小孔2個
1661	ⅢA104・埋土下部	板状土偶	8.9	5.1	2.1	腕～胴部片、両面に縦横の平行沈線文、径5mm程の小孔1個

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1662	ⅢA104埋土下層	石鏃	4.7	1.6	0.4	2.8	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
1663	ⅢA104埋土10層	石匙	5.2	4.5	0.4	5.9	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	*
1664	ⅢA104埋土4層	石匙	4.1	4.2	0.4	5.9	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
1665	ⅢA104埋土下層	石鏃	5.3	3.4	1.2	28.3	粘板岩	夏油川	古生界	*
1666	ⅢA104埋土中層	石鏃	5.5	3.2	1.0	21.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1667	ⅢA104埋土9層	石鏃	6.2	5.0	1.7	70.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1668	ⅢA104埋土下層	石鏃	6.0	4.8	1.5	60.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1669	ⅢA104埋土上層	石鏃	5.5	5.5	1.5	70.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1670	ⅢA104埋土下層	すり石	9.8	3.8	2.0	105.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
1671	ⅢA104埋土下層	すり石	8.0	3.3	3.0	115.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第201図 ⅢA104土坑出土遺物(2)

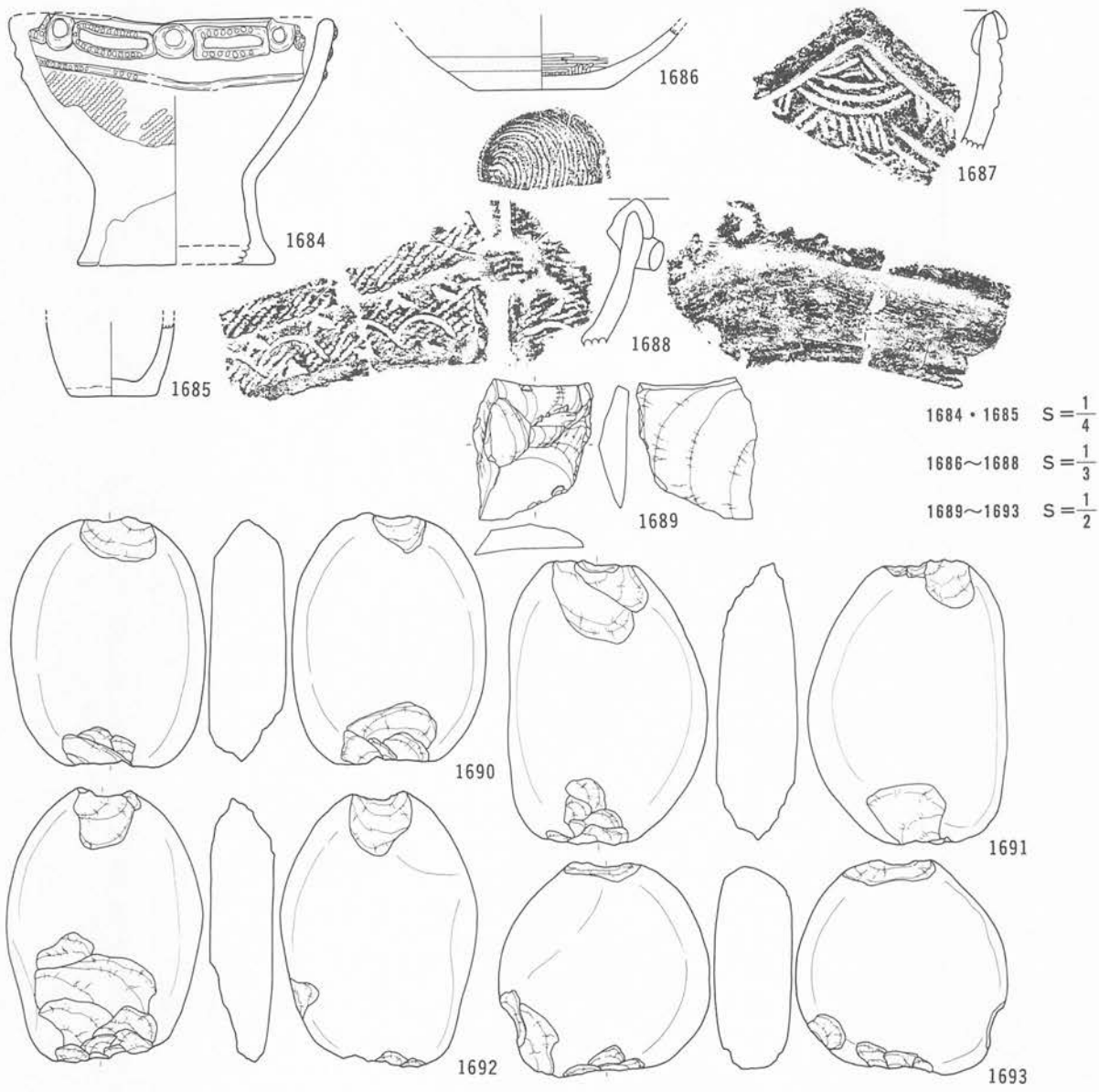


$$1672 \sim 1682 \quad S = \frac{1}{3}$$

$$1683 \quad S = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1672	III A 104埋土5層	石鏟	6.6	7.8	2.0	160.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1673	III A 104埋土1層	石鏟	7.7	9.5	1.9	195.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1674	III A 104埋土中層	石鏟	6.4	6.3	2.3	130.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1675	III A 104埋土1層	すり石	10.8	8.5	4.5	645.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	
1676	III A 104埋土5層	特殊磨石	11.2	4.7	3.7	283.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
1677	III A 104埋土1層	特殊磨石	8.6	5.4	2.9	225.0	濃緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1678	III A 104埋土1層	凹石	9.9	8.1	5.2	590.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	*
1679	III A 104南半1層	凹石	12.5	8.5	2.2	315.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1680	III A 104埋土下層	敲石	6.6	4.2	2.9	185.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1681	III A 104埋土中層	敲石	12.9	4.7	3.2	295.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1682	III A 104埋土中層	台石	13.8	14.3	6.0	1180.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	*
1683	III A 104埋土9層	円盤状石製品	3.9	2.8	0.3	6.9	緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第202図 III A 104土坑出土遺物(3)

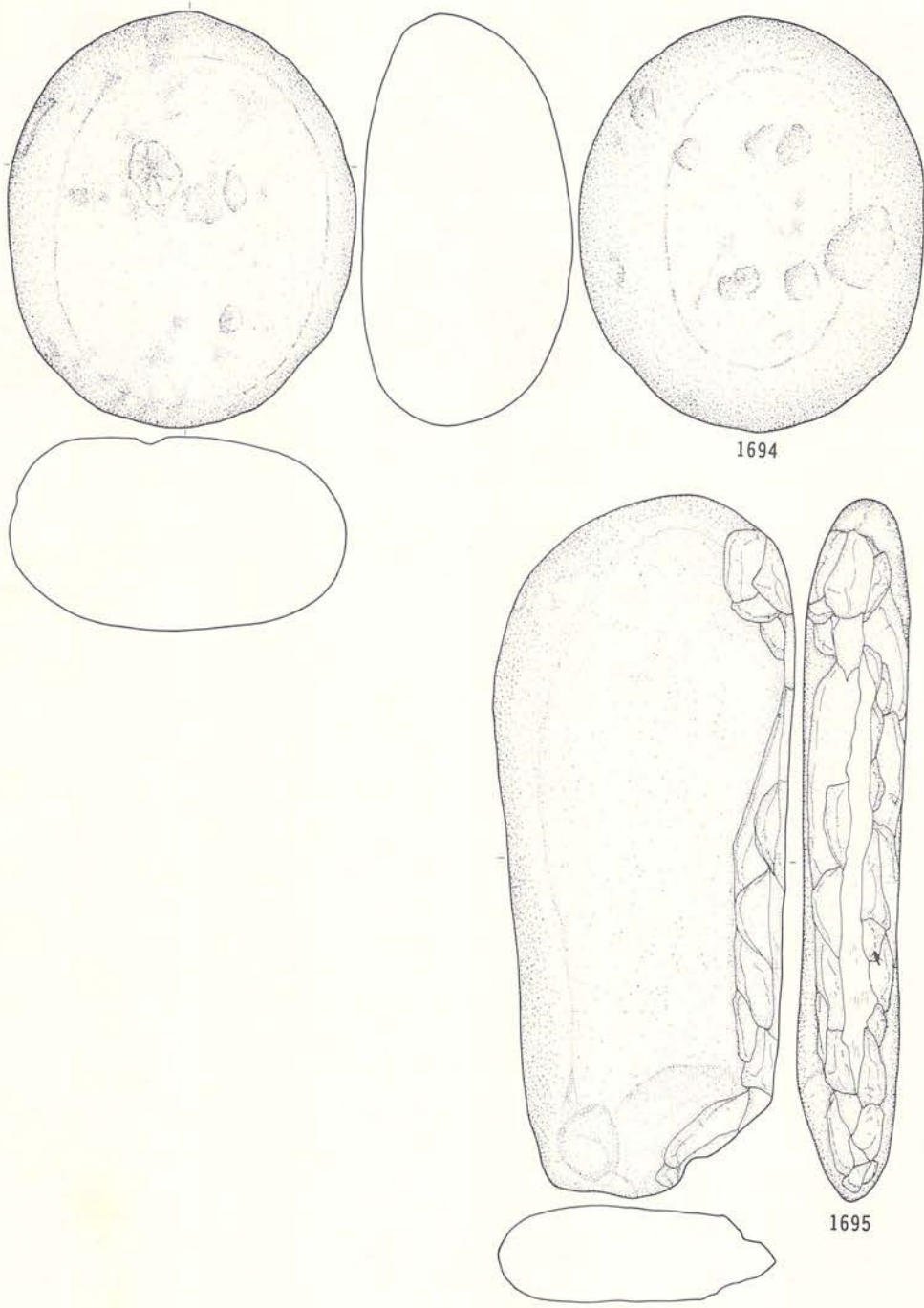


No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1684	III A 105・埋土	口～底部	上端に7～8個のボタン状貼付、刻目を持つ長方形や横位の粘土紐、R L タテ	深鉢C 9類
1685	III A 105・埋土下部	胴～底部	無文	深鉢C
1687	III A 105・埋土下部	口縁部	上端の表と裏に粘土紐、弧状や斜位の連続沈線	深鉢B 19類
1688	III A 105・埋土上部	口縁部	上端の表と裏に粘土紐、表に棒状把手、裏に渦巻状の粘土紐、山形状や半円状の沈線、L R ココ	深鉢B 17類

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)		分類	備考	
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高			底径
1686	III A 105・埋土上部	土師器杯	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	(1.9)	8.0	B II a 類	

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1689	III A 105埋土下層	削器	5.1	3.7	0.8	1.9	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1690	III A 105南側フラスコ埋土	石錘	7.4	5.6	2.3	140.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1691	III A 105南側フラスコ埋土	石錘	8.1	5.8	2.5	160.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1692	III A 105南側フラスコ埋土	石錘	8.0	5.6	2.0	105.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1693	III A 105南側フラスコ埋土	石錘	6.4	6.2	2.3	115.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	

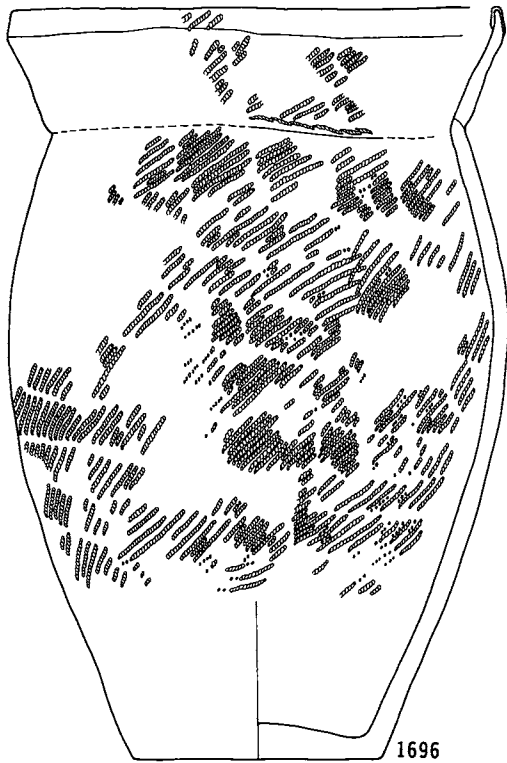
第203図 III A 105土坑出土遺物(1)



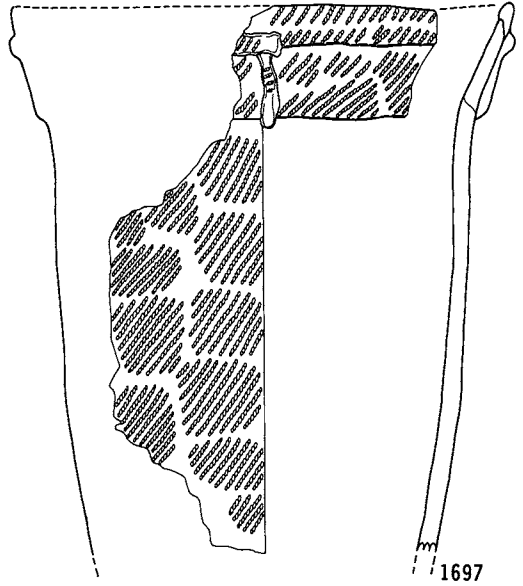
$$s = \frac{1}{2}$$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1694	III A 105埋土	凹石	11.6	9.7	5.8	770.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
1695	III A 105埋土下層	半環扁打製石器	19.7	8.3	2.7	730.0	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

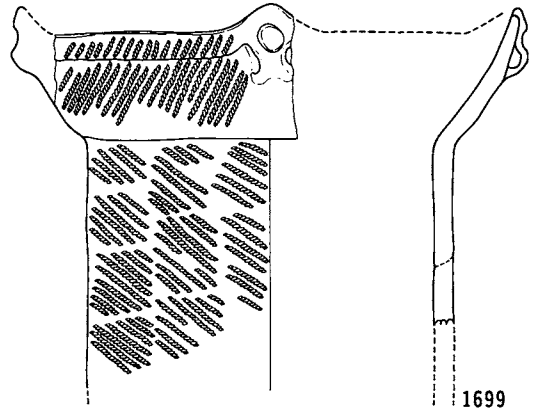
第204図 III A 105土坑出土遺物(2)



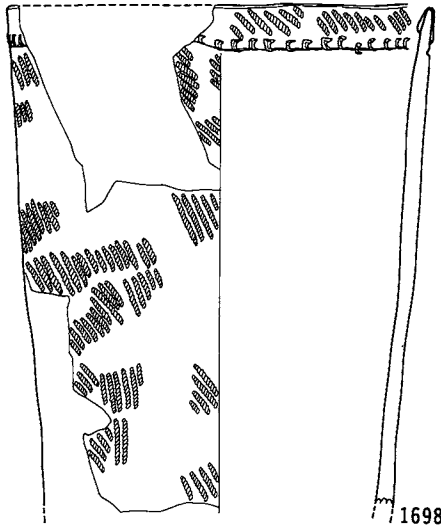
1696



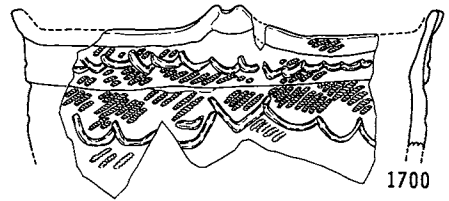
1697



1699



1698

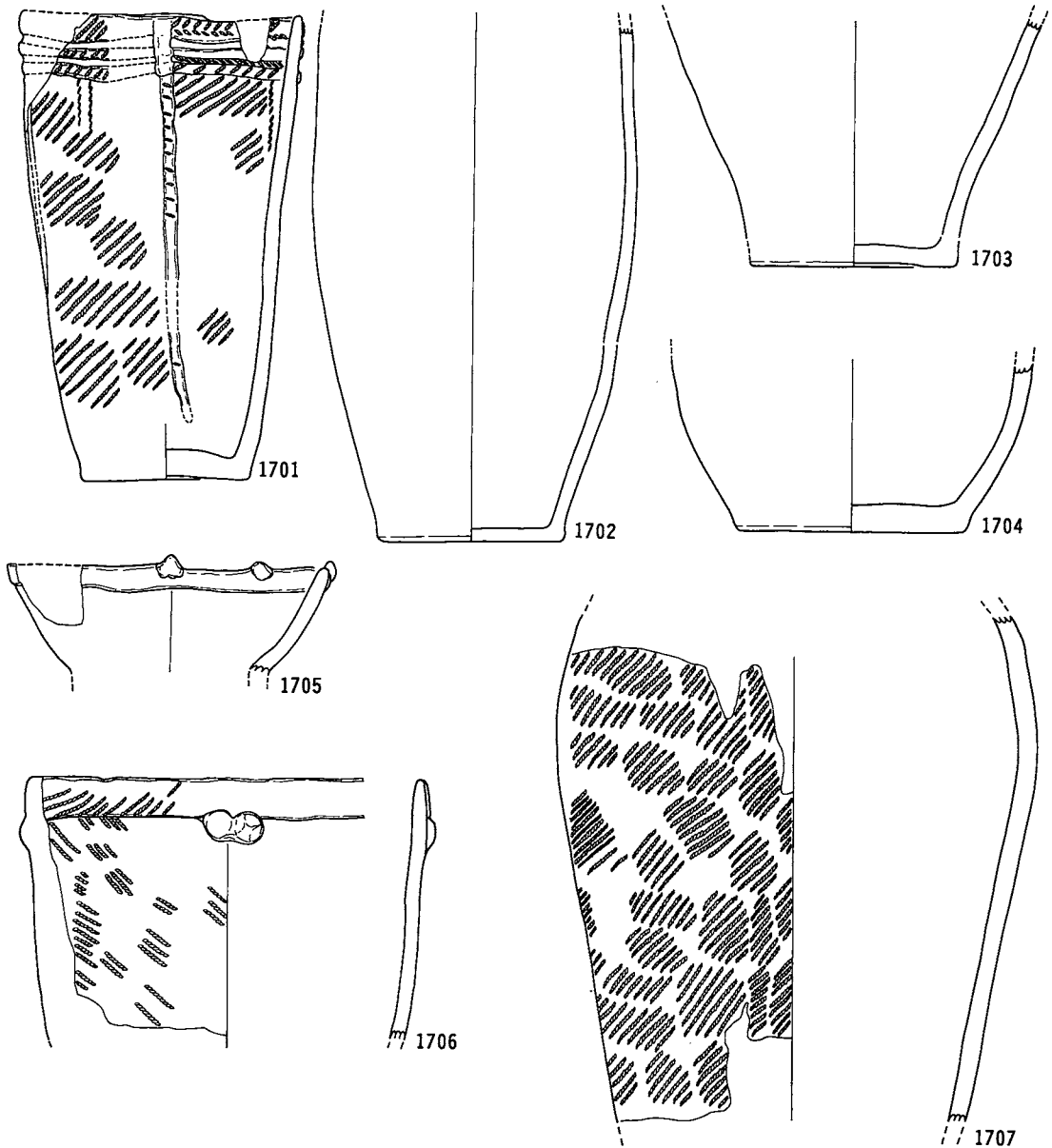


1700

$$s = \frac{1}{4}$$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1696	ⅢA106・埋土中部	口～底部	平縁、口唇部を包むように粘土帯貼付、LRヨコ、一部結節	深鉢B12類
1697	ⅢA106・埋土中部	口～胴部	平縁、口唇部を包むように粘土帯貼付、長方形状や縦位の粘土紐、LRヨコ	深鉢B12類
1698	ⅢA106・埋土中部	口～胴部	平縁、口唇部を包むように粘土帯貼付、粘土帯下端に爪形文、RLヨコ、ナナメ	深鉢A10類
1699	ⅢA106・埋土中部	口～胴部	平縁で4単位の突起、突起部分に円形の凹みと橋状把手、口縁部LRヨコ、胴部LRタテ	深鉢B12類
1700	ⅢA106・埋土上部	口～胴部	平縁で4単位の突起、突起は2山状、弧状や鋸状の太い沈線、RLタテ	深鉢C6類

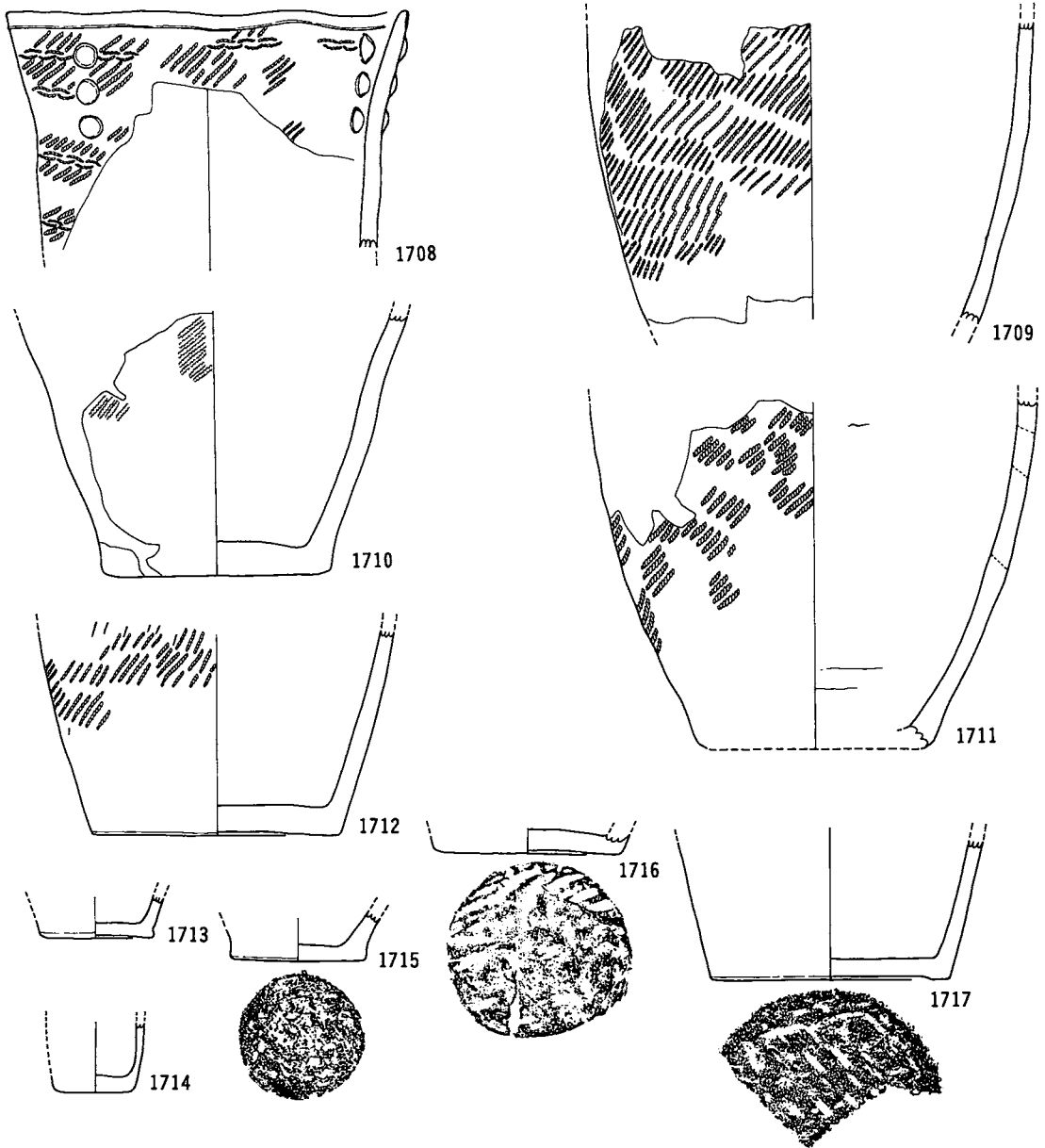
第205図 ⅢA106土坑出土遺物(1)



$$S = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1701	Ⅲ A 106・埋土下部	口～底部	平縁、3本の横位の粘土紐、縦位の粘土紐4単位垂下、粘土紐にLRの原体圧痕、LRヨコ	深鉢A16類
1702	Ⅲ A 106・埋土	胴～底部	無文	深鉢B
1703	Ⅲ A 106・埋土中部	胴～底部	無文	深鉢B
1704	Ⅲ A 106・埋土上部	胴～底部	無文	深鉢B
1705	Ⅲ A 106・埋土上部	口～胴部	平縁、複合口縁上に粘土塊貼付	深鉢B
1706	Ⅲ A 106・埋土	口～胴部	複合口縁の下端に2個1対の団子状の粘土塊貼付、口縁部にLRヨコ、胴部にLRクテ	深鉢A12類
1707	Ⅲ A 106・埋土中部	胴部	LRヨコ	深鉢B12類

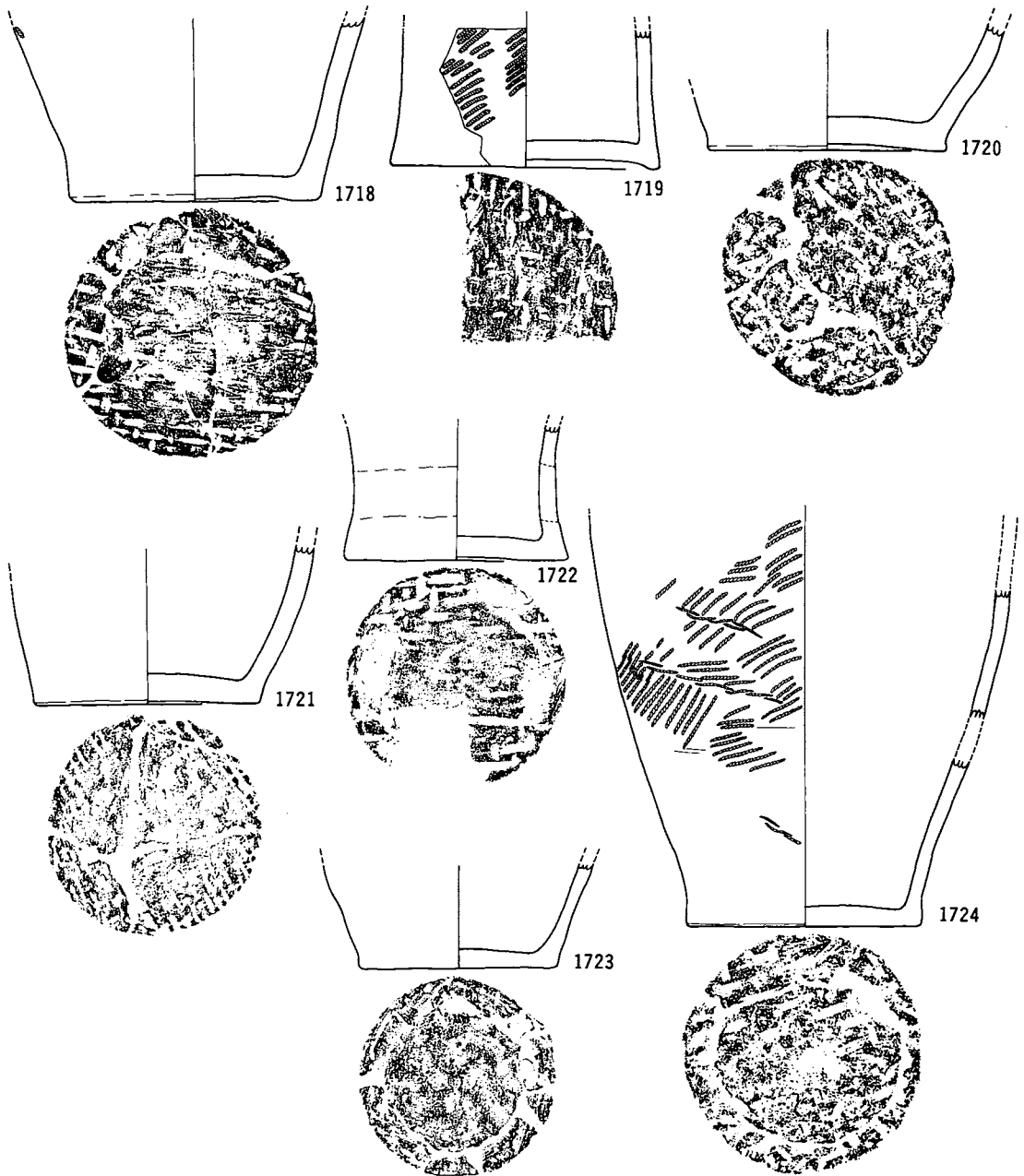
第206図 Ⅲ A 106 土坑出土遺物(2)



$$S = \frac{1}{4}$$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1708	ⅢA 106・埋土	口～胴部	平縁、複合口縁、団子状の粘土塊縦位に3個ずつ4単位、結節したLRヨコ	深鉢 A15類
1709	ⅢA 106・埋土上部	胴部	LRヨコ	深鉢 B12類
1710	ⅢA 106・埋土下部	胴～底部	LRヨコ、摩滅がはげしい	深鉢 A12類
1711	ⅢA 106・埋土上部	胴～底部	LRヨコ	深鉢 B12類
1712	ⅢA 106・埋土中部	胴～底部	LRヨコ	深鉢 B12類
1713	ⅢA 106・埋土	胴～底部	無文	深鉢 B
1714	ⅢA 106・埋土	胴～底部	無文	深鉢 A
1715	ⅢA 106・埋土	胴～底部	無文、網代痕	深鉢 B
1716	ⅢA 106・埋土上部	底部	網代痕	深鉢
1717	ⅢA 106・埋土上部	胴～底部	無文、網代痕	深鉢 A

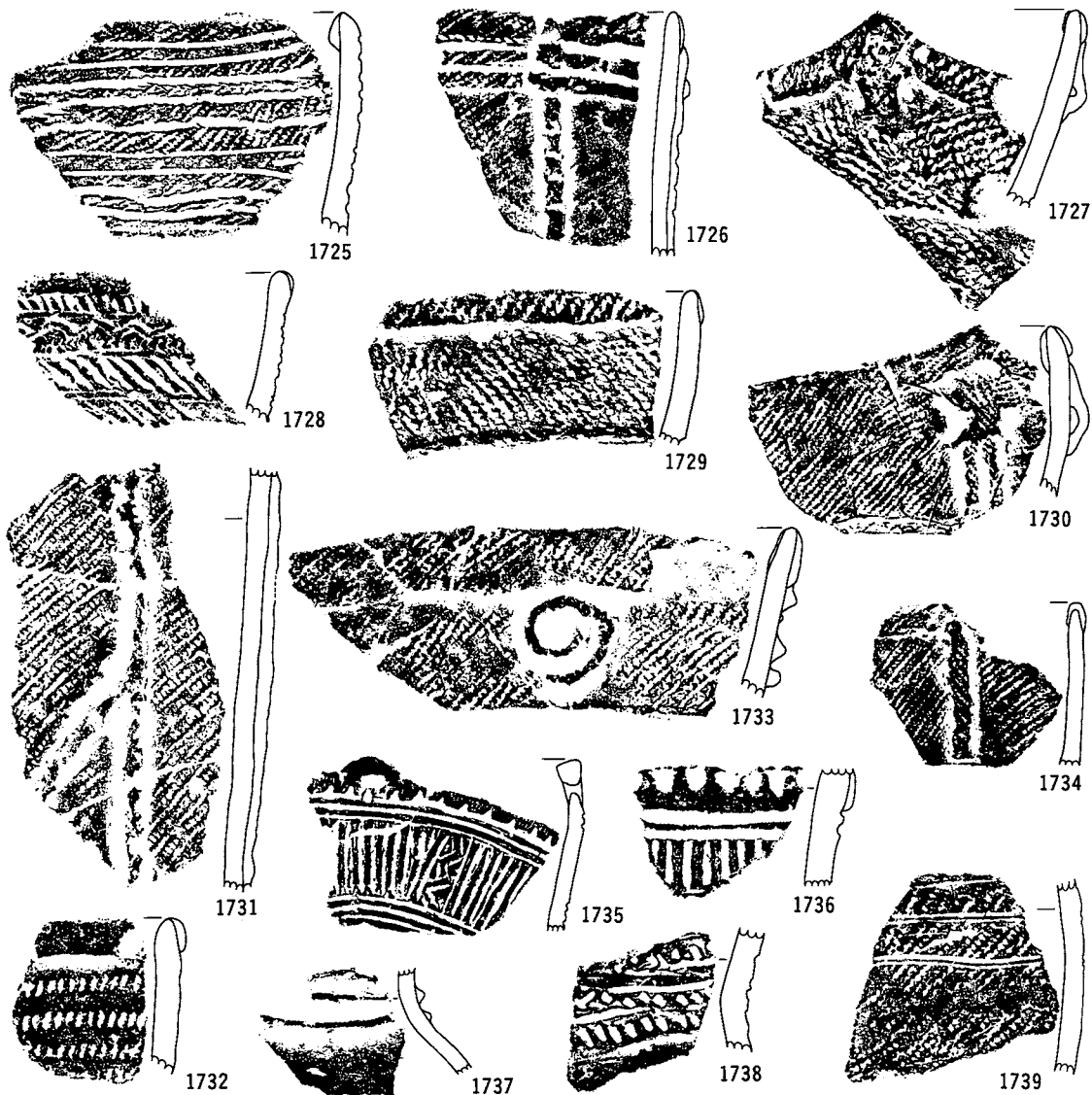
第207図 ⅢA 106土坑出土遺物(3)



$$s = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1718	ⅢA106・埋土下部	胴～底部	わずかにLRタテ、網代痕	深鉢B12類
1719	ⅢA106・埋土上部	胴～底部	RLタテ、網代痕	深鉢C12類
1720	ⅢA106・埋土	胴～底部	無文、網代痕	深鉢B
1721	ⅢA106・埋土上部	胴～底部	無文、網代痕	深鉢B
1722	ⅢA106・埋土上部	胴～底部	無文、網代痕	深鉢C
1723	ⅢA106・埋土	胴～底部	無文、網代痕	深鉢B
1724	ⅢA106・埋土	胴～底部	結節したLRヨコ、網代痕	深鉢B15類

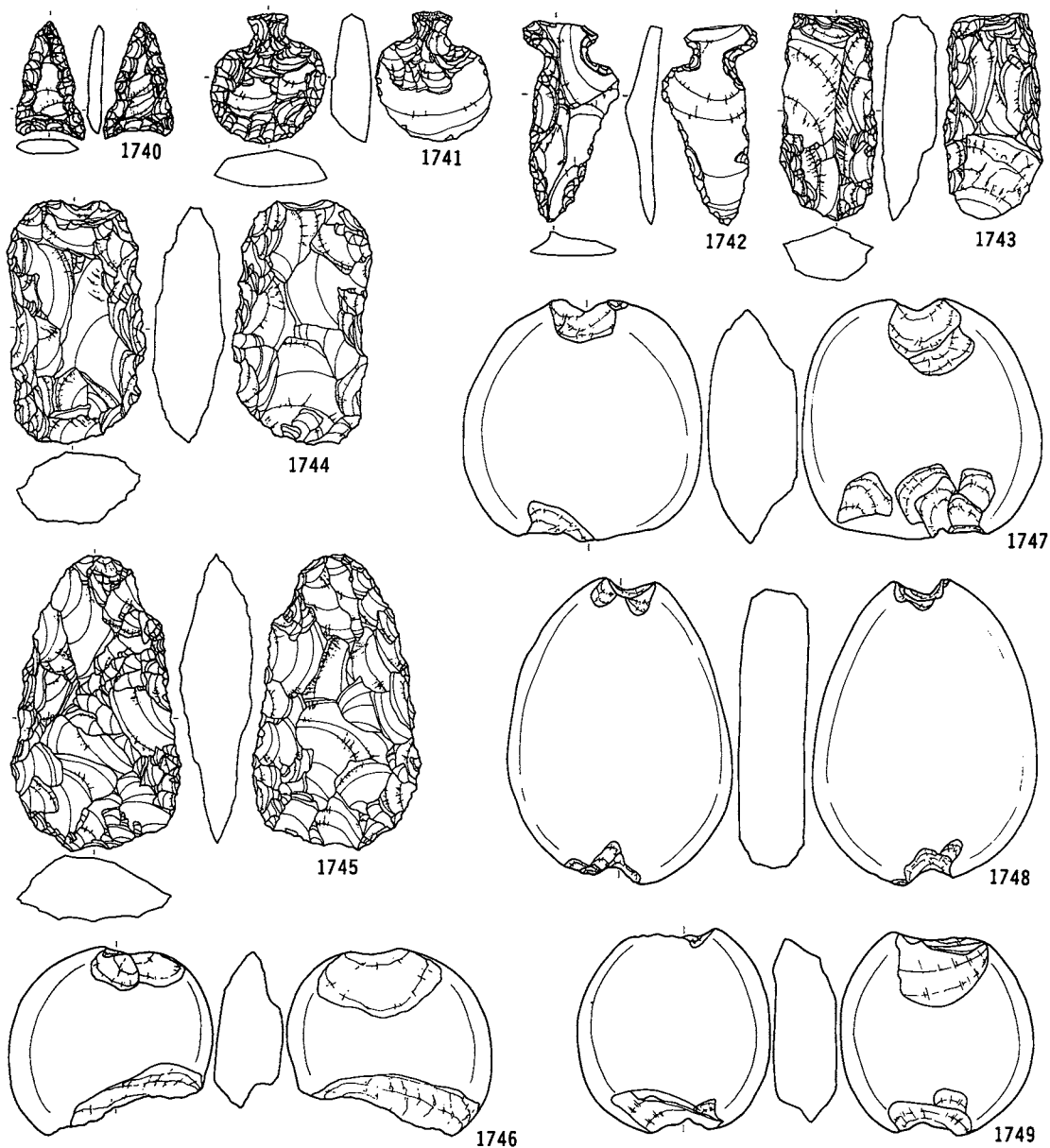
第208図 ⅢA106土坑出土遺物(4)



$$s = \frac{1}{3}$$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1725	ⅢA106・埋土上部	口縁部	上端裏側に粘土帯貼付、LRヨコの上から横位の沈線が10数条巡る	深鉢A17類
1726	ⅢA106・埋土中部	口縁部	複合口縁の下に横位の粘土紐2本、連続押圧のある粘土紐垂下、LRヨコ	深鉢A18類
1727	ⅢA106・埋土	口縁部	上端の表と裏に粘土帯、波頂部直下に橋状把手、LRヨコ、タテ	深鉢B18類
1728	ⅢA106・埋土上部	口縁部	複合口縁、横位や鋸歯状の平行沈線間に太い斜位の連続沈線	深鉢A19類
1729	ⅢA106・埋土上部	口縁部	複合口縁上にLRヨコ、その下にLRタテ	複合B12類
1730	ⅢA106・埋土	口縁部	上端の表と裏に粘土帯、波頂部直下に橋状把手、2本の粘土紐垂下、LRヨコ	深鉢B18類
1731	ⅢA106・埋土上部	胴部	縦位や斜位に粘土紐貼付、RLタテ	深鉢A18類
1732	ⅢA106・埋土中部	口縁部	複合口縁、絡糸体Rの原体圧痕4段	深鉢A16類
1733	ⅢA106・埋土上部	口縁部	上端の表と裏に粘土帯、渦巻状の粘土紐貼付、LRヨコ	深鉢B18類
1734	ⅢA106・埋土上部	口縁部	口唇部を包むように粘土帯貼付、縦位の粘土紐、LRヨコ	深鉢A18類
1735	ⅢA106・埋土上部	口縁部	口唇部に橋状の粘土紐貼付、横位の沈線間に縦位や鋸歯状の平行沈線、三角状の刺突、縦位の刻目	深鉢B19類
1736	ⅢA106・埋土	口縁部	連続押圧のある粘土帯、横位の沈線の下に縦位の連続沈線	深鉢A19類
1737	ⅢA106・埋土中部	頸部	2本の粘土紐が横位に貼付	深鉢B
1738	ⅢA106・埋土上部	頸部	横位の沈線間に縦位の連続刺突	深鉢B19類
1739	ⅢA106・埋土中部	胴部	横位の平行沈線文、LRヨコ	深鉢B7類

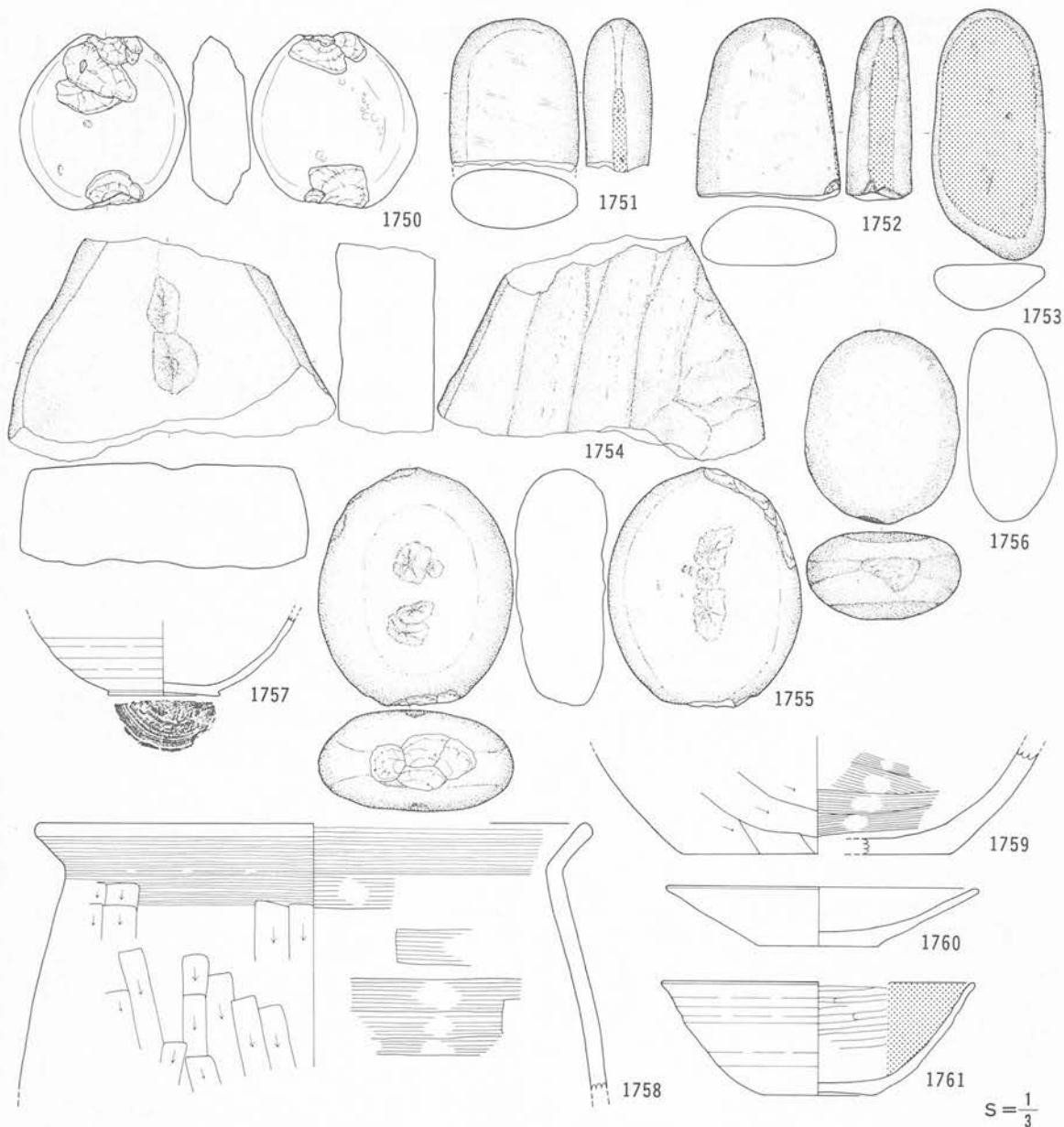
第209図 ⅢA106土坑出土遺物(5)



$$s = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1740	ⅢA106埋土	石鏃	3.3	2.0	0.4	2.1	硬質泥岩	奥羽山地(隼石)	新第三系中新統	
1741	ⅢA106埋土	石匙	3.7	3.2	1.0	12.6	珪質泥岩	隼石	新第三系中新統	
1742	ⅢA106埋土	石匙	5.7	2.3	0.7	7.2	珪質泥岩	隼石	新第三系中新統	
1743	ⅢA106埋土	石鏃	5.6	2.6	1.5	26.9	硬質泥岩	奥羽山地隼石	新第三系中新統	
1744	ⅢA106埋土上層	石鉢	6.9	3.8	1.9	49.1	硬質泥岩	奥羽山地隼石	新第三系中新統	
1745	ⅢA106埋土中層	石鉢	8.3	4.3	1.7	70.9	硬質泥岩	奥羽山地隼石	新第三系中新統	
1746	ⅢA106埋土中層	石錘	5.3	5.8	1.9	85.1	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
1747	ⅢA106埋土1層	石錘	6.9	6.7	2.4	150.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1748	ⅢA106埋土3層	石錘	8.7	6.3	1.9	155.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1749	ⅢA106埋土1層	石錘	5.7	5.4	1.8	70.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	

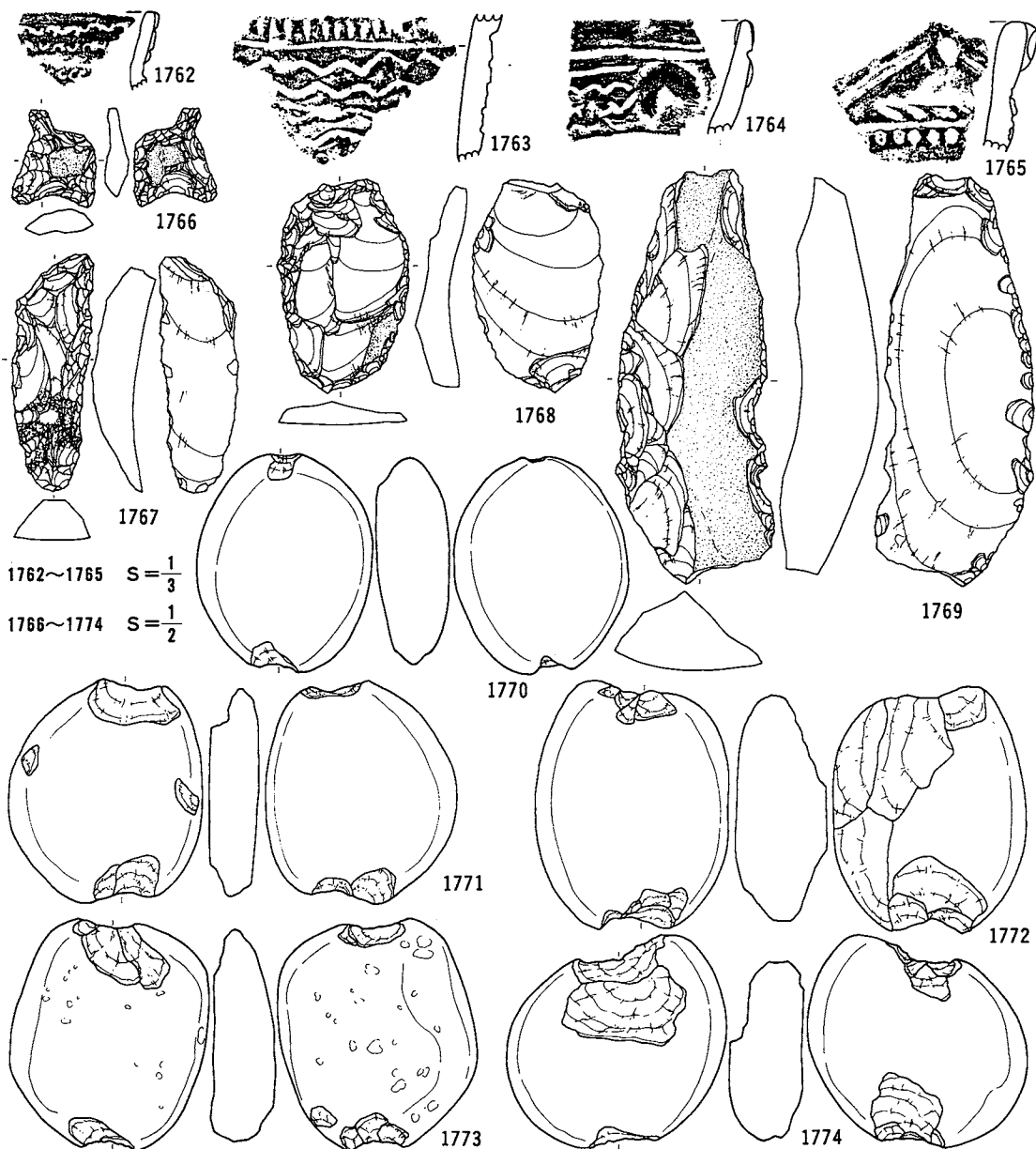
第210図 ⅢA106土坑出土遺物(6)



No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1750	III A 106埋土下層	石錘	7.6	7.2	2.7	170.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1751	III A 106埋土1層	特殊磨石	6.6	5.6	2.6	150.0	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1752	III A 106埋土中層	特殊磨石	7.9	5.9	2.6	220.2	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
1753	III A 106埋土中層	すり石	10.9	4.9	2.1	182.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1754	III A 106埋土1層	凹石	9.8	14.3	4.4	920.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	*
1755	III A 106埋土中層	凹石	10.4	8.5	4.0	530.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
1756	III A 106埋土上層	敲石	8.4	6.7	3.8	285.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1757	III A 107・埋土中部	土師器杯	ロクロ	—	ロクロ痕	回転痕	—	—	—	(3.4)	4.8	B II a 類		
1758	III A 107・埋土中部	土師器鉢		ヨコナデ	ヘラケズリ	—	ヨコナデ	ヘラナデ	—	(24.4)	(11.8)	I b 類		
1759	III A 107・埋土中部	土師器鉢		—	ヘラケズリ	—	—	ヘラナデ	—	—	(4.4)	(11.8)		
1760	III A 107・埋土中部	土師器杯								13.8	2.6	5.2	II c 類	
1761	III A 107・埋土中部	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕		ヘラミガキ	ヘラミガキ		(13.7)	5.0	(5.0)	B I c 類	黒色処理

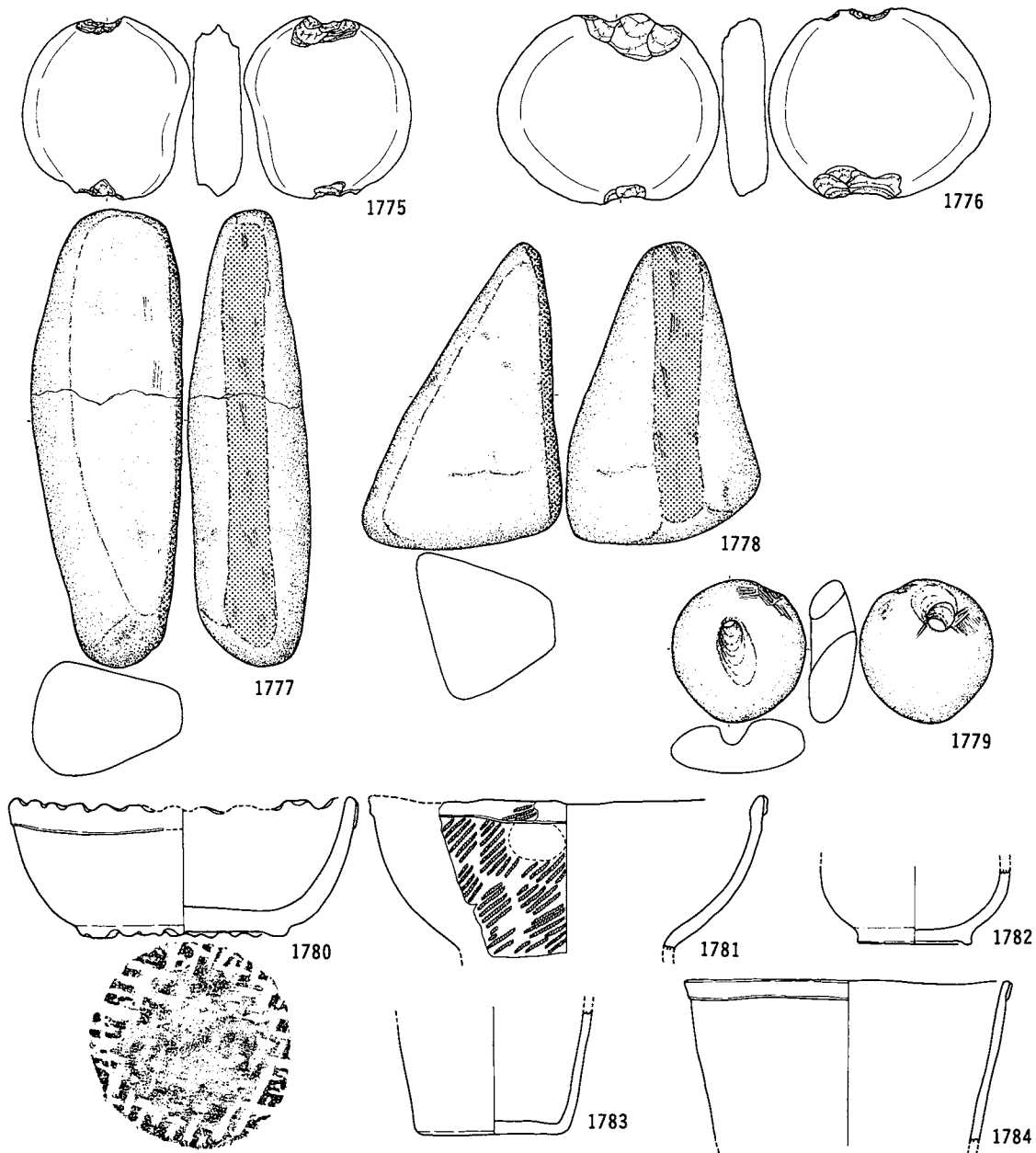
第211図 III A 106(7)・107土坑出土遺物(1)



No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1762	ⅢA107・埋土上部	口縁部	複合口縁上とその下に半截竹管による連続爪形文	深鉢 B10類
1763	ⅢA107・埋土上部	頸部	縦位の連続短沈線の下に横位や小波状の沈線	深鉢 B17類
1764	ⅢA107・埋土上部	口縁部	上端の表と裏に粘土帯、横位や小波状の沈線、弧状の粘土紐貼付	深鉢 B17類
1765	ⅢA107・埋土上部	口縁部	波頂部に円形の凹み、両側に太い沈線、斜位押圧のある粘土紐、円形の連続刺突	深鉢 B18類

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1766	ⅢA107埋土上層	石匙	3.2	2.1	0.7	4.2	赤色玻璃質安山岩	駒岳ふもと	新第三系鮮新統	
1767	ⅢA107埋土中層	搔器	6.7	2.3	1.2	18.4	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1768	ⅢA107埋土南半中層	削器	6.0	3.7	1.0	21.6	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1769	ⅢA107埋土上層	鋸齒状石器	11.8	4.5	2.2	110.0	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1770	ⅢA107埋土 8層	石鏟	6.2	4.9	2.0	80.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1771	ⅢA107埋土 7層	石鏟	6.3	5.4	1.3	70.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1772	ⅢA107埋土 2層	石鏟	7.0	5.5	2.6	125.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1773	ⅢA107埋土中層	石鏟	6.5	5.5	2.1	100.0	デイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	
1774	ⅢA107埋土 9層	石鏟	5.9	6.2	2.1	105.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第212図 Ⅲ A 107土坑出土遺物(2)

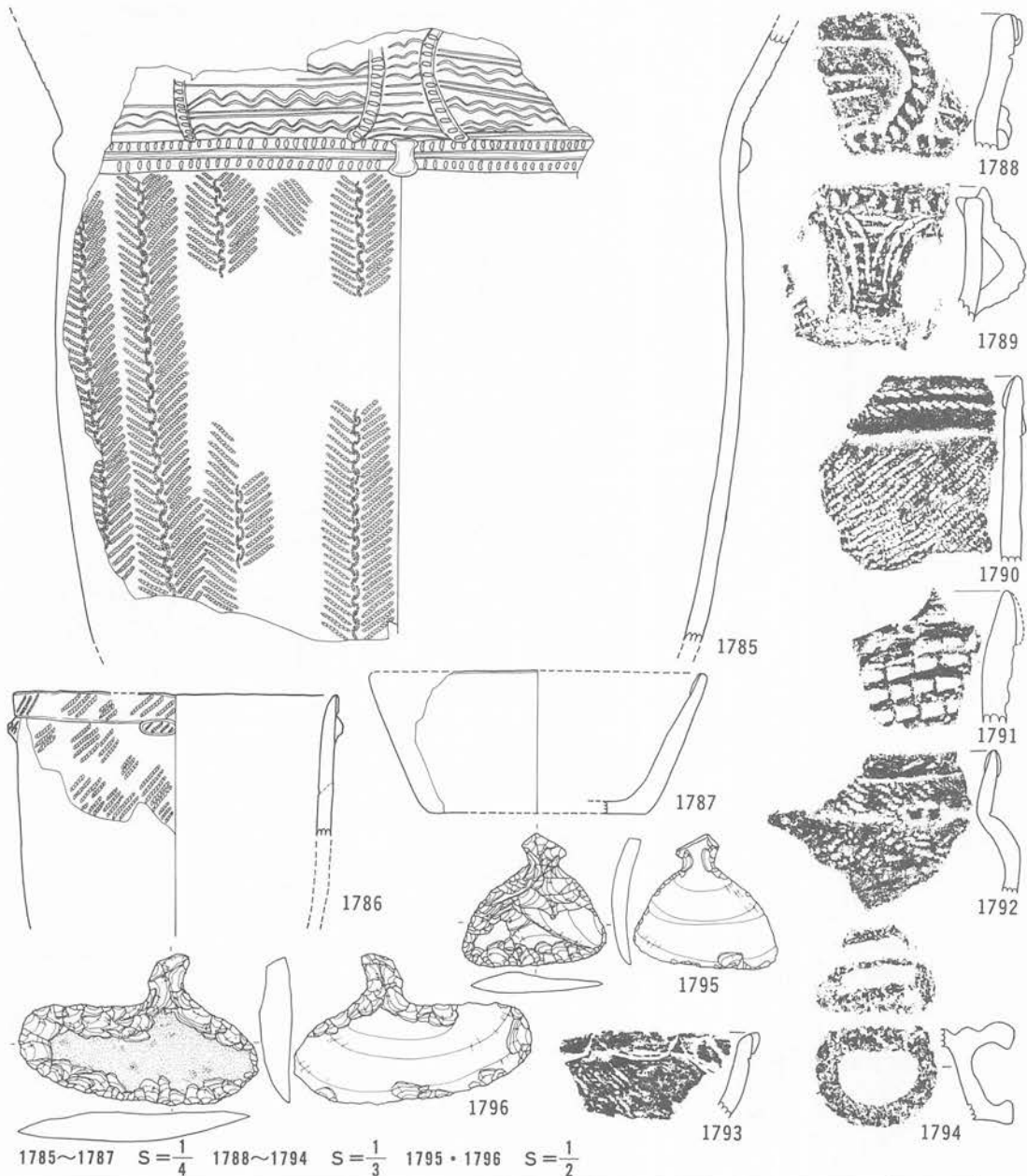


1775~1779 $S = \frac{1}{3}$ 1780~1784 $S = \frac{1}{4}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1775	ⅢA107南半上層	石錘	7.9	6.9	2.1	180.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1776	ⅢA107埋土8層	石錘	8.2	9.6	1.9	195.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1777	ⅢA107埋土2層	特殊磨石	20.0	6.6	4.9	970.0	濃緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1778	ⅢA107埋土上層	特殊磨石	13.2	8.4	5.9	850.0	濃緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1779	ⅢA107埋土上層	有孔礫	6.1	5.8	2.2	75.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1780	ⅢA108・埋土上部	口~底部	小波状の複合口縁、網代痕	浅鉢
1781	ⅢA108・埋土上部	口~胴部	平縁、複合口縁上とその下にLRヨコ	深鉢C12類
1782	ⅢA108・埋土中部	胴~底部	無文	深鉢
1783	ⅢA108・埋土下部	胴~底部	無文	深鉢A
1784	ⅢA108・埋土下部	口~胴部	複合口縁	深鉢A

第213図 ⅢA107(3)・108土坑出土遺物(1)

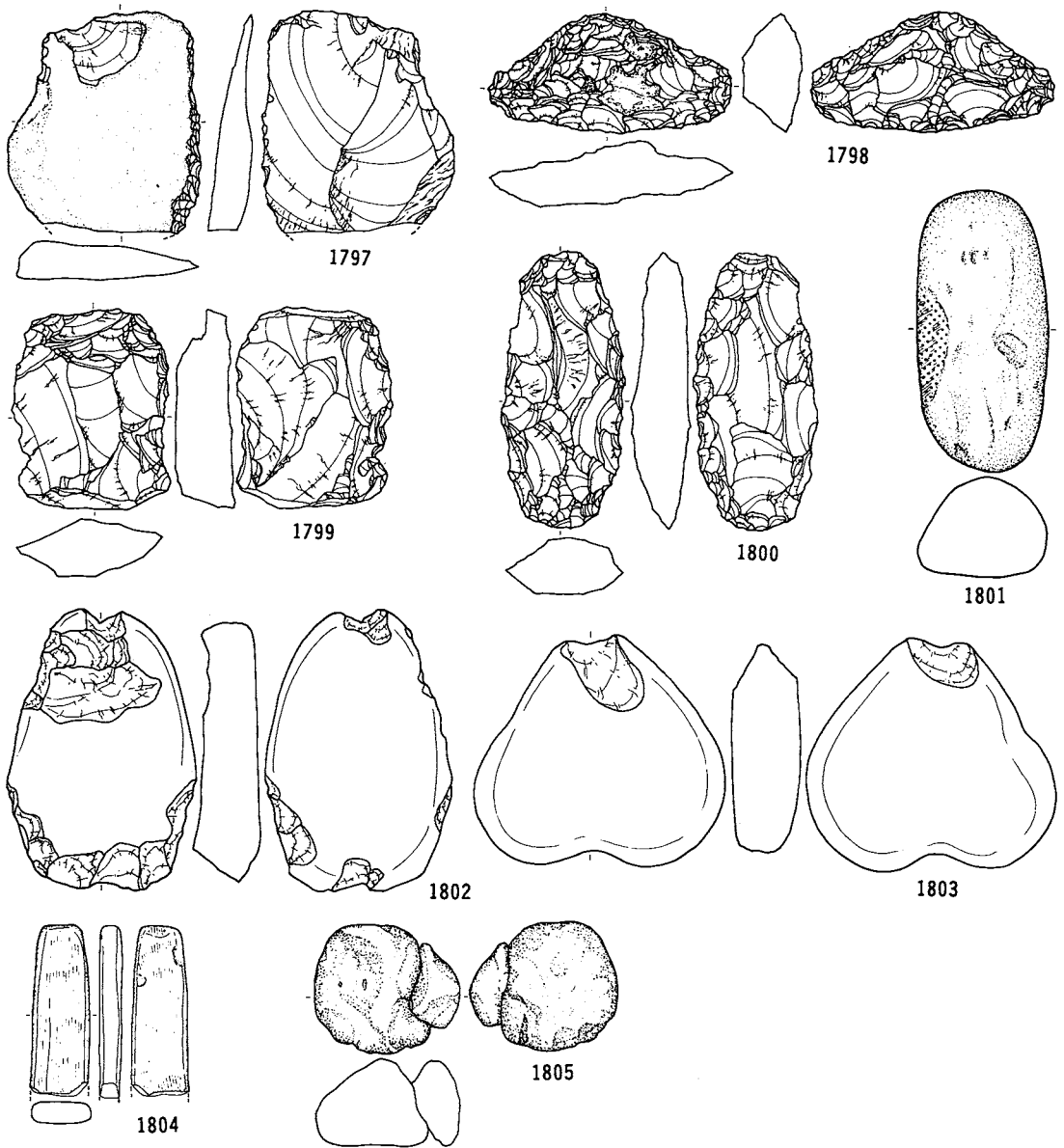


1785~1787 $S = \frac{1}{4}$ 1788~1794 $S = \frac{1}{3}$ 1795・1796 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1785	ⅢA108・埋土中部	口~胴部	刻目を持つ弧状や横位の粘土紐、橋状の粘土塊、平行沈線文、羽状（結束第2種）タテ	深鉢B18類
1786	ⅢA108・埋土上部	口~胴部	平縁、複合口縁の下端に楕円状の粘土塊が4単位貼付、LRヨコ	深鉢A12類
1787	ⅢA108・埋土中部	口~底部	無文	浅鉢
1788	ⅢA108・最下部	口縁部	複合口縁、刻目を持つ弧状や横位の粘土紐、横位の沈線	深鉢18類
1789	ⅢA108・埋土中部	口縁部	上端裏側に粘土紐、横位の連続刺突、弧状や横位の沈線が施された橋状把手	深鉢18類
1790	ⅢA108・埋土上部	口~胴部	表と裏に粘土帯、LRの原体圧痕、横位に2条、LRヨコ	深鉢A16類
1791	ⅢA108・埋土上部	口縁部	横位に3段の押し引き沈線	深鉢10類
1792	ⅢA108・埋土中部	口~胴部	上端の表と裏に粘土帯、頸部に円形の粘土塊2個、LRヨコ、タテ	深鉢C12類
1793	ⅢA108・埋土中部	口~胴部	複合口縁上から弧状の沈線、RLヨコ	深鉢
1794	ⅢA108・埋土中部	口縁部	深いえぐりのある半球状の突起部分、2条の太い沈線	深鉢

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1795	ⅢA108埋土上層	石匙	3.8	4.1	0.6	8.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1796	ⅢA108埋土南半最下層	石匙	4.3	6.8	0.7	20.8	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	

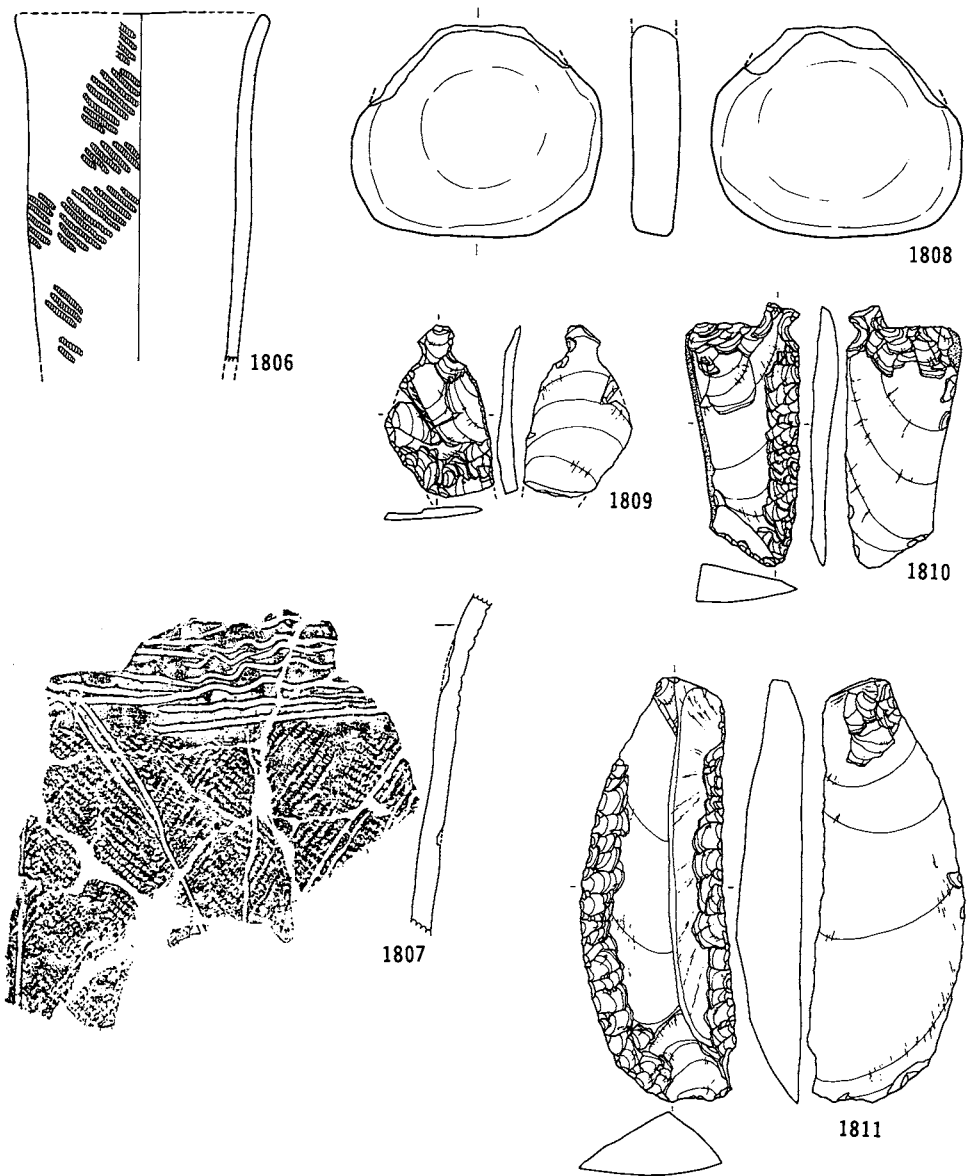
第214図 ⅢA108土坑出土遺物(2)



$$s = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1797	III A 108埋土南半最下層	削器	6.1	0.5	1.1	47.7	珪質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
1798	III A 108埋土南半最下層	削器	3.3	6.7	1.5	34.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1799	III A 108埋土上層	削器	5.4	4.1	1.6	44.4	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1800	III A 108埋土上層	石筥	7.6	3.3	1.5	45.5	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
1801	III A 108埋土上層	すり石	7.7	3.6	2.8	100.0	淡綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1802	III A 108埋土上層	石錘	7.6	5.0	1.8	95.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1803	III A 108埋土中層	石錘	6.3	6.8	1.8	125.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1804	III A 108埋土1層	磨製石斧	4.7	1.6	0.6	7.1	緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1805	III A 108埋土最下層	石製品 (朱塗)	3.6	4.0	2.4	29.7	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第215図 III A 108土坑出土遺物(3)



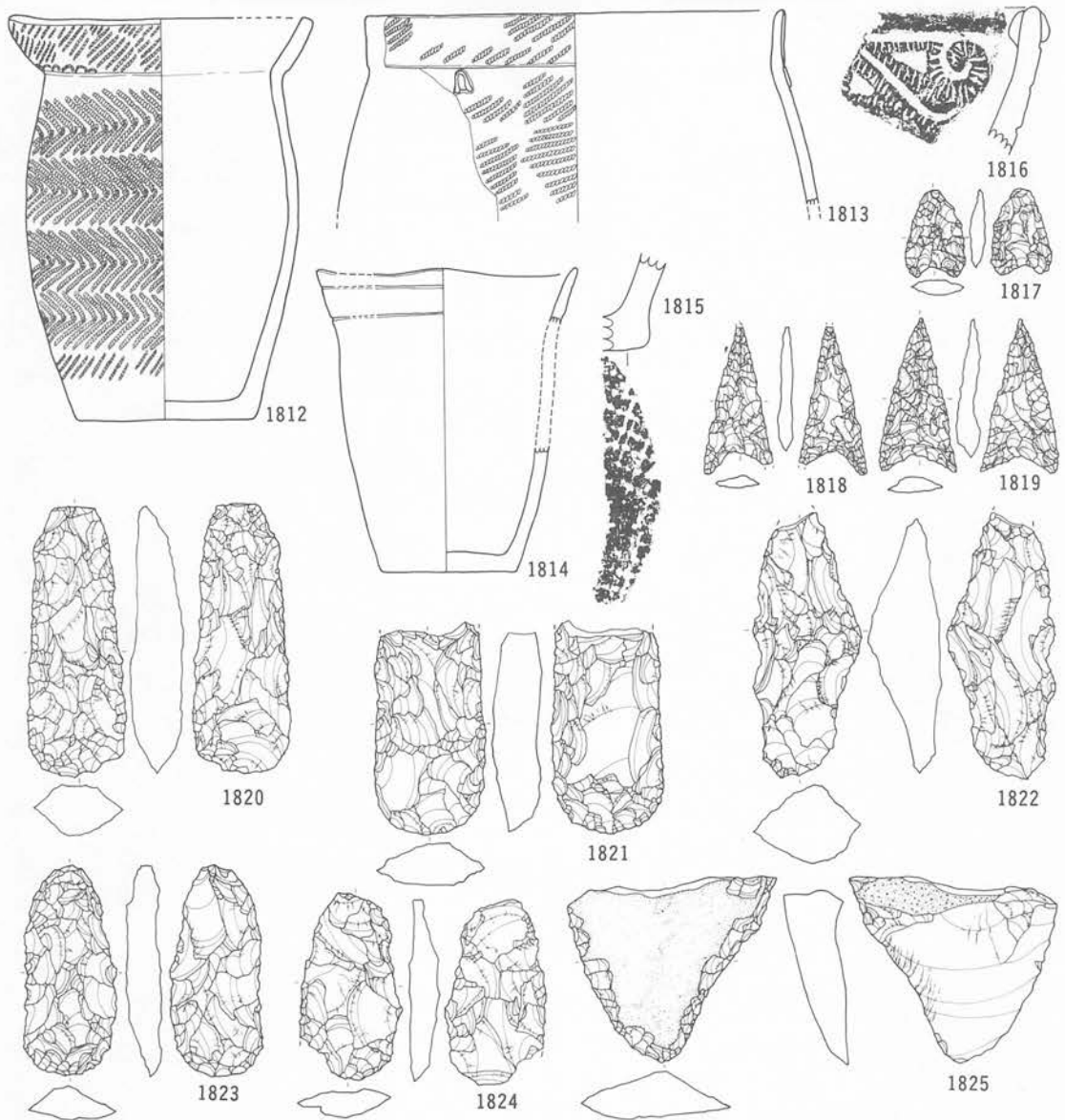
1806 $S = \frac{1}{4}$ 1807 $S = \frac{1}{3}$ 1808~1811 $S = \frac{1}{2}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他		分類
1806	ⅢA109・埋土中部	口~胴部	RLヨコ		深鉢B12類
1807	ⅢA109・埋土中部	頸~胴部	小波状や横位や斜位の沈線、羽状(結束第1種)クテ		深鉢B15類

No	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他		
1808	ⅢA109・埋土中部	板状土偶	5.6	6.6	1.3	胴下部残存、だるま型になると推定される		

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1809	ⅢA109埋土下層	石匙	4.6	2.8	0.4	4.6	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	*
1810	ⅢA109埋土8層	石匙	6.4	5.2	1.3	22.6	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1811	ⅢA109埋土4層	削器	11.3	4.2	1.7	74.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	

第216図 ⅢA109土坑出土遺物

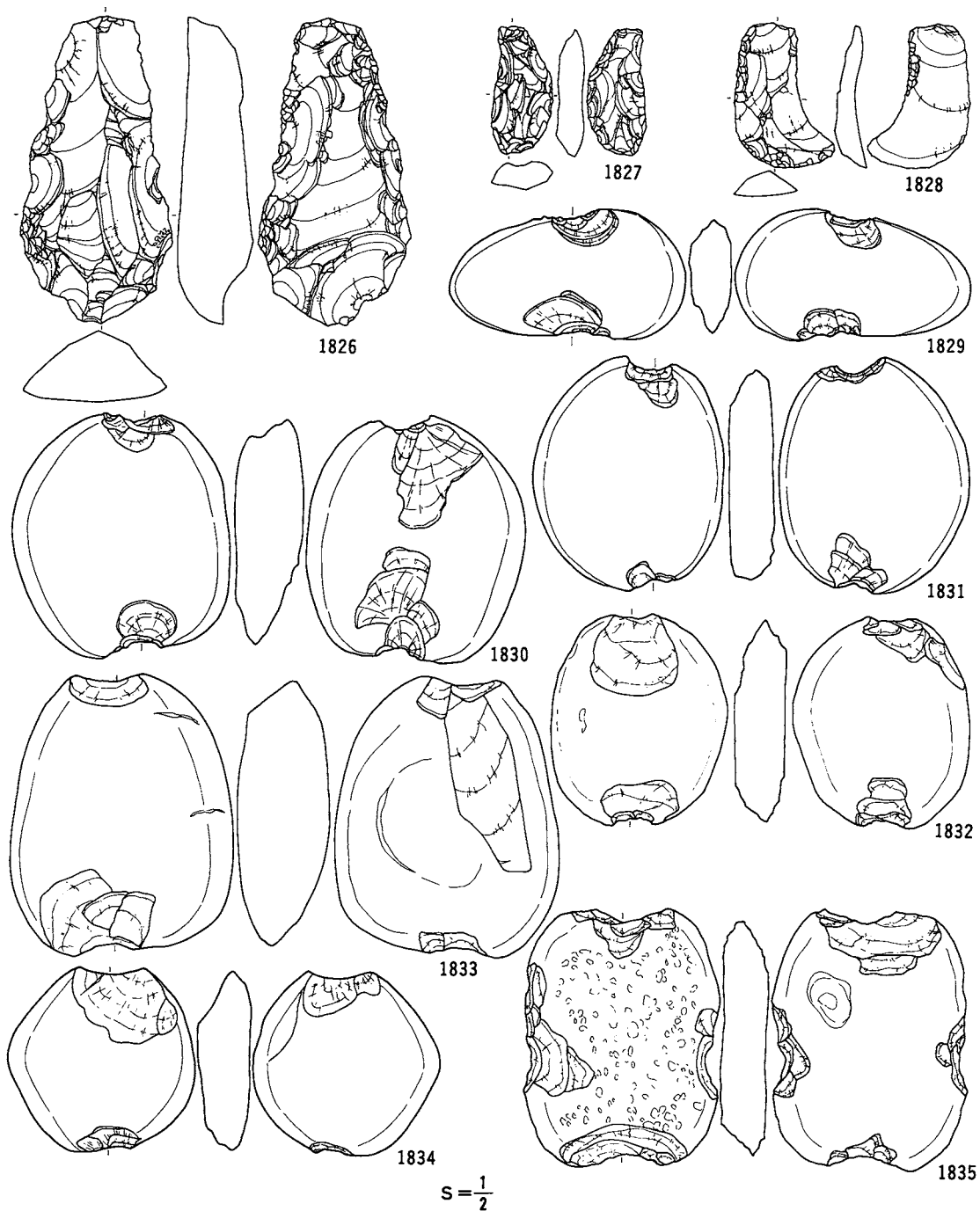


$$1812\sim 1814 \quad S = \frac{1}{4} \quad 1815 \cdot 1816 \quad S = \frac{1}{3} \quad 1817\sim 1825 \quad S = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1812	ⅢA110・埋土下部	口～底部	平縁、口縁部は末端結節のLRヨコ、胴部は羽状（結束第1種）ヨコ	深鉢B15類
1813	ⅢA110・埋土上部	口～胴部	平縁、複合口縁直下に逆U字状の粘土紐貼付、LRヨコ、ナナメ	深鉢B12類
1814	ⅢA110・埋土下部	口～底部	4単位ほどのゆるやかな波状口縁、口縁部と頸部に1条ずつ横位の沈線	深鉢B
1815	ⅢA110・埋土上部	底部	綱代痕	深鉢
1816	ⅢA110・埋土上部	口縁部	上端の表と裏に粘土帯、斜位や渦巻状の沈線間に連続の刻目	深鉢B19類

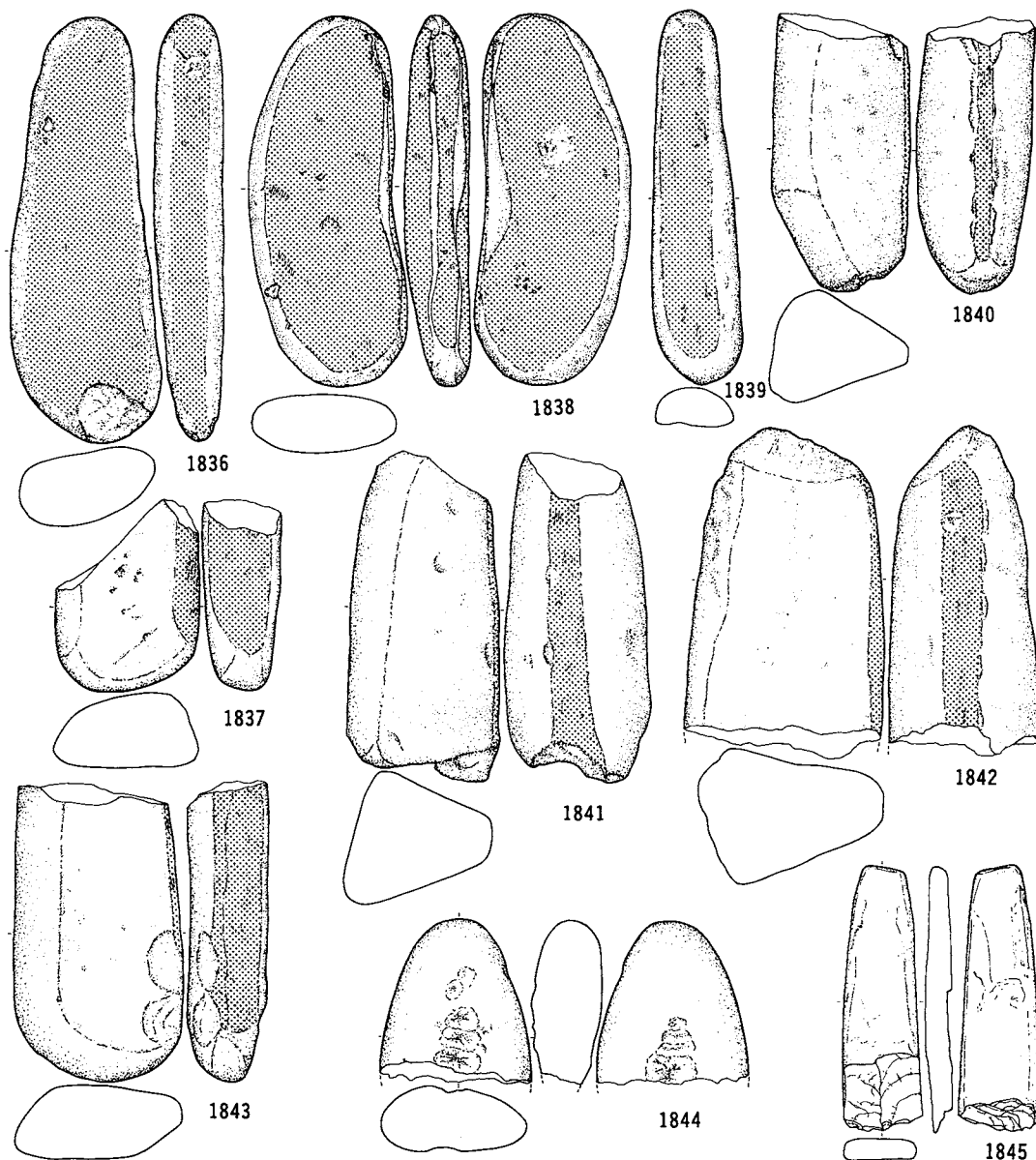
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1817	ⅢA110埋土上層	石鎌	1.4	1.7	0.4	1.5	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1818	ⅢA110埋土中層	石鎌	4.1	1.9	0.5	22.1	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
1819	ⅢA110埋土中層	石鎌	4.3	2.1	0.4	3.5	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1820	ⅢA110埋土中層	石鏡	7.6	2.7	1.4	353.0	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1821	ⅢA110埋土下層	石鏡	5.9	3.0	1.2	30.5	赤色玻璃質安山岩	駒岳ふもと	新第三系中新統	*
1822	ⅢA110埋土下層	石鏡	7.3	3.0	2.2	34.7	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
1823	ⅢA110埋土最下層	石鏡	5.9	2.6	1.0	15.5	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
1824	ⅢA110埋土上層	石鏡	5.1	2.6	0.7	11.6	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	*
1825	ⅢA110埋土最下層	削器	5.1	5.7	1.6	34.5	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	

第217図 ⅢA110土坑出土遺物(1)



No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1826	Ⅲ A 110埋土上層	鋸齒状石器	9.3	4.6	2.4	85.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1827	Ⅲ A 110埋土下層	削器	3.9	1.8	0.8	4.1	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1828	Ⅲ A 110埋土最下層	播器	4.4	3.1	0.7	8.1	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	
1829	Ⅲ A 110埋土下層	石錘	4.1	7.0	1.3	55.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1830	Ⅲ A 110埋土下層	石錘	7.3	6.6	2.0	115.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1831	Ⅲ A 110埋土下層	石錘	7.1	5.8	1.4	75.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1832	Ⅲ A 110埋土中層	石錘	6.4	5.3	1.6	75.5	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1833	Ⅲ A 110埋土上層	石錘	8.5	6.8	2.8	225.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1834	Ⅲ A 110埋土最下層	石錘	5.7	5.5	1.6	65.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1835	Ⅲ A 110埋土下層	石錘	8.0	5.8	1.5	110.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

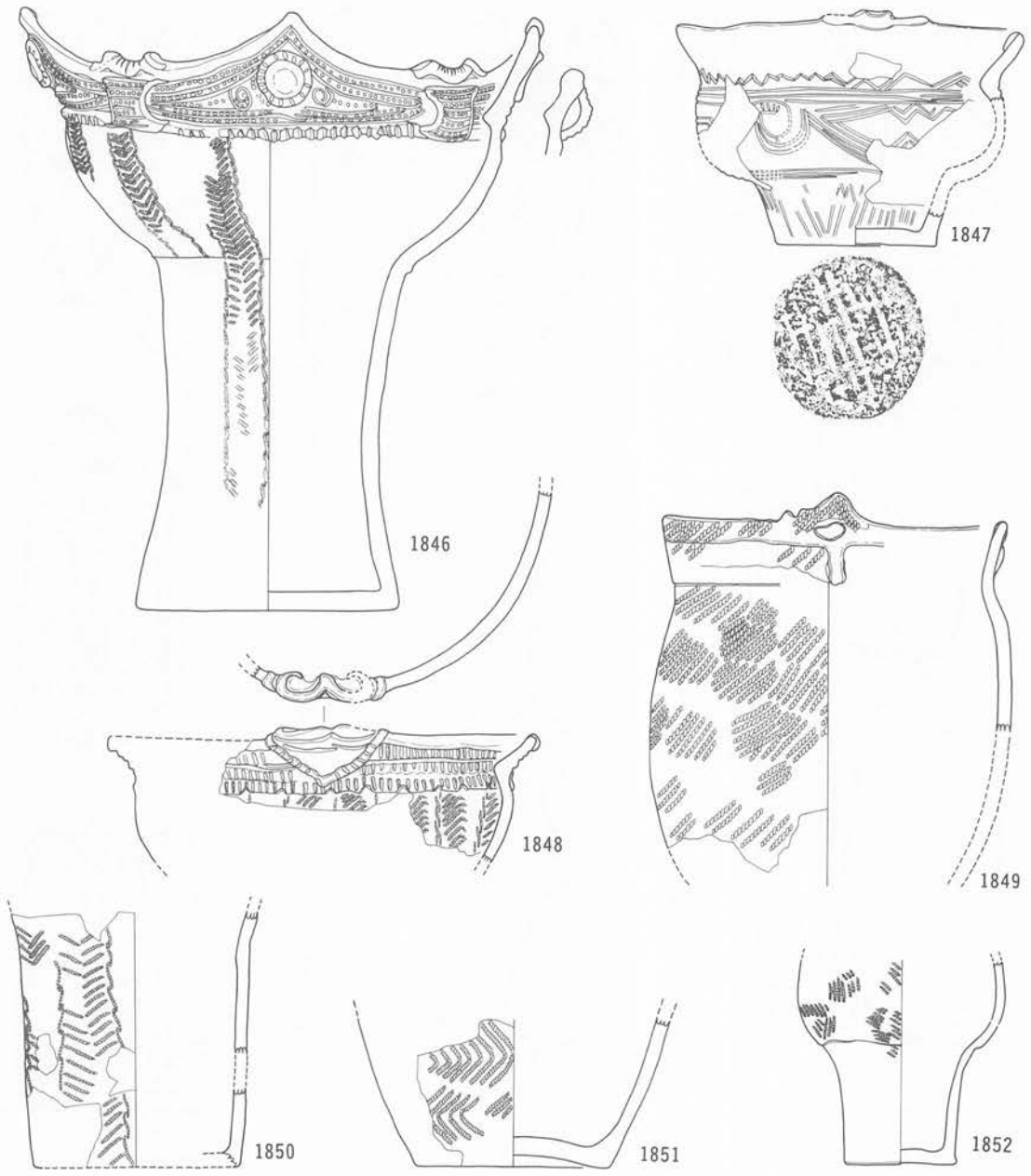
第218図 Ⅲ A 110土坑出土遺物(2)



$$S = \frac{1}{3}$$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1836	III A 110埋土最下層	すり石	17.6	6.0	2.8	490.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1837	III A 110埋土上層	すり石	7.9	5.9	3.0	190.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
1838	III A 110埋土下層	すり石	15.2	5.9	2.3	390.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1839	III A 110埋土下層	すり石	15.3	3.6	1.5	135.0	両輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	
1840	III A 110埋土中層	特殊磨石	11.3	5.7	4.4	435.0	花崗閃緑岩	夏油川～仙人	中生界	*
1841	III A 110埋土中層	特殊磨石	13.5	6.2	5.5	700.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
1842	III A 110埋土最下層	特殊磨石	13.6	8.2	5.6	800.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	*
1843	III A 110埋土中層	特殊磨石	12.3	6.9	3.0	460.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
1844	III A 110埋土中層	凹石	6.9	6.2	2.8	187.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1845	III A 110埋土上層	石剣	10.9	3.0	0.9	60.1	粘板岩 (ホルンフェルス)	夏油川～和賀仙人	古生界	

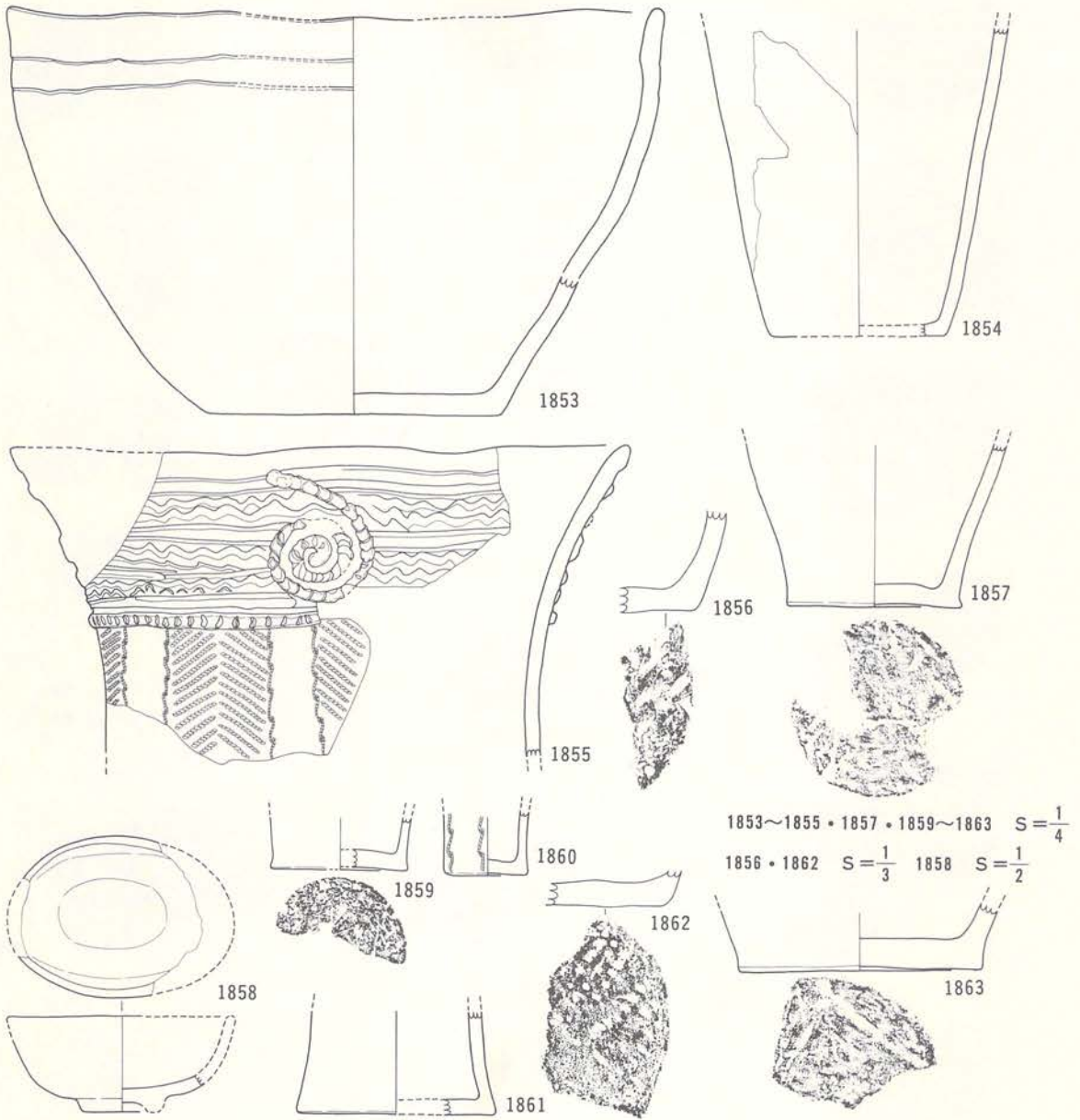
第219図 III A 110土坑出土遺物(3)



$$S = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1846	ⅢA111・埋土最下部	口～底部	4単位の波状口縁、ボタン状貼付、橋状把手、波状の粘土紐、沈線や連続刺突、結節第1種羽状タテ	深鉢C19類
1847	ⅢA111・埋土下部	口～底部	平縁で1ヶ所に粘土貼付による突起、上端裏側に粘土帯、横位や鋸歯状などの沈線、網代底	深鉢C7類
1848	ⅢA111・埋土下部	口～胴部	平縁で半角状の突起、刻目を持つV字状の粘土紐、沈線間に連続短沈線、結節第1種羽状タテ	深鉢C19類
1849	ⅢA111・埋土2層	口～胴部	平縁、1ヶ所の突起部分に穿孔、上端の表と裏に粘土帯、縦位の粘土紐4単位、LRヨコ	深鉢B12類
1850	ⅢA111・埋土下部	胴～底部	両末端結節の羽状(結束第1種)タテ	深鉢B15類
1851	ⅢA111・埋土下部	胴～底部	羽状(結束第1種)ヨコ	深鉢B15類
1852	ⅢA111・埋土2層	胴～底部	LRタテ、ナナメ	深鉢C12類

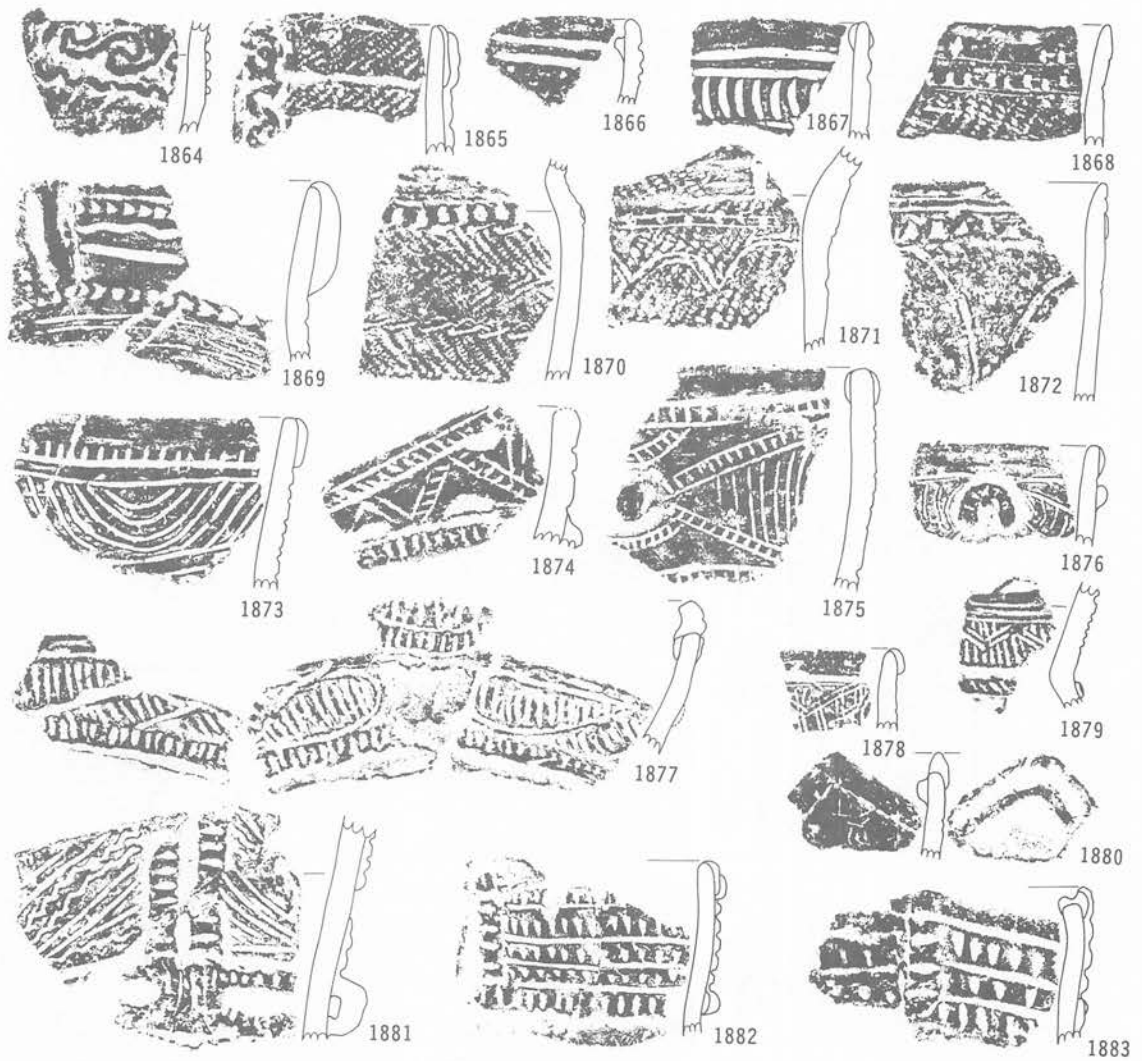
第220図 ⅢA111土坑出土遺物(1)



No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1853	ⅢA111・埋土1層	口～底部	口縁部に横位の沈線が2条走る	深鉢
1854	ⅢA111・埋土上部	胴～底部	無文	深鉢A
1855	ⅢA111・埋土中部	口～胴部	平縁、刻目を持つ渦巻状や横位の粘土紐、横位や波状の沈線、両末端結節の第1種羽状タテ	深鉢B18類
1856	ⅢA111・埋土上部	底部	網代痕	深鉢
1857	ⅢA111・埋土2層	胴～底部	無文、網代痕	深鉢B
1859	ⅢA111・埋土上部	胴～底部	無文、網代痕	深鉢
1860	ⅢA111・埋土下部	胴～底部	結節部分タテ、縄文はすり消す	深鉢15類
1861	ⅢA111・埋土下部	胴～底部	無文	深鉢C
1862	ⅢA111・埋土上部	底部	網代痕	深鉢
1863	ⅢA111・埋土上部	底部	網代痕	深鉢

No	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他
1858	ⅢA111・埋土8層	ミニチュア土器	—	—	—	口径(6.6)cm、器高2.8cm、底径(2.4)cm

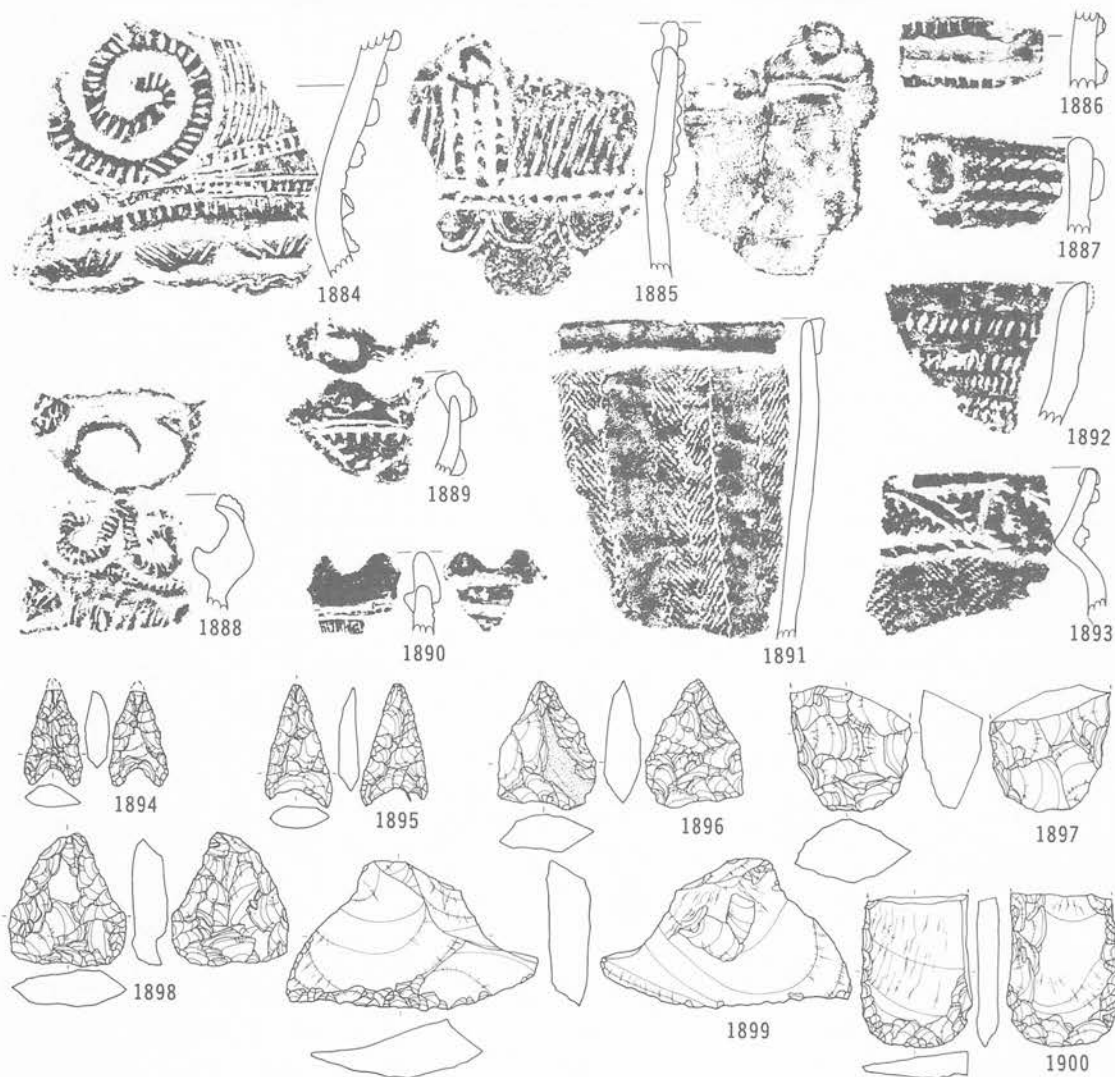
第221図 ⅢA111土坑出土遺物(2)



$$S = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1864	ⅢA111・埋土下部	口縁部	細い粘土紐が小波状や不規則に貼付、LRヨコ	深鉢
1865	ⅢA111・埋土中部	口縁部	複合口縁上に波状の粘土紐貼付、LRヨコ	深鉢A
1866	ⅢA111・埋土上部	口縁部	裏側に粘土紐貼付、横位の沈線、円形の連続刺突	深鉢A
1867	ⅢA111・埋土上部	口縁部	上端表と裏に粘土帯貼付、横位の沈線、弧状の連続沈線	深鉢A19類
1868	ⅢA111・埋土下部	口縁部	沈線間に連続爪形文、LRヨコ	深鉢A19類
1869	ⅢA111・埋土下部	口～頸部	縦位の粘土紐貼付、横位や小波状の沈線、連続爪形文、平行沈線文	深鉢B10類
1870	ⅢA111・埋土中部	頸～胴部	LRの原体圧痕、連続爪形文、末端結節の羽状(結束第1種)ヨコ	深鉢B15類
1871	ⅢA111・埋土下部	頸～胴部	横位や弧状の平行沈線文、爪形文、LRヨコ	深鉢B10類
1872	ⅢA111・埋土下部	口～胴部	横位や弧状の平行沈線文、下部が三角状に切り取られた粘土帯	深鉢A
1873	ⅢA111・埋土下部	口縁部	複合口縁の下端に連続した縦位の刻目、横位の沈線間に弧状の連続沈線	複合A17類
1874	ⅢA111・埋土上部	口縁部	梯子状の沈線、弧状のえぐり 刻目を持つ粘土紐	深鉢B19類
1875	ⅢA111・埋土下部	口縁部	上端表と裏に粘土帯、梯子状の沈線間に縦位の連続沈線、円形の粘土塊貼付	深鉢B19類
1876	ⅢA111・埋土下部	口縁部	複合口縁直下に馬蹄形状の粘土紐貼付、その両側に弧状の連続沈線	深鉢A19類
1877	ⅢA111・埋土下部	口縁部	上端表と裏に粘土帯、突起部分に粘土塊、ヘアピン状の沈線間に連続沈線、刻目を持つ粘土紐	深鉢B18類
1878	ⅢA111・埋土中部	口縁部	複合口縁、縦横に平行沈線文	深鉢A19類
1879	ⅢA111・埋土下部	口縁部	横位や縦位に鋸歯状の平行沈線文、斜位の刻目を持つ粘土紐	深鉢B19類
1880	ⅢA111・埋土上部	口縁部	上端表と裏に粘土帯、縦位や鋸歯の平行沈線文	深鉢B19類
1881	ⅢA111・埋土下部	口縁部	刻目を持つ粘土紐縦位と横位に貼付、橋状把手、斜位や小波状の沈線	深鉢B18類
1882	ⅢA111・埋土下部	口縁部	刻目を持つ粘土紐縦位と横位に貼付、横位の沈線間に縦位の連続刺突	深鉢B18類
1883	ⅢA111・埋土下部	口縁部	口唇部にドーナツ状の粘土紐、刻目を持つ粘土紐縦位と横位に貼付、横位の沈線間に縦位の連続刺突	深鉢B18類

第222図 ⅢA111土坑出土遺物(3)

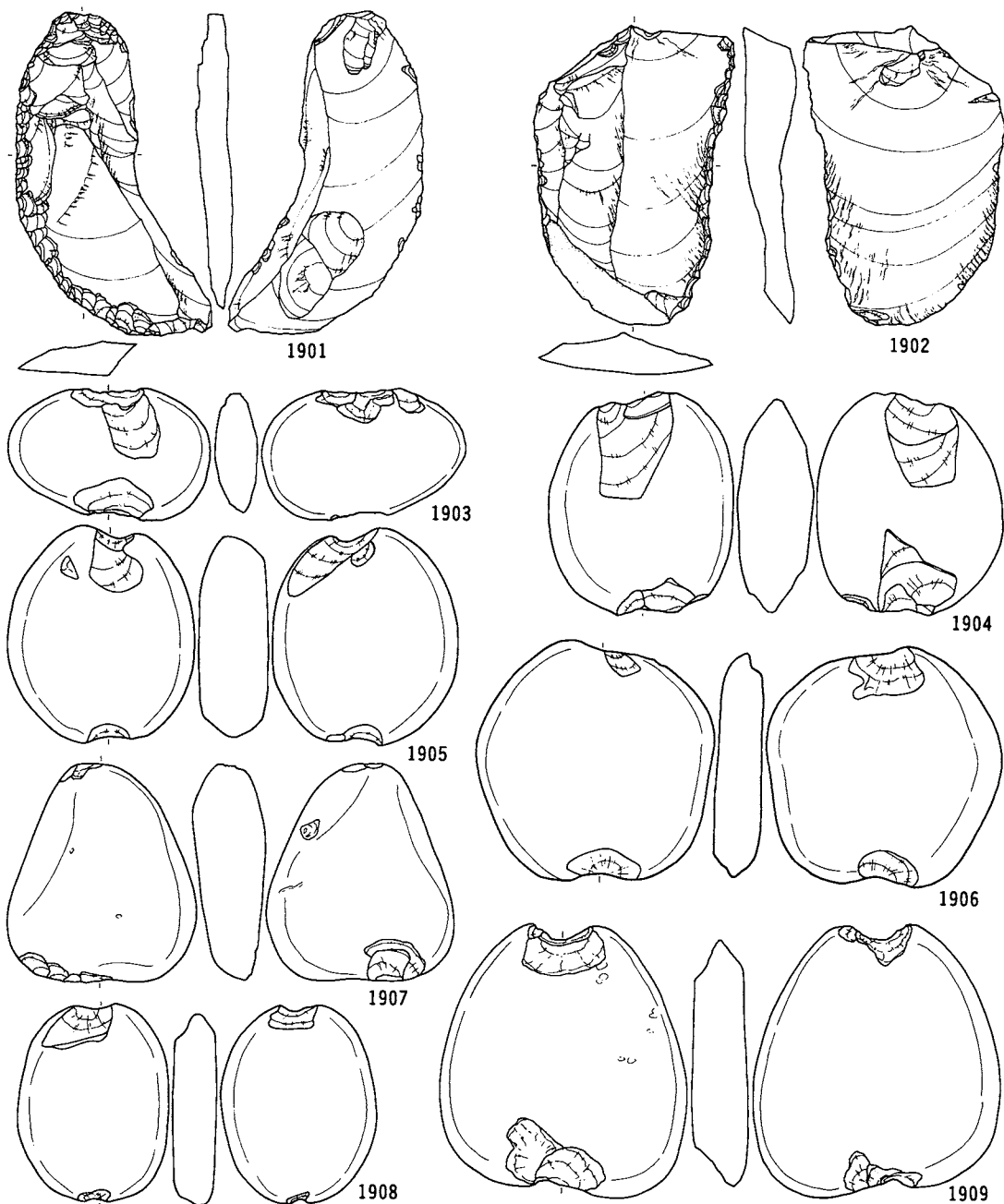


1884~1893 $S = \frac{1}{3}$ 1894~1900 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1884	ⅢA111・埋土上部	口縁部	刻目を持つ渦巻状の粘土紐、弧状の連続沈線、梯子状の沈線、縦位や斜位の刻目を持つ粘土紐	深鉢B18類
1885	ⅢA111・埋土上部	口～胴部	波頂部表と裏にドーナツ状の粘土紐、爪形文のある粘土紐縦位や横位に貼付、斜位や弧状の沈線	深鉢B18類
1886	ⅢA111・埋土中部	口縁部	上部と下部に刻目を持つ粘土紐貼付	深鉢18類
1887	ⅢA111・埋土上部	口縁部	R Lの原体圧痕が横位に3段、その上から橋円状粘土貼付	深鉢A16類
1888	ⅢA111・埋土中部	口縁部	表に刻目を持つ半角状の粘土紐貼付、裏は渦巻状に作り出す、両側に刻目を持つ粘土紐	深鉢18類
1889	ⅢA111・埋土下部	口縁部	口唇部に馬蹄形状の粘土紐貼付、沈線により三角状を作り出し辺の部分に連続した刻目	深鉢
1890	ⅢA111・埋土下部	口縁部	2山状の粘土貼付、横位の沈線の下に縦位の連続沈線	深鉢
1891	ⅢA111・埋土中部	口～胴部	複合口縁、結節した羽状（結束第1種）タテ	深鉢A15類
1892	ⅢA111・埋土下部	口縁部	Rの絡条体圧痕横位に数段	深鉢16類
1893	ⅢA111・埋土下部	口～胴部	上端の表と裏に粘土帯、斜位押圧の粘土紐、三角区画の辺に刻目、第2種羽状タテ	深鉢C15類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1894	ⅢA111埋土1層	石鏃	2.5	1.6	0.6	1.9	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
1895	ⅢA111埋土中層	石鏃	3.3	1.8	0.6	2.3	粘板岩	夏油川～仙人	新第三系中新統	
1896	ⅢA111埋土中層	石鏃	3.5	2.6	1.0	7.4	珪質細粒凝灰岩	雫石	新第三系中新統	
1897	ⅢA111埋土上層	石鏃	3.3	3.1	1.6	16.9	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
1898	ⅢA111埋土上層	三角削器	3.6	3.1	0.9	11.4	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1899	ⅢA111埋土	削器	3.9	6.7	1.3	27.7	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1900	ⅢA111埋土13層	石鏃	4.0	2.9	0.6	11.2	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*

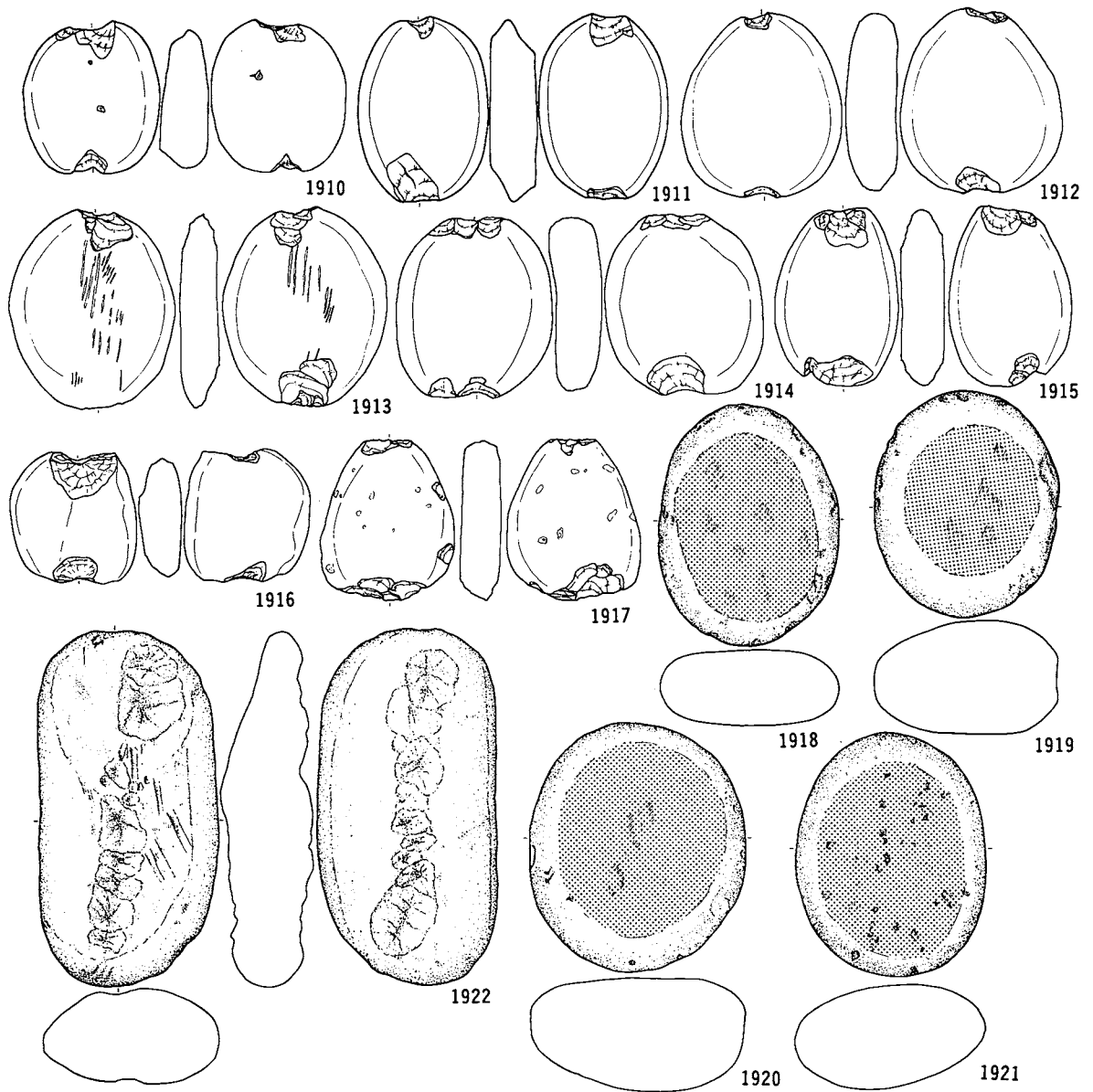
第223図 ⅢA111土坑出土遺物(4)



$$s = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1901	ⅢA111埋土中層	削器	9.2	3.9	1.0	46.5	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1902	ⅢA111埋土下層	削器	8.6	5.4	1.2	65.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1903	ⅢA111埋土1層	石錘	3.7	5.8	1.4	40.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1904	ⅢA111埋土下層	石錘	6.4	5.4	2.1	95.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1905	ⅢA111埋土上層	石錘	6.2	5.3	2.1	95.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1906	ⅢA111埋土上層	石錘	7.0	6.8	1.5	100.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1907	ⅢA111埋土1層	石錘	6.3	5.4	2.1	100.0	珪質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1908	ⅢA111埋土上層	石錘	5.7	4.3	1.3	50.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1909	ⅢA111埋土13層	石錘	7.8	7.2	1.8	135.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

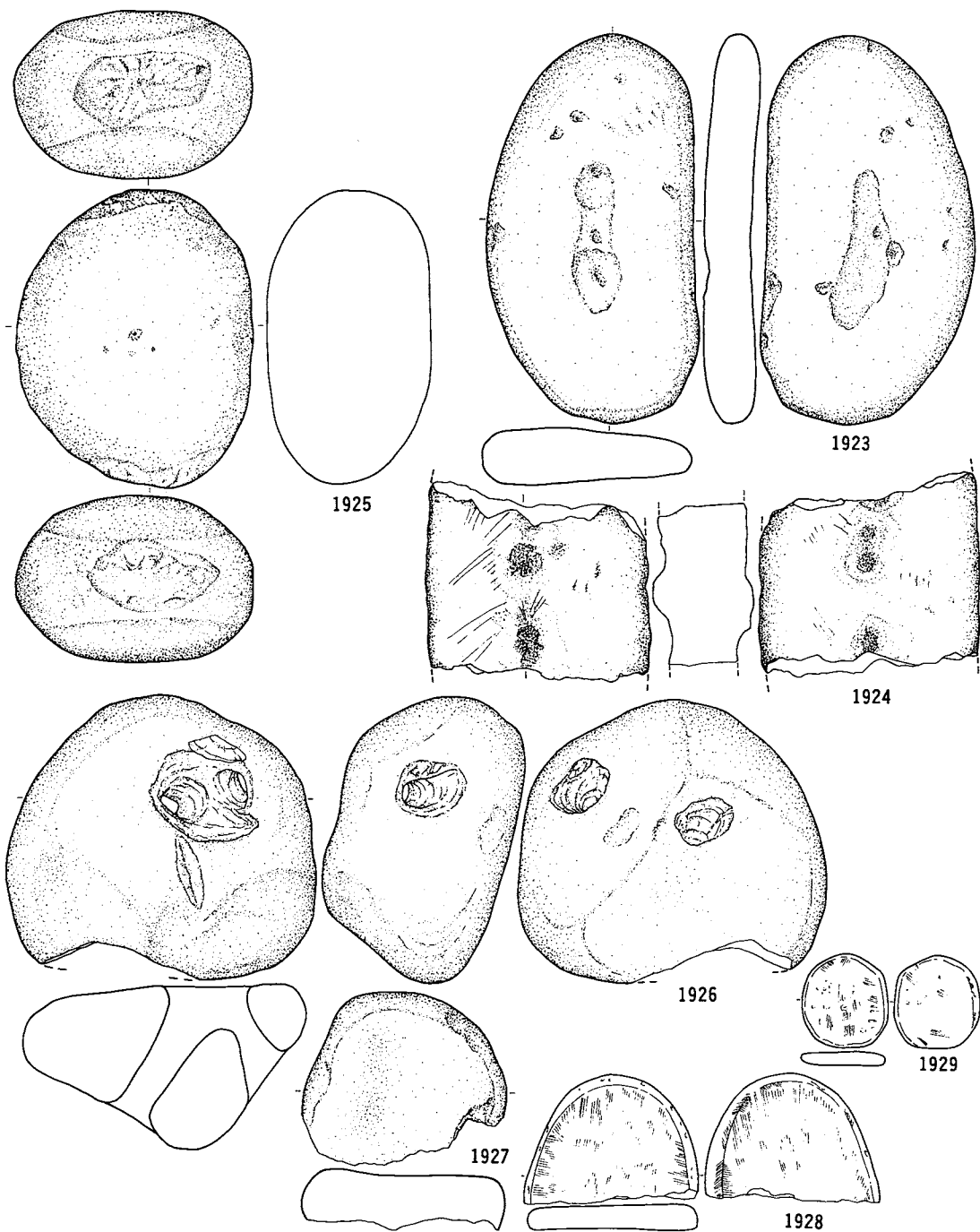
第224図 ⅢA111土坑出土遺物(5)



$$S = \frac{1}{3}$$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1910	ⅢA111埋土上層	石錘	6.6	6.0	2.2	120.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1911	ⅢA111埋土中層	石錘	8.1	5.7	2.0	135.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1912	ⅢA111埋土上部	石錘	8.0	7.1	2.4	200.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1913	ⅢA111埋土上層	石錘	8.7	7.1	1.8	150.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1914	ⅢA111埋土1層	石錘	7.9	6.9	2.1	170.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1915	ⅢA111埋土上部	石錘	7.8	5.4	1.9	120.0	ホルンフェルス	夏油川上流	古生界	
1916	ⅢA111埋土東半下層	石錘	5.9	5.4	1.9	100.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1917	ⅢA111埋土11層	石錘	7.1	5.7	2.0	110.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1918	ⅢA111埋土上層	すり石	10.5	7.9	3.3	385.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	
1919	ⅢA111埋土上層	すり石	9.8	8.0	4.8	560.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	
1920	ⅢA111埋土最下層	すり石	10.8	9.4	5.0	750.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
1921	ⅢA111埋土12層	すり石	10.6	8.3	4.5	575.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
1922	ⅢA111埋土中層	凹石	15.4	7.9	4.9	680.0	アルコース砂岩	奥羽山地	新第三系中新統	

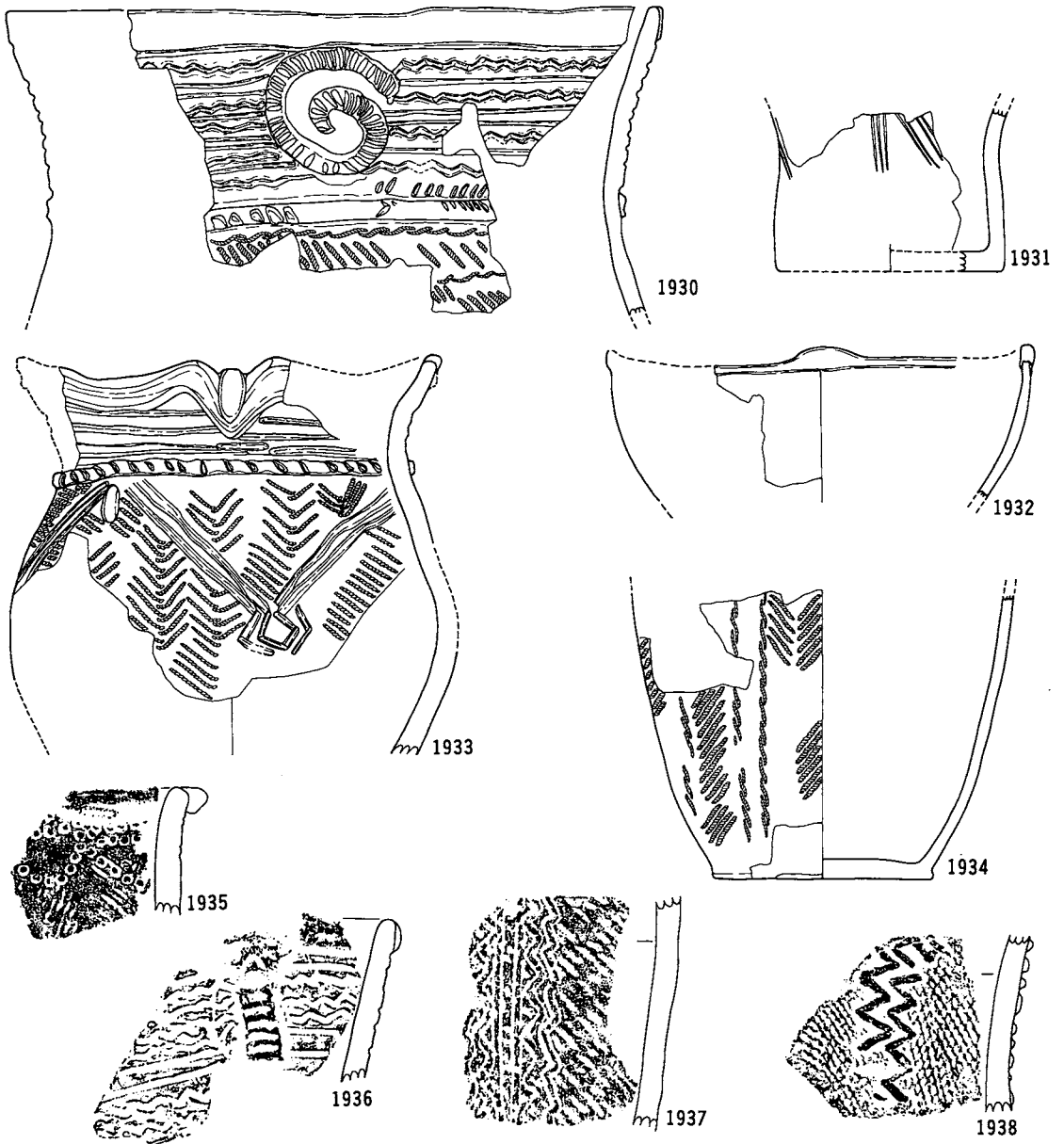
第225図 ⅢA111土坑出土遺物(6)



$S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1923	ⅢA111埋土上層	凹石	10.5	6.2	1.7	190.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1924	ⅢA111埋土下層	凹石	6.0	6.6	3.0	150.0	流紋岩	羽山~本畑	新第三系中新統	*
1925	ⅢA111東半下層	敲石	8.8	7.0	4.9	405.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
1926	ⅢA111埋土上層	有孔礫	8.4	9.2	5.4	410.0	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1927	ⅢA111埋土上層	石皿	5.2	6.1	1.5	95.1	アロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
1928	ⅢA111埋土下層	円盤状石製品	3.9	5.2	0.8	20.4	緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1929	ⅢA111埋土中層	円盤状石製品	2.8	2.6	0.4	4.4	緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

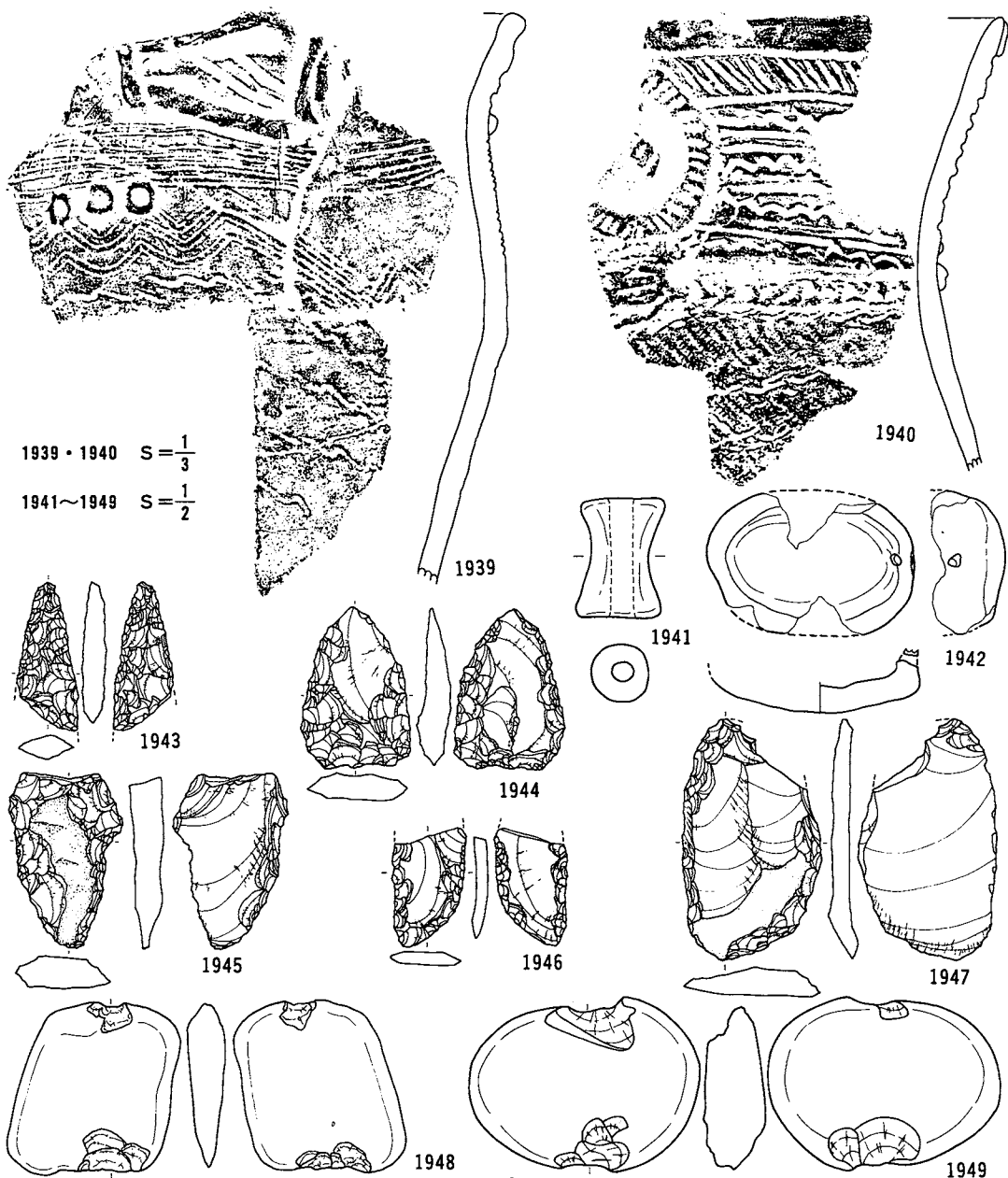
第226図 ⅢA111土坑出土遺物(7)



1930~1934 $S = \frac{1}{4}$ 1935~1938 $S = \frac{1}{3}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1930	Ⅲ A 112・埋土上部	口~胴部	平縁、複合口縁、刻目のある渦巻状の粘土紐、横位や小波状沈線、片側結節のR Lヨコ	深鉢B18類
1931	Ⅲ A 112・埋土下部	胴~底部	縦位や斜位の平行沈線文	深鉢C7類
1932	Ⅲ A 112・埋土中部	口~胴部	平縁で4単位の突起(?)、口唇部に沿って刻目、口唇部を包むように粘土帯貼付	深鉢C
1933	Ⅲ A 112・埋土下部	口~胴部	4単位の波状口縁で波頂部は2山状、横位や斜位の沈線、斜位押圧の粘土紐、第1種羽状タテ	深鉢B15類
1934	Ⅲ A 112・埋土上部	胴~底部	末端結節のR LとL Rをタテ回転し交互に羽状を描き出す	深鉢B15類
1935	Ⅲ A 112・埋土下部	口縁部	上端に粘土紐、竹管による円形の連続剣突	深鉢A10類
1936	Ⅲ A 112・埋土上部	口縁部	複合口縁、刻目を持つ粘土紐、横位や小波状の沈線	深鉢B18類
1937	Ⅲ A 112・床直	胴部	縦位や小波状の平行沈線文、L Rタテ	深鉢A7類
1938	Ⅲ A 112埋土下部	胴部	鋸歯状の粘土紐縦位に2列貼付、R Lヨコ	深鉢B

第227図 Ⅲ A 112土坑出土遺物(1)



1939・1940 $S = \frac{1}{3}$

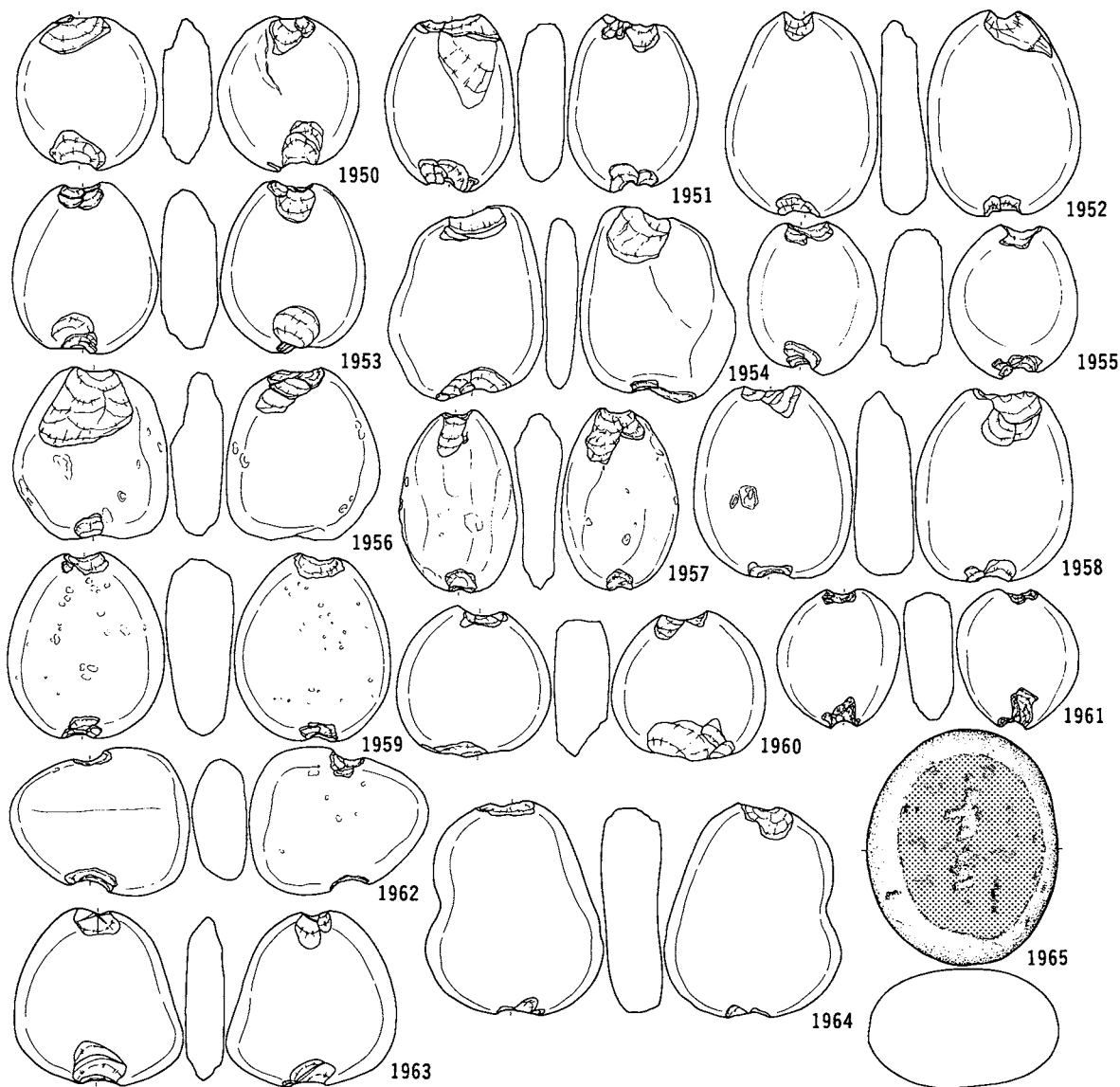
1941~1949 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1939	ⅢA112・埋土上部	口~胴部	斜位や縦位の粘土紐、平行沈線文、ボタン状貼付3個、結節したLR(?)ナナメ	深鉢B15類
1940	ⅢA112・埋土上部	口~胴部	複合口縁、刻目を持つ渦巻状の粘土紐、横位の沈線間に小波状や斜位の沈線、結節したR Lヨコ	深鉢B18類

No.	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他
1941	ⅢA112・埋土中部	糸巻形土製品	—	—	—	中央部径1.6cm、最大径2.5cm、高さ3.4cm、内径0.7cm
1942	ⅢA112・埋土下部	ミニチュア土器	—	—	—	口径5.9cm、残存高1.9cm、長軸方向の口縁部近くに径3mmの小孔

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1943	ⅢA112埋土下層	尖頭器	4.1	1.5	0.6	4.1	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1944	ⅢA112埋土下層	尖頭器	4.5	3.0	0.7	12.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1945	ⅢA112埋土中層	尖頭器	5.0	3.1	0.9	17.4	赤色安山岩溶岩	駒岳火山	新第三系鮮新統	
1946	ⅢA112床直	削器	3.4	2.1	0.3	3.1	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1947	ⅢA112埋土	削器	6.8	3.9	0.8	26.5	硬質泥岩	奥羽山地零石	新第三系中新統	*
1948	ⅢA112埋土上層	石錘	4.9	5.0	1.1	40.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1949	ⅢA112埋土下層	石錘	5.0	6.6	1.7	80.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

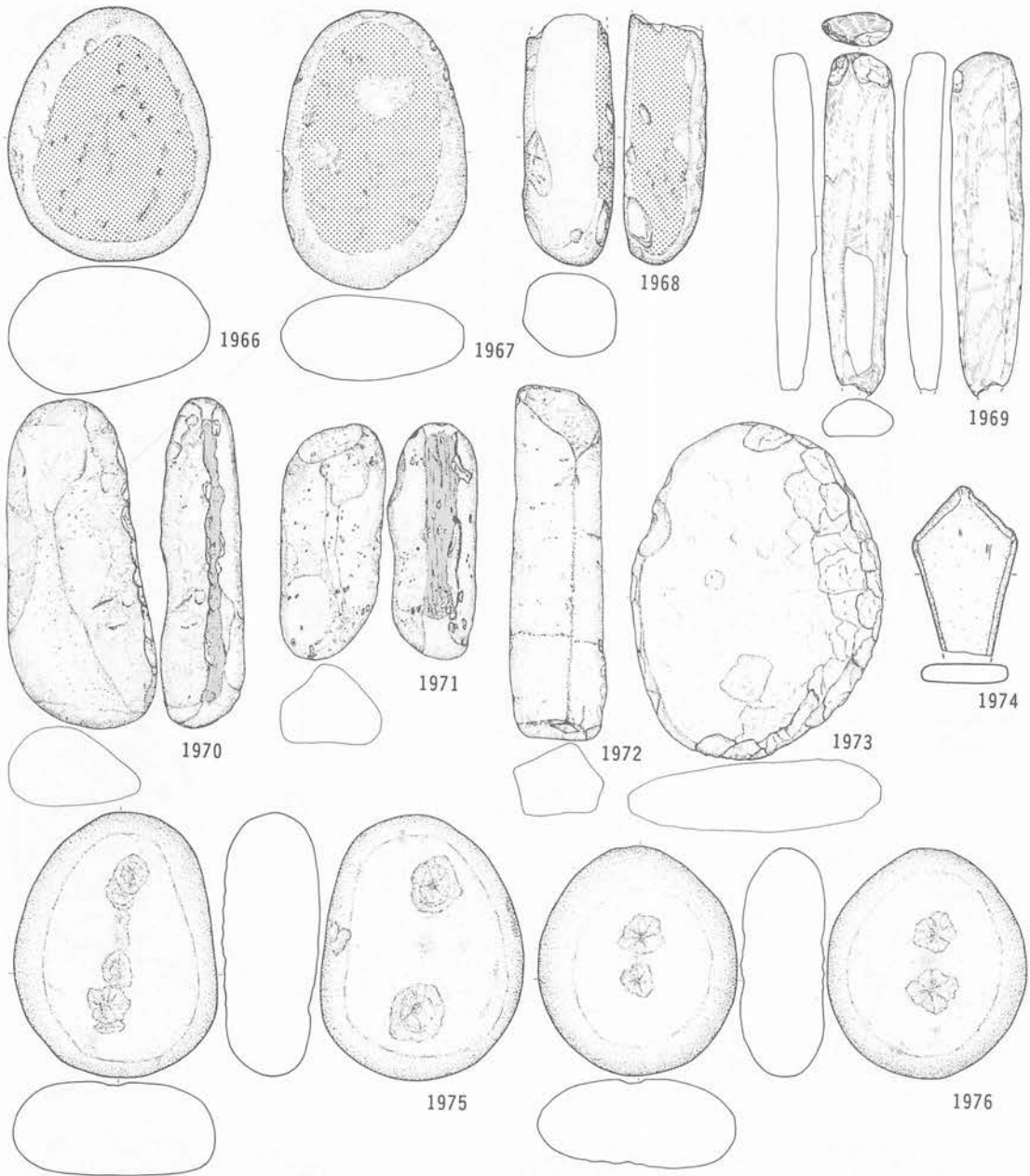
第228図 ⅢA112土坑出土遺物(2)



S = 1/3

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1950	III A 112埋土中層	石錘	6.4	5.8	2.1	90.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1951	III A 112埋土下層	石錘	7.5	5.4	2.1	110.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1952	III A 112埋土下層	石錘	8.7	6.4	1.8	135.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1953	III A 112埋土下層	石錘	8.6	6.1	2.5	130.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1954	III A 112埋土下層	石錘	8.2	6.6	1.3	105.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1955	III A 112埋土上層	石錘	6.4	5.4	2.7	125.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1956	III A 112埋土	石錘	7.3	6.5	2.4	145.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1957	III A 112埋土上層	石錘	7.7	4.8	1.7	95.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1958	III A 112埋土下層	石錘	8.1	6.7	2.4	195.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1959	III A 112埋土上層	石錘	7.8	6.6	2.9	170.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1960	III A 112埋土下層	石錘	6.4	6.5	2.4	140.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1961	III A 112埋土下層	石錘	5.9	5.0	2.0	85.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1962	III A 112埋土上層	石錘	6.2	7.5	2.4	150.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1963	III A 112埋土下層	石錘	7.4	6.8	1.6	130.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1964	III A 112埋土下層	石錘	9.1	7.5	2.5	230.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
1965	III A 112埋土中層	すり石	9.9	8.0	5.0	510.0	デイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	

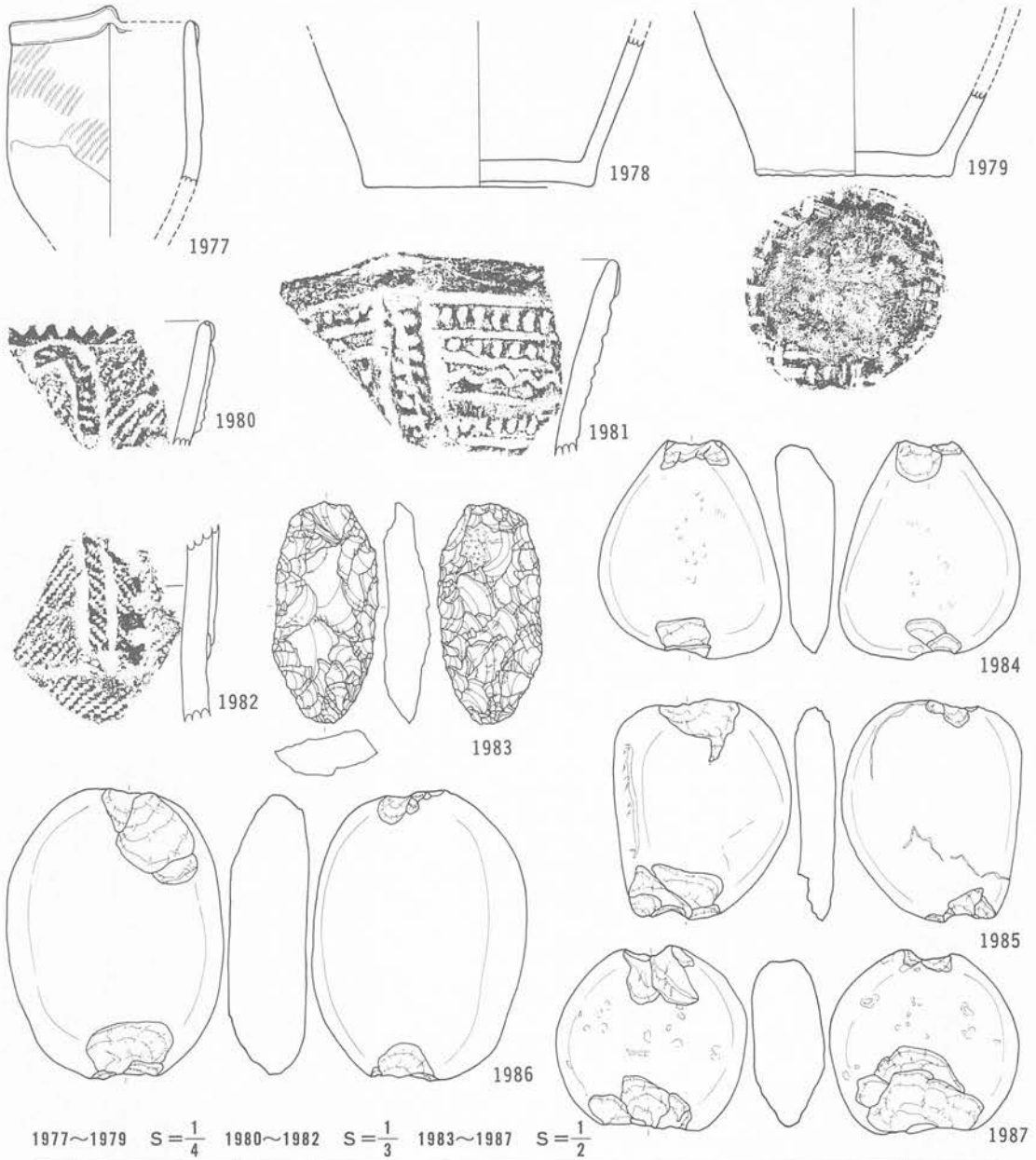
第229図 III A 112土坑出土遺物(3)



1974 $S = \frac{1}{2}$ 1966~1969・1975~1976 $S = \frac{1}{3}$ 1970~1973 $S = \frac{1}{6}$

№	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1966	ⅢA112埋土中層	すり石	10.8	8.7	5.3	725.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1967	ⅢA112埋土上層	すり石	11.9	7.8	3.6	525.0	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1968	ⅢA112埋土下層	すり石	10.7	4.0	3.5	245.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
1969	ⅢA112埋土下層	石剣	14.7	3.1	1.6	125.0	粘板岩 (ホルンフェルス)	夏油川~和賀仙人	古生界	*
1970	ⅢA112埋土上層	特殊磨石	28.2	12.5	6.8	3880.0	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1971	ⅢA112埋土中層	特殊磨石	20.2	8.6	6.6	1580.0	デイサイト	羽山~本畑	新第三系中新統	
1972	ⅢA112埋土上層	石柱	30.5	8.1	6.0	2060.0	流紋岩	羽山~本畑	新第三系中新統	
1973	ⅢA112埋土上層	台石	28.9	21.7	6.0	5700.0	花崗閃緑岩	夏油川~仙人	中生界	
1974	ⅢA112埋土下層	岩偶(?)	4.8	3.0	0.5	9.3	粘板岩	夏油川~仙人	古生界	*
1975	ⅢA112埋土中層	凹石(すり石)	11.5	8.7	4.1	640.0	両輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
1976	ⅢA112埋土上~中層	凹石	9.8	8.5	3.7	490.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	

第230図 ⅢA112土坑出土遺物(4)

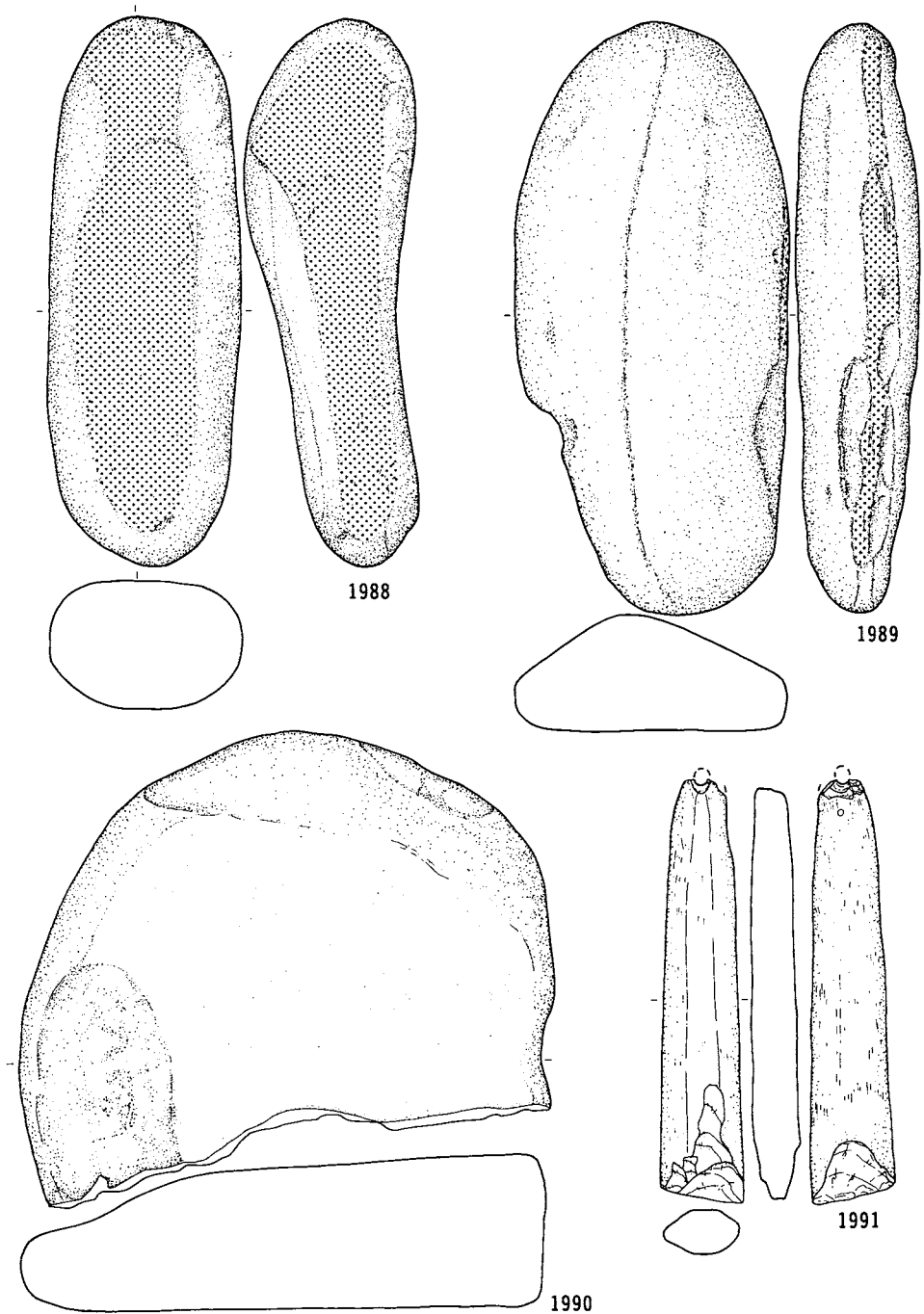


1977~1979 $S = \frac{1}{4}$ 1980~1982 $S = \frac{1}{3}$ 1983~1987 $S = \frac{1}{2}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1977	ⅢA113・埋土6層	口~胴部	複合口縁、1ヶ所に突起、Lヨコ	深鉢12類
1978	ⅢA113・埋土5層	胴~底部	無文	深鉢
1979	ⅢA113・埋土6層	胴~底部	無文、網代痕	深鉢
1980	ⅢA113・埋土6層	口縁部	複合口縁、口唇部に棒状工具による連続押圧、刻目を持つ粘土紐貼付、LRヨコ	深鉢B18類
1981	ⅢA113・埋土6層	口縁部	複合口縁、楕円状粘土塊、刻目をもつ粘土紐、横位の沈線間に縦位の連続沈線と小波状沈線	深鉢B18類
1982	ⅢA113・埋土8層	胴部	粘土紐2本垂下、粘土紐上にはLRタテ、それ以外にはLRヨコ	深鉢A18類

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1983	ⅢA113埋土1層	石筥	6.3	2.8	1.2	27.2	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
1984	ⅢA113埋土8層	石錘	6.2	5.1	1.6	65.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1985	ⅢA113埋土8層	石錘	6.2	5.1	1.2	60.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1986	ⅢA113埋土6層	石錘	6.6	6.1	1.8	90.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1987	ⅢA113埋土1層	石錘	5.2	5.4	2.1	80.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

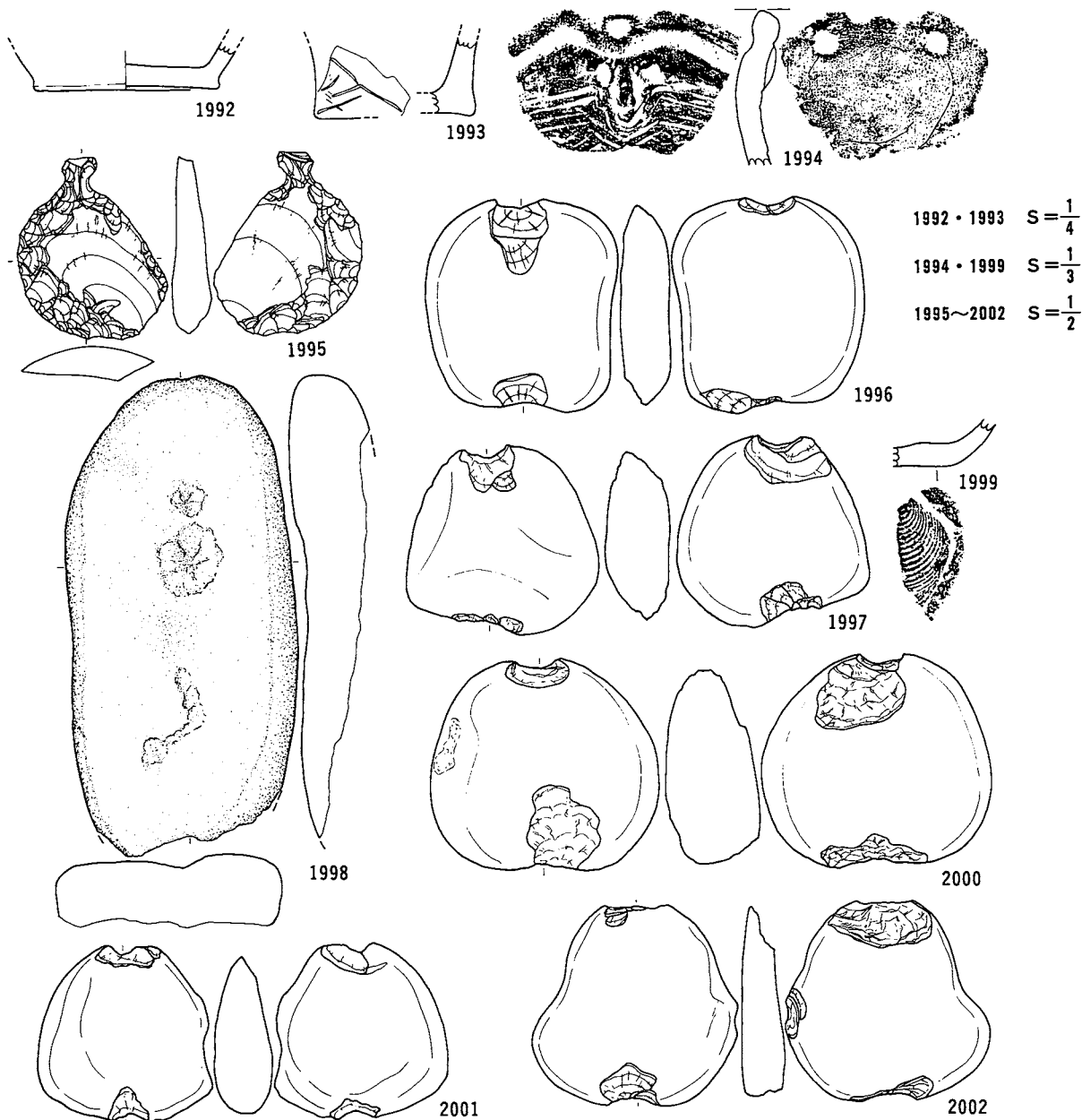
第231図 ⅢA113土坑出土遺物(1)



S = $\frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1988	ⅢA.113埋土8層	すり石	15.0	5.3	3.5	530.0	濃緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
1989	ⅢA.113埋土5層	特殊磨石	16.2	7.6	3.1	540.0	花崗閃緑岩	夏油川～仙人	中生界	
1990	ⅢA.113埋土5層	台石	13.0	14.5	4.1	1360.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	*
1991	ⅢA.113埋土下層	石剣	11.8	2.1	1.2	50.1	粘板岩 (ホルンフェルス)	夏油川～和賀仙人	古生界	

第232図 ⅢA.113土坑出土遺物(2)

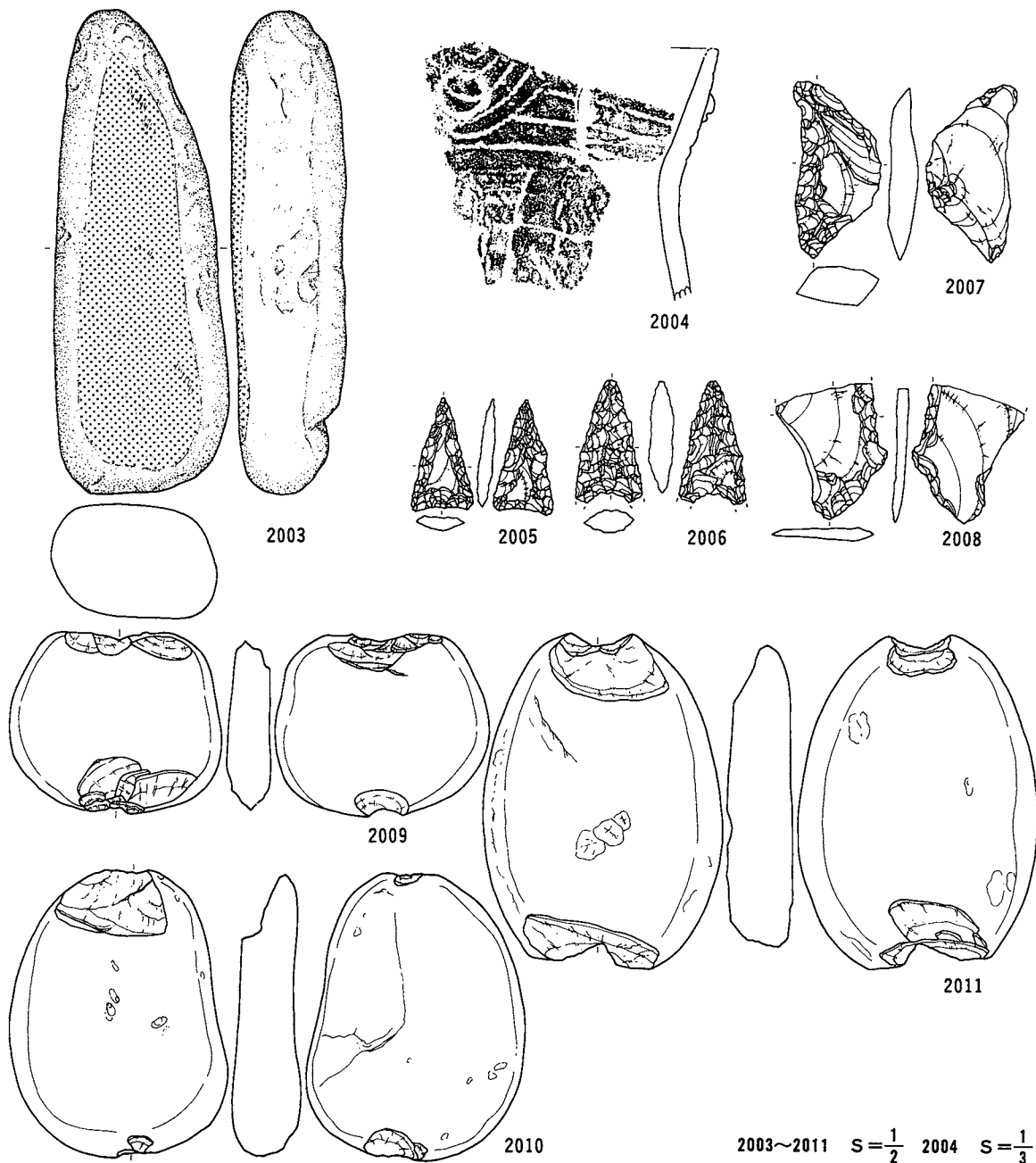


No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
1992	ⅢA114・埋土4層	底部		深鉢B
1993	ⅢA114・埋土4層	胴～底部	斜位の沈線	深鉢B
1994	ⅢA114・埋土1層	口縁部	波頂部は3山状、表の中央と裏の両側に円形の凹み、縦位の粘土紐、平行沈線文	深鉢B 6類

No	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
1999	ⅢA115・埋土	土師器坏	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	—	B II a類	

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
1995	ⅢA114埋土4層	石匙	5.4	4.4	1.0	19.8	硬質泥岩	奥羽山地零石	新第三系中新統	
1996	ⅢA114埋土4層	石鏟	6.4	5.7	1.5	90.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
1967	ⅢA114埋土1層	石鏟	5.6	5.6	2.0	75.1	ホルンフェルス	夏油川上流	古生界	
1998	ⅢA114埋土5層	凹石	14.2	6.7	2.3	275.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
2000	ⅢA115埋土西半	石鏟	6.3	6.8	2.7	155.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2001	ⅢA115埋土西半	石鏟	5.1	5.2	1.8	55.1	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
2002	ⅢA115埋土西半	石鏟	7.7	6.0	1.3	50.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

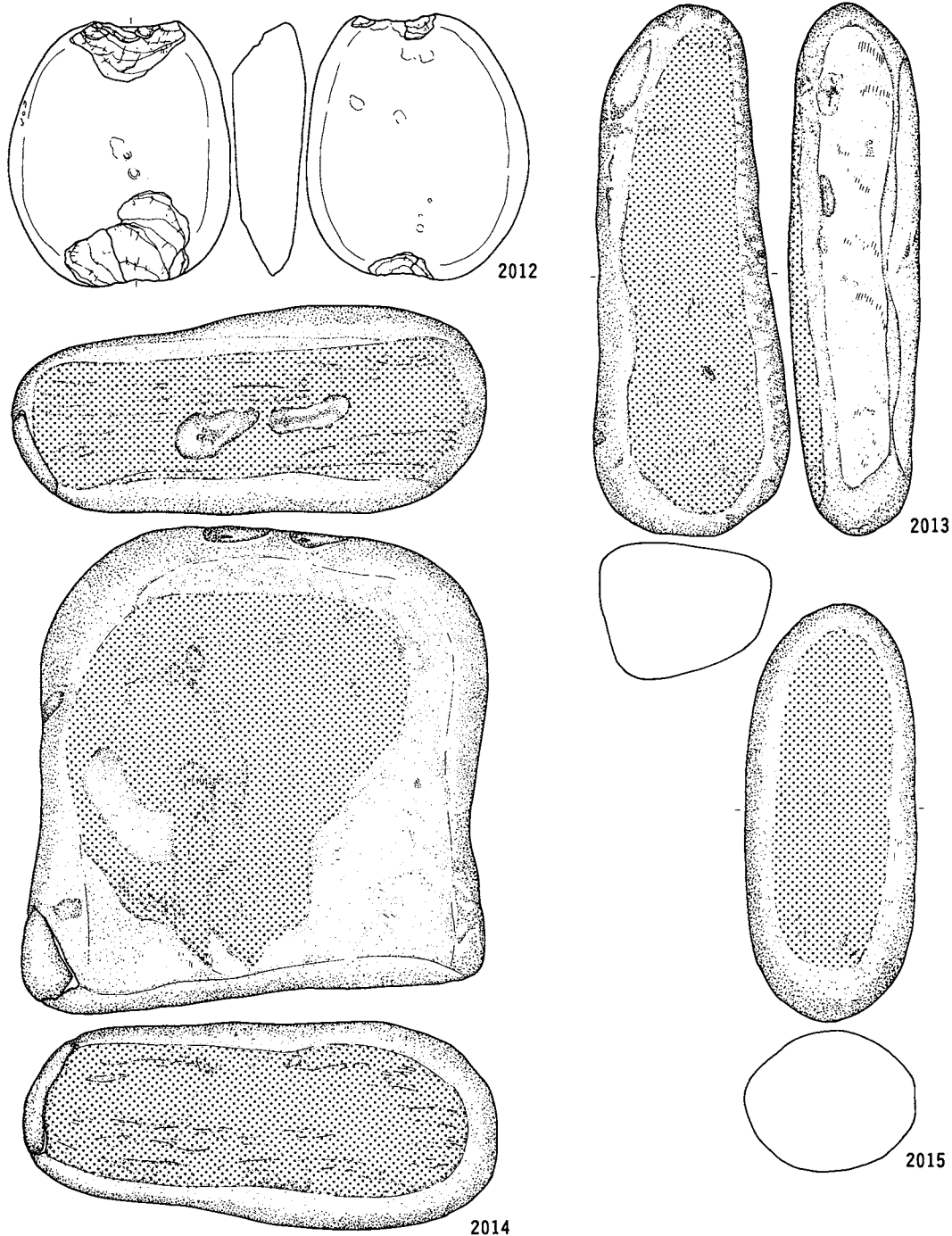
第233図 ⅢA114・115土坑出土遺物(1)



No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2004	ⅢA116・埋土2層	口~胴部	弧状や横位にRの原体圧痕、結節したLRタテ	深鉢B16類

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2003	ⅢA115埋土南半	すり石	14.2	5.0	3.3	358.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2005	ⅢA116埋土中層	石鏃	3.4	1.8	0.4	2.2	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
2006	ⅢA116埋土上層	石鏃	3.6	1.9	0.7	4.1	赤色玻璃質安山岩	駒岳ふもと	新第三系鮮新統	*
2007	ⅢA116埋土南半	削器	5.3	2.6	1.1	12.3	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
2008	ⅢA116埋土7層	削器	4.1	3.0	0.3	5.7	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
2009	ⅢA116埋土南半	石鏃	5.4	6.3	1.4	60.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2010	ⅢA116埋土4層	石鏃	8.5	6.3	2.0	135.0	両輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
2011	ⅢA116埋土上層	石鏃	9.9	7.2	2.1	175.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

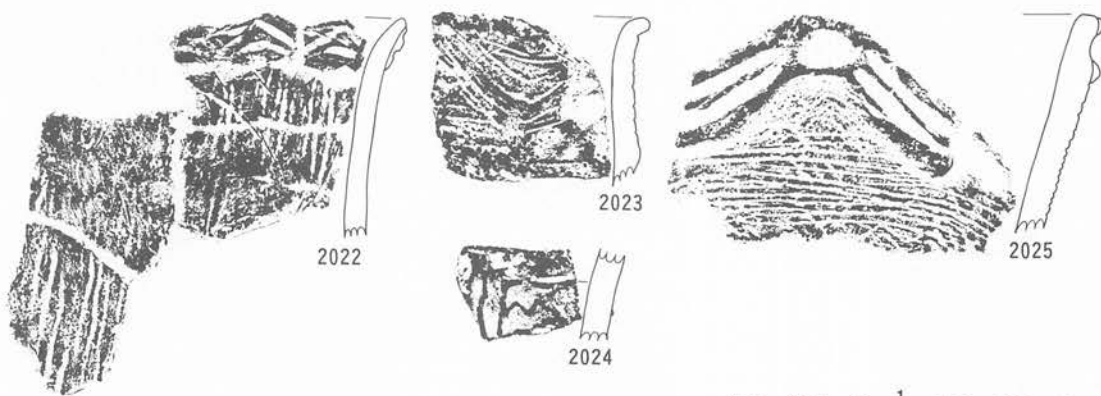
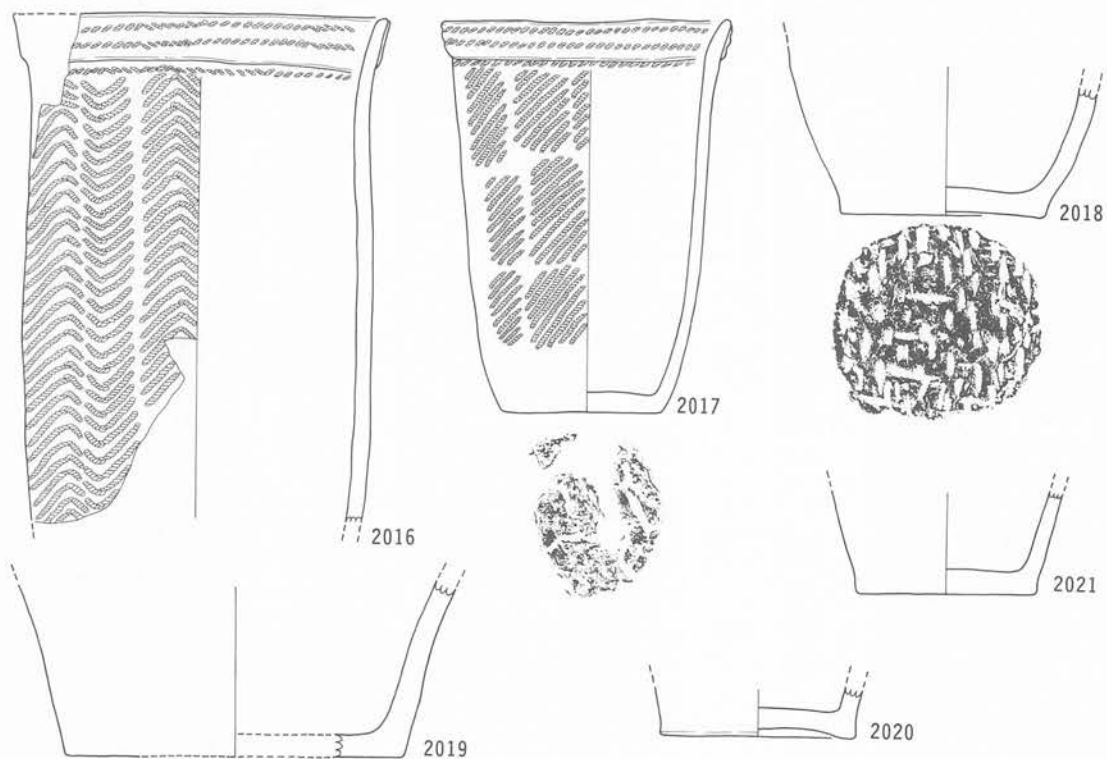
第234図 ⅢA115(2)・116土坑出土遺物(1)



$s = \frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2012	ⅢA116埋土中層	石錘	7.9	6.7	2.3	165.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2013	ⅢA116埋土上層	すり石	15.7	5.7	4.1	545.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2014	ⅢA116埋土	すり石	14.3	13.7	6.1	1090.0	アルコース砂岩	夏油川鑄沢	新第三系中新統	
2015	ⅢA116埋土上層	すり石	12.3	5.1	4.2	400.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	

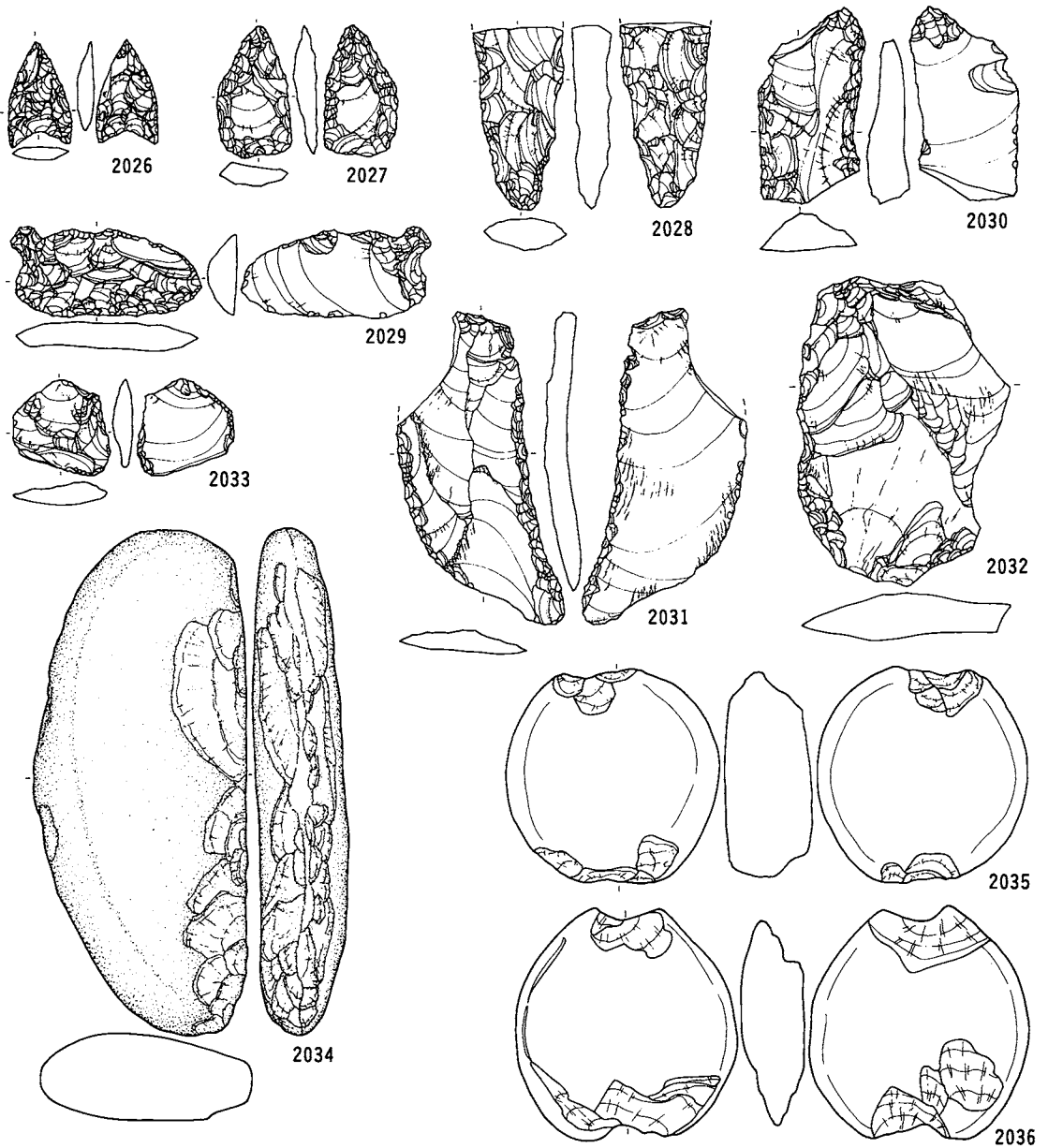
第235図 ⅢA116土坑出土遺物(2)



2016~2020 $S = \frac{1}{4}$ 2022~2025 $S = \frac{1}{3}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2016	ⅢA118・埋土中部	口～胴部	平縁、複合口縁上に2段その下に1段RL、LR(結束第1種)の原体圧痕、第1種羽状タテ	深鉢A16類
2017	ⅢA118・埋土中部	口～底部	平縁、複合口縁上に2段その下に1段RLの原体圧痕、RLタテ、網代痕	深鉢A16類
2018	ⅢA118・埋土上部	胴～底部	無文、網代痕	深鉢
2019	ⅢA118・埋土3層	胴～底部	無文	深鉢
2020	ⅢA118・埋土3層	胴～底部	無文	深鉢
2021	ⅢA118・埋土1層	胴～底部	無文	深鉢
2022	ⅢA118・埋土中部	口～胴部	複合口縁上に山形や弧状の沈線、絡条体1タテ	深鉢A4類
2023	ⅢA118・埋土2層	口～頸部	横位や弧状の平行沈線文	深鉢B6類
2024	ⅢA118・埋土2層	頸部	細い粘土紐が鋸歯状や鍵状に貼付	深鉢
2025	ⅢA118・埋土2層	口～頸部	波頂部に円形の凹み、その両側に2条の沈線、横位や小波状の平行沈線	深鉢B9類

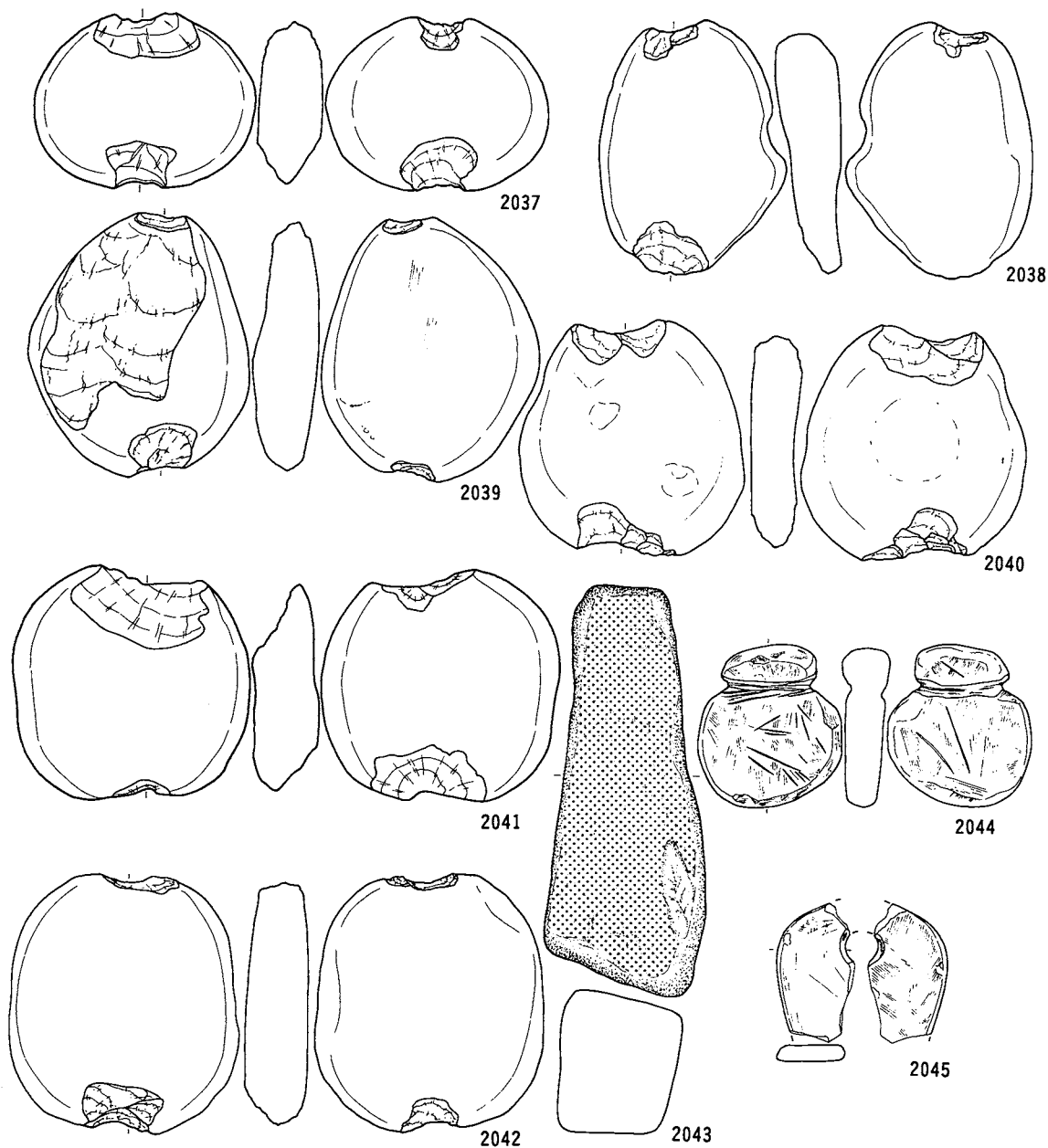
第236図 ⅢA118土坑出土遺物(1)



S = $\frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2026	Ⅲ A 118埋土中層	石鏃	3.0	1.7	0.4	1.8	珪質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
2027	Ⅲ A 118埋土中層	尖頭器	3.7	2.0	0.6	4.5	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2028	Ⅲ A 118埋土1層	尖頭器	5.2	2.4	0.9	14.3	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
2029	Ⅲ A 118埋土1層	石匙	4.7	4.3	0.8	12.2	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
2030	Ⅲ A 118埋土上層	削器	5.5	2.7	1.0	19.2	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
2031	Ⅲ A 118埋土上層	削器	8.8	3.7	0.6	23.7	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
2032	Ⅲ A 118埋土1層	削器	8.7	6.1	1.3	95.1	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
2033	Ⅲ A 118埋土上層	ピエス・エスキーユ	2.7	2.6	0.6	4.5	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2034	Ⅲ A 118埋土中層	半円状偏平打製石器	14.4	6.1	2.4	310.0	濃緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2035	Ⅲ A 118埋土3層	石錘	6.1	6.1	2.5	135.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
2036	Ⅲ A 118埋土1層	石錘	6.7	6.2	1.9	100.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

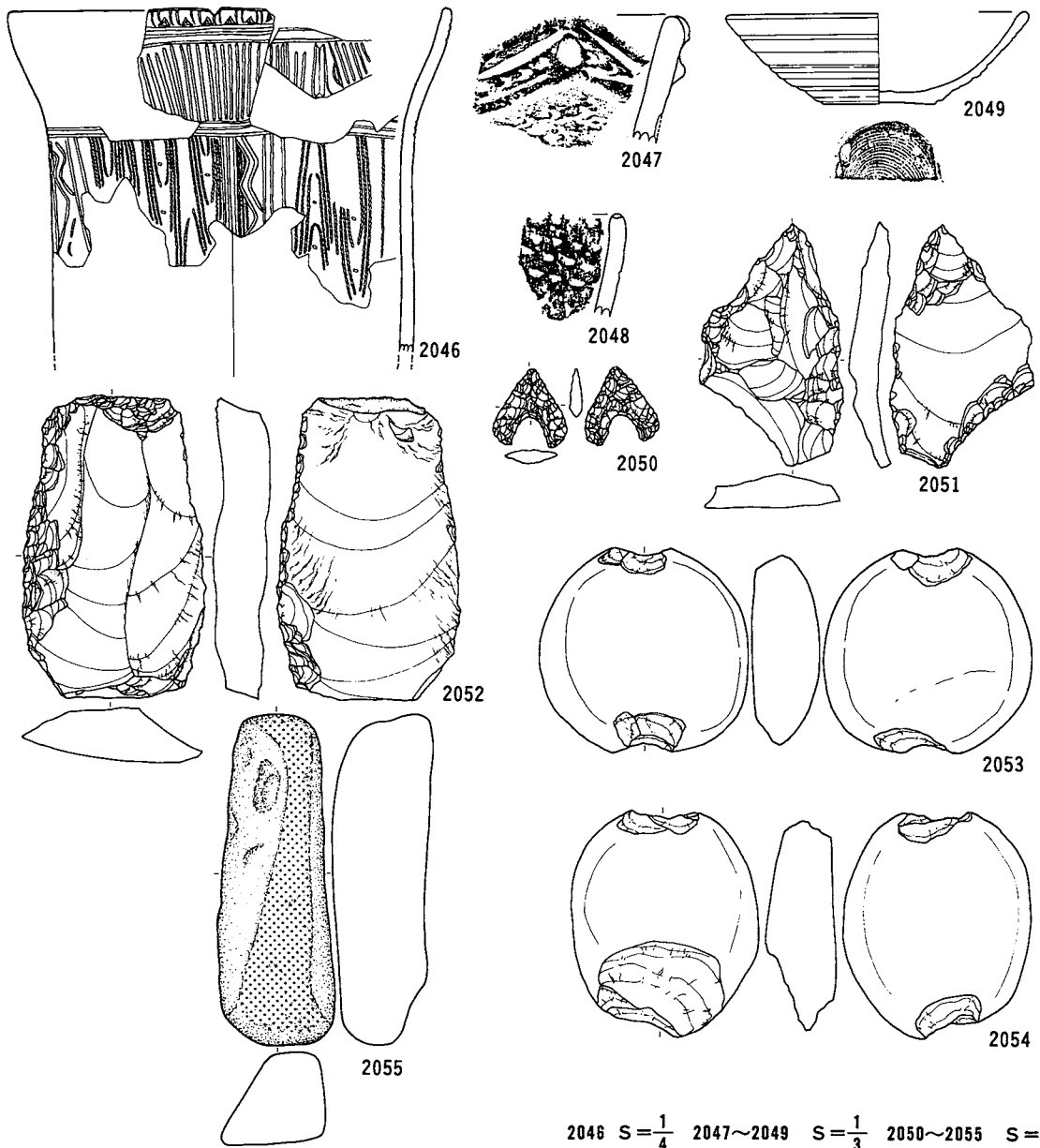
第237図 Ⅲ A 118土坑出土遺物(2)



S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2037	ⅢA118埋土上層	石錘	5.0	6.5	1.8	85.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2038	ⅢA118埋土1層	石錘	7.4	5.3	1.9	80.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2039	ⅢA118埋土3層	石錘	7.6	6.4	1.9	125.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
2040	ⅢA118埋土下層	石錘	7.2	6.6	1.5	100.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
2041	ⅢA118埋土3層	石錘	6.8	6.8	2.1	125.0	デイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	
2042	ⅢA118埋土中層	石錘	7.5	6.7	1.9	140.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
2043	ⅢA118埋土中層	磨石	11.8	4.8	3.6	202.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系中新統	
2044	ⅢA118埋土中層	男根状石製品	4.7	4.2	1.3	30.6	緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2045	ⅢA118埋土3層	珠状耳飾	4.0	2.3	0.5	6.1	緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

第238図 ⅢA118土坑出土遺物(3)

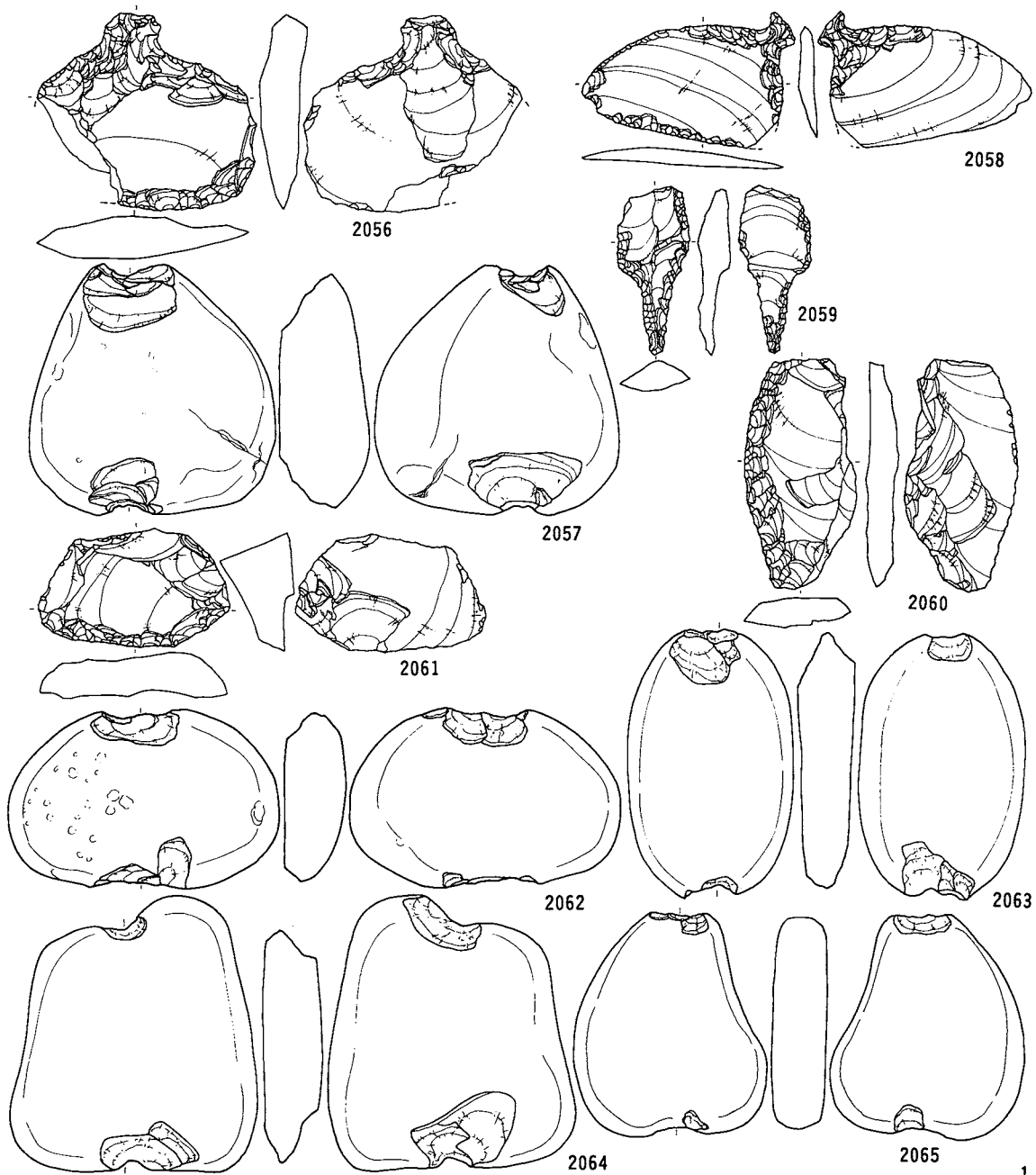


No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2046	Ⅲ A 119・埋土	口～胴部	平縁、上端には縦位の刻目と三角状の刺突、横位の沈線間に連続沈線、木目状燃糸文	深鉢 B20類
2047	Ⅲ A 119・埋土中部	口縁部	波頂部に円形の凹み、その両側に2条の沈線と爪形文	深鉢 B10類
2048	Ⅲ A 119・埋土上部	口縁部	口唇部から口縁部にかけて円形の連続刺突数段	深鉢 B10類

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
2049	Ⅲ A 119・埋土上部	土師器環	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転系切り痕				(13.0)	3.9	4.8	B II a類	

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2050	Ⅲ A 119埋土上部	石鏃	2.2	2.1	0.3	1.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
2051	Ⅲ A 119埋土上部	尖頭器	6.9	2.8	0.9	24.3	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2052	Ⅲ A 119埋土中層	削器	8.6	5.1	1.6	88.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
2053	Ⅲ A 119埋土上部	石鏃	5.8	5.9	2.2	105.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2054	Ⅲ A 119埋土上部	石鏃	6.5	5.3	2.0	45.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2055	Ⅲ A 119埋土上部	すり石	9.4	3.9	2.6	120.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

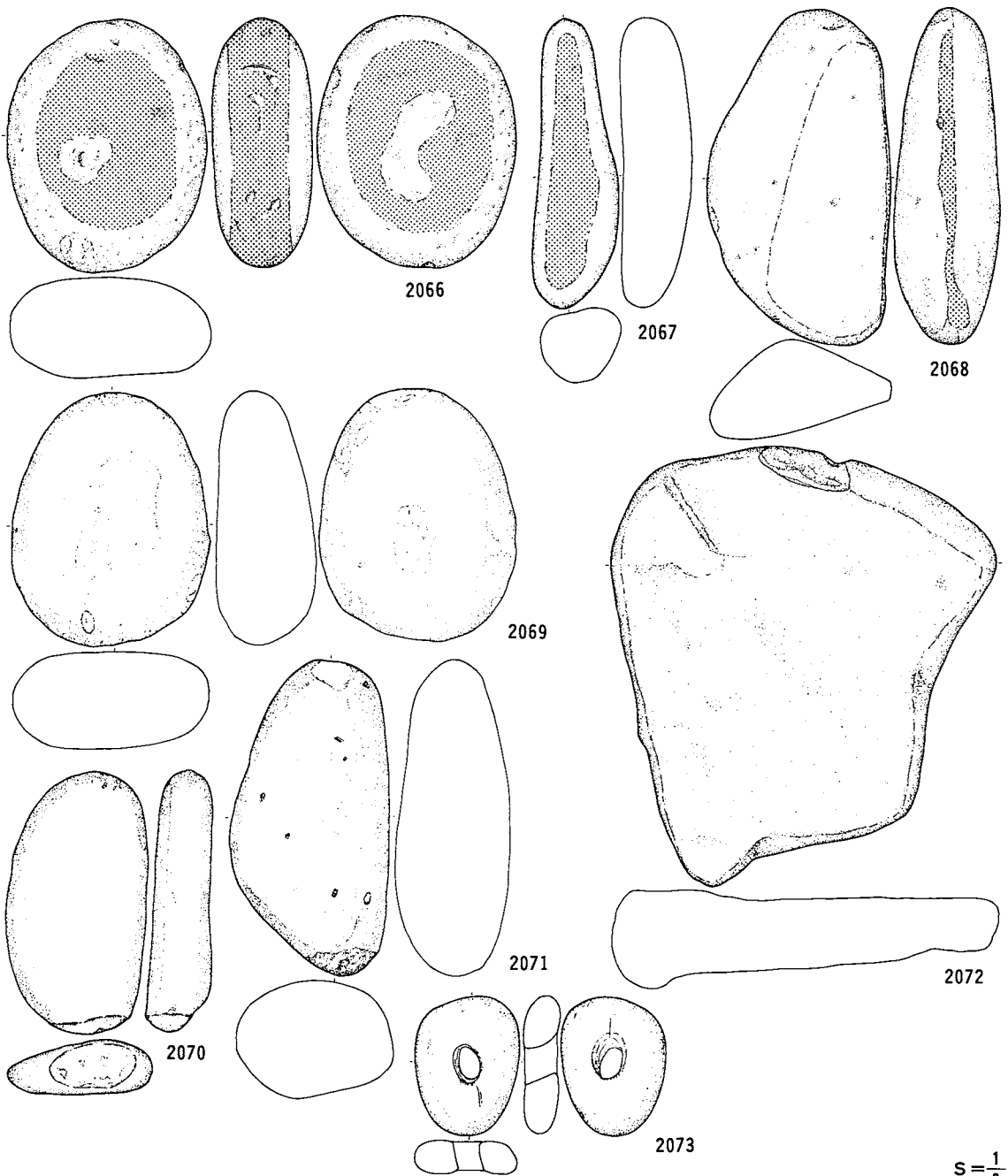
第239図 Ⅲ A 119土坑出土遺物



S = 1/2

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2056	Ⅲ A 120埋土東半	石匙	5.8	6.5	1.2	41.8	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	*
2057	Ⅲ A 121埋土上層	石錘	7.4	7.2	2.6	160.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2058	Ⅲ A 122埋土中層	石匙	5.9	4.8	0.7	12.1	珪質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
2059	Ⅲ A 122埋土	石錘	4.9	2.1	0.9	6.8	珪質泥岩	礫石	新第三系中新統	
2060	Ⅲ A 122埋土下層	削器	6.8	3.2	0.8	24.9	珪質泥岩	礫石	新第三系中新統	
2061	Ⅲ A 122埋土	播器	5.6	3.5	2.0	35.3	珪質泥岩	礫石	新第三系中新統	
2062	Ⅲ A 122埋土下層	石錘	5.3	8.0	2.1	125.0	変質安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2063	Ⅲ A 122埋土1層	石錘	7.9	4.9	1.7	80.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2064	Ⅲ A 122埋土	石錘	8.1	7.4	1.7	155.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2065	Ⅲ A 122埋土下層	石錘	6.7	5.6	1.5	90.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

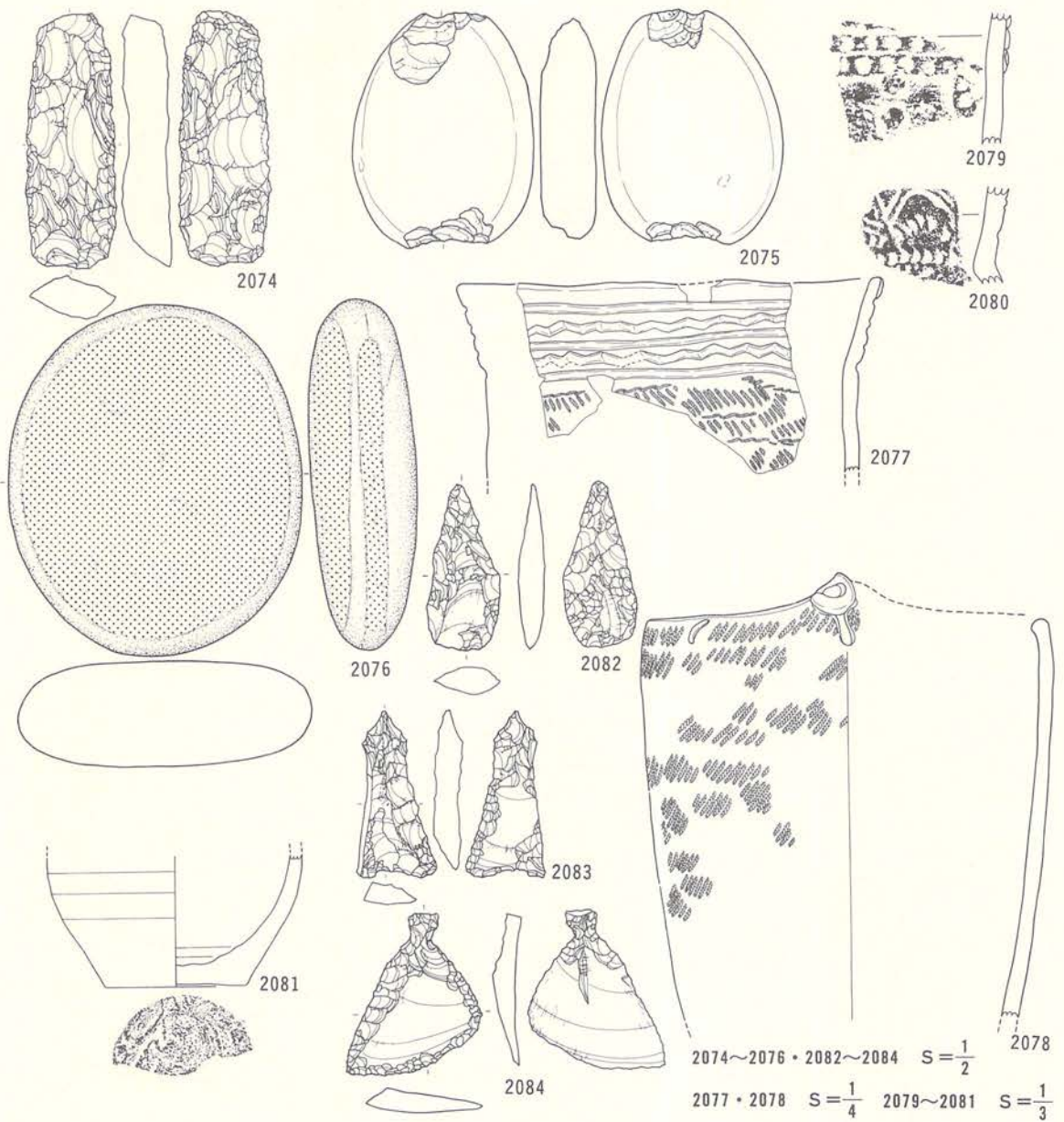
第240図 Ⅲ A 120・121・122土坑出土遺物(1)



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2066	Ⅲ A 122埋土下層	すり石	11.3	9.0	4.4	680.0	花崗閃緑岩	夏油川～仙人	中生界	
2067	Ⅲ A 122埋土下層	すり石	13.0	3.8	3.2	215.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2068	Ⅲ A 122埋土下層	特殊磨石	15.0	8.2	4.2	645.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2069	Ⅲ A 122埋土下層	凹石	11.4	8.9	4.3	650.0	花崗閃緑岩	夏油川～仙人	中生界	
2070	Ⅲ A 122埋土	敲石	11.9	6.5	2.4	310.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2071	Ⅲ A 122埋土下層	敲石	14.2	7.2	5.3	740.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
2072	Ⅲ A 122埋土下層	台石	19.0	20.0	3.1	1530.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
2073	Ⅲ A 122埋土下層	有孔礫	6.3	4.8	1.5	65.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第241図 Ⅲ A 122土坑出土遺物(2)



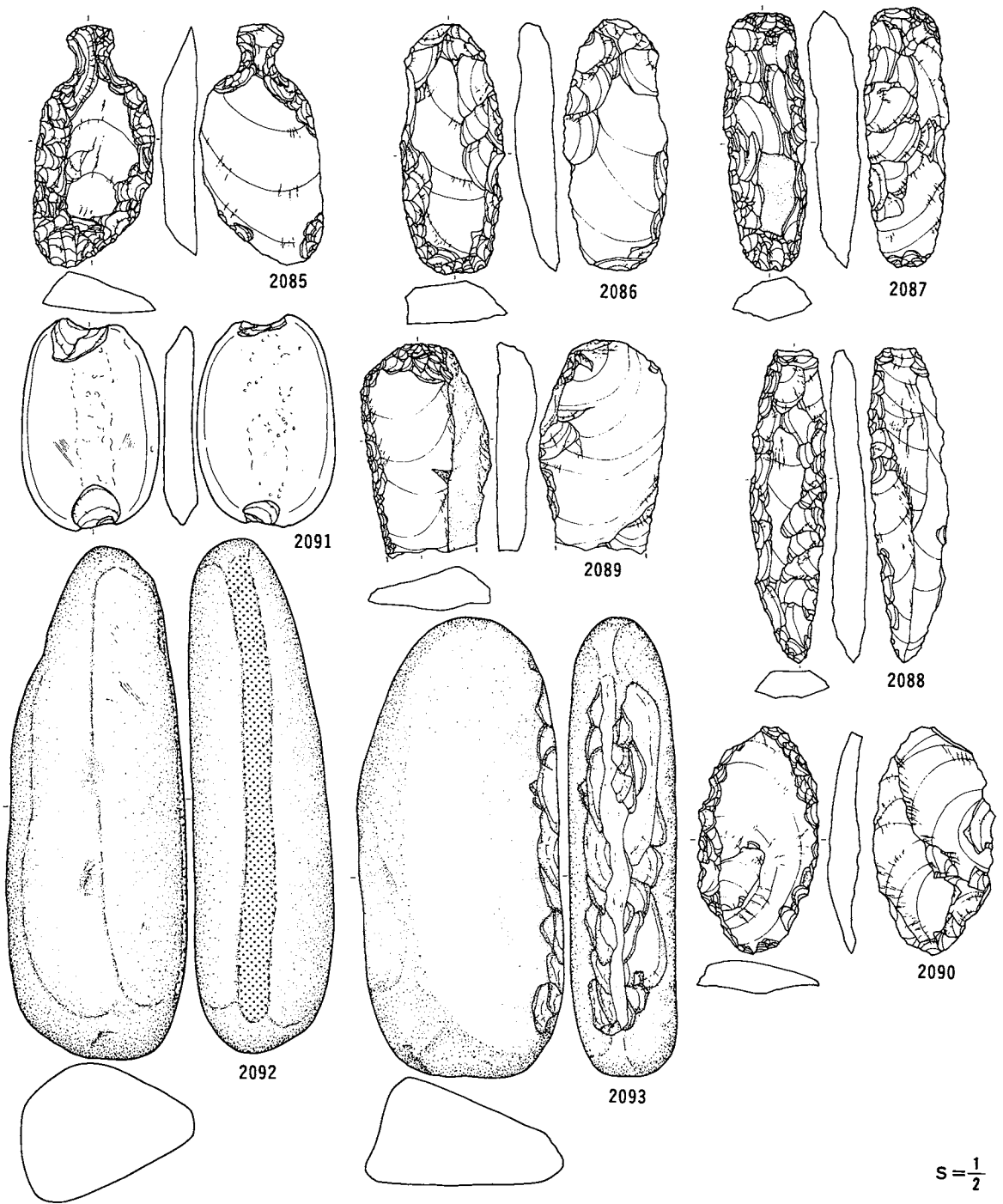
2074~2076・2082~2084 $S = \frac{1}{2}$
 2077・2078 $S = \frac{1}{4}$ 2079~2081 $S = \frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2074	III A 123埋土	石篋	7.4	2.6	1.4	34.1	珉質泥岩	平石	新第三系中新統	
2075	III A 123埋土上部4層	石錘	6.8	5.4	1.7	85.1	珉質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2076	III A 123上層	すり石	10.2	8.5	3.0	390.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
2082	III A 125埋土下層	石鎌	4.9	3.1	0.8	7.4	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2083	III A 125埋土下層	尖頭器	4.8	1.5	0.7	7.1	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2084	III A 125埋土下層	石匙	4.7	4.0	0.9	8.9	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2077	III A 125・埋土	口~胴部	平縁、複合口縁の下に横位や小波状の沈線、結節したR Lヨコ	深鉢B17類
2078	III A 125・埋土4層	口~胴部	平縁、1ヶ所に粘土紐貼付の突起部分、L Rヨコ	深鉢A12類
2079	III A 125・埋土	頸部	連続弾圧がなされた粘土紐が数段巡る、縦位の粘土紐と閉子状粘土塊2個	深鉢A18類
2080	III A 125・埋土	頸部	山形や斜位の平行沈線文、連続爪形文、L Rヨコ	深鉢B10類

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
2081	III A 125・埋土4層	土師器甕	ロクロ	-	ロクロ痕	回転糸切り痕	-	-	ロクロ痕	-	(5.7)	6.2	B II類	

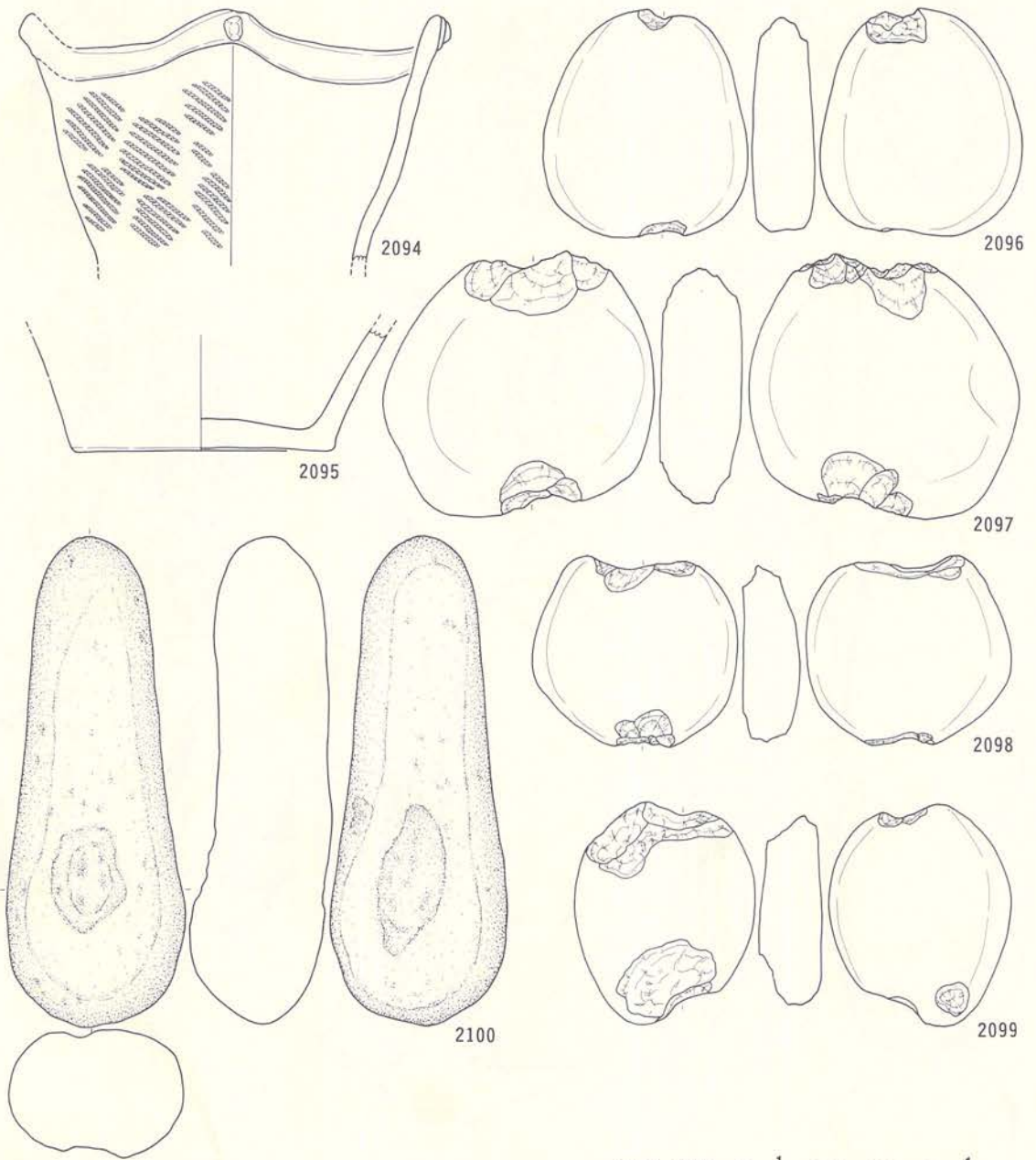
第242図 III A 123・125土坑出土遺物(1)



$s = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2085	III A 125埋土3層	石匙	7.5	3.8	1.1	34.5	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	
2086	III A 125埋土南半	石筥	7.7	3.2	1.2	41.3	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	
2087	III A 125埋土南半	石筥	8.0	2.6	1.4	32.5	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	
2088	III A 125埋土中層	石筥	9.7	2.3	1.0	29.6	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	
2089	III A 125埋土中層	削器	6.6	3.8	1.2	44.6	珪質泥岩	礫石	新第三系中新統	*
2090	III A 125埋土中層	削器	3.7	6.9	0.9	30.6	硬質泥岩	奥羽山地礫石	新第三系中新統	
2091	III A 125埋土2層	石鏟	6.5	4.3	1.0	40.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2092	III A 125埋土4層	特殊磨石	16.0	5.6	3.9	520.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2093	III A 125埋土南半	半円状偏平片状石器	14.3	6.1	3.2	455.0	濃緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第243図 III A 125土坑出土遺物(2)

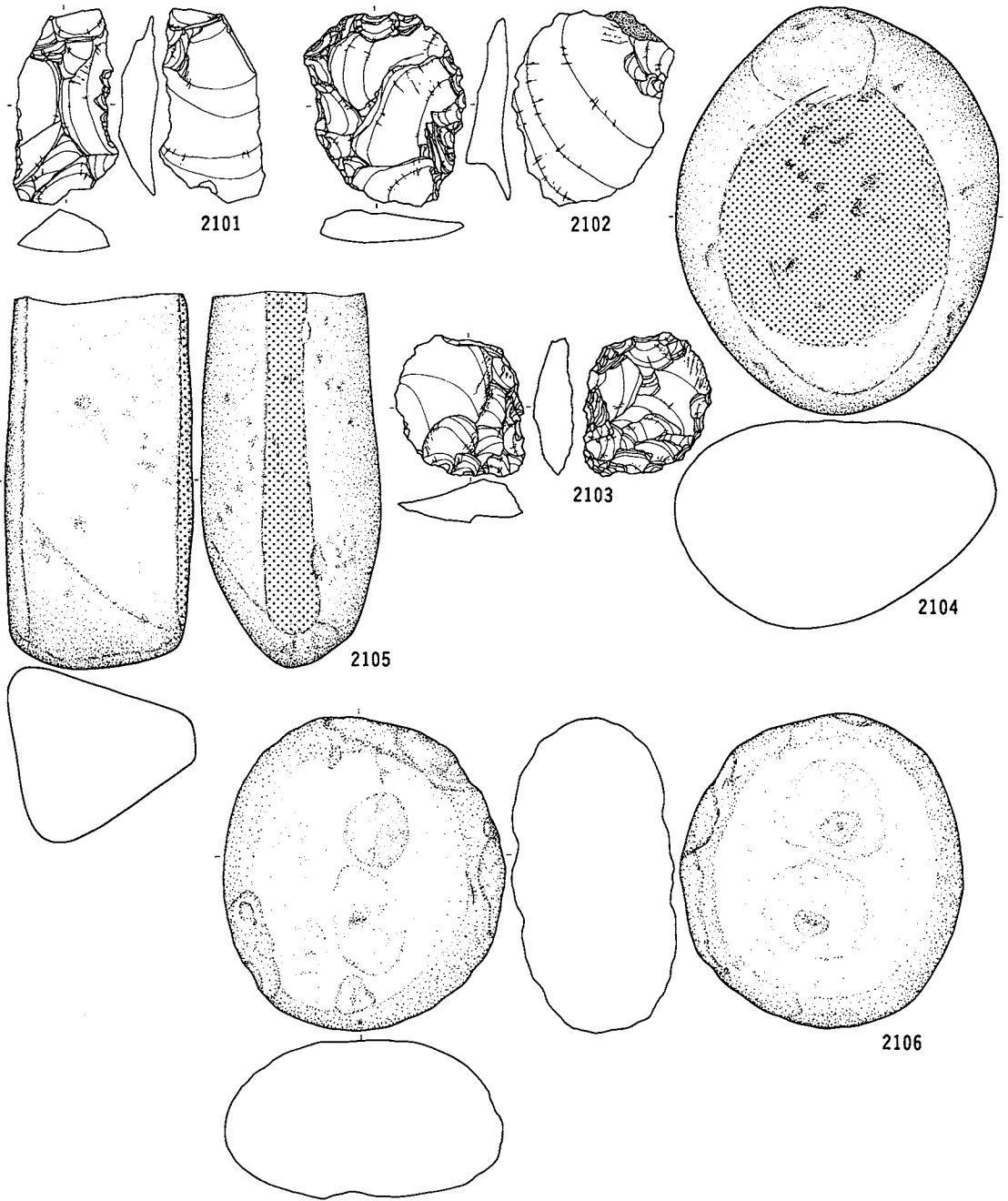


$$2094 \cdot 2095 \quad S = \frac{1}{4} \quad 2096 \sim 2100 \quad S = \frac{1}{2}$$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2094	III A 127・埋土	口～胴部	4単位の波状口縁、複合口縁上の各波頂部には円形の粘土塊貼付、LRタテ	深鉢C12類
2095	III A 127・埋土中部	胴～底部	無文	深鉢

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2096	III A 127埋土中層	石鉢	6.6	5.9	1.7	110.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2097	III A 127埋土3層	石鉢	7.4	7.7	2.6	220.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2098	III A 127埋土1層	石鉢	5.5	6.0	1.9	90.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2099	III A 127埋土1層	石鉢	6.4	5.2	2.6	90.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2100	III A 127埋土2層	凹石	14.1	5.1	3.2	335.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

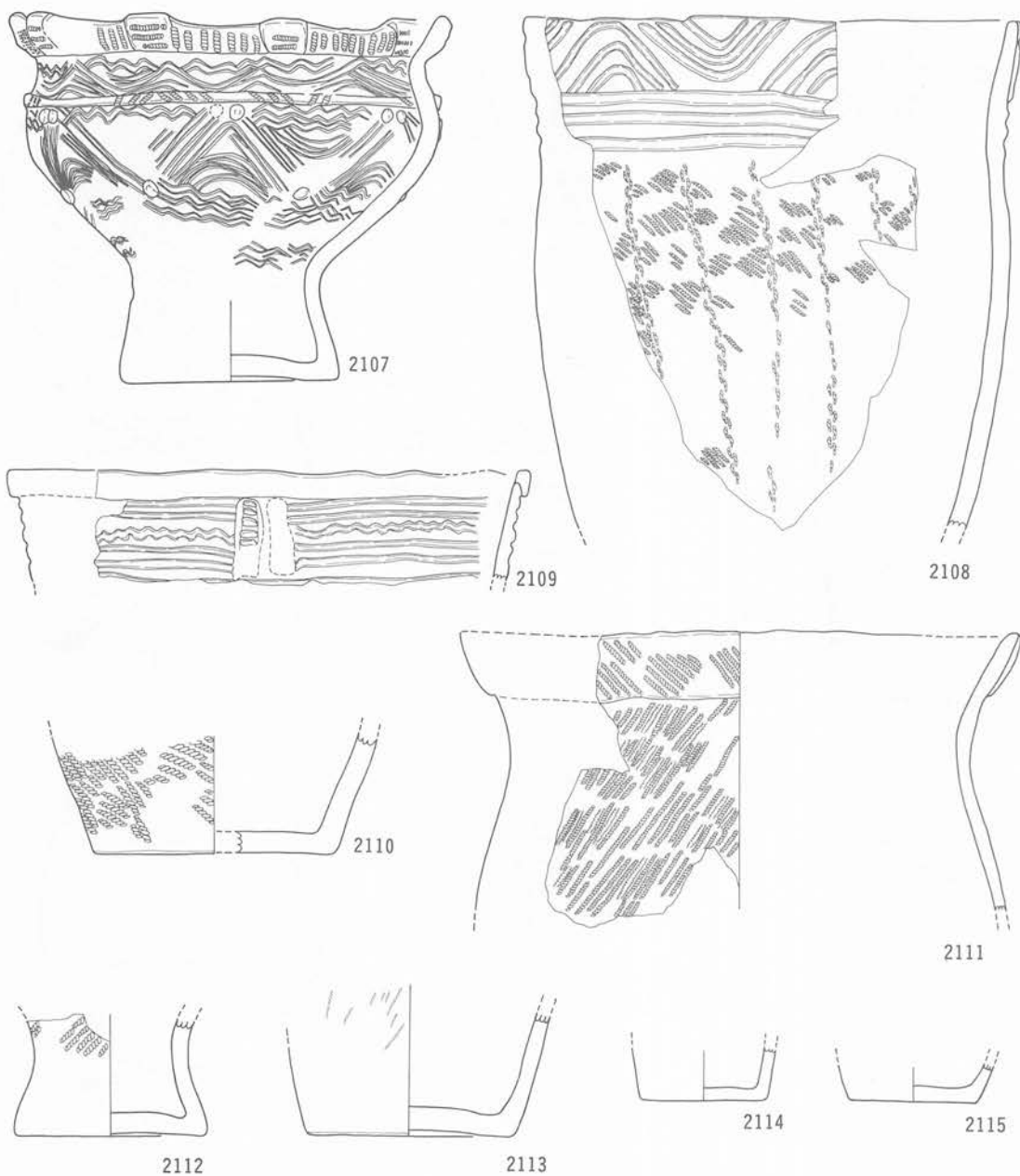
第244図 III A 127土坑出土遺物



s = $\frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2101	ⅢA128埋土西半	鋸齒状石器	5.7	3.0	1.1	12.5	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2102	ⅢA128埋土東半	鋸齒状石器	5.8	4.8	1.1	27.8	硬質泥岩	奥羽山地磐石	新第三系中新統	
2103	ⅢA128埋土	ピエス・エスキーユ	4.1	3.7	1.1	18.4	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	
2104	ⅢA128埋土	すり石	11.8	9.5	6.0	825.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
2105	ⅢA128埋土東半	特殊磨石	11.0	5.5	5.0	475.0	濃緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
2106	ⅢA128埋土東半	凹石	9.2	8.1	4.6	510.0	花崗閃緑岩	夏油川～仙人	中生界	

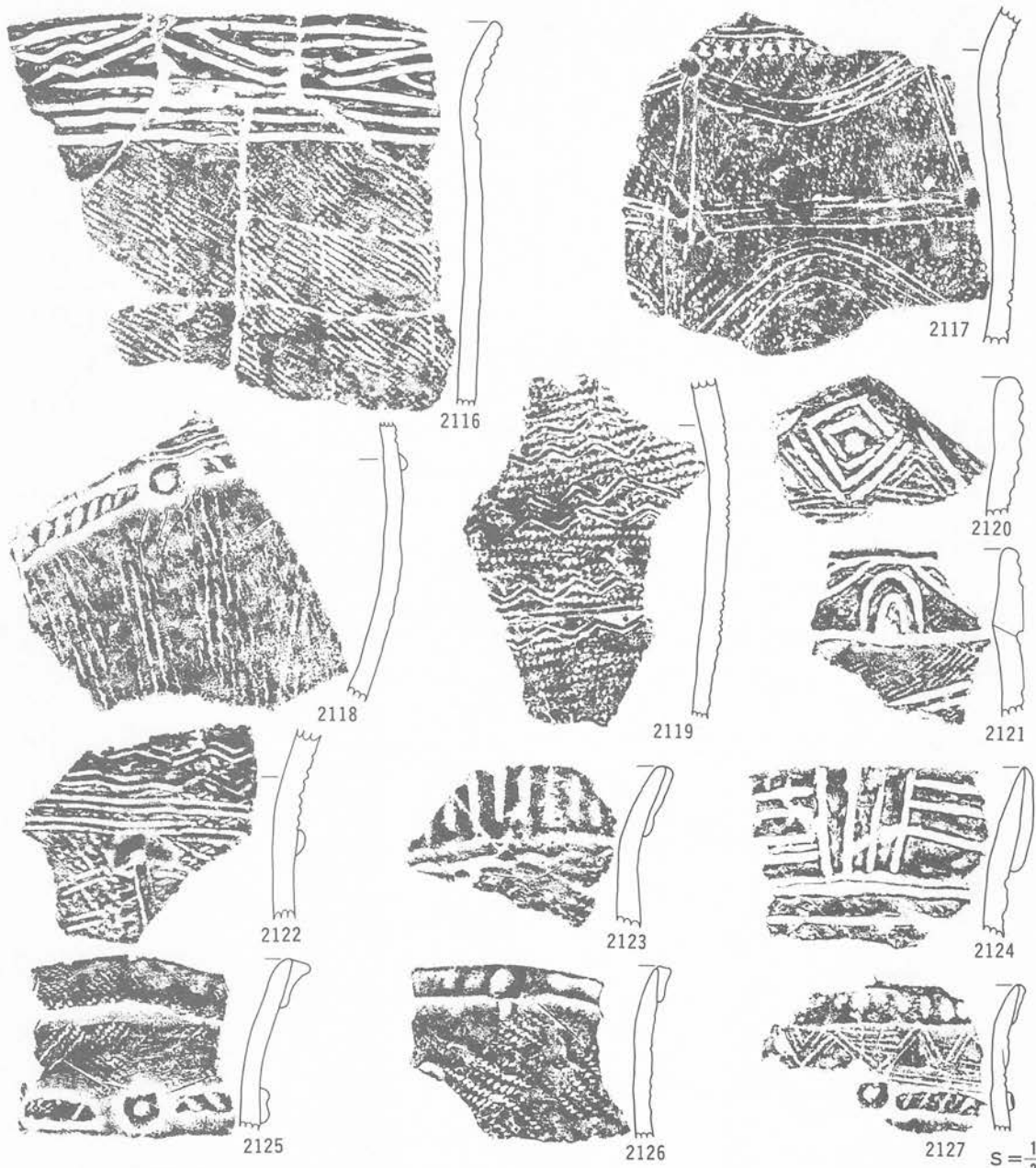
第245図 ⅢA128土坑出土遺物



S = $\frac{1}{4}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2107	ⅢA 129・埋土下部	口～底部	平縁で10単位の突起。突起部分は横位その間は縦位の絡条体圧痕、平行沈線文、ボタン状貼付	深鉢C 8類
2108	ⅢA 129・埋土中部	口～胴部	平縁、口縁部粘土帯上に山形逆山形の連続沈線、横位の沈線3条、LR(結束第2種)タテ	深鉢B15類
2109	ⅢA 129・埋土	口縁部	平縁、複合口縁の下に横位や小波状の沈線、刻目を持つ粘土紐貼付	深鉢A17類
2110	ⅢA 129・埋土中部	胴～底部	LRタテ	深鉢B12類
2111	ⅢA 129・埋土中部	口～胴部	平縁、複合口縁上にはRLヨコ、胴部にはRLタテ	深鉢B12類
2112	ⅢA 129・埋土下部	胴～底部	LRヨコ	深鉢C12類
2113	ⅢA 129・埋土中部	胴～底部	絡条体rタテ	深鉢12類
2114	ⅢA 129・埋土中部	胴～底部	無文	深鉢
2115	ⅢA 129・埋土下部	胴～底部	〃	深鉢

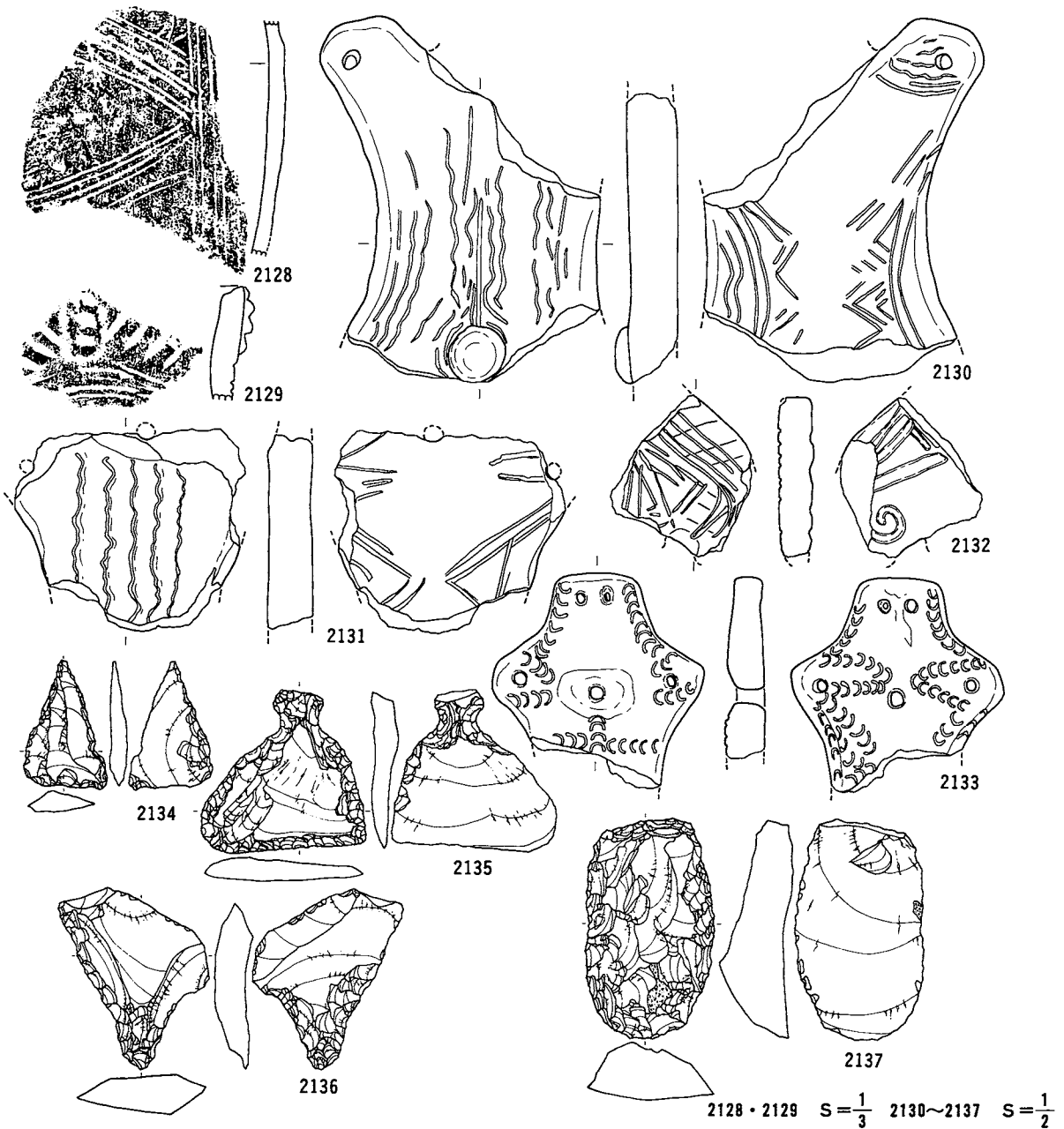
第246図 Ⅲ A 129土坑出土遺物(1)



No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2116	ⅢA129・埋土上部	口～胸部	口縁部から頸部にかけて横位や斜位の沈線、結束したLRタテ	深鉢B6類
2117	ⅢA129・埋土下部	頸～胸部	連続爪形文、横位や縦位や弧状の平行沈線文、団子状粘土塊貼付、LRヨコ	深鉢B7類
2118	ⅢA129・埋土中部	胸部	平行沈線文、ボタン状貼付、斜位押圧の粘土紐、絡条体rタテ	深鉢B6類
2119	ⅢA129・埋土下部	胸部	波状や横位の平行沈線文、LRナナメ	深鉢B7類
2120	ⅢA129・埋土下部	口縁部	波頂部に円形の押圧、その外側に菱形状の沈線、斜位の沈線、LRナナメ	深鉢B6類
2121	ⅢA129・埋土中部	口縁部	横位や斜位や逆U字状の沈線、LRヨコ	深鉢A6類
2122	ⅢA129・埋土中部	頸部	波状や横位の平行沈線文、弧状の粘土紐貼付、羽状（結束第1種）タテ	深鉢B7類
2123	ⅢA129・埋土中部	口～頸部	口縁部の粘土帯上に縦位の連続沈線、その下に小波状の沈線	深鉢B13類
2124	ⅢA129・埋土中部	口～頸部	口縁部の粘土帯上に縦位や横位の沈線、その下に横位の沈線	深鉢B6類
2125	ⅢA129・埋土中部	口～頸部	複合口縁上にLRタテ、その下にLRタテ、ヨコ、ボタン状貼付、斜位押圧の粘土紐貼付	深鉢B12類
2126	ⅢA129・埋土中部	口～胸部	複合口縁上に浅い連続押圧、LRタテ	深鉢A12類
2127	ⅢA129・埋土下部	口～頸部	複合口縁上に円形の連続押圧、山形や横位の平行沈線文、ボタン状貼付、斜位押圧の粘土紐貼付	深鉢B6類

S = $\frac{1}{3}$

第247図 ⅢA129土坑出土遺物(2)



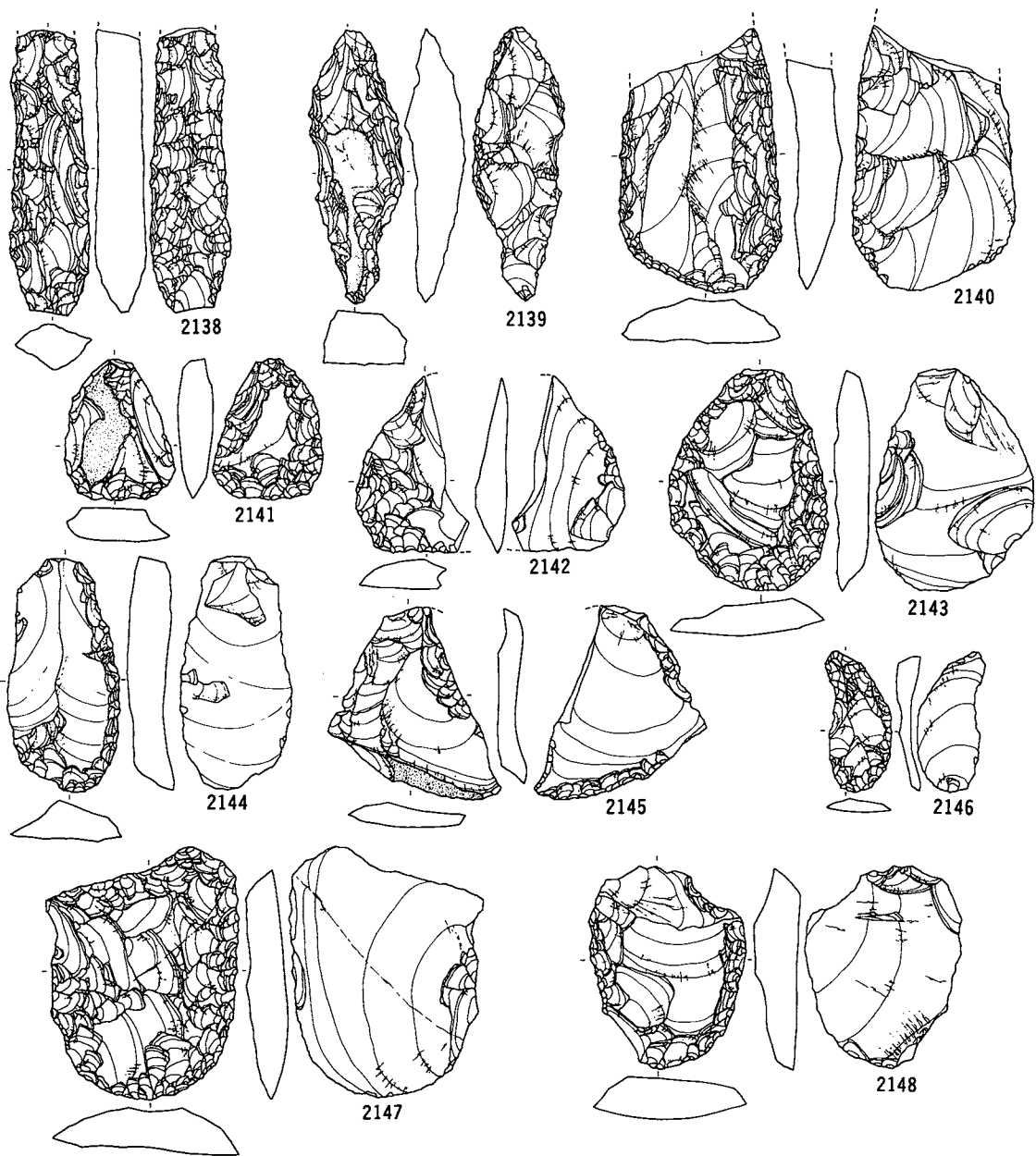
2128・2129 $S = \frac{1}{3}$ 2130~2137 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2128	ⅢA 129・埋土中部	胴部	縦位や斜位の平行沈線文	深鉢 B7類
2129	ⅢA 129・埋土下部	口縁部	波頂部に刻目を持つ粘土紐貼付、その両側に斜位の沈線、平行沈線文	深鉢 B14類

No.	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他
2130	ⅢA 129・埋土中部	板状土偶	10.8	8.4	1.5	胴部残存、両面に平行沈線文、へその部分に粘土塊貼付、腕の先端に径5mm程の小孔
2131	ⅢA 129・埋土	板状土偶	5.9	6.8	1.3	胴部残存、表に波状裏に斜位の沈線、径4~5mmの小孔2個
2132	ⅢA 129・埋土上部	板状土偶	4.9	4.4	1.0	脚部片、表に平行沈線文、裏に太い沈線
2133	ⅢA 129・埋土中部	板状土偶	6.5	6.4	1.2	胴上部残存、両面に半截竹管による連続爪形文、径2~4mmの小孔5個

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2134	ⅢA 129埋土	尖頭器	3.8	2.5	0.6	3.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2135	ⅢA 129埋土下層	石匙	5.0	5.0	0.7	17.6	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2136	ⅢA 129埋土西半下層	石鏃	5.4	3.9	1.2	21.4	硬質泥岩	奥羽山地隼石	新第三系中新統	
2137	ⅢA 129埋土下層	石筥	6.6	3.9	1.9	56.8	珪質泥岩	隼石	新第三系中新統	

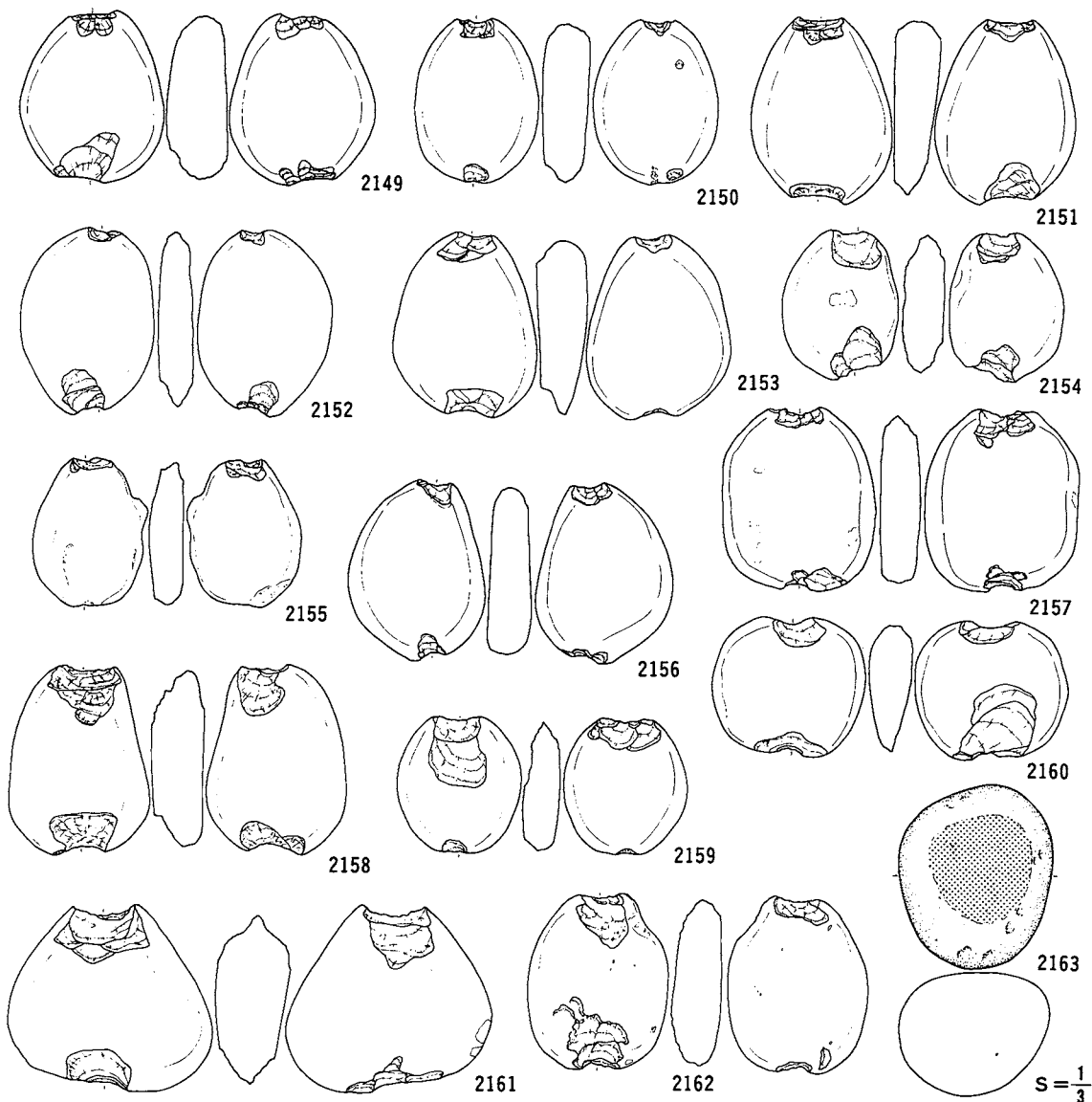
第248図 ⅢA 129土坑出土遺物(3)



$$S = \frac{1}{2}$$

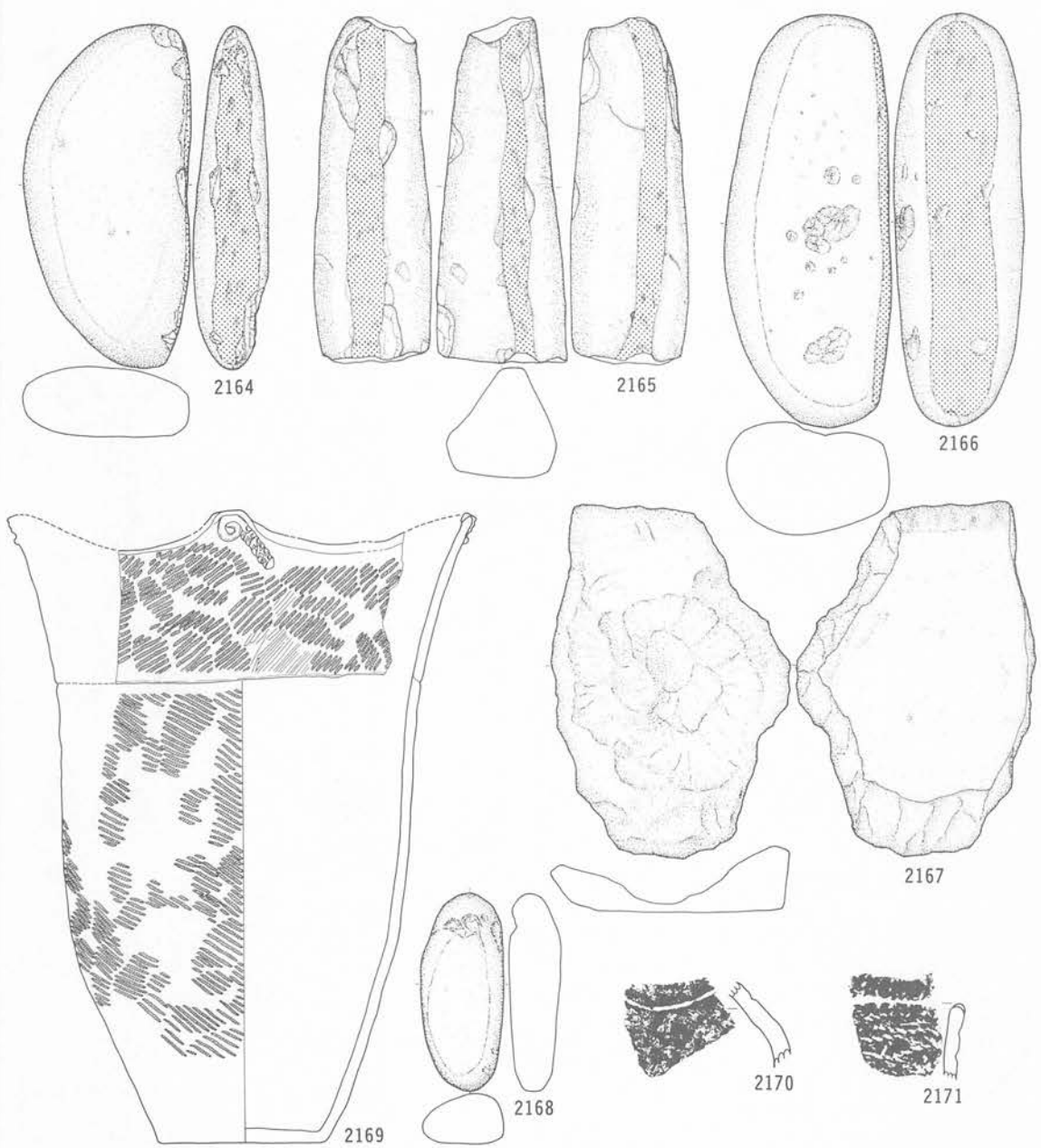
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2138	Ⅲ A 129埋土上層	石篋	8.3	2.2	1.4	30.5	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
2139	Ⅲ A 129埋土上層	石篋	7.9	2.4	1.6	31.6	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
2140	Ⅲ A 129埋土	削器	7.6	4.6	1.2	54.1	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	*
2141	Ⅲ A 129埋土下層	三角削器	4.1	3.2	1.0	14.9	硬質泥岩	奥羽山地(雫石)	新第三系中新統	
2142	Ⅲ A 129埋土西半下層	削器	5.0	3.2	0.9	10.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
2143	Ⅲ A 129埋土下層	削器	6.3	4.6	1.0	32.8	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
2144	Ⅲ A 129埋土	削器	6.8	3.2	1.1	28.7	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
2145	Ⅲ A 129埋土西半下層	削器	5.9	4.6	0.8	17.6	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
2146	Ⅲ A 129埋土下層	搔器	4.0	1.8	0.6	4.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
2147	Ⅲ A 129埋土下層	削器	7.2	5.6	1.3	56.4	硬質泥岩	奥羽山地(雫石)	新第三系中新統	
2148	Ⅲ A 129埋土下層	削器	5.8	4.5	1.2	34.8	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	

第249図 Ⅲ A 129土坑出土遺物(4)



No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2149	ⅢA 129埋土西半下層	石錘	7.0	6.0	2.6	165.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2150	ⅢA 129埋土中層	石錘	6.8	5.2	1.9	90.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2151	ⅢA 129埋土上層	石錘	8.2	5.7	1.9	100.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2152	ⅢA 129埋土上層 P 1	石錘	7.7	5.6	1.6	95.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2153	ⅢA 129埋土西半中層	石錘	7.7	6.0	2.0	140.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2154	ⅢA 129埋土下層	石錘	6.2	4.8	1.7	80.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2155	ⅢA 129埋土下層	石錘	6.3	4.6	1.5	60.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
2156	ⅢA 129埋土上層	石錘	7.5	5.7	2.0	120.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2157	ⅢA 129埋土上層	石錘	7.7	6.3	1.8	120.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2158	ⅢA 129埋土上層	石錘	7.9	5.8	2.2	140.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2159	ⅢA 129埋土下層	石錘	5.7	5.1	1.6	70.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2160	ⅢA 129埋土中位	石錘	5.9	6.3	1.8	95.1	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2161	ⅢA 129埋土下層	石錘	7.8	8.5	3.0	230.0	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2162	ⅢA 129埋土上層	石錘	7.3	5.8	2.2	135.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2163	ⅢA 129埋土下層	すり石	7.6	6.3	5.1	385.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	

第250図 ⅢA 129土坑出土遺物(5)

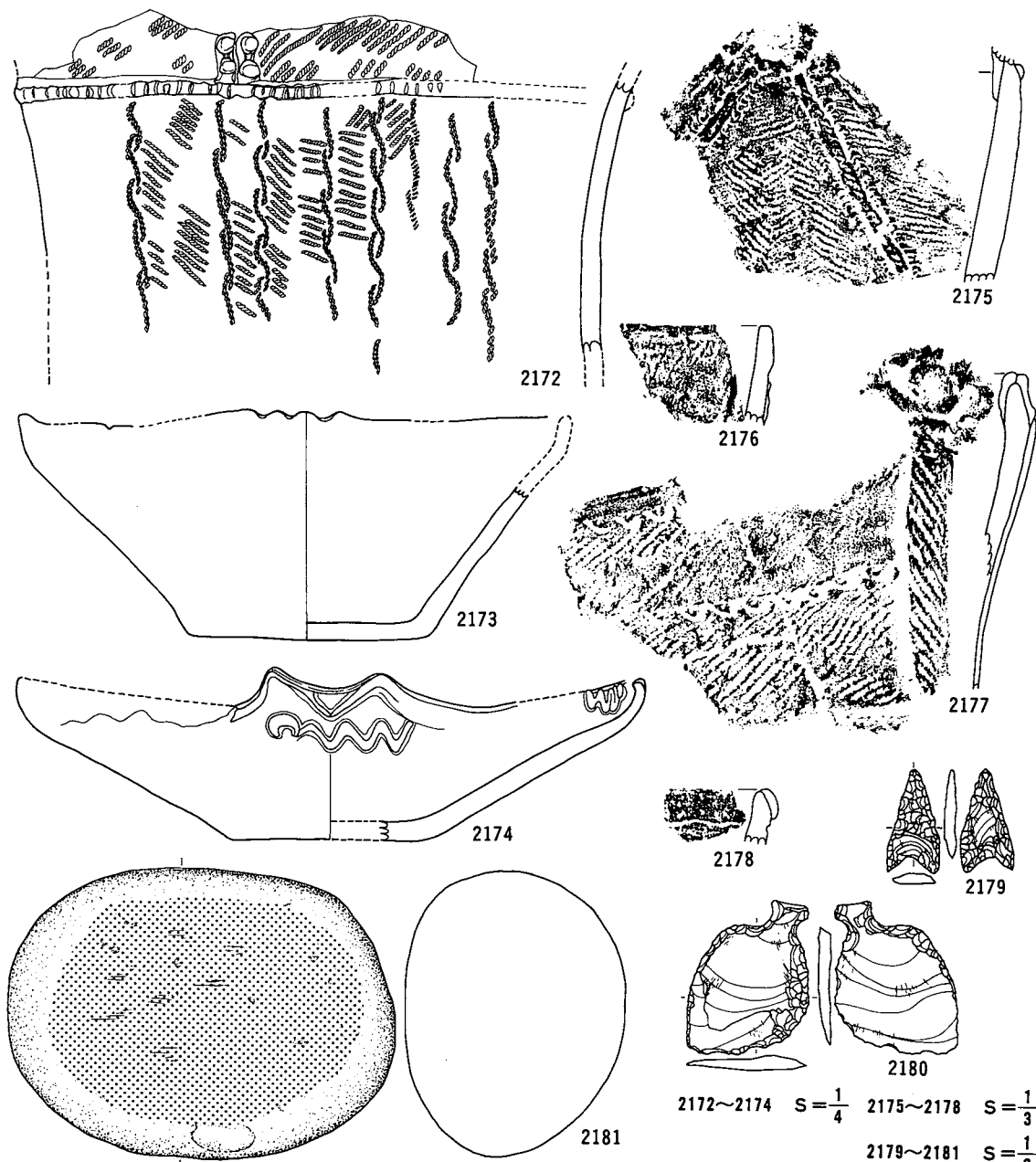


2164~2168・2170・2171 $S = \frac{1}{3}$ 2169 $S = \frac{1}{6}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2164	ⅢA129埋土下層	特殊磨石	15.4	7.4	3.1	470.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2165	ⅢA129埋土下層	特殊磨石	15.1	5.6	4.8	570.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
2166	ⅢA129埋土中層	特殊磨石	18.1	73.3	4.9	1080.0	プロビライト	奥羽山地	新第三系中新統	
2167	ⅢA129埋土上層	石皿	15.5	10.5	2.7	430.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
2168	ⅢA129埋土下層	敲石	8.7	3.6	2.2	95.1	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2169	ⅢA135・埋土	口~底部	4単位の波状口縁、波頭部に渦巻状から斜位にのびる粘土紐貼付、粘土紐上に爪形文、LRタテ	深鉢B12類
2170	ⅢA131・埋土	胴部	弧状の沈線	深鉢
2171	ⅢA131・埋土	口縁部	口唇部と口縁部にLRの原体圧痕	深鉢16類

第251図 ⅢA129(6)・131・135土坑出土遺物(1)

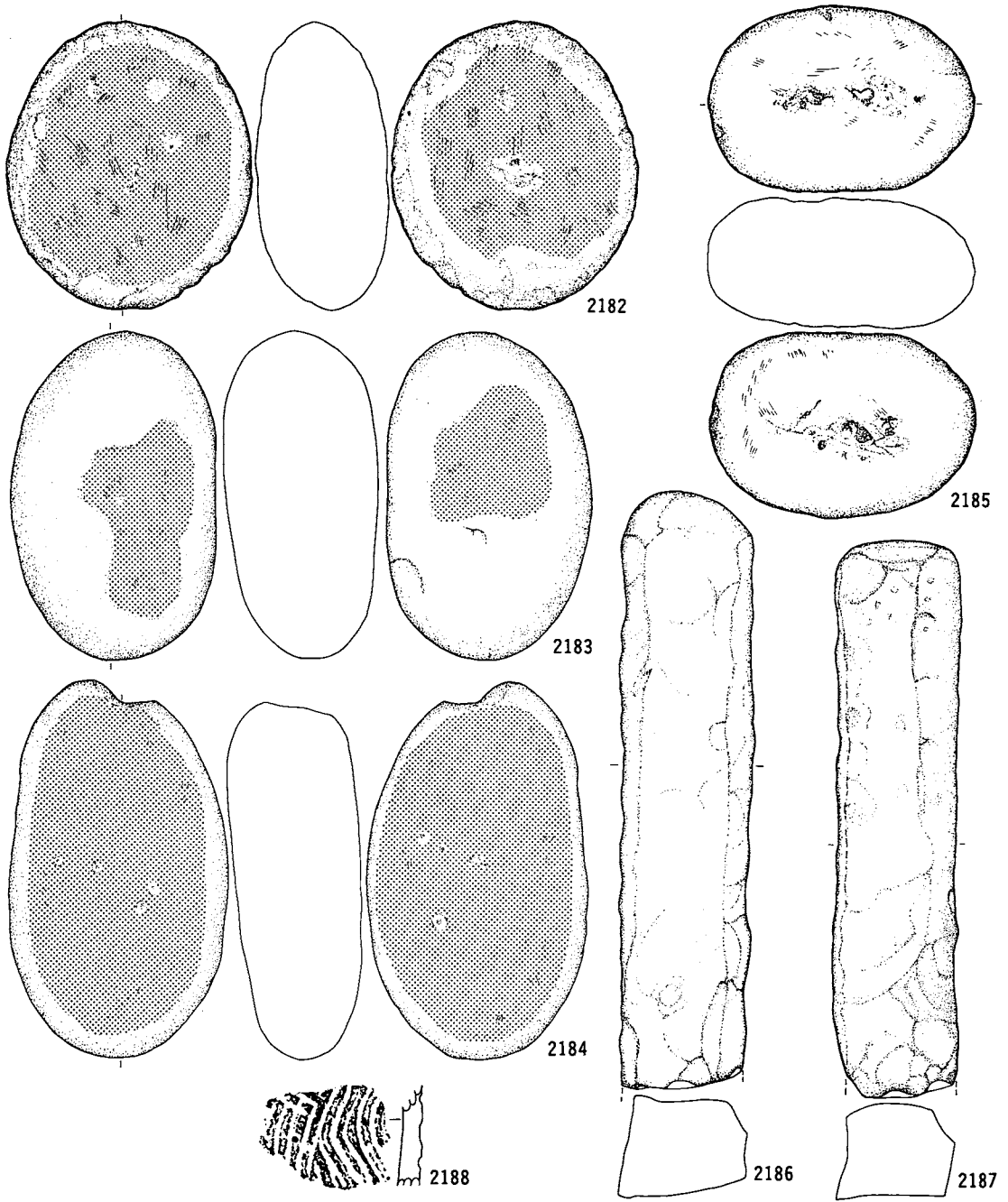


2172~2174 $S = \frac{1}{4}$ 2175~2178 $S = \frac{1}{3}$
 2179~2181 $S = \frac{1}{2}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2172	III A 135・埋土3層	頸~胴部	連続押圧の粘土紐縦位に2本、刻目を持つ粘土紐横位に1本、LRヨコ、結節のLR・RLタテ	深鉢 B15類
2173	III A 135・埋土3層	口~底部	4単位ほどの小波状突起	浅鉢
2174	III A 135・埋土3層	口~底部	2山状の突起が1ヶ所、口唇部に粘土帯、口縁部に鋸歯状や弧状の粘土紐	浅鉢 6類
2175	III A 135・埋土1・2層	口縁部	裏側に粘土帯、波頂部にドーナツ状の粘土紐、末広がりの粘土紐、両側に爪形文、LR・RLヨコ	深鉢 B18類
2176	III A 135・埋土1・2層	口縁部	粘土紐縦位に貼付、Lヨコ	深鉢
2177	III A 135・埋土1・2層	口縁部	波頂部の表と裏に渦巻状の粘土紐、縦位の粘土帯上にLRタテ、それ以外は末端結節のLRヨコ	深鉢 B18類
2178	III A 135・埋土4層	口縁部	複合口縁	深鉢

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2179	III A 135埋土下層	石鏃	3.0	1.5	1.4	1.7	硬質泥岩	川尻以西○r 隼石西部	新第三系中新統	
2180	III A 135埋土下層	石鏃	4.4	3.5	0.4	7.4	硬質泥岩	川尻以西○r 隼石西部	新第三系中新統	
2181	III A 135埋土4層	すり石	11.3	8.4	6.3	920.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	

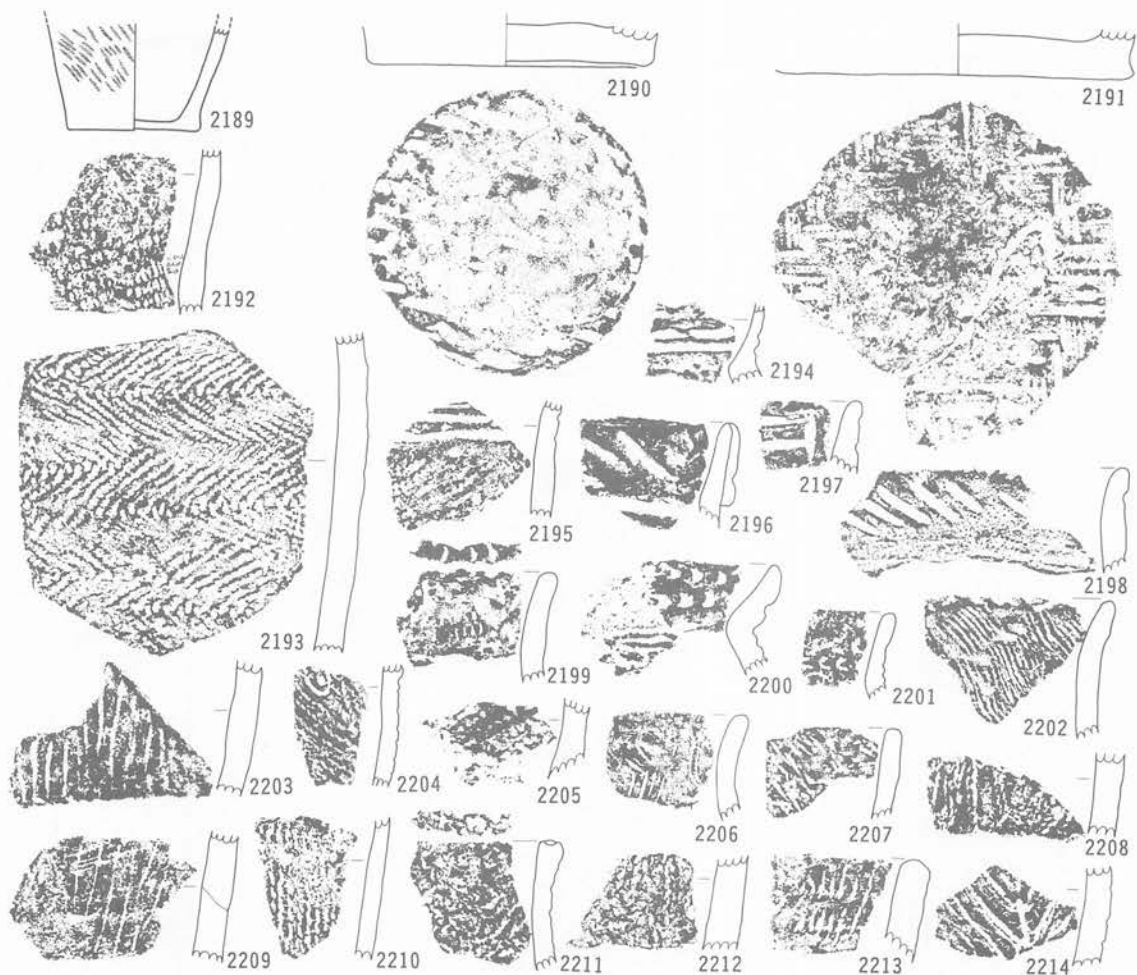
第252図 III A 135土坑出土遺物(2)



No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2182	ⅢA135埋土3層	すり石	12.6	11.9	5.8	1100.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	
2183	ⅢA135埋土下層	すり石	14.4	9.0	6.7	1310.0	花崗閃緑岩	夏油川	中生界	
2184	ⅢA135埋土3層	すり石	16.8	9.6	5.8	1360.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2185	ⅢA135埋土3層	凹石	11.5	8.1	6.0	820.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	
2186	ⅢA135埋土下層	石柱	26.3	6.1	4.6	1150.0	流紋岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
2187	ⅢA135埋土4層	石柱	24.5	5.1	4.0	890.0	流紋岩	川尻付近	新第三系中新統	*

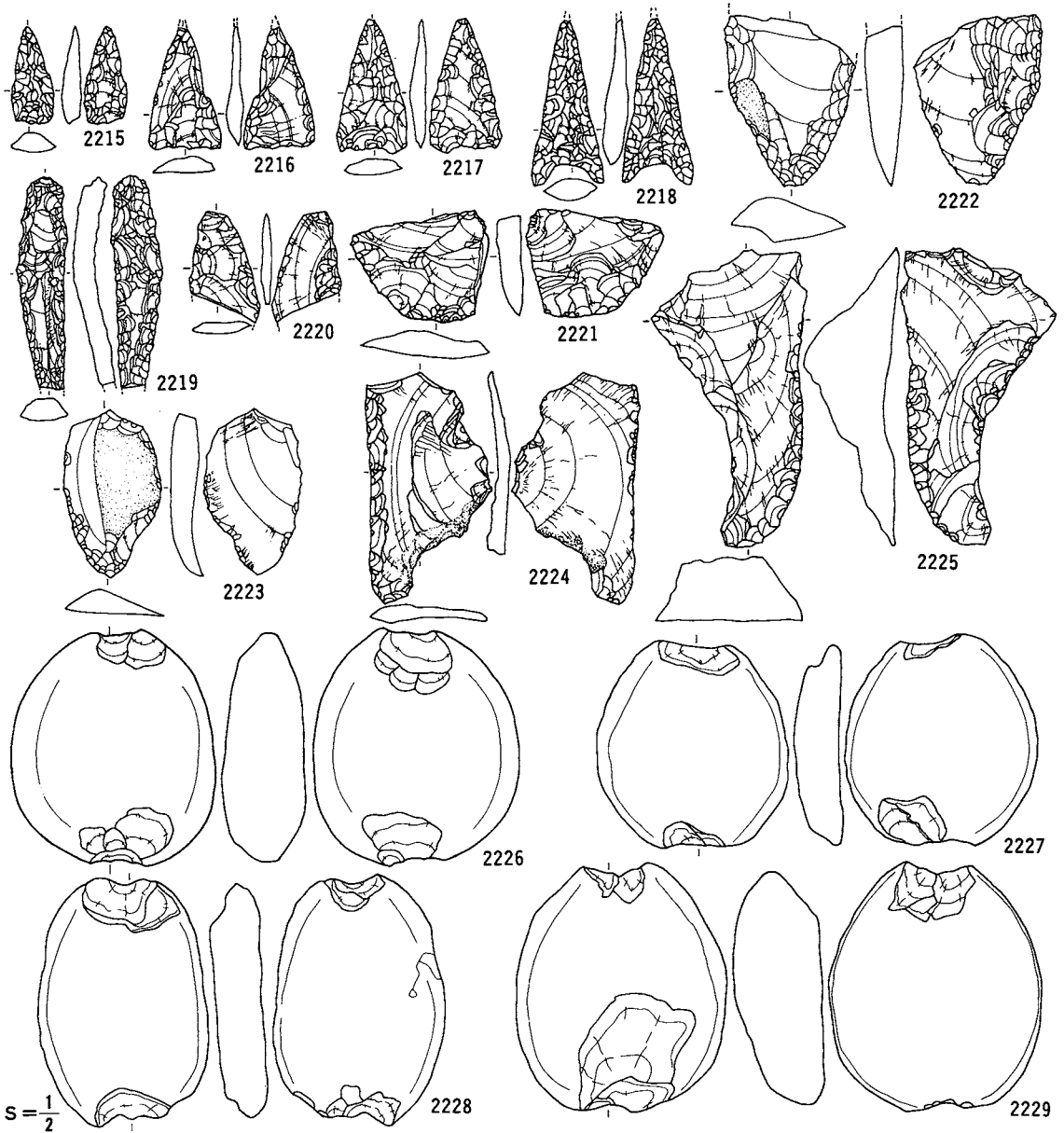
No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2188	ⅢA137・埋土	胴部	斜位や弧状の平行沈線文	深鉢7類

第253図 ⅢA135(3)・137土坑出土遺物



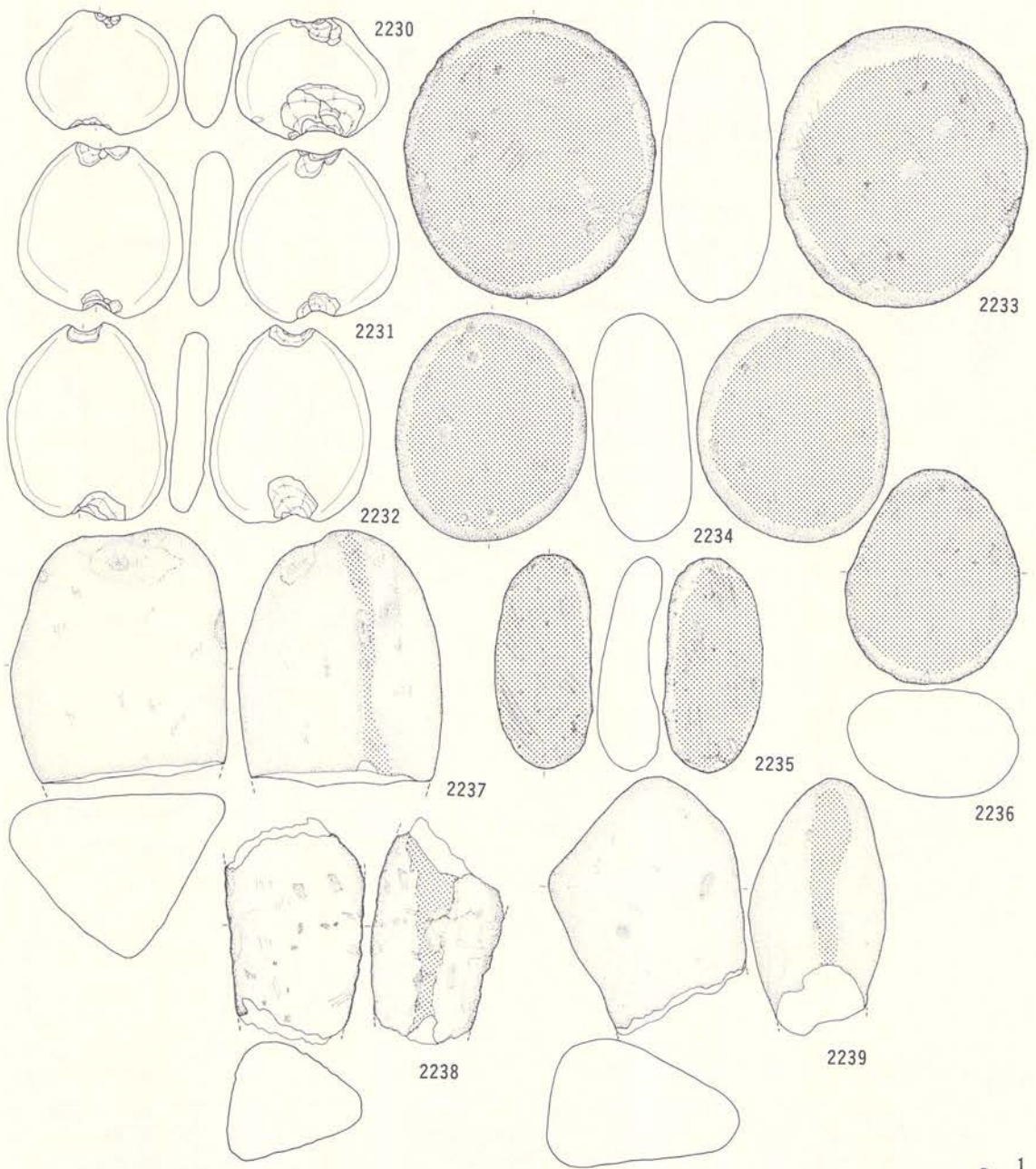
No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2189	ⅢA138・埋土1層	胴～底部	Lタテ	深鉢12類
2190	ⅢA138・埋土上部	底部	網代痕	深鉢
2191	ⅢA138・埋土中部	底部	網代痕	深鉢
2192	ⅢA138・埋土最下部	胴部	L Rヨコ	深鉢12類
2193	ⅢA138・埋土中部	胴部	羽状(結束第1種)ヨコ	深鉢15類
2194	ⅢA138・埋土中部	頸部	横位の連続沈線	深鉢6類
2195	ⅢA138・埋土最下部	頸～胴部	横位の沈線2条、L Rヨコ	深鉢6類
2196	ⅢA138・埋土4層	口縁部	口縁部粘土帯上に斜位の連続沈線	深鉢14類
2197	ⅢA138・埋土中部	口縁部	横位や縦位の沈線	深鉢6類
2198	ⅢA138・埋土中部	口縁部	斜位や横位の沈線	深鉢14類
2199	ⅢA138・埋土中部	口縁部	口唇部に連続した刻目、R Lヨコ	深鉢12類
2200	ⅢA138・埋土上部	口縁部	連続爪形文が2段、横位の連続沈線	深鉢C10類
2201	ⅢA138・埋土中部	口縁部	半截竹筥による連続爪形文横位に2段	深鉢10類
2202	ⅢA138・埋土2層	口縁部	絡糸体Rタテ	深鉢4類
2203	ⅢA138・埋土4層	胴部	絡糸体Rタテ	深鉢4類
2204	ⅢA138・埋土1層	胴部	木目状燃系文	深鉢11類
2205	ⅢA138・埋土3層	胴部	R Lタテ	深鉢12類
2206	ⅢA138・埋土中部	口縁部	縦位の連続沈線	深鉢5類
2207	ⅢA138・埋土上部	口縁部	Lタテ	深鉢12類
2208	ⅢA138・埋土1層	胴部	2本1組の木目状燃系文	深鉢11類
2209	ⅢA138・埋土中部	胴部	絡糸体Lタテ	深鉢4類
2210	ⅢA138・埋土中部	胴部	多軸絡糸体	深鉢4類
2211	ⅢA138・埋土2層	口縁部	口唇部に連続押圧、L Rの原体圧痕	深鉢16類
2212	ⅢA138・埋土1層	胴部	絡糸体Lタテ	深鉢4類
2213	ⅢA138・埋土2層	口縁部	絡糸体Rタテ	深鉢4類
2214	ⅢA138・埋土中部	胴部	2本1組の木目状燃系文	深鉢11類

第254図 ⅢA138土坑出土遺物(1) 2189 S = $\frac{1}{4}$ 2190~2214 S = $\frac{1}{3}$



No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2215	ⅢA138埋土北半2層	石鏃	2.8	1.2	0.6	1.8	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西or隼石西部	新第三系中新統	
2216	ⅢA138埋土北半2層	石鏃	3.5	2.1	0.5	2.7	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or隼石西部	新第三系中新統	*
2217	ⅢA138埋土北半2層	石鏃	3.8	2.1	0.4	2.5	流紋岩	羽山~本畑	新第三系中新統	
2218	ⅢA138埋土北半2層	石鏃	4.6	2.1	0.7	4.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or隼石西部	新第三系中新統	*
2219	ⅢA138埋土中層	石匙	6.0	1.5	1.0	6.6	硬質泥岩	川尻以西or隼石西部	新第三系中新統	*
2220	ⅢA138埋土中層	削器	3.2	2.0	0.3	2.5	硬質泥岩	川尻以西or隼石西部	新第三系中新統	*
2221	ⅢA138埋土北半1層	削器	3.1	3.9	0.7	10.1	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西or隼石西部	新第三系中新統	
2222	ⅢA138埋土中層	削器	4.8	3.7	1.0	19.4	珪質泥岩	川尻以西or隼石西部	新第三系中新統	*
2223	ⅢA138埋土中層	搔器	4.8	2.3	0.8	9.7	珪質泥岩	川尻以西or隼石西部	新第三系中新統	
2224	ⅢA138埋土上層	削器	6.6	3.6	0.7	11.7	硬質泥岩	川尻以西or隼石西部	新第三系中新統	
2225	ⅢA138埋土北半2層	削器	8.4	4.4	2.8	42.4	細粒凝灰岩	川尻以西or隼石西部	新第三系中新統	
2226	ⅢA138埋土北半2層	石鏟	6.7	5.8	2.2	100.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2227	ⅢA138埋土北半2層	石鏟	5.8	5.9	1.9	70.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2228	ⅢA138埋土北半3層	石鏟	7.1	4.8	1.5	65.1	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	*
2229	ⅢA138埋土中層	石鏟	7.1	5.9	2.5	115.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	

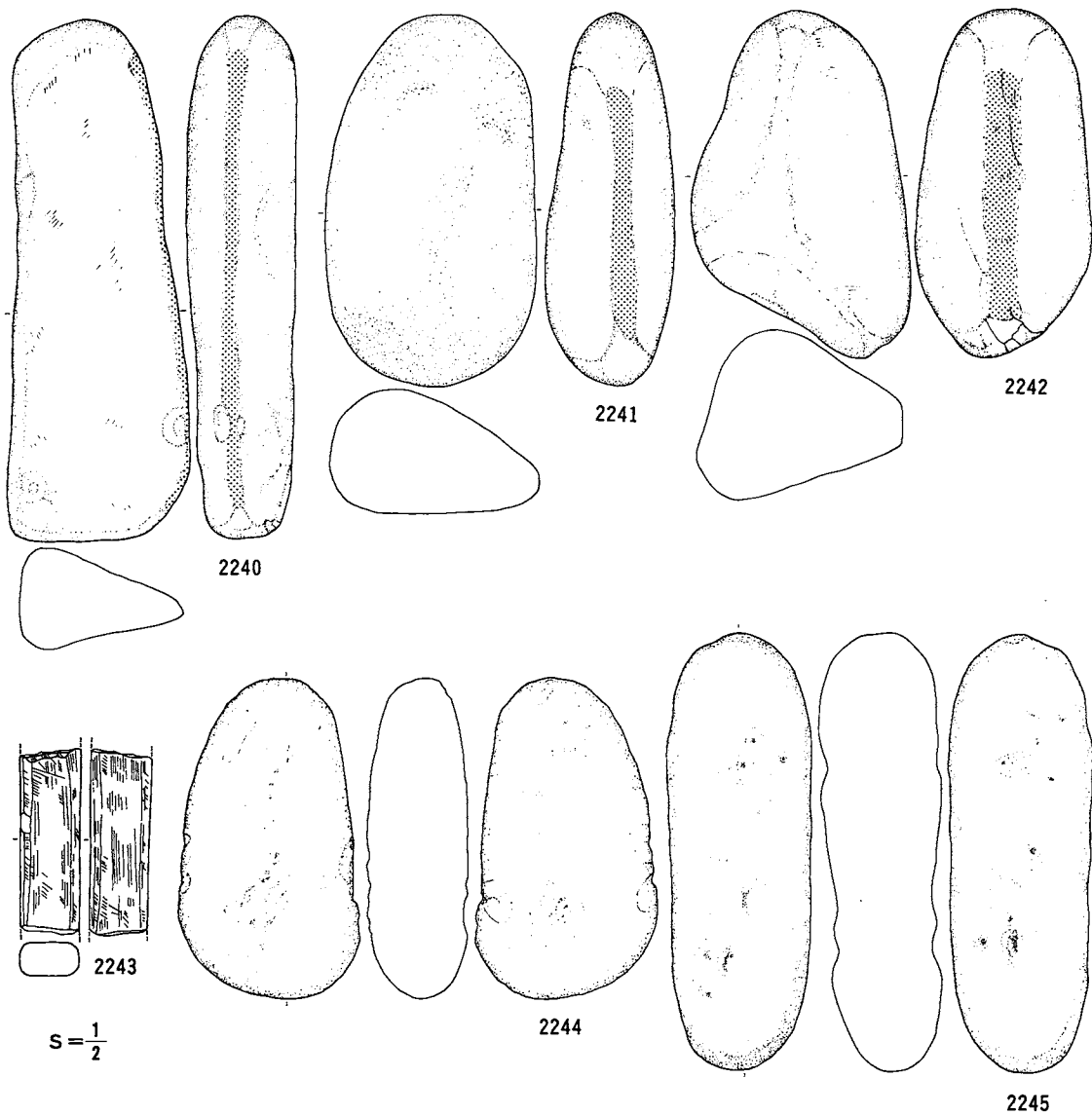
第255図 ⅢA138土坑出土遺物(2)



S = $\frac{1}{3}$

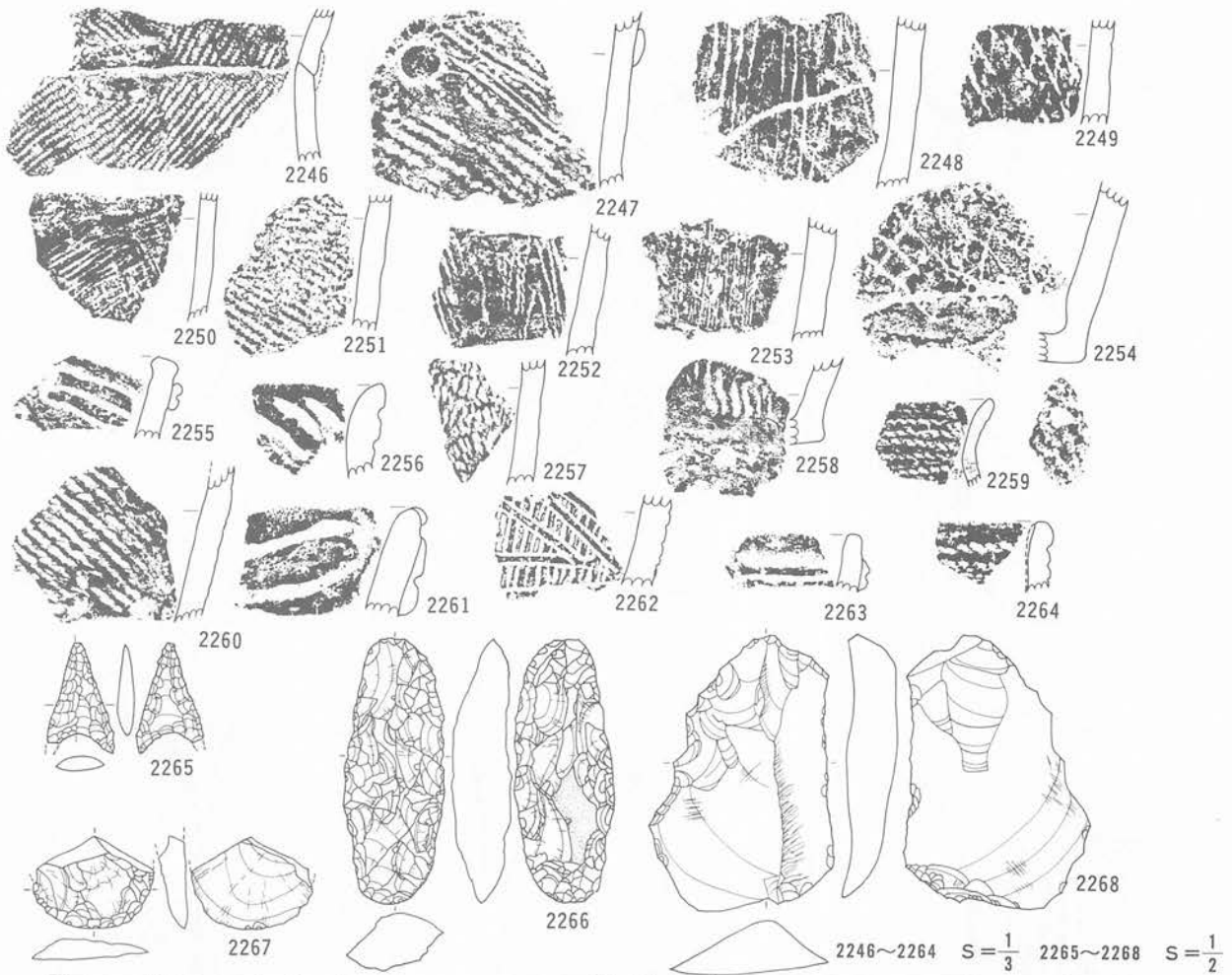
No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2230	ⅢA138埋土北半1層	石錘	5.2	6.2	2.1	105.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2231	ⅢA138埋土中層	石錘	7.9	7.2	2.9	140.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2232	ⅢA138埋土中層	石錘	8.7	6.8	1.6	140.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2233	ⅢA138埋土北半4層	すり石	12.3	11.0	5.0	980.0	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2234	ⅢA138埋土北半1層	すり石	10.0	8.3	4.2	520.0	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2235	ⅢA138埋土3層	すり石	9.3	4.3	2.8	125.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2236	ⅢA138埋土北半1層	すり石	9.5	7.4	4.9	380.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2237	ⅢA138埋土中層	特殊磨石	10.7	9.7	8.6	1000.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
2238	ⅢA138埋土中層	特殊磨石	9.8	6.3	5.0	330.0	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*
2239	ⅢA138埋土北半1層	特殊磨石	9.6	8.1	6.0	600.0	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*

第256図 ⅢA138土坑出土遺物(3)



Na	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2240	ⅢA138埋土北半4層	特殊磨石	21.3	7.6	4.5	930.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2241	ⅢA138埋土2層	特殊磨石	15.2	8.8	5.3	1000.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2242	ⅢA138埋土最下部	特殊磨石	14.2	8.8	7.1	1030.0	デイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	
2243	ⅢA138埋土北半1層	石剣	5.0	1.6	0.9	11.2	珪長質極細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	*
2244	ⅢA138埋土3層	凹石	13.1	7.6	4.3	530.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2245	ⅢA138埋土北半4層	凹石	17.7	5.9	4.9	670.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

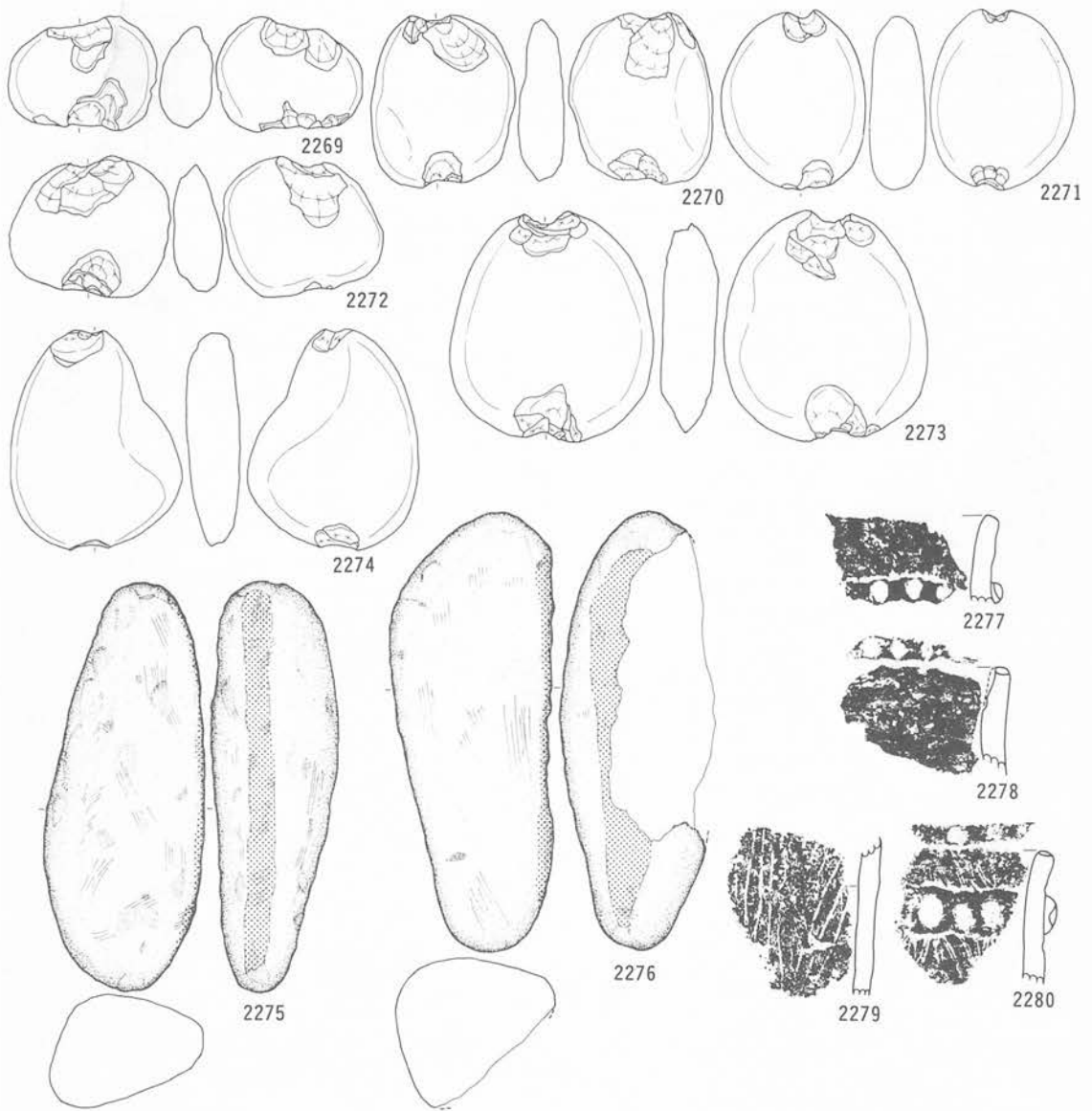
第257図 ⅢA138土坑出土遺物(4)



No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2246	ⅢA139・埋土3層	頸部	L R タテ、ヨコ	深鉢 B12類
2247	ⅢA139・埋土	胴部	団子状粘土塊貼付、そこから平行沈線文、R L ヨコ	深鉢 8類
2248	ⅢA139・埋土3層	胴部	絡条体1タテ	深鉢 4類
2249	ⅢA139・埋土中部	胴部	網目状燃条文	深鉢11類
2250	ⅢA139・埋土5.6層	胴部	格子状に絡条体1	深鉢 4類
2251	ⅢA139・埋土4層	胴部	L R タテ	深鉢12類
2252	ⅢA139・埋土中部	胴部	木目状燃条文	深鉢11類
2253	ⅢA139・埋土下部	胴部	縦位の連続沈線	深鉢 5類
2254	ⅢA139・埋土上部	底部	網目状燃条文	深鉢11類
2255	ⅢA139・埋土1.2層	口縁部	粘土帯上に横位の沈線	深鉢 9類
2256	ⅢA139・埋土上部	口縁部	斜位の連続押圧	深鉢14類
2257	ⅢA139・埋土中部	胴部	多軸絡条体	深鉢 4類
2258	ⅢA139・埋土1.2層	底部	R L ヨコ	深鉢12類
2259	ⅢA139・埋土上部	口縁部	L R の原体瓦痕横位に数段	深鉢 B16類
2260	ⅢA139・埋土5.6層	胴部	L タテ	深鉢12類
2261	ⅢA139・埋土3層	口縁部	ヘアピン状の太い沈線	深鉢 9類
2262	ⅢA139・埋土5.6層	口縁部	縦位の連続沈線上に逆くの字状の平行沈線	深鉢20類
2263	ⅢA139・埋土上部	口縁部	粘土帯上に溝状の沈線	深鉢 9類
2264	ⅢA139・埋土1.2層	口縁部	L R の原体瓦痕横位に2段	深鉢16類

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2265	ⅢA139埋土下層	石鉢	2.9	1.9	0.4	1.6	粘板岩	北上山地	古生界	*
2266	ⅢA139埋土中層	石甕	7.1	2.7	1.6	31.2	珉質泥岩	川尻以西 o r 礫石西部	新第三系中新統	
2267	ⅢA139埋土下層	削器	2.5	3.3	0.7	5.7	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 o r 礫石西部	新第三系中新統	*
2268	ⅢA139埋土中層	削器	7.5	5.0	1.4	47.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 o r 礫石西部	新第三系中新統	

第258図 Ⅲ A 139土坑出土遺物(1)

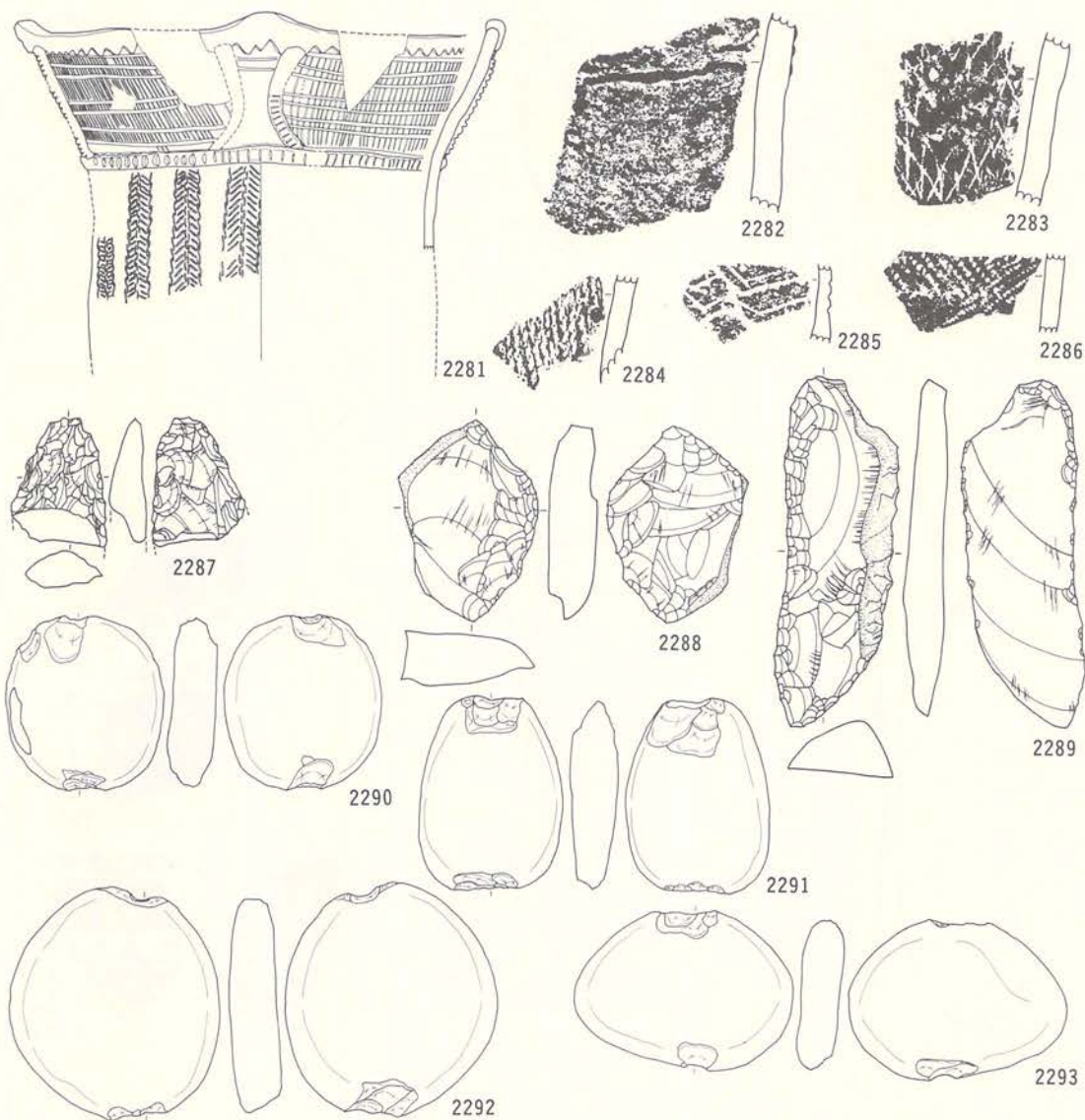


$$s = \frac{1}{3}$$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2269	ⅢA139埋土	石錘	4.8	6.2	2.2	90.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2270	ⅢA139埋土上層	石錘	7.0	6.9	2.0	115.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2271	ⅢA139埋土上層	石錘	7.4	6.1	2.2	150.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2272	ⅢA139埋土	石錘	5.9	6.9	2.1	105.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2273	ⅢA139埋土下層	石錘	9.5	8.9	2.4	280.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2274	ⅢA139埋土北半1層	石錘	9.2	7.0	3.1	190.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2275	ⅢA140埋土南半	特殊磨石	17.0	6.9	5.1	680.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2276	ⅢA140埋土南半	特殊磨石	18.1	7.4	6.3	920.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2277	ⅢA140・埋土下部	口縁部	連続押圧の粘土紐、多軸給糸体	深鉢
2278	ⅢA140・埋土	口縁部	口唇部に連続押圧	深鉢
2279	ⅢA140・埋土	胴部	斜位の連続沈線	深鉢5類
2280	ⅢA140・埋土下部	口縁部	口唇部に連続押圧、口縁部に連続押圧の粘土紐、2本1組の木目状燃糸文	深鉢11類

第259図 ⅢA139(2)・140土坑出土遺物

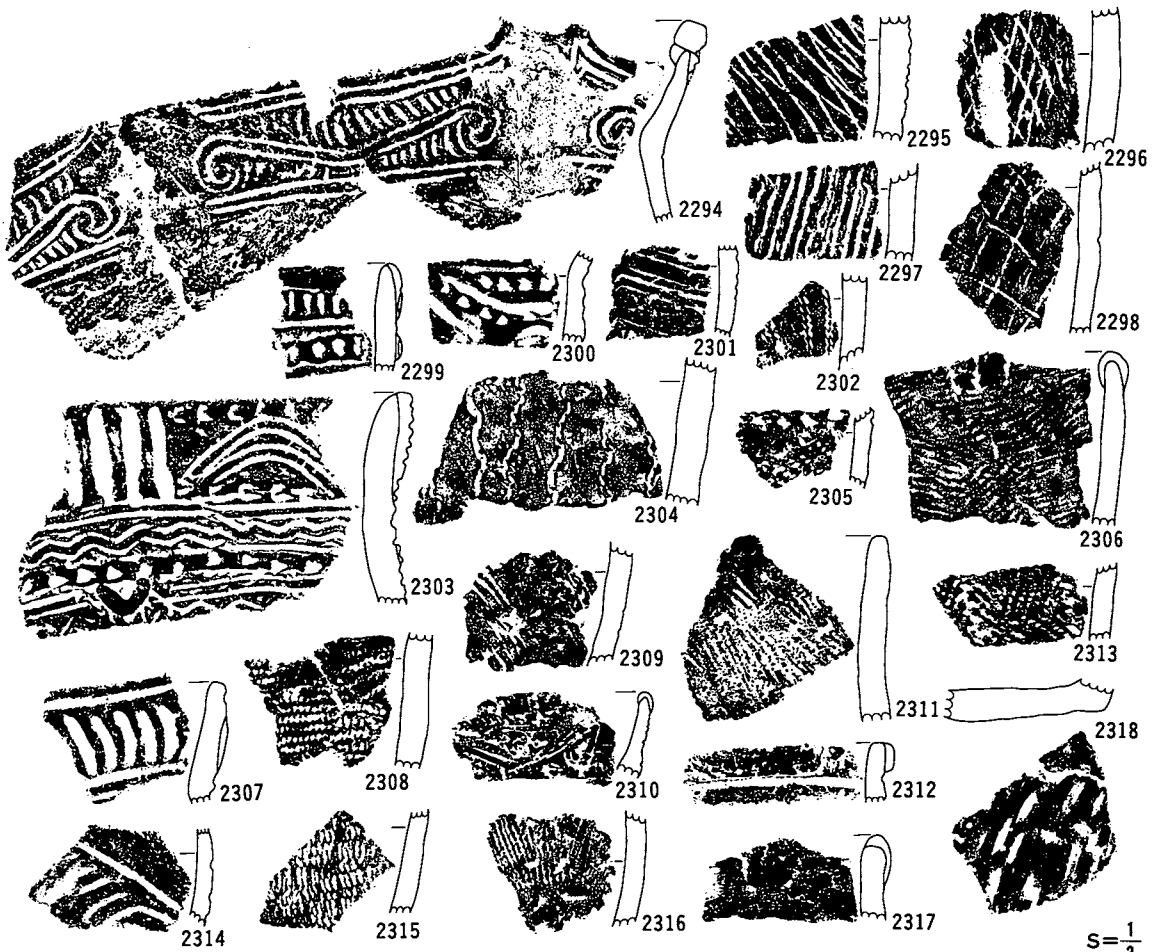


$$2281 \quad S = \frac{1}{6} \quad 2282 \sim 2286 \cdot 2290 \sim 2293 \quad S = \frac{1}{3} \quad 2287 \sim 2289 \quad S = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2281	III A 141・埋土中部	口～胴部	三角状の切り取りのある粘土帯、刻目を持つ粘土紐、縦位や横位の沈線、両末端結節第2種羽状タテ	深鉢B19類
2282	III A 141・埋土1層	胴部	細い横位の粘土紐、LRタテ	深鉢12類
2283	III A 141・埋土1層	胴部	網目状燃糸文	深鉢11類
2284	III A 141・埋土3層	胴部	R L ナナメ	深鉢12類
2285	III A 141・埋土1層	胴部	鋸歯状の平行沈線文	深鉢7類
2286	III A 141・埋土3層	胴部	羽状(結束第1種)ヨコ	深鉢15類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2287	III A 141埋土北半中層	石筥	3.5	2.6	1.0	7.4	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	*
2288	III A 141埋土1層	削器	5.4	3.8	1.3	32.1	硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2289	III A 141埋土北半1層	削器	9.5	3.4	1.1	41.1	硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2290	III A 141埋土下部	石錘	7.0	6.5	2.0	105.0	白色細粒凝灰岩	夏油川中流域	新第三系中新統	
2291	III A 141埋土1層	石錘	7.8	5.7	2.1	135.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2292	III A 141埋土下部	石錘	9.2	8.4	2.0	245.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2293	III A 141埋土中層	石錘	6.9	8.8	1.6	135.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

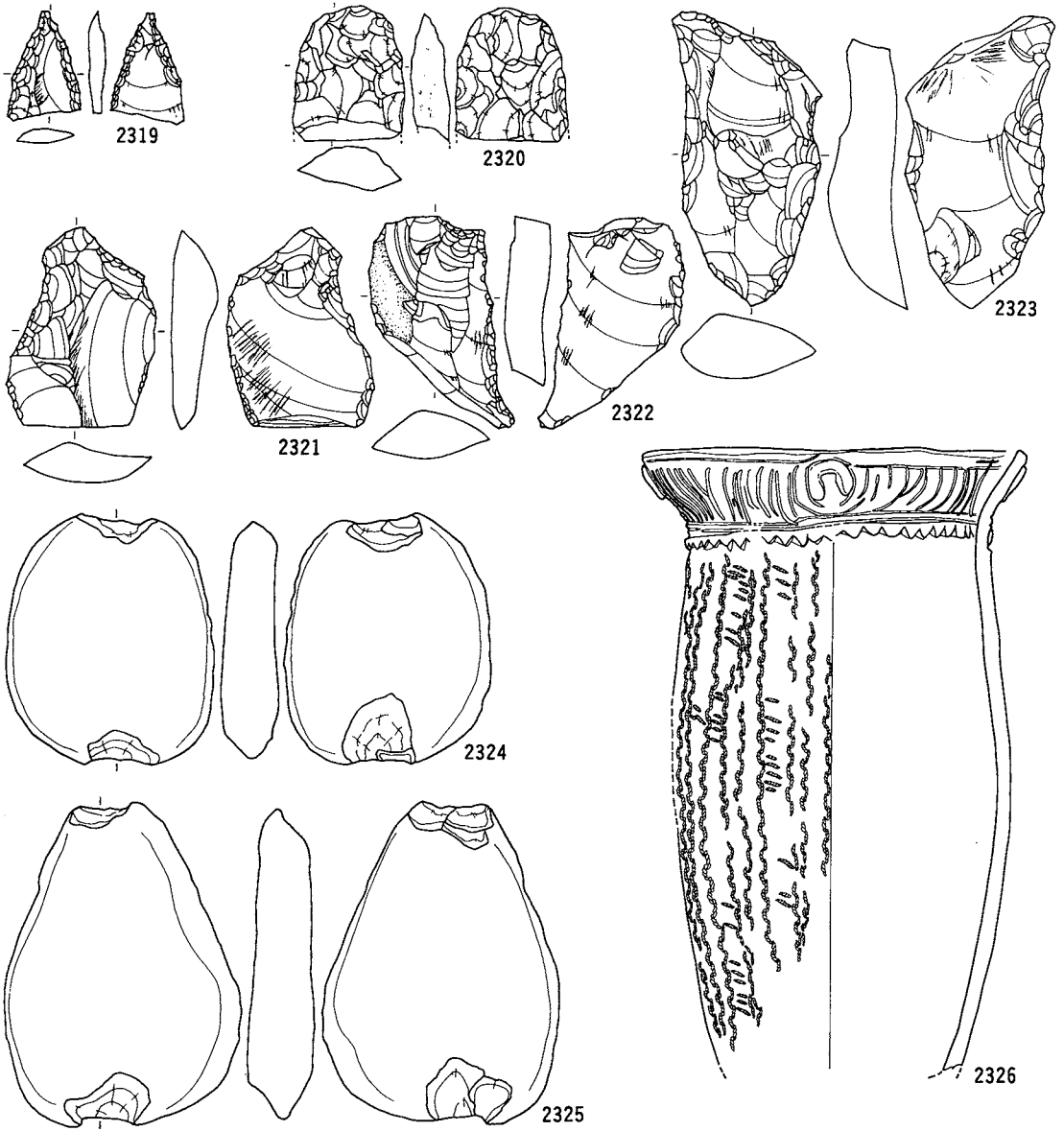
第260図 III A 141土坑出土遺物



S=1/3

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2294	ⅢA142埋土下部	口縁部	上端の表と裏に粘土帯、2本1組の横位の沈線間に同様のわらび状沈線、弧状の連続沈線、LRヨコ	深鉢B19類
2295	ⅢA142埋土1層	胴部	絡糸体Rナナメ	深鉢4類
2296	ⅢA142埋土中部	胴部	網目状捺糸文	深鉢11類
2297	ⅢA142埋土下部	胴部	絡糸体Rクテ	深鉢4類
2298	ⅢA142埋土下部	胴部	網目状捺糸文	深鉢11類
2299	ⅢA142埋土下部	口縁部	粘土帯上に横位の沈線と縦位の連続沈線、連続押圧の粘土紐	深鉢19類
2300	ⅢA142埋土下部	口縁部	弧状の沈線や連続爪形文	深鉢10類
2301	ⅢA142埋土1層	胴部	斜位の平行沈線文	深鉢7類
2302	ⅢA142埋土2層	胴部	2本1組の絡糸体Rクテ	深鉢4類
2303	ⅢA142埋土1層	口～頸部	粘土帯上に縦位の沈線と爪形文と平行沈線文、爪形文のある粘土紐、弧状の粘土紐、平行沈線文	深鉢B17類
2304	ⅢA142埋土1層	胴部	結節したLRクテ	深鉢15類
2305	ⅢA142埋土5層	胴部	横位の連続刺突、LRクテ	深鉢12類
2306	ⅢA142埋土下部	口～胴部	口唇部を包むように2本1組の粘土紐、Lヨコ、ナナメ	深鉢A12類
2307	ⅢA142埋土1層	口縁部	横位の沈線間に弧状の連続沈線	深鉢B13類
2308	ⅢA142埋土下部	胴部	LRナナメ	深鉢12類
2309	ⅢA142埋土5層	胴部	絡糸体Rナナメ	深鉢4類
2310	ⅢA142埋土2層	口縁部	口唇部を包むように刻目を持つ粘土帯貼付、渦巻状や横位の沈線	深鉢B17類
2311	ⅢA142埋土6層	口縁部	木目状捺糸文	深鉢A11類
2312	ⅢA142埋土1層	口縁部	複合口縁の下に横位の沈線	深鉢6類
2313	ⅢA142埋土6層	胴部	羽状(結束第1種)クテ	深鉢15類
2314	ⅢA142埋土6層	胴部	斜位の沈線と弧状の連続沈線	深鉢6類
2315	ⅢA142埋土	胴部	多軸絡糸体	深鉢4類
2316	ⅢA142埋土1層	胴部	絡糸体Lクテ	深鉢4類
2317	ⅢA142埋土下部	口縁部	波頂部に粘土塊貼付	深鉢
2318	ⅢA142埋土下部	底部	網代底	深鉢

第261図 ⅢA142土坑出土遺物(1)

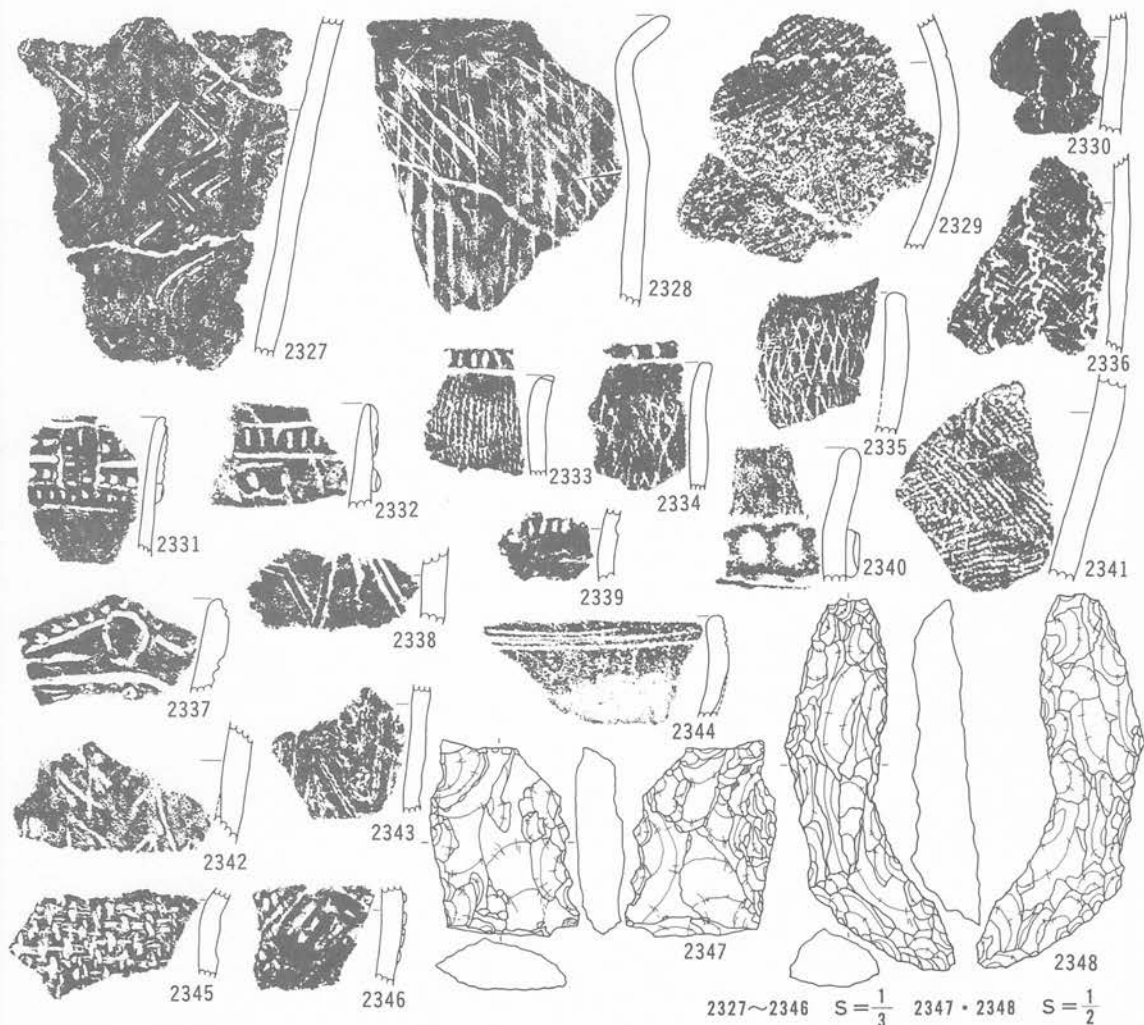


2319~2325 $S = \frac{1}{2}$ 2326 $S = \frac{1}{4}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2319	ⅢA142埋土下層	石鏃	2.9	2.1	0.5	2.4	硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2320	ⅢA142埋土北半6層	石鏃	3.7	3.1	0.9	14.1	硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	*
2321	ⅢA142埋土上層	削器	5.5	4.1	1.3	23.1	硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2322	ⅢA142埋土中層	削器	5.7	4.0	1.1	23.5	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2323	ⅢA142埋土下層	擲器	8.1	4.1	2.3	46.5	珪質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2324	ⅢA142埋土北半1層	石鏃	6.8	5.7	1.6	45.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2325	ⅢA142埋土北半1層	石鏃	8.8	6.5	2.1	150.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2326	ⅢA143・埋土最下部	口~胴部	平行沈線間に弧状の粘土紐と同心円状の沈線4単位、三角状切り取りのある粘土帯、結節LRクテ	深鉢B15類

第262図 ⅢA142(2)・143土坑出土遺物(1)

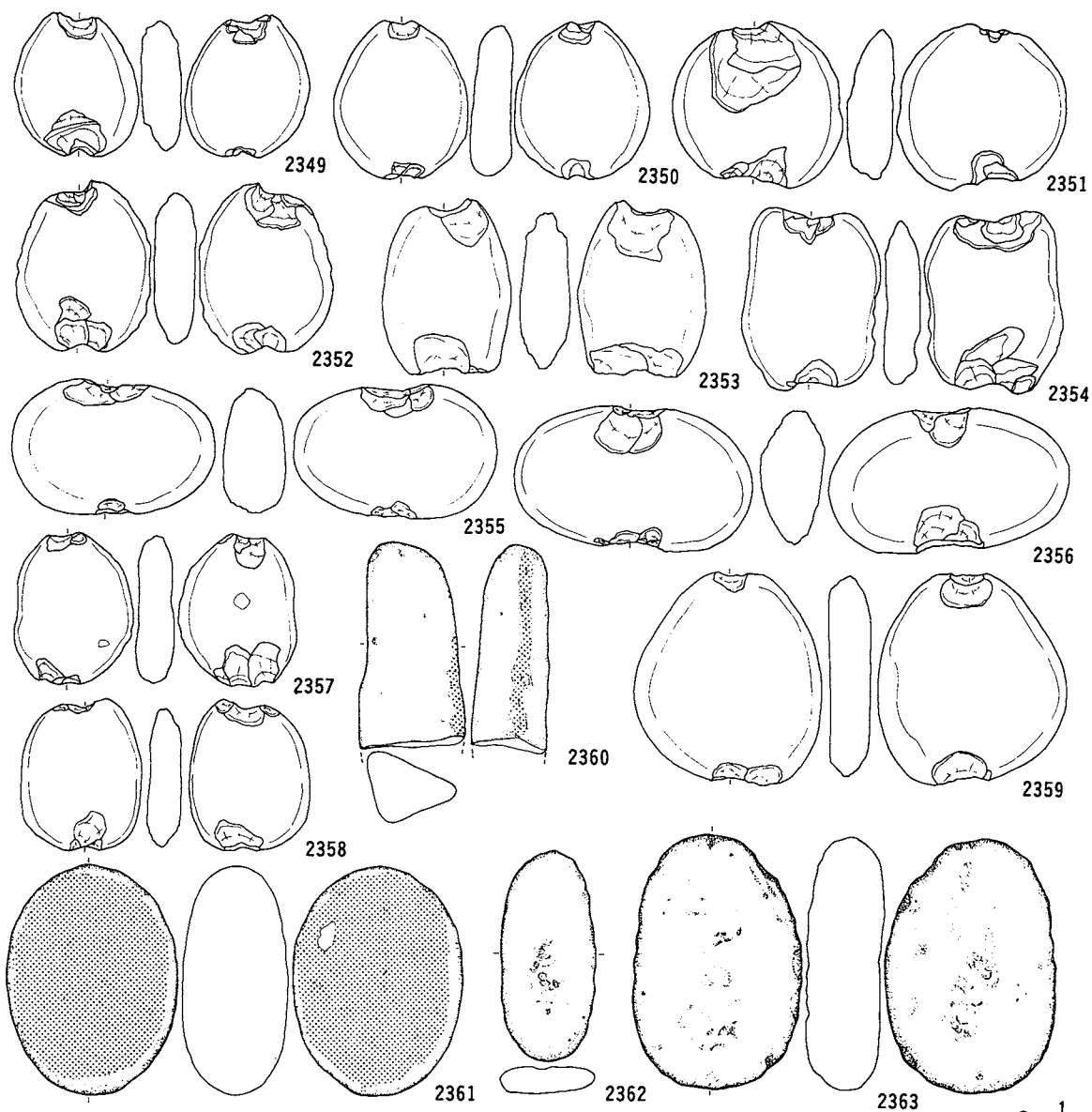


2327~2346 $S = \frac{1}{3}$ 2347・2348 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2327	ⅢA143埋土	胴部	斜位や弧状の浅い沈線	深鉢A7類
2328	ⅢA143埋土	口~胴部	網目状の沈線	深鉢B5類
2329	ⅢA143埋土6層	胴部	結節したLRヨコ	深鉢B15類
2330	ⅢA143埋土5層	胴部	結節したRL(?)タテ	深鉢A15類
2331	ⅢA143埋土	口~胴部	刻目のある粘土紐が横位や縦位に貼付。横位の沈線間に連続爪形文	深鉢A18類
2332	ⅢA143埋土	口縁部	粘土帯上に横位の沈線と縦位の連続沈線、連続押圧の粘土紐	深鉢19類
2333	ⅢA143埋土6層	口~胴部	口唇部に連続した刻目、絡条体Lタテ	深鉢A4類
2334	ⅢA143埋土5層	口~胴部	口唇部に連続した刻目、網目状燃糸文	深鉢A11類
2335	ⅢA143埋土4層	口~胴部	網目状燃糸文	深鉢A11類
2336	ⅢA143埋土4層	胴部	羽状(結束第2種)タテ	深鉢A15類
2337	ⅢA143埋土1層	口縁部	口縁に沿って爪形文、凹形や横位の沈線、竹管による凹形の刺突	深鉢B10類
2338	ⅢA143埋土5層	胴部	縦位の平行沈線文	深鉢7類
2339	ⅢA143埋土6層	胴部	絡条体Rの原体圧痕	深鉢16類
2340	ⅢA143埋土1層	口縁部	連続押圧の粘土紐貼付	深鉢
2341	ⅢA143埋土5層	胴部	羽状(結束第1種)ヨコ	深鉢15類
2342	ⅢA143埋土6層	胴部	絡条体L(?)ナナメ	深鉢4類
2343	ⅢA143埋土1層	胴部	2本1組の木目状燃糸文	深鉢11類
2344	ⅢA143埋土5層	口縁部	口縁部に数条の横位の沈線	深鉢6類
2345	ⅢA143埋土	胴部	縄と竹を使った組紐(?)	深鉢
2346	ⅢA143埋土5層	胴部	梯子状の粘土紐が鍵形に貼付、LRヨコ	深鉢2類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2347	ⅢA143埋土下層	削器	5.0	3.5	1.2	29.1	硬質泥岩	川尻以西or磐石西部	新第三系中新統	
2348	ⅢA143埋土南半	削器	9.1	2.9	1.7	46.1	硬質泥岩	川尻以西or磐石西部	新第三系中新統	

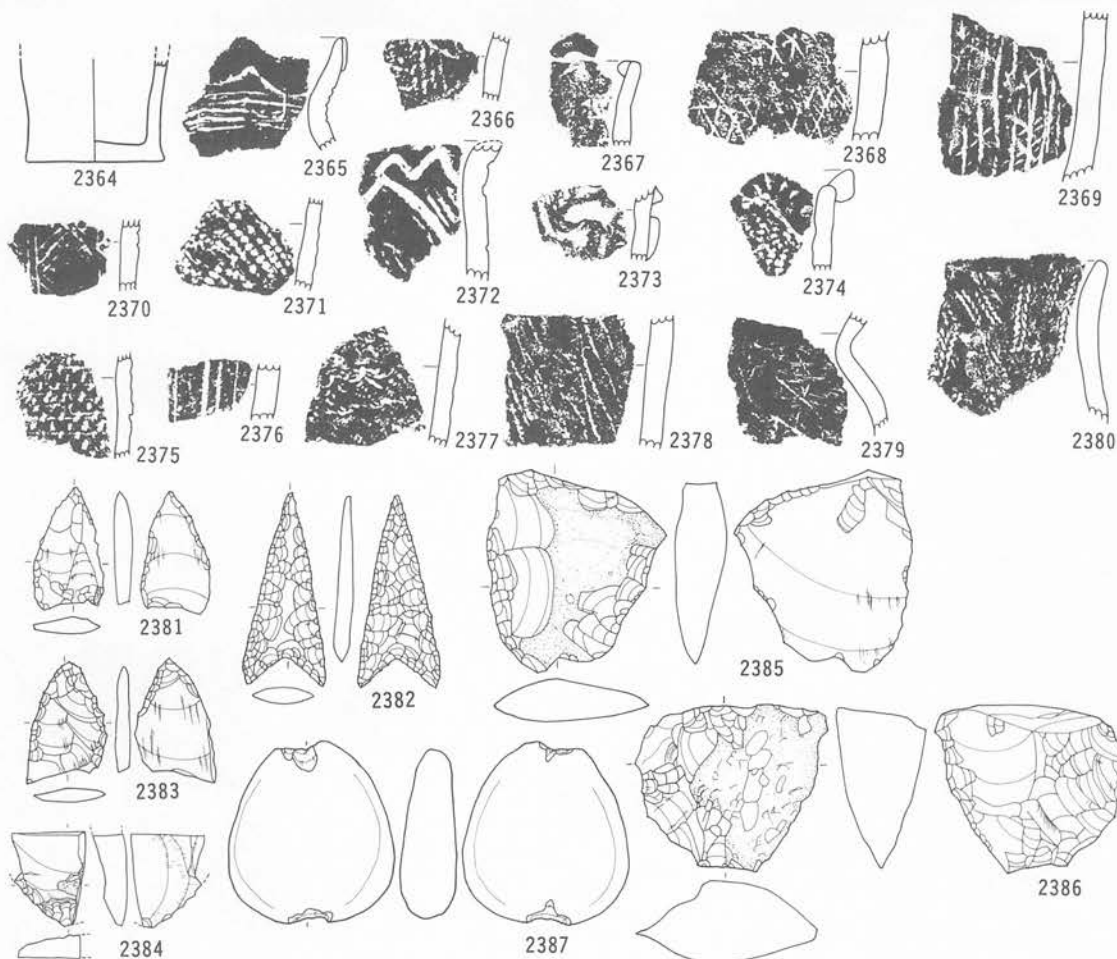
第263図 ⅢA143土坑出土遺物(2)



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2349	III A 143北半埋土下層	石鏟	6.2	5.2	1.9	80.1	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2350	III A 143北半埋土下層	石鏟	6.7	5.7	2.2	105.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2351	III A 143埋土上層	石鏟	7.1	7.1	2.1	150.0	プロピライト質綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2352	III A 143埋土	石鏟	7.2	6.2	1.9	105.0	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2353	III A 143埋土5層	石鏟	7.5	5.4	1.8	110.0	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*
2354	III A 143北半埋土下層	石鏟	7.7	5.7	1.6	100.0	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2355	III A 143埋土下層	石鏟	5.7	8.6	2.6	185.0	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
2356	III A 143埋土5層	石鏟	6.0	10.1	3.0	215.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2357	III A 143埋土5層	石鏟	6.4	5.0	1.6	75.1	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2358	III A 143埋土北半上層	石鏟	6.9	5.2	1.9	75.1	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2359	III A 143埋土下層	石鏟	8.9	8.0	1.8	210.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2360	III A 143北半埋土下層	特殊磨石	8.8	4.5	3.1	155.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
2361	III A 143埋土南半	すり石	9.6	7.2	4.6	470.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2362	III A 143埋土北半上層	凹石	8.8	4.0	1.2	50.1	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2363	III A 143埋土5層	凹石	10.8	7.1	3.3	385.0	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	

第264図 III A 143土坑出土遺物(3)

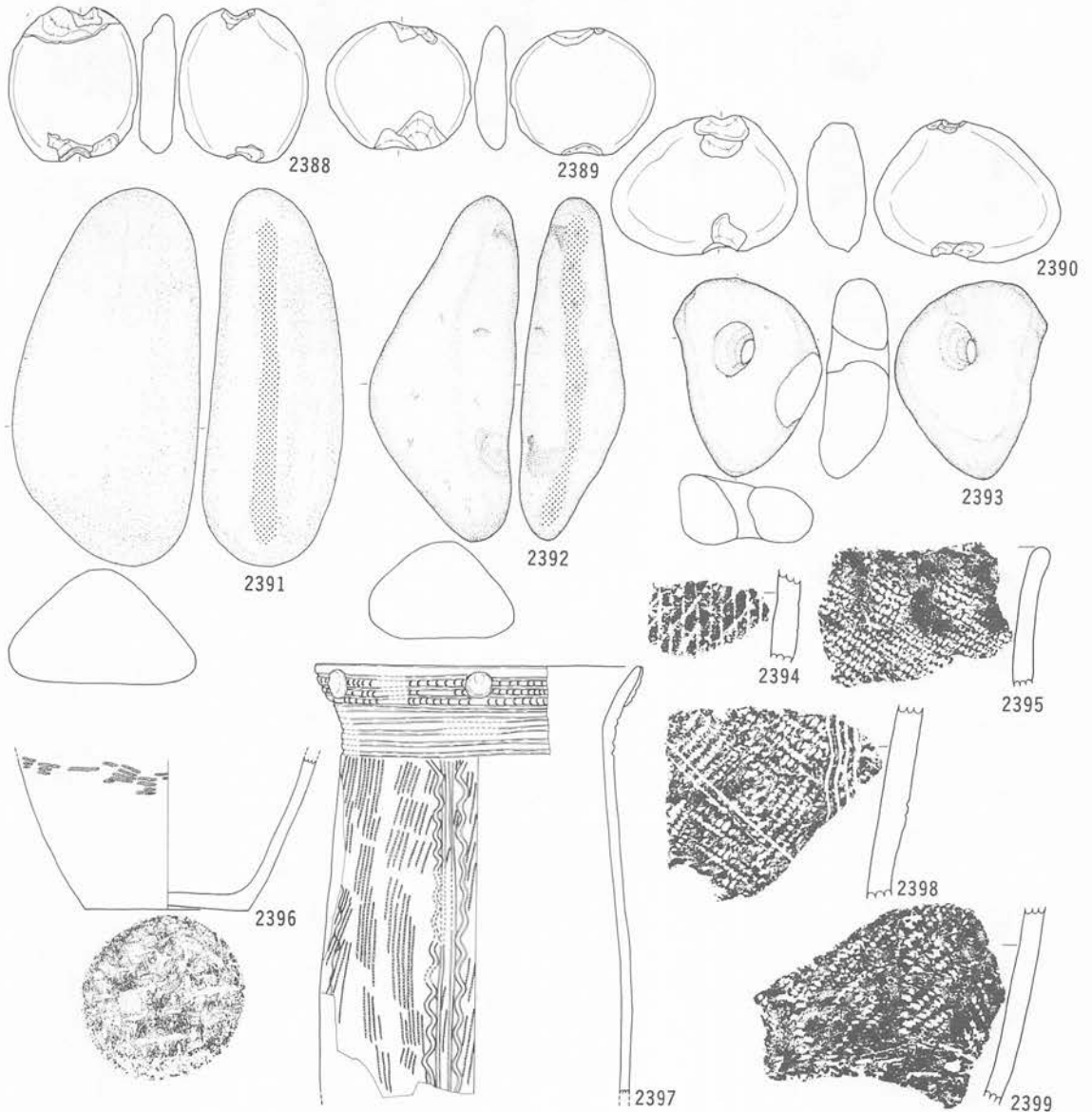


2364 $S = \frac{1}{4}$ 2635~2380 $S = \frac{1}{3}$ 2381~2387 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2364	ⅢA144・埋土上層	胴～底部	無文	深鉢
2365	ⅢA144・埋土2層	口～頸部	口縁に沿って粘土帯、横位や小波状の平行沈線文、LRタテ	深鉢C6類
2366	ⅢA144・埋土下部	胴部	RLナナメ	深鉢12類
2367	ⅢA144・埋土1層	口縁部	上端裏側に粘土紐、前後の小波状口縁	深鉢3類
2368	ⅢA144・埋土	胴部	網目状燃糸文	深鉢11類
2369	ⅢA144・埋土2層	胴部	網目状燃糸文	深鉢11類
2370	ⅢA144・埋土下部	胴部	縦位や斜位の平行沈線文	深鉢7類
2371	ⅢA144・埋土	胴部	羽状(結束第1種)タテ	深鉢15類
2372	ⅢA144・埋土1層	口～胴部	鋸歯状や斜位の沈線	深鉢6類
2373	ⅢA144・埋土下部	口縁部	粘土紐が不規則に貼付	深鉢
2374	ⅢA144・埋土2層	口縁部	上端に連続刺突を持つ粘土紐貼付、RLナナメ	深鉢
2375	ⅢA144・埋土1層	胴部	Rの絡糸体圧痕	深鉢16類
2376	ⅢA144・埋土下部	胴部	縦位の沈線が数条	深鉢5類
2377	ⅢA144・埋土1層	胴部	結節したRLヨコ	深鉢15類
2378	ⅢA144・埋土下部	胴部	絡糸体Lタテ	深鉢4類
2379	ⅢA144・埋土1層	頸～胴部	絡糸体Lナナメ	深鉢C4類
2380	ⅢA144・埋土1層	口～胴部	RとL2本1組の木目状燃糸文タテ	深鉢B11類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2381	ⅢA144埋土上層	石鎌	3.3	1.9	0.5	2.9	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or雫石西部	新第三系中新統	
2382	ⅢA144埋土上層	石鎌	5.1	2.3	0.4	3.7	硬質泥岩	川尻以西or雫石西部	新第三系中新統	
2383	ⅢA144埋土下層	削器	3.2	2.2	0.4	3.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or雫石西部	新第三系中新統	
2384	ⅢA144埋土下層	削器	2.5	2.0	0.9	4.2	硬質泥岩	川尻以西or雫石西部	新第三系中新統	*
2385	ⅢA144埋土2層	削器	5.3	4.8	1.3	29.5	粘板岩	北上山地	古生界	
2386	ⅢA144埋土2層	石篋	4.5	5.1	2.4	60.1	硬質泥岩	川尻以西or雫石西部	新第三系中新統	
2387	ⅢA144埋土下層	石鎌	4.8	4.4	1.5	45.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

第265図 ⅢA144土坑出土遺物(1)

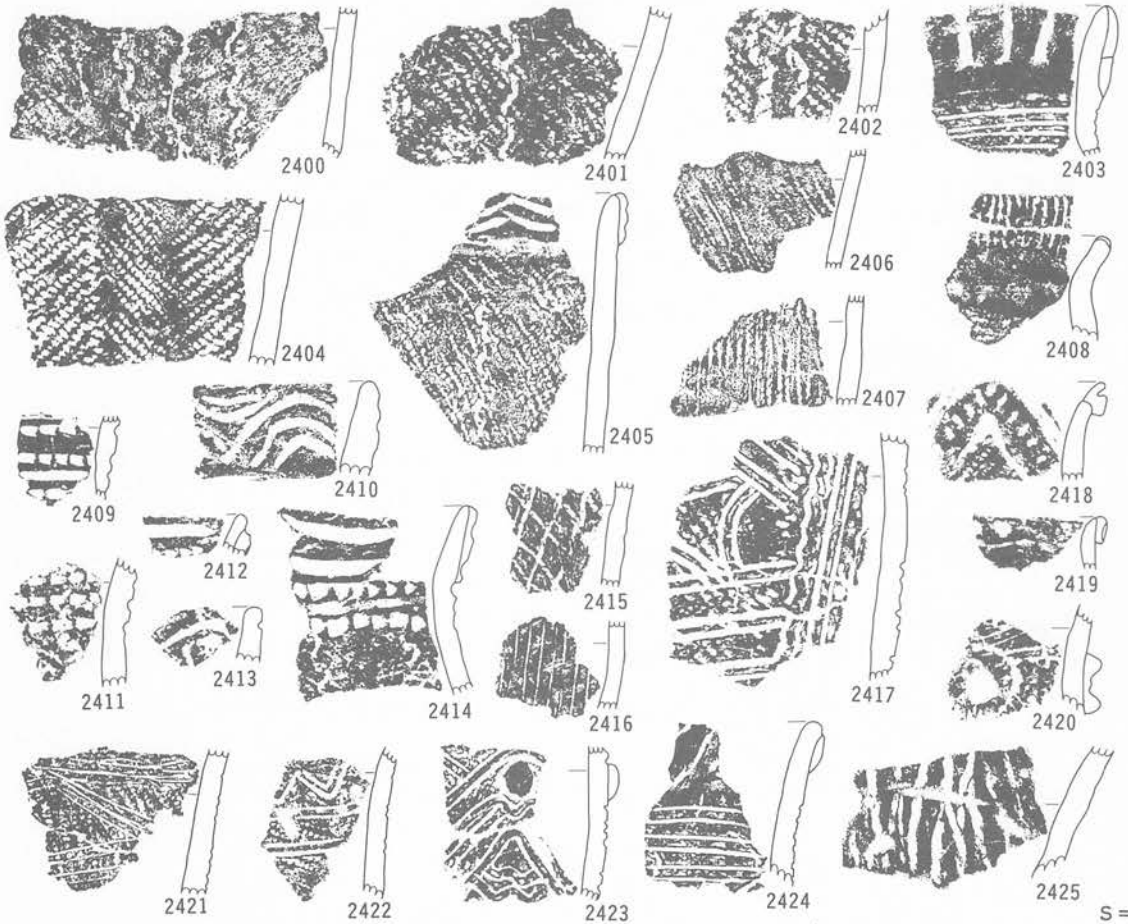


2388~2395・2398・2399 $S = \frac{1}{3}$ 2396・2397 $S = \frac{1}{6}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2388	ⅢA144東半埋土	石錘	6.4	5.9	2.1	70.1	テサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	*
2389	ⅢA144埋土下層	石錘	5.4	6.1	1.4	50.1	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2390	ⅢA144埋土2層	石錘	5.8	7.7	2.4	150.0	緑色凝灰石	夏油川上流	新第三系中新統	
2391	ⅢA144埋土1層	特殊磨石	15.8	7.7	6.0	840.0	緑色凝灰石	夏油川上流	新第三系中新統	
2392	ⅢA144埋土上層	特殊磨石	14.5	6.1	4.7	405.0	緑色凝灰石	夏油川上流	新第三系中新統	
2393	ⅢA144埋土上層	有孔礫	8.3	7.6	3.2	160.0	硬質泥岩	川尻以西or隼石西部	新第三系中新統	*

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2394	ⅢA145・埋土	胴部	網目状撚糸文	深鉢11類
2395	ⅢA145・埋土	口縁部	R L ヨコ	深鉢12類
2396	ⅢA147・埋土4層	胴～底部	L R ナナメ、網代痕	深鉢B12類
2397	ⅢA147・埋土下部	口～胴部	平縁、口縁部粘土帯上に円形の粘土塊6単位、沈線間に連続爪形文、平行沈線文、絡条体Rタテ	深鉢B7類
2398	ⅢA147・埋土中部	胴部	斜位や縦位の平行沈線文、羽状(結東第1種)タテ	深鉢15類
2399	ⅢA147・埋土下部	胴部	R L タテ	深鉢12類

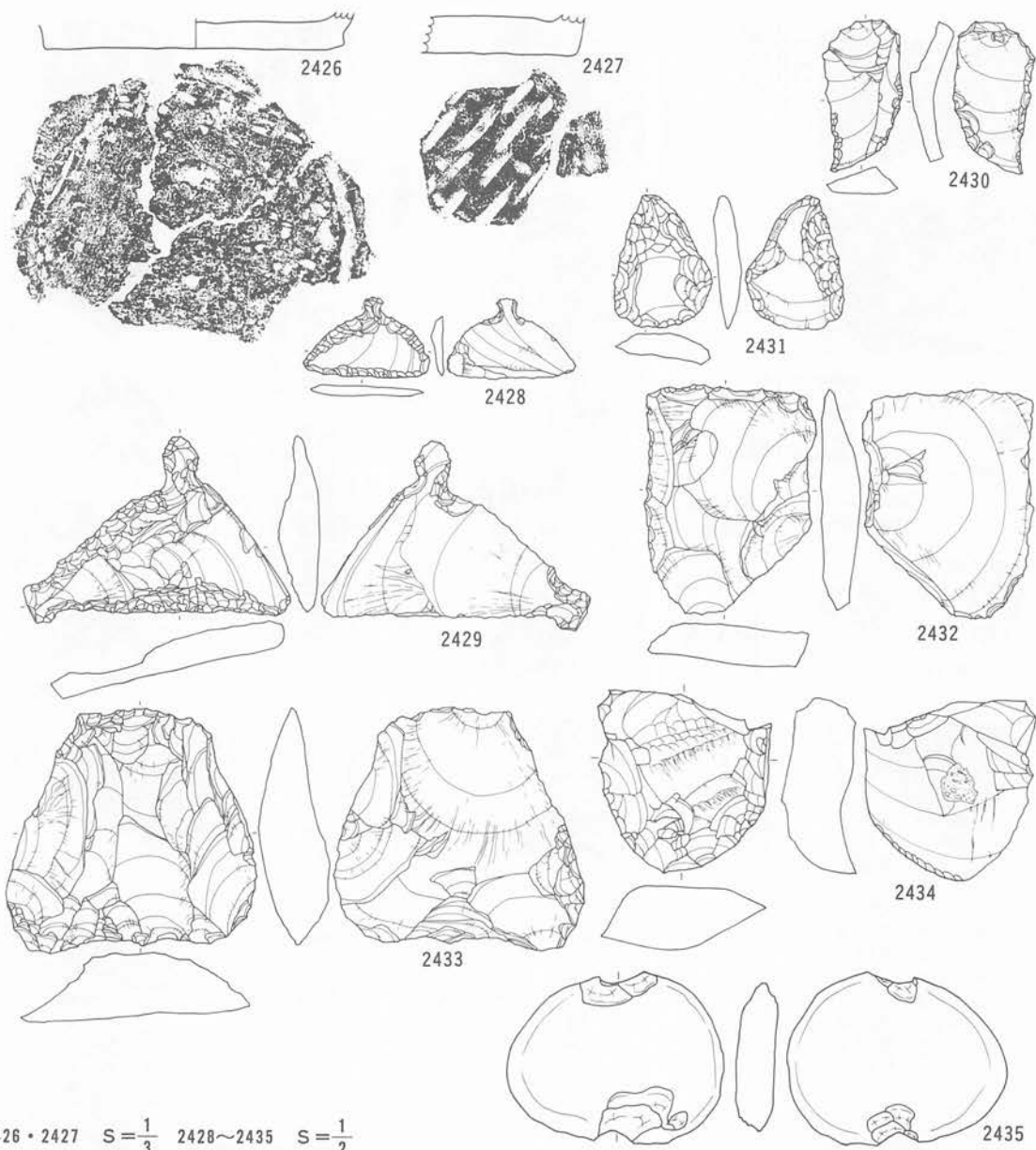
第266図 ⅢA144(2)・145・147土坑出土遺物(1)



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2400	ⅢA147・埋土5層	胴部	結節したLRタテ	深鉢15類
2401	ⅢA147・埋土下部	胴部	結節したLRタテ	深鉢15類
2402	ⅢA147・埋土中部	胴部	結節したLRタテ	深鉢15類
2403	ⅢA147・埋土5層	口～頸部	縦位の粘土帯数本貼付、その下に横位の粘土帯、横位の平行沈線文	深鉢6類
2404	ⅢA147・埋土3層	胴部	羽状(結束第1種)タテ	深鉢15類
2405	ⅢA147・埋土中部	口～胴部	複合口縁上に山形の沈線、結節したLRタテ	深鉢15類
2406	ⅢA147・埋土3層	胴部	絡条体Lタテ	深鉢4類
2407	ⅢA147・埋土中部	胴部	絡条体Lタテ	深鉢4類
2408	ⅢA147・埋土下部	口～胴部	口唇部に連続した刻目	深鉢
2409	ⅢA147・埋土中部	口縁部	横位の沈線、押し引き沈線	深鉢10類
2410	ⅢA147・埋土3層	口縁部	弧状や横位の太い沈線	深鉢6類
2411	ⅢA147・埋土中部	口縁部	押し引き沈線が横位に3段	深鉢10類
2412	ⅢA147・埋土1、2層	口縁部	横位の太い沈線、押し引き沈線	深鉢10類
2413	ⅢA147・埋土中部	口縁部	口縁に沿って沈線	深鉢6類
2414	ⅢA147・埋土3層	口～胴部	口縁部の粘土帯上に横位の太い沈線、その下に押し引き沈線2段、結節部分タテ	深鉢B10類
2415	ⅢA147・埋土4層	胴部	網目状燃糸文	深鉢11類
2416	ⅢA147・埋土中部	胴部	絡条体Lタテ	深鉢4類
2417	ⅢA147・埋土5層	胴部	縦横に平行沈線文、LRタテ	深鉢7類
2418	ⅢA147・埋土下部	口縁部	連続刺突のある粘土紐山形に貼付	深鉢
2419	ⅢA147・埋土1、2層	口縁部	複合口縁上に連続押圧	深鉢
2420	ⅢA147・埋土中部	口縁部	ボタン状貼付、平行沈線文	深鉢8類
2421	ⅢA147・埋土下部	胴部	横位や斜位の平行沈線文、LRタテ	深鉢7類
2422	ⅢA147・埋土中部	胴部	鋸歯状や横位の平行沈線文	深鉢7類
2423	ⅢA147・埋土中部	胴部	団子状の粘土塊貼付、そのまわりの斜位や小波状の平行沈線文	深鉢7類
2424	ⅢA147・埋土下部	口～頸部	口縁部に粘土塊貼付、平行沈線文	深鉢B6類
2425	ⅢA147・埋土5層	胴部	縦位の太い沈線	深鉢5類

第267図 ⅢA147土坑出土遺物(2)

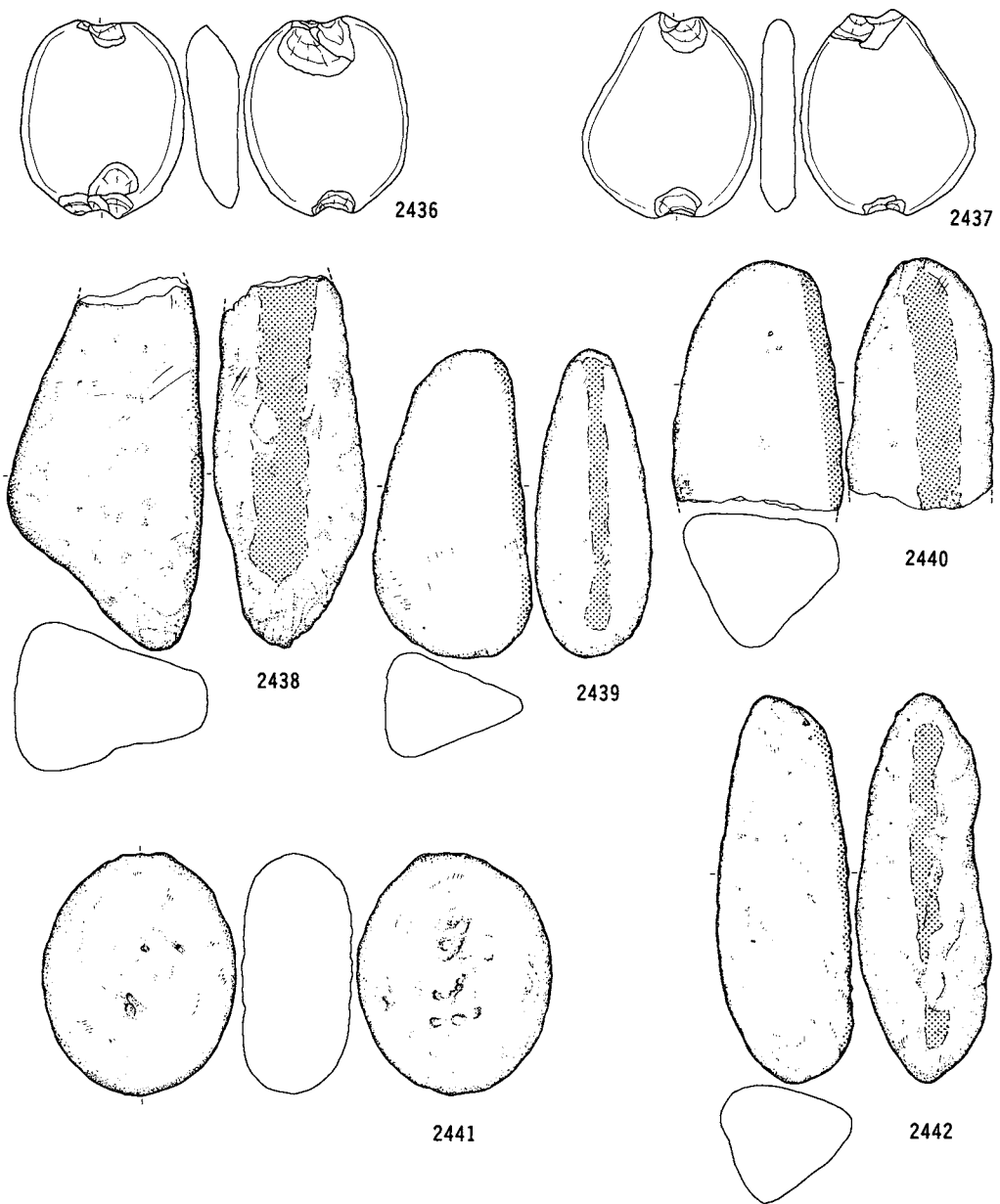


2426・2427 $S = \frac{1}{3}$ 2428~2435 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2426	ⅢA147・埋土下部	底部	網代痕	深鉢
2427	ⅢA147・埋土下部	底部	網代痕	深鉢

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2428	ⅢA147埋土4層	石匙	2.3	3.6	0.3	2.2	珪質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2429	ⅢA147埋土4層	石匙	5.3	7.6	1.2	23.8	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2430	ⅢA147埋土1、2層	削器	4.3	2.3	1.2	6.4	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2431	ⅢA147埋土中層	三角削器	3.7	2.8	0.6	7.7	珪質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2432	ⅢA147埋土下部	削器	6.5	4.8	1.1	34.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2433	ⅢA147埋土下部	削器	6.9	7.1	2.0	80.1	細粒凝灰岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2434	ⅢA147埋土4層	搔器	5.1	5.0	1.9	45.5	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2435	ⅢA147埋土下部	石錘	4.8	6.1	1.4	45.1	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	

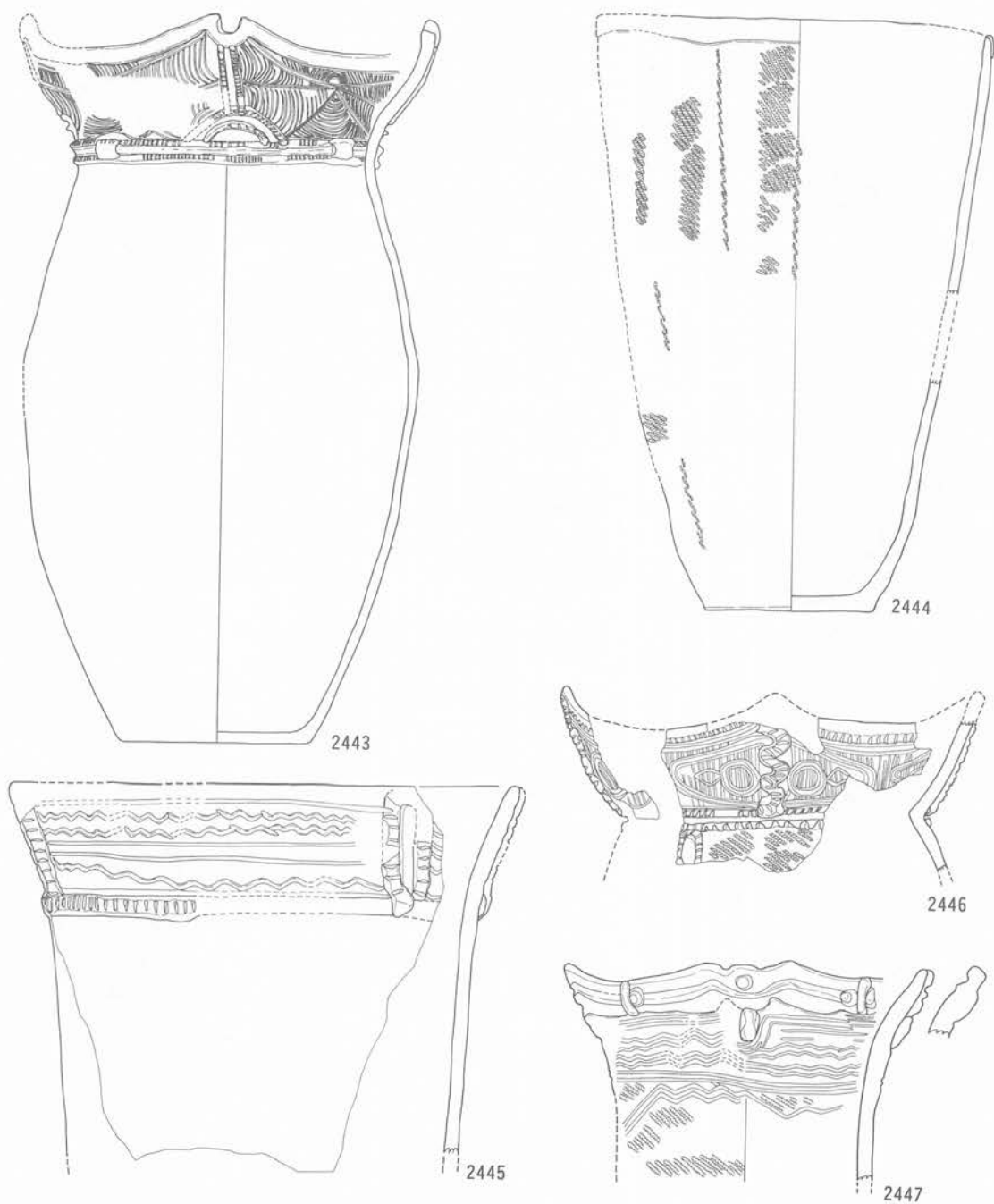
第268図 ⅢA147土坑出土遺物(3)



s = 1/3

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2436	III A 147埋土中層	石錘	8.0	6.5	2.1	120.0	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
2437	III A 147埋土中層	石錘	8.4	6.8	1.5	120.0	テサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
2438	III A 147埋土1、2層	特殊磨石	15.4	7.9	6.1	840.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	*
2439	III A 147埋土下部	特殊磨石	12.6	6.3	5.8	415.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2440	III A 147埋土下部	特殊磨石	9.9	6.7	5.2	450.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*
2441	III A 147埋土下部	凹石	9.7	7.8	4.5	510.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	
2442	III A 147埋土下部	特殊磨石	15.9	5.4	5.2	550.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

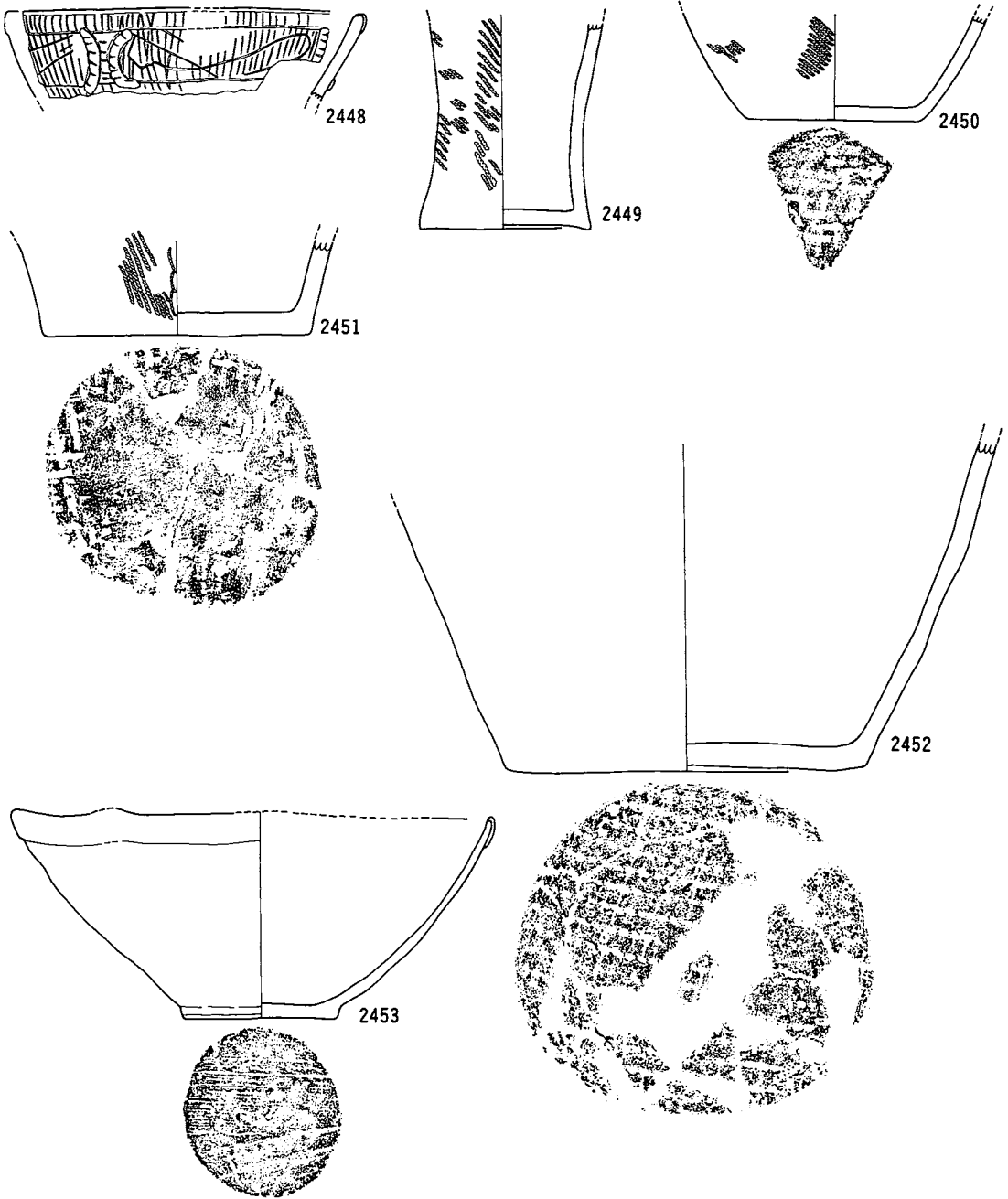
第269図 III A 147土坑出土遺物(4)



2443 $S = \frac{1}{6}$ 2444~2447 $S = \frac{1}{4}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2443	III A 148・埋土2層	口~底部	4単位の波状口縁で波頂部は2山状、刻目を持つ縦位や弧状の粘土紐、沈線間に弧状の連続沈線	深鉢B19類
2444	III A 148・埋土中部	口~底部	平縁、複合口縁、末端を結節したLRタテ	深鉢A15類
2445	III A 148・埋土3層	口~胴部	平縁、刻目を持つ縦位や横位の粘土紐、横位や小波状の沈線	深鉢B18類
2446	III A 148・埋土中部	口~胴部	4単位の波状口縁、口縁部全体に縦位の連続沈線、その上から平行沈線文や粘土紐、LRタテ	深鉢C20類
2447	III A 148・埋土下部	口~胴部	4単位の波状口縁で波頂部は3山状、円形の凹み、粘土紐貼付、平行沈線文、RLヨコ	深鉢B7類

第270図 III A 148土坑出土遺物(1)



$$s = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2448	III A 148・埋土中部	口縁部	平縁、口縁部上端と下端に刻目を持つ粘土紐、その間に縦位の連続沈線、弧状の粘土紐	深鉢 B18類
2449	III A 148・埋土下部	胴～底部	L R タテ	深鉢 C12類
2450	III A 148・埋土中部	胴～底部	L R タテ、網代痕	深鉢 12類
2451	III A 148・埋土 2 層	胴～底部	結節した L R タテ、網代痕	深鉢 12類
2452	III A 148・埋土 4 層	胴～底部	無文、網代痕	深鉢
2453	III A 148・埋土下部	口～底部	ほぼ平縁、複合口縁、木葉痕	浅鉢

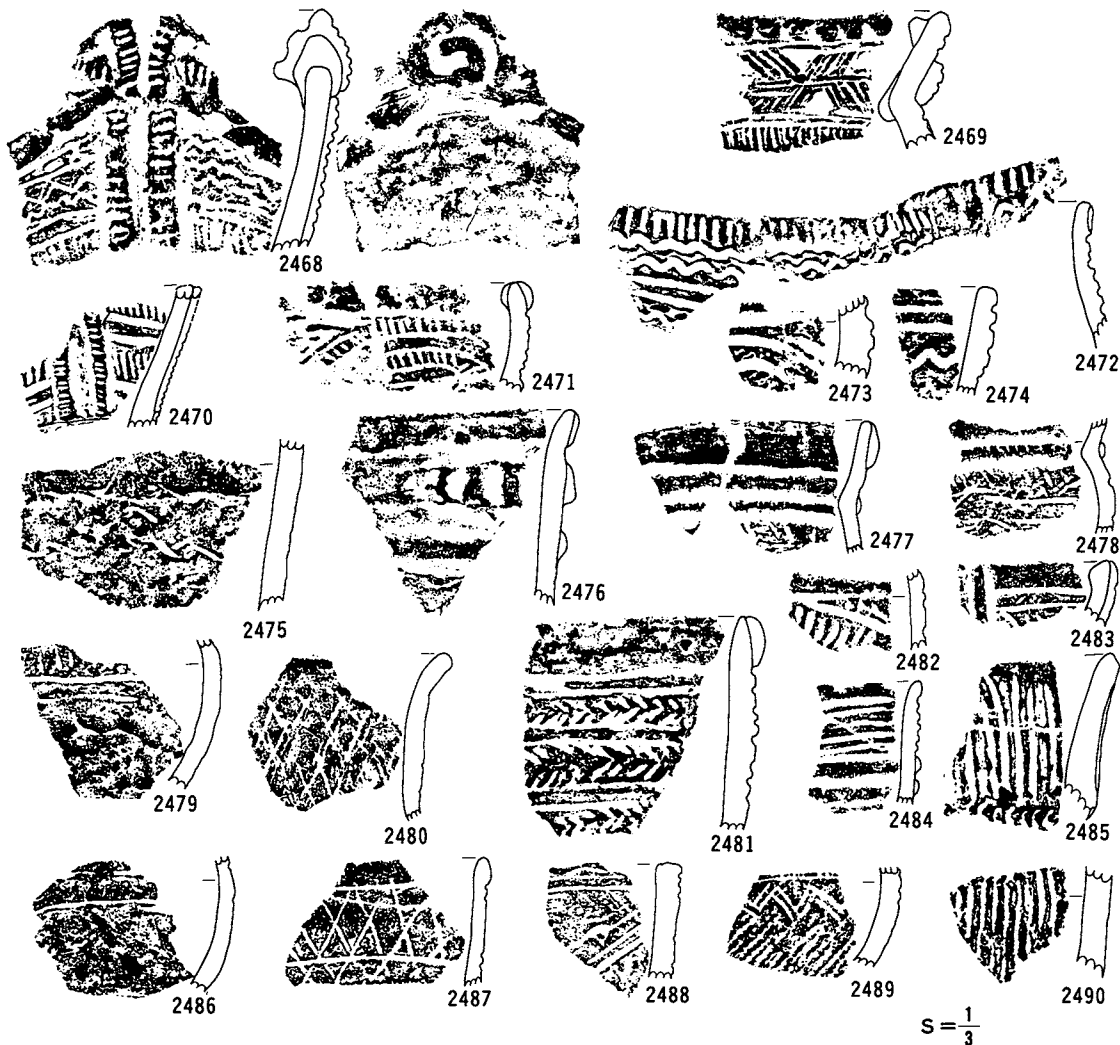
第271図 III A 148土坑出土遺物(2)



S = $\frac{1}{3}$

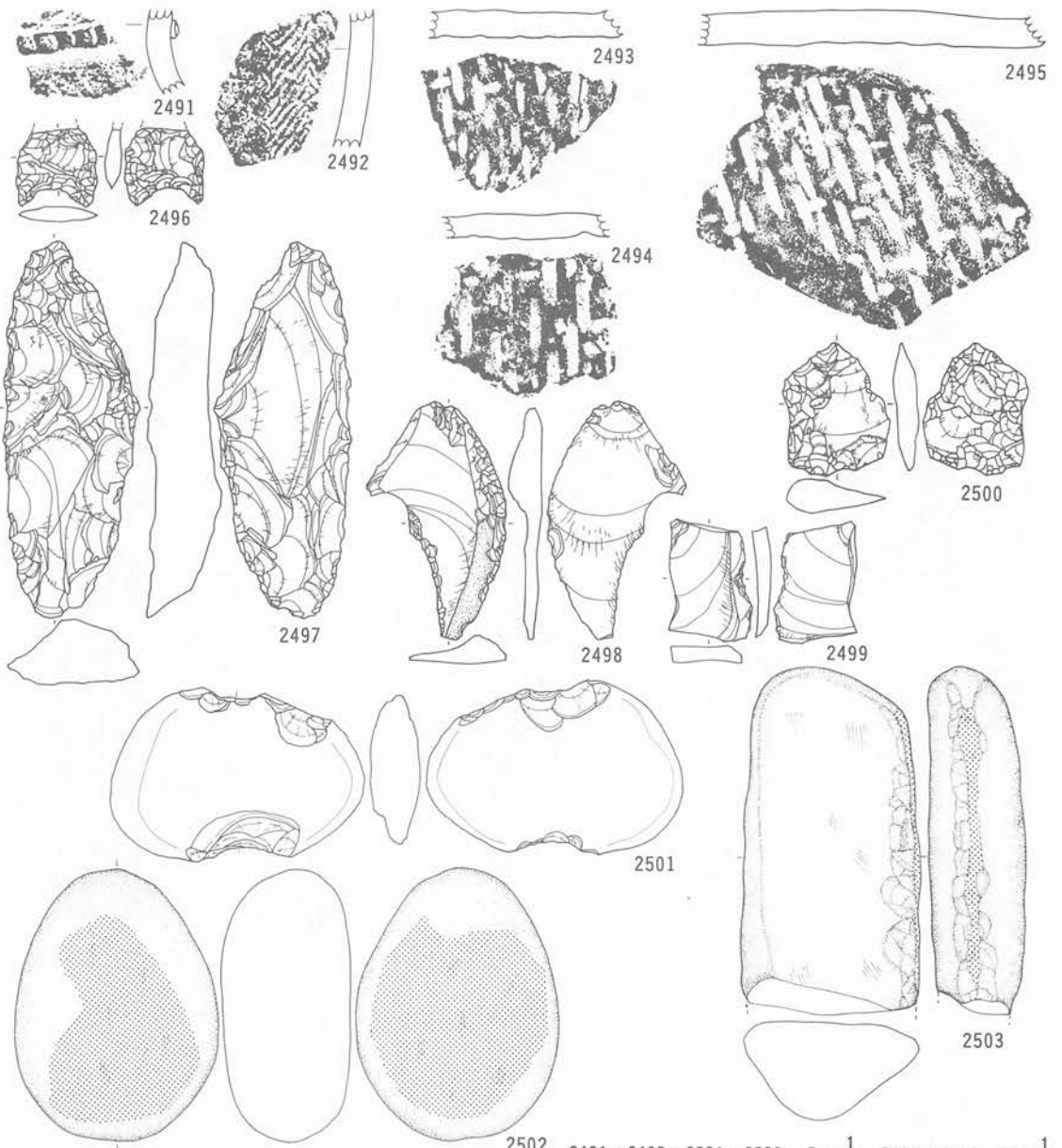
Na	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2454	IIIA148・埋土1層	口縁部	複合口縁、刻目を持つ粘土紐縦位に2本、横位や小波状の波線	深鉢B18類
2455	IIIA148・埋土下部	口～胴部	横位の粘土帯が2本、R Lヨコ	深鉢B12類
2456	IIIA148・埋土上部	胴部	両末端結節のLR(結束第1種)タテ	深鉢A15類
2457	IIIA148・埋土下部	口縁部	口唇部を包むように粘土帯、刻目を持つ粘土紐縦位に貼付、網目状の沈線	深鉢B18類
2458	IIIA148・埋土下部	口～胴部	波状の平行沈線文、LRの原体圧痕数段	深鉢B16類
2459	IIIA148・埋土5層	胴部	結条体Lタテ	深鉢A4類
2460	IIIA148・埋土中部	口縁部	上端裏側に粘土紐、表に三角状の連続刺突、平行波沈間に斜位の連続沈線と三角状の刺突	深鉢B19類
2461	IIIA148・埋土2層	口縁部	連続した横位や小波状の沈線、連続押圧の粘土紐横位に巡る	深鉢B17類
2462	IIIA148・埋土下部	口～胴部	横位や小波状の沈線の下に縦位の連続短沈線、粘土紐横位に貼付	深鉢B17類
2463	IIIA148・埋土2層	口～頸部	口唇部から口縁部にかけて刻目を持つ粘土紐、結節したLRタテ	深鉢A18類
2464	IIIA148・埋土4層	胴部	両末端結節の羽状(結束第2種)タテ	深鉢A15類
2465	IIIA148・埋土2層	口～胴部	渦巻状や斜位や横位の沈線間に連続した刻目、両末端結節の羽状(結束第1種)タテ	深鉢C15類
2466	IIIA148・埋土4層	口～胴部	粘土帯上に円形の凹みと横位の沈線、粘土帯の下には横位や小波状の沈線	深鉢9類
2467	IIIA148・埋土	口～胴部	裏側に幅広の粘土帯、刻目を持つ粘土紐、横位や弧状の沈線間に連続した刻目、両末端結節第1種羽状タテ	深鉢C15類

第272図 IIIA148土坑出土遺物(3)



No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2468	ⅢA148・埋土上部	口縁部	波頂部表に刻目を持つ粘土紐、裏に渦巻状の粘土紐、横位や小波状の沈線、縦位の連続短沈線	深鉢B18類
2469	ⅢA148・埋土中部	口縁部	3ヶ所に粘土紐、三角状連続刻突、平行沈線間に斜位の連続沈線と三角状えぐり、縦位の連続沈線	深鉢C19類
2470	ⅢA148・埋土上部	口縁部	刻目を持つ粘土紐、横位の沈線間に縦位の短沈線	深鉢B18類
2471	ⅢA148・埋土	口縁部	上端の表と裏に粘土帯、横位や弧状の沈線の1段おきに縦位の連続短沈線	深鉢20類
2472	ⅢA148・埋土1層	口縁部	口縁部上端に縦位の連続短沈線、小波状や横位の沈線	深鉢17類
2473	ⅢA148・埋土下部	口縁部	弧状の太い沈線	深鉢6類
2474	ⅢA148・埋土4層	口縁部	横位や小波状の沈線	深鉢6類
2475	ⅢA148・埋土2層	胴部	結節部分ヨコ	深鉢15類
2476	ⅢA148・埋土3層	口縁部	複合口縁、連続押圧のある楕円状の粘土塊、横位の粘土紐、Lの原体圧痕	深鉢16類
2477	ⅢA148・埋土3層	口縁部	複合口縁、幅のせまい横位の粘土紐貼付	深鉢B
2478	ⅢA148・埋土中部	頸～胴部	刻目のある粘土紐、横位や山形の沈線、LRヨコ	深鉢C6類
2479	ⅢA148・埋土上部	胴部	横位の沈線、LRヨコ	深鉢6類
2480	ⅢA148・埋土下部	口～胴部	網目状擦糸文	深鉢11類
2481	ⅢA148・埋土2層	口縁部	複合口縁、2本1組の横位の沈線間に羽状の連続沈線	深鉢19類
2482	ⅢA148・埋土2層	口縁部	沈線で区画された中に縦位の連続沈線	深鉢20類
2483	ⅢA148・埋土2層	口縁部	縦位の粘土紐貼付、横位の沈線の下に斜位の連続沈線	深鉢19類
2484	ⅢA148・埋土下部	口縁部	横位の沈線数条の下に横位の粘土紐2本貼付	深鉢17類
2485	ⅢA148・埋土中部	口縁部	縦位の連続沈線の下に爪形文	深鉢10類
2486	ⅢA148・埋土2層	胴部	横位の沈線が数条	深鉢6類
2487	ⅢA148・埋土下部	口縁部	横位と網目状の沈線	深鉢6類
2488	ⅢA148・埋土5層	口縁部	横位や斜位の沈線、LRクテ	深鉢6類
2489	ⅢA148・埋土1層	胴部	鋸歯状の平行沈線文、LRヨコ	深鉢6類
2490	ⅢA148・埋土下部	胴部	絡条体クテ	深鉢4類

第273図 ⅢA148土坑出土遺物(4)

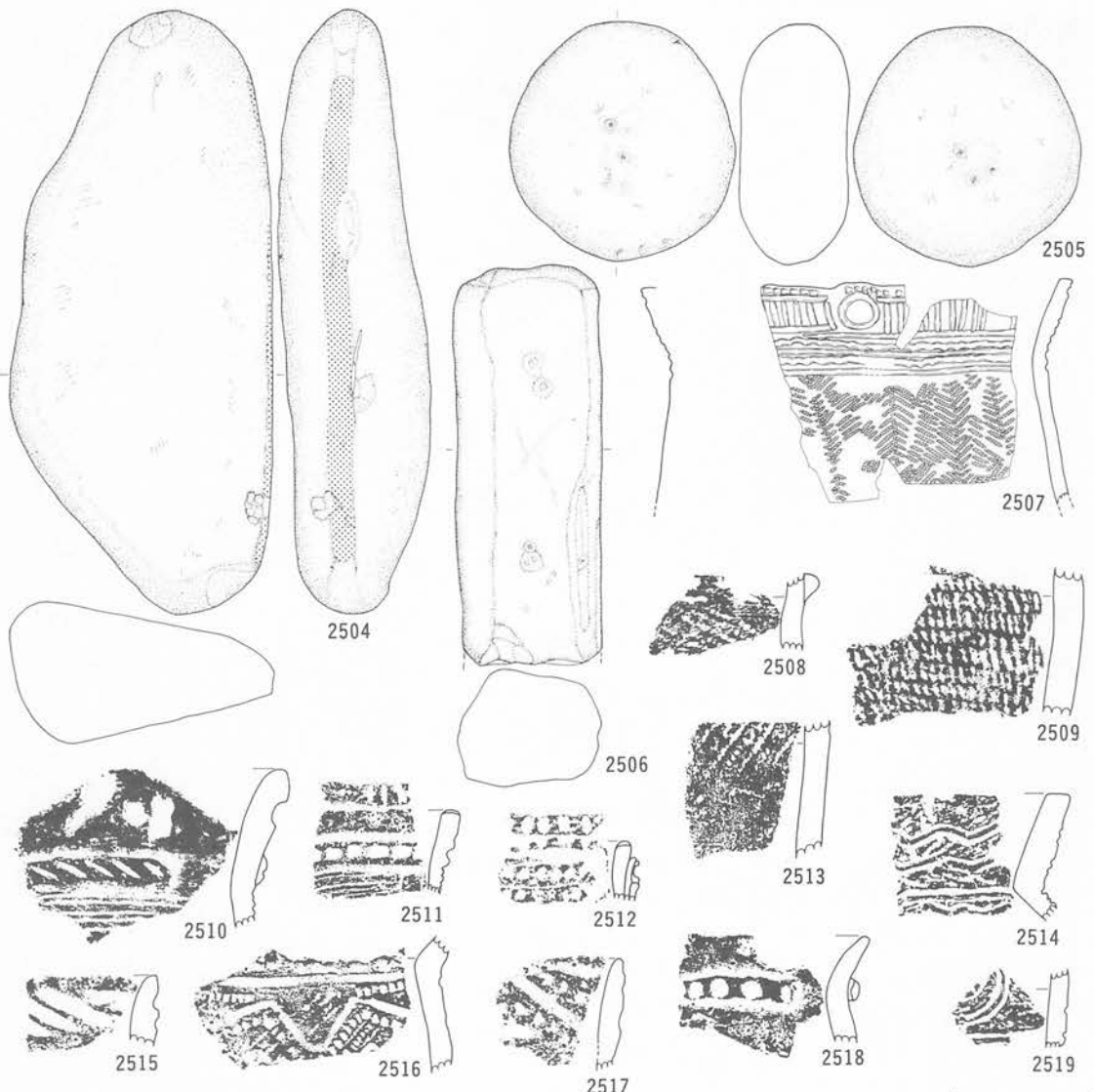


2491~2495・2501~2503 $S = \frac{1}{3}$ 2496~2500 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2491	ⅢA148・埋土2層	頸部	刻目のある粘土紐貼付	深鉢B
2492	ⅢA148・埋土上部	胴部	結節した羽状(結束第1種)タテ	深鉢15類
2493	ⅢA148・埋土5層	底部	網代痕	深鉢
2494	ⅢA148・埋土	底部	網代痕	深鉢
2495	ⅢA148・埋土3層	底部	網代痕	深鉢

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2496	ⅢA148埋土中層	石鎌	2.2	2.3	0.4	2.5	硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	*
2497	ⅢA148埋土中層	尖頭器	10.6	3.9	2.1	70.1	硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2498	ⅢA148埋土東半	削器	6.8	3.9	1.0	14.1	硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2499	ⅢA148埋土中層	削器	3.5	2.3	0.5	4.2	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2500	ⅢA148埋土東半	削器	3.8	3.0	0.9	8.4	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2501	ⅢA148埋土中層	石錘	7.2	10.7	2.2	155.0	白色細粒凝灰岩	夏油川中流域	新第三系中新統	
2502	ⅢA148埋土中層	すり石	11.4	8.6	5.4	760.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系中新統	
2503	ⅢA148埋土中層	特殊磨石	14.7	7.4	4.2	660.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*

第274図 ⅢA148土坑出土遺物(5)

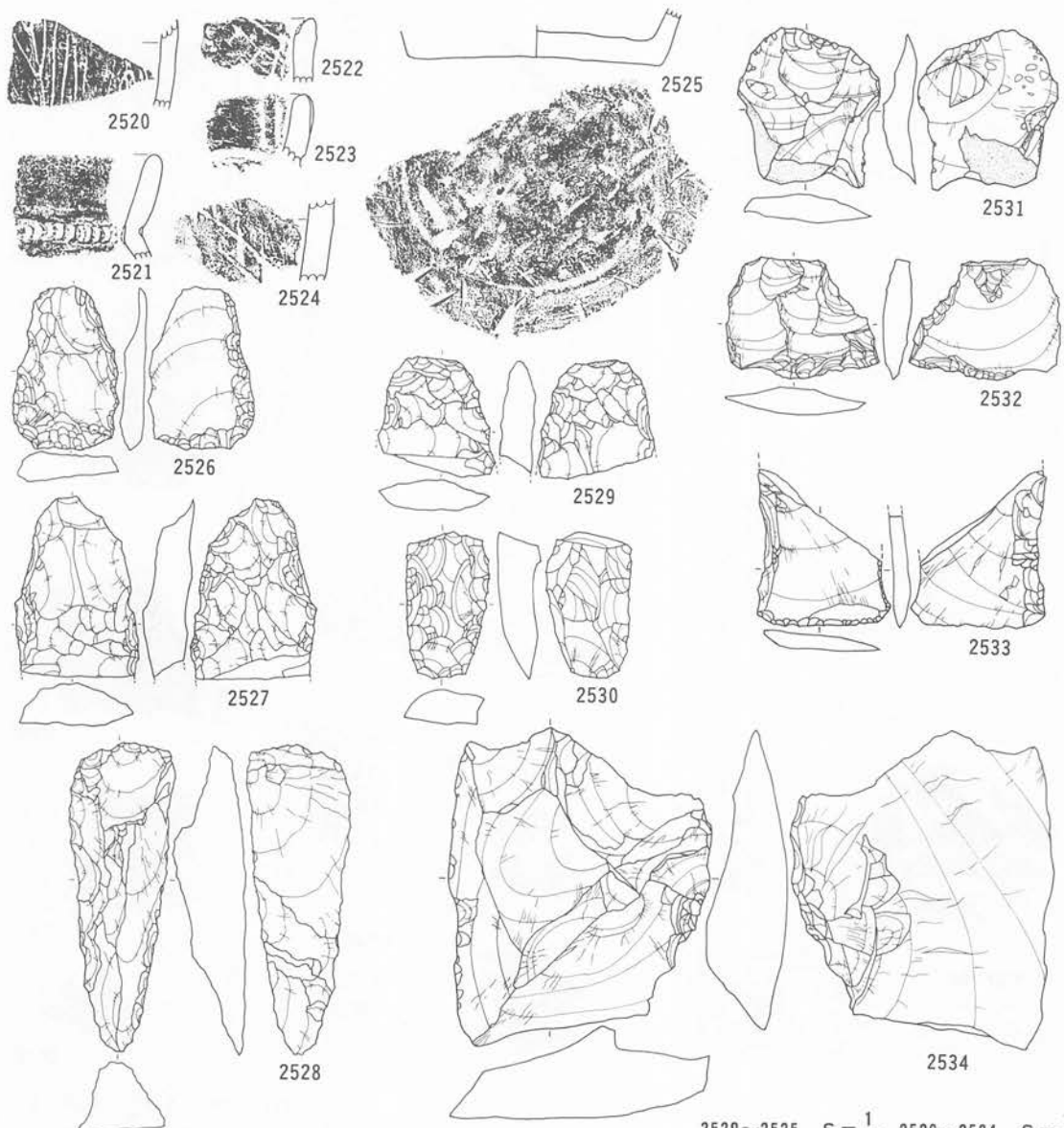


2504~2506・2508~2519 $S = \frac{1}{3}$ 2507 $S = \frac{1}{6}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2504	III A 148埋土2層	特殊磨石	24.8	10.7	5.9	2000.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2505	III A 148埋土中層	凹石	9.9	9.3	5.6	630.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	
2506	III A 148埋土東半	石柱	16.3	6.0	4.9	760.0	流紋岩	川尻付近	新第三中新統	*

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2507	III A 149・埋土3層	口~胴部	平縁、押し引き沈線、円形や梯子状の沈線、その下に横位や小波状の沈線、羽状(結束第1種)タテ	深鉢B15類
2508	III A 149・埋土3層	胴部	粘土塊貼付、LRタテ	深鉢12類
2509	III A 149・埋土	胴部	多軸絡条体	深鉢4類
2510	III A 149・埋土中部	口縁部	波頂部に円形の凹み、斜位押圧のある粘土紐、横位の平行沈線文	深鉢B9類
2511	III A 149・埋土4層	口縁部	口唇部に連続した刻目、横位の沈線や押し引き沈線	深鉢10類
2512	III A 149・埋土下部	口縁部	口唇部に連続した刻目、円形の連続刺突のある粘土紐貼付	深鉢18類
2513	III A 149・埋土中部	胴部	結節した付加条ヨコ	深鉢12類
2514	III A 149・埋土	口縁部	平行沈線文、RLタテ	深鉢C6類
2515	III A 149・埋土	口縁部	太い斜位の連続沈線	深鉢14類
2516	III A 149・埋土中部	頸~胴部	沈線と押し引き沈線が平行して横位や山形に施される、LRヨコ	深鉢B10類
2517	III A 149・埋土上部	口縁部	沈線間に押し引き沈線	深鉢12類
2518	III A 149・埋土中部	口~頸部	連続押圧のある粘土紐	深鉢B
2519	III A 149・埋土下部	口~頸部	平行沈線文、LRヨコ	深鉢6類

第275図 III A 148(6)・149土坑出土遺物(1)

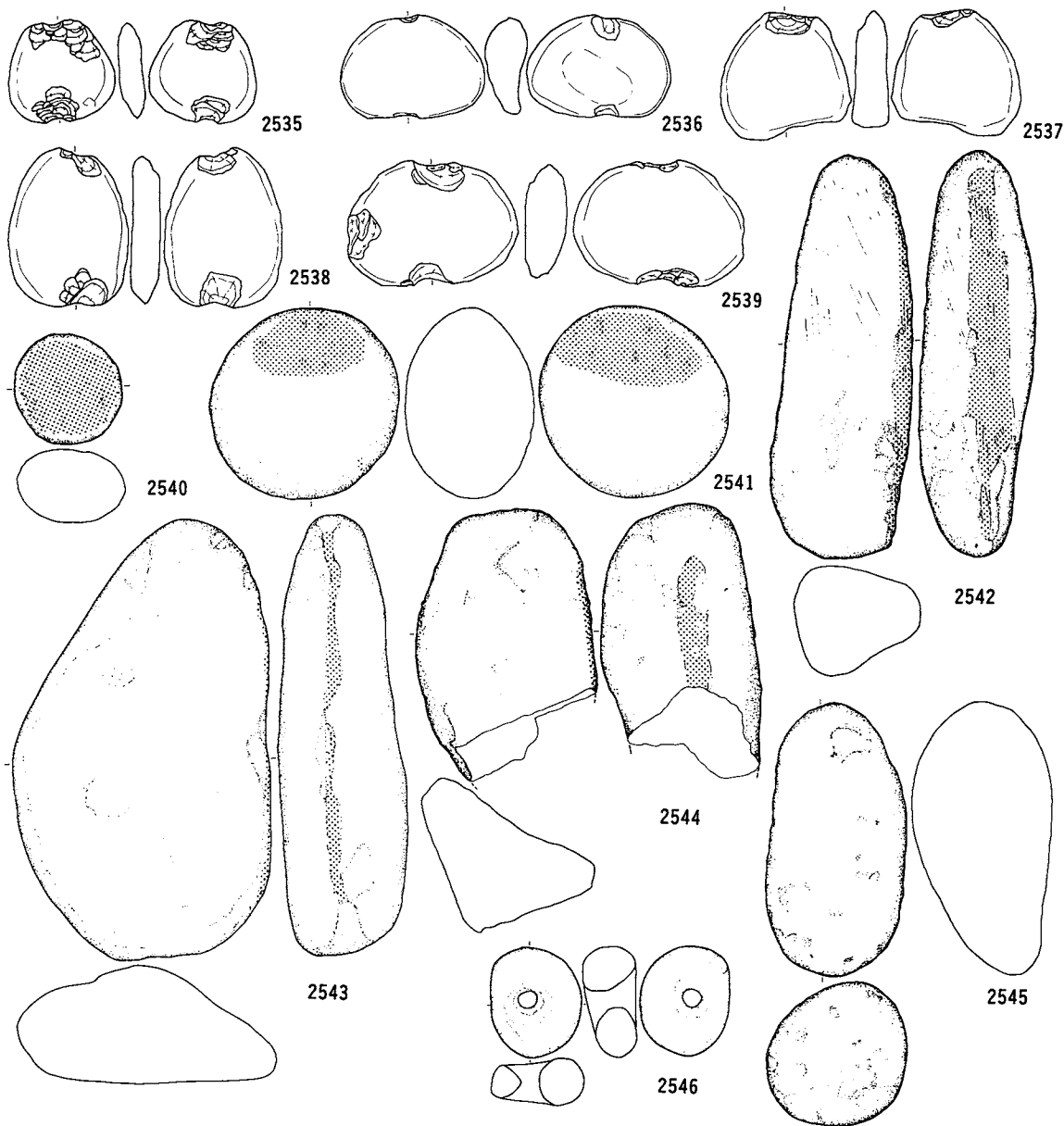


2520~2525 $S = \frac{1}{3}$ 2526~2534 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2520	ⅢA149・埋土中部	胴部	木目状燃糸文	深鉢11類
2521	ⅢA149・埋土3層	口縁部	連続爪形文	深鉢C10類
2522	ⅢA149・埋土3層	口縁部	斜位の沈線	深鉢
2523	ⅢA149・埋土3層	口縁部	縦位の粘土紐の下に横位の沈線	深鉢
2524	ⅢA149・埋土	胴部	網目状燃糸文	深鉢11類
2525	ⅢA149・埋土下部	底部	網代痕	深鉢

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2526	ⅢA149埋土上層	石筥	4.5	2.9	0.1	10.3	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	
2527	ⅢA149埋土北半ベルト	石筥	5.0	3.3	1.2	22.6	珪質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	*
2528	ⅢA149埋土上層	石筥	8.5	2.8	1.9	38.5	硬質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	
2529	ⅢA149埋土北半ベルト	石筥	3.1	3.1	0.9	9.2	珪質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	*
2530	ⅢA149埋土中層	石筥	4.0	2.3	1.2	11.1	硬質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	
2531	ⅢA149埋土下層	削器	4.4	3.9	0.9	14.4	硬質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	
2532	ⅢA149埋土3層	削器	3.4	4.2	0.8	11.2	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	
2533	ⅢA149埋土上層	削器	4.4	3.8	0.5	9.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	*
2534	ⅢA149埋土北半	削器	8.3	7.2	2.2	135.0	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	

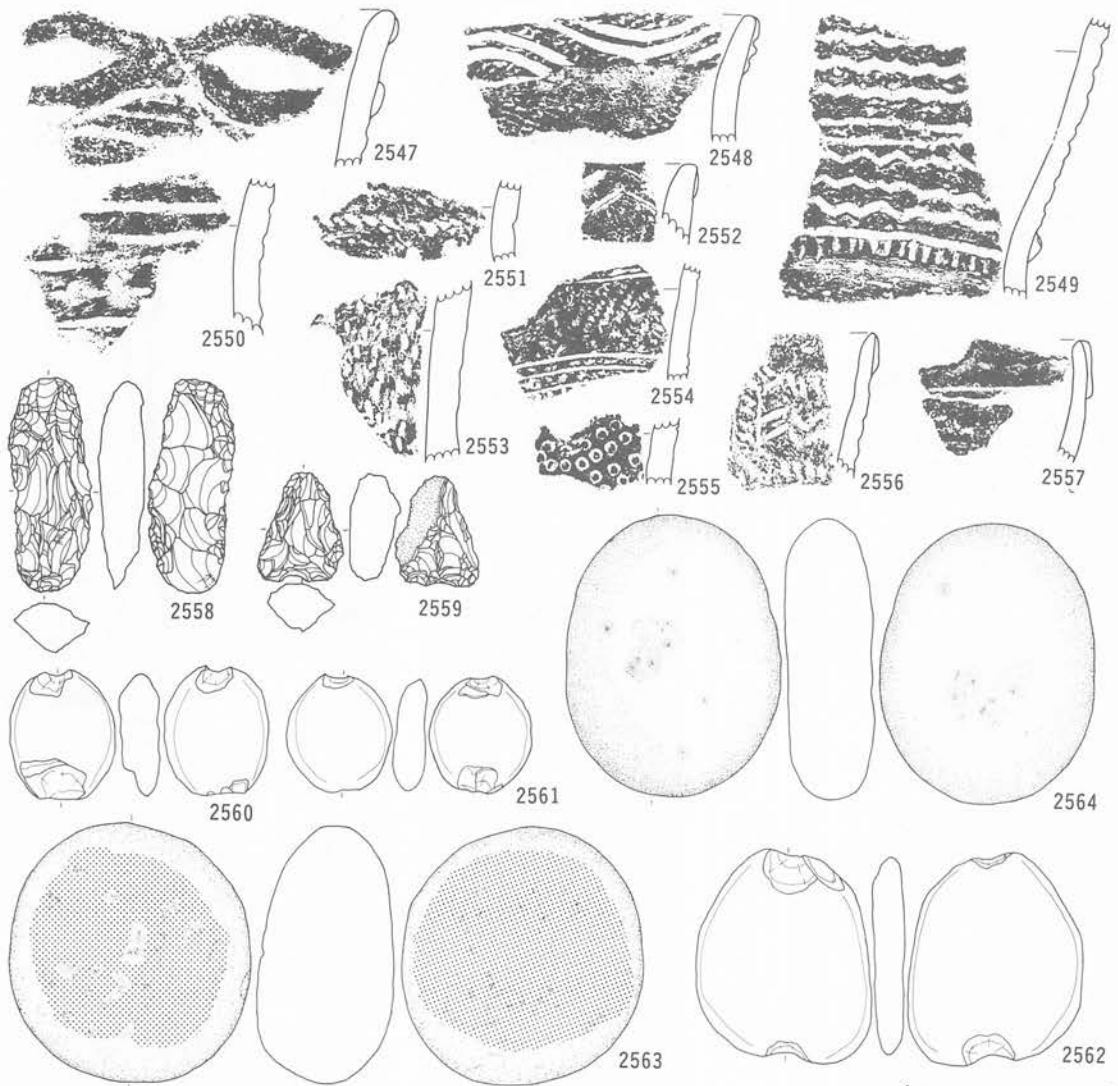
第276図 ⅢA149土坑出土遺物(2)



s = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2535	ⅢA149埋土北半	石錘	4.3	4.6	1.0	30.1	テサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
2536	ⅢA149埋土下部	石錘	4.4	6.2	1.7	60.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2537	ⅢA149埋土下部	石錘	5.4	5.5	1.6	70.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
2538	ⅢA149埋土4層	石錘	6.7	5.1	1.4	65.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2539	ⅢA149埋土2層	石錘	5.5	7.4	2.8	95.1	プロピライト質緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
2540	ⅢA149埋土下層	すり石	4.8	4.5	3.3	90.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2541	ⅢA149埋土下部	すり石	8.4	7.8	5.8	500.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2542	ⅢA149埋土2層	特殊磨石	17.2	5.8	5.1	620.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2543	ⅢA149埋土南半	特殊磨石	19.0	11.1	4.8	1340.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2544	ⅢA149埋土南半	特殊磨石	12.1	7.9	7.3	560.0	テサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	*
2545	ⅢA149埋土下層	敲石	11.7	6.5	5.7	560.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	
2546	ⅢA149埋土北半ベルト部分	有孔礫	4.7	4.0	2.2	40.1	硬質泥岩	川尻以西o r 礫石西部	新第三系中新統	

第277図 ⅢA149土坑出土遺物(3)

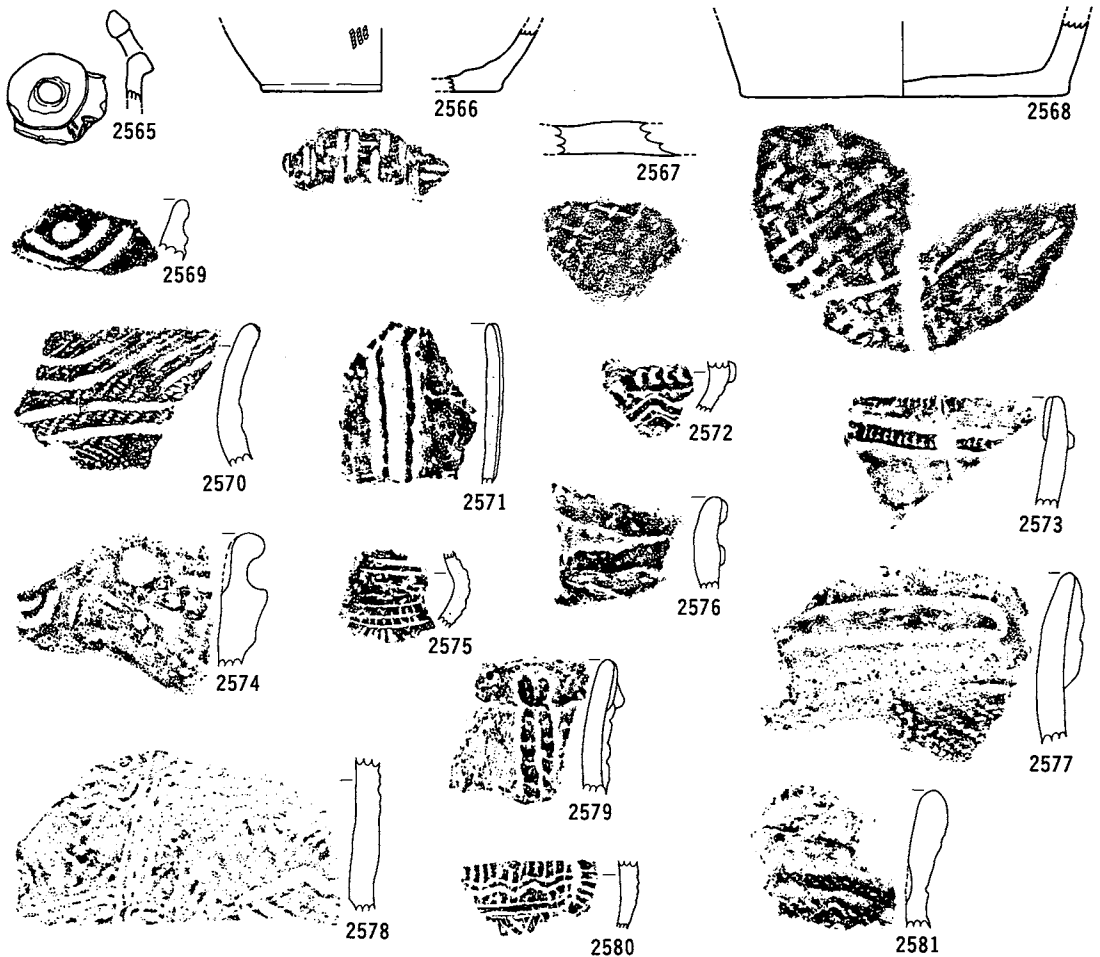


2547~2557・2560~2564 $S = \frac{1}{3}$ 2558・2559 $S = \frac{1}{2}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2547	ⅢA150・埋土2層	口縁部	波頂部は2山状、メカネ状に粘土紐貼付、横位の沈線	深鉢9類
2548	ⅢA150・埋土1層	口縁部	粘土帯上に弧状の沈線が2条ずつ交互に施される、口縁部はLRヨコ、胴部はLRタテ	深鉢14類
2549	ⅢA150・埋土	口～頸部	横位や小波状の沈線、その下に刻目のある粘土紐	深鉢B17類
2550	ⅢA150・埋土2層	頸部	横位の沈線数条	深鉢6類
2551	ⅢA150・埋土	頸部	LRの原体圧痕数段	深鉢14類
2552	ⅢA150・埋土2層	口縁部	粘土帯山形に貼付、その両側に沈線	深鉢
2553	ⅢA150・埋土	胴部	RLの原体圧痕(?)	深鉢16類
2554	ⅢA150・埋土	胴部	平行沈線文、下端に連続した刻目、LRヨコ	深鉢6類
2555	ⅢA150・埋土	胴部	竹管による円形の連続刺突	深鉢10類
2556	ⅢA150・埋土	口縁部	複合口縁、刻目のある楕円状の粘土紐、鋸歯状や縦位の沈線	深鉢18類
2557	ⅢA150・埋土1層	口縁部	複合口縁、波頂部分に半円状のえぐり	深鉢

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2558	ⅢA150埋土東半	石篋	5.7	2.1	1.3	15.5	珪質泥岩	川尻以西or平石西部	新第三系中新統	
2559	ⅢA150埋土1層	三角削器	2.9	2.1	1.3	7.6	鉄石英	駒岳	新第三系鮮新統	
2660	ⅢA150埋土東半	石錘	5.1	4.1	1.6	50.1	プロピライト質緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
2661	ⅢA150埋土東半	石錘	4.6	4.1	1.5	35.1	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
2662	ⅢA150埋土1層	石錘	8.1	7.0	1.4	105.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2663	ⅢA150埋土1層	すり石	10.3	9.8	5.3	680.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2664	ⅢA150埋土東半	凹石	11.2	8.5	3.9	520.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	

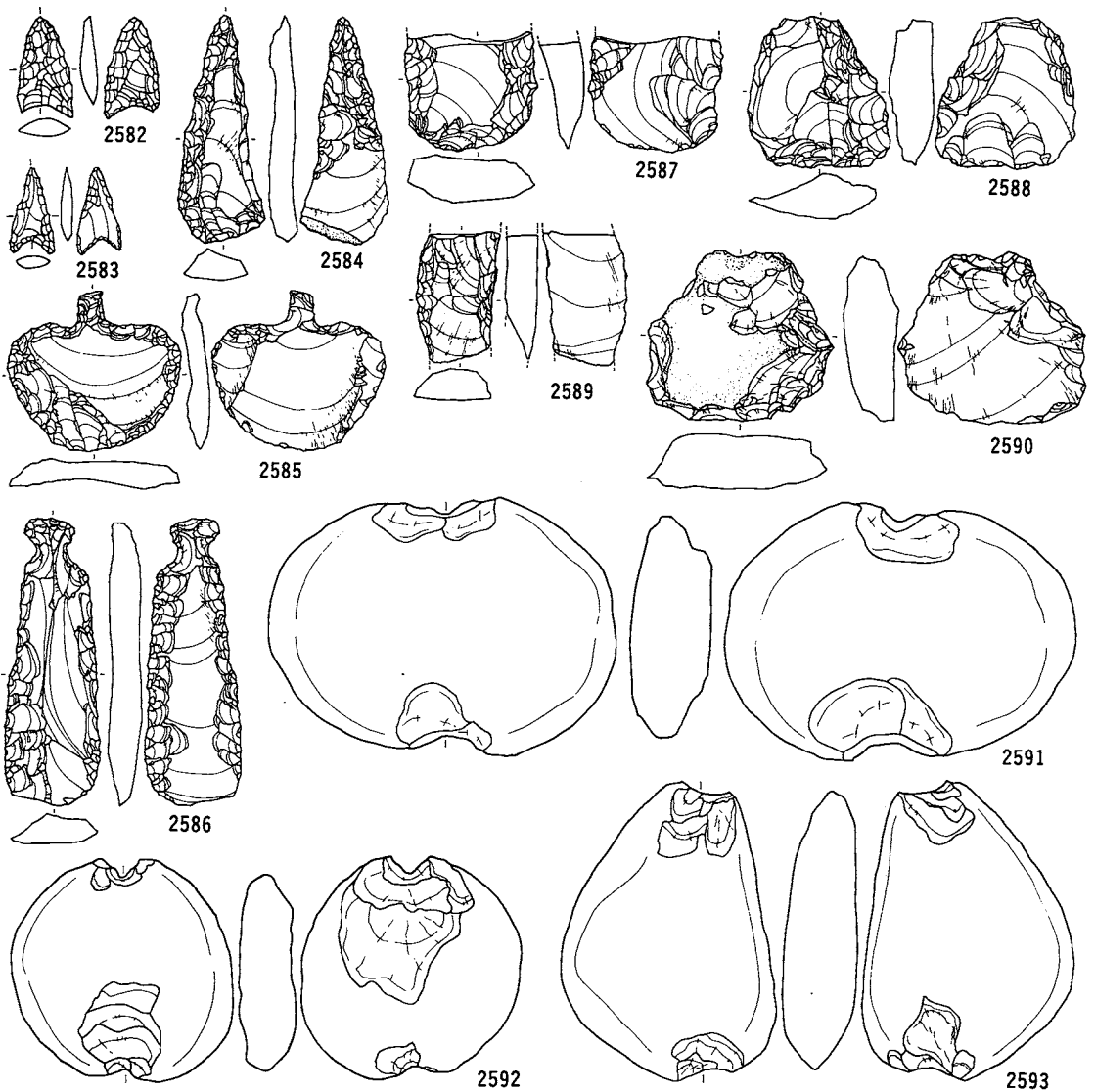
第278図 ⅢA150土坑出土遺物



2565~2568 S = $\frac{1}{4}$ 2569~2581 S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2565	ⅢA166埋土1層	口縁部	有孔円盤状の突起部分、結節わずかに見える	深鉢1類
2566	ⅢA166埋土	胴~底部	RLナナメ、網代痕	深鉢12類
2567	ⅢA166埋土	底部	網代痕	深鉢
2568	ⅢA166埋土	胴~底部	網代痕	深鉢
2569	ⅢA166埋土	口縁部	波頂部に円形の凹み、弧状の沈線2条	深鉢9類
2570	ⅢA166埋土2~5層	口縁部	弧状や横位の沈線、口縁部にRLタテ、胴部にRLヨコ	深鉢B6類
2571	ⅢA166埋土下部	口縁部	2本の粘土紐垂下	深鉢A
2572	ⅢA166埋土	口縁部	爪形文のある粘土紐、山形状の平行沈線文	深鉢10類
2573	ⅢA166埋土2~5層	口縁部	上端裏側に粘土帯、爪形文のある粘土紐	深鉢10類
2574	ⅢA166埋土	口縁部	波頂部に円形の凹み、爪形文のある三角状の粘土紐、弧状の沈線	深鉢10類
2575	ⅢA166埋土	口縁部	橋状把手部分、横位の沈線間に連続した刻目	深鉢
2576	ⅢA166埋土2~5層	口縁部	2本の粘土帯貼付	深鉢
2577	ⅢA166埋土2~5層	口縁部	幅広い粘土帯上にヘアピン状の沈線、LRタテ	深鉢9類
2578	ⅢA166埋土2~5層	胴部	縦横に平行沈線文、太い沈線、RLタテ	深鉢7類
2579	ⅢA166埋土下部	口縁部	複合口縁上にV字状の粘土塊、その下に刻目を持つ粘土紐垂下	深鉢18類
2580	ⅢA166埋土	口縁部	刻目を持つ粘土紐貼付、その間に横位や小波状の平行沈線と縦位の連続沈線が施される	深鉢18類
2581	ⅢA166埋土	口縁部	LRの原体圧痕2段	深鉢16類

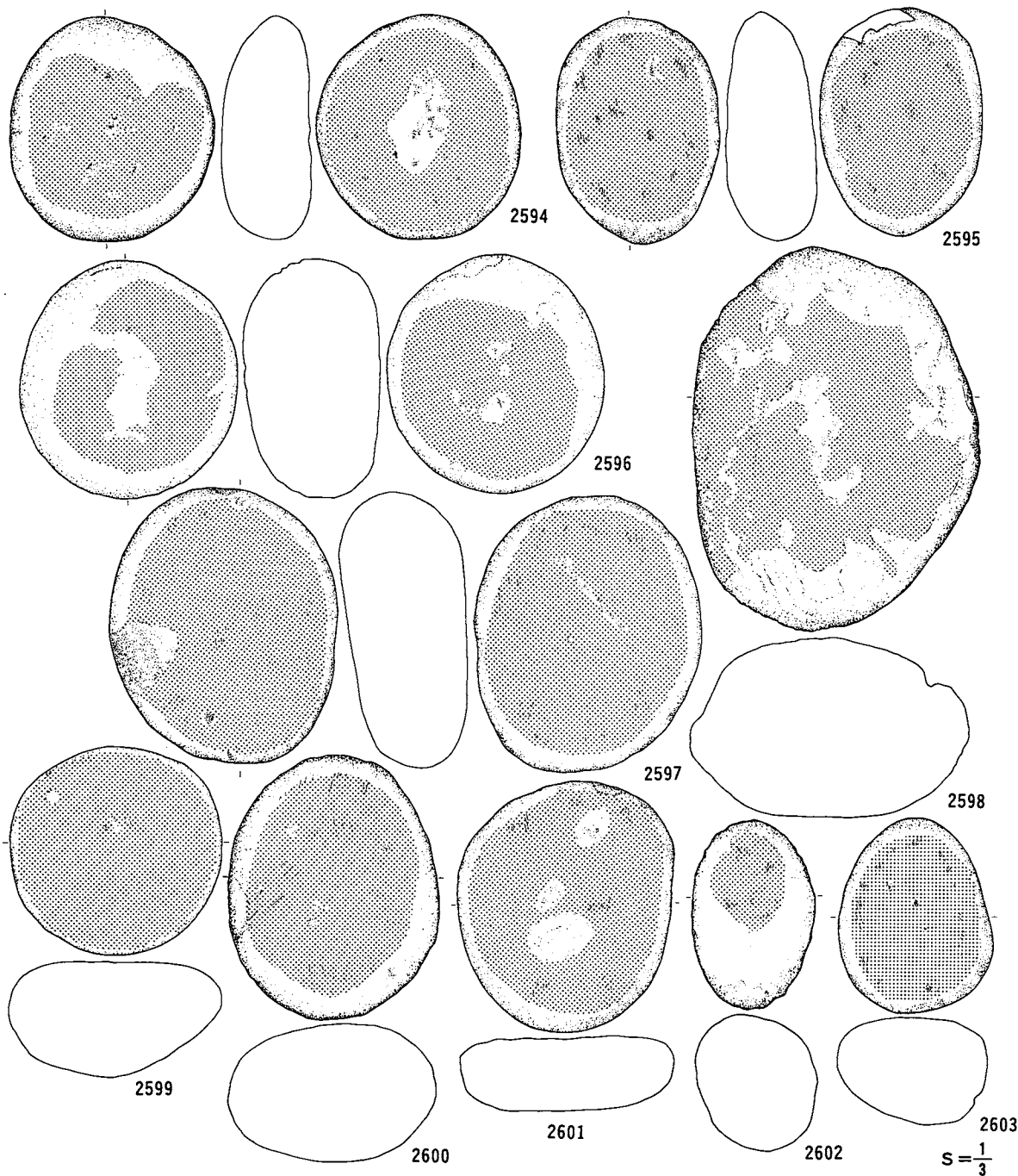
第279図 ⅢA166土坑出土遺物(1)



S = $\frac{1}{2}$

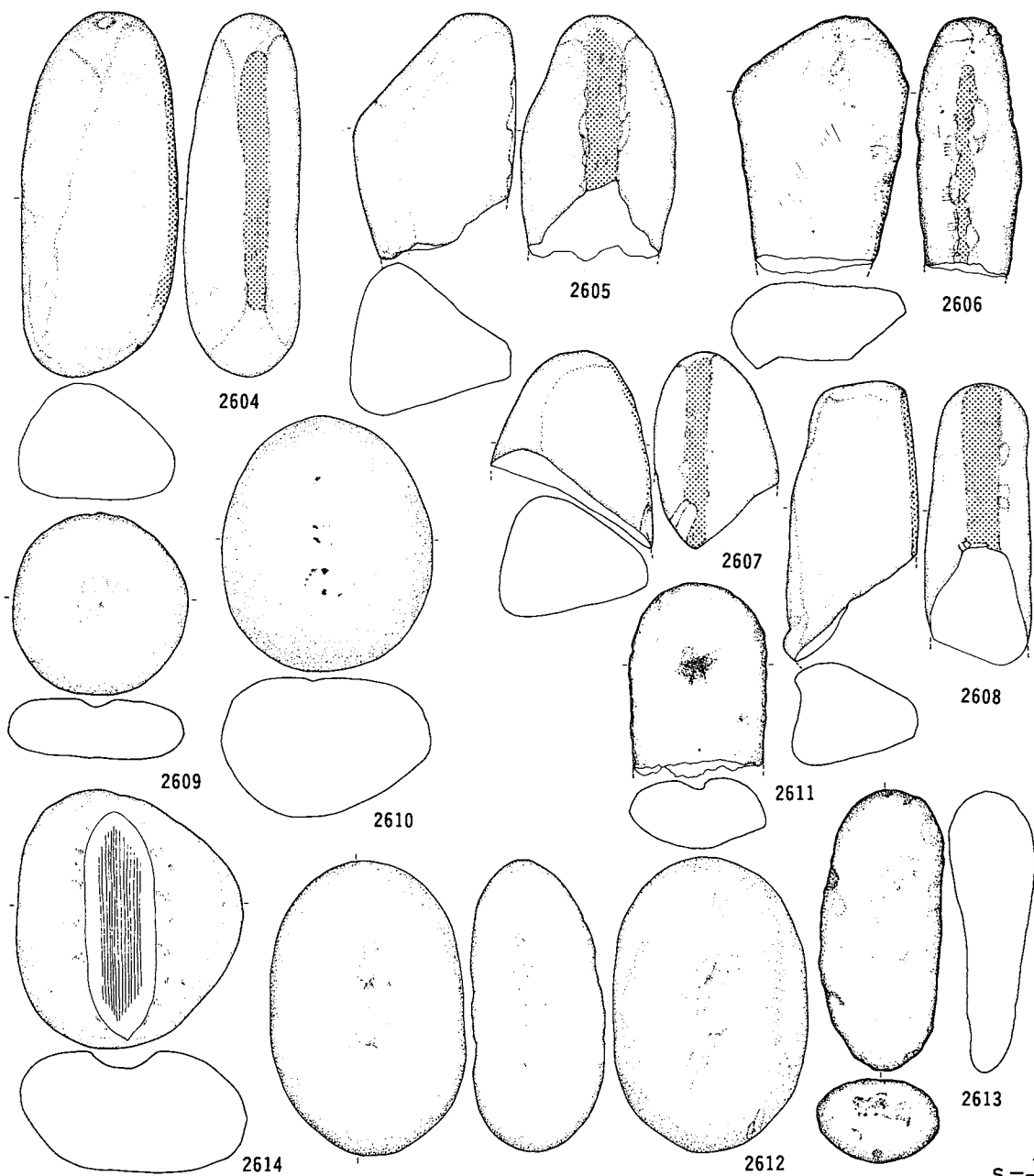
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2582	ⅢA166埋土下部	石鏃	2.8	1.5	0.4	1.5	粘板岩	北上山地	古生界	
2583	ⅢA166埋土西半	石鏃	2.4	1.2	0.4	0.8	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西○r礫石西部	新第三系中新統	
2584	ⅢA166埋土下部	尖頭器	6.2	2.4	0.8	10.1	細粒凝灰岩	川尻以西○r礫石西部	新第三系中新統	
2585	ⅢA166埋土下部	石匙	4.2	4.7	0.7	12.7	硬質泥岩	川尻以西○r礫石西部	新第三系中新統	
2586	ⅢA166埋土下部	石匙	7.8	2.6	0.9	18.3	凝灰質硬質泥岩	川尻以西○r礫石西部	新第三系中新統	
2587	ⅢA166埋土下部	石鏃	3.2	3.6	1.2	15.4	珪質泥岩	川尻以西○r礫石西部	新第三系中新統	*
2588	ⅢA166埋土下部	三角削器	4.1	3.8	1.2	17.2	細粒凝灰岩	川尻以西○r礫石西部	新第三系中新統	
2589	ⅢA166埋土西半	石鏃	3.5	2.1	0.8	8.1	流紋岩	羽山～本畑	新第三系中新統	*
2590	ⅢA166埋土西半	搔器	4.6	5.1	1.5	42.9	凝灰質硬質泥岩	川尻以西○r礫石西部	新第三系中新統	
2591	ⅢA166埋土下部	石錘	6.9	9.5	2.4	220.0	兩輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2592	ⅢA166埋土西半	石錘	6.0	5.9	1.9	90.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2593	ⅢA166埋土西半	石錘	8.0	5.6	2.1	125.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

第280図 ⅢA166土坑出土遺物(2)



Na	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2594	ⅢA166埋土西半	すり石	10.3	9.2	4.1	600.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2595	ⅢA166埋土西半	すり石	9.5	7.6	4.2	480.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2596	ⅢA166埋土西半	すり石	11.1	10.0	6.4	1000.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2597	ⅢA166埋土下部	すり石	13.0	10.4	5.8	1120.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2598	ⅢA166埋土西半	すり石	17.7	13.0	8.1	2600.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2599	ⅢA166埋土西半	すり石	9.9	9.6	5.3	700.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2600	ⅢA166埋土西半	すり石	12.2	9.5	6.4	1030.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	
2601	ⅢA166埋土西半	すり石	11.8	9.9	3.6	580.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*
2602	ⅢA166埋土西半	すり石	8.9	6.9	5.5	460.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	
2603	ⅢA166埋土西半	すり石	8.9	7.2	5.3	475.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	

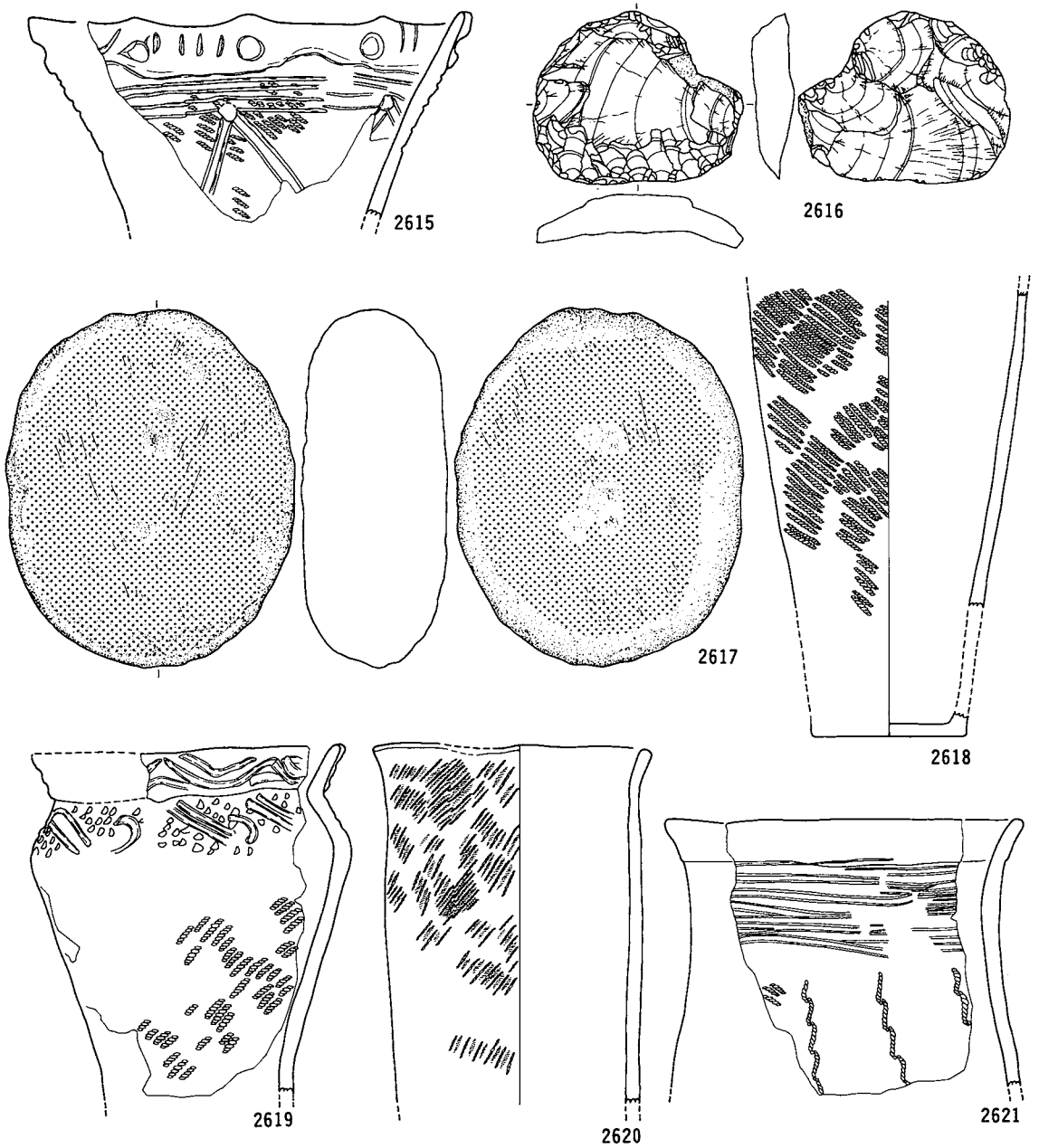
第281図 ⅢA166土坑出土遺物(3)



S = $\frac{1}{3}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2604	Ⅲ A 166埋土下部	特殊磨石	15.9	6.8	5.1	780.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	
2605	Ⅲ A 166埋土西半	特殊磨石	11.2	6.9	6.8	590.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	*
2606	Ⅲ A 166埋土下部	特殊磨石	11.3	7.4	4.6	410.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
2607	Ⅲ A 166埋土下部	特殊磨石	8.5	7.0	5.1	265.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	*
2608	Ⅲ A 166埋土下部	特殊磨石	11.9	5.4	4.6	390.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	*
2609	Ⅲ A 166埋土下部	凹石	8.1	7.7	2.6	200.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2610	Ⅲ A 166埋土西半	凹石	10.9	9.1	6.2	870.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2611	Ⅲ A 166埋土西半	凹石	8.3	5.9	3.2	165.0	軽石質凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	*
2612	Ⅲ A 166埋土下層	凹石	12.7	8.4	5.8	960.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	
2613	Ⅲ A 166埋土下層	敲石	12.2	5.2	3.7	280.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2614	Ⅲ A 166埋土西半	石皿	11.2	9.8	5.5	710.0	デサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	

第282図 Ⅲ A 166土坑出土遺物(4)

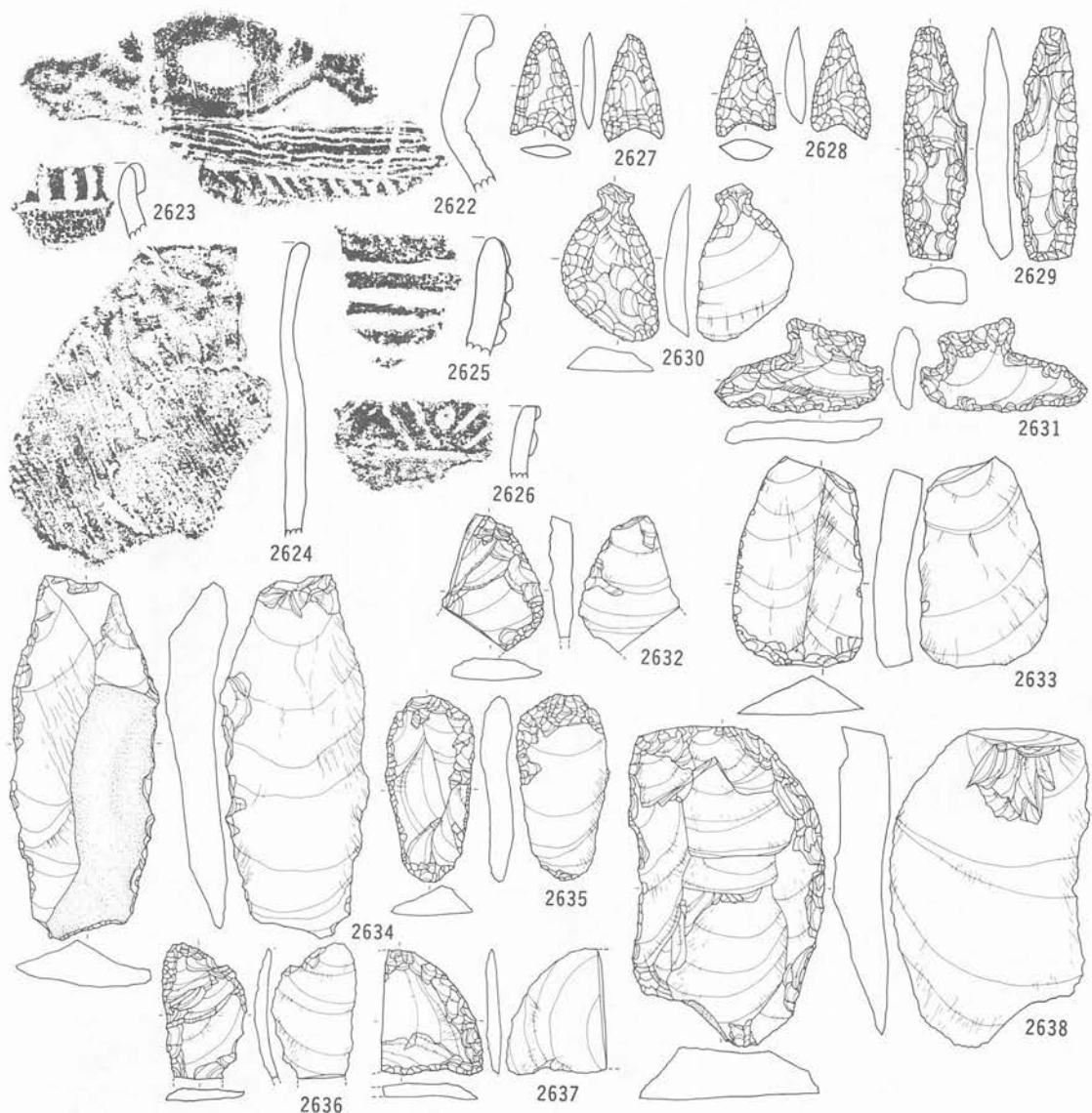


2615・2618~2621 $S = \frac{1}{4}$ 2616・2617 $S = \frac{1}{2}$

Na	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2615	ⅢA 167・埋土	口~胴部	10単位程度の波状口縁、粘土帯上に円形の凹みと刻目、平行沈線文、団子状粘土塊、LRタテ	深鉢A 8類
2618	ⅢA 168・埋土下部	胴~底部	大きさの違う原体によるLRタテ	深鉢A 12類
2619	ⅢA 168・埋土	口~胴部	平縁、粘土帯上に弧状の太い沈線、その下にも斜位や弧状の沈線や爪形文、RLタテ	深鉢B 10類
2620	ⅢA 168・埋土下部	口~胴部	平縁、一部結束したRタテ	深鉢A 15類
2621	ⅢA 168・埋土下部	口~胴部	平行沈線文、結節したLRタテ	深鉢B 15類

Na	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2616	ⅢA 167埋土西半	搔器	5.1	6.2	1.6	48.5	珪質泥岩	川尻以西 or 礮石西部	新第三系中新統	
2617	ⅢA 167埋土東半	すり石	10.4	9.4	4.4	570.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	

第283図 ⅢA 167・168土坑出土遺物(1)

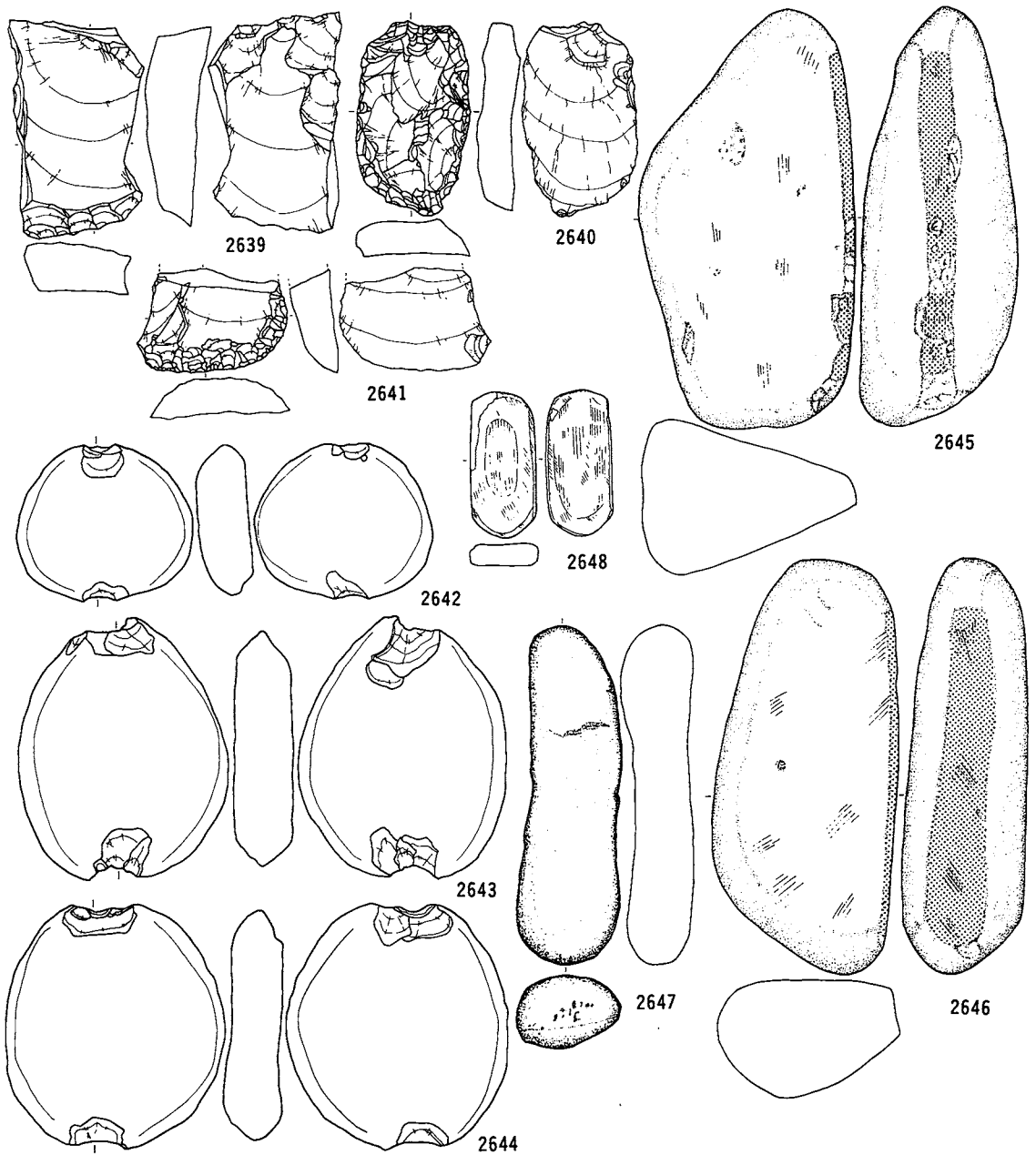


2622~2626 $S = \frac{1}{3}$ 2627~2638 $S = \frac{1}{2}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2622	III A 168・埋土1層	口~頸部	楕円形の凹み、平行沈線文、斜位押圧の粘土紐貼付	深鉢B9類
2623	III A 168・埋土下部	口縁部	粘土帯上に縦位の連続押圧	深鉢13類
2624	III A 168・埋土2~7層	口~胴部	絡糸体rタテ	深鉢A14類
2625	III A 168・埋土	口縁部	粘土帯上に横位の沈線3条	深鉢17類
2626	III A 168・埋土2~7層	口縁部	粘土帯上に円形の凹みや2本1組の斜位の沈線	深鉢14類

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2627	III A 168埋土北半	石鏝	3.0	1.8	0.4	1.8	珪質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	
2628	III A 168埋土北半	石鏝	3.0	1.7	0.7	2.1	硬質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	
2629	III A 168埋土2~7層	尖頭器	6.4	1.7	1.0	10.5	粘板岩	北上山地	古生界	
2630	III A 168埋土北半	石匙	4.3	2.7	0.6	7.7	粘板岩	北上山地	古生界	
2631	III A 168埋土2~7層	石匙	2.5	4.6	0.8	6.2	細粒凝灰岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	
2632	III A 168埋土下部	削器	3.8	2.7	0.7	5.8	珪質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	*
2633	III A 168埋土北半	削器	5.8	3.5	1.3	23.5	流紋岩	羽山~本畑	新第三系中新統	
2634	III A 168埋土1層	削器	9.9	4.0	2.7	50.7	流紋岩	羽山~本畑	新第三系中新統	
2635	III A 168埋土2~7層	削器	5.1	2.5	0.9	10.3	硬質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	
2636	III A 168埋土下部	削器	3.7	2.3	0.6	3.1	硬質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	*
2637	III A 168埋土下部	削器	3.4	2.7	0.4	3.8	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	*
2638	III A 168埋土南半	削器	8.7	5.4	1.5	80.1	硬質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	

第284図 III A 168土坑出土遺物(2)

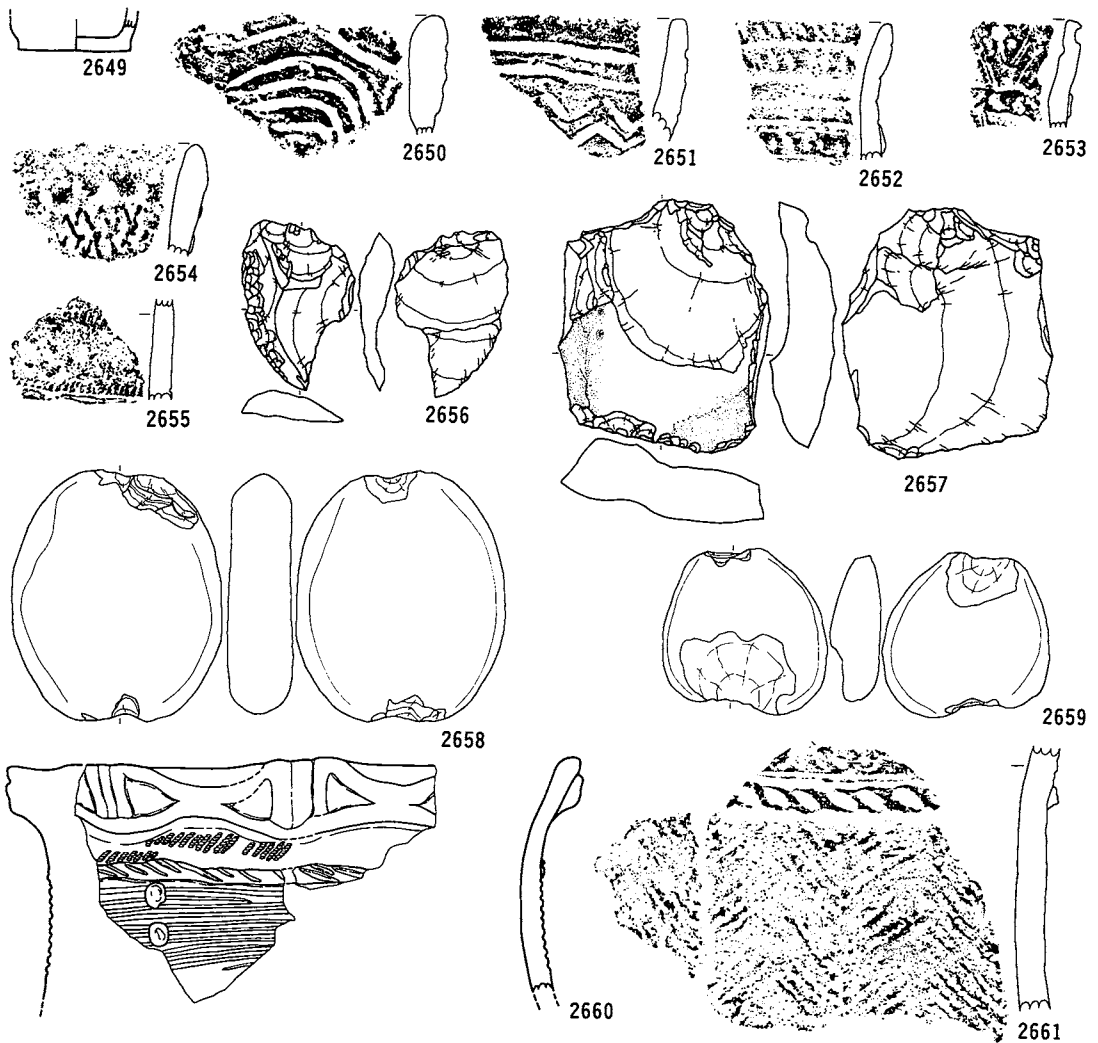


2639~2644・2648 $S = \frac{1}{2}$

2645~2647 $S = \frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2639	ⅢA168埋土下部	搔器	6.8	3.7	1.5	56.2	硬質泥岩	川尻以西or半石西部	新第三系中新統	
2640	ⅢA168埋土下部	搔器	5.1	3.4	1.3	29.9	珪質泥岩	川尻以西or半石西部	新第三系中新統	
2641	ⅢA168埋土下部	搔器	3.0	4.1	1.0	17.6	珪質泥岩	川尻以西or半石西部	新第三系中新統	*
2642	ⅢA168埋土1層	石錘	4.5	5.1	1.6	50.1	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
2643	ⅢA168埋土北半	石錘	7.3	6.1	1.8	110.0	テサイト質凝灰岩	羽山~本畑	新第三系中新統	
2644	ⅢA168埋土北半	石錘	7.1	6.9	2.8	115.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2645	ⅢA168埋土北半	特殊磨石	18.5	9.7	6.8	1280.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2646	ⅢA168埋土北半	特殊磨石	18.2	7.9	5.3	1080.0	アロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	
2647	ⅢA168埋土2~7層	敲石	14.9	5.0	3.2	240.0	アロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	
2648	ⅢA168埋土1層	円盤状石製品	4.3	2.0	0.7	7.8	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	

第285図 ⅢA168土坑出土遺物(3)

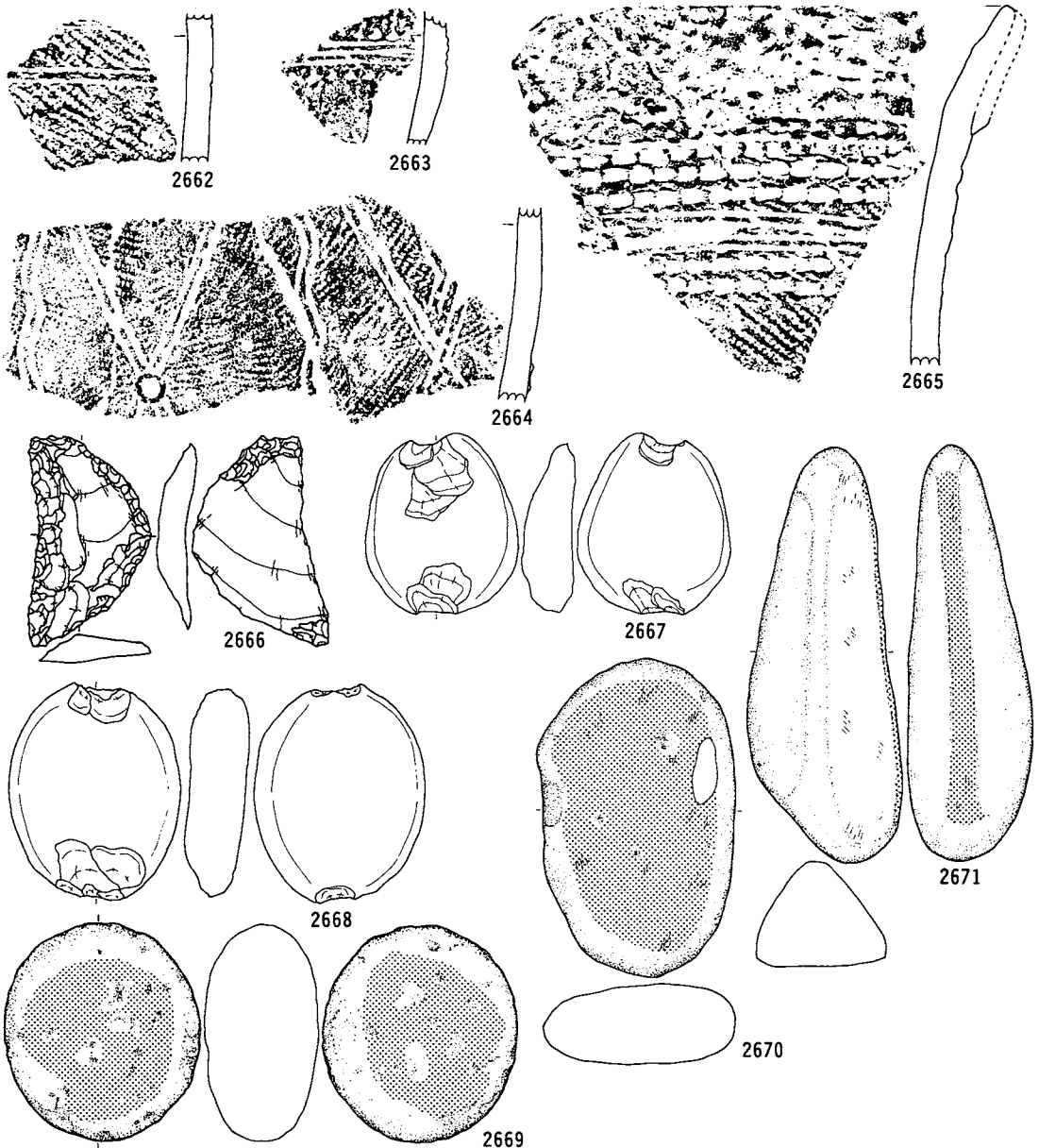


2649・2660 $S = \frac{1}{4}$ 2650~2655・2658・2659・2661 $S = \frac{1}{3}$ 2656・2657 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2649	III A 169・埋土	胴～底部	無文	深鉢
2650	III A 169・埋土	口縁部	弧状の連続沈線	深鉢 6 類
2651	III A 169・埋土	口縁部	横位と鋸歯状の沈線	深鉢 6 類
2652	III A 169・埋土	口縁部	横位の沈線間に縦位の連続沈線、刻目を持つ横位の粘土紐	深鉢 19 類
2653	III A 169・埋土	口縁部	2 本 1 組の本目状燃糸文、爪形文のある粘土紐	深鉢 11 類
2654	III A 169・埋土	口縁部	口唇部に連続した刻目、口縁部に三角状の刺突、細い粘土紐が鋸歯状に貼付	深鉢
2655	III A 169・埋土	胴部	縦位の連続した刻目と横位の沈線	深鉢
2660	III A 177・埋土	口～頸部	縦位の粘土紐 3 本 1 組で数単位、x 字状の粘土紐、斜位押圧の粘土紐、円形粘土塊、R L タテ	深鉢 B 9 類
2661	III A 177・埋土	頸～胴部	斜位押圧のある粘土紐、その上に横位の沈線、羽状(結東第 1 種)タテ	深鉢 B 15 種

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2656	III A 169埋土東半	削器	4.2	3.0	0.8	10.2	珪質泥岩	川尻以西 0 r 礫石西部	新第三系中新統	
2657	III A 169埋土西半	搔器	6.5	5.5	1.6	85.1	硬質泥岩	川尻以西 0 r 礫石西部	新第三系中新統	
2658	III A 169埋土西半	石錘	9.8	8.3	2.7	340.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2659	III A 169埋土西半	石錘	6.7	6.6	2.2	110.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*

第286図 III A 169・177土坑出土遺物(1)

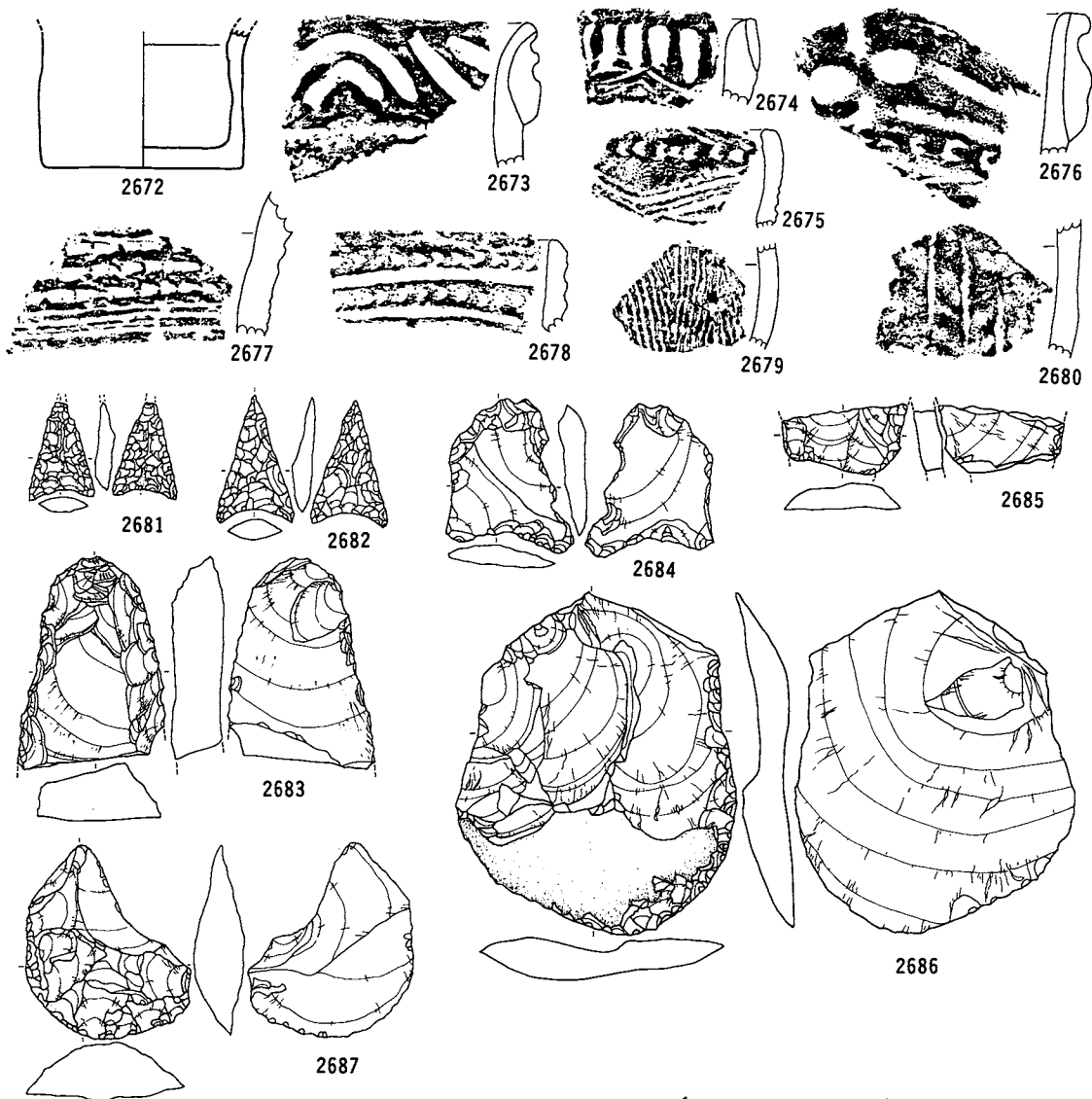


2662~2665・2667~2671 S = $\frac{1}{3}$ 2666 S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2662	ⅢA177・埋土	胴部	平行沈線文、LRタテ	深鉢7類
2663	ⅢA177・埋土	胴部	連続爪形文の間に3条の沈線	深鉢10類
2664	ⅢA177・埋土	胴部	平行沈線文、ボタン状貼付、LRヨコ、ナナメ	深鉢8類
2665	ⅢA177・埋土	口~胴部	数段の押し引き沈線間に平行沈線、LRタテ	深鉢B17類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2666	ⅢA177埋土南半	削器	6.0	3.5	1.0	15.6	珪質泥岩	川尻以西or磐石西部	新第三系中新統	
2667	ⅢA177埋土北半	石錘	7.5	6.4	2.2	125.0	テサイト質凝灰岩	羽山~本畑	新第三系中新統	
2668	ⅢA177埋土北半	石錘	8.9	7.1	2.3	190.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2669	ⅢA177埋土北半	すり石	9.1	8.2	5.0	480.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	
2670	ⅢA177埋土南半	すり石	13.3	8.3	3.4	520.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2671	ⅢA177埋土南半	特殊磨石	17.2	6.3	5.0	610.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	

第287図 ⅢA177土坑出土遺物(2)

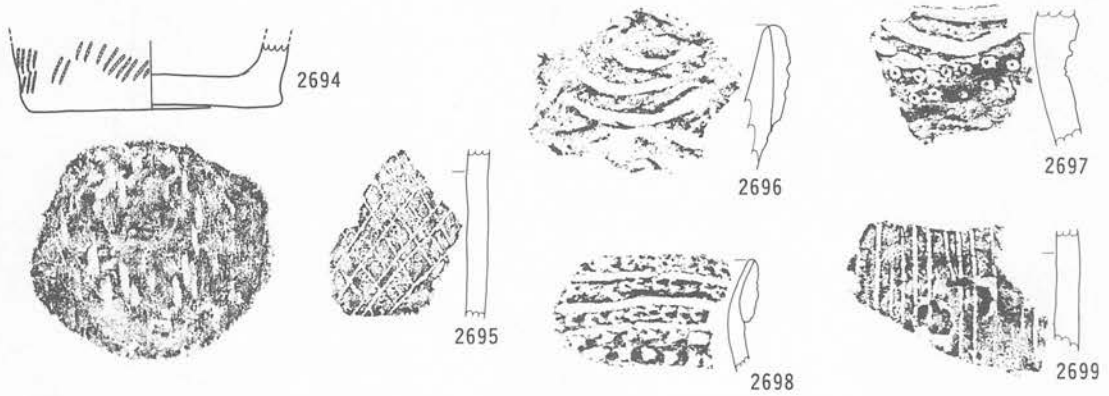
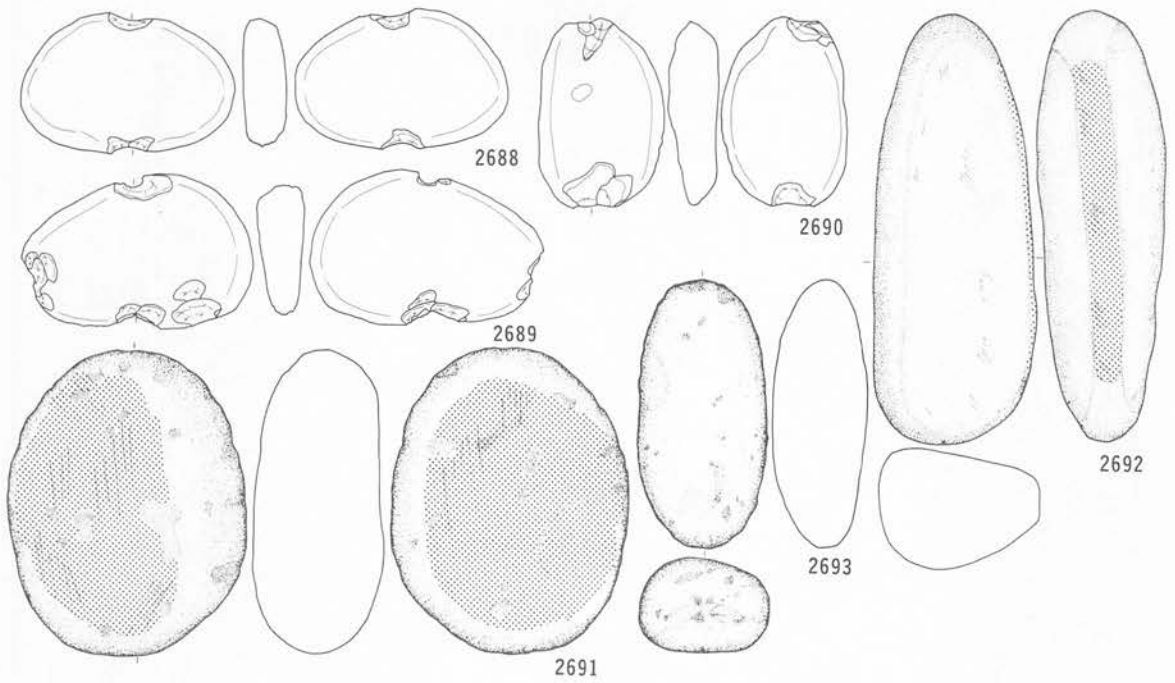


$$2672 \quad S = \frac{1}{4}, \quad 2673 \sim 2680 \quad S = \frac{1}{3}, \quad 2681 \sim 2687 \quad S = \frac{1}{2}$$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2672	ⅢA178・埋土上部	胴～底部	無文	深鉢C
2673	ⅢA178・埋土上部	口縁部	粘土帯上に弧状の太い沈線、LRタテ	深鉢14類
2674	ⅢA178・埋土上部	口縁部	粘土帯上に縦位の太い連続沈線	深鉢14類
2675	ⅢA178・埋土上部	口縁部	連続爪形文、鍵状の平行沈線文	深鉢10類
2676	ⅢA178・埋土上部	口縁部	波頂部分は2山状、2個の円形の凹み、太い沈線、逆コの字状の爪形文	深鉢9類
2677	ⅢA178・埋土上部	口縁部	押し引き沈線の下に平行沈線	深鉢B10類
2678	ⅢA178・埋土上部	口縁部	太い沈線間に連続爪形文	深鉢10類
2679	ⅢA178・埋土上部	胴部	絡条体Lタテ	深鉢4類
2680	ⅢA178・埋土上部	胴部	Lの原体圧痕	深鉢16類

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2681	ⅢA178埋土上部	石鏃	2.4	1.7	0.5	1.3	粘板岩	北上山地	古生界	*
2682	ⅢA178埋土上部	石鏃	3.4	2.1	0.6	2.4	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2683	ⅢA178埋土上部	石鏃	5.8	4.0	1.6	40.7	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	*
2684	ⅢA178埋土	削器	3.8	3.3	0.7	8.8	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2685	ⅢA178埋土	削器	1.9	3.4	0.8	4.8	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	*
2686	ⅢA178埋土上部	削器	9.4	7.7	1.5	95.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	
2687	ⅢA178埋土上部	搔器	5.2	4.2	1.5	25.8	珪質泥岩	川尻以西or礫石西部	新第三系中新統	

第288図 ⅢA178土坑出土遺物(1)

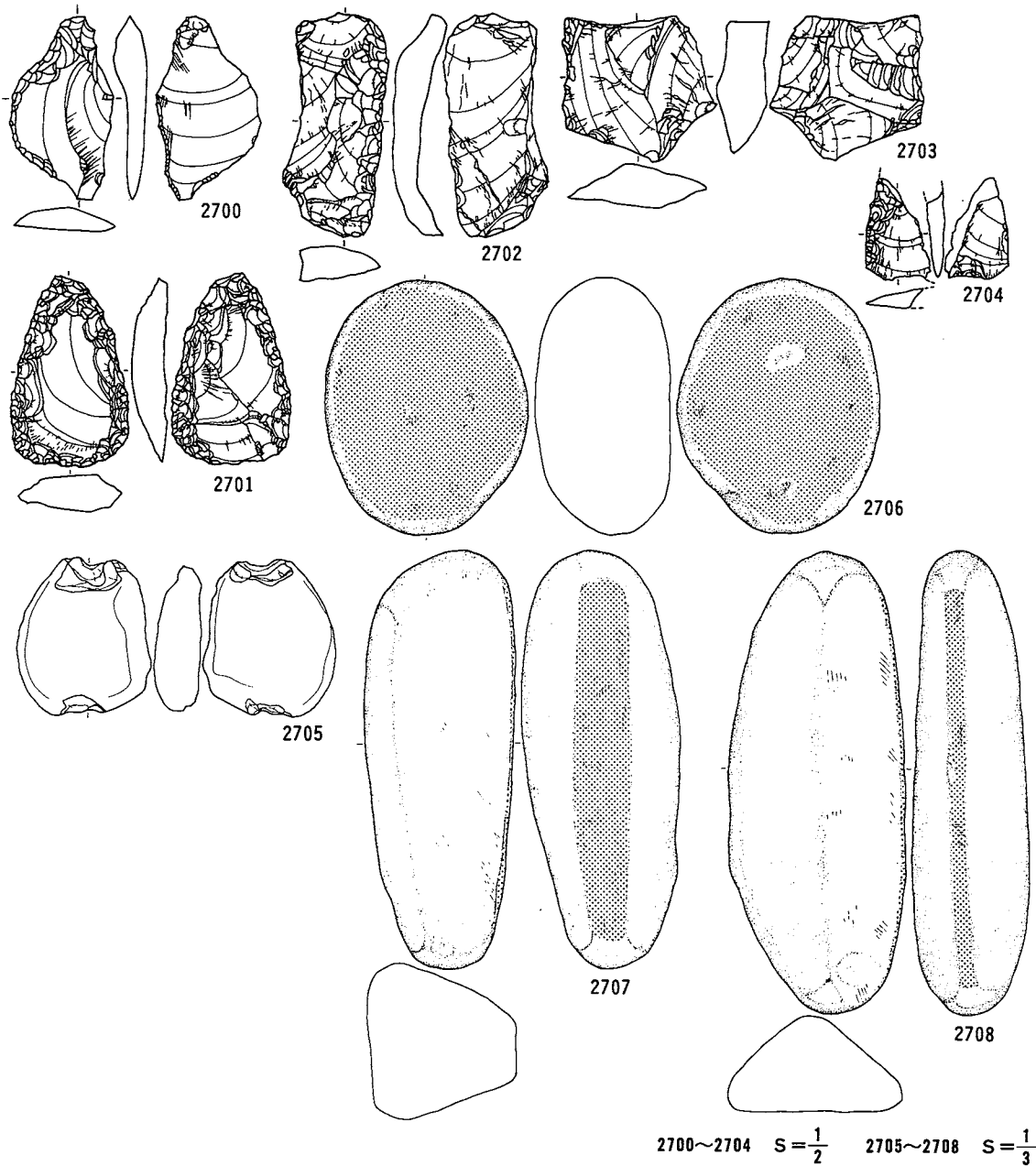


2688~2693・2695~2699 $S = \frac{1}{3}$ 2694 $S = \frac{1}{4}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2688	ⅢA178埋土	石錘	5.5	8.5	1.7	125.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2689	ⅢA178埋土上部	石錘	6.2	9.1	1.9	115.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2690	ⅢA178埋土上部	石錘	7.5	5.0	2.1	115.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2691	ⅢA178埋土	すり石	12.2	9.5	5.3	840.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2692	ⅢA178埋土上部	特殊磨石	17.1	6.4	5.0	820.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2693	ⅢA178埋土上部	敲石	10.6	5.1	4.0	300.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

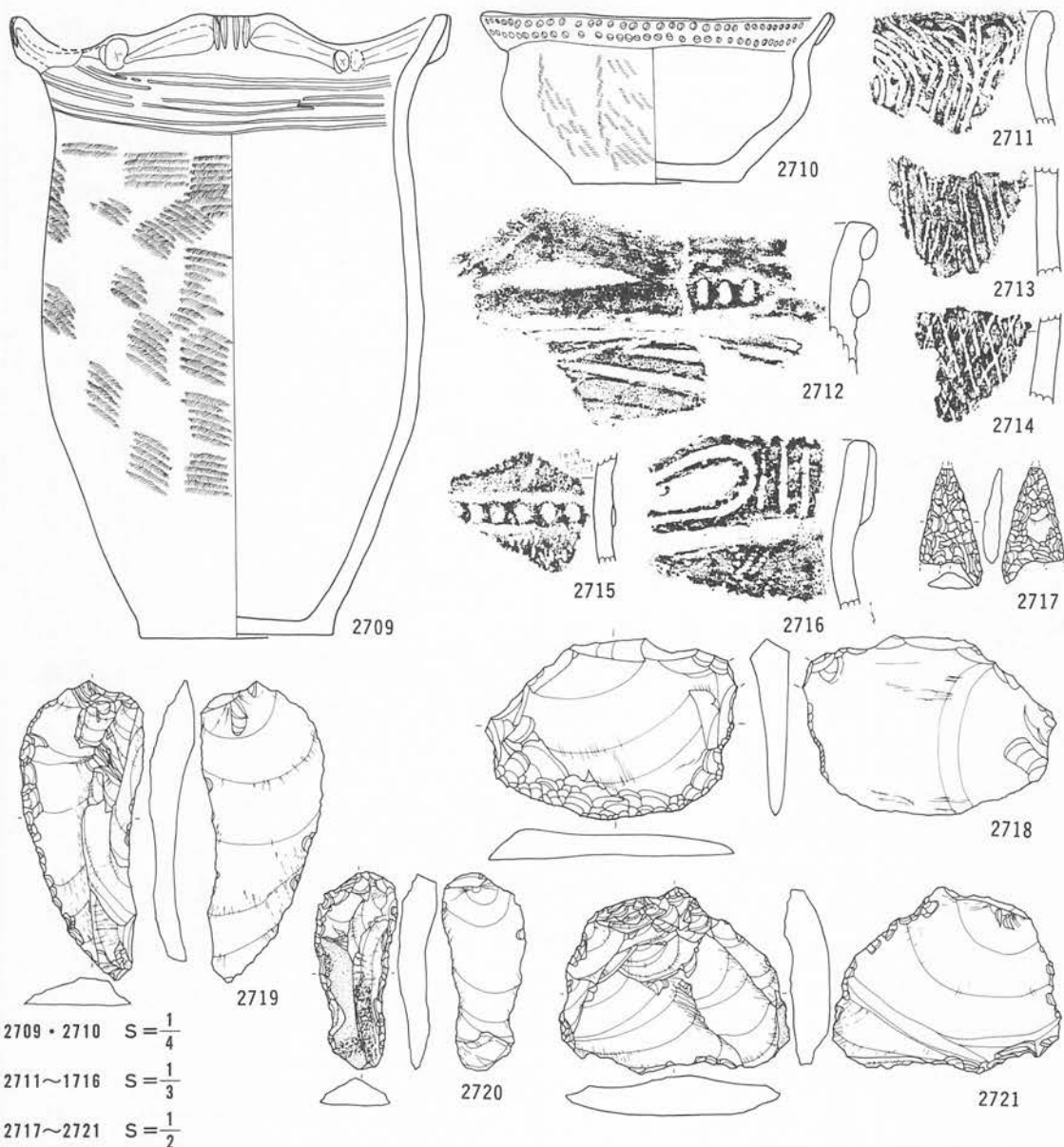
No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2694	ⅢA184・埋土	胴～底部	L Rヨコ、網代痕	深鉢12類
2695	ⅢA184・埋土上部	胴部	網目状燃糸文	深鉢11類
2696	ⅢA184・埋土上部	口縁部	粘土帯上に弧状の連続沈線	深鉢6類
2697	ⅢA184・埋土	頸部	太い2条の沈線の下に竹管による連続刺突、L Rタテ	深鉢B10類
2698	ⅢA184・埋土	口縁部	粘土帯上に横位の沈線、その間に連続爪形文、粘土帯の下にも横位の連続爪形文	深鉢B10類
2699	ⅢA184・埋土	胴部	縦位の連続沈線	深鉢5類

第289図 ⅢA178(2)・184土坑出土遺物(1)



No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2700	ⅢA 184埋土上部	石匙	5.3	3.0	1.0	9.5	細粒凝灰岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
2701	ⅢA 184埋土西半	石筥	5.5	3.4	1.1	19.7	硬質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
2702	ⅢA 184埋土東半	削器	6.5	3.1	1.6	25.9	凝灰質硬質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
2703	ⅢA 184埋土下部	削器	4.2	4.5	1.5	23.8	珪質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	
2704	ⅢA 184埋土東半	削器	2.9	1.9	0.5	2.7	珪質泥岩	川尻以西○r 礮石西部	新第三系中新統	*
2705	ⅢA 184埋土上部	石鐮	6.9	5.7	2.1	110.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2706	ⅢA 184埋土西半	すり石	11.1	8.8	5.9	800.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	
2707	ⅢA 184埋土東半	特殊磨石	18.2	7.0	6.8	1140.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	
2708	ⅢA 184埋土上部	特殊磨石	20.0	7.7	4.5	840.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

第290図 ⅢA 184土坑出土遺物(2)



2709・2710 $S = \frac{1}{4}$

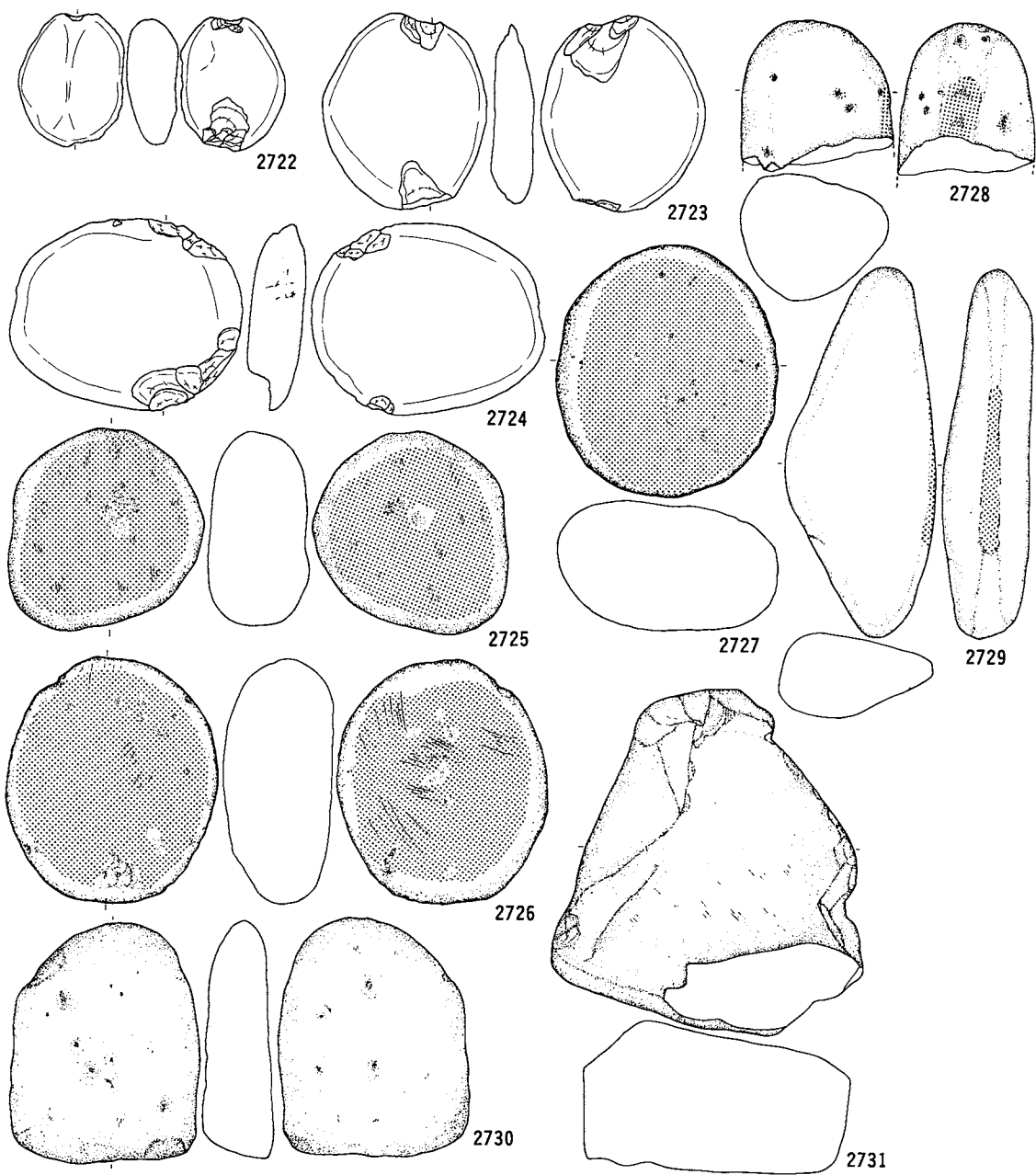
2711~2716 $S = \frac{1}{3}$

2717~2721 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2709	III A 194・埋土	口~底部	4単位の波状口縁、縦位の刻目、団子状粘土塊、平行沈線文、Lタテ・ナナメ	深鉢B 9類
2710	III A 194・埋土最下部	口~底部	平縁、口縁部の粘土帯上に円形の連続刺突2段、結節したLタテ	浅鉢10類
2711	III A 194・埋土	口縁部	弧状や斜位や縦位の沈線	深鉢5類
2712	III A 194・埋土	口縁部	山形や横位の粘土紐、その横に連続押圧の粘土紐、横位の太い沈線数条	深鉢6類
2713	III A 194・埋土	胴部	絡条体RとLそれぞれタテ	深鉢4類
2714	III A 194・埋土	胴部	網目状撚糸文	深鉢11類
2715	III A 194・埋土	頸部	連続押圧の粘土紐、RLヨコ	深鉢B
2716	III A 194・埋土	口縁部	粘土帯上に縦位の刻目やヘアピン状の沈線、RLタテ	深鉢B 9類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2717	III A 194埋土南半	石鎌	3.3	1.7	0.4	1.1	流紋岩質細粒凝灰岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	*
2718	III A 194埋土北半	石匙	7.0	5.0	1.1	39.1	粘板岩	北上山地	古生界	
2719	III A 194埋土南半	削器	8.4	3.5	1.3	22.6	細粒凝灰岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	
2720	III A 194埋土北半	削器	5.5	2.4	1.1	9.8	硬質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	
2721	III A 194埋土南半	削器	5.2	6.4	1.3	36.5	凝灰質硬質泥岩	川尻以西or零石西部	新第三系中新統	

第291図 III A 194土坑出土遺物(1)



2722~2730 $S = \frac{1}{3}$ 2731 $S = \frac{1}{4}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2722	Ⅲ A 194埋土北半	石錘	5.8	4.5	2.2	70.1	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	
2723	Ⅲ A 194埋土南半	石錘	8.5	7.1	1.9	150.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2724	Ⅲ A 194埋土北半	石錘	10.0	8.2	2.3	235.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
2725	Ⅲ A 194埋土南半	すり石	9.3	8.4	4.6	480.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	
2726	Ⅲ A 194埋土	すり石	10.5	9.0	4.8	650.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	
2727	Ⅲ A 194埋土北半	すり石	10.8	9.5	5.6	750.0	テサイト質凝灰岩	羽山~本畑	新第三系中新統	
2728	Ⅲ A 194埋土南半	特殊磨石	6.2	6.1	5.6	315.0	アイサイト	羽山~本畑	新第三系中新統	*
2729	Ⅲ A 194埋土南半	特殊磨石	16.0	6.4	3.6	455.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	
2730	Ⅲ A 194埋土北半	凹石	10.6	8.2	3.2	470.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	
2731	Ⅲ A 194埋土南半	石皿	19.7	18.0	8.5	3630.0	流紋岩	羽山~本畑	新第三系中新統	*

第292図 Ⅲ A 194土坑出土遺物(2)

遺物 (第294・295図、写真図版279・280)

<土器> 拓本として掲載した破片が9点、板状土偶が2点、それ以外の破片が大コンテナ1箱程出土している。<石器> 石錘が5点、削器が2点、石匙、凹石、砥石が各1点、フレークが67点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉～中期中頭と考えられる。

III B 102

遺構 (第293図、写真図版60)

<検出状況> 調査区西南部のIII B 3 d区付近に位置し、南端が調査区外にでる。<平面形> 開口部、底部ともほぼ円形と考えられる。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部直径(90)cm、底部直径(150)cm、深さ98cm。<底面> 中央に開口部径22×18cm、底部径16×12cm、深さ6cmの副穴を有する。<埋土> 上部に黒褐色土、中部に褐色土、下部に暗褐色土が入る。

遺物 (第295・296図、写真図版280・281)

<土器> 図化できた個体が3点、底部片2点、拓本として掲載した破片が12点、それ以外の破片が中コンテナ1箱程出土している。<石器> 石錘が2点、Rフレ、尖頭器、削器、すり石、凹石が各1点、フレークが45点出土している。

遺構の時期

出土遺物から縄文時代中期中頭と考えられる。

III B 104

遺構 (第293図、写真図版60)

<検出状況> 調査区西南部のIII B 2 b区に位置する。<平面形> 開口部はわずかに楕円形、底部はほぼ円形。<断面形> 平行四辺形状。<規模> 開口部径167×155cm、底部直径170cm、深さ87cm。<埋土> 炭化物、焼土粒、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなし、中層に投げ込みと思われる焼土が30cm程の厚さに入る。

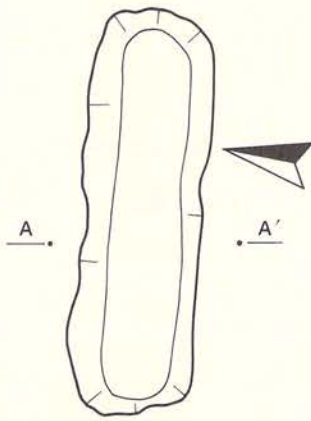
遺物 (第297・298図、写真図版281～283)

<土器> 図化できた個体が5点、拓本として掲載した破片が3点、それ以外の破片が中コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが16点、フレークが52点で、器種毎の点数は石錘12点、石匙、石筥、特殊磨石、球状耳飾各1点である。

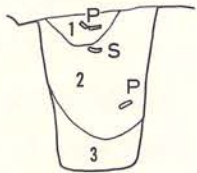
遺構の時期

出土遺物から縄文時代前期末葉と考えられる。

IV B区土坑

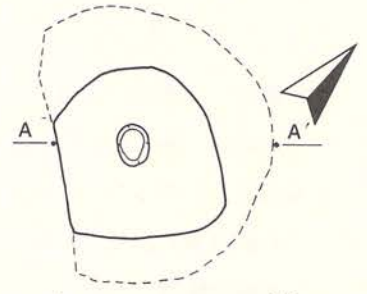


A — L = 124,900m — A'

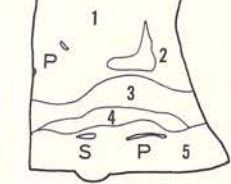


1. 10YR 2/6 暗褐色土に10YR 8/6黄褐色土がブロックで入る。炭化物、土器片が入る
2. 10YR 8/6~7/6 黒褐色土に10YR 8/6黄褐色土がブロックで入る。炭化物、土器片入る
3. 10YR 8/6 におい黄褐色土と10YR 8/6黄褐色土の混土

III B 101

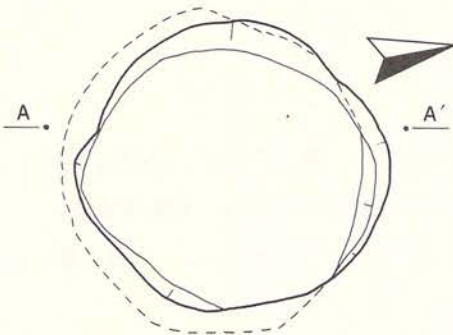


A — L = 124,500m — A'



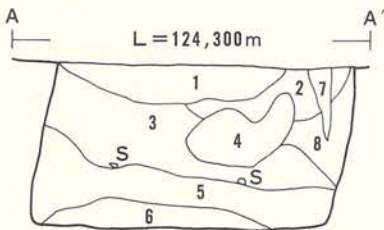
1. 10YR 2/6 黒褐色土 炭、土器片まじる
2. 10YR 8/6 褐色土 壁崩落土、粘性あり
3. 7.5YR 2/6 褐色土 壁崩落土主体、炭と焼土微量含む
4. 10YR 8/6 褐色土 壁崩落土、しまりなし
5. 7.5YR 2/6 暗褐色土 炭、焼土、土器片を含む

III B 102

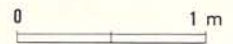


1. 7.5YR 2/6 暗褐色土 炭化物少量含む
2. 10YR 8/6 暗褐色土 火山灰ブロックに炭化物、焼土粒含む
3. 10YR 8/6 暗褐色土 火山灰ブロックに炭化物、焼土粒含む
4. 5YR 2/6 暗褐色土 焼土ブロックが多量
5. 7.5YR 2/6 黒褐色土 炭化物を含む、焼土は含まない
6. 10YR 8/6 褐色土 火山灰ブロック、粘性あり
7. 10YR 8/6 暗褐色土
8. 10YR 8/6 黄褐色土 火山灰

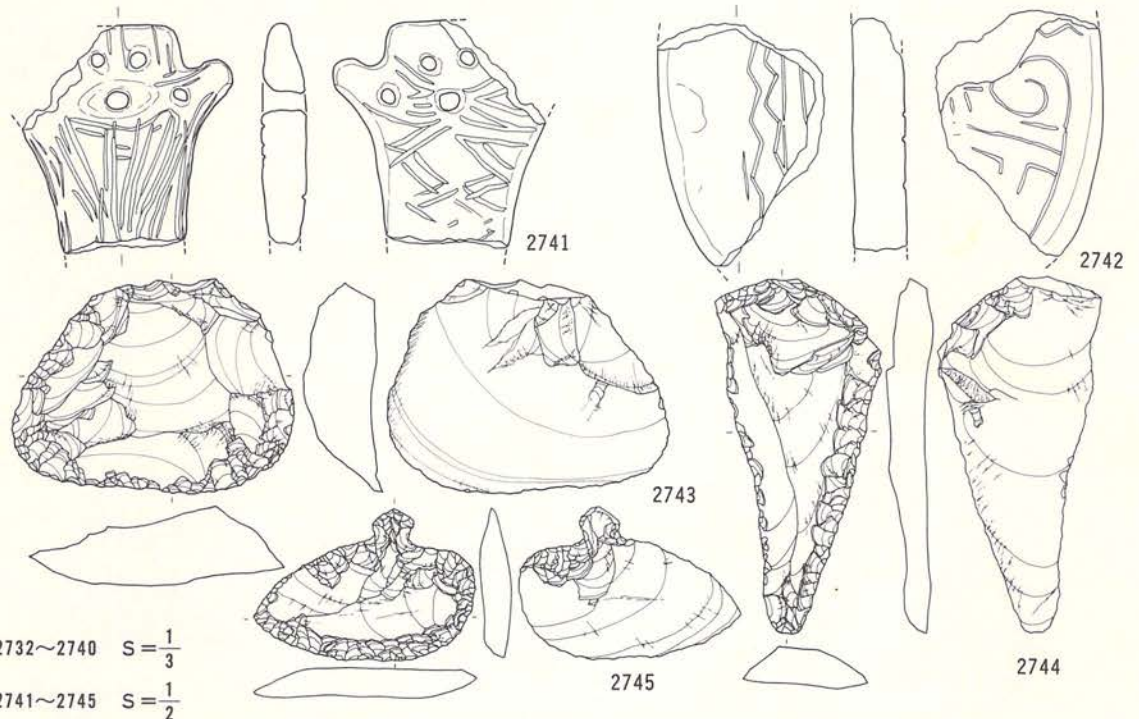
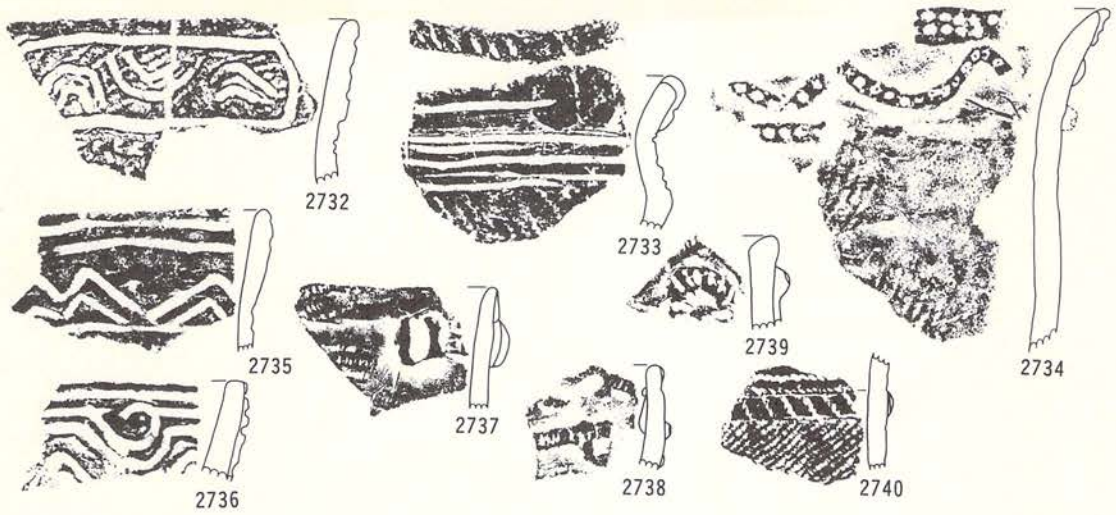
III B 104



A — L = 124,300m — A'



第293図 III B区土坑

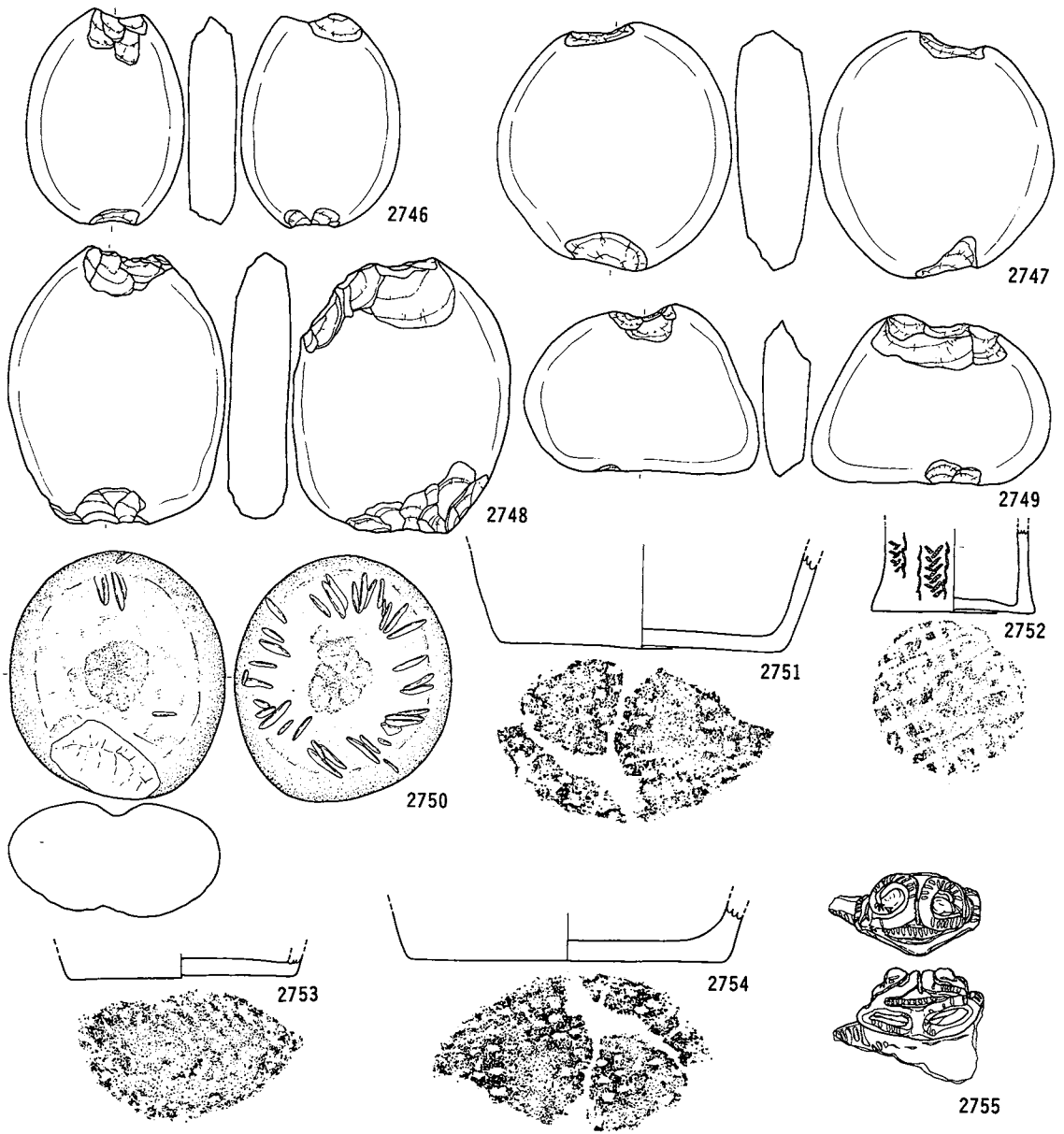


$$2732\sim 2740 \quad S = \frac{1}{3}$$

$$2741\sim 2745 \quad S = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他				分類			
2732	III B 101・埋土	口縁部	横位の沈線間に弧状の沈線やLRヨコ、その下に連続爪形文				深鉢10類			
2733	III B 101・埋土	口～胴部	口唇部に斜位の連続押圧、2個の粘土塊貼付、横位の沈線、LRタテ				深鉢C 6類			
2734	III B 101・埋土	口～胴部	円形の連続刺突のある粘土紐が横位や弧状に貼付、RLタテ				深鉢B 18類			
2735	III B 101・埋土	口縁部	横位の沈線間に山形状の沈線				深鉢6類			
2736	III B 101・埋土	口縁部	横位や渦巻状の沈線				深鉢6類			
2737	III B 101・埋土	口縁部	複合口縁の下に押圧のある粘土塊貼付、LRナナメ				深鉢			
2738	III B 101・埋土	口縁部	裏側に粘土帯、表にも刻目を持つ粘土紐や半円状の粘土紐貼付				深鉢18類			
2739	III B 101・埋土	口縁部	刻目を持つ粘土紐				深鉢18類			
2740	III B 101・埋土	頸～胴部	LRの原体圧痕のある粘土紐、そのうえに同様の原体圧痕2段、LRヨコ				深鉢16類			
No.	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他				
2741	III B 101・埋土	板状土偶	6.0	5.6	1.2	胴上部残存、両面に縦位や斜位の沈線、径4～5mmの小孔4個				
2742	III B 101・埋土	板状土偶	6.5	4.5	1.4	脚部片、両面に縦位や鋸歯状や渦巻状の沈線				
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2743	III B 101埋土西半	削器	5.7	6.8	1.9	86.1	硬質泥岩	奥羽山地霏石	新第三系中新統	
2744	III A 101埋土東半	削器	9.4	4.4	1.0	37.9	硬質泥岩	奥羽山地霏石	新第三系中新統	
2745	III A 101埋土西側	石匙	4.1	6.0	0.8	18.7	珪質泥岩	霏石	新第三系中新統	

第294図 III B 101土坑出土遺物(1)

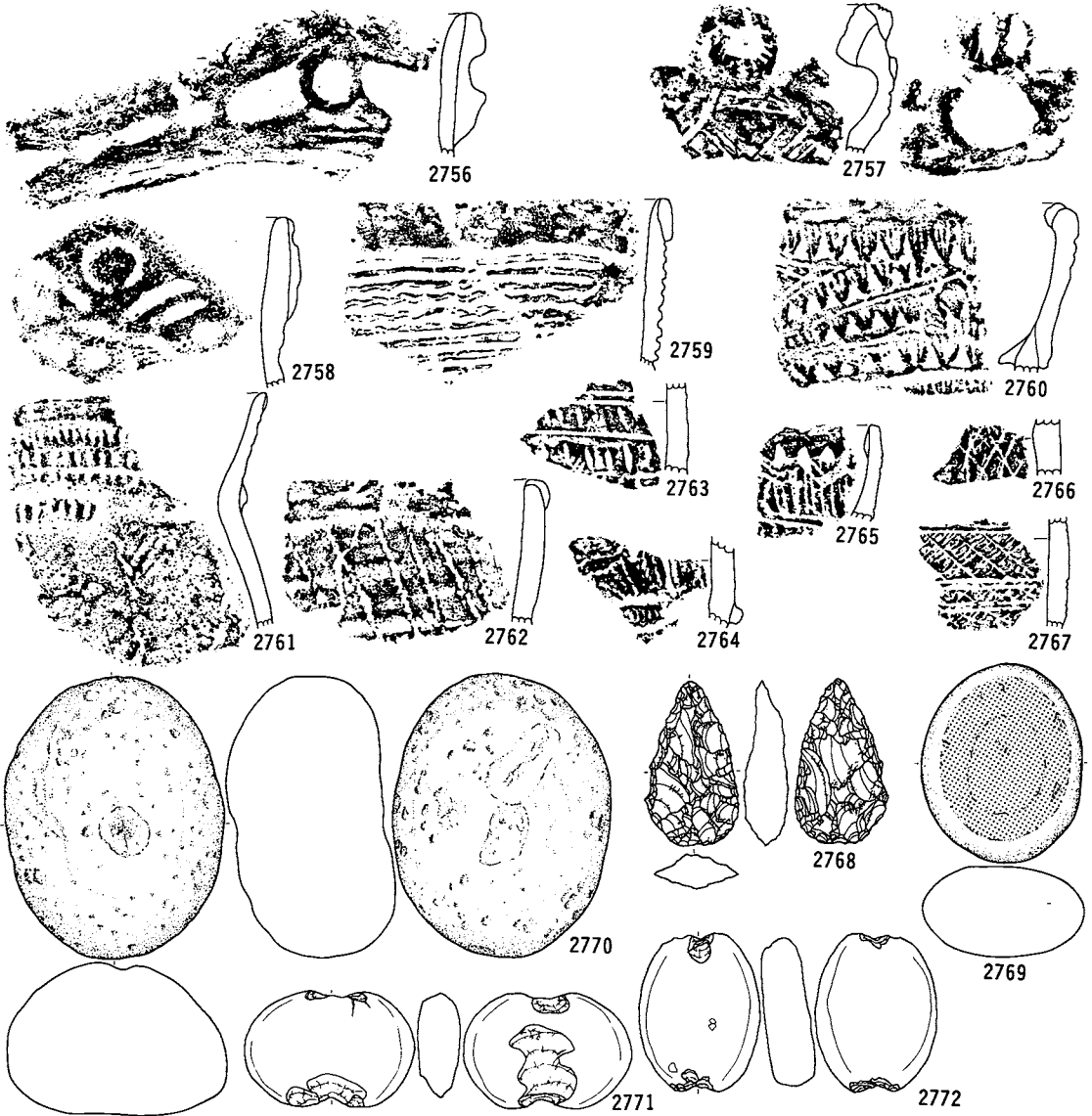


$$2746\sim 2750 \quad S = \frac{1}{2} \quad 2751\sim 2755 \quad S = \frac{1}{4}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2746	III B 101埋土西半	石錘	6.2	4.5	1.5	60.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2747	III B 101埋土東半	石錘	7.0	6.7	2.1	140.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系鮮新統	
2748	III B 101埋土東半	石錘	7.9	6.2	1.8	130.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2750	III B 101埋土西半	凹石 (線刻)	6.9	6.1	3.2	145.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2751	III B 102・埋土中部	胴～底部	網代痕	深鉢
2752	III B 102・埋土下部	胴～底部	両末端結節の羽状 (結束第1種) タテ、網代痕	深鉢 C 15類
2753	III B 102・埋土下部	底部	網代痕	深鉢
2754	III B 102・埋土下部	底部	網代痕	深鉢
2755	III B 102・埋土下部	口縁部	刻目を持つ粘土紐が口唇部には対称的な渦巻状に口縁部にはメガネ状に貼付	深鉢

第295図 III B 101(2)・102土坑出土遺物(1)

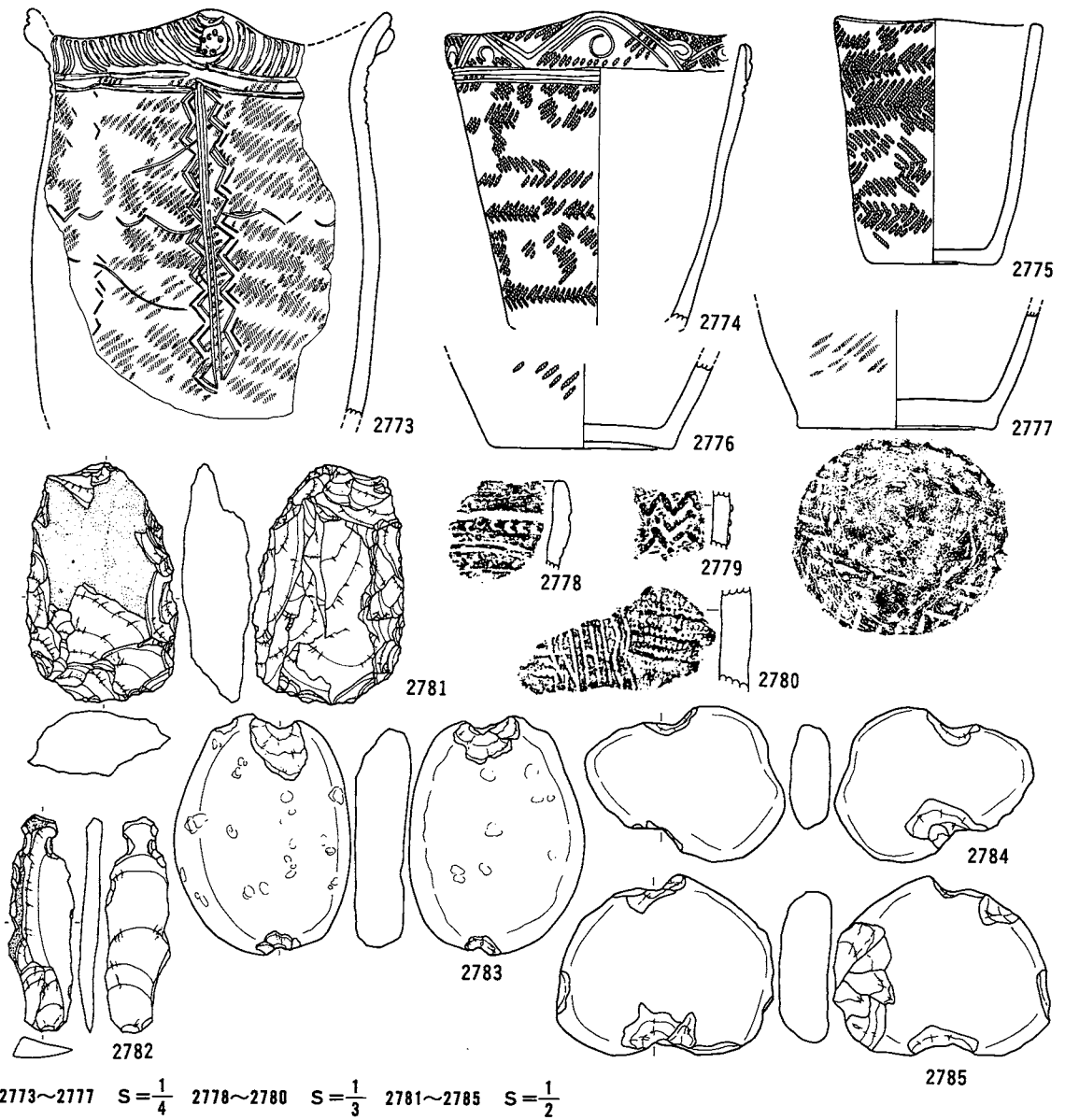


No	出土地点	部位	文様の特徴・その他				分類			
2756	III B 102・埋土中部	口縁部	粘土帯上に円形の凹みや波線状の太い沈線				深鉢9類			
2757	III B 102・埋土下部	口縁部	波頂部の表と裏に刻目を持つ粘土紐、その両側に粘土塊、表に横位や斜位の沈線、裏に楕円状の凹み				深鉢18類			
2758	III B 102・埋土下部	口縁部	粘土帯上に円形や斜位の沈線、円形の凹み				深鉢13類			
2759	III B 102・埋土下部	口縁部	複合口縁、横位や小波状の沈線が3条1組で施文				深鉢17類			
2760	III B 102・埋土	口縁部	裏側の上端と下端に粘土紐、表に3～4段の三角刺突、その間に斜位の沈線や連続短沈線				深鉢19類			
2761	III B 102・埋土下部	口～胴部	複合口縁の下に縦位の連続短沈線3段、刻目を持つ粘土紐、両末端結節の羽状(結束第1種)タテ				深鉢B19類			
2762	III B 102・埋土下部	口～胴部	複合口縁、Lの原体圧痕				深鉢16類			
2763	III B 102・埋土	口縁部	横位の沈線間に斜方向の連続沈線				深鉢19類			
2764	III B 102・埋土中部	口縁部	刻目を持つ粘土紐が縦位や横位に貼付、その間にLの原体圧痕				深鉢16類			
2765	III B 102・埋土	口縁部	上端裏側に粘土帯、表に三角状の連続刺突、鋸歯状と横位の平行沈線間に縦位の連続沈線				深鉢20類			
2766	III B 102・埋土	胴部	網目状捺糸文				深鉢11類			
2767	III B 102・埋土	胴部	平行沈線3段、その間に斜位の沈線、沈線間に直行して連続の刻目				深鉢17類			
No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2768	III B 102埋土東半下部	尖頭器	4.5	2.3	0.9	11.1	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
2769	III B 102埋土東半下部	すり石	8.0	6.6	3.7	285.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2770	III B 102埋土東半下部	凹石	11.5	8.9	6.1	850.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	
2771	III B 102埋土東半下部	石鏟	4.8	6.9	1.8	85.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2772	III B 102埋土	石鏟	6.4	4.9	1.9	80.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

第296図 III B 102土坑出土遺物(2)

2756～2767・2769～2772 S = $\frac{1}{3}$

2768 S = $\frac{1}{2}$

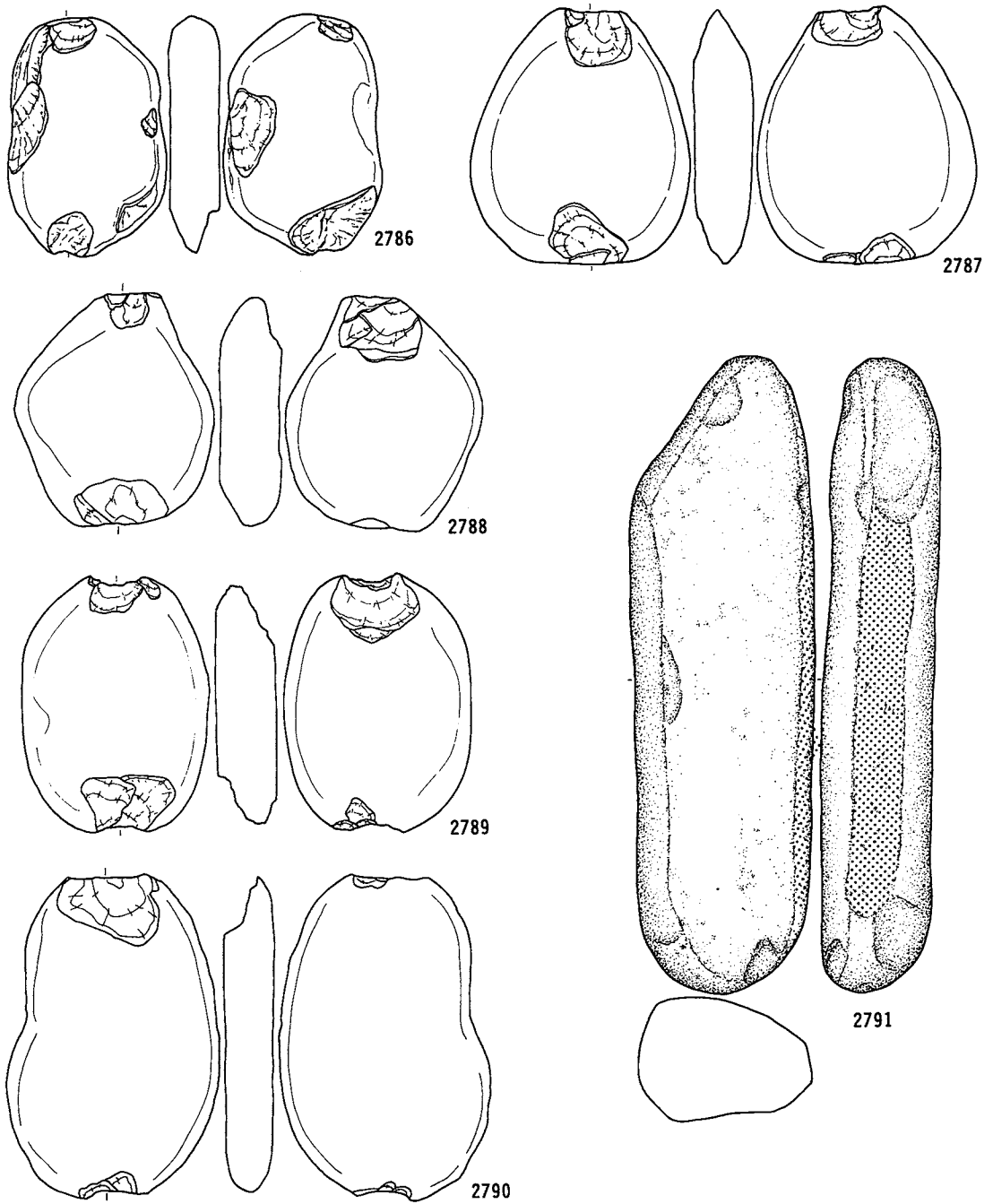


2773~2777 $S = \frac{1}{4}$ 2778~2780 $S = \frac{1}{3}$ 2781~2785 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2773	Ⅲ B 104・埋土最下部	口~胴部	4単位程度の波状口縁、波頂部に円形刺突のある団子状粘土塊、平行沈線文、Lヨコ	深鉢 B13類
2774	Ⅲ B 104・埋土最下部	口~胴部	平縁で1ヶ所に突起、粘土帯上に弧状や渦巻状の沈線、羽状（結束第1種）ヨコ	深鉢 A15類
2775	Ⅲ B 104・埋土最下部	口~底部	羽状（結束第1種）ヨコ	深鉢 A15類
2776	Ⅲ B 104・埋土最下部	胴~底部	L Rヨコ	深鉢12類
2777	Ⅲ B 104・埋土最下部	胴~底部	Lヨコ、網代痕	深鉢12類
2778	Ⅲ B 104・埋土	口縁部	横位の沈線と平行沈線の間に連続爪形文	深鉢10類
2779	Ⅲ B 104・埋土	胴部	鋸歯状の粘土紐貼付3段	深鉢
2780	Ⅲ B 104・埋土	胴部	平行沈線文、RLヨコ	深鉢7類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2781	Ⅲ B 104埋土東半	石籠	6.8	4.1	1.8	53.9	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2782	Ⅲ B 104埋土東半	石匙	6.1	1.9	0.6	5.7	珪質泥岩	磐石	新第三系中新統	
2783	Ⅲ B 104埋土東半	石錘	6.8	5.0	1.6	65.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2784	Ⅲ B 104埋土5、6層	石錘	4.3	5.6	1.6	35.1	硬質泥岩	夏油川流域	新第三系中新統	
2785	Ⅲ B 104最下部 P 4	石錘	5.1	6.2	1.5	65.1	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	

第297図 Ⅲ B 104土坑出土遺物(1)



S = 1/2

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2786	Ⅲ B 104埋土東半	石錘	7.1	4.6	1.8	75.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2787	Ⅲ B 104埋土東半	石錘	7.6	6.5	1.9	150.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2788	Ⅲ B 104埋土3層	石錘	7.1	5.9	1.9	115.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2789	Ⅲ B 104埋土東半	石錘	7.7	5.6	1.8	110.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2790	Ⅲ B 104埋土5、6層	石錘	9.5	6.3	1.6	150.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2791	Ⅲ B 104埋土東半	特殊磨石	19.0	5.2	3.7	580.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第298図 Ⅲ B 104土坑出土遺物(2)

IV B 101

遺構 (第299図、写真図版61)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のIV B 10 e 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに円形。<断面形> 舟底型。<規模> 開口部直径90cm、底部直径80cm、深さ17cm。<埋土> 暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第302図、写真図版283)

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。<石器> 石錘、すり石、凹石が各1点、フレークが7点出土している。

IV B 102

遺構 (第299図、写真図版61)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のIV B 7 d 区付近に位置し、IV B 4 号住居跡を切る。<平面形> 開口部、底部ともに不整形。<断面形> 南側は舟底型、北側は浅皿状。<規模> 開口部径312×296cm、底部径300×284cm、深さ20cm。<埋土> 上部に暗褐色土、下部に黒褐色土が入る。

遺物 (第302・303図、写真図版283・284)

<土器> 図化できた個体12点は全て土師器で、内訳は坏が8点、甕が4点である。また拓本として掲載した縄文土器の破片が1点で、それ以外の破片は合わせて中コンテナ1箱程出土している。<石器> フレークが4点出土している。

遺構の時期

出土遺物などから平安時代と考えられる。

IV B 103

遺構 (第299図、写真図版61)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のIV B 3 c 区に位置し、南東側上部が攪乱を受ける。<平面形> 開口部は楕円形と考えられる。底部は不整形。<断面図> ほぼ逆三角形。<規模> 開口部径(155)×(135)cm、底部径65×40cm、深さ61cm。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が主体をなし、下部に投げ込みと考えられる焼土が10cm程の厚さに入る。

遺物 (第303図、写真図版284)

<土器> 拓本として掲載した縄文土器の破片が1点、それ以外に土師器の破片が小2袋出土している。<石器> 特殊磨石、凹石が各1点出土している。

IV B 104

遺構 (第299図、写真図版61)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のIV B 7 d 区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに

隅丸方形に近い。〈断面形〉 浅皿状。〈規模〉 開口部径108×106cm、底部径87×85cm、深さ18cm。〈埋土〉 焼土粒、火山灰まじりの黒褐色土が主体をなし、上部東半に厚さ10cm程の焼土が入る。遺物は出土しなかった。

IV B 105

遺構 (第299図、写真図版62)

〈検出状況〉 調査区ほぼ中央部のIV B 5 a 区付近に位置し、西側上部が攪乱を受ける。〈平面形〉 開口部は楕円形、底部はほぼ隅丸方形。〈断面形〉 逆台形。〈規模〉 開口部径150×133cm、底部径91×87cm、深さ84cm。〈埋土〉 火山灰まじりの黒褐色土が主体をなし、上部と最下部によごれ粘土が10～20cm程の厚さに入る。

遺物 (第304図、写真図版285)

〈土器〉 図化できた個体は2点で、いずれも土師器の甕である。それ以外の破片は合わせて小2袋出土している。〈石器〉 尖頭器が1点、フレークが15点出土している。

遺構の時期

出土遺物から平安時代と考えられる。

IV B 106

遺構 (第300図、写真図版62)

〈検出状況〉 調査区ほぼ中央部のIV B 6 a 区付近に位置する。中に柱穴状土坑が2基入る。〈平面形〉 開口部、底部とも不整な楕円形。〈断面形〉 舟底型。〈規模〉 開口部径269×220cm、底部径256×206cm、深さ23cm。〈埋土〉 炭化物、火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。

遺物 (第304図、写真図版284・285)

〈土器〉 土師器の底部が1点、それ以外の破片が合わせて大1袋出土している。〈石器〉 石錘が1点、フレークが3点出土している。

IV B 107

遺構 (第300図、写真図版62)

〈検出状況〉 調査区ほぼ中央部のIV B 4 d 区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともわずかに楕円形。〈断面形〉 浅皿状。〈規模〉 開口部径94×83cm、底部径82×73cm、深さ15cm。〈埋土〉 単層で、暗褐色まじりの火山灰が入り、上部に焼土が8cm程の厚さに入る。遺物は出土しなかった。

IV B 108

遺構 (第300図、写真図版62)

〈検出状況〉 調査区ほぼ中央部のIV B 6 d 区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともに

だるま型。〈断面形〉 浅皿状。〈規模〉 開口部径115×108cm、底部径90×80cm、深さ15cm。
〈埋土〉 単層で、炭化物、火山灰まじりの黒褐色土が入り、底部に焼土が6cm程の厚さに入る。遺物は出土しなかった。

IV B 109

遺構 (第300図、写真図版63)

〈検出状況〉 調査区ほぼ中央部のIV B 7 d 区に位置する。IV B 102の底面に検出され、IV B 4号住居跡を切る。〈平面形〉 開口部はほぼ台形、底部は隅丸長方形。〈断面形〉 逆台形に近い。〈規模〉 開口部径178×135cm、底部径118×75cm、深さ27cm。〈埋土〉 炭化物、焼土粒、火山灰まじりの暗褐色～黒褐色土が主体をなし、中部から底部にかけて炭化材や焼土が多量に入る。また、南側壁面には良く焼けて固く締まった焼土が5cm程の厚さにへばりつく。

遺物 (第304図、写真図版285)

〈土器〉 土師器の破片が大1袋出土している。〈石器〉 石錘が1点、フレイクが3点出土している。

IV B 111

遺構 (第300図、写真図版63)

〈検出状況〉 調査区ほぼ中央部のIV B 7 e 区に位置する。〈平面形〉 開口部はほぼ台形、底部はだるま型。〈断面形〉 浅皿状。〈規模〉 開口部径103×73cm、底部径87×62cm、深さ12cm。〈底面〉 西側に開口部径45×27cm、底部径30×12cm、深さ7cmのひょうたん型の落ち込みがみられる。〈埋土〉 炭化物、焼土粒まじりの黒褐色土が主体をなす。

遺物 (第304図、写真図版285)

〈土器〉 土師器の破片が小1袋出土している。

IV B 112

遺構 (第300図、写真図版63)

〈検出状況〉 調査区ほぼ中央部のIV B 6 d 区とIV B 7 d 区の間位置する。〈平面形〉 開口部は円形、底部はわずかな楕円形。〈断面形〉 舟底型。〈規模〉 開口部直径70cm、底部径62×55cm、深さ10cm。〈底面〉 北側に開口部径22×20cm、底部径18×14cm、深さ33cmの副穴を有する。〈埋土〉 単層で、炭化物、火山灰まじりの暗褐色土が入る。遺物は出土しなかった。

V A 区土坑

V A 101

遺構 (第301図、写真図版64)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のVA1j区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともにほぼ円形。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部直径65cm、底部直径53cm、深さ27cm。<底面> 南西側に開口部径21×15cm、底部径14×5cm、深さ10cmの落ち込みがみられる。<埋土> しまりのある暗褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

VA102

遺構 (第301図、写真図版64)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のVA1j区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともにほぼ円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部直径65cm、底部直径80cm、深さ40cm。<埋土> 炭化物、焼土粒をわずかに含む褐色～暗褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

VB区土坑

VB101

遺構 (第301図、写真図版64)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のVB10a区とVIB1a区の上に位置する。<平面形> 開口部、底部ともにほぼ円形。<断面形> 舟底型。<規模> 開口部直径130cm、底部直径110cm、深さ27cm。<埋土> 上部に暗褐色土、下部に褐色土が入る。

遺物 (第304図、写真図版285)

<土器> 図化できた個体が1点、それ以外の破片が小2袋出土している。<石器> 石錘、すり石が各2点、フレークが18点出土している。

VB102

遺構 (第301図、写真図版64)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のVB10a区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともわずかに楕円形。<断面形> 不整な逆台形。<規模> 開口部径104×95cm、底部径94×78cm、深さ35cm。<埋土> 上部に黒褐色土、下部に暗褐色土が入る。

遺物 (第304図、写真図版285)

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。<石器> 石錘が5点、円盤状石製品が1点、フレークが9点出土している。

VB103

遺構 (第301図、写真図版65)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のVB7a区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともにほぼ円形。<断面形> ビーカー状。<規模> 開口部直径85cm、底部直径80cm、深さ35cm。<埋土> 上部に火山灰まじりの黒褐色土が、下部に火山灰まじりの暗褐色土が入る。遺物は出

土しなかった。

VB104

遺構 (第301図、写真図版65)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のVB7b区に位置し、南西部を柱穴状土坑のVB105に切られる。<平面形> 開口部、底部ともわずかに楕円形。<断面形> 舟底型。<規模> 開口部径113×101cm、底部径98×90cm、深さ27cm。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。

遺物

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。<石器> フレークが13点出土している。

VB131

遺構 (第301図、写真図版65)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のVB1a区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともにほぼ円形。<断面形> 不整なビーカー状。<規模> 開口部、底部とも直径105cm、深さ40cm。<埋土> 炭化物、焼土粒まじりの黒褐色土が主体をなし、上部に投げ込みと思われる焼土と炭化材が入る。

遺物 (第304図、写真図版285)

<土器> 土師器の破片が小1袋出土している。<石器> 石錘が1点、フレークが1点出土している。

VI B区土坑

VI B101

遺構 (第305図、写真図版65)

<検出状況> 調査区東寄りのVIB4gに位置し、VIB102と隣接する。<平面形> 開口部、底部ともわずかに楕円形。<断面形> ほぼ舟底型。<規模> 開口部径171×150cm、底部径142×130cm、深さ23cm。<埋土> 火山灰まじりの黒褐色～黒色土が主体をなす。

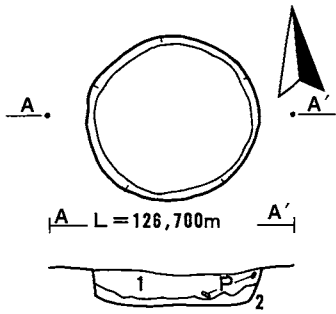
遺物 (第307図、写真図版285・286)

<土器> 縄文土器の破片が小1袋出土している。<石器> 円盤状石製品の未製品が2点、石匙、線刻石製品が各1点、フレークが27点出土している。

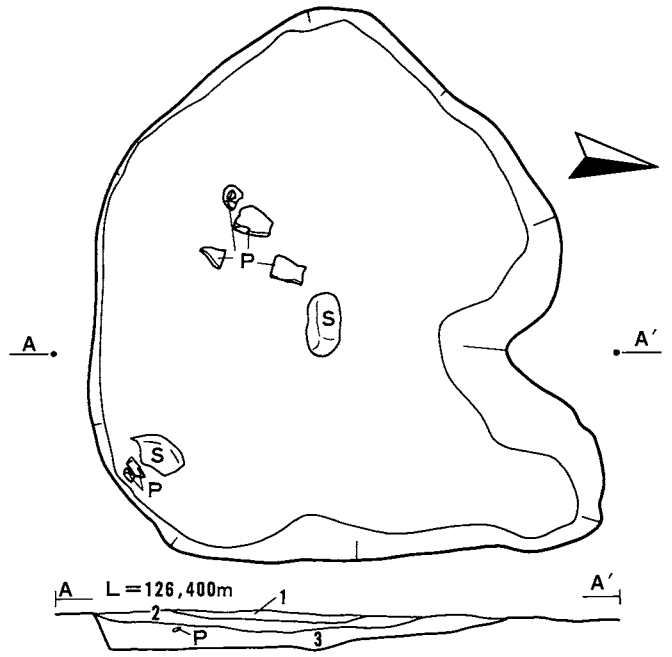
VI B102

遺構 (第305図、写真図版66)

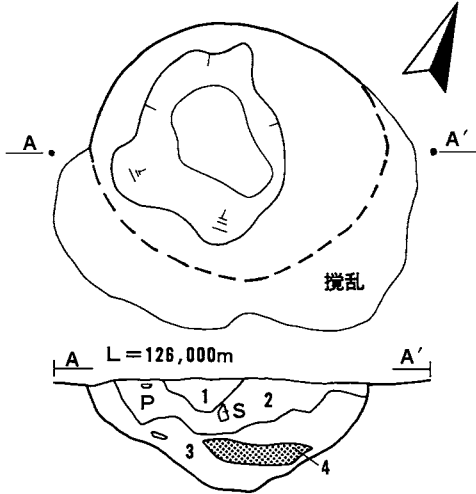
<検出状況> 調査区東寄りのVIB4g区とVIB5g区の間に位置し、VIB101と隣接する。<平面形> 開口部、底部ともに楕円形。<断面形> 浅皿状。<規模> 開口部径243×206cm、



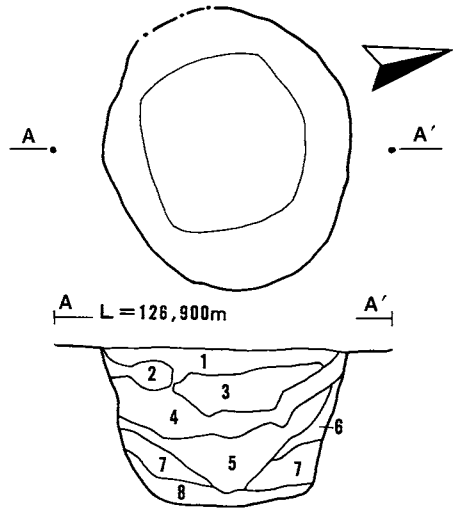
1. 10YR 2/6暗褐色土
 2. 10YR 2/6暗褐色土 火山灰ブロック含む
- IVB101**



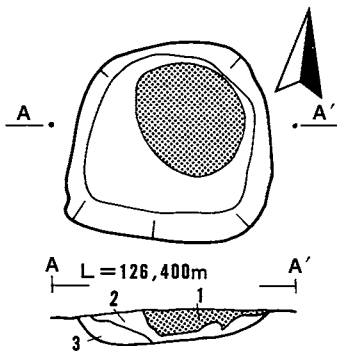
1. 10YR 2/6黒褐色土 火山灰ブロック入る
 2. 10YR 2/6暗褐色土
 3. 10YR 2/6黒褐色土 火山灰ブロック、炭化粒を含む
- IVB102**



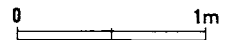
1. 10YR 2/6暗褐色土 火山灰、炭化物を含む
 2. 10YR 2/6黒褐色土 火山灰、炭化物、若干の土器片含む
 3. 10YR 2/6暗褐色土に火山灰ブロック、炭化物を含む
 4. 焼土
- IVB103**



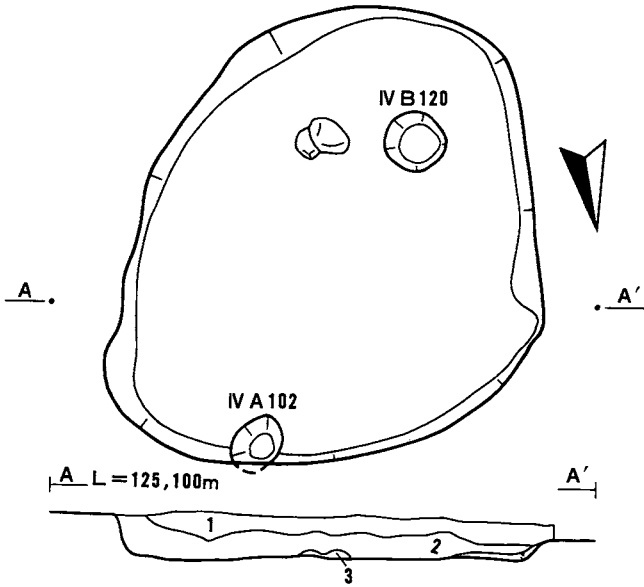
1. 10YR 2/6黒褐色土 土器片含む、火山灰を含む
 2. 10YR 2/6黒褐色土に火山灰ブロックが入る
 3. よごれ粘土
 4. 10YR 2/6黒褐色土 1より多く火山灰が入る
 5. 10YR 2/6暗褐色土に火山灰が入る
 6. よごれ粘土
 7. 10YR 2/6〜2/7黒褐色土
 8. 10YR 2/6に黄褐色土に火山灰ブロックを含む
- IVB105**



1. 焼土
 2. 10YR 2/6暗褐色土 少量の火山灰、焼土粒入る
 3. 10YR 2/6暗褐色土に火山灰ブロック、炭化物を含む
- IVB104**

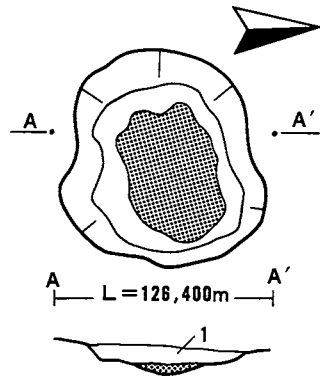


第299図 IVB区土坑(1)



1. 10YR 7.5黒褐色土 火山灰、炭化物を含む
2. 10YR 7.5黒褐色土 火山灰、炭化物を含む
3. 10YR 7.5暗褐色土 火山灰ブロックを含む

IVB106



1. 焼土
2. 7.5YR 7.5黒褐色土 炭化物、焼土粒を多量に含む
3. 7.5YR 7.5褐色土粘土質シルト 炭化物をわずかに含む

IVB109

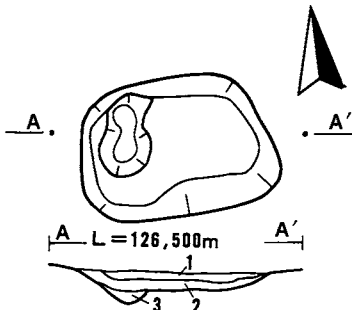
A-A'

1. 7.5YR 7.5黒褐色土 炭化物、焼土粒わずかに含む、火山灰ブロック含む、土器片入る
2. 7.5YR 7.5暗褐色土 炭化物、焼土粒わずかに含む、火山灰ブロック含む、土器片入る
3. 7.5YR 7.5黒褐色土 炭化物、火山灰、焼土粒わずかに含む
4. 7.5YR 7.5褐色土 粘土質シルト、炭化物、焼土粒、火山灰わずかに含む

IVB109

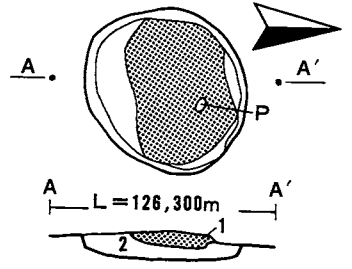
1. 10YR 7.5黒褐色土 炭化物、火山灰を含む

IVB108



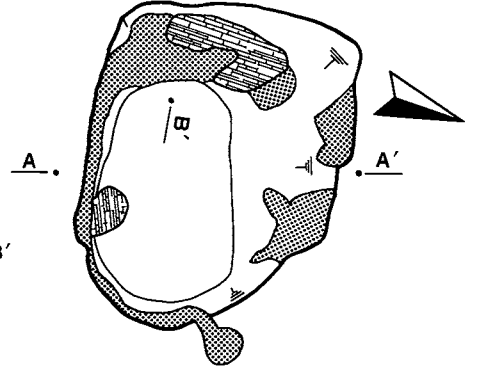
1. 10YR 7.5黒褐色土 焼土粒、炭化物含む
2. 7.5YR 7.5黒褐色土 炭化物、焼土ブロック含む
3. 7.5YR 7.5暗褐色土 火山灰含む

IVB111

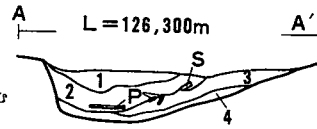


1. 焼土
2. 粘土に10YR 7.5暗褐色土が若干入る

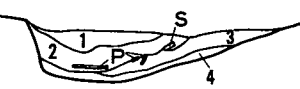
IVB107



B L = 126,200m B'



A L = 126,300m A'

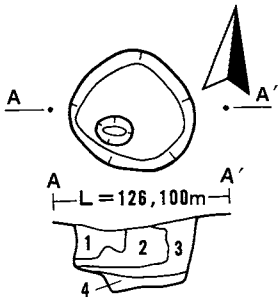


1. 10YR 7.5暗褐色土 炭化物、火山灰ブロック入る

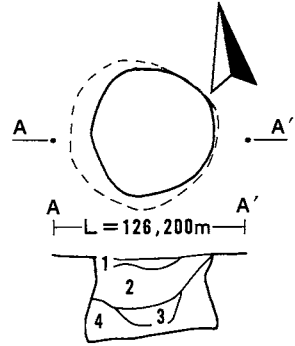
IVB112

0 1m

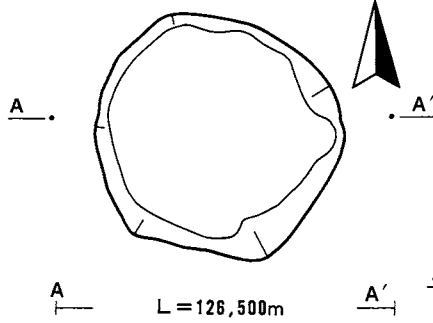
第300図 IVB区土坑(2)



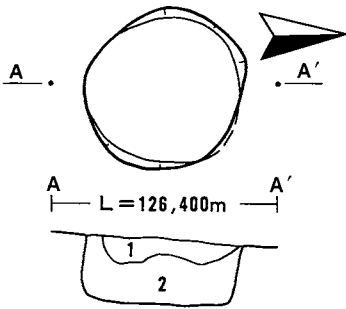
1. 10Y R ㊦暗褐色土に褐色土混じる
 2. 10Y R ㊦褐色土
 3. 10Y R ㊦暗褐色土
 4. 10Y R ㊦褐色土 暗褐色土混じる
- VA101**



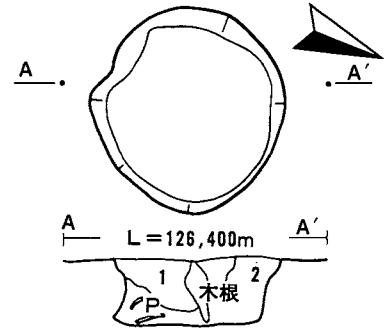
1. 10Y R ㊦暗褐色土
 2. 7.5Y R ㊦褐色土 炭化物、焼土粒含む
 3. 7.5Y R ㊦褐色土
 4. 7.5Y R ㊦暗褐色土 炭化物、焼土粒含む
- VA102**



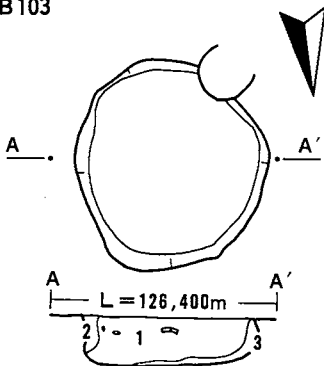
1. 10Y R ㊦暗褐色土 石器を含む
 2. 10Y R ㊦褐色土
- VB101**



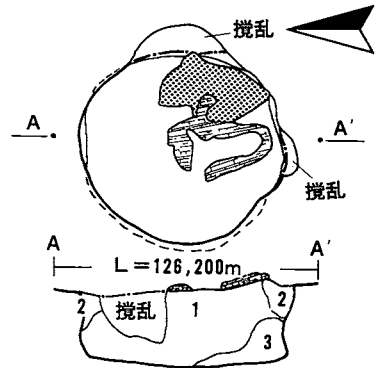
1. 10Y R ㊦黒褐色土 火山灰わずかに入る
 2. 10Y R ㊦暗褐色土に火山灰ブロックが入る
- VB103**



1. 10Y R ㊦黒褐色土
 2. 10Y R ㊦暗褐色土 炭化粒と土器片含む
- VB102**



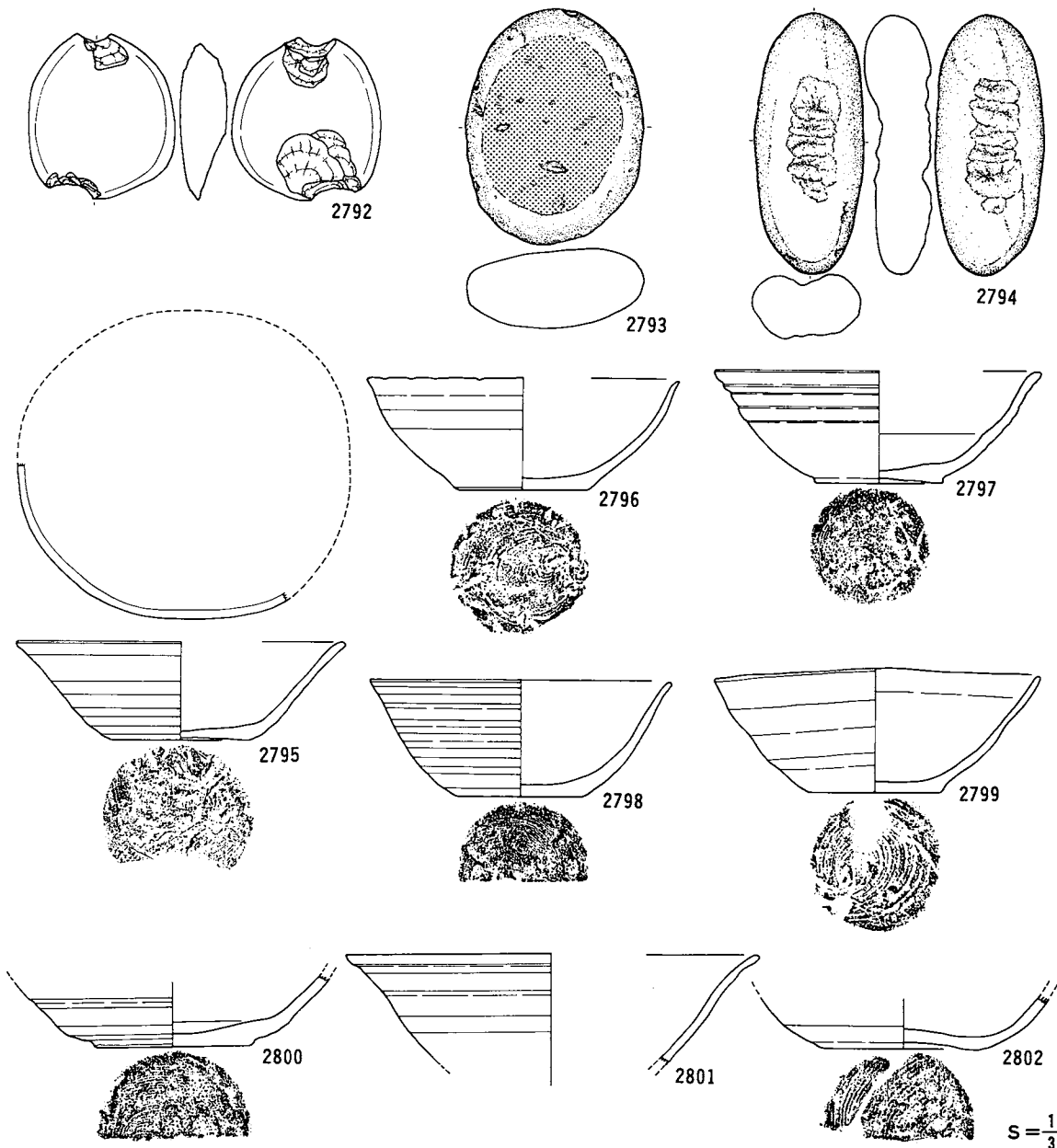
1. 10Y R ㊦黒褐色土 炭化物、火山灰、土器片を含む
 2. 7.5Y R ㊦暗褐色土 炭化物、火山灰を含む
 3. 7.5Y R ㊦褐色土 火山灰、火山灰ブロックを含む
- VB104**



1. 7.5Y R ㊦黒褐色土 炭化物、焼土粒含む
 2. 7.5Y R ㊦褐色土 火山灰ブロック含む
 3. 7.5Y R ㊦暗褐色土 火山灰を含む
- VB131**



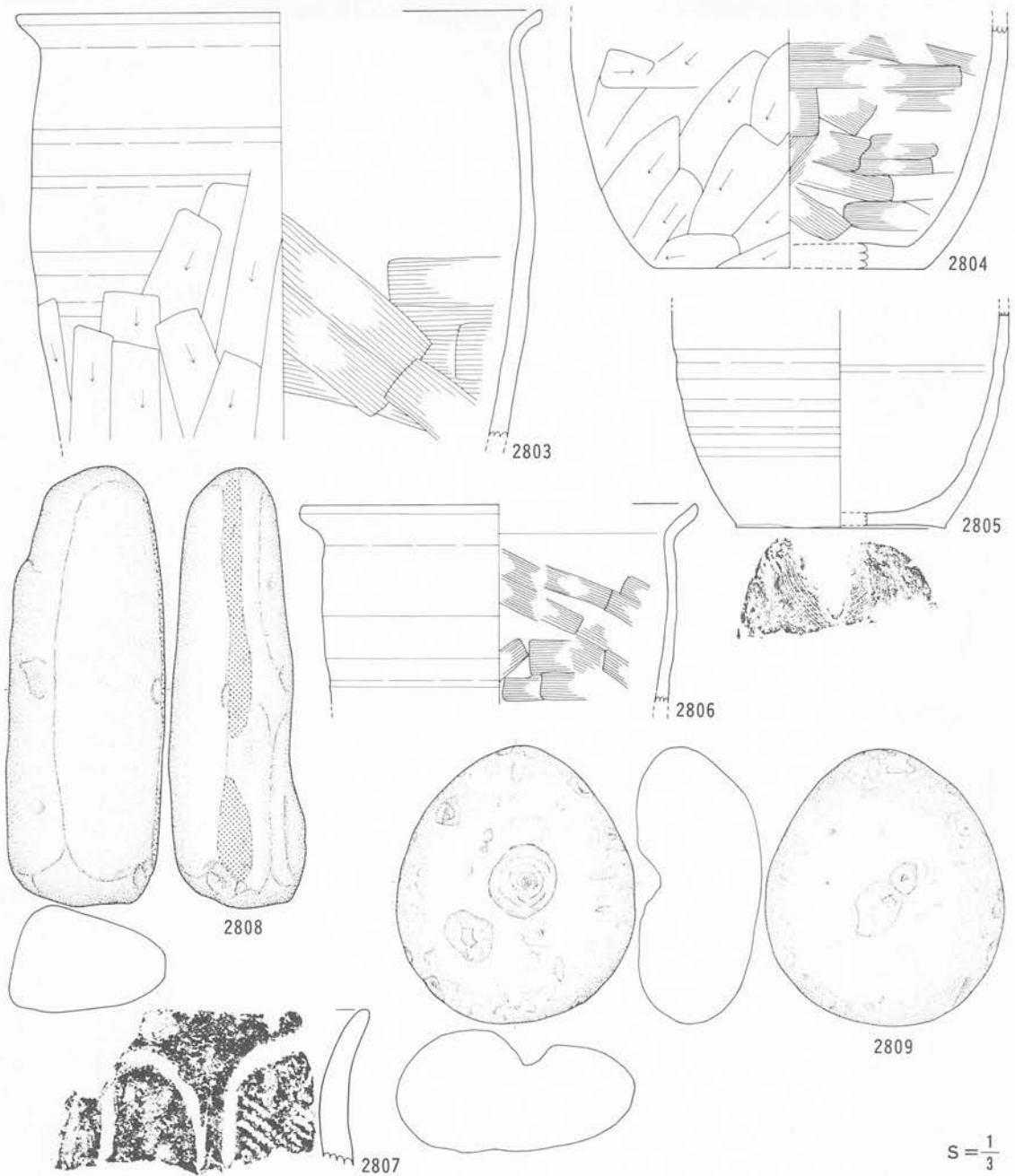
第301図 VA・VB区土坑



No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2792	IV B 101埋土南半	石錘	7.0	6.4	2.0	125.0	ホルンフェルス	夏油川上流	古生界	
2793	IV B 101埋土	すり石	10.1	7.6	3.3	325.0	輝石安山岩	奥羽山地~夏油川	新第三系鮮新統	
2794	IV B 101埋土中層	凹石	11.3	4.8	2.7	165.0	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値 (cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
2795	IV B 102・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕				14.4	4.2	6.0	B II a 類	不整な凹形
2796	IV B 102・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕				13.7	4.8	5.8	B II a 類	
2797	IV B 102・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	再調整				14.2	4.9	5.4	B II b 類	
2798	IV B 102・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕				14.6	5.0	5.6	B II a 類	
2799	IV B 102・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕			14.1	5.5	5.8	B II a 類	
2800	IV B 102・埋土	土師器杯	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ロクロ痕		—	(3.0)	6.8	B II a 類	
2801	IV B 102・埋土	土師器杯	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—				17.0	(4.8)	—	B II 類	
2802	IV B 102・埋土	土師器杯	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—			—	(2.2)	6.6	B II a 類	

第302図 IV B 101・102土坑出土遺物(1)



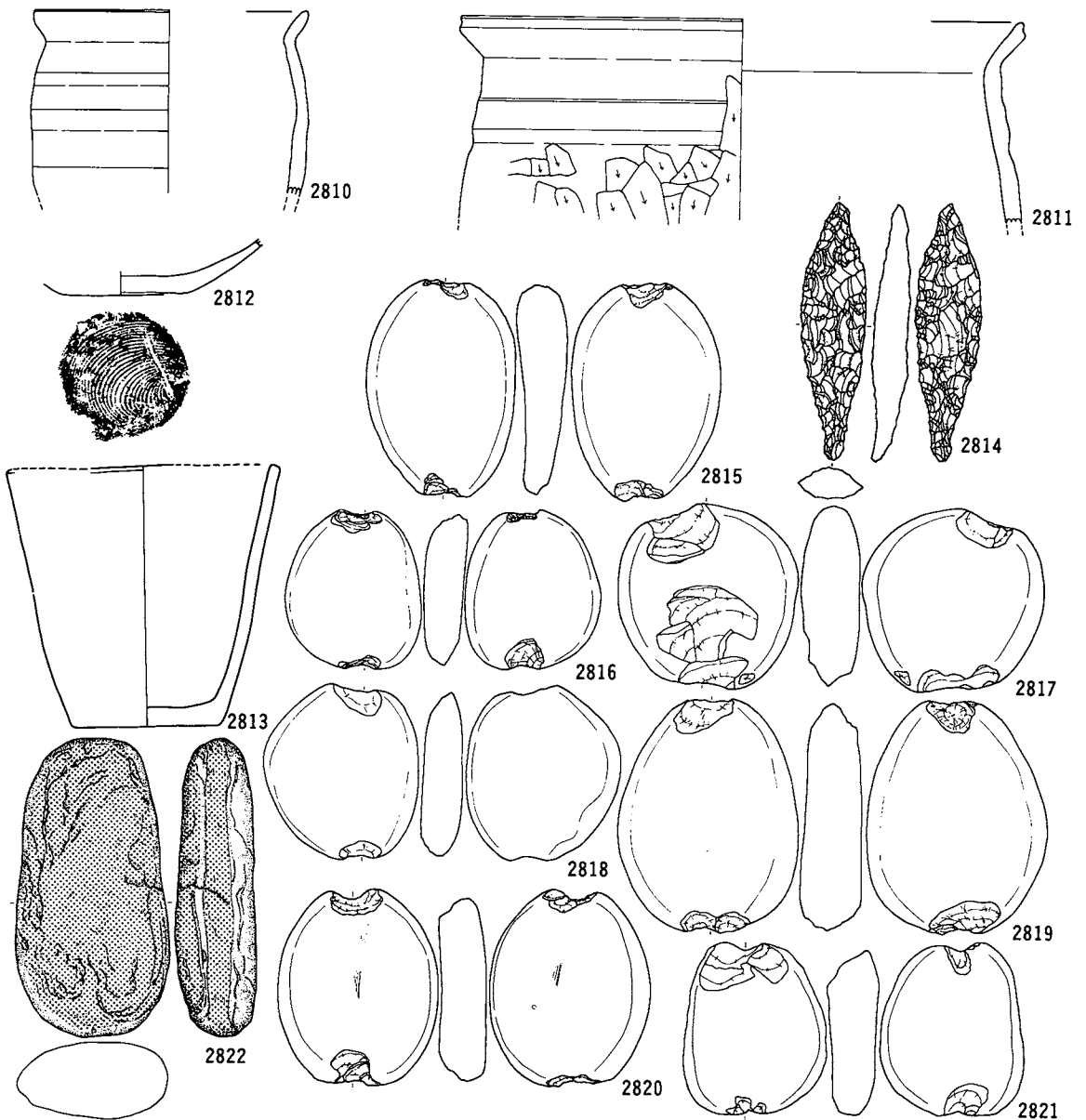
$s = \frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
2803	IV B 102・埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ヘラケズリ	—	ヘラナデ	—	23.6	(19.0)	—	B I a 類		
2804	IV B 102・埋土	土師器甕	ロクロ	—	ヘラケズリ	—	ヘラナデ	—	(10.7)	(10.0)				
2805	IV B 102・埋土	土師器甕	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ロクロ痕	—	(9.6)	(9.4)	B 類		
2806	IV B 102・埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ヘラナデ	—	(17.8)	(8.9)	—	B a 類		

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2807	IV B 103・埋土	口-胴部	太い沈線による楕円状の区画内にLRタテ	深鉢

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2808	IV B 103埋土	特殊磨石	19.7	7.0	4.8	1130.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
2809	IV B 103埋土	凹石	12.2	10.5	5.5	820.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	

第303図 IV B 102(2)・103土坑出土遺物



2810~2812・2815~2822 $S = \frac{1}{3}$ 2813 $S = \frac{1}{4}$ 2814 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考	
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径			
2810	IV B105・埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	—	—	—	—	(11.9)	(7.8)	—	B II b類	
2811	IV B105・埋土	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ヘラズリ	—	—	—	—	—	(24.2)	(8.6)	—	B I b類	
2812	IV B106・埋土	土師器坏	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	—	5.2	B II a類	
No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他										分類		
2813	IV B101・埋土	口~底部	無文											深鉢 A	
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代			破損			
2814	IV B105埋土北半	尖頭器	7.4	1.8	0.8	11.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統						
2815	IV B109埋土西半	石錘	9.3	6.4	2.4	195.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統						
2816	V B101南半埋土	石錘	6.0	5.9	1.7	100.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統						
2817	V B101南半埋土	石錘	8.0	7.8	2.7	215.0	デイサイト	羽山~本畑	新第三系中新統						
2818	V B102埋土東半	石錘	7.4	6.6	1.8	65.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統						
2819	V B102埋土東半	石錘	10.0	7.7	2.7	275.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統						
2820	V B102西半埋土	石錘	8.4	6.9	2.2	175.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統						
2821	V B131埋土上部	石錘	7.6	6.2	2.1	115.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統						
2822	V B101南半埋土	すり石	12.7	6.5	3.3	425.0	黒雲母片岩	羽山~仙人	古生界						

第304図 IV B105・106・109・V B区土坑出土遺物

底部径236×194cm、深さ12cm。〈埋土〉 ほぼ単層で、炭化物まじりの暗褐色土が入る。

遺物 (第307図、写真図版285・286)

〈土器〉 縄文土器の破片が小1袋出土している。〈石器〉 石錘が3点、石匙が2点、Uフレ、石鏃が各1点、フレークが9点出土している。

VI B 105

遺構 (第305図、写真図版66)

〈検出状況〉 調査区東寄りのVI B 7 g区付近に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともに楕円形。〈断面形〉 舟底型。〈規模〉 開口部径113×93cm、底部径106×80cm、深さ16cm。〈埋土〉 ほぼ単層で、黒褐色土が入る。遺物は出土しなかった。

VI B 106

遺構 (第306図、写真図版66)

〈検出状況〉 調査区東寄りのVI B 7 h区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともに楕円形。〈断面形〉 浅皿状。〈規模〉 開口部径232×174cm、底部径215×160cm、深さ15cm。〈埋土〉 ほぼ単層で、黒褐色土が入る。遺物は出土しなかった。

VI B 108

遺構 (第306図、写真図版66)

〈検出状況〉 調査区東寄りのVI B 7 f区に位置する。〈平面形〉 開口部は円形、底部はわずかに楕円形。〈断面形〉 フラスコ状。〈規模〉 開口部直径100cm、底部径127×110cm、深さ84cm。〈埋土〉 上部に暗褐色土が、下部に暗褐色土と火山灰の混土が入る。

遺物 (第307図、写真図版285・286)

〈土器〉 縄文土器と土師器の破片が、それぞれ小1袋出土している。〈石器〉 石錘が2点、コア、削器、鋸歯状石器、すり石、台石が各1点、フレークが9点出土している。

VI B 109

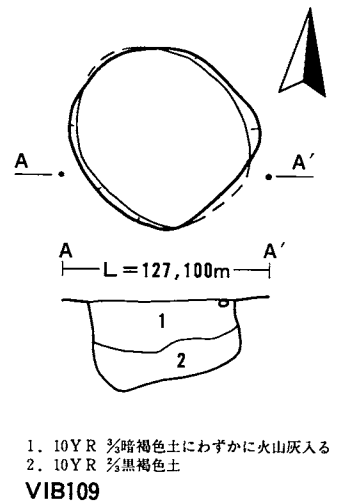
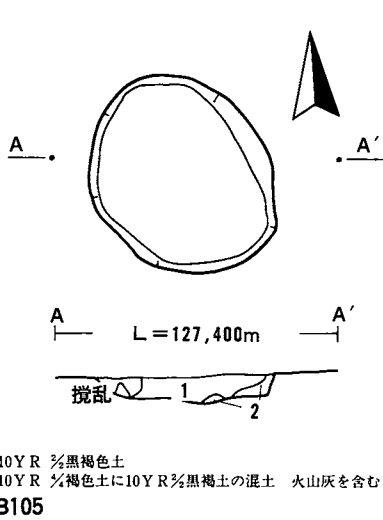
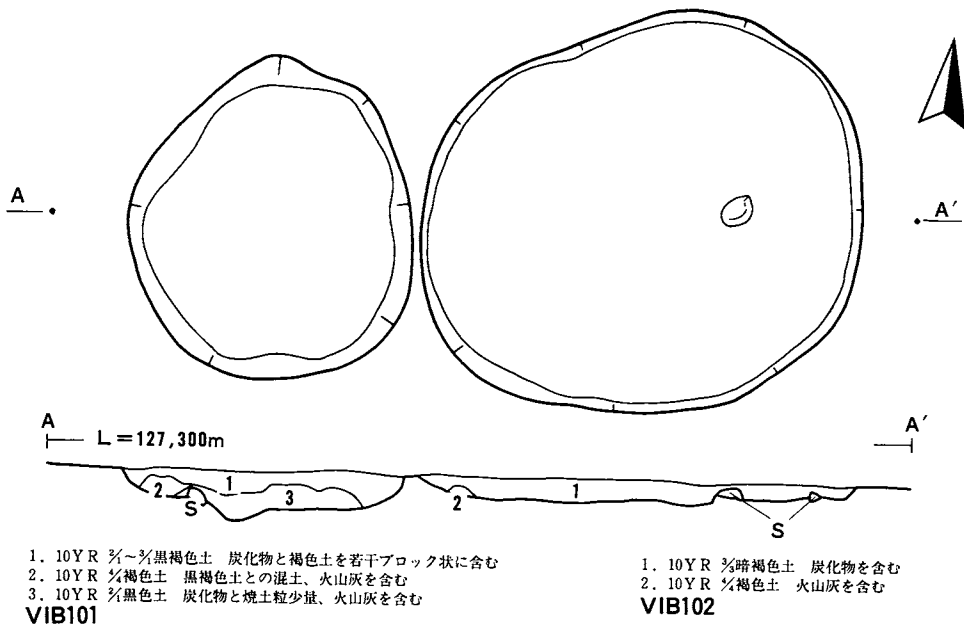
遺構 (第305図、写真図版67)

〈検出状況〉 調査区東寄りのVI B 7 f区に位置する。〈平面形〉 開口部、底部ともにほぼ円形。〈断面形〉 不整なビーカー状。〈規模〉 開口部、底部とも直径100cm。〈埋土〉 上部に火山灰まじりの暗褐色土、下部に黒褐色土が入る。遺物は出土しなかった。

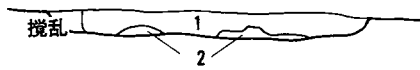
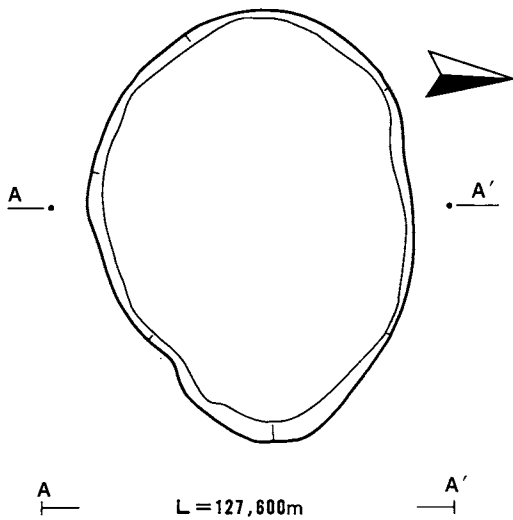
VI B 110

遺構 (第306図、写真図版67)

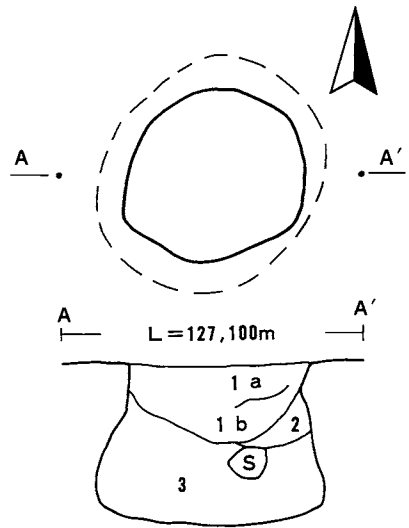
〈検出状況〉 調査区東寄りのVI B 6 d区に位置する。〈平面形〉 開口部は楕円形、底部は円形。〈断面形〉 フラスコ状。〈規模〉 開口部径113×93cm、底部直径100cm、深さ83cm。〈底面〉 ほぼ中央に開口部径25×18cm、底部径17×15cm、深さ11cmの副穴を有する。〈埋土〉



第305図 VIB区土坑(1)

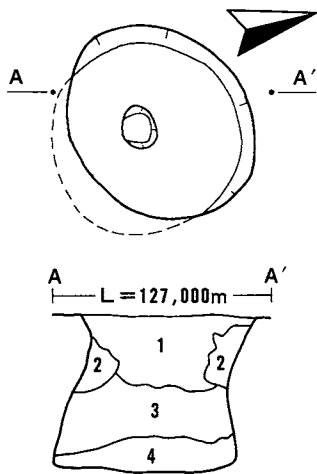


- 1. 10Y R 1/2 黒褐色土
 - 2. 10Y R 1/2 褐色土に10Y R 1/2 黒褐色土がわずかに入る
- VIB106**

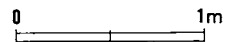


- 1 a. 10Y R 1/2 暗褐色土
- 1 b. 10Y R 1/2 暗褐色土に10Y R 1/2 黄褐色土の混土
- 2. 10Y R 1/2 暗褐色土に火山灰ブロックが入る
- 3. 10Y R 1/2 暗褐色土と火山灰ブロックの混土

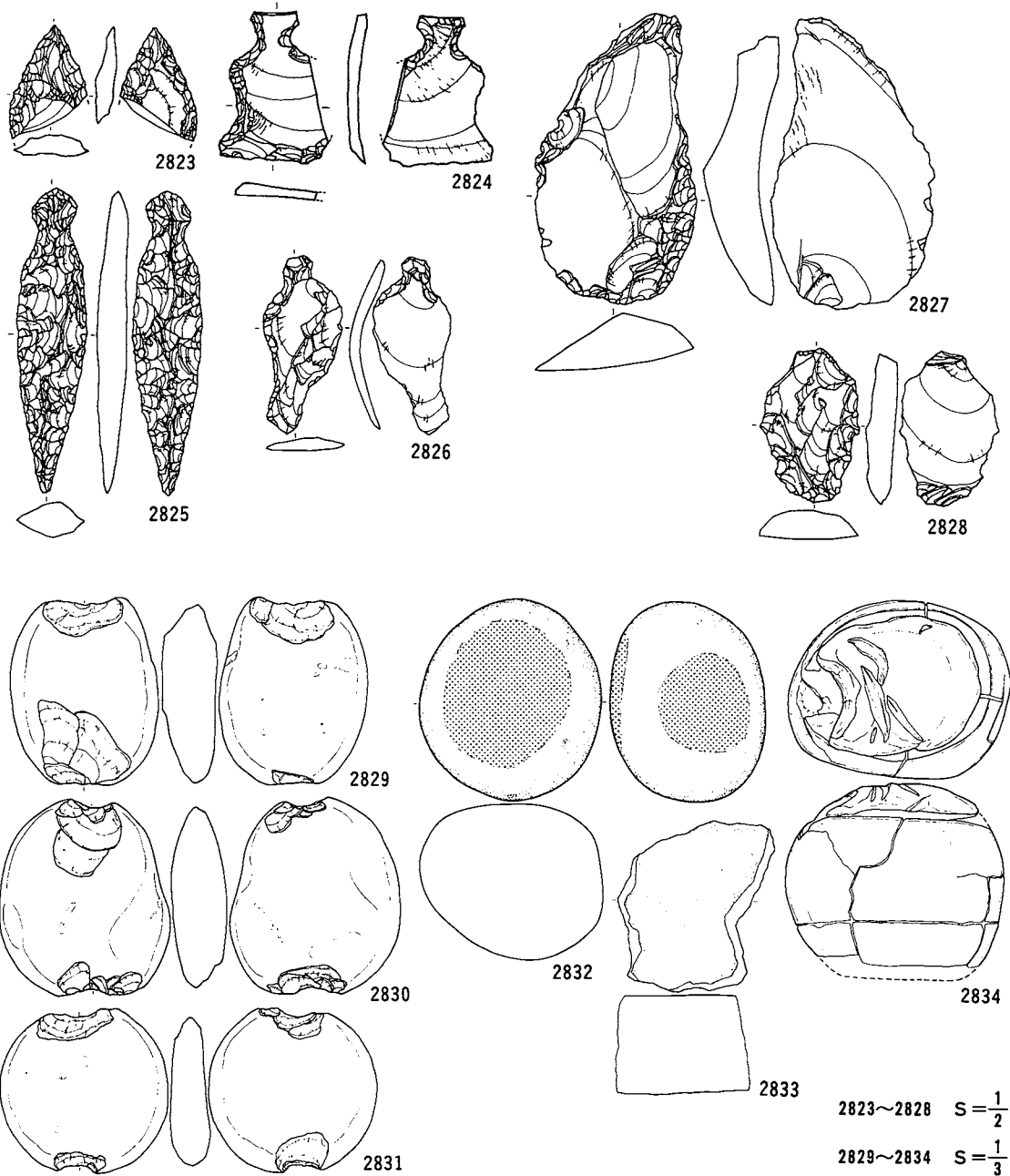
VIB108



- 1. 10Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、火山灰入る
 - 2. 10Y R 1/2 暗褐色土と火山灰の混土
 - 3. 10Y R 1/2 暗褐色土 わずかの火山灰を含む
 - 4. 10Y R 1/2 暗褐色土に火山灰ブロックが入る
- VIB110**



第306図 VIB区土坑(2)



2823~2828 S = $\frac{1}{2}$

2829~2834 S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2823	VIB102埋土北半	石鏃	3.2	2.2	0.6	3.5	粘板岩	夏油川~仙人	古生界	*
2824	VIB101埋土南半	石匙	4.4	3.2	0.6	5.6	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
2825	VIB102埋土南半	石匙	8.8	2.1	1.0	13.6	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2826	VIB102埋土北半	石匙	5.2	2.3	0.3	4.1	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2827	VIB108埋土	鋸齒状石器	8.5	4.7	1.6	55.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2828	VIB108埋土上位	三角削器	4.5	3.0	0.8	12.5	硬質泥岩	奥羽山地雫石	新第三系中新統	
2829	VIB102埋土南半	石鏃	8.2	6.5	2.5	150.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	
2830	VIB102埋土北半	石鏃	8.6	7.4	2.4	195.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2831	VIB108埋土	石鏃	7.2	7.3	1.8	110.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2832	VIB108埋土	すり石	8.7	8.0	6.8	660.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
2833	VIB108埋土	台石	7.5	6.9	4.3	385.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	*
2834	VIB101埋土南半	線刻石製品	7.8	9.6	7.9	480.0	緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

第307図 VIB区土坑出土遺物

火山灰まじりの暗褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

VII C区、VIII B区、VIII C区土坑

VII C 101

遺構 (第308図、写真図版67)

<検出状況> 調査区東側のVII C9g区とVII C10g区の間に位置する。<平面形> 開口部は不整な楕円形、底部は円形。<断面形> ほぼ円筒状。<規模> 開口部径70×60cm、底部直径60cm、深さ100cm。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの黒褐色～黒色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

VIII B 101

遺構 (第308図、写真図版67)

<検出状況> 調査区東側のVIII B5h区とVIII B6h区の間に位置し、北側が調査区外に出る。<平面形> 開口部、底部ともに不整な楕円形。<断面形> 不整な逆台形。<規模> 開口部径195×(115)cm、底部径65×(35)cm、深さ73cm。<埋土> 火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

VIII C 101

遺構 (第308図、写真図版68)

<検出状況> 調査区東側のVIII C2a区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともわずかに楕円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部径90×70cm、底部径107×100cm、深さ49cm。<埋土> 火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

VIII C 103

遺構 (第308図、写真図版68)

<検出状況> 調査区東側のVIII C2c区に位置する。<平面形> 開口部、底部ともに不整な円形。<断面形> フラスコ状。<規模> 開口部直径90cm、底部直径140cm、深さ67cm。<埋土> 炭化物、火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

VIII C 104

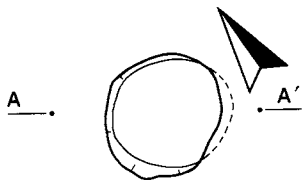
遺構 (第308図、写真図版68)

<検出状況> 調査区東側のVIII C4c区に位置する。<平面形> 開口部は楕円形、底部は円形。<断面形> バケツ型。<規模> 開口部径69×56cm、底部直径45cm、深さ66cm。<埋土> 火山灰まじりの黒褐色～黒色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

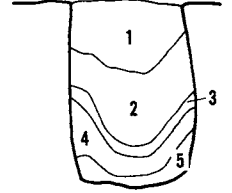
VIII C 105

遺構 (第308図、写真図版68)

<検出状況> 調査区東側のⅧC 3 e 区に位置する。<平面形> 開口部は不整な円形、底部は不整な楕円形。<断面形> ほぼ円筒状。<規模> 開口部直径70cm、底部径52×39cm、深さ88cm。<埋土> 殆どまじりのない黒色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

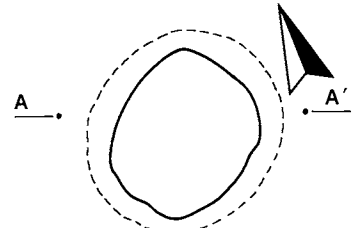


L = 127,600m



1. 10Y R 1/2 黒褐色土 炭化物 赤褐色土の粒子を含む
2. 10Y R 1/2 黒褐色土 炭化物、黄褐色土を若干含む
3. 10Y R 1/2 黒褐色土 黄褐色土を粒状に若干含む
4. 10Y R 1/2 黒褐色土 黄褐色土を粒状に若干含む
5. 10Y R 1/2 暗褐色土 汚れ火山灰

VIII C101

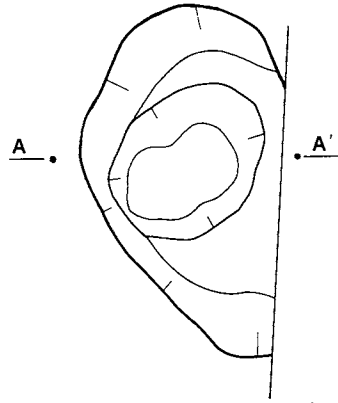


L = 127,292m

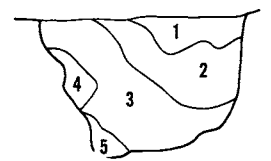


1. 10Y R 1/2 黒褐色土 火山灰が少量混じる
2. 10Y R 1/2 黒褐色土 火山灰が1より多い
3. 10Y R 1/2 黒褐色土 火山灰が斑状に混じる
4. 10Y R 1/2 黒褐色土 2層土に類似
5. 10Y R 1/2 褐色土 よこれ火山灰
6. 10Y R 1/2 褐色土 黒褐色土、よこれ火山灰が混じる
7. 10Y R 1/2 褐色土 2層に比べれば縮っている

VIII C101

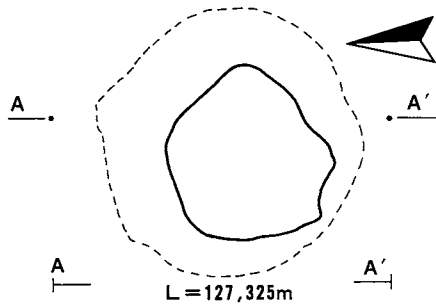


L = 127,300m

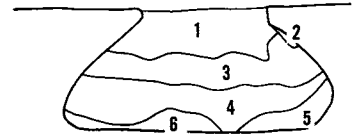


1. 10Y R 1/2 黒褐色土 火山灰を少量含む
2. 10Y R 1/2 黒褐色土 火山灰を少量含む
3. 10Y R 1/2 黒褐色土 火山灰ブロック少量含む
4. 10Y R 1/2 黒褐色土 火山灰ブロックを含む
5. 10Y R 1/2 黒褐色土 火山灰多量に含む

VIII C101

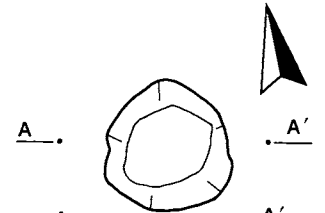


L = 127,325m

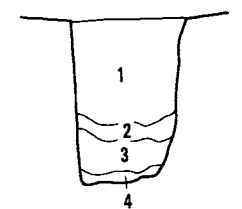


1. 10Y R 1/2 黒褐色土 炭化物と火山灰を若干含む
2. 10Y R 1/2 黄褐色土 汚れ火山灰
3. 10Y R 1/2 黒褐色土 火山灰を含む
4. 10Y R 1/2 黒褐色土 炭化物、火山灰を含む
5. 10Y R 1/2 暗褐色土 4層土よりも火山灰を多く含む
6. 10Y R 1/2 褐色土 汚れ火山灰

VIII C103

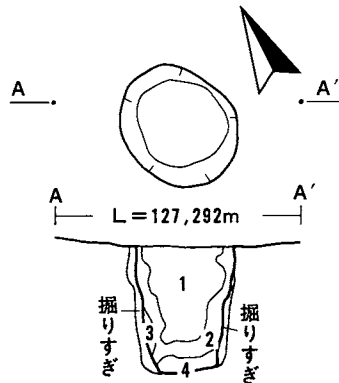


L = 127,325m

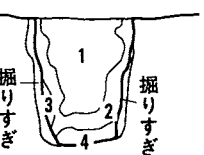


1. 10Y R 1/2 黒褐色土 10Y R 1/2 黒褐色土が若干混じる
2. 10Y R 1/2 黒褐色土
3. 10Y R 1/2 黒褐色土 黄褐色土が少量粒状に混じる
4. 10Y R 1/2 褐色土 汚れ火山灰

VIII C105

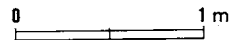


L = 127,292m



1. 10Y R 1/2 黒褐色土 黄褐色土が粒状
2. 10Y R 1/2 黒褐色土 火山灰と黒色土層が混じる
3. 10Y R 1/2 褐色土 崩落土
4. 10Y R 1/2 黒褐色土 2層の土と黄褐色土が少量混じる

VIII C104



第308図 VII C・VII B・VIII C区土坑

4. 柱穴状土坑

I A区柱穴状土坑群

遺構 (第309図、写真図版69・70)

I A区の東端部分に28基検出された。深さは16～110cmで、径は50cm前後が主体である。そのうちのI A107、I A108、I A130、I A140、I A166は、主体をなす埋土が火山灰まじりの粘性ある暗褐色土という共通性を持つ。また、断面形はほぼ円筒状もしくはピーカー状を呈する。さらにI A107、I A110、I A114、I A119、I A120、I A140、I A166、I A177は埋土下部に灰白色粘土が入る一群で、I A114は粘土の上部に柱痕跡もみられる。

遺物 (第313図、写真図版287)

<土器> 凶化できた個体が1点、それ以外の縄文土器の破片が中コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが16点、フレークが62点で、器種毎の点数は石錘6点、石鏃3点、削器、特殊磨石各2点、コア、石筥、すり石各1点である。

II A区柱穴状土坑群

遺構 (第310図、写真図版70)

II A区全体にわたって59基検出された。深さは17～100cmで、径は40cm前後が主体である。西端部分に検出されたII A246とII A254には、I A区で検出されたものと同様の灰白色粘土が入る。

遺物 (第314・315図、写真図版288・289)

<土器> 拓本として掲載した破片が4点、それ以外の縄文土器の破片が中コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが16点、フレークが32点で、器種毎の点数は石錘4点、削器3点、凹石2点、コア、石鏃、尖頭器、石匙、すり石、特殊磨石、敲石各1点である。

III A区柱穴状土坑群

遺構 (第311図)

III A区の北端と南端を中心に43基検出された。深さは15～97cmで、径は50cm前後が主体である。

遺物 (第316～318図、写真図版290～292)

<土器> 拓本として掲載した破片が13点、それ以外の縄文土器の破片が中コンテナ1箱程出土している。<石器> 登録したものが28点、フレークが27点で、器種毎の点数は石錘8点、削器、特殊磨石各5点、すり石、凹石各3点、コア、尖頭器、石匙、台石と思われるもの各1点である。

ⅢB区柱穴状土坑群

遺構 (第312図、写真図版70)

ⅢB 2 e区付近に5基検出された。ⅢB103、ⅢB105、ⅢB106、ⅢB107の4基はいずれも深さは1m前後、径60~80cmでしまりのある暗褐色土が共通の埋土として入る。ⅢB107には柱痕跡もみられ、大型の掘立柱建物跡の可能性も考えられるが、南側が調査区外に伸びるため規模は1間2間しか確認できない。

遺物 (第319図、写真図版293・294)

<土器> ⅢB103、ⅢB105、ⅢB106から出土している。図化できた個体が1点、拓本として掲載した破片が7点、それ以外の縄文土器の破片が中コンテナ1箱程である。<石器> ⅢB103、ⅢB105、ⅢB106から出土している。登録したものが9点、フレークが99点で、器種毎の点数は石錘3点、石匙、石篋、搔器、半円状偏平打製石器、すり石、円盤状石製品の未製品各1点である。

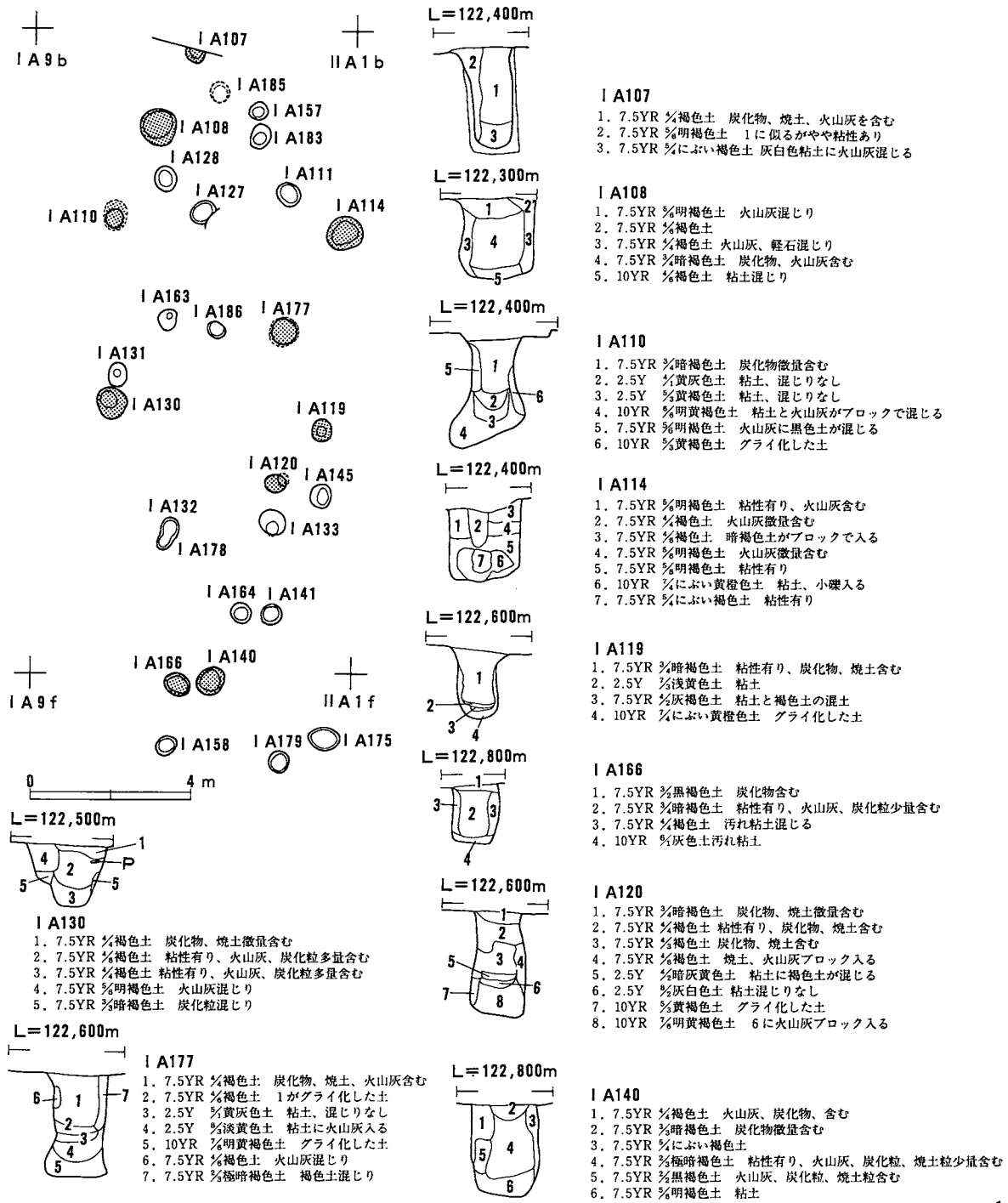
ⅣA区、ⅣB区、ⅤB区柱穴状土坑群

遺構 (第312図)

ⅣA区に2基、ⅣB区に8基、ⅤB区に21基散在する。深さは16~80cm、径は40cm前後が主体である。

遺物 (第320図、写真図版294・295)

<土器> ⅤB区のみからの出土で、図化できた個体が1点、拓本として掲載された破片が1点、それ以外の縄文土器と土師器の破片が合わせて小1袋ずつ出土している。<石器> ⅣA101からフレークが1点、ⅤB区からは石錘が2点、石匙が1点、フレークが5点出土している。



$$\text{断面S} = \frac{1}{30}$$

Na	I A107	I A108	I A110	I A111	I A114	I A119	I A120	I A127	I A128	I A130	I A131	I A132	I A133	I A140	I A141
径cm	46×(54)	φ80	46×44	60×52	76×78	φ50	52×44	54×(50)	62×54	80×70	60×46	(50)×44	(68)×66	66×64	52×48
深さcm	96	80	110	73	90	66	100	59	46	58	66	42	88	93	58

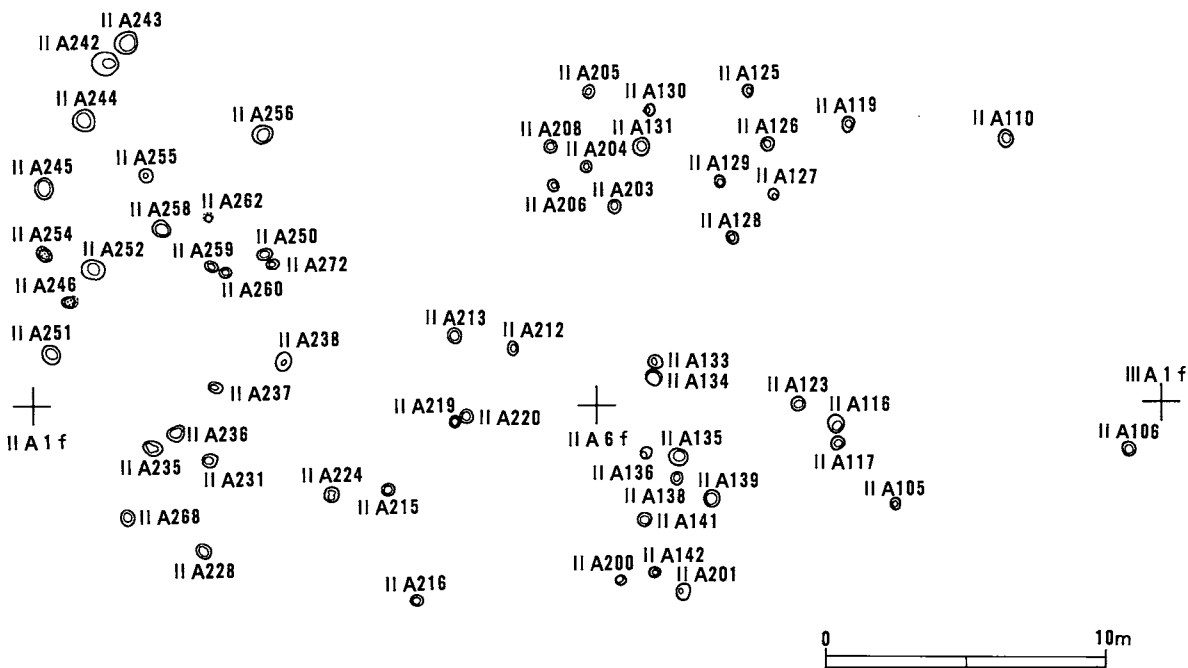
Na	I A145	I A157	I A158	I A163	I A164	I A166	I A175	I A177	I A178	I A179	I A183	I A186
径cm	56×50	40×38	50×46	56×54	φ50	52×48	64×52	68×54	50×36	50×46	60×48	42×40
深さcm	26	16	58	54	43	61	25	100	43	37	48	40

第309図 I A区柱穴状土坑群

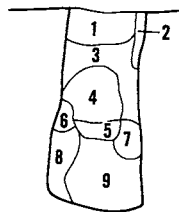
II A 1 a

II A 6 a

III A 1 a



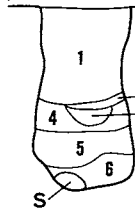
L = 122,900m



II A 246

1. 7.5YR %褐色土 粘性有り
2. 7.5YR %明褐色土 火山灰ブロック
3. 7.5YR %褐色土 1に炭化物少量混じる
4. 7.5YR %褐色土 粘性有り 炭化物多量混じる
5. 2.5YR %灰黄色土 粘土 混じりなし
6. 10YR %にぶい黄橙色土 粘土混じり
7. 10YR %明黄褐色土 粘土少量混じり
8. 7.5YR %明褐色土
9. 10YR %明褐色土 粘土と火山灰の混土

L = 122,600m



II A 254

1. 7.5YR %暗褐色土 火山灰、炭化物含む
2. 7.5YR %褐色土 グライ化した土
3. 2.5YR %暗灰黄色土 粘土、混じりなし
4. 10YR %にぶい黄橙色土 粘土と火山灰の混土
5. 10YR %にぶい黄橙色土 4より火山灰多い
6. 10YR %黄褐色土 火山灰がグライ化した土

断面 S = 1/20

No.	II A 105	II A 106	II A 110	II A 116	II A 117	II A 119	II A 123	II A 125	II A 126	II A 127	II A 128	II A 129	II A 130	II A 131	II A 133
径cm	38×36	50×48	52×50	60×56	42×40	44×34	50×42	36×30	φ42	36×30	φ36	φ34	40×30	60×54	44×42
深さcm	65	39	79	75	53	41	76	42	60	46	55	35	58	36	35

No.	II A 134	II A 135	II A 136	II A 138	II A 139	II A 141	II A 142	II A 200	II A 201	II A 203	II A 204	II A 205	II A 206	II A 208	II A 212
径cm	54×48	62×56	φ40	36×32	52×50	40×38	34×30	34×30	56×50	40×38	φ34	40×36	38×32	40×38	40×30
深さcm	46	72	49	26	69	54	36	50	63	42	33	52	46	42	55

No.	II A 213	II A 215	II A 216	II A 219	II A 220	II A 221	II A 228	II A 231	II A 235	II A 236	II A 237	II A 238	II A 242	II A 243	II A 244
径cm	50×46	40×34	36×34	36×40	44×46	80×72	48×42	44×42	60×52	66×54	46×36	(60)×54	92×80	82×(80)	78×70
深さcm	28	44	17	39	35	38	17	26	31	66	23	50	77	43	48

No.	II A 245	II A 246	II A 250	II A 251	II A 252	II A 254	II A 255	II A 256	II A 258	II A 259	II A 260	II A 262	II A 268	II A 272
径cm	68×58	46×40	44×38	62×48	80×64	50×40	48×44	70×58	64×54	38×30	34×30	φ30	50×40	40×34
深さcm	31	100	60	30	37	98	65	72	33	44	40	60	31	80

第310図 II A区柱穴状土坑群

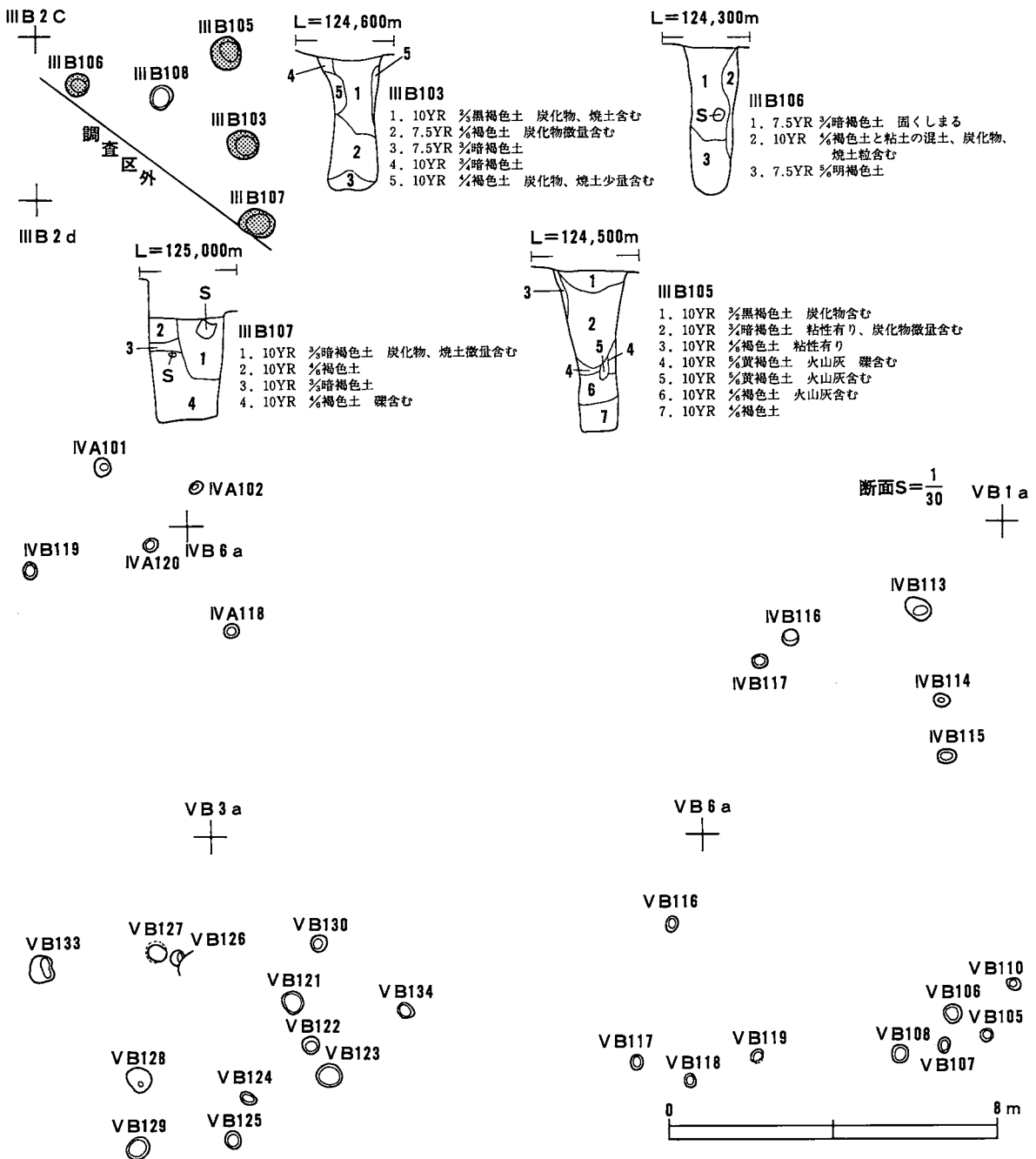


No.	III A 151	III A 153	III A 154	III A 155	III A 156	III A 157	III A 158	III A 159	III A 160	III A 161	III A 162	III A 163	III A 164	III A 165	III A 170
径cm	($\phi 65$)	$\phi 65$	$\phi 56$	$\phi 60$	35×30	47×36	50×42	$\phi 53$	$\phi 50$	$\phi 53$	65×58	46×40	56×48	54×48	$\phi 30$
深さcm	38	40	47	57	74	51	63	65	32	38	55	82	44	35	47

No.	III A 171	III A 172	III A 173	III A 174	III A 175	III A 176	III A 180	III A 181	III A 182	III A 183	III A 185	III A 186	III A 187	III A 188	III A 189
径cm	39×31	$\phi 40$	$\phi 47$	40×35	23×19	$\phi 22$	$\phi 33$	$\phi 38$	50×40	(40)×34	55×43	58×51	$\phi 50$	55×50	$\phi 40$
深さcm	22	34	49	15	31	18	41	26	30	56	43	80	97	45	42

No.	III A 190	III A 191	III A 192	III A 193	III A 195	III A 196	III A 197	III A 200	III A 201	III A 202	III A 207	III A 208	III A 209
径cm	71×50	50×42	$\phi 32$	43×35	$\phi 40$	$\phi 50$	33×27	$\phi 35$	35×26	$\phi 35$	88×52	80×60	82×74
深さcm	69	58	50	55	44	72	36	28	58	43	52	45	75

第311图 III A区柱穴状土坑群



No	III B103	III B105	III B106	III B107	III B108
径cm	82×69	81×73	φ60	88×67	φ60
深さcm	120	149	137	95	48

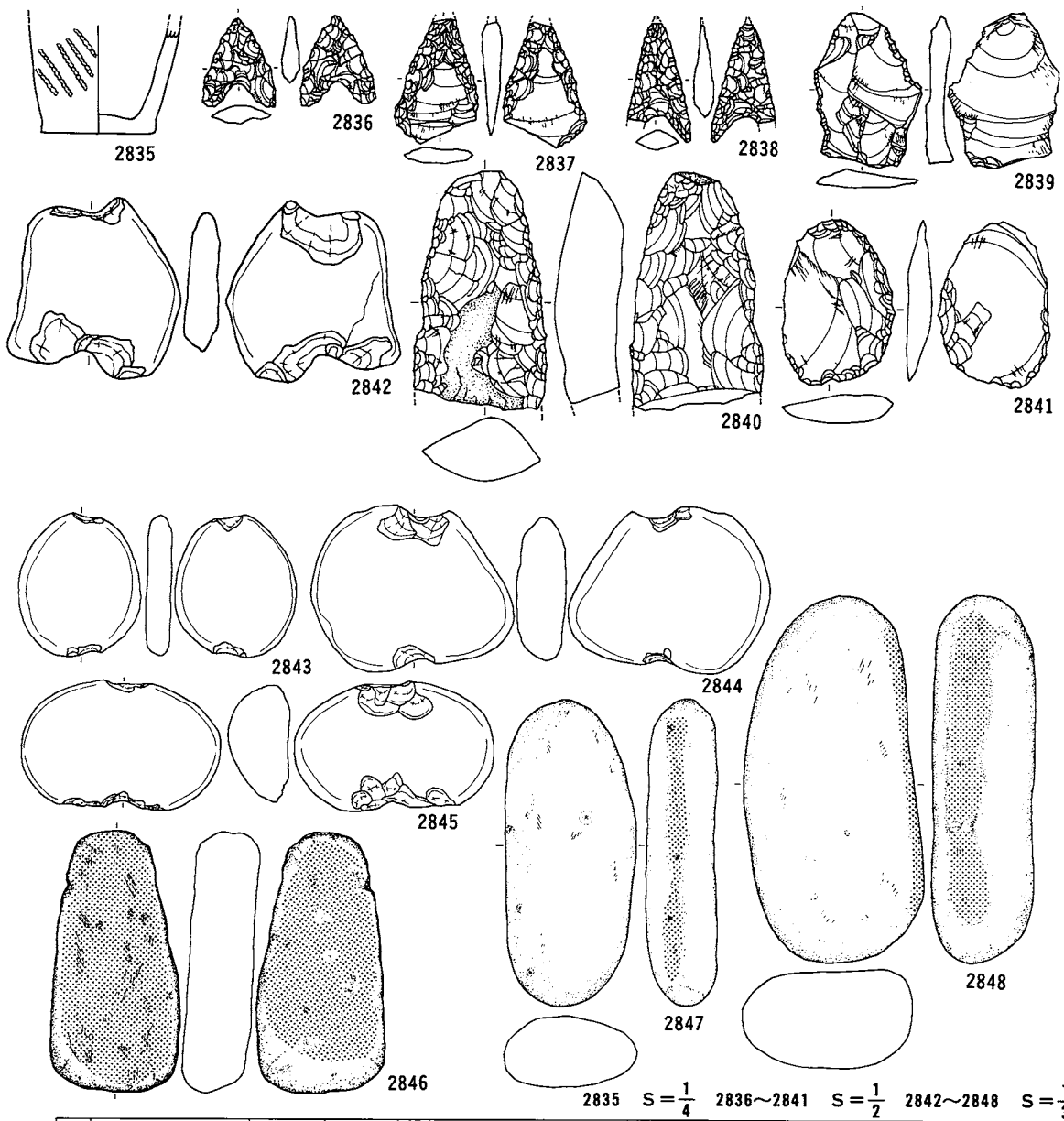
No	IVB113	IVB114	IVB115	IVB116	IVB117	IVB118	IVB119	IVB120
径cm	69×54	φ35	40×32	43×36	φ32	φ35	38×30	φ33
深さcm	80	40	50	25	43	38	57	24

No	IVA101	IVA102
径cm	46×40	31×23
深さcm	47	28

No	VB105	VB106	VB107	VB108	VB110	VB116	VB117	VB118	VB119	VB121	VB122
径cm	φ30	φ45	33×25	φ40	31×27	35×26	55×47	φ28	32×23	φ50	φ40
深さcm	16	38	30	32	24	69	38	29	39	23	27

No	VB123	VB124	VB125	VB126	VB127	VB128	VB129	VB130	VB132	VB133
径cm	60×54	40×32	38×36	φ38	46×40	φ60	56×50	φ40	36×32	64×(54)
深さcm	19	42	28	68	71	62	32	49	16	72

第312図 III B・IVA・IVB・VB区柱穴状土坑群

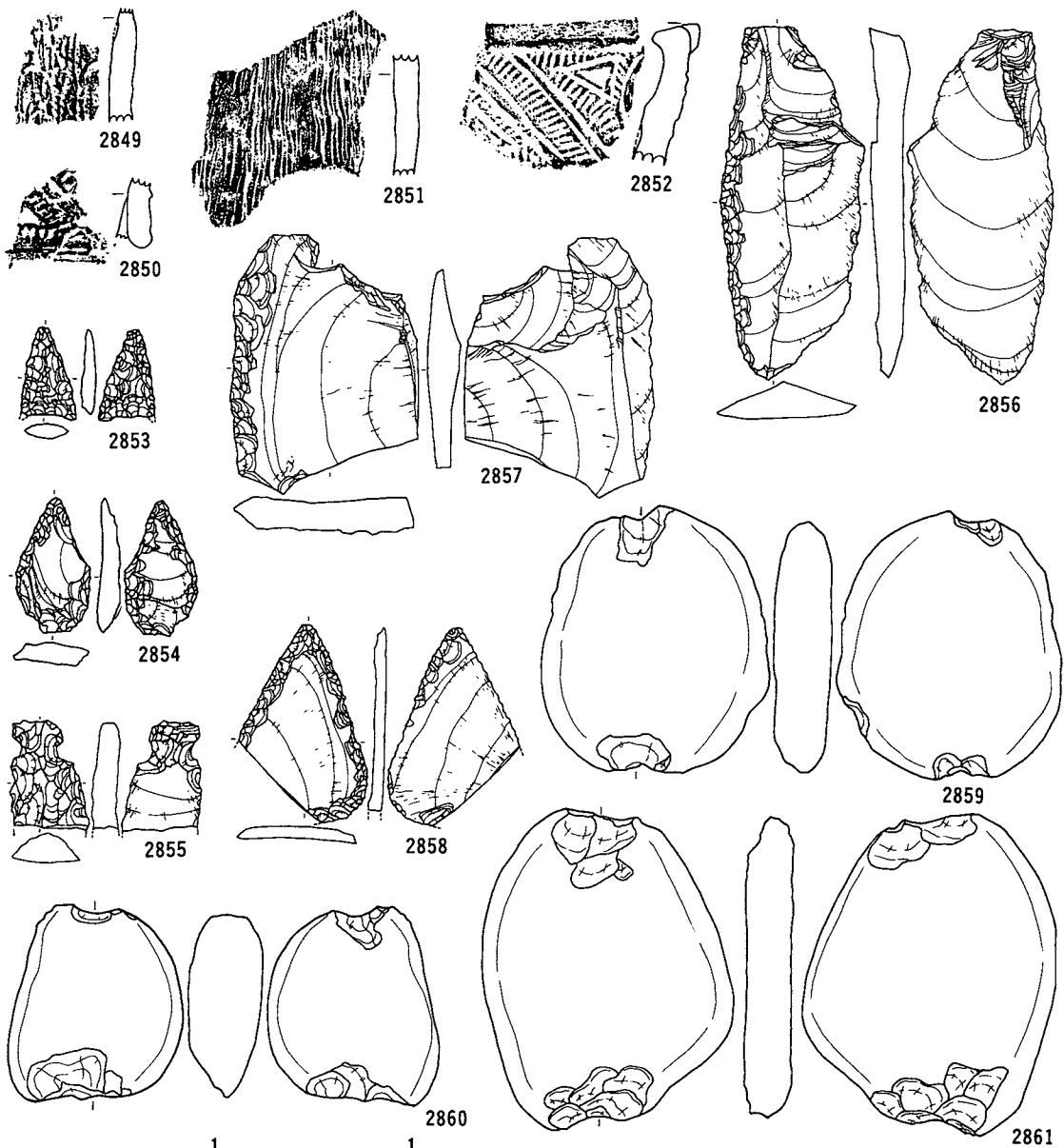


2835 $S = \frac{1}{4}$ 2836~2841 $S = \frac{1}{2}$ 2842~2848 $S = \frac{1}{3}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2835	I A 119・埋土	胴～底部	結条体Rタテ (?)	深鉢4類

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2836	I A 133埋土	石鏃	2.6	2.1	0.6	1.7	粘板岩	北上山地	古生界	
2837	I A 133埋土北半	石鏃	3.6	2.5	0.6	3.8	粘板岩	北上山地	古生界	*
2838	I A 166埋土北半	石鏃	3.4	1.8	0.6	2.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	*
2839	I A 111埋土	削器	4.4	3.2	0.8	8.2	硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
2840	I A 166埋土北半	石鏃	6.9	3.9	1.8	55.7	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	*
2841	I A 111埋土北半	削器	3.3	4.7	0.7	13.5	硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
2842	I A 119埋土	石鏃	5.2	4.7	1.2	35.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
2843	I A 163埋土西半	石鏃	6.2	5.3	1.1	55.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2844	I A 133埋土北半	石鏃	7.3	8.7	2.4	190.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2845	I A 111埋土北半	石鏃	5.9	6.7	1.7	160.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2846	I A 111埋土北半	すり石	11.3	5.6	3.3	305.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2847	I A 140埋土	特殊磨石	13.3	5.9	3.0	380.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2848	I A 130埋土	特殊磨石	16.3	7.5	4.2	890.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	

第313図 I A区柱穴状土坑出土遺物

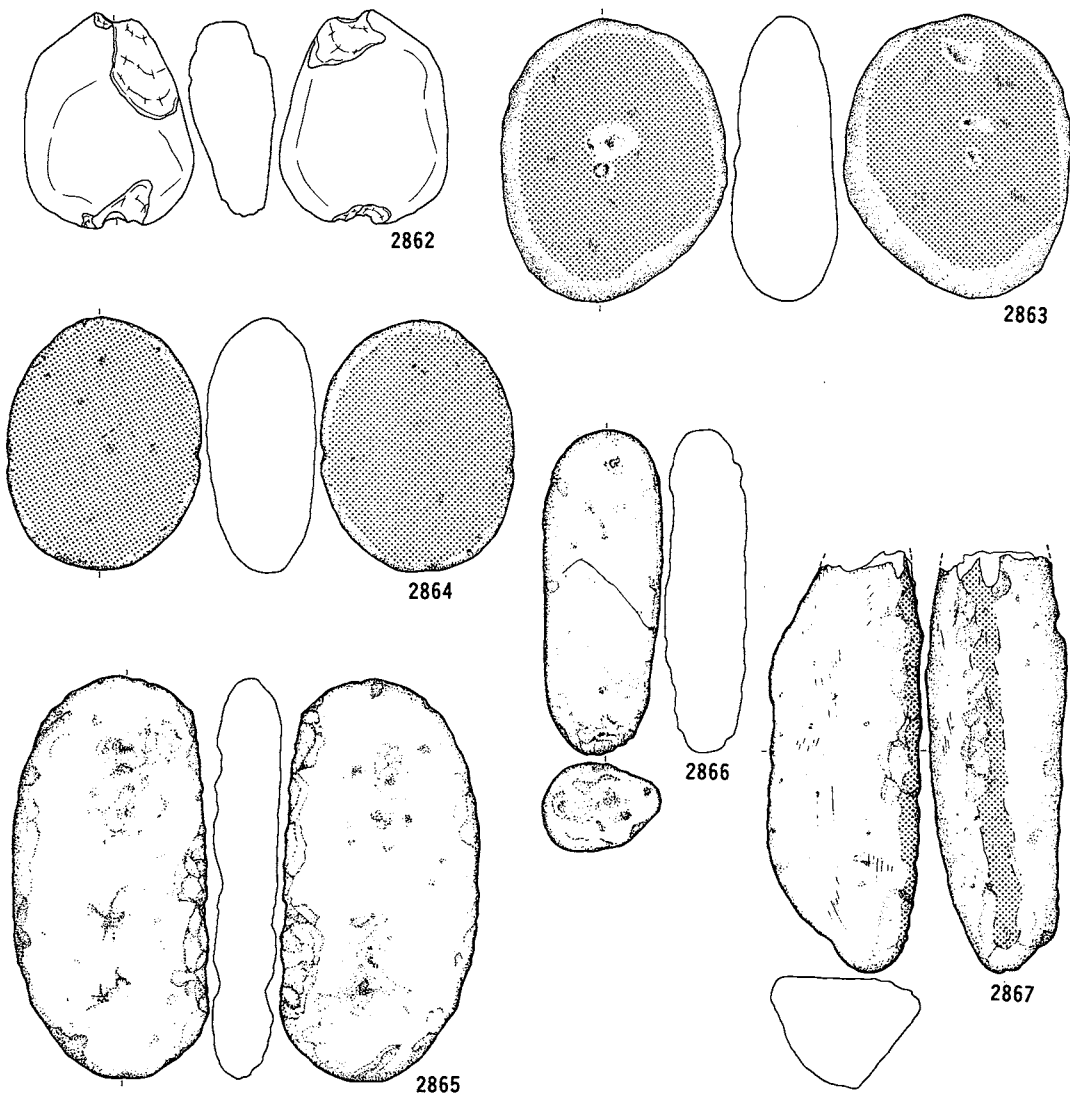


2849~2852 $S = \frac{1}{3}$ 2853~2861 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2849	II A 235・埋土	胴部	絡条体Rクテ・ナナメ	深鉢4類
2850	II A 245・埋土	口縁部	連続の刻目や三角状のえぐり	深鉢19類
2851	II A 236・埋土	胴部	絡条体Lクテ	深鉢4類
2852	II A 252・埋土	口縁部	複合口縁、斜位や三角状の平行沈線間に連続短沈線	深鉢20類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2853	II A 244埋土	石鏃	2.5	1.5	0.4	1.2	流紋岩	羽山～本畑	新第三系中新統	*
2854	II A 242埋土南半	尖頭器	3.7	2.1	0.7	4.9	流紋岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
2855	II A 259埋土	石匙	3.0	2.1	0.7	5.6	硬質泥岩	川尻以西○r雫石西部	新第三系中新統	*
2856	II A 245埋土	削器	9.9	4.0	1.1	33.9	硬質泥岩	川尻以西○r雫石西部	新第三系中新統	
2857	II A 135埋土	削器	7.2	5.2	1.0	40.5	流紋岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
2858	II A 244埋土	削器	5.5	3.7	0.4	6.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西○r雫石西部	新第三系中新統	*
2859	II A 236埋土	石鏃	8.5	6.3	1.7	120.0	両碑石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2860	II A 259埋土	石鏃	5.6	4.7	2.1	70.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
2861	II A 236埋土	石鏃	8.9	6.8	1.4	130.0	プロピライト質緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

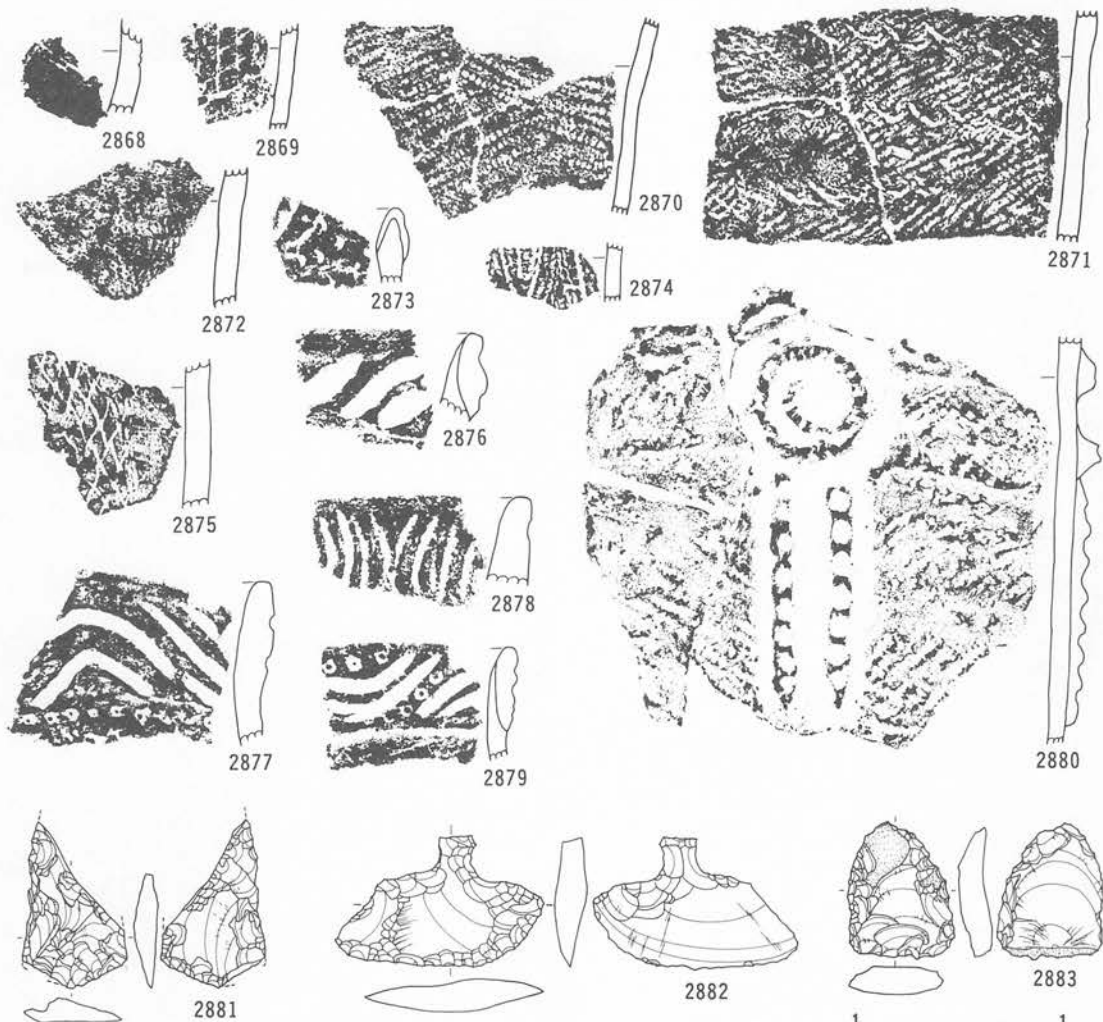
第314図 II A区柱穴状土坑出土遺物(1)



S = $\frac{1}{3}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2862	II A 224埋土	石錘	8.5	6.5	3.0	170.0	テサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	*
2863	II A 260埋土	凹石	11.3	9.0	4.1	630.0	花崗閃緑岩	夏油川上流	中生界	
2864	II A 260埋土	すり石	9.9	7.6	4.7	485.0	テサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
2865	II A 142埋土北半1層	凹石	15.9	7.7	2.7	425.0	テサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
2866	II A 236埋土	敲石	12.9	5.4	3.2	290.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	
2867	II A 135埋土	特殊磨石	16.7	5.8	5.6	680.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	*

第315図 II A区柱穴状土坑出土遺物(2)

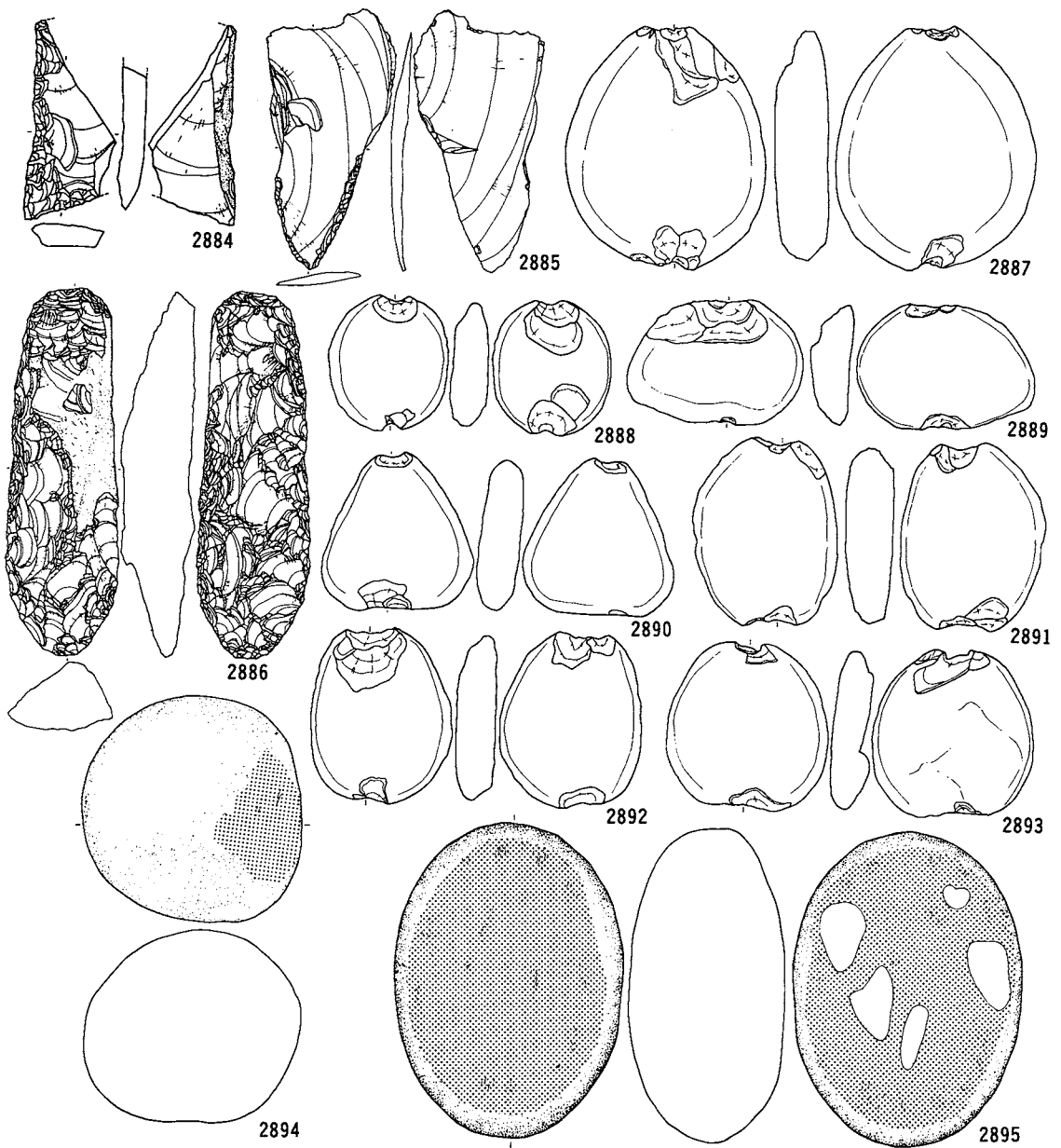


2868~2880 $S = \frac{1}{3}$ 2881~2883 $S = \frac{1}{2}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2868	ⅢA 153・埋土	胴部	縄状の平行沈線	深鉢7類
2869	ⅢA 163・埋土下部	胴部	網目状の沈線	深鉢
2870	ⅢA 163・埋土下部	胴部	L R タテ・ヨコ	深鉢A12類
2871	ⅢA 163・埋土下部	胴部	結節したL R ヨコ	深鉢A15類
2872	ⅢA 153・埋土	胴部	R L ナナメ	深鉢12類
2873	ⅢA 190・埋土	口縁部	縦位の粘土紐貼付、爪形文	深鉢10類
2874	ⅢA 190・埋土	胴部	木目状燃糸文	深鉢11類
2875	ⅢA 196・埋土中部	胴部	網目状燃糸文	深鉢11類
2876	ⅢA 190・埋土	口縁部	斜位の太い連続沈線	深鉢14類
2877	ⅢA 201・埋土下部	口縁部	弧状の連続沈線、竹管による円形の連続刺突	深鉢14類
2878	ⅢA 190・埋土	口縁部	背中合わせの弧状の連続沈線	深鉢13類
2879	ⅢA 201・埋土下部	口縁部	粘土帯上に弧状の連続沈線、その間に竹管による円形の連続刺突	深鉢14類
2880	ⅢA 197・埋土	口~胴部	刻目を持つ渦巻状の粘土紐、その下に連続押圧の2本の粘土紐、その左にL R ヨコ、右にL R ヨコ	深鉢A18類

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2881	ⅢA 155埋土	尖頭器	4.5	2.8	0.6	6.3	細粒凝灰岩	川尻以西 or 半石西部	新第三系中新統	*
2882	ⅢA 195埋土	石匙	3.5	5.4	0.8	13.5	硬質泥岩	川尻以西 or 半石西部	新第三系中新統	
2883	ⅢA 187埋土	三角削器	3.6	2.6	0.7	8.4	粘板岩	北上山地	古生界	

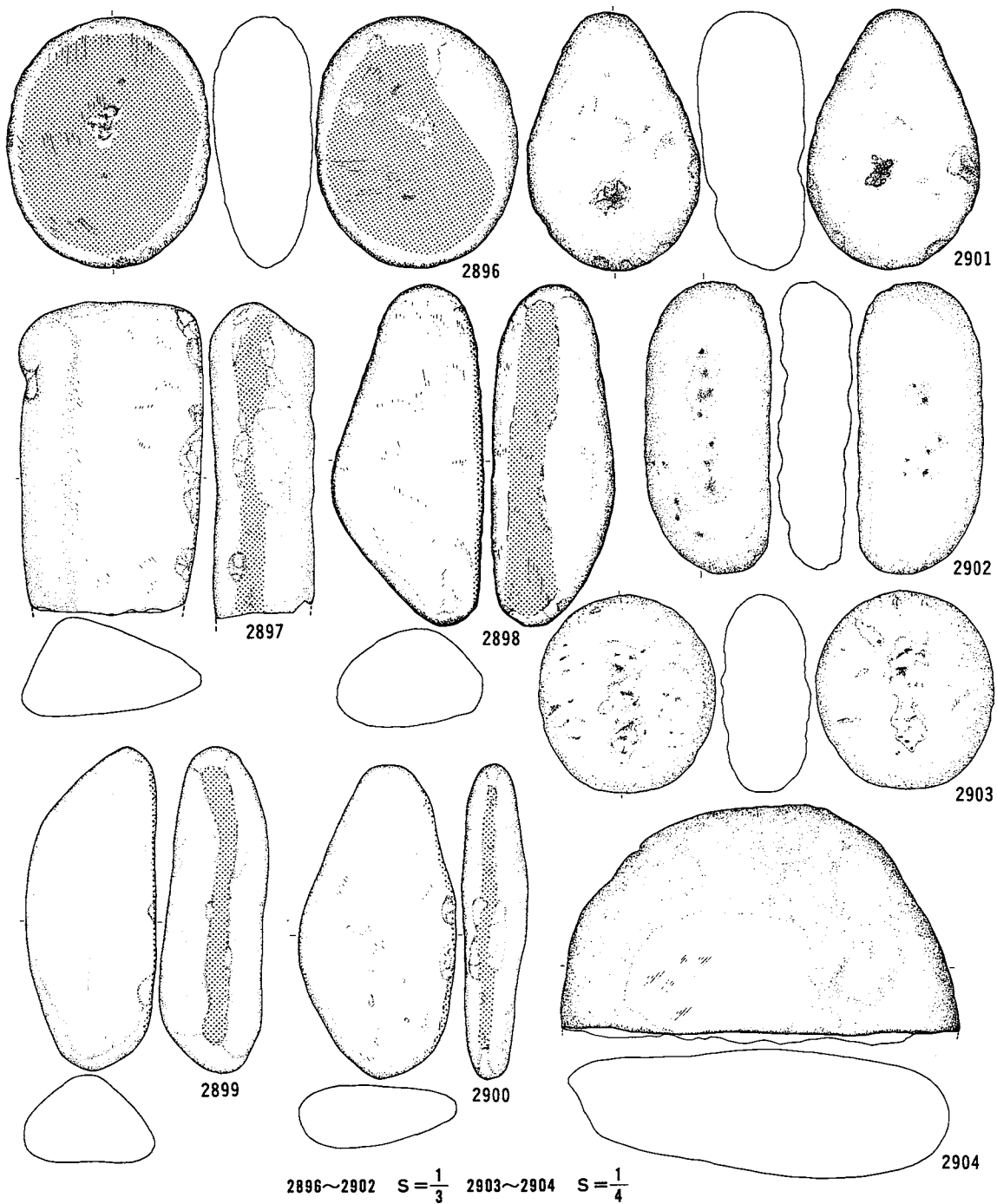
第316図 ⅢA区柱穴状土坑出土遺物(1)



2884 $S = \frac{1}{2}$ 2885~2895 $S = \frac{1}{3}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2884	ⅢA191埋土	削器	5.6	3.0	0.8	9.1	硬質泥岩	川尻以西or礮石西部	新第三系中新統	*
2885	ⅢA201埋土下層	削器	11.0	5.5	0.6	37.8	硬質泥岩	川尻以西or礮石西部	新第三系中新統	
2886	ⅢA202埋土東半	削器	15.7	4.9	3.2	240.0	珪質泥岩	川尻以西or礮石西部	新第三系中新統	
2887	ⅢA182埋土東半	石錘	10.1	8.5	2.5	285.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2888	ⅢA186埋土	石錘	5.7	5.1	1.7	55.1	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2889	ⅢA155埋土	石錘	5.2	7.6	2.1	100.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
2890	ⅢA191埋土	石錘	6.7	6.9	1.9	120.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2891	ⅢA191埋土	石錘	8.0	6.1	2.0	130.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2892	ⅢA185埋土	石錘	7.9	6.1	1.7	110.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2893	ⅢA193埋土南半	石錘	7.1	6.9	1.8	115.0	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
2894	ⅢA182埋土東半	すり石	10.0	9.7	8.1	1060.0	兩輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	
2895	ⅢA163埋土下層	すり石	13.3	9.7	6.7	1400.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

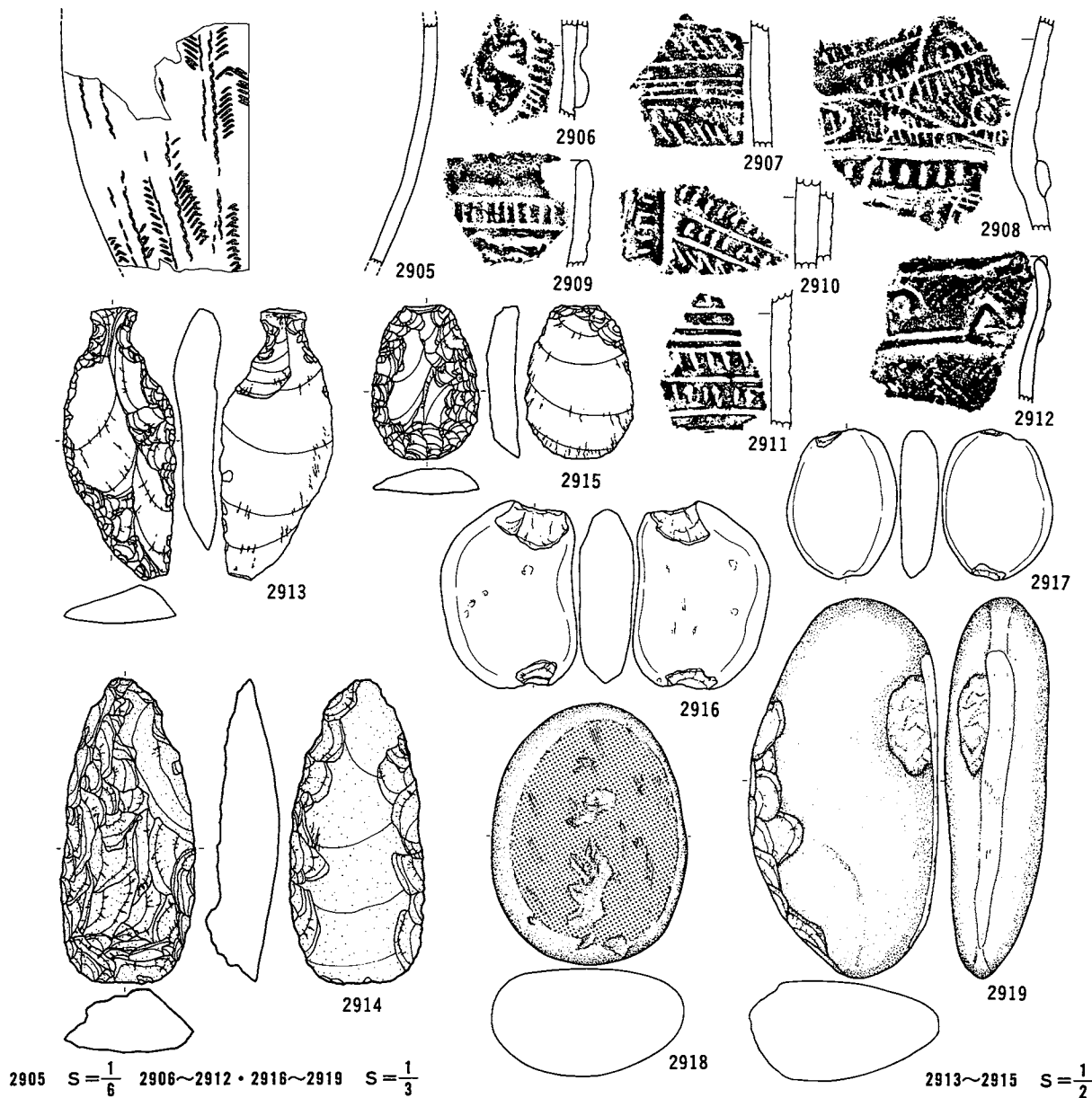
第317図 ⅢA区柱穴状土坑出土遺物(2)



2896~2902 $S = \frac{1}{3}$ 2903~2904 $S = \frac{1}{4}$

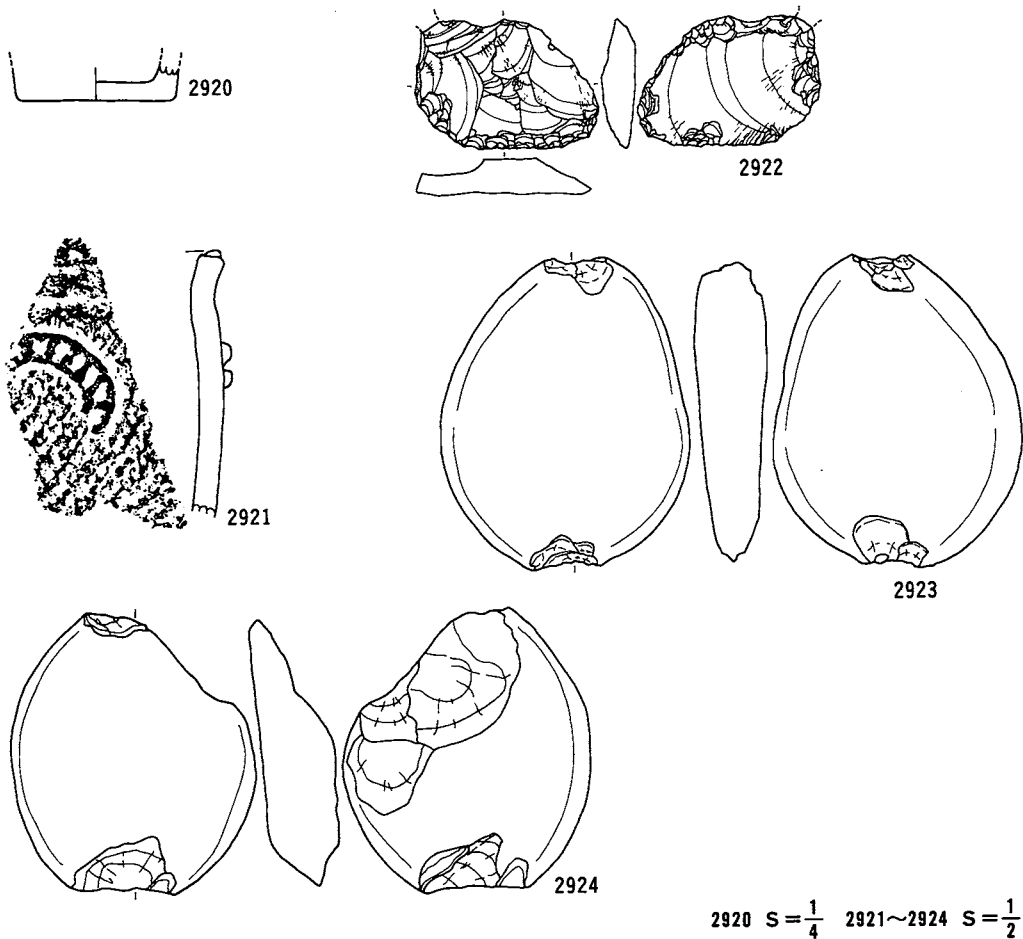
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2896	Ⅲ A 196埋土	すり石	11.4	9.2	5.7	700.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2897	Ⅲ A 155埋土	特殊磨石	14.3	8.3	4.5	920.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
2898	Ⅲ A 201埋土下層	特殊磨石	15.5	6.9	4.5	700.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2899	Ⅲ A 201埋土下層	特殊磨石	14.8	6.0	4.8	520.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2900	Ⅲ A 190埋土	特殊磨石	14.5	7.3	3.2	390.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	
2901	Ⅲ A 196埋土	凹石	11.8	7.9	5.0	580.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2902	Ⅲ A 196埋土	凹石	13.6	5.8	4.5	480.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2903	Ⅲ A 163埋土下層	凹石	12.0	10.9	5.8	1040.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2904	Ⅲ A 153埋土	台石?	14.0	24.5	7.8	3840.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	*

第318図 Ⅲ A 区柱穴状土坑出土遺物(3)



No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他				分類			
			長さ	幅	厚さ	重量				
2905	III B 105・埋土中部	胴部	両末端結節の羽状（結束第1種）タテ				深鉢 B 15類			
2906	III B 103・埋土下部	口縁部	S字状の粘土紐貼付、そのまわりに連続した刻目				深鉢 B 18類			
2907	III B 105・埋土上部	口縁部	横位の沈線数条、その上下に斜位の連続短沈線				深鉢 B 19類			
2908	III B 105・埋土下部	口～頸部	斜位や渦巻状の沈線、その間に連続短沈線、刻目を持つ粘土紐貼付				深鉢 B 20類			
2909	III B 103・埋土	口縁部	梯子状の沈線の下に小波状沈線				深鉢 B 19類			
2910	III B 105・埋土上部	口縁部	刻目を持つ粘土紐縦位に貼付、斜位の沈線と連続短沈線				深鉢 B 18類			
2911	III B 106・埋土中部	口縁部	数条の横位の沈線のうちの2段に連続短沈線				深鉢 B 19類			
2912	III B 106・埋土1層	口～胴部	横位の沈線間に弧状や山形の粘土紐、口縁部に第1種羽状ヨコ、胴部に第1種羽状タテ				深鉢 B 15類			
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2913	III B 103埋土東半下層	石匙	8.1	3.3	1.1	27.7	粘板岩	夏油川～仙人	古生界	
2914	III B 105埋土東半上層	石笥	8.9	3.9	1.9	75.7	粘板岩ホルンフェルス	夏油川	古生界	
2915	III B 103埋土東半下層	円形搔器	4.5	3.1	0.7	15.1	珪質泥岩	雫石	新第三系中新統	
2916	III B 106埋土1層	石鏟	8.3	5.9	2.5	190.0	両輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
2917	III B 105埋土東半下層	石鏟	6.4	5.0	1.8	80.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
2918	III B 106埋土東半中層	すり石	11.5	8.7	4.8	700.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系鮮新統	
2919	III A 108埋土上層	石鏟	6.4	5.0	1.3	35.1	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

第319図 III B区柱穴状土坑出土遺物



No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2920	V B107・埋土	底部		深鉢
2921	V B107・埋土	口~胴部	口唇部に波状の粘土紐、口縁部に梯子状の粘土紐、LRヨコ	深鉢2類

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2922	V B117埋土	石匙	3.5	4.9	1.0	16.7	硬質泥岩	川尻以西or平石西部	新第三系中新統	
2923	V B108埋土	石錘	8.3	6.6	1.9	135.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	
2924	V B117埋土	石錘	7.3	6.5	2.0	125.0	緑色凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	*

第320図 V B区柱穴状土坑出土遺物

5. 陥し穴状遺構

I A51陥し穴状遺構

遺構 (第321図、写真図版71)

<検出状況> 調査区西端のI A10 d区に位置する。<平面形> 開口部は不整な楕円形、底部は不整な隅丸長方形。<断面形> 短軸は漏斗状、長軸は逆台形で東側の上部に平坦な面を持つ。<長軸方向> N-76°-W。<規模> 開口部径286×128cm、底部径192×46cm、深さ142cm。<埋土> 上部に暗褐色土、下部に火山灰まじりの明褐色土が入る。

遺物 (第323図、写真図版295・296)

<土器> 拓本として掲載した破片が1点、それ以外の破片が小3袋出土している。<石器> 石錘、特殊磨石が各2点、フレークが11点出土している。

III A51陥し穴状遺構

遺構 (第321図、写真図版71)

<検出状況> 調査区西寄りのIII A3 e区とIII A4 e区の間位置し、III A149を切る。<平面形> 開口部は楕円形、底部は隅丸長方形。<断面形> 短軸は漏斗状、長軸は逆台形。<長軸方向> N-84°-E。<規模> 開口部径280×156cm、底部径187×48cm、深さ139cm。<埋土> 炭化物まじりのあらい暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第323図、写真図版295・296)

<土器> 縄文土器と土師器の破片が小1袋ずつ出土している。<石器> 石錘が2点、敲石が1点、フレークが13点出土している。

IV B51陥し穴状遺構

遺構 (第322図、写真図版72)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のIV B2 e区とIV B3 e区の間位置し、IV B52を切りIV B151溝跡に切られる。<平面形> 開口部、底部ともに溝状。<断面形> 短軸は中の狭い漏斗状、長軸は底面中央が盛り上がったフラスコ状。<長軸方向> N-70°-E。<規模> 開口部径384×32cm、底部径398×8cm、深さ80cm。<埋土> 上部に黒褐色土、下部に火山灰まじりの黄褐色土が入る。遺物は出土しなかった。

IV B52陥し穴遺構

遺構 (第321図、写真図版71)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のIV B2 e区に位置し、南東側上部がIV B51に切られる。<平面形> 開口部、底部ともに不整な楕円形。<断面形> 短軸は不整なV字状、長軸はほぼビーカー状。<長軸方向> N-51°-W。<規模> 開口部径(200)×95cm、底部径150×35cm、深さ78cm。<埋土> 炭化物、酸化鉄、火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。

遺物

<土器> 縄文土器と土師器の破片が小2袋ずつ出土している。

IV B 53 陥し穴状遺構

遺構 (第322図、写真図版72)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のIV B 7 d 区に位置し、上部全体をIV B 4 号住居跡とIV B 109 に切られる。<平面形> 開口部、底部ともに溝状。<断面形> 短軸は円筒状、長軸は底面中央がわずかに盛り上がったフラスコ状。<長軸方向> N-51°-E。<規模> 開口部径320×16cm、底部径333×7cm、深さ37cm。<埋土> 火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

IV B 54 陥し穴状遺構

遺構 (第321図、写真図版71)

<検出状況> 調査区ほぼ中央のIV B 5 a 区に位置する。<平面形> 開口部は楕円形、底部は不整な長方形。<断面形> 短軸は漏斗状、長軸も巾の広い漏斗状。<長軸方向> N-71°-W。<規模> 開口部径220×124cm、底部径128×37cm、深さ143cm。<埋土> 上部に暗褐色土、中部の黒褐色土をはさんで下部中央に暗褐色土、その両側には火山灰まじりの褐色土が入る。

遺物 (第323図、写真図版295・296)

<土器> 図化できた個体が2点で、縄文土器と土師器の高台付坏である。それ以外に縄文土器の破片が大1袋、土師器の破片が小1袋出土している。<石器> 石錘が1点、フレイクが8点出土している。

V A 51 陥し穴状遺構

遺構 (第322図、写真図版72)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のV A 1 i 区とV A 1 j 区の間に位置し、北側の上部が攪乱を受ける。<平面形> 開口部、底部ともに溝状。<断面形> 短軸は漏斗状、長軸は底面中央がわずかに盛り上がったフラスコ状。<長軸方向> N-40°-E。<規模> 開口部径382×34cm、底部径409×13cm、深さ90cm。<埋土> 火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

V B 51 陥し穴状遺構

遺構 (第322図、写真図版72)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のV B 9 a 区とV B 9 b 区の間に位置し、上部北端が攪乱を受ける。<平面形> 開口部、底部ともに溝状。<断面形> 短軸は漏斗状、長軸はピーカー状。<長軸方向> N-48°-E。<規模> 開口部径296×40cm、底部径268×16cm、深さ

102cm。＜埋土＞ 火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

V B 52 陥し穴状遺構

遺構 (第322図、写真図版72)

＜検出状況＞ 調査区ほぼ中央部のV B 1 e区とV B 1 f区の上に位置し、V B 151溝跡に切られる。＜平面形＞ 開口部、底部ともに溝状。＜断面形＞ 短軸は漏斗状、長軸は底面中央がわずかに盛り上がったフラスコ状。＜長軸方向＞ N-40°-E。＜規模＞ 開口部径392×46cm、底部径446×11cm、深さ106cm。＜埋土＞ 上部に黒褐色土、下部に暗褐色土が入る。遺物は出土しなかった。

VIII B 51 陥し穴状遺構

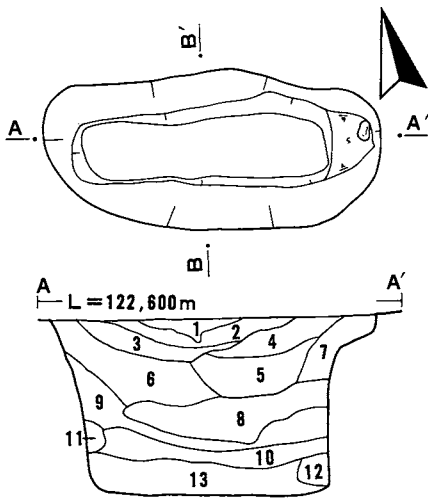
遺構 (第322図、写真図版72)

＜検出状況＞ 調査区東側のVIII B 3 h区付近に位置する。＜平面形＞ 開口部、底部ともに溝状。＜断面形＞ 短軸は漏斗状、長軸はほぼピーカー状。＜長軸方向＞ N-48°-W。＜規模＞ 開口部径340×37cm、底部径330×10cm、深さ89cm。＜埋土＞ 火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。

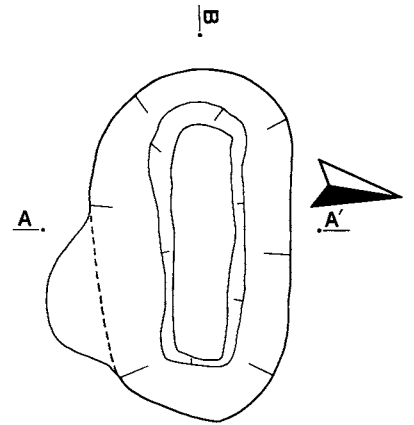
VIII C 51 陥し穴状遺構

遺構 (第322図、写真図版73)

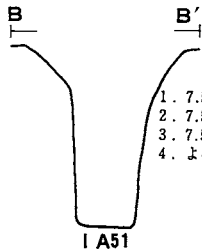
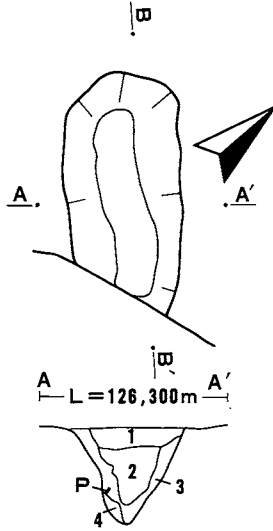
＜検出状況＞ 調査区東側のVIII C 7 g区付近に位置する。＜平面形＞ 開口部、底部ともに溝状。＜断面形＞ 短軸は円筒状、長軸は舟底型。＜長軸方向＞ N-37°-W。＜規模＞ 開口部径316×19cm、底部径308×8cm、深さ45cm。＜埋土＞ 火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。遺物は出土しなかった。



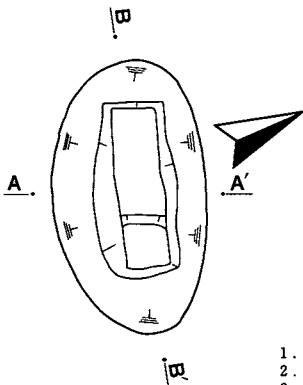
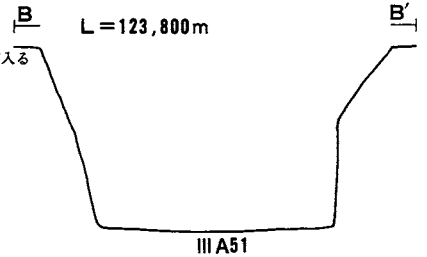
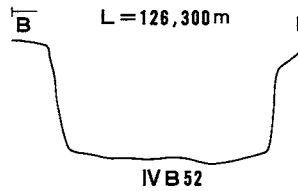
1. 5 Y R 1/2 黒褐色土 炭化物多量に混じる
2. 5 Y R 1/2 暗赤褐色土 火山灰、炭化物少量
3. 5 Y R 1/2 赤褐色土 火山灰ブロック、炭化物多量を含む
4. 5 Y R 1/2 暗赤褐色土 炭化物、火山灰含む
5. 7.5 Y R 1/2 褐色土 炭化物少量と火山灰ブロック多量を含む
6. 7.5 Y R 1/2 褐色土 炭化物 火山灰を少量含む
7. 7.5 Y R 1/2 黒褐色土 火山灰、礫を含む
8. 7.5 Y R 1/2 明褐色土 火山灰を含む
9. 7.5 Y R 1/2 褐色土 炭化物、火山灰混じる
10. 5 Y R 1/2 赤褐色土 褐色土、火山灰の混合土
11. 7.5 Y R 1/2 暗褐色土 火山灰ブロック混じり
12. 7.5 Y R 1/2 黒褐色土 火山灰少量混じり、粘性あり
13. 7.5 Y R 1/2 明褐色土 火山灰ブロック混じり



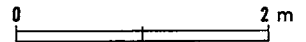
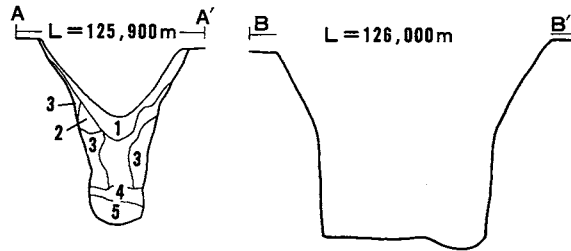
1. 7.5 Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、焼土粒、土器片、火山灰ブロック含む
2. 10 Y R 1/2 暗褐色土 小礫、炭化物を含む
3. 7.5 Y R 1/2 褐色土 炭化物と火山灰を含む
4. 7.5 Y R 1/2 暗褐色土 火山灰ブロックを含む
5. 10 Y R 1/2 暗褐色土 火山灰ブロックを含む



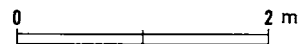
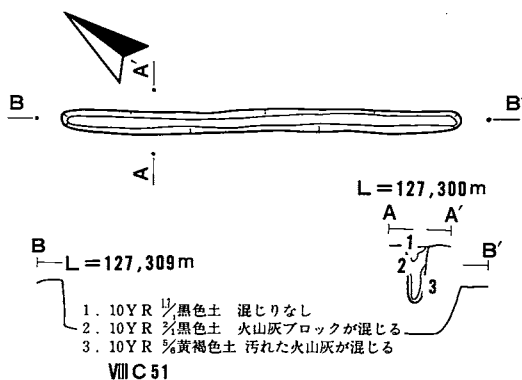
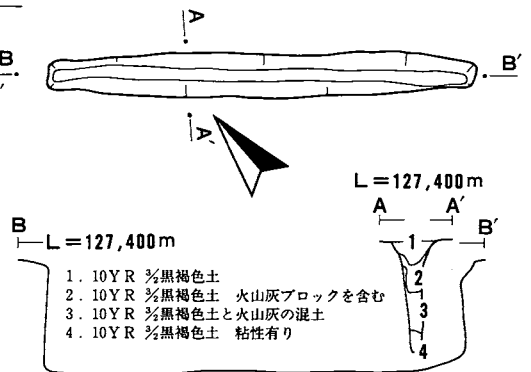
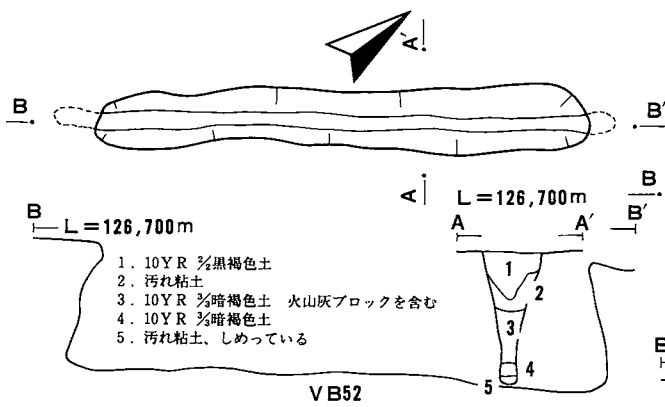
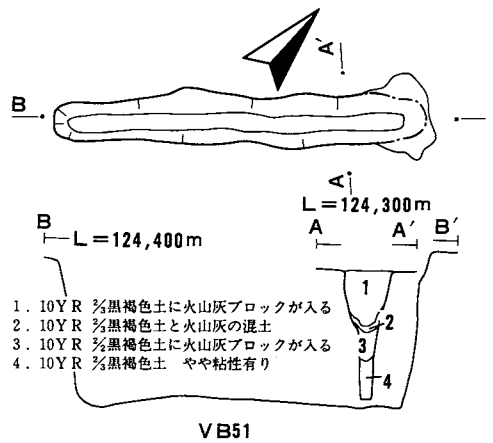
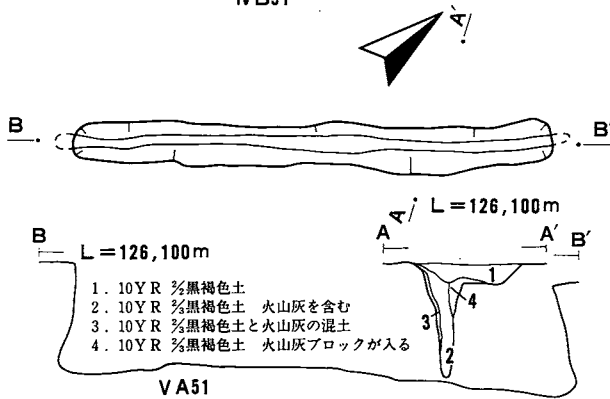
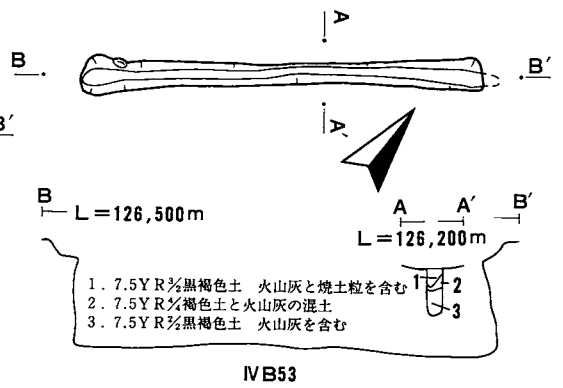
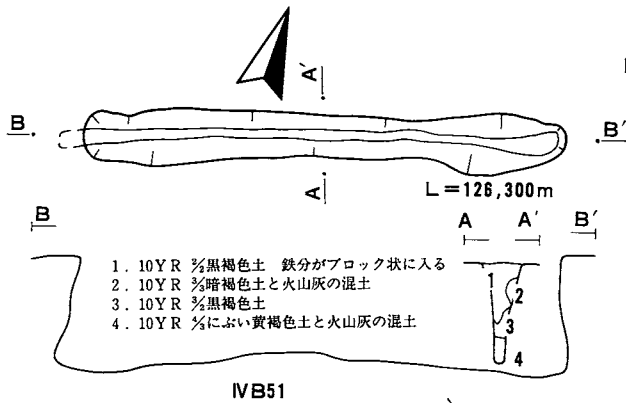
1. 7.5 Y R 1/2 黒褐色土に酸化鉄がおびただしく、火山灰、炭化物、土器片が入る
2. 7.5 Y R 1/2 暗褐色土 炭化物、火山灰が入る
3. 7.5 Y R 1/2 黒褐色土 炭化物、土器片、火山灰ブロックがわずかに入る
4. よごれ粘土



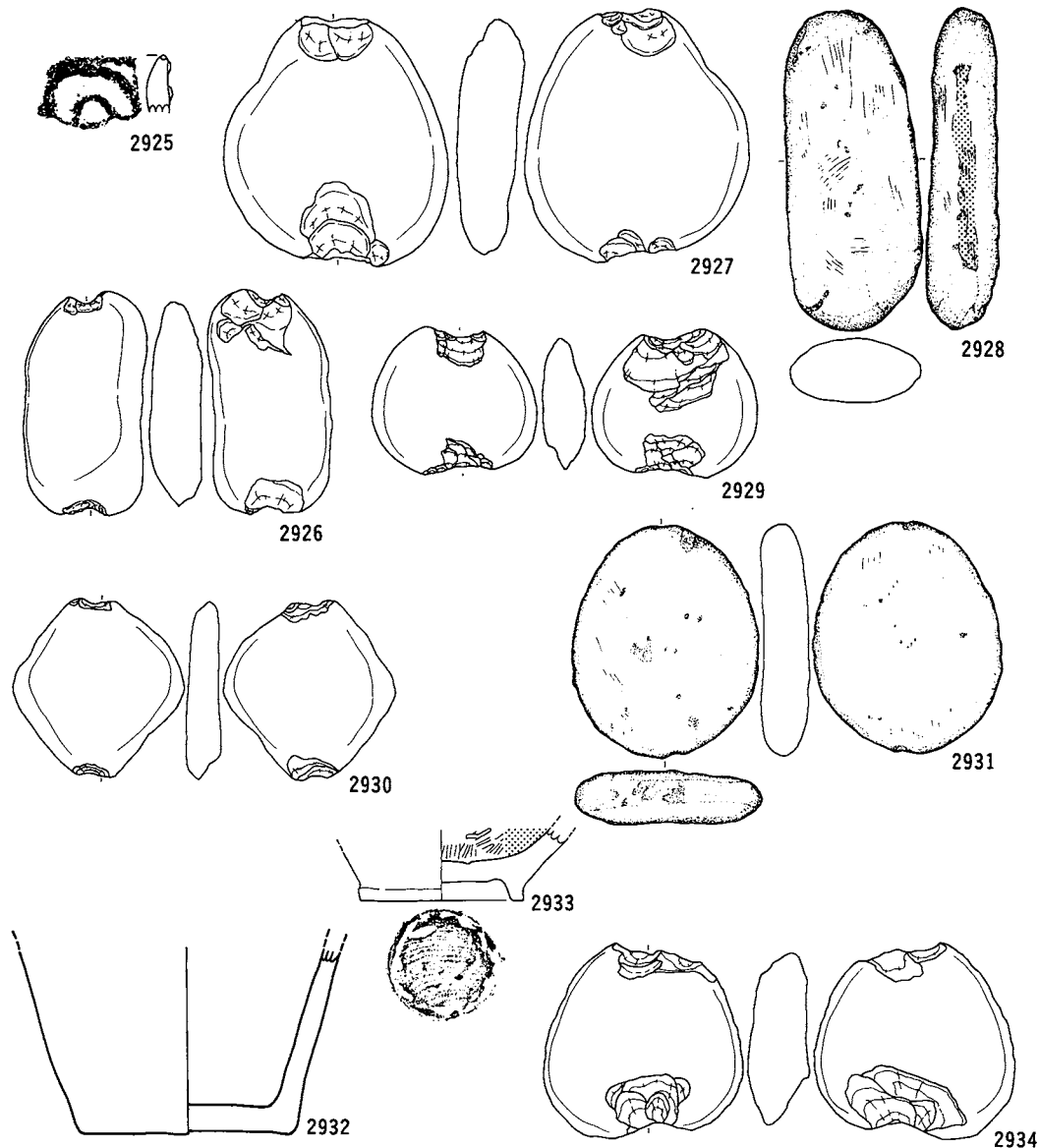
1. 7.5 Y R 1/2 黒褐色土 焼土粒、火山灰含む
 2. 7.5 Y R 1/2 暗褐色土 火山灰を含む
 3. 7.5 Y R 1/2 褐色土 火山灰を多く含む
 4. 7.5 Y R 1/2 暗褐色土 火山灰を含む
 5. 汚れ粘土
- IV B54



第321図 陥し穴状遺構(1)



第322図 陥し穴状遺構(2)



2925~2931・2933・2934 $S = \frac{1}{3}$ 2932 $S = \frac{1}{4}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2925	I A 51・埋土	口縁部	渦巻状の粘土紐貼付	
2932	IV B 54・埋土	胴~底部	無文	

No	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
2933	IV B 54・埋土	高台付杯	ロクロ	—	—	筋止め切り(?)	—	ヘラミカキ	—	(2.5)	6.7		黒色処理	

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2926	I A 51埋土下層	石鏝	9.1	4.7	2.1	135.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
2927	I A 51埋土	石鏝	9.6	9.1	2.7	335.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	
2928	I A 51埋土南半	特殊磨石	12.8	5.3	3.8	285.0	両輝石安山岩	本畑~岩崎新田	新第三系鮮新統	
2929	III A 51埋土下層	石鏝	5.9	6.6	1.9	85.1	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
2930	III A 51埋土中層	石鏝	7.3	6.9	1.6	100.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2931	III A 51埋土1層	敲石	9.3	7.5	1.9	170.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
2934	IV B 54埋土	石鏝	7.8	8.0	2.5	215.0	テサイト質凝灰岩	羽山~本畑	新第三系中新統	

第323図 陥し穴状遺溝出土遺物

6. 溝跡

IV B 151 溝跡

遺構 (第324図、写真図版73)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のIV B 1 d区からIV B 3 e区にかけて位置し、IV B 51陥し穴状遺構を切る。北西側が調査区外にのびる。<規模> 確認された長さ7.6m、上幅48cm、下幅35cm、深さ最大17cm。<断面形> 「U」字状。<埋土> 2層に分かれ、黒褐色土が主体をなす。

遺物 (第326図、写真図版296)

<土器> 図化できた個体が1点、拓本として掲載した破片が1点、それ以外の破片が合わせて大1袋出土している。<石器> 石篋、すり石が各1点、フレークが11点出土している。

V B 151 溝跡

遺構 (第324図、写真図版73)

<検出状況> 調査区ほぼ中央部のV A 2 h区からIV B 8 f区にわたって逆L字状にのび、V B 52陥し穴状遺構を切る。<規模> 全長41.2m、上幅54cm、下幅48cm、深さ最大18cm。<断面形> 「U」字状。<埋土> 2層に分かれ、暗褐色土が主体をなす。

遺物 (第326図、写真図版296)

<土器> 拓本として掲載した破片が1点、それ以外の破片が小1袋出土している。<石器> 削器、搔器が各1点、フレークが7点出土している。

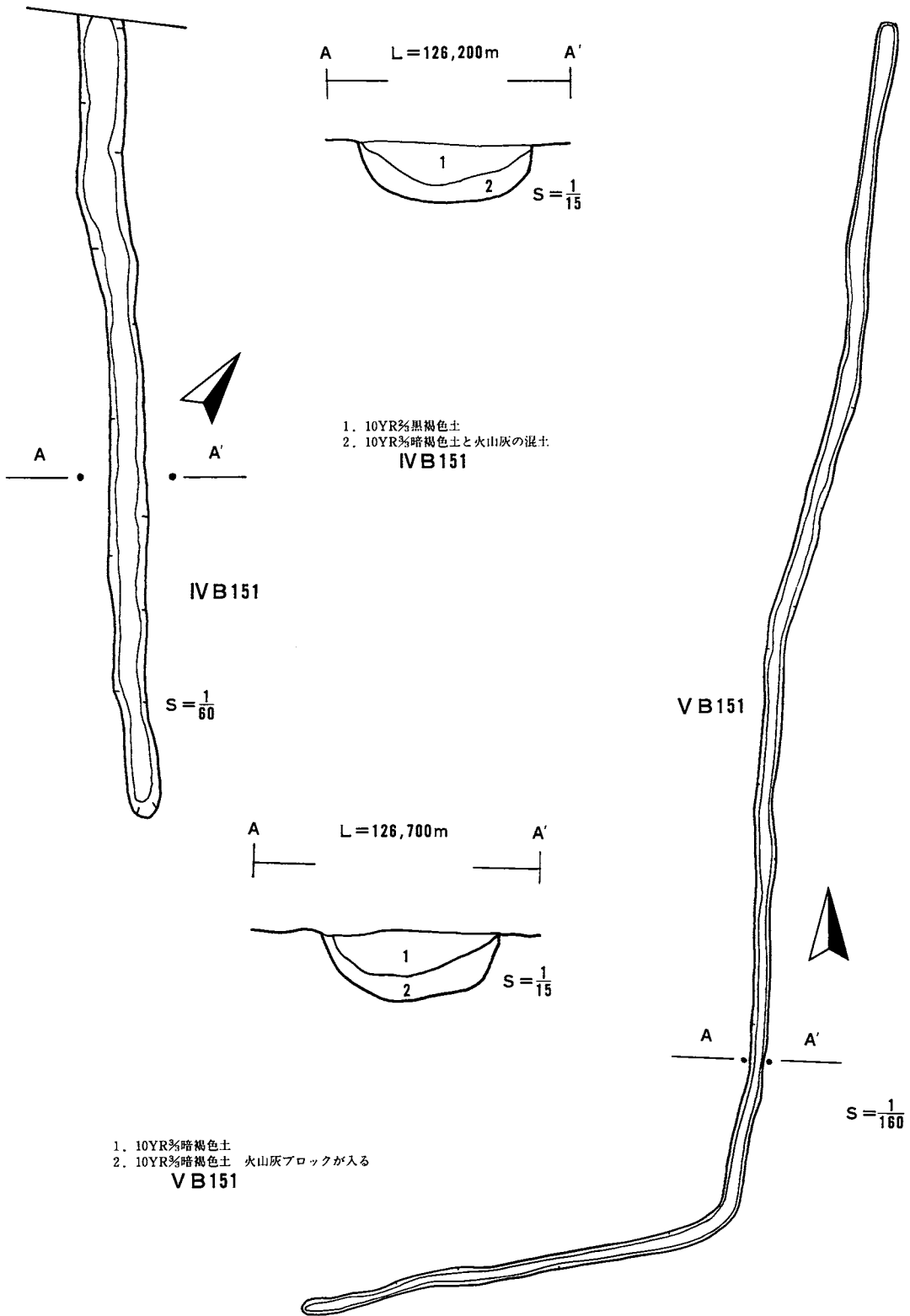
VIII C 151 溝跡

遺構 (第325図、写真図版74)

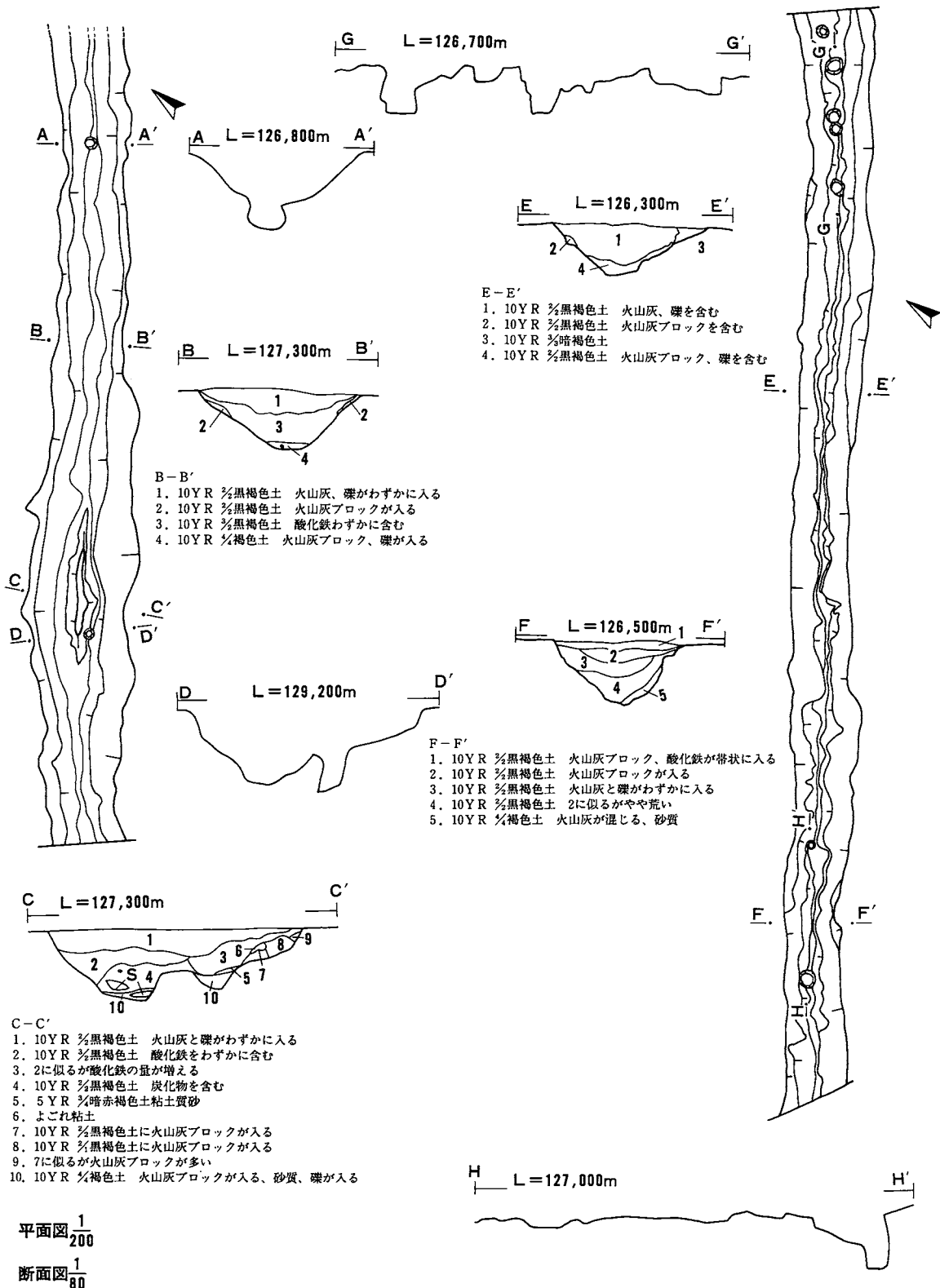
<検出状況> 調査区東端のIX C 2 a区からVII C 9 i区にかけて、調査区内を北東から南西に斜めに走る。両端とも調査区外にのびる。<規模> 確認された長さ66.8m、上幅250cm、下幅45cm、深さ最大94cm。<断面形> ほぼV字状。<底面> 中央部分に最大幅30cm、最大の深さ23cmの溝が走り、小礫まじりの砂質の褐色土が入ることから、水路として利用されていたことも考えられる。また農道南側に同様の埋土の柱穴状土坑が4個並ぶ。<埋土> 火山灰まじりの黒褐色土が主体をなす。人為堆積と考えられる。

遺物 (第326・327図、写真図版296～298)

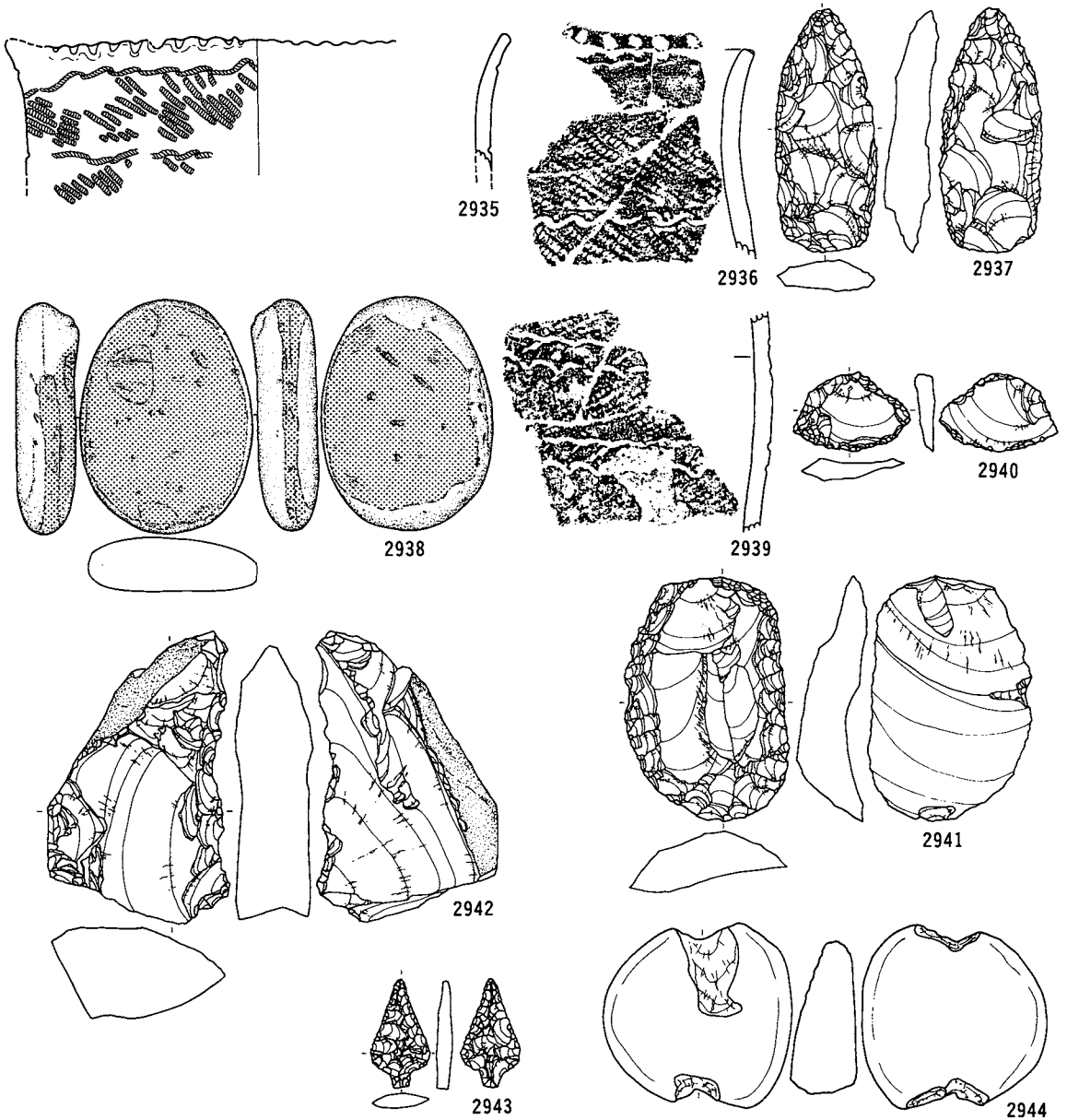
<土器> 縄文土器の破片が小3袋、土師器の破片が小2袋出土している。<石器> 登録したものが16点、フレークが6点で、器種毎の点数はすり石6点、石錘4点、石鍬2点、Uフレ、石鏃、鋸歯状石器、有孔礫各1点である。



第324図 IVB151・VB151溝跡



第325図 VIII C151溝跡

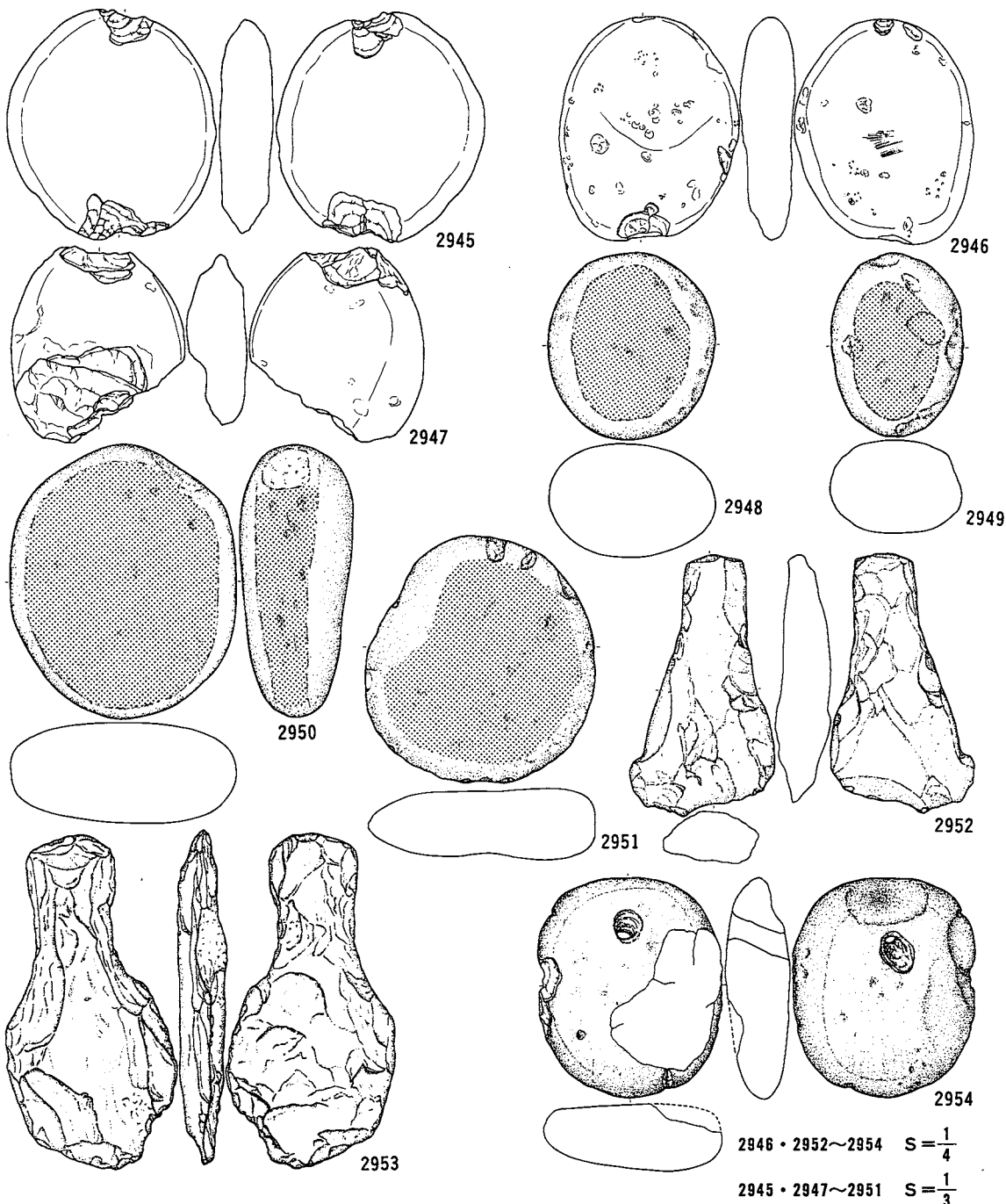


2935 $S = \frac{1}{4}$ 2936・2938・2939 $S = \frac{1}{3}$ 2937・2940~2944 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2935	IV B151・埋土	口~胴部	小波状口縁、両末端結節のRLヨコ	深鉢B15類
2936	IV B151・埋土	口~胴部	口唇部に連続押圧、結節したRLヨコ	深鉢B15類
2939	V B151・埋土	胴部	両末端結節のLRヨコ	深鉢B15類

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2937	IV B151埋土	石筥	6.9	3.1	1.3	24.9	硬質泥岩	奥羽山地平石	新第三系中新統	
2938	IV B151埋土	すり石	10.2	7.5	2.3	285.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2940	V B151埋土	削器	2.2	3.0	0.6	3.7	粘坂岩	夏油川~仙人	古生界	
2941	V B151埋土	円形撞器	7.0	4.6	1.3	58.2	硬質泥岩	奥羽山地平石	新第三系中新統	
2942	VIII C151埋土上部	鋸歯状石器	8.5	5.2	2.6	116.0	硬質泥岩	奥羽山地平石	新第三系中新統	
2943	VIII C151埋土上位	石鏃	3.1	1.7	0.4	1.8	輝緑色凝灰岩	北上山地	古生界	
2944	VIII C151埋土上部	石錘	5.3	5.4	1.9	75.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第326図 IV B151・V B151・VIII C151溝跡出土遺物(1)



2946・2952～2954 $S = \frac{1}{4}$
 2945・2947～2951 $S = \frac{1}{3}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
2945	VIII C151埋土上部	石鏟	10.3	9.3	2.3	260.0	両輝石安山岩	本畑	新第三系群新統	
2946	VIII C151埋土上部	石鏟	13.5	10.9	3.3	640.0	濃緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2947	VIII C151埋土上部	石鏟	8.8	7.8	2.6	185.0	輝石安山岩	奥羽山地～夏油川	新第三系群新統	*
2948	VIII C151埋土	すり石	8.5	7.6	5.1	485.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2949	VIII C151埋土	すり石	8.4	6.0	4.2	320.0	花崗閃緑岩	奥羽山地～仙人	中生界	
2950	VIII C151埋土	すり石	12.3	10.2	4.5	930.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2951	VIII C151埋土	すり石	11.1	10.4	3.2	480.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
2952	VIII C151埋土	石鏟	15.7	8.6	3.3	400.0	デイサイト	奥羽山地	新第三系中新統	
2953	VIII C151埋土下部	石鏟	20.1	10.3	3.0	590.0	粘板岩	夏油川	古生界	
2954	VIII C151埋土	有孔礫	13.2	11.1	3.8	780.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*

第327図 VIII C151溝跡出土遺物(2)

V 遺構外出土遺物

1. 土器 (第328～342図、写真図版299～311)

図化できた個体が縄文土器29点、土師器22点、須恵器1点、拓本として掲載した破片が縄文土器190点、須恵器5点、底部片が縄文土器9点、土師器1点、それ以外の破片は縄文土器が大コンテナ45箱、土師器が大コンテナ5箱程出土している。

縄文時代の土器

図化できた個体のうち2955～2957は大木5式、2958～2968は大木6～7a式に位置づけられる。2969～2978は胴下半部分で大木6式と考えられ、2981は縄文時代晩期と考えられる。2979は高台部分に2ヶ所の抉りを有する底部片で、2980と2982・2983は口縁部の貼り付け部分と考えられる。

拓本として掲載したものは、いずれも縄文時代前期から中期に位置づけられるものである。3007～3014は格子状や梯子状、菱形状の粘土紐貼付がなされるもの、3015～3038は口縁部から胴部にかけて半截竹管による平行沈線が施されるもの、3039～3059は口縁部から頸部にかけて棒状工具等による太い沈線が施されるもの、3060～3082は竹管等による爪形文が施されるもの、3083～3100は棒状工具や竹管による円形の刺突が施されるもの、3101～3106は原体圧痕文、3107～3109は網目状と木目状の撚糸文、3110は3本単位の櫛状工具によるゆるやかな波状の沈線が一定間隔で垂下するもの、3111～3142は口縁部から頸部にかけて沈線で区画された中に連続した短沈線が施されるもの、3143～3146は口縁部に三角刺突が施されるもの、3147～3175は口縁部から頸部にかけて粘土紐が貼付され、その上から円形の刺突や連続した刻目が施されるもの、3176～3184は波状や渦巻状に粘土紐が貼付されるもの、3185は口縁部の凹みが太い渦巻状になるもの、3186～3194は粘土塊が貼付されるものである。文様の特徴により以上のように大別したが、それぞれのグループ内で時期差の認められるものが若干みられる。

3200～3208は底部片で、網代痕と木葉痕が観察できる。

平安時代の土器

図化できた個体の器種毎の点数は、土師器の坏11点、高台付坏3点、甕8点、須恵器の甕1点である。

坏は殆どロクロ使用成形で、底部切り離しは回転糸切りと推定される。2985は内面が黒色処理されヘラミガキ調整が施される。2985と2986は外面ほぼ全体にわたってヘラケズリ調整が施される。

高台付坏の2995と2996は底部のみの残存で、そのうちの2995は内面が黒色処理されている。2997は剝離した高台の接合部分に、斜位の刻目が連続して施される。

土師器の甕は3000が内面黒色処理されており、3002の底部には指によると思われる押圧が連続してなされる。3005はロクロ使用成形である。

須恵器の甕は、口縁部のみのものが1点出土している。

拓本として掲載した須恵器の5点はいずれもタタキ目を持ち、内面はナデ調整されている。

3209は土師器の坏の底部片で、回転糸切り痕がみられる。

2. 土製品 (第343図、写真図版311)

ミニチュア土器

3210は完形で胴中央部全体にL Rが縦方向に回転施文される。3211は底部片、3212は胴部片で球形の膨らみを持ち、口縁部に向けて外傾するものと考えられる。

板状土偶

3213は脚部片で両面とも沈線で区画した中に、竹管による円形の刺突が施される。3214は胸から腕にかけての破片で、表と肩の部分に半截竹管によるかすがい状の押引文が施される。また、腕のつけ根部分に径3mm程の小孔がみられる。3215～3217は頭部片で径2～6mm程の小孔が2～4個みられる。3215の表には3214と同様の押引文が施される。

糸巻形土製品

3218は完形で中央部径1.4cm、最大径2.1cm、高さ3.6cm、孔の内径は5mmを測る。3219は片側の端部が欠損している。中央部径1.8cm、現存する最大径2.2cm、高さ3.1cm、孔の内径は6mmである。

その他の土製品

3220は半月状を呈すと考えられ、弧をなす面に3条の溝が施される。中央部分と思われるところに径6mm程の小孔が、その横に径3mm程の小孔が1個ずつみられる。3221と3222は縄文土器を円盤状に加工したものと考えられ、3222には径4mm程の小孔もみられる。3223は土師器で高台状を呈するが、頂部に上方向からの径1.7cmの穿孔がみられる。頂部には回転糸切りの痕跡もあり、坏や甕などを乗せる用具であったことも考えられるが、詳細は不明である。

3. 石器 (第344～395図、写真図版312～352)

登録したものが2935点、フレークが12136点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘1584点、すり石202点、コア144点、削器141点、石鏃125点、凹石120点、特殊磨石111点、石筥79点、Rフレ77点、石匙74点、尖頭器45点、搔器40点、敲石37点、Uフレ30点、磨製石斧29点、石錐22点、半円状偏平打製石器、台石各13点、石皿、砥石各12点、鋸歯状石器7点、石鍬6点、ピエス=エスキュー、打製石斧各3点、抉入石器、石柱、礫器各2点。

尚、紙面の都合上、石錘やすり石など出土量の多いものについては、かなりの割合で掲載点数を制限した。

石鏃 (第344～351図、写真図版312～319)

矢の先端に装着し刺突具として使用されたと考えられるものである。基部の形状から凹基(3224～3305)、平基(3306～3315)、凸基(3316～3342)の3つに大別した。

凹基の中で3224～3283は深く挿入するもの、3284～3305は挿入部分が浅くほぼ平基に近いものである。深く挿入するものうち3224～3226は長脚状、3227～3230は逆V字状をなす。挿入部分が浅いものうち3284～3291は二等辺三角形に近く、そのうちの3289～3291は一次剝離面が残存している。

平基のものは3308がほぼ二等辺三角形をなすほかは、形状が歪んでいるものが殆どである。

凸基のものうち3338～3342は有茎で3342はアメリカ式石鏃である。

尖頭器 (第351～353図、写真図版319～321)

掲載したものは3343～3374で、尖頭部を有し、刺突具または切削具としての用途を持つと考えられるものである。全体的に形の整っていないものや破損しているものが多いが、その中で3357は丁寧な二次調整が施され鋭い刃部が作り出されている。

石匙 (第354～360図、写真図版321～326)

つまみ状の小突起を持ち、切削具として使用されたと考えられるものである。形状により縦型(3375～3424)と横型(3425～3453)に大別した。

縦型のものの中で3393～3396は丁寧な二次調整により先端部まで鋭い刃部を作り出し、刺突具としても使用されていたと考えられる。また、横型とした3453はL字状を呈し、縦型と横型の間間的な形態をなす。

石筥 (第360～364図、写真図版326～328)

掲載したものは3454～3504で、ほぼ左右対象の長方形又は撓形を呈する。断面形はおおむねレンズ状又はかまぼこ状をなし、二次調整が両面に施されるものと片面のみのものとがある。長さは殆どが5～10cmの範囲におさまるが、3504のように14cmを超える大型のものもみられる。

石錐 (第365図、写真図版329)

掲載したものは3505～3520で両縁部からの調整により錐状の突出した部分を作り出し、穿孔具として使用されたと考えられるものである。調整は両面から丁寧に施されるものと片面のみのものとがある。3509は頭部と刃部のつけ根部分にアスファルトの付着がみられる。

削器 (第365～370図、写真図版329～332)

掲載したものは3521～3562で、剥片縁辺に連続的な調整により緩やかな角度の刃部を作り出し、切削具として用いられたと考えられるものである。調整は両面に施されるものと片面のみのものとがある。小型のものは長さ3cm前後の隅丸の三角状をなすものから、長さ12cm前後の不整形をなす大型のものまで、形状は様々である。また3559と3560は、挿入部分にも微細な

調整が施されていることから、挿入石器として扱い、3561と3562は鋸歯状に調整されていることから、鋸歯状石器として扱った。

搔器 (第370～372図、写真図版332～334)

掲載したものは3563～3587で、剥片縁辺に連続的な調整により急角度の刃部を作り出し、皮などをなめすために用いられたと考えられるものである。片面のみの調整が施されたものが大半を占め、刃部は先端部分に作り出されるものや、ほぼ縁辺全体にわたって作り出される所謂円形搔器と呼ばれるものがある。

ピエス=エスキーユ (第372図、写真図版334)

両端に剥離痕が認められ、間接技法を行う時に用いられたと考えられるもので、3588は縦長3589はほぼ平行四辺形を呈する。

石鍬 (第373図、写真図版335)

掲載したものは3590～3594で、把手部分を有する鍬状の土掘り具と考えられるものである。3592と3594は板状に節理する素材を用いている。

半円状偏平打製石器 (第374・375図、写真図版335・336)

掲載したものは3595～3605で、縁辺部に両面からの大きな剥離調整を加えてほぼ半円状に整形したものである。ただし、これらの中には元来ほぼ半円状をなす素材の直線的な側縁部に、両面からの剥離調整を加えたのみのもも含まれる。また、側縁部に擦痕が観察されるものもいくつかみられる。

打製石斧 (第375図、写真図版336)

掲載したものは3606で、ほぼ撓形の素材の縁辺部に大まかな剥離調整を加えたのみのものである。両面にわずかな擦痕が観察できる。

磨製石斧 (第375・376図、写真図版337・338)

掲載したものは3607～3620で、形状はほぼ撓形か長方形をなし、全面に擦痕が観察できるものから自然面が大半を占めるものまでである。3612～3615は長さが5cm前後で、打割るという斧本来の役割よりは、削ったりなめしたりするために用いられたと考えられる小型のものである。

石錘 (第377～381、写真図版338～343)

偏平な礫の両端を打ち欠いて、漁網用のおもりなどに用いられたと考えられるもので、本遺跡の遺物中群を抜いて出土量が多い。紙面の都合上、遺構外から出土した全石錘の5%に満たない64点しか掲載できなかった(3621～3684)。詳細はまとめて譲るが、長さ2.2cm～15cm、重さ20.1g～614gなど、巾広い範囲にわたって出土している。

磨石 (第382～384図、写真図版343・344)

掲載したものは3685～3715で、木の実などを磨り潰すために用いられたと考えられるもので

ある。主要擦面が片面のみのもの（3685～3704）、両面のもの（3705・3706）、側面にまで及ぶもの（3707）、それに片面と先端部のみのもの（3709）がある。形状は、やや扁平で円形～楕円形をなすものが大半を占める。

特殊磨石 （第384～387図、写真図版344～347）

掲載したものは3716～3744で、断面がほぼ三角形をなし、その角の部分にあたる側縁部に主要擦面を持つものを一括した。殆どのものは主要擦面が1面に限られるが、3726は断面で見た時の3つの角にあたる側縁部全てに主要擦面を持つものである。

凹石 （第388～392図、写真図版347～350）

掲載したものは3745～3780で、窪んだ部分に堅果類を入れ、打撃を加えて外皮を割るために用いられたと考えられるものである。窪みは殆どが両面に施され、形状はやや扁平で円形～楕円形をなすものが多い。3766は全面に擦痕が観察され、石錘を転用したと考えられる3763にはアスファルトの付着もみられる。

敲石 （第393図、写真図版350・351）

掲載したものは3781～3787で、ものを打ち割ったり磨り潰したりするために用いたと考えられるものである。棒状のものとはほぼ楕円形のものがあるが、打撃痕は殆どが先端部に限られる。また擦痕が観察されるものもいくつかみられる。

石皿・台石 （第393・394図、写真図版351・352）

掲載したものは3788～3795で、擦痕が観察される緩やかな凹面を持つものを一括した。3794は鼓状をなすもので、高さは20cmを超える。

礫器 （第394図、写真図版352）

やや扁平な長楕円の礫の先端部分に、両面から大きな剝離調整が施されているものである。3796は剝離調整により先端部分が鋭く尖り、3797には部分的に擦痕が観察される。

砥石 （第394・395図、写真図版352）

掲載したものは3798～3803で、2～4面に擦痕が観察される。3802は2面に1～2条の溝を有する。

石柱 （第395図、写真図版352）

細長い礫で、断面が四角形ないし五角形を呈するものである。3804は断面がほぼ四角形で破損しており、3805は断面がほぼ五角形で長さは28cm程である。石材はいずれも流紋岩である。

4. 石製品 （第395～398図、写真図版353～356）

登録したものが85点で、器種毎の点数は円盤状石製品45点、有孔礫12点、石剣、垂飾各7点、球状耳飾5点、三角状石製品3点、男根状石製品2点、岩偶、線刻磨石、三角とう型石製品、有溝石製品各1点である。

有孔礫 (第395図、写真図版353)

掲載したものは3806～3812で、偏平な円形～楕円形の礫に小孔がみられるもので、いずれにも擦痕が観察される。3809は孔は貫通しないが、その裏側に丁寧な磨きによる平坦な擦面を作り出し、その中央部に浅い小孔が施される。

玦状耳飾 (第396図、写真図版353)

5点いずれも破損しているが、ほぼ円形～楕円形をなすと考えられる。両面、側面ともに丁寧な磨きが施される。

垂飾 (第396図、写真図版354)

両面が丁寧に研磨され、上部に穿孔が施される偏平な石製品を一括した。ただし3823と3824は、その製作途中と考えられるものである。3818は半月状、3822は大珠状、3819～3821は棒状をなす。3819は上部2ヶ所に穿孔が施され、3821は4面全てが丁寧に研磨されている。

円盤状石製品 (第396・397図、写真図版354・355)

掲載したものは3825～3836で、両面が丁寧に研磨された偏平な石製品を一括した。形状は円形、楕円形、撓形などさまざまで、3832は縦に切り込みがみられる。玦状耳飾や垂飾の製品途中のものとも考えられる。

石剣・男根状石製品・岩偶 (第397図、写真図版355)

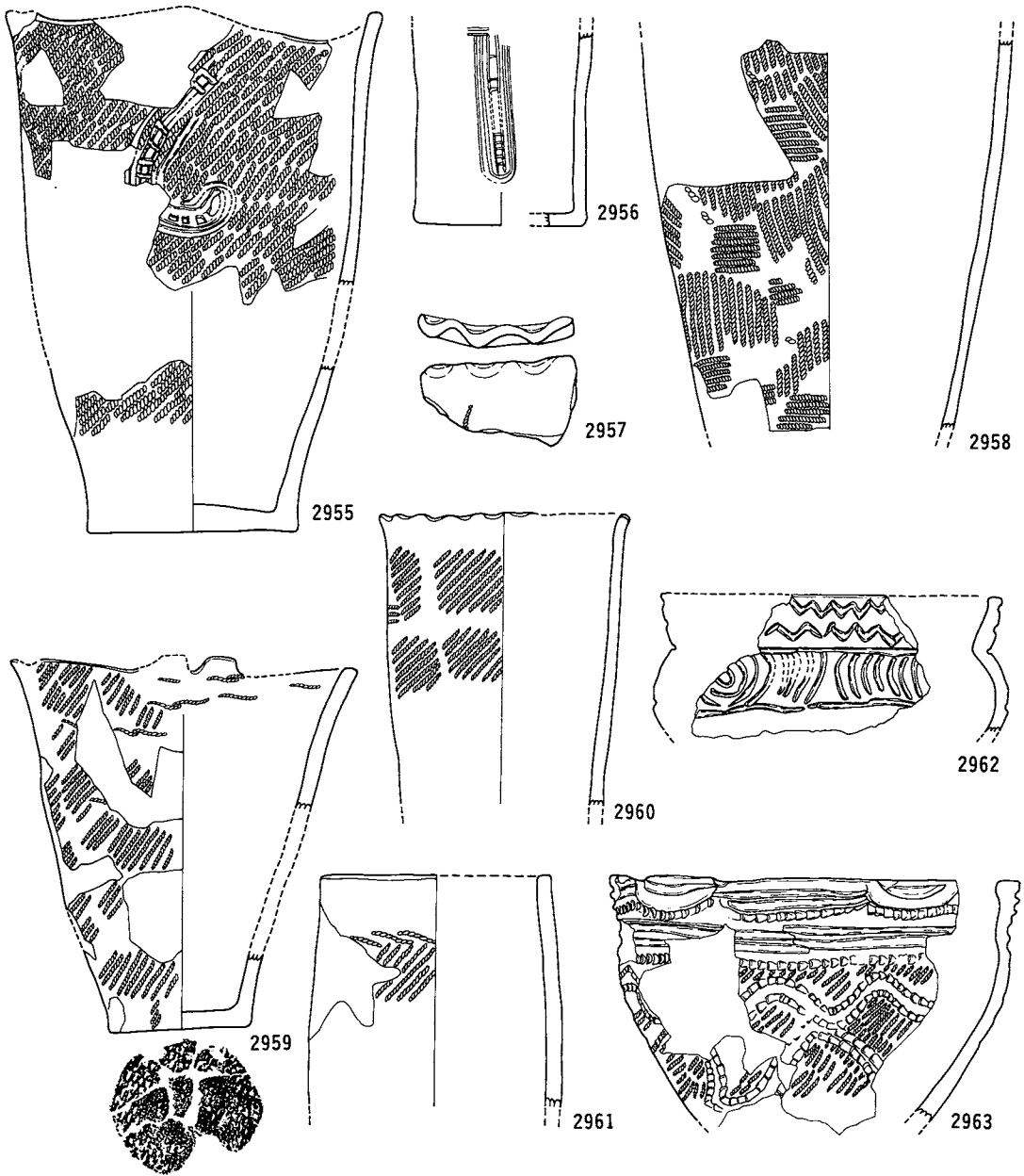
3837～3840は石剣で、断面が楕円形をなし、全面に擦痕がみられる棒状のものを一括した。いずれも破損品である。3841と3842は男根状石製品としたもので、3841は全体が丁寧に研磨されほぼ中央部に切り込みが巡る。完形である。3842はその未製品と考えられ、いずれも軟質の加工しやすい素材を使用している。3843は形状から岩偶としたものであるが、垂飾の製品途中のものとも考えられる。

その他の石製品 (第398図、写真図版355・356)

3844は、偏平な礫をある程度を加撃により三角形に調整したものである。3845は三角とう形土製品に類似するものであるが、破損しているため全体の形状は不明である。底面が巾広の浅い溝状をなし、全体に擦痕が観察される。3846は側面を溝が巡るもので軽い素材を使用している。3847は両面に線刻が不規則に施されるものである。

5. 鉄製品 (第398図、写真図版356)

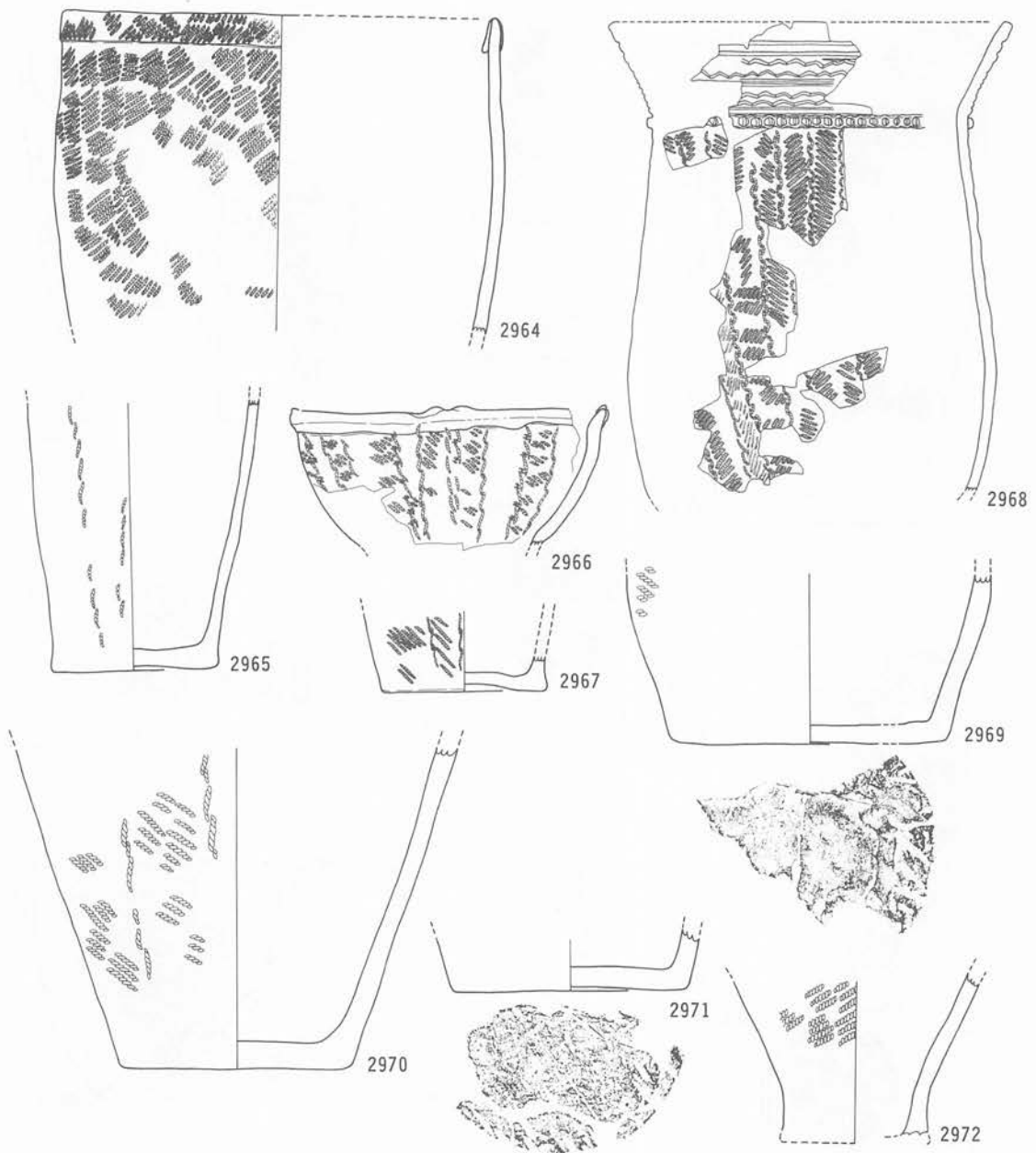
鉄器が5点、鉄滓が2点、鉄塊と思われるものが1点出土している。3848は環状をなし3849は断面が隅丸長方形の棒状を呈する。3850と3851は刀子の類と考えられ、3851には木質部がわずかに残存する。



S = $\frac{1}{4}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2955	VIB 2 j II層	口～底部	4単位の波状口縁(?), 梯子状の粘土紐, LRヨコ	深鉢B2類
2956	III A 2 d II層	胴～底部	長円形の平行沈線内に爪形文、4単位施文	深鉢A2類
2957	III A 4 h 0層	口縁部	前後の波状口縁	深鉢3類
2958	VIB 2 j II層	胴部	RLヨコ、ナナメ	深鉢A12類
2959	VIB 2 j II層	口～底部	平縁で1カ所に2個1対の突起、結節したLRヨコ、網代痕	深鉢A15類
2960	VIB 10 g II層	口～胴部	小波状口縁、LRヨコ	深鉢A12類
2961	VIB 2 i I層	口～胴部	平縁、末端結節のLRヨコ	深鉢A15類
2962	III A 10 h I層	口～胴部	平縁、鋸歯状の沈線、横位の沈線間に同心円状の沈線4単位程度	深鉢C13類
2963	III A 3 h 0層	口～胴部	平縁、深いえぐりや横位の沈線、頸部や胴部に押し引き沈線、LRヨコ	深鉢C10類

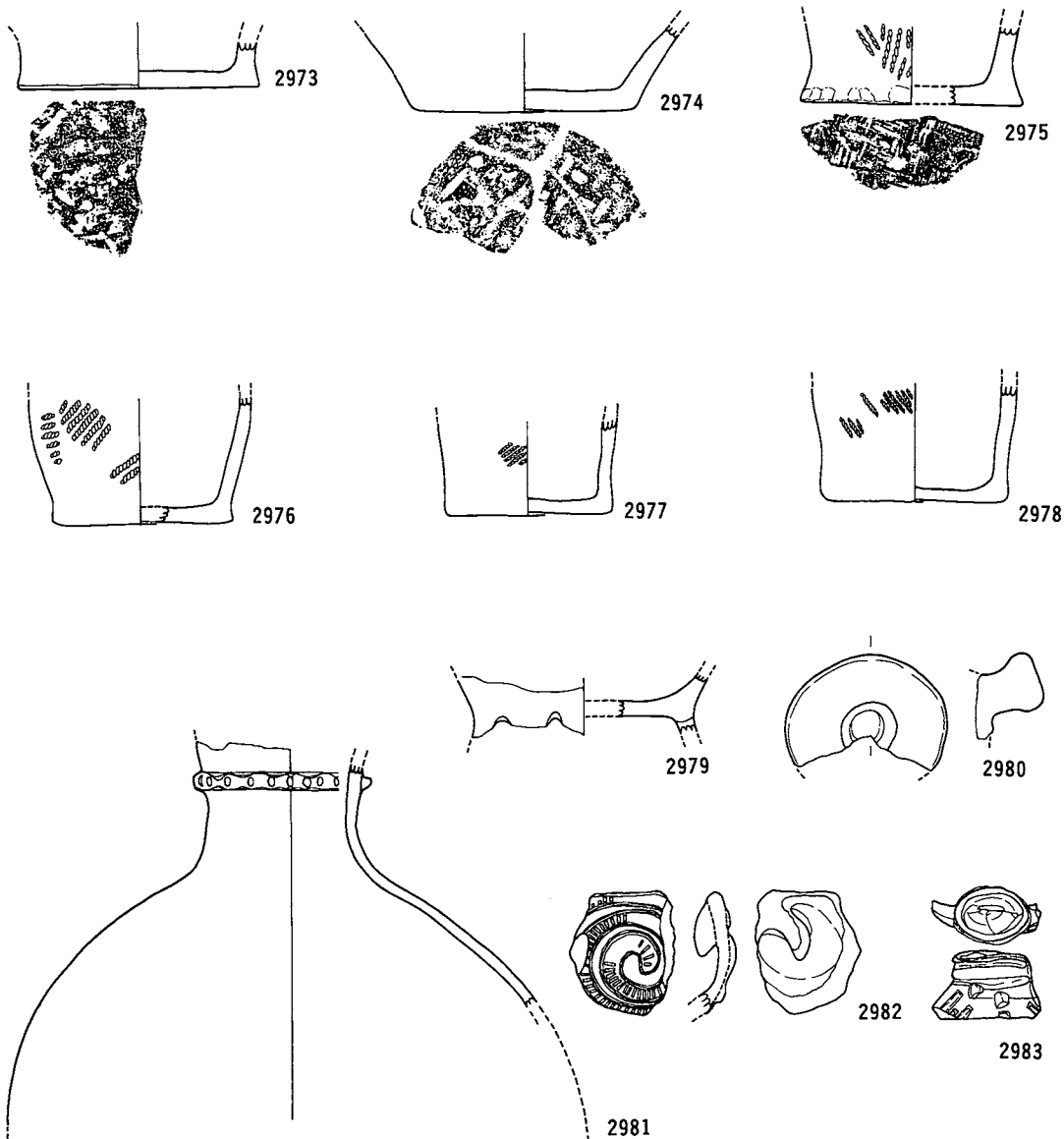
第328図 遺構外出土遺物(1)



2964~2967・2969~2972 $S = \frac{1}{4}$ 2968 $S = \frac{1}{6}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2964	III A 10 d II層	口~胴部	平縁、複合口縁上から胴部にかけてLRヨコ	深鉢A12類
2965	III A 4 f 0層	胴~底部	結節部分タテ	深鉢A15類
2966	III B区0層	口~胴部	平縁、口唇部にドーナツ状の粘土紐2個1対貼付、両末端結節LRタテ	深鉢C15類
2967	III A 6 d I層	胴~底部	結節したLRタテ	深鉢A15類
2968	VIB 7 i I層	口~胴部	平縁、横位や波状の沈線、連続刺突のある粘土紐、羽状（結束第2種）タテ	深鉢B17類
2969	III A 3 h 0層	胴~底部	LRタテ、網代痕	深鉢B
2970	III B区0層	胴~底部	結節したLRタテ	深鉢A15類
2971	IVA 2 i I層	胴~底部	網代痕	深鉢A
2972	VB 2 b I層	胴~底部	LRヨコ	深鉢B12類

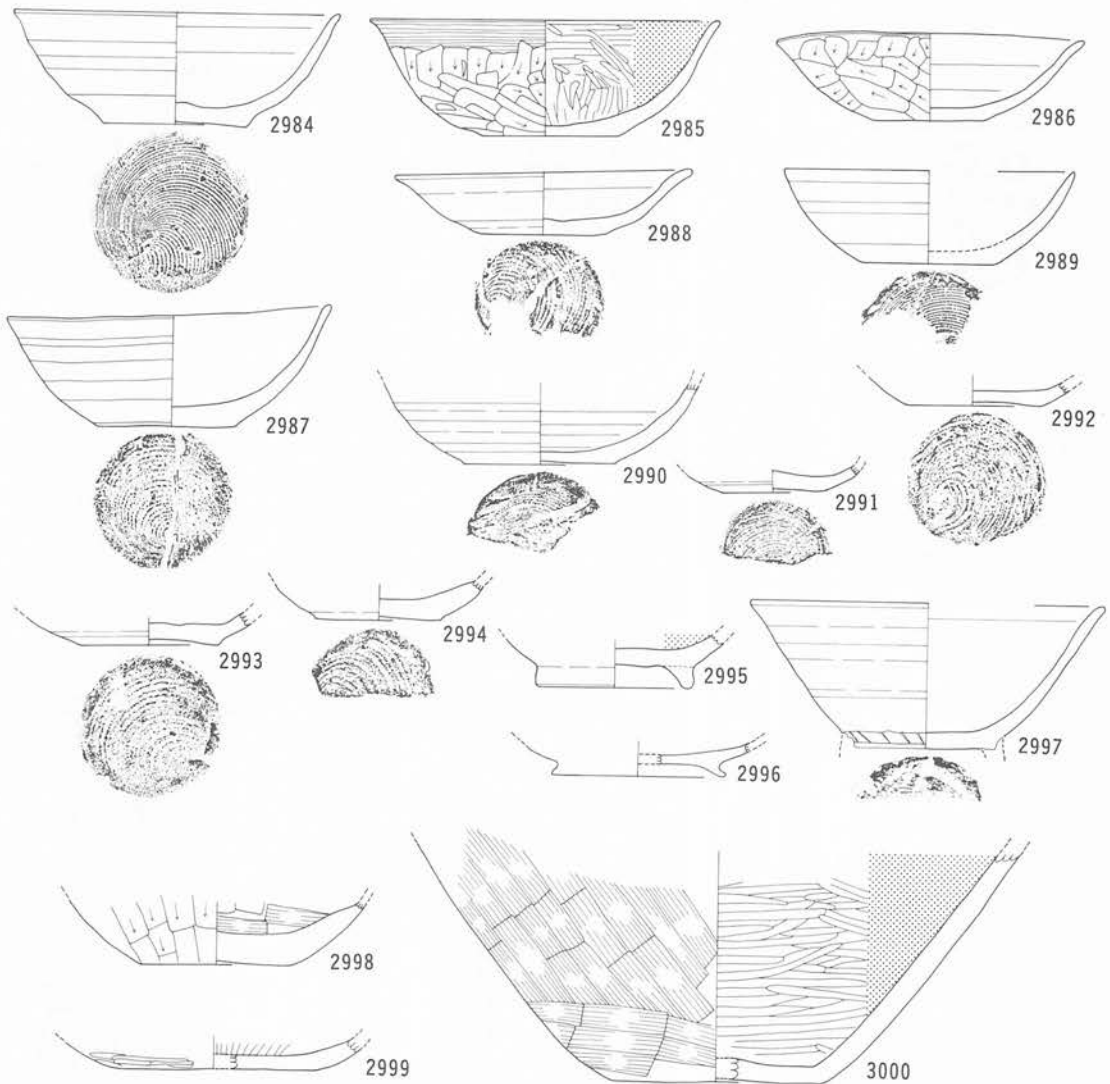
第329図 遺構外出土遺物(2)



S = $\frac{1}{4}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
2973	IVA 2 j I 層	胴～底部	網代痕	深鉢 B
2974	III B 1 c I 層	胴～底部	網代痕	浅鉢(?)
2975	IVA 1 g I 層	胴～底部	結条体 R クテ、指頭による調整、網代痕	深鉢 B 4 類
2976	VB 6 b I 層	胴～底部	L R ヨコ、ナナメ	深鉢 B 12 類
2977	IV B 8 b 0 層	胴～底部	R L クテ	深鉢 12 類
2978	IV B 10 d 0 層	胴～底部	R L ヨコ	深鉢 12 類
2979	VIB 4 h I 層	底部	高台部分 2 カ所にえぐり	
2980	IVA 4 h I 層	口縁部	中央に深い凹みがある円盤状粘土塊	
2981	IVA 3 i 0 層	頸部	頸部に連続刺突のある粘土紐が巡る	壺
2982	III B 区 0 層	口縁部	表面は刻目を持つ渦巻状の粘土紐貼付、裏面は U 字状の粘土紐貼付	
2983	III A 4 g I 層	口縁部	巾広の粘土帯を楕円状にまらめて口唇部に貼付、粘土帯には横位の沈線が 2 条巡る	

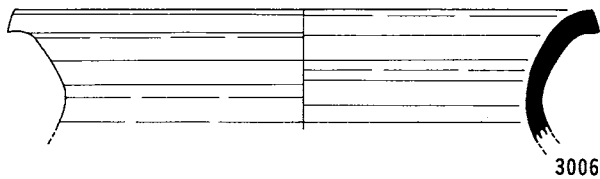
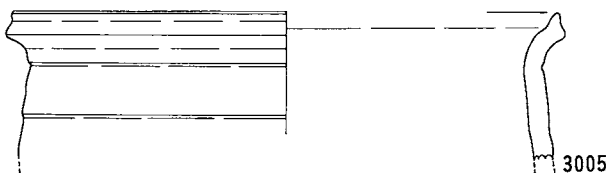
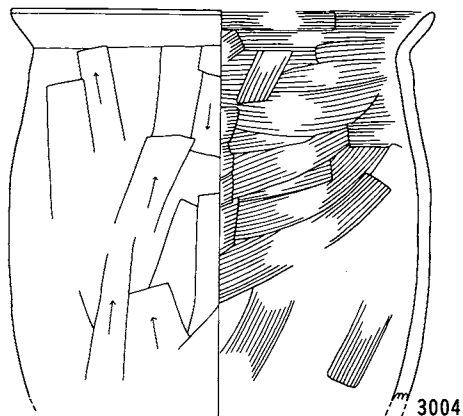
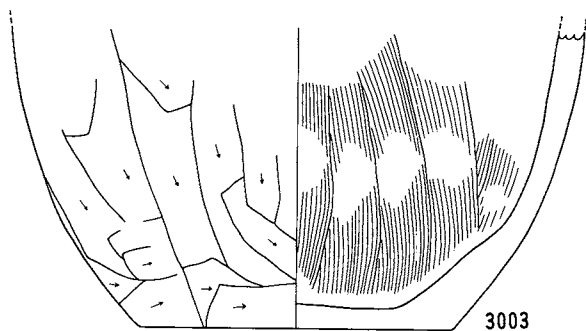
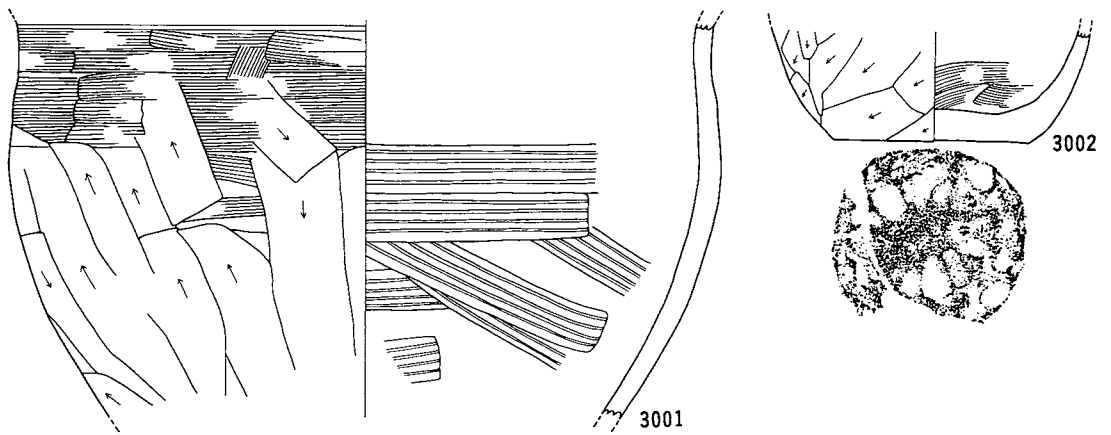
第330図 遺構外出土遺物(3)



$$s = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考		
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径				
2984	IVB 5 a I 層	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕				13.0	4.5	5.9	B II a 類		
2985	IVB 1 a I 層	土師器坏	非ロクロ	ヨコナデ	ヘラケズリ		ヘラミガキ	ヘラミガキ	ヘラミガキ		14.0	4.6	5.4	A I 類	黒色処理	
2986	IVB 1 a I 層	土師器坏	ロクロ	ヘラケズリ	ヘラケズリ		ロクロ痕	ロクロ痕			12.3	3.6	4.3	B II C 類	不整	
2987	不明	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕					13.2	7.0	5.5	B II a 類	不整	
2988	III A 6 f I 層	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕	ロクロ痕				11.9	2.7	5.0	B II a 類		
2989	IVB 1 a I 層	土師器坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	回転糸切り痕					(11.7)	4.7	(5.4)	B II a 類		
2990	IVB 3 b I 層	土師器坏	ロクロ	—	ロクロ痕	回転糸切り痕	—	ロクロ痕	ロクロ痕	—	(3.2)	(6.0)		B II a 類		
2991	V B 区 0 層	土師器坏	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	—	4.0		B II a 類	
2992	III A 6 f I 層	土師器坏	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	—	5.4		B II a 類	
2993	IVB 7 d 0 層	土師器坏	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	—	5.6		B II a 類	
2994	V B 区 0 層	土師器坏	ロクロ	—	—	回転糸切り痕	—	—	—	—	—	—	5.0		B II a 類	
2995	IVB 7 d 0 層	高台付坏		—	—		—	—	—	—	—	—	(6.2)			黒色処理
2996	IVB 3 b I 層	高台付坏		—	—		—	—	—	—	—	—	(7.0)			
2997	IV A 5 i I 層	高台付坏	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	高台剝離痕					(14.2)	(5.8)	(6.0)			
2998	IV A 区 I 層	土師器甕	—	ヘラケズリ			ヘラナデ	ヘラナデ	—	—	(2.5)	(6.0)				
2999	IVB 3 b I 層	土師器甕	—	—	ヘラミガキ		—	ヘラミガキ	—	—	—	—	(8.4)			
3000	IVB 3 b I 層	土師器甕	—	ヘラナデ			ヘラミガキ	ヘラミガキ	—	—	(9.2)	(8.2)				黒色処理

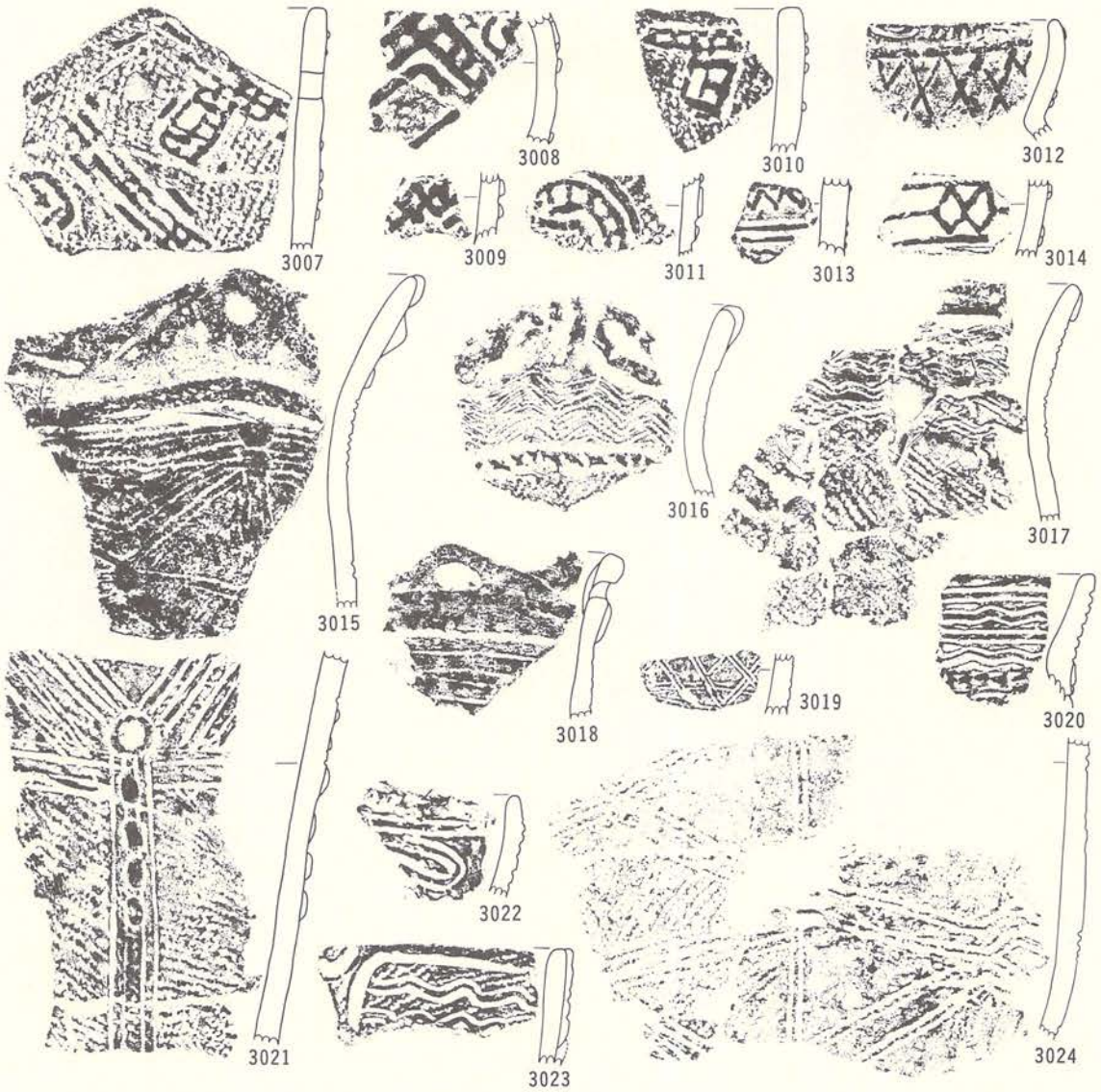
第331図 遺構外出土遺物(4)



$$S = \frac{1}{3}$$

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値(cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
3001	ⅢA 8 f I 層	土師器甕		—	ナデクスリ	—	—	ハケメ	—	—	(15.8)	—	I 類	
3002	ⅢA 6 f I 層	土師器甕		—	ヘラケズリ	指頭押圧痕	—	ヘラナデ	—	—	(4.5)	7.8		
3003	ⅢA 8 b 0 層	土師器甕		—	ヘラケズリ	—	—	ヘラナデ	—	—	(12.1)	(12.4)	I 類	
3004	ⅢA 6 f I 層	土師器甕			ヘラケズリ	—	ヘラナデ	ヘラナデ	—	—	(17.0)	(15.5)	I a 類	
3005	ⅣB 9 d 0 層	土師器甕	ロクロ	ロクロ痕	ロクロ痕	—	ロクロ痕	—	—	—	(22.0)	(5.9)	—	B 1 a 類
3006	V B 区 0 層	須恵器甕	ロクロ	ロクロ痕	—	—	ロクロ痕	—	—	—	(23.0)	—	—	

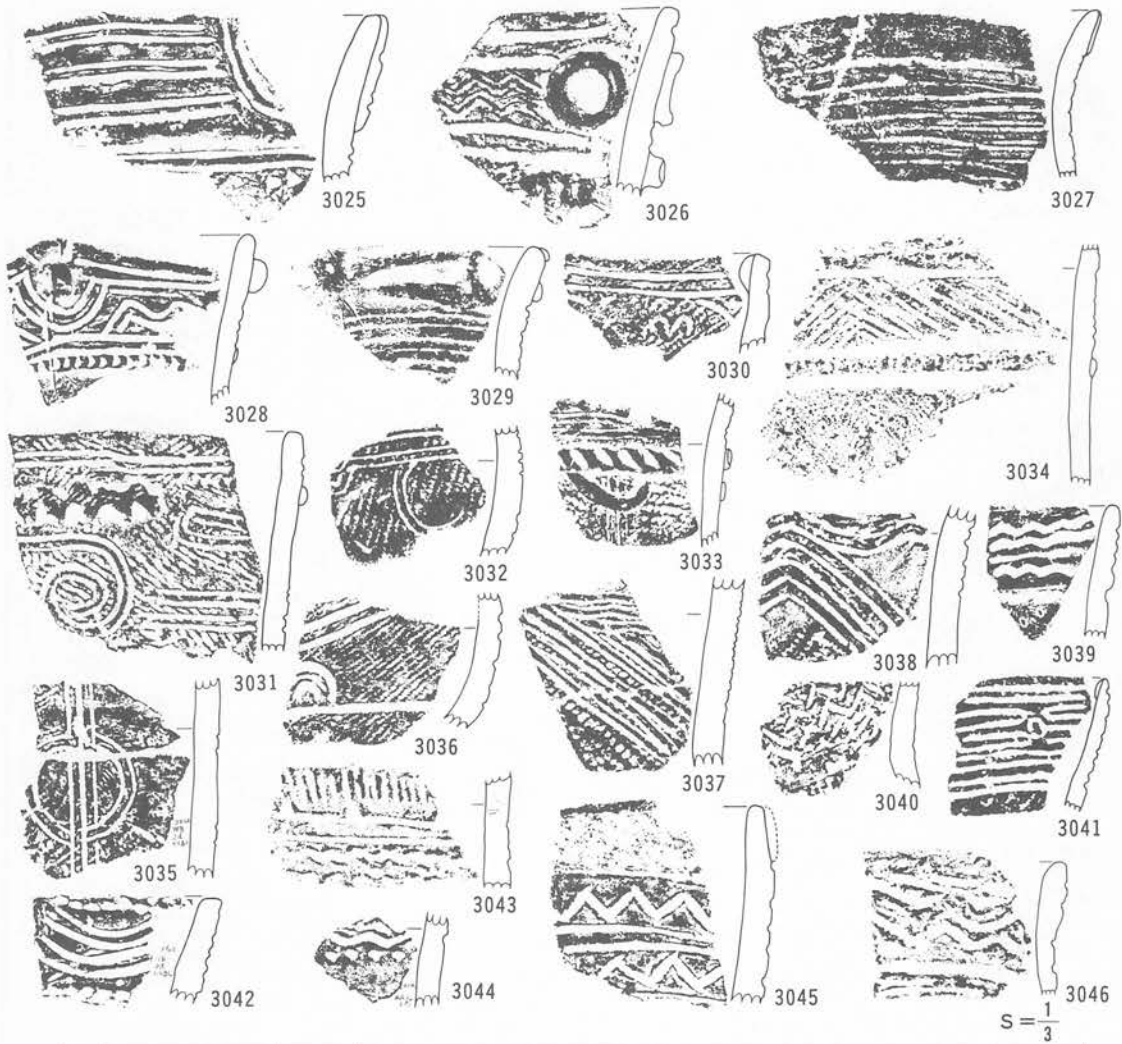
第332図 遺構外出土遺物(5)



No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
3007	IVB9fI層	口~胴部	波頂部下に穿孔、格子状や円形の粘土紐付、LRナナメ	深鉢A2類
3008	VIB6gI層	胴部	鍵状や梯子状の粘土紐貼付	深鉢B2類
3009	IVB10fI層	胴部	格子状の粘土紐貼付、LRヨコ	深鉢2類
3010	IVB9fI層	口~胴部	格子状の粘土紐貼付、LRナナメ	深鉢A2類
3011	VIB6gI層	胴部	梯子状の粘土紐が弧状に貼付、その両側に1本ずつの粘土紐、LRヨコ	深鉢2類
3012	IVA1fII層	口~胴部	口唇部に連続の刻目、細い粘土紐が横位や網目状に貼付	深鉢C
3013	IVA2iI層	胴部	細い粘土紐が鋸歯状と横位に貼付	深鉢
3014	IVA3iI層	胴部	細い粘土紐が横位と菱形状に貼付	深鉢
3015	IIIA8iI層	口~胴部	波頂部に凹みのある円盤状粘土塊、頸部に細かい刺突を持つ粘土紐、平行沈線文、ボタン状貼付	深鉢B8類
3016	IIIA4h0層	口~頸部	波頂部に縦位とヘアピン状の粘土紐、平行沈線文、LRの原体圧痕の粘土紐、LRヨコ	深鉢B9類
3017	IIIA5hI層	口~胴部	複合口縁、平行沈線文、RLヨコ	深鉢B6類
3018	IIIA9gI層	口~頸部	複合口縁上に刻目を持つ波状の粘土紐貼付、その補強用の粘土紐表と裏に貼付、横位の沈線	深鉢B6類
3019	IVA1iII層	胴部	横位や斜位の規則的な平行沈線文	深鉢7類
3020	IIIA9eI層	口~頸部	横位や小波状の平行沈線文、爪形文のある粘土紐貼付	深鉢B6類
3021	不明	口~胴部	平行沈線文、ボタン状貼付、楕円状粘土塊縦位に4個貼付、LRタテ	深鉢A7類
3022	IVA1fII層	口縁部	横位やヘアピン状の平行沈線文	深鉢B6類
3023	IIIA区0層	口縁部	太い沈線で囲まれた中に小波状の平行沈線、LRヨコ	深鉢A6類
3024	IIIA4h0層	胴部	縦位や斜位の平行沈線文、交点に楕円状の凹み2個、LRヨコ	深鉢B7類

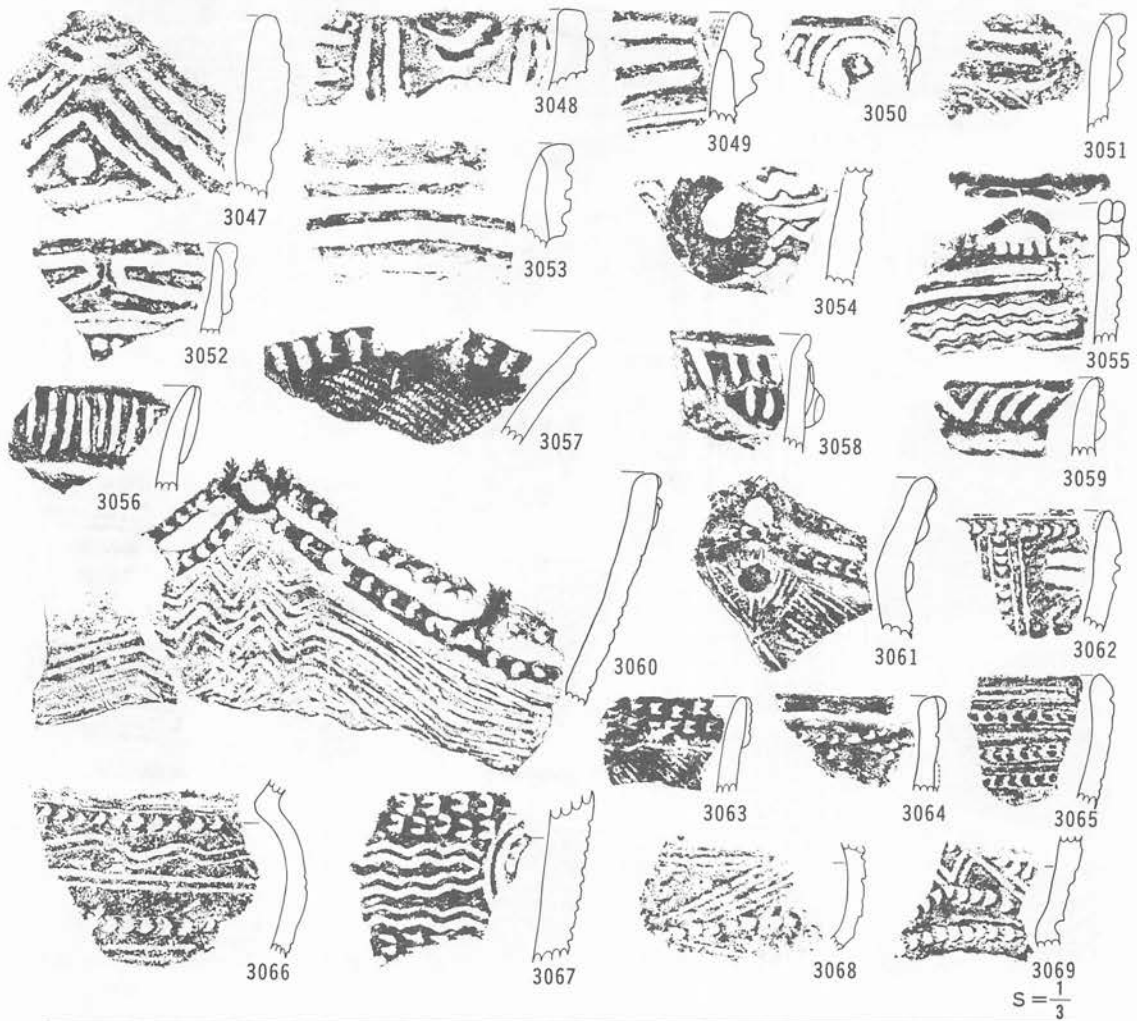
$$S = \frac{1}{3}$$

第333図 遺構外出土遺物(6)



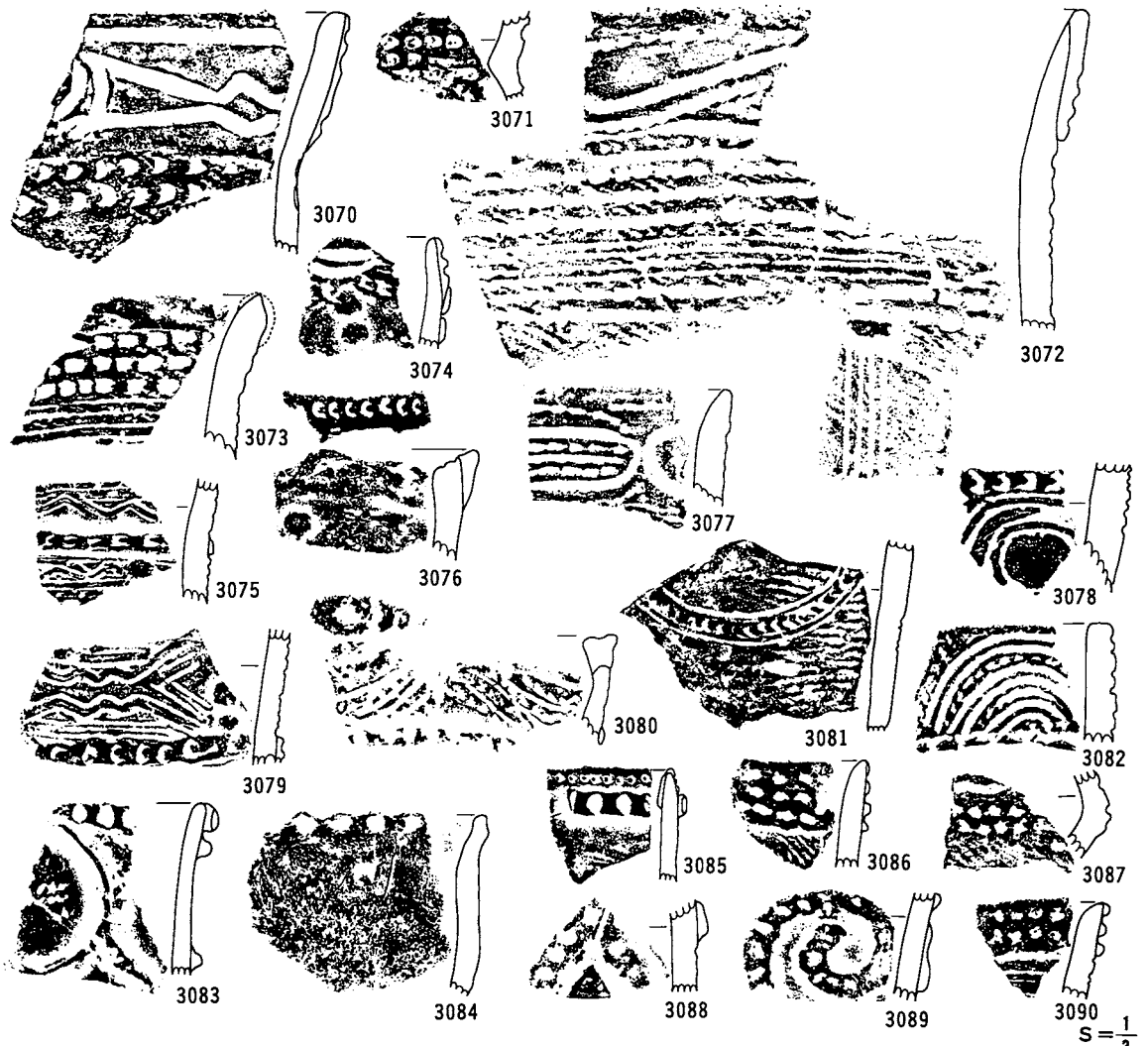
No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
3025	IV A 4 g 1 層	口縁部	横位や弧状の平行沈線文、爪形文	深鉢 B 6 類
3026	IV A 3 f 1 層	口縁部	ボタン状貼付の上下に 2 条ずつの横位の沈線、その間に鋸歯状の平行沈線文、連続押圧の粘土紐	深鉢 B 6 類
3027	不明	口～頸部	複合口縁、数段の平行沈線文	深鉢 B 6 類
3028	III A 区表採	口縁部	波頂部直下に粘土塊、横位や弧状の沈線、爪形文	深鉢 B 6 類
3029	III A 3 h 1 層	口縁部	円形と縦位の粘土紐間にくの字状の粘土紐、数段の平行沈線文	深鉢 B 6 類
3030	III A 9 e II 層	口縁部	上端裏側に粘土帯、表には 2 条の横位の沈線や不規則な沈線、LRヨコ	深鉢 A 6 類
3031	II B 9 c 1 層	口～胴部	横位やヘアピン状や渦巻状の平行沈線文、鋸歯状の粘土紐貼付、LRとRLヨコ	深鉢 A
3032	不明	胴部	横位やC字状の平行沈線文、LRヨコ	深鉢 B 6 類
3033	IV A 2 h 1 層	頸部	平行沈線文、斜位押圧の粘土紐、弧状の粘土紐、LRナナメ	深鉢 B 6 類
3034	III A 9 h 1 層	頸部	頸部に横位の粘土紐、その上に向き合った斜位の連続沈線、結節した羽状(結束第 2 種)タテ	深鉢 A 6 類
3035	IV B 2 d 0 層	胴部	縦位や円形の平行沈線文、LRヨコ	深鉢 A 7 類
3036	III A 9 j 1 層	胴部	斜位や半円状の平行沈線文、LRヨコ	深鉢 B 6 類
3037	IV A 1 h 1 層	胴部	横位や斜位の平行沈線文、LRタテ	深鉢 A 7 類
3038	IV A 5 i II 層	胴部	小波状や山形の平行沈線文、羽状(結束第 1 種)タテ	深鉢 B 7 類
3039	IV A 3 h 0 層	口縁部	小波状横位の沈線	深鉢 A 6 類
3040	II A 8 f 0 層	胴部	鋸歯状の沈線が数段、縦位の連続した刻目	深鉢 B
3041	III A 2 h 0 層	口縁部	上端裏側に粘土帯、表には円形やヘアピン状の沈線	深鉢 B17類
3042	IV B 2 d 0 層	口縁部	押し引き沈線間に弧状の沈線が数条	深鉢 B10類
3043	III B 1 c 1 層	頸部	縦位の連続沈線、三角状の刺突、横位や小波状の沈線	深鉢 B19類
3044	III A 9 j 1 層	頸部	小波状の沈線、爪形文	深鉢 B10類
3045	III A 7 g 1 層	口縁部	横位の沈線間に鋸歯状の沈線	深鉢 A 6 類
3046	III A 5 h 0 層	口縁部	横位の沈線間に鋸歯状の沈線	深鉢 B 6 類

第334図 遺構外出土遺物(7)



№	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
3047	ⅢA 5 h 0 層	口縁部	弧状や斜位の太い沈線、円形の凹み	深鉢B 9 類
3048	ⅢA 3 h 0 層	口縁部	2本1組の縦位の沈線、その間に弧状の沈線や粘土紐、爪形文	深鉢A 9 類
3049	ⅢA 4 g I 層	口縁部	横位の太い沈線が数条巡る	深鉢A 9 類
3050	ⅣB 6 a 0 層	口縁部	円形の粘土塊貼付、そのまわりに連続沈線	深鉢A 13 類
3051	ⅢB 区 0 層	口縁部	長楕円状の太い沈線と斜位の沈線	深鉢A 9 類
3052	ⅢA 3 h 0 層	口縁部	長楕円状や横位の沈線、押し引き沈線	深鉢A 9 類
3053	ⅢA 3 h 0 層	口縁部	横位の太い沈線が数条巡る	深鉢A 9 類
3054	ⅣA 2 j I 層	頸部	鋸歯状や横位の沈線、C字状の粘土紐貼付	深鉢A 17 類
3055	ⅣA 2 j I 層	口縁部	口唇部に2本の粘土紐を合わせた橋状の突起、縦位の連続した刻目、横位や小波状の沈線	深鉢A 17 類
3056	ⅢA 8 j I 層	口縁部	縦位の連続沈線	深鉢A 13 類
3057	ⅢA 7 h I 層	口縁部	縦位の連続短沈線、LRタテ	浅鉢13類
3058	ⅢA 8 g I 層	口縁部	横位や斜位の沈線、刻目のある粘土塊貼付、LRヨコ	深鉢A 14 類
3059	ⅢA 4 f II 層	口縁部	向かい合わせの斜位の連続沈線	深鉢A 14 類
3060	不明	口～頸部	波頂部にドーナツ状粘土塊貼付、その両側に爪形文のある粘土紐、数条の平行沈線文	深鉢B 10 類
3061	ⅢA 2 h 0 層	口～頸部	波頂部に円形の凹み、その両側に爪形文のある粘土紐、円形の粘土塊、平行沈線文、絡条体Rヨコ	深鉢B 10 類
3062	不明	口縁部	横位や縦位の爪形文、それに沿った沈線や太い沈線、LRヨコ	深鉢A 10 類
3063	ⅣA 2 j I 層	口縁部	2段の爪形文、RLヨコ	深鉢A 10 類
3064	ⅢA 5 h I 層	口縁部	複合口縁の下に数段の爪形文	深鉢A 10 類
3065	ⅣA 2 j I 層	口縁部	数段の横位の沈線間に爪形文	深鉢B 10 類
3066	ⅢA 4 g I 層	胴部	横位や波状の平行沈線間に爪形文	深鉢C 10 類
3067	ⅣA 2 i I 層	胴部	爪形文の間に弧状や小波状の平行沈線文	深鉢A 10 類
3068	ⅢA 3 h 0 層	胴部	横位や斜位の平行沈線文の下に爪形文	深鉢C 10 類
3069	ⅣA 1 h I 層	頸部	山形状の平行沈線文のまわりに爪形文	深鉢B 10 類

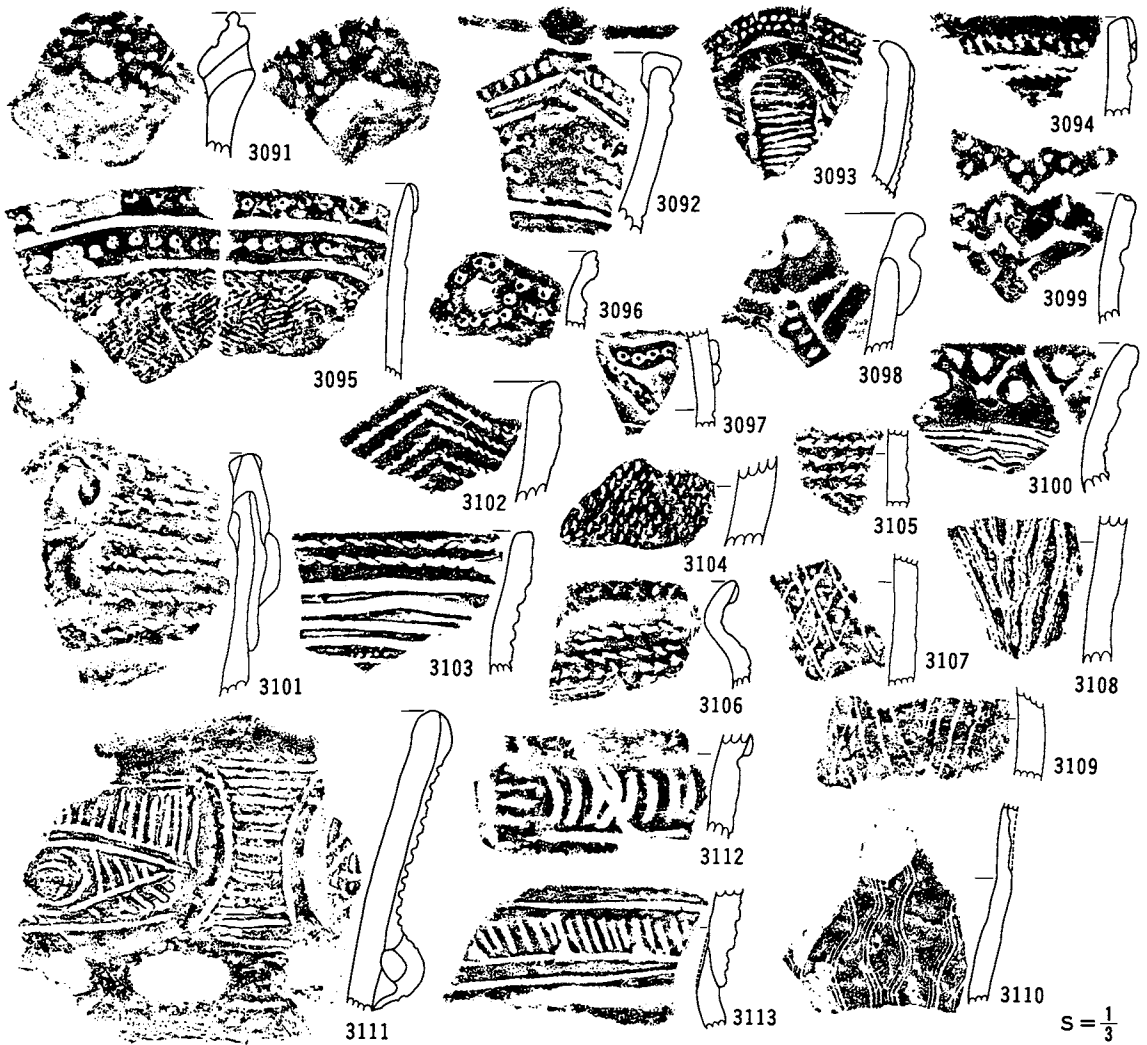
第335図 遺構外出土遺物(8)



S = 1/3

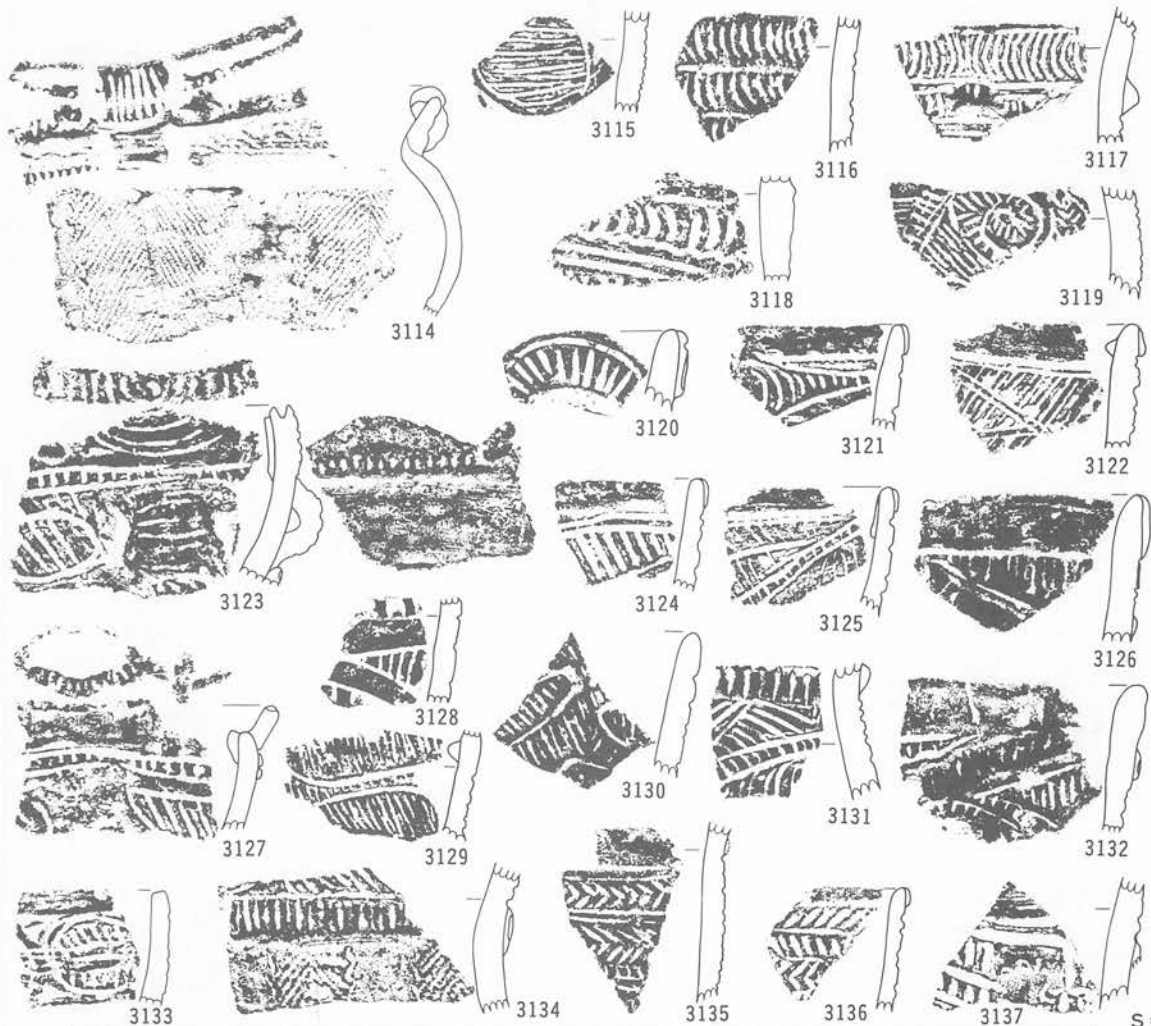
No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
3070	IVA 2 h II層	口～頸部	横位や弧状や斜位の太い沈線、爪形文、RLタテ	深鉢 B10類
3071	IVA 2 i 0層	頸部	爪形文、RLヨコ	深鉢 B10類
3072	III A 3 h 0層	口～頸部	連続爪形文と平行沈線文、楕円状の粘土塊貼付、RLヨコ	深鉢 B10類
3073	III A 4 g I層	口～頸部	連続爪形文の下に平行沈線文	深鉢 B10類
3074	III A 4 g I層	口縁部	弧状の沈線の下に爪形文、円形の粘土塊 2個貼付	深鉢 A10類
3075	IVA 4 i I層	頸部	爪形文のある粘土紐、その上下に横位や波状の平行沈線文、団子状粘土塊貼付	深鉢 B10類
3076	III A 3 g II層	口縁部	口唇部に爪形文、口縁部に円形の粘土塊貼付	深鉢 10類
3077	III A 4 h 0層	口縁部	横位や長楕円の沈線、その間やまわりに連続爪形文	深鉢 A10類
3078	IVA 2 i I層	頸部	同心円状の平行沈線文の上に爪形文	深鉢 10類
3079	IVA 5 i I層	頸部	横位や小波状の平行沈線文、団子状の粘土塊 2個貼付、爪形文のある粘土紐	深鉢 B10類
3080	III A 6 g I層	口縁部	口唇部にドーナツ状の粘土紐、山形の沈線間に連続爪形文、押圧のある粘土紐	深鉢 B10類
3081	IVA 2 j I層	胴部	弧状の平行沈線内に爪形文、LRナナメ	深鉢 A10類
3082	IVA 2 j I層	口縁部	弧状の平行沈線間に爪形文、RLヨコ	深鉢 A10類
3083	III A 10 e I層	口縁部	連続押圧の粘土紐、X字状の粘土紐	深鉢 A
3084	II B 2 e II層	口縁部	連続押圧の粘土紐	深鉢 A
3085	IVA 5 i I層	口縁部	竹管による円形の連続刺突、連続押圧の粘土紐、LRタテ	深鉢 A10類
3086	II B 9 c I層	口縁部	円形の連続刺突が3段、LRタテ	深鉢 A10類
3087	II B 10 c I層	胴部	弧状の沈線、円形の連続刺突が2段	深鉢 C10類
3088	III A 5 g II層	口縁部	連続押圧の粘土紐が山形状に貼付、粘土紐に沿って沈線	深鉢
3089	II B 10 c I層	口縁部	連続押圧の粘土紐が渦巻状に貼付	深鉢 18類
3090	IVA 3 j I層	口縁部	円形の連続刺突が二段、平行沈線文	深鉢 B10類

第336図 遺構外出土遺物(9)



No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
3091	IVA 4 h 0 層	口縁部	円形の連続刺突を持つ有孔円盤状の突起部分	深鉢1類
3092	III A 5 g II 層	口縁部	波頂部に円盤状粘土塊貼付、口縁に沿って連続刺突、横位や小波の沈線	深鉢 B10類
3093	IVA 3 h 0 層	口縁部	口唇部に小さい円形の連続刺突、刻目を持つ弧状の粘土紐、横位の連続沈線のある小判状粘土塊	深鉢 B18類
3094	VB 8 f 0 層	口縁部	複合口縁上とその下に2段の連続刺突	深鉢 A10類
3095	IVA 3 h I 層	口縁部	複合口縁上とその下に竹管による円形の連続刺突、羽状(結束第1種)ヨコ	深鉢 A10類
3096	IVA 5 h I 層	口縁部	波頂部に円形の凹み、そのまわりに竹管による円形の連続刺突	深鉢 B10類
3097	IVA 1 h II 層	頸部	竹管による円形の連続刺突が施された粘土紐貼付	深鉢 B10類
3098	IVA 1 f I 層	口縁部	円形の凹みを持つ円盤状粘土塊、その下に連続押圧のある粘土紐	深鉢 B 1 類
3099	III A 4 g I 層	口縁部	口唇部に円形の連続刺突が施された波状の粘土紐、横位や縦位に鋸歯状の沈線	深鉢10類
3100	III A 5 h I 層	口～頸部	鋸歯状の沈線間に円形の刺突、平行沈線文	深鉢 B14類
3101	II B 8 b 0 層	口縁部	波頂部の表と裏にU字状の粘土紐、表に橋状把手、LR(前々段多条)の原体圧痕横位に5段	深鉢 B16類
3102	IVA 4 i I 層	口縁部	波頂部分に沿ってLRの原体圧痕数段	深鉢 B16類
3103	II B 9 c I 層	口縁部	口縁に沿ってRL、LR(結束第1種)の原体圧痕2段、その下に横位の沈線	深鉢 B16類
3104	III A 3 g I 層	胴部	連続したRLの原体圧痕	深鉢16類
3105	III B区 0 層	胴部	RLの原体圧痕が横位に4段、その下にRLヨコ	深鉢 A16類
3106	IVA 3 h I 層	口～胴部	LRの原体圧痕、その上下に爪形文、団子状粘土塊、弧状の沈線	深鉢 C16類
3107	III A 5 h 0 層	胴部	網目状燃糸文	深鉢 A11類
3108	III A 5 f II 層	胴部	RとLを2本1組にした木目状燃糸文	深鉢 A11類
3109	III A 4 h 0 層	胴部	木目状燃糸文	深鉢11類
3110	III A 9 h I 層	胴部	櫛状工具による3本1組の沈線が波状に垂下	深鉢 7 類
3111	IVA 2 i 0 層	口縁部	口縁部上端と下端に粘土紐、その間に横位の沈線のある肢状の粘土帯、頸部に橋状把手、連続沈線	深鉢 B20類
3112	III A 7 h I 層	頸部	刻目を持つ粘土帯、その横に弧状の連続沈線	深鉢 B18類
3113	III B 1 c I 層	頸部	横位の沈線間に斜位の連続沈線、三角状の刺突	深鉢 B19類

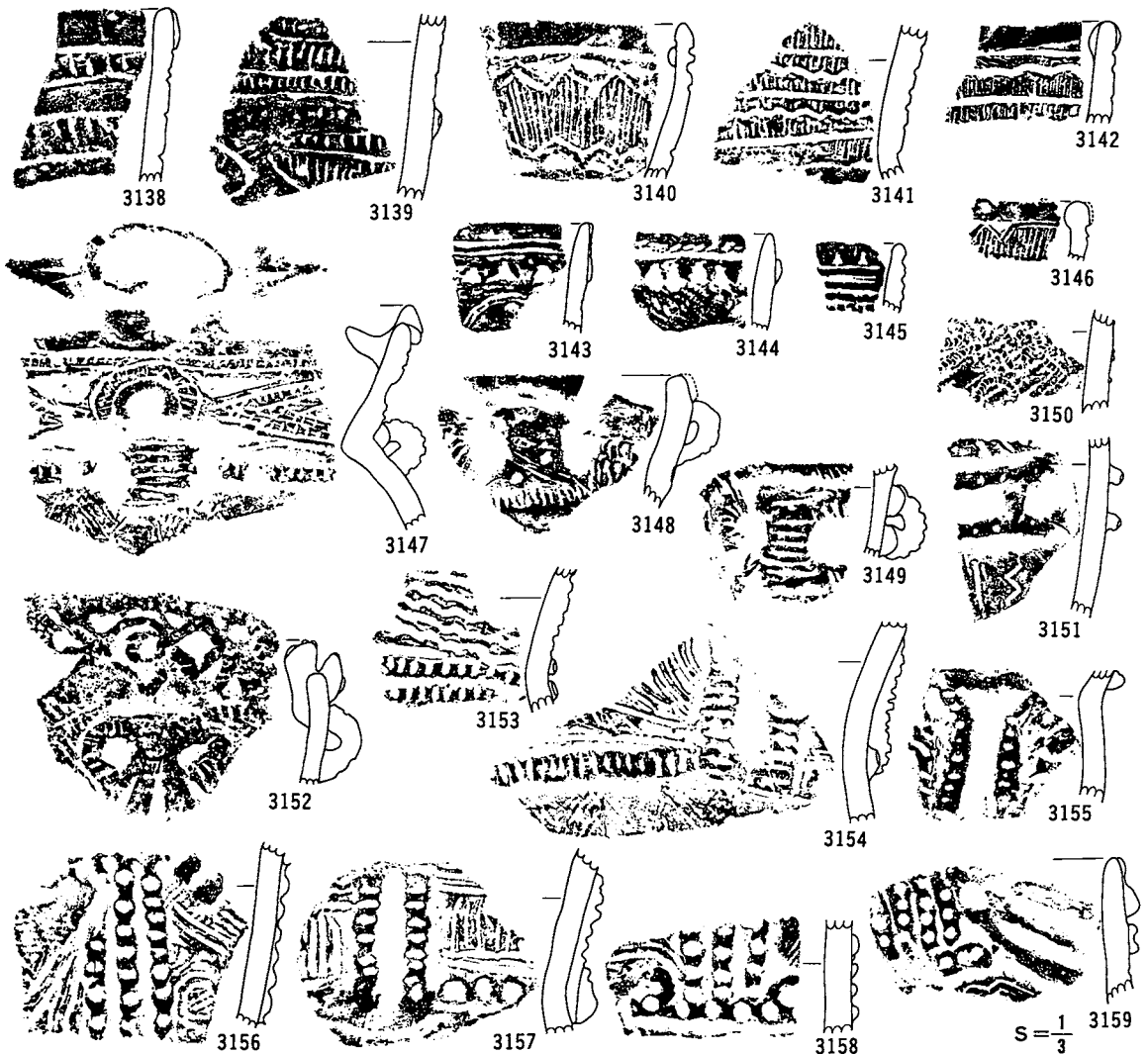
第337図 遺構外出土遺物(10)



S = $\frac{1}{3}$

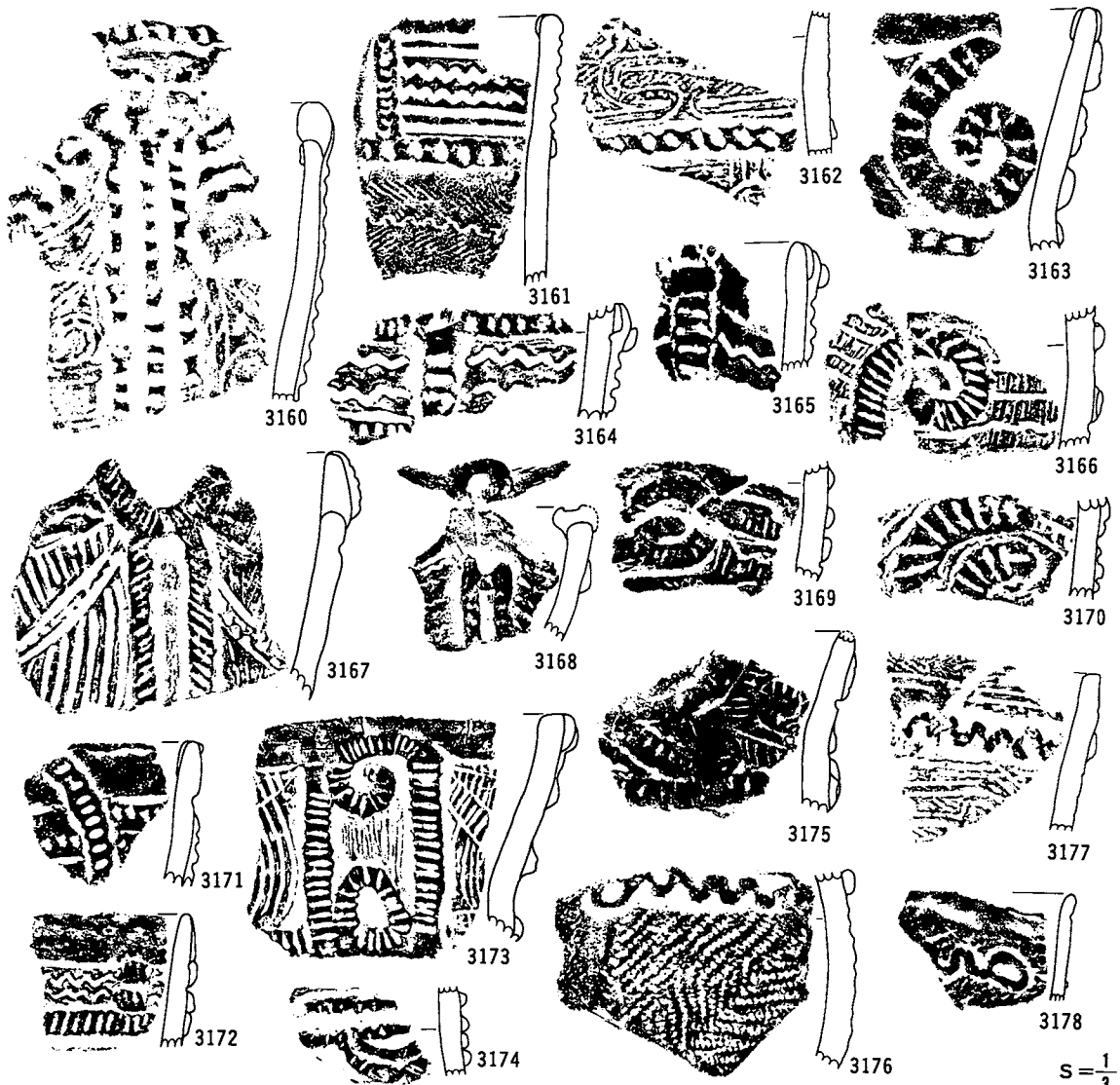
No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
3114	ⅢA 4 h 0 層	口~胴部	口唇部に連続沈線のある粘土紐、その下に橋状把手、その両側に平行沈線文、両末端結節の羽状(結束第1種)タテ	深鉢C 15類
3115	ⅢA 10 g 1 層	口縁部	沈線による円形の区画の中に横位の連続沈線	深鉢
3116	ⅢA 1 e II 層	口縁部	横位に沈線間に弧状の連続沈線	深鉢19類
3117	ⅢA 9 g 1 層	口縁部	平行沈線間に弧状や縦位の連続沈線、刻目を持つ楕円状の粘土塊	深鉢19類
3118	ⅢA 9 h 1 層	口縁部	横位や小波状の沈線間に弧状の連続沈線	深鉢19類
3119	ⅣB 10 c 1 層	口縁部	渦巻状や斜位の沈線間に連続沈線	深鉢20類
3120	ⅢA 7 i 1 層	口縁部	弧状の沈線間に連続沈線	深鉢20類
3121	ⅣB 10 c 1 層	口縁部	複合口縁、沈線による三角状の区画内に弧状の連続沈線	深鉢A 20類
3122	ⅢA 8 g 1 層	口縁部	複合口縁、平行沈線による三角状の区画内に斜位の連続沈線、平行沈線に沿って連続刺突	深鉢A 20類
3123	ⅣA 2 i 1 層	口縁部	口唇部に深いえぐりと連続沈線、弧状や横位や円形の沈線、橋状把手、裏側に刻目のある粘土帯	深鉢C 20類
3124	ⅣA 区 I 層	口縁部	複合口縁、沈線による三角状の区画内に斜位の連続沈線	深鉢A 20類
3125	ⅣB 10 c 1 層	口縁部	複合口縁、横位や斜位の梯子状の沈線、縦位の連続沈線	深鉢A 20類
3126	ⅣB 10 c 1 層	口縁部	複合口縁、沈線による三角状の区画内に縦位の連続沈線	深鉢A 20類
3127	ⅣA 2 j 1 層	口縁部	突起部分は刻目を持つ幅広い楕円状の粘土帯、その下に梯子状の沈線、斜位の連続沈線	深鉢B 20類
3128	ⅣA 区 0 層	口縁部	沈線による三角状の区画内に縦位の連続沈線	深鉢20類
3129	ⅣA 5 h 1 層	口縁部	裏側に粘土紐、沈線による長楕円状の区画内に縦位の連続沈線	深鉢20類
3130	ⅣB 10 c 1 層	口縁部	沈線による長楕円状の区画内に連続沈線	深鉢B 20類
3131	ⅣA 3 g 1 層	頸部	刻目を持つ粘土紐貼付、沈線による三角状の区画内に連続沈線	深鉢B 20類
3132	ⅣB 10 e 1 層	口縁部	刻目を持つ粘土紐貼付、沈線による三角状の区画内に連続沈線	深鉢B 20類
3133	ⅢB 1 c 1 層	口縁部	沈線による楕円状の区画の中に横位の沈線や縦位の連続沈線	深鉢20類
3134	ⅣA 3 j 1 層	頸部	刻目を持つ粘土紐貼付、その上に斜位の連続沈線、両末端結節の羽状(結束第1種)タテ	深鉢B 19類
3135	ⅢA 3 g II 層	口縁部	横位の平行沈線間に羽状の連続沈線	深鉢A 19類
3136	ⅢA 区 0 層	口縁部	複合口縁、横位の沈線間に斜位や羽状の連続沈線	深鉢A 19類
3137	ⅣB 6 a 0 層	口縁部	横位の沈線間に縦位の連続沈線、その上から粘土塊貼付	深鉢19類

第338図 遺構外出土遺物(11)



No.	出土地点	文様の特徴・その他	分類
3138	IVA 2 j I 層	複合口縁、横位の沈線間に縦位の連続沈線	深鉢 A19類
3139	III B 1 c I 層	刻目を持つ粘土紐、その上下に横位や長楕円の沈線、その間に縦位の連続沈線	深鉢 A19類
3140	IVA 7 i I 層	裏側に粘土紐貼付、表には鋸歯状の沈線間に縦位の連続沈線、外側に三角のえぐり	深鉢 B19類
3141	VIB 5 h II 層	縦位の連続沈線の上から、横位や小波状の太い沈線	深鉢 B19類
3142	VIB 3 h II 層	上端の表と裏に粘土帯、縦位の連続沈線の上から横位や小波状の沈線	深鉢 A19類
3143	III A 10 e I 層	上部の粘土帯上に横位の平行沈線、粘土帯下端に三角状の切り取り、粘土帯の下に弧状の平行沈線	深鉢 A
3144	III A 6 h I 層	粘土帯下部に三角状の切り取り、粘土帯の上に R L の原体圧痕、下に R L ヨコ	深鉢 A
3145	III A 6 h II 層	4条の横位の沈線の上には三角状の刺突と縦位の刻目、下には、縦位の連続短沈線	深鉢 A
3146	VA 3 i I 層	複合口縁の下に三角状の刺突、平行沈線文の下に縦位の連続沈線	深鉢 19類
3147	IVA 9 i 0 層	口唇部に渦巻状の粘土紐梯子状沈線、橋状把手、刻目を持つ粘土紐、末端結節の第1種羽状タテ	深鉢 C20類
3148	III A 1 e II 層	円形の刺突や斜位の沈線が施された橋状把手、刻目を持つ粘土紐	深鉢 B18類
3149	IVA 5 i II 層	横位の連続沈線が施された橋状把手、そのまわりに連続した刻目	深鉢 B18類
3150	IVA 4 f I 層	刻目を持つ細い粘土紐がへび状に貼付、LR ヨコ	深鉢
3151	III B 1 c I 層	連続押圧のある粘土紐が横位に2本、その下に縦位や鋸歯状の沈線	深鉢 A
3152	IVA 4 h I 層	口唇部に深い三角状のえぐりが交互に施される、その間に細い粘土紐、刻目を持つ橋状把手	深鉢 B18類
3153	II B 10 c I 層	横位や小波状の沈線、連続押圧のある粘土紐	深鉢 B18類
3154	IVA 3 i 0 層	刻目を持つ縦位や横位の粘土紐、斜位の沈線、両末端結節の羽状(結束第1種)タテ	深鉢 B18類
3155	IV B 10 c I 層	横位の粘土紐から連続押圧のある粘土紐が2本垂下、小波状の沈線	深鉢 B18類
3156	II B 9 c I 層	波頂部から連続押圧のある粘土紐3本垂下、斜位や円形の平行沈線文、LR ヨコ、ナナメ	深鉢 B18類
3157	III A 7 h I 層	刻目を持つ2本の粘土紐が垂下し連続押圧のある粘土紐と結ばれる、横位の沈線間に縦位の連続沈線	深鉢 B18類
3158	III B 1 c I 層	連続押圧のある3本の粘土紐が垂下し同様の横位の粘土紐と結ばれる、弧状の粘土紐、LR ヨコ	深鉢 B18類
3159	III A 10 h I 層	連続押圧のある4本の粘土紐が垂下し同様の横位の粘土紐と結ばれる、太い沈線や平行沈線文	深鉢 B18類

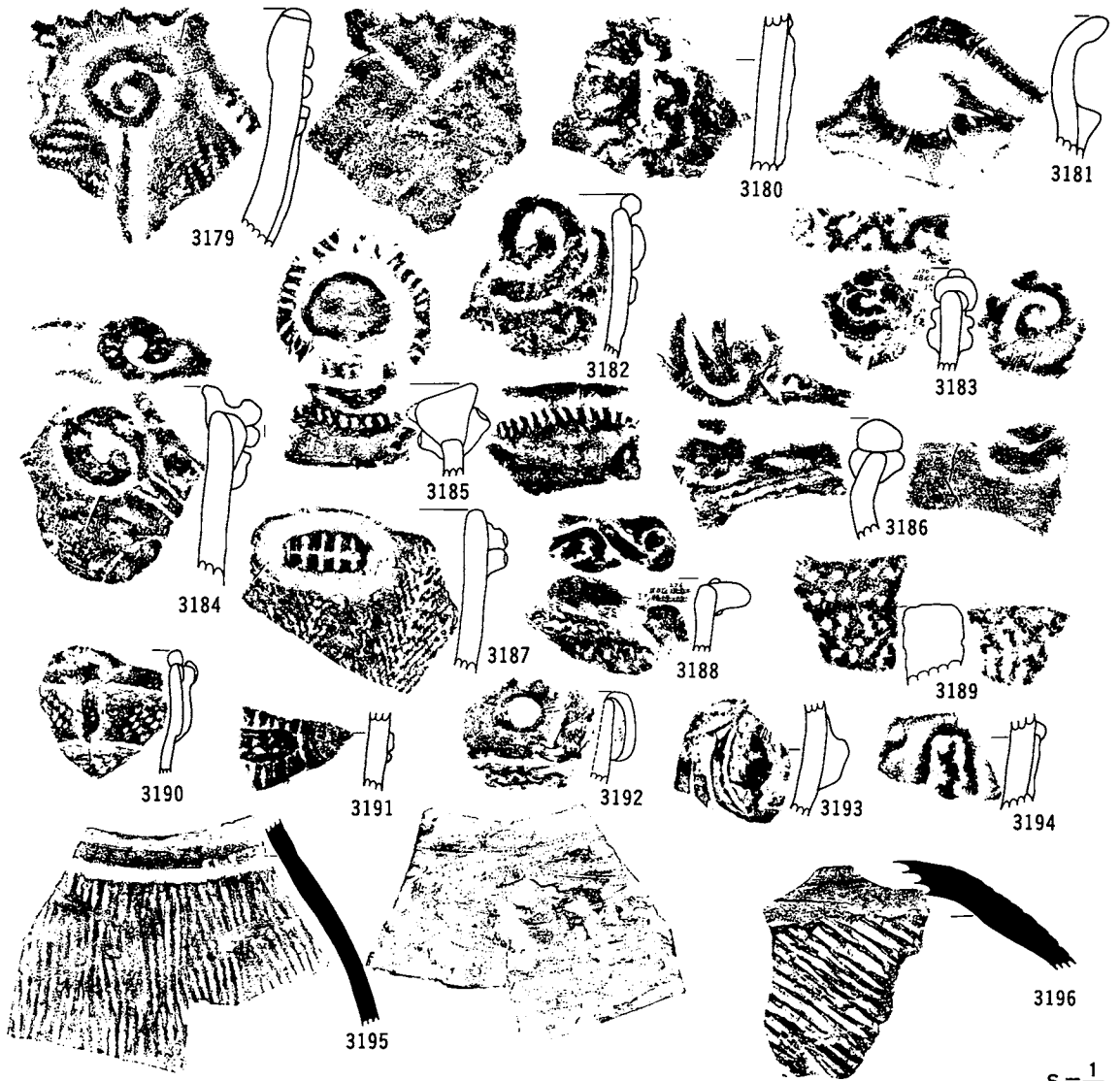
第339図 遺構外出土遺物(12)



s = 1/3

№	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
3160	II B 8 b 0 層	口縁部	連続押圧のある粘土紐が裏側に1本表に3本貼付、口唇部にドーナツ状粘土紐、平行沈線文	深鉢 B 18 類
3161	III B 3 d I 層	口-胴部	上端裏側に粘土紐、爪形文や連続押圧のある粘土紐、横位や小波状の沈線、羽状(結束第2種)ヨコ	深鉢 A 18 類
3162	II B 8 b 0 層	口縁部	L R ヨコの上から平行沈線文、連続押圧の粘土紐、その下に縦位や弧状の平行沈線文	深鉢 A 18 類
3163	III A 10 f I 層	口縁部	上端の表と裏に粘土紐、刻目を持つ渦巻状の粘土紐、連続押圧の粘土紐	深鉢 B 18 類
3164	IV A 2 j I 層	口縁部	刻目を持つ粘土紐が横位や縦位に貼付、小波状や横位の沈線、連続短沈線	深鉢 18 類
3165	IV A 2 i I 層	口縁部	刻目を持つ縦位の粘土紐上に楕円状の粘土塊貼付、斜位や鋸歯状の沈線	深鉢 18 類
3166	V B 10 a I 層	口縁部	刻目を持つ粘土紐が渦巻状に貼付、縦位の連続沈線の上から横位や小波状の太い沈線	深鉢 18 類
3167	IV A 5 h I 層	口縁部	波頂部は円形の深いえぐりによる2山状、波頂部とその下に刻目を持つ粘土紐、斜位や縦位の沈線	深鉢 B 18 類
3168	III B 1 c I 層	口縁部	口唇部波頂部分にドーナツ状の粘土紐、刻目を持つM字状の粘土紐、L R の原体圧痕	深鉢 B 18 類
3169	III B 1 c I 層	口縁部	刻目を持つ粘土紐が横位や渦巻状に貼付	深鉢 18 類
3170	IV A 8 h I 層	口縁部	刻目を持つ粘土紐が渦巻状に貼付	深鉢 18 類
3171	IV B 10 c I 層	口縁部	上端の表と裏に粘土帯、横位の沈線間に爪形文、連続押圧の粘土紐	深鉢 A 18 類
3172	IV B 10 c I 層	口縁部	複合口縁、鋸歯状の沈線、刻目を持つ粘土紐、楕円状の粘土塊	深鉢 A 18 類
3173	IV A 3 h I 層	口縁部	複合口縁、刻目を持つ粘土紐が縦位や横位や渦巻状に貼付、縦位や弧状の連続沈線	深鉢 B 18 類
3174	IV A 3 g I 層	口縁部	刻目を持つ粘土紐が横位や弧状に貼付	深鉢 18 類
3175	III B 1 c I 層	口縁部	刻目を持つ粘土紐が横位やつり針状に貼付、渦巻状の沈線間に連続短沈線	深鉢 B 18 類
3176	III B 1 b I 層	胴部	小波状の粘土紐貼付、R L タテ、羽状(結束第1種)ナナメ	深鉢 B
3177	II B 8 b 0 層	口縁部	小波状-鋸歯状の粘土紐貼付、上下に平行沈線文、R L ヨコ	深鉢
3178	IV A 2 i I 層	口縁部	小波状の粘土紐貼付、L R ヨコ	深鉢 A

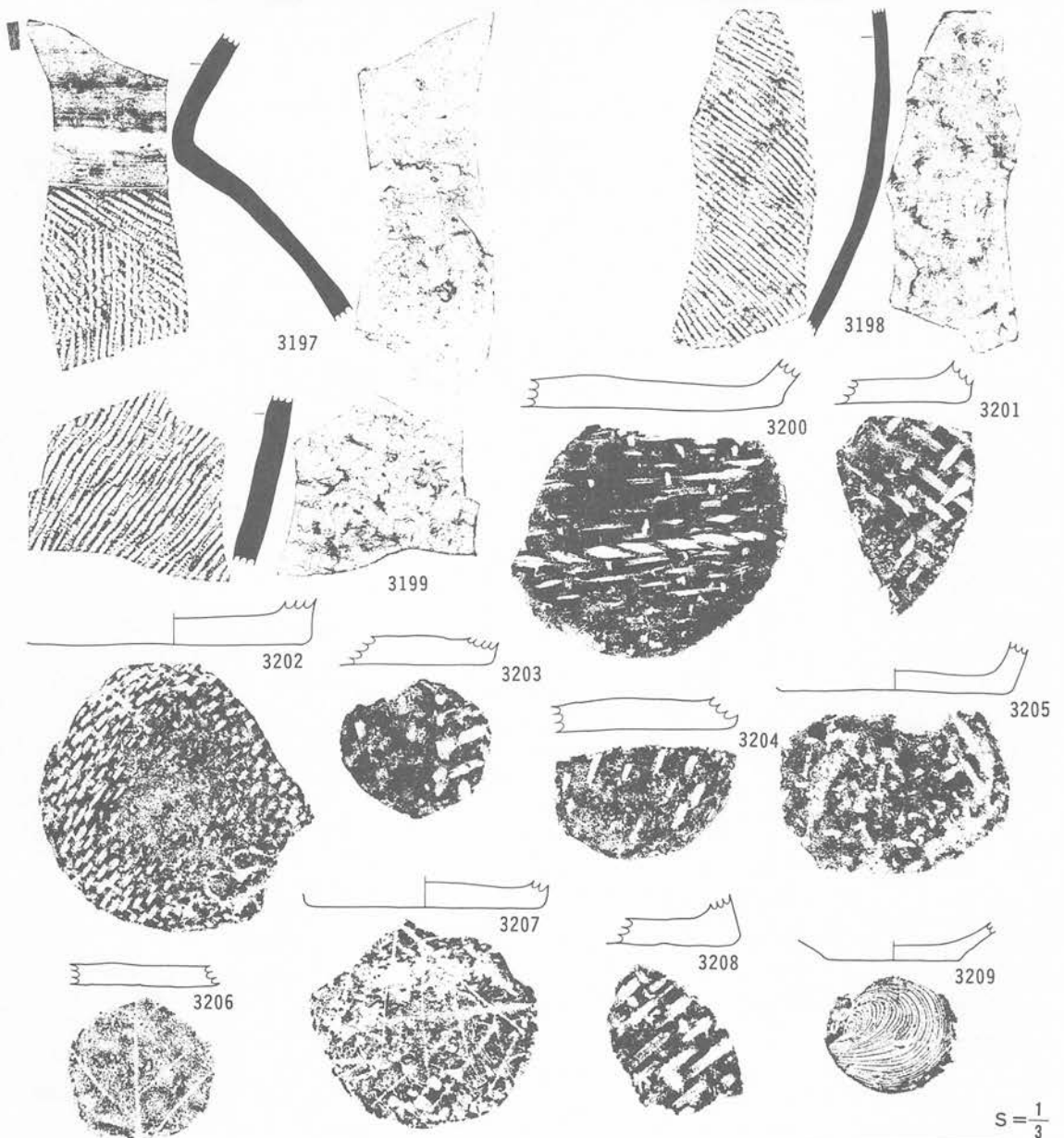
第340図 遺構外出土遺物(13)



S = $\frac{1}{3}$

No	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
3179	ⅢB1bI層	口縁部	波頂部は小波状、渦巻状や縦位の粘土紐貼付、RLナナメ	深鉢B
3180	ⅢA9eI層	口縁部	小波状の粘土紐と両側からの刺突を持つ粘土紐が垂下	深鉢B
3181	ⅣA4iII層	口縁部	波頂部に渦巻状の粘土紐貼付	深鉢B
3182	ⅥB1fI層	口縁部	渦巻状の粘土紐貼付	深鉢B
3183	ⅡB10cI層	口縁部	表と裏に渦巻状の粘土紐貼付、口唇部には鋸状の粘土紐貼付	深鉢B
3184	ⅡB10cI層	口縁部	口唇部と口縁部に刻目を持つ粘土紐貼付、横位や弧状にLの原体圧痕	深鉢B
3185	ⅢA10hII層	口縁部	円盤状の突起部分のまわりに刻目を持つ粘土紐が巡る	深鉢B
3186	ⅥB5gII層	口縁部	口唇部を包むように渦巻状の粘土紐貼付、その横に逆S字状の粘土紐貼付	深鉢B
3187	ⅣA3iII層	口縁部	2本の粘土紐を合わせて縦に4本の刻目を入れたもの貼付、結節した羽状(結束1種)タテ	深鉢B
3188	ⅢB区I層	口縁部	口唇部に渦巻状に粘土紐貼付	深鉢B
3189	ⅢA4h0層	口縁部	3面に円形の連続刺突が施された箱形の突起部分(?)	深鉢B
3190	ⅢA6i0層	口縁部	口縁部に粘土帯が巡りその上から粘土紐が垂下、口唇部に波状の粘土紐、RLヨコ	深鉢B
3191	ⅢA4gI層	口縁部	縦位の連続沈線の上から爪形文のある長楕円の粘土塊貼付	深鉢B
3192	ⅢB区0層	口縁部	波頂部に縦位の粘土紐、その横に円形の凹み、小波状の沈線	深鉢B
3193	ⅢA5hI層	口縁部	縦長の粘土塊貼付、その両側に弧状の連続沈線	深鉢B
3194	ⅣA3fI層	口縁部	長楕円状の粘土紐の中に小波状の粘土紐貼付	深鉢B
3195	ⅣB10aI層	肩部	頸部に2条の太い沈線、タタキ目、内面はヘラナデ	須恵器甕
3196	ⅣB区0層	肩部	タタキ目、上部にヘラナズリ	須恵器甕

第341図 遺構外出土遺物(14)

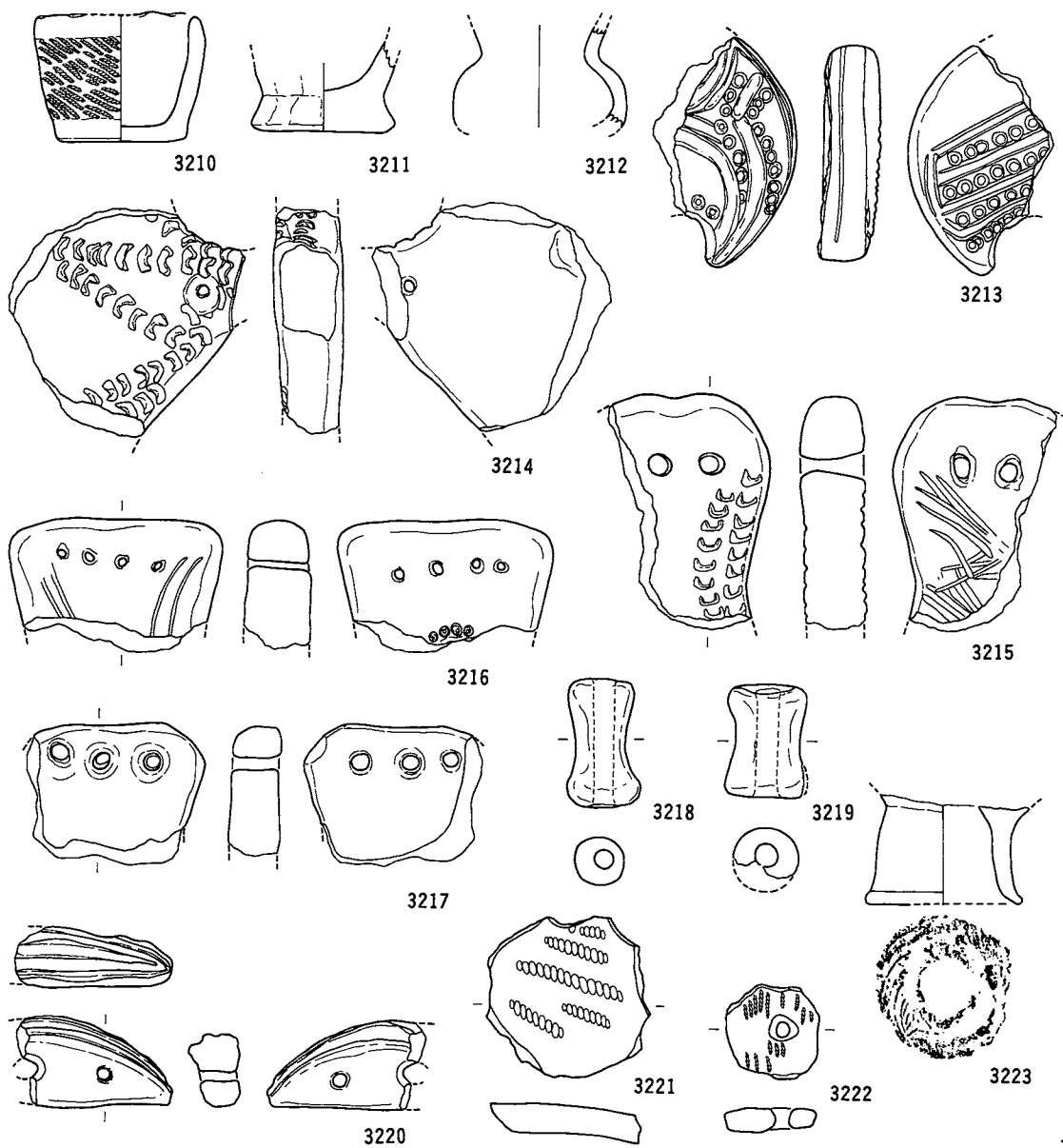


S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	部位	文様の特徴・その他	分類
3197	V B区 0層	肩部	外面ロクロ痕とタタキ目、内面ヘラナデ	須恵器甕
3198	V B区 0層	胴部	外面タタキ目、内面ヘラナデ	須恵器甕
3199	V B区 0層	胴部	外面タタキ目、内面ヘラナデ	須恵器甕
3200	IV B 2 d 0層	底部	網代痕	深鉢 B
3201	III A 9 h I層	底部	網代痕	深鉢 B
3202	II B 10 c I層	底部	網代痕	深鉢
3203	IV A 3 j I層	底部	網代痕	深鉢
3204	IV A 1 g I層	底部	網代痕	深鉢
3205	IV A 1 f I層	底部	網代痕	深鉢 B
3206	IV B 9 c II層	底部	木葉痕	深鉢
3207	III A 3 c II層	底部	木葉痕	深鉢
3208	IV A 2 d I層	底部	網代痕	深鉢 C

No.	出土地点	器種	成形	外面調整			内面調整			計測値 (cm)			分類	備考
				口縁部	胴部	底部	口縁部	胴部	底部	口径	器高	底径		
3209	IV A 7 h I層	土師器環	ロクロ	-	-	回転糸切り痕	-	-	-	-	5.7	B II a類		

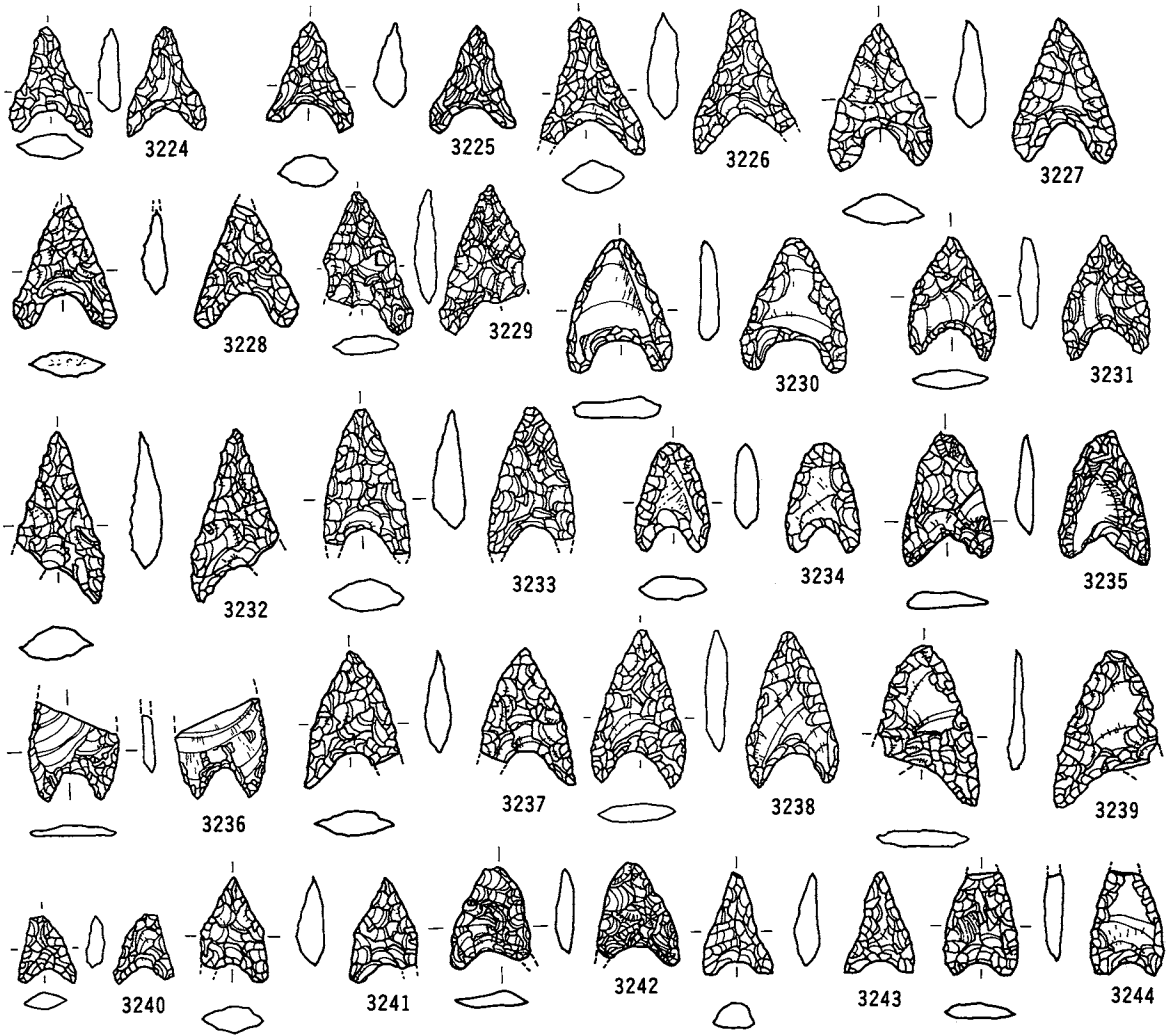
第342図 遺構外出土遺物(15)



$s = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	名称	長さ	幅	厚さ	特徴・その他
3210	IVB 9 c II層	ミニチュア土器	—	—	—	口径4.4cm、器高3.6cm、底径3.5cm LRタテ
3211	IVB 9 f I層	ミニチュア土器	—	—	—	残存高2.4cm、底径4.0cm
3212	III B 1 c I層	ミニチュア土器	—	—	—	最大径4.8cm、残存高2.4cm
3213	IVA 1 g I層	板状土偶	6.4	4.0	1.5	脚部片、両面に沈線で区画した中に竹管による円形の連続刺突
3214	IVA 1 g I層	板状土偶	6.3	6.6	1.9	胸～腕部片、表と肩の部分に連続爪形文、径3mm程の小孔
3215	III A 3 h 0層	板状土偶	6.6	4.5	1.8	頭部片、表に連続爪形文、裏に不規則な沈線、径5mm程の小孔2個
3216	III A区表採	板状土偶	3.7	6.0	1.8	頭部片、表に平行沈線、裏に円形の連続刺突、径3mm程の小孔4個
3217	III A 3 h 0層	板状土偶	3.9	5.0	1.4	頭部片、径4mm程の小孔3個
3218	IVA 5 g I層	糸巻形土製品	—	—	—	中央部径1.4cm、最大径2.1cm、高さ3.6cm、内径0.5cm
3219	IVA 2 h I層	糸巻形土製品	—	—	—	中央部径1.8cm、最大径2.2cm、高さ3.1cm、内径0.6cm
3220	III A 10 e I層	半月状土製品	4.3	2.5	1.7	弧をなす面に3条の溝、径6mm程の小孔と径3mm程の小孔が1個ずつ
3221	III A 1 i I層	円盤状土製品	4.5	4.6	0.8	RLの原体を回転施文
3222	IVB 3 h II層	円盤状土製品	2.6	2.7	0.7	LRの原体を回転施文、径4mm程の小孔
3223	IVB 10 c I層	高台状土製品	—	—	—	頂部に回転糸切り痕と径1.7cm程の穿孔、残存高2.8cm、底部4.4cm

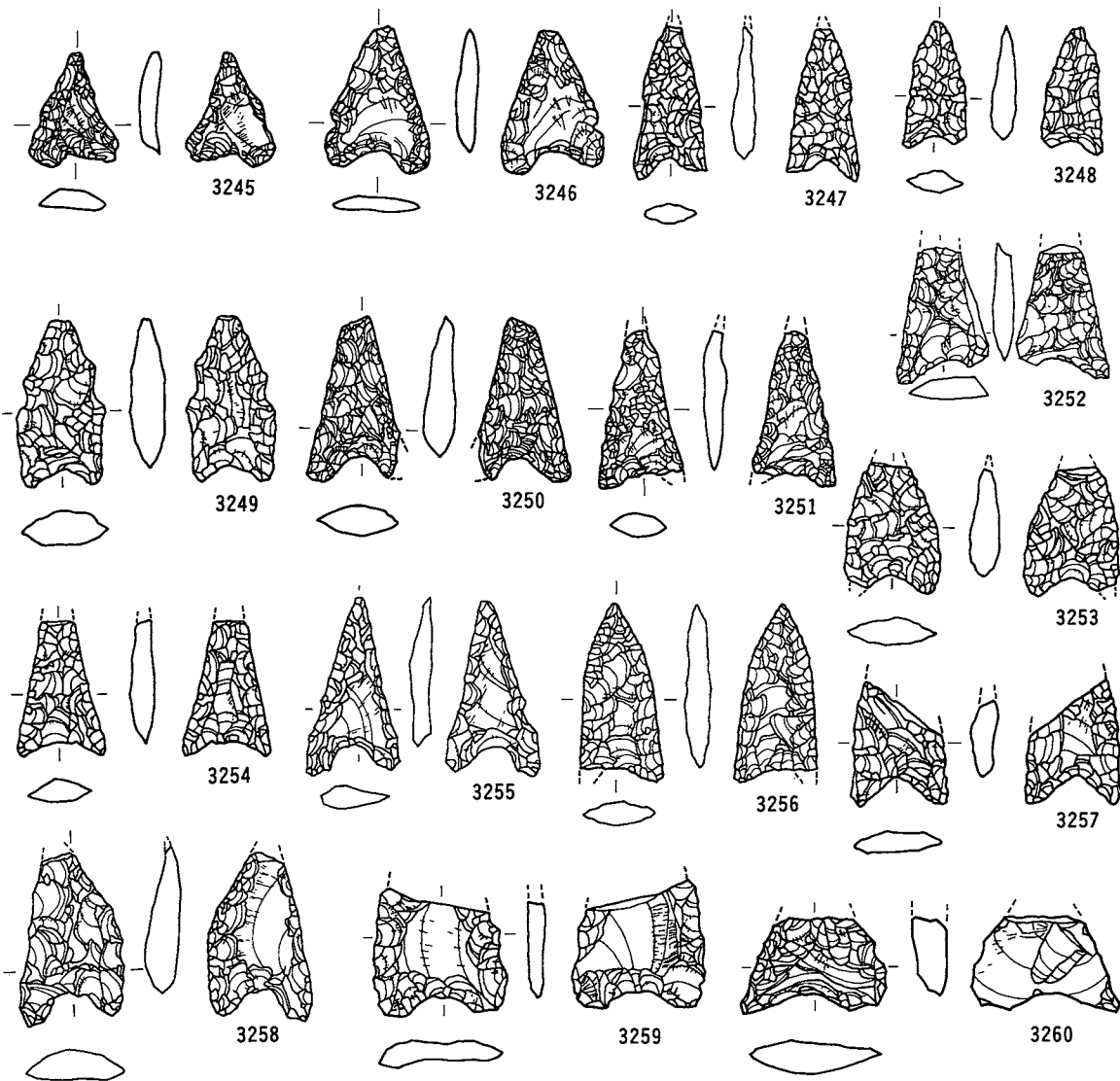
第343図 遺構外出土遺物(16)



S = $\frac{2}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3224	IV B 10 c 1 層	石鏃	2.2	1.6	0.5	1.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3225	III B 区 0 層	石鏃	2.2	1.7	0.6	1.6	黒曜石	不詳	不詳	*
3226	III A 3 h 0 層	石鏃	2.8	2.1	0.6	1.8	珪質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	*
3227	VIB 区表採	石鏃	2.9	2.1	0.6	2.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3228	IV A 5 i 1 層	石鏃	2.5	2.1	0.5	1.3	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3229	IV A 2 i 1 層	石鏃	2.8	2.0	0.4	1.4	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3230	II B 10 b 1 層	石鏃	2.6	2.1	0.4	2.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3231	IV A 2 i 1 層	石鏃	2.5	1.7	0.4	1.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3232	IV A 4 h 1 層	石鏃	3.4	1.8	0.6	1.9	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3233	IV A 1 f 1 層	石鏃	2.8	1.8	0.6	2.2	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3234	III A 4 e 1 層	石鏃	2.2	1.5	0.5	1.2	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3235	III A 区表採	石鏃	2.1	1.8	0.3	1.5	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3236	II B 10 b 1 層	石鏃	2.0	1.8	0.2	1.1	黒曜石	不詳	不詳	*
3237	IV A 2 j 1 層	石鏃	2.7	1.9	0.5	1.5	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3238	III A 4 g 1 層	石鏃	3.1	1.9	0.4	2.1	硬質泥岩	川尻以西 o r 隼石西部	新第三系中新統	
3239	IV A 3 g 1 層	石鏃	3.1	2.1	0.3	1.5	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3240	III A 6 f 1 層	石鏃	1.4	1.2	0.4	0.3	硬質泥岩	川尻以西 o r 隼石西部	新第三系中新統	
3241	III A 3 f 1 層	石鏃	2.1	1.4	0.6	0.9	蛇紋岩	北上山地 (高守~羽田)	古生界	*
3242	III A 8 f 1 層	石鏃	2.0	1.6	0.3	0.9	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3243	III A 6 d 1 層	石鏃	2.0	1.4	0.5	0.9	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3244	III A 6 d 1 層	石鏃	2.0	1.4	0.5	0.9	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	

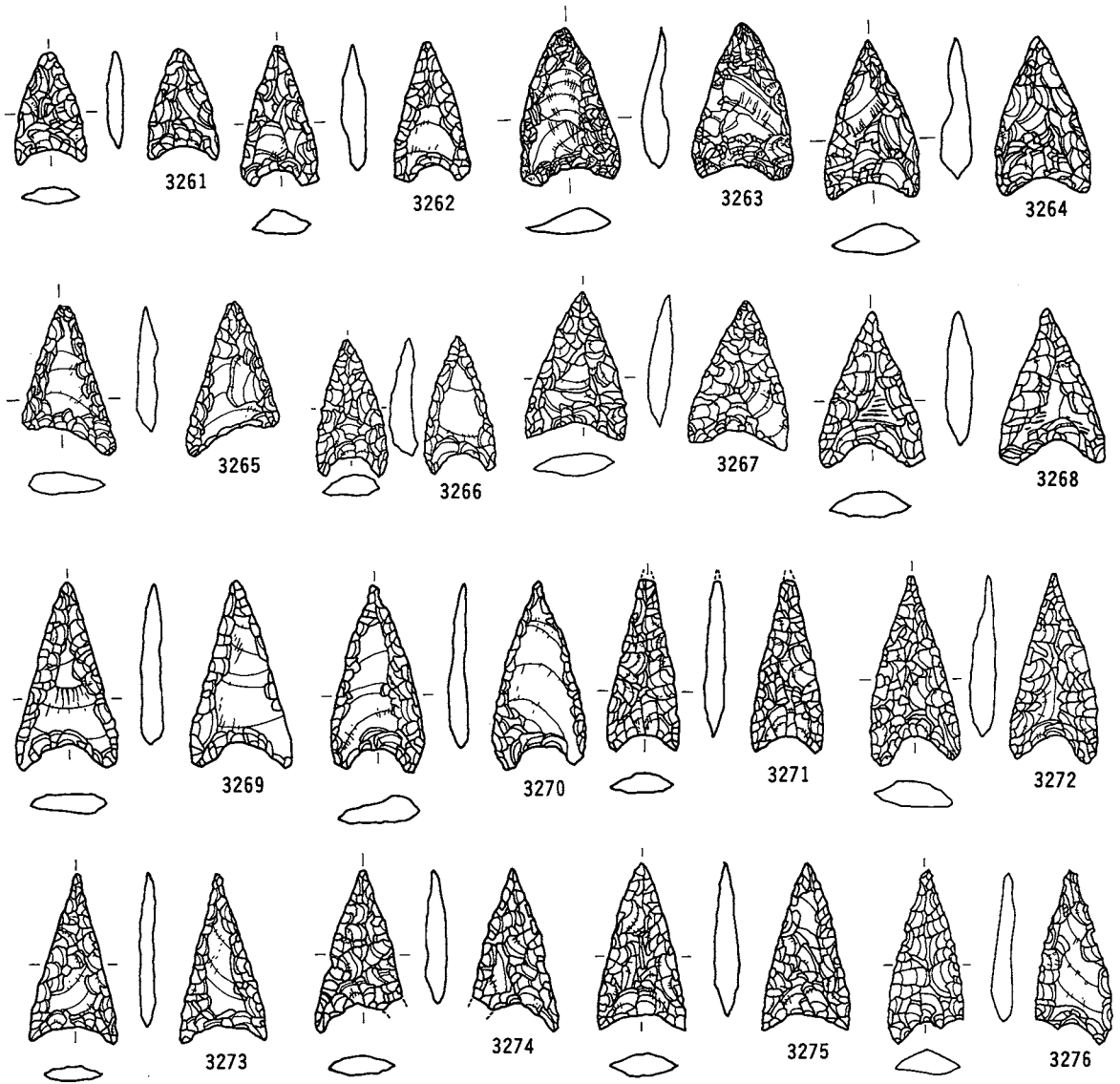
第344図 遺構外出土遺物(17)



$$s = \frac{2}{3}$$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3245	ⅦC区表採	石鏃	2.2	1.8	0.4	1.4	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3246	ⅢA9jI層	石鏃	2.9	2.1	0.3	2.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3247	ⅢA9fI層	石鏃	3.1	1.5	0.5	1.7	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3248	ⅣB9e0層	石鏃	2.6	1.3	0.5	1.2	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3249	ⅢA10hI層	石鏃	3.4	1.8	0.7	2.7	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3250	ⅢA9gI層	石鏃	3.3	1.9	0.6	3.2	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3251	ⅢA10eI層	石鏃	3.1	1.7	0.5	2.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3252	ⅢA区I層	石鏃	2.9	1.9	0.5	2.2	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3253	ⅢA10eI層	石鏃	2.7	2.0	0.6	2.7	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3254	ⅢB10bI層	石鏃	2.7	2.8	0.5	1.8	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3255	ⅢA4gⅢ層	石鏃	3.7	1.9	0.5	2.2	珉質泥岩	川尻以西or磐石西部	新第三系中新統	
3256	ⅣB8cI層	石鏃	3.6	1.7	0.5	2.2	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3257	ⅢA区I層	石鏃	2.5	2.0	0.6	2.2	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3258	ⅣB4fI層	石鏃	3.5	2.1	0.6	4.4	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3259	ⅡB10bI層	石鏃	2.6	2.8	0.6	3.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3260	ⅢA7gI層	石鏃	2.0	3.0	0.7	3.5	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

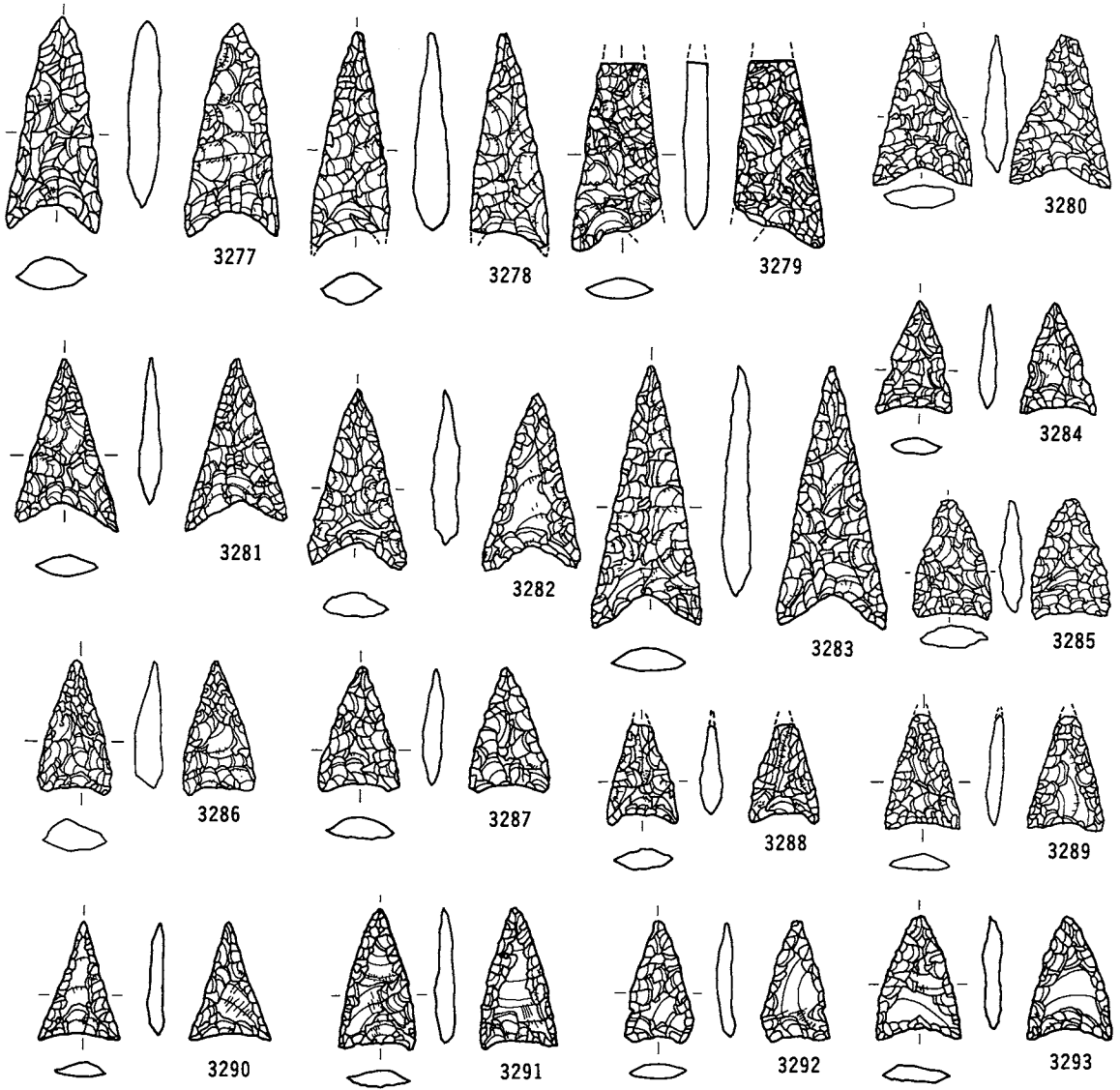
第345図 遺構外出土遺物(18)



$$s = \frac{2}{3}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3261	VB9h0層	石鏃	2.3	1.5	0.4	1.1	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3262	IIA4dIII層	石鏃	2.9	1.6	0.6	1.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3263	IIIA10fIII層	石鏃	3.2	2.0	0.5	2.9	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3264	IIIA4h0層	石鏃	2.9	1.9	0.6	2.9	珪質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3265	IVA3hI層	石鏃	3.1	1.9	0.5	2.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3266	IVB10cI層	石鏃	2.9	1.5	0.5	1.3	珪質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3267	IIIA3h0層	石鏃	3.0	2.1	0.5	2.2	硬質泥岩	川尻以西or雫石西部	新第三系中新統	
3268	IA10cIII層	石鏃	3.2	2.2	0.6	2.5	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3269	IVB10aI層	石鏃	3.9	2.1	0.5	2.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3270	IA区0層	石鏃	4.0	2.0	0.6	2.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3271	VI B7e0層	石鏃	3.6	1.5	0.4	1.8	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3272	IIIA3h0層	石鏃	3.9	1.9	0.6	2.9	硬質泥岩	川尻以西or雫石西部	新第三系中新統	
3273	II B10bI層	石鏃	3.5	1.8	0.3	1.5	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3274	VI B3h0層	石鏃	3.4	1.8	0.5	1.7	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3275	IVA5gI層	石鏃	3.5	1.8	0.5	2.2	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3276	IIIA10eI層	石鏃	3.6	1.6	0.5	2.1	極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

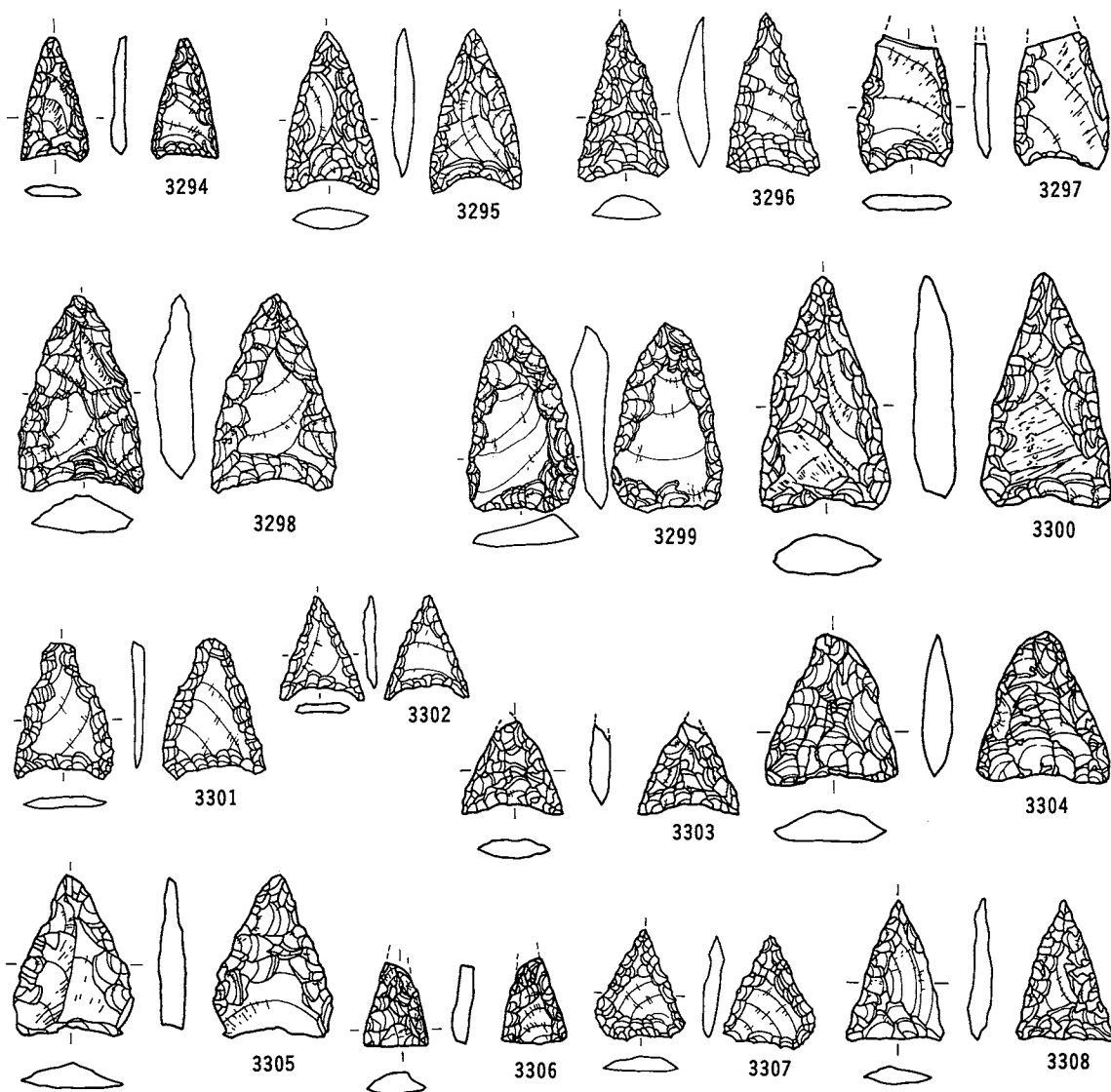
第346図 遺構外出土遺物(19)



$$S = \frac{2}{3}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3277	II B区III層	石鏃	4.4	2.0	0.7	4.2	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3278	IV A 1 i I層	石鏃	4.4	1.6	0.7	3.1	粘板岩	夏油川～和賀川	古生界	*
3279	III A 3 h I層	石鏃	3.6	1.7	0.6	3.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3280	IV A 4 i I層	石鏃	3.2	2.1	0.5	2.1	粘板岩	夏油川～和賀川	古生界	
3281	III A 10 j I層	石鏃	3.5	2.1	0.4	1.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3282	不明	石鏃	3.7	2.0	0.5	2.4	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3283	III B区0層	石鏃	5.4	2.3	0.6	4.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3284	IV B 9 f I層	石鏃	2.4	1.6	0.4	0.9	珪質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3285	IV A 1 h III層	石鏃	2.5	1.6	0.5	1.3	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3286	VI B 5 h I層下位	石鏃	2.5	1.5	0.6	2.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3287	IV B 8 c I層	石鏃	2.6	1.7	0.5	1.3	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3288	IV B 3 h I層	石鏃	2.1	1.5	0.4	1.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3289	III A 9 f I層	石鏃	2.4	1.6	0.4	1.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3290	III A 10 i III層	石鏃	2.4	1.7	0.4	0.8	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3291	III A 8 g I層	石鏃	2.9	1.6	0.5	1.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3292	VI B 3 g I層	石鏃	2.5	1.4	0.4	0.9	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3293	IV A 4 h I層	石鏃	2.6	1.8	0.4	1.4	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	

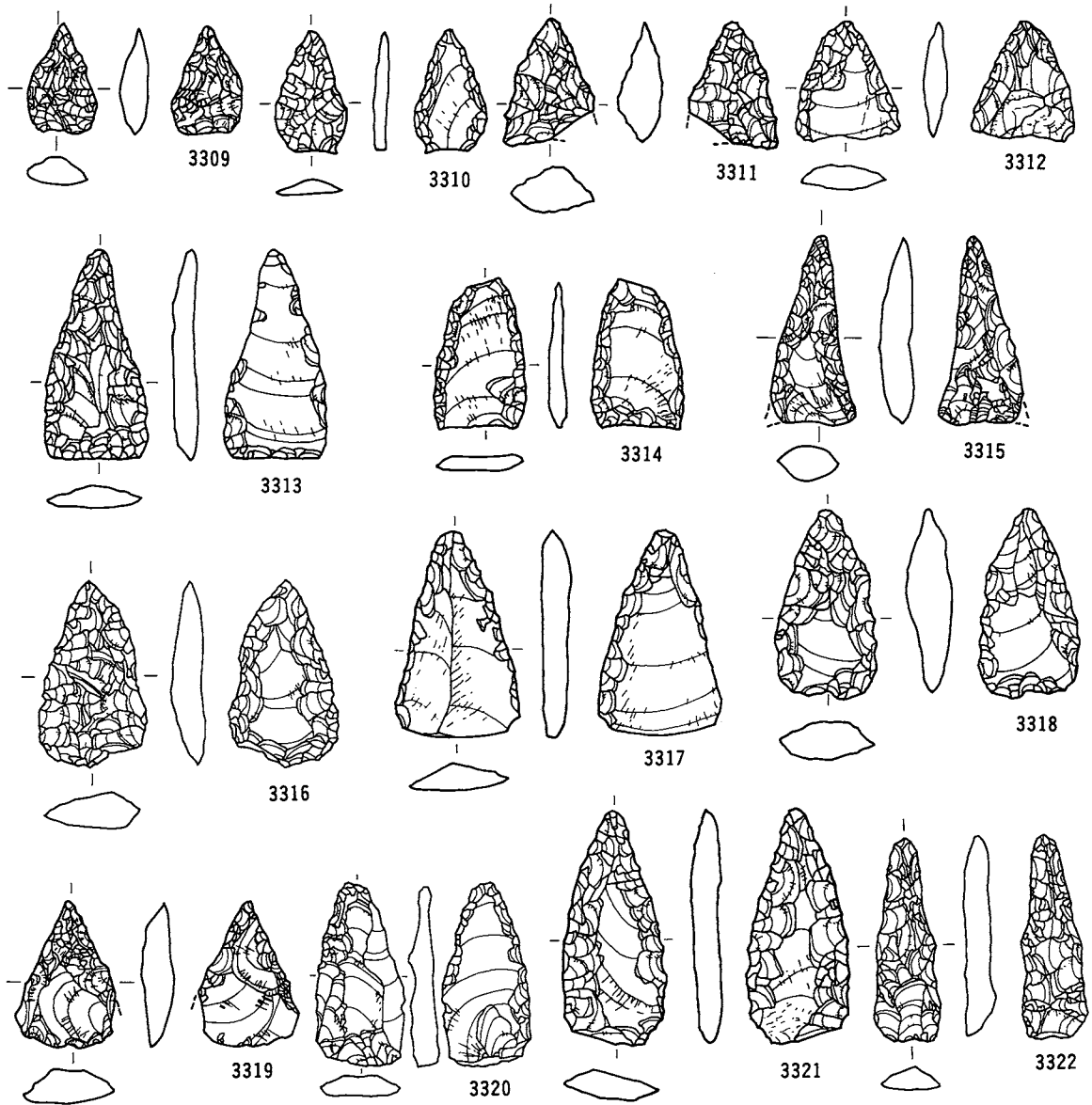
第347図 遺構外出土遺物(20)



$$S = \frac{2}{3}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3294	VIB 5 g II層	石鏃	2.5	1.4	0.3	0.8	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3295	IVB 3 b I層	石鏃	3.3	1.9	0.5	2.2	珉質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
3296	IVA 2 i I層	石鏃	3.2	1.9	0.5	2.2	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3297	VIB 5 f III層	石鏃	2.8	2.0	0.3	2.1	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3298	III A区 I層	石鏃	4.0	2.5	0.7	5.1	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3299	III A区 I層	石鏃	3.9	2.2	0.8	4.8	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3300	IVA 1 h I層	石鏃	4.8	2.7	0.9	9.4	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3301	III A 6 f I層	石鏃	2.8	2.0	0.2	1.3	極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3302	III A 3 h I層	石鏃	2.1	1.7	0.2	0.6	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3303	III B区 0層	石鏃	1.9	2.1	0.4	1.1	粘板岩	北上山地 or 夏油川	古生界	*
3304	III A 7 g I層	石鏃	2.9	2.3	0.6	4.7	珉質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3305	III A 8 f I層	石鏃	3.3	2.4	0.6	3.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3306	III A 10 h I層	石鏃	1.7	1.3	0.4	1.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3307	III A 10 i III層	石鏃	2.2	2.8	0.3	1.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3308	II B区 III層	石鏃	2.8	2.0	0.5	1.6	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

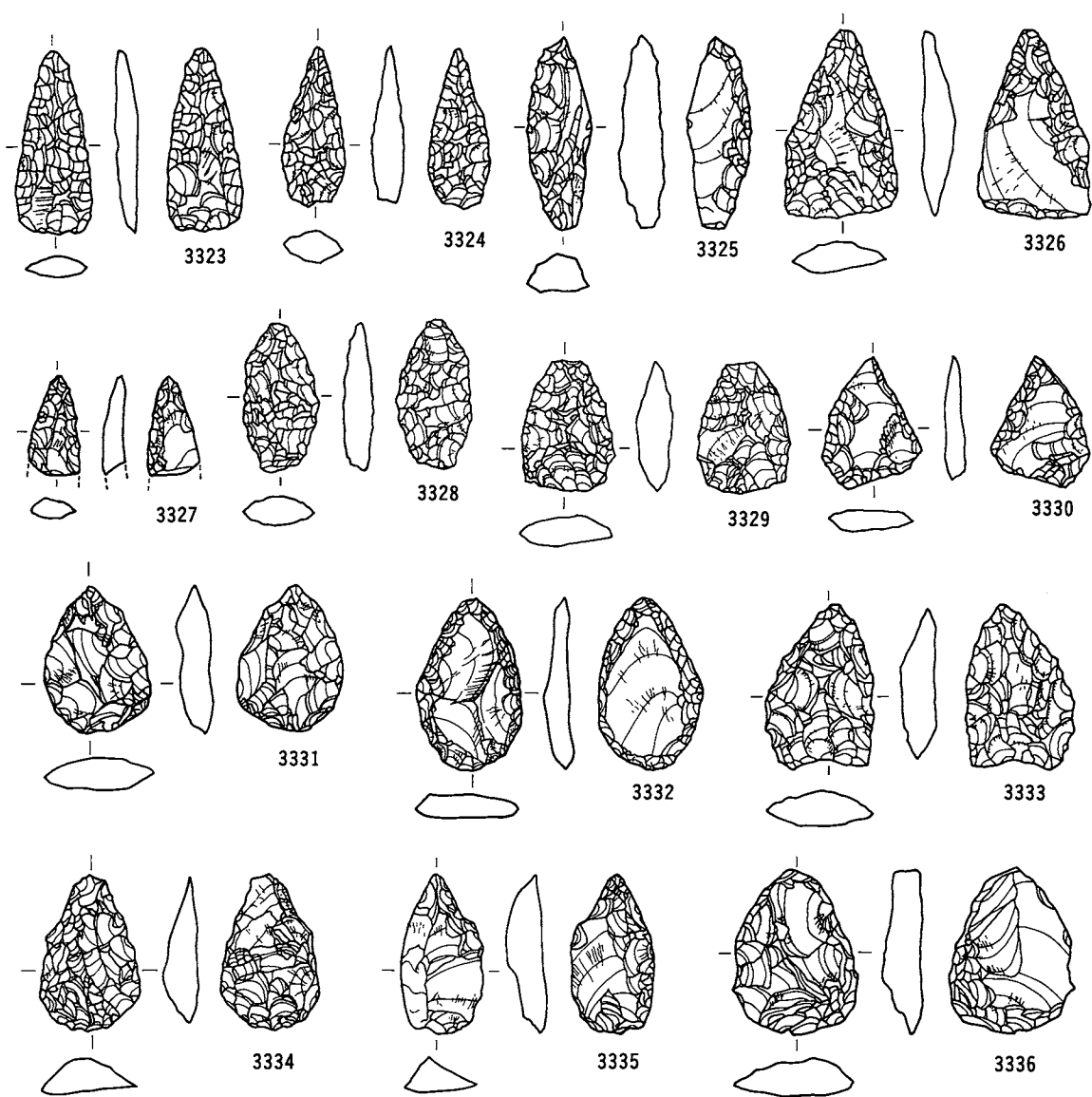
第348図 遺構外出土遺物(21)



$$S = \frac{2}{3}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3309	ⅢA 3 h I 層	石鏃	2.2	1.4	0.6	1.7	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3310	ⅣB 区 0 層	石鏃	2.6	1.5	0.3	1.2	珧質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3311	ⅣA 4 j I 層	石鏃	2.7	1.9	1.0	2.7	珧質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3312	ⅡA 3 f I 層	石鏃	2.6	2.2	0.5	2.3	珧質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3313	ⅢA 10 g I 層	石鏃	4.4	2.2	0.5	4.1	珧質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3314	ⅣB 3 i I 層	石鏃	3.3	2.0	0.4	3.1	珧質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3315	ⅢB 3 c I 層	石鏃	3.9	1.8	0.7	4.7	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3316	ⅤB 3 i I 層	石鏃	3.9	2.3	0.6	6.4	珧質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3317	ⅤB 9 f I 層	石鏃	4.3	2.6	0.7	6.9	珧質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3318	ⅢA 7 f I 層	石鏃	4.0	2.2	1.0	7.3	珧質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3319	ⅢA 7 i I 層	石鏃	3.1	2.1	0.7	3.8	珧質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3320	ⅡA 10 c I 層	石鏃	3.9	1.9	0.6	3.8	珧質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3321	ⅡB 10 b I 層	石鏃	5.0	2.2	0.7	6.6	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3322	ⅡA 3 f I 層	石鏃	4.3	1.4	0.7	3.5	珧質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	

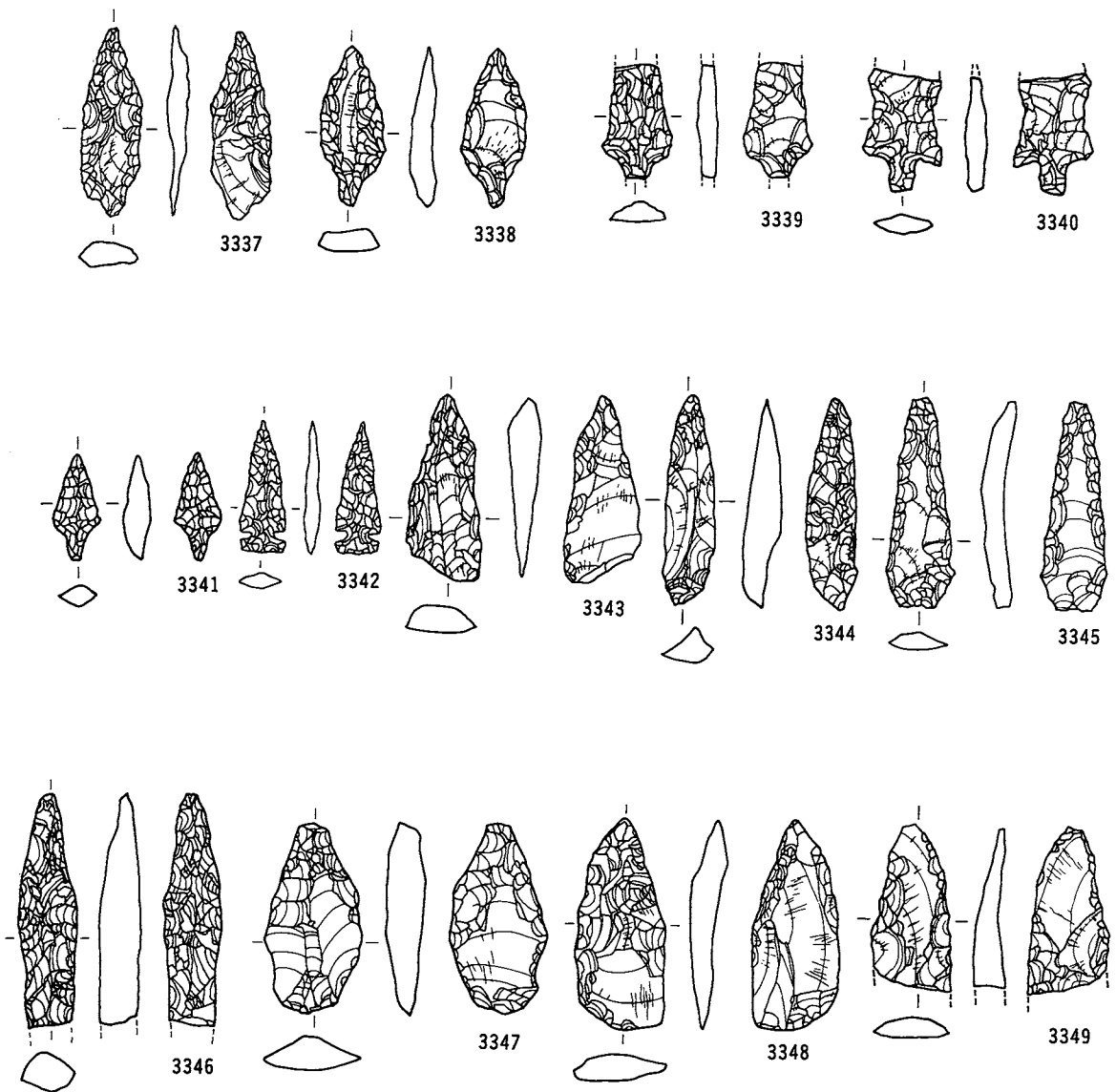
第349図 遺構外出土遺物(22)



$$s = \frac{2}{3}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3323	IVB 9 f I 層	石鏃	3.8	1.6	0.5	2.4	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3324	IVA 1 e I 層	石鏃	3.4	1.4	0.7	2.4	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3325	VA 4 j I 層	石鏃	4.1	1.4	1.0	4.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3326	VB 3 d 0 層	石鏃	4.1	2.4	0.7	5.5	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3327	III A 6 i 0 層	石鏃	2.0	1.1	0.5	0.8	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3328	II A 5 e II 層	石鏃	3.1	1.6	0.6	2.9	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3329	III A 10 g III 層	石鏃	2.7	2.0	0.6	3.7	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3330	III A 6 g I 層	石鏃	2.8	2.1	0.5	2.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3331	IVA 2 g I 層	石鏃	3.1	2.2	0.6	5.4	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3332	III A 区 I 層	石鏃	3.6	2.2	0.5	5.3	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3333	IVA 1 g I 層	石鏃	3.4	2.3	0.8	5.3	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3334	III A 6 g I 層	石鏃	3.3	2.1	0.7	5.7	赤色玻璃質安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3335	IVA 2 f I 層	石鏃	3.3	1.7	0.7	4.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3336	III B 区 I 層	石鏃	3.6	2.7	0.8	7.3	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	

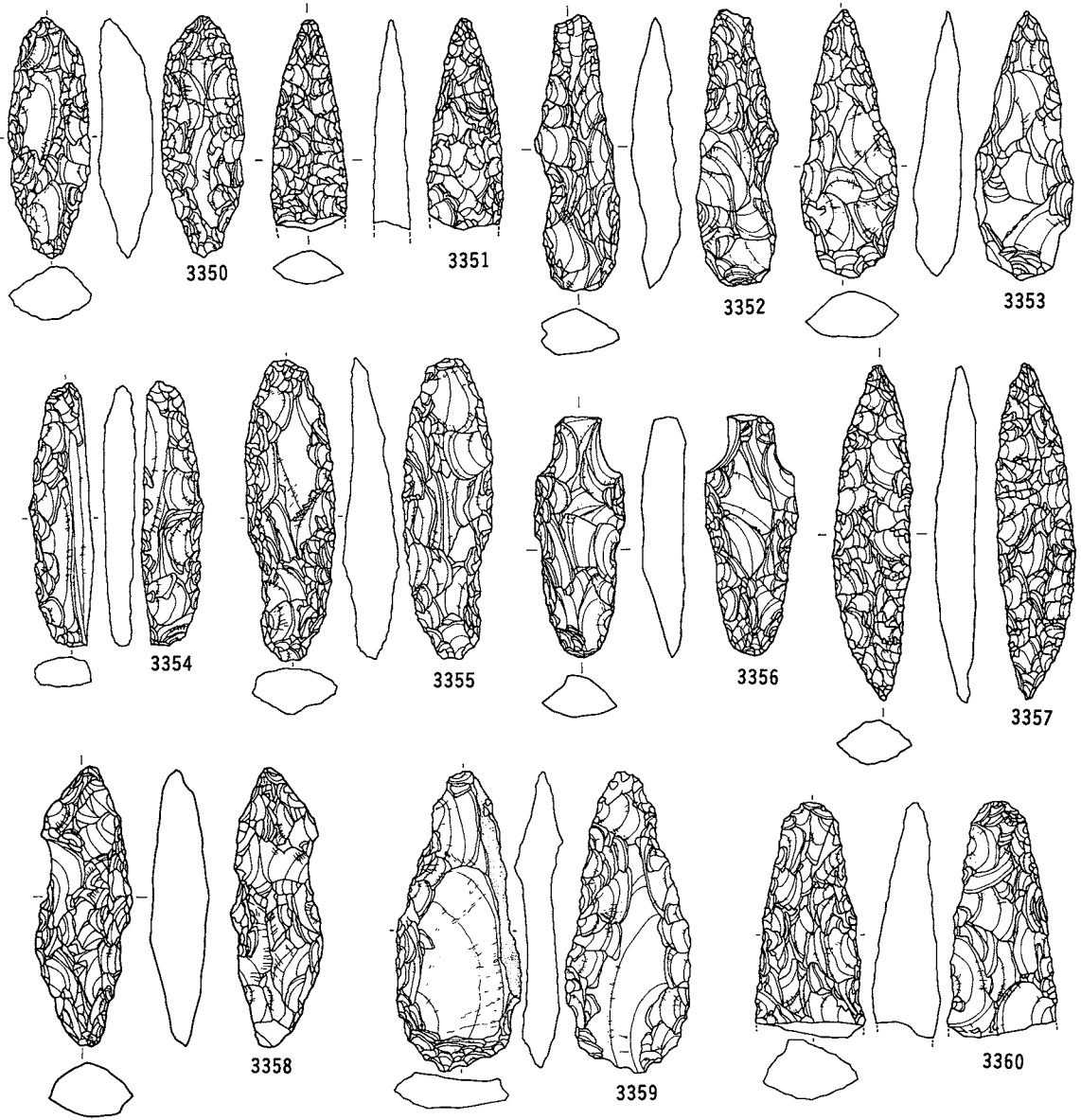
第350図 遺構外出土遺物(23)



S = $\frac{2}{3}$

Na	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3337	IVA 2 h I層	石鏃	3.9	1.2	0.5	2.3	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3338	IVB区0層	石鏃	3.3	1.4	0.6	1.8	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3339	IIIA 8 f I層	石鏃	2.4	1.5	0.4	1.3	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3340	IVA 2 h III層	石鏃	2.5	1.7	0.5	1.3	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3341	IVB 5 e 0層	石鏃	2.2	1.0	0.6	0.6	王髓	不詳	不詳	
3342	IVB 3 b I層	石鏃	2.7	0.9	0.4	0.6	硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
3343	IIIA 10 f I層	尖頭器	3.7	1.6	0.5	4.1	粘板岩	夏油川~和賀川	古生界	*
3344	IVA 2 f I層	尖頭器	4.4	1.1	0.8	3.2	珩質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3345	IIA 1 d III層	尖頭器	4.3	1.4	0.4	2.8	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3346	IIIA 10 e I層	尖頭器	4.8	1.2	0.8	4.1	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3347	VIB 2 a I層	尖頭器	3.9	2.0	0.7	6.1	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3348	IVA 1 h I層	尖頭器	4.4	1.8	0.5	4.1	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3349	IIIA 8 f I層	尖頭器	3.3	1.6	0.6	3.1	粘板岩	夏油川~和賀川	古生界	*

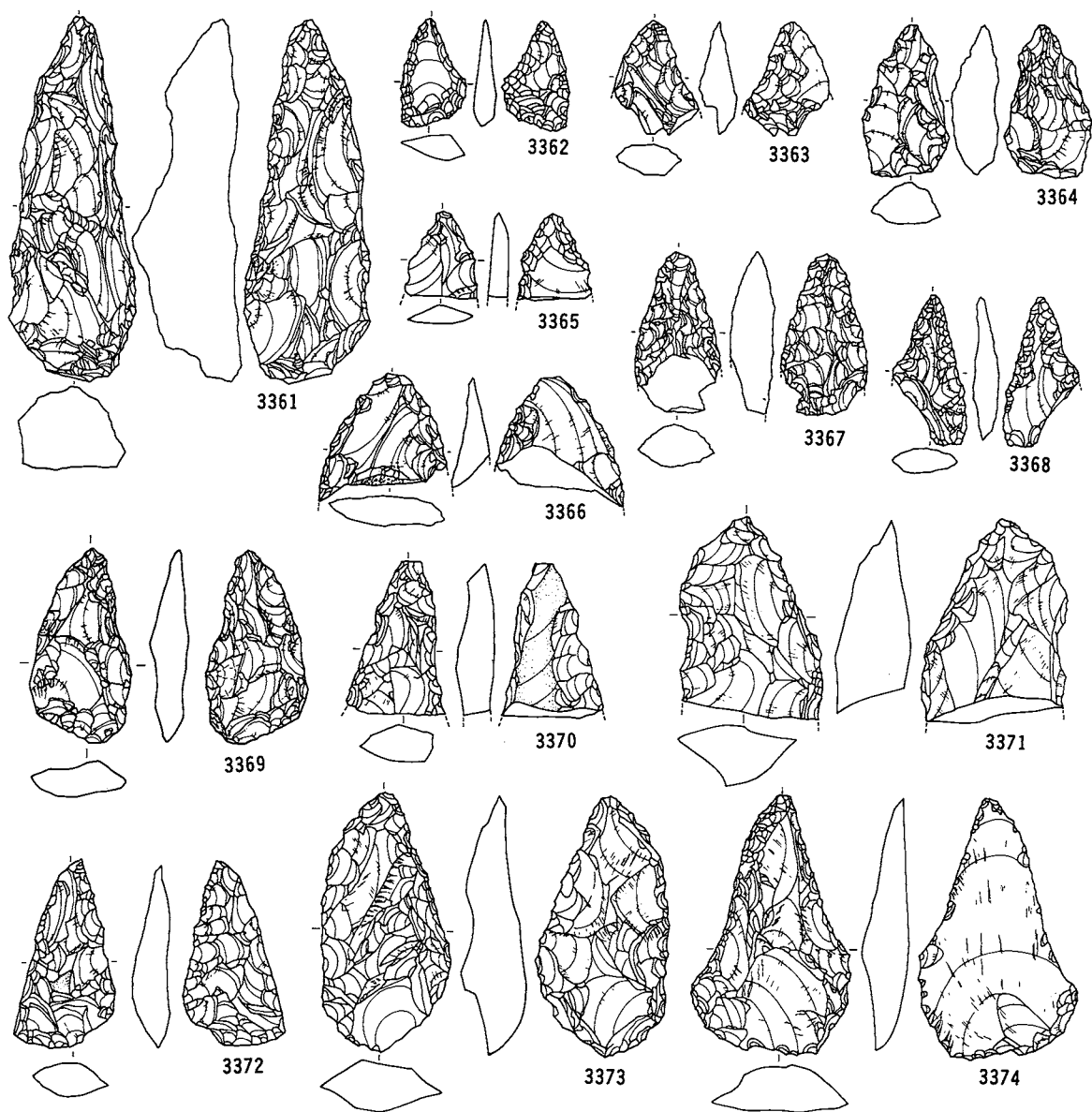
第351図 遺構外出土遺物(24)



$s = \frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3350	ⅢA 4 g I 層	尖頭器	6.7	2.3	1.6	22.8	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3351	ⅢA 8 f I 層	尖頭器	5.9	2.2	0.8	11.1	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3352	ⅢA 9 e I 層	尖頭器	7.7	2.1	1.2	23.2	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3353	ⅢA 8 h I 層	尖頭器	7.5	2.8	1.3	24.7	珩質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
3354	ⅢA 5 e I 層	尖頭器	7.4	1.8	0.9	12.4	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3355	ⅢA 5 f III 層	尖頭器	8.5	2.5	1.6	26.8	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3356	ⅡA 5 c I 層	尖頭器	6.7	2.5	1.2	20.1	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3357	I A 10 f III 層	尖頭器	9.3	2.1	1.1	21.9	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3358	ⅤC 2 c I 層	尖頭器	7.8	2.5	1.5	33.8	珩質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3359	ⅣB 6 a 0 層	尖頭器	8.5	3.5	1.3	34.7	粘板岩	夏油川～和賀川	古生界	
3360	ⅢA 9 e I 層	尖頭器	6.6	3.1	1.9	28.9	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

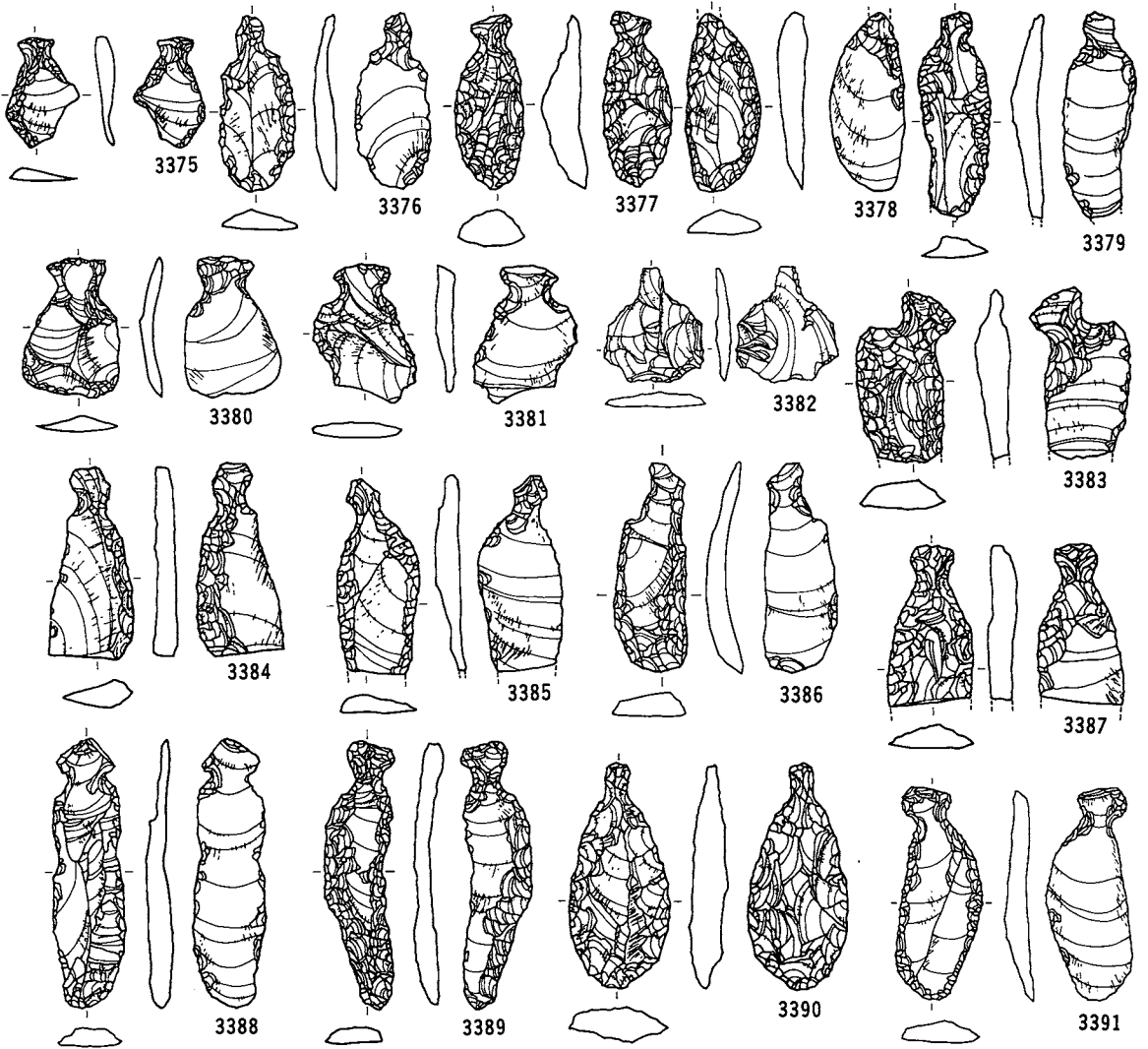
第352図 遺構外出土遺物(25)



S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3361	ⅢA 8 f I層	尖頭器	10.3	3.6	3.0	85.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3362	ⅣB 8 e 0層	Rフレ	4.2	3.1	1.4	15.4	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3363	ⅢA 9 e I層	尖頭器	3.2	2.4	1.1	5.1	珉髓	不詳	不詳	*
3364	ⅢA 6 d I層	尖頭器	4.3	2.5	1.4	10.3	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3365	ⅣA 4 h I層	尖頭器	2.5	2.1	0.6	2.6	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3366	I A区 I層	尖頭器	3.6	3.6	1.0	10.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3367	ⅣA 3 h I層	尖頭器	4.5	2.4	1.2	11.9	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3368	ⅢA区 I層	尖頭器	4.2	2.1	0.7	4.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3369	ⅢA 4 g I層	尖頭器	5.4	2.8	1.1	16.6	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3370	ⅣB区 0層	尖頭器	4.3	2.8	1.0	12.7	極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3371	ⅣA 5 i Ⅲ層	尖頭器	5.7	4.1	2.1	42.2	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3372	ⅢA 2 f I層	尖頭器	6.9	2.9	1.0	12.8	珉質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
3373	ⅣA 4 i I層	尖頭器	7.3	4.7	1.7	36.9	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3374	ⅢA 6 f I層	尖頭器	7.3	4.5	1.3	33.3	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	

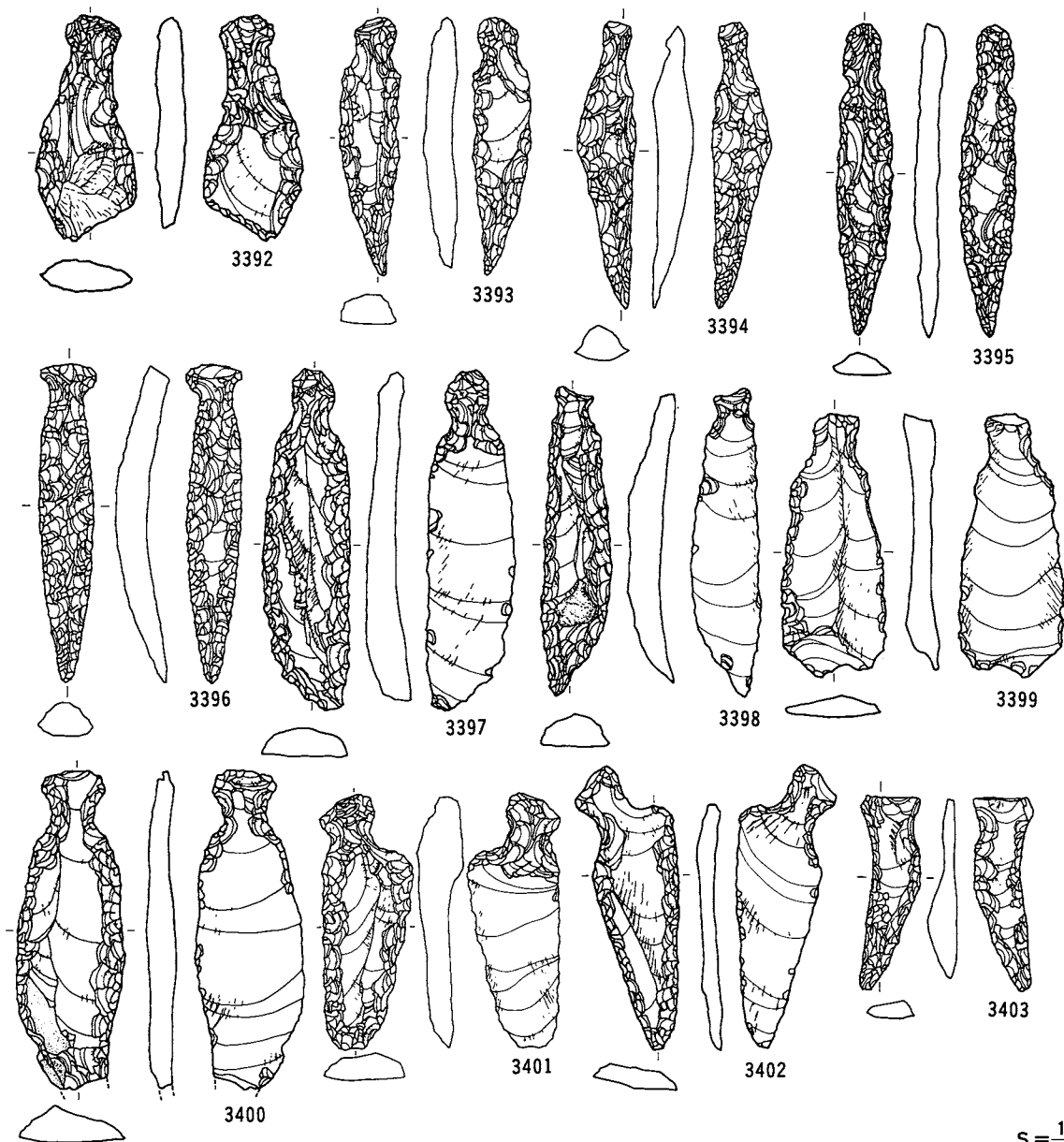
第353図 遺構外出土遺物(26)



S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3375	ⅢA10hⅠ層	石匙	3.0	1.8	0.4	2.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3376	ⅢA8eⅠ層	石匙	4.8	2.1	0.6	4.5	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3377	ⅢA10gⅢ層	石匙	4.7	1.9	1.2	9.1	赤色玻璃質安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3378	ⅡA7cⅠ層	石匙	4.8	2.0	0.8	2.3	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3379	Vc区Ⅰ層	石匙	5.6	2.0	0.9	5.9	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3380	ⅡA3cⅢ層	石匙	3.8	2.6	0.4	4.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3381	ⅣA6gⅠ層	石匙	3.8	2.8	0.5	3.6	粘板岩	夏油川～和賀川	古生界	
3382	ⅡA区Ⅰ層	石匙	3.1	2.8	0.4	2.3	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3383	ⅢA9fⅠ層	石匙	4.6	2.7	1.1	9.5	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3384	ⅣB10cⅠ層	石匙	5.3	2.3	0.8	7.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3385	ⅣB3gⅠ層	石匙	5.3	2.2	0.7	7.2	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3386	ⅣA3hⅠ層	石匙	5.6	1.9	0.6	8.7	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3387	ⅥB4gⅡ層	石匙	4.3	2.3	0.8	7.7	粘板岩	北上山地○r夏油川	古生界	*
3388	ⅣB4gⅡ層	石匙	7.3	2.0	0.7	10.4	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3389	ⅣA1iⅠ層	石匙	7.3	1.9	0.8	7.6	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3390	ⅥB3jⅠ層	石匙	6.1	2.7	1.1	13.4	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3391	ⅢA4h0層	石匙	5.7	2.4	0.8	7.4	珪質泥岩	川尻以西○r雫石西部	新第三系中新統	

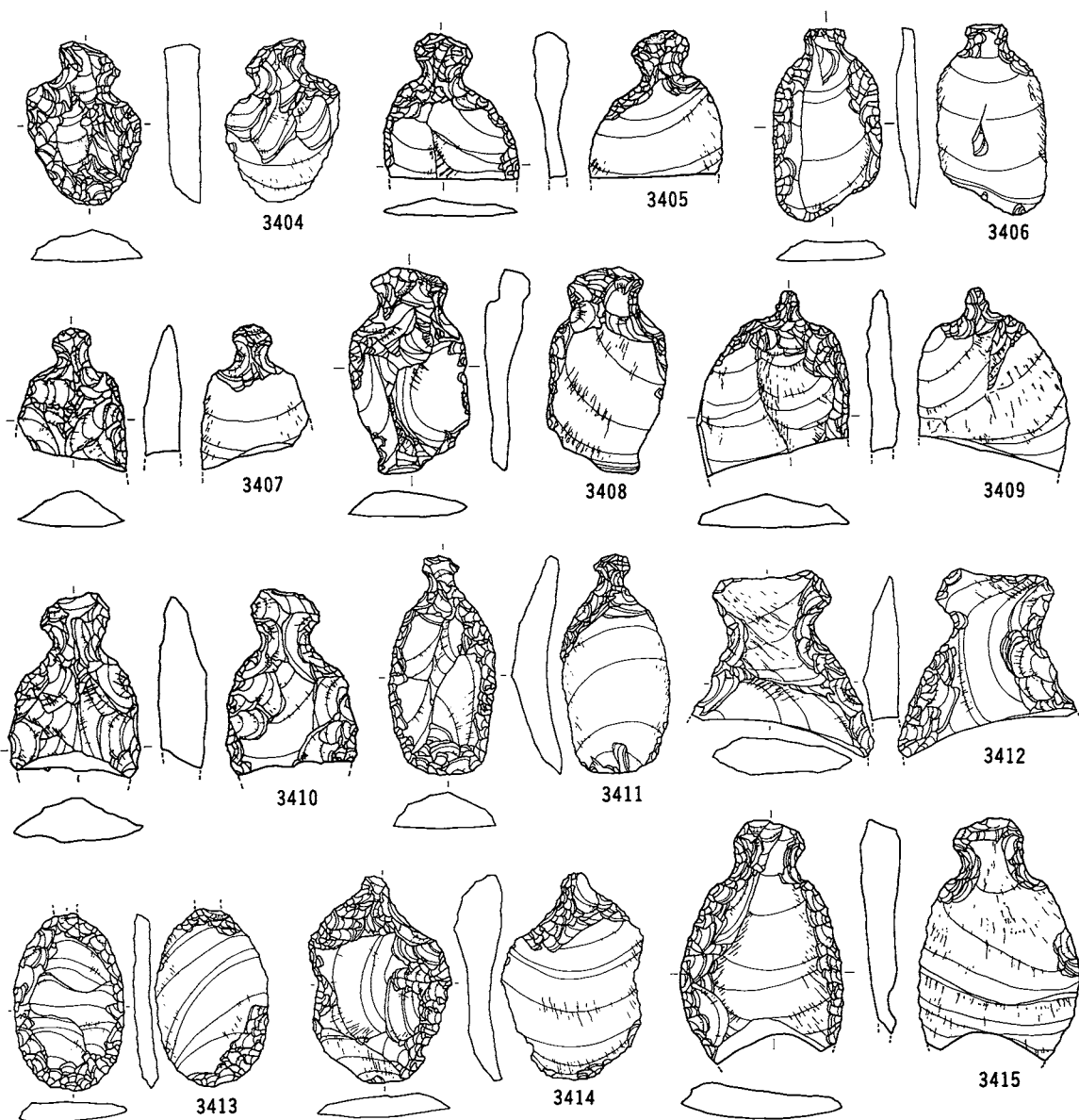
第354図 遺構外出土遺物(27)



S = $\frac{1}{2}$

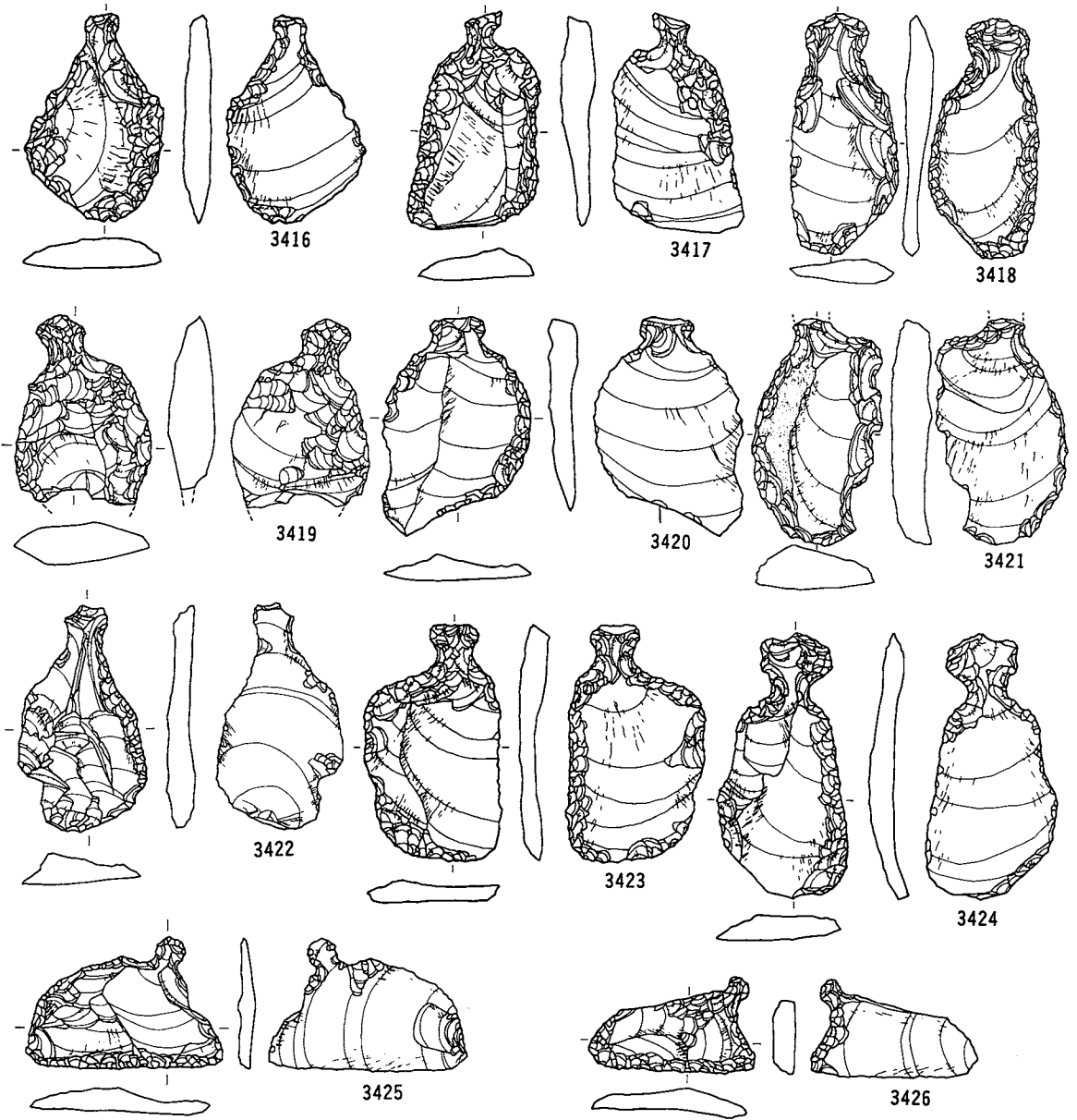
No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3392	ⅢA 5 e Ⅲ層	石匙	6.4	2.8	0.9	14.2	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3393	ⅣB 8 b 0層	石匙	7.3	1.7	1.0	10.8	珉質泥岩	川尻以西 o r 雫石西部	新第三系中新統	
3394	ⅡB 10 b Ⅰ層	石匙	8.1	1.6	1.0	10.8	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3395	ⅤB 5 g Ⅲ層	石匙	8.8	1.6	0.8	10.1	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3396	ⅡA 6 g Ⅲ層	石匙	9.1	1.5	0.9	13.3	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3397	ⅣB 10 d 0層	石匙	9.7	2.5	1.3	27.3	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3398	ⅤB 2 e 0層	石匙	8.8	2.0	1.3	16.5	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3399	ⅣB 3 f 0層	石匙	7.5	3.0	1.0	13.9	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3400	ⅤA 5 j Ⅰ層	石匙	9.1	3.1	1.0	26.8	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3401	ⅣA 5 h Ⅰ層	石匙	7.2	2.6	1.2	18.9	珉質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3402	ⅣA 5 g Ⅰ層	石匙	2.9	8.0	0.7	11.9	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3403	ⅢA 9 g Ⅰ層	石匙	5.5	1.7	0.8	6.7	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第355図 遺構外出土遺物(28)


 $S = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3404	ⅢA 4 h 0 層	石匙	4.6	3.2	1.0	14.2	珉質泥岩	川尻以西 or 翠石西部	新第三系中新統	
3405	ⅢB区 0 層	石匙	4.1	3.8	1.0	9.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3406	ⅣA 4 j Ⅰ層	石匙	5.3	3.0	0.4	10.2	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3407	ⅡA 1 f Ⅲ層	石匙	4.1	3.1	1.1	10.5	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3408	ⅣA 2 g Ⅰ層	石匙	5.7	3.3	0.7	18.6	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3409	ⅣA 1 h Ⅰ層	石匙	5.2	4.3	1.1	18.5	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3410	ⅠA 10 f Ⅲ層	石匙	5.2	3.7	1.1	23.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3411	ⅢA 4 h 0 層	石匙	6.2	3.1	1.4	19.5	珉質泥岩	川尻以西 or 翠石西部	新第三系中新統	
3412	ⅣA 5 i Ⅲ層	石匙	5.3	5.1	1.1	20.6	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3413	ⅣA 1 f Ⅰ層	石匙	4.1	3.1	0.6	11.4	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3414	ⅥB 10 g 0 層	石匙	4.3	5.5	1.2	21.1	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3415	ⅤB 4 a Ⅰ層	石匙	6.8	4.6	1.1	27.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

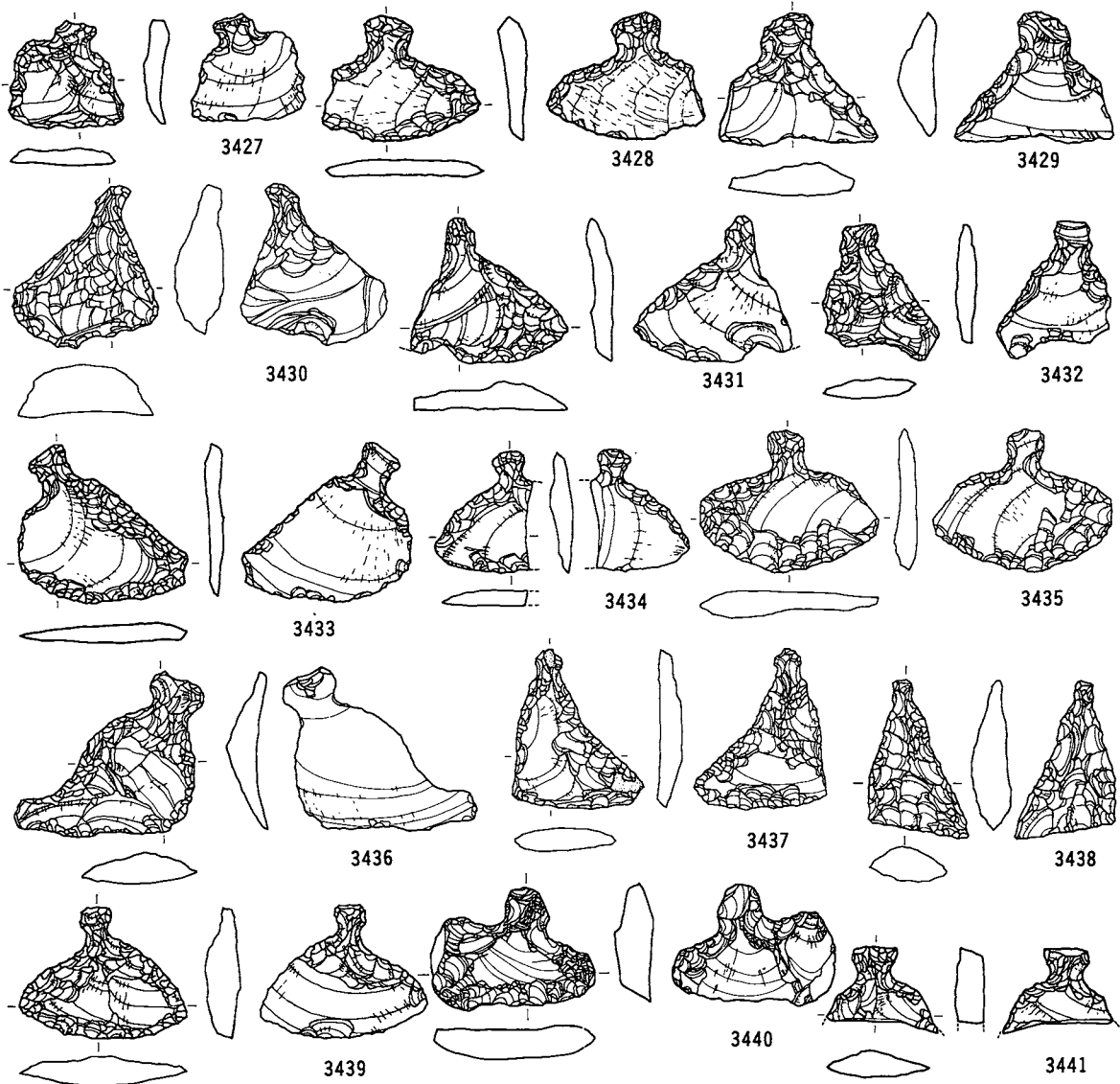
第356図 遺構外出土遺物(29)



S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3416	IVB 3 e 0 層	石匙	5.9	4.0	0.9	19.8	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3417	III B 区 0 層	石匙	6.3	3.8	1.0	21.2	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3418	III A 4 g I 層	石匙	6.9	3.1	0.8	16.4	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3419	II B 10 b I 層	石匙	5.1	4.9	1.3	22.6	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3420	IV A 2 h I 層	石匙	6.3	4.3	0.9	17.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3421	III B 1 b I 層	石匙	6.5	3.8	1.3	31.9	粘板岩	夏油川	古生界	*
3422	IV B 9 c II 層	石匙	8.3	3.6	0.8	16.2	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3423	VIB 3 h I 層下位	石匙	6.8	3.9	0.8	22.3	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3424	VIB 9 e 0 層	石匙	7.6	3.8	1.2	19.5	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3425	IV A 2 h III 層	石匙	3.7	5.6	0.8	12.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3426	IV A 1 f I 層	石匙	2.7	4.9	0.8	8.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

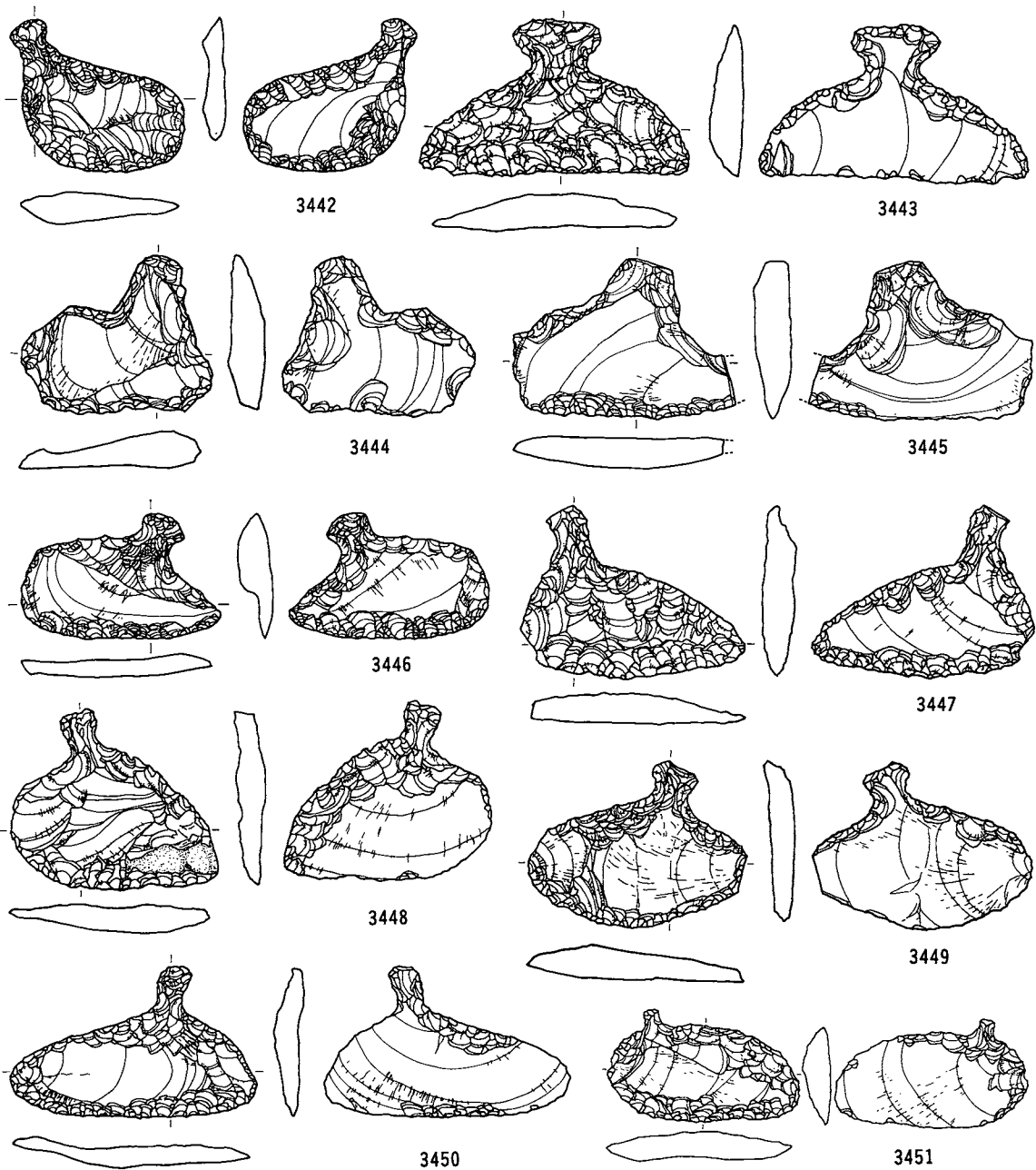
第357図 遺構外出土遺物(30)



S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3427	IVB区0層	石匙	3.0	3.2	0.8	4.7	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3428	III A 5 f III層	石匙	3.5	4.4	0.8	7.2	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3429	III A 10 h I層	石匙	3.7	4.4	1.1	10.9	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3430	III A 3 h 0層	石匙	4.5	4.1	1.5	20.2	珪質泥岩	川尻以西 or 半石西部	新第三系中新統	
3431	III A 8 f I層	石匙	4.0	4.4	0.8	9.5	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3432	VI C 2 a I層	石匙	3.8	3.2	0.6	5.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3433	VA 4 j I層	石匙	4.4	4.7	0.6	9.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3434	IVA 4 j I層	石匙	3.3	2.7	0.6	3.8	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3435	IVB 5 a I層	石匙	3.9	4.9	0.7	10.5	珪質極細粒凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3436	VIB 4 f I層	石匙	4.6	5.3	1.1	11.7	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3437	III B 1 c I層	石匙	4.5	3.7	0.7	8.1	珪質綠色細粒凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3438	III A 10 i I層	石匙	4.5	2.8	9.5	7.8	赤色玻璃質安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3439	II A 1 f III層	石匙	3.7	4.7	1.0	11.9	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3440	III A 5 d I層	石匙	3.2	11.5	1.1	14.7	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3441	III B 10 b I層	石匙	2.4	3.1	0.8	3.5	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

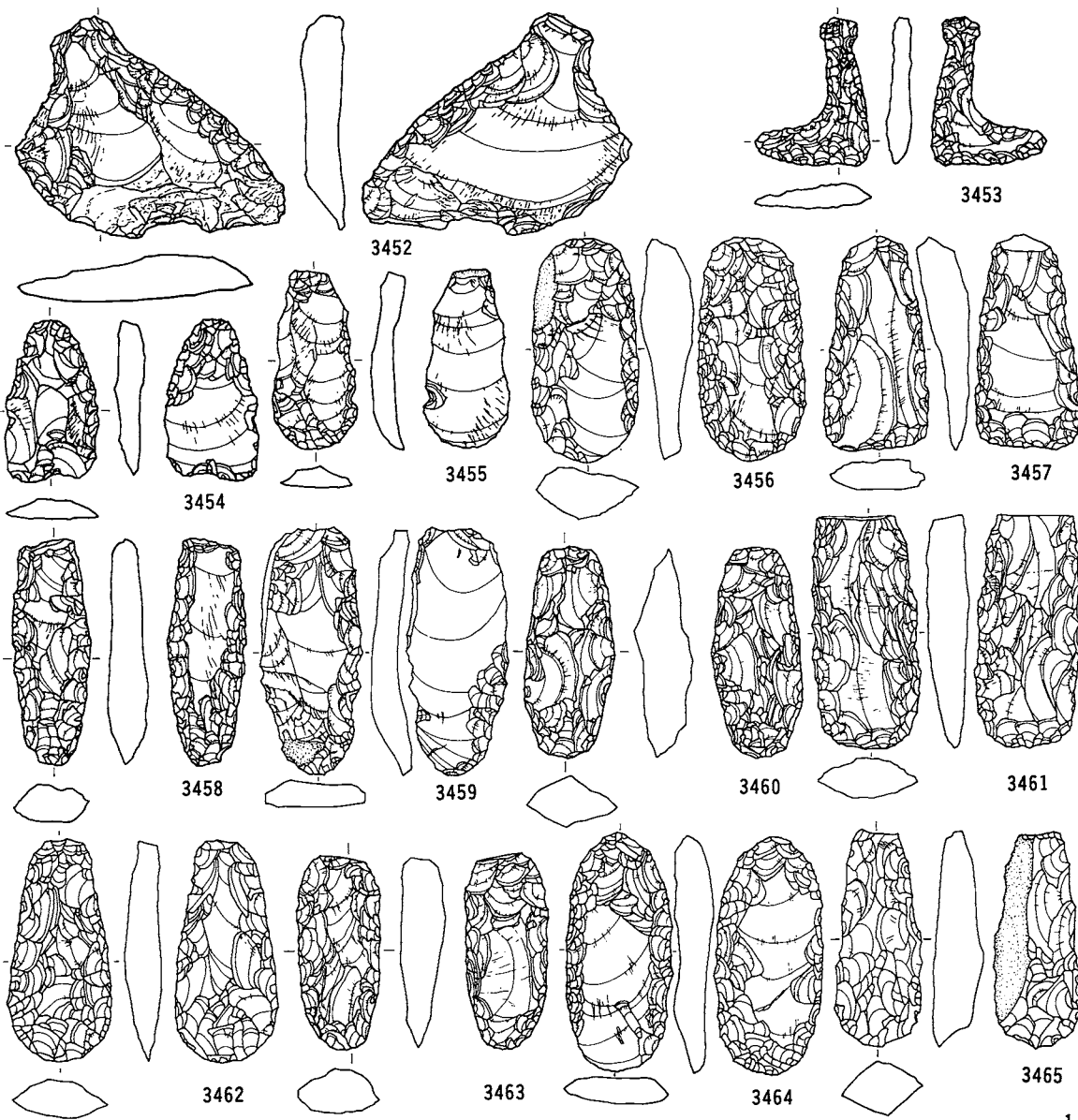
第358図 遺構外出土遺物(31)



No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3442	VIB 3 i III層	石匙	5.1	4.4	0.9	16.6	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3443	II B10 b I層	石匙	4.6	7.9	1.1	27.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3444	VIB 6 f 0層	石匙	4.8	5.6	1.2	19.5	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3445	IIIA 9 e I層	石匙	4.7	6.5	1.1	27.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3446	IVA 2 i I層	石匙	3.6	6.8	0.7	14.7	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3447	VIB 7 e I層	石匙	5.1	6.5	1.0	25.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3448	II A 1 8 III層	石匙	5.2	6.0	0.9	24.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3449	IIIB 10 b I層	石匙	5.0	6.4	1.0	24.7	粘板岩	夏油川～和賀川	古生界	
3450	VIB 5 f III層	石匙	4.5	7.2	0.9	16.4	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3451	IVA 1 h III層	石匙	3.3	5.6	0.9	13.1	硬質泥岩	奥羽山地(隼石)	新第三系中新統	

$s = \frac{1}{2}$

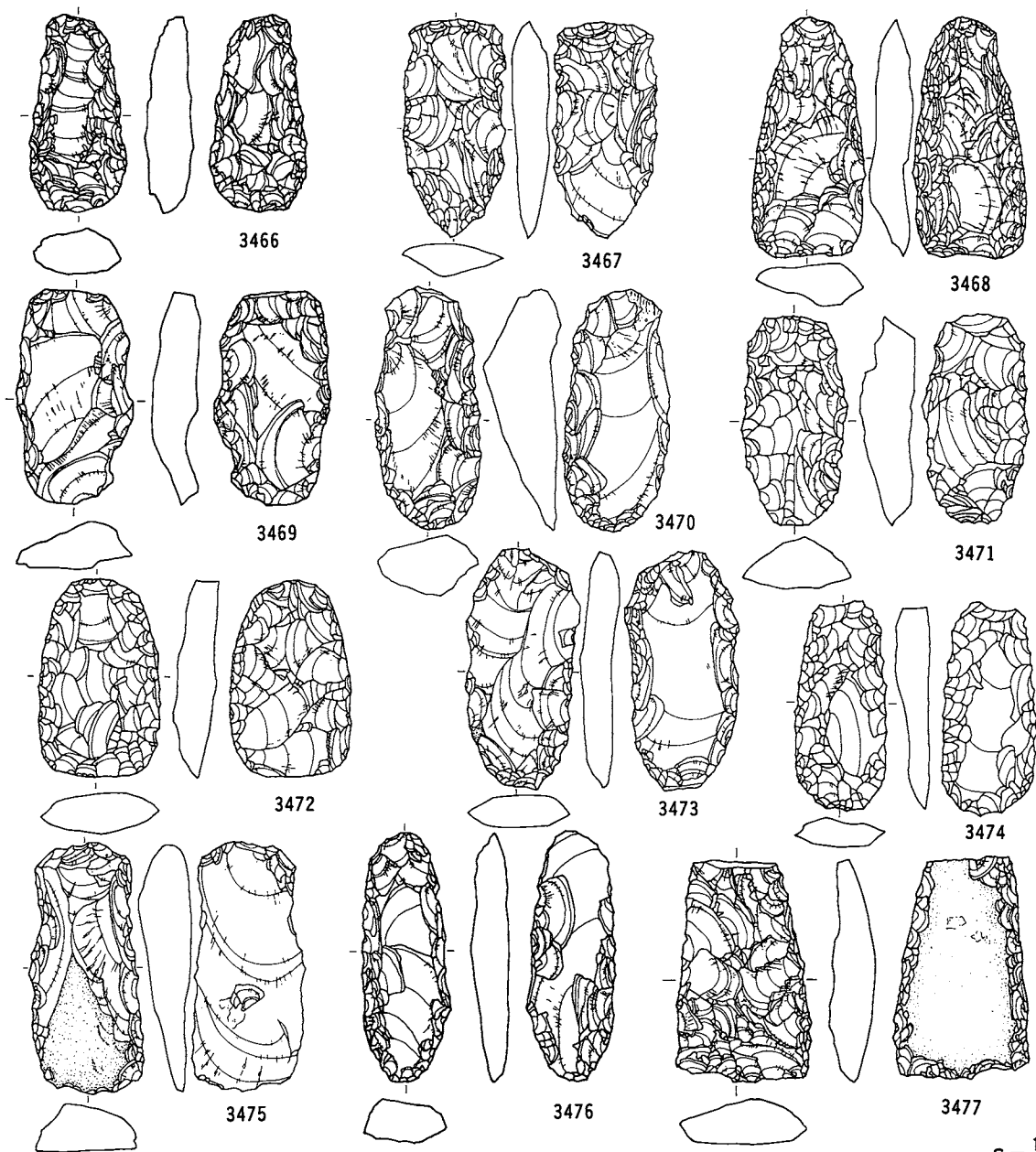
第359図 遺構外出土遺物(32)



S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3452	II B10b I 層	石匙	6.3	7.7	1.3	55.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3453	III A10h I 層	石匙	4.2	3.2	0.7	5.3	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3454	IV B6 f 0 層	石鏡	4.6	2.7	0.9	8.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3455	III A3 h I 層	石鏡	5.1	2.4	1.0	8.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3456	III A4 g I 層	石鏡	5.0	2.9	1.5	32.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3457	IV A1 g III 層	石鏡	7.1	3.0	1.5	19.2	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3458	IV B8 f I 層	石鏡	6.5	2.3	1.2	18.9	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3459	III A5 h I 層	石鏡	7.0	2.8	0.9	23.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3460	III A6 f I 層	石鏡	6.0	2.6	1.4	20.5	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3461	IV A区 I 層	石鏡	6.6	3.1	1.2	25.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3462	III A3 c I 層	石鏡	6.3	3.0	1.1	21.1	硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
3463	III A3 h I 層	石鏡	5.5	2.3	1.2	19.4	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3464	IV A2 h III 層	石鏡	6.7	3.0	1.1	24.5	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3465	IV A1 h II 層	石鏡	6.1	2.5	1.5	20.4	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

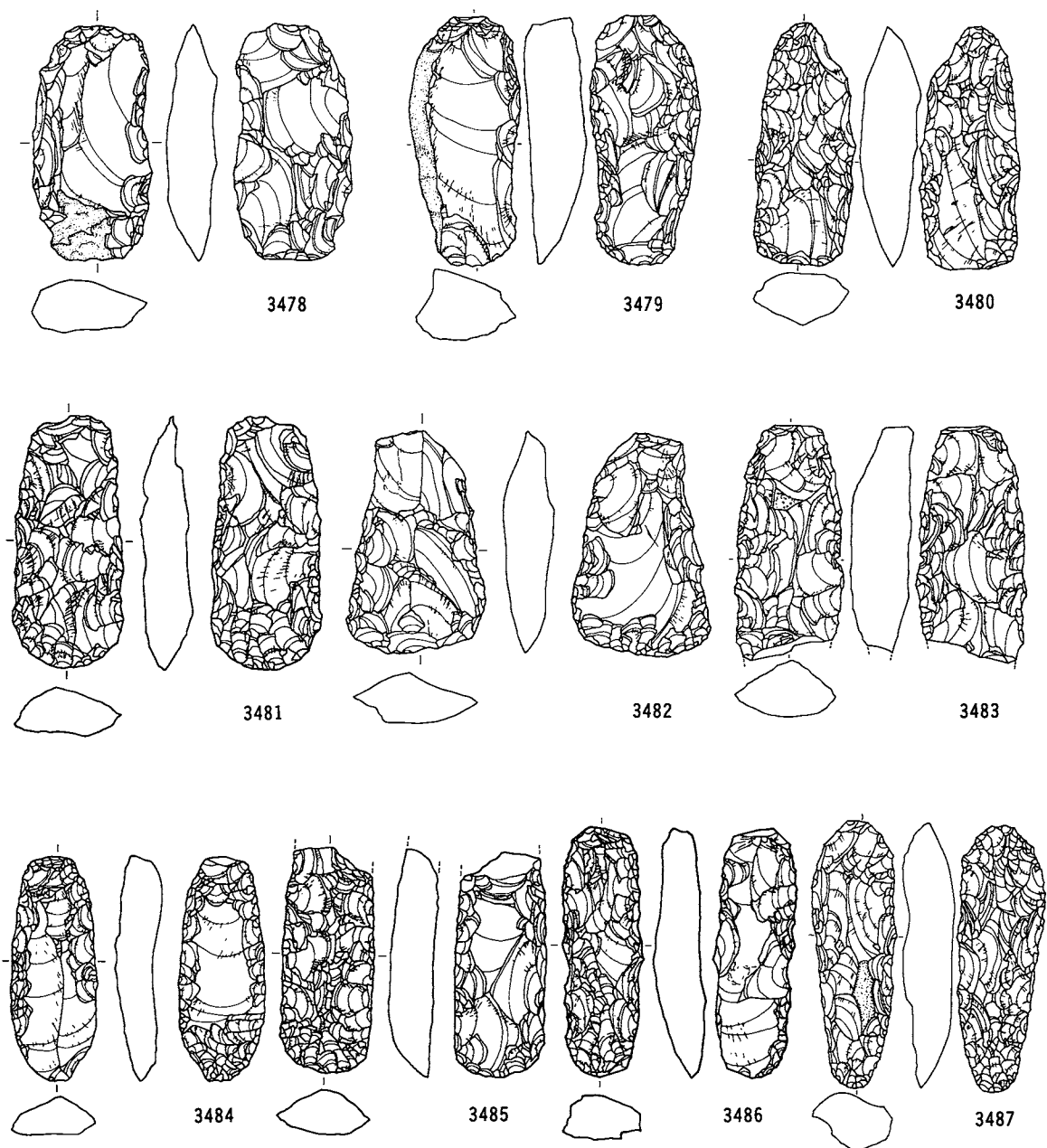
第360図 遺構外出土遺物(33)



$s = \frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3466	IVA10g I層	石筥	5.7	2.8	1.4	22.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3467	III A 5 f I層	石筥	6.2	3.0	1.0	18.9	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3468	IVA 1 g I層	石筥	6.9	3.3	1.1	32.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3469	IVA 1 i I層	石筥	2.6	3.4	1.3	30.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3470	III A 区 0層	石筥	7.0	3.1	2.3	38.6	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3471	II A 10 e I層	石筥	6.0	4.1	1.4	26.2	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3472	III A 3 c I層	石筥	5.7	3.6	1.2	28.6	硬質泥岩	川尻以西 or 半石西部	新第三系中新統	
3473	VIB 8 h I層	石筥	6.9	3.3	0.9	28.3	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3474	IVA 3 i I層	石筥	6.1	2.7	1.1	19.7	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3475	IVA 1 g I層	石筥	7.3	3.2	1.5	40.7	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3476	IVA 8 j I層	石筥	7.3	2.6	1.3	21.9	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3477	III A 9 g I層	石筥	6.4	3.9	1.3	35.5	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

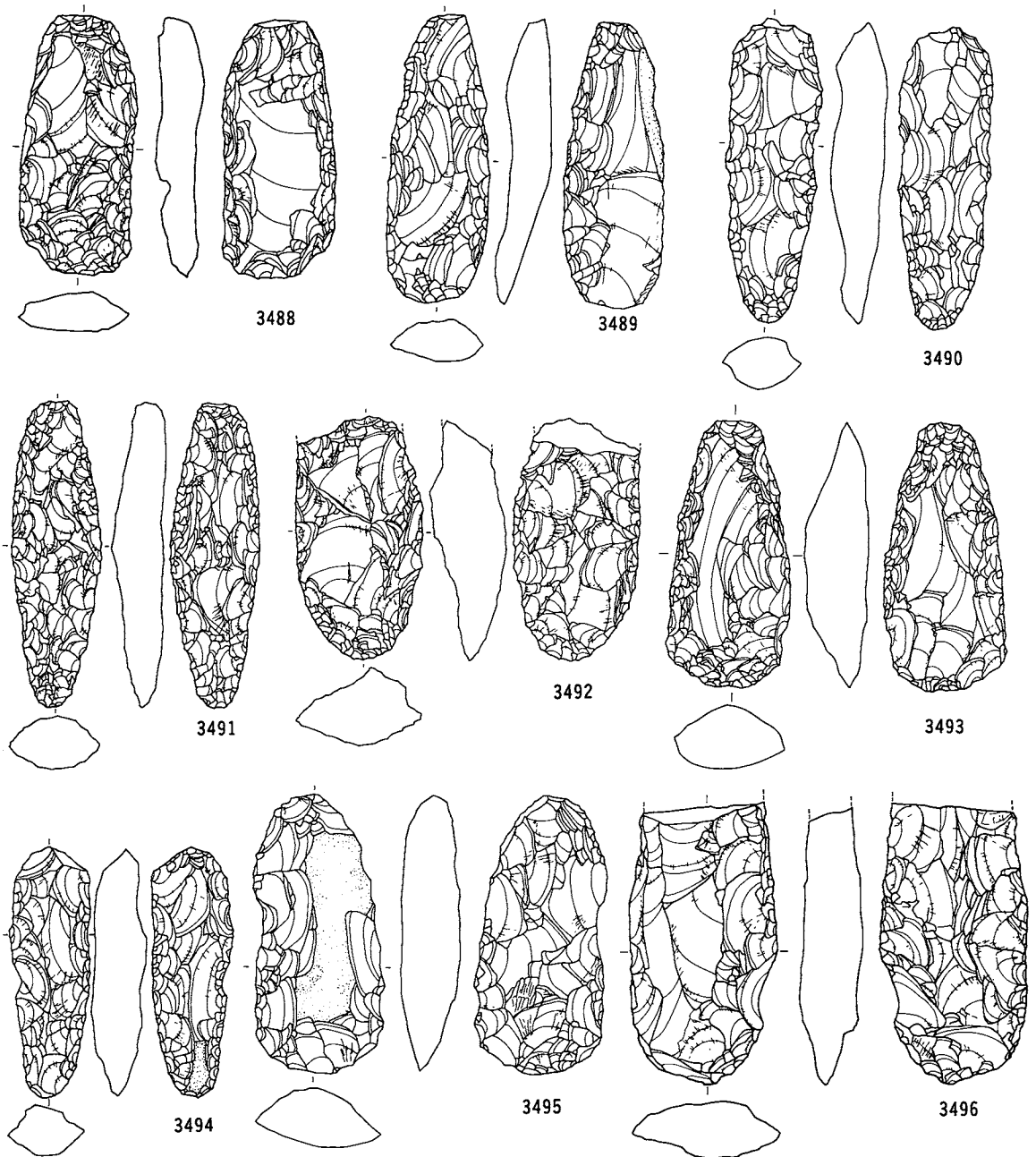
第361図 遺構外出土遺物(34)



S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3478	ⅢA 4 g I 層	石甕	6.9	3.5	1.5	39.4	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3479	ⅢA 7 e I 層	石甕	7.3	3.3	2.1	53.6	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3480	VB 5 h 0 層	石甕	7.0	2.8	1.6	31.4	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3481	ⅢA 3 h I 層	石甕	7.5	3.2	1.5	37.4	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3482	ⅢA 8 g I 層	石甕	6.6	4.1	1.5	37.2	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3483	ⅢB区 0 層	石甕	6.9	3.2	1.8	37.2	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3484	ⅢA 6 f I 層	石甕	6.6	2.6	1.4	20.3	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3485	ⅢA区 I 層	石甕	6.7	2.7	1.3	28.7	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3486	ⅣA 2 i I 層	石甕	7.4	2.4	1.5	27.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3487	ⅢA 9 h I 層	石甕	7.8	2.5	1.5	32.5	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

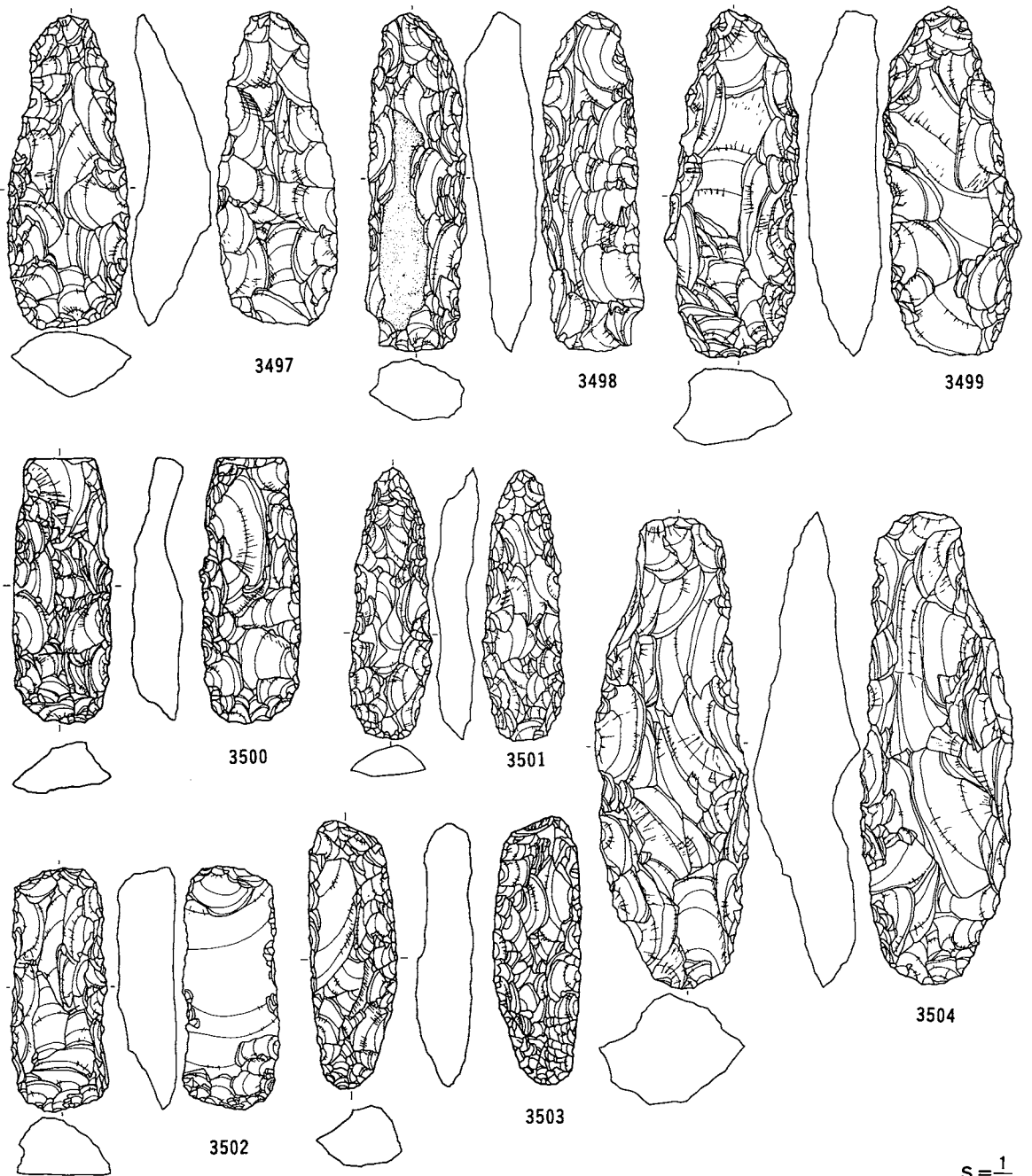
第362図 遺構外出土遺物(35)



$$S = \frac{1}{2}$$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3488	ⅢA 8 h I 層	石筥	7.6	3.4	1.4	38.9	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3489	ⅢA 4 h 0 層	石筥	8.5	3.0	1.8	34.2	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
3490	ⅢA 3 h 0 層	石筥	9.0	2.7	1.5	42.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
3491	ⅢB 1 b I 層	石筥	9.0	2.7	1.5	35.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3492	ⅢA 8 g I 層	石筥	7.2	3.8	2.3	55.1	粘板岩	夏油川～和賀川	古生界	*
3493	I A 9 d Ⅲ 層	石筥	7.9	3.7	1.9	60.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3494	ⅢA 2 g 0 層	石筥	7.3	2.4	1.5	25.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3495	V B 2 a 0 層	石筥	8.2	3.9	1.7	59.9	流紋岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
3496	V B 6 e 0 層	石筥	8.4	4.4	1.9	80.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

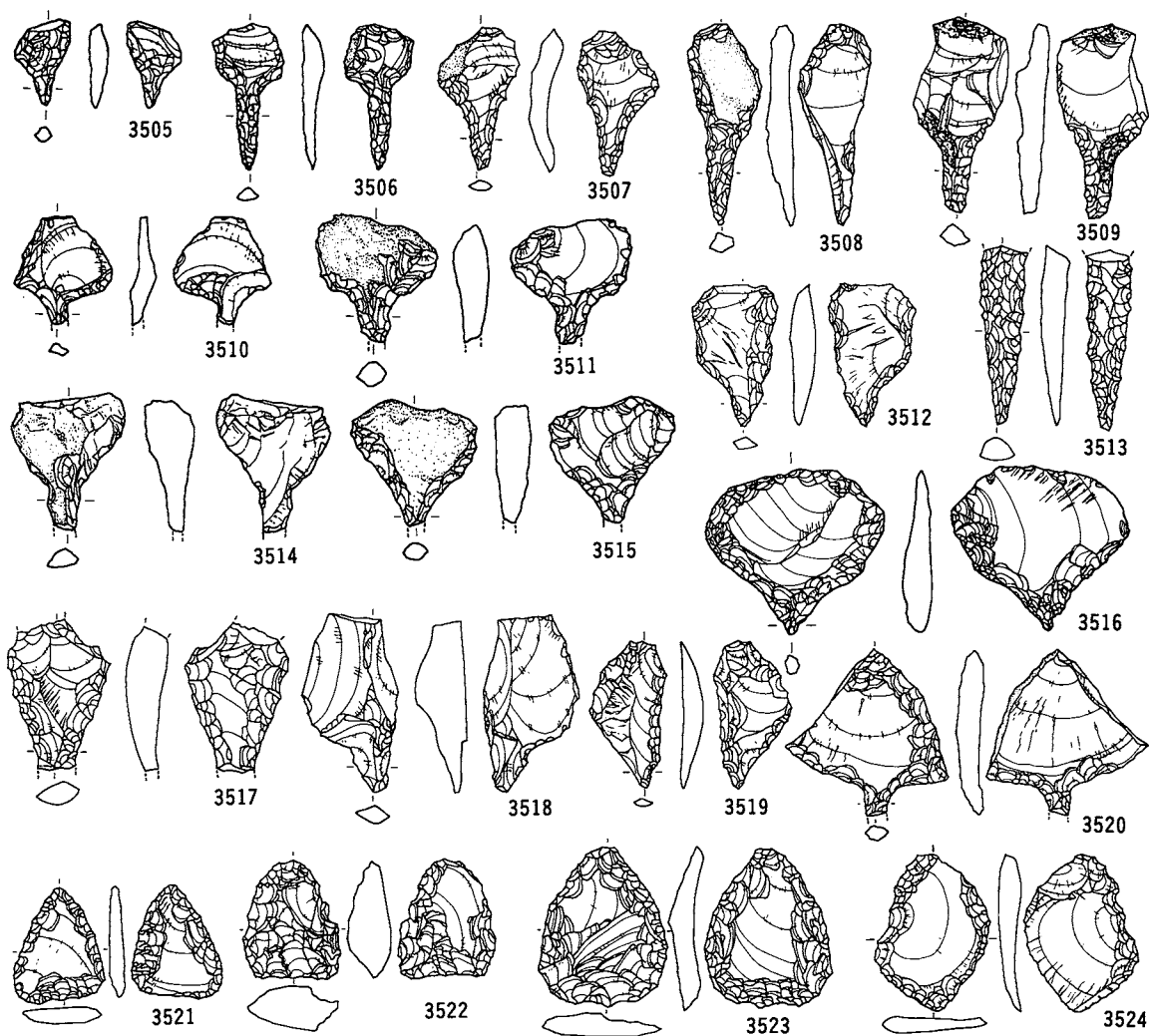
第363図 遺構外出土遺物(36)



S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3497	VA 4 j I 層	石筥	9.4	3.6	2.4	65.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3498	III A 10 i I 層	石筥	10.1	3.1	2.0	70.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3499	III A 7 i I 層	石筥	10.3	4.1	2.3	95.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3500	III A 9 f I 層	石筥	8.0	3.0	1.5	36.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3501	IV B 区 0 層	石筥	8.1	2.4	1.1	27.4	極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3502	IV A 1 f I 層	石筥	7.3	3.0	1.7	42.4	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3503	III A 5 h 0 層	石筥	8.0	2.7	1.7	36.6	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3504	IV A 4 h I 層	石筥	14.1	4.6	3.4	140.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

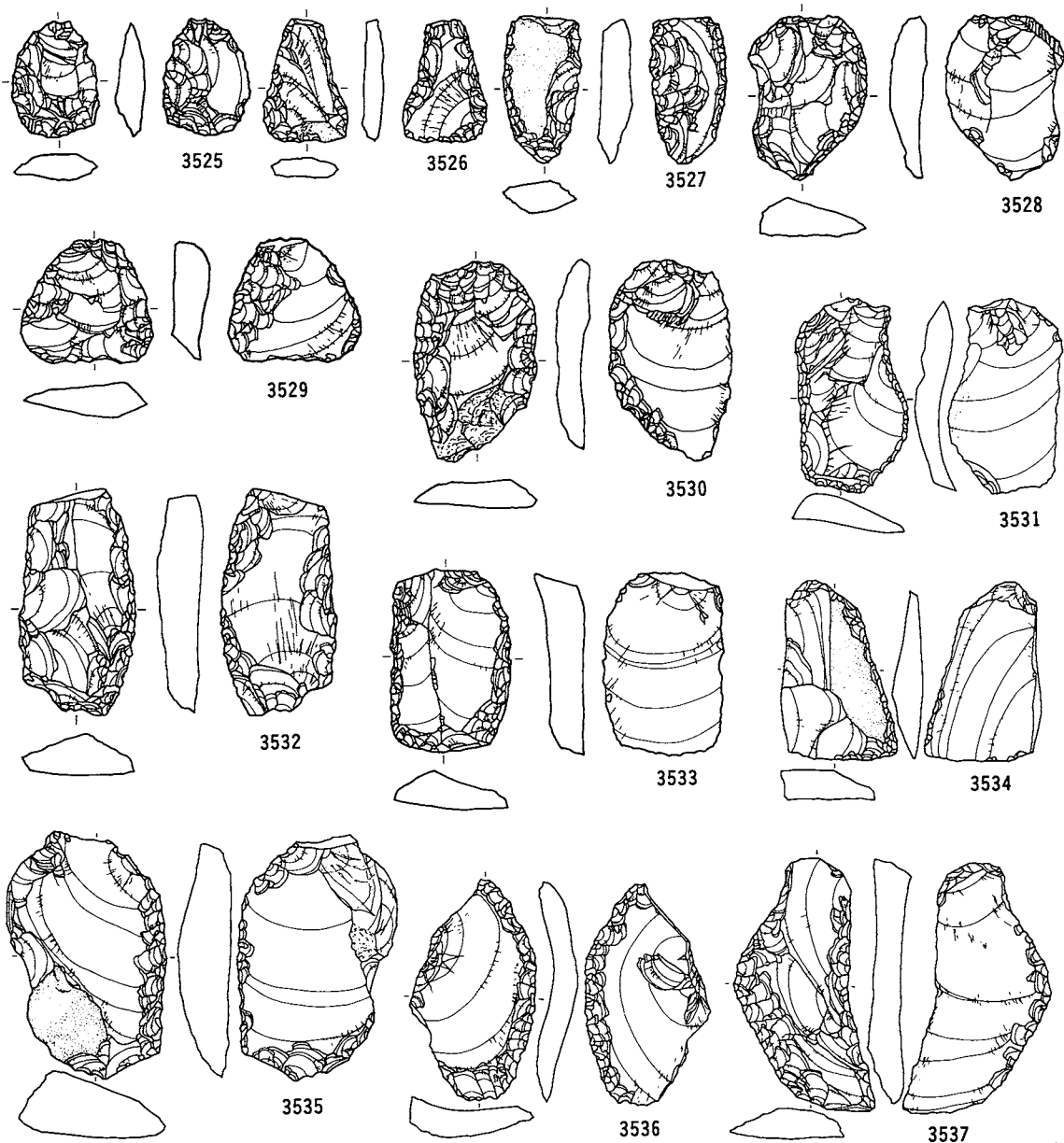
第364図 遺構外出土遺物(37)



S = $\frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3505	III A 10 g I 層	石錐	2.3	1.5	0.5	1.4	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3506	II B 10 b I 層	石錐	3.9	1.9	0.6	2.3	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3507	IV A 1 g I 層	石錐	3.8	2.2	0.6	3.4	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3508	VIB 2 j I 層下位	石錐	5.3	1.9	0.8	4.9	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3509	II A 10 b III 層	石錐	5.2	2.5	0.8	6.5	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3510	III A 5 g I 層	石錐	2.9	2.6	0.7	2.8	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3511	IV B 5 d 0 層	石錐	3.4	3.3	1.0	8.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3512	III A 7 g I 層	石錐	3.8	2.3	0.7	4.6	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3513	IV B 区 0 層	石錐	4.7	1.2	0.7	3.7	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3514	III A 3 g I 層	石錐	3.6	3.1	1.3	7.7	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3515	III A 9 h I 層	石錐	3.4	3.4	1.0	9.4	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3516	III A 9 f I 層	石錐	4.7	4.4	0.8	13.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3517	IV A 5 i III 層	石錐	2.9	2.7	0.9	8.8	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3518	VIB 5 g I 層	石錐	4.7	2.6	1.4	10.4	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3519	VA 5 j I 層	石錐	6.2	6.0	1.2	60.1	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3520	I A 9 c III 層	石錐	4.5	4.3	0.7	10.6	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3521	III B 1 b I 層	三角削器	3.0	2.4	0.2	3.1	粘板岩	夏油川	古生界	
3522	III A 6 f I 層	三角削器	3.2	2.6	1.2	1.7	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3523	III B 1 c I 層	三角削器	4.2	3.4	0.9	8.8	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3524	IV B 9 f I 層	削器	4.2	3.0	0.6	6.3	極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

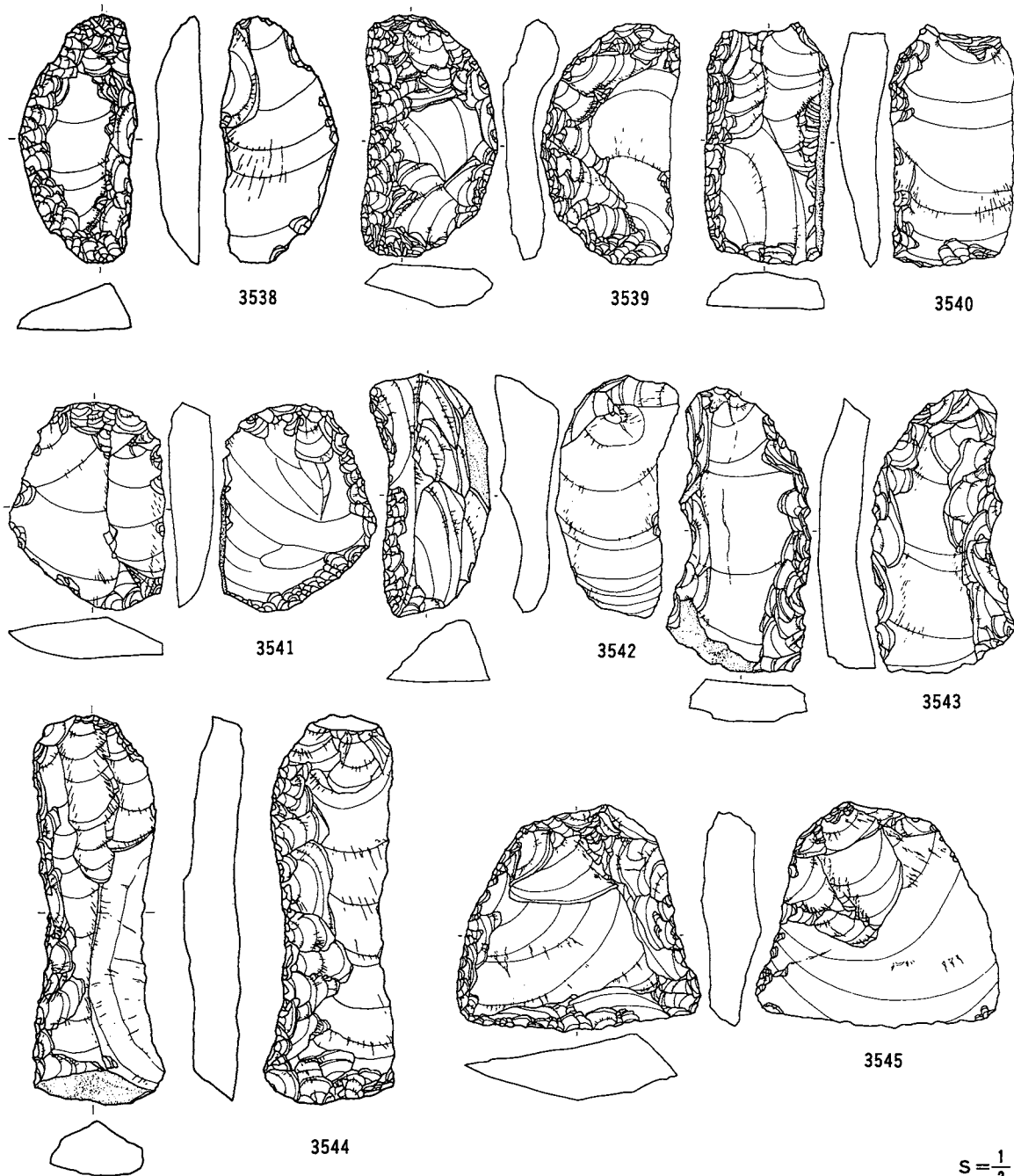
第365図 遺構外出土遺物(38)



S = 1/2

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3525	III B 7 e I 層	三角削器	3.3	2.5	0.9	6.2	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3526	IV A 4 j I 層	削器	3.5	2.4	0.6	5.3	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3527	III A 4 f I 層	削器	4.2	2.2	1.0	9.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3528	III A 3 h I 層	削器	4.7	3.4	1.1	17.4	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3529	IV A 2 j I 層	三角削器	3.6	3.8	1.1	12.6	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3530	IV A 10 e I 層	削器	5.7	3.5	1.0	16.4	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3531	VIB 5 f 0 層	削器	6.5	3.2	0.8	16.1	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3532	III A 9 e I 層	削器	6.5	3.3	1.3	27.6	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3533	I A 7 e III 層	削器	5.2	3.5	1.5	24.9	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3534	IV B 9 c I 層	削器	5.0	3.3	0.9	14.1	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3535	IV A 1 g I 層	削器	7.0	4.5	1.8	60.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3536	III A 7 e I 層	削器	6.3	3.6	1.1	18.4	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3537	III B 区 I 層	削器	7.1	4.2	1.1	22.4	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

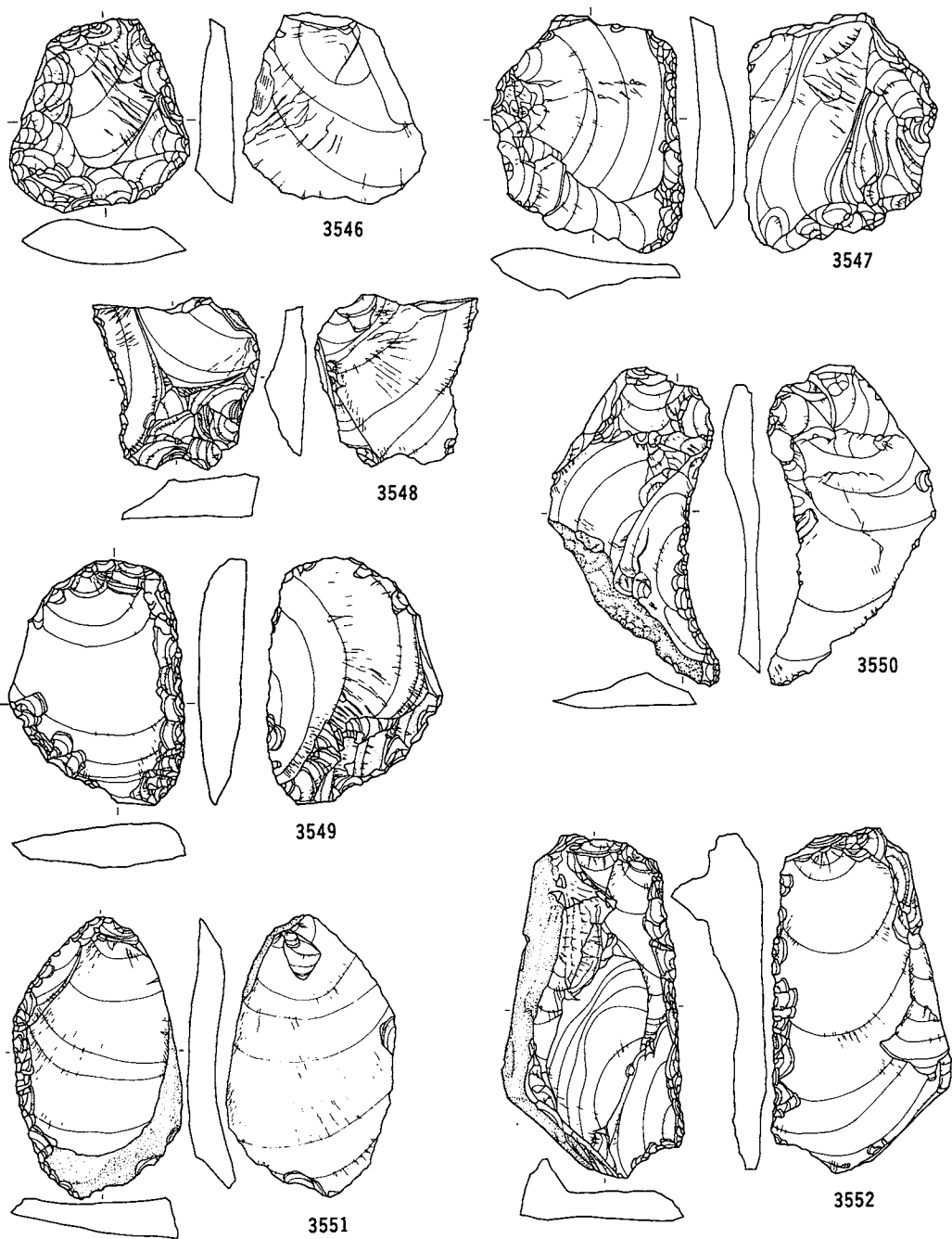
第366図 遺構外出土遺物(39)



$s = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3538	IVA 3 g I 層	削器	7.4	3.6	1.4	31.8	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3539	IVA 5 i I 層	削器	7.3	4.2	1.6	42.6	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3540	VIB 5 f III 層	削器	7.3	3.8	1.5	40.5	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3541	IVA 1 i I 層	削器	5.2	4.8	1.2	37.8	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3542	VIB 2 f I 層	削器	7.3	3.7	2.0	36.8	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3543	III A 6 f III 層	削器	8.6	4.4	1.7	60.1	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3544	VIB 7 f II 層	削器	11.7	4.0	1.8	90.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3545	IVA 4 h I 層	削器	6.2	5.3	1.9	90.1	両輝石安山岩	本畑付近	新第三系鮮新統	

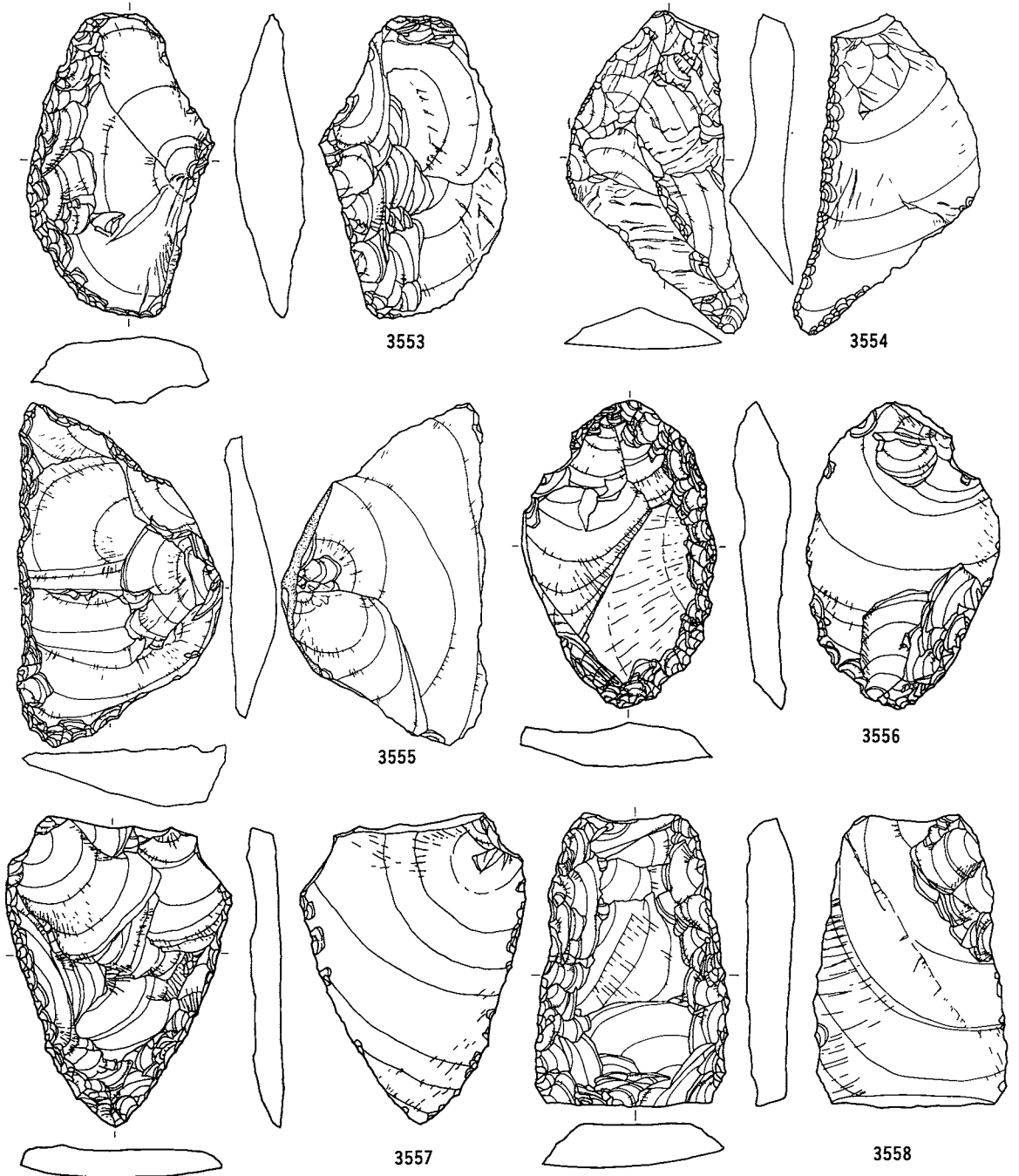
第367図 遺構外出土遺物(40)



s = 1/2

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3546	VIB 4 g II層	削器	5.7	5.2	1.2	33.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3547	IVB 9 c II層	削器	6.7	5.5	1.2	44.4	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3548	III B 3 d I層	削器	5.0	4.7	1.3	23.3	珪質極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3549	III A 10 h I層	削器	7.1	5.1	1.4	55.6	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3550	VIB 5 j I層	削器	6.0	5.0	1.8	42.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3551	III A 4 g I層	削器	8.1	4.9	1.4	48.6	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3552	IV A 1 i III層	削器	9.9	5.2	2.6	95.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	

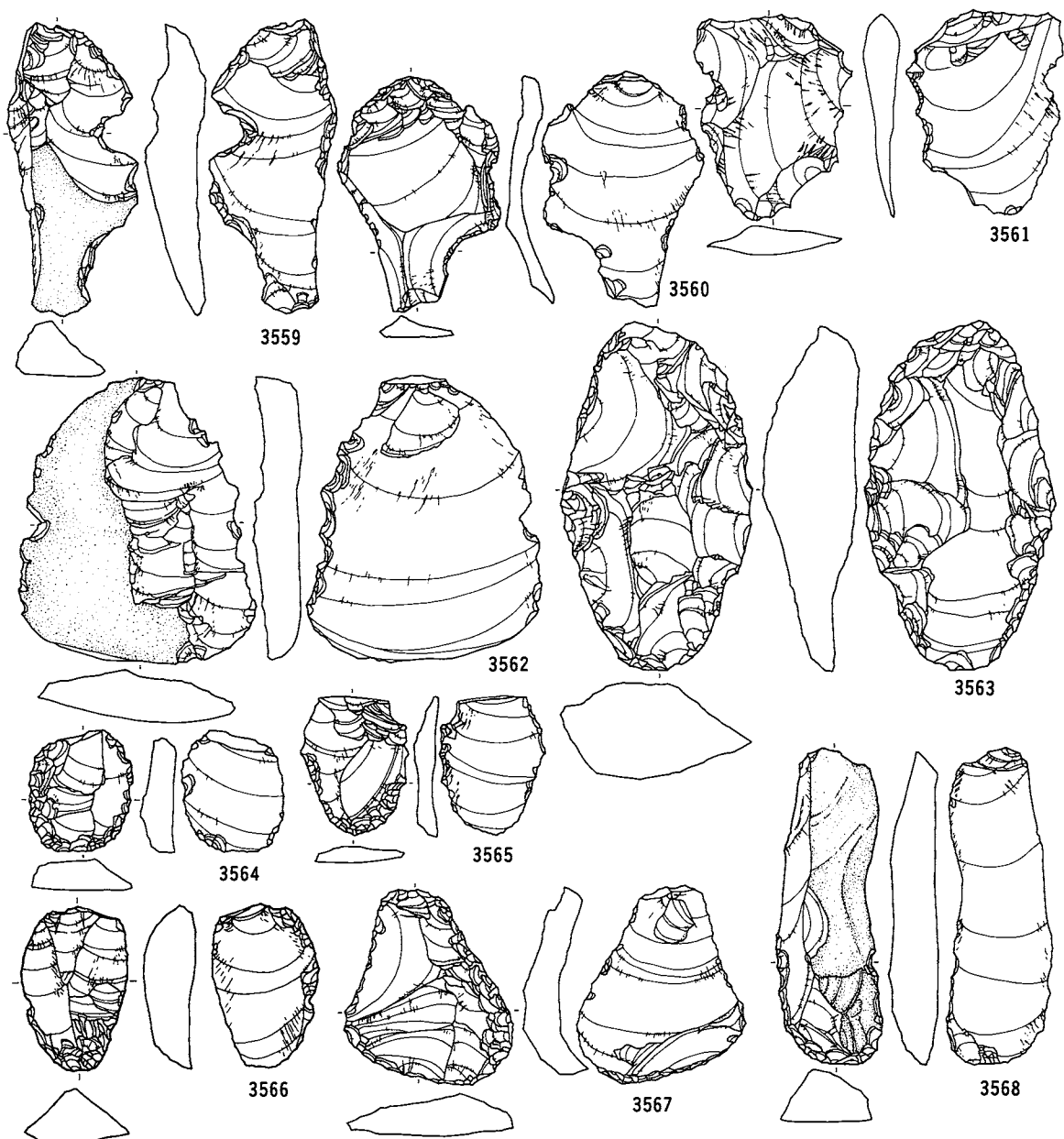
第368図 遺構外出土遺物(41)



$S = \frac{1}{2}$

Na	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3553	ⅣA 6 f I層	削器	9.2	5.7	2.2	95.1	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3554	ⅢA 9 e I層	削器	9.7	4.7	1.5	55.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3555	ⅣA 3 i I層	削器	10.4	6.3	1.9	85.1	粘板岩	夏油川～和賀仙人	古生界	
3556	ⅣA 1 i I層	削器	9.4	5.9	1.7	85.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3557	ⅢA 10 h I層	削器	9.5	6.9	1.0	70.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3558	VA 3 j I層	削器	5.9	5.9	1.5	105.0	珩質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

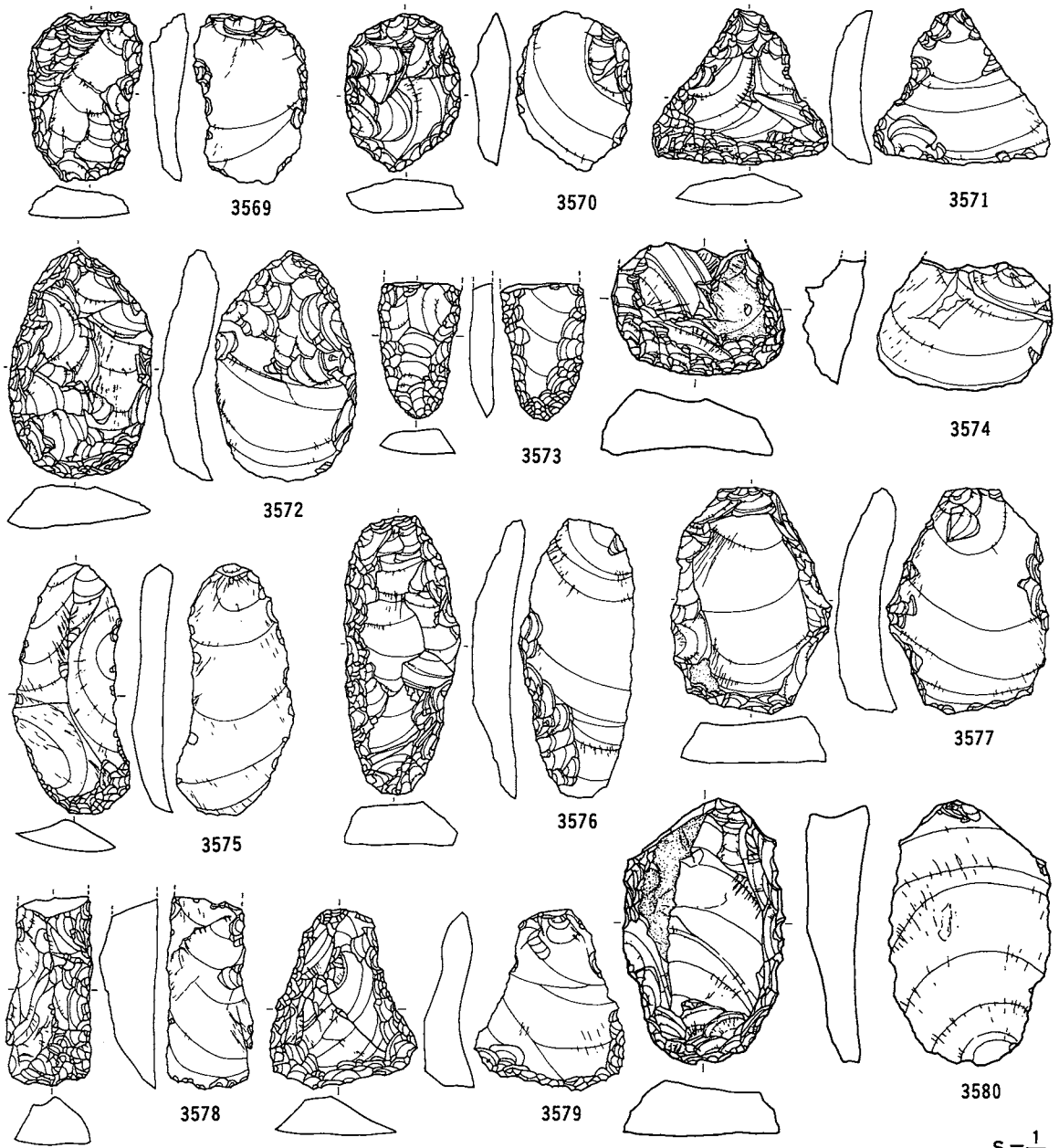
第369図 遺構外出土遺物(42)



$s = \frac{1}{2}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3559	IVB 4 d 0 層	挟入石器	8.5	3.8	1.8	38.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3560	IIIA 9 h I 層	挟入石器	6.8	4.7	1.4	19.1	極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3561	VIB 4 h I 層	鋸齒状石器	5.9	4.7	1.1	20.3	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3562	IVA 4 g I 層	鋸齒状石器	8.3	6.9	1.5	85.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3563	IVB区 I 層	擡器	10.0	5.6	2.8	135.0	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3564	VIB 6 e I 層	円形擡器	3.5	3.0	1.1	10.4	粘板岩	北上山地 o r 夏油川	古生界	
3565	VIB 6 h II 層	擡器	4.0	3.1	0.8	7.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3566	IVB 9 e 0 層	擡器	4.8	3.1	1.5	19.3	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3567	IIIA 4 g I 層	擡器	5.7	4.9	1.8	30.9	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3568	IVB区 I 層	擡器	9.1	7.1	1.9	175.0	両輝石安山岩	本畑付近	新第三系鮮新統	

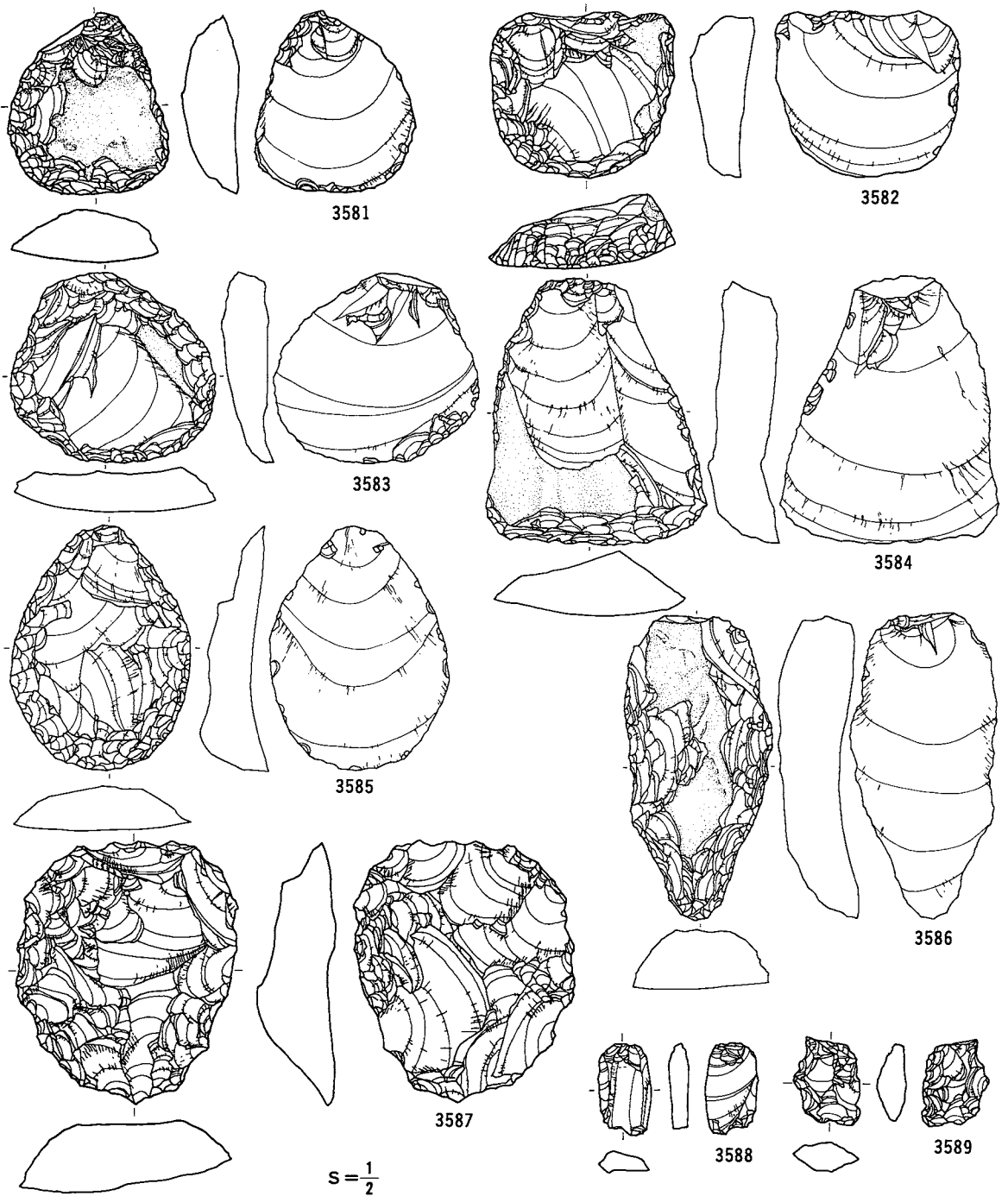
第370図 遺構外出土遺物(43)



$$S = \frac{1}{2}$$

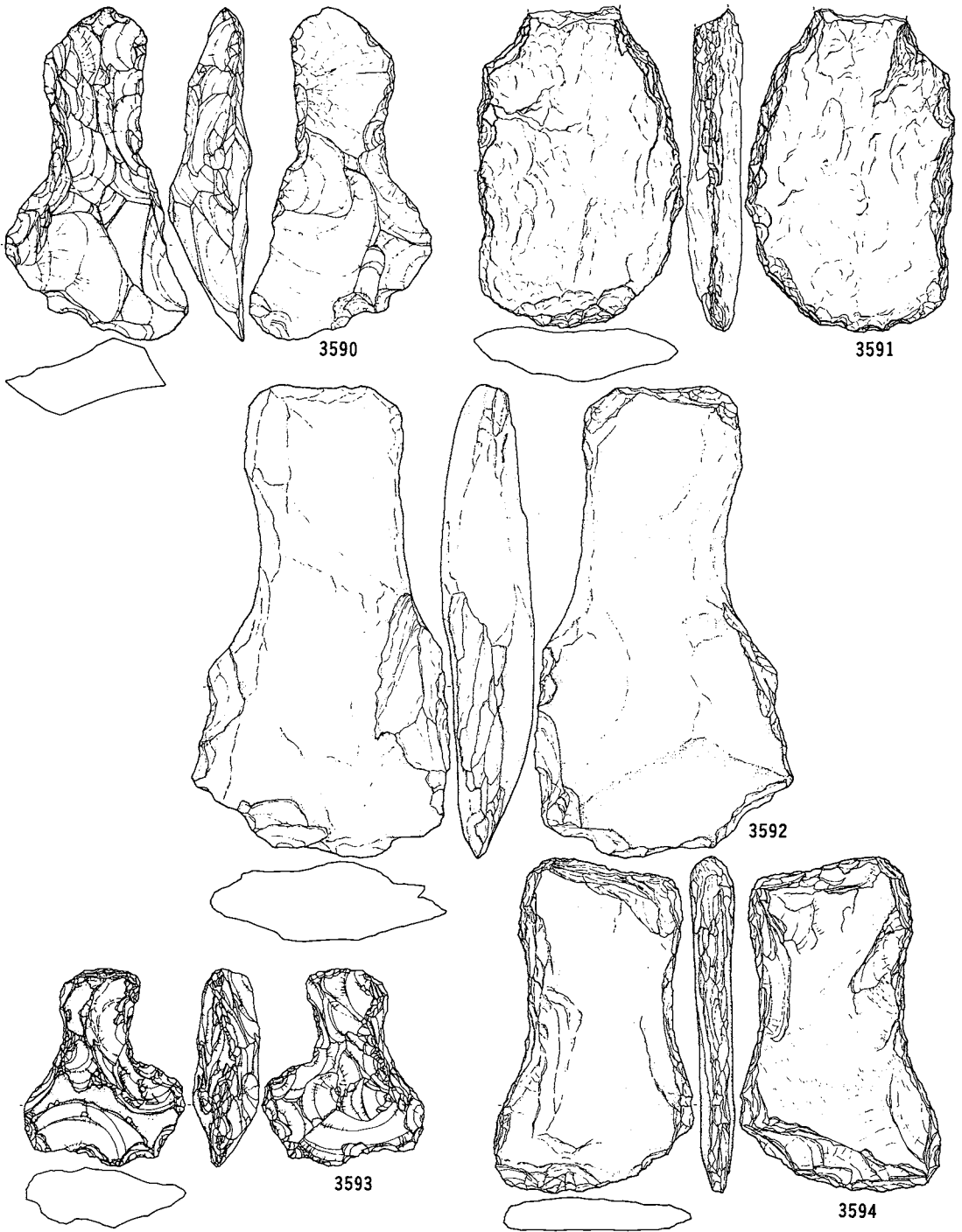
No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3569	IV A 6 e I 層	搔器	4.9	3.3	1.2	16.2	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3570	III B 区 I 層	円形搔器	4.6	3.4	1.2	16.2	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3571	IV A 1 h III 層	搔器	4.5	5.1	1.3	19.5	珉質泥岩	平石	新第三系中新統	
3572	III A 5 f I 層	搔器	6.7	4.1	1.7	36.2	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3573	III A 4 g I 層	搔器	6.1	2.4	0.7	8.3	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3574	III A 10 e I 層	搔器	3.8	5.1	1.9	37.8	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3575	VB 9 d 0 層	搔器	6.5	3.4	0.8	17.9	珉質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3576	III A 9 f III 層	搔器	8.1	3.4	1.5	40.1	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3577	VB 7 g 0 層	搔器	6.6	4.7	1.8	55.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3578	VB 5 e 0 層	搔器	4.0	2.5	1.7	23.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3579	VB 5 g 0 層	搔器	5.5	4.3	0.7	29.1	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3580	III B 区 0 層	円形搔器	7.7	4.7	1.8	75.1	珉質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第371図 遺構外出土遺物(44)



No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3581	IVA 2 h I 層	円形搔器	5.6	5.0	1.8	45.8	珪質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3582	III A 2 g I 層	円形搔器	5.1	5.7	2.3	70.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3583	IV B 区 0 層	円形搔器	5.8	6.3	1.5	57.1	極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3584	IVA 2 h III 層	搔器	8.2	6.8	2.3	110.0	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3585	III A 4 h 0 層	搔器	7.6	5.5	2.2	75.1	凝灰質硬質泥岩	川尻以西 or 雫石西部	新第三系中新統	
3586	VIB 9 g I 層	搔器	9.4	4.6	2.4	95.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3587	III A 区 表採	円形搔器	8.1	6.8	2.5	130.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3588	I A 区 I 層	ピエス・エスキーユ	2.8	1.6	0.7	3.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3589	III A 2 h 0 層	ピエス・エスキーユ	2.7	2.1	0.9	4.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

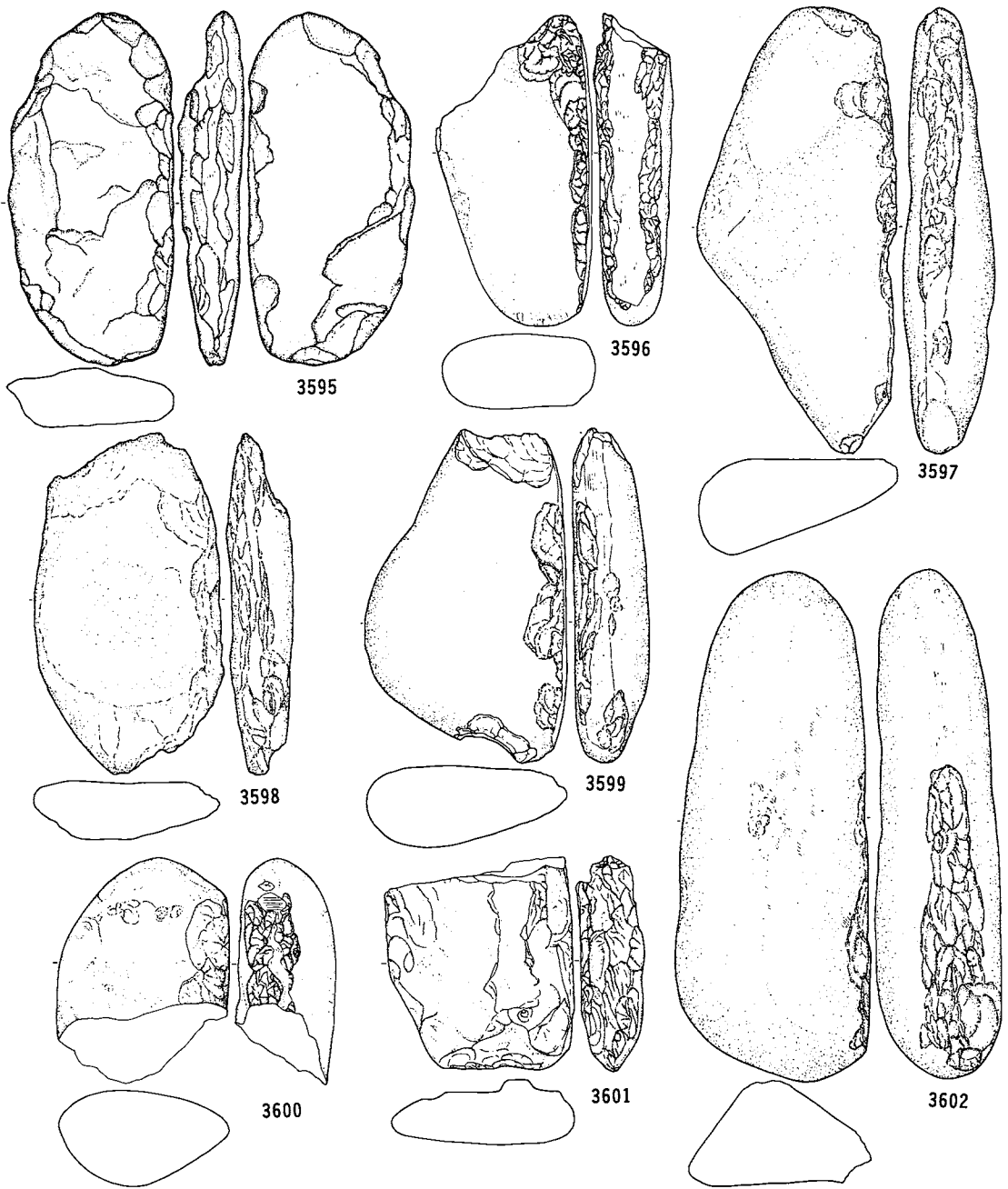
第372図 遺構外出土遺物(45)



$s = \frac{1}{3}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3590	IIA9dI層	石鎌	15.0	8.3	3.1	275.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3591	VIIC区I層	石鎌	14.6	9.4	2.3	440.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3592	VIB7eI層	石鎌	21.5	11.7	4.3	1080.0	粘板岩	夏油川~和賀仙人	古生界	
3593	VB5aI層	石鎌	9.0	7.4	3.1	150.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3594	IA10e0層	石鎌	15.3	9.1	2.1	340.0	粘板岩	仙人~夏油川	古生界	

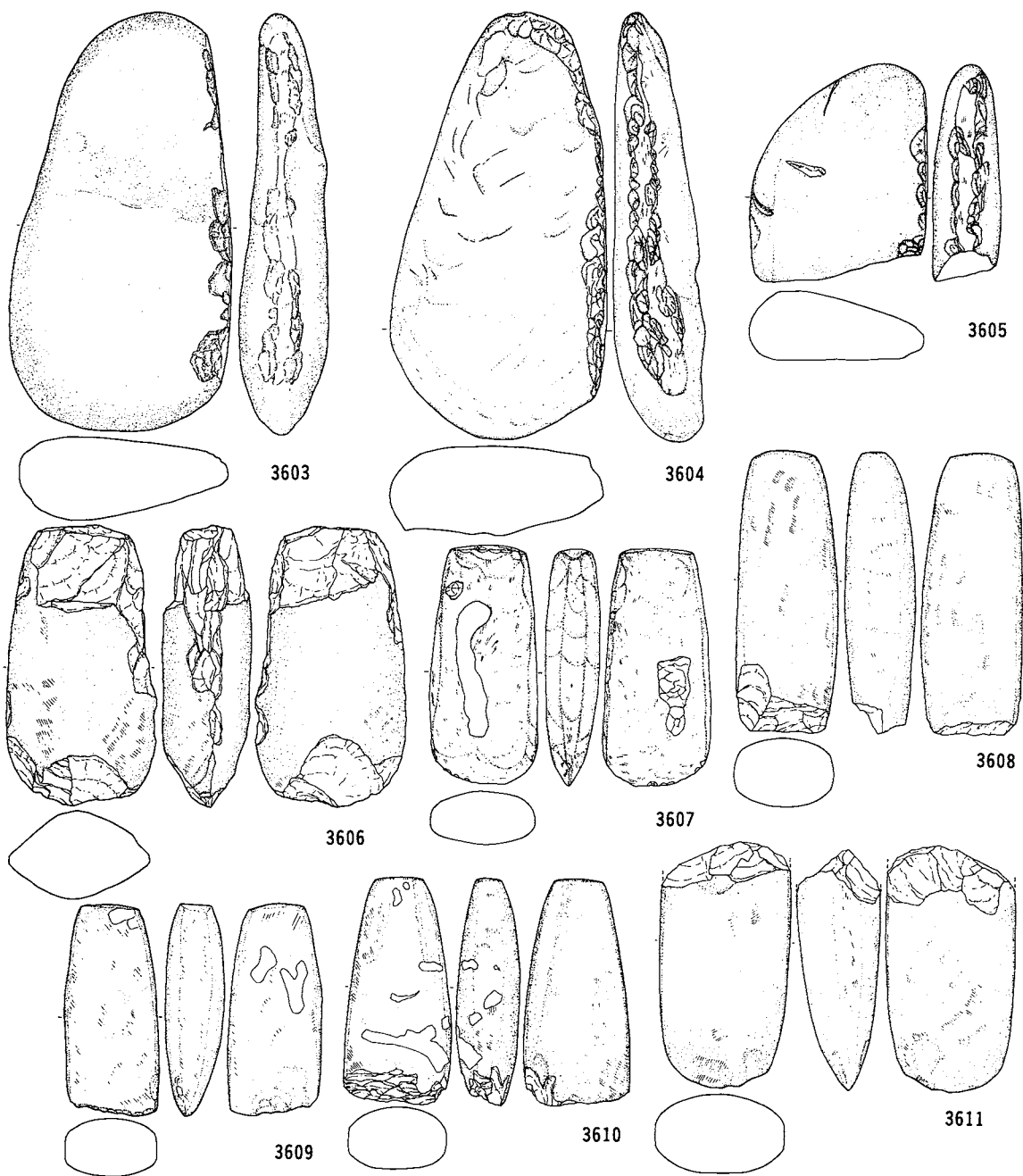
第373図 遺構外出土遺物(46)



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3595	III A 1 f I 層	半円状扁平打製石器	15.4	7.6	2.5	320.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3596	IV A 2 f I 層	半円状扁平打製石器	18.6	6.8	3.2	410.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3597	V B 10 g 0 層	半円状扁平打製石器	19.5	8.8	4.1	650.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3598	V B 2 a 0 層	半円状扁平打製石器	15.0	8.4	2.9	435.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3599	IV B 7 e 0 層	半円状扁平打製石器	14.6	8.9	3.3	590.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3600	IV A 区 I 層	半円状扁平打製石器	10.0	7.6	4.3	370.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
3601	IV A 5 g I 層	半円状扁平打製石器	9.3	8.2	2.8	300.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	*
3602	IV A 2 h III 層	半円状扁平打製石器	22.3	8.6	5.5	1230.0	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	

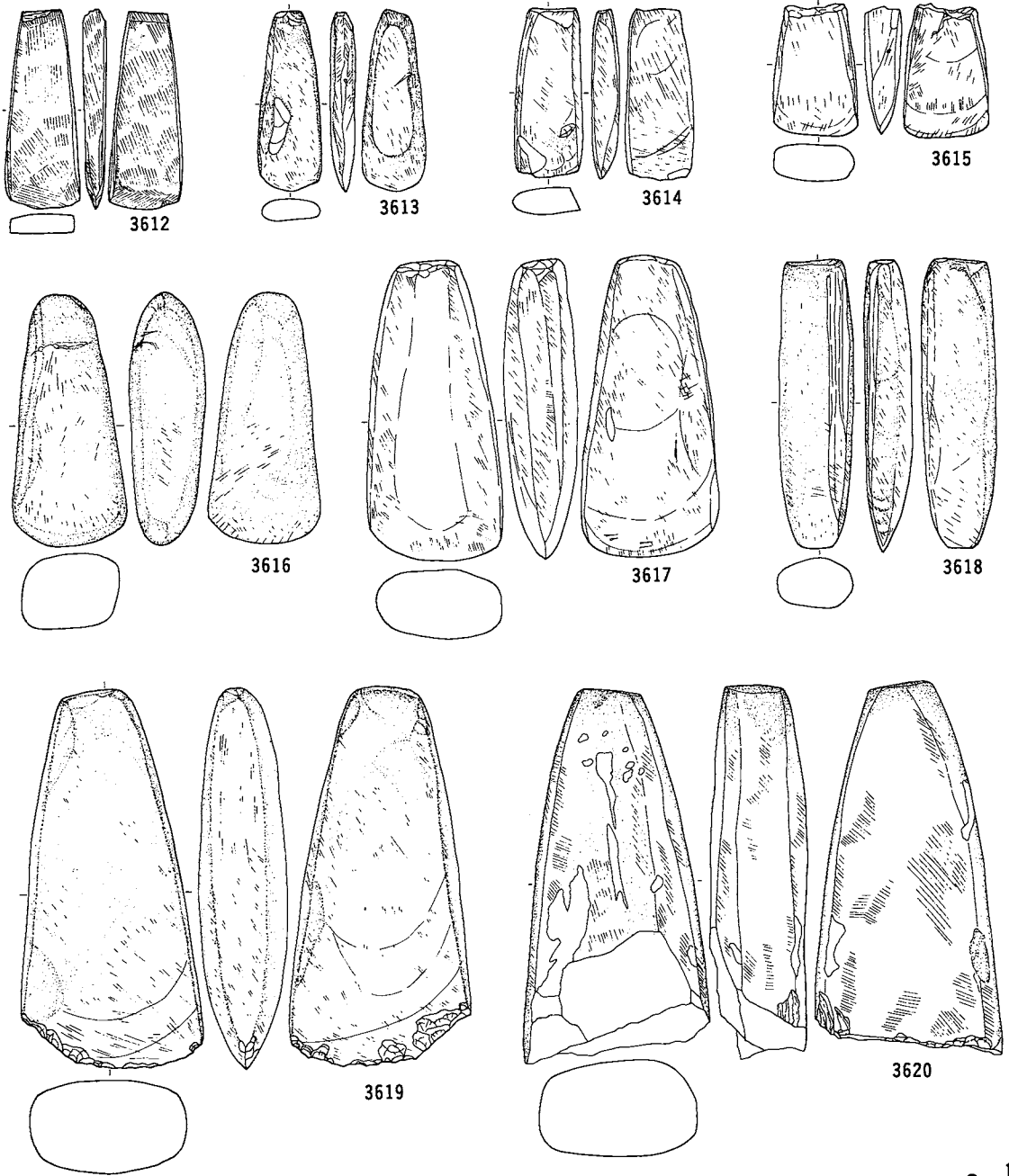
第374図 遺構外出土遺物(47)



$$s = \frac{1}{3}$$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3603	V A 2 j I 層	半円状扁平打製石器	18.8	10.0	4.1	940.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3604	VI B 6 h I 層	半円状扁平打製石器	19.0	9.6	3.9	660.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3605	VIB 6 f 0 層	半円状扁平打製石器	9.8	8.0	3.1	350.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3606	III A 9 h I 層	打製石斧	12.6	6.8	4.0	465.0	プロゼライト	奥羽山地	新第三系中新統	
3607	III B 区 0 層	磨製石斧	10.7	4.8	2.4	200.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3608	II A 区 表 採	磨製石斧	12.6	4.6	3.2	300.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3609	III A 7 i I 層	磨製石斧	9.5	4.2	2.6	165.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3610	III A 1 h III 層	磨製石斧	10.1	4.8	2.8	200.0	粘板岩	夏油川～和賀仙人	古生界	
3611	IV A 5 h I 層	磨製石斧	11.0	5.8	3.7	350.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	*

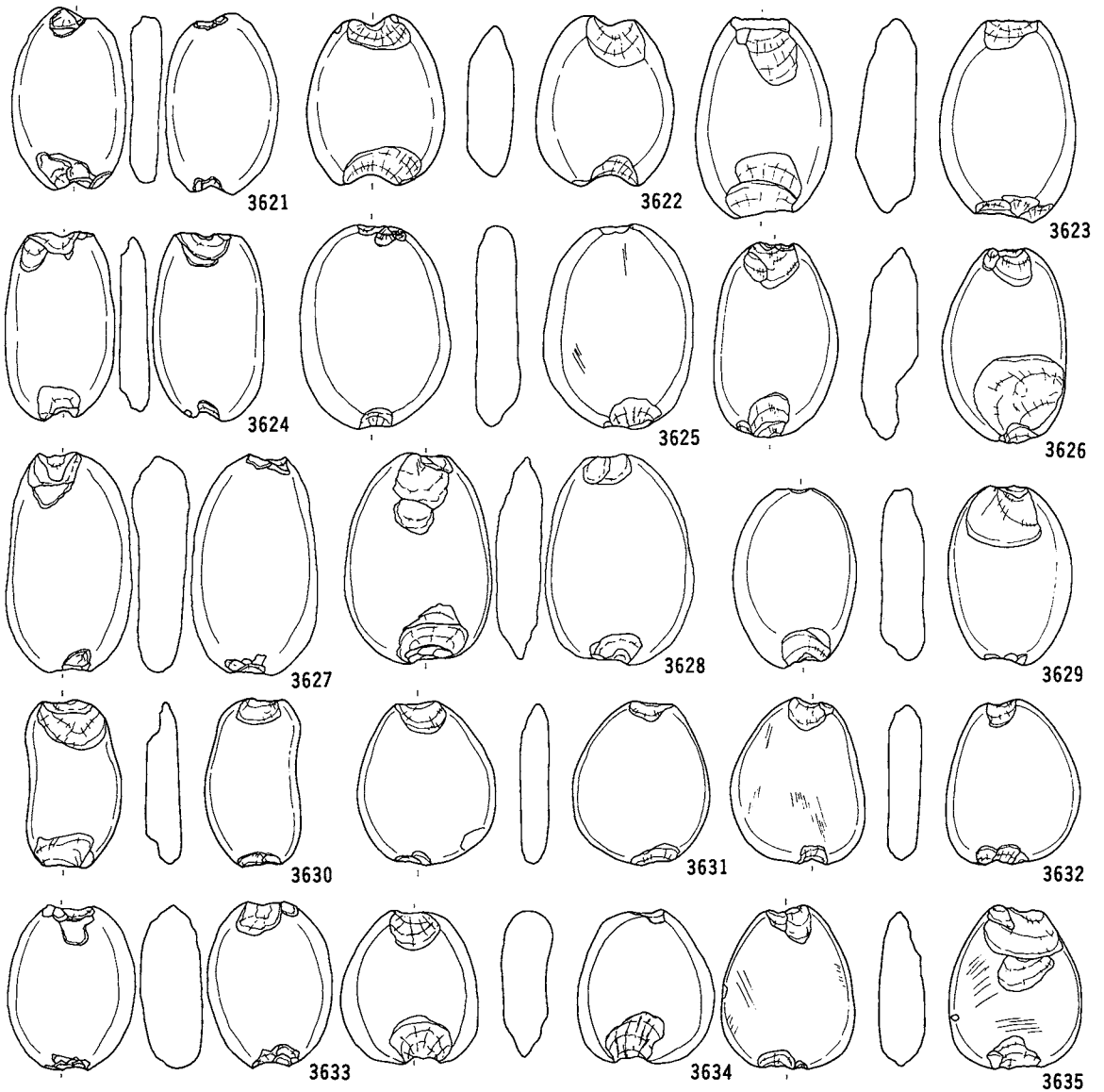
第375図 遺構外出土遺物(48)



s = $\frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3612	VIC 1 b I層	磨製石斧	5.8	2.2	0.7	13.5	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3613	VC10b I層	磨製石斧	5.3	1.9	0.7	9.1	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3614	VIB 5 f I層	磨製石斧	5.0	2.0	0.8	14.5	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3615	IVA 4 i I層	磨製石斧	3.9	2.5	1.0	16.9	淡綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3616	IA10c III層	磨製石斧	7.4	3.4	2.3	75.1	粘板岩	夏油川～和賀仙人	古生界	
3617	VIC 3 c I層	磨製石斧	8.9	4.0	2.1	125.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3618	III A 8 g I層	磨製石斧	8.5	2.2	1.4	46.2	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3619	III A 6 h III層	磨製石斧	11.1	5.3	2.5	240.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3620	III A 5 f III層	磨製石斧	11.0	5.5	2.9	290.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*

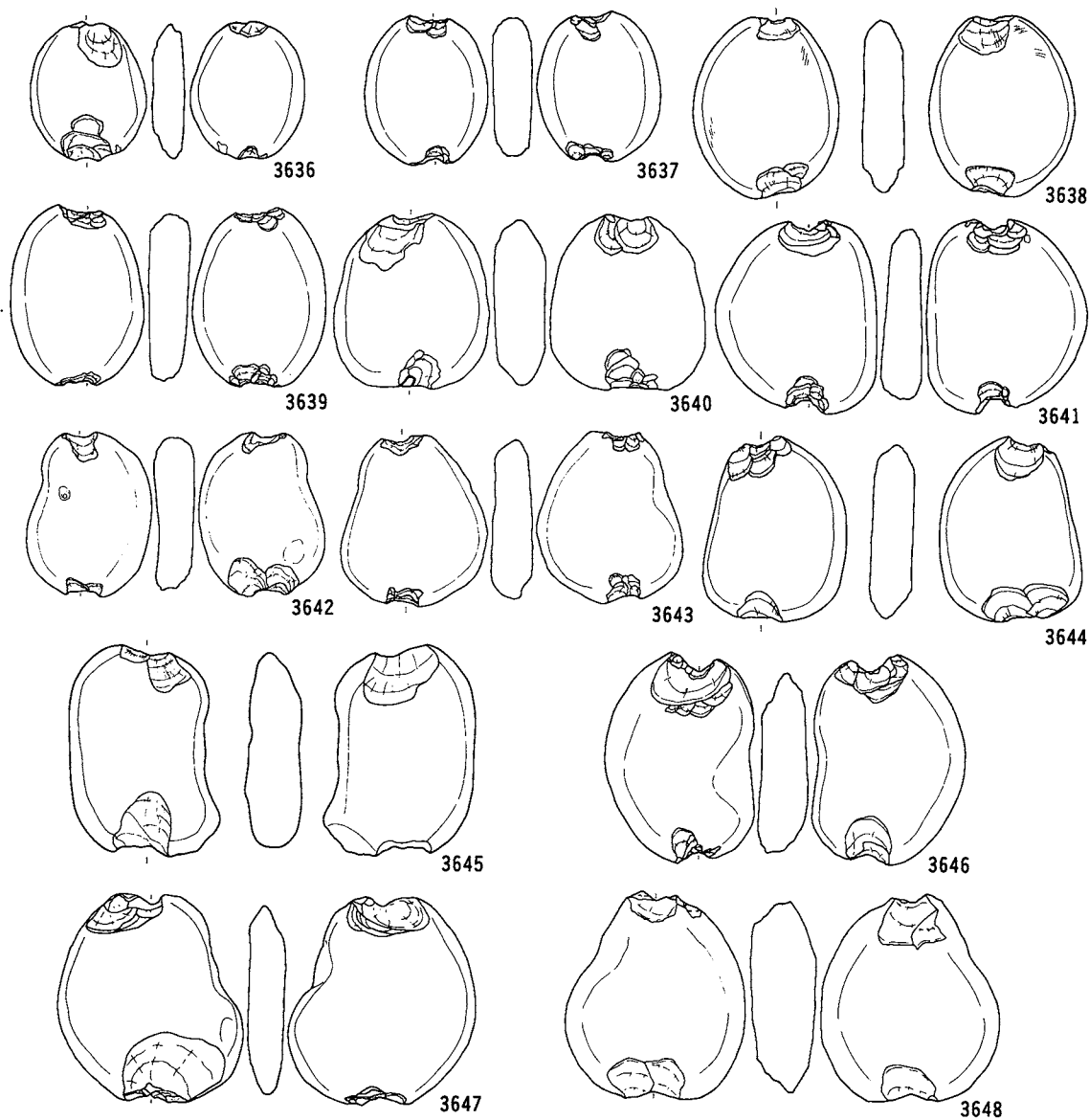
第376図 遺構外出土遺物(49)



$S = \frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3621	III A 8 g I 層	石錘	7.6	4.7	1.2	60.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3622	I A 10 d III 層	石錘	7.3	5.9	1.9	119.0	細砂質凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
3623	III A 6 d I 層	石錘	8.5	5.7	2.5	175.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3624	III A 3 h 0 層	石錘	8.0	4.7	1.3	70.1	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
3625	VIB 7 g I 層	石錘	8.6	6.4	1.9	158.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3626	VIB 1 a 0 層	石錘	8.3	5.3	2.4	95.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3627	III A 10 i III 層	石錘	9.2	5.3	2.2	170.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3628	V C 区 I 層	石錘	8.9	6.3	1.9	142.0	緑色凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
3629	VIB 2 i I 層下位	石錘	7.6	5.2	1.9	96.1	淡緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3630	III B 区 I 層	石錘	7.2	4.1	1.5	58.1	テサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
3631	VIB 6 f 0 層	石錘	7.0	5.8	1.2	82.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3632	VIB 1 a 0 層	石錘	7.0	5.7	1.4	85.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3633	IV B 1 j I 層	石錘	6.9	5.4	2.5	140.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3634	V B 6 e 0 層	石錘	6.6	6.8	2.2	102.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3635	V A 1 j I 層	石錘	7.0	5.7	1.9	107.0	プロビライト質緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

第377図 遺構外出土遺物(50)



S = $\frac{1}{3}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3636	IVA 2 h III層	石錘	5.7	4.7	1.4	60.1	両輝石安山岩	本畑一岩崎新田	新第三系鮮新統	
3637	IIIA 3 h 0層	石錘	6.2	5.1	1.9	80.1	緑色凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
3638	IA 10 e III層	石錘	7.5	6.1	1.7	93.1	流紋岩質細粒凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
3639	IIIA 3 h 0層	石錘	7.5	5.5	1.7	105.0	緑色凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
3640	VC区表採	石錘	7.2	6.4	2.0	138.0	緑色凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
3641	IIIA 3 h 0層	石錘	8.0	6.7	1.8	105.0	珪長質凝灰岩	夏油川	新第三系中新統	
3642	VB 9 e 0層	石錘	10.5	10.0	2.7	455.0	両輝石安山岩	夏油川流域	新第三系鮮新統	
3643	IIIA 5 h I層	石錘	7.1	5.9	1.7	115.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3644	IIIA区表採	石錘	7.8	6.0	1.9	112.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3645	IIIB区0層	石錘	8.7	6.3	2.9	154.0	アロピライト質緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3646	IIIA 3 h 0層	石錘	8.6	6.2	2.1	130.0	珪長質凝灰岩	夏油川	新第三系中新統	
3647	IIIA 5 f III層	石錘	8.9	7.3	1.6	160.0	両輝石安山岩	本畑付近	新第三系鮮新統	
3648	IVB 10 c II層	石錘	8.6	7.4	2.8	230.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

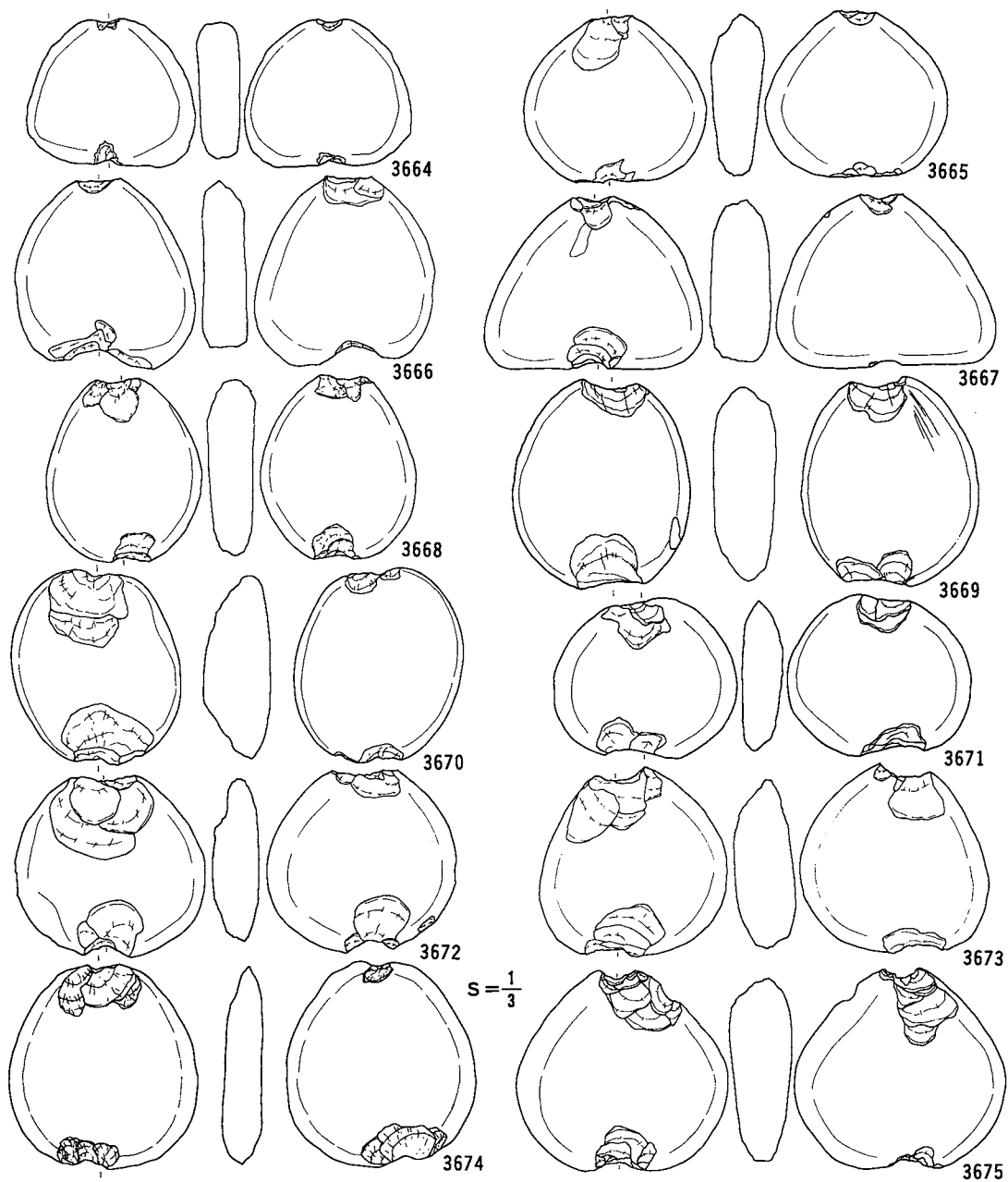
第378図 遺構外出土遺物(5)



No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3649	ⅢA10f I層	石錘	5.2	5.9	1.8	80.1	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3650	ⅢA4g I層	石錘	5.4	7.1	2.0	100.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
3651	ⅣA1e I層	石錘	5.6	6.4	2.1	100.0	両輝石安山岩	本畑付近	新第三系鮮新統	
3652	ⅣB6d 0層	石錘	4.7	7.3	2.1	110.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
3653	ⅢA6f I層	石錘	5.4	7.9	1.7	100.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3654	ⅢA9h I層	石錘	4.4	7.7	1.9	85.1	デイサイト	羽山～本畑	新第三系中新統	
3655	ⅢA10g Ⅲ層	石錘	5.3	7.6	1.6	125.0	凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3656	ⅣB5g I層	石錘	8.5	7.0	2.5	197.0	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3657	ⅢA3h 0層	石錘	4.4	7.9	1.4	65.1	珪長質凝灰岩	夏油川	新第三系中新統	
3658	ⅣA2i I層	石錘	6.7	9.3	2.0	180.0	両輝石安山岩	本畑付近	新第三系鮮新統	
3659	ⅣA1i I層	石錘	5.8	9.3	2.5	130.0	両輝石安山岩	夏油川流域	新第三系鮮新統	
3660	ⅢA10g I層	石錘	5.8	9.9	1.9	155.0	両輝石安山岩	本畑付近	新第三系鮮新統	
3661	ⅣA1i I層	石錘	7.6	6.1	2.3	140.0	綠色凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
3662	ⅢB1c I層	石錘	7.1	9.1	2.3	205.0	流紋岩質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3663	ⅣB6c 0層	石錘	6.6	9.1	1.7	150.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

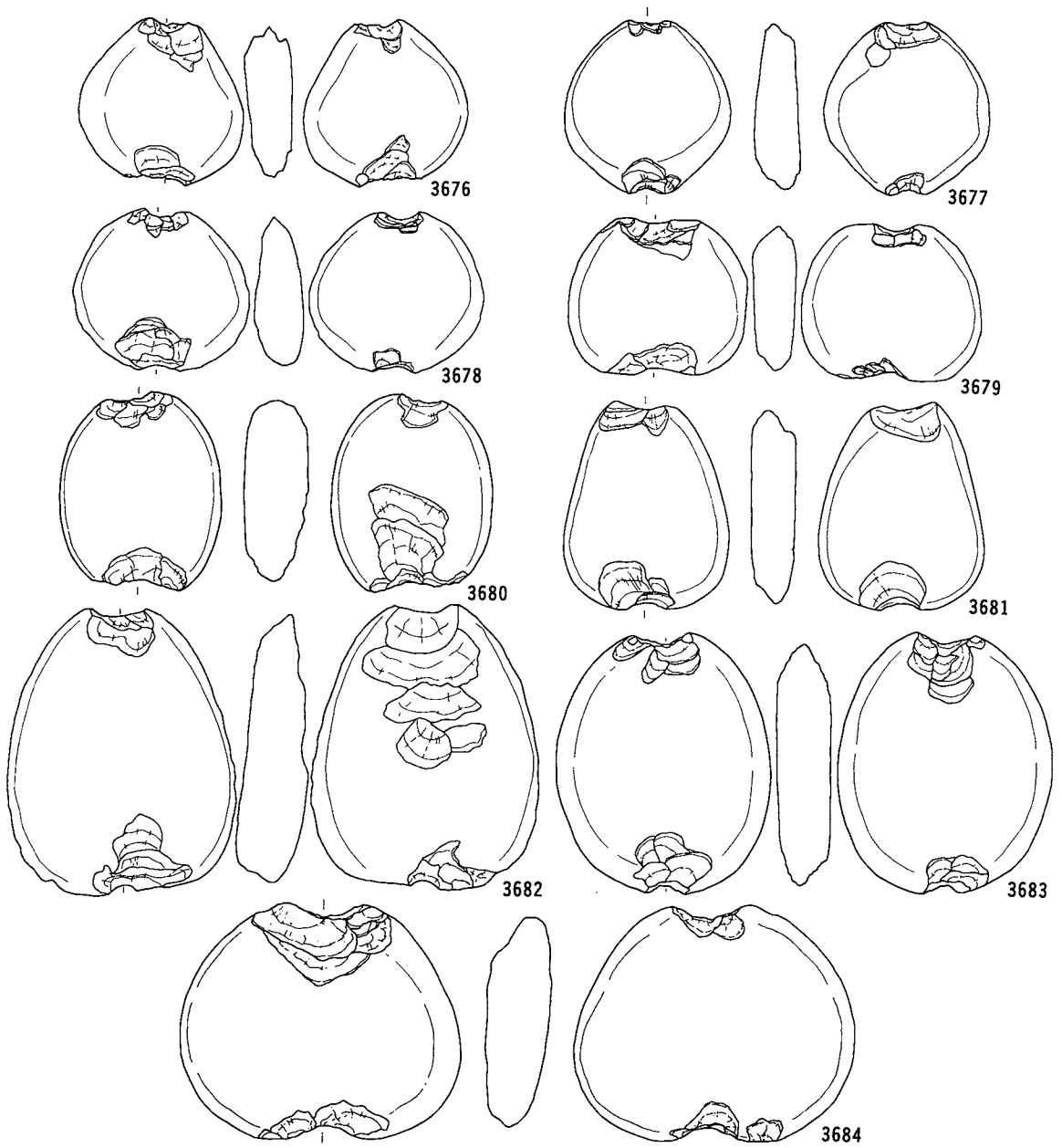
S = $\frac{1}{3}$

第379図 遺構外出土遺物(52)



No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3664	IVA 5 i Ⅲ層	石錘	6.4	7.1	1.9	120.0	両輝石安山岩	本畑付近	新第三系鮮新統	
3665	ⅢA10 j I層	石錘	7.2	7.7	2.2	170.0	ホルンフェルス	夏油川流域	古生界	
3666	IV B区 I層	石錘	8.1	7.6	2.1	185.0	両輝石安山岩	本畑付近	新第三系鮮新統	
3667	VIB区 I層	石錘	7.5	9.5	2.7	265.0	緑色凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	
3668	ⅢA区 0層	石錘	8.0	6.7	1.9	125.0	珪質凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3669	VA 6 f I層	石錘	9.5	7.7	2.7	257.0	アロピライト質緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3670	VA 3 i I層	石錘	8.4	7.3	2.9	198.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3671	ⅢA 2 f I層	石錘	6.8	7.8	1.7	135.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3672	VB 5 a I層	石錘	7.7	8.1	2.1	190.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3673	IV B10 a I層	石錘	8.0	8.2	2.6	235.0	両輝石安山岩	本畑付近	新第三系鮮新統	
3674	IV B 9 e I層	石錘	8.8	8.2	1.6	150.0	テサイト質凝灰岩	羽山～本畑	新第三系中新統	
3675	VB 5 b I層	石錘	8.7	9.0	3.5	260.0	緑色凝灰岩	夏油川流域	新第三系中新統	

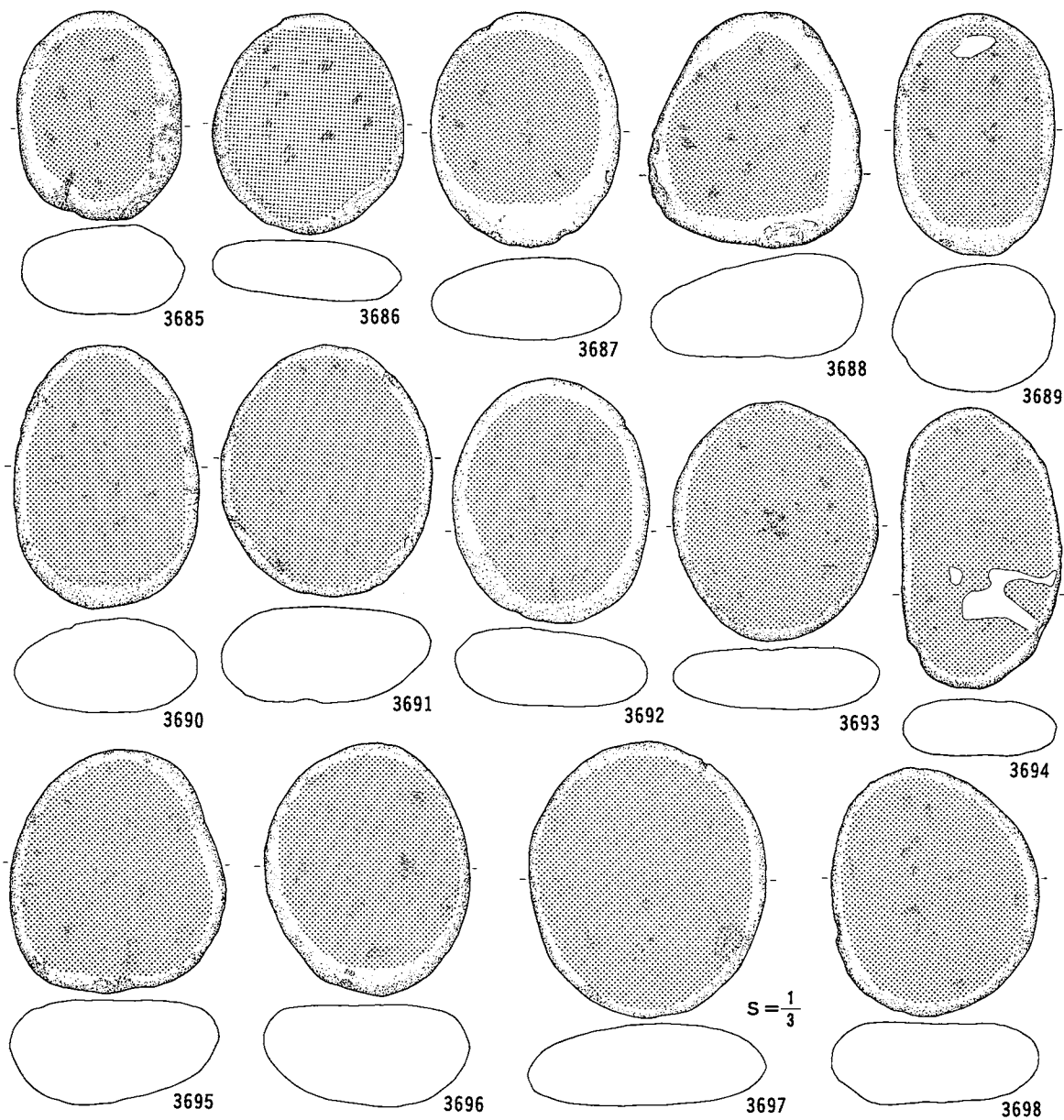
第380図 遺構外出土遺物(53)



$$S = \frac{1}{3}$$

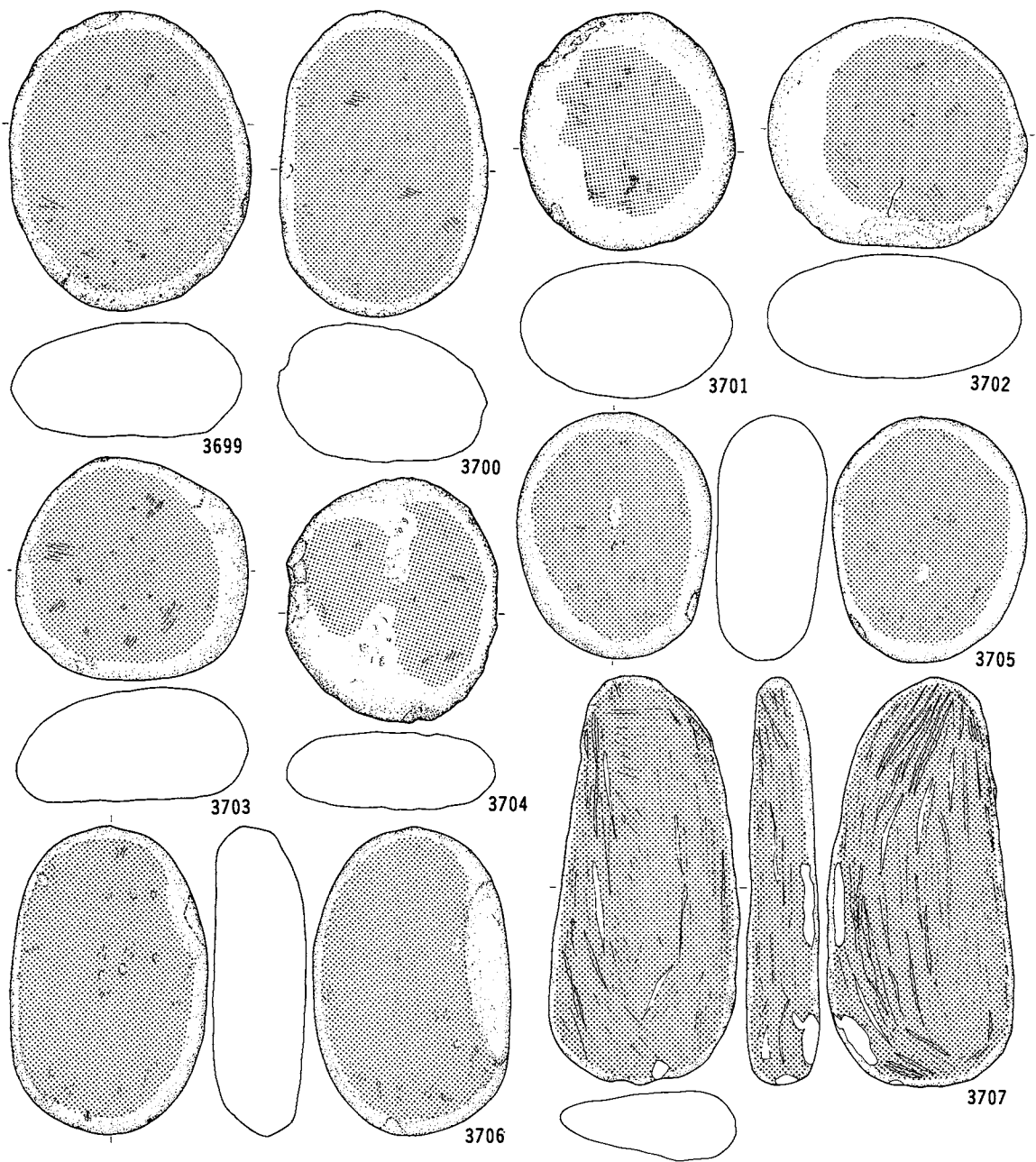
No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3676	IVB区I層	石錘	6.9	7.2	2.1	135.0	両輝石安山岩	夏油川流域	新第三系鮮新統	
3677	VIB7gI層	石錘	7.6	7.3	2.0	155.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3678	VA1iI層	石錘	7.0	7.6	2.0	150.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3679	IVA2gI層	石錘	6.8	7.9	1.8	160.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3680	VC区I層	石錘	8.7	7.1	2.8	214.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3681	IA10dIII層	石錘	9.1	7.3	1.9	195.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3682	VB9e0層	石錘	7.8	7.3	2.6	185.0	両輝石安山岩	本畑付近	新第三系鮮新統	
3683	IIA6c表探	石錘	11.4	9.3	2.5	420.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
3684	IVA7hI層	石錘	10.3	12.3	2.9	535.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系中新統	

第381図 遺構外出土遺物(54)



No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3685	II B区III層	すり石	9.1	7.1	3.9	395.0	花崗閃緑岩	仙人～夏油川	中生界	
3686	VIB 9 c II層	すり石	9.5	8.3	2.5	290.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3687	IV B10 f III層	すり石	10.2	8.2	3.5	425.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3688	III A区表採	すり石	10.2	9.2	4.4	640.0	花崗閃緑岩	夏油川	中生界	
3689	III A 2 g I層	すり石	10.4	6.9	5.5	600.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
3690	III B区I層	すり石	11.4	8.0	4.1	550.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3691	IV B 1 e I層	すり石	10.9	9.2	4.2	650.0	花崗閃緑岩	夏油川～和賀仙人	中生界	
3692	II B10 b I層	すり石	10.6	8.5	3.4	470.0	花崗閃緑岩	仙人～夏油川	古生界	
3693	IV B 8 c I層	すり石	10.2	8.7	2.9	330.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3694	V B区I層	すり石	10.2	7.0	2.4	270.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3695	V B 5 a I層	すり石	10.5	9.4	4.6	600.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3696	III A区表採	すり石	10.9	9.0	4.5	660.0	両輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
3697	III A 3 g II層	すり石	12.0	10.3	3.6	650.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3698	IV B区I層	すり石	10.7	9.0	3.6	550.0	花崗閃緑岩	夏油川～和賀仙人	中生界	

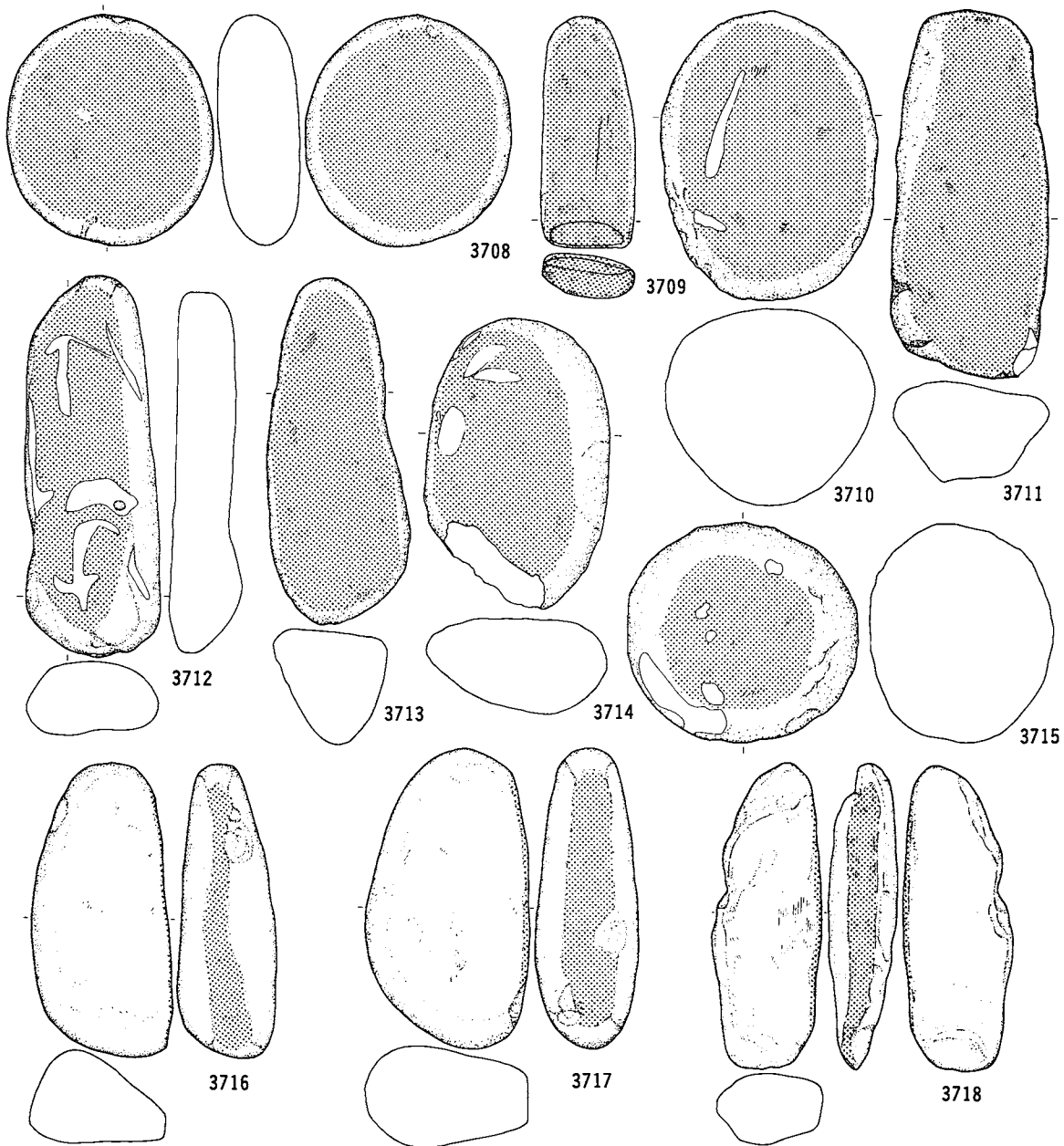
第382図 遺構外出土遺物(55)



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3699	ⅢA区表採	すり石	13.1	10.6	5.0	980.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3700	ⅣA7hI層	すり石	13.5	9.0	6.1	1080.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3701	ⅤB6d0層	すり石	10.4	9.5	6.0	850.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
3702	ⅤC区II層	すり石	10.0	11.3	5.5	870.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
3703	ⅣA5gI層	すり石	9.8	10.3	5.1	800.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3704	ⅣA区I層	すり石	10.8	9.3	3.4	455.0	両輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
3705	ⅤA区表採	すり石	11.0	8.6	4.7	680.0	花崗閃緑岩	夏油川	中生界	
3706	ⅠA9d0層	すり石	13.6	8.4	4.2	700.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
3707	ⅢA2gI層	すり石	18.0	8.4	3.2	530.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

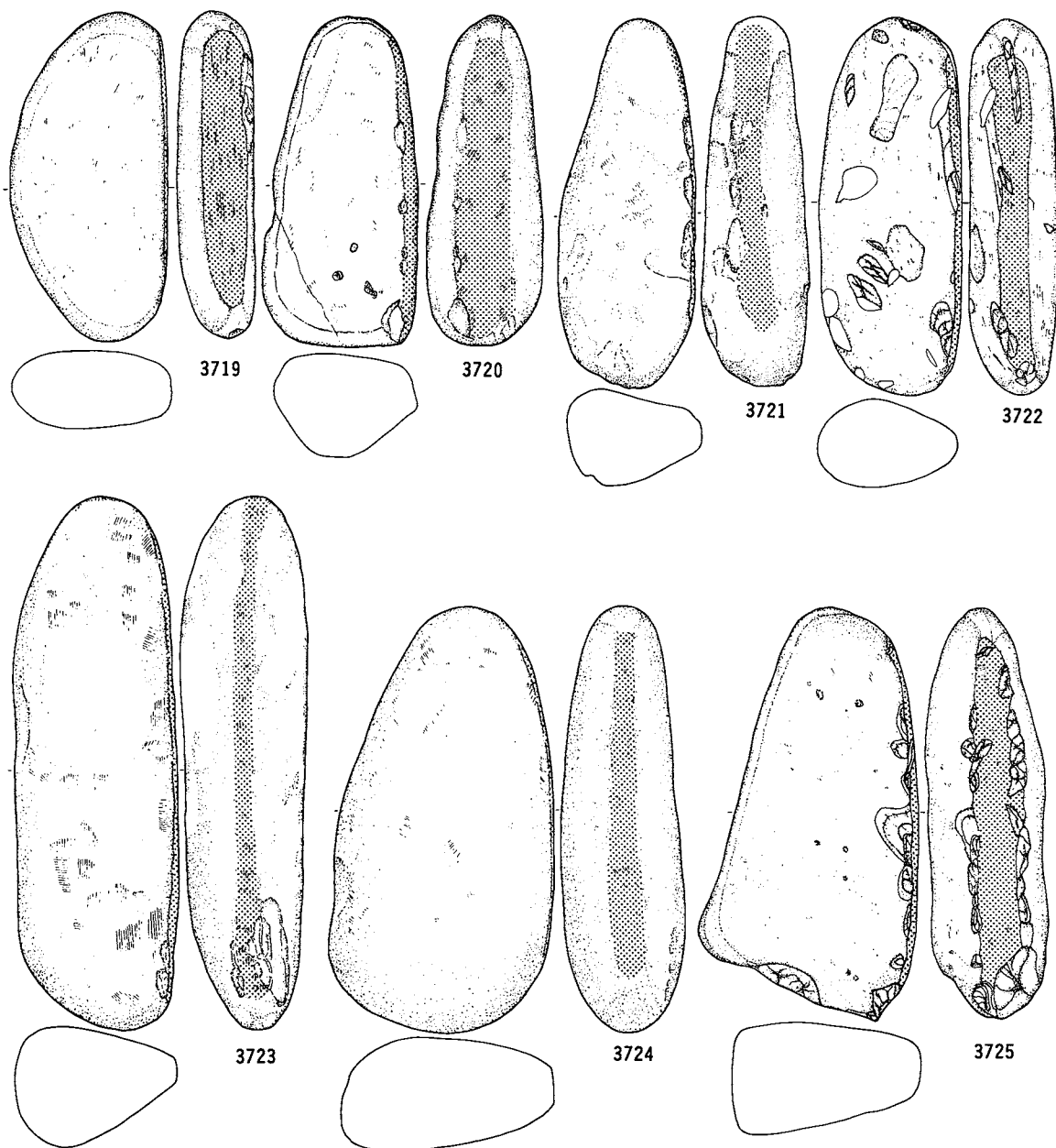
第383図 遺構外出土遺物(56)



$s = \frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3708	II A 5 d 表採	すり石	10.0	8.9	3.5	490.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
3709	IV B 10 e 1 層	すり石	10.0	5.1	1.9	115.0	淡緑色極細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3710	IV A 区 1 層	すり石	12.5	9.4	8.5	1480.0	花崗閃緑岩	夏油川～和賀仙人	中生界	
3711	IV A 3 f 1 層	すり石	15.9	6.9	4.3	720.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3712	V B 8 8 0 層	すり石	16.7	5.8	3.3	450.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3713	III A 2 8 1 層	すり石	15.1	6.2	5.0	560.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3714	V B 3 f 0 層	すり石	10.6	8.0	4.1	610.0	花崗閃緑岩	夏油川～和賀仙人	中生界	*
3715	IV A 7 i 1 層	すり石	10.0	9.5	8.0	1070.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
3716	III A 5 h 0 層	特殊磨石	13.0	6.0	4.4	460.0	緑色凝灰岩	夏油川	新第三系中新統	
3717	III A 5 h 1 層	特殊磨石	13.1	7.1	4.4	540.0	プロピライト	夏油川上流	新第三系中新統	
3718	IV A 8 i 1 層	特殊磨石	13.4	4.8	3.1	250.0	粘板岩	夏油川～和賀仙人	古生界	

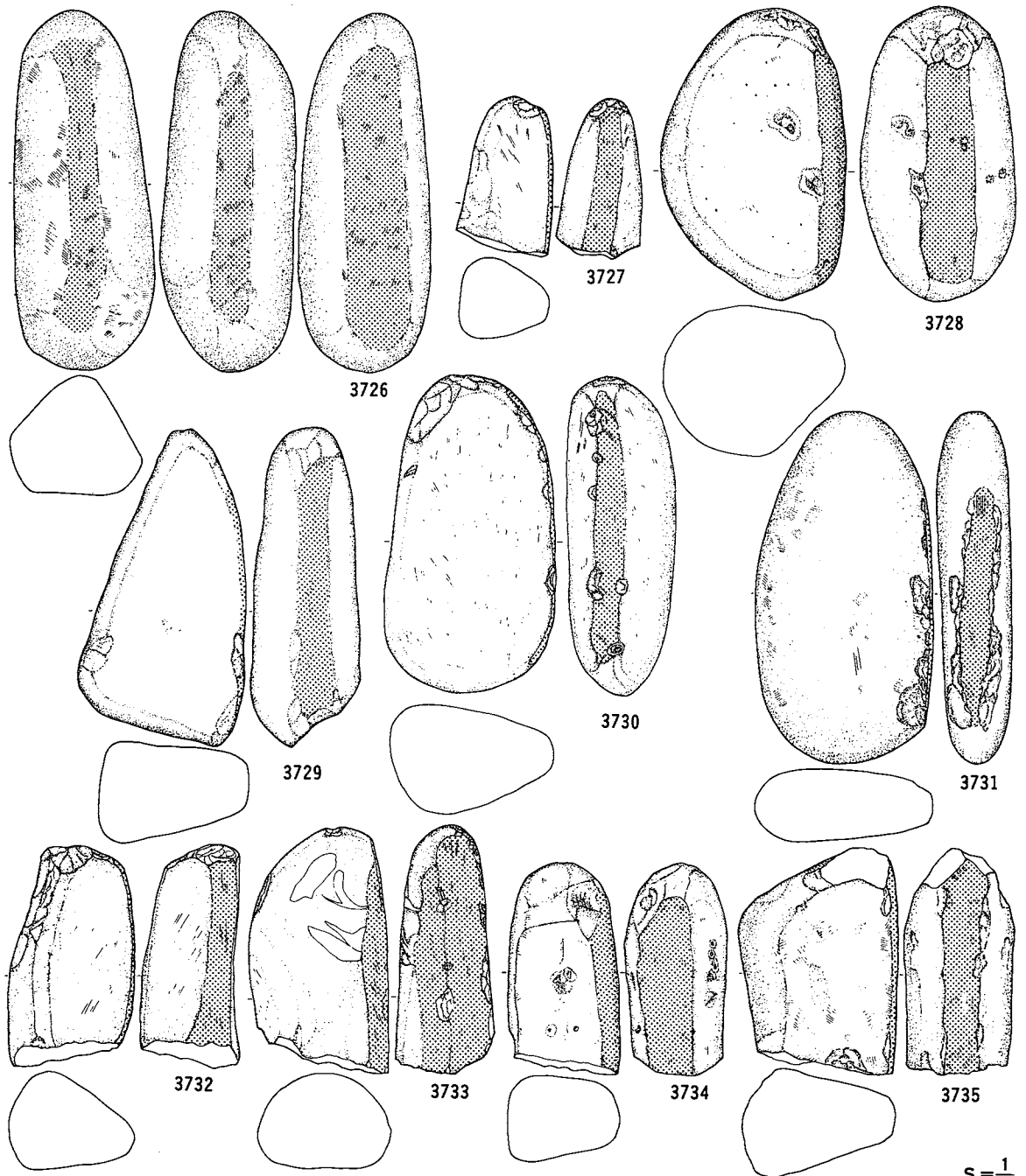
第384図 遺構外出土遺物(57)



S = $\frac{1}{3}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3719	ⅢA 4 h 0 層	特殊磨石	14.2	6.9	3.4	570.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
3720	ⅢA 10 f 表採	特殊磨石	14.2	6.7	5.0	650.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3721	ⅣA 区 I 層	特殊磨石	16.0	6.0	4.7	530.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
3722	ⅣA 7 i 1 層	特殊磨石	16.3	6.2	3.8	640.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3723	ⅢA 区 表採	特殊磨石	23.1	7.2	5.6	1280.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3724	V B 9 d 0 層	特殊磨石	18.5	9.9	5.5	1340.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
3725	ⅣB 7 d 0 層	特殊磨石	17.9	9.7	5.0	1110.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	

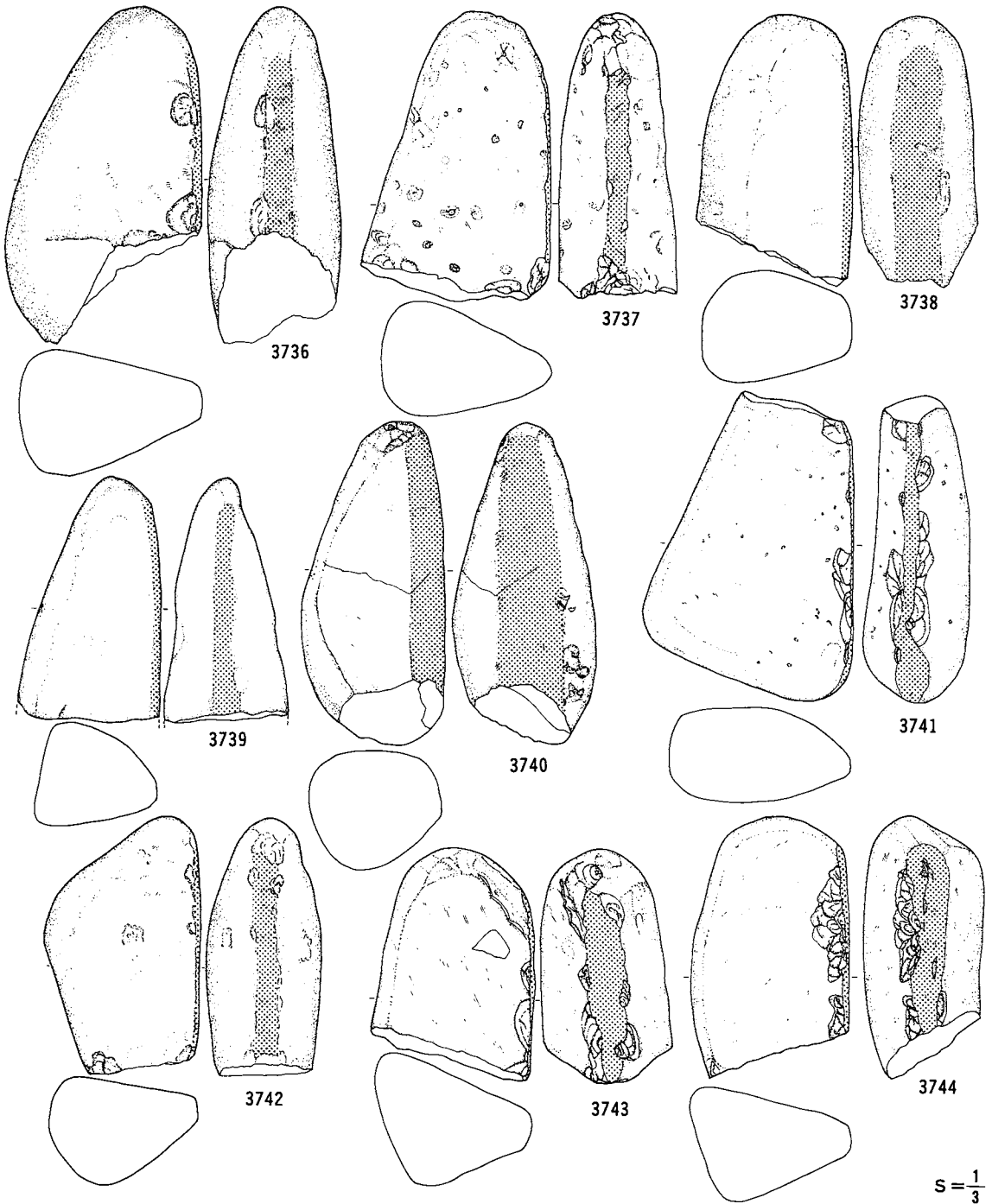
第385図 遺構外出土遺物(58)



S = 1/3

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3726	IVA 2 j I 層	特殊磨石	16.4	6.4	6.1	830.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3727	IVA 5 f I 層	特殊磨石	7.3	4.3	3.7	140.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3728	VIB 6 f 0 層	特殊磨石	13.2	8.4	7.1	940.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
3729	VB 5 b I 層	特殊磨石	14.4	6.8	4.6	620.0	凝灰質硬砂岩	北上山地	古生界	
3730	IVB10c I 層	特殊磨石	14.5	7.8	5.0	810.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3731	IIIA 7 i I 層	特殊磨石	16.0	8.1	3.5	640.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3732	IIA 1 b III 層	特殊磨石	10.0	5.7	4.6	335.0	プロビライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
3733	VB 4 e 0 層	特殊磨石	11.3	6.3	4.4	465.0	プロビライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
3734	IIA 区 I 層	特殊磨石	9.7	5.1	4.6	330.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系	*
3735	IVA 区 I 層	特殊磨石	10.3	7.3	5.1	500.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	*

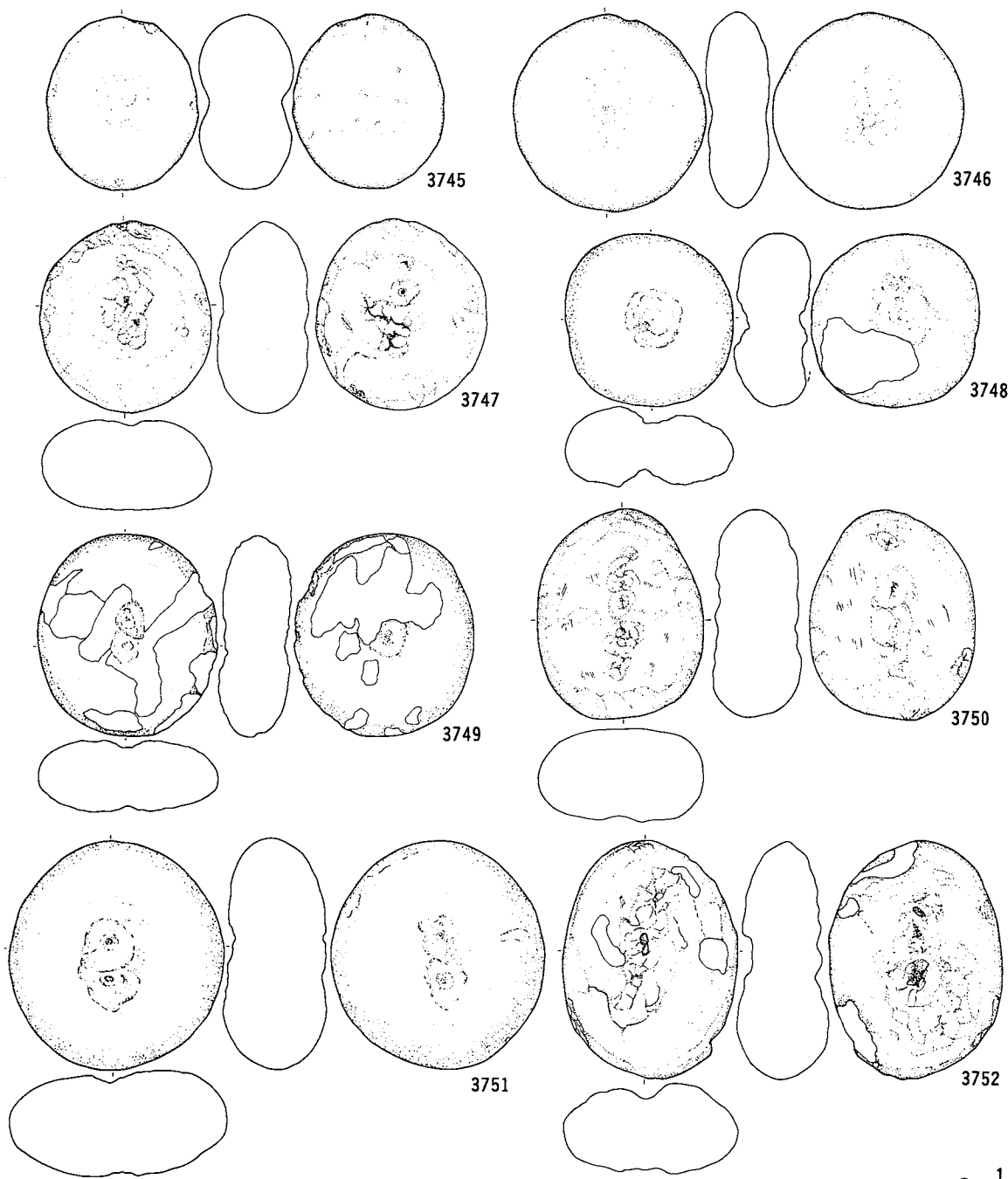
第386図 遺構外出土遺物(59)



$s = \frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3736	ⅢA 4 g I層	特殊磨石	15.5	9.1	6.2	870.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3737	VIB区I層	特殊磨石	13.3	8.8	5.3	690.0	デイサイト	奥羽山地	新第三系中新統	*
3738	ⅣA 2 h I層	特殊磨石	12.5	7.2	5.6	590.0	アロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
3739	ⅢA区I層	特殊磨石	11.1	6.6	5.7	470.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3740	ⅣA 10 g I層	特殊磨石	14.8	6.6	6.6	750.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	*
3741	ⅢA 9 g I層	特殊磨石	14.3	9.6	4.8	900.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3742	ⅡA 6 f III層	特殊磨石	12.0	7.3	5.3	530.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3743	ⅣA区I層	特殊磨石	10.8	7.6	5.3	580.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3744	ⅣB区I層	特殊磨石	12.1	7.4	5.1	600.0	アロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*

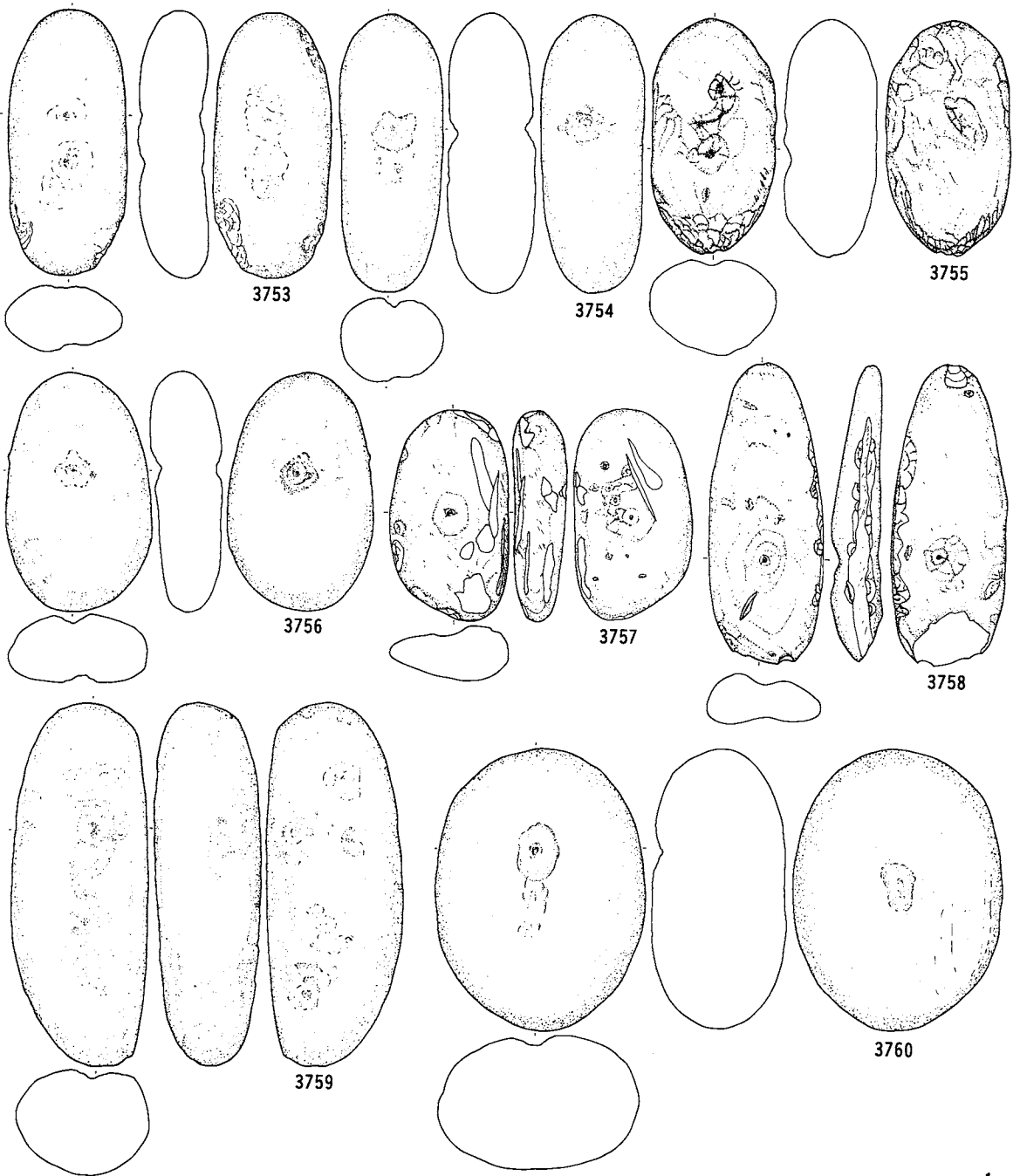
第387図 遺構外出土遺物(60)



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3745	I A区表探	凹石	7.8	6.8	4.8	300.0	緑色凝灰岩	夏油川	新第三系中新統	
3746	II A 5 d 表探	凹石	9.2	9.2	3.2	330.0	緑色凝灰岩	夏油川	新第三系中新統	
3747	III A 7 d I 層	凹石	8.8	7.8	4.1	410.0	花崗閃緑岩	仙人~夏油川	中生界	
3748	II A 1 e III 層	凹石	7.8	7.7	3.7	210.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
3749	V B 9 h 0 層	凹石	9.3	8.2	3.4	325.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3750	IV B 区 I 層	凹石	9.5	7.6	4.0	470.0	花崗閃緑岩	仙人~夏油川	中生界	
3751	II A 2 f III 層	凹石	10.5	9.8	4.8	600.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
3752	IV A 2 i I 層	凹石	10.9	7.9	4.1	500.0	花崗閃緑岩	夏油川~和賀仙人	中生界	

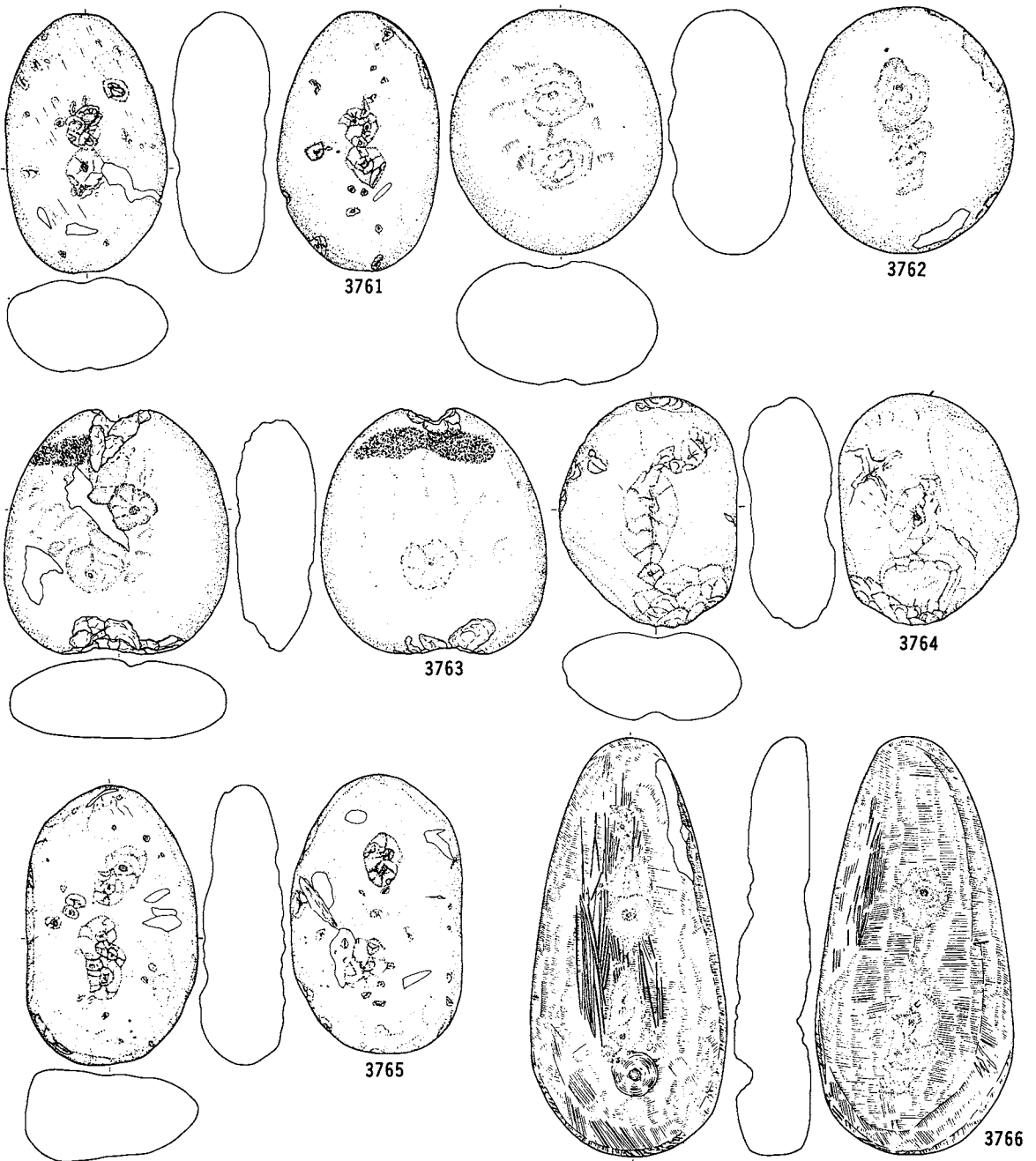
第388図 遺構外出土遺物(61)



S = $\frac{1}{3}$

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3753	IVB区0層	凹石	12.0	5.4	3.3	290.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3754	IVA 2 h III層	凹石	12.6	4.8	4.0	305.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	
3755	VB 5 a I層	凹石	10.7	5.7	4.3	380.0	花崗閃緑岩	夏油川～和賀仙人	中生世	
3756	VIB 1 j I層下位	凹石	10.9	6.7	3.3	270.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3757	IVA 7 h I層	凹石	9.6	5.4	2.4	170.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3758	IIIA区表採	凹石	13.7	5.2	2.3	205.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3759	IIIA区表採	凹石	16.6	6.3	4.9	650.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3760	IA 10 c III層	凹石	12.9	9.6	6.2	1000.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	

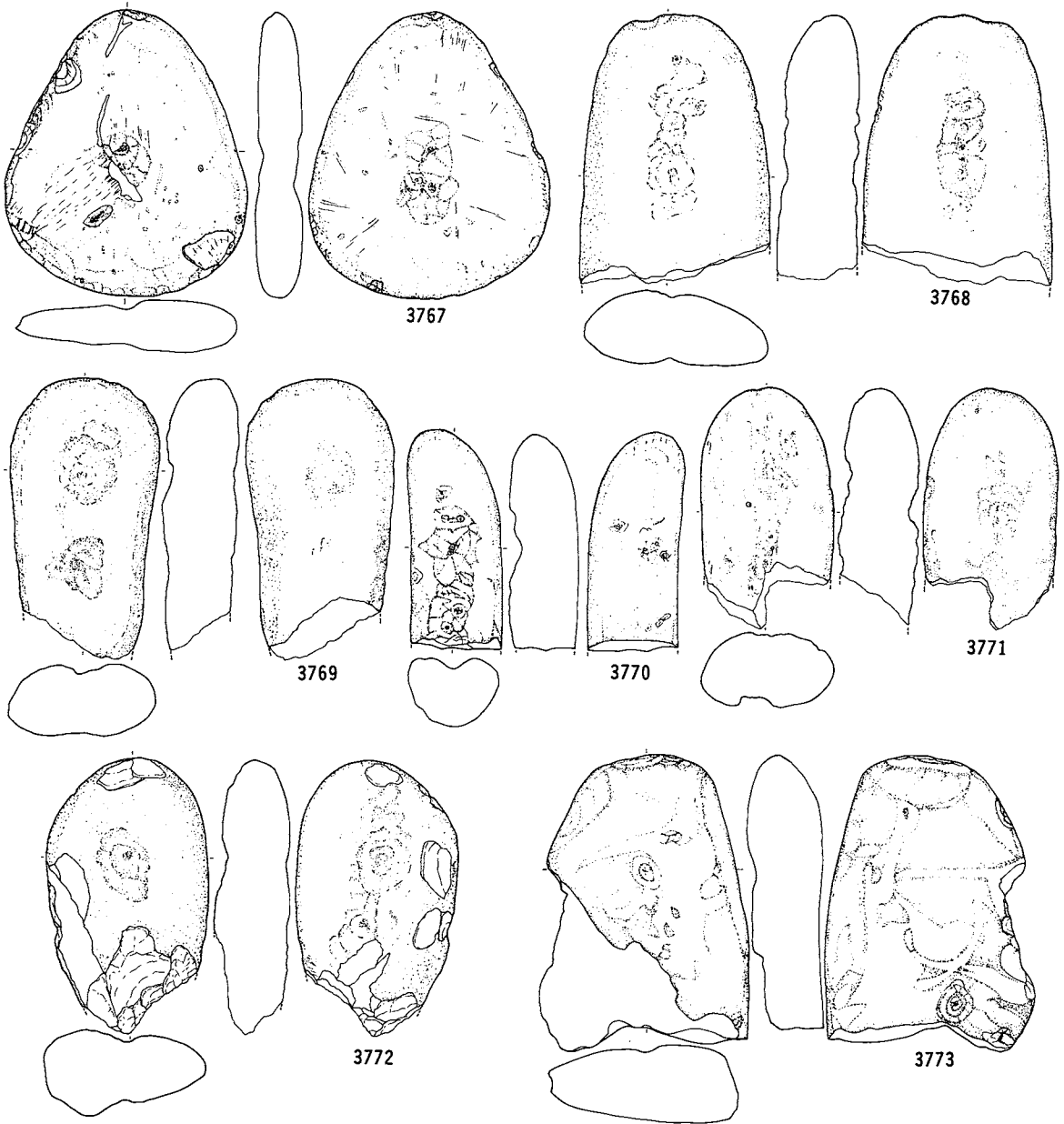
第389図 遺構外出土遺物(62)



S = $\frac{1}{3}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3761	IVA 7 h I 層	凹石	11.8	7.3	4.2	495.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3762	IVA 3 f I 層	凹石	11.1	9.5	5.7	840.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
3763	IVB10 d 0 層	凹石	11.1	10.2	3.7	530.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3764	IIIA 6 i 0 層	凹石	10.4	8.1	4.0	470.0	花崗閃緑岩	夏油川～和賀仙人	古生界	
3765	IVA 3 f I 層	凹石	12.7	7.7	4.0	530.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
3766	V C 区表探	凹石	19.0	8.9	3.5	680.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第390図 遺構外出土遺物(63)

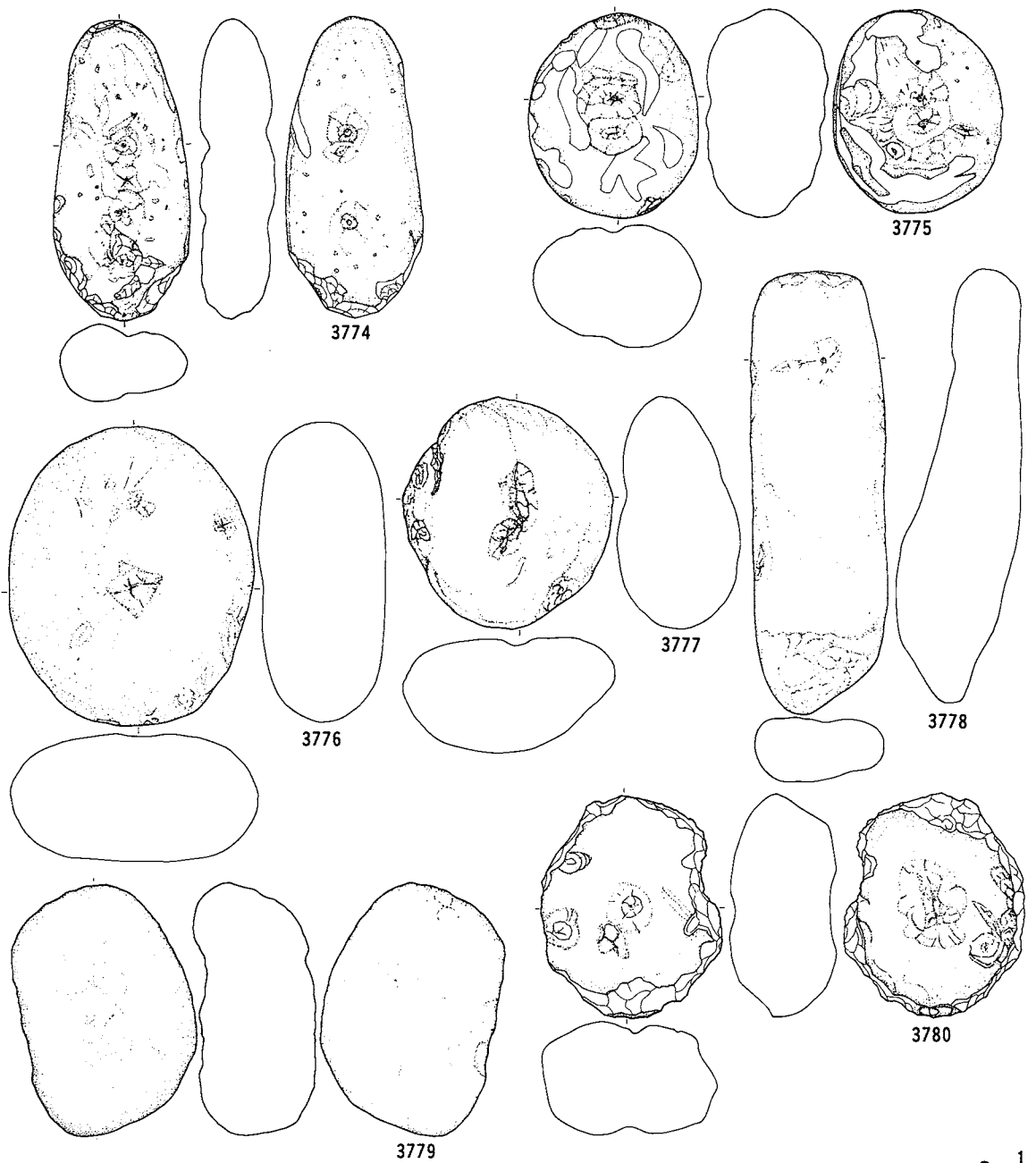


3767~3772 $S = \frac{1}{3}$

3773 $S = \frac{1}{8}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3767	IVA区表探	凹石	12.5	10.5	2.1	305.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3768	IVA区I層	凹石	11.8	8.3	3.5	445.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	*
3769	VIB1j I層下位	凹石	12.3	6.5	3.3	345.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	*
3770	II B10 b I層	凹石	9.6	4.3	3.0	150.0	淡綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3771	IA 7 a III層	凹石	10.6	5.9	3.5	270.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3772	III A 2 h 0層	凹石	12.0	6.7	3.8	270.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3773	IV B10 d 0層	凹石	26.0	18.3	6.7	4500.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	*

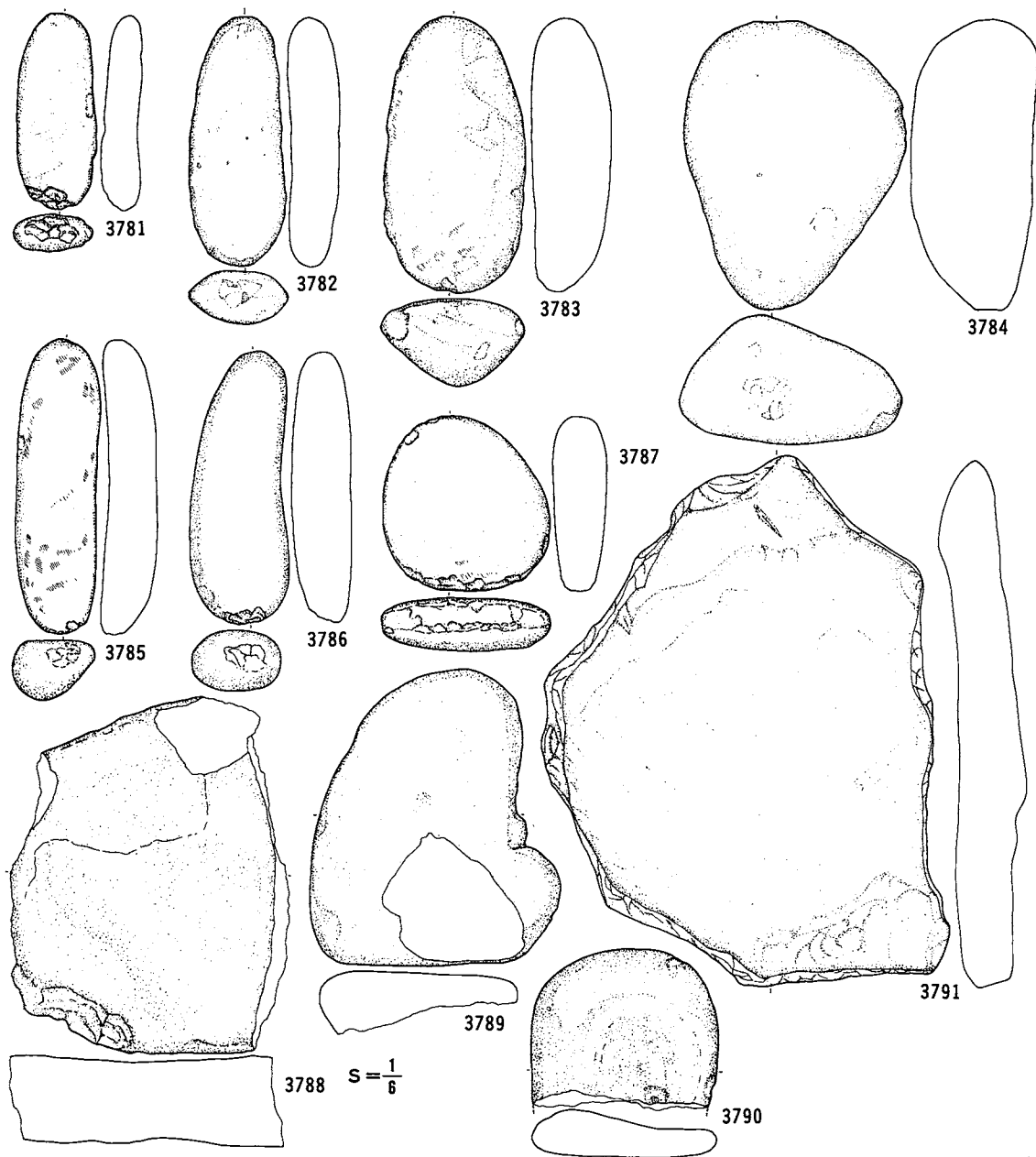
第391図 遺構外出土遺物(64)



S = $\frac{1}{3}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3774	VB8e0層	凹石	13.3	6.1	3.3	350.0	綠色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3775	VB8f0層	凹石	9.1	7.6	5.3	510.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	
3776	IIIA9h1層	凹石	13.4	10.9	5.6	1210.0	花崗閃綠岩	仙人～夏油川	中生界	
3777	IIIB1c1層	凹石	10.3	9.4	5.4	650.0	花崗閃綠岩	夏油川～和賀仙人	中生界	
3778	VA7g1層	凹石	19.7	6.1	4.9	800.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
3779	IIA2g0層	凹石	10.7	7.6	5.3	610.0	両輝石安山岩	本畑～岩崎新田	新第三系鮮新統	
3780	VIB6f0層	凹石	9.9	8.1	4.9	540.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	

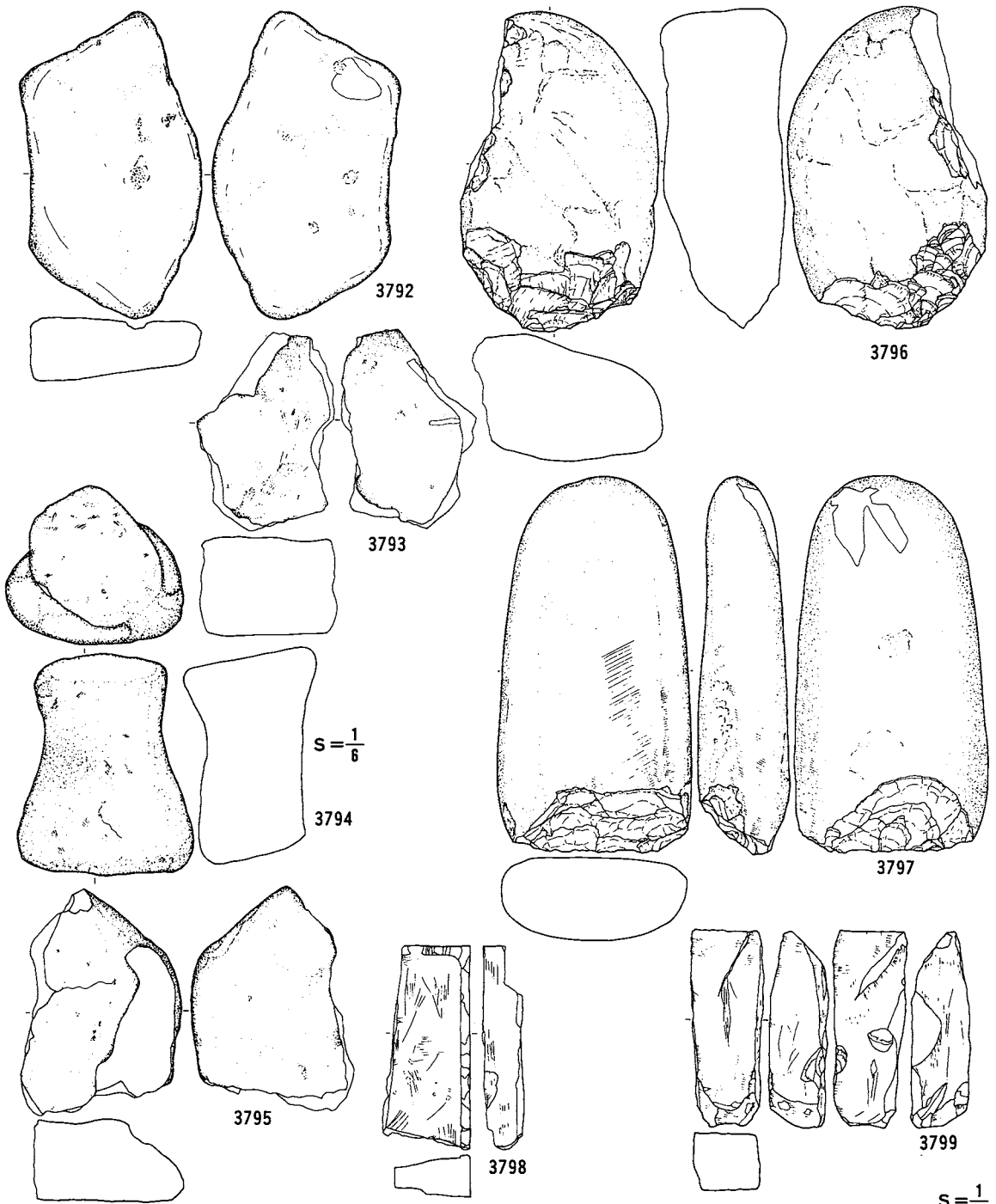
第392図 遺構外出土遺物(65)



S = $\frac{1}{3}$

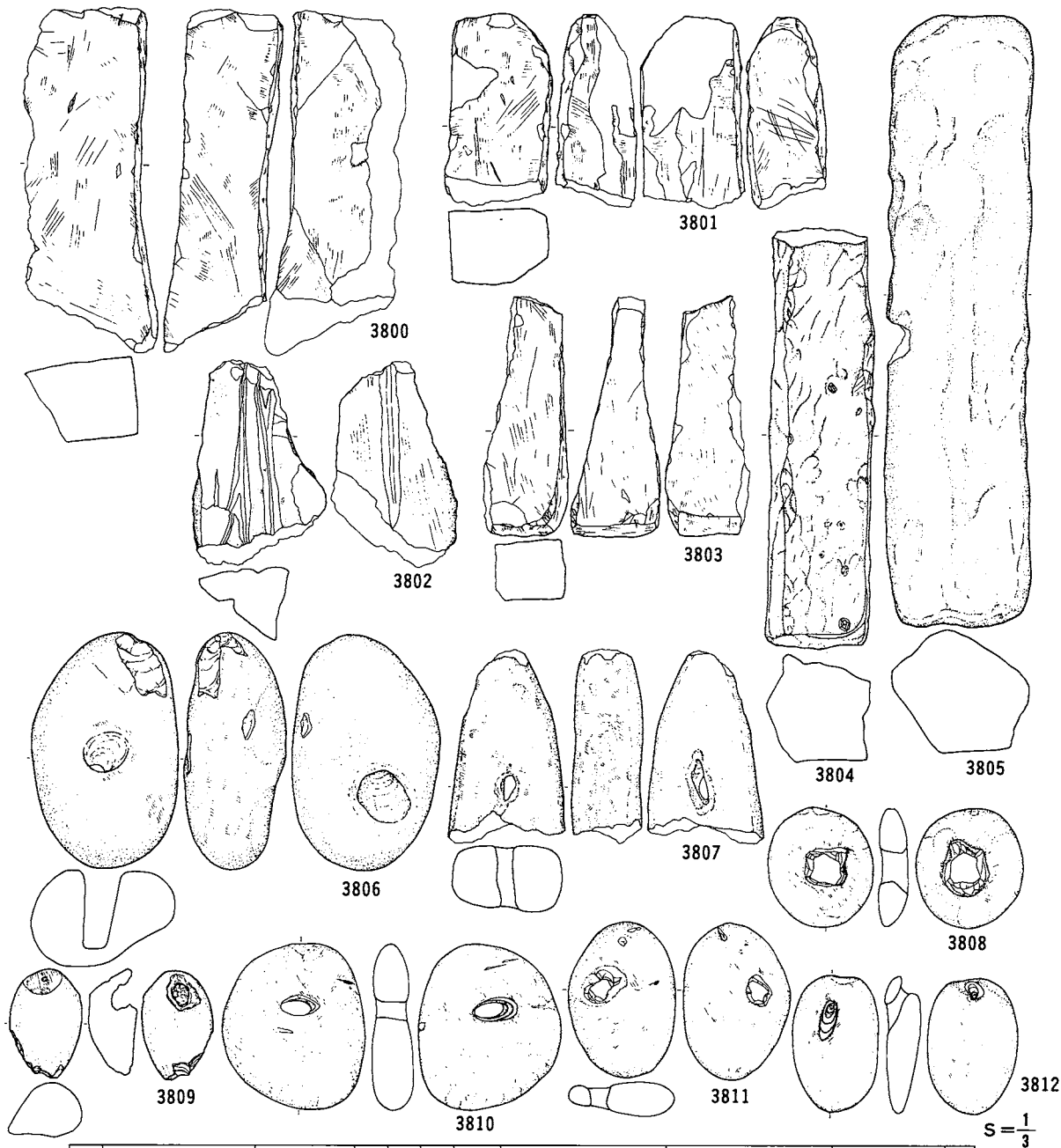
No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3781	ⅢA10h I層	敲石	8.4	3.5	1.7	70.1	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3782	V B 2 b 0層	敲石	10.8	4.1	2.3	125.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3783	ⅢA 6 f I層	敲石	12.0	6.2	3.8	340.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3784	ⅢA 3 h 0層	敲石	12.6	9.5	5.5	880.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3785	ⅢB区 I層	敲石	12.8	3.7	2.6	125.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3786	ⅣA 5 h I層	敲石	11.9	4.3	2.7	175.0	淡緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3787	ⅣB 1 e I層	敲石	7.6	7.3	2.4	190.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
3788	ⅡA 5 b Ⅲ層	石皿	15.5	12.2	4.0	1030.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	*
3789	ⅢA 5 b Ⅲ層	石皿	25.8	21.8	6.4	4000.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	*
3790	V B 2 f 0層	石皿	7.0	8.1	2.0	185.0	プロピライト	奥羽山地	新第三系中新統	*
3791	ⅢA10h I層	石皿	23.1	17.0	2.7	1590.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	

第393図 遺構外出土遺物(66)



No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3792	IVA 4 f I 層	台石	14.2	8.5	2.9	520.0	輝石安山岩	夏油川	新第三系鮮新統	
3793	VIB 7 f I 層	台石	9.2	6.4	4.6	380.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系鮮新統	*
3794	IVA 7 h I 層	台石	20.7	16.4	12.3	5500.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3795	VIB 4 h I 層	台石	10.6	7.4	4.8	410.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3796	III A 2 g I 層	碟器	14.9	9.3	5.9	970.0	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系	*
3797	III A 区表採	碟器	17.5	9.0	4.3	990.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3798	VB 6 f 0 層	砥石	9.4	4.1	1.9	95.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
3799	III A 7 f I 層	砥石	9.1	3.3	3.2	120.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	

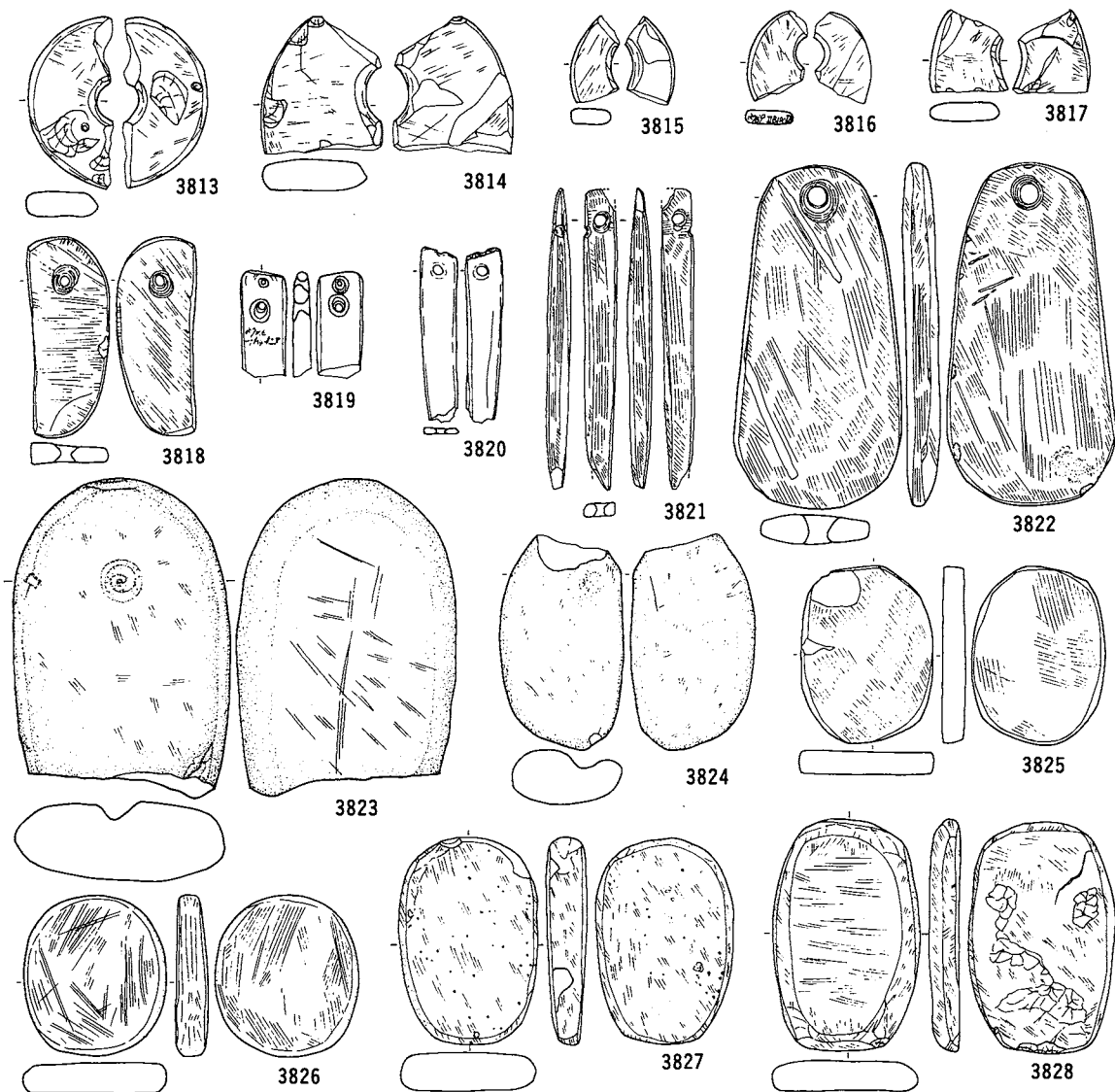
第394図 遺構外出土遺物(67)



$s = \frac{1}{3}$

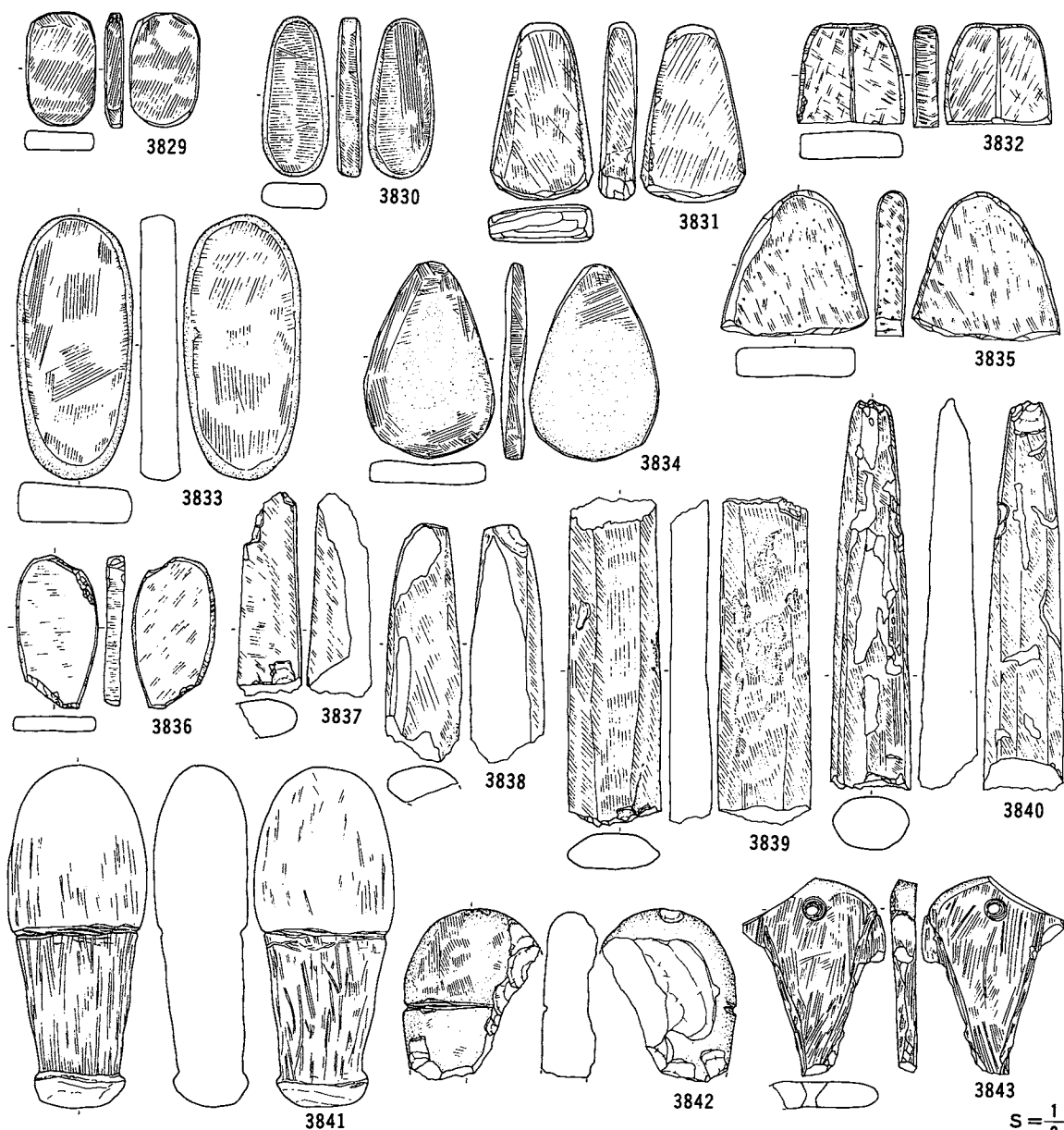
No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3800	VA 7 g I 層	砥石	15.4	6.3	5.0	500.0	斜長石流紋岩	磐石志戸前川	新第三系中新統	*
3801	IV B 区 I 層	砥石	8.6	4.8	3.7	205.0	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3802	III B 2 c I 層	砥石	9.7	6.1	3.6	140.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3803	VIB 6 f 0 層	砥石	10.8	3.9	4.0	185.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3804	III A 7 d I 層	石柱	19.1	4.8	4.7	700.0	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3805	III A 7 i I 層	石柱	27.8	6.8	5.6	1570.0	流紋岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3806	VB 3 d 0 層	有孔礫	10.7	6.7	4.7	330.0	淡綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3807	VB 4 a 1 層	有孔礫	8.8	5.3	3.2	185.0	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3808	IV A 4 g III 層	有孔礫	5.4	4.8	1.4	39.3	硬質泥岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3809	III A 10 g III 層	有孔礫	4.9	3.3	2.5	40.3	王髓	不詳	不詳	
3810	IV A 1 g I 層	有孔礫	7.6	6.5	1.9	115.0	淡綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3811	III A 6 i 0 層	有孔礫	7.1	4.9	1.4	52.8	綠色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3812	IV A 10 g I 層	有孔礫	5.1	4.1	1.6	47.3	淡綠色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第395図 遺構外出土遺物(68)


 $s = \frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3813	IV A 2 j I 層	玦状耳飾	4.7	2.3	0.6	6.6	凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3814	III A 9 e I 層	玦状耳飾	3.8	3.3	0.8	12.1	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3815	IV B 10 f 0 層	玦状耳飾	2.4	1.3	0.4	1.4	王髓	不詳	不詳	*
3816	II B 10 b I 層	玦状耳飾	2.5	1.6	0.4	1.7	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
3817	III A 8 f I 層	玦状耳飾	2.3	2.1	0.4	3.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
3818	III A 6 d I 層	垂飾	5.5	2.2	0.6	9.8	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3819	IV A 4 h I 層	垂飾	2.9	1.2	0.4	3.2	王髓	不詳	不詳	*
3820	III B 1 b 0 層	垂飾	4.8	1.0	0.2	2.7	王髓	不詳	不詳	*
3821	IV B 2 b 0 層	垂飾	8.2	0.8	0.6	7.4	チャート質凝灰岩	北上山地	新第三系中新統	*
3822	IV A 5 h I 層	垂飾	9.4	4.6	0.9	542.0	緑色細粒凝灰岩	不詳	新第三系中新統	
3823	VIB 4 i I 層	垂飾未製品	8.7	6.0	2.0	140.0	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3824	IV B 区 0 層	垂飾未製品	5.9	3.4	1.5	19.4	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3825	I A 9 c III 層	円盤状石製品	4.9	3.6	0.7	13.8	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3826	III A 8 e I 層	円盤状石製品	4.4	3.9	0.9	17.3	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3827	IV A 3 j I 層	円盤状石製品	5.7	3.8	1.1	32.1	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3828	III A 9 h I 層	円盤状石製品	6.3	4.0	0.8	33.3	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

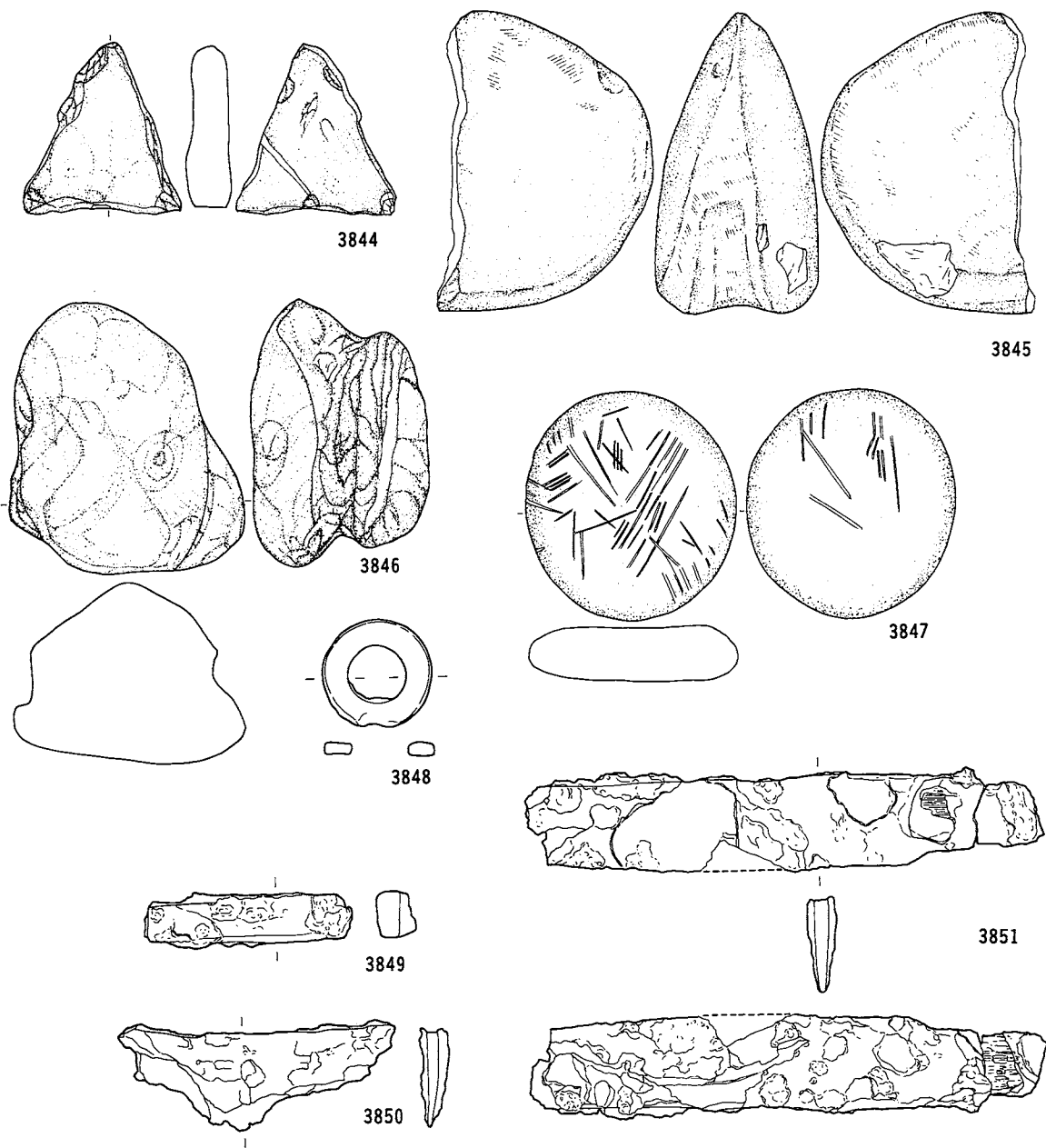
第396図 遺構外出土遺物(69)



S = 1/2

No.	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3829	VA 3 j I層	円盤状石製品	3.3	2.0	0.5	5.5	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3830	VA 2 i I層	円盤状石製品	4.6	1.9	0.8	7.8	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3831	IVA 1 i I層	円盤状石製品	5.1	3.0	1.1	16.2	珪質細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3832	III A 9 i I層	円盤状石製品	2.9	3.1	0.7	10.6	緑色凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3833	IVA 3 f I層	円盤状石製品	7.5	3.4	1.2	44.3	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3834	VIB 7 f I層	円盤状石製品	5.6	3.8	0.7	16.2	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3835	IVA 1 i I層	円盤状石製品	4.2	4.2	0.8	19.5	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3836	III A 6 e I層	円盤状石製品	4.3	2.4	0.5	8.6	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3837	II A 3 e III層	石剣	5.8	1.9	1.2	14.3	粘板岩	仙人~夏油川	古生界	*
3838	VIB 5 g II層	石剣	6.8	2.2	1.0	18.4	粘板岩	夏油川	古生界	*
3839	III A 9 f I層	石剣	9.5	2.7	1.2	49.2	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	*
3840	III B 区 0層	石剣	11.3	2.3	1.7	52.1	粘板岩	夏油川~和賀仙人	古生界	*
3841	VIB 6 f I層	男根状石製品	9.8	4.0	2.7	105.0	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3842	IVA 10 j I層	男根状石製品	4.9	3.8	1.5	26.4	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	*
3843	IV B 9 c II層	岩偶	5.7	4.1	0.7	15.6	淡緑色細粒凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	

第397図 遺構外出土遺物(70)



3845

3846

3847

3848

3849

3850

3851

S = $\frac{1}{2}$

No	出土地点	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	産地	年代	破損
3844	III B 7 e I 層	三角状石製品	5.0	4.8	1.3	30.5	輝石安山岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3845	VIB 区 I 層	三角とう型石製品	8.7	6.2	5.8	330.0	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3846	II A 1 e III 層	有溝石製品	8.0	6.8	5.3	135.0	軽石凝灰岩	奥羽山地	新第三系中新統	
3847	IV B 10 a I 層	刻線磨石	6.7	6.1	1.6	80.1	緑色凝灰岩	夏油川上流	新第三系中新統	
3848	IV A 5 i II 層	鉄製品	3.1	3.2	0.4	8.0				
3849	I A 9 d II 層	鉄製品	6.1	1.6	1.1	19.0				
3850	V A 1' i I 層	鉄製品	8.1	2.8	0.9	25.0				
3851	I A 7 a 0 層	鉄製品	15.2	2.8	0.9	60.0				

第398図 遺構外出土遺物(71)

VI ま と め

1. 遺構について

本遺跡から検出された遺構は、縄文時代の竪穴住居跡8棟、平安時代の竪穴住居跡13棟、住居跡状遺構3棟、土坑162基、柱穴状土坑164基、陥し穴状遺構11基、溝跡3条である。ここでは、検出された遺構のうち竪穴住居跡、土坑、陥し穴状遺構について若干の補足をし、まとめとしたい。

縄文時代の竪穴住居跡

検出された8棟のうち、6棟が調査区西寄りのⅢA区に集中する。さらに、そのうち5棟が切り合っている。平面形は、推定も含めて円形が4棟、楕円形が3棟、石囲炉のみのものが1棟である。規模は、小さいものは直径4.5m前後、大きいものは推定9.5×8mで、平均すれば6m前後である。炉は、石囲炉を持つものが2棟、地床炉を持つものが2棟、埋設炉を持つものが1棟で残りは不明である。時期については、石囲炉のみの検出であるIVB9号住居跡以外は、全て前期末葉～中期初頭と考えられる。

平安時代の竪穴住居跡

検出された13棟のうち、7棟が調査区ほぼ中央のIVB区に集中する。平面形は、推定も含めて隅丸方形が11棟、隅丸長方形が2棟である。規模は、小さいものはほぼ3m四方、大きいものは推定で7.5×6mで、平均すれば4.3m四方前後である。カマドは、東壁に設けられていたものが7棟、南壁に設けられていたものが5棟で、残り1棟は不明である。煙道部は、掘り込み式が5棟、くりぬき式が1棟で、残りは不明である。

土坑

検出された162基のうち、開口部が2mを超える大型のものは30基、1～2mのものが73基、1m以下のものが59基である。断面形は、逆台形をなすものが59基、フラスコ状のものが31基、ピーカー状のものが28基などとなっている。また、大型のものうちのいくつかは、ⅢA区の切り合い住居群の西側に、北東から南西にかけて並んで検出された。時期については、出土遺物などから縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられるものが108基、縄文時代晩期末葉のものが1基、平安時代のものが8基、不明のものが45基である。

陥し穴状遺構

検出された11基のうち、溝状のものが7基、楕円状のものが4基でいずれも点在している。溝状のものは、小さいものが3m前後、大きいものが4m前後で、平均すると3.5m前後である。楕円状のものは、小さいものが2m前後、大きいものが3m前後である。深さは、溝状のもの最大が106cm、平均80cm前後で、楕円状のものは最大143cm、平均125cm前後である。

2. 遺物について

本遺跡から出土した遺物は、図化できた土器が846点、それ以外に拓本として掲載したものや破片等合わせて大コンテナ120箱程で、登録した石器が5081点、フレークは19321点にのぼる。また、鉄器類が8点出土している。ここでは、土器の分類基準と石器についての補足、それに、出土した石器のほぼ半数を占める石錘について若干の説明を加え、まとめとしたい。

土器

本遺跡出土の土器のうち、図化できたものと拓本として掲載したものについて、それぞれ簡単な分類を行った。また、個々の土器や拓本の文様などについては、該当ページ下欄の観察表に記載した。

(縄文時代の土器)

初めに器形、器種で次の4つに大別した。

- <深鉢A> 明瞭な頸部がなく、植木鉢状や円筒状をなすもの。
- <深鉢B> 頸部にくびれを持ち、胴部がふくらみ曲線的になるもの。
- <深鉢C> 胴部上半は球状に膨らみ、下半は台状をなすもの。
- <浅鉢> 最大径が器高の1.5倍以上あるもの。

次に施文の特徴などを基準として、次の20類に細分した。

- 1類 4単位の波状口縁で、波頂部に有孔円盤状貼付がなされるもの。
- 2類 粘土紐が鋸歯状や梯子状に貼付されたもの。
- 3類 平縁で、指による前後波状縁となるもの。
- 4類 絡条体の回転施文のみのもの。
- 5類 縦位の連続沈線が胴下部まで及ぶもの。
- 6類 口縁部に横位や鋸歯状の沈線が施されるもの。
- 7類 竹管による細い平行沈線が胴部にまで及ぶもの。
- 8類 胴部に及んだ平行沈線文の交点にボタン状の貼付がなされるもの。
- 9類 口縁部の4単位の位置に円形の凹みを持ち、その両側に太い沈線やえぐりが施されるもの。
- 10類 竹管による爪形文や円形の刺突が施されるもの。
- 11類 網目状や木目状の撚糸文が施されるもの。
- 12類 地文が単節や無節や付加条の縄文のみのもの。
- 13類 口縁部の4単位の位置に円形の凹み又は貼付を持ち、その両側に縦位や弧状の沈線が連続的に施されるもの。
- 14類 口縁部に斜位の沈線が連続的に施されるもの。

15類 地文が結節や結束の縄文となるもの。

16類 縄文原体の側面圧痕が施されるもの。

17類 口縁部に渦巻状の平行沈線や横位又は小波状沈線が連続して施されるもの。

18類 口縁部に刻目を持つ縦位や渦巻状の粘土紐が貼付されるもの。

19類 口縁部の横位の沈線間を刺突又は短沈線で充填するもの。

20類 沈線で区画された中に縦位や斜位の連続沈線が施されるもの。

以上20類に細分した土器の相当する時期は、次のようになると考えられる。

1～3類—大木5式 4・5類—大木5～6式 6～12類—大木6式 13～15類—大木6～7
a式 16～20類—大木7 a式

(平安時代の土器)

土師器と須恵器が出土しており量的には前者が圧倒的に多い。器種は土師器が坏、高台付坏、甕、鍋、耳皿、須恵器が坏、甕、壺であるが、分類は土師器の坏と甕についてのみ行った。

<土師器坏>

A類、ロクロ不使用のもの。B類、ロクロ使用のもの。

I、内面が黒色処理されているもの。 II、内面が黒色処理されていないもの。

a、底部切り離しが回転糸切りで無調整のもの。 b、底部切り離しが回転糸切りで再調整
のもの。 c、不明のもの。

<土師器甕>

A類、ロクロ不使用のもの。 B類、ロクロ使用のもの。

I、器高が20cm以上のもの。 II、器高が20cm未満のもの。

a、口縁部に最大径があるもの。 b、胴部に最大径があるもの。

石器

登録した石器の総数(石製品も含む)は5081点で、器種毎の点数は次の通りである。

石錘2393点、すり石359点、削器352点、特殊磨石244点、石鍬237点、凹石199点、コア181点、
石匙170点、石筥160点、Rフレ120点、尖頭器86点、敲石78点、搔器、円盤状石製品各74点、U
フレ63点、磨製石斧37点、石錐33点、半円状偏平打製石器25点、台石24点、有孔礫22点、鋸齒
状石器21点、石皿19点、砥石17点、石剣16点、垂飾品14点、石鍬10点、块状耳飾9点、石柱7
点、ピエス=エスキュー6点、石棒5点、打製石斧、男根状石製品、三角状石製品各4点、礫
器3点、挟入石器、岩偶、線刻石製品各2点、石皿状石製品、三角とう形石製品、有溝石製品、
朱塗の石製品、異形石器各1点。

石錘について

本遺跡から出土した石錘の総数は2393点(遺構内809点、遺構外1584点)で、全石器中の実に

47%（遺構内39%、遺構外52%）を占めている。また、グリット毎、遺構毎の出土点数は次の通りである。

グリット名	出土点数	グリット名	出土点数	グリット名	出土点数	グリット名	出土点数	グリット名	出土点数	グリット名	出土点数
IA7a	5	IIIA6f	26	IVA2e	2	IVB4d	1	VB2c	3	VC10a	1
IA7b	1	IIIA6g	2	IVA2f	7	IVB4e	1	VB2d	7	VC10b	4
IA7c	2	IIIA6h	7	IVA2g	5	IVB4f	1	VB2e	2	VC10c	1
IA9c	4	IIIA6i	7	IVA2h	12	IVB5a	2	VB2f	2	VC区	8
IA9d	1	IIIA7e	8	IVA2i	4	IVB5f	2	VB3d	7	VIA5h	1
IA9e	2	IIIA7f	4	IVA2j	9	IVB5g	1	VB3e	3	VIB1a	7
IA9h	7	IIIA7g	4	IVA3f	17	IVB6a	1	VB3f	7	VIB1f	9
IA10c	2	IIIA7h	4	IVA3g	4	IVB6c	5	VB4a	3	VIB1g	1
IA10d	3	IIIA7i	2	IVA3h	5	IVB6d	14	VB4b	2	VIB1j	2
IA10e	3	IIIA7j	3	IVA3i	6	IVB6e	4	VB4d	7	VIB2e	1
IA10f	1	IIIA8d	2	IVA3j	2	IVB6f	1	VB4e	4	VIB2i	31
IA区	1	IIIA8e	3	IVA4f	8	IVB7c	6	VB4f	1	VIB2j	5
IIA1a	1	IIIA8f	8	IVA4g	9	IVB7d	12	VB4g	2	VIB3e	1
IIA1c	2	IIIA8g	6	IVA4h	11	IVB7e	4	VB5a	44	VIB3h	1
IIA1e	1	IIIA8h	2	IVA4i	10	IVB7f	1	VB5b	9	VIB3i	8
IIA2d	2	IIIA8i	4	IVA4j	4	IVB8b	1	VB5d	6	VIB3j	2
IIA2g	1	IIIA8j	3	IVA5f	3	IVB8c	3	VB5e	3	VIB4f	1
IIA3d	1	IIIA9e	8	IVA5g	6	IVB8d	7	VB5g	4	VIB4g	3
IIA5b	1	IIIA9f	7	IVA5h	12	IVB8e	5	VB5h	3	VIB4h	1
IIA6c	1	IIIA9g	10	IVA5i	16	IVB9c	15	VB6a	1	VIB4i	1
IIA9c	1	IIIA9h	15	IVA5j	2	IVB9d	7	VB6d	4	VIB5d	1
IIA9d	1	IIIA9i	11	IVA6b	1	IVB9e	5	VB6e	4	VIB5f	4
IIA9e	1	IIIA9j	2	IVA6g	4	IVB9f	16	VB6f	6	VIB5g	11
IIA10d	1	IIIA10e	9	IVA6h	4	IVB10a	3	VB6g	5	VIB5h	4
IIA区	4	IIIA10f	16	IVA6i	1	IVB10c	5	VB6h	1	VIB5i	1
IIIB10b	25	IIIA10g	10	IVA7a	1	IVB10d	12	VB6j	1	VIB6e	2
IIB区	2	IIIA10h	19	IVA7b	1	IVB10e	6	VB7d	1	VIB6f	20
IIIA1d	1	IIIA10i	3	IVA7h	26	IVB10f	3	VB7e	4	VIB6g	3
IIIA1f	1	IIIA10j	9	IVA7i	3	IVB区	59	VB7f	3	VIB7e	2
IIIA1g	1	IIIA区	34	IVA7j	3	VA1i	3	VB7g	6	VIB7f	4
IIIA2f	6	IIIB1b	6	IVA8g	1	VA1j	3	VB7h	3	VIB7g	2
IIIA2g	6	IIIB1c	3	IVA8h	2	VA2i	1	VB8d	5	VIB8h	2
IIIA2h	3	IIIB2b	2	IVA8i	1	VA2j	4	VB8e	2	VIB9g	1
IIIA3f	6	IIIB4d	1	IVA9f	7	VA3g	2	VB8g	4	VIB10g	1
IIIA3g	2	IIIB5f	1	IVA9g	1	VA3i	4	VB8i	2	VIB区	35
IIIA3h	28	IIIB6b	1	IVA10g	5	VA3j	2	VB9d	1	VIC1a	2
IIIA4d	1	IIIB7e	1	IVA10i	3	VA4j	2	VB9e	11	VIC1b	2
IIIA4f	3	IIIB8j	1	IVA区	30	VA5j	30	VB9f	6	VIC3b	10
IIIA4g	8	IIIB9i	1	IVB1a	1	VA6f	1	VB9g	4	VIC区	2
IIIA4h	14	IIIB区	20	IVB1b	1	VA6j	26	VB9h	2	IIIIC1a	1
IIIA5e	8	IVA1a	1	IVB1j	1	VB1a	1	VB10d	1	不明	1
IIIA5f	18	IVA1e	3	IVB2e	1	VB1b	1	VB10e	6		
IIIA5g	4	IVA1f	5	IVB2i	1	VB1c	1	VB10f	5	計	1584
IIIA5h	16	IVA1g	6	IVB3b	1	VB1d	13	VB10g	5		
IIIA5i	1	IVA1h	18	IVB3d	1	VB1e	10	VB10h	3		
IIIA6d	13	IVA1i	27	IVB3f	1	VB1f	6	VB区	17		
IIIA6e	7	IVA1j	4	IVB4c	1	VB2b	3	VC9c	6		

グリット毎の出土点数

遺構名	出土点数	遺構名	出土点数	遺構名	出土点数	遺構名	出土点数	遺構名	出土点数	遺構名	出土点数
ⅢA 1号住	74	VB 1号住	2	ⅡA269	2	ⅢA119	3	ⅢA148	5	VB101	2
ⅢA 2号住	27	VB 2号住	11	ⅢA101	25	ⅢA120	1	ⅢA149	8	VB102	5
ⅢA 3号住	40	VC 1号住	16	ⅢA103	44	ⅢA121	2	ⅢA150	3	VB131	1
ⅢA 4号住	61	VIB 1号住	3	ⅢA104	11	ⅢA122	4	ⅢA166	5	VIB102	3
ⅢA 7号住	37	VIB 2号住	2	ⅢA105	4	ⅢA123	1	ⅢA168	3	VIB108	2
ⅢA 8号住	40	I A103	1	ⅢA106	6	ⅢA125	3	ⅢA169	2	I A区 ^{柱穴状土坑群}	6
ⅢA 9号住	12	I A109	3	ⅢA107	9	ⅢA127	4	ⅢA177	2	ⅡA区 ^{柱穴状土坑群}	4
切り合い住周柱穴群	20	I A115	2	ⅢA108	3	ⅢA128	1	ⅢA178	3	ⅢA区 ^{柱穴状土坑群}	9
ⅢA11号住	1	I A123	1	ⅢA109	2	ⅢA129	20	ⅢA184	1	ⅢB区 ^{柱穴状土坑群}	3
ⅣA 1号住	8	I A124	2	ⅢA110	9	ⅢA137	1	ⅢA194	4	I A51 ^{箱し穴状遺構}	2
ⅣB 1号住	1	I A126	2	ⅢA111	22	ⅢA138	15	ⅢB101	5	ⅢA51 ^{箱し穴状遺構}	2
ⅣB 4号住	4	I A159	1	ⅢA112	22	ⅢA139	11	ⅢB102	2	ⅣB54 ^{箱し穴状遺構}	1
ⅣB 5号住	5	ⅡA107	7	ⅢA113	4	ⅢA141	9	ⅢB104	12	ⅧC151溝跡	4
ⅣB 6号住	4	ⅡA121	1	ⅢA114	2	ⅢA142	2	ⅣB101	1		
ⅣB 7号住	9	ⅡA124	1	ⅢA115	3	ⅢA143	24	ⅣB102	1	計	809
ⅣB 8号住	7	ⅡA230	1	ⅢA116	4	ⅢA144	7	ⅣB106	1		
ⅣB 9号住	1	ⅡA249	1	ⅢA118	12	ⅢA147	6	ⅣB109	1		

遺構毎の出土点数

また、本遺跡出土の石錘の特徴を記すと、次のようになる。(以下、遺構内外を合わせた総数で集計。)

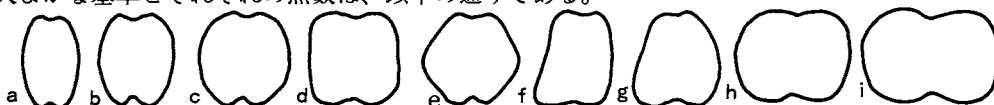
<石質> 最も多いのが緑色凝灰岩の1,104点で、全石錘中の46%を占める。次に両輝石安山岩577点(同24%)、珪質凝灰岩144点(同6%)と続く。以下、詳細は次の通りである。

石質	出土点数	石質	出土点数	石質	出土点数
緑色凝灰岩	1104	流紋岩質細粒凝灰岩	12	濃緑色凝灰岩	3
両輝石安山岩	577	花崗閃緑岩	9	白色細粒凝灰岩	2
珪質凝灰岩	144	硬質泥岩	9	千枚岩	2
プロピライト質緑色凝灰岩	94	輝石安山岩	6	流紋岩	2
珪質細粒凝灰岩	80	凝灰質硬質泥岩	5	珪質極細粒凝灰岩	1
テイスait	67	結晶片岩	5	淡緑色細粒凝灰岩	1
流紋岩質凝灰岩	52	プロピライト	4	アルコース砂岩	1
テサイト質凝灰岩	49	プロピライト質凝灰岩	4	片状ホルンフェルス	1
凝灰岩	48	淡青色細粒凝灰岩	4	安山岩	1
淡緑色凝灰岩	40	粘板岩	4	両輝石安山岩溶岩	1
ホルンフェルス	21	変質安山岩	4		
珪長質凝灰岩	15	珪質泥岩	3	計	2393
細砂質凝灰岩	15	細粒凝灰岩	3		

石質毎の出土点数

<形状> 挟入部分をたてにとった時の形状の違いによって、次の9種類に分類した。分類の

大まかな基準とそれぞれの点数は、以下の通りである。



- a. 長さが巾の1.5倍以上あるもの。(206点)
- b. 長さが巾の1~1.5倍のもの。(1,112点)
- c. ほぼ円形を呈するもの。(256点)
- d. ほぼ隅丸方形を呈するもの。(186点)
- e. ほぼひし形を呈するもの。(17点)
- f. ほぼそら豆状を呈するもの。(229点)
- g. ほぼ逆ハート型を呈するもの。(121点)
- h. 巾が長さの1~1.5倍のもの。(227点)
- i. 巾が長さの1.5倍以上あるもの。(39点)

<量量> 最後に、長さ、巾、厚さ、重量についての測定値を以下に示す。

長さ(cm)	出土点数	巾(cm)	出土点数	厚さ(cm)	出土点数	重量(g)	出土点数
0~3.0	2	0~3.5	3	0~1.0	8	0~20	3
~3.5	8	~4.0	8	~1.2	22	~40	38
~4.0	12	~4.5	51	~1.4	106	~60	138
~4.5	32	~5.0	119	~1.6	310	~80	310
~5.0	59	~5.5	284	~1.8	417	~100	380
~5.5	141	~6.0	371	~2.0	453	~120	356
~6.0	170	~6.5	418	~2.2	357	~140	290
~6.5	266	~7.0	361	~2.4	228	~160	232
~7.0	354	~7.5	283	~2.6	199	~180	196
~7.5	323	~8.0	203	~2.8	157	~200	143
~8.0	355	~8.5	109	~3.0	84	~220	101
~8.5	246	~9.0	61	~3.2	25	~240	52
~9.0	175	~9.5	47	~3.4	6	~260	34
~9.5	106	~10.0	34	~3.6	9	~280	21
~10.0	47	~10.5	20	~3.8	4	~300	13
~10.5	39	~11.0	10	~4.0	4	~400	43
~11.0	20	~11.5	6	~5.0	4	~500	18
~11.5	13	~12.0	2			~600	17
~12.0	10	~12.5	3			~700	8
~12.5	5						
~13.0	4						
~13.5	4						
~15.5	2						
計	2393	計	2393	計	2393	計	2393
最小	2.2cm	最小	3.0cm	最小	0.6cm	最小	10g
最大	15.0cm	最大	12.3cm	最大	4.5cm	最大	640g
平均	7.3cm	平均	6.6cm	平均	2.0cm	平均	136g

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所 長 高 橋 重 實

副 所 長 高 橋 敬 明

[管理課]

管 理 課 長 澤 田 寛

主 事 佐 藤 理

〃 久保田 幸 恵

嘱 託 吉 田 十 次

〃 野 崎 他 夫

[調査課]

調 査 課 長 鈴 木 恵 治

課 長 補 佐 三 浦 謙 一

〃 高橋 與右衛門

主 任 文 化 財 專 門 調 査 員 菊 池 強 一

〃 渡 辺 洋 一

〃 高 橋 正 之

〃 工 藤 利 幸

〃 中 川 重 紀

〃 佐々木 清 文

〃 高 橋 義 介

文 化 財 專 門 調 査 員 斎 藤 實

〃 千 葉 孝 雄

〃 川 村 均

〃 鈴 木 貞 行

〃 伊 東 格

〃 吉 田 充

〃 斎 藤 邦 雄

〃 神 敏 明

〃 高 橋 一 浩

〃 小 原 眞 一

〃 酒 井 宗 孝

〃 鎌 田 勉 透

〃 小山内

文 化 財 專 門 調 査 員

松 本 建 速

笹 平 克 子

花 坂 政 博

佐々木 務

金 子 昭 彦

濱 田 宏

阿 部 勝 則

星 雅 之

羽 柴 直 人

高 木 晃

村 上 拓

期 限 調 査 員

鎌 田 精 造

柳 田 磨

千 葉 悟

高 橋 英 樹

溜 浩 二 郎

佐 藤 修 一

稻 垣 雅 宏

田 畑 博 之

八重座 のり子

杉 沢 昭 太 郎

平 澤 祐 子

[資料課]

資 料 課 長 村 松 義 夫

主 任 文 化 財 專 門 調 査 員 駒 嶺 高 幸

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第196集

(第1分冊)

印刷 平成6年3月25日

発行 平成6年3月30日

発行 助岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020 岩手県盛岡市下飯岡11-185

TEL (0196) 38-9001

印刷 〒020 岩手県盛岡市上田1丁目6番49号

熊谷印刷

TEL (0196) 53-4151
